

講義内容2010

専門教育科目

仏教学部

文学部

経済学部

講 義 内 容

目次案内

専門教育科目

1	仏教学部	……………(2)
2	文学部	
	(1)国文学科	……………(5)
	(2)英米文学科	……………(7)
	(3)地理学科	……………(9)
	(4)歴史学科	……………(12)
	(5)社会学科 (社会学専攻)	……………(16)
	(6)社会学科 (社会福祉学専攻)	……………(18)
	(7)心理学科	……………(21)
3	経済学部	
	(1)経済学科・経済学科フレックスA・商学科・現代応用経済学科	……………(23)
	(2)経済学科フレックスB	……………(32)

仏教	
	国文
	英米
	地理
文	歴史
	社会
	社福
	心理
経	経・経A・ 商・現
済	経B

※全学共通科目、他学部履修科目、「日本語」・「日本事情」科目、随意科目、教職課程・資格講座科目は、別冊になっています。

1. 仏 教 学 部

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教学入門 禅学序説 仏教学序説	岩永 正晴	000101・000102・000103	3
仏教学入門 禅学序説 仏教学序説	吉津 宜英	000201・000202・000203	4
仏教漢文入門	須山 長治 石井 公成 吉村 誠	000311・000321・000331・000341・000351	4
仏教語・禅語解説 禅学研究Ⅱ	程 正 奥野 光賢	001001・001002	5
仏教語・禅語解説 仏教研究Ⅱ	奥野 光賢 程 正	001401・001402	5
中国禅宗史	石井 修道	002301	6
坐禅Ⅰ	角田 泰隆 岩永 正晴	000401	6
坐禅Ⅰ	永井 政之 晴山 俊英	000501	7
禅思想概説 禅学研究Ⅰ	石井 修道	000901・000902	7
仏教思想概説 仏教研究Ⅰ	池田 魯参	001301・001302	8
日本禅宗史	佐藤 秀孝	002401	8
仏典・禅籍解説 禅籍講読Ⅳ	松田 陽志 池田 練太郎	002801・002802	9
仏典・禅籍解説 仏典講読Ⅳ	池田 練太郎 松田 陽志	003201・003202	10
宗教学概論	矢野 秀武	006801	10
宗教学概論	長谷部 八朗	006811	11
宗典	松田 陽志	000601	11
宗典	角田 泰隆	000701	11
仏教・禅教団論 禅学研究Ⅲ 仏教研究Ⅲ	熊本 英人 袴谷 憲昭	001101・001102・001501・001502	12
演習Ⅰ 演習Ⅱ	池田 練太郎	009101・009102	13
演習Ⅰ 演習Ⅱ	岩永 正晴	009201・009202	13
演習Ⅰ 演習Ⅱ	石井 修道	009701・009702	13
演習Ⅰ 演習Ⅱ	石井 公成	009801・009802	14
演習Ⅰ 演習Ⅱ	池田 魯参	010001・010002	14
演習Ⅰ 演習Ⅱ	長谷部 八朗	010101・010102	14
演習Ⅰ 演習Ⅱ	奥野 光賢	010201・010202	14
演習Ⅰ 演習Ⅱ	熊本英人	010301・010302	15
演習Ⅰ 演習Ⅱ	片山 一良	010401・010402	15
演習Ⅰ 演習Ⅱ	飯塚 大展	010501・010502	15
演習Ⅰ 演習Ⅱ	永井 政之	010601・010602	16
演習Ⅰ 演習Ⅱ	松本 史朗	010701・010702	16
演習Ⅰ 演習Ⅱ	吉津 宜英	010901・010902	17
演習Ⅰ 演習Ⅱ	金沢 篤	011201・011202	17
演習Ⅰ 演習Ⅱ	佐藤 秀孝	011401・011402	18
演習Ⅰ 演習Ⅱ	石井 清純	011501・011502	18
演習Ⅰ 演習Ⅱ	吉村 誠	011601・011602	19
演習Ⅰ 演習Ⅱ	晴山 俊英	011801・011802	19
演習Ⅰ 演習Ⅱ	村松 哲文	011811・011812	19

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習Ⅰ 演習Ⅱ	松田 陽志	011821・011822	20
演習Ⅰ 演習Ⅱ	程 正	011831・011832	20
演習Ⅰ 演習Ⅱ	池上 光洋	011841・011842	21
演習Ⅰ 演習Ⅱ	角田 泰隆	011851・011852	21
演習Ⅰ 演習Ⅱ	袴谷 憲昭	011861・011862	21
演習Ⅰ 演習Ⅱ	木村 誠司	011871・011872	22
インド仏教史	池田 練太郎	001701	22
中国仏教史	吉村 誠	002001	23
日本仏教史	飯塚 大展	002201	23
パリー仏教史	矢島 道彦	001801	24
チベット仏教史	新井 一光	001901	25
朝鮮仏教史	石井 公成	002101	25
禅籍講読Ⅰ	程 正	002501	25
禅籍講読Ⅱ	晴山 俊英	002601	26
禅籍講読Ⅲ	岩永 正晴	002701	26
仏典講読Ⅰ	袴谷 憲昭	002901	27
仏典講読Ⅱ	奥野 光賢	003001	27
仏典講読Ⅲ	飯塚 大展	003101	27
仏教民俗学	佐藤 憲昭	006301	28
宗教史	長谷部 八朗	003301	28
日用経典	飯塚 大展	003401	28
インド仏教文化史	金沢 篤	003801	29
中国仏教文化史	程 正	003901	29
日本仏教文化史	袴谷 憲昭	004001	29
外国語禅書講読	古山 健一	004101	30
インド仏教思想史	松本 史朗	004201	30
中国仏教思想史	吉津 宜英	004301	31
インド哲学史	金沢 篤	004401	31
禅学特講Ⅰ	館 隆志	004501	32
禅学特講Ⅱ	海老澤 早苗	004601	32
禅学特講Ⅲ	駒ヶ嶺 法子	004701	32
仏教特講Ⅱ	林 鳴宇	005001	33
仏教特講Ⅲ	池田 道浩	005101	33
仏教特講Ⅳ	木村 誠司	005201	33
原始仏教	片山 一良	005301	34
真言学概論	元山 公寿	005401	34
浄土学概論	小澤 憲珠	005601	34
神道概説	西岡 和彦	005801	35
宗教哲学	河谷 淳	006001	35
禅美術	村松 哲文	006101	35
仏教美術	村松 哲文	006201	36
教化法	熊本 英人	006451	36
青少年問題研究	讃岐 真佐子	006601	37
青少年指導演習	西村 寛子	006701	37
現代哲学概説	久保 陽一	006901	38
外国語仏書講読	木村 誠司	007001	38
宗教教育	小山 一乗	007101	39
宗教法概説	村上 興匡	007201	40
キリスト教概論	土居 由美	007301	40
中国哲学史	前川 亨	007401	41

仏教学部

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本哲学史	久保 陽一	007411	41
漢詩作法	須山 長治	007511	42
哲学概説	杉田 正樹	007601	42
書道	綾部 宏行	007801	42
サンスクリット語初級	金沢 篤	007901	43
サンスクリット語上級	金沢 篤	008001	43
パーリ語初級	片山 一良	008101	43
パーリ語上級	古山 健一	008201	44
チベット語初級	松本 史朗	008301	44
チベット語上級	木村 誠司	008401	44
中国古典語Ⅰ	吉村 誠	003511	45
中国古典語Ⅱ	小川 隆	008511	45
イスラム教概論	山崎 和美	008801	46
仏教文献学	堀川 貴司	008901	47
禅心理学	池上 光洋	008911	48
ラテン語	上野 勝広	028101	48
心理学概論	間島 英俊	070901	49
坐禅Ⅱ 坐禅Ⅰ〔再クラス〕	佐藤 秀孝 松田 陽志	009001・009002	49
禅学研究Ⅳ	休講	001201	
仏教研究Ⅳ	休講	001601	
禅学特講Ⅳ	休講	004801	
仏教特講Ⅰ	休講	004901	
日蓮教学概論	休講	005501	
真宗学概論	休講	005701	
新宗教概説	休講	005901	
中国文学	休講	008611	

2. 文学部

(1) 国文学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
基礎国語学	高田 智和	012101	53
基礎国語学	原 裕	012201	53
基礎国文学Ⅰ	櫻井 陽子	012301	54
基礎国文学Ⅰ	松井 健児	012401	54
基礎国文学Ⅰ	近衛 典子	012501	54
基礎国文学Ⅱ	岡田 豊	012601	55
基礎国文学Ⅱ	高田 知波	012701	55
基礎国文学Ⅱ	勝原 晴希	012801	55
漢文学	和田 和子	012901	56
漢文学	和田 和子	013001	56
日本語文法入門	土井 光祐	021051	57
日本語文法入門	原 裕	021061	57
国語国文学演習Ⅰ	土井 光祐	018001	58
国語国文学演習Ⅰ	中嶋 真也	018101	58
国語国文学演習Ⅰ	松井 健児	018301	59
国語国文学演習Ⅰ	湯浅 幸代	018401	59
国語国文学演習Ⅰ	櫻井 陽子	018501	59
国語国文学演習Ⅰ	田中 徳定	018601	60
国語国文学演習Ⅰ	近衛 典子	018701	60
国語国文学演習Ⅰ	林 達也	018801	60
国語国文学演習Ⅰ	岡田 豊	018901	61
国語国文学演習Ⅰ	高田 知波	019001	61
国語国文学演習Ⅰ	勝原 晴希	019101	61
国語国文学演習Ⅱ	土井 光祐	019301	62
国語国文学演習Ⅱ	中嶋 真也	019401	62
国語国文学演習Ⅱ	松井 健児	019501	63
国語国文学演習Ⅱ	湯浅 幸代	019601	63
国語国文学演習Ⅱ	櫻井 陽子	019801	64
国語国文学演習Ⅱ	田中 徳定	019901	64
国語国文学演習Ⅱ	近衛 典子	020001	64
国語国文学演習Ⅱ	林 達也	020101	65
国語国文学演習Ⅱ	岡田 豊	020201	65
国語国文学演習Ⅱ	高田 知波	020301	65
国語国文学演習Ⅱ	勝原 晴希	020401	66
国語国文学演習Ⅲ	土井 光祐	020601	66
国語国文学演習Ⅲ	中嶋 真也	020701	66
国語国文学演習Ⅲ	松井 健児	020801	67
国語国文学演習Ⅲ	湯浅 幸代	020901	67
国語国文学演習Ⅲ	櫻井 陽子	021001	67
国語国文学演習Ⅲ	田中 徳定	021101	67
国語国文学演習Ⅲ	近衛 典子	021201	68
国語国文学演習Ⅲ	林 達也	021301	68
国語国文学演習Ⅲ	岡田 豊	021401	68
国語国文学演習Ⅲ	高田 知波	021501	68
国語国文学演習Ⅲ	勝原 晴希	021601	69

国文学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
国文学史ⅠA(古典) 国文学史Ⅰ(古典)	鈴木 裕子	013301・013302	69
国文学史ⅠB(古典) 国文学史Ⅰ(古典)	藺部 幹生	013401・013402	69
国文学史ⅡA(近現代) 国文学史Ⅱ(近現代)	小林 治	013501・013502	70
国文学史ⅡB(近現代) 国文学史Ⅱ(近現代)	松田 直行	013601・013602	71
国語史	山本 真吾	013701	71
国語学史	木村 一	013801	72
国語学研究Ⅱ	木村 一	014001	72
上代文学研究Ⅱ	中嶋 真也	014201	73
中古文学研究Ⅱ	湯淺 幸代	014401	73
中世文学研究Ⅱ	田中 徳定	014601	74
近世文学研究Ⅱ	川元 ひとみ	014801	74
近代文学研究Ⅰ	榎本 正樹	014901	75
近代文学研究Ⅱ	勝原 晴希	015001	75
国語学特講Ⅰ	山本 真吾	015101	76
国語学特講Ⅱ	高田 智和	015201	76
国文学特講Ⅰ	兼岡 理恵	015301	77
国文学特講Ⅱ	渡部 泰明	015401	77
国文学特講Ⅲ	渡部 泰明	015501	77
国文学特講Ⅳ	岩崎 雅彦	015601	78
国文学特講Ⅴ	佐藤 武光	015701	78
国文学特講Ⅵ	津島 知明	015801	79
国文学特講Ⅶ	竹内 正彦	015901	79
国文学特講Ⅷ	鹿倉 秀典	016001	79
国文学特講Ⅸ	中西 亮太	016101	80
国文学特講Ⅹ	国松 俊英	016201	80
国文学特講ⅩⅠ	榎本 正樹	016301	81
中国文学	田熊 信之	016401	81
有職故実	近藤 好和	016501	82
演劇概論	阿部 由香子	016601	82
西洋思想史	河谷 淳	016701	82
東洋思想史	末木 恭彦	016801	83
児童文学	国松 俊英	016901	83
比較文学	内藤 まりこ	017001	83
日本民俗学	谷口 貢	017101	84
編集実務	長谷川 孝	017201	84
書道史	那須 隆吉	017301	85
書道概論	金子 大蔵	017401	85
書道実習Ⅰ	金子 大蔵	017501	86
書道実習Ⅱ	那須 隆吉	017601	86
書道実習Ⅲ	那須 隆吉	017701	87
美術史概説	北野 良枝	017801	87
民間信仰論	谷口 貢	017901	87
日本史概説	松本 信道	043711	88
日本文化史	廣瀬 良弘	047111	88
国語学研究Ⅰ	休講	013901	
上代文学研究Ⅰ	休講	014101	
中古文学研究Ⅰ	休講	014301	
中世文学研究Ⅰ	休講	014501	
近世文学研究Ⅰ	休講	014701	

(2) 英米文学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語演習 作品講読Ⅰ	唐澤 一友	023101・023102	91
英語演習 作品講読Ⅰ	逢見 明久	023201・023202	91
英語演習 作品講読Ⅰ	佐藤 真二	023301・023302	91
英語演習 作品講読Ⅰ	川崎 明子	023401・023402	92
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ	モート、セーラ	023501	92
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ	レイン、R. V.	023601	93
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ	マーティン、S. F.	023701・023801	93
英語学概論	佐藤 真二	024701	94
作品講読 作品講読Ⅱ	加藤 光也	023901・023902	94
作品講読 作品講読Ⅱ	川崎 明子	024001・024002	95
作品講読 作品講読Ⅱ	高野 正夫	024101・024102	95
作品講読 作品講読Ⅱ	東 雄一郎	024201・024202	96
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ブランケン、D. L.	024301・024401	97
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	モート、セーラ	024501	98
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ハバード、W. D.	024601	98
英語表現法	高野 正夫	024801	99
英語表現法	河崎 征俊	024901	99
英語表現法	佐藤 千春	025001	100
英語表現法	逢見 明久	025101	100
英語史	唐澤 一友	025501	101
3年次ゼミ	唐澤 一友	030181	102
3年次ゼミ	逢見 明久	030191	102
3年次ゼミ	河崎 征俊	030201	103
3年次ゼミ	高野 正夫	030401	103
3年次ゼミ	モート、セーラ	030601	104
3年次ゼミ	東 雄一郎	030801	104
3年次ゼミ	佐藤 千春	030901	105
3年次ゼミ	佐藤 真二	031101	105
3年次ゼミ	川崎 明子	031191	106
3年次ゼミ	加藤 光也	031201	106
アメリカ文学史	佐藤 千春	025201	107
イギリス文学史Ⅰ	河崎 征俊	025301	107
イギリス文学史Ⅱ	加藤 光也	025401	108
英米文化	広川 治	028301	108
イギリス文学特講Ⅰ	石原 孝哉	025601	109
イギリス文学特講Ⅱ	高野 正夫	025701	109
イギリス文学特講Ⅲ	濱口 真木	025801	109
イギリス文学特講Ⅳ	川崎 明子	025901	110
イギリス文学特講Ⅴ	モート、セーラ	026001	110
イギリス文学特講Ⅵ	丸小 哲雄	026101	111
アメリカ文学特講Ⅰ	東 雄一郎	026401	112
アメリカ文学特講Ⅱ	馬場 聡	026501	112
アメリカ文学特講Ⅳ	逢見 明久	026701	113
アメリカ文学特講Ⅴ	西原 克政	026801	113
イギリス文学演習Ⅰ	河崎 征俊	026901	113
イギリス文学演習Ⅱ	川崎 明子	027001	114
イギリス文学演習Ⅲ	高野 正夫	027101	114
イギリス文学演習Ⅴ	大湖 利春	027301	115

英米文学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
アメリカ文学演習Ⅰ	東 雄一郎	027401	115
アメリカ文学演習Ⅱ	馬場 聡	027501	116
アメリカ文学演習Ⅲ	松本 昇	027601	116
アメリカ文学演習Ⅳ	古富 猛	027701	116
アメリカ文学演習Ⅴ	佐藤 千春	027801	117
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	落合 和昭	026201	118
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	逢見 明久	026301	119
時事英語	唐澤 一友	027901	119
商業英語	秋葉 滋	028001	120
ラテン語	上野 勝広	028101	120
ギリシャ語	長谷川 岳男	028201	121
外国文学	東 辰之介	028401	121
英米思想史	麻生 享志	028501	122
現代美術	矢野 陽子	028601	122
英語学演習Ⅰ	菅原 勉	029001	123
英語学演習Ⅰ	ピアス、 D. M.	029101	124
英語学演習Ⅱ	唐澤 一友	029201	124
英語学演習Ⅲ	町田 尚子	029301	125
英語学演習Ⅳ	唐澤 一友	029401	125
TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座	ブランケン、 D. L.	029511・029531	126
TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座	レイン、 R. V.	029521	127
オーラル・イングリッシュ	マーティン、 S. F.	029601	127
オーラル・イングリッシュ	ハバード、 W. D.	029701・029901・ 030001	128
オーラル・イングリッシュ	レイン、 R. V.	029801	128
翻訳演習	加藤 光也	026611	128
日本文化史	廣瀬 良弘	047111	129
英作文演習	東 雄一郎	028801	129
英作文演習	川崎 明子	028901	130
4年次ゼミ	河崎 征俊	031211	130
4年次ゼミ	高野 正夫	031231	130
4年次ゼミ	モート、 セーラ	031241	131
4年次ゼミ	東 雄一郎	031251	131
4年次ゼミ	佐藤 千春	031261	132
4年次ゼミ	佐藤 真二	031271	132
4年次ゼミ	加藤 光也	031281	132
4年次ゼミ	唐澤 一友	031291	133
4年次ゼミ	逢見 明久	031321	133
4年次ゼミ	川崎 明子	031331	133

(3) 地理学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
自然地理学実習 (地図学実習含む)	高木 正博	031701	137
自然地理学実習 (地図学実習含む)	長沼 信夫	031801	137
自然地理学実習 (地図学実習含む)	早船 元峰	031901	137
自然地理学実習 (地図学実習含む)	平井 幸弘	037601	138
自然地理学実習 (地図学実習含む)	田中 靖	037701	138
自然地理学実習 (地図学実習含む)	長沼 信夫	037801	138
人文地理学実習 (地図学実習含む)	橋詰 直道	032101	139
人文地理学実習 (地図学実習含む)	須山 聡	032201	139
人文地理学実習 (地図学実習含む)	小田 匡保	032301	140
人文地理学実習 (地図学実習含む)	高橋 健太郎	037901	140
人文地理学実習 (地図学実習含む)	佐藤 哲夫	038001	140
人文地理学実習 (地図学実習含む)	土谷 敏治	038101	141
人文地理学入門 地域文化研究概説	櫻井 明久 小田 匡保 佐藤 哲夫 須山 聡 高橋 健太郎 土谷 敏治 橋詰 直道	032501・032502	142
人文地理学概論	中村 剛	036903・037003	143
自然地理学入門 地域環境研究概説	田中 靖 高木 正博 長沼 信夫 早船 元峰 平井 幸弘	038201・038202	143
自然地理学概論	早船 元峰	043102	144
自然地理学概論	高木 正博	043202	144
地理学演習	佐藤 哲夫	036201	144
地理学演習	須山 聡	036301	145
地理学演習	小田 匡保	036401	145
地理学演習	高橋 健太郎	036501	145
地理学演習	橋詰 直道	036601	146
地理学演習	櫻井 明久	036701	146
地理学演習	土谷 敏治	036801	147
地理学演習	長沼 信夫	042001	147
地理学演習	早船 元峰	042101	148
地理学演習	高木 正博	042201	148
地理学演習	平井 幸弘	042401	148
地理学演習	田中 靖	042501	148
文化生態学	中俣 均	032601	149
村落地理学	高橋 健太郎	032701	149
都市地理学	橋詰 直道	032801	150
交通地理学	土谷 敏治	032901	150
歴史地理学	小田 匡保	033001	151
文化地理学	小田 匡保	033101	151
地域概論	櫻井 明久	033301	152
地域研究論	佐藤 哲夫	033351	152
産業地域論	須山 聡	034801	153

地理学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
環境地理学	早船 元峰	038301	153
地理情報論	王尾 和寿	038401	154
応用地理学	高木 正博	038501	154
計量地理学	土谷 敏治	038601	155
地域計画論	原 昭夫	038701	156
リモートセンシング	田中 靖	038801	157
地図学	野々村 邦夫	038901	157
地形学	平井 幸弘	039901	158
気候学	平野 淳平	040101	158
水文学	長沼 信夫	040301	158
生物地理学	渋谷 園実	040701	159
地域文化調査法(現地調査含む) A	橋詰 直道	033401	159
地域文化調査法(現地調査含む) B	高橋 健太郎	033501	160
地域文化調査法(現地調査含む) E	土谷 敏治	033801	160
地域文化演習 A	小田 匡保	035601	161
地域文化演習 B	佐藤 哲夫	035701	161
地域文化演習 E	須山 聡	036001	162
地域文化演習 F	櫻井 明久	036101	162
地域環境調査法(現地調査含む) B	田中 靖	039101	162
地域環境調査法(現地調査含む) D	長沼 信夫	039301	163
地域環境調査法(現地調査含む) E	早船 元峰	039401	163
地域環境演習 A	平井 幸弘	041401	164
地域環境演習 F	高木 正博	041901	164
地域調査入門 A	高橋 健太郎	034011	164
地域調査入門 B	佐藤 哲夫	034021	165
地域調査入門 D	平井 幸弘	039611	166
地域調査入門 E	須山 聡	039621	166
日本地誌	橋詰 直道	034201	166
外国地誌特講	湯田 ミノリ	034301	167
アジア地誌	須山 聡 高橋 健太郎	034401	168
アメリカ地誌	菅野 峰明	034501	168
ヨーロッパ地誌	岩間 信之	034601	169
経済地理学	矢延 洋泰	034701	169
社会地理学	伊藤 修一	034901	170
外書講読	佐藤 哲夫	035001	171
人口地理学	平井 誠	035101	172
歴史地理学実習	小田 匡保	035201	173
地理学特講 I	橋詰 直道	041201	173
地理学特講 II	長沼 信夫	035301	173
地理学特講 III	澤渡 貞男	035401	174
地理学特講 IV	山縣 毅	035501	175
地理学特講 V	平井 史生	041301	176
G I S 実習	田中 靖	039551	177
図学実習	清水 長正	039801	177
地形学実習	清水 長正	040001	178
気候学実習	平野 淳平	040201	178
水文学実習	高木 正博	040401	178
地球物理学	柳田 誠	040501	179
土壌地理学	漆原 和子	040601	179

科目名	担当者名	履修コード	ページ
計量地理学実習	土谷 敏治	040801	180
測量学	田中 靖	040901	180
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	181
第四紀学	鈴木 毅彦	041101	181
景観地理学	須山 聡	041311	182
地域文化調査法（現地調査含む）C	休講	033601	
地域文化調査法（現地調査含む）D	休講	033701	
地域文化調査法（現地調査含む）F	休講	033901	
地域文化演習C	休講	035801	
地域文化演習D	休講	035901	
地域環境調査法（現地調査含む）A	休講	039001	
地域環境調査法（現地調査含む）C	休講	039201	
地域環境調査法（現地調査含む）F	休講	039501	
地域環境演習B	休講	041501	
地域環境演習C	休講	041601	
地域環境演習D	休講	041701	
地域環境演習E	休講	041801	
地域調査入門C	休講	034031	
地域調査入門F	休講	039631	

(4) 歴史学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本史学基礎演習 基礎歴史学	熊本 史雄	043311・043312	185
日本史学基礎演習 基礎歴史学	小泉 雅弘	043411・043412	185
日本史学基礎演習 基礎歴史学	湯浅 隆	043541・043542	186
東洋史学基礎演習 基礎歴史学	中村 淳	043511・043512	186
東洋史学基礎演習 基礎歴史学	杉山 清彦	043521・043522	186
西洋史学基礎演習 基礎歴史学	大城 道則	055621・055622	187
西洋史学基礎演習 基礎歴史学	佐々木 真	055631・055632	187
考古学基礎演習 基礎歴史学	設楽 博己	043531・043532	188
史学概論	佐々木 真	043601	188
日本史概説 日本史概説Ⅰ〔古代・中世〕	松本 信道	043711・043712	189
東洋史概説 東洋史概説Ⅰ〔古代・中世〕	石井 仁	043911・043912	189
西洋史概説 西洋史概説Ⅰ〔古代・中世〕	大城 道則	044111・044112	190
日本考古学概説 考古学概説Ⅰ〔日本〕	酒井 清治	044301・044303	190
外国考古学概説 考古学概説Ⅱ〔外国〕	飯島 武次	044401・044403	191
日本史学史	湯浅 隆	045301	191
考古学史	小柳 美樹	045601	192
日本史概説 日本史概説Ⅱ〔近世・近代〕	野尻 かおる	056301・056303	192
日本史概説 日本史概説Ⅱ〔近世・近代〕	小泉 雅弘	056401・056403	193
世界史概説 東洋史概説Ⅱ〔近世・近代〕	小林 惣八	056501・056503	193
世界史概説 西洋史概説Ⅱ〔近世・近代〕	井村 行子	044201・044203	194
東洋史各説Ⅵ〔アジア諸民族史〕 東洋史学史	奈良 修一	049011・049012	195
西洋史各説Ⅳ 西洋史学史	白川 耕一	051301・051302	195
考古発掘実習	酒井 清治 飯島 武次	046201	196
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	太田 尚宏	053401・053402	196
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	廣瀬 良弘	053501・053502	197
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	瀧音 能之	053601・053602	197
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	小泉 雅弘	053701・053702	198
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	湯浅 隆	053801・053802	198
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	熊本 史雄	053901・053902	198
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	久保田 昌希	054001・054002	199
日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	松本 信道	054701・054702	199
東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	中村 淳	054101・054102	199
東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	杉山 清彦	054201・054202	200
東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	石井 仁	054211・054212	200
西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	佐々木 真	054301・054302	200
西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	伏島 正義	054401・054402	201
西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ	大城 道則	054711・054712	201
考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ	酒井 清治	054501・054502	201
考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ	飯島 武次	054601・054602	202
考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ	杉山 浩平	054611・054612	202
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	桜井 昭男	054801・054802	203
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	廣瀬 良弘	054901・054902	203
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	瀧音 能之	055001・055002	204
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	小泉 雅弘	055101・055102	204
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	湯浅 隆	055201・055202	204
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	熊本 史雄	055301・055302	205
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	久保田 昌希	055401・055402	205

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	松本 信道	056201・056202	205
東洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	中村 淳	055501・055502	206
東洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	杉山 清彦	055601・055602	206
東洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	石井 仁	055611・055612	206
西洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	佐々木 真	055701・055702	207
西洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	伏島 正義	055801・055802	207
西洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ	大城 道則	056211・056212	207
考古学演習Ⅱ 演習Ⅱ	酒井 清治	055901・055902	208
考古学演習Ⅱ 演習Ⅱ	飯島 武次	056001・056002	208
考古学演習Ⅱ 演習Ⅱ	設楽 博己	056101・056102	208
日本史史料講読Ⅰ	瀧音 能之	044501	209
日本史史料講読Ⅱ	小松 寿治	044601	209
日本史史料講読Ⅲ	菅野 洋介	044701	210
日本史史料講読Ⅳ	小泉 雅弘	044801	210
東洋史文献史料講読Ⅱ 東洋史史料講読Ⅰ	石井 仁	045001・045002	211
東洋史文献史料講読Ⅳ 東洋史史料講読Ⅰ	中村 淳	045021・045022	211
東洋史文献史料講読Ⅵ 東洋史史料講読Ⅰ	杉山 清彦	045041・045042	212
東洋史文献史料講読Ⅷ 東洋史史料講読Ⅱ	田中 靖彦	045061・045062	212
東洋史文献史料講読Ⅸ 東洋史史料講読Ⅱ	石川 重雄	045081・045082	213
東洋史文献史料講読ⅩⅡ 東洋史史料講読Ⅱ	上田 裕之	045111・045112	213
西洋史文献史料講読Ⅱ 西洋史史料講読Ⅰ	伏島 正義	045201・045202	214
西洋史文献史料講読Ⅳ 西洋史史料講読Ⅰ	佐々木 真	045221・045222	214
西洋史文献史料講読Ⅵ 西洋史史料講読Ⅰ	大城 道則	045241・045242	215
西洋史文献史料講読Ⅷ 西洋史史料講読Ⅱ	井上 文則	045261・045262	215
西洋史文献史料講読Ⅹ 西洋史史料講読Ⅱ	菊池 紘一	045281・045282	215
西洋史文献史料講読ⅩⅡ 西洋史史料講読Ⅱ	土方 史織	045311・045312	216
記録史科学Ⅰ 古文書学	松本 信道 久保田 昌希 鈴木 雅晴	046301・046302	216
記録史科学Ⅱ	熊本 史雄 小泉 雅弘	044811	217
考古学実習(写真)	塚原 明生	045701	217
考古学実習(測量)	古庄 浩明	045801	218
考古学実習(実測)	杉山 浩平	045911	218
考古学実習(情報)	小柳 美樹	046101	219
古文書研究Ⅰ 古文書講読Ⅰ	吉田 政博	046401・046402	219
古文書研究Ⅱ 古文書講読Ⅱ	湯淺 隆	046501・046502	220
仏教美術	村松 哲文	006201	220
中国歴史文学	田熊 信之	016402	221
有職故実	近藤 好和	016501	221
日本民俗学	谷口 貢	017101	222
美術史概説	北野 良枝	017801	222
ラテン語	上野 勝広	028101	222
ギリシャ語	長谷川 岳男	028201	223
歴史地理学	小田 匡保	033001	223
人文地理学概説	中村 剛	036902・037002	224
地誌学	川元 豊和	037102	224
地誌学	湯田 ミノリ	037202	225
地誌学	山口 太郎	037302	225
日本仏教史	松本 信道	046601	226

歴史学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
西洋文化史	田中 佳	046911	226
日本文化史	廣瀬 良弘	047111	227
日本古代史	瀧音 能之	047311	227
日本中世史	久保田 昌希	047411	228
日本近世史	出口 宏幸	047511	228
日本近代史	熊本 史雄	047611	229
日本史特講Ⅰ〔古代〕	宇佐美 正利	047701	230
日本史特講Ⅱ〔古代〕	古谷 紋子	047801	230
日本史特講Ⅳ〔中世〕	浅倉 直美	048101	230
日本史特講Ⅴ〔近世〕	小高 昭一	048201	231
日本史特講Ⅵ〔近世〕	桜井 昭男	048301	231
日本史特講Ⅶ〔近代〕	熊本 史雄	048401	232
日本史特講Ⅷ〔近代〕	勝田 政治	048411	233
東洋史各説Ⅰ〔古代史〕	山口 洋	048511	234
東洋史各説Ⅲ〔中世史〕	石田 肇	048711	234
東洋史各説Ⅳ〔近世史〕	宮崎 洋一	048811	235
東洋史各説Ⅴ〔近・現代史〕	趙 軍	048911	236
東洋史特講Ⅰ〔古代史〕	石井 仁	049511	236
東洋史特講Ⅱ〔中世史〕	中村 淳	049611	237
東洋史特講Ⅲ〔近世史〕	杉山 清彦	049711	237
東洋史特講Ⅳ〔近・現代史〕	藤谷 浩悦	049811	238
東洋史特講Ⅴ〔アジア諸民族史〕	野田 仁	049911	239
東洋史特講Ⅵ〔アジア諸民族史〕	四日市 康博	050011	240
西洋史各説Ⅱ	庄司 啓一	051101	240
西洋史各説Ⅲ	長谷川 岳男	051201	241
西洋史特講Ⅰ	伏島 正義	051401	241
西洋史特講Ⅲ	佐々木 真	051601	242
西洋史特講Ⅴ	大城 道則	051801	242
西洋史特講Ⅶ	河野 淳	051821	243
考古学各説Ⅰ	芝田 幸一郎	052311	244
考古学各説Ⅲ	三宅 俊彦	052511	245
考古学特講Ⅰ	酒井 清治	052711	245
考古学特講Ⅲ	今村 啓爾	052911	246
考古学特講Ⅴ	杉山 浩平	053011	246
考古学特講Ⅶ	矢野 和之	053031	247
西域美術史	松平 美和子	053101	247
哲学史	山口 祐弘	053201	248
東洋史文献史料講読Ⅰ	休講	044901	
東洋史文献史料講読Ⅲ	休講	045011	
東洋史文献史料講読Ⅴ	休講	045031	
東洋史文献史料講読Ⅶ	休講	045051	
東洋史文献史料講読Ⅸ	休講	045071	
東洋史文献史料講読ⅩⅠ	休講	045091	
西洋史文献史料講読Ⅰ	休講	045101	
西洋史文献史料講読Ⅲ	休講	045211	
西洋史文献史料講読Ⅴ	休講	045231	
西洋史文献史料講読Ⅶ	休講	045251	
西洋史文献史料講読Ⅸ	休講	045271	
西洋史文献史料講読ⅩⅠ	休講	045291	
日本史特講Ⅲ〔中世〕	休講	047901	

科目名	担当者名	履修コード	ページ
東洋史各説Ⅱ〔古代史〕	休講	048611	
西洋史各説Ⅰ	休講	051001	
西洋史特講Ⅱ	休講	051501	
西洋史特講Ⅳ	休講	051701	
西洋史特講Ⅵ	休講	051811	
西洋史特講Ⅷ	休講	051831	
考古学各説Ⅱ	休講	052411	
考古学各説Ⅳ	休講	052611	
考古学特講Ⅱ	休講	052811	
考古学特講Ⅳ	休講	052921	
考古学特講Ⅵ	休講	053021	
考古学特講Ⅷ	休講	053041	

(5) 社会学科 社会学専攻

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学概論	坪井 健	057501	251
社会調査	牛島 千尋	057601	252
社会学基礎研究	山田 信行 牛島 千尋 坪井 健 深澤 弘樹 松信 ひろみ 李 妍炎	057701	253
情報処理実習	軽部 幸浩	057801・057901・ 058001	254
統計学基礎演習A	香川 めい	058011	255
統計学基礎演習A	池田 心豪	058021	255
統計学基礎演習A	二方 龍紀	058031	256
基礎文献講読演習	山田 信行	058061	256
基礎文献講読演習	松信 ひろみ	058071	257
基礎文献講読演習	深澤 弘樹	058081	257
調査統計基礎演習	二方 龍紀	058101	258
社会学史	李 妍炎	058401	259
社会学演習I	山田 信行	060901	259
社会学演習I	深澤 弘樹	061101	260
社会学演習I	坪井 健	061301	260
社会学演習I	李 妍炎	061401	261
社会学演習I	牛島 千尋	061501	261
社会学演習I	松信 ひろみ	061511	262
社会学演習II	深澤 弘樹	061801	262
社会学演習II	坪井 健	062001	263
社会学演習II	牛島 千尋	062101	263
社会学演習II	山田 信行	062201	263
社会学演習II	松信 ひろみ	062311	264
統計学基礎演習B	香川 めい	058111	264
統計学基礎演習B	池田 心豪	058121	265
統計学基礎演習B	二方 龍紀	058131	265
社会学古典研究	山田 信行	058221	266
質的調査法演習	深澤 弘樹	058241	266
社会参加実習	李 妍炎	058261	267
外書講読演習	山田 信行	058281	267
市民社会論	李 妍炎	058311	268
比較社会論	李 妍炎	058321	268
社会心理学A	坪井 健	058331	269
社会心理学B	坪井 健	058341	269
都市社会学A	牛島 千尋	058351	270
都市社会学B	牛島 千尋	058361	270
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	271
マス・コミュニケーション論A	深澤 弘樹	058411	271
家族とジェンダーの社会学A	松信 ひろみ	058451	272

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会統計学演習	吉田 崇	060201	272
社会調査実習	松信 ひろみ	060301	273
社会調査実習	神長 唯	060311	274
社会調査実習	二方 龍紀	060321	275
行政法	鷲徳 啓登	058501	275
民法	大宮 隆	058551	276
社会保障論	長尾 譲治	065001	276
老人福祉論	東篠 光雅	065521	277
児童福祉論	村田 一昭	065621	278
地域福祉論	川上 富雄	065901	279
環境心理学	林 久美	073401	280
児童心理学	澤田 匡人	073501	280
産業心理学	大谷 華	073601	281
老年心理学	植田 恵	073701	281
社会政策	光岡 博美	091001	282
労働法	藤本 茂	098801	283
経済原論	松前 龍宜	117501	284
政治社会学論	岩瀬 庸理	058611	285
社会階層論	吉田 崇	058621	285
宗教文化論A	芳賀 学	058641	286
宗教文化論B	芳賀 学	058651	286
国際社会学論	山田 信行	058671	287
犯罪と逸脱の社会学A	岡邊 健	058711	287
犯罪と逸脱の社会学B	岡邊 健	058721	288
災害社会学	小嶋 直子	058741	288
環境社会学	神長 唯	058751	289
社会学特殊講義D	深澤 弘樹	058861	289
現代社会学理論研究	岩瀬 庸理	058881	290
社会学原論	橋爪 敏	060001	290
宗教人類学	佐藤 憲昭	075001	291
教育社会学	伊藤 茂樹	085702	291
雇用と労働の社会学	休講	058381	
マス・コミュニケーション論B	休講	058421	
文化社会学A	休講	058431	
文化社会学B	休講	058441	
家族とジェンダーの社会学B	休講	058461	
異文化コミュニケーション論	休講	058681	
社会学特殊講義A	休講	058821	
社会学特殊講義B	休講	058831	
社会学特殊講義C	休講	058851	

(6) 社会学科 社会福祉学専攻

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会福祉原論	伊藤 秀一	062801	295
法学（福祉）	鷄徳 啓登	062901	295
情報処理論	軽部 幸浩	063001・063101・ 063201	296
社会福祉援助技術総論	荒井 浩道	063301	297
社会福祉基礎演習	佐藤 光正	068801	297
社会福祉基礎演習	東條 光雅	068901	298
社会福祉基礎演習	伊藤 秀一	069001	298
社会福祉基礎演習	桐原 宏行	069101	299
社会福祉専門演習Ⅰ	伊藤 秀一	069501	299
社会福祉専門演習Ⅰ	東條 光雅	069601	299
社会福祉専門演習Ⅰ	佐藤 光正	069701	300
社会福祉専門演習Ⅰ	桐原 宏行	069801	300
社会福祉専門演習Ⅰ	長尾 譲治	069901	301
社会福祉専門演習Ⅰ	川上 富雄	070001	301
社会福祉専門演習Ⅰ	荒井 浩道	070011	301
社会福祉専門演習Ⅱ	荒井 浩道	061911	302
社会福祉専門演習Ⅱ	東條 光雅	070101	302
社会福祉専門演習Ⅱ	川上 富雄	070201	302
社会福祉専門演習Ⅱ	佐藤 光正	070301	303
社会福祉専門演習Ⅱ	伊藤 秀一	070401	303
社会福祉専門演習Ⅱ	長尾 譲治	070501	303
社会福祉専門演習Ⅱ	桐原 宏行	070601	304
行政法	鷄徳 啓登	058501	304
民法	大宮 隆	058551	304
権利擁護と成年後見制度	千木良 正	063421	305
司法福祉論	千木良 正	063441	305
社会調査の基礎	東條 光雅	063461	306
精神医学（福祉）	浅野 誠	063481	306
社会福祉援助技術各論ⅠA	荒井 浩道	063401	307
社会福祉援助技術各論ⅠB	荒井 浩道	063501	307
社会福祉援助技術各論ⅡA	川上 富雄	063601	308
社会福祉援助技術各論ⅡB	川上 富雄	063701	309
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	309
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕	山本 哲也	064101	310
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕	橘内 真里子	064201	310
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕	佐藤 将明	064301	311
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕	青山 宗雄	064401	311
社会福祉学特講Ⅴ〔福祉事務所〕	船水 浩行	064501	312
家族療法	治田 哲之	064701	312
福祉行財政と福祉計画	笹部 昭博	064821	313
福祉サービスの組織と経営	亀田 都	064841	313
リハビリテーション論	佐藤 将明	064901	314
社会保障論	長尾 譲治	065001	315
家庭福祉論	武山 梅乗	065101	315

科目名	担当者名	履修コード	ページ
保健福祉論	山本 哲也	065201	316
公的扶助論	伊藤 秀一	065321	316
障害者福祉論	桐原 宏行	065421	317
就労支援サービス	桐原 宏行	065441	318
老人福祉論	東條 光雅	065521	319
児童福祉論	村田 一昭	065621	320
女性福祉論	堀 千鶴子	065701	320
医療福祉論	宮本 博司	065821	321
地域福祉論	川上 富雄	065901	322
社会学 (福祉)	武山 梅乗	066151	323
医学一般	小林 臻	066221	323
介護概論	金 美辰	066301・066311	324
介護技術	金 美辰	066401・066411	324
心理学 (福祉)	高橋 良博	066521	325
心理検査法	稲富 正治	066601	325
精神保健学	坂村 雄	066701	326
精神保健福祉論Ⅰ	佐藤 光正	066801	326
精神保健福祉論Ⅱ	佐藤 光正	066901	327
精神保健福祉援助技術各論	上野 容子	067001	327
環境心理学	林 久美	073401	328
社会政策	光岡 博美	091001	328
労働法	藤本 茂	098801	329
経済原論	松前 龍宜	117501	330
ソーシャルワーク演習	川上 富雄	067121	331
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	川上 富雄	067141	331
家族とジェンダーの社会学A	松信 ひろみ	058451	332
犯罪と逸脱の社会学A	岡邊 健	058711	332
犯罪と逸脱の社会学B	岡邊 健	058721	333
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	荒井 浩道 伊藤 秀一 東條 光雅 長尾 譲治	067241・067251・ 067271・067281	334
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	桐原 宏行	067261	335
社会福祉援助技術現場実習Ⅲ	長尾 譲治 荒井 浩道 伊藤 秀一 川上 富雄 桐原 宏行 東條 光雅	067621	335
社会福祉援助技術演習Ⅰ	荒井 浩道 長尾 譲治 村田 一昭 讃岐 真佐子 川上 富雄	067641・067651・ 067661・067671・ 067681	336
社会福祉援助技術演習Ⅱ	荒井 浩道 長尾 譲治 村田 一昭 讃岐 真佐子 川上 富雄	068041・068051・ 068061・068071・ 068081	336
精神科リハビリテーション学	城田 晴夫	068501	337

社会学科 社会福祉学専攻

科目名	担当者名	履修コード	ページ
精神保健福祉援助演習	佐藤 光正	068601	337
精神保健福祉援助実習	佐藤 光正	068701	338
国際社会福祉論	休講	064001	
外書講読	休講	066001	
家族とジェンダーの社会学B	休講	058461	

(7) 心理学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学概論	間島 英俊	070901	341
心理統計学	宇佐美 慧	071001	341
コンピュータ実習	大塚 秀治 佐藤 理晴	071101・071201・ 071301	342
心理学基礎実験	佐藤 理晴 加藤 博已 中村 道子 堀内 正彦	071401・071501・ 071601	343
心理学研究法	小野 浩一	071701	344
禅心理学	茅原 正	071801	345
演習	茨木 博子	075901	345
演習	茅原 正	076001	346
演習	永田 陽子	076201	346
演習	小野 浩一	076301	346
演習	谷口 泰富	076401	347
演習	間島 英俊	076501	347
演習	八巻 秀	076601	347
演習	有光 興記	076611	348
演習	鈴木 常元	076621	348
人格心理学	鈴木 常元	071901	349
学習心理学	小野 浩一	072001	350
社会心理学	有光 興記	072101	351
臨床心理学	八巻 秀	072201	351
生理心理学	谷口 泰富	072301	351
認知心理学	永田 陽子	072401	352
発達心理学	間島 英俊	072501	352
心理学実験演習Ⅰ	小室 央允	072601	353
心理学実験演習Ⅱ	深堀 友覚	072701	353
心理学実験演習Ⅲ	中澤 世都子 久保 尚也	072801	353
心理学実験演習Ⅳ	佐藤 理晴	072901	354
心理学実験演習Ⅴ	桑原 正修	073001	354
心理学実験演習Ⅵ	軽部 幸浩	073101	355
心理学実験演習Ⅶ	間島 英俊	073201	356
行政法	鶏徳 啓登	058501	356
民法	大宮 隆	058551	357
障害者福祉論	桐原 宏行	065421	357
老人福祉論	東條 光雅	065521	358
児童福祉論	村田 一昭	065621	359
労働法	藤本 茂	098801	360
経済原論	松前 龍宜	117501	361
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	362
マス・コミュニケーション論A	深澤 弘樹	058411	362
家族とジェンダーの社会学A	松信 ひろみ	058451	363
宗教文化論A	芳賀 学	058641	363
宗教文化論B	芳賀 学	058651	364
犯罪と逸脱の社会学A	岡邊 健	058711	364
犯罪と逸脱の社会学B	岡邊 健	058721	365

心理学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
環境心理学	林 久美	073401	365
児童心理学	澤田 匡人	073501	366
産業心理学	大谷 華	073601	366
老年心理学	植田 恵	073701	367
宗教心理学	葛西 賢太	073801	368
健康心理学	稲松 信雄	073901	368
比較行動学	入江 尚子	074001	369
精神医学	吉川 麻衣子	074101	369
心理学特講Ⅰ	澤田 匡人	074201	370
心理学特講Ⅱ	坂入 洋石 中塚 健太郎 谷木 龍男	074301	370
心理学特講Ⅲ	萩原 滋	074401	371
心理検査法Ⅰ	丸茂 ひろみ 佐藤 尚代	074501	371
心理検査法Ⅱ	稲富 正治 中澤 世都子	074601	372
カウンセリング	茨木 博子	074701	372
情報処理Ⅰ	久保 尚也	074801	373
情報処理Ⅱ	軽部 幸浩	074901	374
宗教人類学	佐藤 憲昭	075001	375
心理学特殊演習	茨木 博子	075101	375
心理学特殊演習	茅原 正	075201	376
心理学特殊演習	永田 陽子	075401	376
心理学特殊演習	小野 浩一	075501	376
心理学特殊演習	谷口 泰富	075601	377
心理学特殊演習	間島 英俊	075701	377
心理学特殊演習	有光 興記	075811	377
心理学特殊演習	鈴木 常元	075821	378
心理学特殊演習	八巻 秀	075831	378
心理学実験演習Ⅶ	休講	073301	
心理学実験演習Ⅷ	休講	073311	
雇用と労働の社会学	休講	058381	
マス・コミュニケーション論B	休講	058421	
家族とジェンダーの社会学B	休講	058461	

3. 経済学部

(1) 経済学科

経済学科フレックスA

商学科

現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経済学概説	鄭 章淵	089201	381
経済学概説	友松 憲彦	089301	382
経済学概説	福原 好喜	089401	383
経済学基礎 経済学概説	森田 成也	089511・089512	383
経済理論A・資本の原理 経済理論ⅠA・資本の原理	有井 行夫	089701・089702	384
経済理論A・資本の原理 経済理論ⅠA・資本の原理	阿部 弘	089801・089802	385
ミクロ経済学 経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	畠中 貴	090101・090102	386
ミクロ経済学 経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	松井 柳平	090201・090202	387
マクロ経済学 経済理論Ⅱ・マクロ経済学	荒木 勝啓	090301・090302	388
マクロ経済学 経済理論Ⅱ・マクロ経済学	浅野 克巳	090401・090402	389
流通論基礎 商学総論	大吹 勝男	091311・091312	390
経営学基礎 経営学総論	松田 健	091411・091412	391
会計学基礎 会計学総論	北口 りえ	091511・091512	392
経済学史	福原 好喜	090501	393
経済史	安元 稔	090601	394
経済政策	飯田 泰之	090701	395
財政学	野村 容康	090801	395
金融論	代田 純	090901	396
社会政策	光岡 博美	091001	396
日本経済論	貝塚 亨	091101	397
国際経済論	徳永 俊明	091201	397
経営管理論	岩波 文孝	091901	398
労務管理論	堀 龍二	092001	399
社会経済学 a	阿部 弘	097211	400
社会経済学 b	阿部 弘	097221	401
企業経済学 a	飯田 泰之	097231	402
企業経済学 b	飯田 泰之	097241	402
地域経済論 a	長山 宗広	097251	403
地域経済論 b	長山 宗広	097261	403
現代企業論 a	松田 健	099331	404
現代企業論 b	松田 健	099341	405
企業経営学 a	名取 修一	099991	405
企業経営学 b	名取 修一	099981	406
企業管理論 a 経営管理論 a	岩波 文孝	091911・091912	406
企業管理論 b 経営管理論 b	岩波 文孝	091921・091922	407
非営利組織論 a	松本 典子	097071	407

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
非営利組織論 b	松本 典子	097081	408
ゲーム理論 a	館 健太郎	097271	408
ゲーム理論 b	館 健太郎	097281	409
公共経済学 a	鈴木 伸枝	099111	409
公共経済学 b	鈴木 伸枝	099121	410
現代産業論 a	北嶋 守	100611	411
現代産業論 b	北嶋 守	100621	411
産業組織論 a	館 健太郎	100631	412
産業組織論 b	館 健太郎	100641	412
簿記論	福島 隆	092101	413
簿記論	渡邊 智	092201	413
簿記論	小栗 崇資	092301	414
企業論基礎	劉 永鷗	092411	414
ファイナンス基礎	須藤 時仁	092421	415
情報入門 I	谷口 裕子	095411	415
情報入門 I	井川 俊実	095421	416
情報入門 I	山邊 茂之	095451	417
情報入門 II	谷口 裕子	095431	418
情報入門 II	井川 俊実	095441	419
情報入門 II	山邊 茂之	095461	419
基礎情報処理 I	相浦 宣徳 谷口 裕子	095901・095911・ 095921	420
基礎情報処理 II	相浦 宣徳 谷口 裕子	096001・096011・ 096021	421
基礎ゼミ	勝田 佳裕 小西 宏美 吉田 真広	101211・101221・ 101231・101241・ 101251・101261	422
基礎ゼミ	館 健太郎 山下 裕介 松本 典子	101271・101281・ 101291・101311	423
キャリア・デザイン	竹下 睿驥	099291	423
経済理論 B・経済システムの原理 経済理論 I B・経済システムの原理	大石 雄爾	090001・090002	424
会計学総論	福島 隆	091601	424
上級簿記	福島 隆	092311	425
経済数学	池田 宏	092501	425
演習 I	溝手 芳計	101301	426
演習 I	森田 佳宏	101401	426
演習 I	小西 宏美	101411	426
演習 I	館 健太郎	101421	427
演習 I	長山 宗広	101431	427
演習 I	松田 健	101441	428
演習 I	松本 典子	101451	429
演習 I	村松 幹二	101461	429
演習 I	番場 博之	101481	430
演習 I	鈴木 伸枝	101501	430
演習 I	大吹 勝男	101601	430
演習 I	代田 純	101701	431
演習 I	石川 祐二	101801	431
演習 I	浅野 克巳	101901	431

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習 I	阿部 弘	102001	432
演習 I	岩波 文孝	102101	432
演習 I	大石 雄爾	102201	432
演習 I	谷敷 正光	102301	433
演習 I	有井 行夫	102401	433
演習 I	中濟 光昭	102501	434
演習 I	清水 卓	102601	434
演習 I	瀬戸岡 紘	102801	435
演習 I	光岡 博美	103001	435
演習 I	徳永 俊明	103101	435
演習 I	矢野 浩一	103201	436
演習 I	吉田 敬一	103401	436
演習 I	荒木 勝啓	103501	437
演習 I	曾我 信孝	103601	437
演習 I	百田 義治	103701	437
演習 I	小栗 崇資	103801	438
演習 I	姉齒 暁	103901	439
演習 I	小杉 修二	104001	440
演習 I	松井 柳平	104201	441
演習 I	北口 りえ	104301	441
演習 I	飯田 泰之	104401	442
演習 I	石川 純治	104601	442
演習 I	友松 憲彦	104701	443
演習 I	鄭 章淵	104801	443
演習 I	吉田 真広	105001	444
演習 I	堀 龍二	105101	444
演習 I	渡邊 恵一	105201	445
行政法	鷄徳 啓登	058501	445
商業政策	番場 博之	091701	446
マーケティング	曾我 信孝	091801	446
人的資源管理論 a	堀 龍二	092011	447
人的資源管理論 b	堀 龍二	092021	447
財務会計論	小栗 崇資	092401	448
応用ミクロ経済学	荒木 勝啓	092611	449
応用マクロ経済学	矢野 浩一	092711	451
計量経済学	田中 正光	092801	451
統計原論	矢野 浩一	092901	452
景気循環論	野村 信廣	093001	452
現代資本主義論	森田 成也	093101	453
市民と経済学 a 社会思想史 a	阿部 弘	093211・093212	454
市民と経済学 b 社会思想史 b	阿部 弘	093221・093222	455
日本経済史	渡邊 恵一	093301	456
西洋経済史	友松 憲彦	093401	457
農業政策	溝手 芳計	093501	458
工業政策	奥山 雅之	093601	459
経済地理	矢延 洋泰	093701	459
中小企業論	吉田 敬一	093811	460
中小企業政策論	吉田 敬一	093821	460
福祉経済論	齋藤 雅元	093831	461
医療経済論	河野 敏鑑	093841	461

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
地方財政論	篠原 章	094101	462
国際金融論	吉田 真広	094201	463
人口論	森岡 仁	094301	463
教育経済論	谷敷 正光	094401	464
アジア経済論	鄭 章淵	094601	465
中国経済論	小杉 修二	094701	466
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	467
E U統合論	清水 卓	095001	467
現代西欧経済論	清水 卓	095101	468
契約理論	村松 幹二	095311	468
情報の経済学	村松 幹二	095321	469
プログラミング論	濱本 和彦	095401	470
コンピュータ会計Ⅰ	鈴木 勝浩	095501	471
コンピュータ会計Ⅱ	鈴木 勝浩	095601	472
経営情報システム論Ⅰ	中済 光昭	095701	473
経営情報システム論Ⅱ	中済 光昭	095801	474
ネットワーク組織論 a	梅木 眞	095811	475
ネットワーク組織論 b	梅木 眞	095821	475
グローバル・ビジネス論 a	日高 克平	095831	476
グローバル・ビジネス論 b	日高 克平	095841	476
応用情報処理Ⅰ	井川 俊実	096101	477
応用情報処理Ⅱ	井川 俊実	096201	477
商業史	幸野 保典	096501	478
消費経済論	姉齒 暁	096601	479
企業戦略論 a 経営戦略論 a	田淵 泰男	096711・096712	480
企業戦略論 b 経営戦略論 b	田淵 泰男	096721・096722	480
ファイナンス論 a 財務管理 a	坂本 恒夫	096811・096812	481
ファイナンス論 b 財務管理 b	坂本 恒夫	096821・096822	481
経営学史	小阪 隆秀	096901	482
ビジネスの歴史 (日本)	宇田 理	096911	482
ビジネスの歴史 (欧米)	宇田 理	096921	483
会計監査論	森田 佳宏	097001	483
ボランティア経済 a	鈴木 岳	097011	484
ボランティア経済 b	鈴木 岳	097021	484
ベンチャー論	長山 宗広	097031	485
起業論	長山 宗広	097041	486
コミュニティ・ビジネス論	山口 浩平	097051	486
協同組合論	山口 浩平	097061	487
管理会計論 a	石川 祐二	097111	487
管理会計論 b	石川 祐二	097121	487
ビジネス英会話 a	井上 愛子	097141	488
ビジネス英会話 b	井上 愛子	097151	488
ビジネス事例研究	百田 義治	097161	489
トップ・マネジメント講座	百田 義治	097171	489
原価計算論	鈴木 勝浩	097201	490
会計情報論	石川 純治	097301	491
税務会計論	北口 りえ	097401	492
経営分析	渡邊 智	097501	492
貿易論	吉田 真広	097601	493
グローバル・ファイナンス	小西 宏美	098011	494

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
企業倫理	桑山 三恵子	098161	495
企業社会責任論	桑山 三恵子	098171	495
法と経済学	村松 幹二	098181	496
制度の経済学	村松 幹二	098191	496
憲法	金子 勝	098201	497
民法一部	竹中 智香	098301	497
民法二部	織田 晃子	098401	498
商法一部	川口 幸美	098501	498
商法二部	中濱 義章	098601	499
経済法	若林 亜理砂	098701	499
労働法	藤本 茂	098801	500
国際法	橋本 靖明	099001	501
企業統治論 a	水村 典弘	099181	501
企業統治論 b	水村 典弘	099191	502
流通経済論	大吹 勝男	099211	502
経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕 外国書講読Ⅱa〔英語〕	鈴木 伸枝	099811・099812・099813・099814	502
経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕 外国書講読Ⅱb〔英語〕	鈴木 伸枝	099821・099822・099823・099824	503
経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕 外国書講読Ⅱa〔英語〕	松本 典子	099831・099832・099833・099834	503
経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕 外国書講読Ⅱb〔英語〕	松本 典子	099841・099842・099843・099844	503
経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕 外国書講読Ⅱa〔英語〕	安元 稔	099911・099912・099913・099914	504
経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕 外国書講読Ⅱb〔英語〕	安元 稔	099921・099922・099923・099924	505
経済外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕 経済外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕	代田 純	099931・099932・099933・099934	505
経済外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕 経済外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕	代田 純	099941・099942・099943・099944	506
経済外国書講読Ⅰa〔フランス語〕 外国書講読Ⅰa〔フランス語〕 経済外国書講読Ⅱa〔フランス語〕 外国書講読Ⅱa〔フランス語〕	清水 卓	100011・100012・100013・100014	506
経済外国書講読Ⅰb〔フランス語〕 外国書講読Ⅰb〔フランス語〕 経済外国書講読Ⅱb〔フランス語〕 外国書講読Ⅱb〔フランス語〕	清水 卓	100021・100022・100023・100024	506
経済外国書講読Ⅰa〔中国語〕 外国書講読Ⅰa〔中国語〕 経済外国書講読Ⅱa〔中国語〕 外国書講読Ⅱa〔中国語〕	小杉 修二	100131・100132・100133・100134	507
経済外国書講読Ⅰb〔中国語〕 外国書講読Ⅰb〔中国語〕 経済外国書講読Ⅱb〔中国語〕 外国書講読Ⅱb〔中国語〕	小杉 修二	100161・100162・100163・100164	507
経済外国書講読Ⅰa〔朝鮮語〕 外国書講読Ⅰa〔朝鮮語〕 経済外国書講読Ⅱa〔朝鮮語〕 外国書講読Ⅱa〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100151・100152・100153・100154	507
経済外国書講読Ⅰb〔朝鮮語〕 外国書講読Ⅰb〔朝鮮語〕 経済外国書講読Ⅱb〔朝鮮語〕 外国書講読Ⅱb〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100181・100182・100183・100184	508
貿易実務	荒畑 治雄	100311	508
通関実務	荒畑 治雄	100321	509
税法Ⅰ	奥村 正郎	100451	510
税法Ⅱ	奥村 正郎	100461	510
会計資格特別演習	鈴木 勝浩	100511	511
教員試験特別演習	谷敷 正光	100551	512
現代経済事情Ⅰ〔現代の就職事情〕	川村 稔	100601	513

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
現代経済事情Ⅱ〔子育て市民事業の現状〕	市川 望美	100701	514
現代経済事情Ⅲ〔韓・台・中企業の成長と日本産業〕	浅海 信行	100801	515
現代経済事情Ⅳ〔ユニバーサルデザイン〕	安藤 千賀	100901	515
現代産業事情Ⅰ	代田 純	101001	516
現代産業事情Ⅲ	江夏 あかね	101201	517
ビジネス・インターンシップ a	小栗 崇資 姉齒 暁	099311	518
ビジネス・インターンシップ b	小栗 崇資 姉齒 暁	099321	518
ビジネス・インターンシップ a	溝手 芳計 光岡 博美	100951	519
演習Ⅱ	溝手 芳計	105301	519
演習Ⅱ	舘 健太郎	105311	520
演習Ⅱ	松田 健	105321	520
演習Ⅱ	松本 典子	105331	521
演習Ⅱ	村松 幹二	105341	521
演習Ⅱ	番場 博之	105361	521
演習Ⅱ	森田 佳宏	105401	522
演習Ⅱ	鈴木 伸枝	105501	522
演習Ⅱ	中濟 光昭	105601	523
演習Ⅱ	代田 純	105701	523
演習Ⅱ	岩波 文孝	105801	524
演習Ⅱ	石川 祐二	105901	524
演習Ⅱ	浅野 克巳	106001	525
演習Ⅱ	阿部 弘	106101	525
演習Ⅱ	大石 雄爾	106201	525
演習Ⅱ	谷敷 正光	106301	526
演習Ⅱ	有井 行夫	106401	526
演習Ⅱ	大吹 勝男	106501	527
演習Ⅱ	清水 卓	106601	527
演習Ⅱ	北口 りえ	106701	527
演習Ⅱ	森岡 仁	106901	528
演習Ⅱ	瀬戸岡 紘	107001	528
演習Ⅱ	工藤 芽衣	107101	529
演習Ⅱ	光岡 博美	107201	529
演習Ⅱ	吉田 真広	107301	529
演習Ⅱ	徳永 俊明	107401	530
演習Ⅱ	矢野 浩一	107501	530
演習Ⅱ	勝田 佳裕	107601	530
演習Ⅱ	吉田 敬一	107701	531
演習Ⅱ	荒木 勝啓	107801	531
演習Ⅱ	曾我 信孝	107901	531
演習Ⅱ	百田 義治	108001	532
演習Ⅱ	姉齒 暁	108101	533
演習Ⅱ	小杉 修二	108201	534
演習Ⅱ	飯田 泰之	108301	534
演習Ⅱ	小西 宏美	108501	535
演習Ⅱ	渡邊 恵一	108601	535
演習Ⅱ	友松 憲彦	108701	535
演習Ⅱ	鄭 章淵	108801	536

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習Ⅱ	小栗 崇資	109001	536
演習Ⅱ	堀 龍二	109101	537
演習Ⅱ	長山 宗広	109201	537
演習Ⅱ	石川 純治	109211	538
演習Ⅱ	松井 柳平	109221	538
ビジネス・インターンシップb	村松 幹二	112931	538
ビジネス・インターンシップb	小西 宏美	112941	539
ビジネス・インターンシップb	渡邊 恵一	112951	539
ビジネス・インターンシップb	小栗 崇資	112961	539
ビジネス・インターンシップb	工藤 芽衣	112971	539
ビジネス・インターンシップb	吉田 真広	112981	540
ビジネス・インターンシップb	矢野 浩一	112991	540
ビジネス・インターンシップb	石川 純治	113011	540
ビジネス・インターンシップb	石川 祐二	113021	540
ビジネス・インターンシップb	岩波 文孝	113031	541
ビジネス・インターンシップb	松本 典子	113041	541
ビジネス・インターンシップb	勝田 佳裕	113051	541
ビジネス・インターンシップb	清水 卓	113061	542
ビジネス・インターンシップb	代田 純	113071	542
ビジネス・インターンシップb	瀬戸岡 紘	113081	542
ビジネス・インターンシップb	百田 義治	113091	543
ビジネス・インターンシップb	姉齒 暁	113111	543
ビジネス・インターンシップb	光岡 博美	113121	543
ビジネス・インターンシップb	谷敷 正光	113131	544
ビジネス・インターンシップb	吉田 敬一	113141	545
ビジネス・インターンシップb	大石 雄爾	113151	545
ビジネス・インターンシップb	中濟 光昭	113161	545
ビジネス・インターンシップb	阿部 弘	113171	546
ビジネス・インターンシップb	北口 りえ	113181	546
ビジネス・インターンシップb	溝手 芳計	113191	546
演習Ⅲ 卒業研究	有井 行夫	109291・109292	547
演習Ⅲ 卒業研究	溝手 芳計	109301・109302	547
演習Ⅲ 卒業研究	森田 佳宏	109401・109402	547
演習Ⅲ 卒業研究	姉齒 暁	109411・109412	548
演習Ⅲ 卒業研究	北口 りえ	109421・109422	548
演習Ⅲ 卒業研究	小西 宏美	109431・109432	548
演習Ⅲ 卒業研究	館 健太郎	109441・109442	549
演習Ⅲ 卒業研究	長山 宗広	109451・109452	549
演習Ⅲ 卒業研究	松田 健	109461・109462	550
演習Ⅲ 卒業研究	松本 典子	109471・109472	550
演習Ⅲ 卒業研究	村松 幹二	109481・109482	551
演習Ⅲ 卒業研究	代田 純	109501・109502	551
演習Ⅲ 卒業研究	吉田 敬一	109601・109602	551
演習Ⅲ 卒業研究	石川 祐二	109701・109702	551
演習Ⅲ 卒業研究	飯田 泰之	109801・109802	552
演習Ⅲ 卒業研究	浅野 克巳	109901・109902	552
演習Ⅲ 卒業研究	岩波 文孝	110001・110002	553
演習Ⅲ 卒業研究	大石 雄爾	110101・110102	553
演習Ⅲ 卒業研究	谷敷 正光	110201・110202	554
演習Ⅲ 卒業研究	大吹 勝男	110401・110402	554

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習Ⅲ 卒業研究	清水 卓	110501・110502	554
演習Ⅲ 卒業研究	鈴木 伸枝	110601・110602	554
演習Ⅲ 卒業研究	森岡 仁	110801・110802	555
演習Ⅲ 卒業研究	瀬戸岡 紘	110901・110902	555
演習Ⅲ 卒業研究	工藤 芽衣	111001・111002	555
演習Ⅲ 卒業研究	曾我 信孝	111101・111102	555
演習Ⅲ 卒業研究	徳永 俊明	111301・111302	556
演習Ⅲ 卒業研究	光岡 博美	111401・111402	556
演習Ⅲ 卒業研究	勝田 住裕	111501・111502	556
演習Ⅲ 卒業研究	石川 純治	111601・111602	556
演習Ⅲ 卒業研究	荒木 勝啓	111701・111702	557
演習Ⅲ 卒業研究	曾我 信孝	111801・111802	557
演習Ⅲ 卒業研究	百田 義治	111901・111902	557
演習Ⅲ 卒業研究	小杉 修二	112001・112002	558
演習Ⅲ 卒業研究	番場 博之	112101・112102	558
演習Ⅲ 卒業研究	福原 好喜	112201・112202	559
演習Ⅲ 卒業研究	安元 稔	112301・112302	559
演習Ⅲ 卒業研究	渡邊 恵一	112401・112402	559
演習Ⅲ 卒業研究	中濟 光昭	112501・112502	560
演習Ⅲ 卒業研究	友松 憲彦	112601・112602	560
演習Ⅲ 卒業研究	鄭 章淵	112801・112802	560
演習Ⅲ 卒業研究	貝塚 亨	112901・112902	561
演習Ⅲ 卒業研究	堀 龍二	113001・113002	561
演習Ⅲ 卒業研究	松井 柳平	113101・113102	561
演習Ⅲ 卒業研究	阿部 弘	113201・113202	561
会計プロフェッショナルクラスⅠ(会計士) 会計プロフェッショナルクラスⅠ(税理士)	寺坪 修 石川 純治 石川 祐二 小栗 崇資 北口 りえ 森田 佳宏	100251・100252	562
会計プロフェッショナルクラスⅡ(会計士) 会計プロフェッショナルクラスⅡ(税理士)	寺坪 修 石川 純治 石川 祐二 小栗 崇資 北口 りえ 森田 佳宏	100261・100262	563
会計プロフェッショナルクラスⅢ(会計士) 会計プロフェッショナルクラスⅢ(税理士)	寺坪 修 石川 純治 石川 祐二 小栗 崇資 北口 りえ 森田 佳宏	100271・100272	564
ITプロフェッショナルクラスⅠ	中濟 光昭	101151	565
ITプロフェッショナルクラスⅡ ITプロフェッショナルクラスⅢ 卒業研究	寺尾 創 中濟 光昭	101171・101172・ 101173	566
情報・経済ネットワーク論	休講	095301	
環境経済論	休講	093901	
労働経済論	休講	094501	
ロシア・東欧経済論	休講	095201	

経済学科 経済学科フレックスA 商学科 現代応用経済学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
商品学	休講	096301	/
交通政策	休講	096402	/
交通論	休講	096401	/
銀行システム論	休講	097801	/
現代銀行事情	休講	097901	/
証券市場論	休講	098001	/
保険論	休講	098101	/
ロジスティックス	休講	099241	/
経済外国書講読Ⅰa〔ロシア語〕	休講	100141	/
経済外国書講読Ⅱa〔ロシア語〕	休講	100143	/
外国書講読Ⅰa〔ロシア語〕	休講	100142	/
外国書講読Ⅱa〔ロシア語〕	休講	100144	/
経済外国書講読Ⅰb〔ロシア語〕	休講	100171	/
経済外国書講読Ⅱb〔ロシア語〕	休講	100173	/
外国書講読Ⅰb〔ロシア語〕	休講	100172	/
外国書講読Ⅱb〔ロシア語〕	休講	100174	/
現代産業事情Ⅱ	休講	101101	/

(2) 経済学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経済理論 I A・資本の原理	大石 雄爾	306701	569
経済理論 I B・経済システムの原理	有井 行夫	306801	569
経済理論 II・ミクロ経済学	松井 柳平	306901	570
経済理論 II・マクロ経済学	浅野 克巳	307001	571
経済史	安元 稔	307301	572
西洋経済史	友松 憲彦	093401・307401	573
商学総論	大吹 勝男	307501	574
企業経営学 a	名取 修一	307611	574
企業経営学 b	名取 修一	307621	575
民法一部	織田 晃子	307801	575
日本経済史	渡邊 恵一	308201	576
経済学史	福原 好喜	308301	576
金融論	代田 純	308601	577
商法一部	井上 健一	308801	577
国際経済論	徳永 俊明	308901	578
農業政策	溝手 芳計	309101	578
応用マクロ経済学	矢野 浩一	309511	579
中国経済論	小杉 修二	094701・309901	580
アジア経済論	鄭 章淵	094601・310001	581
E U統合論	清水 卓	310111	581
現代西欧経済論	清水 卓	095101・310121	582
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801・310201	582
国際金融論	吉田 真広	311001	583
中小企業論	吉田 敬一	311311	583
中小企業政策論	吉田 敬一	311401	584
応用ミクロ経済学	荒木 勝啓	092611・311411	585
人口論	森岡 仁	094301・311701	587
社会政策	光岡 博美	311801	587
情報・経済ネットワーク論	中濟 光昭	311901	588
社会思想史 a	阿部 弘	312611	589
社会思想史 b	阿部 弘	312621	590
公共経済学 a	鈴木 伸枝	313511	591
公共経済学 b	鈴木 伸枝	313521	592
国際法	王 志安	323401	593
行政法	塩入 みほも	323601	594
商法二部	中濱 義章	324902	595
民法二部	中田 英幸	325002	596
労働法	藤本 茂	325101	597
経済法	東出 浩一	325201	598
社会保障法	原田 啓一郎	325301	598
商法総則・商行為法	水島 治	325501	599
保険・海商法	井上 健一	326501	600
管理会計論 a	石川 祐二	097111・308111	600
管理会計論 b	石川 祐二	097121・308121	600
商業政策	番場 博之	309301	601
会計情報論	石川 純治	309411	601
交通政策	金 兌奎	309701	602
会計監査論	森田 佳宏	097001・310501	602

経済学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
証券市場論	広田 真人	310701	603
マーケティング	曾我 信孝	311101	603
人的資源管理論 a	堀 龍二	092011・312211	604
人的資源管理論 b	堀 龍二	092021・312221	604
消費経済論	姉齒 暁	313101	605
グローバル・ファイナンス	小西 宏美	098011・313911	606
非営利組織論 a	松本 典子	314371	606
非営利組織論 b	松本 典子	314381	607
現代企業論 a	松田 健	314391	608
現代企業論 b	松田 健	314411	609
経営戦略論 a	田淵 泰男	330011	610
経営戦略論 b	田淵 泰男	330021	610
経営管理論 a	岩波 文孝	330111	611
経営管理論 b	岩波 文孝	330121	611
税務会計論	北口 りえ	097401・330151	612
税務会計論	高木 克己	332301	612
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	瀬戸岡 紘	318701・318702・ 318703	613
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	阿部 弘	319001・319002・ 319003	613
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	岩波 文孝	320911・320912・ 320913	614
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	番場 博之	321201・321202・ 321203	614
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	堀 龍二	321241・321242・ 321243	614
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	村松 幹二	317201・317202・ 317203	615
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	舘 健太郎	317901・317902・ 317903	615
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	吉田 敬一	318201・318202・ 318203	615
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	飯田 泰之	319201・319202・ 319203	616
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	長山 宗広	319301・319302・ 319303	616
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	松本 典子	319901・319902・ 319903	616
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	鈴木 伸枝	320921・320922・ 320923	617
演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究	松田 健	321261・321262・ 321263	617
経済学概説	森田 成也	089512	618
キャリア・デザイン	竹下 睿騏	099291	618
行政法	鶏徳 啓登	058501	619
経済理論ⅠB・経済システムの原理	大石 雄爾	090002	619
商学総論	大吹 勝男	091312	620
会計学総論	福島 隆	091601	620
企業論基礎	劉 永鵬	092411	621
ファイナンス基礎	須藤 時仁	092421	621

経済学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ	
経済数学	池田 宏	092501	622	
応用マクロ経済学	矢野 浩一	092711	622	
計量経済学	田中 正光	092801	623	
統計原論	矢野 浩一	092901	623	
景気循環論	野村 信廣	093001	624	
現代資本主義論	森田 成也	093101	624	
社会思想史 a	阿部 弘	093212	625	
社会思想史 b	阿部 弘	093222	626	
日本経済史	渡邊 恵一	093301	627	
農業政策	溝手 芳計	093501	627	
工業政策	奥山 雅之	093601	628	
経済地理	矢延 洋泰	093701	628	
中小企業論	吉田 敬一	093811	629	
中小企業政策論	吉田 敬一	093821	629	
地方財政論	篠原 章	094101	630	
国際金融論	吉田 真広	094201	631	
教育経済論	谷敷 正光	094401	632	
E U統合論	清水 卓	095001	633	
プログラミング論	濱本 和彦	095401	633	
応用情報処理 I	井川 俊実	096101	634	
応用情報処理 II	井川 俊実	096201	634	
憲法	金子 勝	098201	635	
民法一部	竹中 智香	098301	635	
民法二部	織田 晃子	098401	636	
商法一部	川口 幸美	098501	636	
商法二部	中濱 義章	098601	637	
経済法	若林 亜理砂	098701	637	
労働法	藤本 茂	098801	638	
国際法	橋本 靖明	099001	639	
経済外国書講読 I a [英語]	経済外国書講読 II a [英語]	鈴木 伸枝	099811・099813	639
経済外国書講読 I b [英語]	経済外国書講読 II b [英語]	鈴木 伸枝	099821・099823	639
経済外国書講読 I a [英語]	経済外国書講読 II a [英語]	松本 典子	099831・099833	640
経済外国書講読 I b [英語]	経済外国書講読 II b [英語]	松本 典子	099841・099843	640
経済外国書講読 I a [英語]	経済外国書講読 II a [英語]	安元 稔	099911・099913	641
経済外国書講読 I b [英語]	経済外国書講読 II b [英語]	安元 稔	099921・099923	642
経済外国書講読 I a [ドイツ語]	経済外国書講読 II a [ドイツ語]	代田 純	099931・099933	642
経済外国書講読 I b [ドイツ語]	経済外国書講読 II b [ドイツ語]	代田 純	099941・099943	643
経済外国書講読 I a [フランス語]	経済外国書講読 II a [フランス語]	清水 卓	100011・100013	643
経済外国書講読 I b [フランス語]	経済外国書講読 II b [フランス語]	清水 卓	100021・100023	643
経済外国書講読 I a [中国語]	経済外国書講読 II a [中国語]	小杉 修二	100131・100133	644
経済外国書講読 I b [中国語]	経済外国書講読 II b [中国語]	小杉 修二	100161・100163	644
経済外国書講読 I a [朝鮮語]	経済外国書講読 II a [朝鮮語]	鄭 章淵	100151・100153	644
経済外国書講読 I b [朝鮮語]	経済外国書講読 II b [朝鮮語]	鄭 章淵	100181・100183	644
貿易実務	荒畑 治雄	100311	645	
通関実務	荒畑 治雄	100321	646	
税法 I	奥村 正郎	100451	647	
税法 II	奥村 正郎	100461	647	
会計資格特別演習	鈴木 勝浩	100511	648	

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教員試験特別演習	谷敷 正光	100551	649
現代経済事情Ⅰ〔現代の就職事情〕	川村 稔	100601	650
現代経済事情Ⅱ〔子育て市民事業の現状〕	市川 望美	100701	651
現代経済事情Ⅲ〔韓・台・中企業の成長と日本産業〕	浅海 信行	100801	652
現代経済事情Ⅳ〔ユニバーサルデザイン〕	安藤 千賀	100901	652
現代産業事情Ⅰ	代田 純	101001	653
商業政策	番場 博之	091701	654
マーケティング	曾我 信孝	091801	654
上級簿記	福島 隆	092311	655
財務会計論	小栗 崇資	092401	655
福祉経済論	齋藤 雅元	093831	656
医療経済論	河野 敏鑑	093841	656
契約理論	村松 幹二	095311	656
情報の経済学	村松 幹二	095321	657
コンピュータ会計Ⅰ	鈴木 勝浩	095501	658
コンピュータ会計Ⅱ	鈴木 勝浩	095601	659
経営情報システム論Ⅰ	中濟 光昭	095701	660
経営情報システム論Ⅱ	中濟 光昭	095801	661
ネットワーク組織論 a	梅木 眞	095811	662
ネットワーク組織論 b	梅木 眞	095821	662
グローバル・ビジネス論 a	日高 克平	095831	663
グローバル・ビジネス論 b	日高 克平	095841	663
商業史	幸野 保典	096501	664
消費経済論	姉齒 暁	096601	665
経営戦略論 a	田淵 泰男	096712	666
経営戦略論 b	田淵 泰男	096722	666
財務管理 a	坂本 恒夫	096812	667
財務管理 b	坂本 恒夫	096822	667
経営学史	小阪 隆秀	096901	668
ビジネスの歴史（日本）	宇田 理	096911	668
ビジネスの歴史（欧米）	宇田 理	096921	669
ボランティア経済 a	鈴木 岳	097011	669
ボランティア経済 b	鈴木 岳	097021	670
ベンチャー論	長山 宗広	097031	670
起業論	長山 宗広	097041	671
コミュニティ・ビジネス論	山口 浩平	097051	671
協同組合論	山口 浩平	097061	672
ビジネス英会話 a	井上 愛子	097141	672
ビジネス英会話 b	井上 愛子	097151	673
ビジネス事例研究	百田 義治	097161	673
トップ・マネジメント講座	百田 義治	097171	674
原価計算論	鈴木 勝浩	097201	675
会計情報論	石川 純治	097301	676
経営分析	渡邊 智	097501	677
貿易論	吉田 真広	097601	677
企業倫理	桑山 三恵子	098161	678
企業社会責任論	桑山 三恵子	098171	678
法と経済学	村松 幹二	098181	679
制度の経済学	村松 幹二	098191	679
企業統治論 a	水村 典弘	099181	680

経済学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
企業統治論 b	水村 典弘	099191	680
流通経済論	大吹 勝男	099211	681
現代産業事情Ⅲ	江夏 あかね	101201	681
ビジネス・インターンシップ a	溝手 芳計 光岡 博美	100951	682
ビジネス・インターンシップ b	村松 幹二	112931	682
ビジネス・インターンシップ b	小西 宏美	112941	683
ビジネス・インターンシップ b	渡邊 恵一	112951	683
ビジネス・インターンシップ b	小栗 崇資	112961	683
ビジネス・インターンシップ b	工藤 芽衣	112971	683
ビジネス・インターンシップ b	吉田 真広	112981	684
ビジネス・インターンシップ b	矢野 浩一	112991	684
ビジネス・インターンシップ b	石川 純治	113011	684
ビジネス・インターンシップ b	石川 祐二	113021	684
ビジネス・インターンシップ b	岩波 文孝	113031	685
ビジネス・インターンシップ b	松本 典子	113041	685
ビジネス・インターンシップ b	勝田 佳裕	113051	685
ビジネス・インターンシップ b	清水 卓	113061	686
ビジネス・インターンシップ b	代田 純	113071	686
ビジネス・インターンシップ b	瀬戸岡 紘	113081	686
ビジネス・インターンシップ b	百田 義治	113091	687
ビジネス・インターンシップ b	姉齒 暁	113111	687
ビジネス・インターンシップ b	光岡 博美	113121	687
ビジネス・インターンシップ b	谷敷 正光	113131	688
ビジネス・インターンシップ b	吉田 敬一	113141	689
ビジネス・インターンシップ b	大石 雄爾	113151	689
ビジネス・インターンシップ b	中濟 光昭	113161	689
ビジネス・インターンシップ b	阿部 弘	113171	690
ビジネス・インターンシップ b	北口 りえ	113181	690
ビジネス・インターンシップ b	溝手 芳計	113191	690
経済政策	休講	307201	
簿記論	休講	307901	
財政学	休講	308501	
日本経済論	休講	309801	
ロシア・東欧経済論	休講	310301	
労働経済論	休講	310801	
情報処理論	休講	312401	
現代銀行事情	休講	310411	
銀行システム論	休講	310421	
保険論	休講	313201	
商品学	休講	313301	
環境経済論	休講	093901	
経済外国書講読Ⅰ a〔ロシア語〕	休講	100141	
経済外国書講読Ⅰ b〔ロシア語〕	休講	100171	
現代産業事情Ⅱ	休講	101101	
ロジスティックス	休講	099241	
経済外国書講読Ⅱ a〔ロシア語〕	休講	100143	
経済外国書講読Ⅱ b〔ロシア語〕	休講	100173	

專 門 教 育 科 目

1. 仏 教 学 部

履修コード	000101・000102・000103
科目名	仏教学入門 禅学序説 仏教学序説
担当者名	岩永 正晴

講義の到達目標(ねらい) この授業は、仏教および禅の基礎知識を養い、本学部における4年間の修学の導入となるものとして開講されています。釈迦牟尼仏・道元禅師・瑩山禅師の「一仏両祖」の伝記と教えを中心に、インド・中国・日本における禅を概説し、かつその背景として仏教一般の発展について概説します。

講義の内容／授業スケジュール (1) 授業の概要の説明、(2～5) 釈迦牟尼仏の伝記と教え、(6～9) 道元禅師の伝記と教え、(10～13) 瑩山禅師の伝記と教え、(14～18) インドにおける仏教と禅、(19～24) 中国における仏教と禅、(25～30) 日本における仏教と禅

履修上の留意点 必修科目なので安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法 出席点と授業期間中に行う試験(前後期各2回づつの計4回)、及びレポート(2回)によって成績評価を行う。

教科書／テキスト 教科書として特定の書物は用いない。配布資料に基づき授業を進める。

参 考 書 松尾剛次『仏教入門』(岩波書店、岩波ジュニア新書322) 780円
平川彰『仏教通史(新版)』2006年刊(春秋社) 2,940円
柏木弘雄『ぼんブックス 仏教思想史ノート』1995年刊(世界聖典刊行会) 1,470円
松尾剛次『「お坊さん」の日本史』(日本放送出版、生活人新書041) 693円
末木文美土『日本仏教史—思想史としてのアプローチ』(新潮社 新潮文庫す-13-1) 560円
大法輪閣編集部『日本仏教十三宗ここが違う』1998年刊(大法輪閣) 1,890円
大久保良峻『新・八宗綱要—日本仏教諸宗の思想と歴史』2001年刊(法蔵館) 3,570円
柳田聖山『禅思想 中公新書400』(中公論社) 660円
伊吹敦『禅の歴史』2001年刊(法蔵館) 3,990円
石川方山『禅宗小事典』(法蔵館) 2,400円
田中良昭『禅学研究入門〔第二版〕』(大東出版社) 3,600円
田上太秀・石井修道『禅の思想辞典』(東京書籍) 12,000円
その他は授業中に随時紹介します。

履修コード	000201・000202・000203
科目名	仏教学入門 禅学序説 仏教学序説
担当者名	吉津 宜英

講義の到達目標(ねらい) この講義は釈尊と、日本曹洞宗の両祖である道元と瑩山の伝記と思想とを中心に、仏教学の基礎を修得することを目的とします。過去二年間の経験では釈尊から始めますと、インド大乘仏教で終り、中国・韓国・日本の仏教への展開まで進みません。そこで、本年は日本から始めます。そして、中国と韓国に進み、最後に釈尊から大乘への展開を扱います。科目名である仏教学ですが、これは詳しくは近代仏教学とも言われ、明治時代以降の学問の呼称です。江戸時代までは宗門の学問を宗乗と呼び、宗門以外の他の仏教の学問を余乗と称していました。明治になりヨーロッパの近代仏教学がパーリ、サンスクリット、チベットなどによる仏典のテキストと共に日本に新しくもたらされました。現在の日本の仏教学の現状は、漢訳大蔵経を基盤とした伝統的な仏教の研究と、ヨーロッパからの近代仏教学とが混在し、混淆し、融合し、あるいは対立して成り立っています。例えば釈尊の伝記にしても江戸時代までと現代とでは全く異なった成果が出ています。では道元や瑩山の研究と仏教学とはどのような関係にあるのでしょうか。江戸時代の宗乗は現在では宗学として現存しています。また禅学としての扱い、禅宗史としての位置づけ、日本仏教史からの研究等もありますが、仏教学からのアプローチも有り得ます。両祖共に天台教学などを大いに学んだ人でありまして、彼らの著作を見ますと、自分の教学の中に他の教学を位置づけ、また他の教学への批判も存在します。広く仏教学からの両祖研究は必要ですが、あまり遂行されていません。本講義では、仏教学からの両祖の研究に迫ることも眼目の一つです。

講義の内容／授業スケジュール 前期の第1回目は全体的なガイダンスです。続いて日本仏教史概説(2,3回)、特に現代の仏教研究の現況(4回)、世界の仏教研究の現況(5回)、道元伝(6回)、道元の思想(7,8回)、瑩山の伝記(9回)、瑩山の思想(10,11回)、禅学・禅宗史から見た両祖(12,13回)、仏教学から見た両祖(14,15回)等のテーマで講義します。後期は東アジア仏教(1回)、中国仏教史概説(2,3,4回)、天台と華嚴(6,7回)、禅宗と浄土(8,9回)、韓国仏教の特色(10回)、釈尊伝(11,12回)、インド大乘仏教(13,14,15回)等のテーマで講義します。内容的にはこのような順序で、講義を進めますが、回数の延長と短縮は有り得ることを了解して下さい。

準備学習 履修上の留意点 特にありません。
この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書き留め、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと思います。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。何回か課題に対して小論文やレポートの提出を求めます。1月には試験があります。それらを総合的に勘案して成績評価を行います。

教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他 特に使用しません。プリントを配布して、それに準拠して講義を進めます。
講義の中で随時紹介します。
私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。また授業開始時間から30分経過していたら教場に入らないで下さい。

履修コード	000311・000321・000331・000341・000351
科目名	仏教漢文入門
担当者名	須山 長治・石井 公成・吉村 誠

講義の到達目標(ねらい) 著名な仏典や仏教に関わる中国の詩文を読みながら、仏教漢文訓読の基本をマスターします。一般的な漢文の句法を学ぶとともに、仏教漢文特有の表現に慣れ親しむことで、漢訳経典や漢字文化圏(中国・朝鮮・日本・ベトナムほか)の仏教文献を正確に読むための基礎力を養います。

講義の内容／授業スケジュール (前期)(1) 仏典とは何か、(2~7) 漢文の読み方、(8~13) 中国の詩文を読む、(14~15) まとめと復習

(後期)(1) 大乘経典の世界、(2~7) 大乘経典を読む、(8~13) 高僧伝・禅語録等を読む、(14~15) まとめと復習

履修上の留意点 出席励行のこと。
成績評価の方法 平常点と授業中の小テストによる総合評価。

教科書／テキスト ①『仏教漢文入門』。購入方法は最初の授業で指示します。
②漢和辞典(『新字源』『漢辞海』『漢語林』など)を用意すること。電子辞書は不可。
参 考 書 授業中に随時紹介します。

履修コード	001001・001002
科目名	仏教語・禪語解説 禅学研究Ⅱ
担当者名	程 正・奥野 光賢

講義の到達目標(ねらい) どんな分野であれ、研究は山登りに似ているように思われる。予備的知識のないまま、いきなり難しい事柄に飛びついても、さしたる成果は得られないであろう。新入生みなさんの多くは「仏教」や「禅」を学ぶと言っても、果たしてどのような方途によって学んでよいのか困惑しているのではありませんか。この講義は、そうした新入生みなさんにまず「仏教語」や「禅語」に慣れてもらい、これから本格的に「仏教」や「禅」を学ぶ土台を築いて欲しいとの願いから開講されるものである。講義は前期「仏教語」、後期「禅語」に分かって、それぞれ代表的仏教語・禅語の解説を行なう。その際、たんなる解説にとどまることなく、次年次以降みなさん自身が自分で工具書を利用して、仏教語や禅語の意味を調べられるように指導していくつもりである。

講義の内容／授業スケジュール すでに記したように授業は前期「仏教語」(担当奥野光賢)、後期「禅語」(担当程正)の二期に分かって展開する。毎回、3～4語程度の重要な代表的仏教語ないし禅語を取り上げ、解説していく。解説する言葉の選定にあたっては、単なる興味本位ではなく思想史や仏教史(禅宗史)の展開などにも留意しつつ、なるべく関連性をもたせ有機的な講義となるよう配慮するつもりである。

履修上の留意点 前期……仏教語解説……(1) 仏教語について、(2～15) 仏教語解説
後期……禅語解説……(1) インド禅から中国禅宗へ、(2) 禅語について、(3～15) 禅語解説
必ずノートを用意すること。前後期いずれも3分の2以上の出席に満たないものは成績評価の対象にしないので留意すること。

成績評価の方法 前後期それぞれ1回ずつの試験を行ない、その平均点により通年評価とする。点数配分は期末テスト(70点)と出席などの平常点(30点)とする。但し、場合によって点数配分の割合を変更することもあり得る。

教科書／テキスト 初回の授業において説明する。
参 考 書 授業において適宜指示する。

履修コード	001401・001402
科目名	仏教語・禅語解説 仏教研究Ⅱ
担当者名	奥野 光賢・程 正

講義の到達目標(ねらい) どんな分野であれ、研究は山登りに似ているように思われる。予備的知識のないまま、いきなり難しい事柄に飛びついても、さしたる成果は得られないであろう。新入生みなさんの多くは「仏教」や「禅」を学ぶと言っても、果たしてどのような方途によって学んでよいのか困惑しているのではありませんか。この講義は、そうした新入生みなさんにまず「仏教語」や「禅語」に慣れてもらい、これから本格的に「仏教」や「禅」を学ぶ土台を築いて欲しいとの願いから開講されるものである。講義は前期「禅語」、後期「仏教語」に分かって、それぞれ代表的仏教語・禅語の解説を行なう。その際、たんなる解説にとどまることなく、次年次以降みなさん自身が自分で工具書を利用して、仏教語や禅語の意味を調べられるように指導していくつもりである。

講義の内容／授業スケジュール すでに記したように授業は前期「禅語」(担当程正)、後期「仏教語」(担当奥野光賢)の二期に分かって展開する。毎回、3～4語程度の重要な代表的仏教語ないし禅語を取り上げ、解説していく。解説する言葉の選定にあたっては、単なる興味本位ではなく思想史や仏教史(禅宗史)の展開などにも留意しつつ、なるべく関連性をもたせ有機的な講義となるよう配慮するつもりである。

履修上の留意点 前期……禅語解説……(1) インド禅から中国禅宗へ、(2) 禅語について、(3～15) 禅語解説
後期……仏教語解説……(1) 仏教語について、(2～15) 仏教語解説
必ずノートを用意すること。前後期いずれも3分の2以上の出席に満たないものは成績評価の対象にしないので留意すること。

成績評価の方法 前後期それぞれ1回ずつの試験を行ない、その平均点により通年評価とする。点数配分は期末テスト(70点)と出席などの平常点(30点)とする。但し、場合によって点数配分の割合を変更することもあり得る。

教科書／テキスト 初回の授業において説明する。
参 考 書 授業において適宜指示する。

仏教

履修コード	002301
科目名	中国禅宗史
担当者名	石井 修道

講義の到達目標(ねらい)

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正觉③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

教科書の『中国禅宗史話』を利用しながら講義を進めたい。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁以上の数の出席を目安とする。

教科書／テキスト
参 考 書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,675円
石井修道『道元禅師 正法眼藏行持に学ぶ』(禅文化研究所) 2,415円
小川 隆『語録のことば』(禅文化研究所) 2,415円
『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

履修コード	000401
科目名	坐禅Ⅰ
担当者名	角田 泰隆・岩永 正晴

講義の到達目標(ねらい)

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのでなければ、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期(1~15)は『正法眼藏坐禅儀』と『経行軌』について、後期(16~30)は『普勸坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- (1) 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- (2) 時間厳守：始鈴10分前に全員入堂し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- (3) 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- (4) 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け(暑季は白のYシャツ可)、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳肅に勤めること。
- (5) 直堂の当番：直堂を、毎時間2名(前策と後策)ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

(1) 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。

(2) 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

『坐禅講本』(更生社) 2,266円
『坐禅用心記』『普勸坐禅儀不能語』
授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

履修コード	000501
科目名	坐禅Ⅰ
担当者名	永井 政之・晴山 俊英

講義の到達目標(ねらい) 仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのであれば、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容／授業スケジュール 全時間、坐禅実習・経行(きん/ひん)講義を行い、前期は『正法眼蔵坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勸坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点 仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- (1) 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- (2) 時間厳守：始鈴10分前に全員入室し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- (3) 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- (4) 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け(暑季は白のYシャツ可)、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳粛に勤めること。
- (5) 直堂の当番：直堂を、毎時間2名(前策と後策)ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法 (1) 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。

(2) 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書／テキスト 『坐禅講本』(更生社) 2,266円
 参考書 『坐禅用心記』『普勸坐禅儀不能語』
 その他 授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

履修コード	000901・000902
科目名	禅思想概説 禅学研究Ⅰ
担当者名	石井 修道

講義の到達目標(ねらい) この講義は中国禅宗史の知識をふまえて、「禅とは何か」を概観するものである。近年の禅宗史では、敦煌文献や『祖堂集』等の利用によって、従来の初期禅宗史は全面的に書き換えられた。一方で、1000年以上にわたって『景德伝燈録』(1004年成立)等に基づいて、禅の歴史は刻まれてきた。たとえば、禅宗の開祖の達磨と梁の武帝との問答は、禅宗史では歴史的な史実ではないと結論されている。道元禅師はもちろん敦煌文献等を知らない。それでは伝世資料に基づいた禅思想が意味ないかと言うと、先にいうように既に1000年以上の歴史が刻まれているのである。この授業では道元禅師の著である『正法眼蔵行持』を学ぶのに、必要な資料についてしっかりとその性格を把握することから始めたい。その上で、禅宗史の意味するものと、道元の意図するものとを合わせ学ぶことによって、禅思想を学んで行きたい。

講義の内容／授業スケジュール 教科書の『道元禅師 正法眼蔵行持に学ぶ』を利用しながら講義を進めたい。『行持』は、上下2巻でできていて、下巻より先に撰述されたと思われる。下巻は菩提達磨・芙蓉道楷・天童如浄がその中心をしめる。特に芙蓉道楷・天童如浄は、道元禅師の思想を考える上で重要であり、禅宗史では深く学ぶことができないので、時間を費やして学んで行きたい。禅宗史と同じ禅者を扱うに当たっても、原典が示されているので、漢文文献になれることも同時に果たしたい。『行持』には多くの禅者が取り上げられているので、30回では終われないかもしれないが、出来るだけ多くの禅者を取り上げたい。

準備学習 前の年度で中国禅宗史を学んだことになっているので、何度も前年度の教科書を読み返すこと。
 履修上の留意点 教科書の『道元禅師 正法眼蔵行持に学ぶ』を読み、予備知識を付けておく。
 成績評価の方法 夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁以上の数の出席を目安とする。

教科書／テキスト 石井修道『道元禅師 正法眼蔵行持に学ぶ』(禅文化研究所) 2,415円
 参考書 石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,675円
 小川 隆『語録のこぼれ』(禅文化研究所) 2,415円
 『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

仏教

履修コード	001301・001302
科目名	仏教思想概説 仏教研究 I
担当者名	池田 魯参 <small>いけだ らさん</small>

講義の到達目標(ねらい)	中国・日本の仏教の歴史的展開において重要な役割を演じた『妙法蓮華経』の教説思想が他の仏典と比較してどのような点で特色があるのか理解を深める。合わせて道元・瑩山の両祖の教学形成にどのような影響を及ぼしたのか、展望を広げたい。
講義の内容／授業スケジュール	第1回～3回法華経の成立背景・構成・教説の主題 第4、5回『無量義経』の教説内容 第6回本門・從地涌出品第15 第7回～9回如来寿量品第16 第10回分別功德品第17 第11回隨喜功德品第18 第12回法師功德品第19 第13回常不輕菩薩品第20 第14回如来神力品第21 第15回囑累品第22 第16回藥王菩薩本事品第23 第17回妙音菩薩品第24 第18、19回觀世音菩薩品第25 第20回陀羅尼品第26 第21回妙莊嚴王本事品第27 第22回普賢菩薩勸発品第28 第23、24回觀普賢菩薩行法経 第25、26回法華教学思想の歴史的展望
準備学習	予め岩波文庫本『妙本蓮華経3巻』を用意し解題を読み問題点を整理しておくこと。各品の購読に入ったから授業前に該当品を読んで教説内容を理解しておくこと。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	分量が多いので経文を予め読んでおくこと。順次訓読文を読んでもらう。 学期末試験を主に、授業中の訓読文の読解力、出席状況などを加味する。 坂本幸男・岩本裕訳註『法華経』上中下三巻(岩波文庫)(各巻価格860円) 塚本啓祥・多田孝正・池田魯参監修『傍訳法華三部経全書』全六巻2008～9年(四季社)各巻16,000円

履修コード	002401
科目名	日本禅宗史
担当者名	佐藤 秀孝 <small>さとう しゅうこう</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ること、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期には、唐代禅宗について、平安以前の禅、宋代禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の活動、初期永平寺僧団、来日僧と入宋入元僧、日本禅の二十四流などについて論じ、後期には、五山派と林下、五山禅林と五山文学、中世文化と禅宗、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、応燈関の一流、戦国時代と禅僧、幕藩体制下の禅宗、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世曹洞宗と宗統復古、近代国家と禅宗などについて論じる。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。 平常点(出席)と試験による総合評価。 伊吹敦『禅の歴史』(法蔵館) 3,800円 中尾良信『図解雑学・禅』(ナツメ社) 1,400円
参考書	田中良昭編『禅学研究入門』(大東出版社) 6,000円 船岡誠『日本禅宗の成立』(吉川弘文館) 2,500円 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修コード	002801・002802
科目名	仏典・禅籍解説 禅籍講読Ⅳ
担当者名	松田 陽志 ^{まつだ ようじ} ・池田 練太郎 ^{いけだ れんたろう}

講義の到達目標(ねらい)

この授業は、3・4年次における専門的な研究に先立って、仏教・禅の典籍に関する基本的な理解を身につけてもらうことを目的とするものである。

前期「仏教の仏典」では、前半においては原始仏教から部派仏教にいたる経・律・論の三蔵に関わる主要な仏典と、大乘仏教經典及びその論書を中心としたインドの主要な典籍について、さらに後半においては伝播した中国、日本において著された重要な典籍について、それぞれの成立の経緯・内容、そしてそれらの思想的意義と後代に与えた影響などについて解説する。

後期「中国・日本の禅籍」においては、中国（唐代までの初期禅宗）・日本（道元禅師の日本曹洞宗）に展開する禅宗の重要な典籍資料について取り上げ、その歴史的意義や思想的背景について解説する。また研究における資料のとらえ方や代表的な研究文献などについても随時紹介していく。

なお、前期は池田練太郎が、後期は松田陽志が担当する。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 仏教の典籍

[インドの仏典]

第1回：原始經典の成立，第2～3回：阿含・ニカーヤの内容と組織，第4回：各部派所属の律藏，第5回：説一切有部を中心としたアビダルマ論書，第6～8回：大乘仏教の經典（『般若経』『法華経』『華嚴経』『涅槃経』他），第9～10回：中観派・瑜伽行派を中心とした大乘仏教の論書

[中国、日本の仏典]

第11～12回：中国で著された仏教の典籍，第13～14回：日本で著された仏教の典籍，第15回：まとめのテスト

後期 中国・日本の禅籍

[中国の禅籍—初期禅宗文献—]

第1回：禅宗とダルマ 『洛陽伽藍記』『続高僧伝』，第2回：敦煌禅籍 『二入四行論』，第3回：北宗と南宗 『伝法宝記』『楞伽師資記』，第4回：神会の北宗禅批判 『菩提達磨南宗定是非論』，第5回：六祖慧能の禅 『六祖壇経』，第6回：馬祖禅と語録 『宝林伝』『祖堂集』『馬祖語録』，第7回：平常心是道 『臨濟録』『百丈清規』

[日本の禅籍—道元禅師に関わる文献—]

第8回：伝記資料 『三大尊行状記』『建撕記』，第9回：『正法眼藏随聞記』『学道用心集』，第10回：『永平広録』『永平略録』，第11回：『永平清規』『宝慶記』，第12回：『普勧坐禅儀』『(真字) 正法眼藏』，第13回：『正法眼藏』，第14回：試験，第15回：予備

特になし。

前期並びに後期：出席点と学期末に行なう筆記試験によって評価する。

特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。

必要に応じて、授業において言及する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

仏教

履修コード	003201・003202
科目名	仏典・禅籍解説 仏典講読Ⅳ
担当者名	池田 練太郎・松田 陽志

講義の到達目標(ねらい)

この授業は、3・4年次における専門的な研究に先立って、仏教・禅の典籍に関する基本的な理解を身につけてもらうことを目的とするものである。

前期「中国・日本の禅籍」においては、中国（唐代までの初期禅宗）・日本（道元禅師の日本曹洞宗）に展開する禅宗の重要な典籍資料について取り上げ、その歴史的意義や思想的背景について解説する。また研究における資料のとらえ方や代表的な研究文献などについても随時紹介していく。

後期「仏教の仏典」では、前半においては原始仏教から部派仏教にいたる経・律・論の三蔵に関わる主要な仏典と、大乘仏教経典及びその論書を中心としたインドの主要な典籍について、さらに後半においては伝播した中国、日本において著された重要な典籍について、それぞれの成立の経緯・内容、そしてそれらの思想的意義と後代に与えた影響などについて解説する。

なお、前期は松田陽志が、後期は池田練太郎が担当する。

講義の内容／授業スケジュール

前期 中国・日本の禅籍

[中国の禅籍—初期禅宗文献—]

第1回：禅宗とダルマ 『洛陽伽藍記』『統高僧伝』、第2回：敦煌禅籍 『二入四行論』、第3回：北宗と南宗 『伝法宝記』『楞伽師資記』、第4回：神会の北宗禅批判 『菩提達磨南宗定是非論』、第5回：六祖慧能の禅 『六祖壇経』、第6回：馬祖禅と語録『宝林伝』『祖堂集』『馬祖語録』、第7回：平常心是道『臨済録』『百丈清規』

[日本の禅籍—道元禅師に関わる文献—]

第8回：伝記資料 『三大尊行状記』『建誓記』、第9回：『正法眼蔵随聞記』『学道用心集』、第10回：『永平伝録』『永平略録』、第11回：『永平清規』『宝慶記』、第12回：『普勧坐禅儀』『真字』正法眼蔵』、第13回：『正法眼蔵』、第14回：試験、第15回：予備準備学習

後期 仏教の典籍

[インドの仏典]

第1回：原始経典の成立、第2～3回：阿含・ニカーヤの内容と組織、第4回：各部派所属の律蔵、第5回：説一切有部を中心としたアビダルマ論書、第6～8回：大乘仏教の経典（『般若経』『法華経』『華嚴経』『涅槃経』他）、第9～10回：中観派・瑜伽行派を中心とした大乘仏教の論書

[中国、日本の仏典]

第11～12回：中国で著された仏教の典籍、第13～14回：日本で著された仏教の典籍、第15回：まとめのテスト

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

特になし。

出席点と学期末に行なう筆記試験によって評価する。

特に指定しない。必要に応じて資料を配布する。

必要に応じて、授業において言及する。

履修コード	006801
科目名	宗教学概論
担当者名	矢野 秀武

講義の到達目標(ねらい)

特定の信仰を持っている人、宗教には興味があるけれど信仰をもっていない人、宗教や信仰など自分には関係ないと思っている人など、宗教については様々な立場からの理解や意見がある。また、これらの様々な意見を橋渡しするような、宗教学のものの見方もある。本講義では、世界の宗教の多様性を理解し、宗教伝統や宗教的現象について、無批判に肯定するのではなく、闇雲に批判し遠ざけるのでもない、そういった視点から理解することの重要性を学んでもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール

前期は、宗教学の基礎（1～3）、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、神道などの宗教をとりあげ（4～10）、また聖と俗、信仰と儀礼といった、宗教学のものの見方（11～15）を解説する。

後期は、神がかりや神秘体験など宗教現象における特異な体験（16～22）、さらに宗教心理学や宗教社会学のテーマとして、回心やカルト問題、また宗教人類学のテーマとして、まじないやアニミズム（23～28）などから、宗教を理解する視点を紹介する。最後に、宗教学から見た宗教、宗教学を学ぶ意義について解説する。（29～30）

履修上の留意点

レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法

出席点（各回提出のコメントシートの内容）、前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）、後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書／テキスト
参考書

なし

授業時に随時紹介する。

履修コード	006811
科目名	宗教学概論
担当者名	長谷部 八朗

講義の到達目標(ねらい) 宗教学とはどのような学問か、それが個人や社会に対して成しうるあるいは成すべき役割・意義を、さまざまなトピックを取り上げて考える。

講義の内容／授業スケジュール 第1－3回：宗教学の性格と歴史、第4－7回：宗教とは何か、第8－10回：宗教の種類、第11－15回：さまざまな儀礼とその意味、第16－19回：宗教と救済、第20－22回：修行、第23－25回：日本人の宗教観、第26－28回：現代社会と宗教、第29－30回：まとめと補説

成績評価の方法 年度末の試験の他に、出席状況、授業中に数回書いてもらう予定の小論文などを勘案して総合的に評価する。

教科書／テキスト 使用しない。

参考書 『宗教学ハンドブック』（世界書院）
その他、授業中に紹介する。

履修コード	000601
科目名	宗典
担当者名	松田 陽志

講義の到達目標(ねらい) 日本曹洞宗の開祖道元禪師の行実（伝記）と教説を、その著述や伝記資料に基づいて概説・講読する。特に道元禪師の仏道を求める視点と姿勢について考える。
『正法眼蔵』などを初めとする重要な宗学文献を取り上げ講読する。学術的研究の論点や解釈を通じながらも、道元禪師の生き方と教えを、自分が把握することの意味を考える手がかりをつかむこと。

講義の内容／授業スケジュール 道元禪師の伝記・著作資料・思想内容の三分類により、各資料を随時配付する。
第1～2回：資料の扱い方と伝記資料、第3～4回：道元の両親、第5～6回：出家の志、第7～9回：出家の道心、第10～11回：威儀即仏法・作法是宗旨、第12回：能忍と榮西、第13～14回：明全と道元、第15～16回：新到列位問題、第17～18回：典座との問答、第19～20回：諸山歴遊、第21～23回：如浄との面授、第24～25回：興聖寺から永平寺へ、第26～28回：『正法眼蔵』の撰述と入滅

履修上の留意点 毎回配布するプリントを整理して保存すること。授業で講義する内容は、ほんの一部に過ぎない。授業中に小テストを行うので、重要な事項の意味を自分で整理して把握すること。重要だと考えられるテーマについては、自らの理解を文章化してまとめておくこと。

成績評価の方法 出席点と随時授業内に行う小テスト及び年度末試験によって評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書 配布資料や授業の中で、随時紹介する。

履修コード	000701
科目名	宗典
担当者名	角田 泰隆

講義の到達目標(ねらい) 曹洞宗の両祖、道元禪師と瑩山禪師の著作を講義する。

講義の内容／授業スケジュール はじめに、曹洞宗の一仏両祖（釈尊・道元禪師・瑩山禪師）について概説し（1～3）、その後、道元禪師の著作（『正法眼蔵』・『弁道話』・『永平広録』・『学道用心集』・『典座教訓』等）、瑩山禪師の著作（『伝光録』）の中から重要と思われる説示を取り上げて講義する（4～30）。

履修上の留意点 原則として、授業の3分の2以上出席しない者は単位を取得できないので注意すること。

成績評価の方法 毎回の出席点と年度末試験によって評価する。

教科書／テキスト なし。プリントを配布する。

参考書 講義の中で、紹介する。

仏教

履修コード	001101・001102・001501・001502
科目名	仏教・禪教団論 禅学研究Ⅲ 仏教研究Ⅲ
担当者名	熊本 英人・袴谷 憲昭

講義の到達目標(ねらい)

本講座は、前期は仏教教団、後期は禪教団を扱い、教団論を主題とする講座である。「教団 (samgha)」なしに仏教は存在しなかったし存在していないし存在しないであろう。しかし、「教団」の規定である律や清規を究めれば仏教がわかるというものではない。なぜなら、律や清規は「教団」の「習慣」や「生活」の規定でしかないからである。それゆえ、仏教の「教団」を真に仏教たらしめる方向で学んでいくためには、絶えず仏教の「思想」や「哲学」から「習慣」や「生活」を考えていくのでなければならない。例えば、教団追放罪になる重い罪の一つに上人法に関する虚言というものがあるが、それがなぜ罪になるのかという理由は、いくら律蔵の波羅夷罪の文言を読んでもわからないから、そこに仏教の「思想」や「哲学」からの解釈が必要となる。あるいは、清規に見られる商業活動につながるような規定は、むしろ律に違反する行為であるが、それに禅宗教団は「思想」としての意味を与えていく。本講座は、このような観点から、律や清規を読みながら、インドや中国や日本などの仏教の歴史的展開のもとに「教団」の問題を考察していく。

講義の内容／
授業スケジュール

また、律や清規の実際の講読によって、仏教文献読解やその手続きにも慣れ親しんでもらいたい。前期(仏教教団論)：中国に翻訳された『四分律』を資料にインドと中国における「教団」に対する考え方の基本を明らかにしてみたい。

- 1 仏教の「思想」「哲学」よりみた「習慣」「生活」
 - 2 仏教教団の「生活」「習慣」としての律蔵
 - 3 仏教教団と各部派所伝の律蔵
 - 4 律蔵の組織構成と各広律の特徴
 - 5～7 『四分律比丘戒本』の検討
 - 8～10 「毘度部」を主とした教団的問題の考察
 - 11～13 『四分律』『法捷度』の講読演習
- 後期(禪教団論)：禅宗で形成された清規の中から、後の清規の基本となる『禅苑清規』と、日本曹洞宗の『永平清規』を読み、禅宗教団の形成とその特徴について考えてみたい。
- 1～2 禅宗の成立と清規
 - 3～4 『禅苑清規』の構成と禅宗教団の様相
 - 5～7 『禅苑清規』講読
 - 8～9 『永平清規』の構成と道元僧団の意図
 - 10 『永平清規』と『瑩山清規』からみた曹洞宗教団の展開
 - 11～13 『永平清規』講読

履修上の留意点

講義ではあるが、受講者は文献を自ら読もうとすることが要求される。出席は原則として取らないが、出席しなければ試験解答をきちんとこなすことは困難になるであろう。なお、仏教研究Ⅲと禅学研究Ⅲとを同じ年度に履修することは認めない(2007年度以前入学生)。

成績評価の方法

前期と後期と、それぞれ筆記試験を課す。前期試験は、大学の定める7月の「前期科目定期試験」の日時に、後期試験は、1月の「専門・教職科目の定期試験」の日時に従って行う。

教科書／テキスト

前期：必要部分資料はコピーにて教場で適宜配布する。再発行しないので注意のこと。
袴谷憲昭『仏教入門』(大蔵出版、2004年) 2,310円
後期：鏡島元隆他『訳注禅苑清規』(曹洞宗宗務庁、1972年)《必要部分をコピーで配布する》
小坂機融他『道元禅師全集第6巻 清規・戒法・嗣書』(春秋社、1989年)《必要部分をコピーで配布する》

参 考 書

袴谷憲昭『仏教教団史論』(大蔵出版、2002年) 9,450円
佐々木閑『出家とはなにか』(大蔵出版、1999年) 3,999円
石川力山他『典座教訓・赴粥飯法』(講談社、1991年) 945円

履修コード	009101・009102
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	池田 練太郎

講義の到達目標(ねらい) 古来、仏教における入門的な論書として重んじられてきた世親 (Vasubandhu) の著作『阿毘達磨俱舍論』(Abhidharmakosabhasya) を、サンスクリット語の原典と玄奘による漢訳を用いて講読する。この講読を通して、仏教の重要な術語や概念を理解するとともに、仏典を正確に読解する力を身につけ、仏教に関わる諸問題について自ら考察する姿勢を養いたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期には玄奘訳『俱舍論』を中心に講読し、後期にはサンスクリット語テキストによって同書を講読する。

準備学習 講読箇所に関連する問題についてできる限り広く調べる。

履修上の留意点 当番制で和訳し、内容を解説してもらうが、当たっていない者も予習をして授業に臨んでほしい。なお、関連する問題について発表してもらうことも考えている。

成績評価の方法 授業における平常点によって評価する。

教科書／テキスト テキストは最初の授業のさいに説明する。

参考書 必要に応じて適宜紹介する。

履修コード	009201・009202
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	岩永 正晴

講義の到達目標(ねらい) 江戸時代中期の曹洞宗僧侶が著わした『正法眼蔵』注釈書を対象として演習を行う。各注釈書の背景にある教養や、注釈態度・目的などの調査分析を通して古人の参究の成果を学ぶと共に、演習参加者自身の研究に必要な知識や方法を修得して貰いたい。

講義の内容／授業スケジュール 今年度も前年度に引き続き、『正法眼蔵』参究の初学者がまず始めに参照すべき書として伝承されてきた『正法眼蔵聞解』(斧山玄トツ述)を中心に演習を行う。

履修上の留意点 ○第1回 授業の概要の説明
○第2回～第3回 『正法眼蔵』及び『正法眼蔵聞解』の解題。参考書等の説明。
○第4回～第30回 履修者による演習。

成績評価の方法 大学での学習・研究の中でも、演習が担う役割は極めて大きいと考えるので、積極的に参加して貰いたい。また我々は仏教を学ぶのであるから、私も含めた参加者全員が互いに協力し励まし合って学んで行きたい。

教科書／テキスト 平常の参加態度と、学年末提出のレポートで評価する。

参考書 『正法眼蔵註解全書』所収本の必要箇所をコピーして配布する。
『永平正法眼蔵菟書大成』17 (大修館書店)・鏡島元隆『道元禪師とその門流』(誠信書房)・河村孝道『正法眼蔵の成立史的研究』(春秋社)など。但し以上は入手が困難であろうから、図書館を活用して貰いたい。その他は随時紹介する。

履修コード	009701・009702
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	石井 修道

講義の到達目標(ねらい) 演習のテキストとして禅の究明に欠かせない『景德伝燈録』を選んだ。1004年に完成した『景德伝燈録』は、それ以前の禅とは何かを知る上でも必読の本であるし、それ以降の禅を学ぶ上には欠くべからざる指針の本である。また、道元禪師が暗記するまで読まれたことは間違いないので、道元禪師の研究をする上でも必読の本である。

講義の内容／授業スケジュール 『景德伝燈録』30巻は、世に「一千七百の公案」と呼ばれる。この演習はその一つ一つを丁寧に読む。なお今年度は巻6以降の馬祖系の著名な禅者を読む。

履修上の留意点 元版の序文によると、367,917字で刻まれたという。それを編集し、書写し、さらに一字一字を刻した人の苦勞を思う時、まず我々はその一字一字を辞典を使用して確かめることから出発し、意味を考え、そして意図を探りたいものである。一年間で学べる分量はわずかであるが、禅者一人一人を禅宗史の上でどのように学問的に追求したらよいかを学んで、他の研究に応用できるように身につくまでまなびたい。

成績評価の方法 できる人は中国語の発音まで調べてくること。
演習は当番が担当する。また、その年度内に読んだ禅者の中から興味ある人を一人選び、その伝記と思想の特色をレポートに書いて最終授業の時に提出する。400字詰10枚程度 (ワープロ可)。

教科書／テキスト 台湾の版元より取り寄せ (1500円程度)

参考書 入矢義高監修『景德伝燈録三』『同 四』(禅文化研究所) 各8,500円
入矢義高監修『禅語辞典』(思文閣出版) 9,785円
石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,675円

仏教

履修コード	009801・009802
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	石井 公成

講義の到達目標(ねらい) 中国華嚴宗の理論的大成者である法蔵の『華嚴経旨帰』を読み、華嚴宗の『華嚴経』観を明らかにする。授業はP C教場で行い、用例を検索し、文法・用法に注意しつつ読み進めることにより、仏教漢文を厳密に読むことができるようにする。コンピュータによる柔軟な検索ができるようにし、出来れば、分析も可能になることが望ましい。

講義の内容／授業スケジュール 最初に『華嚴経』と華嚴宗の歴史について概説し、次に文献読解に移る。最初はこちらが読むが、慣れてきたら、順不同で当てて毎回1～2行くらいずつ読んでもらう。読みを訂正していくことにより、語学的に厳密に読む訓練を行なう。

準備学習 授業はP C教場で行ない、用例の検索方法や分析方法を示す。
履修上の留意点 ネット上で「正規表現」について読んでおくこと。
成績評価の方法 毎回、当てて1～2行ずつ資料を読ませるため、仏教漢文に積極的に取り組む姿勢が必要となる。
教科書／テキスト 平常点と授業中に何度か行なう小試験による。
コピーを配布する。

履修コード	010001・010002
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	池田 魯参

講義の到達目標(ねらい) 天台教学の教理を深く理解し、隣接の各宗の教学理解の応用力を養う。漢文仏典の読解力を身に着ける。

講義の内容／授業スケジュール 『摩訶止観』を読む。演習方式で当番を決め順番に担当分を解説し発表してもらう。本年度は「禪定境」の章段を読み、仏教の禪觀・禪定思想について体系的に考察を加えたい。

履修上の留意点 当番が当たった人は、難解な語句を厳密に調べ、それぞれの文で何をいっているのか理解し、自分自身の現実重ねてその一段の文がどういうことをいおうとしているのか、考える習慣を身につけて欲しい。疑問点を出し質問を積極的にして欲しい。

成績評価の方法 演習当番の予習準備・発表態度、授業への出席状況、課題レポート等を合わせて平常点評価。定期試験ナシ。

教科書／テキスト コピーを渡す。
参 考 書 講義の中で逐次指示する。

履修コード	010101・010102
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	長谷部 八朗

講義の到達目標(ねらい) 仏教をはじめとしたさまざまな宗教の儀礼分析を中心に行なう。できるだけ具体的な実践例を取り上げ、教えや文化的背景などと関連づけて儀礼の意味や役割・機能を探る。

講義の内容／授業スケジュール 上記に関する文献や調査資料をもとに履修者に研究テーマを決めさせ、調べた内容を順次発表してもらう。

履修上の留意点 発表を中心に進めるので、履修者は十分な準備と発表の工夫を凝らして臨んでほしい。

成績評価の方法 発表内容や提出物、出席状況などを総合して評価する。

参 考 書 授業中に適宜紹介する。

履修コード	010201・010202
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	奥野 光賢

講義の到達目標(ねらい) 経自らが「諸経の王」と称しているように、あまたある大乘經典の中で東アジア世界に最も流布した經典が『法華経』である。本演習では鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』を中国・日本で著された各種法華経注釈書にも目を配りながら講読し、法華思想の考究に及びたい。

講義の内容／授業スケジュール 開講から数回程度は予備知識確認のため概説的授業を行なう。以後、直ちに講読に入る。今年度は「常不輕菩薩品」から読む予定。今年は特に中国で撰述された注釈書を参照しながら講読し、その思想的意味を考えたい。

履修上の留意点 予習をしっかりとなし、授業への主体的参加を望みたい。

成績評価の方法 純然たる演習科目なので平常点のみによって評価する。

教科書／テキスト 岩波文庫本『法華経』全3冊を教科書として使用するので各自用意すること。その他の授業で用いている注釈書は授業において適宜配布する。

参 考 書 参考書はあまたある。それらは授業において適宜指示するが、さしあたっては次の2書をあげておく。①田村芳朗『法華経』(中公新書)、②菅野博史『法華経入門』(岩波新書)

履修コード	010301・010302
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	熊本 英人

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

日本の仏教と近代について考える。
明治維新を境に、仏教とそれを取り巻く環境は大きく変わった。日本の仏教、寺院は、どこが変わりどことが変わらなかったのか。近世の寺請制度と仏教批判、明治維新期の神仏分離を初めとする混乱、そして、近現代において、仏教はどのように社会と関わってきたか。近代仏教を視点に、僧侶や寺院のあり方について考えてみたい。ここでは、曹洞宗の例を中心に、様々な文献を使って読み解いていく。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

テキストについては、受講者の興味も考慮して選択する。
適宜、小レポートを課す。
平常点及びレポート。
テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。
演習の中で随時紹介する。
演習Ⅱについては、卒業論文の指導にも配慮して講座を進める。

履修コード	010401・010402
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	片山 一良

講義の到達目標(ねらい)

釈尊によって説かれた原初の教えを「原始仏教」と呼ぶ。その基本的な教えをパーリ仏典(原始仏教聖典)によって正しく理解し、「大乘仏教」の根本的思想を把握するための足がかりを築きたい。

講義の内容/
授業スケジュール

聖典語とされるパーリ語で書かれた仏典を読む。詩(偈)と散文からなる『如是語(経)』(Itivuttaka)を扱い、五蘊・縁起・四諦・中道の教えについて考えたい。また、前期・後期に各一回、各自の研究課題に基づく発表の機会を設けたい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

受講者はパーリ語初級程度の知識をそなえていることが望まれる。
平常点による。
PTS本(Itivuttaka)を使用。コピー配布。
南伝大蔵経第23巻、片山一良『ブッダのことば パーリ仏典入門』(大法輪閣)。
授業は講読、討論を主とする。

履修コード	010501・010502
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	飯塚 大展

講義の到達目標(ねらい)

一休宗純の偈頌集である『狂雲集』を読解する。

講義の内容/
授業スケジュール

一休宗純の生涯(『東海一休和尚年譜』の読解、1~10)、『狂雲集』概説(11~15)、『狂雲集』の読解(16~30)

履修上の留意点
成績評価の方法

ゼミでの発表を重視する。
あらかじめ『狂雲集』の報告担当者を決め、その報告に基いて討議する。その発表及びゼミでの問題提起等を以て評価する。

教科書/テキスト
参考書

教科書は用いない。テキストは適宜配布する。
参考書は概説の際に提示する。

仏教

履修コード	010601・010602
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	永井 ^{ながい} 政之 ^{まさし}

講義の到達目標(ねらい)

中国禅宗を「立体的」に捉えようと苦心しています。そのためには、さまざまな史料を多角的に読むことが必要だと考えていますし、辛抱よく訓練すれば、必ずや歴史に生きた禅僧のナマの姿が分かってくと信じています。そんな問題意識のもと、ここ数年と同じように北宋を代表する禅者の一人、慧洪(1071~1128)の著わした『林間録』を読みます。北宋を代表する禅者の一人である慧洪は、その生涯において4度の下獄を経験するほどの波乱の人生を送ります。一方、その著作『石門文学禅』は「五山文学」の世界に大きな影響をあたえました。かくしてその評価はさまざまとなりますが、彼が「あるべき教え」と「人」を模索し続けたことは疑いありません。その集約が『林間録』にあります。

時には皮肉を込め、時には慨嘆しつつ語られる北宋禅の世界は、「灯史」に限定されない生き生きした様相そのものを語っているのではないのでしょうか。

(1~3)中国禅宗史の概説(3~)毎時間、当番が発表用のペーパー(『林間録』を訓読し注を付したものを)を配布し、読みすすめます。

それぞれ担当する内容については、発表資料の作成などの予習は不可欠です。出席点も評価に入れますから、欠席しないで下さい。

評価は当番に当たった際の発表や、ふだんの履修態度を総合的に評価します。

テキストは江戸時代の本版本をコピーして使用します。返り点や送りがなも付されているので、比較的読みやすいと思います。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト

参 考 書

参考書については授業中に適宜指示しますが「漢和辞典」は必ず用意してください。

履修コード	010701・010702
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	松本 ^{まつもと} 史朗 ^{しろう}

講義の到達目標(ねらい)

インドの大乗仏教の基本的概念・教理を理解するために、初期瑜伽行派の重要なテキストである『菩薩地』を、サンスクリット語(梵語)の原典で読む。

原典を履修者に和訳してもらおう。(1~8)基礎の習得(9~15)教義内容の把握(16~30)文献学的方法の習得。

テキストは、サンスクリット語なので、サンスクリット語初級を修了した程度の語学力を要する。

成績評価は、出席を含む平常点による。

テキストなどの詳細は、教場で指示する。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

履修コード	010901・010902
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	吉津 宜英

講義の到達目標(ねらい)

東アジアにおける中道思想論

仏教の実践の原点は『律蔵』『大品』での五比丘への説法、初転法輪に見られるように苦楽の二辺を離れた中道にあると思います。また釈尊が重要な場面で強調した自洲と法洲の水平対等のあり方も中道の内容を規定する姿勢と考えます。ところで大乘になると空が強調され、一切の法の階層性が空じられて、例えば「生死即涅槃」「煩惱即菩提」に類する相即観が説かれます。そのような相即観は「不二」とも表現され、例えば吉蔵の三論教学には「不二中道」の用例も見えます。私は中道に不二の意味を読み込むことは中道の原意から逸脱すると考えています。東アジアの諸教学に中道の諸形態を探りたいというのが私の課題です。

講義の内容／
授業スケジュール

前期の第1回目はガイダンスと自己紹介です。5月の第一週までは、小発表のやり方や論文の書き方の説明をします。5月の二週目から皆さんに小発表をお願いします。毎週2人ずつ当たります。その順序は私に任せて下さい。年間で1・2回、15分前後の発表です。レジメは必ず用意して下さい。レジメの印刷は私の研究室に来て下されば、事務所でプリントします。発表の司会は私が務めます。発表が終わったら、質疑と討論に移ります。出来れば自主的に挙手して、意見を述べたり、質問して下さい。挙手が無い場合は私が順次指名しますので、意見・質問・感想などを述べ、発表者はそれに応答して下さい。この討論の部分にこの演習の重要性があります。毎回の発表者の発表内容こそは私のゼミのテキストと考えています。それをみんなで討論しながら、分析し、考察するわけです。それにより、発表者は新しい課題を見出すでしょう。また討論により他の方々もそのテーマに関しての認識を深め、自分の意見の形成に役立つと思います。後期の第1回目、後期の最終回、また要所要所では私の小発表も入ります。

準備学習
履修上の留意点

いつも、何かについて、何故だろうと考える習慣を付けて下さい。

発表者は発表内容の説得力を身に付けて下さい。聴く側の方は発表者の発表内容をよく理解することが大切です。また出来るだけ積極的に演習の討議に参加して、質問することが発表と同様に自分の論理性を高めるものであることを分かって欲しいと思います。

成績評価の方法

小発表の内容と、毎週の質疑応答に積極的に参加することを評価の第一のポイントにします。次に1月15日締め切りで5枚以上(400字原稿用紙換算、ワープロによる作成が望ましい)の小論文の提出を求めます。小発表と小論文のテーマは異なってもかまいません。以上の小発表と小論文、そして質疑応答への積極的な参加を見て、総合的に評価します。

教科書／テキスト
参考書
その他

別にあります。

別にあります。

前期と後期の最終回には会費制で納会を行います。任意の参加ですので、ご自由に参加して下さい。

履修コード	011201・011202
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	金沢 篤

講義の到達目標(ねらい)

仏教の成立・展開にも大きく関わった、インドの思想史・文化史的背景を伺う種々文献資料や、いわゆる正統バラモン哲学の基礎的な文献資料を原典で読む。
決定したテキストを順を追って講読する。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

テキストなど詳しいことは、教場にて適宜指示するが、受講者は、サンスクリットの初級程度の知識を有していることが望ましい。また、自分の個人的学問的関心を常時尖鋭化し、文献渉猟と言葉によるプレゼンテーション技術の習得を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

仏教

履修コード	011401・011402
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	きとう しゅうこう 佐藤 秀孝

講義の到達目標(ねらい) 日本禅宗の草創期の禅僧、とくに鎌倉・南北朝時代に活躍した道元禅師から瑩山禅師やその弟子たちに至る初期曹洞宗教団の祖師方の伝記資料その他を読み進めたい。具体的には江戸時代の僧伝や禅宗灯史が成立する以前の、より素朴な中世撰述資料などをテキストとして演習する。演習を通して資料の読解力を養うだけでなく、禅僧たちの生きざまを通して彼らが目指した禅宗叢林のありかたなど、中世禅宗の息吹きを感じてもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール はじめに初期曹洞宗に関して、歴史的な概要や現存する史資料について口述し、その後、特定の伝記資料について演習する。その際、学生が輪番形式で割り当てられた箇所について書き下し文と語句の説明と訳文を作って資料を発表してもらおう。

履修上の留意点 資料の多くが漢文ないし漢字仮名交じり文で表現されており、しかも独特の禅宗用語や中世用語が用いられていることから、漢文（とくに禅宗漢文）や日本禅宗史の素養を深めておいて欲しい。

成績評価の方法 担当した演習箇所の内容と出席日数を換算して成績を評価するが、授業時間内の態度や意気込みなども総合的に加味したい。

教科書／テキスト 特定の教科書は使用しない。『三大尊行状記』や古写本『建搦記』などの内容を、『曹洞宗全書』『史伝下』や『続曹洞宗全書』『寺誌・史伝』その他当該資料よりプリントして配布する。

参 考 書 大久保道舟『道元禅師伝の研究』や竹内道雄『道元』（人物叢書）など道元禅師に関する研究書、東隆眞『瑩山禅師の研究』など瑩山禅師に関する研究書。『永平寺史』など初期の曹洞宗に関する研究書。

そ の 他 演習では毎時間、担当者を割り当てて調べてきた成果を発表してもらい、それを教員が改めて内容を検討していく。

履修コード	011501・011502
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	いしい さとみずみ 石井 清純

講義の到達目標(ねらい) 近年、インターネットの発達と漢字表記の発展により、仏教・禅の研究においてもコンピュータネットワークの重要性が飛躍的に増大した。それは具体的には仏教典籍のオンライン供給という形として現れている。

講義の内容／授業スケジュール 本演習は、前期中にコンピュータオペレーションの基礎を学び、後期には、それを利用して、ネット上の仏教情報の検索、収集、分析方法の演習を行ってゆく。

履修上の留意点 まず、コンピュータ機器に関する基礎知識と基本操作を身につけ、オンライン資料の使用方法に慣れることを目的に授業を進める。その後、仏教関係の課題について関連情報を検索・収集し、結果をコンピュータを用いて発表してもらおう。

成績評価の方法 (1) オペレーティングシステムとアプリケーション、(2~4) ワードプロソフトと文書の作成、(3) データベースのいろいろ、(4) 表計算と関数、(5) プレゼンテーションソフトの活用法、(6~8) 第1課題作成(自己紹介文の作成)、(9~12) 第1課題発表、(13~17) 第2課題作成(仏教・禅一般)、(17~21) 第2課題発表、(22~26) 第3課題作成(道元関係)、(27~30) 第3課題発表。

参 考 書 講義やプレゼンテーションは、すべてコンピュータを用いるので、パソコンの基本操作を必ず身につけてもらわなければならない。できれば、個人で自由に使用できるパソコンを保有していることが望ましい。

そ の 他 出席および演習中の発表内容をもって評価する。講義中に適宜指示する。

履修コード	011601・011602
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>

講義の到達目標(ねらい) 東アジアの唯識思想および如来蔵思想について考察する。また、高僧伝や仏教説話、如来・菩薩の信仰、儒教・仏教・道教の交渉についても研究・指導する。

本年度も、唯識思想を中国に伝えた玄奘(602-664)の伝記(『続高僧伝』巻四)を講読し、唯識思想と如来蔵思想の交渉、インド・西域・中国の仏教文化の比較、仏教説話の展開などを多角的に考察したい。

講義の内容／授業スケジュール
前期 (1) 玄奘の伝記資料 (2~10) 玄奘伝を読む (11~14) 4年生の研究発表 (15) まとめ
後期 (1) 玄奘の唯識思想 (2~10) 玄奘伝を読む (11~14) 3年生の研究発表 (15) まとめ

履修上の留意点 漢文訓読の予習をして授業に臨むこと。意味の分からない語句は、必ず漢和辞典や仏教辞典で調べること。

成績評価の方法 出席と予習の状況、研究発表、レポートによる総合評価。試験は行わない。

教科書／テキスト コピーを配布する。

参考書 授業中に随時紹介する。

履修コード	011801・011802
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	晴山 俊英 <small>はれやま しゆんえい</small>

講義の到達目標(ねらい) まずは基礎的な辞書類の選び方・使い方を習得し、自らの手で疑問を解決できるようにする。最終的には受け身の学問から攻めの学問へ転ぜられたい。

講義の内容／授業スケジュール 曹洞宗禅戒諸資料を読む。いわゆる仏教全体の中にあつて禅宗の戒律思想は頗る特異で、教家のそれと比較し難いとされる。しかし幸いにも江戸期の先学が禅戒について詳細に議論をする中で随所に教学的考察を試みている。この点を念頭に置きつつ、本演習では道元禅師ないし曹洞宗における戒律思想を探るべく曹洞宗関係を中心に諸資料を参究していく。

履修上の留意点 必ず YeStudy に登録すること (Pass は授業で告知)。
その際に、実効性のあるメールアドレスで登録、もしくは転送するようにしておくこと。
毎時間、発表者 1 人か 2 人、質問者 3 人〜 6 人程度を指名する。
4 年次生には、合宿にて卒業論文中間報告をして貰う。

成績評価の方法 出席の状況 (合宿を含む) ならびに平常点によって評価する。

教科書／テキスト 適宜指示する。

その他 夏季休業中にゼミ合宿を行なう。不参加の者には個別に課題を提出する。その他、演習説明会(個人)で配布した資料に授業の進め方や注意事項が記載してあるので、目を通しておくこと。

履修コード	011811・011812
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	村松 哲文 <small>むらまつ てつぶん</small>

講義の到達目標(ねらい) 本演習は、禅美術・仏教美術の研究を志す学生を対象とする。美術史を研究してゆく上で必要なことは、漢文読解の能力と美術品観賞の眼力である。授業では、『七大寺巡礼私記』あるいは『魏書』積老志などを輪読しながら、適時受講者による発表を行ってもらう。また、美術館・博物館の見学を通じて美術品の基礎的な観賞法をトレーニングしてゆく。

講義の内容／授業スケジュール 発表では、各自担当分の読み下しと現代語訳を用意してくる。また輪読の合間に、受講者が興味を抱いている研究課題について随時報告をしてもらう。さらに卒業論文の構想を発表する機会を設けたいと考えている。

履修上の留意点 美術品の観賞は経験がものを言うので、時間のゆるす限り実物を観る機会を多くつくること。

成績評価の方法 発表内容と出席率などによる総合評価。

教科書／テキスト プリントで配布する。

参考書 適時紹介する。

履修コード	011821・011822
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	まつだ しょうじ 松田 陽志

講義の到達目標(ねらい) 曹洞宗において江戸時代は、それまでの宗義・宗旨の内容・意義や教団としての枠組みが見直され、新たな意義付けや体制の構築が盛んに論じられた時期である。中でも多くの議論が展開される、嗣法制度改革をめぐる内容を具体的に検討するため、天桂伝尊（一六四八～一七三五）の『正法眼蔵弁註』面授篇を読解することで、嗣法相続の意義とその具体的形式についての当時の議論を理解する。

講義の内容／授業スケジュール 嗣法相続に関する議論の内容を理解するため、天桂伝尊（一六四八～一七三五）の『正法眼蔵弁註』面授篇を読解する。天桂の主たる批判対象である卍山道白（一六三六～一七一五）らの立場も、具体的文献の箇所をあげて検討する。

履修上の留意点 第1～2回：江戸期の曹洞宗学の展開について（講義）、第3回：読解する文献資料と演習の方法について（講義）、第4回～30回（演習形態）
文献を区切って受講者で分担し、授業内で発表する。辞書を積極的に活用して予習をすること。発表にあたらなくとも欠席すると理解できなくなるので、必ず全回出席すること。授業での不明な点は、必ず授業時間内で解決するため、発表担当者と質問や意見を積極的にやりとりすること。

成績評価の方法 出席及び学習態度・発表内容に基づいて評価する。
教科書／テキスト 基本的な文献資料はコピーして配布する。
参 考 書 図書館などの利用方法を含めて、随時紹介する。

履修コード	011831・011832
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	てい せい 程 正

講義の到達目標(ねらい) この講義は、中国初期禅宗史を研究するための基礎的な知識と技能の習得をそのねらいとする。本年度は、『伝法宝紀』の輪読を行う予定である。中国禅宗の最初期の灯史として名高い『伝法宝紀』は、達摩、慧可、僧璨、道信、弘忍、法如、神秀など七人の祖師の伝記を述べたもので、後の禅宗祖統説と違って、弘忍と神秀の間にその作者である杜朏自ら師事した嵩山法如を立てるところに禅宗灯史としての本書の特色がある。このテキストを読むことによって、初期禅宗における祖統説の形成や禅思想の変遷の一端を明らかにしていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 具体的には、柳田聖山氏の校訂したテキストをワープロに起こし、書き下し、引用に関しては出典を探し、内容を理解するという作業を繰り返し行う予定である。最初の3、4回は、『伝法宝紀』に関する従来の研究成果などの紹介に当て、その後は、テキストを適当な分量に区切って参加者全員に配分し、参加者は輪番でそれぞれの担当箇所について資料を作成し発表を行う予定である。

履修上の留意点 それぞれの担当する内容については、発表資料の作成などの予習が不可欠である。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法 授業における発表、出席点により評価する。
教科書／テキスト 柳田聖山『初期の禅史Ⅰ』（『禅の語録2』（筑摩書房、1971年初版）
参 考 書 適宜に紹介する。

履修コード	011841・011842
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	池上 光洋

講義の到達目標(ねらい) 道元禪師の修証観を明らかにすべく『普勸坐禅儀』を講読する。
同書についてはすでに「宗典」や「坐禅Ⅰ」などで講義をうけ既知のものであろう。受講生には先行諸業績の成果をふまえつつ、あらためて自分自身の力で丹念に読み込み、あらたな問題の発見に努めていただきたい。

講義の内容／授業スケジュール まず自主的に調査・研究を進めるための方法を教示した後、分担を割りふり読み進めていく。

成績評価の方法 演習科目なので平常点により評価する。

教科書／テキスト プリントを配布する。

参 考 書 伊藤秀憲(編)『道元思想大系 8・思想篇 2—道元と坐禅—』(同朋舎出版 1995)。
石井修道『道元禪師—正法眼蔵行持に学ぶ—』(禅文化研究所 2007)、石井修道『中国禅宗史話—真字!正法眼蔵—to学ぶ—』(禅文化研究所 1992)、小川隆『語録のことば—唐代の禅—』(禅文化研究所 2007)、小川隆『臨濟録—禅の語録とことばと思想—』(岩波書店 2008)。

そ の 他 その他、演習中に随時紹介する。
受講生には必修である「卒業論文」の作成を目標に、各自、課題と自覚をもって授業に臨んでもらいたい。なお3年次の夏休みあけに論文作成のための予備的なレポートを、春休みあけにはより具体的な報告書を提出してもらおう。4年生には卒業論文の進捗状況報告のため、夏休みあけに前期レポートを、後期の終わりには1年間の成果をゼミで発表してもらおう予定である。

履修コード	011851・011852
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	角田 泰隆

講義の到達目標(ねらい) 道元禪師の歴史的研究(道元禪師の伝記並びにその時代の諸研究)、書誌〔文献〕的研究(著作の成立等に関する研究)、思想的研究(著作の内容に関する研究)の研究方法を身につける。

講義の内容／授業スケジュール 最初に、『正法眼蔵』の研究方法について概説し(1~3)、その後、『正法眼蔵』『身心学道』巻の研究をする。前期は、図書館を利用した自主研究の時間とし、研究ノートを作成してもらおう(4~15)。この間は、図書館あるいは研究室にて個々に指導する。後期(16~30)は、演習形式で「身心学道」巻を読む。

履修上の留意点 研究ノートの作成方法については、授業にて詳細を説明するが、用語の意味調べ、出典調べ、訳文の作成等、根気よく研究することが必要となる。また、図書館での自主研究では、静粛に学習するよう特に留意していただきたい。

成績評価の方法 研究ノートを提出していただき、それによって評価する。

教科書／テキスト なし

参 考 書 授業において紹介する。

履修コード	011861・011862
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	袴谷 憲昭

講義の到達目標(ねらい) 日本における仏教の教義展開の把握。

講義の内容／授業スケジュール (1-30) 法相宗の基本典籍『成唯識論』の演習講読。

履修上の留意点 よく下調べをしてくること。

成績評価の方法 平常点。

教科書／テキスト 新導本『成唯識論』、購入できない学生のためにはコピーを用意する。

参 考 書 唯識三箇疏およびそれらの関連書。

そ の 他 必要なものは適宜指示する。

仏教

履修コード	011871・011872
科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ
担当者名	木村 誠司

講義の到達目標(ねらい) 仏教論理学的作品に触れる。『真理綱要』Tattvasamgrahaを主要テキストとする。本書は、8世紀、シャーンタラクシタ、カマラシーラという高名なインド人学僧により著された。内容は多岐に渡る。この種の著作を読むことは、インドやチベットの仏教研究を目指す者には欠かせない。講義は、基本的にテキストの読解である。原典を読む訓練をしていきたい。私が下訳を作り、それに基づいて、講義を進める。受講者は、出来るだけ、自分でも、訳してみたい。ペースは非常にゆっくりしたものにする。それ故、初心者にも負担は少ないと予想している。今年度は、時間論をテーマとする「三時の考察」章を読む。梵語原典、チベット語訳、現代語訳等出来るだけ多くの資料を用いる。

講義の内容/
授業スケジュール

適宜、議論の発端となった『俱舍論』等も参照したい。
第1-2回仏教論理学の意義、第3-5回『真理綱要』等の目次を通して、仏教論理学の実際のテーマを知る。第6-7回その他のテキスト、ダルマキールティのものや、サキャパンディタのもの目次を通して、仏教論理学のテーマを更に学ぶ、第8-9回実際に『真理綱要』の最終章を読んでみて、仏教論理学の記述に慣れる、第10-30回『真理綱要』『三時の考察』を読解する。原典で15ページ位なので、20回の講義で読み終わられる分量だと思われる。

準備学習
成績評価の方法
教科書/テキスト

特にないが、勿論、サンスクリット語やチベット語の知識があれば、ベターである。
講義中の平常点で評価する。
すべてコピーで配布する。

履修コード	001701
科目名	インド仏教史
担当者名	池田 練太郎

講義の到達目標(ねらい) インド仏教史を、単に仏教の歴史だけに限定して扱うことはできない。それは、思想や文化などさまざまな面と深く関連しつつ展開したものだからである。しかし、仏教学部には、インド仏教の思想史や文化史に関する科目も開講されている。したがって本講義は、インドの仏教の多様な側面も視野に含めながら、可能な限り歴史の面に主眼を置いて解説し、インドにおける仏教変遷の流れを把握することを目指したい。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は、おおむね以下のように進める予定である。
第1-2回：仏教成立以前のインド、第3-5回：ゴータマ・ブッダと仏教興起、第6-8回：初期の仏教教団、第9-12回：教団の分裂と部派の出現、第13-15回：マウリヤ王朝時代の仏教、第16-18回：部派仏教の展開、第19-21回：大乘仏教の興起、第22-24回：グプタ朝時代の仏教、第25-27回：グプタ朝分裂以後の仏教、第28回：パーラ王朝と密教、第29回：仏教の衰退、第30回：近代インドにおける仏教の復興

準備学習

授業を通して得た知識を、歴史の流れ全体の中に位置づけながら理解するよう、特に復習に力を入れること。

履修上の留意点

インド仏教の歴史に重点を置きつつ、仏教の思想や文化等さまざまな側面にも目を向けて、「仏教」を総合的にとらえる姿勢で臨んでほしい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。
佐々木教悟・高崎直道他著『仏教史概説 インド篇』（平楽寺書店）2,100円、ISBN 4-8313-0114-0

参考書

平川彰著『インド仏教史』上・下（春秋社）各2,940円、ISBN 4-393-11811-1、4-393-11812-X

履修コード	002001
科目名	中国仏教史
担当者名	吉村 誠

講義の到達目標(ねらい) 中国仏教の歴史を、仏教伝来から現代に至るまで概説する。中国は仏教という外来の思想・文化をどのように受容したのか。また、韓国や日本が手本とした中国独自の仏教はどのように形成されたのか。政治・社会・教理・信仰など、さまざまな角度から考察したい。

講義の内容／授業スケジュール (前期) (1) 仏教の中国伝播 (2) 後漢の仏教 (3) 魏晋の仏教 (4) 仏教受容の背景 (5) 五胡十六国の仏教 (6) 鳩摩羅什の翻訳 (7) 東晋の仏教 (8) 南朝の仏教 (9) 儒教・道教との交渉 (10) 北朝の仏教 (11) 諸学派の興起 (12) 隋の仏教 (13) 天台と三論 (14) 疑經の作成 (15) まとめ
(後期) (1) 唐の仏教 (2) 玄奘の翻訳 (3) 唯識と華嚴 (4) 律と密 (5) 浄土と禪 (6) 五代・十国の仏教 (7) 北宋の仏教 (8) 南宋の仏教 (9) 大蔵經の出版 (10) 遼・金・西夏の仏教 (11) 元の仏教 (12) 明の仏教 (13) 清の仏教 (14) 中華民国以後の仏教 (15) まとめ

履修上の留意点 授業は講義形式なので、ノートを準備すること。
成績評価の方法 出席状況と試験結果を総合して評価する。
教科書／テキスト 未定。初講時に指示する。
参考書 野上俊静・他『仏教史概説 中国篇』平楽寺書店
鎌田茂雄『中国仏教史』岩波全書
その他、授業中に随時紹介する。

履修コード	002201
科目名	日本仏教史
担当者名	飯塚 大展

講義の到達目標(ねらい) 日本仏教史の枠組みを概説する。
講義の内容／授業スケジュール (1) 日本において仏教がいかに受容されたのかを、時代の変遷と仏教の変容を中心に概説する。
(2) ①古代仏教史 (飛鳥・奈良・平安時代の仏教, 中世仏教への胎動, 1~12), ②中世仏教史 (中世仏教史の枠組, 顕密体制論, 黒衣白衣論, 顕密仏教の展開, 13~23), ③近世仏教史 (幕藩体制下の仏教, 寺檀制度, 各宗宗学の発達, 三教一致批判, 24~28)
④近代仏教史 (近代天皇制下の仏教, 29~30)

準備学習 日本仏教史に関する一般的な知識を前提とする。少なくとも松尾剛次『仏教入門』(岩波ジュニア新書)、末木文美士『日本仏教史』を読了して欲しい。

履修上の留意点 本講義専用のノートを準備すること。
成績評価の方法 三分の二以上の出席を前提とする。平常点 (30点配分) と期末試験 (70点) を以て評価する。
教科書／テキスト 教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
参考書 参考書は第二回日の講義及び各時代仏教史の概説の際に提示する。

仏教

履修コード	001801
科目名	パーリ仏教史
担当名	矢島 ^{やじま} ^{みちひこ} 道彦

講義の到達目標(わらい)

仏教はその淵源をたどれば、古代の東インドに胚胎した沙門系の宗教に由来しています。すでにブッダの在世中に教団はある程度大きく成長していましたが、その教線が飛躍的に拡大したのは、なんといってもマウリヤ王朝の第三代帝王アショーカ王の時代でした。このマウリヤ王朝期に、当時有力な部派の一つであった上座部系の仏教がスリランカに伝えられて、その後、タイ、カンボジア、ミャンマー、ラオスなどの諸地域にもたらされることとなりました。ここで「パーリ仏教史」というのは、地域的にはこうした南アジアや東南アジアの国々を中心として行われてきた、いわゆる上座〔部〕仏教(テーラヴァーダ仏教)の歴史という意味です。いずれもパーリ語聖典を所持しているという意味で、これらの地域に展開した仏教をパーリ仏教と呼ぶこともできるわけです。インド本土ではやがて仏教は滅びてしまいますが、周辺地域に広く伝えられて、かたや北伝の大乗仏教として、かたや南伝のテーラヴァーダ仏教として、大きく花開いていきました。幾多の消長を繰り返しながらも、今日にまで伝えられてきたテーラヴァーダ仏教の歴史を、ここではさまざまな角度から辿ってみたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) はじめに ～「パーリ仏教」のとらえ方～
- (2) 沙門系の諸宗教と仏教
- (3) 図像にみるブッダの生涯(スライド)
- (4) スリランカの古都を訪ねて(スライド)
- (5) ブッダの用いた言語とパーリ語
- (6) 繰り返される結集(聖典の編纂史)
- (7) 聖典と非聖典
- (8) 九分教とパーリ文学
- (9) 福田思想の歴史的展開
- (10) 出家教団と在家の人々
- (11) 出家の修道論と少欲知足
- (12) パリッタとはなにか
- (13) マヒンダ長老とマハーヴィハーラ派
- (14) アバヤギリ派と大乗仏教の影響
- (15) 仏歯をめぐる争いと法頭の報告
- (16) 学匠ブッダゴーサとその学統
- (17) 仏滅年代とスリランカの王統史
- (18) 密教の隆盛と伝統仏教の対抗
- (19) スリランカ仏教の苦難の歴史
- (20) ビルマの仏教①
- (21) " ②
- (22) タイの仏教①
- (23) " ②
- (24) カンボジアの仏教①
- (25) " ②
- (26) ラオスの仏教
- (27) その他諸地域におけるテーラヴァーダ仏教
- (28) 現代におけるテーラヴァーダ仏教①
- (29) " ②
- (30) まとめ

履修上の留意点

受講者数にもよりますが、一方的な講義ではなく、参加型の授業にしたいと思います。そのつもりで臨んで下さい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

平常点とレポート(または試験)によって総合的に評価します。
使用しません。
講義のなかで適宜紹介します。

履修コード	001901
科目名	チベット仏教史
担当者名	<small>あらい いつこう</small> 新井 一光

講義の到達目標(ねらい)

チベット仏教史をその知的学問的伝統に力点をおいて概説する。チベット仏教は、インド仏教の影響を直接的に受け、その原語から自国語に翻訳された仏典を有する点だけでなく、その仏教哲学がインド中観派の空思想を伝える点でも今日の仏教研究において極めて重要である。中国仏教との対蹠的なあり方も見られる。講義では、チベット語資料が伝える仏教を学び、加えて、歴史の多彩さを理解することを目的とする。また、チベット仏教の現状についても解説したい。

講義の内容／
授業スケジュール

講義のスケジュールは、ほぼ次の通りである。
1 オリエンテーション チベット仏教研究の意義、2 チベットと日本人、3 チベット建国神話、4-5 前伝期(吐蕃王国)における仏教、6-7 サムイェーの宗論、8 吐蕃王国の崩壊と仏教のゆくえ、9-10 後伝期 仏教の再興とアティシャの活躍、11 カダム派 弥勒の五法、12 中観派の流れ(自立派と帰謬派)、13 サキヤ派、14 カギュー派、15 ニンマ派・埋蔵書、16 チョナン派、20-28 ツォンカパとゲルク派

成績評価の方法
教科書/テキスト

年度末の試験により成績を評価する。

参 考 書

最初の授業において指示する。

山口瑞風『チベット』東京大学出版会、上巻、1987年、下巻、1988年。

松本史朗『チベット仏教哲学』大蔵出版、1997年。

その他、最初の授業において指示する。

履修コード	002101
科目名	朝鮮仏教史
担当者名	<small>いしい こうせい</small> 石井 公成

講義の到達目標(ねらい)

仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説し、インド、中国、日本、ベトナムなどの仏教との共通点と違いを考える。

講義の内容／
授業スケジュール

仏教伝来の状況と、朝鮮仏教の精華である新羅仏教の教理、禪宗の展開などをとりあげ、漢文資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。日本に残された漢文・古文の関連文献も活用する。本年度は、新たに発掘された百済仏教の遺跡や文献、一休禪師のように自在に活動して恋愛物語や漢詩を残した金時習、秀吉軍侵略時に奮戦した松雲惟政、日本の植民地支配時の近代化運動などに重点を置く。

履修上の留意点

仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくようにわかりやすく説明してゆく。ほとんど毎回、漢文文献を1行くらいづつあてて読んでもらうため、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢が必要となる。

成績評価の方法
教科書/テキスト

平常点および時々授業中に行なう小テストによる。

参 考 書

授業内容に応じて原文コピーや関連論文の一覧を配布する。

鎌田茂雄『朝鮮仏教史』(東京大学出版会) 3,990円

履修コード	002501
科目名	禅籍講読 I
担当者名	<small>てい せい</small> 程 正

講義の到達目標(ねらい)

禅籍特講 I は、中国初期禅宗の文献を適宜取り上げて講読し、それぞれの禅思想の特色を明らかにするものである。

講義の内容／
授業スケジュール

取り扱う禅宗文献は、主に初祖とされる菩提達磨から、五家の成立以前までのものとする。具体的には、まず禅籍全般(3~4回)について説明し、それから『二入四行論』(9~10回)『修心要論』(4~5回)『六祖壇経』(6~7回)などの禅籍を順次取り上げて、解題を行ってから、それぞれの思想的特色を講義していきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価にいれるので欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート(20点)、期末テスト(60点)、出欠点(20点)の三つを総合的に評価する。

教科書/テキスト

プリント配布。

参 考 書

適宜に紹介する。

履修コード	002601
科目名	禅籍講読Ⅱ
担当者名	晴山 俊英

講義の到達目標(ねらい) 修行生活の意義を読み解くことを通して、背景にある禅の思想を理解する。その中から、現代人として吸収できるものは吸収し、自分の人生をより豊かなものにされたい。

講義の内容／授業スケジュール 戒律・清規に関する曹洞宗の文献は多くあるが、本年度は『知事清規』を講読してみたい。
 第1回～第3回：講義の概要の説明・清規登場の意義と戒律・曹洞宗の文献
 第4回～第7回：語録にみる監院の悟りの契機
 第8回～第10回：語録にみる維那の悟りの契機
 第11回～第13回：語録にみる典座の悟りの契機
 第14回～第16回：語録にみる直歳(しゆくせい)の悟りの契機
 第17回～第18回：語録にみる小頭首(せうとうすい)の悟りの契機
 第19回～第20回：監院の職掌と心得
 第21回～第22回：維那の職掌と心得
 第23回～第24回：典座の職掌と心得
 第25回～第26回：直歳(しゆくせい)の職掌と心得
 第27回～最終回：禅宗寺院内の小頭首(せうとうすい)の職掌

履修上の留意点 回数はいくまで目安なので、講義の進行状況により多少ズレを生ずる可能性がある。
 成績評価の方法 価値観が現代とは大いに異なる部分もあるが、しっかりと見極め、振り回されないこと。
 期末試験の成績に出席点を加味して評価する。ただし出席を取っている最中に入室した者を出席とし、それ以外は特別の事由がない限り欠席扱いとする。また、公欠届け・忌引き・病気等による欠席については、事前・事後に、学生番号と氏名、欠席理由を明記した文書を提出すれば考慮の対象にする。また、電車の遅れによって遅刻をした場合、講義直後に遅延証明書を持参して申し出ること。

教科書／テキスト 適宜配布する。
 参 考 書 講義の中で適宜指示する。

履修コード	002701
科目名	禅籍講読Ⅲ
担当者名	岩永 正晴

講義の到達目標(ねらい) この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よってこの講義では『大智禪師偈頌』を講読する。入元(にゅうげん)経験もある大智禪師(だいちぜんじ) (1290-1366)の偈頌は多くの主題を詠み、形式・内容ともにすぐれたものとして広く読まれてきた。そこで各偈頌に考察を加え、大智禪師(だいちぜんじ)時代に捉えられた曹洞宗(そうとうしゆ)の宗旨について講じたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1回 授業の概要の説明
 第2回～第5回 『大智禪師偈頌』の解題(著者、成立、流布等の解説)。
 第6回以降 『大智禪師偈頌』の講読。

履修上の留意点 漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして、積極的に授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法 学年末に実施する試験(定期試験)と出席点によって成績評価を行う。

教科書／テキスト テキストはコピーしたものを配布する。

参 考 書 授業中(第2回～第5回)にリストを配布し紹介する。主なものとしては、来馬(らいま)琢道(たくどう)『大智禪師偈頌講話』、水野(みづの)弥穂子(やほこ)『日本の禅語録 大智』、石井(いしゐ)修道(しゆどう)『中国禅宗史話—真字』、『正法眼蔵』に学ぶ(ぜんぶん) (禅文化研究所)、竹貫(たけぬき)元勝(げんしょう)『日本禅宗史』(大蔵出版)、伊吹(いぶき)敦(あつ)『禅の歴史』(法蔵館)、鏡島(かがしま)元隆(げんりゆう)監修・曹洞宗(そうとうしゆ)宗学(しゆがく)研究所(けんきゅうしゆ)編『道元(だうげん)思想のあゆみ1』等が挙げられる。

履修コード	002901
科目名	仏典講読Ⅰ
担当者名	袴谷 憲昭

講義の到達目標(ねらい) 中国や日本における仏教の教義の基本となったものを学ぶため、玄奘訳『阿毘達磨俱舍論』『分別業品』を講読する。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 (1～5) 文献解題、(6～29) 文献講読、(30) まとめ

成績評価の方法 講読とは学生自身にテキストを読んでもらうことを意味する。必ず長時間予習してくることを心がけられたい。

教科書／テキスト 学年末の定期試験によって評価する。

参 考 書 大正大蔵経、第29巻、67頁中以下。

そ の 他 袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版) 2004年
舟橋一哉『俱舍論の原典研究 業品』(法蔵館) 1987年
適宜、必要な資料コピーを配布するが、再発行はしないので気をつけられたい。

履修コード	003001
科目名	仏典講読Ⅱ
担当者名	奥野 光賢

講義の到達目標(ねらい) 天台大師智顛述とされる『修習止観坐禅法要』(『天台小止観』)の講読を通じて天台止観、仏教の禅定思想を考察することを目標とする。『天台小止観』は中国や日本の禅宗の禅定思想を考える上で重要な著作であるのでしっかりと読んでいきたい。

講義の内容／授業スケジュール 開講初回と第2回目は天台大師智顛の伝記および天台教学一般に対する概説的説明を行う。かかる予備知識を得た上でただちに講読に入る。一応、下記のようなスケジュールを予定しているが、講読の速度をみながら、適宜修正を加えていくつもりである。

履修上の留意点 第1回～第2回、『天台小止観』と読むにあたって
第3回～第5回、具縁第一
第6回～第8回、呵欲第二
第9回～第11回、葉蓋第三
第12回～第14回、調和第四
第15回～第17回、方便行第五
第18回～第20回、正修行第六
第21回～第23回、善根発第七
第24回～第26回、覚知魔事第八
第27回～第30回、治病患第九・証果第十

成績評価の方法 予習をしっかりとなし、授業に主体的に参加することを望む。なお、受講希望者は開講初日にならず出席すること。受講者を確定した段階で講読テキストを配布する。

教科書／テキスト 出席状況もいくぶんかは勘案するが、あくまで基本は学年末試験である。受講希望者はその点をしっかり認識して、毎回の授業に臨んで欲しい。

参 考 書 関口真大『現代語訳天台小止観』(大東出版社)、また大正蔵経46巻 p462-473を各自コピーすること。
授業中に適宜紹介する。

履修コード	003101
科目名	仏典講読Ⅲ
担当者名	飯塚 大展

講義の到達目標(ねらい) 中世日本仏教の多様性を、特に鎌倉時代に生きた無住道暁の目を通して理解することを主眼とする。

講義の内容／授業スケジュール 概説(1)、無住の生涯(2)、『雑談集』『思老ノ述懐』の読解(3～8)、『沙石集』概説(9,10)、同巻1の読解(11～30)

履修上の留意点 本講義専用のノートを準備すること。

成績評価の方法 三分の二以上の出席を前提とする。平常点(30点配分)と期末試験(70点)を以て評価する。

教科書／テキスト 教科書は用いない。適宜プリントを配布する。

参 考 書 参考書は第二回目の講義(概説)において紹介する。以下に主要なものを挙げる。
『沙石集』(岩波古典文学大系)『沙石集』(新編日本古典文学全集、小学館)『雑談集』(中世の文学、三弥井書店)

仏教

履修コード	006301
科目名	仏教民俗学
担当者名	佐藤 憲昭 <small>サトウ のりあき</small>

講義の到達目標(ねらい) わが国で展開されている釈尊降誕会は、それ以前から存していた「春山入り」の行事と習合して、民衆のあいだに広く定着したと言われる。この例から知られるように、仏教がわが国に定着するに際しては、仏教と民俗とが習合している点に留意しておかなければならない。この講座では、仏教文化には教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあり、生活場面においては両者が提携し、複合化しているという事実を踏まえ、民俗仏教の意味と役割について教義仏教との関連のもとに考えてみたい。

講義の内容／授業スケジュール 次のテーマのもとに具体的に考察する。
第1～2回 仏教と民俗、第3～4回 宗教文化の捉え方、第5～6回 宗教的エリートとマス、第7～8回 日本人の宗教的志向性、第9～10回 教義仏教と民俗仏教、第11～12回 宗教的職能者の特質、第13～14回 教義仏教と民俗仏教とを媒介する僧侶の特質、第15～16回 仏教とアニミズム、第17～18回「仏」と「ホトケ」と「ほどけ」、第19～20回 葬祭、第21～22回 供養、第23～24回 祈祷、第25～26回 釈尊降誕会・涅槃会、第27～28回 盂蘭盆会・彼岸会、第29回 点眼式、第30回 総括。

履修上の留意点 出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法 学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。最終評価に際しては、出席点とレポート点(4年生のみ該当)とを加算する。4年生のみ提出のレポートは、次の通りである。〔課題〕仏教民俗学・宗教人類学に関する論文または書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕2000字。〔提出先と時期〕12月までの授業時に随時受けつける。〔その他〕ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は提出することが望ましい。なお、追試験は実施する。

教科書／テキスト 佐々木宏幹『仏力—生活仏教のダイナミズム—』春秋社
参 考 書 授業中に適宜紹介する。

履修コード	003301
科目名	宗教史
担当者名	長谷部 八朗 <small>ハセベ はちろう</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、日本宗教史を民衆宗教論の立場から考える。仏教を中心に、修験道、神道、キリスト教なども視野に入れて進める。

講義の内容／授業スケジュール 第1～3回：宗教史という学問の性格について、第4～7回：日本宗教史研究の成果と課題、第8～13回：民衆宗教史の時代相(古代)、第14～19回：民衆宗教史の時代相(中世)、第20～25回：民衆宗教史の時代相(近世)、第26～28回：民衆宗教史の時代相(近代)、第29～30回：まとめと補説

成績評価の方法 年度末の試験に、出席状況と授業時に数回書いてもらう予定の小論文を加味して総合評価する。

教科書／テキスト 使用しない。
参 考 書 授業の中で適宜紹介する。

履修コード	003401
科目名	日用經典
担当者名	飯塚 大展 <small>イイヅカ ひろのぶ</small>

講義の到達目標(ねらい) 前期は『般若心經和談抄』を読解し、後期は室町時代五山僧の註釈書『蕉了記』を通して『首楞嚴經』を読解することを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 『般若心經』の概説(註釈史概説、1～5)、『般若心經和談抄』(江戸時代版本)の読解(6～15)、『首楞嚴經』概説(16～18)『蕉了記』の読解(五山版について、五山における『首楞嚴經』の受容、19～30)。

履修上の留意点 本講義専用のノートを準備すること。
成績評価の方法 出席数及び小テストの平常点(30点配分)と期末試験(70点)を以て評価する。

教科書／テキスト 教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
参 考 書 参考書は第2回目の講義及び概説において紹介する。

履修コード	003801
科目名	インド仏教文化史
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰
頹にまつわる文化的トピックを論究する。

- ◎インド仏教文化史とは？(1～3) 日本人、日本文化と仏教
- ◎文化的側面より見たインド仏教とその展開(4～8) 他宗教と仏教の比較の視点から
- ◎仏教の起源と仏教出現の背景(8～15) 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自性

- ◎仏教の変容と展開(16～22) 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立
- ◎インド仏教文化史・むすび(23～)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
年度末試験などで総合的に判断する。
渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円
教場で適宜紹介する。

履修コード	003901
科目名	中国仏教文化史
担当者名	てい せい 程 正

講義の到達目標(ねらい)

インドで成立した仏教は中国に於いてどんな軌跡を描きながら受容され、そして自らのすがたを変えながら中国人の宗教として展開していったのか。こうした問題を意識しつつ、講義を進めていきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

ガイダンスを兼ねて、中国仏教文化のすがたとかたちについて考える。(6～7回)中国仏教史上における破仏、いわゆる「三武一宗」の法難について講義するとともに、『父母恩重経』をはじめとする中国で撰述された偽経も紹介し、これらの偽経の出現の文化史的意義を考える。(13～14回)仏典漢訳、写経、經典印刷、大蔵経の編纂など、いわゆる仏教經典に促された仏教文化の発達について考える。(9～10回)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

資料を沢山配布するので、専用ノート、あるいはファイルを用意すること。
レポート、出席、期末試験を総合して評価する。
プリント配布。
授業中適宜指示する。

履修コード	004001
科目名	日本仏教文化史
担当者名	はかまや のりあき 袴谷 憲昭

講義の到達目標(ねらい)

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) 仏教伝来以前の文化、(2) 文化構造の解釈、(3) 日本古来の文化、(4) 中国朝鮮の影響下の仏教文化、(5) 吳音漢音と文化、(6) 美術中の仏教観、(7) 自利利他の問題、(8) 太子信仰の背景、(9) 南部の学問仏教と民衆の文化、(10) 大仏建立の理念、(11) 学問仏教の実際、(12) 勧進聖と修験道、(13) 仏教と神祇信仰、(14) 日本独自の文化形成と仏教観、(15) 大乘戒壇の設立、(16) 一乗三乗の論争、(17) 密教と祈祷仏教、(18) 本覚思想の定着、(19) 中世の仏教信仰の確立と変容、(20) 浄土信仰の諸相、(21) 法華信仰の諸相、(22) 禅宗と五山文学、(23) 神仏習合の諸相、(24) 近世と近代の社会文化と仏教、(25) 鉄砲と吉利支丹、(26) 幕府の宗教政策、(27) 江戸文化と仏教、(28) 維新と廃仏毀釈、(29) 近代より現代へ、(30) 戦後と民主主義 以上を講義のかたわら、『妙貞問答』を講読する。

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

学年末の定期試験によって評価する。
袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版)2005年
袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版)2004年
必要講読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

仏教

履修コード	004101
科目名	外国語禪書講読
担当者名	ふるやま けんいち 古山 健一

講義の到達目標(ねらい) 外国人により、外国語で著された、禅思想を主題とした書籍を講読する。特に、この授業では、禅学を専門分野としない外国人の学僧ないし仏教研究者が著した書籍をとりあげてみたい。そのような書籍を読むことで、「禅」に対する理解を、より広い視野のもとに涵養していくことを期したい。

講義の内容／授業スケジュール 本年度は、W. ラーフラ『禅と牛飼い』(Walpola Rahula . Zen and the Taming of the Bull , Towards the Definition of Buddhist thought , essays . London : The Gordon Fraser Ltd. , 1978 . . ISBN: 0900406690、英語) をとりあげる。本書は、「禅」の基本原則ということについて、上座部(テーラワーダ) 仏教における禅定実践の体系と、 大乘仏教および禅の思想におけるそれとの間に比較を試みつつ論じた、ユニークな書である。

準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 本年は、前期において第1章「禅と牛飼い」(Zen and the Taming of the Bull) と第2章「西洋世界における仏教」(Buddhism in the Western world) を、後期において第3章「仏教の基本原則」(Fundamentals of Buddhism) と第4章「人間ブッダーその天性と宿命」(The Buudha on Man , his Nature and Destiny) を、それぞれ講読してゆきたい(時間に余裕が生まれれば続く章を講読する)。

特になし。 授業は演習形式で進めてゆくので、テキストの和訳(下訳)をおこなった上で授業に臨むこと。 授業への出席状況と学習意欲により評価する(定期試験は実施しない)。

英和辞典1冊(収録語数が十万語以上であるものが好ましい)。講読に用いるテキストは、プリントで配布する。

なお、講読予定の書籍は、駒澤大学図書館に蔵書があるので(請求記号: D294.3927/289)、予めテキストを見ておきたい場合は、これを利用すること。

参考書その他 初回の授業において指示する。 初回の授業で受講と成績評価についての説明をおこなうので、必ず出席すること。

履修コード	004201
科目名	インド仏教思想史
担当者名	まつもと しろう 松本 史朗

講義の到達目標(ねらい) インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。

講義の内容／授業スケジュール 講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(1~4) 仏教成立以前のインド思想(ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(5~12) 原始仏教の思想(縁起説・四諦説・無我説等)、(13) 部派仏教のアビダルマ哲学、(14~21) 大乘經典の思想(『般若経』『華嚴経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(22) 中観派の空思想、(23~26) 如来藏思想、(27) 瑜伽行派の唯識思想、(28) 仏教論理学の思想、(29/30) チベット仏教への導入

履修上の留意点 高度に思想的内容について講義し、厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。

成績評価の方法 教科書／テキスト 初回の授業には必ず出席すること。 年度末の試験により、成績を評価する。 早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

履修コード	004301
科目名	中国仏教思想史
担当者名	吉津 宜英

講義の到達目標(ねらい) 中国仏教思想史の目標を示すには、中国仏教史との違いを明らかにしなくてはなりません。学問は、何故という問い(問題意識)、何を(研究対象)、どのように(研究方法論)の三つの問いを中心に展開します。また「何を」の問いに関わることでありますが、事実を明らかにする事実判断と、研究対象の真偽、善悪や是非を決着する価値判断とを弁別しなくてはなりません。仏教史は事実判断に徹する歴史研究の成果が扱われます。それに対して、思想史は研究者、あるいは教授者の価値判断も無視できないのです。思想史とは何かをめぐっては哲学的な書物があります。単に過去の中国の仏教を扱うのではなく、講義を行う私自身の仏教観も問われるのです。また中国仏教が研究対象であり、しかも思想史ですから、中国の他の宗教や思想も仏教と対等な立場で扱い、それらの交流、対処、論争、融合などの様々な面を見てゆかなくてはなりません。そして思想史ですから、研究対象と、私自身の人生観・仏教観・思想が対峙し、緩やかに言えば相互に対話的に、厳しく言えば相互に論争的に研究が進められることとなります。皆さんは事実に中国とは全く異質な文化的背景の中で生まれたインド仏教が、中国の思想風土の中で、いかに中国仏教となっていくのかをまず学んで下さい。そしてそのような中国仏教に思想史的に関わるとは、どのような研究方法論になるのかという私自身の一つの研究モデルを考察していただきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール

前期の第1回目はガイダンスです。仏教伝来時代の中国の思想状況(2回目)。仏教の受容と仏教への批判(3,4回目)。大乘はなぜ中国ではメジャーになったのか(5,6回目)。神滅不滅の論争(7,8回目)。北魏の仏教と破仏(9,10回目)。北周の破仏の意義(11,12回目)。唐時代の三教交渉(13,14回)、玄奘の大翻訳の意義(15回目)。後期第1回目は禅宗を中国思想史の立場から論じます。宋代仏教と朱子学(2,3回目)。チベット仏教をどう考えるか(4,5回目)。明代の三教交渉(6,7回目)。清代の考証学と仏教(8,9回目)。清末から中華民国時代の革命思想と仏教(10,11回目)。15年戦争時代の中国仏教と日本仏教界の動向(12回目)。中華人民共和国の成立と仏教(13回目)。文化大革命と仏教(14回目)。現在の中国の宗教状況、特にイスラーム勢力の動向(15回)。これらの題目は大いに変更の可能性がありますが、私が少なくとも扱わなくては行けないと考えているものです。回数にも削減、増加が有り得ることを了解して下さい。

準備学習

世界史年表により、中国の王朝の交代の流れは確認して下さい。また高校で習ったレベルの中国史の大きな出来事はあらかじめ何らかの方法で認識する努力をお願いします。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に、自分の意見や疑問を書きとめ、年間を通して受講と自分の思索の軌跡が残るようにして欲しいのです。出来ればこの講義には世界史年表を携帯することを希望します。

成績評価の方法

出席を取ります。前期と後期に2回ずつ課題の提出を求めます。最後に期末テストを行います。それらを総合して評価します。

教科書／テキスト

テーマごとに随時資料を配布します。

参考書

講義の際にテーマに即して参考書や論文などを随時紹介します。

その他

私が講義している最中でも挙手して、質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。講義開始時間から30分過ぎている時は自主的に教場への入室はご遠慮下さい。

履修コード	004401
科目名	インド哲学史
担当者名	金沢 篤

講義の到達目標(ねらい) 仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

講義の内容／授業スケジュール

- ◎インド哲学史・序論(1~3) インド哲学史とは? インド哲学研究の方法論
- ◎ヒンドゥー教と仏教(4~15) ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の成立 ヒンドゥー教(ダルマと業理論)の概要 仏教の成立:仏教出現の意義
- ◎ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の変容と展開(16~20) 仏教哲学とバラモン哲学
- ◎インド哲学各論(21~) 正統バラモン哲学諸派
- ◎インド哲学・結び

履修上の留意点

日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教科書／テキスト

早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

参考書

講義の中で適宜紹介する。

履修コード	004501
科目名	禅学特講Ⅰ
担当者名	館 隆志

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、鎌倉時代の禅僧に焦点を当てて、日本禅宗史の理解を深めることを目的とする。鎌倉時代の主要な禅僧、栄西、道元、蘭溪道隆、円爾、兀庵普寧、無学祖元、孤雲懷奘、徹通義介、寒巖義尹、一山一寧など、曹洞宗や臨済宗と言った枠組みに捕らわれることなく取り上げて考察していく。また、考察する過程において、研究方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 禅僧が残した墨蹟や、当時の史料などを中心に、その伝記を考察していく。一人の禅僧に対して、2回から4回の講義を行い、鎌倉期の主要な禅僧の行実を概観することによって、鎌倉期の禅宗についての理解を深めることを目指す。

履修上の留意点 出席と授業態度を重視する。

成績評価の方法 出席状況と授業内に提出を求める課題、定期試験の結果を総合して評価する。

教科書／テキスト 講義時にプリントを配布する。

参考書 講義の中で適宜紹介する。

履修コード	004601
科目名	禅学特講Ⅱ
担当者名	海老澤 早苗

講義の到達目標(ねらい) 教義史と教団史に片寄っていた仏教史を、総合的に捉え直していこうとする試みの一つの視点として「女性と仏教」の問題があります。

本講義は、まず、「女性と仏教」に関する先行研究を精査し、現在の研究状況を把握する事を目指します。つまり、仏教教義が女性をどのように説いてきたのか、女性が仏教とどのように関わってきたのか、仏教教団にとって女性がどのような役割を果たしてきたのかを、先学達の業績に検討します。

また、それらの視点を以て、例えば日本中世における禅宗の展開を探求した場合、具体的にどのような女性達の姿が浮かび上がるのか、史料を読みながら考察し、今後の課題を明確にしていきたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール (1) イントロダクション(1)。(2) 先行研究の把握 ①仏教教義中の女性(2~6)②日本仏教と女性の信心(7~11)③日本仏教における女性の役割(12~16)④中国仏教における女性(17)。(3) 日本禅宗と女性 ①先行研究の把握(18~19)②曹洞宗と女性(20~24)③臨済宗と女性(25~29)(4) 中国禅宗と女性(30)。

履修上の留意点 日本仏教史・日本禅宗史・日本女性史等の成果や動向にも留意して下さい。

成績評価の方法 学年末のレポートを基本に、授業への参加態度を考慮し評価します。なお、受講者の人数により変更することもあります。

教科書／テキスト 教科書は使用しません。適宜プリントを配布します。

参考書 田上太秀『仏教と性差別』(東京書籍、1992)他、講義において随時紹介します。

履修コード	004701
科目名	禅学特講Ⅲ
担当者名	駒ヶ嶺 法子

講義の到達目標(ねらい) 江戸時代に成立し刊行された日本曹洞宗の僧伝に注目し、僧伝の編者による編纂の意図について論じます。その際、史料の検索や利用の方法についても紹介したいと考えています。

講義の内容／授業スケジュール 本講義で取り上げる僧伝は、『日域洞上諸祖伝』『統日域洞上諸祖伝』『重統日域洞上諸祖伝』『日本洞上聯燈録』です。これら僧伝の成立背景および編纂者の行状を概観し、『聯燈録』に収録されている僧伝を読みます。

(1) 講義の概説(2~4) 僧伝史料の成立とその背景(5~8) 三つの諸祖伝と聯燈録(9~16) 編纂者の行状(17~21) 史料読解に有効な参考資料(22~30)『聯燈録』巻七所収の僧伝より読み進めます。

※スケジュールはあくまで目安としてください。

履修上の留意点 関連資料・情報収集にともない、普段より図書館を利用していることが望ましいです。

成績評価の方法 出席状況と年数回のレポートと学年末のレポートで評価します。なお受講者の人数をみて変更することもあります。

教科書／テキスト プリントを配布します。

参考書 田中良昭編『禅学研究入門 第二版』(大東出版社)
『禅学大辞典』(大修館書店)
曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ』(吉川弘文館)
その他講義で随時紹介します。

履修コード	005001
科目名	仏教特講Ⅱ
担当者名	林 鳴宇

講義の到達目標(ねらい) 五代末期の中国天台教団に関する資料集である『宝雲振祖集』を解説する。
中国の五代末期において、北方の後周政権は、経済及び国家の統制を口実に、寺産を没収するなど大規模な廃仏運動を起こした。しかし、幸いなことに、主に江南に拠点を置く天台宗はその危難を免れ、呉越王の錢鏐一族の外護を得て、再興の時運を待つこととなった。
『宝雲振祖集』に掲載された資料を手がかりに、五代末期における天台宗の再興、他の仏教宗派への影響などを考察するのが、本講義のねらいである。

講義の内容／授業スケジュール 通期では、『宝雲振祖集』に記された諸資料の背景や内容などについて解説した上、講義する。
前期は、『宝雲振祖集』に記された諸資料の背景、すなわち中国の唐末五代の各仏教宗派の動向や社会の様相について講義する予定である。
後期は、『宝雲振祖集』に記された諸資料の内容を精読する予定である。

履修上の留意点 講義内容に関心を有し、且つ継続して講義に参加できる者を対象者とする。

成績評価の方法 課題レポートによって評価する。

教科書／テキスト 刊本『宝雲振祖集』のコピー及び関連資料を配布する。

参 考 書 『大正蔵』第四六冊所収『宝雲振祖集』(大蔵出版)
牧田諦亮『五代宗教史研究』(平楽寺書店)
林 鳴宇『宋代天台教学の研究』(山喜房仏書林)
その他の参考文献は、授業中に適宜紹介する。

履修コード	005101
科目名	仏教特講Ⅲ
担当者名	池田 道浩

講義の到達目標(ねらい) チベット仏教ゲルク派のジャムヤンシェーパ (1648-1722) の著した『大学説』の唯心章を講読する。
インド仏教瑜伽行派のテキストには極めて多くの難解な見解が述べられるが、瑣末で雑多な記述と、この上なく重要な見解が披瀝される個所とを峻別するのは困難な作業である。チベットの学説綱要書は、必ずしもインド仏教の実情を正確に叙述したものではないが、その視点は示唆に富んでおり、一見複雑な瑜伽行派の思想を正しく理解するためには不可欠の文献である。

講義の内容／授業スケジュール 使用するテキストについては初回に説明する。既に英訳も出版されているが、あまり便利なものではない。また、ツォンカバ (1357-1419) とチャンキャ (1717-1786) の著書は利用が容易であり、常に参照すべきである。

履修上の留意点 受講者はサンスクリット語とチベット語を既に履修した学生か、もしくは、今年度に履修し始める学生が望ましい。

成績評価の方法 平常点によって評価を行う。

参 考 書 講義中に随時紹介する。

履修コード	005201
科目名	仏教特講Ⅳ
担当者名	木村 誠司

講義の到達目標(ねらい) 過去のものも、未来のものも、現在のものと同じように、実在するという「三世実有説」は、説一切有部の著名な説である。一見奇妙な時間論である同説は、しかし、説得力のある動機に裏付けられたものである。
私より見れば、「三世実有説」は、これまで誤解されてきた。説一切有部を批判しようとする側の都合により、論点が微妙に変更された形跡がある。
従来の研究は、その変更を見逃したまま蓄積されてきた節がある。これは、まだ、仮説でしかないが、検証してみる価値は十分にあると思われる。
『俱舍論』等の基本文献から、丁寧に講読していきたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1-2回「三世実有説」再検討の意義。第3-30回『俱舍論』と出来る限りの注釈書を読んでいく。進むスピードは、受講者の状況による。急がず、じっくり講読する。テキストには、すべて和訳を付し、それを土台として検討するという方式を取る。

準 備 学 習 出来れば、梵語やチベット語の知識が必要であるが、授業は、テキストの下訳を付けて、それを土台にして行うので、その点に関して、特に問題はない。

履修上の留意点 出来る範囲でよいので、「三世実有説」関連の研究を見ておいてもらいたい。

成績評価の方法 講義中の平常点で評価するが、場合によりレポートを提出してもらおう。

教科書／テキスト そのつど、コピーで配布する。

履修コード	005301
科目名	原始仏教
担当者名	片山 一良

講義の到達目標(ねらい) 原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教も、あるいは上座部仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何かをパーリ仏典(原始仏教聖典)の言葉より明らかにしたい。また、教えの根幹をなす寂靜という「禪」に触れつつ、我々の身近な問題についても考えたいと思う。

講義の内容／授業スケジュール 前半は仏伝を紹介しつつ、教えの基本となる縁起・四聖諦について、後半はパーリ仏典を読みつつ、仏法について講じる。とくに前半は仏の伝統、波羅蜜行、誕生、苦行、成道、説法、入滅を概観し、後半は『転法輪経』『無我相経』などを読み、八正道、三学の実践を、さらにまた慈悲の教えをも見ることにしたい。

履修上の留意点 従来「仏教」に対する先入見を離れ、パーリ仏典(原始仏教聖典)を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法 レポート(夏期)および年度末テストによる。

教科書／テキスト とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

参考書 片山一良『ブッダのことは パーリ仏典入門』(大法輪閣)、『ダンマパダ 全詩解説』(大蔵出版)など。

履修コード	005401
科目名	真言学概論
担当者名	元山 公寿

講義の到達目標(ねらい) 真言密教の教理は弘法大師空海の思想を基本とします。本講義では、まず、その空海に影響を及ぼしたインド密教の展開や教理、中国密教の展開や教理を概観した上で、主として空海の主要な著作に見られる教理思想について概説をしていくとともに、弘法大師以降の教理的展開についても触れ、それによって真言密教の教理を理解することを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 第1回:密教とは何か、第2~11回:インド密教の発生と展開、第12~14回:中国への密教の受容と展開、第15回:前期のまとめ、第16回:日本への密教の受容、第17~25回:弘法大師空海の生涯と思想、第26~29回:空海以降の真言密教の展開、第30回:まとめ

準備学習 講義の時に紹介する参考書などに目を通しておけば、授業内容をより深く理解できます。

履修上の留意点 真言密教に限らず、さまざまな仏教思想に関心を持ってください。

成績評価の方法 学年末試験(5割)とレポート(5割)を基本に評価します。

教科書／テキスト 教科書は指定しません。

参考書 榊義孝・本多隆仁編『真言密教を探る』大正大学出版会、1900円、ISBN978-4-924297-60-9

履修コード	005601
科目名	浄土学概論
担当者名	小澤 憲珠

講義の到達目標(ねらい) インド以来の浄土教の歴史と思想を学習し、その中で日本における鎌倉新仏教の先駆をなした浄土宗の開祖法然(1133-1212)の浄土教の特色を理解する。

講義の内容／授業スケジュール 前期では、法然の浄土教の概略を示しながら、インドの浄土教を主に、後期では、法然に影響を与えた中国の浄土教、そして法然自身の思想について学習したい。第1回:浄土教とは何か、第2~3回:日本の浄土教と法然の浄土教の概説、第4~5回:インドにおける浄土教の起源、第6~10回:浄土を説く経典、第11~13回:竜樹(ナーガールジュナ)の浄土教、第14回:世親(ヴェスバンドゥ)の浄土教、第15回:小結、第16回:中国仏教と浄土教、第17回:慧遠(334~416)の浄土教、第18回:道綽(562~645)の浄土教、第19~20回:善導(613~682)の浄土教、第21回:奈良時代の浄土教、第22~24回:平安時代の浄土教、第25回:法然の生涯、第26~28回:法然の浄土教、第29回:法然以後の浄土教、第30回:総括。

履修上の留意点 毎回の授業でプリントを配布するので各自で整理しておくこと。

成績評価の方法 講義に積極的に参加し、4分の3以上の出席をした受講生を対象に、期末試験の結果で評価する。

参考書 講談社『浄土仏教の思想』

履修コード	005801
科目名	神道概説
担当者名	<small>にしおか みずのこ</small> 西岡 和彦

講義の到達目標(ねらい) 日本¹の基層宗教である神道(しんとう)を、身近な出来事から歴史的な問題まで概観する中で、受講生の皆さんは、仏教との共通点や相違点などを出来るだけ多く見つけ出し、それらを自身の問題に引きつけて考えられるようになることを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：神社とは何か、第2回：神社の施設、第3回：神社の社格、第4回：神社の祭神、第5～7回：神社の祭祀、第8回：日本のお祭り(ビデオ)、第9～15回：各地の名社、第16・17回：司祭者、第18～20回：宮中祭祀、第21・22回：神道の書物、第23～27回：日本の神話、第28回：神道の歴史観、第29回：神道と日本語、第30回：祭祀遺跡

準備学習 参考書や神道に関する書物を何か一冊購入して、読んでおいてほしい。

履修上の留意点 日頃から神道と仏教の共通点や相違点、また神社や日本の神々について考えておいてほしい。

成績評価の方法 夏休み前と年明けに試験(披見可-配付プリントのみ)を行います(7割)。それと授業内で提出を求める課題を数回行います(3割)。総合評価の際、出席状況等も勘案します。

教科書／テキスト 教科書は指定しません。授業時にプリントを配付しますので、それをファイルなどとしておいて、試験などに活用して下さい。

参考書 (1) 神社本庁研修所編『わかりやすい神道の歴史』(神社新報社) 1800円
(2) 兵庫県神社庁編『神道と日本文化(新装版)』(戎光祥出版) 1600円

履修コード	006001
科目名	宗教哲学
担当者名	<small>かわたに むつし</small> 河谷 淳

講義の到達目標(ねらい) 宗教(religion)が「信じる」ことであり、哲学(philosophy)が「知を愛する」ことであって場合によっては既存の世界観を「疑う」ことであるとすれば、両者は互いに対立するように見えるかもしれない。だが、古代ギリシア以来の西洋思想史を概観してみるならばそうした理解は必ずしも正しいとは言えない。宗教哲学とはそうした信と知が交錯する地点に位置づけることができるようなものである。

授業では主に西洋の宗教哲学(とりわけキリスト教的哲学)を題材として取り上げはするものの、特定の宗教の教義についての解説を目指すわけではなく、「信じる」という人間の営みがどのような地平において成立しているのかについて哲学の側から考えることを主要な目的とする。西洋哲学史の概略や基本的な哲学用語についても理解を深めてもらえるよう配慮したい。

講義の内容／授業スケジュール 序論(1,2)、神話と哲学：ギリシア神話と哲学の始まりとしてのギリシア哲学(3-7)、信念形成と合理性：テルトゥリアヌス・「パスカルの賭」(8-11)、神義論：完全善の神とこの世の悪とは両立するか(12-15)、神の存在証明：宇宙論的証明・目的論的証明・存在論的証明(16-22)、倫理と宗教の相補的關係：カント倫理学と宗教哲学(23-26)、「天使」の哲学：天使の存在可能性と心の独立存在可能性(27-29)、まとめ(30)

成績評価の方法 中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに出席状況の総合点で評価する。

教科書／テキスト 上枝美典『「神」という謎-宗教哲学入門-』[第2版]、世界思想社

履修コード	006101
科目名	禅美術
担当者名	<small>むらまつ てんぶん</small> 村松 哲文

講義の到達目標(ねらい) 禅宗では、はじめ偶像を崇拜せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画などが制作されることはなかったが、宋代になると僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが宮廷の庇護を受けるなどして職業画家まで出現するようになる。描かれた題材は、山水・花鳥・祖師などで、これらを総称して禅絵画という。日本では、留学僧によって鎌倉時代に禅絵画が伝わり、ついには日本独自の水墨画を完成させた。

本講義では、絵画を中心に話を進めるが、彫刻や墨蹟、庭園などについても触れてゆきたい。そして、作品に見え隠れする制作者の宗教性と美意識を考察したい。

講義の内容／授業スケジュール 講義ガイダンスと宋代の社会と仏教(1～3)、北宋の絵画(4～7)、南宋の絵画(8～11)、元の絵画(12～15)、鎌倉時代の絵画(16～19)、室町時代の絵画(20～23)、枯山水の庭園(24～25)、頂相彫刻(26～28)、禅宗の建築と美意識(29～30)

履修上の留意点 講義内容を留めるのみならず、講義の際に映すスライドなどもしっかり観察すること。また美術館・博物館に行き、実物を観察する機会を多くつくること。

成績評価の方法 定期試験、出席率、レポートなどで総合的に評価する。

教科書／テキスト プリントを配布する。

参考書 参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

仏教

履修コード	006201
科目名	仏教美術
担当者名	村松 哲文

講義の到達目標(ねらい)	日本における仏像の歴史について、信仰的な背景と照らし合わせながら概観する。一つの尊像が時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。 本年度は、「仏像の種類別」に考察を進め、同じ種類の仏像でも時代によって形が変化する過程を見極めていく。 また本講義では、仏像から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合Ⅰ(3) 仏教と芸術」で講義し、鎌倉時代以降の絵画については「禅美術」で講義する。
講義の内容／授業スケジュール	〔前期〕 仏像鑑賞の基礎 (1～5)、釈迦如来 (6～8)、阿弥陀如来 (9～11)、薬師如来 (12～15) 〔後期〕 観音菩薩 (16～18)、弥勒菩薩 (19～21)、文殊菩薩 (22～24)、地藏菩薩 (25～27)、仏教美術の荘嚴 (28～30) 以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。
履修上の留意点	美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。 プリントを配布する。 参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

履修コード	006451
科目名	教化法
担当者名	熊本 英人

講義の到達目標(ねらい)	この講座は、仏教における伝道、教化の方法を習得するためのものではない。仏教の伝道の歴史や、その受容、問題点などを見ることで、仏教伝道の意味を考え、さらには、現代日本の僧侶や寺院のあり方について考えるためのものである。
講義の内容／授業スケジュール	次の5つのテーマに分けて、仏教の教えがいかに伝えられ、またそこにおいていかに変容していったかを見る。あわせて、現代の仏教寺院の活動やその直面する問題についても考えたい。 1. ブッダの生涯と仏教の成立 2. お経と仏像の登場 3. ブッダの前世の物語 4. 説話と仏教 5. 仏教と芸能
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	実習科目ではなく、借籍の有無も問わない。 適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。 テキストおよび参考資料は、必要に応じてコピーで配布する。 講義の中で随時紹介する。

履修コード	006601
科目名	青少年問題研究
担当者名	讃岐 真佐子

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不適応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体の症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人になっていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもち、どのような人と出会えるかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 導入：この一年間の講義の進め方について
- (2～3) 現代の青少年が抱える「諸問題」の特徴、及び「問題」の二面性をめぐって
- (4) カウンセリングの定義、そして「ことばの多義性」について
- (5～15) 様々な観点から、不登校、友人関係（いじめ）、少年非行などのテーマについて学ぶ
- (16～19) 人間の誕生から青年期に至るまでの心の発達の諸相
- (20～25) いくつかの症状（対人恐怖、ひきこもり、身体症状等）について、事例と共に学ぶ
- (26～30) 人間の心の健康に関する諸知識

・ただし上記内容は、その時の授業の流れや重点の置き方によって前後することもある。またビデオ視聴も用いる予定。

履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況（授業態度を含む）も重視する。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席状況、筆記試験、夏休みレポート、受講態度

必要な資料は適宜配布する。

岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）

河合隼雄著『カウンセリングを語る（上下）』（講談社の+α文庫 または 創元社）

河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）

河合隼雄著『日本人の心のゆくえ』（岩波書店）

河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（檢出版）

河合隼雄著『子どもの宇宙』（岩波新書386）

小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2（金子書店）

季刊『仏教——特集癒し』No.31（法蔵館）

履修コード	006701
科目名	青少年指導演習
担当者名	西村 寛子

講義の到達目標(ねらい)

青少年への理解とその指導について、体験を通して実習を柱に学んでいく。その基となる基礎的な知識、学習と共に、人間関係の基となるコミュニケーションスキルが身に備わるよう、実習を通し取り組んでいく。

講義の内容／
授業スケジュール

《前期》

- 1. 体験を通して学ぶ意味について
- 2. 青少年へのかかわり、指導とは—自らの体とところをほぐし、関わり易い環境づくりの実習
- 3. 実習を通して、自己理解を促進し指導・援助の基礎を学ぶ
- 4. 青少年期を発達的に概観して学ぶ。

《後期》

- 5. 話を聴く意味と実習
- 6. カウンセリングマインドを学ぶ—積極的関心や共感等について
- 7. 「私」のものがたりを理解していく
- 8. 事例を通して学ぶ—不登校、いじめ、反社会的行動等
- 9. まとめ

履修上の留意点

演習、実習を多く取り入れていく参加型の授業であるので、参加していく気持ちが重要である。毎回質問や感想を〔メモ用紙に〕記入提出してもらい、相互的な授業を行っていく。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

出席状況、夏休み前、期末の年2回のレポート。

必要な資料はプリントで配布する。

河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）

河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）

河合隼雄『昔話の深層』（福音館書店）

山下一夫『カウンセリングの知と心』（日本評論社）

仏教

履修コード	006901
科目名	現代哲学概説
担当者名	久保 陽一 <small>くほ よういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代の哲学は、おおむね、近代の哲学をもとに、或るものはそれを継承し、徹底させ、他のものはそれを批判し、克服しようとしている。そこで、近代の哲学の歩みをその大筋において捉え、それに対する現代の諸々の考え方を取り上げることとする。

講義の内容／授業スケジュール (前期) 近代哲学 (デカルトからカント、ヘーゲルまで)
(後期) マルクス主義、分析哲学、ハイデッガーなど

履修上の留意点 ノートをよく取ると同時に、自分の問題に引きつけて考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法 出席数、試験(前期と後期)、レポートによって評価する。

教科書／テキスト 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円
渡辺二郎『現代の哲学』(日本放送出版協会) 1,800円
久保陽一『ドイツ観念論への招待』(日本放送出版協会) 2,800円
久保陽一『生と認識』(知泉書館)

履修コード	007001
科目名	外国語仏書講読
担当者名	木村 誠司 <small>きむら せいじ</small>

講義の到達目標(ねらい) 特に仏教論理学関連のものを読む。仏教論理学は、一般的な仏教学習とは、関わりが薄いように思われ、敬遠されがちである。しかし、無視出来ない分野である。中国や日本の仏教を理解するためにも、必要である。異質な仏教を知ること、かえって、自分の学んでいる仏教の本質が見えてくることもある。

講義の内容／授業スケジュール 第1-3回 仏教論理学の意義。第4-15回 シチェルバツキーの Buddhist Logic を読み、仏教論理学の基本的概念を学ぶ。第16-30回 ムケルジー、スタール、ルエッグ等の研究を読み、様々な角度から仏教論理学を見る。

履修上の留意点 講義の性質上、受講者に訳してもらおう。

成績評価の方法 講義中の平常点で評価する。

教科書／テキスト すべてコピーで配布する。

履修コード	007101
科目名	宗教教育
担当者名	こやま かずのり 小山 一乗

講義の到達目標(ねらい)

用語「宗教教育」の教授概念には現今、宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派信仰教育、対宗教安全教育、宗教的寛容教育の五があり、論者は、先入観的に、いずれか一の義で解釈し、他は棄却してしまっているという傾向が重大問題としてある。当事態を解説・講義する。当事態の史的背景にある宗教教育改革を企図する対日米国占領政策のねらいに、米国流の宗教教育施策があったこと、また、日本国憲法20条の規定不備や教育基本法9条の補充規定の不徹底に起因する事後の紆余曲折事態が宗教教育論を迷走させた経緯を解説し講義をする。さらに新「教育基本法」の改正点について講義をする。その上で、あらためて「宗教の定義」の諸相を概観する。関係法規は宗教の定義を他に委ねている。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるという狭義の宗教教育を構想する講義ではない。端的には自覚的寛容の態度育成の方途を構想する。種々の宗教と称されている現象事例を取り上げる。

具体的には、身振り・音声・文字等の各教材、マルチメディア等を用いて、様々な題材を取りあげる。いわゆる神仏習合を彷彿とさせる広義の伊勢音頭、各地の民謡、歌謡曲、唱歌、数え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象を観る。日常の実際生活の深層・表層面で、宗教的事柄が隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成に関与している諸相を考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

予定は、前期では、(1～2回)用語「宗教教育」の教授概念5類型、(3～4回)宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解、(5～6回)学校教育法にみえる用語考「目的-目標」、「判断力批判力」、「選択-決定」、(7～8回)教育観の分類:「開発-注入」「本覚-始覚」、(9～10回)「宗教の様々な分類」、「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒、(11回)日本国憲法・教育基本法・初期社会科学習指導要領の相互補充関係(旧教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証)、(12～13回)対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実宗教教育と宗教科教育(教育職員免許法に規定)との差異検討(←だれでもの国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用論)後期は、(14回)命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法と精神』)考、世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、(15回)比較法各国の宗教教育、(16回)これからの宗教教育の教授概念検討(不均衡是正)政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項教授概念論議、「何を教えることができるのか」の肯定的事項、(17～18回)シェフラーの教授概念検討(意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非-行動的解釈、事実に言明文・規範的言明文、(19～27回)宗教教育の指導計画(児童生徒の疑問態、国内外の種々の歌、種々の年中行事(節分、雛祭り、七夕など)、合格祈願、日常用語になった仏教用語(挨拶・会釈・我慢・玄閑・工夫・覚悟・油断・娑婆等)、医療現場のターミナル・ケア等、通過儀礼(入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等)等考察、(28～29回)自由討議(これからの宗教教育のあり方)、(30回)まとめ

履修上の留意点

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教場の一時的移動指示掲示に注意すること。宗教学、宗教人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非すすめたい。レポート(夏季休暇後及び学年末提出、その他中間で適宜にレポート提出を求める)を基本に評価する。出席も尊重する。

成績評価の方法

教科書/テキスト

教材は適宜プリントを配布する。

参 考 書

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』(大法輪閣、¥1,600)

そ の 他

講義形式で実施する。資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業にて。

仏教

履修コード	007201
科目名	宗教法概説
担当者名	村上 興匡

講義の到達目標(ねらい) 信教の自由によってどんな宗教を信じるかということが個人の権利として認められている一方、宗教団体は社会の中で一定の公的な責任を果たすべきだとされる。オウム真理教事件をきっかけとして、その責任をより果たすよう宗教法人法が改正された。ここ数年の公益法人制度見直し論でも、宗教法人は無関係であるとはいえない。

講義の内容／授業スケジュール こうした宗教をめぐる法的環境の変化の背景には、日本人の宗教に対する意識やつきあい方の変化が存在している。法律の条文の解釈に終始するのではなく、宗教と法制度についての基礎的な考え方について学ぶとともに、背景となる社会変化と宗教との関係に踏み込んで考察する。講義だけでなくビデオ映像などをできるだけ利用したい。

成績評価の方法 背景となる近代以降の社会変化について目配りしながら、できるだけ具体的な事件、裁判等についてみること、信教の自由、政教分離、宗教団体の公益性等、幅広く宗教と法律とをめぐら問題についての基本的な考え方について学ぶ。

教科書／テキスト 前期は、明治以降の社会変動と日本人の宗教行動・意識の変容を扱いながら、憲法における宗教の扱い、宗教法人、宗教法人法の枠組みについて学ぶ。

参考書 後期は、海外との法制度における宗教・宗教団体の扱いの相違、信教の自由、政教分離の具体的な裁判・問題を扱う。

試験とレポート。授業時に数回ミニレポートを課し、評価の一部に加える。

授業の中で、適宜、プリントを配布する。

授業の中で、適宜紹介する。

履修コード	007301
科目名	キリスト教概論
担当者名	土居 由美

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、仏教・イスラームと共に世界三大宗教の一つに位置付けられるキリスト教について、その聖典である旧・新約聖書を軸としつつ、歴史・風土・文化的側面なども踏まえながら、多様な側面から学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール 概ね以下の内容を扱う。尚、各講義に用いる時間数は、毎回の授業の状況に応じて調整してゆく予定。

[前期]

1. 導入・アンケート、2. 授業の方法(宗教学的方法・神学的方法について) 3. 一神教とキリスト教、4. 旧約聖書(成立・構成・歴史・風土)、5. 旧約聖書(基本的世界観・神観・人間観/3回程度を予定)、6. 旧約聖書(モーセ五書と律法/数回を予定)、7. 旧約聖書(預言者(書))、8. 旧約聖書(諸書/2回程度を予定)

[後期]

1. 導入・新約聖書(成立・構成)、2. 新約聖書(ナザレのイエスの登場・背景)、3. 新約聖書(イエスの活動と思想/マルコ福音書/2回程度を予定)、4. 新約聖書(イエスの思想と活動/マタイ福音書・ルカ福音書3回程度を予定)、5. 新約聖書(イエスの活動と思想/ヨハネ福音書・ヨハネ文書/2回程度を予定)、6. 新約聖書(原始キリスト教の形成/使徒言行録)、7. 新約聖書(原始キリスト教の形成/パウロの書簡/2回程度を予定)、8. その他の文書(黙示録等)

履修上の留意点 講義は、適宜視聴覚教材なども用いながら進め、また、リアクションペーパーを用いて、授業への質問やコメントを提出する機会を設ける予定。従って、毎回の講義への積極的な取り組みが進められる。

成績評価の方法 以下の割合で総合的に評価する(出席30%、授業へのコメント10%、学年末のレポート60%)

教科書／テキスト 特に用いない。授業中にプリントを配布する。

参考書 講義内容に応じて、適宜授業中に指示する。

履修コード	007401
科目名	中国哲学史
担当者名	前川 亨

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

東アジア世界において重要な精神的地位を占める中国の哲学・思想・宗教について概観する。
本年度は宋代から近代までの時代を取り扱う。昨年度取り扱った、宋代以前の時代とは大きく異なる思想世界がそこには広がっている。ここでの隠れたキーワードは「近代とは何か」ということになるであろう。現在の中国にヨリ接近した時代でありながら、一般には必ずしもよく知られていない宋代以降の思想史を、東アジア全体の視野の中で討究していききたい。講義の具体的な内容としては以下のものを予定している。

- ・宋代以降の思想史を学ぶために（唐宋変革の問題の思想史的意義）
- ・唐代の文化概説
- ・新しい時代への胎動（士大夫階層の出現）
- ・宋代禅宗の動向（大慧宗杲の位置）
- ・新儒教の萌芽
- ・北宋五子
- ・朱熹の思想（存在論・人間論＝倫理学・修養論）
- ・陸象山の思想
- ・王陽明の思想
- ・王学左派
- ・明代の文化
- ・明末清初
- ・清朝考証学
- ・清末の思想動向
- ・宗教反乱
- ・洋務運動から革命へ
- ・辛亥革命の思想
- ・新文化運動と五四運動

それぞれについてどの程度時間を割くかは、受講者の関心なども考慮しながら決める。また、場合によってはこのうちの幾つかを省略することもある。

履修上の留意点

受講生には継続的な出席と積極的な参加を求める。継続して出席する意志のない者、出席しても授業を集中して聴く意志のない者の受講は認めない。

成績評価の方法

本年度は試験を実施する予定であるが、受講者数が少ない（目安として10人以下）の場合には平常点とレポートに切りかえるかも知れない。いずれにしても出席はとり、出席回数の足りない学生には試験受験もしくはレポート提出の資格を与えない。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

特に必要としない。

授業中に適宜紹介する。

できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を徹しながら進めていくので、質問には積極的に応答してもらいたい。中国（東アジア）の社会・文化・宗教など様々な方面に関心をもつ諸君の受講を期待する。

履修コード	007411
科目名	日本哲学史
担当者名	久保 陽一

講義の到達目標(ねらい)

「哲学」は明治初めに西洋から導入されたが、その際日本の伝統的思想との関連が問題にされた。福澤や西は儒教を批判し、自由・平等・法治国家の理念、科学技術などを欧米から摂取しようとした。しかし新渡戸、鈴木、九鬼、和辻などは西洋とは異なる日本独自の精神（武士道、「日本的靈性」、「いき」など）を強調するようになった。最近「グローバル化」と「文明の多元化」が語られる状況の中で、日本の哲学があらためて問い直され、例えば西田哲学なども様々に論議されている。そこで近代日本の代表的な哲学の思想を紹介し、その流れを捉えることにしたい。

福澤諭吉、西周、内村鑑三、新渡戸稲造、井上哲次郎、井上円了、西田幾太郎、鈴木大拙、和辻哲郎、九鬼周造、三木清、戸坂潤、丸山真男を取り上げ、彼らが日本の近代化にどのように関わり、西洋哲学との関連でどのように独自の思索を展開したか、またそれは今日どのような意味を持つかを考えることにする。

履修上の留意点

講義を手掛かりに、自分でさらに原典や参考文献を読むことが望ましい。

成績評価の方法

試験（前期と後期）と出席によって評価する。

教科書/テキスト

個々の哲学者の文章を資料として配布する。

参 考 書

開講時に指示する。

履修コード	007511
科目名	漢詩作法
担当者名	須山 ^{すやま} 長治 ^{ちやうじ}

講義の到達目標(ねらい) 漢詩を学習してゆく。中国では、詩は志の之く所なり、といわれる。ものに感じて心が動き、志となったものを言葉にあらわす、すばらしい世界である。古代中国の詩がどういったものであり、それがどのような時代を経て、李白や杜甫といった唐代の詩人たちの作品になっていくか。多くの詩を鑑賞しながら、一般的な知識(文学史や韻・平仄等)も確認してゆき、一年をかけて詩が「言志」といわれる所以を考察していきたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、①②導入・漢詩全般について。③～⑤詩経。⑥⑦楚辞。⑧⑨戦国時代の詩。⑩～⑫漢の時代の詩。⑬～⑮三国時代の詩。後期は、①②魏志倭人伝。③～⑤魏晋南北朝の詩。⑥唐詩全般。⑦⑧初唐の詩。⑨⑩盛唐の詩。⑪⑫中唐の詩。⑬⑭晚唐の詩。⑮まとめ。以上の、中国の壮大な詩の流れを学習する。具体的には『詩経』『楚辞』『文選』『玉台新詠』から選び、『三体詩』や『唐詩選』を使って講義を進めてゆく。いずれも鑑賞が主となるが、漢詩の細かい作法をもとに作詩にも言及したい。

履修上の留意点 積極的にノートをとる姿勢を求める。

成績評価の方法 漢和辞典を持参すること。
 教科書／テキスト 出席を重視し、学年末のレポート提出によって評価する。
 参考書 プリントを配布する。
 『三体詩』一～四 村上哲見 中国古典選 朝日新聞社
 『唐詩選』上中下 前野直彬 岩波文庫
 その他、講義中その都度紹介する。

履修コード	007601
科目名	哲学概説
担当者名	杉田 ^{すぎた} 正樹 ^{まさき}

講義の到達目標(ねらい) 哲学の基本的な考え方を概説し、また哲学のおおまかな歴史を通覧して、哲学の全体像をつかむことを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 前期の講義を踏まえて、後期ではわれわれが生きる現代という時代を哲学の観点から考える。これによって現代固有の問題と、歴史を通じて変わらない問題を見ることになる。

(1) はじめに、哲学入門への入門、(2、3) 人生観、世界観と哲学、(4～6) 哲学の分野と方法、(7、8) 東洋の知恵、(9～11) 古代哲学から中世哲学へ、(12、13) 近代哲学、(14) 存在と知識、(15) まとめ (16) はじめに、現代という時代、(17～19) 科学・技術と自然、(20～22) 内面性の問題、(23) 善と悪、(24) 苦悩について、(25、26) 情念の問題、(27) 死と生、(28) 歴史について、(29) 宗教について、(30) まとめ

履修上の留意点 テキストを読んでおくことを前提として、教室では議論をすることにしたい。また、課題図書を指定し、それについても議論する。レポートの書き方も指導する予定である。

成績評価の方法 学期末に試験をするか、あるいはレポートを課す。また、出席も考慮する。
 教科書／テキスト 渡辺二郎『はじめて学ぶ哲学』2005年刊、ちくま学芸文庫(筑摩書房)1,260円、ISBN-10:4480089055

履修コード	007801
科目名	書道
担当者名	綾部 ^{あやべ} 宏行 ^{ひろゆき}

講義の到達目標(ねらい) 「書道」は素晴らしい東洋文化である。文学であり美学であり、「道」としての精神性も求められる。その「書道」を、講義と実習により追求してゆく。

講義の内容／授業スケジュール -前期-
 1. 書道入門 2. 自分の名前を書こう(全員に手本を書きます) 3. 行書入門
 4. 草書入門 5. 楷書入門 6. 実用書入門
 -後期-
 1. 王羲之を学ぼう 2. 顔真卿を学ぼう 3. 空海を学ぼう 4. 墨跡を学ぼう
 5. 書と禅 6. 書道史と書論

履修上の留意点 実習科目であるので、半紙が書ける程度の道具を準備されたい。(道具は手持ちのものでかまいません。また初回に丁寧に説明しますので、ない者でも大丈夫です。)

成績評価の方法 成績は、提出物(書作品)や、レポート、出席等の平常点等を勘案して評価する。
 教科書／テキスト 特にテキストはなし。
 その他 本講座では必ずしも上手な書のみを期待しない。自分なりに味わいのある書を心がけて欲しい。

履修コード	007901
科目名	サンスクリット語初級
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤

講義の到達目標(ねらい) 仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容／授業スケジュール 定評ある下記の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

- ◎サンスクリットとは？(1～3)
- ◎サンスクリット文法の概容(4～10) 文字・音論・曲用・活用などの基礎的文法事項を学ぶ
- ◎サンスクリット文法の実践的学習(11～20) 短文からなる練習問題を用いてサンスクリット文法の理解に徹する
- ◎サンスクリット文法知識の実際の活用(20～) 『ヒトーパーデーシャ』などの物語からの撰文を用いて実際の知識を習得する

履修上の留意点 予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法 平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書／テキスト J・ゴンドラ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)

参考書 辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

履修コード	008001
科目名	サンスクリット語上級
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤

講義の到達目標(ねらい) 仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。

講義の内容／授業スケジュール 定評ある下記の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際の力を養う。演習形式。

- ◎インド古典語とサンスクリット(1～2) サンスクリット文法とインドの種々文字
- ◎「ナラ王物語」(『マハーバータ』のサンスクリット文)の講読(3～) 輪読形式で文法的事項に配慮しつつとにかく読み進める
- ◎「ヒトーパーデーシャ」(サンスクリット散文)の講読

履修上の留意点 サンスクリット語初級程度の修了者であることが望ましい。

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

教科書／テキスト ランマン著『サンスクリット読本』(Charles R.Lanman, A Sanskrit Reader) OUP

参考書 辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

履修コード	008101
科目名	パーリ語初級
担当者名	かたやま いちろう 片山 一良

講義の到達目標(ねらい) パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。パーリ語文法の確実な習得につとめ、仏典の正しい読解をめざしたい。

講義の内容／授業スケジュール 前半は文法全体について講義し、後半は中部第62『大ラーフラ教誡経』(Mahā-Rāhulovāda-sutta)を講読する。

履修上の留意点 一歩、一歩、習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法 年度末テスト、および平常点による。

教科書／テキスト とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

参考書 水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

その他 随時、テープ等を使用する。

履修コード	008201
科目名	パーリ語上級
担当者名	古山 健一

講義の到達目標(ねらい) 1. パーリ語の文法及び語彙についての高度な知識を身につけ、インド仏教研究ないしパーリ伝統仏教の理解に不可欠な、パーリ注釈文献の読解力を養う。
2. 読解に用いるパーリ文テキストに、ローマ字本以外のテキスト(特にミャンマー第6回結集版)をも使用し、異字本の参照能力を身に付ける。

講義の内容／授業スケジュール 前期及び後期前半は、「1」ミャンマー(ビルマ)文字による第6回結集版の正しいローマナイズのしかた、「2」パーリ語の音韻規則・連声法、接尾辞、格の用法、複合語、構文法について学習する。
後期後半は、「3」文献の読解を通して上級文法を実践的に習得することに力を置く。読解するテキストには、H.C.Norman校訂のパーリ文献協会(PTS)版およびミャンマー第6回結集版による、『ダンマパダ(法句)』の註釈書『ダンマパダ・アッタカター』(第5章「愚者の章註」以下)の物語を用いる予定である。

準備学習 受講にあたっては、パーリ語初級が履修済み、または、これに相当する学習経験を有していることが望ましい。

履修上の留意点 毎回の授業の学習事項を復習することを常に心がけること。文献の読解は演習形式の授業を進めるので、その際は、必ずテキストの下訳作りなどしておくこと。

成績評価の方法 授業への出席状況と学習意欲により評価する(定期試験は実施しない)。

教科書／テキスト すべてプリントで配布する。

参考書 水野弘元『増補改訂パーリ語辞典』(春秋社)、4725円、ISBN439310156-1; 水野弘元『パーリ語文法』(山喜房佛書林)、3150円、ISBN4796300104

その他 初回の授業で受講と成績評価についての説明をおこなうので、必ず出席すること。

履修コード	008301
科目名	チベット語初級
担当者名	松本 史朗

講義の到達目標(ねらい) チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容／授業スケジュール 講義のスケジュールは、教科書に従い、(1~7)チベット文字の習得から、(8~23)名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、(24~28)簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。(29/30)まとめ

履修上の留意点 (授業初回に必ず出席すること)第2回以降からの受講は学習上不可能である。チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法 年度末の試験により、成績を評価する。

教科書／テキスト 授業の中で指示する。出版された文法書は使用しないので注意。

履修コード	008401
科目名	チベット語上級
担当者名	木村 誠司

講義の到達目標(ねらい) チベット語の仏教文献を読めるように、訓練する。チベット語は、日本語と親戚のような言語であるので、我々には理解し易い。本来は初級を習得した者が出席することが望ましいが、やる気があれば、未修得者でも一向にかまわない。

講義の内容／授業スケジュール 簡単に読み進むのではなく、ゆっくり、熟読しながら進み、教義の理解を深めたい。中心テキストには、チャンキャの『宗義書』を選んだ。本書は、極めて論理的なものとして、評価も高い。本年は毘婆娑師の章を講読する。重要なテーマは、チムの『俱舍論』注等も参照する。さらに、出典調べも出来るだけ綿密に行いたい。進むスピードは受講者に合わせる。

履修上の留意点 第1回テキスト講読の実際を進め方や辞書について説明する。第2-30回実際にテキストを講読する。

成績評価の方法 受講者は、初級をマスターした者がベターであるが、そうでない者でもやる気があれば可である。講義中の平常点で評価する。

教科書／テキスト すべてコピーで配布する。

履修コード	003511
科目名	中国古典語 I
担当者名	よしむら まこと 吉村 誠

講義の到達目標(ねらい) 東アジアでは漢訳経典が「聖典」とされ、高僧の著作もほとんどが漢文で書かれている。その中から名著を選んで講読し、仏教漢文の読み方に習熟し、仏典を正確かつ批判的に読む力を養いたい。本年度は世親の『唯識三十頌』(第1偈～第15偈)を講読する。同書は唯識の教義をわずか30の偈頌でまとめた名著である。内容の理解を助けるため、『唯識三十頌』の注釈書である『成唯識論』も随時参照する。

講義の内容／授業スケジュール 前期(1)『唯識三十頌』と『成唯識論』 (2～9)阿頼耶識 (10～15)末那識
後期(1～15)前六識

履修上の留意点 漢文訓読の予習をして授業に臨むこと。意味の分からない語句は、必ず漢和辞典や仏教辞典で調べること。

成績評価の方法 平常点を基本とする。必要に応じてレポートを課す。試験は行わない。

教科書／テキスト プリントを使用する。

参考書 授業中に随時紹介する。

履修コード	008511
科目名	中国古典語 II
担当者名	おがわ たかし 小川 隆

講義の到達目標(ねらい) 中国古典語(いわゆる『漢文』)読解の初歩的訓練を行う。「II」となっているが「I」よりも高度な教材をやるわけではなく、基礎から順に学んでゆく。ただ、原文⇒訓読⇒解釈という通常の方法でなく、原文⇒字義と語法の分析⇒解釈⇒訓読という順序で講読を行う。訓読で読むのではなく、語学的に読み解いた結果を訓読で表記する、という趣旨である。

講義の内容／授業スケジュール 最初の3回ほどは、下記の辞典の巻末・文法概説を使って、最も基礎的な語順・句型を学ぶ。以後、同辞典を用いながら、短い文章を読んでゆく。辞典には多くの例文と「句法欄」が載っているので、それを利用しながら、中国古典語の字義と語法を学ぶ。前期は教材を一般の中国古典の散文から採り、後期は詩(いわゆる「漢詩」)、仏典、禅籍を各数回ずつとりあげる。

履修上の留意点 毎回、予習と復習が必要。一回に読む量はごく少ないので、原文を手で書き写し、辞書をよくひいておくこと。現代中国語の学習経験がある人は、中国語による音読にもぜひ挑戦してほしい。

成績評価の方法 毎回、輪読形式で行い、出席と実際の読解水準をもとに平常点で評価する。定期試験は行わない。

教科書／テキスト 読解の材料はプリントで配布する。下記の辞典を常時使用するので、必ず毎回持参のこと。

参考書 戸川・佐藤・濱口『全訳・漢辞海』第2版(三省堂) 2900円+税 ISBN4-385-14046-4
小川隆『神会—敦煌文献と初期の禅宗史』(臨川書店) 2600円+税 ISBN978-4-653-03992-1
同『語録のこぼれ—唐代の禅』(禅文化研究所) 2300円+税 ISBN978-4-88182-225-8
同『臨濟録—禅の語録のこぼれと思想』(岩波書店) 2100円+税 ISBN978-4-00-028284-0

履修コード	008801
科目名	イスラム教概論
担当者名	山崎 和美

講義の到達目標(ねらい)

現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラームに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラームの教義や世界観について知ると共に、ムスリム（イスラーム教徒）の人々の日常生活や文化など現実の姿を、偏見を持つことなく理解することを目的とします。イスラームと関わりの深い中東の歴史、政治、社会、文化について基本的知識を持つことも目標です。

国際社会について考える場合、日本では欧米を中心に考えてしまう傾向があります。従って、中東、イスラーム諸国をはじめ、欧米以外のアジア・アフリカ諸国に関しても、興味関心を抱き、理解しようという姿勢を養うことを目指します。

国際社会に関するニュースに常に着目し、イスラーム諸国だけでなく世界全体に関する時事問題を読み解くための教養を身につけることも目的です。さらに、その問題に関して自らの見解を述べ、文章化する能力を養えれば、と思います。

以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

A; イスラーム世界全般（イスラーム世界とは？、文化、芸術の多様性、イスラームの歴史、イスラームの世界観、宗教儀礼と日常生活、イスラーム復興運動とは？）

B; イスラームの教義（クルアーンとハディース、イスラーム法（シャリーア）とイスラーム法学者、六信五行、イスラームの各宗派、イスラーム神秘主義とスーフィー、聖者と聖者廟参詣、女性と婚姻、ヴェール）

後期

C; イラン社会（「近代化」の時代、イスラーム革命と現代、イラン型大衆運動への女性参加と教育、映画に見る女性と若者）

D; 国際関係（パレスティナ問題、ヨルダンとレバノンの問題、チェチェン紛争、アフガニスタンとイラク）

準備学習

下記記載の参考書4冊（『面白いほどよくわかるイスラーム』『現代イラン 神の国の変貌』『シーア派 台頭するイスラーム少数派』『コーカサス 国際関係の十字路』）を読んだ上で授業に参加すれば、授業内容をより深く理解できます。

履修上の留意点

日頃から、新聞・雑誌、インターネット、海外テレビ・ラジオのニュースなどに触れ、イスラーム諸国について関心を持つように心がけてください。

成績評価の方法

① 文章執筆の訓練のため、授業に関するコメントを記して下さい。

短くてよいので、授業で何を学んだか、そのことについて自分はどう考えるか、論述して下さい。

② 学期末試験を実施します。論述試験です。

課題 A（イスラーム世界全般）、課題 B（イスラームの教義）、課題 C（イラン社会）、課題 D（国際関係）からそれぞれ1つのキーワードを選び、授業で学んだことを整理した上で、自分の考えを論述して下さい。

③ コメントと出席率、期末試験から、総合的に評価します。

教科書／テキスト
参考書

教科書は指定しません。

教科書は指定せず、授業中に必要な資料、および参考文献表を適時配布します。なるべく参考文献を読んだ上で授業に臨むようにして下さい。

特に次の4冊については、ぜひ読んでください。

塩尻和子監修・青柳かおる著『面白いほどよくわかるイスラーム』日本文芸社、2007年

桜井啓子『現代イラン 神の国の変貌』岩波書店、2001年

桜井啓子『シーア派 台頭するイスラーム少数派』中央公論新社、2006年

廣瀬陽子『コーカサス 国際関係の十字路』集英社、2008年

履修コード	008901
科目名	仏教文献学
担当者名	ほりかわ たかし 堀川 貴司

講義の到達目標(ねらい)

この講義は、日本に現存する仏教関係の典籍を独力で扱える知識・能力を身に付けることを最終的な目標としています。

前期では

* 古典籍の基本的な構造や書誌事項を理解し、記述することができる。

後期では

* 中国・朝鮮から将来されたものも含め、仏教関係の典籍について基本的な知識を持つ。

をそれぞれの目標として授業を進めます。できるだけ実物を用いて具体的に話をする予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

1. 導入—文献学と書誌学
2. 調査用具と参考書
3. 構成要素と記述項目
4. 大きさと装訂
5. 表紙
6. 外題と内題
7. 前付と後付
8. 本文（1）版式・写式
9. 本文（2）文字・絵
10. 刊記・奥書
11. 書入・蔵書印等
12. 参考情報
13. 他の伝本との比較
14. 紙その他の原材料
15. まとめ

後期

1. 中国・朝鮮の仏典
2. 上代の写経
3. 中古の写経
4. 中世の写経
5. 抄物（1）
6. 抄物（2）
7. 中古・中世の刊経
8. 五山版
9. 古活字版の仏典
10. 近世版本の仏典（1）
11. 近世版本の仏典（2）
13. 墨蹟（1）
14. 墨蹟（2）
15. まとめ

準備学習

古典籍に触れたことのない学生がほとんどだと思いますので、毎回の授業内容をよく復習して、実際の調査に生かせるようにしてください。

前期末・後期末の2度のレポートを各50パーセントの割合で評価します。

堀川貴司『大学生のための書誌学入門（仮題）』（勉誠出版、2010年3月刊行予定）

授業中に紹介します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

授業は講義が中心ですが、図書館や個人蔵の古典籍の実物を用いて各自書誌調査を行ってもらいましょう。

履修コード	008911
科目名	禅心理学
担当者名	池上 光洋

講義の到達目標(ねらい) 仏教学部では「坐禅」が必修科目として存在するが、その坐禅(只管打坐)に対する理解を深め、よりよい状態で実践できるよう、周辺諸科学の成果を学んでいきたい。

講義の内容／授業スケジュール また「禅」を取り巻く様々な問題にもふれていく予定である。禅の心理学的研究の歴史を概観した後、発達論的視点・生理学的視点・精神医学的視点から検討を加えていきたい。

履修上の留意点 また只管打坐との対比のため、各種の瞑想も実践していく予定である。

成績評価の方法 専用のノートを用意すること。

教科書／テキスト 小作文(不定期)・前期レポート・後期試験を総合して評価する。

参 考 書 特になし。

そ の 他 講義中に随時紹介する。

私語・携帯電話・メール等厳禁、ひどい場合は退室を要請する。講義開始後30分以降は、特別の事情が無い限り入室禁止。

履修コード	028101
科目名	ラテン語
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(ねらい) ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。

履修上の留意点 前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。

成績評価の方法 前期(1)導入、ラテン語とは (2~5)文字と発音、動詞の直説法現在・未完了・未来、名詞の第1・2変格など (6~10)動詞の直説法完了・過去完了・未来完了、名詞の第3変格など (11~15)動詞の直説法現在・未完了・未来・過去完了・未来完了、名詞の第4・5変格、形容詞の比較法、など

教科書／テキスト 後期(16~20)命令法、各種の代名詞、副詞、など(21~25)不定法、数詞、形式受動動詞、分詞、など(26~30)接続法、動名詞、動形容詞、様々な従属文、など

参 考 書 練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

年間2回(前期末・後期末)のテストの結果(80%)に平常点(20%)を加味して評価します。

松本悦治『ラテン語入門』(駿河台出版社)1,500円

辞書と共に初回の授業で紹介します。

履修コード	070901
科目名	心理学概論
担当者名	間島 英俊

講義の到達目標(ねらい)

心理学が人間の心の理解を科学的に究明する学問のひとつである。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じである。講義では、諸君らがその目的を考えるために、心理学の各領域の基本的事実を、わたしたちの日常生活の中から説明していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

- ガイダンス
- 1 ひととなりを考える：パーソナリティ心理学
 - 2 自己から自己へのタイムトラベリング：発達心理学
 - 3 “こころ”のゆきづまり：臨床心理学
 - 4 人と人との絆：社会心理学、家族心理学
 - 5 みること・きくこと：知覚心理学
 - 6 学ぶこと・考えること：学習心理学、認知心理学
 - 7 ことばとコミュニケーション：言語心理学

履修上の留意点

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行います。

この講義は卒論、修論のデータ収集に率先して協力します。調査・実験協力者となることにより、次に諸君らの卒論における実施者としての姿勢に備えるためです。

3分の2以上の出席は必須です。基本的には12月の最終講義時間にて実施される授業時間内試験(定期試験と同価値)にて8割、残り2割は実験・調査参加並びに課題により評価される。

成績評価の方法

教科書/テキスト
参 考 書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版

講義にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席した者への後日配布はしないので、友人に願うかコピーにて補充のこと。

履修コード	009001・009002
科目名	坐禅Ⅱ 坐禅Ⅰ〔再クラス〕
担当者名	佐藤 秀孝・松田 陽志

講義の到達目標(ねらい)

曹洞宗の坐禅の実践。

講義の内容/
授業スケジュール

前半の実習時間は坐禅と経行(きんひん)の実習となる。経行の後は瑩山紹瑾禅師の『坐禅用心記』を講じる。

実習要領および履修に当たっての心構えは、すべて「坐禅Ⅰ」に同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻は一切認められない。

実習に臨むに際しては、服装・言動など常に厳粛・整齊であることを要求するので、予めよく承知しておくこと。

なお、学年度最初の授業では、席次(単)の決定や必要な諸注意を行うので、履修する者は必ず出席すること。

成績評価の方法

授業実施回数に対する出席回数をもって機械的に判定する。レポート提出等による救済措置は一切行わないので注意すること。

また坐禅堂の内外における服装や態度に著しく適正を欠くと思われる場合や、講本の忘失などは厳しく減点の対象とする。

教科書/テキスト

『坐禅講本』(更正社)

專 門 教 育 科 目

2. 文 学 部

(1) 国 文 学 科

履修コード	012101
科目名	基礎国語学
担当者名	高田 智和

講義の到達目標(ねらい) 1. わたしたちが、話し、聞き、読み、書く日本語についての知識を深めます。
 2. ことばを分析的にとらえ、観察する視点を養います。

講義の内容／
 授業スケジュール 前期 1. (1-5) 現代日本語の音声・音韻 2. (6-10) 音韻の変遷 3. (11-15) 日本語の文字体系
 後期 4. (16-20) 漢字と仮名 5. (21-25) 語彙と語構成 6. (26-30) ことばと位相

履修上の留意点
 成績評価の方法 主に現代の日本語を扱いますが、歴史的な側面を取り上げることもあります。
 前期末と後期末の2回の試験を中心に、授業時間内に提出を求める課題を加えて総合的に判断します。

教科書／テキスト
 参 考 書 『国語概説』(佐伯哲夫・山内洋一郎編、和泉書院、1983)
 『国語学』(築島裕、東京大学出版会、1964)
 『日本語史』(沖森卓也編、おうふう、1989)
 『図解日本語』(沖森卓也・木村義之・陳力衛・山本信吾、三省堂、2006)

履修コード	012201
科目名	基礎国語学
担当者名	原 裕

講義の到達目標(ねらい) 日本語研究の対象・方法についての基本事項を学習する。従来の研究によって解明された日本語の実相についての基本的知識を学ぶとともに、言語研究の目的・問題設定・方法などについての知識を習得し、日本語に対する幅広い問題意識を身につけることを目的とする。

講義の内容／
 授業スケジュール 〔第1回〕日本語研究への導入〔第2～3回〕音声と音韻(現代語)〔第4～5回〕文字と表記(現代語)〔第6～7回〕日本語研究の資料〔第8～10回〕日本語の音韻の変遷〔第11～12回〕日本語の文字・表記の変遷〔第13～20回〕日本語文法研究概説〔第21～22回〕日本語の語彙〔第23～24回〕日本語の文体〔第25～26回〕言語生活・敬語表現〔第27～28回〕日本の方言〔第29～30回〕日本語研究の周縁

準 備 学 習 教科書の次回授業に相当する箇所を指示する。予備学習として該当箇所に目を通しておくことを勧める。

成績評価の方法
 教科書／テキスト 出席点と筆記試験とによる。
 山口堯二『日本語学入門』(昭和堂 2,730) 又、指定教科書の他に、随時補助プリントを配布する。

参 考 書 授業において随時紹介する。

国文

履修コード	012301
科目名	基礎国文学Ⅰ
担当者名	櫻井 陽子
講義の到達目標(ねらい)	古典文学を読解するための基礎的な知識を学び、古典文学を研究する方法を学ぶ。古典文学の読解を通して、日本語の表現の美しさ、おもしろさを知る。また、作品世界を深く読み込むことを通して、古典文学は、なぜ時代を超えて人々の心を捉えてきたのかを考える。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期 (1) イントロダクション (2)～(7) 古典文学の流れの概説 (8)～(13) 作品「本文」と「読解」の問題 (14) 前期テスト (15) 前期まとめ 後期 (1)～(4) くずし字を読む (5)～(10) 代表的な仮名作品を通しての「読解」と「研究」の問題 (11)～(13) まとめ (14) 後期テスト (15) 2年生に向けて
履修上の留意点 成績評価の方法	全授業数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象としない。 出席状況、授業態度、発表内容と態度、小テスト、レポート、前後期末試験などによって総合的に評価を行う。
教科書／テキスト 参 考 書	その都度、プリントを配布する。 授業時に随時紹介する。なお、くずし字を読むため、『字かな— 出典明記— 改訂版』(笠間書院、380円)を用意すること。

履修コード	012401
科目名	基礎国文学Ⅰ
担当者名	松井 健児
講義の到達目標(ねらい)	古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。
講義の内容／ 授業スケジュール	韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。(1～3) 近代国文学の形成、(4～6) 非日常言語の成立、(7～9) 景情の形成、(10～12) 言語遊技の諸相、(13～15) 集と部立、(16～18) 秀歌撰の成立、(19～21) 歌合の文学史、(22～24) 神話と古代、(25～27) 話型の発生、(28～30) 文学主題と表現形成。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。 ①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合して行う。 プリントを配布する。 授業時に紹介する。

履修コード	012501
科目名	基礎国文学Ⅰ
担当者名	近衛 典子
講義の到達目標(ねらい)	印刷技術が発達して、誰もが同じ本を手にすることが出来るようになったのは、江戸時代からです。それまでは、一つ一つの作品がみな手書きでした。周知の作品を丁寧に読み解くことを通して、古典の作品がいかんにして生み出され享受されてきたかを学習し、文学研究への導入としたいと思えます。くずし字の学習も行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	後代の作品に大きな影響を与えた『伊勢物語』や『古今和歌集』など平安時代の作品を中心として、さまざまな作品に触れたいと考えています。またくずし字の学習も同時に行います。(1) ガイダンス、(2～14) 『古今集』『百人一首』『伊勢物語』等、和歌および和歌物語を読む、(15) 前期試験、(16～28) 和歌・連歌・俳諧の流れを追う、(29・30) まとめ、後期試験
履修上の留意点	出席することが重要です。予習・復習が必要となるので、各自の積極的な取り組みを望みます。また授業を糸口として、数多くの古典作品を自ら読んで欲しいと願っています。
成績評価の方法 教科書／テキスト	学期末の試験を最も重視するが、出席、小テスト、提出物なども含めて総合的に判断します。 『字かな— 出典明記—』(笠間書院)

履修コード	012601
科目名	基礎国文学Ⅱ
担当者名	岡田 豊

講義の到達目標(ねらい)	日本近現代文学研究の基礎的な方法や概念を学ぶ。特に、様々な批評理論を武器にして適宜応用することにより、作品の読解が多様に変化することを示し、テキストの可能性を取出す。同時に、日本の近現代小説への応用も行い、学んだ概念や方法をいかに活用して作品を読みかえるか、実例を挙げて解説する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2)～(4) 記号・作者・読者・テキスト (5) ストーリーとプロット (6)～(8) 語り手・視点と焦点化・人称 (9)～(10) 声・叙述 (11)～(12) 主人公・自我・個性と性格 (13)～(14) 記号とコード (15)～(16) ここまでのまとめ (17) 引用・文化 (18)～(19) フェミニズムとジェンダー (20)～(23) ジャンル・フィクションとメタフィクション (24)～(25) メディア (26)～(27) 文化記号 (28)～(30) まとめ
履修上の留意点	配布プリントを使って読解を進める。小説の表現について考察する授業であるため、テキストを読んで授業に参加することをまずはお願いしておきたい。多義的な表現のみずみずしさを味わい、ときに難解で手に負えないような手ごわい面にも触れていきたいと思う。どのような視点から、どのような方法で論じていくのかも習得してほしい。
成績評価の方法	前期と後期とそれぞれ一回ずつ筆記試験を実施する (50点×2回)。授業時間中に書かせるレポートも成績評価に反映させる。
教科書／テキスト	配布プリント

履修コード	012701
科目名	基礎国文学Ⅱ
担当者名	高田 知波

講義の到達目標(ねらい)	近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2～10)『坊っちゃん』講義 (11～19)『伊豆の踊子』講義 (26～28)『舞姫』講義 (29～30)まとめ。
履修上の留意点	小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだというところを、この授業を通して理解してほしいと思う。
成績評価の方法	原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。
教科書／テキスト	夏目漱石『坊っちゃん』(新潮文庫) 森鷗外『阿部一族・舞姫』(新潮文庫) 川端康成『伊豆の踊子』(新潮文庫)
参考書	教場で指示する。

履修コード	012801
科目名	基礎国文学Ⅱ
担当者名	勝原 晴希

講義の到達目標(ねらい)	近現代の文学研究へのオリエンテーション(道案内)を行ない、具体的な作品を使ってのアプローチ(読解)の方法を習得する。作品をただ読むことと、読みを深めることの違いを理解し、さまざまなことに注意して考えながら読む姿勢を身につけることが目標である。
講義の内容／授業スケジュール	近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小説・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。それぞれの作品について、授業時間内に簡単なレポートを課し、その内容をふまえながら講義を進める。また基本的な研究の手づづぎについて講義する。 第1・2回：ガイダンス、第3～5回：テキストと記号、第6～14回：短編小説を読む、第15回：前期テスト、第16回：前期内容の確認、第17～23回：短編小説を読む、第24・25回：評論を読む、第26・27回：童話を読む、第28・29回：詩歌を読む、第30回：総まとめ
準備学習	たくさん読むこと、たくさん書くことが、基礎力をつくる。ふだんから読書・思考・表現の習慣を心がけて欲しい。
履修上の留意点	文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけていって欲しい。
成績評価の方法	前後期二回の試験、出席状況、受講態度、時間内レポートによる。出席回数少ない学生は受験資格を失うことがあるので注意すること。
教科書／テキスト	プリント配布。
参考書	授業中に随時指示する。

国文

履修コード	012901
科目名	漢文学
担当者名	和田 ^{かずこ} 和子

講義の到達目標(ねらい)	漢文を読解する為に必要な知識の習得を目指す。また、言語の系統を異にする日本語と中国語の、その隙間を埋めるべく完成された訓読という方法についての検討を行うことで、国語としての漢文の位置づけを明確にしていきたい。併せて資料の読解を通じて、悠久の歴史の中で行われた中国人の言語活動や文化的営為についての基礎的な知識を身につけていきたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期は漢文学の基礎を学ぶ上で精読すべき資料を紹介・講読していく。また取り上げる漢文資料の内容に即して、適宜訓点の施し方、書き下し文の方法などを教授する。 後期は漢文理解の鍵となる助字の用法やその他の文法的諸問題についての考察を行い、漢文の構造をより発展的に学べるようにしたい。
準備学習	授業の内容がより深く理解できるよう、漢文の構造や訓読の規則についての初歩的な知識に関しては、自分で必ず補っておくこと。その方法については、適宜各自に指導する。
成績評価の方法	期末に筆記試験を実施するとともに、出席状況、授業への参加の姿勢などにより総合的に評価する。
教科書／テキストその他	教員が作成したプリント資料を用いる。 主に教員が講義する形式となるが、取り扱う資料や講義の内容について、各自予習・復習をしておくことが望ましい。

履修コード	013001
科目名	漢文学
担当者名	和田 ^{かずこ} 和子

講義の到達目標(ねらい)	漢文を読解する為に必要な知識の習得を目指す。また言語の系統を異にする日本語と中国語の、その隙間を埋めるべく完成された訓読という方法についての検討を行うことで、国語としての漢文の位置づけを明確にしていきたい。併せて資料の読解を通じて、悠久の歴史の中で行われた中国人の言語活動や文化的営為についての基礎的な知識を身につけていきたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期は漢文学の基礎を学ぶ上で精読すべき資料を紹介・講読していく。また取り上げる漢文資料の内容に即して、適宜訓点や送り仮名の施し方、書き下し文の方法などを教授する。 後期は漢文理解の鍵となる助字の用法やその他の文法的諸問題について考察を行い、漢文の構造をより発展的に学べるようにしたい。
準備学習	授業の内容がより深く理解できるよう、漢文の構造や訓読の規則についての初歩的な知識に関しては、自分で必ず補っておくこと。その方法については、適宜各自に指導する。
成績評価の方法	期末試験と出席日数で評価する。
教科書／テキストその他	教員が作成したプリント資料を用いる。 主に教員が講義する形式となるが、取り扱う資料や講義の内容について、各自予習復習しておくことが望ましい。

履修コード	021051
科目名	日本語文法入門
担当者名	<small>どい こうゆう</small> 土井 光祐

講義の到達目標(ねらい)

- (1) 「学校文法」に基づく古典文法の基礎。
- (2) 現代語おける記述文法の基礎と古典語への応用。
- (3) 文法史の基礎。

講義の内容／
授業スケジュール

以上三つの視点から日本語文法の基礎を体系的に学習する。
いわゆる「学校文法」は、様々な問題点が指摘されているが、古典解釈や文法史の拠り所として一定の役割を果たしてきた。既習であるはずの「学校文法」の知識が極端に不足していると、古典文学作品の基本的な読解は困難となる。

又、日本語の仕組みと変遷とをより総合的、分析的に学ぶためには、「学校文法」の知識だけでは不十分な点もあり、近時深化の著しい記述文法の基礎的な学習が不可欠である。

本授業では、以下の(1)を中心に置き、適宜(2)(3)へと発展させて概説する。

- (1) 「学校文法」に基づく古典文法の基礎を体系的に解説する。
- (2) 「文」を単位とする文法論の成果を学び、古典語に応用する。
- (3) 古代語から現代語に至る文法史を概観する。

履修上の留意点

欠席者に対して、当方は一切フォローしない。欠席時の配布プリントは他の出席者に借りてコピーする等、各自で対応すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席状況、授業中に行う確認テスト、前期・後期の筆記試験の総合による。

小池清治『基礎古典文法』、朝倉書店、定価2,730円(税込)、ISBN978-4-254-51016-4

参 考 書
そ の 他

授業中に紹介する。

e ランニングシステム YeStudy を利用するので、ログイン方法を早めに確認すること。

履修コード	021061
科目名	日本語文法入門
担当者名	<small>はら ひろか</small> 原 裕

講義の到達目標(ねらい)

日本語文法学に用いられる基本的概念を学ぶとともに、現代日本語文法、古典語文法の基本的事項を確認し、いくつかの個別的問題に関する発展的知識を身につける。更に、日本語文法の歴史的変遷の諸相や、近年の近年の記述的文法研究に関する基本的な事柄について学習する。

講義の内容／
授業スケジュール

〔第1～6回〕所謂「学校文法」に用いられる基本的概念について説明し、あわせて現代日本語文法の基礎について確認する。〔第7～16回〕古典語に関する「学校文法」について再確認し、個別的事柄については、更に発展的な知識を身につける。〔第17～23回〕日本語の歴史的変遷、特に、その形態上の変化、各種表現の変化などを中心に、基礎的知識を習得する。〔第24～30回〕近年の記述的文法研究の方法・成果について、いくつかの事例を取り上げて解説する。

準備学習
履修上の留意点

高校までに既習の日本語文法・古典語文法の基礎事項を再度確認しておくことが望ましい。

学習用の古典辞典を持参すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席点と筆記試験とによる。随時小テストを行うことがある。

小池清治『基礎古典文法』(朝倉書店 2,730円) 又、指定教科書の他に、随時補助プリントを配布する。

参 考 書

授業において随時紹介する。

国文

履修コード	018001
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	土井 光祐

講義の到達目標(ねらい) ○現代語に至る日本語の歴史を文献資料で具体的に跡づける中で、日本語の変遷の実態を確認し、言葉の「調べ方」の基本を学ぶ。
 ○室町時代末期(1500年代末)を基準点として、個々の表現を視点に文語規範の基盤である古代語(1000年頃)から現代語(2010年)までの国語史を往復し、現代日本語の形成過程を考察する。
 1593年刊行の「天草版金句集」を国語史の観点から分析する。
 天草版金句集は、天草版平家物語、同伊曾保物語と合綴されて、ロンドン・大英図書館に所蔵されているローマ字木口語体キリシタン資料の一種で、最古の日本語学習用教材である。
 16世紀半ばに渡来したイエズス会の宣教師達は、当時の日本の格言を学んでキリスト教の布教に利用しようとした。漢籍等に典拠を持つ文語体の格言に、16世紀末の「口語訳」を付したもので、室町時代末期の口語資料として知られている。室町時代における文語体と口語体とを、音韻、文法、語彙、文体等の諸点から言語比較して、現代語の形成過程を具体的に観察する。
 【第1回～第3回】 教員より資料の概説と調査方法の説明。
 【第4回～】 順番にレポーターを決めて、レジュメを作成し、発表する。
 出席点、発表内容、質疑への参加態度、レポート内容の総合。
 プリントを配布。
 授業中に紹介。
 eラーニングシステム YeStudy を適宜利用する。

講義の内容／授業スケジュール

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

履修コード	018101
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	中嶋 真也

講義の到達目標(ねらい) 日本現存最古の歌集『万葉集』を読むことを通じ、古代日本人の感性や知性を感じてもらうことを目標とします。また、古典文学研究の実際を体得し、自身の理解したことを他の人に正確に伝えるための発表技術(資料作成ならびに口頭発表)を習得することも目標とします。

『万葉集』は漢字で日本語を書く時代に産まれました。「日本人のふるさと」のような捉え方で今なお賞讃されています。表記体系も異なる中、どういったところが、どのように我々の琴線に触れるのか。それを体感すべく、一首一首を丹念に読むことで、古代を身近なものにしましょう。

『万葉集』は4500首以上という膨大な歌数を取りますが、演習Ⅰでは、読んだことがある歌、どこかで見たとある歌、親しみやすい歌を取り上げ、『万葉集』の豊饒な世界への導入とします。

具体的には、現在刊行されている、『万葉集』の解説本や抄出したものをもとに、多くの本で取り上げられている歌々、つまり『万葉集』の代表歌と称される歌々から受講者は希望の歌を選んで、調査・発表してもらいます。

以下、大まかな予定を示しておきます。
 第1回 ガイダンス、第2～4回 『万葉集』概説、調査方法解説、担当決定、第5～14回 発表、第15回 前期まとめ、第16～29回 発表、第30回 後期まとめ

多くの予備知識を要求することはありません。復習を重視してください。
 演習は学生主体ですから、欠席は極力慎むこと。

五七五七七の短歌体は、『万葉集』以来、今なお受け継がれています。同じ枠組みを通じて、古代人の喜びや悲しみを、時空を超えて感受できる奇跡を味わいたいものです。

発表内容を特に重視します。質疑、それに対する応答、提出物、出席状況も加味して総合的に評価します。

井手至・毛利正守『新校注 萬葉集』(和泉書院 2008)
 必要に応じて、授業中に指示します。

講義の内容／授業スケジュール

準備学習
履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	018301
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	まつい けんじ 松井 健児

講義の到達目標(ねらい)

平安時代物語の研究を自立的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容／
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』「初音」「胡蝶」以降の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を展開できる技術を養う。(1~2)『源氏物語』概説・参考文献紹介、(3~4)基礎演習・発展演習の方法、(5~6)『源氏物語』基礎研究、(7~8)当該巻全体報告、(9~10)担当範囲分担当報告、(11~18)演習発表、(19~20)レポート説明、(21~28)演習発表、(29~30)レポート発表。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定することに留意してほしい。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行う。

教科書／テキスト

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 四』(新潮社)

参 考 書

参考書は授業時に紹介する。

履修コード	018401
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	たがやま さいと 湯浅 幸代

講義の到達目標(ねらい)

平安時代の宮廷社会を生きる人々の生活・文化を理解した上で、本文のことは、表現に注目し、当時の日記における文学性について考える。具体的には、『紫式部日記』をとり上げるが、『源氏物語』作者の日記としても留意し、物語との往還的な考察の力を養う。

講義の内容／
授業スケジュール

『紫式部日記』を冒頭より読む。受講者に本文を割り振り、毎回発表してもらう。発表者は、本文全体を読み込むと同時に、語句について調べ、資料を作成し、その段における考察を述べる。この演習発表をもとに、互いに意見を出し合う形で講義を進める。

履修上の留意点

演習は発表と意見交換が基本となるため、各自の主體的な姿勢が求められる。

成績評価の方法

(1) 発表内容、(2) レポート、(3) 出席、(4) 討論時における意見、を総合して評価する。

教科書／テキスト

小谷野純一 訳・注『紫式部日記』(笠間文庫) 1,700円(税別)

参 考 書

参考書は授業時に紹介する。

履修コード	018501
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	さくらい ようこ 櫻井 陽子

講義の到達目標(ねらい)

古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、中世文学を代表する軍記物語に親しむ。

講義の内容／
授業スケジュール

『平家物語』巻六を読む。原則として一回の発表で、一人一章段を採り上げる。章段を選び、自分でテーマを設定して調査し、報告する。必要に応じ、諸本の比較、周辺作品との比較を行う。発表後の討議の中で自分の問題意識を掘り下げる。後日、レポートにまとめて提出する。

1~3 『平家物語』と巻六の説明

4 担当章段の決定

5~ 発表と討議

履修上の留意点

学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、授業態度、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書／テキスト

『平家物語』二(岩波文庫)

参 考 書

授業中に適宜指示する。

国文

履修コード	018601
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	田中 徳定

講義の到達目標(ねらい) 古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 『徒然草』をとりあげ、語彙調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、関連する物語・説話にも広く眼を向け、中世の人々の思想や信仰、及び平安時代以来の貴族文化の美意識について探究する。

履修上の留意点 演習科目であるので、基本的に欠席をしないこと。また、他の演習生の発表に対して質問するなど、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 出席状況、授業時間内に行なう口頭発表、レポートによって総合的に評価を行なう。

教科書／テキスト 鈴木知太郎・西一祥編『新注 徒然草』(おうふう) 1,800円

参考書 授業中に随時指示する。

その他 受講生に発表する章段を割り当てる。受講生は、発表担当章段について、調査、考察を行ない、その結果をレジュメにまとめ、授業中に口頭発表を行なう。

履修コード	018701
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	近衛 典子

講義の到達目標(ねらい) 江戸時代の小説作品には、それ以前に成立した物語、和歌、謡曲、中国白話小説等、数多くの典拠が用いられ、その作品世界に奥行きを与えています。周知の作品であるが、単にストーリーを追うだけではなく、幅広い古典知識を踏まえて読解することを目指します。

講義の内容／授業スケジュール 上田秋成の晩年の和文和歌集『藤篋冊子(つづらぶみ)』を、受講者の研究報告形式で読み進めます。語彙・事項を調査するのももちろんのこと、典拠を一つ一つ確認・分析し、それを踏まえて文章の内容を正確に読解します。その上で、近世に新しく誕生した「和文」の概念について追求します。

成績評価の方法 (1~2) ガイダンス・発表担当部分の決定、(3~) 口頭発表
口頭発表、質疑応答への参加の態度、出席状況、レポートによって総合的に評価します。

教科書／テキスト プリントを配付します。

参考書 授業中に指示します。

履修コード	018801
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	林 達也

講義の到達目標(ねらい) 基礎演習である、この演習を通して、自分で調べて読み、且つ理解する姿勢を養成する。

講義の内容／授業スケジュール 松尾芭蕉の俳諧を精読する。今年度は俳諧の基本である連句を素材とする。『芭蕉七部集』からまず「猿蓑」を取り上げ、丁寧に読んでゆく。数人の共同による文学営為がどのようになされ、どのような作品世界を紡ぎ出すのか。近代では忘れ去られている文学創作方法に接することにより、言葉が生み出さる豊かな世界を知り、やせた文学の世界から脱する道を開きたい。

準備学習 レポーターに当たっていない受講生もその週の該当箇所の下読みは必ずしてこなければならない。4月開講時まで、芭蕉の生涯について調べ、知っておくこと。これを受講許可条件とする。

履修上の留意点 演習は、教員と受講生の共同作業という基本的な合意がなければならない。積極的に、演習に参加しようとする学生、授業に集中できない学生の受講は避けられたい。「準備学習」でも述べたように、下読みは必ずしてくる。

成績評価の方法 担当レポートの質、毎時の演習での参加態度、学年末の提出レポートの成果などを総合的に判断して評価する。

教科書／テキスト 中村俊定校注『芭蕉七部集』(岩波文庫)

参考書 開講時に紹介する。

その他 毎授業、受講生のレポートを中心に授業を進めるレポートに当たった担当者は 調べ(言葉風俗習慣、連句の作法など)、まとめ、発表資料(レジュメ)を作成し、聞き手に正しく伝達する(所謂プレゼンテーション)訓練に励み、本格的な国文学の勉強の第一歩としよう。

履修コード	018901
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	岡田 豊 <small>おかだ ゆたか</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本近代文学の研究と発表についての基礎的な方法を学ぶ。(基礎演習)の授業であるから、作品を論理的に分析し、新たな読解を切り拓くことを実践するわけであるが、他人に研究報告するというプレゼンテーション能力の開発を重視する。ひとり楽しく自由気ままに読むのではなく、読んだことを他人に伝え、刺激するために深く時間をかけて読むことを実践する。先行研究の調べかたやレジュメの作りかたなど、基礎的な事項から解説する。

講義の内容／授業スケジュール 一つの作品につき二回の授業をあて、発表はすべて学生が行う。

履修上の留意点 基礎演習にあたるので、研究方法、発表技術に重点をおく。
発表を担当する回は絶対に欠席しないこと。場違いな発言や稚拙と思われるような質問も、基礎演習だから恥じることなく思い切って発言してほしい。他人に上手に伝えることができる人は他人の意見に耳を傾け、妨害しない人の方である。白熱した議論は大歓迎だが、危険な暴走は慎みたい。また、人の発表や発言の最中に落書きを書いて上の空だったり、居眠りをして聞く気なしという失礼極まりない態度をとるのもやめてもらいたい。そういうマナーも身につけてほしい。

成績評価の方法 原則として発表が100%だが、発表回数にかたよりが出た場合はレポート提出なども考慮する。また、単位認定には七割以上の出席を条件とする。

教科書／テキスト 東郷克美・吉田司雄『近代文学【都市】を読む』

履修コード	019001
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	高田 知波 <small>たかだ ちなみ</small>

講義の到達目標(ねらい) 年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス(先入観、偏見)からいかにして作品を解き放ち、自由に豊かな「読み」を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス・履修者確定 (2) 導入授業・発表分担当決定
(3) 『魚服記』の発表と質疑 (4) 『魚服記』のディスカッション

履修上の留意点 以下、1作品2週間のペース(1週目は発表と質疑、2週目はディスカッション)で、『人間失格』までの演習を進め、最後に合宿ゼミナールのための授業と合宿ゼミナールを実施する。
毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

成績評価の方法 平常点と、期末のリポートの採点結果とを総合的に評価する。

教科書／テキスト 『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィヨンの妻』、『人間失格』(いずれも新潮文庫)

参 考 書 教場で指示する。

履修コード	019101
科目名	国語国文学演習Ⅰ
担当者名	勝原 晴希 <small>かつはら はるき</small>

講義の到達目標(ねらい) 近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、詩作品についての自分の考察をまとめ、発表する力を養う。

講義の内容／授業スケジュール 近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。これまでに採りあげた詩人の例を、以下にあげておく。
北原白秋・高村光太郎・三好達治・中原中也・室生犀星・萩原朔太郎・宮澤賢治・立原道造・武者小路実篤・草野心平・石原吉郎・八木重吉・寺山修司・茨木のり子・石垣りん・金子みすゞ・富岡多恵子・谷川俊太郎・大槻ケンヂ・町田康

履修上の留意点 各人の積極的な参加を求める。
発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価するので、注意すること。

成績評価の方法 プリント配布。

教科書／テキスト 授業時に指示する。

参 考 書

国文

履修コード	019301
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	土井 光祐 <small>どい こうゆう</small>

講義の到達目標(ねらい) ○文語規範の原点にある平安時代語が徐々に変質して近代語化する様相を、鎌倉時代成立・書写資料に基づき観察する。
○特定の文献を国語史的観点から具体的に考察することによって、国語史の基礎知識、研究方法、文献学的な処理の方法を身に付ける。

講義の内容／授業スケジュール 中世は、現代語に通じる日本語の大転換期と言われ、近代語の芽生えの時代とされている。
本演習は、言語資料として鎌倉時代に活躍したカリスマ的学僧である明恵上人の言行録である「脚癡忘記(きゃくはいもうぎ)」鎌倉時代(1235年)写本の写真版を使い、国語学的に考察する。
「脚癡忘記」は、明恵上人の没後三年を経て、弟子が明恵上人存命中に発言した言葉をそのまま文字化した可能性を有する希有の口語資料として知られ、漢字片仮名交り文で記されている。文献学的手続きを厳密に適用して、古代語から近代語への過渡期にあたる鎌倉時代の言語の実態を表記史、音韻史(和語、漢字音)、文法史、語彙史、文体史の諸点から考察していく。
発表は原則として前期1回、後期1回の計2回を予定している。前期は文献学的手続きの基礎を学ぶことを目的とする。後期は発表者が任意の言語事象を選び、自由な視点から調査する。
【第1回～第3回】教員より資料の概説と調査方法の説明。
【第4回～】順番にレポーターを決めて、レジュメを作成し、発表する。
出席、発表内容、質疑への参加態度、レポート内容の総合による。
プリント配布。

成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書 ○高山寺典籍文書総合調査団編『明恵上人資料第二』(東京大学出版会)
○田中久夫他『鎌倉旧仏教』(日本思想大系)(岩波書店)
○高橋秀栄『大乘仏典 中国・日本篇第20巻 栄西・明恵』(中央公論社)
※その他授業中に指示する。

その他 eラーニングシステム YeStudy を適宜利用する。

履修コード	019401
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	中嶋 真也 <small>なかじま しんや</small>

講義の到達目標(ねらい) 『万葉集』の理解を深めることを根本のねらいとします。
前期は一つの共通のテーマを設定し、そのテーマに沿った歌の発表をし、思考方法や知識などの共有、ならびに討議の水準を高めることを目標とします。後期は受講者各自が、研究する歌人を定めて、その詠歌について発表してもらい、歌人に関する理解を深めることを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、受講者全員で一つのテーマを研究していきます。候補としては、「宴」「恋」(独詠)、「恋」(贈答)、「旅」「死」「伝承」などが考えられます。
後期の歌人研究は、『万葉集』の代表的な歌人を、受講者それぞれ1人取り上げ、その詠歌に関して調査発表してもらいます。具体的には、額田王、柿本人麻呂、高市黒人、山上憶良、大伴旅人、大伴坂上郎女、山部赤人、笠金村、高橋虫麻呂、笠女郎、大伴家持あたりが対象になります。
以下、大まかな予定を示しておきます。
第1回 ガイダンス、第2～4回 『万葉集』概説、調査方法解説、担当決定、第5～14回 テーマ研究発表、第15回 前期まとめ・後期ガイダンス、第16～29回 歌人研究発表、第30回 後期まとめ
復習を充実させてください。
地道な努力を怠らず、卒業論文を視野に入れて意欲を持って取り組んでください。
演習の主体は、学生の側にあります。欠席は極力慎むこと。
発表内容を特に重視します。質疑、それに対する応答、提出物、出席状況も加味して総合的に評価します。

準備学習 履修上の留意点 井手至・毛利正守『新校注 萬葉集』(和泉書院 2008)
テキストは、今年度は上記のものを指定しますが、昨年度までの「演習Ⅰ」などで用いていた、鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)でも問題はありません。

成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書 必要に応じて、授業中に指示します。

履修コード	019501
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	まつい けんじ 松井 健児

講義の到達目標(ねらい)

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容／
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の「葵」「賢木」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を行ない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。(1～2)『源氏物語』概説・参考文献紹介、(3～4)基礎演習・発展演習の方法、(5～6)『源氏物語』基礎研究、(7～8)当該巻全体報告、(9～10)担当範囲分担報告、(11～18)演習発表、(19～20)レポート説明、(21～28)演習発表、(29～30)レポート発表。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定することに留意してほしい。

成績評価の方法

受講者による (1)演習発表資料 (2)発表内容 (3)レポート (4)出席状況 (5)その他を総合して行なう。

教科書／テキスト
参 考 書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』(新潮社)
授業時に紹介する。

履修コード	019601
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	ゆきあさ ひさよ 湯浅 幸代

講義の到達目標(ねらい)

平安後期に成立した『狭衣物語』を巻一から読む。演習では『源氏物語』を中心とした先行文学の影響、及び時代背景(後期摂関時代)に留意しながら、物語独自の文章、及びその構造を明らかにしていくことを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

最初に平安後期物語の特質、また『狭衣物語』成立の背景、及び多様な本文を生み出した享受の様相について講義した後、受講者に本文を割り振り、毎回発表してもらう。発表者は、注釈や参考文献をもとに資料を作成し、担当範囲の内容について考察を述べる。この演習発表をもとに、互いに意見を出し合う形で講義を進める。(1～2)『狭衣物語』概説・参考文献紹介、(3～4)演習基礎訓練、(5～14)演習発表、(15)総括、(16～25)演習発表、(26)総括、(27～28)レポート説明・参考文献紹介、(29～30)レポート討論

履修上の留意点

演習は発表と意見交換が基本となるため、各自の主體的な姿勢が求められる。

成績評価の方法

(1)発表内容、(2)レポート、(3)出席、(4)討論時における意見、を総合して評価する。

教科書／テキスト

久下晴康・堀口悟編『校注 狭衣物語』(新典社)1700円+税

参 考 書

参考書は授業時に紹介する。

国文

履修コード	019801
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	櫻井 陽子

講義の到達目標(ねらい)	平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。 平家物語の作品世界を知り、内容を精読し味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。
講義の内容／授業スケジュール	『平家物語』の登場人物、事件、事象、事柄などから関心をもつテーマをとりあげ、研究上の諸問題についてまとめ、その上で自分なりの問題点を設定し、調査し、発表する。 全体を追ってもよいし、部分に絞ってもよい。但し、絞る場合でも、必ず全体を見通した上での発表となるように。 覚一本を中心とし、精読する中で生み出される疑問を出発点とすること。その際、なるべく他種の異本も視野に入れること。 1～3 『平家物語』の説明 4～ 発表
履修上の留意点	問題点は書誌学・国語学・芸能・和歌・説話・音楽・宗教他、多方面にわたり、また、歴史との関わりにも注意を向ける必要がある。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。 発表の前週に資料を配っておくこと。 授業中の討論に積極的に参加し、必ず一回は発言すること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。 授業中に適宜指示する。 授業中に適宜指示する。

履修コード	019901
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	田中 徳定

講義の到達目標(ねらい)	院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読解しながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありようを探究し、さらには人々の思想・信仰について考察する。
講義の内容／授業スケジュール	『今昔物語集』の説話について、鬼・天狗・陰陽道・狐、また笑話等、興味を持ったテーマを設定して、当時の人々の生活や信仰のありようを調査、研究し、その様相を探っていく。
履修上の留意点	専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	出席状況、授業中に行なう口頭発表、レポートによって総合的に評価を行なう。 今野達編『新注 今昔物語集選』(大修館書店) 1,260円 授業中に随時指示する。 受講生に発表担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行ない、その結果をレジュメに作成し、授業中に口頭発表を行なう。

履修コード	020001
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	近衛 典子

講義の到達目標(ねらい)	古典文学作品を自ら読解・研究するために必要な、基礎的な力を身に付けることを目標とします。
講義の内容／授業スケジュール	井原西鶴の浮世草子『西鶴名残の友』を読みます。担当部分の語彙、事項等を調査し、現代語訳を付した上で、その章段のテーマを考えます。近世特有の柔らかな笑いを味わって下さい。 (1～2) ガイダンス・担当章段の決定、(3～) 口頭発表
履修上の留意点	単に作品の文脈を追うだけではなく、作品世界の背後にある文化的慣習、法律体系、語彙を支える典拠など、幅広い関心を持って調査を進めて下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	口頭発表、質疑応答への参加の態度、出席状況、レポートによって総合的に評価します。 プリントを配付します。 授業中に指示します。

履修コード	020101
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	林 達也

講義の到達目標(ねらい)

基礎演習である演習Ⅰを経た上での展開の位置にある演習である。

参考書の読みをうまく消化することから発展して、自分で調べて読む姿勢を強め、むしろ、自分が参考書を作成する意気込みを持つ。

講義の内容／
授業スケジュール

数年前から近世の女性の紀行・日記を読む演習を続けており今年度は読み応えのある、幕末の勤王派の女性志士で、歌人でもある野村望東尼の『夢かぞへ』を読む。参考書もあまりなく、まして注釈書はない。従って、受講生自身で注釈をつけ、現代語訳を施してゆくことになる。困難はあるが、それだけにやりがいのある演習になる。

準備学習

4月開講時まで、野村望東尼について自分で調査し、基礎的な知識と理解を持っておくこと。これを受講許可条件とする。

履修上の留意点

演習は、教員と受講生の共同作業という基本的な合意がなければならない。積極的に、演習に参加しようとする学生及び授業に集中できない学生の受講は避けられたい。

成績評価の方法

担当レポートの質、毎時の演習での参加態度、学年末の提出レポートの成果などを総合的に判断して評価する。

教科書／テキスト

プリント教材を用意する。

参考書

開講時に紹介する。

その他の

調べ、まとめ、発表資料(レジュメ)として、聞き手に正しく伝達する(所謂プレゼンテーション)訓練に励み、卒業論文作成へのよき準備にしよう。

履修コード	020201
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	岡田 豊

講義の到達目標(ねらい)

作品を熟読し、関連資料を調べ、分析を行い、レジュメ(発表概要)をまとめ、発表(プレゼンテーション)を行い、議論を行うプロセスを通して、研究的視座に立って文学作品にアプローチする方法をさらに深く学ぶとともに、作品間の関連や、同時代の状況との関連性を探る広い視野からの考察を実践する。その分、基礎演習より難易度が上がる。

講義の内容／
授業スケジュール

昭和30年代以降の小説を研究対象とする。

履修者が確定する第1回目の授業時に、発表方法、発表回数、担当チーム、年間スケジュール等を決める。

履修上の留意点

基本的には、数人の発表者が自分たちが決めた作品について発表を行い、全員でその作品についてディスカッションを重ねる。

履修者は演習という授業形式を自覚し、主体的に発表を行い、積極的にディスカッションに参加しよう努めてほしい。報告担当者以外からの新たな問題提起や、見落とされた問題点の指摘を活発に行ってほしい。発言する人が毎回同じ人とか、教員のコメントを待ちわびるというような受け身の態度はいっさい認めていないので、参加した以上は精一杯頑張ってもらおう。

成績評価の方法

発表内容と出席点をメインに、授業への参加度(ディスカッションでの発言等)を加味し評価する。年度末にレポートの提出を求めるが、発表と討論を主とする。

教科書／テキスト

授業時に指示する。基本的には文庫本がテキストになる。

参考書

参考文献等は教室で指示する。

履修コード	020301
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	高田 知波

講義の到達目標(ねらい)

年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。明治前期から1960年代末頃までを対象範囲とする。森鴎外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、岡本かの子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品(小説に限定)を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学の流れを体感することを目指す演習である。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス、履修者確定 (2) 年間スケジュール確定(演習で取り上げる作品の確定と発表分担の決定。作品は学生の希望を重視して決定する) (3) 1作品2週間のペース(1週目は発表と質疑、2週目はディスカッション)で演習を実施する。

履修上の留意点

毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教科書／テキスト

取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。

参考書

教場で指示する。

国文

履修コード	020401
科目名	国語国文学演習Ⅱ
担当者名	勝原 晴希

講義の到達目標(ねらい) 近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、詩人とその作品についての自分の考察をまとめ、発表する力を深める。

講義の内容／授業スケジュール 近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は参加者の希望によるが、場合によっては振りあてられることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。これまでに採りあげた詩人の例を、以下にあげておく。
谷川俊太郎・三好達治・新川和江・宮澤賢治・萩原朔太郎・高村光太郎・辻仁成・金子みすゞ・小野十三郎・若山牧水・中原中也・中野重治・寺山修司・立原道造・西脇順三郎・野口雨情・西條八十・大木淳夫・石垣りん・山村暮鳥・まどみちお・工藤直子・江國香織・荒川洋治・伊藤比呂美

履修上の留意点 各人の積極的な参加を求める。欠席回数に制限があるので、注意すること。

成績評価の方法 発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書／テキスト プリント配布。

参 考 書 授業時に指示する。

履修コード	020601
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	土井 光祐

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文執筆のための具体的な手続きについて、発表を繰り返して検証していく。

講義の内容／授業スケジュール 以下の手続きを段階的、相互補完的に整理して、発表してもらう。
1、卒論の候補となる仮設的なテーマを設定する。
2、研究史の確認(リスト化して、コピー、ファイリングし、読む)。
3、学問体系の中での研究の意義を確認する。
4、研究対象とする言語資料を設定する。
5、具体的な研究方法を設定する。

履修上の留意点 以上をその都度文章化し、ある段階からサンプリング調査、ポーリング調査を試験的に行って、研究の適切性の検証を繰り返していく。1～5はそのまま卒論内の序論となる。
1～5の検証を経ずして論題の設定はあり得ない。徹底した調査が不可欠となる。

成績評価の方法 熱意ある取り組みには真摯に応える。

参 考 書 出席点50% 発表内容50%

そ の 他 授業時に随時紹介。
eラーニングシステム YeStudy を適宜利用する。

履修コード	020701
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	中嶋 真也

講義の到達目標(ねらい) 上代文学で卒業論文を作成する学生を対象に指導を行います。

講義の内容／授業スケジュール 卒業論文作成に向け、必要な調査方法や具体的な作業について、指導・助言を行ないます。演習として、前期・後期それぞれ最低1回の発表を義務とし、9月と11月に文章化した課題を提出してもらいます。個別面談も随時行ないます。

履修上の留意点 以下、大まかな予定を記しておきます。
第1回 ガイダンス、第2～14回 発表・面談、第15回 前期まとめ、第16～29回 発表・面談、第30回 後期まとめ
自分の研究課題を自覚し、卒業論文に結び付くよう発表や課題に取り組んでください。また、他の受講生の発表などからも大きな刺激を得られるよう、集中して授業に参加してください。

成績評価の方法 演習の発表内容、出席、討論への参加などを総合的に評価します。

教科書／テキスト 坂本信幸・毛利正守編『万葉事始』(和泉書院)

参 考 書 必要に応じて、授業中に指示します。

履修コード	020801
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	松井 健児

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。
卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－参考文献の検索－文献目録－研究史の把握－資料作成－中間報告－論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、論文の作成を自主的に行えるよう指導、助言する。また『源氏物語』の読みから卒業論文テーマの実例を考える。(1～3) 卒論テーマの提出、(4～7)『源氏物語』第一部、(8～11)『源氏物語』第二部、(12～15)『源氏物語』第三部、(16～19) 夏期レポート提出・卒論具体例の研究、(20～23) 中間発表会第一部、(24～27) 中間発表会第二部、(28～30) 目次・序文提出・報告会。

履修上の留意点
成績評価の方法

自主性と積極性。
受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

履修コード	020901
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	湯浅 幸代

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

平安時代の文学を対象とした卒業論文を作成するにあたっての指導、及び助言。受講者は、4年間の学業の総括となる論文を仕上げるための力を養う。
最初に、平安時代の文学を卒論テーマとするにあたり、必要な参考文献を紹介する。その後、各自、卒論テーマを提出し、卒論関連論文を読む。それらを元に発表を行い、卒論具体例の研究に入る。夏期レポートは、各自のテーマに沿って、論文の一部を執筆する。後期は、それらを元に中間報告として発表する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

(1) 参考文献紹介、(2～3) 卒論テーマの提出・参考文献検索指導、(4～10) 卒論関連発表、(11～15) 卒論具体例の研究、(16～18) 夏期レポート提出と総括、(19～25) 卒論中間発表会、(26～30) 発表会の総括
各自の主體的な姿勢が求められる。
(1) 発表内容 (2) レポート (3) 出席 を総合して評価する。
適宜、コピーして配付する。
授業時に指示する。

履修コード	021001
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	櫻井 陽子

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

卒業論文作成の指導を行う。
学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書

1～3 卒業論文の書き方・諸注意
4～ 学生自身の発表と討議
学生自身の自主的な活動に負う。
卒業論文の内容と完成に至る過程。
授業時に適宜指示する。

履修コード	021101
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	田中 徳定

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

卒業論文作成のための指導を行なう。
年度始めに「卒業論文研究計画書」を提出してもらう。その研究計画に沿いながら、授業中に口頭発表を行なってもらう、その都度、発表内容をまとめたレポートを提出してもらう。また、論文の作成方法について、随時、具体的に指導を行なう。

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書

専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。
授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。
授業中に随時指示する。

国文

履修コード	021201
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	近衛 典子 <small>このえ のりこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文を作成するための基本的な力を養うことを目的とします。各自の卒業論文のテーマに合わせて取り上げる作品を決定、必要な資料の検索方法、論文の書き方などを指導します。

講義の内容／授業スケジュール 基本的に発表形式で進めます。(1) ガイダンス (2～4) 作品解説、調査方法の指示、発表担当者の決定 (5～30) 担当者による発表。中間発表会も行う予定です。

履修上の留意点 出席を重視します。自主的な取り組みを期待します。

成績評価の方法 最も重要なことは積極的に授業に参加することです。担当者の発表内容・配付資料の的確さが問われるのは勿論ですが、参加者の発表への質疑、担当者の応答、提出物、出席状況等も加味して評価を行います。

履修コード	021301
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	林 達也 <small>はやし たつや</small>

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文作成のための演習である、この演習を通して、卒論対象作品作家を深く理解し、自分なりの切り口、作品作家と渡り合う方法を見出す努力をしよう。

講義の内容／授業スケジュール 受講生の選ぶ対象にしたがう。

履修上の留意点 演習は、教員と受講生の共同作業という基本的な合意がなければならない。積極的に、卒業論文作成に向かい合えない学生の受講は避けられたい。11月末には卒業論文を完成させるという強い意志をもつこと。

成績評価の方法 卒業論文作成への姿勢、卒業論文の質、毎時の演習での参加態度、等を総合して評価する。

教科書／テキスト 対象作品作家に応じた教科書を指示する。

参 考 書 開講時に紹介する。

履修コード	021401
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	岡田 豊 <small>おかだ ゆたか</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本の近現代文学を対象とした卒業論文作成のための指導、助言を行う。「学士」の研究論文の指導であり、通常の演習形式の授業の指導とは違うという意識を持って臨んでもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 卒業論文論題提出前の4月～5月の時期に個人指導を行い、対象とする作家、作品を決定していく。また、授業においては前後期を通じて順次、各自が卒業論文に関連する作品について個人で口頭発表を行い、教員も含めて出席者全員による討論によって検討を進めていく。後期に於いても、各自の卒業論文執筆の進捗状況に応じて随時、個人指導を行う。

履修上の留意点 発表や面談などに於いて意欲的かつ主体的に取り組む姿勢を見せて欲しい。

成績評価の方法 また、卒業論文は指導教員の指導のもとで作成するものであるから、授業や個人指導に積極的に出席しなければならない。

教科書／テキスト 発表内容、発表後に提出するレポートの内容、卒業論文執筆のための計画と姿勢ならびに出席状況等を総合的に評価する。

参 考 書 必要に応じて、授業時に指示する。

履修コード	021501
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	高田 知波 <small>たかた ちるみ</small>

講義の到達目標(ねらい) 各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを二本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 発表分担、年間スケジュールの確定(作品は卒論テーマを見据えつつ発表者自身が決定する) (3) 以下、1作品1週のペースで演習を実施し、全員の卒論提出をめざす。

成績評価の方法 平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

履修コード	021601
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	勝原 晴希

講義の到達目標(ねらい)	近現代の詩歌を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。あわせて卒業論文作成に向けての指導を行なう。
講義の内容／授業スケジュール	近現代の詩歌を読む。対象とする詩人・作品は学生の希望（原則として卒業論文に関連するもの）を尊重するが、場合によっては振りあてられることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。
履修上の留意点	各人の積極的な参加を求める。欠席回数に制限があるので、注意すること。
成績評価の方法	発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。
教科書／テキスト	プリント配布。
参考書	授業時に指示する。

履修コード	013301・013302
科目名	国文学史ⅠA（古典） 国文学史Ⅰ（古典）
担当者名	鈴木 裕子

講義の到達目標(ねらい)	上代から近世に至るまでの日本文学史の流れを把握し、日本文化を理解するための基礎的な知識を身につける。また、現代を生きる私たちにとって文学とはいかなるものかを総合的に考えるための広い視野を養う。
講義の内容／授業スケジュール	・授業の概要 文学史上重要な作品や事柄を取り上げ、時代背景や作品の影響関係などを解説しながら紹介していく。 ・授業計画 (1) 総説・文学史とは何か、(2～6) 上代の文学……神話、上代の詩歌、(7～14) 中古の文学……中古の詩歌、仮名文学の成立と達成、(15) まとめ・上代から中古まで、(16～23) 中世の文学……中世の詩歌、中世物語の世界、和歌と連歌、遁世者の文学、(24～29) 近世の文学……近世文学の概要、近世の詩歌、近世小説、古典芸能の流れ、評論 (30) 総括……日本文化の伝統と創造について 予め配布するプリントに目を通しておくとよい。 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。 期末毎に行う筆記試験60%、平常点40%で評価する。平常点は、出席状況、授業内で課する小テスト、授業外に課する課題等で評価する。なお、三分の一以上欠席すると筆記試験の受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
準備学習	
履修上の留意点	
成績評価の方法	
教科書／テキスト	『日本古典文学史』（双文社出版）1,785円 その他、プリント教材。
参考書	参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	013401・013402
科目名	国文学史ⅠB（古典） 国文学史Ⅰ（古典）
担当者名	蘭部 幹生

講義の到達目標(ねらい)	日本の古典文学史全般にわたって講義するが、単なる知識の修得に終わるのではなく、時代背景や理念、作品の文学史的意義、作品間の関連などについても理解し、考える力を身につけることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	1講座説明。2時代区分と時代の概念およびジャンル意識。3～6韻文の文学（和歌）。7～10韻文の文学（連歌・俳諧）。11歌学書。12歴史文学。13軍記文学。14日記・紀行文学。15随筆文学。16物語文学。17説話文学。18～28課題文学史。29教場試験。30まとめ。
準備学習	必要に応じてその都度指示する。
履修上の留意点	毎時間、最初に、確認テストを行い、最後にその日の講義内容に関する意見文の提出を求める。必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	出席点20点、確認テスト20点、毎時間の意見文20点、教場試験40点の割合で評価する（教場試験はテキスト・ノート・辞書・参考書等持込可。確認テストは持ち込み不可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書／テキスト	高木博、佐々木克衛、神谷吉行編『新日本文学史要説・古典』双文社出版、1500円＋税。
参考書	必要があればそのつど紹介する。

履修コード	013501・013502
科目名	国文学史Ⅱ A (近現代) 国文学史Ⅱ (近現代)
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

国文

講義の到達目標(ねらい)

明治以降、近代から現代に至るまでの日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。ひいては文学史の構築を可能ならしめるべく、近代以降の文学の展開と歴史の消長の間に独自の法則性を見つけ出すことをこの授業の到達目標としたい。

講義の内容／
授業スケジュール

小説による表現を主軸として文明開化期から昭和の終り(1988)までにおいて、個々の作家ならびにその集団が作り出した文学潮流と変転する歴史の潮流との相剋に焦点をあて、一連の作品生成の流れにどのような法則性が存在するかについて言及していく。その際、基本的な文学史事項の説明だけでなく、できるだけ具体的に個々の作品の本文と照らし合わせて、その表現の様態を把握することが可能になるよう留意して授業を進めたい。

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：文明開化期の文学について
- 第3回：過渡期の文学について
- 第4回：写実小説について
- 第5回：浪漫主義文学について
- 第6回：硯友社の文学について
- 第7回：社会主義思想と文学について
- 第8回：自然主義文学について
- 第9回：反自然主義文学について
- 第10回：耽美派について
- 第11回：「白樺」派について
- 第12回：「奇蹟」派について
- 第13回：「新思潮」派について
- 第14回：明治作家の成熟について
- 第15回：ニヒリズムについて
- 第16回：私小説について
- 第17回：労働文学について
- 第18回：大衆文学の確立について
- 第19回：プロレタリア文学について
- 第20回：新感覚派について
- 第21回：新興芸術派について
- 第22回：転向と文芸復興ならびに日本浪漫派について
- 第23回：戦後文学の出発について
- 第24回：第一次戦後派と政治について
- 第25回：第二次戦後派と前衛について
- 第26回：第三の新人と家庭小説について
- 第27回：70年安保前後の時代について
- 第28回：「内向の世代」について
- 第29回：文学の現在について
- 第30回：総論的まとめ—文学史の構築について—

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と並行して読むことが望まれる。また、特に詳しく取り上げる作品はあらかじめ知らせるので、事前に読んでおくこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

年度末の筆記試験の成績、課したレポートの内容、ならびに毎回の講義の出席状況を総合して成績評価を行う。

教科書／テキスト

『現代日本文学史』(笠間書院) 1,800円

適宜プリントも配布する。

参 考 書

授業時に指示する。

履修コード	013601・013602
科目名	国文学史Ⅱ B (近現代) 国文学史Ⅱ (近現代)
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行

講義の到達目標(ねらい)	日本近代文学史を、演劇・映画・音楽などの表現とともに総体としての芸能文化史の中に位置づけ、「メディアの中の文学」を考える。明治維新から昭和10年頃までを対象として特に近代演劇史に注目し、テキスト論ではなくパフォーマンス論の立場から、近代の「ものの見かた」が形成される歴史的過程を明らかにすることを目指す、「もう一つの近代文学史」。
講義の内容／授業スケジュール	(1-2)「近代」とは何か (3-4) メディアと文学 / 前近代の文学世界 (5-6) 歌舞伎開化と演劇改良 (7-8) 自由民権運動と壮士劇 (9-10) 硯友社文学と新派劇「婦系図」 (11-12) 複製芸術とメディアー映画とレコード (13-14) 大衆小説から映画へ (15-16) リアリズムと「新劇」 (17-18) 帝国劇場と女優の誕生 (19-20) 帝劇・三越・宝塚ー近代の視線 (21-22) 近代浅草の芸能空間 (23-24) 川端康成「浅草紅団」を読むー震災後の浅草 (25-26) エノケンとモダンイズム映画 (27-28) 大衆消費社会とプロレタリア
準備学習	大学入試の国語で問われる程度の基本的な文学史の知識はあるものとして話をすすめるので、自信がない場合は高校の国語の授業で使った国語便覧などで、近代文学史の概要を復習しておくこと。
履修上の留意点	授業は通常の教場(PC教場ではない)で行うが、授業内容に関連した「選択課題」を、E-Learningシステム YeStudy を使って提出していただくことになるので、履修者全員が各自 PC でコース登録をする必要がある。YeStudy のコース登録に必要な「登録キー」は、授業で伝達する。
成績評価の方法	授業で戯曲を講読する際は、グループを編成して役を振りあて、台詞をそれぞれ音読していただく。出席状況と授業での提出物による評価が20%、前期末と学年末の定期試験期間中に実施する筆記試験の合計点による評価が40%、YeStudy を使用した選択課題提出による評価が40%として配点する。出席が2/3に満たない場合や、選択課題の提出が定められた基準に達しない場合は、単位を取得できない。
教科書／テキスト	指定しない。

履修コード	013701
科目名	国語史
担当者名	やまもと しんご 山本 真吾

講義の到達目標(ねらい)	古代から近代にかけての日本語の流れを概説する。特に時代の変動期に注目することによって、多様な文献資料の複雑な言語変化のさまを観察してみたい。その際には、言語活動の主体である当時の人々の社会、生活、文化、宗教とのかかわりも重視し、観点も文字・表記、音韻、文法、語彙、文体と幅広く取り上げたい。
講義の内容／授業スケジュール	【前期】※以下の項目に従って、講義を行う。 1、国語史の研究水準と問題点 (1回) 2、奈良時代の文字・表記 (2～4回) 3、奈良時代の音韻 (5回) 4、平安時代の文学表現と言語 (6～11回) 5、院政期言語の諸問題 (12～14回) 6、前期の総括及び筆記試験 (15回) 【後期】※以下の項目に従って、講義を行う。 1、鎌倉時代語の諸問題 (1～5回) 2、室町時代の日本語 (6～8回) 3、江戸時代の日本語 (9・10回) 4、幕末明治期言語の諸問題 (11～14回) 5、後期の総括及び筆記試験 (15回)
履修上の留意点	図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用してほしい。
成績評価の方法	(前期・後期の講義最終回に予定の)筆記試験 (70%) 及び平常点 (30%) により評価を行う。
教科書／テキスト	用いない。適宜プリントを配布する。
参考書	講義の中で随時紹介する。

国文

履修コード	013801
科目名	国語学史
担当者名	木村 一 <small>きむら ひとみ</small>

講義の到達目標(ねらい) 言語研究の歴史について考える。いつ・どこで・誰が・どのような研究を行ってきたのかを国語学の視点から理解し、説明できるようになることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール 国語についての研究は、古代から様々な観点でなされてきている。その流れを大きくテーマによって区分し(古語への意識、音韻の研究、文法の研究、語彙の研究、キリシタンの日本語研究など)、概観したい。また、国語学史上、欠かすことのできない資料の読解もあわせて行う。

前期は、日本語学の時代区分(第1回)、国語学史の意義(第2-3回)、古語の意識(第4-6回)、音韻の研究(第7-9回)、仮名遣いの研究(第10-12回)、文法研究(第13-15回)をあつかう。後期は、方言の研究(第16-18回)、アクセントの研究(第19-21回)、語彙の研究(第22-24回)、キリシタンの日本語研究(第25-27回)、西洋人の日本語研究(第28-30回)をあつかう。

準備学習 教科書の該当箇所を事前に通読しておくこと。

履修上の留意点 テキストの分類に沿って講義形式で授業を進めるが、プリントなどによる資料を配布して、受講者による調査・作業も行う予定である。積極的な取り組みを希望する。

成績評価の方法 授業への参加姿勢、出席状況、試験・レポートなどを総合して評価する。

教科書／テキスト 『国語学史』(第3版) 馬淵和夫・出雲朝子 笠間書院 ¥1,890

参考書 『国語学史資料集』 国語学会編 武蔵野書院
『国語史資料集』 国語学会編 武蔵野書院
『資料日本語史』 沖森卓也編 おうふう
『古典日本語の世界』 東京大学教養部国文・漢文学部会 東京大学出版会
その他、授業を通じ必要に応じて紹介する。

履修コード	014001
科目名	国語学研究Ⅱ
担当者名	木村 一 <small>きむら ひとみ</small>

講義の到達目標(ねらい) 西洋人による文法研究資料と会話資料を中心に扱う。国語学の知識を活かし、諸現象について説明できることを目指す。

講義の内容／授業スケジュール ことばとは、ある時点での現在を反映すると共に、その前後と深いかわりを持っている。西洋人による日本語研究が盛んに行われた室町から江戸初期と、江戸末期から明治初期にかけてあらわされた文法研究資料と会話書を中心資料として、広く日本語について考察したい。

前期は、西洋人による文法研究資料と会話書の概説(第1-3回)、キリシタンによる文法研究(第4-9回)、キリシタンによるその他の資料群(第10-13回)、前期の総括(第14-15回)をあつかう。後期は、西洋人による江戸・明治期の文法研究資料(第16-21回)、西洋人による江戸・明治期の会話書(第22-27回)、西洋人による江戸・明治期のその他の資料群(第28-29回)、一年の総括(第30回)をあつかう。

準備学習 授業時に配布する資料について、読み込んでおくこと。

履修上の留意点 主として講義形式で進めるが、併せて、文献を利用した基礎作業や、課題の報告などを行う。

成績評価の方法 授業への参加姿勢、出席状況、試験・レポートなどを総合して評価する。

教科書／テキスト 適宜プリントを配布する。

参考書 森岡健二著 『改訂 近代語の成立 語彙編』 明治書院
沖森卓也他編 『日本辞書辞典』 おうふう
惣郷正明著 『日本語開化物語』(朝日新書360) 朝日新聞社
丸山真男・加藤周一著 『翻訳と日本の近代』(岩波新書 新赤版580) 岩波書店
高島俊男著 『漢字と日本人』(文春新書198) 文芸春秋
その他、授業を通じ必要に応じて紹介する。

履修コード	014201
科目名	上代文学研究Ⅱ
担当者名	なかじま じんや 中嶋 真也

講義の到達目標(ねらい)

『万葉集』の平安時代における様相を探求します。
 具体的には『古今和歌六帖』という歌集を取り上げます。この歌集は、平安時代、和歌実作の手引となるよう、項目ごとに歌を集め、編纂されました。取められている歌は、『万葉集』、『古今和歌集』、『後撰和歌集』を中心に、約4500首に及びます。紫式部や清少納言も利用した歌集と考えられており、日本文学史上、極めて重要な書の一つなのです。

講義の内容／
授業スケジュール

『万葉集』は漢字で日本語を記す時代の所産ですが、仮名テキスト『古今和歌六帖』では『万葉集』から採録されたと想定される歌も仮名書きで提示されています。その万葉歌は、『万葉集』の古い写本に見られる訓に一致するものもあれば、漢字原文からかけ離れたものもあります。なぜそのような状況が生じているのか、単にテキストの比較だけでなく、用いられた表現に留意しながら、理解を深めていくことを目標とします。

『万葉集』などの概説を行なった上で読解に入ります。

読解は『古今和歌六帖』の項目に即しながら、具体的に一首一首読んでいきます。『万葉集』と『古今和歌集』『後撰和歌集』との表現や景物の把握などの共通点や相違点を確認しながら、平安時代の『万葉集』の理解を深めていきます。

第1・2回 ガイダンス・『万葉集』『古今和歌六帖』概説、第3～5回 第一帖・季節の様相、第6～8回 第一帖・月、第9～11回 第二帖・山と野、第12～14回 第三帖・水辺の景、第15回 前期試験

第16～20回 第四帖・さまざまな「恋」、第21～25回 第五帖・さまざまな「思ひ」、第26～29回 第六帖・草と木、第30回 後期試験

準備学習

通年の授業ですので、積み重ねが大きな意味を持ちます。授業の復習が以降の授業の最善の準備学習となります。

履修上の留意点

日本古典の持つ面白みと真剣な側面を感受してほしいと思います。毎回テキストを忘れずに持ってくること。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学期末の試験（85％）と授業中の提出物、出席状況ならびに授業態度（15％）。

井手至・毛利正守『新校注 萬葉集』（和泉書院 2008）

必要に応じて、プリントも配布します。

テキストは、今年度は上記のものを指定しますが、昨年度までの「上代文学研究Ⅰ」などで用いていた、鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）でも問題はありません。

参考書

必要に応じて、授業中に指示します。

履修コード	014401
科目名	中古文学研究Ⅱ
担当者名	ゆあさ ゆきよ 湯浅 幸代

講義の到達目標(ねらい)

くずし字の知識を身につけ、写本に親しみながら、平安時代の作品・『篁物語』を読むことで、ジャンル（日記・物語等）の横断や、作り物語の特徴について考える。

講義の内容／
授業スケジュール

『篁物語』の主人公・小野篁は、平安前期に実在した文人官僚であり、『江談抄』や『今昔物語』には、生前から冥府の官人として活躍する姿などが描かれている。この物語は、『篁日記』や『小野篁集』といった異名を持つが、実際は後人の手による作り物語であり、内容は小野篁と異母妹との悲恋が中心となる。授業では、『篁物語』が先行作品をどのように摂取し、新たな物語を目指したか、その方法について説明する。また、テキストは写本のコピーを配り、くずし字を読む訓練も同時に行っていく。(1～2)『篁物語』概説・参考文献紹介、(3)写本説明、くずし字概説、(4～6)歌物語と『篁物語』、(7～9)異母兄妹の恋愛、(10～12)贈答歌の解釈、(13～15)異母妹の稲荷詣で、(16～18)恋の成就と「家」からの逸脱、(19～21)恋の結末としての死霊化、(22～24)右大臣の娘への求婚、(25～27)篁の結婚と未練、(28～30)『篁物語』総括

履修上の留意点

遅刻・欠席が多い場合、評価の対象としない。またくずし字については、基礎から説明を行う。

成績評価の方法
教科書／テキスト

前期・後期の試験、授業時のくずし字小テスト、出席状況などを総合して評価する。

『字典かな一出典明記一改訂版』（空閑書院）380円

※『篁物語』のテキストは写本のコピーを配付する。

参考書

授業時に紹介する。

国文

履修コード	014601
科目名	中世文学研究Ⅱ
担当者名	田中 徳定 <small>たなか のりさだ</small>

講義の到達目標(ねらい)	中世は戦乱の世であった。それゆえか、中世文学には、政争や戦乱に敗れた者たちが、しばしば「怨霊」や「天狗」となって、この世に災厄をもたらす話が多く登場する。そこで、「怨霊」と「天狗」を軸に中世文学を読解し、その背景にあった中世の人々の信仰や思想について考察する。
講義の内容／ 授業スケジュール	怨霊と御霊 (1～3)、『北野天神縁起』にみる怨霊と祭祀 (4～6)、中世の始発 (8～10)、崇徳院の怨霊 (11～13)、天狗とは何か (14～17)、『平家物語』にみる怨霊と天狗 (17～20)、『太平記』にみる怨霊と天狗 (21～25)、謡曲にみる怨霊と天狗 (26～30)
履修上の留意点	専門科目であるので、出席を基本とする。
成績評価の方法	出席点、および前期、後期に課すレポートによって総合的に評価する。
教科書／テキスト	授業中にプリントを配布する。
参 考 書	授業中に、その都度紹介する。

履修コード	014801
科目名	近世文学研究Ⅱ
担当者名	川元 ひとみ <small>かわらもと ひとみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	浮世草子という新しいジャンルを切り開いた井原西鶴の小説作法を探ることを目的とするが、特に遊里・遊女という点に絞り、江戸時代前期の悪所についての理解を深めたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	井原西鶴『好色一代男』の後半巻5～巻8を主に扱う。後半は主人公世之介が側面に退き、むしろ吉野・夕霧・高雄・高橋という名代の遊女が物語りの主人公となる章が多くある。それらの各章を取り上げ、一代男に描かれる遊女の伝記と一代男本文の内容とを比較する。その上で、西鶴の人間の描き方、ひいては人間の価値の在所を探っていききたい。また三都のほかにも、世之介が遊里体験した各所を共に巡り、机上旅行ができればと思う。 1～2 井原西鶴とその時代について 2～3 浮世草子とはなにか・好色一代男について 4～6 一代男研究における諸問題と前半についての概説 7～最後 巻5～巻8・遊女が主題となる各章を読む
履修上の留意点	授業では時間の都合上、全文を通読できない。したがって個々で読破する意欲のあるものが履修すること。
成績評価の方法	レポート(原稿用紙10枚程度)と出席によって評価する。
教科書／テキスト	浅野晃編『西鶴選集 好色一代男』(翻刻)・おうふう・3800円
参 考 書	授業時に紹介する。

履修コード	014901
科目名	近代文学研究Ⅰ
担当者名	榎本 正樹

講義の到達目標(ねらい)

現代作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらに同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。

講義の内容／授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家と作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、文体、語りの技法、周辺メディアとの関連などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学（純文学）を中心に、その他のジャンルも対象とします。

今年度の授業では、昨年（2009年）映画公開された現代日本文学を原作とする映画を鑑賞し、原作と比較しながら作品を解説する小特集的なテーマを設定します。奥田英朗『ララビポ』（宮野雅之監督）、万城目学『鴨川ホルモー』（本木克英監督）、伊坂幸太郎『重力ピエロ』（森淳一監督）、東野圭吾『さまよう刃』（益子昌一監督）、山崎豊子『沈まぬ太陽』（若松節朗監督）、三浦しをん『風が強く吹いている』（大森寿美男監督）の候補作品の中から、3～4作を取り上げる予定です。

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報、文学界、出版界のトピックスなども盛りこんでいきます。授業に作家をお呼びして、創作にまつわるお話を伺う機会があるかもしれません。

準備学習

取り上げる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めますが、あらかじめ作品を読んでおくことさらに理解が深まるでしょう。

履修上の留意点

現代日本文学、映画、周辺ジャンルなど、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じます。

成績評価の方法

学期末提出のレポートの評価をメインに、出席点を加味し評価します。レポートのテーマや内容、分量等については、第一回目の授業時に話します。

教科書／テキスト

使用しません。必要な資料はプリントで配布します。

参考書

参考文献等は教室で指示します。

その他

講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト（<http://enmt.jp>）も参考にしてください。

関連リンク

<http://enmt.jp>

履修コード	015001
科目名	近代文学研究Ⅱ
担当者名	榎原 晴希

講義の到達目標(ねらい)

近現代詩は短歌（←和歌）や俳句（←俳諧）とは異なり、伝統の継承よりはむしろ伝統との断絶の方向に成長してきた。今日の詩に至るまでの日本の詩の歩みを把握し、合わせて詩作品そのものへの理解を深めて欲しい。

講義の内容／授業スケジュール

第1回：ガイダンス、第2～5回：『新体詩抄』まで、第6～9回：『於母影』と浪漫主義（島崎藤村）、第10～12回：象徴主義（薄田泣菫・蒲原有明）、第13・14回：後期象徴主義（三木露風、北原白秋）、第15回：前期テスト、第16・17回：口語自由詩とヒューマニズム（高村光太郎・宮澤賢治）、第18・19回：感情詩派（萩原朔太郎・室生犀星）、第20回：民衆詩とプロレタリア詩（中野重治）、第21回：アヴァンギャルド（平戸廉吉・萩原恭次郎）、第22・23回：モダニズム（春山行夫・北川冬彦）、第24・25回：『四季』の抒情詩（三好達治・立原道造・中原中也）、第26・27回：『荒地』と戦後詩（鮎川信夫・田村隆一）、第28・29回：感受性の豊饒（谷川俊太郎・大同信）、第30回：総まとめ

準備学習

ふだんから詩作品に親しんでおくこと。事前事後に参考書などで近現代詩の歴史についての知識習得に努めること。

履修上の留意点

近現代詩の歴史はすでに120年以上に及ぶので、講義内容も相当な分量になる。また象徴詩の理解やモダニズム詩の解釈など、かなりの努力が必要とされる。講義中はもちろん、事前事後の勉学が要請されるので、そのつもりで受講して欲しい。

成績評価の方法

前後期二回のテスト、出席状況、受講態度による。出席回数の少ない学生は受験資格を失うことがあるので、注意すること。

教科書／テキスト

プリント配布。

参考書

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』（世界思想社、¥2500+税）

国文

履修コード	015101
科目名	国語学特講Ⅰ
担当者名	山本 真吾 <small>やまもと しんご</small>

講義の到達目標(ねらい) 平安時代語の諸問題。これまであまり知られていない新資料を活用し、新たな視点や方法を導入することによって、平安時代語の新しい研究領域を探る。

講義の内容／授業スケジュール

【前期】※以下の項目に従って、講義を行う。
 1、平安時代語の研究水準と問題点 (1・2回)
 2、文献資料の多様性 (3～5回)
 3、仮名資料の諸相 (6～8回)
 4、平安仮名文学の言語その1 (和歌、歌物語、日記) (9～14回)
 5、前期の総括及び筆記試験 (15回)

【後期】※以下の項目に従って、講義を行う。
 1、平安仮名文学の言語その2 (物語、随筆) (1～7回)
 2、漢文専用時代の継承 (8・9回)
 3、漢文の理解 (10～12回)
 4、片仮名交じり文の系譜及び総括 (13・14回)
 5、後期の総括及び筆記試験 (15回)

履修上の留意点 図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用してほしい。
 成績評価の方法 (前期・後期の講義最終回に予定の)筆記試験 (70%) 及び平常点 (30%) により評価を行う。
 教科書／テキスト 用いない。適宜プリントを配布する。
 参 考 書 講義の中で随時紹介する。

履修コード	015201
科目名	国語学特講Ⅱ
担当者名	高田 智和 <small>たかだ ともかず</small>

講義の到達目標(ねらい) 1. コンピュータを利用した日本語研究の方法と考え方を習得します。
 2. 利用可能な電子化テキストとその利用法について理解します。
 3. 電子化テキストを用いた日本語研究の現状と課題を解説します。

講義の内容／授業スケジュール

前期 1. (1-3) ことばの計量的研究 2. (4-7) 文字コードと漢字処理 3. (8-15) 正規表現とテキスト処理
 後期 4. (16-19) 文字量を測る 5. (20-28) 語彙量を測る 6. (29-30) 統計処理

履修上の留意点 授業では総合学術センターのパソコンを使用しますが、初心者でも受講可能です。
 成績評価の方法 授業への出席状況、実習時(授業時間内)の課題提出、期末試験によって総合的に判断します。
 教科書／テキスト 教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。
 参 考 書 『計量言語学入門』(伊藤雅光、大修館書店、2002)
 『パソコンを使う日本語研究』(『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院)
 『新聞電子メディアの漢字—朝日新聞CD-ROMによる漢字頻度表—』(横山詔一・笹原宏之・野崎浩成・エリク=ロング、三省堂、1998)

そ の 他 授業は講義のほか、パソコンを使用した実習を行います。

履修コード	015301
科目名	国文学特講Ⅰ
担当者名	<small>かわおか りえ</small> 兼岡 理恵

講義の到達目標(ねらい)

風土記をよむ、風土記からよむ—土地へのまなざし—
今から約1300年前に編纂された日本最古の地誌・風土記。その存在は知っているも読んだことのある人は少ないのではないだろうか。しかしその内容は、土地の産物や地名の由来、土地に伝わる伝説など、魅力的な記事にあふれている。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義では、風土記のテキストをよむこと、また風土記が編纂以降どのように受容されていったのかを史的に見てゆくことで、土地に対するまなざしを辿っていきたい。
前期では風土記のテキストをよんでいく。後期では風土記の受容を中心にしつつ、歌学書や紀行文・江戸期の地誌などから、土地に対するまなざしを考察する。

第1回：風土記をよむこと・古典をよむこと 第2～4回：風土記の編纂背景・伝来状況 第5～12回：風土記の記事内容 第13～15回：風土記の周辺(記紀・万葉集) 第16回：受容史を考察すること 第17～18回：中古の風土記受容 第19～21回：中世(歌学書・紀行文等) 第22～24回：近世前期(地誌・紀行文等) 第25～27回：近世後期(地誌・紀行文・注釈書等) 第28～30回：近現代～まとめ

履修上の留意点

この講義をきっかけに、自分にゆかりの土地への関心を深めてほしい。また「伝える」「伝わる」という意味について、考えてみよう。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学期末試験、講義中に適宜書いてもらう感想など。

参 考 書
そ の 他

プリントを使用。

講義中に適宜紹介する。

文系の学問は本を読むだけではありません。思い立ったが吉日、積極的に土地を訪ね、実物を自分の目で確かめる。フットワークの軽さを大切にしましょう。

履修コード	015401
科目名	国文学特講Ⅱ
担当者名	<small>わたなべ やすあき</small> 渡部 泰明

講義の到達目標(ねらい)

和歌がワカラナイ、古典の中でも和歌はとくに難しい、という若い人の嘆きをしばしば耳にします。和歌はどう読んだらよいのでしょうか。どういうものだと考えたらよいのでしょうか。万葉集から近世の和歌まで幅広く取り上げ、和歌特有の技巧である枕詞・序詞・掛詞・縁語・見立て・本歌取りや、贈答歌・屏風歌・歌合・人麻呂影供・古今伝授など和歌独特の催しごとの実態と意味を考えながら、いったい和歌とはそもそも何なのか、「ああわかった」と思ってもらえるように講義してみたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～2) 和歌概説…和歌は演技である。(3～17) 和歌のレトリックとはどういう働きをするのか…枕詞・序詞・掛詞・縁語・見立て・本歌取り。(18～28) 贈答歌・屏風歌・歌合・人麻呂影供・古今伝授の実態と意義。(29～30) 和歌の作者はどこにいるか。

成績評価の方法
教科書／テキスト

前期および後期の最終授業日における論述形式の筆記試験を中心とし、出席状況も加味します。
渡部泰明『和歌とは何か』(岩波書店、2009)

履修コード	015501
科目名	国文学特講Ⅲ
担当者名	<small>わたなべ やすあき</small> 渡部 泰明

講義の到達目標(ねらい)

受講生の皆さんに、実際に演技や戯曲作成をしてもらいながら、日本の古来の言葉が、どのように現在に生かすことができるか、実体感してもらう授業です。プロの演劇家によるワークショップ形式の演技体験など(3回)も含め、最終的に皆さん自身の力で、古典文学作品の上演をしてもらいます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～4) 現代の演劇への視角…夢の遊眠社野田秀樹氏の演劇空間。(5～7) NODA・MAP 高都幸男氏によるワークショップ。(8～12) 現代戯曲の構造の分析…『桜の森の満開の下』などを例に。(13～20) 古典文学の戯曲化の方法と実際。(21～30) グループに分かれての演劇製作および上演。

履修上の留意点

過去の演技体験の有無はまったく問いません。これまでの受講者の多くが演劇未経験者でした。ただし出席が重要となります。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席状況を中心として、上演によって評価します。
とくにありません。

履修コード	015601
科目名	国文学特講Ⅳ
担当者名	岩崎 雅彦

講義の到達目標(ねらい) 能の詞章である謡曲を読む。
 講義の内容／授業スケジュール 始めに能についての概説を行い、以下、「葵上」「景清」「恋重荷」「隅田川」「邯鄲」「紅葉狩」等の作品を講読する。
 成績評価の方法 前期・後期末に、それぞれレポート提出。
 教科書／テキスト 授業時に指示する。
 参 考 書 表章構成 別冊『太陽』能(平凡社)
 岩波講座『能・狂言』(岩波書店)
 そ の 他 講義形式。

履修コード	015701
科目名	国文学特講Ⅴ
担当者名	佐藤 武光

講義の到達目標(ねらい) かつて映画が、多くの国において、戦争の道具として使われたように、人間に及ぼす、映像の影響力は、計り知れない、現代においても、映像戦略の影響一つで、流行が作られ、世論が形成されるのも事実である。現代の最大の権力者は、マスメディアであり、映画、TVの映像であるとも言われる。
 だからこそ今最も必要とされるのが、シネマリテラシー、いわゆる映像を読み解く能力である。我々は、大新聞各社、TVキー局の流す情報を、盲目的に、信じては、いないだろうか。だからこそ、我々は、映像批評力を、磨かなければ、現代を、生き抜けないとも言える。本講座の主目的は、そこにある。
 そして今、映画は、まったく新しい方向に、動き出している、利益追求の商業映画だけでなく、教育のツールとして、やり場のない感情のはげぐちとして、はたまた、シニア世代の生きがいとして、等、映像の役割は、大きく変化している。事実、オーストラリアでは、義務教育に映画製作が導入され、民族、宗教、文化の違いを、乗り越える教育に成功している、日本においても川崎、東京、岩手、福島、新潟、筑波、等において中学生の映画作りで参画、協働、共汗、共創の点で成果を上げ、イジメなどが、激減してる報告もある。
 映像表現は、もはや、プロだけの表現手段ではなくなった、今や映画作りにおいて、若者の精神を高揚させたり、クリエイティブな自己啓発などにより、文化状況を、自分たちで作り出していく存在に変化している。
 そこで本講座は、時代に、影響を与えた映画、小津、黒澤、今村などの名作を考察し、また、学生映画、中学生映画なども考察し、貴重な同時代の財産を、共有したい。総じて、創造的映画批評力を、蓄え、人間力の向上を目指します。
 講義の内容／授業スケジュール
 1、視点の違う作家たち
 イ、小津安二郎の世界 ロ、黒澤明の世界 ハ、今村昌平の世界 ニ、学生映画の世界 ホ、中学生の世界
 2、メディアリテラシー及びシネマリテラシーの考察
 3、新しい映画ビジネス、映画ファンドの考察
 4、シナリオ創作演習
 イ、十本企画(何を書きたいか) ロ、テーマ(誰のために作るのか) ハ、時代は何を求めているのか) ニ、作家性
 5、シナリオワークショップ、名作シナリオの、実践的分析
 準備学習
 履修上の留意点 日々の、氾濫する映像を、意識して、見るようにすること
 成績評価の方法 日常生活の映像が、何を目的に作られているかを考えながら映像感覚を磨く
 教科書／テキスト 作品上映後のレポート提出及び後期末提出シナリオ作品(200字30枚以上)で評価する
 参 考 書 特にありません
 そ の 他 参考書、参考文献は、講義の中で紹介します
 基本的に講義が中心だが、作品上映後などで、ディスカッション中心の授業にしたい

履修コード	015801
科目名	国文学特講Ⅵ
担当者名	津島 知明

講義の到達目標(ねらい) 清少納言の『枕草子』を精読しながら、古典文学を読むにあたっての様々な問題を考えてゆきます。

講義の内容／授業スケジュール 初回はガイダンス。以下、第二回から第四回までは、本文の異同、諸本の問題など、古典研究に必要な基礎知識から、時代背景、享受と研究の歴史、現時点での課題や問題点などを概説します。第五回以後は、日記回想段と呼ばれる部分を中心に本文を読み進めていきます。年表や系図などを参照しながら、ひとつひとつの表現に立ち止まり、『枕草子』の世界を再構築して行ければと思います。また、随時「写本」に触れる機会も作ってゆく予定です。最終回にははまとめのレポートを課します。

成績評価の方法 平常点(授業時の課題を含む出席状況、夏期レポート、授業時テストから総合的に評価)教科書／テキスト 『新編 枕草子』(おうふう)

参 考 書 津島知明『動態としての枕草子』(おうふう)
津島知明『ウェイリーと読む枕草子』(鼎書房)
その他、授業時に指示する。

そ の 他 講義形式。ただし、理解度や疑問点の有無などを折々確認しながら進めて行く。

履修コード	015901
科目名	国文学特講Ⅶ
担当者名	竹内 正彦

講義の到達目標(ねらい) 平安時代の歌物語である伊勢物語を対象とし、その表現世界のありようをとらえることを目標とする。伊勢物語が源氏物語をはじめとした後の文学に与えた影響ははかり知れず、現代に至ってもその魅力は色あせることはない。ひとつひとつのこぼれを丹念に追いながら読み深め、受講生とともにその魅力を感じていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：伊勢物語概説、第2回～4回：初冠章段、第5回～8回：二条后関係章段、第9回～12回：東下り章段、第13回～15回：東国章段、第16回～17回：筒井筒章段、第18回～21回：斎宮関係章段、第22回～23回：惟喬親王関係章段、第24回～30回：伊勢物語の諸相

準 備 学 習 各授業時に予定されている章段について、自身で読み、解釈を試みることを効果的な準備学習となります。

履修上の留意点 講義形式による授業ですので、各自それぞれの関心をもって授業に臨んでください。

成績評価の方法 学期末試験80%、出席状況などの平常点20%。
教科書／テキスト 永井和子訳・注『伊勢物語』(空間文庫・原文&現代語訳シリーズ)笠間書院、980円
参 考 書 授業時に適宜指示する。

履修コード	016001
科目名	国文学特講Ⅷ
担当者名	鹿倉 秀典

講義の到達目標(ねらい) 江戸時代の庶民演劇、人形浄瑠璃・歌舞伎などについて詳しく学ぶ。それより以前の古代・中世芸能ならびに明治維新後の開化演劇さらには現在にも触れることにより、体系的な日本演劇史のなかでの「近世演劇」の位置づけを考えていきたい。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：日本演劇史の概略(演劇事始め)、第2～3回：古代中世の芸能、第4～5回：近世初期芸能(人形浄瑠璃と野郎歌舞伎の成立)、第6～10回：上方歌舞伎と近松門左衛門(元禄期)、第11～15回：江戸歌舞伎と市川團十郎(元禄期中心)、第16～23回：歌舞伎史の変遷、天明歌舞伎、化政歌舞伎、天保および幕末歌舞伎、第24～27回：演劇改良運動と明治歌舞伎、第28～30回：歌舞伎と現代

準 備 学 習 実際に古典芸能の鑑賞することを勧める。授業のなかで、その鑑賞方法についても説明する。レポート、答案の作成においても実体験は有益である。

履修上の留意点 テレビなどでも日頃から古典芸能に関する番組を観るようにしてほしい。

成績評価の方法 期末試験(5割)、授業内での課題(5割)を基本とする。出席受講態度も大いに勘案する。なお、全期を通じてレポート課題は5回程度。

教科書／テキスト 浦山 政雄 他著『日本演劇史 増補改訂版』おうふう、2、1000円
参 考 書 平凡社刊『演劇百科大事典』全6巻
河竹繁俊著『日本演劇全史』 など

国文

履修コード	016101
科目名	国文学特講Ⅹ
担当者名	中西 亮太

講義の到達目標(ねらい) この講義の目標は、近現代短歌史を通観し、代表歌人の作品と歌論について理解を深めることです。国文科の近代文学研究の対象は小説に偏りがちなのが現状であり、それも理由のないことではありませんが、表現人口としては、明治以来一貫して、小説を書く者より詩歌を作る者の方がはるかに多かったという事実には注意すべきでしょう。近現代短歌を知ることは、近現代の人々の感情、認識のあり方とその表現の仕方を知るために有効と思われるのです。1960年代に発表された〈あの夏の数かぎりなきそしてまたたつた一つの表情をせよ〉(小野茂樹)という著名な相聞歌がありますが、例えば、恋人の表情に関するこの一見矛盾するような表現には、作者のどのような感情を読み取ることができるでしょうか？

講義の内容／授業スケジュール 明治中期から昭和中期にかけての短歌作品と歌論を取り上げます。明治の歌人がどのように伝統和歌と異なる新しい歌風を生み出そうとしたか、大正の歌壇において写実派の歌がどのような過程を経て主流を占めるに至ったか、昭和以降反写実派の歌人がどのようにしてさらなる短歌革新を試みたか、といった話題を中心に話を進めます。なお、前期に一度、現代の歌人を教室に招き話を聴く、という内容の授業を予定しています。

準備学習 当然のことですが、授業をよりよく理解するためには、それ以前の授業で紹介した歌集、歌書を実際に手にとって読むことが重要です。また、短歌関係の月刊雑誌を読んでみることも効果的です。

履修上の留意点 積極的な姿勢での受講を望みます。授業後の質問を歓迎します。

成績評価の方法 学年末試験(8割)と授業内での課題(2割)をもとに評価します。その際、出席状況も勘案します。

教科書／テキスト 指定しません。授業中に参考プリントを配付することがあります。

参考書 高野公彦編『現代の短歌』(講談社学術文庫、1,450円。近現代の著名歌人の作品を収録)。『知って短歌の謎：近代から現代まで』(学燈社、1,800円。近現代の著名な歌の鑑賞文を収録。奇妙な書名ですが、内容はよくまとまっています。大学図書館で閲覧する場合は雑誌『国文学』43巻13号が同内容)

履修コード	016201
科目名	国文学特講Ⅹ
担当者名	国松 俊英

講義の到達目標(ねらい) この時間は童話や創作を書く。創作はもともと個人の作業である。何を、どのように書いていくのかは、ひとりひとりが書きながら考え、苦しみながら、その方法を体得していくものだ。とはいうものの、創作のために少しでも手がかりがあれば、より早くより確実に創作の方法を見つけていけると思う。道すがらわかれば、迷ったり悩んだりすることも少なくなるだろう。この時間では、童話や創作を書いていく手がかりを提示し、それをもとにいろんな作品に挑戦する。童話、児童文学の創作を書くことの楽しさと充実した時間を、受講したみんなが獲得できるようにしたい。

講義の内容／授業スケジュール (1) 原稿用紙の使い方 (2) 個性ある文章を書くために (3) 物語作りとは (4) 題材はどこで見つけてくるか (5) ストーリーを組み立てる (6) 魅力あるキャラクターを作る (7) 説明文と描写文 (8) 生きた会話を書くには (9) 長編と短編 (10) 表現技術を高める

履修上の留意点 これまで一度も童話や小説を書いた経験がない人でもかまわない。この時間では、文章の書き方のABCから始め、創作の書き方に進んでいく。

成績評価の方法 出席状況と提出作品で評価する。

その他 この授業は人数制限がある。第一日目の授業で受講者を決定する。そのため受講希望者はかならず第一日目の時間に参加すること。

履修コード	016301
科目名	国文学特講ⅩⅠ
担当者名	榎本 正樹

講義の到達目標(ねらい) 世界的に見ても類を見ない表現ジャンルとして進化した、日本のマンガとアニメについて考察します。

講義の内容／授業スケジュール 前期はマンガ、後期はアニメについて講じます。
前期はマンガ論を展開します。マンガには、画像論、表現論、物語論、ジャンル論、流通論、メディア論、ジェンダー論、記号論、作家論、読者論など多様なアプローチが可能です。本講義では、「マンガを解説するための基本的な方法論の習得」を目的とします。
「記号と表象の集積体」としてのマンガを読むための理論の構築を目指します。
前期は宮崎駿監督の主要作品を論じます。
まず最初に、宮崎が大きな影響を受けたとされる、フランスのアニメ監督ポール・グリモーの『王と鳥』を鑑賞後、精緻な分析を行い、宮崎作品を成立させる基本的な「文法」を確認します。そして、初の監督作品である『未来少年コナン』を出発点に、『ルパン三世 カリオストロの城』『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』等の主要作品について、発表順に作品論を展開し、「宮崎駿の世界」にアプローチしていきます。時間的な問題から、一部の作品を取りあげる形になります。

準備学習 前期に関しては、準備学習は必要ありません。後期に取りあげる宮崎作品については、事前に鑑賞しておくことが望ましいです。

履修上の留意点 マンガやアニメだけでなく、文学の周辺ジャンルやサブカルチャーに興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法 学期末提出のレポートの評価をメインに、出席点を加味し評価します。レポートのテーマや内容、分量等については、第一回目の授業時に話します。

教科書／テキスト 前期は、四方田大彦『漫画原論』（ちくま学芸文庫）を軸に授業を進めますが、購入する必要はありません。前期・後期とも、資料はプリントで配付します。

参考書 参考文献等は教室で指示します。

その他 講義形式をとります。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト（<http://enmt.jp>）も参考にしてください。

関連リンク <http://enmt.jp>

履修コード	016401
科目名	中国文学
担当者名	田熊 信之

講義の到達目標(ねらい) 数千年にわたる中国の歴史の中で、政治や文化の中心的な担い手となった漢民族は、時には他の民族とも混雑を累ねながら、特異な漢字文化を生み育ててきました。本講座では、こうした漢字文化の粋である各種の文学作品（新出遺文も含め）を選読し、中国の人々が築き上げた多様な文字表現の世界を省察しつつ、中国文学に対しての読解力と鑑賞力を養っていききたいと思います。

講義の内容／授業スケジュール 中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとは、社会生活を営む人間それぞれの哀歓こもごもの姿が写し出されています。ここでは、各々の時代の思想、信仰等に彩られる、さまざまな形の文学のうち、歴史に関わる作品を適宜読み進めていきます。
〔前期〕 第1回：中国の風土と歴史、第2～3回：漢字の創造とその展開、第4～5回：文学の出現とその変遷、第6～8回：表現の歴史とその推移、第9回：『新語』抄文講読（陸賈と劉邦）、第10～11回：同巻上「道基第一」、第12回：同巻上「述事第二」、第13回：同巻上「輔政第三」、第14回：同巻下「資質第七」、第15回：同巻下「本行第十」
〔後期〕 第16回：古都洛陽（雒邑から洛陽へ）、第17～18回：仏教東伝と白馬寺、第19回：『洛陽伽藍記』と楊銜之、第20～22回：『洛陽伽藍記』講読（序）、第23～25回：同巻第一「城内」永寧寺条、第26～28回：同巻第一「城内」建中寺、長秋寺条、瑤光寺条等、第29回：同巻第三「城南」景明寺条等、第30回：同巻第四「城北」宋雲惠生使西域条

準備学習 中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎知識を得て下さい。

履修上の留意点 各種の辞書の用い方に慣れておくことともに、幅広い視野をもつことを心がけて下さい。

成績評価の方法 評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を勘案し、総合的に行ないます。

教科書／テキスト プリントを配布して、これをテキストとして使用します。

参考書 参考書、資料等については、授業時に説明し、紹介します。

その他 授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行ないます。

関連リンク <https://www.komazawa-u.ac.jp>

国文

履修コード	016501
科目名	有職故実
担当者名	近藤 好和 <small>こんどう よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい)	10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事(朝廷の儀式・政務)のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらに有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期から後期前半にかけて、公家男子装束・公家女子装束・武家装束の講義する。続いて後期後半は、中世の甲冑・弓箭・刀剣について講義する。
履修上の留意点	出席などは一切取らないが、授業は体系的に進めていくので、毎時間まじめに出席しなければ、単位取得は難しいであろう。また、毎時間、プリントを配布するが、それ以外の板書も多いので、ノートは必ず必要である。
成績評価の方法	前・後期各一回の試験で判定する。具体的には、両試験の合計点を2で割り、60点以上を合格とする。なお、前期試験の成績不良者のうち、呼び出しに応じた学生に対しては、警告のうえ適切な救済処置を取る。
教科書／テキスト 参 考 書	特になし。毎時間、プリント(文章と図版)を配布する。 近藤好和『装束の日本史』平凡社新書 2007年 近藤好和『武具の日本史』平凡社新書 2010年

履修コード	016601
科目名	演劇概論
担当者名	阿部 由香子 <small>あべ ゆかこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	今日私たちが触れることの出来る演劇は、多くの人々による絶え間ない試みが積み重なって生まれてきたものです。演劇が、なぜ、どのような変遷を辿ってきたのかを考え、同時に演劇のもつ可能性への感度を養うことを目的とします。授業は、講師による講義形式で行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 日本近代演劇の模索(4～5) 近代演劇の黎明(6～8) 大正期の日本演劇(9～11) 関東大震災後の新劇(12～15) 昭和初期、戦時中の新劇(16～18) 戦後の新劇60年代演劇(19～21) 70年代演劇、80年代演劇(22～24) 90年代から今日の演劇(25～30) 演劇と社会
準備学習	受講者自身が日本演劇について知っていることと、よく分からないことをはっきりさせておくことよいでしょう。さらに、身の回りの演劇に積極的に関心をもつようにしてください。
履修上の留意点	少なくとも1回は劇場へ足を運んでもらい観劇してもらいます。演劇に興味関心が全くない方にはおすすしません。
成績評価の方法	前期末に一度筆記試験を行います。後期は観劇レポートを提出してもらいます。試験(45%)とレポートの内容(45%)と出席状況(10%)によって評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	授業中に資料を配布します。 授業時に適宜紹介します。

履修コード	016701
科目名	西洋思想史
担当者名	河谷 淳 <small>かわたに あつし</small>

講義の到達目標(ねらい)	ギリシア哲学において、「物語(ミュートス)」は、「神話」や「悲劇」として哲学を補完するものとみなされる場面がある一方で、それがフィクション(つくりごと)であるとの理由で哲学の敵とみなされる場面がある。この授業では、ギリシア哲学以来の「物語」ことと「哲学する」こととの間のこうした緊張関係を、存在論・認識論・倫理学などの視点から概観していくことにしたい。それと併せて、西洋哲学史の概略や基本的な哲学用語についても理解を深めてもらえるよう配慮したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1～2回:序論、第3～7回:「物語」としてのギリシア神話・キリスト教における神話的物語、第8～15回:「物語の哲学」の二つの方向性(プラトンの「詩人追放論」とアリストテレスの悲劇論)、第16～22回:物語の存在論、物語の認識論、物語と感情、物語と倫理、第23～30回:物語と人間(物語制作者としての人間、物語としての過去・現在・未来)
成績評価の方法	中間試験(前期最終授業日に実施)と期末試験(それぞれ40点満点)ならびに出席状況との総合点で評価する。

履修コード	016801
科目名	東洋思想史
担当者名	末木 恭彦

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。
直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文獻(経)についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。
(1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3~5) 経総論 (6~9) 詩・書 (10~12) 礼記・易 (13) 春秋 (14~15) 予備 (16~18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20~21) 子総論 (22~23) 孟子 (24) 荀子 (25~27) 老荘列 (28) 予まとめ (29・30) 質疑応答

履修上の留意点

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

平常の受講態度と学年末レポートによる。追試はしない。
『経子史要覧』(コピーを配布する)
関口順『儒学のかたち』(東大出版会)

履修コード	016901
科目名	児童文学
担当者名	国松 俊英

講義の到達目標(ねらい)

童話や児童文学といえば、かつては「子どものためになる文学」という考えが中心だった。大人が子どもに与えるもので、子どもをしつけ、健全な社会的人間に育てるためであるとされた。子どもが感動したり、楽しむことよりも、その教育性が大切にされたのである。しかしそうした考えは、時代とともに変わってきた。現代では、児童文学は「大人も子どもも共有できる文学」と考える人がふえた。ミヒヤル・エンデ、J・K・ローリングの作品、あきのあつこや上橋菜穂子の作品には大人たちの熱心な愛読者がいる。大人の文学との境界がなくなってきたといえる。

講義の内容/
授業スケジュール

この時間では、児童文学とはどんなものか、どんなジャンルがあって、どんな作品が書かれてきたのか、児童文学の可能性、などを探っていく。
前期 (1) 児童文学とは何か (2) 児童文学のジャンル (3) 絵本 (4) ファンタジー (5) ノンフィクション (6) 昔話
後期 (7) 日本児童文学の流れ (8) 宮沢賢治 (9) 新美南吉

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

講義を聞くだけでは児童文学の世界は理解できない。授業で紹介する作品を多く読むこと。
出席状況と年6回のレポート、期末試験によって評価する。
なし
なし

履修コード	017001
科目名	比較文学
担当者名	内藤 まりこ

講義の到達目標(ねらい)

比較文学研究の成立背景、目的、方法を学び、比較文学の方法を実際の文学や映画、舞台芸術などの作品を取り上げて検討する。

講義の内容/
授業スケジュール

物事を比較するとはどういうことだろう。
この授業では、文学や映画、舞台芸術などの作品を取り上げて、それらを比較することで、どのような理解が可能となるのかを考える。受講生は、比較文学の研究史を適宜、参照しながら、比較研究の方法を学び、最終的に自分で比較研究を実践することになる。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

出席と授業内でのレポートあるいは学期末テストによる。
コピーを配布する。
授業中に指示する。

国文

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢 <small>たにぐち みつぐ</small>
講義の到達目標(ねらい)	日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相
履修上の留意点	夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
成績評価の方法	学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。
教科書／テキスト	谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	017201
科目名	編集実務
担当者名	長谷川 孝 <small>はせがわ たかし</small>
講義の到達目標(ねらい)	編集とは、事象や物事から「何か」に気付き、その意味をつかみとり、取捨選択(評価)し、再構成し表現の形を整えて、受け手に引き渡す(伝える)という、一連の過程に自覚的にかかわる作業です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考え、自らの問いを立てるなどの力が、「実務」には求められます。そのための自分なりの「目のつけどころ」(視点)をつくり、批判力・疑問力と評価力(自らの問いを立て、問い返し、自分なりの答えを紡ぎ、再考できる力)を身につけるなど、いわば《知的基礎体力》を養うことが目標です。 また、編集というはたらきは、生活の中で誰もが日常的に行っていることです。ですから、それを自覚的(意識的)に適用してみることで、「編集力」や情報へのリテラシーの力を育て、情報が氾濫する情報化(渦・禍)の社会で、情報を主体的に読み取り選択して活用できるようになることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、「編集という仕事」について考えます。 前期は、①編集作業の流れや関係の知識・技能の概略、②編集の意味や企画の役割、③編集の社会的な役割と責任、④記事の読み比べと取材のあり方、⑤視点のあり方や形成、⑥表現や添削の姿勢と責任——などを、編集論的に取り上げます。 後期は、①編集の姿勢とマインド、②データやテキストの読みとり方とその役割、モチーフの取り立て方と表現、③原稿の執筆や直し(添削)の実際、④見出しやリードの意味と実際に書いてみること、⑤レイアウトの概要や企画の実際、⑥編集を行う主体性と自律性——などを知識・技能に即して実践的に取り上げます。 生活の中の情報と編集についても、前・後期を通して取り上げます。また、関係する新聞記事の切り抜きなどを、随時、印刷して配布します。 なお、現役のライターの来講、編集現場への訪問の機会の設定なども予定しています。
準備学習	新聞に目を通すこと。できれば、複数の新聞や、テレビのニュース、インターネットの伝え方、その違いにも注目してみてください。
履修上の留意点	授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えでの参加を。そこに、多くの編集的な過程(作業)が含まれているので、編集の実践にもなると考えています。 また、授業で「取材」して「自分なりに感じ気づき考えた」こと(意見や異見)を、毎時、短い文章にまとめて提出してもらいます(「イケン文」と呼ぶ)。疑問や批判の提起を大切にします。「イケン文」の提出をもって出席表に代えます。
成績評価の方法	自己評価点を重視します。それと、「イケン文」など平常の提出物および課題作品(B4版2つ折り4ページの個人紙・誌の制作を予定)によります。
教科書／テキスト	毎時、印刷物を配布します。
参考書	適宜、紹介します。

履修コード	017301
科目名	書道史
担当者名	那須 隆吉 <small>なす たかよし</small>

講義の到達目標(ねらい)	東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。
講義の内容／授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス (文字と書体について) (2) 漢字の発生 (甲骨文字の発見) (3)(4) 甲骨文字の内容・解読・書風の変遷 (5)(6)(7) 青銅器の文字、金文について 〃 の銘文の内容、解読、書風 (8)(9) 篆書の時代 (始皇帝の文字統一) (10)(11)(12) 隸書のはじまり (13) 最古の文字の解説書「説文解字」について (14)(15) 草書の完成 (16)(17)(18) 魏晉南北朝時代の文字について 後期 (19)(20) 隋の統一と楷書の発展 (21)(22)(23) 唐の書法 (24) 宋の書法 (25) 元の書法 (26) 明の書法 (27)(28) 清の書法
履修上の留意点	遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。
成績評価の方法	出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。
教科書／テキスト	伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社)
参 考 書	随時紹介する。

履修コード	017401
科目名	書道概論
担当者名	金子 大蔵 <small>かねこ だいぞう</small>

講義の到達目標(ねらい)	中国・日本の書道史を学び、また現代書の誕生と歴史、現況を研究し、書の意義や芸術性に対する知識と理解を高める。 講義内容は主に書道理論と、ビデオや拓本、複製品などを使っての名品や現代書の鑑賞である。 前期では主に、中国書道史の概要を学ぶ。最古の文字「甲骨文」から「金文」、「木簡」へと移行する古代文字の変遷と、書の芸術性を高めたといわれる書聖王羲之の書と人の研究。 後期では主に、日本書道史と現代書の概要を学ぶ。書が中国から日本へと伝来してきた背景と経緯、そして「現代書の父」といわれる比田井天来から現在の現代書7部門までを理解し、実際に数回、書の展覧会を見てレポートを提出する。
講義の内容／授業スケジュール	前期 (1) 書とは? (2・3) 甲骨文について (4・5) 金文について (6・7) 簡牘について (8・9) 漢代の隸書について (10・11) 王羲之の書と人について (12・13) 北魏の楷書について 後期 (14・15) 初唐の三大家について (16・17) 顔真卿の書と人について (18~20) 日本書道史について (21・22) 現代書の父比田井天来について (23・24) 上田桑鳩、金子鷗亭など現代書を広めた書家について (25・26) 現代書7部門と今後の書の展開
履修上の留意点	講義では主に頭から入る知識を学ぶが、常日頃から展覧会や博物館等に足を運び、目で親しむ時間をつくるのが望まれる。
成績評価の方法	年数回行う展覧会等のレポート提出の内容と、講義中に行う小テストの結果に依拠して行う。
教科書／テキスト	『書 II』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

履修コード	017501
科目名	書道実習Ⅰ
担当者名	金子 大蔵

講義の到達目標(ねらい) 書道とはただ文字をきれいに書き写すというだけではない。中国、日本における古代からの名品といわれる古典の臨書を重ねることにより、パソコンやワープロでは表現することができない書き手の心や顔が見ることができる書表現を身につける。

本講座では主に書の基本ともいえる楷書と行書の古典を中心に半紙を使って学び、それにより多彩な線表現を会得し、独自の臨書感を持って書に取り組めるようにする。また最後に漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、我々が今現在使用している言葉を用いた書表現にも挑戦する。

前期では主に楷書の臨書を行う。「高貞碑」等の北魏の楷書から、「九成宮醜泉銘」等の唐の楷書まで幅広く学ぶ。後期では書聖王羲之の最高傑作「蘭亭序」や唐代能書家の名品、日本の空海書「風信帖」まで古今東西の古典を学ぶ。最後3回の講義にて漢字仮名交じり書の作品を学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

前期・楷書の研究 (1) 用具・用材の説明と臨書について (2・3) 高貞碑の臨書
(4・5) 牛欄造像記の臨書 (6・7) 孔子廟堂碑の臨書 (8・9) 九成宮醜泉銘の臨書
(10・11) 雁塔聖教序の臨書 (12・13) 顔氏家廟碑の臨書
後期・行書の研究と漢字仮名交じりの書 (14~16) 蘭亭序の臨書 (17) 集王聖教序の臨書
(18・19) 枯樹賦の臨書 (20・21) 祭姪文稿の臨書 (22・23) 風信帖の臨書
(24~26) 漢字仮名交じりの書

履修上の留意点

書道の上達は筆を持つ時間の長さに拠るところが大きいです。予習復習以外にも日頃から筆を持つ機会を多くすることが大切です。

成績評価の方法
教科書/テキスト

毎講座後に提出する作品の内容の評価と夏休みの宿題の内容の評価を総合判断して行う。
『書Ⅰ』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

履修コード	017601
科目名	書道実習Ⅱ
担当者名	那須 隆吉

講義の到達目標(ねらい) 世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わいたい。書道の用具用材の取り扱い等基礎的知識を理解し、基本点画から始め古典の臨書に至るまで学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

前期 (1) 用具用材の種類とその取り扱い方(文房四宝について)
(2)(3) 楷書の基本点画(横画縦画、起送収筆折れ曲がり右払い左払い等)
(4)(5) 二文字を書く
(6)(7) 四文字を書く
(8) 五文字を書く
(9) 六文字を書く
(10) 行書の基本について
(11) 二文字を書く
(12)(13) 四文字を書く
(14) 五文字を書く
(15) 六文字を書く
後期 (16) 草書の基本について
(17) 二文字を書く
(18) 四文字を書く
(19) 片仮名
(20)(21)(22) 平仮名
(23) 漢字仮名まじり文
(24) 硬筆
(25) 封筒、手紙、年賀状
(26) 色紙、短冊の書式
(27) 賞状、式次第、立看板

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。)出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。
大学書写書道教育(第一法規)

履修コード	017701
科目名	書道実習Ⅲ
担当者名	那須 隆吉

講義の到達目標(ねらい) 一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容／授業スケジュール
 前期 (1) 隷書について
 (2) 隷書の書法
 (3)～(7) 臨書「曹全碑」
 (7)～(10) 〃 「禮器碑」
 (11) 篆書について
 (12) 篆書の書法
 (13)～(15) 臨書「呉讓之」の篆書
 後期 (16)～(19) 臨書「呉讓之」の篆書
 (20) 篆刻の用具用材と手順について
 (21) 篆刻について
 (22)～(27) 篆刻実習(姓名印、吉語印等)

履修上の留意点 文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法 出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教科書／テキスト コピーによる。

参考書 随時紹介する。

履修コード	017801
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝

講義の到達目標(ねらい) 日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容／授業スケジュール
 前期 平安時代から室町時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3)～(5) 仏教絵画 (6)～(8) 絵巻物
 (9)～(10) 肖像画 (11)～(15) 室町時代の水墨画
 後期 室町末から江戸時代の絵画
 (16)～(20) 狩野派 (21)～(24) 琳派
 (25)～(26) 浮世絵 (27)～(28) 南蘋派と洋風画
 (29)～(30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	017901
科目名	民間信仰論
担当者名	谷口 貢

講義の到達目標(ねらい) 日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成す様々な世界には、どのような意味があるのかを追究していくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義について考察を加える。

講義の内容／授業スケジュール
 (1～3) 民間信仰研究とフィールドワーク、(4～5) 民間信仰の性格、(6～10) 伊豆諸島青ヶ島の神祭りとしやまニズム(巫俗)、(11～15) しゃまニズム(巫俗)の諸相、(16～18) 山岳信仰の性格、(19～23) 福島県会津地方の神社参拝の講集団、(24～25) 民間信仰と成立宗教の関係、(26～28) 憑霊信仰の諸相、(29～30) 死霊結婚の習俗

履修上の留意点 学年末に課題に基づくレポートの提出を求める。レポートの課題は授業の中で発表する。

成績評価の方法 学年末の課題レポートに基づいて成績評価を行う。出席を重視する。

教科書／テキスト 使用しない。

参考書 宮本袈裟雄・谷口貢編『日本の民俗信仰』2009年刊(八千代出版)

国文

履修コード	043711
科目名	日本史概説
担当者名	松本 信道

講義の到達目標(ねらい) 日本^のの古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス、(2)～(4) 原始時代の日本、(5)～(7) 倭王権の伸長、(8)～(12) 古代国家への歩み、(13)～(16) 古代国家の成立、(17)～(20)、律令国家の形成、(21)～(23) 律令国家の成熟と展開、(24)～(25) 古代の社会と文化、(26)～(27) 摂関政治の展開、(28) 摂関時代の外交と文化、(29) 地方支配の転換、(30) 院政の成立と展開

履修上の留意点 受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法 前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

参 考 書 『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館)
青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会)
笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)
佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)

そ の 他 授業の方法は講義形式で進める。

履修コード	047111
科目名	日本文化史
担当者名	廣瀬 良弘

講義の到達目標(ねらい) 日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思ひます。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール 日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。
・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向(1, 2)、・鎌倉仏教と文化(3～5)、・禅宗と五山文化(6, 7)、・南北朝から室町期の文化(8, 9)、・北山文化の展開(10, 11)、・東山文化とその基盤(12～15)、・中世の職能民(16, 17)、・連歌師の旅(18, 19)、・戦国社会と宗教(18, 19)、・戦国社会の駆込寺(20～22)、・大名領国の文化(23, 24)、・統一政権とその文化(25, 26)、・近世文化史研究の動向と寛永文化(27～30)

履修上の留意点 講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。

成績評価の方法 定期試験の結果と授業の出席を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。

教科書／テキスト とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。

参 考 書 講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

專 門 教 育 科 目

(2) 英 米 文 學 科

履修コード	023101・023102
科目名	英語演習 作品講読Ⅰ
担当者名	<small>からさわ かずとも</small> 唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	教科書(英文)の講読を通じ、英語読解力を高め、英語文献を使ってリサーチが出来る英語力を身につけることを目標とする。それと同時に、教科書の内容に沿った形で、随時音読やリスニングの練習も行う。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) 1. オリエンテーション、2. ～15. 教科書に沿った演習 (後期) 1. ～15. 教科書に沿った演習
履修上の留意点	必ず予習をしてくる。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。
成績評価の方法	出席、授業への取り組み、および期末テストにより評価しますが、英語の力を高めることを目標としているので、特に期末テストを重視します。 *なお、3分の1以上欠席した者には単位は出ない。
教科書/テキスト	和久豊、Bill Benfield 著、『Cultural Walks in Britain: イギリス文化散策』、成美堂、1800円(税別)、ISBN 4-7919-0542-3

履修コード	023201・023202
科目名	英語演習 作品講読Ⅰ
担当者名	<small>おうみ あきひさ</small> 逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)	英語の基礎知識を確認しながら、TOEFL等の練習問題に取り組み、文法・読解力を磨く。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期:(1) センテンスにおける名詞・代名詞の役割(2～3) 文型を決定する二種類の動詞(4) 形容詞と副詞の役割(5～6) 句と節の種類(7) 動名詞の役割(8～9) 分詞の役割(10～11) 不定詞の役割(12) 前置詞の役割(13) 関係詞の役割(14～15) 接続詞の役割 後期:(16～20) 名詞句と名詞節(21～25) 形容詞句と形容詞節(26～30) 副詞句と副詞節。
履修上の留意点	語学の習得には、単調に思えることの繰り返しと、継続的な積み重ねを厭わずに実践することが不可欠となる。毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関心を持ち、自主的に英語力を練磨すること。
成績評価の方法	毎回授業の冒頭で文法の予備知識についての質疑を行い、予習・復習など積極的な学習姿勢を確認し、前期と後期のテストの結果を加味して、出席状況も考慮のうえ総合的に判断する。
教科書/テキスト	プリント配布。
参 考 書	適宜指示。

履修コード	023301・023302
科目名	英語演習 作品講読Ⅰ
担当者名	<small>さとう 真二</small> 佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい)	総合的な英語力の養成を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	TOEIC: Part I, II(1-8) Part III, IV(9-15) IDENTITY: Unit 1-4(16-23) Unit 5-8(24-30)
履修上の留意点	毎週課題を出す。 毎回予習の上出席すること。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験および授業内の発表や提出物、出席によって評価する。
教科書/テキスト	『新 TOEIC TEST 総合スピードマスター入門編』(Jサーチ出版) IDENTITY(Oxford University Press)

履修コード	023401・023402
科目名	英語演習 作品講読Ⅰ
担当者名	川崎 明子

英米

講義の到達目標(ねらい)	英語力の基礎を固めます。リーディング中心の教科書を使用しますが、ライティング、スピーキング、リスニングも取り入れます。 ペアワーク、グループディスカッション、ディベート、プレゼンテーションも行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期 (1) オリエンテーション (2~13) 教科書に沿って進む。(14) 期末テスト (15) まとめ 後期 (1~13) 教科書に沿って進む。(14) 期末テスト (15) まとめ
履修上の留意点	1 数種類の辞書を使い予習をして臨むこと 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること 3 提出物は書式を指定します。授業でマニュアルを配りますが、最低限のパソコンの知識があることが望ましいでしょう。
成績評価の方法	出席は3分の2以上が必要。出席、小テスト、期末テスト、提出物、発表に加え、授業への参加・貢献度により総合的に評価します。
教科書／テキスト	Peter Duppenthaler, _Current Issues and Topics_ (大阪教育図書、2008年) ¥1,600 ISBN978-4-271-11316-4
参考書	Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate (Oxford: 2006)

履修コード	023501
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ
担当者名	モート、セーラ

講義の到達目標(ねらい)	The aim of Speech and Communication I is to develop speaking skills and to improve confidence in giving presentations on a specific topic in small groups.
講義の内容／ 授業スケジュール	I. (1-15) During the first semester the emphasis will be on practicing speaking with other students in pairs and groups in the class in English on various topics to gain confidence. *Podcasts and the BBC English language learning website will also be used in class to help improve listening and speaking skills. *Simple and enjoyable ways to improve pronunciation will also be part of the course. *Students will keep an ongoing diary in class and at home, with photographs, pictures and writing. II. (16-30) During the second semester students will concentrate on how to research, understand and explain topics from British and Japanese culture. * This will be in simple, easy-to-understand English, using examples. *Lengthening sentences and communicating using question forms, such as wh-questions, effectively will also be part of the course. *Students will be required to give group presentations followed by questions and answers (Q & A), in front of the class at the end of each semester. *Assignments will be on YeStudy for reference
成績評価の方法	Students will be assessed through the group presentations(35), note-book(20) and classwork, including attendance(45). Students will be expected to attend regularly, complete all tasks set in class and participate actively.
教科書／テキスト	There is no textbook, however a note-book and dictionary will be required in class.

履修コード	023601
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ
担当者名	レイン、 R. V.

講義の到達目標(ねらい) This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容／授業スケジュール [1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final Exam using selected textbook activities.

準備学習 In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.

履修上の留意点 Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.

成績評価の方法 Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書／テキスト author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

参考書 none
その他 none

英米

履修コード	023701・023801
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションⅠ
担当者名	マーティン、 S. F.

講義の到達目標(ねらい) Speech and Communication I will be organized around modes of communication, as well as content. Most classes will be organized so as to have students preparing for projects through small groups. But when practical, individual participation will be encouraged and will be included in overall student evaluation.

講義の内容／授業スケジュール No textbook is required, but students will need to have a file holder or notebook for student generated materials and handouts from the instructor. Material to be covered will be comprised of roughly 50% practical conversation, and 50% will be drawn from a variety of lectures and discussions of academic or cultural interest.

履修上の留意点 Attendance is required, and with few exceptions, the instructor will hold students accountable for the minimum attendance required by the Ministry of Science and Education (Monkasho). Final student evaluation will be based on year long attendance, and a willingness to communicate as exemplified by completion of homework assignments and active participation in classroom exercises.

成績評価の方法 Students will be evaluated according to attendance, in class Participation, occasional written tests, and occasional written homework assignments.

教科書／テキスト Students are not required to buy a textbook

参考書 Students should try to other English source material as much as possible. Any source is acceptable- newspapers, novels, magazines.

履修コード	024701
科目名	英語学概論
担当者名	佐藤 真二

英米

講義の到達目標(ねらい)	英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	主な講義内容は以下の通り。 1) What is linguistics ? (言語学とは何か) 1-2 2) Phonetics (音声学) 3-8 3) Phonology (音韻論) 9-15 4) Morphology (形態論) 16-17 5) Lexicology (語彙論) 18-19 6) Syntax (統語論) 20-21 7) Semantics (意味論) 22-23 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派) 24 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野) 25-30
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期末及び学年末の試験によって評価する。 J.D.O' Connor, Better English Pronunciation, (Cambridge University Press) 1980, (Paperback)
参 考 書	参考文献は教場にて紹介する。

履修コード	023901・023902
科目名	作品講読 作品講読Ⅱ
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい)	20世紀の最も優れた英語短編集の一つといわれる James Joyce, Dubliners の短編等を精読しながら、文学テキストの基本的な読解力を養います。
講義の内容／ 授業スケジュール	『ダブリン市民1「死者たち」他』を、おおよそ以下のスケジュールで精読してゆきます。 第1～2回：イントロダクション、第3～13回：テキストの精読、第14回：全体での討議、第15回：前期のまとめ、第16～27回：テキストの精読、第28回：映画化作品鑑賞、第29回：全体での討議、第30回：後期のまとめ
準備学習 履修上の留意点	テキストの疑問点をまとめて授業に臨むことがもっとも効果的な学習につながります。 丁寧な注のついた教科書ですが、わからない箇所については必ず辞書、事典で調べる習慣をつけてください。分担して発表してもらいますので、予習を欠かさないでください。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席と授業への取り組み(4割)、学期末の試験(6割)を総合的に評価します。 『ダブリン市民1「死者たち」他』[Dubliners (南雲堂) ISBN: 978-4-523-02703-X
参 考 書	授業時に適宜、紹介します。

履修コード	024001・024002
科目名	作品講読 作品講読Ⅱ
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい) アメリカの作家による短編小説を読み、英語力の向上を図ると同時に、テキスト分析の基礎を学ぶことで、広義の意味での読解力の向上を目指す。

前期・後期末にレポート提出とディクテーションおよび音読試験実施。優秀レポートの発表あり。レポート、発表は英語、日本語いずれも可。

英米

講義の内容／
授業スケジュール

前期

- (1) オリエンテーション
- (2～13) 教科書。うち一回はレポート作成法中心。
- (14) レポート提出。ディクテーション。音読試験。
- (15) レポート全体コメント。個別返却。プレゼンテーション。

後期

- (1～13) 教科書。
- (14) レポート提出。ディクテーション。音読試験。
- (15) レポート全体コメント。個別返却。プレゼンテーション。

履修上の留意点

第一回目の授業より必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

授業中の積極的な参加が求められる。

出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、レポート、ディクテーション、音読試験の結果で総合的に評価する。

教科書／テキスト

酒本雅之・岩元巖 註解『古典アメリカ短編集』(成美堂) ¥1,300
ISBN4-7919-0518-0

参 考 書

- 1 川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られる。
- 2 Eastwood, _Oxford Practice Grammar: Intermediate_ (Oxford: 2006)
大変優れた文法書。問題つき。

履修コード	024101・024102
科目名	作品講読 作品講読Ⅱ
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい)

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。その他、さまざまな英文に現れる英語特有の表現や言いまわしについても細かくふれていきます。

(1～8) Kingsley Amis (9～15) John Wain (16～24) Allan Sillitoe (25～30) Edna O' Brien などの作品を読みます。

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書／テキスト

教場にて指示します。

そ の 他

授業は演習形式で行います。

履修コード	024201・024202
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	あづま 雄一郎 <small>あづま せいいちろう</small>

英米

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ小説の精読を通して英語の読解力並びに文法力を養う。単なる英文和訳ではなく、有機的な英文の内容理解・解釈を試みる。コンテキスト・コンプリヘンションから、適宜な日本語の選択ができるように努める。また、アメリカ小説を通して、アメリカの農村と都市、地方主義、社会、文化、芸術への認識・情報・知識を深め、アメリカの民主主義や産業資本主義の実態が如何なるものであるのかを考察する。
講義の内容／授業スケジュール	内容：20世紀初頭のモダニズムの黎明期の中西部出身の作家シャーウッド・アンダーソンから、現代に至るアメリカの代表的な作家の厳選された作品を精読し、アメリカの現実を考える。 スケジュール：アンダーソン「そのわけが知りたい」・人種差別の考察（1～4）、フォークナー「納屋は燃える」・南部の精神風土の考察（5～8）、ジョン・スタインベック「菊」・アメリカの地方と開拓者精神の考察（9～11）、アーネスト・ヘミングウェイ「インディアン・キャンプ」・開眼小説の考察（12～15）、マラマッド「魔法の樽」・ユダヤ作家の特徴（16～19）、フィッツジェラルド「ベビー・パーティ」・ジャズ・エイジの狂騒とアメリカの中流家庭の出現（20～23）、その他アップダイク、ヴォネガットの作品（24～）
履修上の留意点	理由のない遅刻者は教場への入室不可。無断欠席を3回以上した場合、その者は成績評価対象外とする。中英和辞書並びに英英辞典を必ず持参すること。発表者以外の他の者も必ず予習をして授業に参加すること。
成績評価の方法	原則的に次の5項目に基づき評価する。①毎回の授業内小テスト（25%）②前期のまとめ試験（25%）③後期のまとめ試験（25%）④年間5回の小レポート（10%）⑤夏季休暇課題レポート（15%）
教科書／テキスト 参 考 書	『現代アメリカ短編集』（渋谷雄三郎編注、金星堂、2500円程度） 随時、授業内で指示する。

履修コード	024301・024401
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ
担当者名	ブランケン、D. L.

講義の到達目標(ねらい)

To increase students' aural-oral proficiency and their willingness to speak in English. Students will talk in English via short memorized passages, dialogs and readings in the first semester. In the second, they will speak on topics of their choice, and make presentations as part of their "extra materials, activities."

英米

講義の内容／
授業スケジュール

Spring Semester
 Week 1: Vetting of student oral proficiency
 Weeks 2 & 3: English On Tap (EOT), Unit 1
 Weeks 4 & 5: EOT, Unit 2
 Week 7: Extra materials; activities (1)
 Weeks 8 & 9: EOT, Unit 3
 Weeks 10 & 11: EOT, Unit 4
 Week 12: Extra materials; activities (2)
 Weeks 13 & 14: Book check, extra work
 Fall Semester
 Week 1: Review: EOT, Unit 5
 Week 2 & 3: EOT, Unit 6
 Week 4 & 5: EOT, Unit 7
 Week 7: Extra materials; activities (3)
 Week 8 & 9: EOT, Unit 8
 Week 10 & 11: EOT, Unit 9
 Week 12: Extra materials; activities (4)
 Week 13 & 14: Book check, extra work

履修上の留意点

Two class periods will be used for each unit of the textbook. Four units are to be covered in each semester, with a review unit of one period. The goal is to "do" some five pages of the text per class period. Four classes per year are reserved for extra activities like games and puzzles in the first semester, and short presentations in the second.

The text provides for weekly listening and speaking activities like role playing. They will be graded as part of the instructor's continuous assessment of each student.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows: (1)classwork, using the textbook, 30; (2)Classwork, using extra materials, 20; (3)attendance and weekly speaking performance, 30; and quizzes and end of semester book check, 20

教科書／テキスト

Name: English On Tap
 Authors: D. Lee Blanken & Associates
 Publisher: Urban Productions, Ltd.

Price: ¥2,000 (available as handouts in Spring, and as printed book in Autumn (October)

参 考 書

A suitable electronic Japanese-English dictionary is strongly recommended. The instructor will discuss this during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

履修コード	024501
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ
担当者名	モート、セーラ

英米

講義の到達目標(ねらい) The aim of Speech and Communication II is to develop speaking and listening skills as well as expressing an opinion in English.

講義の内容／
授業スケジュール I (1-15) During the first semester the emphasis will be on techniques for developing speaking and listening skills in English, which will be practised in pairs and groups on various topics to gain confidence.

*Podcasts and the BBC English language learning website will also be used in class to help improve listening and speaking skills.

*Simple and enjoyable ways to improve pronunciation and gain confidence in expressing an opinion will also be part of the course.

*Students will keep an ongoing diary in class and at home, with photographs, pictures and writing.

II. (16-30) During the second semester students will concentrate on how to research, understand and explain topics from British and Japanese culture.

* This will be in simple, easy-to-understand English, using examples.

*Lengthening sentences and communicating using question forms, such as wh-questions, tag questions and rhetorical questions will also be part of the course.

*Students will be required to give group presentations followed by questions and answers (Q & A), in front of the class at the end of each semester.

成績評価の方法 *Assignments will be on YeStudy for easy reference
Students will be assessed through the group presentations (35), note-book(20) and classwork including attendance (45). Students will be expected to attend regularly, complete all tasks set in class and participate actively.

教科書／テキスト There is no textbook, however a note-book and dictionary will be required.

履修コード	024601
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ
担当者名	ハバード、W. D.

講義の到達目標(ねらい) The goal of this course is to provide students with the tools and abilities to effectively express themselves in a variety of interactions with English including reading, writing, speaking, and listening. To reach this goal, students will be given a variety of assignments and tasks, both written and oral, to improve their English competence. This includes written assignments, reading, and oral reproduction of selected passages to measure and help students with their comprehension, intonation, and general speaking ability. If time allows during the school year, group presentations will be given. By the end of this course, students are expected to be able to communicate their basic wants and needs in understandable written and oral English.

講義の内容／
授業スケジュール Details will be given in the first class in April.

成績評価の方法 Final grade will be based on attendance, class work, quizzes, and mid-term and final tests.

教科書／テキスト A Basic Course Book 4

履修コード	024801
科目名	英語表現法
担当者名	<small>たかの まさお</small> 高野 正夫

講義の到達目標(ねらい) いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。また、この他にも日常会話の英語表現の演習も行います。

講義の内容／授業スケジュール (1～8) Campus Life や Changing Weather (9～15) At the Bank や Watching TV (16～24) Sports や Traveling Abroad (25～30) Studying Abroad や Transportation などのトピックを扱います。

履修上の留意点 授業は、毎回演習形式で行うので、あたって時には十分準備をすること。
成績評価の方法 前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あたって時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書／テキスト 教場にて指示します。

英米

履修コード	024901
科目名	英語表現法
担当者名	<small>かわさき まさとし</small> 河崎 征俊

講義の到達目標(ねらい) 平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。一般的に、ややもすると機械的な学習と単なる暗記に終止する傾向が見られるので、それを打破するためにも、優れた英文に触れながら英英辞典を多用し、英語で英文のイメージをまとめることが望まれる。本講義ではさまざまな場面や角度からの英語表現の習得を目指したい。

講義の内容／授業スケジュール (1～2) 辞書ならびに参考書の紹介、小テストの実施。(3～4) Articles。(5～6) Nouns。(7～8) Pronouns。(9～10) Adverbs and Adverbials。(11～15) Prepositions and Phrases。(16～18) Past Participles。(19～21) ing-Forms。(22～23) Auxiliary Verbs。(24～25) Infinitives。(26～29) Conjunctions and Correlatives。(30) まとめならびに総復習。

履修上の留意点 授業効果をあげるためにも、あらかじめ文法書を熟読し、英文の形を整理しておいていただきたい。授業はすべて演習形式をとるため、予習・復習に専念し、まじめな学習を心がけていただきたい。

成績評価の方法 年2回の試験(7月と1月)ならびに小テストを基本的に評価することになるが、出席状況を重視する。遅刻は基本的に認めない。

教科書／テキスト 緒方勲『英語表現への道』(成美堂、1996) 1,545円。

履修コード	025001
科目名	英語表現法
担当者名	佐藤 千春

英米

講義の到達目標(ねらい)

ここで扱う英文はすべて日常会話のものばかりで、いわゆる書き言葉なるものは一つもない。口語英作文と考えてもらえばよい。はじめに基本となる英文の表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程度の短い文を練習し、基本が身に付いているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し、これはあらかじめ分担を決めておくので1人1問の分量を板書してもらう。この授業で扱う表現はすべて実生活を土台としたもので、できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現が出来るようになることをねらいとしている。

講義の内容／
授業スケジュール

それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expression の説明、およびテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明し、その後はすべて学生諸君に一問ずつ質問に答えてもらう Basic Training の練習を行う。Writing Practice はあらかじめあておくので準備をし、板書してもらう。またテキストとは別に、アメリカの Colloquialism や、その他面白い表現について学び、自由作文をしてもらうことも考えている。

準備学習
履修上の留意点

☆今年度は、下記にあげるテキストの Part II から始める。

授業開講時に英英の辞書の説明をするので、受講者は英英辞典を所有することが望ましい。

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。遅刻・欠席はマイナス評価、Assignment は必ずやってくるように。

成績評価の方法

毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書／テキスト

『コミュニケーションのための口語英作文』(The Road from Writing to Speaking) (成美堂)

1,680円

参 考 書

授業内にて紹介して行く。

履修コード	025101
科目名	英語表現法
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)

英米の映画を通じて、多様な英語表現の用例に触れて、言葉遣いのニュアンスを学び、英語の基礎を培う。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

前期：(1) ガイダンス (2~8) 『フォー・ウェディング』(9~15) 『ノッティングヒルの恋人』。後期：(16~20) 『グリーンフィンガーズ』(21~30) 『秘密と嘘』。

語学の習得には、単語に思えることの繰り返しと、継続的な積み重ねを厭わずに実践することが不可欠となる。毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関心を持ち、自主的に英語力を練磨すること。

成績評価の方法

毎回授業の冒頭で文法の予備知識についての質疑を行い、予習・復習など積極的な学習姿勢を確認し、前期と後期のテストの結果を加味して、出席状況も考慮のうえ総合的に判断する。

教科書／テキスト

教場で知らせる。

参 考 書

必要に応じて紹介。

履修コード	025501
科目名	英語史
担当者名	<small>からさわ かずとも</small> 唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)

世界の共通語とまでいわれるようになった英語とは、どのようなバックグラウンドを持つ、どのような性質の言語であるのかということ、イギリスの歴史や文化とともに学びます。英語の歴史を学ぶことは、現代の英語がいかなる性質の言語であるのかということを知る上で大変参考になります。また、英語の歴史とイギリスの歴史や文化とは非常に密接に関わり合っています。したがって、英語の歴史を学びながら、英語の性質についてより深く知るとともに、イギリスの歴史や文化の基礎知識をも身につけるとするのが本講義のねらいです。

講義の内容／
授業スケジュール

英語のルーツから現在まで、また、英語と他のヨーロッパの言語との関係性を含む幅広いトピックを以下のようなスケジュールで扱います。前期は英語の外面史を中心に、後期は内面史を中心に扱います。

(前期)

1. ガイダンス
2. イントロダクション1 英語の多文化性と国際性
3. イントロダクション2 英語のルーツ
4. 英国史の中の英語史1 イベリア人～ケルト人
5. 英国史の中の英語史2 ローマ支配時代のブリテン島
6. 英国史の中の英語史3 アングロ・サクソン人の到来
7. 英国史の中の英語史4 ヴァイキングの侵入とその影響
8. 英国史の中の英語史5 ノルマン征服とその影響
9. 英国史の中の英語史6 ノルマン征服後～英語の復活まで
10. 標準英語の成立
11. ルネサンス・宗教改革と英語
12. 英語の辞書と文法の成立
13. 英語圏の拡大1 (アメリカ英語)
14. 英語圏の拡大2 (世界の英語)
15. 前期試験

(後期)

1. ガイダンス
2. ～4. 英語に見られるインド・ヨーロッパ祖語時代以来の言語的特徴
5. ～7. 英語に見られるゲルマン語的な特徴
8. ～9. 古英語から中英語へ
10. 中英語から近代英語へ
11. 英語の綴りと発音
12. アメリカ英語とイギリス英語
13. 世界の英語
14. 英語の未来
15. 後期試験

*授業の進度等により、上記の予定と多少ずれが生じることもあります。

成績評価の方法
教科書／テキスト

平常点、レポート(前期)、および期末試験(前期・後期)をもとに成績をつけます。
(資料集) 菊池清明他編『英語史：現代英語の特質を求めて—多文化性と国際性』1300円(初回授業時に販売します)

ISBN:4-903933-34-4

参 考 書

唐澤一友『多民族の国イギリス—4つの切り口から英国史を知る』春風社、2100円。
ISBN:978-4-8-6110-148-9

英米

履修コード	030181
科目名	3年次ゼミ
担当者名	唐澤 一友

英米

講義の到達目標(ねらい) 約1500年の歴史の中で、英語は様々な紆余曲折を経て非常に大きく変化しながら現在に至っています。英語がどのようにして現在のようになつたのかということに着目しながら英語の歴史を学ぶことは、現代英語の特質を学ぶことにつながります。このゼミでは、特に現代英語の綴り(スペリング)に注目し、そこに反映された英語の歴史について知ることで、英語という言葉の特質の一面を垣間見ることになります。

講義の内容/授業スケジュール このゼミでは、英語の歴史や変遷を、現代英語の綴り(スペリング)の問題を通じて学びます。英語の綴りと発音の間には、論理的な一貫性がないということはよく知られていますが、なぜそのような状況に陥つたのか、また、様々な種類の綴りの背後にはいかなる歴史が潜んでいるのかを、みんなで具体例を集めながら考えていきましょう。まずはこの種の問題を扱った文章(英文)を読むことから始めますが、最終的には、一年を通じて学んだ英語の綴りとその背後にある歴史についてまとめた、ゼミ論集を作る予定です。

(前期) 1. イントロダクション、2. ~15. 英文講読およびその内容と関連する発表、ディスカッション等。

履修上の留意点 (後期) 前期と同様の作業を毎回行います。
この授業のためにノートを1冊用意し、授業中に読む英文(プリントとして配布)をこれに貼り付け、授業中に学んだこと、予習・復習の際に学んだことなどを書き込み、勉強の成果が形に残るようにしてください。毎回の授業で読む英文は、予め一度目を通し、内容や英語の特徴等がある程度把握しておいてください。発表が割り当てられた場合には、特によく準備をしてくる。授業中に積極的に発言してもらえると活気あり楽しい授業になると思います。

成績評価の方法 出席、授業中の発表、発言、学期末のレポート及び作成したノートにより成績をつけます。
教科書/テキスト 必要に応じてハンドアウトを配布。
参 考 書 随時紹介する。

履修コード	030191
科目名	3年次ゼミ
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい) 映像分析や字幕の作成を通じて、映画作品を読み解く力を養い、言葉の可能性を探る。
講義の内容/授業スケジュール 欧米製短編映画に日本語字幕をつける。映画字幕の役割はたんに表面的な意味の伝達手段にとどまらない。字幕は作品理解を助ける案内役になり得るからである。そうした字幕の可能性を探求するために、時代背景や家庭環境や性差など登場人物の置かれている状況や登場人物の心理を分析し、言葉の機能とコミュニケーションの在り方について考察する。また日本語字幕をつけた映画は、テキストに隠された映像作家の意図を掘り起こしながら、最終的にそれぞれが探求し到達した作品解釈を研究発表し、卒業論文の作成法を学ぶ。

準備学習 作品についての問題点を整理しておくこと。
履修上の留意点 毎回全員に発表の機会があるので、準備を怠らないこと。字幕作成指導が課外活動として必須である。また、ゼミで作成した日本語字幕版の短編映画はオータムフェスティバルで一般公開する予定。

成績評価の方法 評価は、毎時間の発表姿勢と、作成した字幕やレポートの結果から総合的に判断する。
教科書/テキスト 適宜案内する。
参 考 書 荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN: 4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基 訳『映画の理論』(学藝書林、1992年) ISBN: 4905640857

履修コード	030201
科目名	3年次ゼミ
担当者名	河崎 征俊 <small>かわさき まことし</small>

講義の到達目標(ねらい)

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかなりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特質をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

英米

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 中世イギリス文学概観。(2～5) 中世英語の文法と発音練習ならびにチョーサーの簡単な英文の読解法。(6～15) The Canterbury Tales 中の The Pardoner's Tale の読解。(16～19) ゼミ生による研究発表とディスカッション。(20～23) チョーサーの批評文読解。(24～28) The Pardoner's Tale の読解。(29) まとめならびに総合復習。(30) チョーサーの批評文に関する小テスト。

履修上の留意点

イギリス文学史の中世の箇所を一般的な書物をとおして確認し、時代背景を把握しておいていただきたい。開講時に中世イギリス文学に関する文献リストを配布するので、図書館等で文献確認を行い、レポート作成に向けていただきたい。

成績評価の方法

(a) 夏期レポート、(b) レポート口頭発表、(c) 演習発表、(d) 12月の授業最終時に行う小テスト、ならびに (e) 出席状況等を中心に総合的に評価する。ゼミに対する積極的姿勢も評価の対象としたい。

教科書／テキスト

A.C.Baugh 版を用いることになるが、この版は現在入手不可能なので、この版をコピーして配布する予定。

履修コード	030401
科目名	3年次ゼミ
担当者名	高野 正夫 <small>たかの まさお</small>

講義の到達目標(ねらい)

Wordsworth と Coleridge が Lyrical Ballads を出版した1798年からの約30年間をロマン主義の時代と呼んでいます。イギリス・ロマン派の詩人たちの特徴の一つにその自然観があります。ロマン派の詩人たちは、それまで顧みられることのない自然の奥深くにある神秘性や啓示的精神に目を向けて、新たな詩を生み出していったのです。さらに、Lyrical Ballads の特徴の一つである、平凡な話し言葉によって書かれた詩は、従来のもより読みやすくなり、このロマン主義の時代に詩は、一般大衆にとって身近なものとなっていきました。そして、彼らが選んだ主題は、自然以外にも、愛や古いバラッドや、神話など、人々の日常生活に関わるものが多かったのです。その他、Blake や Wordsworth の作品にも見られるように、子供を文学作品の重要なテーマとしたのもロマン主義の一つの特徴であったのです。とくに Wordsworth は、多くの子供を中心とした素朴な家族の愛を描いた作品を書いています。

このようなイギリス・ロマン派の詩人たちが描いた自然や愛そして子供たちを主題とした作品や、Beatrix Potter, Mother Goose などを読みながら、当時のイギリスの人々のロマンチックな精神を探っていく予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～8) Beatrix Potter の生涯 (9～15) Potter の代表的な作品 (16～24) Mother Goose の魅力と作品 (25～30) Wordsworth の作品

成績評価の方法

レポートや平常点や出席状況を見ながら総合的に評価する。

教科書／テキスト

プリントを使用します。

履修コード	030601
科目名	3年次ゼミ
担当者名	モート、セーラ

英米

講義の到達目標(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・このセミナーは、比較文化論的に、日本とイギリス、ヨーロッパの美術の基礎を学ぶ。 ・絵画を見る目を養い、それについて英語で自分の意見を言えるようにする。 ・芸術家について基本的な歴史的背景を学ぶ。 ・美術鑑賞における基本的な専門用語を学ぶ。(テーマ、機能、創作、スケール、素材、ネガティブ・スペース、台紙、落款) ・研究方法を学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> a.17世紀から現代に至る美術を扱う。 b. 個々の作品を鑑賞したり、同じテーマや作風の作品を比較して鑑賞したりする。 c. 必要に応じて、資料を扱う。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加し、研究のスキルを上達させることが要求される。 ・レポートを提出し、授業中に発表することが必要である。
成績評価の方法	授業内の発表とレポートによって評価する。
教科書／テキスト	プリントを使用する。
その他の	英語で授業を行う。

履修コード	030801
科目名	3年次ゼミ
担当者名	あずま 雄一郎

講義の到達目標(ねらい)	<p>アングロ・アメリカン文学を越境する、アメリカのエスニック・モダニズム、具体的にはユダヤ系のアメリカ作家、アンジャ・イージアスカ並びにサリンジャーの作品を読む。精読により英語力を鍛え、英語で『ゼミ論集』を作成し、卒業論文の作成に備える。個々の研究発表を通じ、プレゼンテーション力を養成する。入念な下調べの上、発表に臨むようにする。課外で、TOEIC 模擬試験も行う。スコア・700点以上を目標とする。</p> <p>「前期」</p> <p>①初期のユダヤ系移民の少女のアメリカへの憧れ：『餓えた心』所収「奇跡」(1～5回) ②自己存在証明の確立：『餓えた心』所収「私のアメリカ発見」(6～10回) ③20世紀初期ニューヨーク、イーストサイドのユダヤ人街での暮らし：『餓えた心』所収「贅沢な暮し」④同民族内(ドイツ系の先発移民と、東欧・ロシア系の後発移民)での格差：『餓えた心』所収「恋人の夢の世界」(11～15回)</p> <p>「後期」</p> <p>⑤サリンジャー『ライ麦畑の捕手』の講読・味読(16～20回) ⑥『ライ麦畑の捕手』の民族的な問題点と初期のユダヤ系文学との相違(21～22) ⑦アメリカ文学におけるユダヤ作家、エスニック・越境文学の本質(23回～)</p>
講義の内容／授業スケジュール	
履修上の留意点	<p>なお、テキスト入手に伴い、前期と後期の演習内容が逆になることもある。</p> <p>理由のない遅刻者はゼミ室への入室不可(欠席扱い)。2回以上の無断欠席者は成績評価対象外となる。ゼミ論未提出者も同様に対象外となる。ゼミであっても、単位を落とすことがある。夏のゼミ合宿、並びに英語資格試験の模擬試験を行うが、これらはゼミ活動・授業の一環であるため、必ず参加すること。英語演習(英作文)の授業を併せて履修し、英作文の力を十分に養うことが、望ましい。</p>
成績評価の方法	①ゼミへの参加貢献度・議論内容等(20%) ②前期課題英語レポート(20%) ③プレゼンテーション・研究発表内容評価(25%) ④ゼミ英語論集(25%) ⑤TOEIC 模擬試験結果(10%)
教科書／テキスト	① Hungry Hearts(Penguin Classics) ② Catcher in the Rye (南雲堂フェニックス・英潮社ペンギンシリーズ)
参考書	ゼミの初日、並びに随時、指示する。
その他の	ゼミ論未提出の者は、成績評価対象外となるので、留意すること。

履修コード	030901
科目名	3年次ゼミ
担当者名	佐藤 千春

講義の到達目標(ねらい)

アメリカ文学史上、1830年頃から超絶主義 (Transcendentalism) という文芸思潮が台頭してきた。このゼミでは、超絶主義とは何か? を論じ、これにかかわる作家をとりあげてみることにする。その1人がナサニエル・ホーソーン (Nathaniel Hawthorne, 1804-64) である。彼の作品を精読し、さらにはほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。

講義の内容／
授業スケジュール
準備／学習
履修上の留意点

ホーソーン作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。本年度扱う作品は、ゼミ開講時にプリントで配布する予定である。

アメリカ・ルネッサンスという時期の時代背景、特長といったことを調べておくこと。

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。遅刻・欠席は厳に慎むこと。人数によって教場変更もあるので4月の開講時に注意していただきたい。

成績評価の方法

分担して発表してもらった姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。

教科書／テキスト

プリントを使用する。4月の開講時に各自に手渡すので注意されたい。

参考書

参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

英米

履修コード	031101
科目名	3年次ゼミ
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい)

Accents of English (地域や社会階級、年齢、性別等による発音の違い) を、音声資料を用いて研究する。

講義の内容／
授業スケジュール

International Phonetic Alphabet、地域による相違、社会階級による相違、性別、年齢による相違。(1-8)

研究予定地域: イングランド南部 (ロンドン等)、イングランド北部 (リヴァプール等)、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、オーストラリア、カナダ等。(9-15)

学生の研究発表 (16-25)

まとめと今後の課題 (26-30)

使用予定資料: インタビュー、ニュース、テレビ番組、映画、音楽等。

履修上の留意点

- ・履修には、英語音声学全般に関する基礎知識が必要である。
- ・音声資料の分析等のために、プラクティカルな英語力も要求される。
- ・参考書や資料は、英語のもののみ使用予定。
- ・後期には、学生各自が、自ら選択したテーマで夏期に研究した結果の発表を行う。
- ・口頭発表は、英語で行うことも視野に入れる。
- ・後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表や ear-training などの基礎学習が不可欠となる。毎回予習の上出席すること。

成績評価の方法

授業内の発表とレポートによって評価する。

教科書／テキスト

教場にて指示する。

その他の

夏期に、音声学をテーマにした合宿を行う予定。

履修コード	031191
科目名	3年次ゼミ
担当者名	川崎 明子

英米

講義の到達目標(わらい)	メアリー・シェリー (Mary Shelley, 1797-1851) の『フランケンシュタイン』(Frankenstein, or The Modern Prometheus, 1818) を読み、読解力や表現力の向上を目指します。前期は作品を通読しながら、様々なテーマで自由にディスカッションをします。例えば、なぜこの物語の最初と最後が本筋にほとんど無関係の人の手紙になっているのか、科学はどこまで人間の身体を創造してよいか、親子の葛藤についてなど。夏休み中に各自が選んだテーマでレポートを作成し、後期はそのレポートの発表と質疑応答をします。原文の精読や作品について書かれた批評の要約なども行います。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期 第1回：オリエンテーション、第2～12回：作品読解、作品解説、ディスカッション、第13～15回：レポート作成法。 後期 第1～7回：レポート発表、第8～15回：批評読解。
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法	授業開始前に作品の通読をするとよいでしょう。 就職活動などで欠席する場合は事前に連絡してください。 出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、発表やディスカッションの内容、レポートの結果で総合的に評価します
教科書/テキスト	翻訳はたくさんありますが自分が読みやすいものを使ってください。 原文は Oxford World's Classics がお奨めです。ネット上でも全文公開されています。
参考書	川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴がつかめるのみならず、小説研究のヒントも得られる良書。卒論を小説で書く方には一読をおすすめします。 川口喬一『嵐が丘』を読む ポストコロナル批評から「鬼丸物語」まで』小説研究のヒントを得られます。

履修コード	031201
科目名	3年次ゼミ
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(わらい)	日本生まれですが、現代イギリス文学を代表する作家の一人となっているカズオ・イングロの小説『日の名残り』(The Remains of the Day) を取り上げ、20世紀のヨーロッパの歴史を背景にした一人の執事の生き方をたどりながら、小説テキストを社会・文化的視点を含め、さまざまなコンテキストから読みとる力をつけます。
講義の内容/ 授業スケジュール	毎回、担当者を決め、担当者の発表を中心に以下のスケジュールで授業を進めます。 第1回：ゼミの進め方についての説明とカズオ・イングロの解説、第2回：映画鑑賞、第3回～第14回：作品の精読、第15回：前期のまとめ、第16回：映画鑑賞、第17～18回：前期のレポートをもとに討議、第19回～28回：作品の精読、第29回：全員での討議、第30回：後期のまとめ。
準備学習	翻訳でよいので、事前に作品を通読し、気になる点を整理しておくこと、授業でも活発な討議ができます。
履修上の留意点	1 第1回目の授業までに下に指定する版の教科書を購入しておくこと(ネットでは Amazon.co.jp、書店では紀伊国屋新宿南店が便利)。 2 発表の担当者は辞書をよく引いてハンドアウトを用意すること。
成績評価の方法 教科書/テキスト	授業時の発表(4割)と学期末のレポート(6割)の内容で総合的に評価します。 著者：Kazuo Ishiguro, The Remains of the Day, Vintage International ISBN-10: 0679731725, ISBN-13: 978-0679731726
参考書	授業時に適宜、紹介します。

履修コード	025201
科目名	アメリカ文学史
担当者名	佐藤 千春

講義の到達目標(ねらい)	一般にアメリカの歴史は17C から始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。
講義の内容／授業スケジュール	アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C 合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしぼり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。
履修上の留意点	講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。
成績評価の方法	毎回ではないが、出欠の確認をする。しかしこれは成績評価とはまったく関係はない。試験を受ける資格があるか否かを調べるだけのものだとすることを承知していただきたい。期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあたっての注意をするわけではない。
教科書／テキスト 参 考 書	西田実『アメリカ文学史』(成美堂) 2,205円 『アメリカ文学案内』(朝日出版社) その他は講義を進めて行く中で、適宜紹介して行く。

英米

履修コード	025301
科目名	イギリス文学史 I
担当者名	河崎 征俊

講義の到達目標(ねらい)	古期から18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮ならびに各時代に現れた主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) イギリスの風土と文学について。(2～3) アングロ・サクソン文学の内容と特質。(4～5) 中世後期の文学の内容と特質。(6～8) チョーサー文学。(9～10) ルネサンス前期の文学の内容と特質。(11～12) ルネサンス後期の文学と特質。(13～15) シェイクスピア文学。(16～17) 17世紀の文学の内容と特質。(18～19) ジョン・ダンとその一派。(20～21) ジョン・ミルトン文学。(22～23) 新古典主義文学。(24～25) 18世紀の文学の内容と特質。(26～29) 市民社会と小説の隆盛。(30) まとめならびに総復習。
履修上の留意点	イギリス史に関する一般的な書物を熟読し、時代の流れを把握しておいていただきたい。授業は講義形式で行い、重要な作品ならびに文献はできるだけコピーで配布するので、文献整理を忘れてないでいただきたい。
成績評価の方法	(a) 夏期レポート、(b) 1月の定期試験、ならびに (c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。(a) 20パーセント、(b) 70パーセント、(c) 10パーセントの割合で成績を評価する予定。
教科書／テキスト	相島倫嘉『イギリス文学の流れ』(南雲堂、3 8 0 0円)

履修コード	025401
科目名	イギリス文学史Ⅱ
担当者名	加藤 光也 <small>かとう みつや</small>

英米

講義の到達目標(ねらい)	18世紀後半以降のイギリス文学の展開を、各時代の代表的な作品(詩、小説、批評)に焦点を当てながらたどります。
講義の内容/ 授業スケジュール	授業はおおよそ以下のスケジュールに沿って進めます。 第1回:前期ロマン主義(ゴシック小説)、第2~5回:ロマン主義(ブレイク、ワーズワス、キーツ、シェリー他)、第6~9回:19世紀の小説(オースティン、ディケンズ、プロンテ他)、第10~11回:ヴィクトリア朝の詩(ブラウニング、テニスン)、第12~13回:近代の批評(ペイター、ワイルド他)、第14回:19世紀から20世紀へ(ハーディ、コンラッド)、第15回:前期のまとめ、第16~18回:モダニズムの詩と批評(イェイツ、エリオット)、第19~23回:モダニズムの小説(ジョイス、ロレンス、ウルフ他)、第24~25回:大戦間の文学、第26回:大戦後の文学——怒れる若者たち、第27回:ファウルズとレッシング、第28~29回:1980年以降の文学(ラーキン、ヒーニー、カーター、イシグロ他)、第30回:後期のまとめ。
準備学習	授業ではできるだけ具体的な作品の紹介に主眼を置きますので、各時代の社会・文化的背景等については、参考書等で補うように努めてください。
履修上の留意点	授業の最後に質問の時間をとるようにするので、積極的に質問して疑問点を確認するようにしてください。また授業で扱った作品をできるだけ読むように努めてください。
成績評価の方法	出席および学期中の小テスト(3割)、学期末の試験(7割)によって総合的に評価します。
教科書/テキスト	必要な資料はプリントで配布します。
参考書	川崎寿彦『イギリス文学史』成美堂。レイモンド・ウィリアムズ『田舎と都会』晶文社、現在は絶版ですが、非常にすぐれたイギリス文学の分析となっています。

履修コード	028301
科目名	英米文化
担当者名	広川 治 <small>ひろかわ おさむ</small>

講義の到達目標(ねらい)	「映画・演劇に見る英米文化」を中心テーマとして講義を進める。今年度4月から12月の公開映画、上演の舞台のうち何本かをレポート対象作品に指定し、テーマ別に数作品を組み合わせて比較し、レポートにまとめる課題を数多く設定するので、受講者は可能な限り多くの演劇・映画・DVDをリストの指定作品から選び、レポートにまとめて随時提出することになる。
講義の内容/ 授業スケジュール	(4月) レポートの書き方、対象作品についての説明 (5月) ミアアカデミー賞授賞式について:賞の制度・歴史と今年度のノミネート・受賞作品 (6・7月) 英米の映画・演劇あるいはテレビ番組・音楽からテーマを設定し、講義予定 (9・10月) イギリス現地で撮影してきたビデオ(街の表情、劇場、観光地、映画のロケ地などを収録)を見ていく。 (11・12月) 様々なテーマ(歴史・言語・芸術・生活等)を映画・演劇・テレビ番組等にさらに探っていく。
履修上の留意点	出席は取らないが、授業中に見たビデオなどの感想を書いて提出してもらいことがある。12月に成績の申請日を設けるので必ず出席すること。この申請がない者はレポート提出が無効になることがある。
成績評価の方法	提出したレポートの数で基本的に成績が決まる。点数の詳細や各レポートの書き方は初回の授業で説明するが、最低でも演劇1公演、映画館の映画1作品、ビデオ(DVD)4作品程度は見てレポートをまとめることになる。
教科書/テキスト	プリント配布の予定。
参考書	授業内に紹介する。

履修コード	025601
科目名	イギリス文学特講Ⅰ
担当者名	石原 孝哉

講義の到達目標(ねらい)

イギリスのルネッサンス期の文学について講義します。主な作家とその作品を通じて、イギリス文学の大きな流れを読み取るのがこの講義の目的です。

講義の内容/
授業スケジュール

「ヨーロッパにおけるルネッサンス運動の流れとその実態」、「イギリスのルネッサンス」について、Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton, William Shakespeare などについて講じます。中心になるのは Shakespeare の作品で、教科書にそって講義を進めます。

英米

履修上の留意点

講義形式で授業を進めますが、文学理論の部分は多少難解なので、意欲ある学生の受講を求めます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

期末試験、レポートにより評価します。
ノースロップ・フライ著、『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』、三修社

履修コード	025701
科目名	イギリス文学特講Ⅱ
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい)

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair として Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された Lyrical Ballads という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人の様々な人生の絵模様をうたった物語詩や、William Cowper などの作品を読んでいく予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~8) Love Poetry (9~15) Nature Poetry (16~24) Religious Poetry (25~30) Poetry of Meditation など多様な作品を読みます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

前期のレポートと期末試験によって評価する。
教場にて指示します。

履修コード	025801
科目名	イギリス文学特講Ⅲ
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい)

代表的な詩人の生き方や思想などを考察し、精読を中心に詩を読み進める。

講義の内容/
授業スケジュール

前期はイギリスロマン主義の代表的な詩人に関し、生い立ちや代表作など基本的な解説を中心に進めていく。後期は代表的な詩を選び、精読を中心に言葉の意味を考察しながら、言葉に込められた詩人の生き方や文化、社会、宗教等の問題、詩人たちの人間観などを読み取る。

前期で取りあげる詩人は、イギリスロマン主義の先駆けとなるバーンズやブレイク(第1回~4回)、その基礎を築いたワーズワスやコウルリッジ(第5回~8回)、そしてイギリスロマン主義の発展に重要な役割を果たしたバイロン、シェリー、キーツ(第9回~15回)を中心に取る。後期に取り上げる作品は、キーツの『エンディミオン』(第1回~10回)や『ハイペリオン』など(第11回~15回)。

履修上の留意点

予備知識なしに授業を受けても理解し難いので、あらかじめ授業で取り上げる詩人について調べておいてください。

成績評価の方法
教科書/テキスト

前期2回、後期2回のレポートにより評価するが、出席等を評価に加える場合もある。
教場にて指示します。

履修コード	025901
科目名	イギリス文学特講Ⅳ
担当者名	川崎 ^{かわさき} 明子 ^{あきこ}

講義の到達目標(ねらい)	「私」で語られる一人称の小説について解説します。イギリス小説を中心に、アメリカと日本の小説も含み、近代小説の第一号ともいわれる『ロビンソン・クルーソー』(1719) からここ数年に出版された小説まで扱います。
講義の内容／ 授業スケジュール	小説、手紙、自伝、日記など、書く行為そのものについての考察ともなるでしょう。 前期・後期末に小レポートの提出と、事前に問題を提示した上での自由記述形式の小試験を実施します。 前期 第1回：オリエンテーション、第2～5回：小説の誕生、第6～11回：教養小説と病人の語り、第12～13回：書簡体小説、第14～15回：小試験とレポートコメント 後期 第1～4回：入れ子構造と日英小説比較、第5～9回：自伝小説、第10～13回：オープンエンディング、第14～15回：小試験とレポートコメント
成績評価の方法	出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、小レポート、小試験の結果により総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	特になし。 ・イギリス小説とその読み方については、川口喬一『イギリス小説入門』研究社 ・小説の研究方法については、川口喬一『嵐が丘』を読む ポストコロナル批評から「鬼丸物語」まで』

履修コード	026001
科目名	イギリス文学特講Ⅴ
担当者名	モート、 セーラ

講義の到達目標(ねらい)	The world of Jane Austen and early nineteenth century English painting, will be the focus of this course.
講義の内容／ 授業スケジュール	The set text will be the novel 'Sense and Sensibility', by Jane Austen(1775-1817), the first novel she had published. The story is based on the contrast between the characters of the Dashwood sisters, Elinor, who is sensible, restrained and concerned with the welfare of others and Marianne, who is imaginative, romantic and devoted to the beauty of nature. The paintings of English landscape artists of the period such as J.M.W.Turner(1775-1851), John Constable (1776-1837) and George Stubbs (1724-1806), will also be referred to. A detailed schedule will be given to the students at the first lecture, however topics such as: - changing ideas on nature and environment. - the relationship of literature and painting. - social rank and customs such as dancing and the fashion of the period will be discussed in depth. There will be the opportunity to work in pairs and small groups in class.
成績評価の方法	Report and assignments based on year level.
教科書／テキスト	'Sense and Sensibility'. Jane Austen.(Oxford World's Classics. Oxford University Press.2008. ISBN978-0-19-953557-6). 1,150 yen.
参 考 書	Reference texts on Austen and also on English nineteenth century painting to be announced at first lecture. Dvds. * 'Sense and Sensibility'. Film adapted by Emma Thompson, directed by Ang Lee. 1995. * 'Sense and Sensibility'. Adapted for BBC television, directed by John Alexander. 2008. * 'Pride and Prejudice'. Directed by Joe Wright. 2005.

履修コード	026101
科目名	イギリス文学特講Ⅵ
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}

講義の到達目標(ねらい)

美学から見た文学(芸術)批評講座。言語芸術によって美的体験と教養体験を高めるために、文学(芸術)批評のさまざまな方法に親しむように目指します。文学(言語芸術)とは人類の愚業の堆積で、「美しい」は制度であり、文学者・芸術家は作り出されるものです。そのような制度の中で人は「美しい」と感じる方向へ進み、自分に関わらないものは自分を高めないことを知るようになります。そして「美しい」とは「憧れ」で、「憧れ」とは読み手自身に無いものや不在感・欠落感をあぶり出し、読み手の日常生活から外部へ向かわせます。それには人として生きる〈生活世界〉から「審美学」を結びつける方法を身につけることが大事です。そこで批評方法はテキストの内部読解から外部読解に向けてゆくプロセスを見出してゆくことになります。

英米

講義の内容/
授業スケジュール

前期スケジュール：(英米)文学の基礎知識

- 1 言語の階層性：母語(自然言語)と外国言語と芸術言語の相違について(1～3)
- 2 文学の基本的要素及び文学の機能と力：文学と批評の基本的用語の習得について(4～7)
- 3 文学の基本概念と作品テキスト演習：文学の美的体験(読み・解釈・批評)と教養経験(文学史・様式史・一般史)(8～14)

後期スケジュール：さまざまな批評方法についての概説とテキスト紹介と演習

- 1 伝統批評と伝記批評(15～17)
- 2 ロシア・フォルマリズムとニュー・クリティシズム(18～20)
- 3 テーマ批評と精神分析批評と受容理論(21～23)
- 4 構造主義と記号論とポスト構造主義(24～26)
- 5 ニュー・ヒストリシズムとポストコロニアル批評とカルチュラル・スタディーズ(27～28)

準備学習
履修上の留意点

辞書を持参すること。英文テキストの読みの課題に対して準備するよう指示します。

- 1 読書リストのプリント配布
- 2 講義用のプリントを毎回配布(多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること)
- 3 英語読めることが不可欠ですが、日本語で読めるものは多読・濫読して理解するよう心掛けること。

成績評価の方法

出席率、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパーなどの総合評価。クラスでの発表者は評価の対象になります。

教科書/テキスト
参 考 書

参考書は講義内容に対応して指示します。

必要に応じて随時指示し、作品テキストの読みの課題を出します。

履修コード	026401
科目名	アメリカ文学特講Ⅰ
担当者名	あづま 雄一郎 東 雄一郎

英米

講義の到達目標(ねらい) アメリカ詩人の作品を精読し、アメリカの文化、芸術、社会、経済、政治等を考えます。アメリカ詩を通時的、共時的に考察し、アメリカとは何かを考えるのが、この講義の主眼です。グローバル・ヴィレッジ化や地域化が進行する21世紀において、ダイナミックなアメリカ文学の動向は、アングロ・アメリカン(白人)文学を視座にした従来の閉塞的な把握方法では、捉えきれません。アメリカ文学、広義にはアメリカの芸術一般の根源的な特徴は、その多様性で、また、アメリカ的なものの定義と強調・主張です。

How do I find America? What is America? Who is an American? これらの自意識や自問のうちに、様々なアメリカ詩人たちが、独自の詩を創作しています。巨大なサラダボール化したエスニックのアメリカが、今後どのような方向に進もうとしているのか。その未来のヴィジョンを受講者各自に考えてもらいます。アメリカ詩の精読を通して、英語力を高め、また、リスニング力を高めるために、ジャズやミュージカルの英語の歌も鑑賞します。

講義の内容／授業スケジュール 毎回、数名の詩人・芸術家を取り上げ、その作品を精読します。歴史、文化、社会、時代精神、その時代の思潮も考察します。また各時代の代表的な音楽や映画も随時取り上げます。

①アメリカ文学の発生と実用文学、並びに白人移民による先住民への迫害、ジェイムスタウンとプリマスが意味するもの(1~4) ②アメリカの荒野と自然、歌の夢並びに独立革命(5~7) ③「明白な運命」の嘘・分離戦争としての南北戦争と西部開拓時代、ホイットマンを読む(8~10) ④アマーゴの隠遁者の魔女、エミリー・ディキンソンを読む。彼女は如何にして厳格な神を飼ひ馴らしたのか ⑤アメリカの世紀末からモダニズム、農本主義の完全崩壊と産業資本主義の形成・第1次世界大戦と迷える若者たちとアメリカン・エグザイル、パウンドとエリオットのモダニズム ⑥アフリカン・アメリカン文学の台頭、ハーレム、そしてジャズとは何か・ラングストン・ヒューズたちのルネッサンス・地霊を守るモダニスト(11~15) ⑦大恐慌から第2次世界大戦、ピンクのリボンに飾られた小箱(または精巧に作られた壺)のような詩、形式主義者たちの詩を読む(16~18) ⑧沈静した社会への反逆と対抗文化、ビート詩人とギンズバーグを読む。大胆な告白をする詩人たちのプロテスト詩 ⑨ロバート・ブライ、ジェイムズ・ライトの牧歌的瞑想とアウトサイダー指向 ⑩ポストモダニズム考察、ソローに回帰するエコロジー、ディキンソンの妹リッチのフェミニズム詩を読む(19~20) ⑪祖国を奪われた人々、チカーノ／チカーナの詩人、ネィティヴ・アメリカンの詩人を読む(21~24) ⑫アメリカの子どもの詩、アメリカの児童文学と詩、マザーグースはボストンに永眠する(26~)

履修上の留意点 4回以上の無断欠席者は、評価対象外者となります。病気や事故等、理由のある欠席は、欠席届を必ず提出してください。

成績評価の方法 ①年間5回ほどの授業内小レポート(25%) ②2000字以上の前期レポート(25%) ③2000字以上の後期レポート(25%) ④質疑応答等の授業への貢献度(25%)

教科書／テキスト 新倉俊一著『アメリカ詩入門』研究社 2000円程度、その他、プリント配布。
参 考 書 開講時、並びに講義内にて随時指示する。

履修コード	026501
科目名	アメリカ文学特講Ⅱ
担当者名	ばば あきら 馬場 聡

講義の到達目標(ねらい) 1950年代~1970年代に出版された短編小説を数編取りあげて精読すると同時に、公文書、育児書、映画、論文等の周辺資料を用いて、アメリカ対抗文化期の文化表象について検討します。毎回、テーマごとに担当者を決めて報告していただきますので、十分な事前準備が必要です。以下の3つの短編を読みます。Raymond Bradbury: "There Will Come Soft Rains, Richard Brautigan: "The Cleveland Wrecking Yard, Donald Barthelme: "I Bought a Little City

講義の内容／授業スケジュール (1-10) 冷戦とサイエンス・フィクション: ブラッドベリ
(11-20) ヒッピー文化とアメリカの夢: プロローティガン
(21-30) 断片の美学: パーセルミ

履修上の留意点 特別な理由がない限り、遅刻や欠席は避けてください。演習形式の科目ですので、割り当てられた課題をこなし、授業内で積極的に発言することを心がけましょう。

成績評価の方法 出席、授業への貢献度、提出物(50%) 試験(50%)
教科書／テキスト 以下のアンソロジーを用いる。

参 考 書 北山克彦編注『今日のアメリカ作家から』(鷹書房弓プレス) 1,029円 ISBN:4803410526
佐藤良明著『ラバーソウルの弾みかた ビートルズと60年代文化のゆくえ』(平凡社) 1, 470円 ISBN-10:4582764908

日本マラマッド協会編『アメリカの対抗文化-1960年代で知るアメリカ全土の地殻変動』(大阪教育図書) 3,045円 ISBN-10:4271116335

履修コード	026701
科目名	アメリカ文学特講Ⅳ
担当者名	<small>おうえん あきひさ</small> 逢見 明久

講義の到達目標(ねらい) 現代アメリカ小説を映画で読む。原作を踏まえたうえで、映像作家の作品解釈を探り、個の在り方がどのように扱われているかを考える。

講義の内容／授業スケジュール 前期：(1～4) 背景としての大恐慌時代(5～10) スタインバック作『二十日鼠と人間』(11～15) フィッツジェラルド作『グレート・ギャツビー』。
後期：(16～20) トルーマン・カポーティ作『ティファニーで朝食を』(21～25) ケン・キージー作『カッコーの巣のうで』(26～30) マイケル・カニンガム作『めぐりあう時間たち』。

履修上の留意点 扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。原作と映画版について気づいたことをまとめた小レポートを毎回提出することになる。

成績評価の方法 毎回の小レポートと、前期と後期の期末課題レポート(各40字×30行=1200字程度)で評価。随時紹介する。

教科書／テキスト 荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社1996年) ISBN: 4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林1992年) ISBN: 4905640857

参 考 書

英米

履修コード	026801
科目名	アメリカ文学特講Ⅴ
担当者名	<small>にしはら かつまさ</small> 西原 克政

講義の到達目標(ねらい) アメリカ詩の中でも、特に軽みを特色とする「ライト・ヴァース」というジャンルを考察する。

講義の内容／授業スケジュール 1. オリエンテーション 2. アメリカのライト・ヴァース 3. アメリカのライト・ヴァース 4. 失われたファウナをもとめて 5. 失われたファウナをもとめて 6. イマジストたちの不思議な熱狂 7. イマジストたちの不思議な熱狂 8. ウォーレス・スティーヴンズ 9. ウォーレス・スティーヴンズ 10. カミングズのためのハミングズ 11. カミングズのためのハミングズ 12. ポール・サイモンの世界の断片 13. ポール・サイモンの世界の断片 14. フロストの「雪の降りつもる夕暮」 15. 前期試験 16. 風景との対話 17. 風景との対話 18. 詩と円環 19. 詩と円環 20. ウィリアム・カーロス・ウィリアムズ 21. ウィリアム・カーロス・ウィリアムズ 22. 「死を思考する詩」 23. 「死を思考する詩」 24. ネイオミ・シハブ・ナイと「バケツの中の風」 25. ネイオミ・シハブ・ナイと「バケツの中の風」 26. 自分のアンソロジーを作る 27. イギリスとアメリカのライト・ヴァース 28. イギリスとアメリカのライト・ヴァース 29. アメリカの子供詩 30. 後期試験

履修上の留意点 授業に際して予習に最も力を入れてもらいたい。

成績評価の方法 授業回数の3分の2以上の出席が必要となる。それに前期・後期の試験成績を考慮に入れて、総合的に判断評価する。

教科書／テキスト 西原克政『アメリカのライト・ヴァース』(港の人) 2835円 ISBN 978-4-89629-0C3098

参 考 書 授業中に適宜指示する。

履修コード	026901
科目名	イギリス文学演習Ⅰ
担当者名	<small>かわさき まさとし</small> 河崎 征俊

講義の到達目標(ねらい) 昨年度に引き続き William Shakespeare の四大悲劇のひとつと言われる Hamlet を精読しながら、伝統と新しさを総合的に描き切ったこの劇作家の英語の面白さならびにルネサンス期の社会状況や文化的背景について考察する。

講義の内容／授業スケジュール (1～3) Shakespeare の英語ならびに文献について。(4) 第1幕の復習。(5～8) 第2幕1場。(9～15) 第2幕2場。(16～19) 第3幕1場。(20～26) 第3幕2場。(27～29) Shakespeare の時代的ならびに文化的背景。(30) まとめならびに総復習。

履修上の留意点 Shakespeare の四大悲劇に関する書物を熟読し、その文学的特性についてあらかじめ把握しておいていただきたい。なお、開講時に Shakespeare の文学ならびに英語に関する文献リストを配布するので、図書館等で文献確認をし、研究に役立てていただきたい。

成績評価の方法 (a) 夏期レポート、(b) 1月の定期試験、ならびに (c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。なお、この講義は演習科目なので、全員参加という形で行いたい。予習状況も評価の対象とする予定。

教科書／テキスト Riverside 版をコピーで配布する予定。

英米

履修コード	027001
科目名	イギリス文学演習Ⅱ
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい) ギャスケルとディケンズの短編を読み、英文読解力の向上とテキスト分析の基礎技術の習得を目指します。リスニングも行います。慣れるまでは英語がやや難しく感じるかもしれませんが、小説の黄金期と言われるヴィクトリア朝の文豪たちの原文の魅力を味わえます。

授業は、前半はグループディスカッション、後半は教官による説明。

前期と後期に、

[課題1] ディスカッションの内容をまとめたもの

[課題2] 自由に選んだテーマで書いたレポート

を提出。優秀レポートの口頭発表あり。前期・後期末にディクテーションと音読試験あり。

ディスカッション、レポート、口頭発表は英語・日本語のいずれも可。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

(1) オリエンテーション

(2) 精読

(3~13) ディスカッション形式による通常授業。うち1回はレポート作成法と精読。

(14) レポート提出。ディクテーションおよび音読試験。

(15) レポートの全体コメントと個別返却。優秀レポートの発表。

後期

(1~13) 通常授業

(14) レポート提出。ディクテーションおよび音読試験。

(15) レポートの全体コメントと個別返却。優秀レポートの発表。

履修上の留意点

1 ディスカッションに参加できるよう、十分な予習をして臨むこと

2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること

3 レポート作成においては書式を指定するので最低限のパソコンの知識を持つこと

成績評価の方法

3分の2以上の出席が必要。出席と授業への貢献度、レポートの内容とディクテーションと音読試験の結果により総合的に評価。

教科書/テキスト

田中英史、横山幸三 註解 『古典イギリス短編集』(成美堂)

¥1,300 ISBN4-7919-0029-4-C1382

参 考 書

1 川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。

2 Eastwood, _Oxford Practice Grammar: Intermediate_ (Oxford: 2006)

大変優れた文法書。練習問題がついていますが、解説部分に目を通すだけでも確実に英語力が向上するでしょう。

そ の 他

受講者が50名を超えた場合は選抜試験を行うことがあります。

履修コード	027101
科目名	イギリス文学演習Ⅲ
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい) イギリスの1950年代に登場した‘Angry Young Men’ とほぼ同じ時期に現われた一群の詩人たちについて読んでいく予定です。‘The Movement’ と呼ばれた彼らは、イギリス人の日常生活を分かりやすい率直な言葉で描写していたが、彼らが自らの詩という表現方法によってどのように20世紀後半のイギリス社会とのつながりを認識していったのかなどについて考察していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

‘The Movement’ に属する詩人をとりあげ、前、後期でできるだけ多くの作品を読んでいきます。

(1~8) The North Ship (9~15) The Less Deceived (16~24) The Whitsun Weddings (25~30) High Windows などの詩集を読んでいきます。

履修上の留意点

演習ですので予習を欠かさずに受講して下さい。

成績評価の方法

前期のレポートや後期の試験、出席状況、平常点などによって成績評価をする。

教科書/テキスト

教場にて指示する。

参 考 書

Philip Larkin, Collected Poems (faber and faber, 1988)

そ の 他

それぞれの詩人の作品を精読しながら、彼らの詩的特質や伝記的な側面について考えていきます。

履修コード	027301
科目名	イギリス文学演習 V
担当者名	<small>おおふち としはる</small> 大淵 利春

講義の到達目標(ねらい) 19世紀末を代表する作家 Oscar Wilde の童話を読む。英文学を原文で読む語学力の習得に加え、世界中で愛される Wilde の童話を味読したい。

講義の内容／授業スケジュール 前期はテキストの短編を読み進めていく。具体的には、イントロダクション(1～3)、「The Happy Prince」(4～7)、「The Selfish Giant」(8, 9)、「The Nightingale and the Rose」(10,11)、「The Devoted Friend」(12～13)、「The Star-Child」(14～15)
後期は前期に読んだ童話についての研究書を読んだり、長編 The Picture of Dorian Gray やその他の Wilde 作品にも触れつつ、Wilde 文学の本質に迫っていきたい。また、Wilde の作品をもとに、すぐれた映画も数多く製作されているため、そうした映画も見たい。

履修上の留意点 授業中は各学生にテキストを読んでもらったり、意見を発表してもらったりする予定なので、予習が必要。

成績評価の方法 前、後期のレポートをもとにしながら、日頃の授業への参加度も加味し、総合的に評価する。

教科書／テキスト Oscar Wilde『The Happy Prince & Other Tales』 英光社 1400円 ISBN978-4-87097-018-2

参考書 参考書はたくさんあるので、授業中に指示します。

その他 20人くらいの規模で行いたいため、受講希望者が多数の場合、抽選にすることがあります。

英米

履修コード	027401
科目名	アメリカ文学演習 I
担当者名	<small>あづま ひろひら</small> 東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい) アメリカの19世紀の女性詩人、Emily Dickinson の詩と、他の20世紀のアメリカ女性詩人、Elizabeth Bishop, Sylvia Plath, Mary Oliver, Alice Walker, H.D. などの作品を読みます。Dickinson に関してはフェミニズム的な視点はもちろん、エコロジカルな視点からも鑑賞してゆきます。Emily Dickinson を取り巻く詩人たちを考える演習です。Dickinson を扱う児童書・絵本も読む予定です。19世紀のアメリカは女性作家たち主に児童文学の分野で大いに活躍していた時代でした。20世紀は、ナンセンス詩と同様に、女性詩人たちの優れた作品が多く見られます。演習では活発に発表し、議論しましょう。アメリカの詩を通して、アメリカの芸術・文化・社会を考察します。演習で、プレゼンテーション、コミュニケーション、ディスカッション、ディベートの能力をなお一層高めましょう。言うまでもなく、個々の作品の精読・味読が基本となります。アメリカ詩の精読を通して、英語力を強化します。

講義の内容／授業スケジュール [前期]
Emily Dickinson を中心に詩や小説を読む。① Dickinson と19世紀のアメリカと詩人(1～5)。② 19世紀のアメリカ詩人(6～10) 第1次世界大戦後、ジャズ・エイジのアメリカと詩人(11～15)。③ モダニズムのアメリカと詩人、ハーレム・ルネサンスのアフリカン・アメリカンの詩人(11～12) ④ Dickinson の作品の熟読・精読(13～15)。
[後期] Alice Walker と Mary Oliver を中心に詩を読む。⑤ 児童書『アマーゴのネズミ』(プリント配布)を読む(16～20) ⑥ 児童文学とアメリカ詩(21～23) ⑦ アメリカ詩におけるイブ、Dickinson 再考と日本の詩作品の英語訳(24回以降)

履修上の留意点 演習のため、主に個々の口頭発表形式となります。英語の精読によって、英語力をより高めましょう。また、英語力強化の目的から、アメリカの社会、経済、文化、芸術に関する多様な時事英語や英語エッセイも読みます。無断欠席、遅刻は厳禁。演習なので発表者は用意周到な準備を必ずして、発表をしてください。必ず、辞書を持参してください。

成績評価の方法 年間5回の授業内の小レポート(20%)、演習発表(40%)、前期・後期、年間2回提出の課題レポート(各20%、計40%)なお、無断欠席を4回以上した者は、評価対象外とする。

教科書／テキスト ①『エミリー・ディキンソン詩選』(新倉俊一注釈、研究社出版)。②『対訳ディキンソン詩集』(亀井俊介著、岩波文庫)。

参考書 開講時に紹介します。または、授業中に言及します。

履修コード	027501
科目名	アメリカ文学演習Ⅱ
担当者名	馬場 聡

英米

講義の到達目標(ねらい)	現代アメリカ作家の超短編小説選集 Sudden Fiction(1986)を精読することで、小説の技法や分析方法について学習します。この選集に収録されている作品はすべて1頁から5頁の分量で構成されており、英語で小説を読むことに慣れていない学生でも読みこなすことができるはずです。毎回、テーマごとに担当者を決めて報告していただきますので、十分な事前準備が必要です。
講義の内容／授業スケジュール	(1)Introduction (2-4)Mother/Grace Paley (4-5)The king of jazz/Donald Barthelme (6-7)Reunion/John Cheever (8-9)Pygmalion/John Updike (10-11)Thank You, M' am/Langston Hughes (12-13)Popular Mechanics/Raymond Carver (14-15)The HitMan/T. Coragessan Boyle (16-17)I See You Never/Ray Bradbury (18-19)Tent Worms/Tennessee Williams (20-21)Happy/Joyce Carol Oates (22-23)(24-25)Sunday at the Zoo/Stuart Dybek (26-27)The Neighbor/Russell Banks (28-29)Moving Pictures/Charles Johnson (30)A Lost Grave/Bernard Malamud.
履修上の留意点	特別な理由がない限り、遅刻や欠席は避けてください。演習形式の科目ですので、割り当てられた課題をこなし、授業内で積極的に発言することを心がけましょう。
成績評価の方法	出席、授業への貢献度、毎回の課題 (50%) 期末レポート (50%)
教科書／テキスト	Robert Shapard & James Thomas eds., Sudden Fiction: American Short-Short Stories (1986) Gibbs M. Smith Inc., \$17.95 ISBN 10:0879052651
参 考 書	デイヴィッド ロッジ『小説の技巧』(白水社) 2,520円 ISBN-10:4560046344 J. ヒリスミラー『文学の読み方』(岩波書店) 2,520円 ISBN:9784000246477 柴田元幸『生半可版 英米小説演習』(研究社) 1,995円 ISBN-10:4327376728

履修コード	027601
科目名	アメリカ文学演習Ⅲ
担当者名	松本 昇

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ黒人文学に親しむ。
講義の内容／授業スケジュール	ゾラ・ニール・ハーストンの短編集を精読する。1回につき3～4ページを事前に指名された学生に読んでもらう。そのあと解説を加えていくことにする。事前に指名された学生は病気のなどの緊急事態を除き、欠席せずに割り当てられた個所を訳してもらおう。指名された学生で無断で欠席した場合は平常点がかなり減点される。ただ、文学を楽しみながら、ミクロとマクロの視点を培ってほしい。
履修上の留意点	前もって学生に課題を出して、それについて話してもらい、みんなで討論する。当てられた人は、必ず答えてもらおう。
成績評価の方法	授業への参加度20点、前期及び後期にそれぞれ課題を2回提出 (20点)、後期に試験 (60点) の計100点とする。
教科書／テキスト	プリント使用。

履修コード	027701
科目名	アメリカ文学演習Ⅳ
担当者名	古富 猛

講義の到達目標(ねらい)	ホーソンやメルヴィル等イギリス性の強いアメリカ文学から、いわゆるアメリカ社会に根ざしたアメリカ文学の代表的執筆家であるソローとフォークナーの作品の概説と作品のひとつを演習します。
講義の内容／授業スケジュール	前期はソローについて、(1)～(15)で、最初の(1)～(2)はソローが持つ意味を解説した後、学生にその紀行文を、予習してきてもらい、演習のひとつとします。後期はフォークナーについて、その作品のひとつ意味を(16)～(17)で解説し、その作品のひとつを(18)～(30)で読解演習します。
履修上の留意点	演習に必要なのは基礎的(中、高で習った事)能力なので、もう一度復習してもらおう事を望みます。
成績評価の方法	前期は、筆記試験は実施しないで、各時間に2名ぐらいソローの作品をプリント使用で、予習発表してもらい評価とします。後期はフォークナーの作品を、各学生と購読形式で、作品演習し、それについての筆記試験を実施します。
教科書／テキスト	前期はソローの『The Main Woods』のプリントを配布しテキストとします。 後期はフォークナーの短篇を教場にて指示します。

履修コード	027801
科目名	アメリカ文学演習 V
担当者名	佐藤 干春

講義の到達目標(ねらい)	アメリカの30年代を代表する作家の1人、Nathanael West (1903-40) の作品『ミス・ロンリーハーツ』を講読する。未曾有の世界恐慌が始まろうという、この時代に作家が、そして作品の主人公、登場人物が人生に何を求めようとしたのか等を現代の時代と比較しながら読み込んでみたい。 時代を超えた現代人の孤独を考えてみる。
講義の内容／ 授業スケジュール	講読する作家・作品に関しては、授業開講時に簡単に説明する。あらかじめ発表部分を割り当てておき、それを音読・訳読していただく方法で進めていく。発表者への質問、こちらからの説明などを含め、作品を分析し、作家のねらいなども併せて探っていく。
準備学習 履修上の留意点	とくに必要ではないが、扱う作家について予め文学史等で調べておくのがよいであろう。 遅刻・欠席はマイナス評価となり、これが重なる場合には履修・試験を受ける資格を失うこともあるので注意されたい。
成績評価の方法	前期・後期の最終授業時にテストを行なうが、割り当てられた発表の回数、ならびにその内容、姿勢など、さらに遅刻・出欠など総合的に判断し評価を出す。
教科書／テキスト	プリントを使用する。 授業開始日に作家・作品等に関する説明や、授業を履修するに当たっての注意事項、またプリントの一部を紹介する予定であるが、履修決定者には残りのプリントを次回授業時に配付する。
参 考 書	必要に応じ、授業内において、その都度指示していく。

英米

履修コード	026201
科目名	演劇特講 (イギリス・アメリカ)
担当者名	<small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭

英米

講義の到達目標(ねらい)

主として、20世紀のアメリカの劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」)等を通して、できるだけ多角的に考察する。後期には、数回を費やして、イギリス中世演劇やギリシャ演劇にも目を向け、現代演劇との共通点や相違点を探る。また、講義の中で、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、劇作品を通して、具体的に、考察する。

講義で取りあげる劇作家は、多くは、アメリカの劇作家であるが、それ以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第一回 オリエンテーション (授業の進め方・内容等についての説明)
- 第二回 ピューリタン (1)
- 第三回 ピューリタン (2)
- 第四回 Arthur Miller(1915-2005) (1)
- 第五回 Arthur Miller(1915-2005) (2)
- 第六回 Susan Glaspell(1882-1948)
- 第七回 リアリズムと表現主義 (1)
- 第八回 リアリズムと表現主義 (2)
- 第九回 Eugene O'Neill(1888-1953) (1)
- 第十回 Eugene O'Neill(1888-1953) (2)
- 第十一回 劇のプロットの要素
- 第十二回 Shirley Jackson(1919-65)
- 第十三回 Alice Gerstenberg(1885-1972)
- 第十四回 Tennessee Williams(1911-83) (1)
- 第十五回 Tennessee Williams(1911-83) (2)
- 第十六回 Thornton Wilder(1897-1975)
- 第十七回 John Boynton Priestley(1894-1984)
- 第十八回 Murray Schisgal(1926-)
- 第十九回 「登場人物」
- 第二十回 Samuel Beckett(1906-89) (1)
- 第二十一回 Samuel Beckett(1906-89) (2)
- 第二十二回 Harold Pinter(1930-2009)
- 第二十三回 Sam Shepard(1943-)
- 第二十四回 Bernard Pomerance(1940-)
- 第二十五回 Peter Shaffer(1926-)
- 第二十六回 Arthur Kopit(1937-)
- 第二十七回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの『詩論』
- 第二十八回 中世演劇 (1)
- 第二十九回 中世演劇 (2)
- 第三十回 期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。
期末試験が全評価の50%、前期の課題が25%、後期の課題が25%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2,000字から4,000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書/テキスト
参 考 書

プリント
『楽しく読める英米演劇』ミネルヴァ書房

履修コード	026301
科目名	演劇演習 (イギリス・アメリカ)
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)	舞台芸術は作者による創造と、役者や演出家らによる作品世界の再現と、観客の想像力という三要素によって成り立つ。授業ではこれら三要素のうち、作者による作品創造と演出家らによる作品の再現に注目し、その根底にある人間観や社会意識を探りながら、英米演劇の秀作とその映画化について理解を深めることを目標としている。
講義の内容／授業スケジュール	前期：(1～8) エドワード・オールビー作『動物園物語』、(9～15) ハロルド・ピンター作『背信』。 後期：(16～23) シェイクスピア映画『ロミオとジュリエット』、(24～30) ロドリゴ・ガルシア監督映画『彼女をみればわかること』。
履修上の留意点	劇作品の理解には、様々な角度から継続的にテキストを分析することが望ましいので、その障害となる遅刻や欠席といった事態は回避するように努めること。
成績評価の方法	毎回の発言内容と姿勢、及び前期と後期のレポート(各1400字程度)で総合的に評価。
教科書／テキスト	教場にて案内する。
参考書	荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN:4787584588 ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1992年) ISBN:4905640857

英米

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	テレビ、新聞、インターネット等で日々報道される英語によるニュースに触れながら時事英語の基礎を学ぶと同時に、時事英語にとどまらず英語力そのものを向上させることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	毎回、BBCやCNNなどで報道される最新のニュースを読んだり見たりしながら、そこで用いられる英語を通じて時事英語の基礎を学びます。リーディングとリスニングの力を鍛える訓練になるような授業を目指します。
履修上の留意点	(前期) 1. オリエンテーション、2. ～15. 実際のニュースを読んだり見たりしながら行う演習、(後期) 1. ～15. 実際のニュースを読んだり見たりしながら行う演習 必ず予習をしてくる。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。
成績評価の方法	出席、学期末テスト、および授業への取り組みにより総合的に評価します。
教科書／テキスト	使用せず。毎回ハンドアウト等を配布します。
その他	受講希望者が多い場合には、受講者数を最大30名程度に制限する予定です。初回の授業で必要に応じて選抜試験を行いますので受講希望者は必ず初回の授業に出てください。

履修コード	028001
科目名	商業英語
担当者名	秋葉 滋 <small>あきは しのぶ</small>

英米

講義の到達目標(ねらい)	—国際ビジネスの現場で使っている英語力を身につける —国際ビジネスで使うレター、E-mailの書き方を身につける —将来国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイス
講義の内容／ 授業スケジュール	(a) 第1回 オリエンテーション、「国際ビジネスとは？」についての経験と説明、グローバルな視点で物事を見ることの大切さについて説明 (b) 第2回—第7回 英文レター、E-mailの書き方入門と実践、テキスト「English on the Job」を使った国際ビジネス入門、各自の英語による自己紹介 (c) 第8回—第12回 英文ニュース、社説を通じて国際ビジネスに使われている英語の習得、テキスト「English on the Job」を使った国際ビジネス入門 (d) 第13回 国際ビジネスに関わる経営者のプレゼンテーション (1) (e) 第14回、第15回 上記 (b)、(c)の復習 (f) 第16回—第20回 英文ニュース、社説を通じて国際ビジネスに使われている英語の習得、テキスト「English on the Job」を使った国際ビジネス実践 (g) 第21回—第23回 ディベートの実践 (h) 第24回 国際ビジネス関わる経営者のプレゼンテーション (2) (i) 第25回—第28回 英文ニュース、社説を通じて国際ビジネスに使われている英語の習得、テキスト「English on the Job」を使った国際ビジネス実践 (j) 第29回—第30回 期末試験及び国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイスをを行う次回使う資料、参考資料(メディアが配信する経済ニュース、社説等)の予習
履修上の留意点 成績評価の方法	プロセス評価(出席、宿題、小テスト、毎回の授業における積極的な発言回数等)40% 結果評価(学期末試験(12月予定)の結果)60%
教科書／テキスト 参 考 書	English on the Job 発行所 金星堂、著者 James House、三好道子 未定

履修コード	028101
科目名	ラテン語
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)	ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。
講義の内容／ 授業スケジュール	下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。 前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。 前期 (1) 導入、ラテン語とは (2~5) 文字と発音、動詞の直説法現在・未完了・未来、名詞の第1・2変格など (6~10) 動詞の直説法完了・過去完了・未来完了、名詞の第3変格など (11~15) 動詞の直説法現在・未完了・未来・過去完了・未来完了、名詞の第4・5変格、形容詞の比較法、など 後期 (16~20) 命令法、各種の代名詞、副詞、など (21~25) 不定法、数詞、形式受動動詞、分詞、など (26~30) 接続法、動名詞、動形容詞、様々な従属文、など
履修上の留意点	練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。 1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	年間2回(前期末・後期末)のテストの結果(80%)に平常点(20%)を加味して評価します。 松本悦治『ラテン語入門』(駿河台出版社)1,500円 辞書と共に初回の授業で紹介します。

履修コード	028201
科目名	ギリシャ語
担当者名	長谷川 岳男

講義の到達目標(ねらい)

西洋の多くの言語の語彙や文法にとってルーツに位置する古典ギリシア語の基礎を学ぶことを主要な目的としています。そして古典ギリシア語のみならず、その文法や語彙の学習、読解を通して、英・独・仏・伊などの言語の仕組みを理解することもめざします。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は、第一回目のオリエンテーションで古典ギリシア語を用いていた古代ギリシア世界が西洋文明において有する意義と、西洋諸言語における古典ギリシア語の影響と学ぶ現代的有用性を説明して学習の動機付けを行います。第二回目、三回目はローマン・アルファベットとは異なるギリシア・アルファベットを学び、第4回目から5回程度、文法の基礎事項を扱って、現代の西洋諸言語に通ずる決まりを理解します。その後、簡単な古典ギリシア語の講読を文法事項の学習とともに進めることで、古典ギリシア語の理解を深める予定です。このような進行の合間に、古典ギリシア語の理解には、その背景にある古代ギリシア世界の理解が不可欠なために、何度かビデオやスライドなどで、ギリシア世界に触れてもらおうと思っています。

準備学習
履修上の留意点

課題として出される教科書の練習問題やテキストの和訳の予習が必要となります。ただ講義に参加するだけでは古典ギリシア語の習得は難しいので、受講生の皆さんの積極的な参加が必要です。具体的には、最初の文法事項の学習の際には、練習問題を解いて参加しなければ意味がありませんし、講読の際には事前に予習することが不可欠になります。

成績評価の方法

二度行うテスト、講義時に練習問題を解いたり、講読において和訳する際の積極的な参加などを総合して評価します。ですから出席は必要となります。このような形で評価しますので、追試験は行いません。

教科書／テキスト

田中利光『新ギリシャ語入門』、大修館書店、3400円、ISBN 4-469-21191-5。それ以外に必要なものはこちらで印刷して配布します。

参考書

講義中に随時、指示します。

英米

履修コード	028401
科目名	外国文学
担当者名	東 辰之介

講義の到達目標(ねらい)

フランスの代表的な文学作品を紹介し、その成り立ちや特質を説明します。小説の世紀といわれる19世紀の作家を中心に扱い、その前後の時代や小説以外のジャンルについては軽く触れるにとどめます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1)フランス文学史概観 (2)～(4)19世紀以前の作家(ラ・ファイエット夫人、ラクロ他) (5)～(15)19世紀前半の作家(スタンダール、バルザック他) (16)～(26)19世紀後半の作家(フローベール、ゾラ他) (27)～(30)20世紀以後の作家

準備学習
履修上の留意点

授業時に説明します。授業やテキストを通じて興味を持った作品について、なるべくたくさん翻訳で通読して欲しいと思います。また、余力のある人には、作品そのものだけでなく、作家や作品についての種々の研究書も合わせて読んでみることをお勧めします。

成績評価の方法

7月提出レポート(30%)と12月提出レポート(30%)、学年末試験(40%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。

教科書／テキスト

渡辺一夫・鈴木力衛著『増補 フランス文学案内』(岩波文庫別冊)700円+税 ISBN978-4-00-350001-9

参考書

田村毅、塩川徹也他編『フランス文学史』(東京大学出版会)、横山安由美、朝比奈美知子編著『はじめて学ぶ フランス文学史』(ミネルヴァ書房)、饗庭孝男他編『新版フランス文学史』(白水社)

履修コード	028501
科目名	英米思想史
担当者名	麻生 享志

英米

講義の到達目標(ねらい)	英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、興味を持てるようになることを目標とします。さらに、ひろく英米文化に関心を深められればいいと思っています。
講義の内容／授業スケジュール	哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。 (1) 概説と文献 (2-5) アルクインから英中世哲学へ (ほか、以下同) ・アンセルムスと神存在証明・大学とスコラ哲学・オッカムの唯名論以降 (6-12) F. ベーコンと欧近世哲学・ホプズの政治哲学・ロックと認識論・ロックと民主主義・知覚とバークリ・ヒュームの経験論・英国倫理学の歴史 (13-21) ベンサムと功利主義・ミル父子の政治論・ミル子の思想と論理学・A. スミスと経済学・ギボンと歴史の思想・パークの美学・カーライルの英雄思想・M. アーノルドと教養の理想・19世紀英国思想の意義 (22-27) J. エドワーズと米國思想の夜明け・エマソンと超絶主義・パースの「生」の哲学・論理学と真理論としてのプラグマティズム・ジェームズの宗教心理学・デューイの教育哲学 (28-30) 進化論とスペンサー・新ヘーゲル主義の観念論・分析哲学の時代へ
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もらいたいと思っています。
成績評価の方法	成績は、出席による平常点 (60%強)、および後期のレポート (繰上試験として講義時に回収・締切厳守) によって評価します。レポートに対する追試験は行いません。 ただし上述の場合に加え、学生の希望によって講義時に発表を行い、平常点を加味せず発表内容のみによって採点する場合も考えています。(発表者はレポート試験も免除。)
教科書／テキスト	久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊) 3200円 (ただし購入はガイダンスを聞くまでは控えること)
参考書	参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。
その他	英米の哲学史に、やや広く思想史的内容を加えた講義を行います。 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。) この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	028601
科目名	現代美術
担当者名	矢野 陽子

講義の到達目標(ねらい)	この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察していきます。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2~4) 19世紀後半の美術 (5~7) 世紀転換期の美術 (8~13) フォーヴィズムとキュビズムおよびその他の20世紀初頭の動向 (14~17) ダダからシュルレアリスムへ (18~19) 抽象主義 (20~21) バウハウスなど (22~24) 抽象表現主義からポップ・アートへ (25~30) 戦後の様々な動向
履修上の留意点	美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。
成績評価の方法	夏休みの課題レポートと学年末の筆記試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。
教科書／テキスト	講義時にプリントを配布します。
参考書	美術出版社編『現代美術入門』(美術出版社) 2,000円 そのほか授業中適宜紹介します。
その他	授業は毎回、画像を見ながら進めます。

履修コード	029001
科目名	英語学演習 I
担当者名	菅原 勉

講義の到達目標(ねらい) 全ての言語は構造上、音声、意味、文法から成り立っています。この授業では英語の音声に焦点を当て、その特徴について解説をします。相手に意思が伝わるように発音できることが先決です。英文のテキストや資料に応じて Reading や Speaking の実践練習も取り入れます。英米文学科卒業生として必要最低限の基礎知識の習得を目指します。教職希望者は是非履修してみてください。

英米

講義の内容／
授業スケジュール

- 《前期予定》
- I. 音声によるコミュニケーションについて
 - 音声というものは目には見えないけど、どんなものなんだろう？
 - どうやって言葉を覚えたのかな？
 - 頭の中にある音と実際に口から出る音とは同じなんだろうか？
 - どうして外国人とは言葉が通じないのかな？
 - II. 英語の歴史概観
 - 一番最初に英語を話したのは誰なんだろうか？
 - アングロ・サクソンって誰？
 - Shakespeare の時代の英語って現代とどのくらい違うのだろうか？
 - III. 音声の表記について
 - 文字はどのようにして出来たんだろう？
 - 音声記号って発音記号のこと？
 - 自分の名前を音声記号で書けるかな？
 - IV. 音声器官解説
 - 音声はどこでどのようにして作られ、聴き取られるのだろうか？
 - 女よりも男のほうが喉ぼとけが出ているのはなぜなんだろう？
 - しゃべる人の顔が違うように声も違うけどお互いに分かり合えるのはなぜなんだろう？
- ・前期分試験
- 《後期予定》
- V. 英語の単音 (segments) について (1)
 - 母音と子音の違いって？
 - 母音だけ子音だけという言語がないのはなぜ？
 - 英語の母音はこんなにあるのか！日本語と比べてごらんよ！
 - VI. 英語の単音 (segments) について (2)
 - 子音は雑音 (noise) だってこと知ってた？
 - 英語の子音って日本語よりも単純だね。
 - 世界中にはこんなにたくさん子音があるのか。
 - VII. 英語の音節構造 (syllable structure) について
 - なぜ音節のようなものを作り出したのかな？
 - 文字と音節の関係はどうなっているんだろう？
 - タケヤバヤケタは上から読んでも下から読んでも同じかな？じゃ、アカサカはどう？
 - VIII. 英語の連続音 (connected speech) について
 - 音が連続したとき前後の音がお互いに影響し合ったらどうなるのかな？
 - 英語のアクセントって日本語と同じで良いのかな？
 - 「ウイノウ (winow)」って「上野」が訛ったのかな？
 - ゲラップ (get up) とかベラー (better) ってなんかかっこいいよね！
 - 英語らしいイントネーションを身につけたいなあ。

履修上の留意点

- ・授業に対して1年間絶対に休まないという執着心を持ち続けること
- ・授業を休まなければ必ず何かが得られると信じること
- ・授業を通して自分の好きなことを見つけ出そうと好奇心を燃やすこと
- ・どうしても授業を休みたい時や面白くないと感じた時は、その旨申し出ること

成績評価の方法

・年2回の試験(25×2)とレポート(10)、リアクションペーパー(10)及び出席(30)を参考に
して総合評価をする

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

- ・使用しない
- ・授業展開中に適宜紹介する
- ・基本的には講義であるが、履修者の数によりゼミ形式に移行することもある
- ・実践的な側面と授業に参加する意欲を重視する

履修コード	029101
科目名	英語学演習 I
担当者名	ピアス、 D. M.

講義の内容／
授業スケジュール The course is career-oriented. Without the ability to speak English, you cannot be successful. Emphasis is upon feeling comfortable when speaking English.

英米

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1addressing people	CLASS 16consumption
CLASS 2addressing people	CLASS 17courtship
CLASS 3social hierarchy	CLASS 18courtship
CLASS 4social hierarchy	CLASS 19adolescence
CLASS 5self expression	CLASS 20adolescence
CLASS 6self expression	CLASS 21social classes
CLASS 7gift-giving	CLASS 22social classes
CLASS 8gift-giving	CLASS 23candor
CLASS 9informality	CLASS 24candor
CLASS 10informality	CLASS 25authority
CLASS 11news coverage	CLASS 26authority
CLASS 12news coverage	CLASS 27employment
CLASS 13personal freedom	CLASS 28employment
CLASS 14personal freedom	CLASS 29politicians
CLASS 15consumption	CLASS 30politicians

成績評価の方法 ATTENDANCE: Six absences are allowed, but the final grade will be adversely affected starting from five absences. Seminars, funerals, weddings, sickness, etc. are valid excuses for absence, but they are not exemptions from the 6-absence rule.

EXAMINATIONS: Small unannounced exams will mark the progress of learning. The exam questions will be taken from passages in the textbook that we have already studied.

教科書／テキスト GRADING: The final grade depends 70% on your improvement over your ability in the first class. We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Adam Pelagius, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary.

履修コード	029201
科目名	英語学演習 II
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい) イギリスそして英語の歴史に関する教科書(英文)を読みながら、イギリスや英語の歴史についての知識を身につけるとともに、英文読解力を高めることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール 毎回教科書(英文)を数ページずつ読み、英文読解の練習をするとともに、イギリスや英語の歴史について学びます。英文を翻訳したり、内容と関連する調べ物・発表なども随時してもらおう予定です。このような作業を通じて、英語史の基礎知識を身につけるとともに、英文読解力を高めることを目標とします。

(前期) 1. イントロダクション、2. ～15. 教科書の講読および毎回のテーマと関連する発表等。

(後期) 前期と同様に行います。

履修上の留意点 出席と授業への取りくみを重視します。授業で読むところはあらかじめ読んで内容を把握しておいてください。また、良く分からないところなどがあれば、授業中に質問してください。授業への積極的な参加を期待します。

成績評価の方法 出席、授業への取り組み、および期末のレポートにより評価します。

教科書／テキスト *特に出席と授業への取り組みを重視します。3分の1以上欠席した者には単位は出しません。Michael C. Mobbs, The Polyglot Isles: The Languages of the British Isles. 成美堂。1200円。(ISBN 4-7919-1170-9

参 考 書 渡部昇一『英語の歴史』大修館書店。ISBN 4-469-14183-6

履修コード	029301
科目名	英語学演習Ⅲ
担当者名	町田 ^{まちだ} ^{なほこ} 尚子

講義の到達目標(ねらい)

世界共通語としての英語と多様な英語の双方を視野に入れ、英文科の学生が知っておくべき英語と英語の歴史に関する基本的な知識の修得と考察が中心です。

講義の内容／
授業スケジュール

第1週～第5週

David Crystal, The English Language およびプリント資料で英語の多様性の現状を、地理的な広範さ・地域差、英語使用の多様性(母語・第一言語、第二言語、外国語として)から概観します。多様性の歴史的背景を外面史の観点からみます。

第6週～第11週

英語学および言語学の基本的知識を音声、音韻、形態、統語、意味について共時的側面と通時的側面に言及して復習します。

第12週～第15週

英語の系譜をたどり、英語の核となっている(West) Germanic の特徴が現代英語にどのような形で継承されているか、Latin 語や North Germanic の Old Norse、Romance 語の Norman/Old French との接触が英語をどのように変えたかを概観します。

第16週～第19週

英語を他のヨーロッパ諸語と異ならせている特徴のうち、ぬきんでた語彙数の多さ、多義表現の多さを多言語との接触等に言及し考察し、英語使用の留意点にも注意を向けます。

第20週～第24週

語形変化・活用による文法関係を示す機能の消失の歴史と語順の確立、前置詞・助動詞の発達等の英語を英語たらしめている特徴を重点的に扱います。

第25週～第28週

英語の音韻変化を母音を中心に概観し、母音の発音と文字の基本的な一対一対応が歴史的に崩れていった過程に焦点をあてます。特に大母音推移を考察することで、現代英語の基本的な母音(長母音・二重母音)と表記文字との対応関係の規則性をみます。

第29週～第30週

New Media(Internet) における現代英語の特徴を見ます。Text English にも言及します。

履修上の留意点

欠席する場合は必ず、メール(machida@komazawa-u.ac.jp)等で連絡し、プリント教材、課題の指示を受けること。

成績評価の方法

授業中の課題発表評価点(20%)、年2回程度の作業課題(レポート)成績(20%)、前期末(9月)と後期末(1月中旬)に提出するエッセイ・レポート(各30%)を総合して成績評価点を出します。

教科書／テキスト

参 考 書

David Crystal, The English Language 第2版(2002年) Penguin Books

ISBN 0-14-100396-0

R. L. Trask, Language: The Basics 第2版(1999年、2001年リプリント) Routledge

ISBN 0-415-20089-X

その他の参考書は教室で指示します。

英米

履修コード	029401
科目名	英語学演習Ⅳ
担当者名	唐澤 ^{からさわ} ^{かずとも} 一友

講義の到達目標(ねらい)

英文法のおさらいをし、英文を正確に読んだり書いたりするための基礎力を身につけることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール

英文法を実践的な観点から分かりやすく解説した教科書(英文)を読みながら、英文法について復習する。随時正誤問題を解いたり、英作文をしたりしながら授業を進める。

(前期) 1. イントロダクション、2. ～15. 教科書を読みながらの演習

(後期) 前期と同様に進めます。

履修上の留意点

出席と授業への取り組みを重視します。授業への積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

出席および授業への取り組みにより評価します。

教科書／テキスト

*なお、3分の1以上欠席した者には単位は出ない。

Rebecca Elliott, Painless Grammar. (Barron's Painless Series). 2nd. ed. Barron's, 2006.

ISBN-10: 0764134361

ISBN-13: 978-0764134364

履修コード	029511・029531
科目名	TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座
担当者名	ブランケン、D. L.

英米

講義の到達目標(ねらい) To develop listening and reading skills for the TOEIC test. The specific goals are to (1) to increase listening ability for PartI, sections2-4 of the TOEIC ; (2) increase reading speed and comprehension in PartII of the TOEIC ; and (3) give specific hints and “tips” on taking the test.

講義の内容/
授業スケジュール

Spring Semester
 Week1 : TOEIC materials : ORAL
 Week2-7 : Test topics & drills ; hints
 Week8 : TOEIC test 1, Oral
 Week9-12 : Test topics & drills, READING
 Week13 : TOEIC test 2, Reading
 Week14 : Analysis of test results, tips
 Fall Semester
 Week1 : TOEIC materials : ORAL
 Week2-7 : Test topics and drills ; hints
 Week8 : TOEIC test 3, Oral
 Week9-12 : Test topics and drills, READING
 Week13 : TOEIC test 4, Reading
 Week14 : Analysis of test results, tips

履修上の留意点

Homework is needed : it means doing sample listenings / readings from texts and prints for 30 minutes a day. Homework will be checked ; the more you do, the better your progress. You may request extra books and prints for more practice.

There will be more emphasis on listening than reading, but hints and tips will cover both types. Sample TOEIC tests will be given twice a semester , and students will be encouraged to register for an actual TOEIC test in or after the second semester.

To students : You must attend class on time to do the listening drills. Homework : Half an hour a day is enough for reading practice ; longer study harms your concentration.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows : (1) classwork, using prints and CD listening materials : 25; (2) classwork, attendance and quizzes : 25; homework, submitting drills and readings : 25; and (4) test performance in terms of progress : 25

教科書/テキスト

To be announced in class and supplied by the teacher. There will be printed drills or readings given each week. “TOEIC test-taking advice” will be given as handouts.

参 考 書

A suitable electronic Japanese - English dictionary is strongly recommended. An English - English paper dictionary is also highly recommended. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first class meeting.

履修コード	029521
科目名	TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座
担当者名	レイン、 R. V.

講義の到達目標(わらい)

This course will help familiarize students with both the TOEFL and TOEIC test by providing students with: 1] instruction in the areas tested; 2] opportunities to take sample exams and 3] test-taking strategies.

講義の内容／
授業スケジュール

[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-5] Listening review and strategies. [6-9] Vocabulary and grammar review. [10-14] Reading review. [15] Midterm Exam. [16-18] Model Test #1. [19-21] Model Test #2. [22-24] Model Test #3. [25-27] Model Test #4. [28-30] Final Exams.

準備学習

There will be grammar and listening review homework assigned after each class. Additionally, students are expected to come to class having done all assigned textbook practice tests.

履修上の留意点

Students should be aware that there will be a great deal of homework assigned after each class. Also, regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade. NOTICE: The class will be limited to 60 students with 4th year students having first priority.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the completion of homework assignments, attendance, class participation as well as scores received the midterm and final exams of sample TOEIC tests.

教科書／テキスト

title: Barron's TOEIC TEST, 4th Edition with audio CDs

publisher: Barron's

date: 2007

ISBN-13: 978-0-7641-7951-8 [book with audio CDs]

参 考 書

none

そ の 他

none

履修コード	029601
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	マーティン、 S. F.

講義の内容／
授業スケジュール

The spring semester will largely consist of communicative exercises geared towards activating latent knowledge of English and fostering a communicative and cooperative atmosphere in the class.

The fall semester will be geared more towards providing students practice in making formal presentations in an academic context.

The content will be an anthropological approach to contemporary movies and music as modern myth.

The specific focus for each semester will typically be a multidisciplinary analysis of specific movies and/or popular songs. Analysis is tentatively defined as a comparison of a work of art with another more familiar work, or with academically oriented metaphors taken from the arts and sciences, or with life experience.

履修上の留意点

Students are expected to make presentations in their choice of format, but mind mapping and multimedia approaches are encouraged.

Students will have the option of working alone, but will be encouraged to work in groups.

成績評価の方法

As testing will be minimal, evaluation will largely depend upon student participation.

Therefore the minimal standards of attendance will adhere to those set by the Ministry of Education, Science, and Technology.

教科書／テキスト

Materials will be provided by the instructor, however students will be expected to occasionally use homework assignments as the basis of the following week's exercises.

英米

履修コード	029701・029901・030001
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	ハバード、W. D.

講義の内容／
授業スケジュール

The goal of this course is help 3rd and 4th years students to continue on with their study of English and to assist them to more effectively express themselves in a variety of interactions with English including reading, writing, speaking, and listening. To reach this goal, students will be given a variety of assignments and tasks, both written and oral, to improve their English competence. This include written assignments, reading, and oral reproduction of selected passages to measure and help them with their comprehension, intonation, and general speaking ability. By the end of this course, students are expected to be able to communicate their general wants and needs in understandable written and oral English. Some EIKEN material will be used to help students desiring possible future EIKEN certification.

成績評価の方法
教科書／テキスト

Final grade will be based on attendance, class work, quizzes, and mid-term and final tests.
No textbook. Printed class lessons will be handed out at the beginning of each class period.

履修コード	029801
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	レイン、R. V.

講義の到達目標(ねらい)

This discussion-oriented class will help students to think critically, make opinions and express those opinions in English. This course will also help students better understand how TV commercials are crafted as well as better understand the differences between the American and Japanese cultures as seen in each country's TV commercials.

講義の内容／
授業スケジュール

[1] Class introduction with a discussion of the criteria we will use in class to evaluate TV commercials. [2-29] During the first half of the class students will be shown selected American TV commercials and the effectiveness of each commercial will be discussed. During the second half of each class students will show the class a Japanese TV commercial and discuss that commercial's effectiveness with the class. [30] Exam.

準備学習

Students will prepare an evaluation of a Japanese TV commercial at home and discuss the commercial with other students during class.

履修上の留意点

It is recommended that students have access to a VHS video player [or a friend who does]. This is a discussion class so students must speak English during class and share their ideas with other students. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

Students will be graded on their TV commercial evaluations and the Final Exam.
none
none

履修コード	026611
科目名	翻訳演習
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい)

英語の文章を丁寧に読んで訳すことは、英語を深く理解するためのもっとも効果的な方法の一つです。本演習では、報道記事、エッセイ、小説、詩など、さまざまなジャンルの英文を題材に翻訳を試みることで、英語翻訳の基礎力を養います。

講義の内容／
授業スケジュール

おおよそ以下のスケジュールで進めます。
第1～2回：イントロダクション、第3～5回：報道記事の翻訳実習、第6～10回：エッセイの翻訳実習、第11～14回：小説の翻訳実習、第15回：前期のまとめ、第16～25回：小説の翻訳実習、第26～29回：詩の翻訳実習、第30回：後期のまとめ。

準備学習

ふだんから、おもしろそうだと思う英文を自分で訳してみ、翻訳があればそれと比較する習慣をつけると効果的です。

履修上の留意点

授業では毎回、翻訳の実習を行いますので、まじめに取り組んでください。夏休みにも課題を出します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

出席と翻訳実習（4割）、課題提出と学期末試験（6割）によって総合的に評価します。
教材はプリントを配布します。
斎藤 兆史『翻訳の作法』東京大学出版会
授業の性格上、受講生は30人程度としますので、希望者が多い場合には最初の授業時に簡単なテストをします。

履修コード	047111
科目名	日本文化史
担当者名	ひろせ りょうこう 廣瀬 良弘

講義の到達目標(ねらい)

日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあったことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。

・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向(1, 2)、・鎌倉仏教と文化(3~5)、・禅宗と五山文化(6, 7)、・南北朝から室町期の文化(8, 9)、・北山文化の展開(10, 11)、・東山文化とその基盤(12~15)、・中世の職能民(16, 17)、・連歌師の旅(18, 19)、・戦国社会と宗教(18, 19)、・戦国社会の駆込寺(20~22)、・大名領国の文化(23, 24)、・統一政権とその文化(25, 26)、・近世文化史研究の動向と寛永文化(27~30)

履修上の留意点

講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。

成績評価の方法

定期試験の結果と授業の出欠を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。

教科書／テキスト

とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。

参 考 書

講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

履修コード	028801
科目名	英作文演習
担当者名	あづま ゆういちろう 東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい)

基本的には、ある程度の長さの英文を正確に書けるような実力を養成する。対象とする日本語の文章を英語に単に直訳するのではなく、その文章の内容を英語で簡潔、明瞭に伝達できる技能を研磨する。「教育」「環境」「文通と旅行」「スポーツと娯楽」「社会問題」「大学生活」など各テーマに沿ってまとめられた20章構成のテキストを使用し、英語の基礎力を総合的に高める。前半の第1章から第12章の内容は、多様な日常生活を扱う英文で、手紙やEメールの作成も含まれる。後半の第13章から第20章では、英語での議論の仕方やその表現力を身につけ、社会・時事問題の話題に関して、自分の意見を表現する英語力を育成する。

講義の内容／
授業スケジュール

毎回、各章の練習問題(15問ほど)、サンプル英語対話のリスニングとそのディクテーション(書き取り)、基本英文の暗記並びに応用英作文の口頭発表(クイック・リスpons)をこなし、「読み」「聞き」「話し」「書く」の4技能を高める。また、各章のテーマに関連する語彙の暗記に努める。例、「環境」に関しては、global environment/ eco-systems/ forest recycling/ carbon dioxide/ harmful chemicals/ environmental protection/ combustion of fossil fuels/ global temperaturesなどの用語。中英和辞典の効果的な利用方法(1) 日本語の文章の内容を伝達する・意識のコツ(2~5) 文章から名詞・名詞句への転換。例「若者の人口は急激に減っている」→ the radically decreasing number of young people(6~8) 手紙文の書き方・Eメールの作成(9~10) 会話文から書き言葉へ(11~12) 英文での主張の仕方・要旨を伝える(13~15) 新聞英語に学ぶ(16~18) 英語エッセイを書く(19~22) 社会・時事問題の英語(23~25) 英語の名文や、英字新聞に学ぶ(26~)。

履修上の留意点

理由のない遅刻者は入室を認めない。無断欠席を4回以上した場合、その者は成績評価対象外となる。予習を必ずして、毎回の授業に参加すること。中英和辞典を必ず持参すること。

成績評価の方法

原則として次の5項目に基づき評価を下す。①毎回の授業内小テスト(25%) ②年5回の小レポート(10%) ③前期のまとめ試験(25%) ④後期のまとめ試験(25%) ⑤夏期休暇の課題レポート(15%・後期の初日の授業にて提出)、その他、自由課題による英作文レポート。

教科書／テキスト

English Writing for Global Communication (『グローバル社会の英語作文』)
金星堂出版 価格1950円

参 考 書

随時、授業内で、英語活用辞典や熟語辞典などを指示する。

そ の 他

特に3年次ゼミの履修者は、英語論文・ゼミ論文作成に関する英作文力養成のため、必ず、この英作文演習を履修すること。

英米

履修コード	028901
科目名	英作文演習
担当者名	川崎 明子 <small>かわさき あきこ</small>

英米

講義の到達目標(ねらい)	より良い英文の作成のために、文法とパラグラフ・ライティングを同時並行して学びます。教科書は、第一部(文法中心)、第二部(パラグラフ・ライティング)、第三部(応用)の三部構成となっています。基本的に、教科書の一部と二部を並行して学習し、不規則に第三部も学習します。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期 (1) オリエンテーション (2~15) 教科書の第一部と第二部を同時に進み、時に第三部も学習する。 後期 (1~15) 同上。
履修上の留意点	1 英英辞典、コロケーション辞典、活用辞典など数種類の辞書を頻繁に使用すること。 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること。 3 書式を指定するので最低限のパソコンの知識を持つこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席は3分の2以上必要。出席を含めた授業への貢献度と提出課題の内容を総合的に評価。 山村三郎『基礎からパラグラフ・ライティングへ』成美堂 ISBN4-7919-5037-2 C1082 ￥1,600
参 考 書	次のものは大変優れた練習問題つきの文法書です。時間の都合上授業では扱えませんが、全体に目を通したり、弱い項目を復習すると、確実に英語力が向上するでしょう。 Eastwood, _Oxford Practice Grammar: Intermediate_ (Oxford: 2006)
そ の 他	受講者が50名を超えた場合は、選抜試験を行うこともあります。

履修コード	031211
科目名	4年次ゼミ
担当者名	河崎 征俊 <small>かわさき せいしゅん</small>

講義の到達目標(ねらい)	本ゼミは3年次ゼミで習得した中世英文学の知識を踏まえながら、チャウサーの作品を鑑賞したい。なお、本ゼミは卒業論文の作成も兼ねているので、ゼミ生の研究分野に沿った研究指導を行う予定。さらに、英語の内容と文体に関する英文を随時読みながら、文章作成の方法を考察していきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1~3) 卒業論文の論題について。(4~8) The Canterbury Tales の読解。(9~15) 内容と文体に関する英文の読解。(16~20) 中世イギリス文学の特質について。(21~29) The Canterbury Tales の読解。(30) まとめ
履修上の留意点	論文作成に関する一般的な書物を熟読し、卒業論文のテーマをあらかじめ設定したうえで授業にのぞんでいただきたい。ゼミ生の研究分野に応じた文献リストを配布するので、図書館等で確認し、資料収集に着手していただきたい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	(a) 演習発表、(b) 卒業論文作成にのぞむ姿勢、(c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。 A.C.Baugh 版をコピーして配布する予定。

履修コード	031231
科目名	4年次ゼミ
担当者名	高野 正夫 <small>たかの まさお</small>

講義の到達目標(ねらい)	4年次の卒業論文の執筆に向けて様々な指導を行います。どのようにして卒論を書いたらよいかということについて、具体的な例をあげながら説明していきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(4月~7月) 前期は、卒論の論題受付に向けて、どのようなジャンルやテーマを選んだらよいか、そしてどのような作家や作品を選んだらよいかなどについて、相談しながら論題を決定する作業を行います。 (9月~12月) 後期は、論文を書く時の具体的な書き方などについて説明し、さらに下書きの段階で提出された論文を訂正するなどして、論文の完成に向けての細かな作業を行います。
履修上の留意点	卒論の作成は長期間にわたるものなので、粘り強く様々な作業を進めることが必要であり、授業の時だけでなく日頃から自主的な姿勢で研究作業を進めていくことが望まれる。
成績評価の方法 教科書／テキスト	授業への積極性や論文の進み方などにより評価する。 授業開講時に教場で指示する。

履修コード	031241
科目名	4年次ゼミ
担当者名	モート、セーラ

講義の到達目標(ねらい)

The aim of the 4th year 'zemi' is for students to -

I. Develop ideas about a chosen theme of literature and art for the graduation essay.

II. Find out about a variety of techniques in effective academic writing;

- from forming sentence and paragraph structures
- to practicing writing which expresses opinion and compares and contrasts points in a topic.
- Looking at and analysing works of art.

The emphasis will be on developing critical thinking and advice will be given regarding writing a graduation thesis.

III. The 'zemi' will also include visits to museums and galleries in Tokyo to study artworks first-hand.

講義の内容/
授業スケジュール

I.(1-15)The first semester will include;

- practicing and improving research skills, using a variety of sources.
- planning short pieces of writing on a specific theme and organizing ideas effectively.
- developing writing skills such as paraphrasing and summarizing
- small group discussion.

II.(16-30)The second semester will provide individual guidance and advice on graduation theses.

Written assignments will be assessed as well as evidence of research.

成績評価の方法
教科書/テキスト

'Effective Academic Writing 1 - the paragraph.' Alice Savage, Masoud Shafiei.Oxford University Press.2007.(2,000yen)

Print-outs will also be provided on academic writing techniques.

英米

履修コード	031251
科目名	4年次ゼミ
担当者名	あずま ゆういちろう 東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい)

卒業論文の指導。夏休みに入る前期において、論題は言うまでもなく、各自がしっかりとした論文の構想を立てる。原作・原文テキスト(英語テキスト)や、必読の関係書誌(英文・邦文)がそろえるようにしておく。また、作家・作品研究の場合は、必ず原作(英文)を精読・熟読しておくこと。

講義の内容/
授業スケジュール

- ①卒業論文とは何か・論文の論題の決定(1~2)
- ②ジャンル別、グループ指導・書式並びに資料収集(3~4)
- ③ジャンル別口頭発表と質疑・論文の構成・章分けの仕方等(5~6)
- ④ジャンル別口頭発表と質疑・下書き(7~10)
- ⑤ジャンル別口頭発表と質疑・問題点の提示とその解決(11~13)
- ⑥下書き完成、提出(夏期休暇前)・ゼミ生同士によるグループ・チェック(14~15)
- ⑦研究室等における個別指導とそれに伴うスケジュール表の配布(16~19)
- ⑧ジャンル別口頭発表最終(20~21)
- ⑨指導教授による個別チェック(22~)

大学内個別指導(個別チェック)に加え、メール添付ファイルによる指導も行う。

履修上の留意点

各自のテーマに真剣に取り組む、ゼミには欠席をしないように。欠席をすると、自分の作業が大幅に遅れ、卒論の期間内提出に間に合わないことになる。ゼミであっても、単位を落とすことがある。

成績評価の方法

- ①授業への参加・貢献度(25%)
- ②ジャンル別口頭発表と質疑(40%)
- ③提出物・下書き(15%)
- ④グループ・チェックへの貢献度(20%)

教科書/テキスト

プリント配布

参 考 書
そ の 他

開講時に指示します。

インターネットによる情報収集を行ってもよいが、現存の出版物を参照の上で、その情報の真偽を必ず確認するように。

履修コード	031261
科目名	4年次ゼミ
担当者名	佐藤 千春

英米

講義の到達目標(ねらい)	卒業論文作成の基本となるゼミと考えてほしい。作家・作品その他論題の決定、そのための準備、そして完成への助言、助力を行う。
講義の内容／ 授業スケジュール	アメリカ・ルネッサンス期の作家を中心として指導を行うが、必ずしもこの時期の作家に限定するわけではない。指導は研究室で行う。人数によりグループ別に分けて隔週でこれを行うことも予定している。6月までにテーマを決め、その研究方針・報告を受け、それに従ってスケジュールをたてる。尚、4年ゼミの曜日、時限は、佐藤研究室にて連絡、発表し、そこでスケジュール表を渡すことにする。4年ゼミを希望する学生は早めに上記研究室(1441)に来られたし。卒業論文の指導を希望する場合は、このゼミを履修登録していただきたい。
履修上の留意点	決められたスケジュールに従って報告をしてもらうので十分な準備をしていただくことになる。
成績評価の方法	論文を作成するにあたって、その過程、および内容などを考慮し評価を出す。
教科書／テキスト	とくに使用せず。
参 考 書	研究対象によって異なるので、その都度指摘することにする。

履修コード	031271
科目名	4年次ゼミ
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい)	3年次にゼミで研究した事項(音声学)を基礎として、それを発展し、卒業論文へまとめあげることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	研究方法の再確認。テーマの決定。資料の収集。卒業論文の書き方。(1-8) アウトライン作成。卒業論文指導(9-15) 個別指導(16-30) 9月下旬序章(或いは第1章)提出、10月下旬第1章(或いは第2章)提出の予定。
履修上の留意点	卒業論文の指導を希望するものは必ず履修すること。 履修者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員と連絡を取ること。 5月末からの論題提出期間までには、テーマを決定し、論題の案を用意し、その上で担当教員に連絡の上、相談にくること。 教育実習に行く学生は早めに論題の準備をしておくこと。 就職活動で忙しい場合でも、何らかの方法で担当教員に連絡すること。
成績評価の方法	レポートにより評価する。
参 考 書	渡部昇一他『論文・レポートの書き方』スタンダード英語講座8(大修館書店)1984年 他

履修コード	031281
科目名	4年次ゼミ
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい)	卒業論文作成の基本となるゼミです。論文作成の準備、文献の選び方、論文構成、執筆までを指導します。
講義の内容／ 授業スケジュール	最初の2回ほどで、論文執筆の要領を具体例を挙げながら解説。その後は、各自のテーマに合わせてスケジュールを立て、個別の指導を行います。
履修上の留意点	3年次までの授業を元に、できるだけ論文の対象、テーマを明確にしておくことが大切です。スケジュールに合わせて進行状況を報告してもらいますので、個別指導には十分な準備をして臨むようにしてください。
成績評価の方法	論文への取り組み、課題レポート、論文の内容によって総合的に評価します。
教科書／テキスト	特にありません。
参 考 書	ゼミの中で適宜、紹介します。

履修コード	031291
科目名	4 年次ゼミ
担当者名	<small>からさわ かずとも</small> 唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	三年次までに学んできたことを基礎として、各自のテーマに沿って卒業論文（英語または日本語）を作成します。全員で何度か集まりますが、それ以外は基本的にメールや個別の面接で指導します。
講義の内容／ 授業スケジュール	（前期）4月に論文執筆法を確認します。5月末までにテーマを絞り、アウトラインを執筆。参照予定の文献リストも作成。夏休みに入る前には、全員で集まり、途中経過の報告会を行います。（後期）後期のはじめには、少なくとも一章分の第一稿を提出。10月末までに残りの章に関する第一稿を提出。11月には一度全員で集まり、第一稿に基づく報告会を行います。
履修上の留意点	卒論指導を希望する学生は必ず履修すること。第一回の授業に必ず出席すること。提出物の期日はしっかり守ること。メールで連絡が円滑に取れるようにすること。
成績評価の方法	作業への取り組みや提出物を遅滞なく提出したかどうかという点、および出来上がった論文の質により評価します。
教科書／テキスト	使用しない。
参 考 書	必要に応じて指導します。

英米

履修コード	031321
科目名	4 年次ゼミ
担当者名	<small>おうみ あきひさ</small> 逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)	英米演劇・映画作品研究。3年次ゼミの研究テーマを基礎に卒業論文を書くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	開講時に論文の要旨（400字5枚程度）と章立ての構想を必ず提出のこと。前期はこれをもとに論文の方向性を明確にして6月の論題提出に備え、夏期休暇を利用して全体を書き上げる。9月中旬に原稿の写しを一部提出のこと。後期は、原稿を推敲して論文の完成を目指す。
履修上の留意点	論文作成の経過報告を忘れずに、論文の完成に向けて必ず指導を受けること。
成績評価の方法	卒業論文を評価。
参 考 書	適宜指示。

履修コード	031331
科目名	4 年次ゼミ
担当者名	<small>かわさき あきこ</small> 川崎 明子

講義の到達目標(ねらい)	3年次ゼミで学んだことを基礎として卒業論文を作成します。英語・日本語いずれも可。数回全員で集合し、後はメールと面接での個別指導となります。
講義の内容／ 授業スケジュール	4月に論文作成法を確認。 5月末の論題提出までにテーマ選択と大まかなアウトライン作成。 10月末から11月初めに第一稿提出。
履修上の留意点	1 当教官の卒論指導を希望する場合は、必ず履修すること。 2 第一回目の授業で、次の程度に絞ったテーマを教官に知らせてください。例：『オリヴァ・ツイスト』について、「ディケンズの短編について」、「イギリスの子供について」、「19世紀のロンドンについて」。 3 自分名義のEメールのアカウントを持つこと。
成績評価の方法	提出物の内容と論文の進行により評価します。
教科書／テキスト	特になし
参 考 書	適宜個別に指示します

專 門 教 育 科 目

(3) 地 理 学 科

履修コード	031701
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	高木 正博

講義の到達目標(ねらい)	自然地理学を学ぶためには、地形図や空中写真などを利用して地域の自然的な事象を読み取る基本的な作業を行うことが重要である。本講義は、これらの作業をとおして基礎的な技術を修得するとともに、地域調査の基礎を学ぶことも目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて変更することがある。 (1-3) 地形図の読図（等高線の形状から地形特性や地形断面などを読む）、(4-7) 起伏量図、水系図など主題図の作成（地形図の読解、製図）、(8-11) 空中写真の実体視・判読による自然地の面積計測（空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を伴う）、(12-15) 資料や調査結果を図・表に表現する方法（統計資料の図表転換作業）
履修上の留意点	地形図の読図は地道な作業であるが、地域調査の基礎であり、課題に取り組む積極的な姿勢を求める。成果は期日内に提出できるよう努力すること。
成績評価の方法	提出物（図面とレポート）の内容、毎回の作業進捗状況、出席回数などを点数化し総合的に評価する。
教科書／テキスト その他	各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。 30cm 程度の定規、図面保護筒は必需品である。

地理

履修コード	031801
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	長沼 信夫

講義の到達目標(ねらい)	この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して、図表の表現化、作成した図表の読み方などを学習する。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。
講義の内容／授業スケジュール	(1～2) 実習内容の説明、地形図・海図を用い等高線や等深線などの記入と読み方 (3～8) 地形図を用いて地形計測—流域・水系図、起伏量図の作成— (9～13) 簡易測量実習 (14～15) 地質図の読み方と書き方
準備学習	実習中に適時指示する。
履修上の留意点	出席を重視する。
成績評価の方法	出席状況と定期的に提出する図書類やレポートなどを基に評価する。
教科書／テキスト	特に指定しない。
参考書	実習の中で適時紹介する。
その他	実習に必要な地図類や資料は適時配布する。

履修コード	031901
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	早船 元峰

講義の到達目標(ねらい)	地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。
講義の内容／授業スケジュール	(1～3)・2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成（切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図など）・読図 (4～6)・試料の収集・分析・整理の方法（粒度分析など） (7～9)・調査器材・器具の使用法 (10～12)・空中写真判読 (13～15)・地形断面図（実測）の作成
履修上の留意点	地形図や製図用具は各自用意してもらう。 出席をこころがけ、成果の提出期限を守ること。
成績評価の方法	出席状況・提出物の内容などにより評価する。
その他	実習に必要な資料は随時配布する。

地理

履修コード	037601
科目名	自然地理学実習 (地図学実習含む)
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 様々な「地域」が持っている自然地理学的な特質を明らかにし、それぞれの地域における開発と環境問題、あるいは災害と防災の問題などに取り組むために、基本的な地形図の読図、様々な統計地図や地形分類図の読図による地域の分類や地域特性の分析、簡単な地形分類の実習、簡単な空中写真判読、ハザードマップの試作などを行う。

講義の内容／授業スケジュール (1)地形図・空中写真の種類と入手方法、(2)地形図の読図と作業、(3)統計地図・地形分類図の読図、(4)簡単な統計地図の作成および地形分類の実習、(5)各自の課題に基づくレポートの作成と発表

履修上の留意点 実習科目なので、課題に対する成果品(作業した地図類)を提出することが必要条件である。

成績評価の方法 授業への出席および提出物を総合して成績評価する。

教科書／テキスト 教科書は指定しない。課題に対するプリントを用意する。

参 考 書 大矢雅彦ほか(1998、2002改訂増補)『地形分類図の読み方・作り方』古今書院

そ の 他 高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と、12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	037701
科目名	自然地理学実習 (地図学実習含む)
担当者名	田中 靖 <small>たなか やすし</small>

講義の到達目標(ねらい) 自然地理学の学習に必要な基礎的な技術と考え方を習得する。

講義の内容／授業スケジュール 第1回～第3回: 天気図の作成
第4回～第6回: 基礎統計(回帰分析・相関分析、コンピュータの使い方)
第7回～第10回: 地形図の読図、地形計測
第11回～第13回: 空中写真の判読
第14回: 駒大付近の地形と土地利用の観察実習
第15回: レポートの作成

履修上の留意点 必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。

成績評価の方法 レポートと出席状況を総合して評価する。

教科書／テキスト 適宜紹介する。

そ の 他 定規や色鉛筆、地形図等を準備する必要がある。適宜指示する。

履修コード	037801
科目名	自然地理学実習 (地図学実習含む)
担当者名	長沼 信夫 <small>ながぬま のぶお</small>

講義の到達目標(ねらい) この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して、図表の表現化、作成した図表の読み方などを学習する。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容／授業スケジュール (1～2)実習内容の説明、地形図・海図を用い等高線や等深線などの記入と読み方 (3～8)地形図を用いて地形計測—流域・水系図、起伏量図の作成— (9～13)簡易測量実習 (14～15)地質図の読み方と書き方

準備学習 実習中に適時指示する。

履修上の留意点 出席を重視する。

成績評価の方法 出席状況と定期的に提出する図版類やレポートなどを基に評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参 考 書 実習の中で適時紹介する。

そ の 他 実習に必要な地図類や資料は適時配布する。

履修コード	032101
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	はしづな なつみち 橋詰 直道

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。 (1)(2) 文献と地図データ収集（地理学文献の検索方法・地図データ等の入手方法）,(3)(4) 地理情報の判読（地形図読図・空中写真判読）,(5)(6) 地理データの処理（統計と統計地域・データの地図化）,(7)(8) 地理データの地域特性の分析（基礎統計分析手法）,(9)(10) 調査課題の設定（地理的課題と地域の設定）,(11)(12) 現地調査の方法（サンプリングとアンケート調査）,(13)(14) 調査レポート（プレゼンテーション・文献レビュー）,(15) まとめ
履修上の留意点	総合情報センターのパソコン教室を使用。必修科目であり、毎週新たな課題が出されるので、特に課題への積極的な取り組みが必要である。出席（遅刻をしないこと）や授業への参加態度も重視する。課題の提出期限を厳守すること。
成績評価の方法	期間中に提出される課題・レポートや地図などの成果品、授業への出席（一定基準以上）や学習状況などを総合的に評価する。
教科書/テキスト その他	とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。 総合情報センター利用登録を済ませておくこと。

地理

履修コード	032201
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	すやま さとし 須山 聡

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	人文地理学における基本的な分析手法を習得するとともに、最低限必要な表現（図的表現・文章表現）技法を身につける。 (1) 地形図と空中写真 (2) 文献検索・文献リストの作成 (3) 統計データと統計地図の種類と利用法 (4) 土地利用調査（野外観察の基礎） (5) 土地利用図の作成（口頭表現のトレーニング） (6) コロプレスマップの作成 (7) ドットマップの作成 (8) 地図の計測（ポイントサンプリング） (9) 土地利用の分析（修正ウイパー法） (10) 人口流動の分析（最大流動法） (11) 人口の静態的分析（人口構造・ランクサイズルール） (12) 人口の動態的分析（コーホート分析）
履修上の留意点	各回に与えられる課題は次回までにレポートとして提出する。本実習では、日本語表現を地理学で学ぶ上での重要な能力と位置づけている。課題未提出者はノルマが雪だるま式に増えて首が回らなくなるおそれがある。
成績評価の方法	毎回の授業で課されるレポートをもとに判断する。レポートは要求水準に到達するまで何度でも書き直しを求める。具体的には合格したレポートは1点、不合格は0.5点、未提出は0点とし、それらの合計点に基づいて評価する。したがって、不合格または未提出であっても再提出して合格すればよい。
教科書/テキスト 参 考 書	毎回資料を配布する。 製図ペン・電卓を利用する。

履修コード	032301
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	小田 <small>まさやす</small> 匡保

講義の到達目標(ねらい)	この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. 文献を見る 2. 地形図を買う 3～4. 手書きによる地図の作成 5. 情報検索 6～8. 統計データの加工と表の作成（エクセル使用） 9～10. 統計データのグラフ化（エクセル使用） 11～13. 統計データの地図化
履修上の留意点	毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。授業の途中から総合情報センターを利用するので、利用者 ID を手元 に用意しておくこと。コンピュータ基礎科目を履修するなどして、パソコンの基本的な使い方に慣 れておくこと（ワープロが使えるという前提で授業を進める）。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況、課題の提出状況（遅れずに提出したかどうか）によって行なう。提出さ れた課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できな い。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	担当教員作成のプリントを配布する。 授業中に紹介する。 定規・地形図などを用意する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

地理

履修コード	037901
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	高橋 <small>たかはし</small> 健太郎

講義の到達目標(ねらい)	レポートや論文を作成するための基礎的な学力を身につけ、人文地理学や地図学、地域調査への 理解を深めるために、実習形式で、学術論文や統計資料、地図、フィールドワークなどについて学 ぶ。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：オリエンテーション、図書館の利用と文献の検索、第2～3回：地形図を用いた地域変容の 考察、第4～8回：統計資料の理解、表計算とグラフ、第9～11回：統計地図による地域性の考察、第 12～15回：写真を用いた地域調査レポート。
準 備 学 習	下記の参考書および授業中に紹介する文献を事前に読むことにより、授業内容に対するより深い 理解が可能となる。
履修上の留意点	この授業は実習科目であるため、毎回出席し、その日の学習内容をよく理解し、課題をきちんと 仕上げて提出するということが特に求められる。遅刻は厳禁である。
成績評価の方法 参 考 書	授業への出席状況と課題の提出状況で評価する。 浮田典良ほか『ジオ・パル21—地理学便利帖—』、海青社。

履修コード	038001
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	佐藤 <small>さとう</small> 哲夫

講義の到達目標(ねらい)	この実習では、人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標にする。図表やレポー トの体裁、統計分析や地図作成などの基礎的な技術について学ぶ。 とくに統計処理に関しては、以下のような統計処理の技法にも配慮して授業をおこなう。① 統 計と統計地域 ② 基礎統計量とグラフ表現 ③ 地域特性分析 ④ サンプリングと調査法 ⑤ 質問 票
講義の内容／ 授業スケジュール	以下の内容と予定で、受講者の理解度を見て調整しながら進める。 (1～5) 地図と画像の利用法（読図、地図編集・計測、写真など） (6～10) 文献の利用法（文献検索、論文要旨の作成など） (11～15) 統計の利用法（統計分析、グラフ作成など）
準 備 学 習 履修上の留意点	中学卒業程度の数学、地図の知識に自信がない者は、必ず問題集などで復習しておくこと。 毎回課題を課す。授業時間内に終わらなかった課題は、持ち帰って仕上げてもらう。欠席した場 合は、教員に連絡して当該時間の課題を受け取り、自習で課題を仕上げてもらう。
成績評価の方法	課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは受講者の進度を把握するためのものである。 課題提出の最終的な締め切りに遅れた場合は不可になる。
教科書／テキスト	教材と作業課題は授業時間に配布する。

履修コード	038101
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	土谷 敏治

講義の到達目標(ねらい)

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

9～11月上旬：コンピュータを用いて、レポートの作成方法、文献検索方法、統計データの処理・グラフ化を行う。11月中旬～12月：資料の整理、図表・地図の作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。

主な実習項目は、次のとおりである。

1. レポートの作成方法（第1回）
2. 文献の検索と読解（第2回）
3. 表計算ソフトによる作表実習（第3・4回）
4. 統計データの整理・集計・加工（第5・6回）
5. 統計データの分析とグラフ作成（第7・8回）
6. コンピュータによる地図作成と地図表現力の向上（第9～11回）
7. 製図実習（第12～15回）

準備学習

毎回課題が出されるので、授業中に終わらなかった場合は、次の授業までに仕上げるよう努力する。

履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターのユーザー ID、パスワードを用意しておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。地図の作製は、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書／テキスト
参 考 書

とくに指定しない。

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。

浮田典良編『ジオ・パル21 地理学便利帖』（海青社）

中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）

菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』（古今書院）

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

地理

履修コード	032501・032502
科目名	人文地理学入門 地域文化研究概説
担当者名	櫻井 明久・小田 匡保・佐藤 哲夫・須山 聡・高橋 健太郎・土谷 敏治・橋詰 直道

地理

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、担当者各自がそれぞれの専門領域について、様々な事例を引きながら、地理学の基本的概念（位置、分布、立地、距離、密度、地理的事象、地域性・地域的特色、地域、地域概念、地域区分・地域分類、地域構造、空間構造、地域のスケールと階層性、地域の変化など）を考察し、これらの基本的概念を使って系統地理学と地域研究・地誌からなる人文地理学の様々な内容と構造を概観したい。
講義の内容／授業スケジュール	また、内容的には、取り上げる日本の事例から、ないしは諸外国の事例と対比することによって、日本の自然環境と生業・生活文化、集落・文化景観の形成と地域性、交通の発達と産業の発展、都市の形成と発展、国土開発といった内容項目に関わりながら日本の地域性を明らかにしたい。 1. 民族文化を考える（高橋） 2. 熱帯アジアの地域研究入門（佐藤） 3. 村の土地利用に見る「地域」（櫻井） 4. 都市とまちづくり入門（橋詰） 5. 文化地理学いろいろ（小田） 6. 都市の歴史と交通（土谷） 7. 景観の見方・読み方・考え方（須山）
履修上の留意点	次のスケジュールで、1人の教員が4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席することが必要である。 4月13日～5月11日 高橋健太郎 5月18日～6月8日 佐藤哲夫 6月15日～7月6日 櫻井明久 7月13日～9月28日 橋詰直道 10月5日～10月26日 小田匡保 11月2日～11月30日 土谷敏治 12月7日～1月11日 須山 聡
成績評価の方法	7人の教員が、それぞれの講義内容に関するレポートを課するか試験を実施し、その得点に出席状況などを加味して各自の成績を評価する。その上で、7人の担当者の合計点によって総合評価する。とくに指定しない。
教科書／テキスト 参 考 書	高橋 佐々木信彰編「現代中国の民族と経済」世界思想社 山下清海編「エスニック・ワールド」明石書店 佐藤 比嘉政夫「沖縄からアジアが見える」（岩波ジュニア新書） 矢ヶ崎典隆他編「地理学基礎シリーズ3 地誌学概論」朝倉書店 橋詰 小林秀樹「集住のなわばり学」（彰国社） 角野幸博「郊外の20世紀」（学芸出版社） 小田 野瀬泰申「天ぶらにソースをかけますか？」（新潮文庫） 土谷 早川東三・工藤幹巳「ドイツを知るための60章」明石書店 宇都宮浄人「路面電車ルネッサンス」新潮新書034 須山 須山聡「在来工業地域論—輪島と井波の存続戦略—」古今書院 山と地図のフォーラム「富士山展望百科」実業之日本社

履修コード	036903・037003
科目名	人文地理学概論
担当者名	中村 剛

講義の到達目標(ねらい) この講義は、スタンダードな人文地理学の理論やモデルを概説するとともに、「人文地理学」さらには「地理学」が、私たちの実生活(地域の社会・文化・自然)と深く関わっていることを強く意識した講義とした。

講義の内容/授業スケジュール 1・2:人文地理学とは?(イントロ、自然地理学・地誌学との関係)、3・4:地図(地理学と地図、地図の歴史、地図の利用と今日の課題)、5・6:地理教育と教養地理(中学・高校における地理教育、地理的知識の効用)、7・8:自然(気候景観、人文地理学と「自然」との関係)、9・10:農業(農業立地論、文化としての農業)、11・12:鉱工業(鉱業分布、工業立地と工業地域)、13・14:貿易(食料・鉱産資源の輸出入、フェアトレード、南北貿易)、15・16:農村(都市を支える農村、過疎化、高齢化)、17・18:都市(都市化、都市構造と都市機能)、19・20:都市計画と土地利用(郊外化とスプロール、都市計画法制度とその問題)、21・22:ツーリズム(ツーリズムの歴史、マストーリズムとオルタナティブツーリズム)、23・24:交通(縮小する世界、時間距離)、25・26:文化・国際理解(民族分布と民族問題、南北問題、国際理解教育)、27・28:環境問題と災害(温暖化と地球環境、成長と破壊)、29・30:まとめ(総括、試験)

地理

準備学習 広く社会に興味・関心をもつこと、「なぜ?」「どうして?」と常日頃から考えることが、本講義の内容理解への入口となるはず。

履修上の留意点 この講義に強い興味・関心を持つ学生の受講を希望する。よって、出席状況や授業への参加態度も評価に大きく影響する。詳細は第1回目の授業で説明する。

成績評価の方法 前期・後期それぞれ試験を行う。この両試験を受験し、かつ出席時数(全講義時間数の2/3)をクリアしている者を成績評価の対象とする。成績評価は、試験、出席、授業中の小テスト、提出課題のすべてを総合して行う。出席は特に厳しく取り扱うこととする。

教科書/テキスト ・高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆 編(2008):『改訂新版 ジオグラフィー入門』古今書院 2,500円(税別) ISBN 978-4-7722-3118-3
・高校用の「学校地図帳」を用意することが望ましい。

参考書 参考文献(書籍、論文等)は授業で紹介する。
その他 授業はパワーポイントを利用して進める。また、教材の提示はYeStudyを利用する。受け身の姿勢ではなく、積極的に講義に参加してほしい。

履修コード	038201・038202
科目名	自然地理学入門 地域環境研究概説
担当者名	田中 靖・高木 正博・長沼 信夫・早船 元峰・平井 幸弘

講義の到達目標(ねらい) 自然地理学ではどのような視点から自然をとらえていくのかを、自然地理学の諸分野において概観する。さらに、自然と人間のかかわりについて考えることにより、地理学におけるものの見方について学ぶ。

講義の内容/授業スケジュール 5人の教員により視点を交えて自然地理学の諸問題について学ぶ。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 身近の自然と地域環境【4月8日～5月13日 田中 靖】
気候変化/地球温暖化問題/海面変動/東京の地形/新しい地理情報技術と地理学
2. 自然災害を知る・防ぐ【5月20日～6月24日 平井幸弘】
自然災害とは一か所に防ぐか/火山と火山災害/地震、活断層、津波災害/河川と土砂災害/平野と洪水・高潮
3. 扇状地における自然と人間のかかわり【7月1日～10月7日 早船元峰】
大間々扇状地・黒部川扇状地を例として/地形発達史/土地利用・水利用/治水・集落の立地
4. 都市を中心にした水の循環【10月14日～11月18日 高木正博】
都市の川/都市の水害/都市をめぐる水/都市の水循環と環境保全
5. 人間生活の舞台である平野の在り方【11月25日～1月13日 長沼信夫】
平野の在り方/丘陵地・台地の生い立ち/低地の生い立ち/自然地理学小史

成績評価の方法 定期試験は行わず、評価は担当者ごとの小テストおよび出席状況を考慮して行う。出題・採点は各担当者が行い、その結果を総合して評価する。

参考書 シリーズ『自然景観の読み方』全12冊、岩波書店。
シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊、岩波書店。
杉谷 隆・平井幸弘・松本 淳『風景のなかの自然地理―改訂版』、古今書院。
山田安彦 編著『総合 地域の科学―水と地域のかかわり合い』、古今書院。
松岡憲知・田中博・杉田倫明・村山祐司 ほか編『地球環境学』、古今書院。
新井 正 ほか著『都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』』、共立出版。
田淵 洋 編著『自然環境の生い立ち』(第三版)、朝倉書店

履修コード	043102
科目名	自然地理学概論
担当者名	早船 元峰

地理

講義の到達目標(ねらい)	人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい(人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ)を主に環境地誌的立場から論じる。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1~6) ・地形図とは、主題図の作成方法・読図 (7~12) ・山麓における土地利用 (13~17) ・山麓における環境保全 (18~20) ・気温と湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり (21~23) ・北海道本部の気候地形 (24~27) ・関東平野の地形発達史(東京の地形の成り立ち) (28~30) ・ビオトープ(学校ビオトープ、緑の回廊、自然工法)
履修上の留意点	国土地理院発行の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業(高度別着色・地形断面図など)をして、理解を一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレース紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各自用意すること。
成績評価の方法	課題・レポート・出席状況などによる平常点。

履修コード	043202
科目名	自然地理学概論
担当者名	高木 正博

講義の到達目標(ねらい)	自然地理学の分野のうち、河川や地下水など水にかかわる地理学を中心に講ずる。近年、河川環境や地下水の汚染・保全などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の水文特性について、地域事例をもとに説明する。
講義の内容/ 授業スケジュール	年間の授業内容は次の通り予定している。1-2自然地理学と水文学、3-4水文循環と水収支、5-6河川の流域とは、7-8日本の河川と洪水、9-10河川の侵食・運搬・堆積作用、11-12地形と災害、13-14都市の河川と水害、15-16自然湖沼と人造ダム湖、17-18地下水とは、19-21地下水と河川水、22-23地下水の利用、24-26地下水の汚染、27-30都市の水環境と地下水など。
履修上の留意点	地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して説明する。 講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域概要を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。
成績評価の方法	年度末の定期試験(40%)と夏休みの課題レポート(30%)に重点を置いて評価するが、授業中に随時実施する課題、出席状況などの平常点(30%)も加算する。
教科書/テキスト 参 考 書	授業時間にプリントを配布する。 配布プリントをとおし随時紹介する。

履修コード	036201
科目名	地理学演習
担当者名	佐藤 哲夫

講義の到達目標(ねらい)	この演習では卒業論文の作成を指導する。文献・資料の収集と整理、調査計画(スケジュール・調査項目)の立案、地域調査(観察・測定・面接等)の実施、論文作成(題目・構成・図表・文章・参考文献)の留意点などについて、発表と討議(中間発表・最終発表等)を通じて学ぶ。
講義の内容/ 授業スケジュール	4月末までに研究対象を決定する。その後は、おおむね次の予定で研究を進める。 (1~5) 研究テーマの方向付け (6~10) 参考文献の検討 (11~15) 仮説の設定 (16~20) 調査によるデータ収集 (21~25) 論文構成の検討 (26~30) 論文執筆と添削
履修上の留意点	第1回目の授業までに、海外地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その存在を確認しておくこと。調査地域をカバーする地図や衛星画像などを入手しておくのが望ましい。国内の地域を研究する場合は、調査地域の地形図や住宅地図などを入手し、現地を踏査して地域の概況を把握しておくこと。
成績評価の方法	緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要である。報告・相談する場合には、必ず報告メモを作成して、提出用のコピーを作成していただくこと。文章にすることで頭の中を整理できる。 参加の積極性で評価する。

履修コード	036301
科目名	地理学演習
担当者名	須山 聡 <small>すやま さとし</small>

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

卒業論文の作成を指導する。
毎回1人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論により緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかるとも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスチョンを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまでで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもっとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法
教科書/テキスト
その他

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。
とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。
授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

地理

履修コード	036401
科目名	地理学演習
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義の到達目標(ねらい)

1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになる。
2. 人前でわかりやすく発表できる。
3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言うようになる。

講義の内容/
授業スケジュール

前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する。
後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう。

準備学習

1月：卒論発表会。

履修上の留意点

学生の発表が中心の授業科目なので、自分の発表の前には入念に準備をすること（内容だけでなく、レジュメ作成も含めて）。準備をすればするほど、発表者自身のためになる。
発表の後には、受講者間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。
成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。卒業論文の評価とは別である。
使用しない。
授業中に指示する。

履修コード	036501
科目名	地理学演習
担当者名	高橋 健太郎 <small>たかはし けんたろう</small>

講義の到達目標(ねらい)

卒業論文の作成を進めながら、地域調査や文章執筆の方法を習得し、加えて地域社会を理解する力を身につける。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回：オリエンテーション、第2回：研究論文の検索、第3～6回：研究論文の講読と報告、第7回：研究テーマの設定と研究計画の立案、第8～15回：文献・統計・地図資料の収集と分析、質問調査票の作成、地理写真の理解、夏季休業期間を中心に各自で地域調査、第16～19回：調査結果の整理と分析、第20～24回：調査結果の発表と討論、主題図の作成、第25～30回：論文執筆、1月下旬：卒業論文発表会。

準備学習

各自で設定した研究計画にしたがって、授業時間外においても資料収集や地域調査の実施、調査結果の分析、論文執筆、発表準備などの作業を進めること。

履修上の留意点

卒業論文作成の相談にはできる限り対応するが、卒業論文は最終的には自己責任で完成させるものであるということを、受講生には認識してもらいたい。

成績評価の方法
参考書

授業への出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、卒業論文発表会での発表内容で評価。
浮田典良ほか『ジオ・バル21—地理学便利帖—』、海青社。

履修コード	036601
科目名	地理学演習
担当者名	橋詰 直道

地理

講義の到達目標(ねらい)	卒業論文の作成のための具体的指導を中心に行う。地域調査に基づく実証的研究の具体方法について学ぶ。
講義の内容／ 授業スケジュール	4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。6～7月は、それまでの文献調査や事前調査などの成果をもとに中間発表会を個人別実施する。9～11月は、夏休中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。12月論文提出時に不完全な論文は受理しない。その後、内容・構成など書き直しもある。1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末に卒論発表会を行う。発表はパワーポイントを使用し、発表会には次期地理学演習(橋詰ゼミ)履修者の3年生も全員参加することになる。
履修上の留意点	卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会も行うので、積極的な研究姿勢が重要である。
成績評価の方法	授業(卒論発表会を含む)への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。
参考書	正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』(古今書院)2,060円
その他	事前に地理学文献データベースを利用した十分な文献(論文)調査が必要である

履修コード	036701
科目名	地理学演習
担当者名	櫻井 明久

講義の到達目標(ねらい)	ある地域の事象ないしはある地域の人文地理学的課題について、討論を通じて、その調査方法を考え、資料を集め卒業論文として完成させる。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期については課題を解くための方法、野外調査法(研究目的の設定、研究・調査計画)を中心に考える(1～15)。夏休みを中心に各自現地調査を実施し、基礎的な現地調査を行っておいでもらう。後期については、収集した調査結果・資料から説明すること、すなわちも説明のための統計資料の加工や表現方法(作図・作表、地図化)について考え、地域構造図の作成などを通じてまとめ方について考察し、論文作成、公開発表を準備させたい(16～)。
履修上の留意点	自分の卒論研究について考えるのは当然であるが、仲間の研究の討論に積極的に参加することが重要である。そのことによって自分の研究の仕方にも刺激が得られるであろう。
成績評価の方法	ゼミへの参加の状況と討論への参加の状況、並びに各自の研究への取り組みを総合的に評価する。

履修コード	036801
科目名	地理学演習
担当者名	つらたに としはる 土谷 敏治

講義の到達目標(ねらい) 3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをたて、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、データ整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

1. これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する(第1・2回)。
2. 各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する(第3~12回)。
3. 夏休み中の研究・調査計画について討論する(第13~15回)。
4. 夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる(夏休み中)。
5. 研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする(第16~25回)。
6. 最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす(第26~30回)。
7. 卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する(1月)。

準備学習
履修上の留意点

授業前に発表内容を整理し、他の受講者によくわかるように発表用の資料を作成する。授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回1~2名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講者が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に本授業専用の欠席届によって、申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法

この授業は、地理学科による担当教員の指定を受けていないと履修できない。発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。また、出席率が7割を下回った場合は、単位の認定をしない。

教科書/テキスト
参考書

とくに指定しない。
卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となる。
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)
正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』(古今書院)

地理

履修コード	042001
科目名	地理学演習
担当者名	ながねま のぶお 長沼 信夫

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~9) 文献・資料の収集、調査・研究の方法などを学習する。(10~15) 各自のテーマに関連する文献の紹介。(16~22) 受講者各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間発表を行う。(23~30) 論文に必要な図表類の作成要領、論文作成上の再検討などを行う。

準備学習
履修上の留意点

演習中に適時指示する。
少人数のゼミ形式で行うため、発表や討論などには積極的に参加することが期待される。また、就職活動のためと称して、頻繁に欠席しないよう努力すること。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介(口頭発表)、レポート、卒論中間発表内容などを基に評価する。

教科書/テキスト
参考書

特に指定しない。

その他の

必要に応じて適時指示する。

受講者の希望によっては、1泊2日程度の巡検を実施する予定である。

履修コード	042101
科目名	地理学演習
担当者名	早船 元峰

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。

講義の内容／
授業スケジュール (1~10) は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。(11~30) は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表(10回)や関連した論文の内容の紹介およびコメント(10回)をしてもらう。

履修上の留意点 就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的態度をのぞむ。

成績評価の方法 出席状況・口頭発表・レジュメなどで評価する。

地理

履修コード	042201
科目名	地理学演習
担当者名	高木 正博

講義の到達目標(ねらい) フィールドワークに基づく地域調査を重視した卒業論文の作成指導をおこなう。全体としては、1. 適切な論文のテーマを設定すること、2. 研究成果を発表すること、3. 論文作成の具体的な方法を指導すること、などである。授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や主題図作成を課題として指示する。また、年2回の口頭発表とレジュメの作成を義務づける。

講義の内容／
授業スケジュール 前期は卒論題目の決定に向けて、各自の研究内容について検討する。(1,2) 卒業論文作成の意義、(3-12) 研究構想と先行研究についての発表、(13-15) 現地調査・研究方法についての検討。後期は、現地調査や文献・資料などから得た結果を整理・考察し、口頭発表する。(16-25) 卒業論文の中間発表。その際、研究上重要と思われる主題図を示す必要がある。(26-30) 卒業論文作成上の諸注意及び執筆要領についての指導。

履修上の留意点 1. 調査・研究は、早期に手掛けることが重要である。2. 授業では積極的に発表・討論に加わってほしい。3. 授業を欠席する場合は、必ず事前に連絡すること。

成績評価の方法 口頭発表や討論への参加状況(60%)、課題の提出状況(20%)、出席状況(20%)を合わせて評価する。

参 考 書 適宜紹介する。

そ の 他 基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

履修コード	042401
科目名	地理学演習
担当者名	平井 幸弘

講義の到達目標(ねらい) 自然地理学、とくに地形学およびその関連分野から、各自が自ら興味・関心のあるテーマを発見し、それを調査・分析、さらに考察を加えて、最終的に卒業論文としてまとめるまでの諸段階について、受講生の自主性を重んじつつ、全員参加の発表および討論の場とする。

講義の内容／
授業スケジュール (前期) (1) 各自のテーマの設定、(2) 基礎的な文献・資料の収集、(3) 基礎的な地図作業・統計分析
(夏期休暇を中心に) (4) フィールドワーク
(後期) (5) 現地調査をもとに課題の整理、分析、考察、(6) 中間報告と討論、(7) 卒業論文の取りまとめ・執筆

履修上の留意点 自主的にかつ着実に取り組むことが重要。約1週間ほどのフィールドワークは必須。

成績評価の方法 演習への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参 考 書 適宜紹介する。

履修コード	042501
科目名	地理学演習
担当者名	田中 靖

講義の到達目標(ねらい) 地理情報学や自然地理学に関する卒業論文の作成指導。

講義の内容／
授業スケジュール 4月：研究テーマの設定
5月～7月：共通テーマでの勉強会・巡検など
夏休み前：方針発表会
10月：中間発表会
12月：卒業論文提出・発表会

履修上の留意点 授業以外でもいつでも相談にのります。できるだけ主体的に取り組むこと。

成績評価の方法 平常の研究姿勢で評価する。

履修コード	032601
科目名	文化生態学
担当者名	なかまた ひとし 中俣 均

講義の到達目標(ねらい)	いわゆる「伝統的」な文化地理学の一分野として「文化生態学」を位置づけ、その内実を説明する。特に日本の文化地理学における主流派としての文化生態学という側面を強調したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期：①はじめに②近代地理学の発生③④環境決定論—その功罪⑤関係論から景観論へ⑥⑦サウアーの文化景観論⑧ Wagner/Mikesellの「5つのテーマ」⑨文化生態学の成立⑩照葉樹林文化論について⑪⑫⑬日本列島の文化史⑭千葉徳爾の文化生態学⑮まとめ 後期：①はじめに②③景観概念の再考・拡張・変化④主観の地理学へ⑤⑥⑦風水論⑧⑨場所イメージ論⑩競われる空間の意味⑪⑫伝統文化の創造と景観⑬⑭文化の空間論的転回⑮まとめ
履修上の留意点 成績評価の方法	教室内での私語は厳に慎まれたい。 前期末の筆記試験と後期末のレポート（提出しさえすれば単位取得できると甘く考えてもらっては困る）とによって行なう。
教科書／テキスト 参 考 書	講義開始時に詳しく指示する。基本的に特定の教科書の採用は予定していない。 高橋伸夫他(1995):『文化地理学入門』(東洋書林) ¥2575 中川正・森正人・神田孝治(2006):『文化地理学ガイダンス』(ナカニシヤ出版) ¥2520
そ の 他	基本的に講義によって授業を進める。ただし、なるべく教員側からの一方的な情報提供に終わらないような工夫をしたいと考えている。

地理

履修コード	032701
科目名	村落地理学
担当者名	たかはし けんたろう 高橋 健太郎

講義の到達目標(ねらい)	現代社会において、村落には、食料生産のみではなく、環境保全やレクリエーション空間の提供などの多様な役割がある。また、村落は、少子高齢化や産業不振、従来の地域社会の機能不全などの問題を抱える地域でもある。他方、それらの問題を克服するために、地域社会のあり方について再検討されていたり、地域活性化の取り組みも盛んに行なわれている。本講義では、日本と中国の事例を比較しながら、このような村落地域について理解を深める。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：オリエンテーション、第2～4回：村落のみかたと分類、第5～12回：中山間地域（過疎とその克服、グリーンツーリズム、文化景観と棚田の保全）、第13～15回：民家の地域性、第16～21回：中国の村落（経済格差、戸籍制度、三農問題、民工潮、環境保全、商業的農業）、第22～24回：沿岸村の特徴と変容、第25～27回：都市内部と郊外地域の農地と農業、第28～29回：都市・農村の交流と相互理解、第30回：総復習（試験含む）。
準 備 学 習	下記の参考書および授業中に紹介する文献を事前に読むことにより、授業内容に対するより深い理解が可能となる。
履修上の留意点	講義内容についての理解の程度を把握するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。
成績評価の方法	教場レポート（30%）と試験（70%）で評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	使用しない。授業時にプリントを配布する。 主な参考書は次のとおり。その他は、授業中に随時紹介する。 農林水産省編『食料・農業・農村白書』（各年度版）、農林統計協会。 宮崎 猛編『グリーンツーリズムと日本の農村』、農林統計協会。 中島峰広『日本の棚田』、古今書院。 高橋 誠『近郊農村の地域社会変動』、古今書院。 河原昌一郎『詳解中国の農業と農村』、農山漁村文化協会。 張 玉林『転換期の中国国家と農民』、農林統計協会。

履修コード	032801
科目名	都市地理学
担当者名	橋詰 直道

地理

講義の到達目標(ねらい) モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつつづけている現代都市の機能及び都市での生活、居住空間の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容／授業スケジュール 次の項目を予定している。(1)(2)都市の概念(小テスト・都市とは何か)、(3-5)都市システム(中心地理論・日本の都市システム)、(6-8)都市機能の分類(アメリカと日本の都市機能)、(9-11)都市の内部構造(都心の構造)、(12-14)都市化と大都市圏(大都市圏と地価)(15)中間試験、(16)(17)大都市圏の居住空間(ライフステージと居住地移動)、(18)(19)郊外の居住空間(郊外住宅地の開発・団地の開発)、(20)(21)都市と高齢化(団塊世代・少子高齢化社会と女性)(22)(23)都市の生活環境(犯罪・監視社会)(24)(25)都市住民の行動(生活時間と生活行動)、(26)(27)都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、(28)(29)都市環境の整備(都市計画・田園都市建設)、(30)まとめ(期末試験)

履修上の留意点 毎時間出席をとる(開始後15分以上の遅刻は欠席となる)。

成績評価の方法 中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数(2/3以上)と試験(課題を含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書／テキスト 特に定めない。

参考書 高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤悟『新しい都市地理学』(東洋書林)2,500円、その他の参考書や論文は授業の中で紹介する。

その他 講義は、配布プリントとパワーポイントを利用して行う。課題や小テストも実施する。

履修コード	032901
科目名	交通地理学
担当者名	土谷 敏治

講義の到達目標(ねらい) 現代社会において、地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っている。本講義では、(1)前期は、これらの地域間の結びつきを反映する都市構造・都市システム構造の特色と、その分析方法を解説する。(2)後期は、現在の交通システムの特色とその問題点を公共交通機関を中心に解説し、今後の交通政策に求められることを考える。あわせて、交通地理学の研究課題について検討する。

講義の内容／授業スケジュール 前期はこれまでの交通地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定している。

前期

1. 交通と都市システム(第1~5回)
2. 交通ネットワーク(第6~8回)
3. 交通とアクセシビリティ(第9~11回)
4. 交通と空間的相互作用モデル(第12・13回)
5. 交通と中心地理論(第14・15回)

後期

6. 都市内部・都市圏における公共交通の現状と課題(第16~23回)
7. 鉄道交通の現状と問題点(第24~28回)
8. 交通地理学の研究課題(第29・30回)

準備学習 授業後の復習をすると、理解が深まると考えられる。

履修上の留意点 多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、あらかじめ了解しておくこと。ただし、その内容は中学校の数学程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法 前期最終回の授業時間(7月)に前期試験、後期最終回の授業時間(1月)に後期試験を実施する。2回の試験は、それぞれ100点満点で採点し、その合計点で成績を評価する。受講者は全員平等であり、学年やサークル活動などによって差別することはない。

教科書／テキスト とくに指定しない。

参考書 奥野隆史『交通と地域』(大明堂)
奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)
西村幸格・服部重敏『都市と路面公共交通 欧米にみる交通政策と施設』(学芸出版社)
今城光英編著『鉄道改革の国際比較』(日本経済評論社)

その他 後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

履修コード	033001
科目名	歴史地理学
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義の到達目標(ねらい)	まずは、歴史時代の事柄も地理学的に扱えることを理解してほしい。歴史学科学生には、歴史学とは違う地理学的なものの方の見方に慣れてほしい。
講義の内容／ 授業スケジュール	主に日本の村落と都市の歴史地理について講義を行なう。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。 1. オリエンテーション 2～3. 歴史地理学の概要 4～13. 歴史時代の村落(先史から近代まで) 14～21. 歴史時代の都市(主に古代) 22. 歴史地理学の資料 23. 歴史的町並み・景観保存 24. 大学周辺のミニ巡検(受講生が少ない場合)
準備学習 履修上の留意点	授業の後、ノートを見直して、話の筋をつかむことを薦める。
成績評価の方法	この科目は、地理学科・歴史学科両方の専門科目であるが、教員は地理学の間人であるので、地理学的内容が中心になる。しかし、地理学科の学生も、ある程度の日本史の知識を持っていることが望まれる。歴史が苦手な人には向いていない科目である。ただし、古文書が読める必要はない。成績評価は、試験(前期・後期の2回、平常授業内に行なう。持込不可)の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が基準に達しない時以外にも、出席回数が足りない場合や、レポートが受理されない場合、単位は認定されない。
教科書／テキスト 参考書	使用しない。 授業中に指示する。

地理

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義の到達目標(ねらい)	宗教について地理学的にどのような研究が可能なかを理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール	文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。事例地域は主に日本国内である。 1. オリエンテーション 2. 文化地理学の概要 3～4. 宗教地理学の概要 5～11. 宗教分布 12～14. 信仰圏 15～16. 宗教集落・宗教都市 17～20. 巡礼・社寺参詣 21～23. 墓地・火葬場 24. 村落の宗教組織
準備学習 成績評価の方法	授業の後、ノートを見直して、話の筋をつかむことを薦める。 成績評価は、試験(前期・後期の2回、平常授業内に行なう。持込不可)の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が基準に達しない時以外にも、出席回数が足りない場合や、レポートが受理されない場合、単位は認定されない。
教科書／テキスト 参考書	使用しない。 授業中に指示する。

履修コード	033301
科目名	地域概論
担当者名	櫻井 明久

地理

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、地理学における「地域」とは何かを検討し、「地域」を説明する地誌学を系統地理学と対比しながら考察し、それらの調査研究方法について考える。その際、伊豆の沿岸集落の事例、ドイツ農村の事例を丁寧に検討するとともに、地方都市とその周辺、大都市圏、国というスケール、ヨーロッパという超国家スケールにおける地誌についても考えたい。さらに地理教育における地誌学習のあり方についても考察を加えたい。調査・研究方法の習得に力を入れたい。
講義の内容／授業スケジュール	地域とは何かについてまず大枠(地域の概念、地域区分・地域分類、地域構造、地域の空間構造・階層性とスケール)を考え(1~3)、それらの考え方に基づき、具体的に農村地域を対象に、考察単位としての個人や農家を考え(4~7)、集落スケール(7~15)、地域スケール(15~20)、大都市圏、国(21~23)、超国家(24~)とスケールを広げながら地域の見方と地誌のあり方を積み上げていく形で追求したい。
履修上の留意点	出来る限り、授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートに書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。したがって、出席も、遅刻も厳しく取り扱う。夏休みには、考察の基準となるような「地域」として、各自にとっての身近な地域について、新旧版の地形図を使ってレポートを作成してもらおう。レポートの締め切りも厳守のこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席とミニレポート50点、夏休みレポート30点、試験20点といったバランスで評価したい。 桜井明久「西ドイツの農業と農村」古今書院(購入する必要はない) 高橋伸夫/中村和郎他編「地理学講座1~6」古今書院(購入する必要はない)
参 考 書	適宜紹介する。

履修コード	033351
科目名	地域研究論
担当者名	佐藤 哲夫

講義の到達目標(ねらい)	この授業は地域研究(エリア・スタディ)の入門的な講義である。例として東南アジア、とくにタイを中心にとりあげる。地理学を地域研究に応用する場合には、系統地理と地誌の知識をもとに、地域スケールに留意して、地域区分と地域分類を行うことが出発点となるが、そのためには地域概念の理解が重要である。全体を通して、その点についても学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	前期は東南アジア全域を対象とした地誌について学ぶ。自然地域の構造や文化地域・経済地域の形成に注目する。後期には、タイを例にして、地球環境問題やグローバルゼーションに関連した、村落地域や都市地域の具体的問題を取り上げ、小地域の調査事例を紹介する。授業の進行状況を見て、南アジアの地誌と地域研究についても補足的にふれたい。 (1~3) 地理と地域研究 (4~15) 東南アジア地誌 (16~23) タイの地域調査事例 (24~30) 南アジアの地誌と地域研究
準 備 学 習	中学・高校で学習した地理と世界史のなかから、東南アジアや南アジア、東アジアに関する部分を復習しておくこと。とくに地名については地図帳をよく見て、国名と主要都市名、主な山脈や河川、島嶼の名前などを、覚えておくこと。
履修上の留意点	第1回目の授業で、より詳細な講義内容とスケジュールについて説明するので、必ず出席すること。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席状況と前期末のテスト、後期の数回のレポートを考慮して評価する。 使用しない。資料は配布する。
参 考 書	矢ヶ崎典隆ほか編著 2007 『地理学基礎シリーズ3 地誌学概論』(朝倉書店) ISBN978-4-254-16818-1 藤巻正己・瀬川真平編 2009 『現代東南アジア入門(改訂版)』(古今書院) ISBN978-4-7722-3123-7 春山成子ほか編 2009 『朝倉世界地理講座3 東南アジア』(朝倉書店) ISBN978-4-254-16793-1 村山祐司編 2003 『シリーズ人文地理学2 地域研究』(朝倉書店) ISBN4-254-16712-1

履修コード	034801
科目名	産業地域論
担当者名	須山 聡 <small>すやま さとし</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本の在来工業地域を事例に、地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。講義の最初では、経済地理学的な分析の枠組みを批判的に提示する。工業は従来よりその経済的側面が強調され、立地・集積といった分布現象や工業地域に内包されたメカニズムもまた、経済的ロジックに基づいて説明される傾向が強かった。そのため、工業地理学は経済地理学の枠組みに押し込まれ、地域を構成する諸要素との有機的な関係性といった地理学に独自の観点を捨象するに至った。

産業は、その地域の経済のみならず、地域社会や文化の構成要素でもある。本講義では、地域社会や文化の担い手としての産業の側面を強調する。具体的には土地利用、景観、コミュニティ、労働力、社会組織・制度などと工業（産業）の関係を検討し、工業を地域的構成要素のなかに位置づけ直すことを眼目とする。その際、従来の工業地理学ではあまり用いられてこなかった分析手法についても論ずる。

講義の内容／
授業スケジュール

- 以下の予定で講義を進める。
- 1 経済地理学の論理による工業現象の説明様式
 - 2 古典的経済地理学のアプリケーション（輪島漆器業、地域構造論）
 - 3 分布・集積の新たな説明（輪島漆器業、インキュベータ「仮説」）
 - 4 在来工業地域における人口移動パターン（輪島漆器業、ライフパスの援用）
 - 5 在来工業とコミュニティ（輪島漆器業、産業地域社会）
 - 6 在来工業による新たな景観形成（井波木彫業、景観の「演出」、「伝統」の誤謬）
 - 7 在来工業を支える「制度」（結城紬、イエ制度）
 - 8 文学の中の地理空間（結城紬、有吉佐和子『鬼怒川』）
 - 9 生産と生活—中小企業集積地域に対する視点—

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。出席状況（50％）と試験（50％）を規準とする。
須山 聡『在来工業地域論—輪島と井波の存続戦略—』（古今書院）2004年
購入を義務づけるものではないが、あった方が絶対に便利。

地理

履修コード	038301
科目名	環境地理学
担当者名	早船 元峰 <small>はやふね げんぽう</small>

講義の到達目標(ねらい)

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・災害などを通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1～6) ・地形図とは、主題図の作成方法・読図
(7～16) ・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止など）について
(17～23) ・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について
(24～27) ・ピオトーブ・環境基本計画について
(28～30) ・環境論など

成績評価の方法

課題（主題図の作成）・レポート・出席状況などによる平常点。

履修コード	038401
科目名	地理情報論
担当者名	王尾 <small>おうび かずひさ</small> 和寿

講義の到達目標(ねらい)

近年注目を集める地理情報システム (GIS) は、国土、地域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用されている。GIS では、地図(地域)情報と属性(主題)情報を一元的に取り扱い、多様な情報源から大量の空間データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、可視化・地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

本講義では、GIS を中心に、地理・空間情報の収集と空間解析の方法、ならびに地理学研究における GIS の有効性について理解を深める。

地理

講義の内容/
授業スケジュール

第1回: GIS の概要, 第2~4回: 地理情報, 空間データの収集, 第5~6回: GIS の基本構成, 発展史, 第7~8回: GIS データの構造, 第9~10回: 空間参照と投影法, 投影変換, 第11~12回: 実世界のモデル化, 第13回: GIS ソフトウェア概要, 第14~15回: 空間データ分析の基礎(基本量測定, 空間関係と空間検索, テーブル操作など), 第16回: 空間データの作成, 管理, 第17回: オーバーレイ, バファリング, 第18~20回: 点データの分析(点分布パターン, 空間分割, 密度サーフェス, 最近隣距離法など), 第21~22回: 空間的自己相関, 空間補間, 第23回: ラスタ演算, コスト・パス解析, 第24回: ネットワーク分析, 第25~26回: 地形解析, 第27~28回: リモートセンシング, 第29~30回: GIS と社会

レポートと出席回数により総合的に評価します。

成績評価の方法

教科書/テキスト

教科書は指定しません。

参 考 書

村山祐司編『シリーズ人文地理学1 地理情報システム』(朝倉書店) 3,800円

そ の 他

講義資料の提供などで、YeStudy を活用します。

履修コード	038501
科目名	応用地理学
担当者名	高木 <small>たかぎ まさひろ</small> 正博

講義の到達目標(ねらい)

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容/
授業スケジュール

年間の授業内容は下記のとおり予定している。

(1)「川」を考える関連学問分野、(2,3) 河川流域の水収支、(4-6) 日本の河川流況特性、(7-10) 河成平野の地形分類と防災、(11,12) 水害、(13,14) 治水と水防、(15,16) ダムと堆砂、(17,18) フランスの河川と洪水、(19-22) 日本の水資源、(23-25) 農業用水を考える、(26-28) 地域用水の活用事例、(29,30) 河川環境。

履修上の留意点

夏休みに現地調査を伴うレポートを作成してもらう。

成績評価の方法

試験は、授業最終日に実施予定の教場試験1回(40%)。追試験は行わない。その他、夏休みのレポート(30%)、授業中の課題、出席状況など(30%)平常点も合わせて評価する。

教科書/テキスト

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書

配布プリントをとおして随時紹介する。

そ の 他

必要に応じて映像等を適宜使用する。

履修コード	038601
科目名	計量地理学
担当者名	つちだに としはる 土谷 敏治

講義の到達目標(ねらい)

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法について学習し、これらの方法を用いて調査・分析された研究論文を理解できるようになることを目的とする。さらに、講義だけでなく、各分析方法を用いて実習を行い、実際に各方法を使用できる能力を身につけることをめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

下記の各項目について解説するとともに課題を与え、実際にデータを処理、分析、考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。

1. 統計データの種類と特色 (第1・2回)
2. 統計データの収集と整理 (第3・4回)
3. 統計データの集計 (第5・6回)
4. 基礎統計量 (第7・8回)
5. 代表的な度数分布の型 (第9回)
6. t検定 (第10～12回)
7. 分散分析 (第13～15回)
8. アンケート調査とその集計方法 (第16～18回)
9. 相関・回帰分析 (第19～21回)
10. 重回帰分析 (第22～24回)
11. 主成分分析・因子分析 (第25～27回)
12. クラスタ分析 (第28～30回)

なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

準備学習

毎回課題が出されるので、授業中に終わらなかった場合は、次の授業までに仕上げるよう努力する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft Excelをおもに使用するため、これを使いこなせることが履修の条件である。とくに、配列関数の使用、データの抽出、グラフ作成などができる必要がある。これらを使いこなせない学生は、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修すること。また、総合情報センターを使用するため、ユーザIDとパスワードを用意しておく必要がある。

成績評価の方法
教科書／テキスト

各授業項目について提出されたレポートを点数化し、これに出席率を加味して行う。とくに指定しない。

参 考 書

奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)

そ の 他

野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』(古今書院)

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

地理

履修コード	038701
科目名	地域計画論
担当者名	原 昭夫

地理

講義の到達目標(ねらい)	人々の暮らしの場、労働の場、憩いの場などである「地域」はどのような要素から成り、それらがどのように関係づけられているのか、それを誰がどのような手法や技術でつくり、維持・保全しているのか、それをどのように計画していったらよいか、そこでの市民の役割は何なのか、などを考える眼と力を養う。
講義の内容／ 授業スケジュール	全体を次のような4つのステージに分け、「地域」を「知る」ことから「計画」することへ向かう。 (Ⅳ. の「計画」の段階では、受講者の参加状況(人数、定刻出席等)および興味の度合等を勘案して共同作業(ワークショップ、演習形式)で行う場合もある。)
	Ⅰ. 地域を知る／4月～5月 ・地域の構成要素、量、規模、配置、分布など地域の現状を把握する。 ・地域の特性や差異が何によって現れるか、また地域の成立経過を知る。
	Ⅱ. 地域の課題を見つける／6月～7月 ・地域にはどのような課題や可能性が顕在・潜在しているのかを見つける。 ・それらの課題はどのような原因や背景によってもたらされているのかを考える。
	Ⅲ. 課題の解決策を考える／9月～10月 ・上記の課題を解決・改善していくには、どのような方策があるのか考える。 ・課題解決の手法・技術・プログラムをどう組み立てるかを考える。
	Ⅳ. 解決策を計画・政策として提案する／11月～12月 ・上記Ⅰ～Ⅲのステージをふまえて地域の改善策・将来構想を考える。 ・それを現実的・具体的な計画・政策としてまとめ、提案する。
準備学習	・地域計画、まちづくり、都市政策に単一の正解はない。さまざまな代替案の中から現状での最適解が求められる。そのためにまず自らのまちをしっかりと歩き、しっかりと見ること。現地・現場を見る眼を鍛えておいてほしい。
履修上の留意点	・世界の事情、日本の社会状況、自らの地域の現状をしっかりと把握しておくこと。 ・何故自分はこの大学を選択し、この学科を学び、何を不得、何になろうとしているのか、改めて自らに問うて欲しい。(それをしっかりとやれば遅刻、私語、携帯の授業中使用、睡眠などは出来ない筈だが、いかがか。)
成績評価の方法	・いわゆる「試験」はやらない。上記各ステージでレポートを数回提出(知識より自分の頭で考えたもの)および出席により評価する。
教科書／テキスト	・『自治体まちづくり』(原 昭夫／学芸出版社)をテキストとして体系的に用いながら論を進める。
その他	・毎回関連する参考書や文献を提示する。 ・上記履修(前)留意点参照。「地域」に関心を持つ諸兄の参加を期待。 ・自学科・他学科の計画系科目、フィールドワーク、地域分析手法、地域形成史などは再習しておくことよい。
関連リンク	http://www.komazawa-u.ac.jp/

履修コード	038801
科目名	リモートセンシング
担当者名	田中 靖 <small>たなか やすし</small>

講義の到達目標(ねらい)	リモートセンシングとは、離れた所から非接触で対象物を同定あるいは計測し、その性質を分析する技術の総称である。このうち、空中写真の判読や衛星画像解析から地理学的に意味のある空間データを抽出する研究は、リモートセンシング研究の最も重要な分野である。本講義では、デジタル化された空中写真画像や人工衛星画像データを用いて、画像解析の基礎と数理的な環境の捉え方を身に付けることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	第1回～第3回：リモートセンシング入門 第4回～第6回：電磁波 第7回～第9回：基本的な画像合成と画像分類による土地利用図の作成 第10回～第15回：データ構造と画像処理の基礎 第16回～第18回：植生指数と植生指数分布図の作成。 第19回～第24回：地表面温度分布図の作成 第25回～第28回：総合演習 第29回～第30回：発表・まとめ
履修上の留意点	コンピュータによる地図作成に強くなりたい学生の受講を希望する。積み上げが大切な科目なので出席を重視する。
成績評価の方法	出席(40%) + 授業内で行う小テスト(30%) + 提出課題の質(30%)。定期試験は実施しない。
教科書／テキスト	田中邦一ほか 『新版 フォトショップによる衛星画像解析の基礎』(古今書院) 4,200円(税別)
参考書	適宜紹介する。
その他	授業はPC教場での実習を中心にを行う。実習にはPC教場に導入されている ArcGIS (ESRI), Photoshop (Adobe), Borland C++ Compiler などを用いる。これらは自習室や地理学科のコンピュータ室でも使うことができる。
関連リンク	http://www.int2.int.komazawa-u.ac.jp/~yasushi/remosen/

地理

履修コード	038901
科目名	地図学
担当者名	野々村 邦夫 <small>ののむら くにお</small>

講義の到達目標(ねらい)	地図について、特に国土地理院が発行する1:25,000地形図について、基礎的な知識と技術を学び、地図を作成する能力および地図を活用する能力を養う。
講義の内容／授業スケジュール	次の事項について、概ねこの順序で授業を行う。 1. 地図の基礎知識に関すること。 (縮尺、方位、図式、記号、注記、経緯度、地図投影法など。地球の形と大きさ、ジオイドなど測地学の基礎に関することを含む。) 2. 地図の作成に関すること。 (誤差論、地形測量、写真測量、地図編集など測量学の基礎に関することを含む。また、測量用空中写真についても学習する。) 3. 地図の利用に関すること。 (防災分野、環境分野における利用など。) 4. 数値地図と地理情報システム (GIS) に関すること。 (ラスターデータ、ベクタデータ、メッシュデータの性質など。) 5. 地図の歴史と楽しみに関すること。
準備学習	次回の授業の事前学習という意味も含めて、授業の後、配布されたプリントを読み返すなどして、学習した内容を確認しておくこと。
履修上の留意点	講義の内容を鵜呑みにするのではなく、自分なりの考えや意見を持つことを心がけて受講し、その結果を後述する受講報告に反映させて欲しい。 講義を欠席した場合、または、やむを得ず遅刻または早退した場合は、講義に出席した場合よりはるかに多くの努力を払って自習をすることが必要である。
成績評価の方法	毎回の授業で提出する受講報告と学期末に行う筆記試験の結果とを併せ、成績を評価する。
教科書／テキスト	特定の教科書は使わない。ただし、駒澤キャンパス周辺、自宅付近、出身地その他どこでもよいが自分が興味を持つ地域の国土地理院発行1:25,000地形図を最低1枚以上購入し、折に触れてこれを見ること。
参考書	参考書、参考文献は、授業の中で紹介する。
その他	原則として、毎回の授業においてプリント(講義のレジュメ)を配布する。欠席してプリントを入手できなかったときは、事後に出席したときに教員に申し出て受け取る。また、原則として、毎回の授業で受講報告(小論文など)を提出してもらう。夏季休暇を利用して課題研究を行い、その報告書を提出してもらう。
関連リンク	http://www.gsi.go.jp

履修コード	039901
科目名	地形学
担当者名	平井 幸弘

地理

講義の到達目標(ねらい) 私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面（おもに前期）と地形環境誌的な側面（主に後期）の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、主として地形発達のバックグラウンドとしての(1)気候変動(2回～5回)、(2)海水準変動(6回～9回)、(3)地殻変動(10回～12回)、(4)火山活動(13回～15回)について学ぶ。後期は、前期で学んだことを踏まえて、関東平野の地形発達と地形誌として、(1)利根川上流域の火山活動と地形発達(16回～19回)、(2)中流域の関東造盆地運動と平野の地形発達(20回～23回)、(3)下流沖積低地における海面変動と低地の地形発達(24回～27回)、(4)関東平野の環境問題とまとめ(28回～30回)。

履修上の留意点 現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法 出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書／テキスト とくに指定しない。

参考書 貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』(東大出版会)2000年

その他 高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	040101
科目名	気候学
担当者名	平野 淳平

講義の到達目標(ねらい) 日本および世界の気候の成り立ちとその地域的・季節的な違いを理解することを目標とする。前期は日本の気候、後期は世界の気候を中心に講義を行う。

講義の内容／授業スケジュール (1)気候学の流れ、(2-4)世界と日本の気候区分と季節区分(5-15)日本の気候の季節変化とその地域性(16-18)世界の気候のしくみ(19-30)モンスーンアジアの気候

履修上の留意点 気候に関する予備知識は必要としないが、ステップアップの講義であるので、講義の概要は復習のうえ理解し、次の講義に臨むこと。

成績評価の方法 各学期末の筆記試験と出席を含む平常点を総合して評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない

参考書 中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』(岩波書店)
気候影響・利用研究会編『日本の気候 I』『日本の気候 II』(二宮書店)
鈴木秀夫『風土の構造』(原書房)

履修コード	040301
科目名	水文学
担当者名	長沼 信夫

講義の到達目標(ねらい) 地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、さらに水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容／授業スケジュール (1～3)水の科学としての海洋学、陸水学、水文学—歴史と現状の概要— (4～5)地球上の水文循環過程と水量 (6～14)陸地における水の基本的な在り方—河川水、湖沼水、地下水の存在状況など— (15)前期試験 (16～20)水文学の中心概念である水収支の見方・考え方 (21～27)水と地域と人間活動について、横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状に言及 (28～29)科学としての水文学、水文地理学に関連する諸問題 (30)後期試験

準備学習 講義中に適時指示する。

履修上の留意点 選択科目であるため、水文学、水文地理学、水文環境などに興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法 出席状況と授業期間内に実施する2～3回程度の筆記試験を基に評価する。

教科書／テキスト 地学団体研究会編：「地球の水圏—海洋と陸水—」東海大学出版会 2,625円

参考書 講義中に適時指示する。

その他 教科書を使用するが、必要に応じ教材プリントなどを配布する。

履修コード	040701
科目名	生物地理学
担当者名	渋谷 園実 <small>しほや そのみ</small>

講義の到達目標(ねらい)

生物地理学は地球上の生物の分布と、その成因となる環境との関係をあつかう学問である。そこで本講義では、まず生物とその環境の相互作用を知る上で欠かせない生態学の基礎を身につける事を目的とする。次に、植物を中心にその分布パターンについて研究事例をあげながら、環境要因との関係について解釈する。さらに、現在の生物相の形成された歴史的背景について学ぶ。最後に、近年話題となっている環境問題について、生物地理学の観点から考える。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回 生物地理学の概要
第2～15回 生物生態地理学：生態学の基礎、生物と環境要因、植物群落、遷移
第16～20回 生物区系地理学：世界及び日本の生物の分布パターン
第21～25回 歴史的生物地理学：進化、大陸移動
第26～30回 近年の環境問題と生物地理学：里山、地球温暖化

準備学習

毎回講義の理解度の確認を行う（レポートの提出で評価する）ので、復習をしてくる事が必要となる。

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書

第1回目の授業で講義概要を説明するので、履修予定者は初回から出席する事が望ましい。授業中に提出してもらおうレポート（出席確認を兼ねる）50%と試験50%で評価する。講義内で随時紹介する。

地理

履修コード	033401
科目名	地域文化調査法（現地調査含む）A
担当者名	橋詰 直道 <small>はしづめ なおみち</small>

講義の到達目標(ねらい)

講義で得た知識を実際に現地調査で確認すると同時に、特定のテーマに沿った地域調査の方法を学び、その成果を報告書としてまとめる。今年度の調査テーマ：「地方都市の機能と自立」
今年度の現地調査予定地：4月の振り分け時に発表する。現地集合・現地解散（公共交通機関を利用）。現地調査期間：6-7月上旬または10月上旬（3泊4日）

講義の内容/
授業スケジュール

「地方都市の機能と自立」というテーマで調査する。現地では、都市の構造と機能、都市計画、都市の生活行動、都市の生活環境などの調査を中心に行い、地方都市の特徴や現在抱える諸問題に関する調査方法を学ぶ。この授業は、テーマに沿った事前の文献調査・現地調査・調査結果のまとめ作業からなる。現地調査では、詳細な課題テーマごとに班別調査を実施する。毎日班別の調査報告とミーティング、レポート作成が必要となる。6-7月上旬調査の場合：スケジュールは4～6月が事前調査（文献レビュー発表、事前学習及び現地調査用資料の作成）、6-7月上旬現地調査、7月第2週が現地調査の個人報告書提出と調査結果の班別発表会、9～12月は現地調査結果の班別集約作業並びに現地調査報告書の作成とその印刷製本作業となる。

履修上の留意点

現地調査への参加はもちろん、4～12月の地域文化調査法の授業（報告書作成）へも積極的に取り組む学生に限る。

成績評価の方法

毎時間の授業への出席状況、文献レビュー発表、現地調査（聞き取り調査・アンケート調査ほか）、現地調査レポート作成、現地調査の個人報告書、最終報告書作成など、授業及び現地調査での参加姿勢を総合的に評価する。

参考書

梶田真・仁平尊明・加藤政洋編（2007）：「地域調査ことはじめ-あるく・みる・かく」ナカニシヤ、¥2800

履修コード	033501
科目名	地域文化調査法（現地調査含む）B
担当者名	たかはし けんたろう 高橋 健太郎

地理

講義の到達目標(ねらい)	農山村地域の生活や産業、地域社会のあり方について理解を深め、これらに関する地域調査の手法を身につける。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：オリエンテーション、第2～4回：村落地理学関係の研究論文の輪読と発表、第5～8回：統計資料の収集と分析、第9～13回：地図資料の収集と考察、第14～17回：地域調査の準備、第18回：地域調査（合宿）、第19～20回：調査結果の報告と討論、第21～30回：調査報告書の作成。 地域調査は、農山村地域において3泊4日で実施する。主に次のような調査テーマが考えられる。農山村地域の生活文化や地域社会の維持と変容、農林業の取り組み、都市・農村交流など。選択した調査テーマにしたがって、調査計画の立案から調査項目の選定、調査報告書の作成までを行なう。
準備学習	研究論文の講読や地域調査の準備、調査報告書の作成の際には、多くの課外時間の作業が必要である。
履修上の留意点	この科目を履修するためには学科主催の振り分け（4月6日）に必ず参加しなければなりません。また、本科目のテーマへの理解を深めるため、「村落地理学」を未履修の人は、今年度に履修のこと。
成績評価の方法	授業への出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、地域調査での活動状況、調査報告書の内容で評価する。
参考書	浮田典良ほか『ジオ・パル21—地理学便利帖—』、海青社。

履修コード	033801
科目名	地域文化調査法（現地調査含む）E
担当者名	つちたに としはる 土谷 敏治

講義の到達目標(ねらい)	地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、事前に関連する既存の文献をよく読んだ上で、まず調査・研究の手順を学んでおく必要がある。それを踏まえて、調査の目的・調査地域・調査スケジュールの設定を行うとともに、統計資料等を用いて調査地域の特色を把握する。現地調査後は、収集資料を整理・分析し、調査結果をまとめる。このような視点から、本授業では交通や都市の問題を主要テーマとして、まず文献検索・文献研究を行い、調査・研究の方法を学ぶとともに、現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。 ①現地調査で取り上げようとするテーマに関連する論文を読み、その内容をまとめて発表する。 ②各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行いレポートにまとめる。 ③各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。 ④現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。 ⑤現地調査。 ⑥調査結果の整理・分析、図表化を行う。 ⑦調査結果をレポートとしてまとめる。 ⑧調査結果を発表し、全員で討論する。 ⑨各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。
準備学習	調査対象地域は、茨城県ひたちなか市を予定しているが、受講者が希望すればこれ以外の地域も検討する。現地調査は10月の中旬を予定している。
履修上の留意点	授業前に発表内容を整理し、他の受講者によくわかるように発表用の資料を作成する。 現地調査はもちろんであるが、その前提となる文献研究や事前の計画・準備、調査後の資料整理や分析が重要である。とくに、毎回の出席は不可欠であり、出席率が8割を下回った場合は、単位を認定しないことがあり得る。また、積極的な討論への参加、事前・事後の発表、レポートの提出、報告書作成作業への参加も必要である。
成績評価の方法	この科目を履修するためには学科主催の振り分け（4月6日）に必ず参加しなければならない。 文献のまとめ方、事前調査のレポート、現地調査状況、調査結果の整理・分析と口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。
教科書／テキスト その他	とくに指定しない。 事前の準備、現地調査では、1人、あるいは5人程度までのグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

履修コード	035601
科目名	地域文化演習 A
担当者名	おだ まさやす 小田 匡保

講義の到達目標(ねらい)

1. 論文というものを読むことに慣れる。
2. 地域調査の経験をする。
3. 収集した資料を分析して、体裁の整ったレポートにまとめる。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は、発表担当を決めて、論文の講読を行なう。後期は、地域調査を体験するため、9月または10月に、聞き取り・観察を中心に現地調査を行なう。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的な報告書をまとめる。

準備学習
履修上の留意点

自分の発表の前には入念に準備をすること。
体裁・内容の不十分な報告書原稿は、現地の方に送って見ていただいても恥ずかしくないよう、何度でも修正してもらおう。修正する教員にとっても大変な作業であり、受講生も頑張ってもらおう。

成績評価の方法

成績評価は、授業の出席状況、発表内容、現地での調査態度、提出されたレポート・報告書原稿の内容などを総合して判断する。

教科書／テキスト

使用しない。

参 考 書

授業中に指示する。

そ の 他

調査地は長野県、現地調査の期日は9月または10月を考えている。詳細は4月の振り分け時に発表する。

地理

履修コード	035701
科目名	地域文化演習 B
担当者名	さとう てつお 佐藤 哲夫

講義の到達目標(ねらい)

この授業ではタイを例として、観光に焦点を当て、外国語文献の講読、地図や衛星画像の利用、統計の分析を中心とした海外地域の研究法を学ぶ。現地調査を必須とはしないが、休暇を利用した個人の現地研修旅行の相談には応じる。

講義の内容／
授業スケジュール

そのため次のような地域調査の流れにも配慮して授業を進める。① フィールドワークの企画(準備・仮説・地域設定・調査・まとめに至る過程) ② 文献・地図・資料の収集整理 ③ 調査項目の検討 ④ フィールドワークの実施(観察・測定・面接等) ⑤ フィールドワークのまとめ(図表化・地図化・分析・仮説検証・レポート作成・報告書作成)

前期には、全員で分担して、まず観光に関する基本的文献を輪読したあと、タイ全体を対象とした基本的知識を得る。後期は、タイの観光全般について学んだあと、各自がトピックを決めてタイ国内の特定地域について研究する。

授業スケジュールは以下を予定しているが、状況を見て調整しながら進める。

- (1～6) 観光に関する文献の輪読
- (7～14) タイに関する基本的知識の学習
- (15～18) タイの観光に関する地図・統計による分析
- (19～25) タイの観光に関する文献の輪読
- (26～30) 各自の研究とまとめ

準備学習
履修上の留意点

現地研修旅行の場所・日程については、参加者の相談に応じて決める。

「地域研究論」を履修していることが望ましい。英語をしっかりと勉強しておくこと。

英語が嫌いだという人は履修しないこと。また地図・衛星画像と統計のどちらも嫌いだという人にもお勧めしない。自宅でもインターネットを利用できることが望ましい。

成績評価の方法

詳細は振り分け会でも説明する。この科目を履修するためには学科主催の振り分け(4月6日)に必ず参加しなければなりません。

教科書／テキスト

出席状況、参加の積極性やレポートの内容などを総合的に評価する。

参 考 書

教材その他の必要な資料は配布する。

綾部恒雄・林行夫編 2003 『タイを知る60章』(明石書店) ISBN4-7503-1725-X
日本タイ学会編 2009 『タイ事典』(めこん) ISBN978-4-8396-0226-0

履修コード	036001
科目名	地域文化演習 E
担当者名	須山 聡

講義の到達目標(ねらい) 人文地理学の課題設定や調査方法を現地調査と文献の講読から学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール 奄美大島での現地調査実習と調査報告書の作成を行う。現地調査は6月下旬に実施するため、前期は調査課題の設定と現地調査計画の立案，調査準備に費やされる。後期は調査で得られた成果をもとに報告書を執筆・作成する。そのためには地図化のスキルを身につけ，現象を分析するための理論や手法を文献講読によって学ぶ必要がある。

履修上の留意点 出席をとったりはしないが，ぼんやりしているとついてこられなくなる。

成績評価の方法 授業への取り組みの積極性，および調査報告書の完成度により評価する。

教科書／テキスト なし

参考書 授業のなかで紹介する。

その他の他 この科目を履修するためには学科主催の振り分け（4月6日）に必ず参加しなければなりません。

地理

履修コード	036101
科目名	地域文化演習 F
担当者名	櫻井 明久

講義の到達目標(ねらい) この授業では、地理学における「地域」とは何かを検討し、その「地域」を語る地誌学、そして地誌的研究と人文地理学の方法について現地調査実習をしながら考えたい。

講義の内容／授業スケジュール 地域とは何か、地誌とは何かについて、まず大枠を考え、その後、まず農村地域について現地調査を行い（5月2泊3日予定）、そこで野外観察や野外調査の方法の基礎（研究目的の設定、研究計画の策定、文献・地図・統計資料の収集、調査項目など現地調査の設計）を学ぶとともに（1～5）、そこで学んだ方法を用いて大学周辺でも調査を試みたい（6～12）。後期には、その調査結果をまとめる方法を実践的に学び（図表の作成、地図作成、レポート作成）、一方、現地調査のできないヨーロッパなどについて様々な書物、論文などから、その地域を描き直すことにも挑戦したい（13～27）。

履修上の留意点 この科目を履修するためには学科主催の振り分け（4月6日）に必ず参加しなければなりません。また、演習であるから、課題に沿って疑問や質問をどんどんぶつけ、討論するように、積極的に参加するよう望みます。

成績評価の方法 出席（40点）と発表・レポート（60点）といったバランスで評価したい。

教科書／テキスト なし

参考書 適宜紹介する。

履修コード	039101
科目名	地域環境調査法（現地調査含む） B
担当者名	田中 靖

講義の到達目標(ねらい) 風景をサイエンスの目で見える力を養う。

講義の内容／授業スケジュール 第1回～第2回：オリエンテーション（地理学における現地調査）
第3回～第15回：文献調査，発表会
第16回～第17回：現地調査準備
【現地調査：巡検予定地は石垣島。10月下旬に3泊4日の日程で実施する予定。】
第19回～第30回：調査結果の発表会と報告書の作成。

履修上の留意点 この科目を履修するためには学科主催の振り分け（4月6日）に必ず参加しなければならない。

成績評価の方法 調査に取り組む姿勢，発表，最終レポートのレベルで総合的に評価する。定期試験は実施しない。

教科書／テキスト 適宜紹介する。

履修コード	039301
科目名	地域環境調査法（現地調査含む）D
担当者名	<small>ながね3 のよお</small> 長沼 信夫

講義の到達目標(ねらい)

一つの地域を題材に、地理学の調査方法の修得、および現地調査で得られた資料などを基に、それらの地域的特色の一端を把握・検討することを目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

1-11回 事前準備 調査地域の地形図の読図、関連資料の収集、関連論文の輪読、調査テーマや調査方法の吟味など、12回 現地調査、13-15回 資料整理作業、16-22回 関連する図表類の作成、レポート作成、23-26回 調査成果の報告会、27-29回 報告書の原稿作成、30回 報告書の完成と反省会、まとめ。

現地調査は、次の要領で実施する予定である。

調査地域：北海道函館市とその周辺地域

調査期間：2010年6月29日 - 7月2日 3泊4日

- 調査概要：
1. 函館の自然と水環境
 2. 函館の歴史と都市形成
 3. 函館の水産業と造船業
 4. 函館の歴史的建造物
 5. 函館の港湾と水辺環境
 6. 函館の観光開発
 7. その他

準備学習
履修上の留意点

現地調査前までに調査テーマやその内容を明確にしておくことが重要である。

特に出席を重視するので、遅刻・欠席をしないよう望む。

調査地域は北海道であるため、交通費が少々多額になるので留意すること。

なお、この科目を履修するためには、4月6日に実施する学科説明会に出席し、その場で必ず申し込みの手続きをして下さい。

成績評価の方法

出席回数、口頭発表、レポートの提出、報告書作成に参加するなどによって、総合的に評価する。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

特に指定しない。

必要な文献・資料・地形図などは事前調査の初期段階で指示する。

各自の調査テーマや内容は、学生諸君の自主性に委ねる。

履修コード	039401
科目名	地域環境調査法（現地調査含む）E
担当者名	<small>はやふね げんほう</small> 早船 元峰

講義の到達目標(ねらい)

自然と人間とのかかわりあいの研究・調査方法を、文献講読や現地調査を通じて修得する。

講義の内容/
授業スケジュール

○ 土地利用・水利用・グリーンツーリズム・集落の立地など、各人の興味ある分野の論文の内容と所感の発表

○ 現地調査「四国」3泊4日を予定、班別調査

○ 資料集の作成

○ 地理写真撮影の技法修得

履修上の留意点
成績評価の方法

この科目を履修するためには、学科主催の振り分け（4月6日）に必ず参加しなければなりません。

発表内容、レジメ、調査に取り組む態度、レポート、出席状況などで評価する。

教科書/テキスト
そ の 他

特に指定しない。

撮影技法の基本を学ぶため、35mmカメラではライカ、中判カメラではハッセル、ビューカメラではリンホフなどの旧タイプも使用する。

地理

履修コード	041401
科目名	地域環境演習 A
担当者名	平井 幸弘

地理

講義の到達目標(ねらい) 地理学・自然地理学の視点から、環境問題について取り組むに当たっての基本的なマナーについて、(1) 文献のレビュー、(2) 地域調査の方法、(3) データの収集と分析および考察、(4) レポートのまとめ方などについて学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、主に様々な水辺の環境問題に関する既存の文献を読み合わせ、論点を整理する。夏期休暇前に、一泊二日で関東地方の湖沼(霞ヶ浦、印旛沼、手賀沼、酒沼などの内、1~2箇所)を訪ねる。後期は、各人が環境問題に関する具体的なテーマを設定し、それぞれ関連するデータを収集・分析、また地図作業等を行って、最後に考察を加えてレポートとしてまとめる。

準備学習 自らのテーマを見出し、積極的に取り組むことが望まれる。

履修上の留意点 この科目を履修するためには学科主催の振り分け(4月6日)に必ず参加しなければなりません。

成績評価の方法 授業・現地調査への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。

教科書／テキスト 教科書は指定しない。

参考書 平井幸弘(1995)『湖の環境学』古今書院、同(2005)『水辺の環境ガイド 歩く・読む・調べる』同 など、適宜紹介する。

履修コード	041901
科目名	地域環境演習 F
担当者名	高木 正博

講義の到達目標(ねらい) 主として地域の水環境や水利用に関する研究分野を対象とする。授業では研究論文を読み、内容を理解し、研究・調査の方法、論文の書き方などを具体的に学ぶことを目的とする。受講者全員に年2回、論文の紹介と研究テーマに関する口頭発表を義務づける。フィールドワークに基づく地域調査(巡検)も考慮する。その際、地域の特性を理解するための調査方法についても検討したい。受講者は本授業をとおして、卒業論文を意識した研究テーマを探してほしい。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、現在関心をもっている研究テーマについて調べた結果を発表する(1-15)。発表テーマ・発表日は事前に決めておき、当日は発表者がまとめたレジュメをもとに、全員でその内容を討論する。関連するデータの解析・図表の作成実習や現地調査・研究方法についての検討もおこなう。後期も同様に発表形式をとるが、原著論文の紹介に重点を置く(16-30)。論文は各自の研究テーマと関連したものを選択し、その内容および各自のテーマとの関連性について詳しく説明する。または、夏休みの調査結果などを報告してもよい。

履修上の留意点 ①受講者は日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。②発表者は無断で欠席しないこと。③この科目を履修するためには、学科主催の振り分け(4月6日)に必ず参加すること。

成績評価の方法 口頭発表の内容(50%)、レジュメ(レポート)の内容(30%)、討論への参加状況など平常点(20%)を合わせて評価する。

参考書 肥田 登『秋田の水—資源と環境を考える—』無明舎出版

履修コード	034011
科目名	地域調査入門 A
担当者名	高橋 健太郎

講義の到達目標(ねらい) 農山村地域の生活や産業、地域社会のあり方について理解を深め、さらに聞き取りや資料収集の手法の基礎を身につける。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：オリエンテーション、第2~5回：村落地理学関係の研究論文の輪読と発表、第6~9回：地域調査の準備、第10回：地域調査(合宿)、第11回~15回：調査結果のまとめと調査レポートの作成。

地域調査は、農山村地域において2~3泊で実施する。主に次のような調査テーマが考えられる。農山村地域の生活文化の変容、農林業の取り組み、地域自治と広域連携、都市・農村交流など。選択した調査テーマにしたがって、調査計画の立案から調査項目の検討、調査レポートの作成までを行なう。

準備学習 授業中に紹介する文献を事前に読むことにより、授業内容に対するより深い理解が可能となる。

履修上の留意点 この科目は、3年の演習や調査法をより効果的に学ぶために、おもに2年生用に設けられた入門科目です。よって振り分け時には2年生を優先します。もしも人数が多数になった場合は3・4年生の希望がかなわないことがあります。また、この科目を履修するためには学科主催の振り分け(4月6日)に必ず参加しなければなりません。

成績評価の方法 出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、地域調査の活動状況、調査レポートの内容で評価する。

参考書 浮田典良ほか『ジオ・パル21—地理学便利帖—』、海青社。

履修コード	034021
科目名	地域調査入門B
担当者名	佐藤 哲夫

講義の到達目標(ねらい)

この授業では那覇市をフィールドとして、都市における地域調査の方法について、おもに地図の利用と現地での観察のしかたを中心に学ぶ。とくに次のような地域調査の流れに配慮して授業を進める。①フィールドワークの企画(準備・仮説・地域設定・調査・まとめに至る過程)、②文献・地図・資料の収集整理、③調査項目の検討、④フィールドワークの実施(観察・測定・面接等)、⑤フィールドワークのまとめ(図表化・地図化・分析・仮説検証・レポート作成・報告書作成)

講義の内容/
授業スケジュール

授業のスケジュールは以下を予定しているが、作業状況を見て調整しながら進める。
(1~3) 沖縄と那覇についての文献研究
(4~7) 地形図を用いた室内作業
(8~10) 現地調査の事前準備
(11~15) 現地調査の結果とまとめのための参考文献の報告

地理

準備学習
履修上の留意点

現地調査は6月24日(木)~27日(日)、旅費は約6万円(往復航空運賃・宿泊費)を予定。現地では、全員での見学、課題についての調査、各自が決めたテーマについての調査をおこなう。地形図の読み方をしっかり復習しておくこと。詳細は学科主催の振り分け会(4月6日)でも説明する。受講希望者はこの説明会に必ず参加し、授業を履修するための事前の登録をすること。第1回目の授業で現地調査の予約金(1万円)を徴収する。

成績評価の方法

この科目は、3年の演習や調査法をより効果的に学ぶために、おもに2年生用に設けられた入門科目です。よって振り分け時には2年生を優先します。もし人数が多数(20人以上)になった場合は3・4年生の希望がかなわないことがあります。この科目を履修するためには学科主催の振り分け(4月6日)に必ず参加しなければなりません。次のレポートを課す。

- ① 現地調査前レポート「那覇市における市街地の発展に関する考察」
- ② 現地調査課題レポート「那覇らしい街並みについて」
- ③ 各自のテーマについての現地調査レポート

これらに出席状況、文献発表内容、現地での調査の積極性などを加味して、総合的に評価する。

教科書/テキスト
参 考 書

- 教材その他の必要な資料は配布する。
- 琉球大学編 2008 『やわらかい南の学と思想』(沖縄タイムス社)
ISBN978-4-87127-185-1
- 琉球大学編 2009 『やわらかい南の学と思想2』(沖縄タイムス社)
ISBN978-4-87127-191-2
- 仲田邦彦 2009 『沖縄県の地理』(編集工房東洋企画)
ISBN978-4-938984-68-7
- サンゴ礁地域研究グループ 1992 『熱い心の島ーサンゴ礁の風土誌』(古今書院)
ISBN4-7722-1023-7
- 吉川博也 1989 『那覇の空間構造 沖縄らしさを求めて』(沖縄タイムス社)
ISBN4-87127-019
- 高橋誠一 2002 『琉球の都市と村落』(関西大学出版部)
ISBN4-87354-381-9

履修コード	039611
科目名	地域調査入門D
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 私たちを取り巻く自然環境や環境問題について、具体的に何に注目し、どのように調査したらよいかについて、主として自然地理学的な視点から学ぶ。ある地域を事例として実際にそこに出かけ、現地での観察・測定、聞き取り・アンケート、また調査実施後に各種分析等を試み、簡単なレポートにまとめ、発表する。

講義の内容／授業スケジュール (1)～(3) 地域調査のための基礎的資料・文献の収集
(4)～(6) 資料・文献をもとに野外調査の準備
(7) フィールドワーク(現地調査): 関東甲信越～中部地方の湖沼または内湾域のうち、1か所を対象として、1泊2日または2泊3日で実施したい。
(8)～(11) 現地調査で得たデータ等の整理とまとめ
(12)～(15) 現地調査のレポート作成と発表

履修上の留意点 この科目は、3年の演習や調査法をより効果的に学ぶために、おもに2年生用に設けられた入門科目です。よって振り分け時には2年生を優先します。もし人数が多数になった場合は3・4年生の希望がかなわないことがあります。この科目を履修するためには学科主催の振り分け(4月6日)に必ず参加しなければなりません。

成績評価の方法 出席状況、授業中の発表、フィールドワークへの参加状況、提出されたレポートなどを総合的に判断して評価する。

教科書/テキスト 特に指定しない。

参考書 平井幸弘(2005)『水辺の環境ガイド歩く・読む・調べる』古今書院

地理

履修コード	039621
科目名	地域調査入門E
担当者名	須山 聡 <small>すやま さとし</small>

講義の到達目標(ねらい) 地理学的な野外観察および地域調査の基本的観点とスキルを習得する。

講義の内容／授業スケジュール 「海峡兩岸の地域差」をテーマとする。具体的には関門海峡および対馬海峡を地域調査の対象とする。事前に対象地域の地域的特徴を文献により把握し、予察された地域的差異を現地観察により確認する。

履修上の留意点 この科目は、3年の演習や調査法をより効果的に学ぶために、おもに2年生用に設けられた入門科目です。よって振り分け時には2年生を優先します。もし人数が多数になった場合は3・4年生の希望がかなわないことがあります。この科目を履修するためには学科主催の振り分け(4月6日)に必ず参加しなければなりません。

成績評価の方法 取り組みの積極性とレポートの完成度で評価する。

教科書/テキスト 特に指定しない

その他 交通費・宿泊費などかなりの費用がかかるので、お金をムダにしないで勉強のできる、当該の地域に関心の高い学生の参加を望む。

履修コード	034201
科目名	日本地誌
担当者名	橋詰 直道 <small>はしづめ なおみち</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

講義の内容／授業スケジュール 次の項目を予定している。(1)(2)はじめに(小テスト・地図と地域区分),(3-5)日本の自然環境(日本の気候景観・日本の地下資源・水資源),(6-8)生活と文化(日本の風土・気候と住居・文化の地域差),(9-11)都市と村落(日本の都市・集落立地と集落移動),(12-14)日本の山村地域(林業地域・限界集落・山村振興),(15)中間試験,(16-18)農業地域1(日本の農業・近郊農業・輸送園芸地域),(19-21)農業地域2(茶業地域・果樹・花卉栽培),(22)(23)工業地域(工業地帯・地場産業地域),(24)(25)開発と環境保全(国土開発・環境保全),(26)(27)余暇地域(観光リゾート・グリーンツーリズム),(28)(29)災害(気象災害・地震災害他),(30)まとめ(期末試験)

履修上の留意点 毎時間出席をとる(開始後15分以上の遅刻は欠席)。

成績評価の方法 中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数(2/3以上)と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書/テキスト 特に定めない。

参考書 参考書や関連する論文は授業で紹介する。地図帳を毎回持参すること。

その他 講義は、配布プリントとパワーポイントを利用して行う。課題や小テストも実施する。

履修コード	034301
科目名	外国地誌特講
担当者名	湯田 ^{ゆだ} ミノリ

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

インドネシア、特にジャカルタについて理解を深めることを目指す。
前期はインドネシアの地理的位置、自然環境、民族構成とジャカルタの成立を、後期は主にジャカルタの産業、人口、都市居住等の問題を取り上げる。

(前期)

- ・地理的位置 (インドネシアの範囲、地理的位置と自然・人文環境との関係)
- ・自然環境 (地形、気候)
- ・多民族国家インドネシア成立の背景
- ・植民地時代のジャカルタ
- ・インドネシア独立後ジャカルタの発展

(後期)

- ・ジャカルタ首都圏における経済発展と産業
- ・ジャカルタにおける人口動態と就業構造の変動
- ・カンボンと都市居住政策

履修上の留意点

参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、様々な視点からの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に海外などを旅行してほしい。

成績評価の方法

年に4回行う試験により判断します (各25点)。また、この授業は出席が必須ですので、出席がない場合は、その分減点になります。

教科書/テキスト
参 考 書

特に指定しない。
適宜紹介する。

地理

履修コード	034401
科目名	アジア地誌
担当者名	須山 <small>すやま</small> 聡・高橋 <small>たかはし</small> 健太郎 <small>けんたろう</small>

地理

講義の到達目標(ねらい)	中国および朝鮮半島の地誌について講義する。前期は高橋が中国を、後期は須山が朝鮮半島を担当する。
講義の内容／授業スケジュール	前期 (高橋) 第1～2回：中華人民共和国の行政区域と地域間の経済・生活格差 第3～4回：都市化と小城镇政策 第5～6回：単位制度と都市構造、生活空間 第7～8回：国有企業改革と都市整備 第9～10回：計画出産と人口管理、人口問題 第11～12回：少数民族政策と文化変容 第13～14回：西部大開発 第15回：総復習 (試験含む) 後期 (須山) 1. 位置と自然環境 2. 都市と人口 3. 農業と農村 4. 製造業と地域開発 5. 巨大都市ソウル 6. 朝鮮半島のコロニアルタウン 7. 韓国の都市群システム 8. 韓国の都市イメージ 9. 風水地理説 10. 韓国人のライフコース 11. 朝鮮民主主義人民共和国
準備学習	前期 授業中に紹介する文献などを事前に読むことにより、授業内容に対するより深い理解が可能となる。 後期 朝鮮半島についてはメディアを通じて真偽ないまざった情報が垂れ流されている。日頃、これらについて留意されたい。
履修上の留意点	後期 出席を厳格にとる。
成績評価の方法	前後期各50%のウエイトで評価する。前期は、試験 (40%) と教場レポート (10%) で評価する。後期は、試験 (50%) と出席 (50%) で評価する。
教科書／テキスト	特に指定しない。
参考書	随時資料を配布する。後期の内容を理解するには以下の書籍を参照するとよい。 小倉紀蔵 1998.『韓国は一個の哲学である―理と気の社会システム―』講談社。 小倉紀蔵 2005.『韓流インパクト―ルック코리아と日本の主体化―』講談社。

履修コード	034501
科目名	アメリカ地誌
担当者名	菅野 <small>かんの</small> 峰明 <small>みねあき</small>

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ合衆国は広大な国であり、単一の地域として理解するのは困難である。この授業では、アメリカ合衆国は特色ある地域から成り立っているということを地誌学の方法で理解することが目的である。また、地域の特色あるいは地域性とはどのようなものかを理解し、それらの形成過程を把握する方法を習得すること。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：地誌学とは。アメリカ合衆国という国、第2～4回：北アメリカの自然環境、第5回：地域区分の方法、第6～7回：ニューイングランド、第8～9回メガロポリス、第10～11回：アパラチア山地、第12～15回南部地域、第16～17回中西部、第18～20回：グレートプレーンズ、第21～22回：ロッキー山脈地域、第23～24回：山間盆地地域、第25～27回太平洋岸沿岸地域 第28～29回：アラスカ・ハワイ、第30回：アメリカ合衆国の地域性のまとめ
準備学習	アメリカ合衆国に関するニュースは国内のどの地域で起こっているかを常に地図で確認する習慣を身に付けて下さい。
履修上の留意点	授業には地図帳を持参して下さい (高校時代に使用したもので構いません)。アメリカで起こるニュースはどんな地域的背景で生じたかを調べようとする意欲をもって下さい。
成績評価の方法	学期末試験 (5割)、課題 (3割)、出席 (2割) で評価します。
教科書／テキスト	教科書は指定しません。
参考書	(1) 矢ヶ崎典隆・斎藤 功・菅野峰明編著『増補版アメリカ大平原』古今書院、2006、3,500円 (2) 小塩和人・岸上伸啓編『朝倉世界地理講座13 アメリカ・カナダ』朝倉書店、2006、16,000円

履修コード	034601
科目名	ヨーロッパ地誌
担当者名	いわま のぶゆき 岩間 信之

講義の到達目標(ねらい) 本講では、多種多様な歴史や文化を有し、多くの問題を抱えながらも大きく生まれ変わろうとしているヨーロッパについて解説する。なかでも都市問題、商業問題に着目する。講義はパワーポイントを使用しながら進める。また、卒論執筆を念頭におき、読図や資料検索(英語)、都市・商業問題に関する調査方法についてもあわせて解説する。

講義の内容／授業スケジュール
履修上の留意点
前期：ヨーロッパ各国の地誌を、実例を用いながら解説する。
後期：ヨーロッパ諸国が抱える都市問題やEU統合に伴う経済活動の変化について解説する。
地誌の講義であるため、地図帳を持参すること。また、講義毎に小テストを実施するので、積極的に参加すること。

成績評価の方法
成績は出席30%、小テスト20%、定期テスト50%で評価する。定期試験は、事前に提示しておいた課題についての調査結果を記述するというスタイルをとる。

参 考 書
ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』(大明堂) 5,160円

地理

履修コード	034701
科目名	経済地理学
担当者名	やのぶ ひろやす 矢延 洋泰

講義の到達目標(ねらい) 経済的諸活動の空間構造を地理学的に捉えてみたい。なかでも世界で最も経済発展が著しい東アジア地域を中心に考察します。

講義の内容／授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

(1) 地理学の中における経済地理学とは (2) 経済を中心にみた世界史の潮流 (3) 経済社会の変化を探る (4) 東南アジアの基礎知識 (5) アジア・ダイナミズムの源泉を探る - OECDレポートの衝撃とその分析、アジア NIES 誕生の意味。 (6) 成長の基層文化 (7) 戦後日本の経済発展と周辺アジアとの関係 (8) 東南アジアにみる地域協力機構の色々 - ASEANの成立過程、シンガポールの経済開発と成長の限界、成長の三角地帯構想の背景、(9) 冷戦崩壊後の世界と日本 - 冷戦とバブル崩壊後の日本の対応、幻の EAEC 構想と AFTA 実現の意味、太平洋を跨ぐ APEC の思惑、日米中が描く ASEAN を核にした地域協力、(10) 「ハブ」と「スポーク」の考え方 (11) 大航空時代の周辺アジアと日本の動向

学ぶことに意欲を持ち、アジアに興味と関心のある学生を期待します。文献紹介は適宜するつもりですが、それらは必ず読むようにしてください。

学期末の筆記試験(80%)と、授業内に提出を求める課題、アトランダムに取る出席(20%)で評価します。

教科書は使いませんが、適宜プリントを配布します。配布は基本的に2週としますので、忘れずに取得するようにしてください。

矢延洋泰『インサイト東南アジア』勁草書房 3255円 ISBN4-326-65182-2
質問は授業の後に受け付けます。諸般の事情で授業スケジュールを変更する場合があります。

履修コード	034901
科目名	社会地理学
担当者名	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>

地理

講義の到達目標(ねらい)	人文地理学で注目する地域の可視的な特徴や差異には、不可視な社会的構造や関係が空間に表出した結果と理解できるものも少なくない。また、そうした社会的構造を支えるものが空間や場所であるともいえる。この講義では、そうした構造や関係を理解した上で、それらが空間や場所とどのように結びついているのかを考察できることと、それを具体的に説明できることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	社会地理学の流れを概説した後に、特に都市社会の変化と背景について概説する。それらを踏まえて、女性や子ども・若者とといった人口のサブ・グループや、家族をはじめとした社会組織・システムと、空間・場所との関係に注目する。最終的には学んだことをベースとして、各自の関心に基づいて社会地理的な課題に取り組んでもらう。 第1回：オリエンテーション、第2回：社会地理学とは？、第3～5回：都市生活様式とその背景の変化、第6～10回：ジェンダーと地理、第11～15回：家族と地理、第16～20回：子ども・若者と地理、第21～30回：社会地理学の実践 なお、受講者数によって構成や内容を変更することがあるため、詳しくは第1回の講義の際に述べる。
準備学習	講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	原則として学年末の試験あるいはレポートの結果から評価する。なお、追試験は実施しない。高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 ノックス、P・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0 町村敬志・西沢 晃彦、『都市の社会学—社会がかたちをあらわすとき』、有斐閣、2,520円、ISBN4-6411-2103-6 水内俊雄編、『空間の社会地理』、朝倉書店、3,990円、ISBN4-2541-6715-6
その他の	講義ではプリントを随時配布する。資料のバックナンバーの閲覧やデータの配布、急な連絡などはYeStudyを通じて行うので、履修者は開講後早めに登録を済ませること。

履修コード	035001
科目名	外書講読
担当者名	佐藤 哲夫

講義の到達目標(ねらい)

この授業では中学校レベルの日本地理の英訳本を読むことで、地理学で用いられる英語の語彙を増やすことと、地理に関する英文をなるべく速く読むことを目標にする。通訳ガイド国家試験対策などにも役立つであろう。また講読範囲は大学院地理学専攻の入学試験(英語)の出題範囲に含まれている。

講義の内容／
授業スケジュール

参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、解説を加えながら読み進める。毎回、既習範囲の和文英訳の課題を提出してもらおう。また英単語の小テストを適宜おこなう。

- (1~7) The structure and nature of Japan
- (8,9) An outline of Japanese history
- (10~14) Various perspectives of Japan
- (15) The regional geography of Japan
- (16~23) Kanto Region
- (24~30) Kinki Region

準備学習
履修上の留意点

中学・高校で学習した英単語と英文法をしっかり復習しておくこと。

下の文章はテキストの preface である。大意を辞書なしで把握できる程度の英語力を持っている諸君を、受講対象者として想定する。受講希望者が30人を超える場合は、人数制限を行うことがあるので、第1回目の授業には必ず出席すること。

Since the 1980s, the wave of globalization that has affected most of the world has also swept across Japan. Along with this development, more and more foreign companies have established a presence in Japan, a trend that has resulted in a rapid increase in the number of foreigners working, residing and studying throughout the country. Furthermore, the Japanese government is experimenting with various policies to attract more tourists as part of a national policy of the 21st century that is aimed at establishing Japan as a nation well equipped to cater for tourists from other countries. Thanks to worldwide interest in Japan, the perception of the country has changed greatly from "an exotic country steeped in mystery," to "a country playing an important role in supporting the industry and economy of the world" to "a country creating and transmitting modern culture to the world" as represented by cultural features such as Japanese cuisine and Japanese manga and anime.

The original version of this book was initially published with the aim of helping Japanese junior high school students to understand their country within the context of globalization. In translating the book into English, we hope to help foreigners who are working, residing or studying in Japan, and those who are visiting Japan for sightseeing or for business purposes. As international exchange increases through continuing globalization, it becomes all the more necessary to gain a more accurate and deeper understanding of Japan that is not distorted by ill-informed prejudice or exoticism. At the same time, we hope that this book will be useful to students who are studying in Japanese schools abroad, as well as young Japanese people studying in Japan who wish to take off into a world in which they can talk about their country in English, the new global language. We hope this book will enjoy a wide readership and that it will provide new and useful insights into today's Japan.

成績評価の方法

出席を最重視し、課題と適宜おこなう英単語の小テストの結果を加味して成績評価する。皆勤者には賞を進呈するが、出席不良者に対するレポートによる救済は絶対しない。

教科書／テキスト

テキストはコピーして配布する。出所は下記のとおり。

『Discovering JAPAN — A New Regional Geography』(帝国書院)
ISBN978-4-8071-5844-7

地理

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	平井 誠

講義の到達目標(ねらい) 現在「少子高齢化」という現象が関心を集めているが、日本ではこれまでも「過疎・過密」「東京一極集中」「ドーナツ化」など、人口に関する事柄が社会的な課題として議論されてきた。これらの問題はいずれも、人口規模や人口構造の地域的差異に関する問題であり、空間的な視点、地理学的な視点から捉えることによってその理解が容易になる。

本講義は、人口の規模や構造、およびその変化に関する地域性について考える。前期は、人口の規模、分布および構造に焦点を当て、後期は、人口分布を変化させる要因としての人口移動に焦点を当てる。これらの指標の意味やその地域的な差異などを理解しながら、人口という側面から地域性を把握する手段を習得することを目指す。講義では主に日本の人口指標を使用するので、最終的に人口という側面から見た日本の特性を理解することが、目標となる。

地理

講義の内容/ 授業スケジュール

前期：

- 1 前期ガイダンス
- 2・3 人口変化と人口学的方程式
- 4・5 人口変化の要因（出生）
- 6 人口変化の要因（死亡）
- 7・8 人口分布（集中指数・重心）
- 9・10 人口構造（年齢構造）
- 11・12 人口構造（産業構造）
- 13・14 人口構造（高齢化の影響および対策）
- 15 中間試験

後期：

- 1 後期ガイダンス
- 2・3 人口移動1（重力モデル）
- 4・5 人口移動2（日本の人口移動）
- 6 人口移動3（大都市圏の人口移動）
- 7 人口移動4（都心回帰）
- 8・9 高齢人口移動1（移動パターン）
- 10 年齢別移動率の推計（コーホート）
- 11・12 高齢人口移動2（大都市圏における流入）
- 13 高齢人口移動3（非大都市圏における流入）
- 14 高齢人口移動4（欧米との比較）
- 15 期末試験

(受講者の興味や進度によって適宜調整する。)

教科書は指定しない。配布資料を用いて講義を行う。簡単な実習を行う場合がある。

前期終了時の中間試験・後期終了時の期末試験および平常点（出席や提出物）の総合評価とする。

指定しない。

阿藤 誠『現代人口学』日本評論社。

荒井良雄他『日本の人口移動 ライフコースと地域性』古今書院。

大友 篤『日本の人口移動』大蔵省印刷局。

小笠原節夫『人口地理学入門』原書房。

濱 英彦・山口喜一編『地域人口分析の基礎』古今書院。

石川義孝『人口減少と地域』京都大学学術出版会。

その他講義中に紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	035201
科目名	歴史地理学実習
担当者名	<small>おだ まさやす</small> 小田 匡保

講義の到達目標(ねらい) 歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料(あるいは研究対象)として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容/授業スケジュール 教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。大学周辺のミニ巡検も1、2回実施したい。

準備学習 第1回：オリエンテーション、第2回：古地図概説、第3回～：履修者の発表

履修上の留意点 自分の発表の前に準備するのはもちろんだが、他の人の発表の場合も、事前に古地図を眺めておくことよ。

成績評価の方法 旧漢字の知識があることが望ましい。
成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教科書/テキスト 山下和正『江戸時代古地図をめぐる』(NTT出版)、本体1,650円
参考書 林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』(柏書房)、本体2,524円
その他 教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

地理

履修コード	041201
科目名	地理学特講Ⅰ
担当者名	<small>はしづめ なおみち</small> 橋詰 直道

講義の到達目標(ねらい) 今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法の歴史とその課題について紹介する。

講義の内容/授業スケジュール 次の項目を予定している。(1)(2)都市計画(都市計画と地理学・都市計画の概要)、(3)(4)区画整理事業・再開発事業、(5)(6)都市緑地の整備(生産緑地・公園緑地計画と緑地保全)、(7)(8)東京の都市計画史(震災復興計画・戦災復興計画)、(9)(10)日本の住宅開発史(郊外住宅地の誕生・郊外住宅地の発達)、(11)(12)アメリカの郊外住宅開発史(リバーサイド・ラドバーンなど)、(13)(14)英国の田園都市運動(ガーデンヴィレッジ、ガーデンシティ、ガーデンサブurb)、(15)まとめ(試験)

履修上の留意点 「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加状況も重視する。毎時間出席をとる(開始後15分以上の遅刻は欠席となる)。

成績評価の方法 定期試験の成績及び授業への出席日数(2/3以上)が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書/テキスト 特に定めない。

参考書 越澤明：『東京都市計画物語』(ちくま学芸文庫)1300円、日端康雄：『都市計画の世界史』(講談社現代新書)1000円、その他の参考書や論文は授業で紹介する。

その他 講義は、配布プリントとパワーポイントを利用して行う。

履修コード	035301
科目名	地理学特講Ⅱ
担当者名	<small>ながさ しのぶ</small> 長沼 信夫

講義の到達目標(ねらい) 地中に存在する水—地下水・温泉水—について、水文地理学的な視点から講義する。

講義の内容/授業スケジュール (1～2)地球上の水と地中に存在する水 (3～4)地下水の在り方とその特徴 (5～6)地下水の流動、水理、水質など (7)地下水の存在量と使用量 (8)地下水を取り巻く環境問題 (9～10)温泉の定義、温泉法、温泉の成因など (11～13)温泉の存在状態 (14～15)温泉利用と地熱発電の諸問題

準備学習 講義中に適時指示する。

履修上の留意点 地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法 出席回数と授業内に実施する筆記試験によって評価する。

教科書/テキスト 特に指定しない。

参考書 必要に応じて適時指示する。

その他 受講者が少人数の場合、希望によってはゼミ形式で実施することもある。

履修コード	035401
科目名	地理学特講Ⅲ
担当者名	澤渡 貞男 <small>さわた ひとし</small>

地理

講義の到達目標(ねらい)	文学部地理学科学生の学問的専門履修科目の応用と実践を意図して通年課程で設置された「特講Ⅲ」は、観光産業の中核である運輸・宿泊・旅行業に共通する国家資格「旅行業務取扱管理者試験」の受験を目指す学生への補助的講座として設置されたものである。
講義の内容／ 授業スケジュール	管理者試験には総合と国内の区別があり、受験科目は、①旅行業法及びこれに基づく命令についての知識 ②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款 ③国内旅行実務（運賃料金、観光地理、旅行実務） ④海外旅行実務（国内と同項目に加え出入国関連法令及び手続実務、観光英語）で、国内は上記①②③科目で例年9月に実施、総合は上記全科目で10月に実施される。これを踏まえ、次のようなスケジュールとする。(1～3) 旅行業界の現状と歴史 (4～8) 旅行業法 (9～15) 標準旅行業約款、国際航空運送約款 (16～19) 出入国に関する諸法令 (20～23) 航空運送、鉄道、バスに関する諸知識 (24～26) ホテル、レストランに関する諸知識 (27～30) 旅程管理業務、旅客サービス業務の実際。これらを理解するために必要な外国事情などは実際の経験をベースにした内容をA Vも利用しながら講義する。
準備学習	日頃からマスコミの報じる観光、特に旅行関連のニュースに注意を払い、疑問点を整理しておくこと。また、法律、特に民法についての基本的な考え方を理解し、独特の用語について知っておくこと。
履修上の留意点	①業法・約款の理解には観光・旅行業の現状・現場の理解が不可欠との立場から、冒頭に業界の現状・歴史などについて概括的な講義を行うので必ず出席のこと。これに欠席すると以後の講義が理解できなくなるので、この間の欠席者には原則として単位を付与しない。 ②講義で取り扱う範囲が広く、国家試験の全範囲をカバーする時間的な余裕がないので、本講義では、基本的な考え方について理解を深めることとし、受験対策については、通信講座、受験対策講座等により、各自で学習されたい。 ③講義内容は相互に連動しており断続的な出席では理解できないので出来るだけ多く出席すること。欠席した部分は必ず自習しておくこと。
成績評価の方法	出席を重視し、レポートと定期試験により評価する。授業態度も加味する。なお、総合国内旅行業務取扱管理者試験合格者には無条件4単位付与とする。
教科書／テキスト	澤渡貞男「海外パッケージ旅行発展史－観光学再入門－」(彩流社 2300円＋TAX (ISBN 978-4-7791-1055-9 C-0036) 千代田区富士見2-2-2) なお、必要に応じプリントを配布する。
参考書	受験対策用として中央書院編集部「総合又は国内旅行管理者試験合格ハンドブック」2010年版 (2009年版は3570円 ISBN978-4-88732-192-2 C3026) 例中央書院 千代田区猿樂町2-8-11。 旅行会社の制作する広告宣伝印刷物。国際国内の航空会社時刻表、観光白書。

履修コード	035501
科目名	地理学特講Ⅳ
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

講義の到達目標(ねらい)

本講義の目的は、地理学の研究に必要と考えられる地質学の基礎的知識・技術を学習することにあります。地質学は、岩石・鉱物や地層、化石などから、地球の成り立ちや、過去の自然環境、その環境の決定要因を解明していく研究分野です。そのために、地球自体から様々なデータを読み取っていく必要があります。本講義では、その基礎となる、岩石・鉱物の鑑定、地層の観察、地質図の読解などのスキルを修得できるように授業を進めていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

〔前期講義〕

1. 地質学概論 (1, 2回)
2. 鉱物と岩石の基礎知識 (3, 4回)
3. 鉱物鑑定法 (鉱物観察の実習、5～9回)
4. 岩石鑑定法 (岩石観察の実習、10～15回)

〔後期講義〕

1. 地層の基礎知識 (16, 17回)
2. 地質構造の基礎知識 (18, 19回)
3. 地層の観察法 (日帰り野外実習を含む、20～22回)
4. 地質図の読み方・書き方 (地質図学の実習、23～30回)

準備学習
履修上の留意点

受講前に、地形図の読解法・基本的な図法の修得をお願いします。

1. 授業は、実習が中心になります。
2. 毎回、出欠をとります。
3. 後期授業期間中の休日に、野外実習 (一日、日帰り) を、三浦半島城ヶ島で行います。実習のレポート、授業の出席状況にて、成績を評価します。
小島丈兒監修「新訂地学図解」第一学習社 定価800円 ISBN4-8343-4007-4
必要な資料は、授業で配布します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
その 他

地理

履修コード	041301
科目名	地理学特講 V
担当者名	平井 史生

地理

講義の到達目標(ねらい) 社会的に関心の高い時事問題を題材とし、現象の空間的な把握や分布図の重ね合わせ等の地理学的手法を用いて分析していきます。卒業論文の主題選定に役立つ話題や切り口を多く提供することをめざしています。また、学生の皆さんと共に講義を創り上げていくスタンスを目標としています。地理学に関する専門的な知識があまりなくても受講はできます。

講義の内容／授業スケジュール 参考までに2009年の題材をお知らせします。2010年も同様な話題を取り上げます。「スギ花粉の大飛散とその背景」「2007年台風9号」「盛夏の雷雨」「竜巻被害の特徴」「梅雨の特性」「地球温暖化」「梅雨前線と集中豪雨」「南極オゾンホール」「北極海の水氷」「ヒートアイランド」「冬季の降雪とスキー場の立地」など。大きな自然災害が発生した場合には速報的にすぐに取り上げる予定です。また、「地理学に関連の深い企業の見学会」「気象観測実習」など、学外で活動する場合があります。選択科目の「気候学」と最も関連が深く、自然地理学的な題材を多く扱いますが、興味の対象を絞り込むわけではなく、時には人文地理学的な内容も扱います。夏季課題は「カルトグラム」作成の予定です。

履修上の留意点 2009年度資料ページ (参考) {<http://www.komazawa-u.ac.jp/~fumio/k2009/yotei.html>}
2010年度資料ページ (参考) {<http://www.komazawa-u.ac.jp/~fumio/k2010/yotei.html>}

実作業が多いため、学生諸君にとっては、「かなり面倒な」講座となります。予備知識はなくても大丈夫ですが、1年間やり通す強い意志が必要です。欠席が多くなりそうな方には向きません。講義資料については、ウェブサイトに掲載し、講義はコンピューター教室で実施します。端末台数の制約から履修人員は最大64名となります。作図などの作業を伴う実習的性格の強い科目です。作図作業の成果品は電子媒体での提出を求め、ネットに公開します。不完全な作品については、再提出を求める場合もありますので、中途半端な気持ちで受講しないでください。各提出物については簡単な発表を含み、質問や批判を含めたミニ討論会なども実施します。初回講義の際にこれまでの授業アンケートの結果などを示しますので、履修するかしないかの参考にしてください。

成績評価の方法 ①作図作業の成果品、②レポート課題、③調査内容の発表、④作図試験、で総合的に評価をします。ウェイトは①40%、②～④各20%です。出席するだけでは単位は認定できません。成果品やプレゼンテーションが重要です。出席点という考え方は持ち合わせていません。出席率が100%でも、成果品の提出や発表が無ければ0点です。

教科書／テキスト 特に定めません。講義中に資料を配布する場合があります。
参 考 書 必要に応じて講義中に指示します。参考ウェブサイトを示す場合もあります。

そ の 他 気象予報士試験の受験を希望している学生には個別に相談にのります。ウェブサイトにてレジュメを掲載しています。質問・相談等も電子メールで受け付けています。参考までに、履修登録者に対する単位認定者の割合は、86% (2004年度)、92% (2005年度)、83% (2006年度)、83% (2007年度)、85% (2008年度)、87% (2009年度) でした。

関 連 リ ン ク <http://www.komazawa-u.ac.jp/~fumio/k2010/yotei.html>

履修コード	039551
科目名	GIS実習
担当者名	たなか やすし 田中 靖

講義の到達目標(ねらい) GISを用いて基本的な地図の作成や解析作業を行えるようになることを目的とする。地理学科では地理情報学系の科目として「地理情報論」を開講しているため、ここでは主に実習によりGISに関する知識と経験を積む。実習には主にArcGIS (ESRI)を使用するが、必要に応じて地理学科に導入されている他のGISソフトウェアなどについても扱う。なおこの実習は、社団法人日本地理学会の「GIS 学術士」資格取得のために必要な科目である。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回：ArcGIS 基礎知識
第2回～第4回：ベクトルデータの構造、世界地図の作成
第5回～第7回：ラベルの表示、分類シンボルの表示、レイヤ定義
第8回～第9回：投影変換、地理座標
第10回～第11回：空間検索・属性検索
第13回～第15回：ディゾルブ、バッファ、ジオプロセッシング
第16回～第18回：空間結合、フィールド演算、VBA スクリプト
第19回～第20回：データ作成、ジオリファレンス
第21回～第24回：ベクタ解析総合演習（主に都市を対象として）
第25回～第28回：ラスタ解析総合演習（主に地形を対象として）
第29回～第30回：総合演習・まとめ

履修上の留意点

積み上げが重要であり、一度欠席すると授業についてこれなくなる可能性が高い。また、授業時間だけでは作業時間は十分ではないので、自習を必要とする。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢（40%）+提出課題の質（60%）。定期試験は実施しない。

教科書/テキスト

指定しない。授業内に配布するプリントと、下に示す参考書を合わせて勉強し、授業に臨むこと。実習に用いるデータや教材は、全て授業用ホームページで公開する。

参 考 書

川崎昭如・吉田 聡(2006)『図解 ArcGIS Part2 - GIS 実践に向けてのステップアップ - 』古今書院

そ の 他

野上道男ほか(2001)『地理情報学入門』東京大学出版会
村山祐司・柴崎亮介(2008)『GISの理論』朝倉書店

関 連 リ ン ク

コンピュータおよびGISソフトウェアのライセンス数に限りがあるので、受講者数を制限することがある。
<http://www.int2.int.komazawa-u.ac.jp/~yasushi/GIS/>

地理

履修コード	039801
科目名	図学実習
担当者名	しみず ちやうせい 清水 長正

講義の到達目標(ねらい) 2万5千分1地形図は、環境・文化にかかわらず地理学のいろいろな調査・研究に欠くことではできません。そうした利用者からみて、地形図に表現されている内容についてよく知ることは重要なことです。この実習では、地形図の内容や作製過程などについて『地形図図式』を中心に、利用者として理解を深めてもらうのが目標です。また、近年普及しているデジタルマップの情報や作図ソフトを利用した地図製図などを紹介します。

講義の内容/
授業スケジュール

2万5千分1地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』です。これは本来、プロの地形図作製者が使用する規程書ですが、ここではそれを詳細に解説します。その間にデジタルマップを利用した簡易な編集作業も紹介します。その他、日帰り圏内でレーザーアリダードを用いた平板測量を実施する予定です。

履修上の留意点

地形図の最新情報・地図業界の動向など知りたい学生は履修するといいでしょう。なお、10月下旬ころに開催されるデジタルマップフェアは見学する予定です。

成績評価の方法

図式に関するミニ試験、地図編集作業の成果品の作製などから評価します。

教科書/テキスト

『平成14年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

参 考 書

利用しやすいデジタルマップや関連ソフトなどは、実習中に紹介します。

そ の 他

現地実習・見学は受講学生の都合により日時を決めましょう。

履修コード	040001
科目名	地形学実習
担当者名	清水 長正

地理

講義の到達目標(ねらい)	地形とは簡単に言えば地べたの形のこと。我々はこの地形上で活動し生活しているのだが、最近ではアーバンライフが定着したせい、地形を見る目が一般に退化していると言わざるをえません。いわんや地理学科の学生までも地形の見方が苦手？。環境・文化を問わず地理的現象の大半は地形上に立脚しているのですから、地理学を勉強した中で地形のことも少しでも知っておこうよ、というのがこの実習の目標です。さらに地形を観ることによって、その土地が地震や洪水などの災害の度合いの予測評価も可能なので、これは一生役にたつワザになるかもしれません。
講義の内容／授業スケジュール	実習の内容として、空中写真判読、現地調査に重点を置きます。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握のこと。難しく思うかもしれませんが、まずやってみることが肝心で、あとは「習うより慣れる……」でしょう。現地調査については、休日を利用した半日2回程度と、夏休み前半に1泊2日程度の巡検を行います。現地における地形の実測と、地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査などもやってみましょう。
履修上の留意点	地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、同時に履修することが望ましいでしょう。また、空中写真実地視については経験済みの人も多いでしょうが、もう一度、コツを手ほどきします。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	空中写真判読図・巡検レポートなどにより評価。 テキストは使用しない。 参考書は実習中に指示します。 巡検の地域や日程など、受講する学生と相談して決めます。

履修コード	040201
科目名	気候学実習
担当者名	平野 淳平

講義の到達目標(ねらい)	気候を研究する上で必要となる調査の方法およびデータの解析手法を身につけることを目標とする。
講義の内容／授業スケジュール	実習は次の内容に即して行う。 1) 気候観測 (1-4) : 測器の使い方、観測の実施、観測データの処理 2) 気候データの解析 (5-11) : 気象庁観測データの解析を行う。また、地図作成ソフト GMT 等を使用して観測データを図化する方法について学ぶ。 3) 天気図の解析 (12-15) : 上記のデータ解析によって明らかになった現象の原因を天気図によって分析する。
履修上の留意点	気候学の講義を履修していることが望ましい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	レポートおよび出席状況を総合して評価する。 特に指定しない

履修コード	040401
科目名	水文学実習
担当者名	高木 正博

講義の到達目標(ねらい)	河川や地下水・湧水などの測水調査をとおして、水循環や水収支を考慮した水文環境の一端を明らかにする。フィールドワークによる水量や水質調査及び採水試料の分析実験に重点をおく。
講義の内容／授業スケジュール	(1-6) 河川や地下水・湧水の水量・水質などに関する基礎的な学習及び調査目的、水域・地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用方法など。(7-9) 野外での測水調査。(10-12) 水質分析。(13-15) 調査結果の整理、図表の作成、解析・考察など。測水調査は1～2回程度予定している。フィールドワーク、実験室での試料分析は原則として週末に行うので、授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。
履修上の留意点	授業・調査中の実習態度を基礎点 (50%) とし、提出物の成果 (50%) と合わせて評価する。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	授業時間にプリントを配布する。 新井 正『水環境調査の基礎』改訂版 (古今書院) 日本地下水学会編『名水を科学する』、『続・名水を科学する』、『新・名水を科学する』(いずれも技報堂出版) 半谷高久・小倉紀雄『水質調査法』(丸善) 日本分析化学会北編海道支部『水の分析』(化学同人) その他、随時紹介する。

履修コード	040501
科目名	地球物理学
担当者名	やなぎだ まこと 柳田 誠

講義の到達目標(ねらい)	この講義では、地球表面で起こるさまざまな現象を地質学、地形学、地球物理学的な立場から理解できるようにする。そのために地球の深部、浅部の構造や地球の歴史および地質や地形についても知識を説明する。そして、これらの知識を踏まえて将来の地球表面の変化を考えてゆく。
講義の内容／授業スケジュール	前期は1地球の姿と形、2地球の内部構造、3地球の年代と歴史、4大陸移動説とプレートテクトニクス、5海底の古地磁気、6地震と火山の分布、7三種類のプレート境界、8弧状列島、後期は9中央海嶺(海底の山脈)、10伊豆半島の衝突、11地震活動、12活断層、13地震予知、14山はどうしてできたか、15アイススタシーによる隆起、16火山活動と火山の地形、18第四紀と未来の予測
履修上の留意点 成績評価の方法	受講生は地形学と第四紀学の講義を履修するか単位を取得していることが望ましい。 成績は授業中に提出してもらったレポートと学期末の試験で評価する。出席は必ずしも重視せず、地球物理学の内容を自分の知識として理解できているか、という点で評価する。
教科書／テキスト その他	指定しない。プリントを配布する。参考書はそのつど紹介する。 普通の授業中、あるいは授業後の活発な質問、議論を期待する。

地理

履修コード	040601
科目名	土壌地理学
担当者名	うるしばら かずこ 漆原 和子

講義の到達目標(ねらい)	私たちの最も身近にあり、その恩恵に浴している土壌、植生の分布様式のもつ規則性を理解しよう。
講義の内容／授業スケジュール	前期では、土壌の定義と生成因子、生成作用について述べる。後期では、一定の気候下ではその環境に適応した特色ある植生が分布し、熟成した土壌が生成されることについて学ぶ。世界の気候帯、植生帯、土壌帯の分布様式について考える。さらに世界における各種の生態型や土壌型ごとに営まれている生活、農業、作物について考える。母材が火山灰の時、日本では黒ボク土が生成されるが、なかなか利用しにくい土壌である。どうして日本にしかないのか、どうして困った土なのかを説明する。 1. 土壌の定義 2. 各種土壌母材との土壌生成作用 3. 土の中では何が起きているか。 4. どうして土壌があるところで農業ができるのだろうか。 5. 世界の土壌はどんな性格か、どんな自然条件のところで生成されるのか。 6. 特殊な母材の土壌 7. 人間が土壌の扱いを間違えると、何がおこるのか。
履修上の留意点	この授業は他の地理学の分野でほとんど耳にすることのない専門用語が使われる。したがって、欠席すると理解できなくなり、容易についてこれなくなる。毎回出席すること。また、復習をしていくことが望ましい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	毎回出席をとる。出席とテストで評価。 永塚鎮男・漆原和子訳『世界の土壌』2004年刊(古今書院)3,600円

履修コード	040801
科目名	計量地理学実習
担当者名	つちたに としほる 土谷 敏治

地理

講義の到達目標(ねらい)	今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。また、地図の作成や画像データもコンピュータ処理が一般化している。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、計量地理学の学習に必要なこれらのソフトウェア使用方法を習得することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。 1. Microsoft Excelによるデータの入力・加工 (第1・2回) 2. データの分類と抽出・グラフ作成 (第3・4回) 3. 統計分析 (第5・6回) 4. Adobe Illustratorによる地図作成 (第7～9回) 6. Adobe Photoshopによる写真データの加工 (第10～12回) 7. Microsoft Power Pointによるプレゼンテーション (第13～15回)
準備学習	毎回課題が出されるので、授業中に終わらなかった場合は、次の授業までに仕上げるよう努力する。
履修上の留意点	計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshop・Adobe Illustratorを使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作やMicrosoft Windowsの操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の実習も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。また、総合情報センターを利用するため、ユーザIDとパスワードを用意しておく必要がある。
成績評価の方法 教科書／テキスト その他	各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。 とくに指定しない。 教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

履修コード	040901
科目名	測量学
担当者名	たなか やすし 田中 靖

講義の到達目標(ねらい)	測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。さらに最近では旧来の「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントする技術と合わせて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。本講義では古典的な測量方法による地図作成法からGISによる地図作成法までを扱い、国家資格である測量士補を取得するのに必要な知識の習得を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回～第3回：測量法規と測量の数学 第4回～第5回：地球の姿 第6回～第8回：誤差論 第9回～第10回：地理座標 第11回～第12回：角測量 第13回～第14回：距離測量 第15回～第16回：水準測量 第17回～第18回：平板測量 第19回～第21回：GPS測量 第22回～第25回：空中写真測量・空中写真判読 第26回～第28回：航空機レーザー測量・GIS 第29回～第30回：まとめ・試験対策
履修上の留意点	この講義は、測量士補取得（国家試験免除）のための必修科目である。高校教科書レベルの数学（特に三角関数と確率・統計）をできるだけ復習しておくこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書 その他	定期試験（80％）＋提出課題の評価（20％） 包国・茶畑・平田『絵とき 測量』2,940円（税込）。オーム社出版局 丸安隆和『測量学（上）』3,255円（税込）『測量学（下）』3,360円（税込）。コロナ社 村井俊治『改訂版 空間情報工学』2,400円（税別）。日本測量協会 授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

履修コード	041001
科目名	現代地理学特論
担当者名	ひらい せきひろ 平井 幸弘

講義の到達目標(ねらい)

人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行、2007年には「第三次生物多様性国家戦略」が策定、そして2010年には「生物多様性条約」の第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開催されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の様々な環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

前期は主として日本国内の水辺(河川、海岸、湖沼)を対象として、(1)日本のラムサール条約登録湿地をめぐる課題と意義(2回~6回)、(2)日本の湖沼(霞ヶ浦、宍道湖・中海など)における自然再生への取り組み(7回~10回)、(3)日本の海岸(オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など)における近年の環境問題(11回~15回)。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1)タイ中央平原のチャオプラヤ川流域における洪水や地盤沈下問題(16回~19回)、(2)タイ南部のソクラー湖地域におけるエビ養殖やマングローブをめぐる問題(20回~23回)、(3)ベトナム北部の江河デルタにおける海岸浸食問題(24・25回)、(4)ベトナム中部フエのラグーン地域での海面上昇問題とラグーンの環境変化(26・27回)、(5)ベトナム南部のメコンデルタにおける環境問題(28・29回)、(6)アジアの水辺の環境問題のまとめ(30回)。

履修上の留意点
成績評価の方法

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。
出席とレポート及びその発表(パワーポイントを使つてのプレゼンテーション)。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書/テキスト
その他

とくに指定しない。
高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

地理

履修コード	041101
科目名	第四紀学
担当者名	すずき たけひこ 鈴木 毅彦

講義の到達目標(ねらい)

第四紀とは最近約260万年間(2009年度に、それまでの約180万年前から260万年前へと、第四紀の開始を古くすることが正式に決定された)の地質時代をさす。この時代は、地形、気候、動植物、人類などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容/
授業スケジュール

講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説、後半では日本列島の第四紀の主要な現象のうち、地形発達、火山活動、第四紀地殻変動などに焦点をあてる。(1-2)第四紀の概要と学際科学としての第四紀学の特徴、(3-4)氷期の認定に関する歴史、(5-7)大陸氷床の発達と海面変化からわかる氷期・間氷期サイクル、第四紀海面変化の復元(日本列島および関東地方を例として)、(8-9)海洋底堆積物、酸素同位体比変化から復元される氷期・間氷期サイクル、(10)地球上各域における第四紀の気候変化、(11-12)氷期・間氷期サイクルの原因とミランコビッチサイクル、(13)数値年代と放射年代測定およびその原理、(14-15)第四紀の古地磁気編年とレス編年、(16-21)第四紀のテフロクロノジー:火山噴火の多様性、原理、日本列島および関東地方における応用例、(22-24)第四紀の火山活動、(25-30)第四紀地殻変動、活断層、山地形成、人類の歴史

成績評価の方法
教科書/テキスト

主には前期末のレポートと後期末の筆記試験で評価する。追試験は実施しない。
教科書は特に指定しない

参 考 書

参考書として、日本第四紀学会編『デジタルブック 最新第四紀学』、町田ほか編『第四紀学』(朝倉書店)、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』(古今書院)、成瀬『第四紀学』(岩波書店)をあげる。それ以外は講義中に紹介する。

そ の 他

授業の方法:講義、なお時間等が許せば日帰りの野外巡検を行う予定である。

履修コード	041311
科目名	景観地理学
担当者名	須山 聡 <small>すやま さとし</small>

講義の到達目標(わらい) 前期は地理学の基礎的な概念である景観について、伝統的な景観論から人文主義的な視点までさまざまな観点を紹介することにより、景観を観察することによって地域や空間、場所の何がわかるかを講義する。また、後期は文化景観を構築する営力となる、人間の行動と知覚の空間的な視点と分析手法を講義する。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 地域概念 (キーワード: 地誌学、人文地理学、地域、等質地域、結節地域)
2. 景観の諸相1 (キーワード: 景観、自然景観、文化景観、集落景観)
3. 景観の諸相2 (キーワード: 江戸、風水思想、ディズニーランド、観光資源)
4. 景観の諸相3 (キーワード: 富士山、風景印、写真、読みの強要)
5. 人間の空間的行動 (キーワード: 時間地理学、Quality of Life、デイリーリズム)
6. 生きられる空間 (キーワード: 都市と高齢者、ジェンダーの地理学、差別と地理学)
7. 空間の認知 (キーワード: メンタルマップ、選好地図、アクションスペース)
8. 空間の評価 (キーワード: 都市のイメージ、空間構成の要素)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

論理的な文章表現力を養うため、毎回約400字程度のエッセイ、または要約文の作成を課する。
出席と試験で評価する。
指定しない。
配付資料などで随時紹介する。

地理

專 門 教 育 科 目

(4) 歷 史 學 科

履修コード	043311・043312
科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	熊本 史雄 <small>くまもと ふみお</small>

講義の到達目標(ねらい) 大学で歴史学を専攻していくうえで基礎となる、「歴史を読み解く作法」を学んでいく。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：1回 授業の進め方などについての説明／講読資料について
2回 「歴史学」とは？
3回 図書館ツアー〔予定〕(ビデオ鑑賞、文献の検索方法)
4回 歴史小説と歴史研究
5回 「史料」とは？ ～「史料」と「資料」の間～
6回 出来事と事実と真実
7回 史料批判の方法① ～「外的批判」とその方法～
8回 史料批判の方法② ～「内的批判」とその方法～
9回 科学と実証／道徳と主義／戦争問題を考える
10回 「工具書」について ～参考文献ガイダンス～
11回 研究対象の見つけ方・探し方～問題の所在と論点の提示方法～
12～14回 史料講読
15回 論文・レポートの書き方／レジュメの作り方

歴史

後期：夏期休暇中の課題(レポート)に基づく「ミニ発表」(レジュメを用いて)を全員で順番に行う。

履修上の留意点 歴史には「間」がある。「暗記する歴史」ではなく、「考える歴史」、「発見する歴史」を身につけるきっかけをつかんで欲しい。

成績評価の方法 夏期休暇中に課すレポートと後期の報告内容、さらには出席状況、授業態度を総合的に勘案して判断する。

教科書／テキスト とくに指定しない(教師側で準備する)。

参 考 書 適宜紹介する。

そ の 他 前期は講義形式で進め、後期は演習形式で行う。解説・補足説明などは随時織り交ぜていく。

履修コード	043411・043412
科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	小泉 雅弘 <small>こいずみ まさひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 歴史研究を行うための基礎的方法を習得するため、史料批判・史料解釈・史料操作について、具体的な例をあげながら学び、日本史研究の方法論を学習する。あわせて、社会における歴史学の活用について理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール (1)日本史研究入門、(2・3)図書館ガイダンス、(4)禅文化歴史博物館見学、(5)歴史研究のための手引—文献等の紹介—、(6)論文の調べ方、(7～17)論文講読、(18)絵画資料の活用、(19～28)地域文化財から歴史を探る、(29)国会図書館・史料保存機関の活用、(30)レポート提出

履修上の留意点 歴史資料は情報やデータと言い換えることが可能である。そのような資料を基にしてどのような結論を導き出していくのか。歴史研究を学ぶということは考え方を学ぶことであり、この点に留意して授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法 出席状況とレポートによって評価する。遅刻は減点。

教科書／テキスト 特になし。必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 小泉雅弘『下町の学芸員奮闘記—文化財行政と生涯学習の最前線—』(文芸社)1,400円。その他適宜紹介する。

履修コード	043541・043542
科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	湯浅 隆 <small>ゆあさ たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)

大学で学ぶことになる「歴史学」とは、いかなる学問であるのかを理解する。

歴史学を学ぶため、必要となる能力・知識の基礎を身につける。

講義の内容／
授業スケジュール

前期(1～2)ガイダンス(授業の履修、4年間の過ごし方)。(3～6)情報の検索(文献、図書館など)。(7～9)資料の読み方(時間をテーマに)。(10～12)歴史の捉え方Ⅰ(歴史像の移ろい)。(13～14)レポート執筆(講演、夏休みの課題)。(15)まとめ。

後期(16～20)異文化・多文化(外への眼差し)。(21～25)資料保存利用機関(文書館・博物館、保存科学)。(26～29)歴史の捉え方Ⅱ(歴史をみる眼)。(30)まとめ。

準備学習

前回までの内容を咀嚼しておくこと。

履修上の留意点

高校までの学習との差を意識すること。

成績評価の方法

学修への取り組み方の全てを合算する。

教科書／テキスト

プリントを配付する。

参考書

その都度以示す。

その他

あらゆる事象を注意深く観察すること。新聞を読み、テレビのニュースを見ること。

履修コード	043511・043512
科目名	東洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	中村 淳 <small>なかむら じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい)

4年間「東洋史学」という学問分野において学び、研究していく上で必要となる基本的な知識と技術を身につける。

講義の内容／
授業スケジュール

授業は、教員が基本事項等を説明する講義形式と、学生がそれに基づいて実際に作業を行なう演習形式との二本立てで進める。内容はおおむね以下の通りを予定している。

〔前期〕ガイダンス、図書館の利用法、インターネットと東洋史学、文献目録の作成、レポートの書き方

〔夏期〕レポートの作成

〔後期〕レポート講評、学術論文の輪読会、研究発表、アジアの地理、東洋史学史、史籍解題、最終レポートの作成

履修上の留意点

とにかくにも出席重視。4月1回目の授業から必ず出席すること。また随時、発表やレポート等を課す。

成績評価の方法

出席点に、研究発表等の平常点と、レポートの評価を加味して、総合的に判断する。

教科書／テキスト

教科書はとくに指定しない。必要な資料は配付する。

参考書

授業中に随時、参考書を紹介する。

その他

随時、図書館やパソコン教場を使用する。

履修コード	043521・043522
科目名	東洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	杉山 清彦 <small>すぎやま きよひこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

東洋史学とは「東洋」を対象とする「歴史学」である。では、「東洋」とは何か。「歴史学」とは一般にいう「歴史」と何が、どう違うのか。どのような方法でそれに取り組むのか、また先人はどう取り組んできたか。このようなことを念頭に、1年間をかけて、大学において「東洋史」を学びつつ自ら研究していくための基本的な知識と技術の修得をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

第1～5回:「歴史学」と「東洋史学」 第6～10回:史資料の検索・調査 第11～15回:歴史事項の調べ方 第16～20回:口頭発表とレジュメの技法 第21～25回:論文・レポートの書き方 第26～30回:東洋史学史・目録学

準備学習

研究に必要な基本的知識・技術の修得が目的であるので、準備よりも復習、すなわち演習内容を日々実践していくことを心がけるように。むろん、発表・レポートを課した場合は入念に準備して臨むこと。

履修上の留意点

講義を中心に進めつつ、受講生にも辞書を引く、文献を探すなど実際に作業を行ないその結果を報告してもらう。受講生には、積極的に参加する姿勢を求める。

今後4年間の基礎となる知識と技術の獲得が目的であるので、4月初回から必ず出席し、毎回出席を怠らないこと。欠席は原則として認めない。

成績評価の方法

出席点と平常点、および随時課すレポート・課題作業等を総合して評価する。研究方法の習得度と積極的な取り組み・発言とを重視する。

教科書／テキスト

特に指定しない。必要な資料は配布し、参考書等は適宜紹介する。

その他

図書館・PC教場・専門書店など学内外に出かけて実地学習することもある。

履修コード	055621・055622
科目名	西洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	<small>おおいし みちのり</small> 大城 道則

講義の到達目標(ねらい)

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。

講義の内容/
授業スケジュール

1年間を通じて、以下のような内容を扱う。

- a) 図書館の使い方
- b) インターネットの利用方法
- c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
- d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
- e) 授業での発表
- f) 外国語文献の購読

準備学習
履修上の留意点

遅刻は厳禁である。

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識の習得を目指す。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。

教科書は特に指定しない。

必要に応じて指示する。

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的作業を繰り返すことにより進行する。

歴史

履修コード	055631・055632
科目名	西洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	<small>ささき まこと</small> 佐々木 真

講義の到達目標(ねらい)

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。

講義の内容/
授業スケジュール

1年間を通じて、以下のような内容を扱う。

- a) 図書館の使い方
- b) インターネットの利用方法
- c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
- d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
- e) 授業での発表

具体的なスケジュールは以下の通り。

(1) ガイダンス(2-3) 図書館利用について(4-6) パソコンやインターネットの利用方法(7-9) 歴史学研究における情報収集(10) 個別報告について(11-30) 個別報告、この他6月末から7月の日曜日に博物館見学を予定している

準備学習
履修上の留意点

後期の報告に関しては、選択したテーマに関する文献を調べ、報告準備をすること。

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識を習得することを目的とする。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。

成績評価の方法
教科書/テキスト
その他

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。

教科書は特に指定しない。

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的作業を繰り返すことにより進行する。

履修コード	043531・043532
科目名	考古学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	設楽 博己

講義の到達目標(ねらい) 考古学の諸問題 標記のテーマにもとづいて、研究発表の方法と実際を学ぶ。研究発表に際しては、問題提起、学史の理解、適切な資料の提示、論理的な分析によって、結論を明快に述べる必要がある。そのためには、わかりやすいレジユメの作成、プレゼンテーションなど他人を納得させる客観的な技術を身につける必要がある。また、司会のしかたを学んだり、他人の発表を聞いて、質問をする癖を身につける。考古学は、発掘調査などにもとづく資料を丹念に分析して歴史を復元する実証的な学問である。発掘調査は日々おこなわれ、新たな資料が続々と現れるので、常に新しい情報に敏感になる必要があり、そうした力も養う。

講義の内容／授業スケジュール 最初は私が研究発表をおこなって、それに対する質疑応答をおこなう。連休明けから後期は、受講者が研究発表を行ない、討論する。発表は、『文化財発掘出土情報』の中から、好きな記事を選び、それについて調べておこなう。

履修上の留意点 講義中の私語は控えるように。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので、要注意。
成績評価の方法 発表及び中間レポートと、出席などによる評価。
参考書 図書館備え付けの『文化財発掘出土情報』。

歴史

履修コード	043601
科目名	史学概論
担当者名	佐々木 真

講義の到達目標(ねらい) 歴史学という学問的営みの特質、歴史学の対象とその範囲、歴史研究と叙述との関係などの解説を通じ、歴史学とはどのような学問かということを理解し、自身が歴史研究を行う場合の方法論を構築することを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール

全体を以下の3部で構成する。

1. 近代歴史学の成立と展開

19世紀における近代歴史学の誕生からはじめ、その後の歴史学の流れについて概説する。

- 1) ランケと近代歴史学の成立
- 2) ロマン主義と歴史観の変化
- 3) ヘーゲルとマルクス
- 4) 19世紀後半の実証主義
- 5) アナール学派から現代歴史学へ

2. 歴史学のいとなみ

上記の史学史を前提として歴史学とはどのような学問であるかを解説する。

- 1) 歴史学の対象
- 2) 歴史学研究の方法(史料批判)
- 3) 歴史学と歴史叙述
- 4) 歴史認識の主観性と客観性
- 5) 歴史法則に関する問題
- 6) 歴史における個別性と一般性

3. 現代歴史学の課題

現在歴史学は危機的状況にあるとも言われている。第3部では歴史学に対して現在行われている問題提起を紹介する。

- 1) 構造か事件か?
- 2) 歴史学の社会的有用性
- 3) 言語論的転回と歴史史料
- 4) 物語論と歴史学

準備学習

準備学習は特に必要ない。むしろ、講義の中で紹介する文献をなるべく多く読み、歴史学についての見識を広げてほしい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

抽象的な議論をする場合も多いので、講義をよく聴き、その場で理解するように努めること。

前期と後期に各1回ずつ実施する試験により評価する。

教科書は特に指定しない。

参考文献については、必要に応じて紹介する。

履修コード	043711・043712
科目名	日本史概説 日本史概説Ⅰ〔古代・中世〕
担当者名	松本 信道

講義の到達目標(ねらい)	日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) ガイダンス、(2)～(4) 原始時代の日本、(5)～(7) 倭王権の伸長、(8)～(12) 古代国家への歩み、(13)～(16) 古代国家の成立、(17)～(20)、律令国家の形成、(21)～(23) 律令国家の成熟と展開、(24)～(25) 古代の社会と文化、(26)～(27) 摂関政治の展開、(28) 摂関時代の外交と文化、(29) 地方支配の転換、(30) 院政の成立と展開
履修上の留意点 成績評価の方法 参 考 書	受動的でなく、主体的に学習してほしい。 前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。 『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館) 青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会) 笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会) 佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)
そ の 他	授業の方法は講義形式で進める。

歴史

履修コード	043911・043912
科目名	東洋史概説 東洋史概説Ⅰ〔古代・中世〕
担当者名	石井 仁

講義の到達目標(ねらい)	歴史教科としての「東洋史」は、近代日本におけるアジア・オリエント研究=東洋学を母胎としており、この学問・研究の成立と発展は、明治以来の日本の対アジア政策と密接にリンクしています。講義では、東洋史の生い立ちをたどりつつ、アジアの歴史を中国古代・中世史を柱に考察します。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期) (01～03) 東洋史とは何か (04～06) 中国文明の始まり (07～09) 秦漢帝国の成立 (10～12) 漢の武帝とその時代 (13～15) 補論 (後期) (16～18) 三国志の世界 (19～21) 東晋南朝の貴族制 (22～24) 五胡十六国から北魏へ (25～27) 隋唐帝国の成立 (28～30) 補論
履修上の留意点 成績評価の方法	講義を通して、歴史を学ぶことの意味を考えて欲しい。 前期レポート(40%)と学期末試験(60%)の成績を基準にしますが、出席状況を加味することもあります。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。 熊本崇編著『中国史概説』(白帝社)。このほか、講義で随時紹介します。 適宜、映像資料も使います。

履修コード	044111・044112
科目名	西洋史概説 西洋史概説Ⅰ〔古代・中世〕
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則

講義の到達目標(ねらい) 地中海世界を起源とするヨーロッパ史の流れの中で、幾つかの題材を採り上げ、その内容についての歴史学上の見解の変遷を解説する。それにより、歴史学の学問的特質や、現在を生きる我々と過去との関係について検討を加えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期)
(1)はじめに(2-10)古代地中海史(エジプト～ヘレニズム)(11-14)古代ローマ史
(15)試験

準備学習
履修上の留意点

(後期)
(16)前期試験の返却、講評(17-23)中世社会の評価について(24-30)近代社会の特質について
講義中必要であると感じた点などをノートを取るくせをつけておくこと。
週1回の講義で、具体的な事件を挙げつつヨーロッパ史全体の流れを述べることは不可能であり、講義では抽象的な解説が多くなる。そのため、ヨーロッパ史に関する具体的な歴史知識をある程度有していることを前提として講義をするので、高等学校の世界史程度の知識は自ら身につけておくこと。また、講義中に紹介された書籍をなるべく多く読むことを希望する。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他

成績は前期末の試験と学年末試験および出席により判定する。
教科書は特に指定しない。
参考書等は講義中に、必要に応じて紹介する。
授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布する。

歴史

履修コード	044301・044303
科目名	日本考古学概説 考古学概説Ⅰ〔日本〕
担当者名	さかい きよし 酒井 清治

講義の到達目標(ねらい) 日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらう。

講義の内容／
授業スケジュール

考古学の研究史、研究法および、遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、日本考古学を時代史的に概観する。(1～2)考古学とは何か、(4～6)考古学の研究史、(7～10)資料解釈の研究法、(11～14)年代論、(15～18)旧石器時代、(19～22)縄文時代、(23～26)弥生時代、(27～30)古墳時代。前期は授業の初めに最新発掘資料の写真・図を見ながら考古学の理解を深めてもらう。

準備学習

博物館や図書館で考古学資料を見ることにより、考古学の時代的特色を把握することができ、講義の内容を理解しやすいので実施して欲しい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

遅刻厳禁、私語厳禁。
定期試験とレポートで採点。平常点、出席状況も加味する。
教科書は特にないが、授業で逐次資料を配付する。
安蒜雅雄『考古学キーワード』(有斐閣)2100円 ISBN9784641058774
山岸良二『入門者のための考古学教室』(同成社)1900円 ISBN9784886213723C1021
鈴木公雄『考古学入門』(東大出版社)2940円 ISBN9784130230520

その他

そのほか授業中に解説しながら紹介する。
講義の中でOHPを使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

履修コード	044401・044403
科目名	外国考古学概説 考古学概説Ⅱ〔外国〕
担当者名	飯島 武次

講義の到達目標(ねらい)

「中国の考古学」について講義をおこなう。考古学専攻生として中国考古学の常識的知識を身につけてもらう。

これまでの中国考古学の学史的流れを把握し、各時代の様相を考古学の視点から見ていきたい。あつかう時代は、旧石器から新石器・青銅器時代、および秦・漢から隋・唐くらいまでを予定している。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は学芸員課程のための履修者もいることから、考古学の研究法から開始する(第1回)。その後中国考古学の歴史(第2,3回)、旧石器時代～青銅器時代(第4～10回)、夏・商・周(第11～15回)を予定している。

後期は北方系青銅器文化(第16～20回)、秦・漢(第21～24回)、魏晉から隋唐(第25～30回)を予定している。

必要に応じて、海外調査・学会動向などの情報にも触れる予定である。

準備学習

授業終了時に次回の授業内容を紹介するので、予習をしてくること。授業終了後はノートをまとめること。

履修上の留意点

授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。

成績評価の方法

学年末試験の成績によって判断する。合格は60点以上。

教科書／テキスト

特になし。

参考書

飯島武次、2003、『中国考古学概論』(同成社)。

その他の

授業は講義が中心となる。できるだけスライドや映像などを用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

歴史

履修コード	045301
科目名	日本史学史
担当者名	湯浅 隆

講義の到達目標(ねらい)

歴史の捉え方は、時代によって変わってきました。この科目では、江戸時代以前については主な史書をとおり、明治時代以降は歴史にたいする捉え方の変化をとおり、現在にいたる日本史認識の変遷を説いていきます。この講義をとおり、歴史学の現状を理解して下さい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期(1)記憶の保存と継承、(2)中国の正史、(3～4)8世紀以前の修史、(5～6)朝廷の修史事業、(7)古代における私撰の修史、(8～9)中世の史書とその背景、(10～14)近世における修史、(15)前期のまとめ。

後期(16～17)近代歴史学、(18～20)19世紀後半における歴史学界の諸潮流、(21～23)20世紀前半、唯物史観と皇国史観、(24～26)20世紀後半の日本史学、(27～29)現代の日本史学、(30)後期のまとめ。

準備学習

授業内容を記したプリントを事前に配付します。それをしっかり読んで、授業には復習・確認のつもりで臨んでください。

履修上の留意点

日本史学の変遷への理解は、自らの歴史像を構築していくための必須要件です。

この科目は、日本史学を専攻するための基礎科目と認識してください。

日本史学の変遷を、知識としてではなく理解として記憶するように心懸けてください。

成績評価の方法

いくつかの事項については、授業中に各自の理解を尋ねます。前期末および後期末には、論述試験をします。評価は、すべてを合算して算出します。

教科書／テキスト

特定のものを使用せず、プリントを配付します。

参考書

その都度、提示します。

その他の

授業は講義形式となります。

履修コード	045601
科目名	考古学史
担当者名	小柳 美樹 <small>こやなぎ よしき</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理構築の仕方、議論・論争の展開について学ぶ。また近年の考古学の発見が、研究史に照らし合わせれば、どのような意義を有しているのかも確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法論の確立等を構築するための一助となることを望む。

講義の内容／授業スケジュール 日本考古学の歩みを発見・発掘調査・研究者列伝・論争などを軸に論じる。

前期

- ①～③ 日本考古学のはじまり・江戸時代の考古学
- ④～⑥ 近代科学と考古学(大森貝塚の発掘・外国人の研究)
- ⑦～⑨ 明治時代の考古学(坪井正五郎・コロボックル論争)
- ⑩～⑫ 浜田耕作の考古学研究(京都大学の考古学研究)
- ⑬～⑮ 大正時代の考古学(鳥居龍藏など)

後期

- ①～③ 森本六爾と東京考古学会
- ④～⑧ 縄文時代研究史(山内清男など)
- ⑨～⑫ 小林行雄の考古学研究(弥生時代・古墳時代・鏡・邪馬台国)
- ⑬～⑮ 旧石器時代研究史(岩宿遺跡の発見・前期旧石器問題・捏造問題)

履修上の留意点 限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書を自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して復習して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。

成績評価の方法 学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。夏季休暇中にレポート作成を課す(提出によって学年末試験を受けることができる条件とする) 学年末の試験(筆記試験)が成績評価の大部分を占める。

教科書／テキスト 出席状況はあくまで参考程度。
参 考 書 なし(レジュメを準備し、授業時に配布している)
授業時に随時紹介していく

歴史

履修コード	056301・056303
科目名	日本史概説 日本史概説Ⅱ〔近世・近代〕
担当者名	野尻 かおる <small>のじり かおる</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、歴史学、考古学を始めとする人文科学の研究を志す学生、または将来教職につくことを希望する学生に対し、下記の事項を通して、歴史を研究すること、または日本史を教授することの意義を理解し、基礎的な知識を身に付けることが目的である。講義に当たっては、古文書・記録・編纂物・金石文等の史料を中心に考古資料、絵画資料、民俗資料等を使用して進める。また、近世・近代を研究するに当たって必須の課題である身分差別の歴史もあわせて指導する。

講義の内容／授業スケジュール 一、空間から見た近世近代〔都市とその近郊等を事例とする〕(1～6)、二、モノから見た近世近代〔石造物等を事例とする〕(7～12)、三、人から見た近世近代〔生と死等を事例とする〕(13～18)、四、絵画資料に現れた近世近代〔景観や習俗等を例に〕(19～24)、五、社会組織から見た近世近代〔祭礼・講等を事例に〕(25～30)

履修上の留意点 質問等の発言は歓迎するが私語は慎む事。

成績評価の方法 定期試験及び出席状況

教科書／テキスト 講義資料を配布する。

参 考 書 『日本史史料』〔3〕近世、2006年(岩波書店)、4、410円、ISBN 4-00-026138-X、『日本史史料』〔4〕近代、1997年(岩波書店)、4、200円、ISBN 4-00-026139-8、地方史研究協議会編『江戸・東京近郊の史的空間』2003年(雄山閣)、5、985円、ISBN 4-639-01825-8、メタ・アーケオロジー研究会『考古学リーダー3 近現代考古学の射程～今なぜ近現代を語るのか～』、2005年(六一書房)、ISBN4-947743-25-5、都市史研究会『年報 都市史研究』1～16、1993年～2006年、山川出版、3、880円、ISBN 4-634-61910-5他、斎藤洋一・大石慎三郎講談社現代新書『身分差別社会の真実-新書・江戸時代(2)』1995年、(講談社)、735円、ISBN978-4-06-149258-5

そ の 他 講義資料は原則として講義毎に配布する。前回欠席した分は用意しないので注意の事。

履修コード	056401・056403
科目名	日本史概説 日本史概説Ⅱ〔近世・近代〕
担当者名	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘

講義の到達目標(ねらい) 近世から近代の日本の歴史について概説する。その際、政治・社会・文化・経済・外交などの関連性を重視したい。

講義の内容／授業スケジュール 前期(1～15)では幕藩体制の成立から幕末期までを対象とし、近世国家の形成過程と解体について講義する。後期(16～30)では、明治維新を契機とする近代国民国家の成立、展開過程を取り扱う。

準備学習 授業中に紹介する文献を熟読すること。

履修上の留意点 歴史的事象を個別のものとして捉えるのではなく、広い視野で考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法 定期試験で評価し、出席状況を加味する。

参考書 講義内容にあわせて随時紹介する。

歴史

履修コード	056501・056503
科目名	世界史概説 東洋史概説Ⅱ〔近世・近代〕
担当者名	こばやし そういち 小林 惣八

講義の到達目標(ねらい) 当該科目は、教職科目と必修科目の二面性を持っている関係上専門的知識を要求しながらも基礎基本的な歴史の見方や考え方にも主眼を置く科目である。

「中国王朝史の終焉」に目標を設定し、1912年清朝宣統帝溥儀が退位するまでを中国側とヨーロッパ側両面から解き明かすことを狙いとする。

第1回：本講義の概要、第2回～3回：中国史概観、第4回～12回：中国王朝史の歩み、第13回～14回：ヨーロッパ古代史概観、第15回～16回：ヨーロッパ中世史概観、第17回～22回ヨーロッパ近代史概観、第23回～ヨーロッパ諸国のアジアへの進出。

講義終了後毎回レポート課題を課す。これは、課題処理によって歴史の歩みの前後関係をより的確に把握するためのものです。

「継続は力なり」根気強く取り組む姿勢を求める。

前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。

特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。

出席を重視する。

講義の内容／授業スケジュール

準備学習

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト

その他

履修コード	044201・044203
科目名	世界史概説 西洋史概説Ⅱ〔近世・近代〕
担当者名	井村 行子

講義の到達目標(ねらい) 西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい

授業を心がけたい

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1講 世界史とは何か
- 第2講 「古代オリエント」
- 第3講 古代ギリシア
- 第4講 アレクサンドロス遠征
- 第5講 古代ローマ
- 第6講 中世初期
- 第7講 中世盛期
- 第8講 中世末期
- 第9講 近世前半
- 第10講 近世後半
- 第11講 近世ヨーロッパの社会経済
- 第12講 近世ヨーロッパの社会経済
- 第13講 前期試験
- 第14講 二重革命の時代
- 第15講 自由主義の時代
- 第16講 諸国民の春
- 第17講 ヴィデオ「南北戦争」
- 第18講 帝国主義の時代
- 第19講 ラテンアメリカ
- 第20講 ヴィデオ「大量殺戮の完成」
- 第21講 第一次世界大戦
- 第22講 1920年代
- 第23講 1930年代
- 第24講 第二次世界大戦
- 第25講 冷戦の終結まで
- 第26講 冷戦の終結以後

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

前期・後期の筆記試験の成績と授業内にときどき行う小レポートを合わせて総合的に評価する
使用しない
近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社、1999)

歴史

履修コード	049011・049012
科目名	東洋史各説Ⅶ〔アジア諸民族史〕 東洋史学史
担当者名	<small>なら しゅういち</small> 奈良 修一

講義の到達目標(ねらい) 東南アジアという地域は、古来よりインド、中国の両文明に挟まれ交易により潤ってきている。それゆえ、農業中心の社会というより、交易中心の社会を形成しており、文化、価値観が農業中心の社会と大いに異なる。交易が中心の世界だけに、日本との歴史的関係は長いのだが、それにも関わらず、この地域に対する理解が深いとは言えないのが現状である。故に、この地域の歴史、文化を再確認したい。そのためには、単に歴史的な知識だけを入れるのではなく、歴史の流れと見方を学んでいきたい。

講義の内容／授業スケジュール 普通、東南アジア史というと、各国史の総合のような形で説かれることが多いが、近代的な国家概念では、前近代の国を理解することができない。それゆえ、世紀割りに歴史を見ていき、各王朝の変遷を追いながら、歴史の流れを把握していく方法をとる。また、歴史を研究する時に盲点になりやすい、文化、宗教、技術の点にも触れていく予定である。さらに、歴史という総合学を学ぶために、文明学、社会学の手法をも適宜使用する予定である。

歴史

(前期) (1) 東南アジアの定義、(2) 時代区分について、特に「近世」の説明

(3～13) 近世を中心とした世紀ごとの歴史

(後期) (14～22) 「近代」の特徴と19世紀の歴史、

(22～25) 20世紀の歴史、(26) まとめ

履修上の留意点 東南アジア史は各地の自発的な発展の歴史であると同時に東西交流の場として世界史的な動きの影響を色濃く受けている。それだけに、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。また、授業中には地図帳を持ってきてもらいたい。

成績評価の方法 成績は夏休みと年度末のレポートと、授業中に書いてもらう小レポートによって評価する。

参 考 書

石澤良昭、生田滋『世界の歴史13 東南アジアの伝統と発展』、中央公論社

石井米雄他『東南アジア史』全9巻、別巻1、岩波書店

そ の 他

単に知識を入れるだけの講義にしたくないので、活発な議論ができる授業にする予定である。

履修コード	051301・051302
科目名	西洋史各説Ⅳ 西洋史学史
担当者名	<small>しらかわ こういち</small> 白川 耕一

講義の到達目標(ねらい) テーマ：宗教とドイツ社会の変容（19世紀初めから20世紀末まで）
宗教は、内面的生活だけでなく、政治、文化、社会に大きな影響を及ぼしてきた。本講義は、近現代ドイツの経験（工業化、国民統一、世界大戦、民主化、独裁、東西分裂、社会の自由化）と、教会や信仰の在り方との関係を検討する。

講義の内容／授業スケジュール

(1) はじめに、(2～3) 19世紀前半の領邦国家と教会、(4) 民間信仰、(5) 教会と労働者問題、(6～7) ビスマルクによる文化闘争、政治的カトリシズム、(8～9) キリスト教会と反ユダヤ主義、(10～11) 第1次世界大戦と教会、(12～13) ヴァイマル共和国と教会、(14～15) 誰が祈っていたのか？－統計的資料から－、(16～17) ナチズムと教会、(18～19)、第2次大戦下の教会、(20～21) キリスト教政党的の再編、(22～23) 西ドイツ社会の自由化と教会、(24～25) 東ドイツにおける教会、(26～27) 1980年代の民主化運動と教会、(28～29) ドイツ・ユダヤ人の動向、(30) まとめ

準 備 学 習
成績評価の方法

ドイツ近現代史に関する概説書を1冊以上閱讀した上で、講義に出席することが望ましい。毎回出席をとる。前期末と学年末にそれぞれに筆記試験（あるいはレポート）を課し、その内容（70％）と出席点（30％）により成績評価を決定する。

教科書／テキスト
参 考 書

教科書は指定しない。

下田淳『ドイツ近世の理性と権力』（青木書店 2001年）

宮田光雄『十字架とハーケンクロイツ』（新教出版社 2000年）

Gerhard Besier, Kirche, Politik und Gesellschaft im 19. Jahrhundert, Muenchen 1998

Gerhard Besier, Kirche, Politik und Gesellschaft im 20. Jahrhundert, Muenchen 2000

履修コード	046201
科目名	考古発掘実習
担当者名	酒井 清治・飯島 武次

講義の到達目標(ねらい)	考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得と考古学に対する考え方を養うことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。文化財とは何か(1)、埋蔵文化財とは何か(2・3)、発掘調査とは(4～8)、発掘調査の方法(9～15)、発掘調査と文化財保護法(16～18)、整理作業と報告書作成技術(19～22)
準備学習	発掘調査で出土する遺物がどのような資料か時代かを判断することができるように、博物館を見学して考古資料を見ることを勧める。
履修上の留意点	夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後計画を作ること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。
	成績評価は出席点と平常点および発掘実習の態度と発掘日誌などを総合して判断する
	授業の中で資料を配付する。
	岩崎卓也他『考古学調査ハンドブック1 野外編』(雄山閣) 3150円
	通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う。予定では8月に日本で、9月に中国での発掘を行う予定であるが、場所は未定である。なお発掘は日本・中国どちらかの発掘を選択してもらおう。

歴史

履修コード	053401・053402
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	太田 尚宏

講義の到達目標(ねらい)	史料の解説・分析、関連資料・文献の調査、研究史の把握・批判的検討など、日本近世史(織豊政権～幕末期)を研究する上で基礎となる知識や技能の習得を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	近世史料は、そのほとんどが「くずし字」によって記されており、史料集などで活字化されているものは、ごくわずかである。日本近世史を研究する際には、「くずし字」を解説した上、内容を正確に理解することが必須の要件となる。
履修上の留意点	そこで、前期は「くずし字」で書かれた史料を講読し、古文書に対する読解力を深めるとともに、近世の政治・社会の様相について考察していく。講読は、受講者が分担して史料を解説し、関連資料や文献を調べて授業で発表・討議する形式をとる。後期は、各自が設定した研究テーマに沿って先行研究を調べ、到達点の確認や研究課題をまとめて授業で発表・討議する。なお、後期授業のための準備として夏期休暇中にレポートを課すので、前期のうちに各自の研究テーマを明確にしておくこと。
	(1)授業についてのガイダンス。(2)テキストに関する解説と解説部分の分担。(3～15)受講者によるテキスト購読と発表・質疑。(16)発表方法のガイダンスと発表順の決定。(17～30)研究発表と討議。
成績評価の方法	前期の史料購読にあたっては、分担部分以外についても必ず全員が予習してくること。また、前期・後期とも積極的に議論に参加すること。
教科書／テキスト 参 考 書	出席状況、発表内容、討議への参加度、受講態度、夏期レポートの内容をもとに総合的に評価する。定期試験は行わない。 教科書は使わない。前期のテキストについてはプリントを配布する。 適宜紹介する予定。

履修コード	053501・053502
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	ひろせ りょうこう 廣瀬 良弘

講義の到達目標(ねらい)

中世史料の講読を通じて、中世の文化、すなわち戦乱の世をしたたかに生きた人びとの生活・文化・宗教等について考えます。人びとのものの考え方、慣習、禪と能・禪と食文化・禪と庭園、主従の関係、男女の関係、人びとの信仰と神や仏などについても考えたいと思います。例えば、中世の村々の寺院は文字通り駆込み寺化しておりましたが、どのような人物が駆込んで身の安全を図ろうとしたのでしょうか。敗戦者・殺人犯・離縁希望者・逆心者(反逆者)・博徒など様々です。また、「女房の密懐」(不倫)にプライド高い男たちはどのように対応したのでしょうか。戦国大名は家臣同士が争うような「困った」問題にいかに対応しようとしたのでしょうか。史料に基づく事実の究明はとても興味深いものです。少し難しいが、すぐにおもしろくなる授業にしたいと思います。

講義の内容/
授業スケジュール

室町幕府法や戦国大名の分国法の中から不入・走入り(駆込)・無縁所・密懐(不倫)に関する文化・宗教・生活に関する法を読み説いて行きます(1~20)。

戦国時代に嫁ぐ者に対して、求められる「嫁」像を説く「幻庵覚書」、弾丸が飛び交った乱世を生き抜いた「おあむ」「おきく」の物語などを読み進める(21~30)。

履修上の留意点

最初は少し難しいが、すぐに興味深いものになります。探究心をもって史料に臨んでほしいと思います。

成績評価の方法

担当した史料に対する発表状況、他者の発表に対する質問等での積極的な参加などを考慮します。試験は行いません。

教科書/テキスト
参 考 書

随時、史料のコピーを配布します。

随時紹介してゆきますが、『くずし字解読辞典』(東京堂出版)2,200円などがあるとよいと思います。

歴史

履修コード	053601・053602
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	たきおと よしゆき 瀧音 能之

講義の到達目標(ねらい)

古代史料を受講者に割りあてて、それについての報告を通して古代史への理解および報告のやり方を学ぶことを目的とします。あわせて次年度の卒業論文作成の足がかりとすることもねらいとします。

講義の内容/
授業スケジュール

『日本書紀』をテキストにして、各人の報告を中心とした内容を考えています。

- (1) 『日本書紀』の内容について講義します
- (2~14) 各人もしくはグループによる割りあてられた部分の発表
- (15) 前期のまとめ
- (16) ビデオ教材による学習
- (17~29) 各人もしくはグループによる発表
- (30) 後期のまとめと次年度の卒業論文のテーマの仮報告

履修上の留意点

演習Ⅰは原則として、演習Ⅱへと連動していますので、古代史を卒業論文に選ぼうということを決めて履修するようにして下さい。

成績評価の方法

演習は、学生が報告などを通して、より主体となって展開していく授業形式ですので、報告の内容を重視します。それと同時に他者の報告をどれくらいよく聞き、それに対して意見を述べるができるかという点も重視します。その割合は報告の内容70パーセントに他者の報告への対応力30パーセントと考えて下さい。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

プリントを配布します。

瀧音能之『神々と古代史の謎を解く古事記と日本書紀』2005年刊(青春出版社)750円+税

自分の意見をしっかりと述べると共に他者の意見をききとりそれにコメントする熱意のある学生の参加を期待します。くれぐれも「おつや」のような場にしないようにして下さい。

履修コード	053701・053702
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘

講義の到達目標(ねらい) 幕末から明治期を対象とし、受講者が当該期の研究方法を習得することを目的とする。さらに、討論を通じて日本近代史に関する理解を深める。

講義の内容／授業スケジュール 前期(1～15)は、田中彰編『近代日本の軌跡Ⅰ 明治維新』と『日本の時代史』20～23の中から各自が興味のあるテーマを選び、概説発表を行う。後期(16～30)は、各自が『幕末維新新論集』全12巻や『展望 日本歴史』17～20などに掲載されている論文を講読し、担当者による報告、受講者全員による討論を行う。これらを通じて、卒業論文作成の準備としたい。

履修上の留意点 報告・討論での積極的な発言を期待する。

成績評価の方法 出席状況、発表・発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。

教科書／テキスト 該当資料をプリントして配布する。

参 考 書 適宜紹介する。

歴史

履修コード	053801・053802
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	ゆあさ たかし 湯浅 隆

講義の到達目標(ねらい) 日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマを中心とした演習となります。具体的なテーマに基づいて、先行する研究成果の整理、検討すべき課題の探索、史料に接し文言の解釈、歴史像の構築などを行っていきます。

講義の内容／授業スケジュール 前期(1～3)江戸時代社会のありようを復習します。(4～6)松代藩政史にかんする先行研究を検討します。(7～15)『日暮硯』を輪読しながら、江戸時代後半の社会のありようを大きく把握することをめざします。

準備学習 後期(16～22)江戸町方にかんする文献史料を活字本で輪読し、近世史研究の実際に触れていきます。(23～30)各自の卒業論文作成を念頭におき、課題の絞り込みを行います。

履修上の留意点 授業の内容を見据えて、質問を必ず準備してから臨むようにしてください。

成績評価の方法 『日暮硯』(岩波文庫)は4月授業開始前に入手し、78ページまでは読んでおいてください。

教科書／テキスト 授業中の発表・討論における発言に基づきます。

参 考 書 前期は『日暮硯』(岩波文庫)。後期はプリントを配付します。

そ の 他 その都度、提示します。

教場における授業に加えて、都内もしくは近郊へ実踏に出かけます。

履修コード	053901・053902
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	くまもと ふみお 熊本 史雄

講義の到達目標(ねらい) 昭和期を中心とする近代日本の政治と外交につき、配布史料や課題図書を読解、検証する作業を積み重ねることで、歴史像を自ら構築する力を養う。これら作業を、翌年に控えた卒業論文作成の準備に役立てたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、まず前半で、担当教員より①ゼミの運営方針と計画、②日本近代史を学ぶための基礎的事項の説明(公文書の読み方の指南など)、③「工具書」、④図書館の利用方法、⑤レジュメの作り方などにつき説明する。後半では、『日本の時代史』(吉川弘文館)の近現代史相当分(第21～26巻)から、報告者が各自で希望する論文(1本)を選んで報告する。

履修上の留意点 後期は、各自が興味をもつテーマにもとづき、当該分野の先行研究(論文3本)を読み、レジュメ(論点を独自に設け史料に基づきながら)を作成のうえ報告する。

成績評価の方法 配布史料や課題図書の参照指定箇所には、必ず事前に目を通すように。授業冒頭には、配付史料・図書に対する感想や問題点、疑問などを、「1分間コメント」として参加者全員に手短かに述べてもらう。

教科書／テキスト 出席、報告内容、授業態度などを基に総合的に判断する。

参 考 書 適宜史料を配布する。

適宜紹介する。

履修コード	054001・054002
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	久保田 昌希

講義の到達目標(ねらい) 本講座は、特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者(発表者)自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を目的としている。積極的に取り組んでほしい。

講義の内容/
授業スケジュール 本講座では数年来、戦国大名とくに東国戦国大名(今川・武田・北条・上杉氏)の史料を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、内容も多岐にわたり、しかも研究史としての蓄積も比較的多いからである。発表者には一点の文書を中心に、関連史料や関連論文を通して、できるだけ調べてくることを課している。この過程は来るべき卒論への準備段階として、大きな意味をもつであろう。

履修上の留意点 年間を通して、毎時間受講者による発表と討論が基本となる。順番を決めそれに従っての発表となる。(1・2)ガイダンス、(3～30)発表ならびに討論

成績評価の方法 留意点は上述の「講義の内容」項目と重なる。なお場合により補講を実施する。

教科書/テキスト 定期試験は行わない。発表等の内容、提出レポート、出席状況などによる。

翻刻史料として『東国戦国大名文書』を作成配布する。これが年間を通して基本的なテキストとなる。

参 考 書 適宜紹介する。大いに図書館を利用してほしい。

歴史

履修コード	054701・054702
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	松本 信道

講義の到達目標(ねらい) 日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール 前期の(1)～(15)回は、『日本後記』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期の(16)～(30)回は、卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点 受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法 平常点と出席点の総合で行う。

教科書/テキスト 当該部分をコピーして配布します。

参 考 書 『新字源』(角川書店)

そ の 他 授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

履修コード	054101・054102
科目名	東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	中村 淳

講義の到達目標(ねらい) 清の趙翼が著した『二十二史劄記』の宋・遼・金・元の部分を中心に講読する。ねらいは、漢文読解能力の養成と、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけを見いだしてもらうことにある。

講義の内容/
授業スケジュール 具体的にどの箇所を読むかについては、受講者の希望する研究テーマを勘案して、授業開始時に指示したい。

少なくとも1ヶ月以上前に担当者を決める。担当者は、担当日までの間に、担当部分の書き下し・日本語訳、関連データの収集・分析をする。当日は、作業結果を整理したレジメに基づいて報告をしてもらう。

また夏期休業期間中には、研究テーマに関するレポートを作成してもらおう。後期には、レポートに基づく発表をしてもらう機会を設ける。

履修上の留意点 出席重視。初回から必ず出席すること。また自分以外のゼミ生が担当する箇所の漢文も、本文については書き下しをして、文意について考えてくることを求めます。

成績評価の方法 出席点と平常点にレポートの評価を加味し、総合的に評価する。

教科書/テキスト 必要な史料はプリントで配布。

履修コード	054201・054202
科目名	東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	杉山 清彦

講義の到達目標(ねらい) 研究文献・漢文史料の講読を通して、史資料の読解力・扱い方を身につけるとともに、近世・近代の中国史・内陸アジア史の基礎知識を獲得することをめざす。

講義の内容／授業スケジュール ユーラシア東方の近世・近代史に関する秀れた研究論文を取り上げ、構成・論理展開を丹念に追いつながら、漢文史料はじめ引用されている史料・先行研究を確認していく。受講者各自で精読してくとともに、輪番で担当を決めて引用史料・関連事項等に関するレジュメを作成・報告してもらう。最終的には、それらの訓練を通して習得した研究能力を活かして、各自に研究発表を課す。
第1回：ガイダンス 第2～14回：講読 第15回：予備日 第16～27回：講読 第28～30回：研究発表

履修上の留意点 演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。

成績評価の方法 出席状況を含む平常点とレポート・研究発表により評価する。

教科書／テキスト 講読テキストはそのつど指示する。参考書、工具書は適宜紹介する。

その他 講読テキストは受講者の関心・希望分野を勘案して選定し、なるべく幅広い分野の研究成果を学べるよう配慮する。

歴史

履修コード	054211・054212
科目名	東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	石井 仁

講義の到達目標(ねらい) 中国古代・中世史研究の基礎知識を修得し、卒業研究の出発点とすることをめざします。前期の前半では、三国時代史研究を例にとりながら、正史をはじめとする文献史料の使い方、あるいは関連する研究論文・著書などの調査・収集方法などを中心に、解説します。これをもとに、前期の後半と後期では、受講生が各自の興味関心に沿いつつ、主として研究論文を素材に、調査・研究内容を輪番で報告します。

講義の内容／授業スケジュール (前期) (01) ガイダンス (02～10) 中国史研究の基礎知識 (11～15) 研究発表・討論 (後期) (16～28) 研究発表・討論 (29～30) 補論

履修上の留意点 予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

成績評価の方法 出席状況(研究発表も含む)をもとに評価します。

教科書／テキスト 渡邊義浩著・三国志学会監修『三国志研究入門』(日外アソシエーツ、2007年)。このほか、研究発表で取りあげる論著、および補足資料をプリントして配付します。

参 考 書 随時紹介します。

履修コード	054301・054302
科目名	西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	佐々木 真

講義の到達目標(ねらい) 西洋近代史を対象として卒業論文を書こうとする学生のための演習。授業での個別報告を通じて、資料を収集する能力や論理的に物事を考察する力を養い、次年度の卒業論文執筆に必要な能力の獲得をめざす

講義の内容／授業スケジュール 前半は、西洋近代史に関する統一テーマを設定し、そのテーマに沿った報告を行うことを中心とする。後半には次年度に執筆する卒業論文のテーマに関する報告を行う。前半のテーマについては、授業開始時に話し合って決定する。スケジュールは以下の通り。
(1) ガイダンス (2-3) 図書館ガイダンス (3-4) 文献の調査などについて (5) 統一テーマの概論 (6-18) 個別報告 (19) 卒論について (20-30) 卒業論文構想の報告

準備学習 前半のテーマ報告に関しては、選択したテーマに関する文献を収集し、報告内容をまとめること。後半の卒業論文に関する報告でも、選択したテーマの文献収集とその講読が不可欠となる。

履修上の留意点 自分の報告をきちんと行うのは当然だが、他人の報告もよく聞き、討論に積極的に参加すること。成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。授業に主体的に参加することが重要なので、欠席は原則として認めない。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参 考 書 必要に応じて一覧を配付する。

履修コード	054401・054402
科目名	西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	<small>みせじま まさよし</small> 伏島 正義

講義の到達目標(ねらい)	まず第1に、当該演習Ⅰは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマを具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。
講義の内容／授業スケジュール	まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努めることを原則、前提とする。前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語、仏語、英語のいずれかで書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマに関する研究の成果を発表し、受講生は相互に質疑応答する。
履修上の留意点	卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集、さらにその解読には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。
成績評価の方法	演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。出席の回数及び研究レポートの提出により、決める。
教科書／テキスト	共通するテーマ及びテキストは受講生と相談し、決める。
参考書	必要に応じて随時指摘する。

歴史

履修コード	054711・054712
科目名	西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	<small>おおしろ みちのり</small> 大城 道則

講義の到達目標(ねらい)	最終目標である卒業論文作成の準備のために、文献の読み方、資料の集め方と扱い方を学ぶのが講義のねらいである。
講義の内容／授業スケジュール	①卒業論文作成の手始めとして、西洋古代史に関する文献史料の集め方を知る。 ②各自が決定した卒業論文(仮題)作成のために必要な文献を収集し、その内容紹介を行う。 ③後期には、各自が選んだ卒業論文のテーマについての発表・報告を行い、意見交換を行う。 毎回出席を求める。自分以外の発表者の発表の仕方から学んで欲しい。
準備学習	まずは演習に参加し、他の学生の考え方・発表の仕方などを知ることが重要である。
履修上の留意点	講義に対する取り組み姿勢(個々人の発表内容と他の生徒の発表に対する質問など)と出席率により評価する。
成績評価の方法	指定しない。
教科書／テキスト	必要があれば適時紹介する。
参考書	前期・後期にそれぞれ行う発表・報告は1コマに2～3人を予定している。
その他	

履修コード	054501・054502
科目名	考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	<small>さかい きよじ</small> 酒井 清治

講義の到達目標(ねらい)	将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集法、執筆の方法、考古学の考え方を学ぶ。また、論文作成の基礎知識を養う。そこから何をどのように研究するか自ら探し出していけるよう指導する。
講義の内容／授業スケジュール	いくつかの日本考古学の論文や書籍の中から自分の興味ある題材を選択し、発表要旨を作成して発表してもらう。その中から発表の仕方、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、発表の内容などについて全員で論議する。発表した内容を考慮して卒論の題材を想定したテーマで研究レポートを書いてもらう。博物館等で実物資料を見ながら講義し、研究テーマを絞るよう指導する。
準備学習	考古学に対する興味を深めるために考古学資料を見ること。興味ある分野の文献集成を行い、その中からいくつかを取り上げ、何度も読み返して興味深め、論文の構成を勉強してほしい。
履修上の留意点	受講生はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。また関連する遺物・遺跡を自ら積極的に見学することを心がけること。
成績評価の方法	研究レポート、発表要旨、報告者へのコメント、出席状況。特に授業で発表者に質問した回数は重視する。また最後に自分が興味を持って、将来卒業論文を書こうとする分野の論文集成を提出してもらう。
教科書／テキスト	研究する上に必要な論文等は授業の中で指摘する
参考書	論文掲載の引用文献
その他	授業はゼミ形式で

履修コード	054601・054602
科目名	考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	飯島 武次

講義の到達目標(ねらい) 中国考古学に関する原書講読(中国語文献)を通して、中国語による中国考古学の学習方法を身につけることを「ねらい」とする。中国語の考古学基礎用語・遺跡名・遺構名称を確認しながら、それを今後の調査研究・発掘調査に活かしてもらう。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期
- ① 基本講義 - 中国の人文地理
 - ② 基本講義 - 中国考古学史1
 - ③ 基本講義 - 中国考古学史2
 - ④ 担当教員による中文講読
 - ⑤～⑯ 学生による基本講読 中文原書の読み方

後期

- ①～⑭ 学生による講読 中文原書からの発表
中国社会科学院考古研究所、『中国考古学 両周巻』(2004年)の中文講読を行う。講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要があり、遺跡分布図などの図版作成の必要もある。
- ⑮ 総括

準備学習
履修上の留意点

予習を行い講読箇所を表音文字(拼音字母)を必ず調べておくこと。
発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと
状況によっては、成績評価に大きく影響することを書き添えておく。

成績評価の方法

出席状況(発言回数など積極的な参加状況を重視する)
発表内容(発表の創意工夫、原書内容の理解度など)

教科書/テキスト

講読テキストはコピーして配布する(要実費)。

『中国考古学 両周巻』2004年

購入する必要はないが、図書館等で現物を確認すること。テキスト以外の必要箇所等は複写して入手すること(適時指示する)

参 考 書

授業時に指示する

そ の 他

中国考古学で卒業論文を予定している学生は必ず履修すること。
基礎的な中国語能力を有していることが望ましい。

履修コード	054611・054612
科目名	考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	杉山 浩平

講義の到達目標(ねらい) 本授業は次年度に卒業論文を執筆する学生を対象として考古学の基本的な方法論を学び、自らの卒業論文の研究テーマを設定することを目的とする。授業では、主に旧石器時代から弥生時代までを扱う。

講義の内容/
授業スケジュール

前期は文献の利用方法をまず解説する。その後、主に型式論などの考古学の基礎的な論文を読み、研究・分析方法を学ぶ。後期は各自の関心のあるテーマに関して、各自で論文を収集・熟読し研究史をまとめる。(原稿用紙20枚程度の期末レポートを課す)
受講生は前期・後期の授業において論文の論理展開・要旨等についてレジメを作成したうえで発表し、質疑応答を行う。

履修上の留意点

授業は演習形式とし、発表内容次第では時間を延長しておこなうこともある。3年生の段階で研究史をまとめることは翌年度の卒業論文の基礎となるのでめげずに書くこと。

成績評価の方法

出席状況・発表内容・期末レポート(各自の卒論テーマの研究史:原稿用紙20枚程度)

そ の 他

受講生の状況により授業内容を変更することもあるので、最初の授業には必ず出席すること。

履修コード	054801・054802
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	桜井 昭男

講義の到達目標(ねらい)

卒業論文の作成を目的とする。受講者各自が立てた計画に従って史料を収集し、史料を解釈し、論述する作業を進めるとともに、お互いの報告とそれに関する討論を通して卒業論文の完成をめざす。

講義の内容／
授業スケジュール

授業は受講者による卒業論文についての報告と質疑応答を中心に進めていく。
(1) ガイダンス、受講者の発表順の決定。(2～7) 卒業論文のテーマや論文構成などについての指導。(8～15) 卒業論文中間発表Ⅰ。(16～23) 卒業論文中間発表Ⅱ。(24～30) 卒業論文執筆に関する指導。

履修上の留意点

本講座は日本近世史を対象とする。卒業論文は大学生活の集大成であるので、真摯な取り組みを期待する。

成績評価の方法
教科書／テキスト
その他

授業での発表と質疑応答、出席状況をあわせて総合的に評価する。試験はおこなわない。
教科書はなし
卒業論文作成の過程で、ゼミ合宿なども受講者と相談し実施を考えたい。

歴史

履修コード	054901・054902
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	廣瀬 良弘

講義の到達目標(ねらい)

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざします。

講義の内容／
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒業の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の購読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていきます。授業のスケジュールとしては、卒業論文のテーマの提示(1・2)(4月～)研究史の整理(3～6)(5月～)卒論論題の確定(7・8)(6月11日論題提出)研究史の整理と参考文献の検討(9～10)中心的史料等の分析と論点の明確化(11～13)卒論の章立に関する作業(14～15)卒論の概要に関する発表(16～18)(9月～)中間報告(19・20)卒論作成に関する技術的なアドバイス(21)最終報告(22・23)下書の提示に基づく指導と添削(24・25)清書・完成・提出(26～28)(12月10日提出)卒論をふりかえるの順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導という形式で進めていきます。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価します。
各自の卒論のテーマに応じて随時示していきます。
随時、示していきます。

履修コード	055001・055002
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	たきおと よしゆき 滝音 能之

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の作成を目的とします。各人の卒業論文のテーマに基づいた報告を中心にして、あわせて発表・討論の方法の習得をはかります。

講義の内容／授業スケジュール 各々の受講生の卒業論文を素材にして、順次報告をおこなってもらい、古代史の諸テーマへの理解を深めるようにします。

- (1) ガイダンス
- (2～4) 報告形式による各人の卒業論文の題目の決定
- (5～14) 各人の卒論の章立てをめぐる報告
- (15) 前期のまとめ
- (16～20) 各人の卒論の目次についての報告
- (21～30) 各人の卒論の「はじめに」についての報告

履修上の留意点 卒業論文の作成過程を素材とした演習をおこないますので、古代史の卒業論文を書く学生が履修して下さい。なお、全員の卒業論文は、ゼミ卒業論文集として1冊にまとめて卒業式に各人に配布する予定です。

成績評価の方法 各人の報告内容を重視します。それに他者の報告をどれくらいよく聞き、それに対してコメントを述べることができるかという点も重視します。その割合は、報告の内容70パーセントに他者の報告への対応力30パーセントと考えて下さい。

教科書／テキスト 各人ごとに対応します。

参 考 書 各人ごとに指導します。

そ の 他 最後まであきらめないで努力する学生の参加を期待します。

歴史

履修コード	055101・055102
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文作成の指導を通じ、幕末～明治期における諸問題について検討する。

講義の内容／授業スケジュール 受講者各自が研究テーマに基づいた発表を行う。前期(1～15)は研究史の整理や史料紹介、後期(16～30)は卒業論文の内容を踏まえて発表し、受講者全員で討論を行う。

履修上の留意点 卒業論文でオリジナルかつ説得力のある論文を書くということは、社会に出て必要とされる能力を身につけることである。常に問題意識を持つこと。

成績評価の方法 出席状況、発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。

教科書／テキスト 指定しない。

参 考 書 適宜紹介する。

履修コード	055201・055202
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	つみあき たかし 湯浅 隆

講義の到達目標(ねらい) 日本近世史のうち都市・文化・宗教などをテーマとしてで卒業論文を作成しようとする学生を、主たる対象とした演習となります。

講義の内容／授業スケジュール 卒業論文を、大学4年間の生活が凝縮するものと捉え、それへむかってオリジナルの作品を悔いなく創りあげていくことをめざします。

各構成員は、以下の内容について研究発表をおこない、意見交換をとおして卒業論文の作成をおこなうものとします。

前期(1～6) 卒業論文のテーマを確定し、先行する研究を把握します。(7～15) 論点を明確にしたうえで、論文構成の章立てを確定させていきます。

後期(16～25) 発表をとおし、内容に関する個々の論証を史料に基づいておこない、論文の精度を確たるものとしていきます。(26～30) それぞれの卒業論文の合評をおこないます。

準備学習 毎回の発表内容を想定し、有益な助言・発言ができるように心がけてください。

履修上の留意点 自己の卒業論文のみならず、ゼミ構成員全員のテーマ・方法に関心をもつことが必要です。

成績評価の方法 授業中の研究発表、討論時における発言に基づいて行います。

履修コード	055301・055302
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	<small>くまもと ふみお</small> 熊本 史雄

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文作成の指導を主として行う。
3年時の「演習Ⅰ」に引き続き、各自で卒論テーマを決め、レジュメ報告を行う。
前期は、章構成を提示した上で、報告する。
後期は、節構成を提示した上で、報告する。
これらを報告を通じて、討論するとともに、卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容／
授業スケジュール 前期の前半は上記についての解説と先行研究の確認を行う。前期の後半より後期にかけて、受講生各自が報告を行い、それに基づき参加者全員で討論を行う。
履修上の留意点 各自の選んだ研究テーマに真摯に取り組んで欲しい。
成績評価の方法 報告、授業態度などを基に総合的に判断する。

履修コード	055401・055402
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	<small>くはた まさき</small> 久保田 昌希

講義の到達目標(ねらい) 本講座では、卒業論文作成にむけての指導を目的とする。中心は受講者各自の卒論テーマにもとづく発表で、討論を受講者相互で積み重ねつつ、各自が卒論内容の充実と発表・討論の「力」をそなえる「場」としたい。この過程で論題の検討・研究史の整理・研究視点の設定・史料収集・史料の検討と分析・論文叙述など、一つ一つの段階を辿ることになる。卒業論文の有意義な結実を期待する。

講義の内容／
授業スケジュール (1) 卒論作成へのガイダンス、(2～4) 卒論テーマの検討、(5～9) 研究史の整理と関連史料の検討・論点の提示、(10) 卒論論題の決定、(11～15) 章節構成の内容検討、(16～20) 卒論作成の進捗による内容発表Ⅰ、(21～22) 章節構成の再検討、(23～25) 卒論作成の進捗による内容発表Ⅱ、(26) 卒論叙述への技術的な指導、(27～29) 卒論の添削から完成・提出、(30) 卒業論文を書き終えたのガイダンス

準備学習 卒業論文執筆・提出に向けて、研究関心を高めておく。そのためには、日頃から関連論文を集めつつ、学ぶことや、関連資料の収集・分析など、自身で対応につとめてほしい。その成果は発表に現れる。頑張ってもらいたい。

履修上の留意点 卒業論文は、本学科に学んだ結果の最たるものでもある。大いに尽力してほしい。
成績評価の方法 定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などを基本に、卒論作成への取り組み過程も見守っていく。

教科書／テキスト 各自のテーマによって異なる。不明な点については適宜紹介する。
参 考 書 同上
そ の 他 講座の時間以外でも、必要に応じて指導を実施する。

履修コード	056201・056202
科目名	日本史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	<small>まつもと のぶみち</small> 松本 信道

講義の到達目標(ねらい) 日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容／
授業スケジュール 前期の(1)～(15)回は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。
後期の(16)～(30)回は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。

履修上の留意点 受講生は必ず予習をして出席すること。
成績評価の方法 平常点と出席点の総合で行う。

教科書／テキスト 『令義解』の当該部分をコピーして配布します。
そ の 他 授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

歴史

履修コード	055501・055502
科目名	東洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	中村 淳 <small>なかもら じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい) 主に中世のアジア史を対象とする卒業論文に関する指導をする。並行して文献講読を行ないたい。

講義の内容／
授業スケジュール 卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。前期に卒論のテーマとその研究史に関する発表を1回、夏休み前に中間発表として1回、後期に構想発表を1回行い、10月から11月にかけて内容報告を数回予定している。具体的なスケジュールについては、最初の講義の際に受講生と相談しながら決める。

履修上の留意点 出席重視。

成績評価の方法 出席点と平常点を総合して評価する。

教科書／テキスト 必要な史料はプリントで配布。

歴史

履修コード	055601・055602
科目名	東洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	杉山 清彦 <small>すぎやま きよひこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文、とくにアジア諸地域の近世～近現代史を扱う卒業論文の作成を指導する。大学での4年間の学業の集大成である卒業論文とは、自分の問題意識と興味関心に基づいてテーマを設定し(問題設定)、それを解くための史資料を収集・検討し(史料読解・批判)、自分の検討結果・見解を論理的に他者に提示する(構想報告・論文執筆)という一連の過程である。受講生各人がこの過程を体験し、かつ朋輩の報告・討論に参加することによって、問題発見・解決の力とプレゼンテーションの力を養うことを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール 卒業論文へ向けての構想発表とそれに対する討論・指導を主として進め、受講生は輪番で研究報告する。並行して東アジアの近世～近代史に関する秀れた研究論文を講読し、その過程において、史資料の調査・収集・読解の方法や論文の構想・執筆法を実地に指導する。具体的スケジュールについては、開講後受講者の人数・テーマを勘案して相談する。

第1回：ガイダンス 第2～15回：研究法指導・文献講読・研究発表 第16～29回：研究法指導・研究発表 第30回：予備日

履修上の留意点 演習であるので、毎回の出席はもちろん、発表・討論への積極的参加姿勢が求められる。

成績評価の方法 出席状況を含む平常点による。

その他 卒業論文作成に関しては、演習の时限に関わりなく指導するので、積極的に質問・相談されたい。

履修コード	055611・055612
科目名	東洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	石井 仁 <small>いしい ひとし</small>

講義の到達目標(ねらい) 東洋史に関する卒業論文の作成を指導します。研究テーマの設定から、参考文献や基本史料の調査・収集・解読、具体的な論文執筆の方法・手順に至るまで、全般的にバックアップします。前期では、各自の問題関心にかかわる基本的な研究、ないしは注目する研究について調査し、輪番で報告します。そのうえで、これまでの研究の問題点や精査を要する事項などをチェックしつつ、研究テーマをしぼりこみ、論文作成の手順を確認します。後期では、できるだけ早い時期に、各自の研究テーマを輪番で中間報告し、作業手順を再確認します。進捗度によっては、作業手順(あるいはテーマ自体)の補足・修正などについてもアドバイスします。ただし、受講者が極端に少ない場合には、前期・後期とも個別指導をおこないます。

講義の内容／
授業スケジュール (前期) (01) ガイダンス
(02～15) 研究発表・討論
(後期) (16～27) 研究発表・討論
(28～30) 個別指導

履修上の留意点 講義時間外も、可能なかぎり、相談に応じて個別指導します。「自分の研究なのだ」という自覚をもち、一生に一度の卒業論文の執筆に情熱を傾けましょう。

成績評価の方法 出席状況(研究発表も含む)をもとに評価します。

履修コード	055701・055702
科目名	西洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	佐々木 真 ^{ささき まこと}

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の報告を中心として授業を進め、レベルの高い卒業論文を完成させることを目標とする。

講義の内容／
授業スケジュール 前期に1回、後期に1回それぞれ卒業論文の内容についての報告を行う。

準備学習 (1) ガイダンス (2-30) 個別報告
前後期の報告に際しては、文献の収集とその解説、論理的な報告内容の作成などを確実に行うこと。

成績評価の方法 成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件ではないことに留意すること。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 特に指定しない。

履修コード	055801・055802
科目名	西洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	伏島 正義 ^{ふせじま まさよし}

講義の到達目標(ねらい) 演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容／
授業スケジュール 演習Ⅰの段階で読むことのできなかった文献の入手と解説に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。
これに並行して各人が進めてきた研究の進捗状況、成果を順次発表する。受講生は相互に質疑応答し、研究の改善を目指す。

履修上の留意点 上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職しようとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なお、演習に出席することは当然であるが、万一就職活動その他の理由により欠席する場合は、必ずその理由を報告していただきたい。

成績評価の方法 演習にいかに関心を持って参加しているかが基本的な基準である。出席の回数及び卒論のテーマに関する研究発表により評価する。

教科書／テキスト テキストは受講生と相談する。

その他 他人(教師)による評価にとどまるのではなく、自身にとっても、大学生活の、最後にして最大の、忘れ難い記念碑となるような卒業論文を作成すべく、心がけてください。自身が心をこめて自身におくった贈り物ほど、いとおしく、尊いものはない。

履修コード	056211・056212
科目名	西洋史学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	大城 道則 ^{おおいし みちのり}

講義の到達目標(ねらい) 演習Ⅰで行った基礎作業を踏まえ、最終目標である卒業論文の完成に向けての指導を行う。

講義の内容／
授業スケジュール 前期は各自がそれぞれ選んだ外国語文献を読み、その内容について講義中に紹介を行う。後期は各自が準備を進めている卒業論文のテーマについての発表を行う。その際に準備状況についての最終的な確認を行う。

履修上の留意点 就職活動を優先することはいたしかたないが、発表者は必ず欠席しないこと。あるいは事前に伝えること。

成績評価の方法 各自の発表内容と授業への積極的な参加・出席(率70%以上)を重視する。

教科書／テキスト 教科書は無いが、発表者各自がレジュメを作成し、それをコピーし配布する。

参考書 必要があれば適時紹介する。

その他 発表・報告は1時間(90分)に2～3人(前期)、4～5人(後期)を予定している。

歴史

履修コード	055901・055902
科目名	考古学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	酒井 清治

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文は4年間の学習の集大成と考へ、論文をどのように書いて行くのかを指導する

講義の内容／
授業スケジュール 最初の2週は論文の書き方について説明する。その後、自分のテーマと関連ある主要論文を読み込み、研究の方向性を決め、テーマに沿った卒業論文の構成作りを行うために、各自のテーマに基づいた研究発表を行い、皆で議論しながら論文としてまとめられるよう指導する。また、博物館・教育委員会などで実物資料を見ながら研究テーマを深めるよう指導する。

準備学習 考古学は実証に基づく学問であるので、現地に行き、実物を見ることにより理解が深まる。また、自分が目指す研究方向に参考となる文献を見つけ、熟読してほしい。

履修上の留意点 発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。また、個人指導もするので、積極的に研究室へ訪ねてほしい。

成績評価の方法 発表要旨の作成と発表の内容を重視する。また、卒論の進行状況を把握するためにも出席および、授業で発表者に質問した回数も重視するので積極的に議論に参加してほしい。

参考書 授業の中で紹介する。

その他 授業はゼミ形式。

歴史

履修コード	056001・056002
科目名	考古学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	飯島 武次

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の提出を到達目標とする。学術論文は、一定のルールによって作成されており、卒業論文においてもその様式が求められる。卒業論文作成のための研究の進め方や、論文の書き方などを指導する。また、履修者の発表を行うことにより、各人のテーマに沿った卒業論文の進め方も指導していく。

講義の内容／
授業スケジュール 卒業論文の研究手法の指導を行う。また、論文作成のためのノウハウや、論文の形式、章立てのやり方なども指導していきたい。

履修者は、卒業論文の進捗状況に合わせ、研究発表を行う。

前期 ①～③ 講義 卒業論文の書き方。
④～⑯ 学生による研究発表

後期 ①～⑭ 学生による研究発表
⑮ 卒業論文口述試験の説明

準備学習 発表者は発表配布資料を作成してくること。

履修上の留意点 発表者は、いかなる理由があっても、無断での欠席・遅刻は認めない。発表者の遅刻・欠席に関しては、単位取得に大きな影響が出ることを覚悟していただきたい。

成績評価の方法 平常点。特に発表時の作成資料や研究の深度、討論への積極的な参加などを考慮する。

教科書／テキスト 特になし。

参考書 特になし。

その他 卒業論文はレポートと違います。「研究」をすることにより、初めて「論文」が書けます。ぜひ研究する楽しさを実感し、良い卒業論文を書いてください。

履修コード	056101・056102
科目名	考古学演習Ⅱ 演習Ⅱ
担当者名	設楽 博己

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の指導を行なう。論文は、先行研究を咀嚼しているか、適切な素材を用いているか、正確な分析を行なっているか、妥当な結論に達しているかが要求される。数回にわたる中間発表によって、そうした手続きが論理的に行なわれているかどうか、自分自身で確認できるようにする。論文は、章立ての階層構造の論理性、文体の統一や図表の適切なレイアウトなども要求される。人が読んでわかりやすい論文を仕上げるよう指導する。

講義の内容／
授業スケジュール 前期2回、後期2回ほどの中間発表を行なう。前期はまず、6月のテーマ提出を目指し構想を発表した後、学史を中心とした研究発表を行なう。後期は資料分析について研究発表を行なった後、章立てを完成させて各章ごとにその要約を発表する。質疑応答も行なう。

履修上の留意点 与えられた課題をスケジュールどおりにこなすこと。評価でも触れるように、自分自身でこつこつと資料を収集することが重要なので、早くから課題を明確にし、資料収集をおこない、既存の関連研究に目を通しておくようにしたい。

成績評価の方法 発表内容や質疑応答、出席で評価する。収集する資料は人様のコピーなどではなく、自分自身でおこなうことを心がけるようにすれば、高い評価が与えられる。

参考書 その都度指示。

履修コード	044501
科目名	日本史史料講読Ⅰ
担当者名	瀧音 能之

講義の到達目標(ねらい)

古代の史料を読解することによって、史料の理解力を養成すると共に、古代史へのアプローチ法を学ぶことを目標とします。

講義の内容/
授業スケジュール

古代に編纂された史料のうち、『常陸国風土記』を具体的にとりあげ、冒頭の部分から読み下し解説を加えていきます。

- (1) 『常陸国風土記』の史料的価値
- (2～14) 『常陸国風土記』の購読
- (15) 確認テスト
- (16) 確認テストの返却および解説
- (17～29) 『常陸国風土記』の購読
- (30) 確認テスト

履修上の留意点

『常陸国風土記』を解説していきますが、ただ授業に出るだけでは、史料読解の力も『常陸国風土記』の理解力もつきません。必ず予習・復習をする習慣をつけて下さい。特に復習は忘れずにして下さい。

成績評価の方法

前期と後期におこなう確認テストを重視します。それに出席など平常点を加味して評価します。割合は、テスト85パーセントに平常点15パーセントと考えて下さい。

教科書/テキスト

最初の講義のときに指示します。1000円程度のものを予定しています。受講希望者は初回の講義には必ず出席して下さい。

参 考 書
そ の 他

瀧音能之『文献でたどる日本史の見取り図』2004年刊(青春出版社)730円+税
古代史に興味と熱意のある学生の受講を待っています。

歴史

履修コード	044601
科目名	日本史史料講読Ⅱ
担当者名	小松 寿治

講義の到達目標(ねらい)

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。それによって、各自が歴史像を構築していくのである。そうした積み重ねが大事である。その過程で各自が新たな発見を通して、楽しさや意義を見出すことができるだろう。

講義の内容/
授業スケジュール

本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

(1・2) 中世史料入門、(3～10) 吾妻鏡を読む、(11～14) 御成敗式目・建武式目を読む、(15) 中世史料機関の紹介、(16～19) 天皇の日記を読む、(20～23) 公家日記を読む、(24～26) 僧侶の日記を読む、(28～30) 棟札・金石文を読む

履修上の留意点

歴史の研究をするうえで、まず手をとるのは、図書館にある史料を活字化した刊行物だと思う。それらの史料を読む術を学ぶ機会としたい。出席して仲間の読んでいる史料に耳を傾けることも上達の道を進めることにつながるの、出席を怠ることのないようにしていただきたい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。
とくに指定はしない。適宜必要に応じて史・資料を配布する。

履修コード	044701
科目名	日本史史料講読Ⅲ
担当者名	菅野 洋介

講義の到達目標(ねらい)

歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

講義の内容／
授業スケジュール

・前期

(1) 授業の進め方について。(2) (3) 近世史料の特徴。(4)(5) 武家文書①～知行宛行状や朱印状など～。(6～10) 武家文書②～法度と触書～。(11～14) 武家文書③～江戸の都市政策に関する史料～。

・後期

(15～19) 村方文書① 代表的な村方文書～村議定・訴訟文書など～。(20～22) 村方文書②～鷹場関連史料～。(23～25) 宿場文書～大門宿・浦和宿を例に～。(26～27) 寺社史料。(28) 史料の所在と調査方法。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

講義において次週使用のプリントを配布する。各白、プリントを予習すること。

難解なものとは怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。

基本的には、年度末の定期試験により評価する。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

歴史

履修コード	044801
科目名	日本史史料講読Ⅳ
担当者名	小泉 雅弘

講義の到達目標(ねらい)

実証に裏づけされた歴史研究を行うために、その基礎となる日本近代史史料の読解力を養成する。

講義の内容／
授業スケジュール

前期(1～15)は、「東京遷都の政治過程」をテーマとし、活字史料(公文書・書簡・日記など)を教材として、史料の読み方、解釈、内容分析などを行う。また後期(15～30)は、「東京府文書」(東京都公文書館所蔵)を使用して、くずし字の読解力を養う。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

事前に史料コピーを配布するので、調べておくこと。

必ず予習すること。

定期試験によって評価し、出席状況を加味する。

史料をプリントして配布する。

兒玉幸多編『くずし字解読辞典(普及版)』(東京堂出版)2,200円

履修コード	045001・045002
科目名	東洋史文献史料講読Ⅱ 東洋史史料講読Ⅰ
担当者名	石井 仁

講義の到達目標(わらい)

北宋の司馬光(1019-1086)によって編纂された『資治通鑑』(しじ・つがん)294巻は、周の威烈王二十三年(西暦紀元前403年)から、五代後周の世祖顯徳六年(紀元後959年)までの1362年間を編年体で叙述した歴史書です。司馬光は各時代の基本史料を収集整理し、事実と考えられる記事を採用しました。内容は政治過程を基調としつつも、社会経済・文化など、多岐にわたり、各時代の概況が通覧できるように工夫されています。さらに、元の胡三省が『資治通鑑』にほどこした精密な注釈(=胡注)は、単なる字句の解釈にとどまらず、政治制度・地理などの各分野ですぐれた見解を提示しています。

以上のような特色を兼ね備える『資治通鑑』の講読を通して、漢文史料の読解力を高めるとともに、研究のための実用書-工具書(辞典、年表、地図、索引類など)の使用方や、文献の検索方法など、中国史研究に不可欠の基本知識と作業手順の習得をめざします。

本年度は、巻59・漢紀51・靈帝中平六年(189年)の条から読み始めます。

テキストを受講者全員が輪番で漢文訓読します(1人3回程度担当)。

講義の内容/
授業スケジュール

- (前期) (01~02) ガイダンス
(03~13) 講読
(14~15) 補論
(後期) (16~28) 講読
(29~30) 補論

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

三国時代の簡単な歴史や主要人物について、一通り勉強しておいてください。

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

各自、分担部分を責任をもって調べ、かつ正確に解釈し、発表したか否かを最大の評価基準とします。レポートを課すこともあります。

教科書/テキスト
参 考 書

中国・中華書局発行の『資治通鑑』点校本をテキストに使用します(コピーを配付)。

随時紹介します。

歴史

履修コード	045021・045022
科目名	東洋史文献史料講読Ⅳ 東洋史史料講読Ⅰ
担当者名	中村 淳

講義の到達目標(わらい)

モンゴル時代(モンゴル帝国・元朝の時代)を対象とする漢文を、補助資料を用いながら輪読します。

漢字を普段から用いている日本人は、ややもすれば漢文を雰囲気を読んでしまうことがあります。本講読を通して、一文字一文字を大切にしながら史料を読む習慣を身につけ、同時に、モンゴル時代を研究する際の基本的な知識や技術を修得して下さい。

また実際の担当や発表を通じて、スケジュール管理・目標管理、プレゼンテーションの基本を身に付けて下さい。

講義の内容/
授業スケジュール

事前に、輪読の中心となる担当者を決めます。具体的なスケジュールは、受講者の人数がわかって初めて決まるので、授業開始時に受講者と相談して決めます。

担当者は担当日に向け、担当箇所の漢文について、書き下しと日本語訳を作り、関連データを収集・整理し、レジュメを作成して授業に臨みます。

当日はそのレジュメに基づいて報告をすることになります。

また夏期レポートを課し、後期にそのレポートに基づいた研究発表を行なってもらいます。

レジュメの作成方法や発表・報告の仕方は、授業開始時にガイダンスを行なって説明します。

準備学習

2年次生は、「漢文」に関して中学・高校で何を習ったのかを思い返して初回の授業に臨んで下さい。

例えば、音読みと訓読み、漢和辞典の引き方や、返り点、再読文字など。

出席を重視します。第1回から必ず出席すること。

出席点・平常点により総合的に判断します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

必要な資料はコピーして配布します。

履修コード	045041・045042
科目名	東洋史文献史料講読Ⅵ 東洋史史料講読Ⅰ
担当者名	杉山 清彦

講義の到達目標(ねらい)	清の故事・制度を記した19世紀の随筆『嘯亭雜錄』を選読し、漢文史料読解能力を養成するとともに、清代の制度・史実についての知識と理解を深める。あわせて、辞書・索引・年表など各種工具書の利用法や、史料・研究文献の検索法など研究のための基本的な知識と技術の修得を目指す。
講義の内容／授業スケジュール	開講後まず漢文法の基礎を指導したのち、本文の講読を進める。受講者全員に漢文テキスト本文の訓読・現代語訳を課し、人物・術語など関連事項については、必要に応じて担当者を指名してレジュメを作成・報告してもらう。
準備学習	第1回：ガイダンス 第2～5回：漢文の基礎 第6～15回：講読 第16～30回：講読 古典漢語で書かれた歴史史料の講読であるので、漢文そのものへの入念な予習と、歴史事項に関する調査・予習の双方が必須である。前者については、書き下し文と現代日本語訳とを区別してそれぞれ作成し、また、語句の意味のみならず出典・用例を調べてくこと。
履修上の留意点 成績評価の方法	各自、漢和辞典など基本工具書必携（電子辞書は不可）。詳しくは開講時に紹介・指導する。 出席状況を含む平常点とレポートにより評価する。演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。
教科書／テキスト 参考書	テキストは中華書局刊の標点本を使用し、講読箇所のプリントを配布する。 講義中適宜紹介する。時代の理解に有用なものとして、『清朝とは何か』（別冊・環◎、藤原書店、2009）・『紫禁城の栄光』（岡田英弘・神田信夫・松村潤著、講談社学術文庫、2006）を薦める。
その他	講読テキストは漢籍であるが、モンゴルなどアジア諸地域に関連する内容も扱うので、中国史以外の専攻を志望する学生の受講も歓迎する。

歴史

履修コード	045061・045062
科目名	東洋史文献史料講読Ⅶ 東洋史史料講読Ⅱ
担当者名	田中 靖彦

講義の到達目標(ねらい)	本授業では、史書『三国志』をテキストとした講読演習を通して、漢文の基礎と応用力を習得することを目指します。漢文読解の力をつけるのと同時に、曹操・諸葛亮・関羽・周瑜ら英雄豪傑たちの活躍を、原文で味わってみましょう。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：ガイダンス／第2回：黄巾の乱／第3回：董卓の専横／第4回：曹操の挙兵／第5回：孫堅の活躍／第6回：劉備と関張／第7回：袁紹の覇権／第8回：官渡の戦／第9回：江東を託す／第10～11回：三顧の礼／第12回：長阪の忠臣／第13～14回：赤壁の戦／第15回：劉備の入蜀／第16～17回：漢魏革命／第18回：遺孤を託す／第19～20回：出師の表／第21回：泣いて馬謖を斬る／第22～23回：秋風五丈原／第24～25回：正始の政変／第26～27回：蜀の滅亡／第28～29回：三国の統一／第30回：まとめ
準備学習 履修上の留意点	演習形式の授業ですので、予習を行うことを心がけて下さい。 三国志に関する予備知識は必須ではありません。三国志に限らず、中国史に関心をお持ちの方を広く歓迎いたします。演習形式の授業ですので、積極的に参加して下さい。
成績評価の方法	平常点によって評価します。試験は行いません。
教科書／テキスト 参考書	『漢文講読テキスト 三国志』（白帝社、2008年）を使用します。 講義内で適宜指示します。

履修コード	045081・045082
科目名	東洋史文献史料講読Ⅹ 東洋史史料講読Ⅱ
担当者名	石川 重雄 <small>いしかわ しげお</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義は清の趙翼『廿二史劄記』を読みながら、史料学や史料批判などについて学ぶことを目的といたします。まず各自が関心のある項目をいくつか選択し、原文筆記、返り点、訓読、日本語訳をつくってもらいます。その過程で趙翼が引用した記事と正史の記事との校合、人物・地名・官職・歴史事項等の検討をおこない、簡単な「訳注」を完成させたいと思います。このほか講義の合間に、「正史のはなし」「暦のはなし」「年号のはなし」「諱を避ける」等の基本事項についても言及する予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

- 【前期】
- 1) テキスト・辞書の説明
 - 2) 担当者の輪読、発表
 - 3) 正史のはなし
 - 4) 訳注のレジュメの作成
- 【後期】
- 5) 担当者の輪読、発表
 - 6) 年号のはなし
 - 7) 諱を避ける
 - 8) 訳注レジュメの作成、総括

準備学習
履修上の留意点

毎回、史料の予習をお願いします。質問事項等があれば各自整理しておいて下さい。担当者を決めて発表形式です。各自予習が必要となります。講義の際には適当な漢和辞典を持参して下さい。

成績評価の方法

平常の発表内容(4割)、年2回の提出レジュメ(6割)によって行います。総合評価においては出席率も勘案いたします。

教科書／テキスト
参考書

テキストは、講義時にプリントを配布いたします。必要に応じてそのつど紹介します。

歴史

履修コード	045111・045112
科目名	東洋史文献史料講読ⅩⅡ 東洋史史料講読Ⅱ
担当者名	上田 裕之 <small>うえだ ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、受講生全員による清代の漢文史料の輪読を行い、丹念な史料の読解に基づいて歴史理解を構築するための能力の修得を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義では、19世紀中頃に清朝の官僚であった王慶雲の著作『石渠餘記』から、清朝(1636-1912)の財政に関する文章をピックアップして講読します。財政とは、政府が民間から貨幣や現物を徴収し、それを統治の実現のために様々な用途に支出するという活動です。財政のありかたは、それぞれの時代・地域における国家と社会の結びつき方を如実に表現しています。本講義では、上記史料をテキストとして財政史的観点から清代中国の国家と社会の実像に迫るとともに、その作業を通じて、中国史の研究に不可欠な漢文読解能力の研鑽を図ります。

準備学習

第1講では本講義の進め方についてのガイダンス、第2～4講では明清時代の流れを概観するとともに同時期の財政史に関する基本事項の説明を行い、第5～30講では受講者全員による史料輪読を行います。担当者には、レジュメを作成して発表してもらいます。

履修上の留意点
成績評価の方法

高度な予備知識は求めませんが、一度講義で解説された事柄については、質問や復習などの自主的な努力によって着実に自身の知識として定着させるよう励んで下さい。漢和辞典を毎回必ず持参してください。

教科書／テキスト
参考書

出席が一定水準に達した受講生について、①発表レジュメ、②発表内容、③期末レポート(①の訂正版を前期末および後期末に提出)に基づいて評価を行います。出席不良者は、①～③の内容如何にかかわらず評価の対象としませんので、心身の管理に努めて極力毎回出席するようにして下さい。『石渠餘記』(北京古籍出版社刊の標本本)を使用します。講読箇所のコピーを配布します。

その他

岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』(講談社学術文庫、2006年)
岩井茂樹『中国近世財政史の研究』(京都大学学術出版会、2004年)
その他、明清時代の理解に有用な概説書・専門書・研究論文を、講義において適宜紹介していく予定です。

関連リンク

テキストの読解ポイントをブログ形式で公開していますので、復習・レポート作成の参考にしてください(下記 URL)。

<http://geocities.yahoo.co.jp/gl/dergiusin0426>

履修コード	045201・045202
科目名	西洋史文献史料講読Ⅱ 西洋史史料講読Ⅰ
担当者名	伏島 正義

講義の到達目標(ねらい) 西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問いかけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容／授業スケジュール 具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近年をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととした。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。

歴史

昨年度は9世紀初頭パリのサン＝ジェルマン＝デ＝プレ修道院の院長イルミノンによる所領明細帳の一部を読んだ。これは西洋中世における領主－農民関係を議論する場合の根拠とされる第一次史料である。授業のスケジュールとしては、前期に初歩のラテン語を学び、後期に史料を読んだ。本年度もこのようなスケジュールをとりたい。

履修上の留意点 歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。成績評価の方法 演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。学期末にテストを実施し、決める。

教科書／テキスト 必要なテキスト、史料はプリントして配布する。
ラテン語の辞書は必ず用意して下さい。
Smith, William / Lockwood, John, Chambers Murray Latin - English Dictionary (PAP) REI SUB Edition - GB

参 考 書 授業に合わせて、その都度指摘する。

履修コード	045221・045222
科目名	西洋史文献史料講読Ⅳ 西洋史史料講読Ⅰ
担当者名	佐々木 真

講義の到達目標(ねらい) フランス語で文献を購読してみたい人のための授業。フランス語で書かれた文献を辞書を使用し、正確に読むことができるようになる訓練をし、卒論執筆時などにフランス語文献を使用することができることを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール フランスの絶対王政期から革命期にかけての文献をフランス語で講読する。同時に、テキストの背景となる歴史状況についての解説も行う。授業は履修者の輪読による演習形式で進める。進行方法については、受講者の数やレベルを考慮して授業を行うなかで決定する。

準備学習 毎回テキストの内容を必ず予習しておくこと。
履修上の留意点 外国語を講読する授業なので、フランス語の基礎的な知識は必要となる。また、フランス史についてのある程度の知識が必要となるので、授業中に紹介する参考文献や概説書を必要に応じて読むこと。テキストを精確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となる。そのため、欠席は原則として認めない。

成績評価の方法 成績は授業への出席と、授業に対する各受講生の取り組みを中心に評価し、必要が認められた場合には学年末に試験を実施する。

教科書／テキスト テキストは授業開始時にコピーを配布する。
参 考 書 参考文献は必要に応じて授業の中で紹介する。

履修コード	045241・045242
科目名	西洋史文献史料講読Ⅵ 西洋史史料講読Ⅰ
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則

講義の到達目標(ねらい) 西洋史研究に必須である外国語について、専門的な文献史料を扱いながら慣れることを最大の目標としている。卒業論文作成の際の手助けとなればと考えている。

講義の内容／授業スケジュール 西洋古代史、あるいは古代オリエント史に関して英語で書かれた史料を主なテキストとして用いる。基本的に受講者による輪読形式によって授業は進む。

準備学習 毎回の予習は必須である。辞書（電子辞書は勧めない）の携帯を求める。

履修上の留意点 予習をしていない場合は欠席扱いとするので注意すること。また最終講義日などにノート提出を求めることもあるので注意しておくこと。

成績評価の方法 出席率、予習の質、そして後期試験期間中のテストにより評価する。

教科書／テキスト 教科書は指定しない。適時史料用のプリントを配布したり、映像を見せたりする。

参考書 講義中に紹介する。

歴史

履修コード	045261・045262
科目名	西洋史文献史料講読Ⅷ 西洋史史料講読Ⅱ
担当者名	いのうえ みちのり 井上 文則

講義の到達目標(ねらい) 西洋古代史に関する英語文献の読解を通して、当該分野の知識の獲得と英文読解能力の向上を目指す。

講義の内容／授業スケジュール 西洋古代史に関する英語文献の講読。

準備学習 事前に必ず辞書を引き予習する必要がある。

履修上の留意点 なし。

成績評価の方法 出席点（6割）と期末試験（4割）にて評価する。

教科書／テキスト 初回講義時に配布する。

参考書 講義中に随時紹介、指示する。

履修コード	045281・045282
科目名	西洋史文献史料講読Ⅹ 西洋史史料講読Ⅱ
担当者名	さくち こういち 菊池 絃一

講義の到達目標(ねらい) 世界的にも国内的にも大きな変化が起こりつつあり、われわれ自身の生き方も変わっていかざるをえない。人間社会の変化・形成を記録し叙述してきた歴史という方法の意味と役割を再確認すべきとすれば、現代のわれわれの歴史観に大きな影響を与えてきた、例えばE・H・カー『歴史とは何か』を原文に沿って再読する意義はある。本講では、その意義に鑑みて、関連の資料・文献までを含めて購読を進める。知識もさることながら、ゆたかな歴史思考力を養ってもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 前期：「歴史の現在」－ E.H.Carr, What is History? 2nd ed., by R.W.Davis, Penguin Books, 1987 から抜粋・講読、Frank Furedi, Mythical Past, Elusive Future: History and Society in an Anxious Age, Pluto Press, 1992 から抜粋・講読。

後期：「大学と歴史学」－ Reba N. Soffer, Discipline and Power : The University, History, & the Making of an English Elite 1870-1930, Stanford University Press, 1994 から抜粋・講読。

履修上の留意点 以上をテキストとして適宜解説・話題を加える。

成績評価の方法 テキストを予習した上で授業に臨むこと。

教科書／テキスト 出席状況を含め、授業への取り組み、応答ぶりを見た上で評価します。強制的な指示に従う姿勢ではなく、積極的な反応が受講感想に反映されていることを期待します。

参考書 日英両文を併記する形で編集したテキストをプリントして配布しますが、清水幾太郎訳『歴史とは何か』(岩波新書)は各自用意してください。

授業のなかで、内容・話題に応じて紹介・解説します。

履修コード	045311・045312
科目名	西洋史文献史料講読Ⅱ 西洋史史料講読Ⅱ
担当者名	<small>ひでかた しほろ</small> 土方 史織

講義の到達目標(ねらい)	18～19世紀のブリテンを論じた英文テキストを読み、当時の社会状況や世界観を他のヨーロッパ諸国や植民地と関連づけながら理解することを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	輪読形式で読み進めます。またこちらから解説を適宜加えていきます。前期は基礎編として簡単な概説書を読み、時代状況をイメージできるようにします。後期は応用編として19世紀ブリテンに関する研究論文を読み、史料分析の手法を学びます。
準備学習 履修上の留意点	予備知識としてブリテン史及び近代ヨーロッパの時代状況を理解しておくことが必要です。毎回出来るだけ多くの受講生に発表してもらうため、予習は必ずしてきて下さい。遅刻、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。
成績評価の方法	基本的には授業中の発表や課題内容で決めます。受講生が多い場合は試験や追加課題を行うことも考えています。また発表者でなくとも授業への積極的な参加が認められれば、評価の対象になります。
教科書／テキスト 参 考 書	開講時に発表します。 川北稔、木畑洋一編『イギリスの歴史—帝国＝コモンウェルスのあゆみ』（有斐閣アルマ—世界に出会う各国＝地域史）有斐閣 2000年。 村岡健次、川北稔編著『改訂版 イギリス近代史：宗教改革から現代まで』ミネルヴァ書房2003年。 井野瀬久美恵著『大英帝国という経験』（興亡の世界史 第16巻）講談社 2007年。
そ の 他	・授業初回に詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。出席しないと履修できません。 ・報告担当者の無断欠席が多くみられます。履修放棄とみなしますのでご注意ください。

歴史

履修コード	046301・046302
科目名	記録史料学Ⅰ 古文書学
担当者名	<small>まつもと のぶみち くわた まさき すずき まさはる</small> 松本 信道・久保田 昌希・鈴木 雅晴

講義の到達目標(ねらい)	古代から近世にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していくという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) ガイダンス……（担当教員全員）。 (2) 文字の伝来と受容、(3)～(5) 古代の文書様式、(6) 正倉院文書、(7) 木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、(8) 金石文の有効性…（松本担当）。 (9)～(11) 中世の史料について、(12)～(14) 中世史料学、(15)～(18) 中世史料の管理、(19)～(20) 中世史料の保存と伝来…（久保田担当）。 (21) 近世文書の特質、(22) 近世文書の所在と種類、(23)～(26) 武家文書のいろいろ、(27) 町方・村方文書の所在と種類、(28) 年貢の賦課・徴収と文書、(29) 領主支配と文書、(30) 訴訟と文書…（鈴木担当）。 ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。
履修上の留意点	古代から近世までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。
成績評価の方法	試験・レポートの成績によって評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	教科書は特定のものをを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。
そ の 他	各担当教員が教場において指示・紹介する。 講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

履修コード	044811
科目名	記録史料学Ⅱ
担当者名	<small>くまもと ふみお こいずみ れいひろ</small> 熊本 史雄・小泉 雅弘

講義の到達目標(ねらい)

現在、各地の文書館などで記録史料を取り扱う専門職(アーキビスト)の設置が検討されており、その必要性が広く認識されているが、本講義では、記録史料を取り扱う基本的な知識を取得する事を目的としている。ここでは、明治維新以降に作成された様々な「近代史料」について、史料の収集や整理、保存さらに修復など、さらには近年注目される「オーラルヒストリー」の方法など、「記録史料(アーカイブ)」の全般について講義する。前期は、とくに公文書の読解における作法を学び、後期は、「近代史料」の取り扱い方全般について学ぶ。前期では具体的には外交文書(電報、公信)を主として採り上げ、そこから窺い知れる文書処理や政策決定の過程、さらには「記録」として保存されることの意味につき検証する。これらを踏まえ、階層構造をなす文書群の固有の体系性について考える。また、「記録史料学」の授業の中では、教室での講義にとどまらず、実際に文書館を訪ね、現物の史料にふれると共に史料整理や保存などの現場を見学し、実践的な学習を重視する。

歴史

講義の内容/
授業スケジュール

- 1回 講義の概要(授業計画/参考文献)(担当:熊本・小泉)
- 前期(担当:熊本)
- 2回 記録史料学とは—歴史学と記録史料—〔概説〕
- 3回 記録史料学の方法と対象—補助科学としての史料学からアーカイブズ学へ—〔概説〕
- 4・5回 公文書館の機能と役割〔公文書館論〕
- 6回 国民国家形成とアーカイブズ①—フランス革命と文書館—〔公文書館論/記録管理論〕
- 7回 国民国家形成とアーカイブズ②—近代日本の文書行政—〔公文書館論/記録管理論〕
- 8回 近代日本と公文書①—外交文書—〔記録資料論/記録管理論〕
- 9回 近代日本と公文書②—拓務省関係文書—〔記録資料論/記録管理論〕
- 10回 近代日本と公文書③—府県文書と町村文書—〔記録資料論/記録管理論〕
- 11・12回 公文書のライフステージと評価・選別—移管・保存・廃棄—〔評価・選別論〕
- 13回 「近代史料学」の世界—文書群の構造と組織機能の解明—〔近代史料学〕
- 14回 「情報公開法」と「近代史料学」〔近代史料学〕
- 15回 中間試験
- 《以上前期》
- 後期(担当:小泉)
- 16回 公文書館の資料収集について
- 17回 史料の整理—現状記録論—
- 18回 史料の整理—封筒詰め・封筒書き—
- 19・20回 史料の整理—目録の作成—
- 21・22回 史料の保存と管理
- 23回 マイクロカメラの組立て・操作
- 24・25回 史料の修復
- 26回 史料閲覧の考え方
- 27回 「オーラルヒストリー」の方法
- 28・29回 記録映像の制作と活用
- 30回 まとめ

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、史料に接する事の喜びを感じ取ってほしい。また、「公文書」がもつ「固有の体系性」を学び取って欲しい。

成績評価の方法

前後期授業における試験の結果(70%)と、出席状況と授業態度さらに夏冬にそれぞれ行う公文書館訪問への参加(30%)、などを総合的に判断する。

教科書/テキスト

特に指定しない。

参考書

適宜紹介する。

その他

「記録史料学Ⅰ」と合わせての履修が望ましい。夏と冬に文書館見学を行う。

履修コード	045701
科目名	考古学実習(写真)
担当者名	<small>つかはら あけひ</small> 塚原 明生

講義の到達目標(ねらい)

考古学における、発掘現場写真撮影出土遺物写真撮影について基礎より学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

写真撮影の為のカメラ機材及び写真用品の解説とその使用方法、用途や目的に応じたその利用方法を写真専門用語と共に基礎より学び、撮影実習暗室実習を通して写真記録の重要性を考える。

履修上の留意点

受講生は実習を円滑に進める為、原則的に35mm判一眼レフカメラを所持する事を条件とする。(コンパクトカメラは不可)

成績評価の方法

課題写真提出、出席点(どちらが欠けても評価の対象外とする)

その他

前期に講義を中心とし撮影実習(屋外)後期に撮影実習(屋内)及び暗室実習を行なう。

履修コード	045801
科目名	考古学実習 (測量)
担当者名	古庄 浩明

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

発掘調査に必要な測量技術を習得する。
測量機器を使って野外で測量活動をおこなう。また、2月に3週間ほど実際の遺跡の測量調査をおこなう。第1回：測量とは 教室での講義。第2～4回：BMの移動。第5～8回：トータルステーションの使い方。第9～15回：トータルステーションの立て方実習。第16回以降トータルステーションを使った校内での測量実習。最終回：測量実習の試験。2月の3週間：実際の古墳での測量とその報告書作成作業

履修上の留意点
成績評価の方法

野外での作業を伴うので、作業しやすい服装で受講すること。
「出席」と「2月におこなう遺跡測量へ参加できるかどうか」を最も重視する。また、一定の技術を習得したか授業中に試験を行う。

歴史

参 考 書
そ の 他

野帳 (150円程度)・コンベックス・電卓 (ともに100円ショップで売っているものでよい) が必要。どのようなものを買ったほうが良いか授業中に指示します。

男女とも野外作業に適した服装。雨天でも通常の授業では屋根のある場所で測量実習を行う。

履修コード	045911
科目名	考古学実習 (実測)
担当者名	杉山 浩平

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

考古学を勉強する上で、各種出土品を図化し資料化することは必須である。本授業では、主に土器と石器を用いて、資料の観察と図化するための方法を学習する。そして、卒業論文作成時に役立つように図版の作り方(トレースやレイアウト作業)についても説明をする。

前期では、図化する必要性について説明を行い、資料を観察して特徴・製作技術について解説が出来るようになる。その後、実測方法を習得する。後期では、実測や拓本を行い、実測図面の清書(トレース作業)および図版作りを行う。資料の観察・実測は、授業時間内では終わらないと思われるので、宿題として次の授業までに終わらして授業時に解説等を行う。結果として出来るだけ多くの資料に触れられるようにする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

資料の説明や観察や実測の方法を説明するので、欠席はしないこと。また、宿題を行うこと。
授業への取り組みと提出された課題に基づく
授業中に指示する。
授業中に指示する。

履修コード	046101
科目名	考古学実習 (情報)
担当者名	小柳 美樹

講義の到達目標(ねらい)

この授業は、パソコンを利用しながら考古学上の調査方法および整理技術、研究を進めていく際に必要な基礎知識や考え方を理解していくものである。

講義の内容／
授業スケジュール

基本的なパソコンソフトである文章作成機能、数値統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。

前期

- ①～⑤ インターネットによる資料・情報収集
- ⑥～⑩ パワーポイントを使った発表資料の作成
- ⑪～⑮ 発表とその反省によるパワーポイントの修正

後期

- ①～⑤ フォトショップを使った提示資料の作成
- ⑥～⑫ フォトショップを使った分布図の作成
- ⑬～⑮ データベースのグラフ化 (エクセルを使用)

*なお、受講者の希望によっては、講義内容を臨機応変に変更し、能力向上と学習目標の達成を図りたい。

履修上の留意点

履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れている学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意願う。

課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。

成績評価の方法

出席状況 (50%)。
課題を期日までに全て提出していること (50%)。
成績は課題提出によるので、筆記試験は行わない。

教科書／テキスト
そ の 他

指定する教科書・参考書はない。
開講時までに学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

歴史

履修コード	046401・046402
科目名	古文書研究Ⅰ 古文書講読Ⅰ
担当者名	吉田 政博

講義の到達目標(ねらい)

古代から中世にかけての古文書・古記録などについて、その読解力の習得に加え、歴史資料に関する知識と意識を高めることを目的とする。歴史研究は資料に基づきこれを分析・評価し、実証して行くという過程があるが、そのなかで、様々な情報を含んでいる古文書の読解能力を身につけることは不可欠なこととなっている。前期では古文書の概要と形式を把握した後、戦国期の大名文書について、読みながら内容分析を行なう。後期には平安・鎌倉期、南北朝期、室町期の文書を読解しながら、古文書全般について対応する力や、歴史的事実を明らかとする能力を養いたいと考えている。

講義の内容／
授業スケジュール

(1・2) 古文書の概要と形式 (3～8) 戦国大名文書に親しむ (9～13) 天下人 (信長・秀吉・家康) の書状を読む (14～16) 古代の文書を読む (17～19) 鎌倉時代の文書を読む (20～22) 室町期の文書を読む (23～25) 戦国期の文書を読む (26～28) 記録・金石文・奥書などを読む (29～) まとめ

履修上の留意点

古文書の読解力は、文書に慣れ親しむことが必要である。予習・復習はもちろんであるが、日頃から博物館の展示などを通じて古文書などの歴史資料に接してほしい。

成績評価の方法

年度末の定期試験を基礎として、レポート (1回) の評価と授業の出欠状況を加味する。

教科書／テキスト

教科書はない。史料のプリントを適宜配布する。

参 考 書

必要に応じて講義において紹介する。

履修コード	046501・046502
科目名	古文書研究Ⅱ 古文書講読Ⅱ
担当者名	湯浅 隆 <small>ゆあさ たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)	江戸時代に作成された古文書・記録類、典籍などの版本(以下、江戸時代史料と記します)を対象として、その読解能力の習得をめざす、入門者対象の科目です。 文書の形を知ること、文字を解読すること、そのうえで文言・様式から、歴史事実を読みとる力の養成を目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	まず、江戸時代史料に幅広く接するようにします。江戸時代の表現に慣れることで、文脈から判読困難な文字を推定できるようにしていきます。 (1～5) 武家の史料 [領地宛行状、大名・旗本の家政、高札など]、(6～10) 町方の史料 [沽券状、借用証文、引札など]、(11～15) 村方の史料 [年貢割付状、村明細帳など]、(16～18) 寺社の史料 [往来手形、寺請証文など]、(19～22) かな文字・木版刷、(23～30) まとまりをもった内容の文書を読みます。
歴 史	
準備学習	授業でつかうテキストは、プリントで配付します。事前に、可能な限り解読してから授業に臨むように心がけてください。
履修上の留意点	文書読解力向上の捷徑(近道)は、当該時代に多用された言い回しに慣れることです。したがって、「日本史史料講読Ⅲ」などにより、江戸時代史料(活字)講読科目を修得済か、もしくは同時並行で履修していることが望まれます。
成績評価の方法	文字を解読し内容を把握できるか否か、それだけです。それは、学年末の試験などをおして判定します。
教科書／テキスト	教材として、史料のプリントを配付します。
参 考 書	その都度、提示します。
そ の 他	授業は、輪読形式となります。 江戸時代史料には、歴史学がこれまでに蓄積してきた成果の総量を遥かに超える豊富な事実が詰め込まれています。解読の扉を自ら開き、さらに広げていくことで、江戸時代への興味が限りなく広がっていくきっかけになることを期待しています。

履修コード	006201
科目名	仏教美術
担当者名	村松 哲文 <small>むらまつ てつぶん</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本における仏像の歴史について、信仰的な背景と照らし合わせながら概観する。一つの尊像が時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。 本年度は、「仏像の種類別」に考察を進め、同じ種類の仏像でも時代によって形が変化する過程を見極めていく。
講義の内容／ 授業スケジュール	また本講義では、仏像から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合Ⅰ(3) 仏教と芸術」で講義し、鎌倉時代以降の絵画については「禅美術」で講義する。 〔前期〕 仏像鑑賞の基礎 (1～5)、釈迦如来 (6～8)、阿弥陀如来 (9～11)、薬師如来 (12～15) 〔後期〕 観音菩薩 (16～18)、弥勒菩薩 (19～21)、文殊菩薩 (22～24)、地藏菩薩 (25～27)、仏教美術の荘厳 (28～30) 以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。
履修上の留意点	美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。
成績評価の方法	定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。
教科書／テキスト	プリントを配布する。
参 考 書	参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

履修コード	016402
科目名	中国歴史文学
担当者名	田熊 ^{たくま のぶき} 信之

講義の到達目標(ねらい)

数千年にわたる中国の歴史の中で、政治や文化の中心的な担い手となった漢民族は、時には他の民族とも混淆を累ねながら、特異な漢字文化を生み育てて来ました。本講座では、こうした漢字文化の粋である各種の文学作品(新出遺文も含め)を選読し、中国の人々が築き上げた多様な文字表現の世界を省察しつつ、中国文学に対しての読解力と鑑賞力を養っていききたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む人間それぞれの哀歎もごもの姿が写し出されています。ここでは、各々の時代の思想、信仰等に彩られる、さまざまな形の文学のうち、歴史に関わる作品を適宜読み進めていきます。

〔前期〕 第1回：中国の風土と歴史、第2～3回：漢字の創造とその展開、第4～5回：文学の出現とその変遷、第6～8回：表現の歴史とその推移、第9回：『新語』抄文講読(陸賈と劉邦)、第10～11回：同巻上「道基第一」、第12回：同巻上「述事第二」、第13回：同巻上「輔政第三」、第14回：同巻下「資質第七」、第15回：同巻下「本行第十」

〔後期〕 第16回：古都洛陽(雒邑から洛陽へ)、第17～18回：仏教東伝と白馬寺、第19回：『洛陽伽藍記』と楊銜之、第20～22回：『洛陽伽藍記』講読(序)、第23～25回：同巻第一「城内」永寧寺条、第26～28回：同巻第二「城内」建中寺、長秋寺条、瑤光寺条等、第29回：同巻第三「城南」景明寺条等、第30回：同巻第四「城北」宋雲恵生使西域条

準備学習

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎知識を得て下さい。

履修上の留意点
成績評価の方法

各種の辞書の用い方に慣れておくことともに、幅広い視野をもつことを心がけて下さい。

評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を勘案し、総合的に行ないます。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他
関 連 リ ン ク

プリントを配布して、これをテキストとして使用します。

参考書、資料等については、授業時に説明し、紹介します。

授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行ないます。

<https://www.komazawa-u.ac.jp>

歴史

履修コード	016501
科目名	有職故実
担当者名	近藤 ^{こんどう よしかず} 好和

講義の到達目標(ねらい)

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事(朝廷の儀式・政務)のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。

講義の内容／
授業スケジュール

前期から後期前半にかけて、公家男子装束・公家女子装束・武家装束の講義する。続いて後期後半は、中世の甲冑・弓箭・刀剣について講義する。

履修上の留意点

出席などは一切取らないが、授業は体系的に進めていくので、毎時間まじめに出席しなければ、単位取得は難しいであろう。また、毎時間、プリントを配布するが、それ以外の板書も多いので、ノートは必ず必要である。

成績評価の方法

前・後期各一回の試験で判定する。具体的には、両試験の合計点を2で割り、60点以上を合格とする。なお、前期試験の成績不良者のうち、呼び出しに応じた学生に対しては、警告のうえ適切な救済処置を取る。

教科書／テキスト
参 考 書

特になし。毎時間、プリント(文章と図版)を配布する。

近藤好和『装束の日本史』平凡社新書 2007年

近藤好和『武具の日本史』平凡社新書 2010年

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義の到達目標(ねらい) 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点
成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書／テキスト

谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

歴史

履修コード	017801
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝

講義の到達目標(ねらい) 日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 平安時代から室町時代の絵画
(1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
(3)～(5) 仏教絵画 (6)～(8) 絵巻物
(9)～(10) 肖像画 (11)～(15) 室町時代の水墨画
後期 室町末から江戸時代の絵画
(16)～(20) 狩野派 (21)～(24) 琳派
(25)～(26) 浮世絵 (27)～(28) 南蘋派と洋風画
(29)～(30) 江戸から明治へ

履修上の留意点
成績評価の方法

授業中の私語は厳禁。
学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	028101
科目名	ラテン語
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(ねらい) ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容／
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラテン語と和訳の練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。
前期 (1) 導入、ラテン語とは (2～5) 文字と発音、動詞の直説法現在・未完了・未来、名詞の第1・2変格など (6～10) 動詞の直説法完了・過去完了・未来完了、名詞の第3変格など (11～15) 動詞の直説法現在・未完了・未来・過去完了・未来完了、名詞の第4・5変格、形容詞の比較法、など

履修上の留意点

後期 (16～20) 命令法、各種の代名詞、副詞、など (21～25) 不定法、数詞、形式受動動詞、分詞、など (26～30) 接続法、動名詞、動形容詞、様々な従属文、など

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

履修上の留意点

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法

年間2回(前期末・後期末)のテストの結果(80%)に平常点(20%)を加味して評価します。

教科書／テキスト
参 考 書

松本悦治『ラテン語入門』(駿河台出版社) 1,500円
辞書と共に初回の授業で紹介いたします。

履修コード	028201
科目名	ギリシャ語
担当者名	長谷川 岳男 <small>ほせがわ たけお</small>

講義の到達目標(ねらい)

西洋の多くの言語の語彙や文法にとってルーツに位置する古典ギリシア語の基礎を学ぶことを主要な目的としています。そして古典ギリシア語のみならず、その文法や語彙の学習、読解を通して、英・独・仏・伊などの言語の仕組みを理解することもめざします。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は、第一回目のオリエンテーションで古典ギリシア語を用いていた古代ギリシア世界が西洋文明において有する意義と、西洋諸言語における古典ギリシア語の影響と学ぶ現代的有用性を説明して学習の動機付けを行います。第二回目、三回目はローマン・アルファベットとは異なるギリシア・アルファベットを学び、第4回目から5回程度、文法の基礎事項を扱って、現代の西洋諸言語に通ずる決まりを理解します。その後、簡単な古典ギリシア語の講読を文法事項の学習とともに進めることで、古典ギリシア語の理解を深める予定です。このような進行の合間に、古典ギリシア語の理解には、その背景にある古代ギリシア世界の理解が不可欠なために、何度かビデオやスライドなどで、ギリシア世界に触れてもらおうと思っています。

歴史

準備学習
履修上の留意点

課題として出される教科書の練習問題やテキストの和訳の予習が必要となります。ただ講義に参加するだけでは古典ギリシア語の習得は難しいので、受講生の皆さんの積極的な参加が必要です。具体的には、最初の文法事項の学習の際には、練習問題を解いて参加しなければ意味がありませんし、講読の際には事前に予習することが不可欠になります。

成績評価の方法

二度行うテスト、講義時に練習問題を解いたり、講読において和訳する際の積極的な参加などを総合して評価します。ですから出席は必要となります。このような形で評価しますので、追試験は行いません。

教科書／テキスト

田中利光『新ギリシャ語入門』、大修館書店、3400円、ISBN 4-469-21191-5。それ以外に必要なものはこちらで印刷して配布します。

参 考 書

講義中に随時、指示します。

履修コード	033001
科目名	歴史地理学
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義の到達目標(ねらい)

まずは、歴史時代の事柄も地理学的に扱えることを理解してほしい。歴史学科学生には、歴史学とは違う地理学的なもの見方に慣れてほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

主に日本の村落と都市の歴史地理について講義を行なう。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

1. オリエンテーション
- 2～3. 歴史地理学の概要
- 4～13. 歴史時代の村落 (先史から近代まで)
- 14～21. 歴史時代の都市 (主に古代)
22. 歴史地理学の資料
23. 歴史的町並み・景観保存
24. 大学周辺のミニ巡検 (受講生が少ない場合)

準備学習
履修上の留意点

授業の後、ノートを見直して、話の筋をつかむことを薦める。この科目は、地理学科・歴史学科両方の専門科目であるが、教員は地理学の人間であるので、地理学的内容が中心になる。しかし、地理学科の学生も、ある程度の日本史の知識を持っていることが望まれる。歴史が苦手な人には向いていない科目である。ただし、古文書が読める必要はない。

成績評価の方法

成績評価は、試験(前期・後期の2回、平常授業内に行なう。持込不可)の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が基準に達しない時以外にも、出席回数が足りない場合や、レポートが受理されない場合、単位は認定されない。

教科書／テキスト

使用しない。

参 考 書

授業中に指示する。

履修コード	036902・037002
科目名	人文地理学概説
担当者名	なかもら 剛 中村 剛

講義の到達目標(ねらい) この講義は、スタンダードな人文地理学の理論やモデルを概説するにとどまらず、「人文地理学」さらには「地理学」が、私たちの実生活（地域の社会・文化・自然）と深く関わっていることを強く意識した講義としたい。

講義の内容／授業スケジュール 1・2：人文地理学とは？（イントロ、自然地理学・地誌学との関係）、3・4：地図（地理学と地図、地図の歴史、地図の利用と今日的課題）、5・6：地理教育と教養地理（中学・高校における地理教育、地理的知識の効用）、7・8：自然（気候景観、人文地理学と「自然」との関わり）、9・10：農業（農業立地論、文化としての農業）、11・12：鉱工業（鉱業分布、工業立地と工業地域）、13・14：貿易（食料・鉱産資源の輸出入、フェアトレード、南北貿易）、15・16：農村（都市を支える農村、過疎化、高齢化）、17・18：都市（都市化、都市構造と都市機能）、19・20：都市計画と土地利用（郊外化とスプロール、都市計画法制度とその問題）、21・22：ツーリズム（ツーリズムの歴史、マストツーリズムとオルタナティブツーリズム）、23・24：交通（縮小する世界、時間距離）、25・26：文化・国際理解（民族分布と民族問題、南北問題、国際理解教育）、27・28：環境問題と災害（温暖化と地球環境、成長と破壊）、29・30：まとめ（総括、試験）

準備学習 広く社会に興味・関心をもつこと、「なぜ?」「どうして?」と常口頃から考えることが、本講義の内容理解への入口となるはずです。

履修上の留意点 この講義に強い興味・関心を持つ学生の受講を希望する。よって、出席状況や授業への参加態度も評価に大きく影響する。詳細は第1回目の授業で説明する。

成績評価の方法 前期・後期それぞれ試験を行う。この両試験を受験し、かつ出席時数（全講義時間数の2/3）をクリアしている者を成績評価の対象とする。成績評価は、試験、出席、授業中の小テスト、提出課題のすべてを総合して行う。出席は特に厳しく取り扱うこととする。

教科書／テキスト ・高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆 編(2008)：『改訂新版 ジオグラフィー入門』古今書院 2,500円(税別) ISBN 978-4-7722-3118-3
・高校用の「学校地図帳」を用意することが望ましい。

参考書 参考文献（書籍、論文等）は授業で紹介する。
その他 授業はパワーポイントを利用して進める。また、教材の提示はYeStudyを利用する。受け身の姿勢ではなく、積極的に講義に参加してほしい。

履修コード	037102
科目名	地誌学
担当者名	かわらもと 豊和 川元 豊和

講義の到達目標(ねらい) この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。

講義の内容／授業スケジュール (1～3) 地誌的な見方・考え方について、(4～6) 世界の人口-発展途上国における「人口爆発」とその収束-、(7～10) 農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として-、(11～15) アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として-、(16～20) バングラデシュ農村における近年の農業の変化、(21～22) バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、(23～26) 半島マレーシアにおける多民族社会の形成、(27～28) 半島マレーシアにおける地方都市の発展、(29～30) サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点 高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。
成績評価の方法 出席状況（授業回数の2/3以上、15%）及び9月末のレポート提出（15%）を前提とし、学年末の筆記試験（70%）と併せて総合的に評価します。

教科書／テキスト 教科書は、特に定めずプリントを配布します。
参考書 授業内において、その都度紹介します。
その他 講義形式。

履修コード	037202
科目名	地誌学
担当者名	湯田 ^{ゆだ} ミノリ

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール	インドネシア、特にジャカルタについて理解を深めることを目指す。 前期はインドネシアの地理的位置、自然環境、民族構成とジャカルタの成立を、後期は主にジャカルタの産業、人口、都市居住等の問題を取り上げる。 (前期) ・地理的位置(インドネシアの範囲、地理的位置と自然・人文環境との関係) ・自然環境(地形、気候) ・多民族国家インドネシア成立の背景 ・植民地時代のジャカルタ ・インドネシア独立後ジャカルタの発展 (後期) ・ジャカルタ首都圏における経済発展と産業 ・ジャカルタにおける人口動態と就業構造の変動 ・カンボンと都市居住政策
履修上の留意点	参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、様々な視点からの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に海外などを旅行してほしい。
成績評価の方法	年に4回行う試験により判断します(各25点)。また、この授業は出席が必須ですので、出席がない場合は、その分減点になります。
教科書/テキスト 参 考 書	特に指定しない。 適宜紹介する。

歴史

履修コード	037302
科目名	地誌学
担当者名	山口 ^{やまぐち} 太郎 ^{たろう}

講義の到達目標(ねらい)	地誌学は、「地域」を説明する地理学の一分野である。今年度は、日本を事例として地誌学の主要概念や方法論を講義していく。 前期は、主に世田谷区を事例対象地域として、「地域」を考える上で必要な概念や「地域」を説明するための基本テクニックの習得を目指す。後期は、教科書に提示されているアプローチをもととした地誌学方法論の習得を目指す。
講義の内容/ 授業スケジュール	次の項目を予定している。 (1) イントロダクション、(2)(3) 地誌学の系譜、(4) 地域、(5) 身近な地域の地誌(世田谷区の事例)、(6) 統計の活用、(7) 主題図、(8) 実習1: 主題図の作成、(9) 歴史地誌(世田谷区の事例)、(10) 地図・文献の活用、(11)(12) 景観、(13) 実習2: 景観観察、(14)(15) グローバル地誌(日本の地域変化)、(16) 比較交流地誌(沖縄の事例)、(17)(18) テーマ重視地誌(都市化、交通・観光)、(19) 実習3: 教科書のまとめ1、(20) 網羅累積地誌、(21)~(23) 広域動態地誌(北陸、阪神間地域の事例)、(24) 実習4: 教科書のまとめ2、(25)(26) 空間と場所(メンタルマップ、場所のイメージ、場所の商品化)、(27) 予備日
準 備 学 習 履修上の留意点	初回授業時に指示する。 この講義では、授業中に小レポートや地図作成など、いくつかの作業(実習)をしてもらう。公欠を含め、欠席しがちな学生には不向きな科目である。また、授業中の成果物は、ある程度のレベル(内容はもちろん、体裁も含む)に到達していないと再提出を求める。 詳細は、初回授業時に説明する。
成績評価の方法 教科書/テキスト	平常点50点、夏のレポート25点、後期試験25点で採点する。 矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造編著2007、『地理学基礎シリーズ3地誌学概論』朝倉書店。3300円。
参 考 書 そ の 他	授業で紹介していく。 講義中心だが、課題達成型の授業でもあるので、授業への主体的な参加が求められる。

履修コード	046601
科目名	日本仏教史
担当者名	松本 信道

講義の到達目標(ねらい)

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2)～(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)～(15) 飛鳥仏教の成立、(16)～(25) 奈良仏教の成立、(26)～(30) 平安仏教の成立

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

随時、プリントにて配布します。

速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

歴史

履修コード	046911
科目名	西洋文化史
担当者名	田中 佳

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、ヨーロッパの歴史の中で文化にかかわるいくつかのテーマを取り上げ、近年の文化史、社会史の成果に依りながら考察を加える。ヨーロッパ史への多角的な理解を深めるばかりでなく、今日の社会・文化現象についての歴史的関心を養い、既存の概念やシステムを批判的に再検討するきっかけを提供することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期) (1) イントロダクション (2～3) 文化史の課題と方法 (4～9) 子どもと家族の社会・文化史 (10～14) 偉人のイメージ (15) 中間試験

(後期) (16～20) 美術館の起源 (21) 美術館見学 (22～26) ヨーロッパの美術館の創設 (27) アメリカの美術館の創設 (28～29) 日本への美術館の「輸入」(30) 総括

履修上の留意点
成績評価の方法

講義内容をふまえたうえで、自ら問題意識を持ち、考察を深めてほしい。

平常点(小テスト、提出物等を含む): 20%

中間試験: 40%

期末試験: 40%

により評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

テキストはとくに指定しない。

授業内で随時紹介する。

履修コード	047111
科目名	日本文化史
担当者名	廣瀬 良弘 <small>ひろせ りょうこう</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあったことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思います。
講義の内容／授業スケジュール	日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。 ・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向（1、2）、・鎌倉仏教と文化（3～5）、・禅宗と五山文化（6、7）、・南北朝から室町期の文化（8、9）、・北山文化の展開（10、11）、・東山文化とその基盤（12～15）、・中世の職能民（16、17）、・連歌師の旅（18、19）、・戦国社会と宗教（18、19）、・戦国社会の駆込寺（20～22）、・大名領国の文化（23、24）、・統一政権とその文化（25、26）、・近世文化史研究の動向と寛永文化（27～30）
履修上の留意点	講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。
成績評価の方法	定期試験の結果と授業の出席を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。
教科書／テキスト 参 考 書	とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。 講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

歴史

履修コード	047311
科目名	日本古代史
担当者名	瀧音 能之 <small>たきね ののち</small>

講義の到達目標(ねらい)	原始～平安時代への理解を深めるとともに、古代に生きた人々の生活、風習、信仰などについて考え、各人の能力のアップをはかることを目的とします。
講義の内容／授業スケジュール	古代の歴史を単に通史的に追うのではなく、それぞれの時代の中の興味深いテーマを設定して、そこから古代史をみつめたいと思います。
履修上の留意点	講義の日だけに古代史を勉強するというのではなく、日頃から新聞・雑誌・インターネット・TV番組などで報じられる古代史の新発見や情報に反応する習慣を養っておいて下さい。
成績評価の方法	2回おこなう確認テストを重視します。それに平常点（出席や発言など）を加味して評価します。その割合は、テスト85パーセントに平常点15パーセントくらいと考えて下さい。
教科書／テキスト	初回の講義のさいに指示しますので、受講希望者は、欠席しないようにして下さい。2000円くらいのものを予定しております。
参 考 書 そ の 他	瀧音能之『古代史の舞台裏』2007年刊（青春出版社）1000円＋税 古代史を考えてみよう、という熱意と興味のある学生の受講を期待します。

履修コード	047411
科目名	日本中世史
担当者名	久保田 昌希 <small>くぼた まさき</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講座は中世社会の構造を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。はたして中世という社会は、古代から近世社会の間でいかなる構造をもち、いかなる展開を遂げたのかという、いわば中世社会の「枠組み」を紹介する。日本史概説は大きく前近代史と近代史に分けられるが、本講座はいわば「時代史」として展開する。なお特講は時代史のなかの個別研究として位置づけられる。近年の中世史研究の動向も紹介しつつ進めていきたい。

講義の内容／
授業スケジュール (1～5) 古代から中世へ、(6～11) 鎌倉幕府と朝廷、(12・13) 武家と公家の法秩序、(14～18) 鎌倉中・後期の幕府と朝廷、(19) 建武政権をめぐる、(20～23) 室町幕府と守護体制、(24・25) 惣的結合と一揆の時代、(26～28) 戦国大名領国の形成、(29) 豊臣政権、(30) 近世(幕藩制)社会へ

歴史 履修上の留意点 細かな政治史、事件等の経緯についてはあまり紹介しない。各自で中世史関係の論文や図書を読んでほしい。また講義内容で関心をもった事項は自分で積極的に調べてほしい。もちろん質問も歓迎する。これらを通して自分のノートを充実することを期待している。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書 定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。
とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。
適宜紹介する。

履修コード	047511
科目名	日本近世史
担当者名	出口 宏幸 <small>でぐち ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) 近世の領主支配、および都市空間と村の生産・流通について理解することを目的とする。具体的には、都市江戸とその隣接地、関東農村(武蔵・房総・相模)に目を向け、都市江戸の発展がもたらした影響について考える。そのため、必要に応じて史料を用いて解説する。

講義の内容／
授業スケジュール (1) 授業のガイダンス
1、戦国から近世へ
(2・3) 戦国時代の終えん (4・5) 徳川政権の確立 (6・7) 江戸城と都市江戸
(8) 検地と村 (9～11) 獵師町の成立
2、江戸の発展と変容
(12～14) 都市江戸の発展 (15・16) 江戸周辺地域の特質
3、商品経済の発展
(17・18) 日本橋肴問屋 (19・20) 前貸し資本と村規定 (21・22) 江戸内湾の鮮魚流通
4、漁業と漁村
(23・24) 享保改革 (25・26) 漁業権の確立 (27・28) 農業と漁業
(29・30) 幕末期江戸湾の風景

履修上の留意点 積極的に講義に取り組むことで、近世という社会を理解すること。ただ、記憶するのではなく、授業を通して社会のしくみやその時代を生きた人々について考え、この時代から何かを得る機会としてほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書 基本的には、年度末の定期試験が成績評価の対象となる。ただし、授業の出欠状況も参考とする。教科書は使用しない。授業で必要な資料は、その都度プリントして配布する。
必要な場合は、授業中に指示する。

履修コード	047611
科目名	日本近代史
担当者名	熊本 史雄

講義の到達目標(ねらい)

いうまでもなく、歴史を学ぶにおいては「問」が存在します。近代史に限って言えば、アジア太平洋戦争はなぜ起こったのか、は大きな「問」のひとつに違いないでしょう。これと関連して、「国民国家」が如何にして建設されたのかという「問」もまた、近代史を学ぶ際の大きな「問」です。

西欧文明との接触を契機として始まった日本の近代化は、憲法制定や帝国議会設置といった政治体制の整備にとどまらず、産業、経済、教育、芸術、さらには文化といった生活レベルにまで至るものでした。その過程は、伝統と変革と建設の三つ巴の混乱を伴いながら、西洋文明すなわち異文化をいかにして受容するかとの課題に対応し続けたものと言えるでしょう。そしてその先には、強靱な「国民国家」を建設する、という明治国家が掲げた大きな目的があったのです。

そこで本講義では、「国民国家」建設における「内」と「外」、すなわち「国民」を創り出すべく展開された国内事業とりわけ教育政策と、対外関係のなかで「帝国日本」の位置を模索した外交につきそれぞれ史料を交えて講述し、先の「問」に答えていくための視座を提供していきたいと考えています。

まず前期では、西洋文明の摂取とそれに対向すべく喧伝された日本の伝統文化のなかで模索を続けた近代日本の足跡を、「文学（自我の確立）」と「国語（ことば）」を切り口として考察します。とくに、「国語教育」が担った「国民」創出過程を繙くことによって、アジア進出を促した論理やナショナリズムの問題にも言及していきます。

かわって後期では、「国民国家」建設作業と表裏一体でもあった、日本の外交につき論じていきます。とくに、キーとなる人物を採り上げてその外交思想を解明し、近代日本外交が抱え持った、多様で膨らみのある言説空間と足跡を、史料を交えて講述していきます。これらの検討を通じて、近代日本が対峙した対外関係の課題が浮かび上がってくるでしょう。それはすなわち、「なぜ、日本は無謀な戦争を起こさねばならなかったのか？」そして国民の多くは、なぜそれを支持したのか？」という問を解くヒントになるはずで

講義の内容／
授業スケジュール

- 1回 授業の進め方、参考文献などについての説明
- 2～4回 近代日本の西洋体験 ①～③
- 5～8回 「国語」の創出と国民国家形成 ①～④
- 9～12回 「国語」の海外進出と文化統治政策 ①～④
- 13回 前期のまとめ
- 14回 中間試験
《以上前期》
- 15回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画について
- 16回 山縣有朋の「外交戦略論」
- 17回 内藤湖南の「アジア主義」
- 18回 内村鑑三の「非戦論」
- 19回 宮崎滔天の「侠」と中国
- 20回 牧野伸顕の「新外交」論
- 21回 幣原喜重郎の「協調外交」
- 22回 石橋湛山の「小日本主義」
- 23回 矢内原忠雄の「植民地政策」論
- 24回 佐藤尚武の「文化外交」論
- 25回 石原莞爾の「最終戦争論」
- 26回 吉田茂の戦後構想
- 27回 まとめ ～国民国家形成と近代日本～

履修上の留意点
成績評価の方法

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく「考える歴史」、「発見する歴史」を。前・後期2回の試験成績（70%）、出席状況および授業への取り組み姿勢（30%）をもとに総合的に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

- とくに指定しない。
- 伊藤 隆『昭和史をさぐる』（朝日文庫）1991年
- 中野目徹『書生と官員－明治思想史点景－』（汲古書院）2002年
- 細谷千博『日本外交の軌跡』（NHK ブックス）1993年
- 三好行雄編『漱石文明論集』（岩波書店）1986年
- E. H. カーク著 清水幾太郎訳『歴史とは何か』（岩波新書）1962年
- イ・ヨンスク『「国語」という思想』（岩波書店）1996年

そ の 他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

歴史

履修コード	047701
科目名	日本史特講Ⅰ〔古代〕
担当者名	宇佐美 正利

講義の到達目標(ねらい)	日本古代の仏教史の流れを理解させる。六世紀中頃に百済から伝えられた仏教がどの様に受容され、その後どの様に展開していったか、またそれが現在の我々にどのような影響を与えているかなどが理解出来るようにする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：講義全体のガイダンス、第2～4回：仏教伝来、聖徳太子の仏教信仰、第5回：白鳳仏教、第6～9回：奈良仏教、第10～15回：平安仏教、第16～20回：『日本霊異記』の世界、第21～24回：浄土教の発達、第25～28回：神仏習合、第29～30回：修験道の成立
準備学習	最初の講義の時に翌週以降の資料を配布するから、それを読んでくる。また参考文献を提示するので、講義内容に関する部分を読んでくるように。
履修上の留意点	講義の時に配布する資料だけでなく、それに関する事項を積極的に調べてくるように。
成績評価の方法	学期末試験(7割)、レポート(3割)を基本に評価する。その際には、出席状況も勘案する。
教科書／テキスト	適宜資料を配布する。
参考書	末木文美士『日本仏教史』(新潮文庫)

履修コード	047801
科目名	日本史特講Ⅱ〔古代〕
担当者名	古谷 紋子

講義の到達目標(ねらい)	平安時代は、日本古代社会の変質時期であると同時に、中世社会へと移行する重要な時期にあたる。平安時代の貴族社会について理解を深めることを目的とし、平安京遷都に始まり、摂関期・院政期の政治文化について講義を進めるものである。おもに八世紀末から十二世紀末の平安時代前期・摂関期・院政期の特質を考える。
講義の内容／ 授業スケジュール	漢文を中心とする歴史史料は、読みにくいものである。六国史をはじめとする歴史史料、律令などの法制史料や、貴族の日記である古記録など、史料の講読をおこないつつ講義を進めていきたい。 1、ガイダンス(1) 2、平安京遷都と平安初期の行政改革(2～4) 3、平安時代の政変(5～8) 4、摂関政治(9～11) 5、東国の兵乱(12～15) 6、政治制度と年中行事(16～20) 7、天皇と服装の古代史(21～23) 8、遣唐使派遣(24・25) 9、後三条天皇の即位と院政(26・27) 10、保元・平治の乱(28～30)
履修上の留意点	毎回プリントを配布する。配布したプリントに目を通しながら授業を聴く事。また板書も多いので、書きもらすことのないように注意すること。
成績評価の方法	出席状況を重視し、前期・後期の講義最終日に試験を行なうことで成績を評価する。

履修コード	048101
科目名	日本史特講Ⅳ〔中世〕
担当者名	浅倉 直美

講義の到達目標(ねらい)	戦国期の権力と社会について理解し、追求することを目的とする。とくに関東の北条氏領国を中心として、近年の中世史研究の進展と課題を踏まえたうえで、具体的に史料と先行論文も取り上げて考えていく。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1)～(10)近年の中世史研究の課題と成果、(11)～(20)史料の分析と理解、(21)～(30)北条領国における権力と社会、
準備学習	とくに後期は、次回の授業で使用する論材を配布するので、予習してきてください。
成績評価の方法	小レポート(毎時間400字程度)および出席点
教科書／テキスト	特に教科書は指定せず、必要に応じてプリントを配布する。
参考書	授業中、必要に応じて適宜紹介します。

履修コード	048201
科目名	日本史特講Ⅴ〔近世〕
担当者名	小高 昭一 <small>おだか しょういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 近年の近世史研究で注目された研究論文を講読し、関係史料もあわせて読み込み、何が分かったのか、また今後に残された課題を探り、各自の近世史研究に役立てたい。

講義の内容／授業スケジュール 近世の支配・被支配関係における儀式・儀礼・習俗・意識といった研究に注目し、支配の正統性について考える。次いで「馳走」という行為にみられる領主と民衆の間の儀礼・作法についても研究文献を講読して考えてみたい。

成績評価の方法 授業での平常点（出席）と定期試験での成績で総合評価する。

教科書／テキスト 特定の教科書はない。講義の際に文献・史料のコピーを配布する。

履修コード	048301
科目名	日本史特講Ⅵ〔近世〕
担当者名	桜井 昭男 <small>さくらい あきお</small>

講義の到達目標(ねらい) 江戸時代の村の成り立ちとその変遷について、資料を用いながら見ていく。特に後期は特定の村（山形県庄内地方に位置する黒川村）を取り上げて、具体的な村の姿を検討していく。

講義の内容／授業スケジュール (1) 江戸時代の村とは。(2～4) 中世後期から江戸時代初期の村。(5～8) 村のしくみ。(9～10) 村の変容。(11～14) 江戸時代後期の村。(15) 試験。(16～18) 幕末・維新期の村。(19) 黒川村の概要。(20～29) 黒川村の歴史。(30) 試験

履修上の留意点 受講にあたり、自分が生れた、あるいは自分の住む村や地域にも興味を持つよう心掛けてもらいたい。

成績評価の方法 出席状況と年2回の試験、および夏休みのレポートの成績を総合的に評価する。

教科書／テキスト 各回レジュメを配布する。

考 書 講義中に適宜指示する。

歴史

履修コード	048401
科目名	日本史特講Ⅶ〔近代〕
担当者名	熊本 史雄 <small>くまもと みるお</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満州事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期 GHQ との折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容／
授業スケジュール

歴史

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満州事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満州事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と戦後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の試験の成績(70%)、および出席状況と授業態度(30%)で評価する。

教科書／テキスト

とくに指定しない。

参考書

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修コード	048411
科目名	日本史特講Ⅷ〔近代〕
担当者名	勝田 政治 <small>かつた まさはる</small>

講義の到達目標(ねらい)

開国（ペリー来航）からアジア太平洋戦争までの近代日本政治史を考察することによって、日本近代国家の特質を明らかにすることを目的とします。近代史全般を視野に入れますが、幕末から昭和初期までを主な対象とします。

講義の内容／
授業スケジュール

〈1〉講義概要の説明 〈2～5〉幕藩体制の特質、開国の意味、開国後の政治変動、江戸幕府の滅亡 〈6～12〉王政復古と戊辰戦争、版籍奉還と廃藩置県、開化政策の展開、留守政府と征韓論政変、大久保政権と内務省、内務行政の展開、国境の画定 〈13～15〉土族反乱、自由民権運動、明治14年の政変 〈16～19〉大日本帝国憲法、初期議会と日清戦争、日清戦後の政治状況、社会運動の登場 〈20～23〉日露戦争、桂園時代、韓国併合と同化政策、大正政変 〈24～30〉第一次世界大戦と日本の参戦、政党政治の展開、大正デモクラシーと社会運動、ワシントン体制下の内政、政党内閣期の政治、軍部の台頭、戦争の時代へ

準備学習
履修上の留意点

日本近代史の通史を読んでおいて下さい。
近代日本政治史にかぎらず歴史学には、さまざまな学説があります。私の講義も一つの学説として理解するようにしてください。講義では、他の学説をふくむ参考文献を随時紹介するようにつとめます。受講生はそれらの文献をはば広く読むことによって講義内容を確認し、最終的には自らの日本近代史論を作り上げることを期待します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

年度末の筆記試験を基本として評価しますが、出席状況も考慮します。
ありません。講義概要（レジュメ）を配布します。
講義のなかで適宜紹介します。

歴史

履修コード	048511
科目名	東洋史各説Ⅰ〔古代史〕
担当者名	山口 ^{やまぐち} 洋 ^{ひろし}

講義の到達目標(ねらい) 中国王朝と周辺諸国との関係について、如何なる問題点が存在し、どの様に研究が進められているのかを知ると共に、自ら問題に取り組めるようになること。

講義の内容／
授業スケジュール 前漢王朝以来、中国王朝にとって北アジアの遊牧民族勢力との関係は非常に重要であった。遊牧勢力は時には中国世界の奥深く進入し、やがて王朝をうち立てることもあった。北魏や北朝諸王朝、隋、唐などもその王族は鮮卑系である。また、西域諸国と中国王朝との交流は、それ自体が中国王朝に様々な影響を与えたが、その過程では北アジア遊牧勢力との力関係が影響していた。本講義では、北アジア史や中央アジア史の視点から中国史を再検討する。また、後期は隋王朝を中心に東アジア史の視点から、高句麗・日本との関係も視野に入れたい。対象時代は、中国王朝で言えば秦から唐まで。以下の予定で進める。

- 第1回：ガイダンス
- 第2回-第3回：アジアの地理と風土
- 第4回-第5回：冊封
- 第6回-第8回：西域と漢王朝
- 第9回-第11回：匈奴
- 第12回-第14回：鮮卑、柔然
- 第15回：前期まとめ
- 第16回-第18回：隋の統一（南北朝から隋成立まで）
- 第19回-第22回：突厥
- 第23回-第24回：高句麗
- 第25回-第26回：隋王朝と西域
- 第27回：高昌国
- 第28回-第29回：日隋関係
- 第30回：試験

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

参考書に掲げた文献を中心に予習復習しましょう。
出席不良者には単位修得を認めない。課題は必ず提出すること。
筆記試験50%（後期最後）
レポート30%（前期夏休みのレポート）
出席20%（全体の3分の1以上を休んだ場合は、その時点で「不可」とします）
（筆記試験は必須）

教科書／テキスト
参 考 書

プリント配布
池田温〔ほか〕著『中国史』（山川出版社）1996.7（世界歴史大系）
森安孝夫著『シルクロードと唐帝国』（講談社）2007.2（興亡の世界史；05）
護雅夫著『古代遊牧帝国』（中央公論社）1976.7（中公新書；437）
護雅夫著『古代トルコ民族史研究』1-3別冊（山川出版社）1967.3-1997
護雅夫著『李陵』（中央公論社）1974（中公叢書）
内田吟風著『北アジア史研究』鮮卑柔然突厥篇、匈奴篇（同朋舎）1975

履修コード	048711
科目名	東洋史各説Ⅲ〔中世史〕
担当者名	石田 ^{いしだ} 肇 ^{はじめ}

講義の到達目標(ねらい) (唐宋変革期の諸問題)と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容／
授業スケジュール

前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえてあるテーマについてお話しする予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科学論といった私の関心のある分野から選んで講義することになるとお思います。受講者の関心になるべく対応するつもりです。

履修上の留意点
成績評価の方法

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。
出席ならびに課題提出によります。

参 考 書
そ の 他

適宜、講義中に示します。
講義を中心としますが、なるべく受講生に発言を求めます。

履修コード	048811
科目名	東洋史各説Ⅳ〔近世史〕
担当者名	みやざき よういち 宮崎 洋一

講義の到達目標(ねらい)

今日の中国経済は急激に発展して、世界第一の経済大国への道を突き進んでいる。その要因を歴史的に探ることが本講義の最大の目的である。このため今日につながる発展の最初の変動期を迎えた明王朝の後半から清王朝の前半期にかけて（16～18世紀）の中国の社会・経済の動向を把握し、中国が如何なる特質をもつ国であるかを理解する一助とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1～3回：序論。今日の中国についての様々な情報を提供し、中国の社会・経済における問題点を浮かび上がらせる。
- 第4～7回：中央と地方。明・清時代の行政体制を確認し、中央政府と個々の人々の生活の場である各地方との関係を考える。
- 第8～11回：明末清初。16～18世紀の社会・経済の変動を確認し、今日につながる社会的・経済的特質を考える。
- 第12～15回：生産と技術。生産活動の基盤となる技術に着目し、明末清初期の変動を再確認する。
- 第16～19回：清朝前期の諸産業。明・清時代の生産・流通・消費について、具体的な事例を示しつつ、その特質を探る。
- 第20～23回：中国とアジア・ヨーロッパ。「近代」時期以前における中国とその周辺地域との関係を確認する。
- 第24～27回：いわゆる中国の「近代化」。19世紀における西欧化により、中国は近代化されるといわれるが、この時期の中国の社会・経済を分析することにより、中国の「近代化」とはなにかということについて再考する。
- 第28～30回：結論。いくつかの中国近代化のモデルを紹介しつつ、中国とはいかなる社会であるかを確認する。

準備学習

明王朝・清王朝についての基本的知識を、高校世界史のレベルでかまわないので、教科書・参考書等を利用して再確認しておくこと。『中国の歴史』（講談社刊）などの概説書を読んでおくとなおよい。但し、ある程度の中国史概説は授業の中でも行います。

履修上の留意点

歴史研究の出発点は今日への関心にあります。日頃から新聞の経済面・国際面に目を通したり、テレビや雑誌等の中国・アジア関係の報道には注目しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験（6割）と夏期休業後に提出してもらったレポート（4割）をもとに、総合的に評価します。

教科書／テキスト

教科書は使用しません。但し、毎時間参考資料をプリントの形で配布します。

参 考 書

講義中に適宜指示します。但し、下記の書は英文で読むの時間がかかるかと思しますのであらかじめ提示しておきます。

- (1) S.Naquin&E.S.Rawski “Chinese Society in the Eighteenth Century” Yale U.P.1987
- (2) M.Elvin “Another History” Hawaii U.P.1996

歴史

履修コード	048911
科目名	東洋史各説V〔近・現代史〕
担当者名	趙 軍

講義の到達目標(ねらい)

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概要的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から日中戦争までの歴史を解説し、後期は第二次世界大戦以降および中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

第1回：「開国」直前の中国、第2回：アヘン戦争と中国の「開国」、第3回：「太平天国」農民運動、第4回：洋務運動と日清戦争、第5～6回：士紳らの救国運動－戊戌維新－、第7回：農民らの救国運動－義和団事件－、第8～9回：ブルジョア階級による救国運動－辛亥革命－、第10～11回：北洋軍閥統治下の中国、第12回：「国民革命」の開始と挫折、第13～14回：日本の満洲侵略と紅軍の長征、第15回：前期のまとめ。第16～17回：中国の抗日戦争、第18回：解放戦争と新中国の誕生、第19回：中華人民共和国の性格と政治構造、第20回：中華人民共和国の対内対外政策、第21～22回：1950年代前期の中国、第23～24回：「反右派闘争」前後、第25回：「大躍進」と「人民公社」、第26回：「四清運動」、第27～28回：「文化大革命」の嵐、第29回：鄧小平と改革開放政策、第30回：後期のまとめ

準備学習

授業中、歴史的背景、重要人物・重要事件の主な流れとその歴史的影響、並びに学会における研究動向などを重点的に説明するが、具体的流れと参考資料などは事前に指定教科書などを予習してほしい。

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考に

教科書／テキスト
参 考 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』(岩波新書336) 岩波書店
授業の中で指示する。

履修コード	049511
科目名	東洋史特講I〔古代史〕
担当者名	石井 仁

講義の到達目標(ねらい)

いわゆる三国志には、3世紀末、西晋の歴史家、陳寿によって編纂された正史『三国志』と、14世紀の元末明初期に大衆芸能をもとに書かれた『三国志演義』とがあります。後者は脚色が施された小説であって史実ではありませんが、現代の日本では、中国史の専門家も含め、これをもとに三国時代の歴史が語られる場合が少なくありません。講義では、『三国志演義』の強い影響のもと、これまで誤解・曲解されてきた三国時代の歴史や人物像を再構成することを目的とします。受講者には、この講義を通して、歴史学研究の方法などを学んで欲しいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期) (01～02) ガイダンス、三国志研究の可能性
(03～06) 魏晉南北朝史の基本問題
(07～13) 孫呉政権に関する諸問題①赤壁の再検討
(14～15) 補論
(後期) (16～22) 孫呉政権に関する諸問題②孫堅の出自
(23～28) 孫呉政権に関する諸問題③孫策・孫権の江南経略と外交戦略
(29～30) 補論

準備学習
履修上の留意点

三国時代の歴史、主要人物などについて、一通り勉強しておいて下さい。
三国時代(もしくは魏晉南北朝史全般)に関する基礎的な知識がなければ、専門的な問題を論じる講義内容を理解するのは困難です。また、当然のことながら、『三国志』『後漢書』など、漢文史料を用いるので、漢文読解に関する基礎知識もあった方がよいでしょう。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

レポート(複数回)の成績をもとに評価します。
使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。
渡邊義浩『三国志研究入門』(日外アソシエーツ)、同上『諸葛亮孔明』(新人物往来社)、石井仁『曹操一魏の武帝』(同上)など。
なお、開講後、参考文献一覧を配付するほか、講義で随時紹介します。

履修コード	049611
科目名	東洋史特講Ⅱ〔中世史〕
担当者名	<small>なかむら じゆん</small> 中村 淳

講義の到達目標(ねらい)	中世のアジアも、分断された歴史世界が並立した状態ではなく、また単純に「中国」が中心にあった時代と言うわけでもなかった。 13～14世紀のモンゴル時代(モンゴル帝国・元朝の時代)の歴史を中心に、中央ユーラシア世界から中世のアジア世界史像を提示してみたい。 受講生には、単なる知識の習得のみならず、既存の理解や価値観にとらわれることなく「人々の営み」をありのままに捉えることの重要性を理解してもらいたい。
講義の内容／授業スケジュール	おおむね以下のような授業内容を予定している。 〔前期〕導入(地理・文字・言語・民族)、拓跋時代、三国時代(唐・ウイグル・吐蕃)、キタイ時代(1) 〔後期〕キタイ時代(2)、多元化の時代、モンゴル時代
準備学習	東洋史分野の中でもかなり特殊な話をする。講義内容を理解するためには、高校の地歴の基礎知識は必要。 世界史B・地理B程度で構わないので、しっかり準備して毎回の授業に臨んで欲しい。 一次史料を多く用いて講義を進めるので、ある程度漢文を理解できた方がよい。 出席・授業態度・筆記試験の結果を総合的に評価する。 必要な史料はプリントで配布。 参考書については授業時に随時紹介する。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	

歴史

履修コード	049711
科目名	東洋史特講Ⅲ〔近世史〕
担当者名	<small>すぎのま きよひこ</small> 杉山 清彦

講義の到達目標(ねらい)	16～18世紀のユーラシアは、モンゴル時代に起源する巨大帝国が各地域世界に並び立つ時代であった。一般に「最後の中華王朝」「漢化した異民族王朝」と理解されている清朝も、マンジュ(満洲)人が皇帝となって広大・多様な領域を統合した帝国であるという点において、オスマン帝国やムガル帝国と並び立つ「大清帝国」として捉えることができる。 本講義では、まず支配層たるマンジュ人・八旗に焦点を当てて、帝国の形成過程とその支配構造について考察し、ついで、ユーラシアに並存したオスマン・サファヴィー・ムガルといった諸帝国の支配体制との比較検討を行なう。これらにより、時系列的な中国史上の一王朝としてではなく、同時代のユーラシアに並立した巨大帝国の一つとして大清帝国を描き出すことをめざす。
講義の内容／授業スケジュール	〔前期〕大清帝国の形成と構造 第1～3回：近世のユーラシア東方 第4～9回：大清帝国の形成と発展 第10～14回：八旗制と帝国の支配構造 第15回：予備日 〔後期〕大清帝国と近世のユーラシア 第16～18回：モンゴル帝国とティムール帝国 第19～21回：オスマン帝国とカブ＝クル軍団・イェニチェリ 第22～24回：サファヴィー帝国とキジルバシ・ゴラーム 第25～27回：ムガル帝国とマンサブダール 第28～29回：ユーラシアのなかの大清帝国 第30回：予備日
準備学習	高校世界史B程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。
成績評価の方法 参考書	前後期各1回課レポートを基本とし、平常点を参考とする。 講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、『清朝とは何か』(別冊・環⑩、藤原書店、2009)、『紫禁城の栄光』(岡田英弘・神田信夫・松村潤著、講談社学術文庫、2006)を薦める。

履修コード	049811
科目名	東洋史特講Ⅳ〔近・現代史〕
担当者名	藤谷 浩悦 <small>よびや こうえつ</small>

講義の到達目標(ねらい)

前期は、19世紀の半ば、中国の華南、華中地方で起きた太平天国運動太平天国運動を題材としながら、歴史をどのように考えていったらよいかについて、様々な角度から言及します。具体的には、文化摩擦と変容、理念と現実、パーソナリティと社会、或いは歴史評価の変遷といった問題を取り上げます。

後期は、本と中国の近代を中心としながら、文化需要の異同や、発想の違い、展開の特徴などを考えるものです。題材は、茶やアヘン、都市、留学生、翻訳語、服飾や髪型など、日常生活に密着したテーマです。また、日本の史跡も紹介しながら、歴史を考えることの魅力に触れたいと思います。

講義で強調したい事柄は、物の考え方、見方にあります。従って、必ずしも世界史や中国史の基礎的な知識に不安のある学生でも、受講に差し障りはありません。興味さえあれば、結構です。

前期：1. 民衆反乱の世界、2. 秘密結社と民衆、3. 民間宗教の系譜、4. 中国の試験地獄、5. 洪秀全の目覚め、6. 文化伝播と変容、7. 洪秀全と曾国藩、8. 太平天国の内紛、9. 理念と現実の差、10. 洪の死と曾国藩、11. 李秀成の供述書、12. 歴史評価の変遷、13. 歴史を学ぶ意味、後期：1. 茶の世界史、2. 茶の需要と地域差、3. 病気と茶、4. 茶とアヘン、5. アヘン戦争、6. 日本の開国、7. 横浜の歴史と中華街、8. 中華街：日本の論理と中国の論理、9. 上海と横浜、10. 留学生と日本、11. 翻訳語とアジア、12. 服飾と髪型、13. 日本と中国の近代

講義が主体となります。毎回、授業に関する感想を書いていただき、次回以降の授業内容に反させたいと思います。

評価は、テスト6割、出席率4割の比率で行います。テストは、二回行います。ノートは持ち込み可能ですが、コピーしたものは認めません。

教科書はありません。参考書は、授業中適宜指示します。

歴史

講義の内容／
授業スケジュール

成績評価の方法

教科書／テキスト

履修コード	049911
科目名	東洋史特講V〔アジア諸民族史〕
担当者名	野田 ^{のだ} 仁 ^{じん}

講義の到達目標(ねらい) 多様な民族で構成される中央アジアの歴史的展開を概観し、とくにモンゴル帝国時代以降の政治・社会・文化の諸相を考察します。
前期では北方の遊牧世界と南方の農耕オアシス世界の違いを理解する事を主な目的とし、後期ではこの地域を取り囲む中国・ロシアなどのより大きな勢力との関係に注目しながら、近代の諸民族の活動に焦点を当てて考察を進める予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

- 前期
- 1: 授業計画の説明、中央アジアという地域の概略
 - 2: 草原の遊牧世界の歴史展開
 - 3: スキタイから突厥へ
 - 4: 農耕オアシス世界の歴史展開
 - 5: ソグド人の時代
 - 6: 中央アジアのイスラーム化
 - 7: モンゴル帝国の西方への拡大
 - 8: モンゴル帝国治下のイスラーム
 - 9: モンゴル帝国の継承政権
 - 10: ティムールの覇権と王朝の構造
 - 11: ティムール朝の崩壊とウズベクの国家
 - 12: イスラームの聖者と権力
 - 13: 前近代中央アジアの文化
 - 14: その後の見通しとまとめ

後期

- 1: 前近代中央アジア史の概観（前期の総復習を行います）、近現代史の諸問題について
- 2: ジュンガルの覇権と中央アジア
- 3: 清朝による中央アジアの征服
- 4: 清朝治下の中央アジア（新疆）(1)
- 5: 3ハン国とロシアによる中央アジアの征服
- 6: ロシアによる中央アジアの征服 (2)
- 7: ロシア帝国治下の中央アジアと改革運動
- 8: 清朝治下の中央アジア（新疆）(2) とグレートゲーム
- 9: 2つの革命と中央アジア
- 10: ソ連時代の中央アジア
- 11: 辛亥革命以降の新疆
- 12: 現代中央アジアのイスラーム信仰
- 13: 中央アジア諸民族の言語と文化
- 14: 中央アジア史のまとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

地図帳などで地理・地名を確認しておくとう理解が深まります。
中央アジア史だけでなく、ロシア史や中国史に関心を持つ人の履修も歓迎します。
出席状況と学期末に行う予定の試験結果を合わせて総合的に評価します。
テキストは、講義中に配布するレジュメやプリントを基本とします。その他の文献については適宜指示します。

参考書

- ・小松久男（編）『中央ユーラシア史』（新版世界各国史）山川出版社、2000年
- ・梅村坦『内陸アジア史の展開』（世界史リブレット（11））山川出版社、1997年
- ・閻野英二ほか『内陸アジア』朝日新聞社、1992年

歴史

履修コード	050011
科目名	東洋史特講Ⅵ〔アジア諸民族史〕
担当者名	よつかいち やすひろ 四日市 康博

講義の到達目標(ねらい) イスラーム教はその成立以来、アラブ世界・イラン世界に留まらず、ユーラシア・インド洋海域世界に広く波及し、各地域の歴史や国際交流、地域間交流に大きな影響を及ぼした。本講義は東西ユーラシアにおけるイスラームの歴史的展開とアジアとの接触を中心に講義をおこなう。また、宗教的側面のみならず、政治・経済・社会・文化的側面からイスラームの歴史の理解をこころみる。

講義の内容／授業スケジュール (1)introduction、(2)アラブ世界とイラン世界、(3)イスラーム諸王朝の歴史、(4)イスラームの中のトルコ、(5)遊牧社会とイスラーム、(6)モンゴル帝国の出現とイスラーム世界への衝撃、(7)イスラームにおける商業、(8)イスラーム国際商業の展開、(9)イスラームと海域世界、(10)移動する人々：マルコ＝ポーロとイブン＝バットゥータ、(11)知識人と学術ネットワーク、(12)イスラームと巡礼、(13)アジアにおけるイスラームの展開、(14)イスラームの美術と文化交流、(15)イスラーム世界と現代社会(※授業の進行状況に応じて変更する場合があります)

履修上の留意点 受講内容に対して自分に身近な社会・文化との相違点・相似点を考えてみること。

成績評価の方法 年2回のレポートに加え、出席点・平常点で評価する。

教科書／テキスト 授業時にプリントを配布する

歴史

履修コード	051101
科目名	西洋史各説Ⅱ
担当者名	しまぎ けいいち 庄司 啓一

講義の到達目標(ねらい) アメリカ合衆国の歴史

アメリカ合衆国について情報は氾濫している。それは日本と政治・経済・文化などの分野において最も密接な関係がある国だからである。そればかりではない。アメリカは世界最強の軍事・経済・文化帝国であり、世界のあらゆる出来事に強い影響を与えている。しかしながら、アメリカ合衆国の全体像、その基本的な性格を理解するには、その歴史に遡らなければならない。「アメリカ史」を日本の若者はどのようにして学んできたのだろうか。日本の若い人々にとり生活の一部となっており、わざわざ勉強しなくてもいい、と考えられていないだろうか。

アメリカはヨーロッパの植民地として歴史がはじまり、原住民であるインディアンを追い払いながら、ヨーロッパから多様でたくさんの人々を受け入れてきた「移民国家」である。黒人はアフリカ大陸から強制的に奴隷として連行されてきたのであり、決して自由な移民ではない。また、アジアからも中国、日本、フィリピンなどからの移民は人種・民族的な差別を体験しながらアジア系アメリカ人としてのアイデンティティを模索している。近年はラテン・アメリカからの「不法移民」の流入も政治問題となっている。このような世界各地の人々が自らを「アメリカ人」として自己認識するには長い歴史的な時間が必要であった。

世界の辺境の地に植民地として歴史がはじまったアメリカ合衆国が世界最大の工業国家に成長し、世界に君臨するようになり、その歴史的な限界をも露呈するようになった今日、アメリカの歴史の基本線を勉強することは、日本人にとっても大切なことだと考える。

講義の内容／授業スケジュール (1) アメリカ史を学ぶ意義について (2-8) さまざまなアメリカ人 (9-15) 国民統合の制度と文化 (16-20) 19世紀のアメリカ (21-25) 20世紀のアメリカ (26-30) 第二次世界大戦後のアメリカ

履修上の留意点 日常的にアメリカに関する新聞・雑誌・TVなどにアクセスするように心がけること。新大統領のオバマ政権の特徴なども調べると良いでしょう。

成績評価の方法 中間、学年末試験と授業内でのビデオを見てのレポート提出

教科書／テキスト 有賀・油井編『アメリカの歴史』有斐閣

履修コード	051201
科目名	西洋史名説Ⅲ
担当者名	長谷川 岳男 <small>はせがわ たけお</small>

講義の到達目標(ねらい)	従来、西洋世界の源流に位置づけられてきた古代ギリシア・ローマ世界を扱う。1980年代より、この「源流」という位置づけへの疑義が高まり、違った視点からの考察が進められている近年の研究動向をふまえて、新たなギリシア・ローマ世界像を紹介したい。本年度は特にローマ帝国の世界に焦点を当てて、この帝国の実像の理解を深め、その影響を色濃く残す現代社会との比較を通して、改めて我々の世界の特性を再確認したい。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、第一回目のオリエンテーションで講義全体の問題設定と視点を明確にしたうえで、古代ギリシア・ローマ世界全体の理解をめざして、ローマ帝国の滅亡までを概説を交えながら、近年の研究成果を摂取して、ギリシア人のコミュニティの実態、ギリシア神話の世界、祝祭やオリンピアなどの競技会の意義、アレクサンドロス大王の東征とその歴史的意義、ローマ帝国成立の過程、ローマに滅ぼされたカルタゴやヘレニズム王権、ガリア人の世界、帝政下の社会、古代末期の見直しなどのトピックを数回ずつ取り上げる。後期は特にローマ帝国の世界に焦点を当て、この帝国が現在に至るまで日本社会を含めいかなる影響を与えてきたのかを紹介した後、この帝国がなぜ成立し、さらに400年以上もの長き間、維持され得たのか、そしてなぜ滅んだのかをローマ人の意識や属州民の視点、あるいは宗教的なものを含めた社会的・文化的様相に触れて、この帝国の実像の理解を深めたい。
準備学習	講義内容の理解を助けるために、講義中にあげた文献などを事前に講読してることが好ましいであろう。
履修上の留意点	ただ情報を得るだけでなく、講義内容を土台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	講義をした上で講義の最後に試験を行って評価するが、出席が前提となる。追試験は行わない。 使用しない。 なお参考書は講義中に随時、指示する。

歴史

履修コード	051401
科目名	西洋史特講Ⅰ
担当者名	伏島 正義 <small>ふせじま まさよし</small>

講義の到達目標(ねらい)	中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語、事件、事項のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした事柄を選んでみたい。そして、そうした事柄がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような事柄を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。
講義の内容／ 授業スケジュール	上記に関係する文献、論文、史料などを読む。昨年度はドイツ語による論文を読んだが、具体的には受講生と相談し、決める。初歩のドイツ語による興味あるテーマとしたい。 本講では演習形式により授業を進める。本講では論文をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ぼうとするものである。
履修上の留意点	本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求しようとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。
成績評価の方法	毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。授業で毎回確かめる出席の回数と期末テストで評価する。
教科書／テキスト 参考書	教科書は特に定めない。必要な論文、史料はプリントして配布する。 参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

履修コード	051601
科目名	西洋史特講Ⅲ
担当者名	佐々木 真 <small>ささき まこと</small>

講義の到達目標(ねらい) フランス絶対王政期の軍隊および戦争についての知識を習得し、この時期の国家のあり方についての理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール テーマは「フランス絶対王政期の軍隊と戦争」。最近のフランス絶対王政に関する研究では、「官僚制と常備軍に立脚した中央集権的な国家」とイメージに大きな修正が加えられている。そこで、本講義では絶対王政期の軍隊の制度的特色と17世紀後半期の軍制改革を検討することにより、当時の軍隊と国家との関係を考察する。続いてスペイン継承戦争(1701-1713)期の軍隊行政を検討し、当時の戦争がどのように行われのかを明らかにするとともに、国家や軍隊、地域がどのように動いたのかという視点から、当時の軍隊と国家についての考察を深める。

授業計画

(前期)

- (1) 問題点の提示
- (2~4) 絶対王政概観
- (5~6) 絶対王政期の軍隊制度
- (7~9) ル・テリエとルヴォワの軍政改革
- (10~11) 絶対王政期の戦争
- (12~14) 王権と戦争

(後期)

- (15) スペイン継承戦争概観
- (16~18) スペイン継承戦争期の軍事財政
- (19~21) スペイン継承戦争期の補給問題
- (22~25) 官僚制度と軍隊行政・戦闘
- (26,27) 民衆と戦争
- (28) まとめ

準備学習 授業開始時に基本的な文献リストを配布するので、それらを適宜読み、講義の背景についての知識を得ておくこと。

履修上の留意点 履修者は紹介された参考文献をなるべく多く読み、より広い知識や見識を身につけてほしい。

成績評価の方法 前期と後期の終了時にそれぞれ行う試験により評価する。

教科書/テキスト 教科書は特に指定しない。

参考書 参考文献に関しては、授業中に随時紹介する。

歴史

履修コード	051801
科目名	西洋史特講V
担当者名	大城 道則 <small>おおしろ みちのり</small>

講義の到達目標(ねらい) ピラミッドやミイラに代表される特徴を持つ古代エジプト文明が如何にして形成されたのかについて、他の文化・文明を含む様々な原始絵画史料を比較検討しながら解説を加える。最終的には文字の出現以前の人類の思考について受講生が自主的に考え理解を深める事が狙いである。

講義の内容／
授業スケジュール 古代エジプト文化の形成過程について毎回テーマを設定し講義を行う。一貫したテーマは「原始絵画から読み解く古代エジプト文明」というものである。

準備学習 詳細なノートを取ることを勧める。

履修上の留意点 15分以上の遅刻には出席を認めない。

成績評価の方法 後期試験の結果、および出席率を重視する。

教科書/テキスト 教科書の指定はしない。

参考書 講義中において適時紹介する。

履修コード	051821
科目名	西洋史特講Ⅶ
担当者名	河野 淳 <small>こうの じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代社会を構成する様々な要素、例えば資本主義、民主主義、ナショナリズムといったものの直接、間接の起源を西洋中世に求めるということが、広く行われています。いわば西洋中世は、常にアクチュアルな関心の対象なわけです。しかし、西洋中世というものが、きわめて複雑で現代人に理解し難い側面を持っているということも確かです。そこでこの講義では、西洋中世の全体像を、「社会のあり方」と「社会のあり方についての考え方」という軸を中心に、簡潔な形で示すことを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 内容：初期中世から後期中世にかけてのヨーロッパ社会のあり方を、重要なトピックをおさえながら概観してゆきます。そして同時に、その社会が、教会や王権を含めて全体的にどのように理解されていたのか、見てゆきます。叙任権闘争期を境に独特な形で展開されることになった国家論については、近代の国家論への影響ということを念頭に置きつつ、特に詳しく論じてゆきます。

歴史

履修上の留意点 授業スケジュール：(1～10) 初期中世の社会と思想 (11～20) 盛期中世の社会と思想 (21～30) 後期中世から近世前半期にかけての社会と思想

西洋中世という遠い地域の遠い昔のことを、そもそもどれだけ理解しうるのか？そしてなんのために理解するのか？という疑問に対して、自分なりの解答を見つけるつもりで、授業に臨んでください。

成績評価の方法 授業期間中に課す課題と、出席状況をもとに評価します。
教科書／テキスト 特になし。必要に応じて資料を配布します。

履修コード	052311
科目名	考古学各説Ⅰ
担当者名	芝田 ^{しばた} 幸一郎 ^{こういちろう}

講義の到達目標(わらい) 本講座は「アンデス考古学」を扱うものである。

現在のペルーを中心とする南米の中央アンデス地帯では、我々が世界史の授業などで親しんだ旧大陸の諸文明から影響を受けずに、それに比肩する独自の文明が発展を遂げた。このアンデス文明について、日本では高校までの学校教育ではほとんど扱われないこともあり、一部のマスメディア等がふりまく過度に神秘的なイメージを抱く者が少なくない。本講座では、まず前期に通史を学ぶ。その中で、考古学・人類学研究の成果としての基礎知識を得て、学問的根拠のあるアンデス文明像の定着を図る。後期は、アンデス考古学で扱われる諸テーマの中から、他地域・他国の考古学研究にも結びつくものを主に選んで講義する。また、教員自身がペルーで実施している調査・研究の紹介なども行う予定。

前期

①～②概念的説明：アンデスの多様な自然環境と様々な時代の主要遺跡について、世界遺産を中心に紹介。③文明形成期Ⅰ：農耕の発達を待たずして登場した最初の神殿（先土器時代）。④文明形成期Ⅱ：巨大神殿群の興亡と世界遺産チャビン・デ・ワンタル。⑤文明の様々な展開：最初の王国モチェ、巡礼と地上絵のナスカ。⑥高地の国家：ワリとティワナク。⑦北海岸の黄金伝説：シカンとチムー。⑧インカの拡大と崩壊。⑨インカの暮らし。⑩スペイン人による征服の後。⑪現代のペルーと古代文明。⑫～⑬海外での考古学：発掘調査と現地社会。⑭まとめとディスカッション。⑮期末試験

後期

①イントロダクション。②～⑬テーマ別講義（中心周縁論、饗宴、巡礼、自然災害などのテーマを考えている）。⑭～⑮まとめとディスカッション。

なお、学生の理解度などにより、授業進度を調整する可能性がある。

前期の①②回に含まれる基礎知識は、その後の全講義を理解するために重要である。

前期は出席状況＋期末試験、後期は出席状況＋レポートで、総合的に評価する。なお、正当な理由なくして3分の1以上欠席した者は、成績評価の対象とならず、基本的に不合格となる。

教科書は特に指定しない。授業に出席し、ノートをとること。なお、理解を深めるため、また欠席回の内容を補うための参考書は、以下に紹介しておく。

前期：細谷広美編著『ペルーを知るための62章』明石書店(2004年、2000円)が、講義内容全体をカバーしており、かつ最も簡潔で易しい。他には、やや専門的になるが、関雄二『アンデスの考古学』同成社(1997年、2800円)が、ほぼ全体を詳細にカバーする。関雄二『古代アンデス—権力の考古学』京都大学学術出版会(2006年、1800円)は、④⑤回の内容に詳しく、またアンデス考古学研究の最前線を垣間見ることが出来る専門書である。大貫良夫『アンデスの黄金—クントゥル・ワシの神殿発掘記』中公新書(2000年、880円)は、④⑫⑬回の講義内容の参考となり、読み物としても面白い。

後期：レンフルー&バーン『考古学：理論・方法・実践』東洋書林(2007年、9500円)など。

その他は適宜紹介する。高額なものも含まれるので、図書館を大いに活用して頂きたい。

歴史

講義の内容／ 授業スケジュール

履修上の留意点 成績評価の方法

教科書／テキスト

参 考 書

履修コード	052511
科目名	考古学各説Ⅲ
担当者名	<small>みやけ としひこ</small> 三宅 俊彦

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、中世・近世の銭貨流通を東アジア規模で復元し、当時の貨幣の様相を広い視野で理解することが目標です。これらの地域・時代に流通していた銭貨について、考古資料である出土銭を通じて明らかにし、考古学的研究方法を用いてその実態を理解することを目指します。

また考古学の方法について、体験的作業により身につけることも、ねらいの一つです。

講義の内容／
授業スケジュール

講義で扱う時代は10世紀くらいから19世紀初頭まで、対象とする範囲は日本・中国を含む東アジア全域およびベトナムなど東南アジアの一部です。これらの時代・地域から出土する銭貨を概観し、詳細に比較検討を加えることで、東アジアの銭貨流通の様相を復元してみたいと思います。また考古学研究の方法を、体験的作業を通じて体得していただきます。

第1回ガイダンス、第2回出土銭はどんな資料か、第3,4回出土銭貨の調査方法、第5～9回中国の一括出土銭、第10～12回銭貨を埋める、第13～17回銭種組成の分析、第18回副葬される銭貨、第19～21回北東アジアの出土銭、第22～25回日本の出土銭、第26～29回東南アジアの出土銭、第30回東アジアの銭貨流通(まとめ)。

準備学習

時代・地域が広範囲なため、10世紀以降の東洋史・日本史の概略を予習しておいてください。出土銭の考古学は新しい研究分野です。下記の「参考書」欄の書籍を適宜参照してください。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業によっては時間単位で区切って作業が進行しますので、遅刻しないでください。授業中に数回、小レポートを作成していただきます(4割)。それ以外にレポートを1本提出していただきます(4割)。その他、出席状況・授業態度(2割)により、総合的に評価します。

教科書／テキスト
参考書

なし。
櫻木晋一『貨幣考古学序説』慶應義塾大学出版会、2009年、5,800円+税
鈴木公雄『出土銭貨の研究』東京大学出版界、1999年、5,400円+税
鈴木公雄『銭の考古学』歴史文化ライブラリー140吉川弘文館、2002年、1,700+税
三宅俊彦『中国の埋められた銭貨』同成社、2005年、2,800+税

歴史

履修コード	052711
科目名	考古学特講Ⅰ
担当者名	<small>さかい きよじ</small> 酒井 清治

講義の到達目標(ねらい)

古墳時代は3世紀後半、あるいは中頃に始まったようで、大和を中心とする大和政権が成立し、各地に前方後円墳などの豪族の墓が築かれるようになった。古墳時代は前期・中期・後期に時期区分されるが、授業では巨大前方後円墳が築かれる倭の五王の時代から、横穴式石室が出現し、各地に伝播していった6・7世紀までの古墳時代を概観して、その特色について理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール

古墳時代概観(1・2)、古墳時代の時期区分(3)、横穴式石室の出現と地域色(4～7)、古墳と石室の構築技術(8～10)、古墳群と群集墳(11～13)、副葬品(14～19)、祭祀と儀礼(20～22)、埴輪(23～25)、手工業生産と技術革新(26～30)

準備学習

古墳時代に特定した授業なので、古墳見学や博物館で出土遺物を見学することにより、より授業を理解しやすくなるので、実行すること。また、図書館で古墳時代の図や写真が掲載された書籍を読んで理解を深めてほしい。

履修上の留意点
成績評価の方法

私語厳禁、遅刻厳禁。ノートは小テストの時使用する。

出席状況と、レポートおよび前期と後期の小テスト

教科書／テキスト
参考書

教科書は特にないが、授業で資料を配布する。
菱田哲郎『古代日本国家形成の考古学』京都大学学術出版会 1800円 ISBN9784876988259C1320
土生田純之・亀田修一『季刊考古学』106号(特集 古墳時代とは何か) 雄山閣 2520円
ISBN9784639022721C0321

履修コード	052911
科目名	考古学特講Ⅲ
担当者名	今村 ^{いまむら} 啓爾 ^{けいじ}

講義の到達目標(ねらい) 「先史」とは「文字以前」という意味である。日本の先史時代である先土器時代・縄文時代・弥生時代への移行までと、日本列島の両端におそくまで残った先史文化について、大きな文化の流れを理解するとともに、主要な遺跡・遺物・遺構などの物質的側面、社会や宗教などの非物質的側面について基本的な知識を獲得し、さらに日本先史文化の世界の中での位置づけを理解することをめざす。

講義の内容／
授業スケジュール 第1～2回：日本考古学の時代区分と世界の考古学の時代区分、第3～4回：先土器時代（旧石器時代）研究史、第5～6回：先土器時代の遺跡・遺物・遺構、第7回：先土器時代の生活と社会、第8～9回：縄文時代研究史、第10回：先土器時代から縄文時代への移行、第11回：先土器・縄文時代の自然環境、第12～13回：縄文時代の道具、第14～15回：縄文時代の遺構、第16～18回：縄文時代の生業、第19～20回：縄文時代の集落と社会、第21～22回：縄文時代の装身と儀礼、第23～24回：縄文時代から弥生時代へ、第25～26回：弥生文化の概要、第27回：北海道に残った先史文化、第28回：沖縄に残った先史文化、第29～30回：世界の中での日本先史文化

準備学習
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

とくにないが日頃から博物館などで実際の遺物を観察することを勧める。

出席と期末試験

とくにない

今村啓爾『縄文の実像を求めて』吉川弘文館歴史文化ライブラリー1999年
今村啓爾『日本列島の新石器文化』『日本史講座1』東京大学出版会2004年
今村啓爾『土器から見る縄文人の生態』同成社2010年

歴史

履修コード	053011
科目名	考古学特講V
担当者名	杉山 ^{すぎやま} 浩平 ^{こうへい}

講義の到達目標(ねらい) この授業は「石の考古学」と題して石器の研究を解説していく。対象とする時代は主に縄文時代から弥生時代である。この授業では石材の獲得・石器の製作（生産）と流通・消費を中心に石を巡る人類の活動史を検討していく。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は最初に石器・石材について総説を行う。その後、黒曜石を題材に剥片剥離の原理・石器製作・流通等を解説し、石器から読み取れる人類史について学習する。後期は石器の消費について石器の使用実験からその使用痕観察を行う。そして、グループ単位で実験の結果について発表を行う。授業の中では各種実験などを行うことを予定しているが、資料の観察眼を養うためにその都度レポートを課す。また、この授業では野外観察として、休日等を利用した河川での石材観察や原産地の見学なども行いたいと考えている。

履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書

実験等においてはルーペ・カメラ等が必須であり、学生自身が準備する必要がある。

授業への取り組みの姿勢とレポートならびに期末試験。

授業中に指示する。

履修コード	053031
科目名	考古学特講Ⅶ
担当者名	矢野 和之

講義の到達目標(ねらい) 近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画または歴史を生かしたまちづくりを担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容／
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・国際憲章
 - ・日本建築史(古代)概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関、世界遺産
- 以上を一部演習を混ぜえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教科書／テキスト

コピー配布

参 考 書

適宜指示

そ の 他

講義は、スライド、ビデオ(保存工事の記録等)を使用する。

歴史

履修コード	053101
科目名	西域美術史
担当者名	松平 美和子

講義の到達目標(ねらい) シルクロードの十字路アフガニスタンとペルシアを中心に東西美術工芸の交流を考えることを目的とします。古代から東西交流の要衝として栄えたアフガニスタンは、1979年の旧ソ連軍侵攻に続く内戦のため荒廃し、その貴重な遺宝も長く行方不明となっていました。最近我々の目の前に再び姿を現し始めています。その最新情報と共に、西アジア芸術をリードしてきた古代ペルシア美術の詳細を検討します。また、シルクロード関係の展覧会カタログの魅力と活用法についても考えてみたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 (1)アフガニスタンの遺宝と現状、(2)ラピスラズリの交流、(3~7)再発見された遺宝、(8~10)パーミヤンの芸術、(11~12)ハッダとガンダーラ、(13~14)アフガニスタンと展覧会、(15)まとめ

後期 (1)ペルシア芸術と展覧会、(2~3)古代ペルシアの芸術、(4)アケメネス朝ペルシアの芸術、(5~6)ササン朝ペルシアの芸術、(7)ソグドの芸術、(8~9)イスラム芸術、(10~11)シルクロードのガラス工芸、(12~14)シルクロードの陶磁器工芸、(15)まとめ

履修上の留意点

講義中に紹介するシルクロード関係の展覧会をはじめ、各種の展覧会へ行く機会を持って欲しい。

成績評価の方法

レポート2回、小テスト2回、出席状況から総合的に評価する。

教科書／テキスト

松平美和子著『シルクロード美術鑑賞への誘い』(芙蓉書房出版、2007)2800円
(ISBN 978-4-8295-0401-7)

参 考 書

松平美和子編『シルクロード美術展カタログ内容総覧』(芙蓉書房出版、2009)

そ の 他

毎時間パワーポイントで多くの画像を見て講義する。

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

ヨーロッパにおける近代哲学の展開を通して哲学とは何かを学び、思索する態度を養う。
(前期)近代哲学の潮流
I 近代哲学の出発点と問題：デカルト
1 確実な学問の追求 2 方法的懐疑と帰結 3 心身問題
II 大陸合理論：二元論の調停
1 心身平行論—スピノザ 2 单子論—ライブニッツ 3 偶因論—マルブランシュ
III イギリス経験論
1 人間知性の吟味—ロック 2 存在と知覚—バークリー 3 懐疑主義—ヒューム
IV 啓蒙思想
1 感覚論—コンディヤック 2 唯物論—ラマルク、ドルバック 3 決定論—デイドロ
4 功利主義—エルベシウス 5 反主知主義—ルソー
V 総括：近代知の抬頭と挫折—啓蒙の弁証法
(後期)近代哲学の潮：カント
I カントの見た学問的状况
1 独断論 2 懐疑論 3 批判哲学の課題
II 形而上学への関心
1 諸学問の基礎 2 先天的総合判断 3 形而上学の危機と可能性
III 認識論の革命
1 コペルニクス革命と実験的方法 2 科学的認識の構造 3 観念論と実在論
IV 実践的形而上学
1 行為と自由 2 道徳と形而上学 3 実践と理論
V 総括：近代的人間の全体像
学期毎に小論文を課す。
久保・河谷編「原典による哲学の歴史」公論社
山口祐弘「カントにおける人間観の探究」勁草書房

成績評価の方法
教科書/テキスト

歴史

專 門 教 育 科 目

社会

(5) 社 会 学 科

社 会 学 專 攻

履修コード	057501
科目名	社会学概論
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(わらい) この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

講義の内容/
授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議 1 - 予言の自己成就① -
5. 社会現象の不思議 1 - 予言の自己成就② -
6. 社会現象の不思議 2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
7. 社会現象の不思議 3 - 社会的ジレンマ① -
8. 社会現象の不思議 3 - 社会的ジレンマ② -
9. 社会現象の不思議 4 - 歴史のパラドックス -
10. 社会現象の不思議 5 - 組織のパラドックス -
11. 社会現象の不思議 6 - 犯罪のパラドックス① -
12. 社会現象の不思議 6 - 犯罪のパラドックス② -
13. 社会現象の不思議 7 - 情報社会のパラドックス① -
14. 社会現象の不思議 7 - 情報社会のパラドックス② -
15. 社会現象の不思議 8 - まとめ -
16. 社会学の基礎概念 1 - 社会的行為 -
17. 社会学の基礎概念 2 - 相互作用 -
18. 社会学の基礎概念 3 - 社会的地位 -
19. 社会学の基礎概念 4 - 社会的役割 -
20. 社会学の基礎概念 5 - 文化① -
21. 社会学の基礎概念 5 - 文化② -
22. 社会学の基礎概念 6 - 価値と規範 -
23. 社会学の基礎概念 7 - 集団と組織 -
24. 社会学の基礎概念 8 - パーソナリティと社会化 -
25. 社会学の基礎概念 9 - 社会的性格と消費社会論 -
26. 現代社会論 1 - グローバル化する世界 -
27. 現代社会論 2 - 働くことの意味 -
28. 現代社会論 3 - 大衆社会とファシズム -
29. 現代社会論 4 - 高齢社会の生き方 -
30. まとめ - 社会学の仕方 -

履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見を記入するリアクションペーパーを配布するので、積極的に記入すること。
3. 随時、参加型授業を試みるので、積極的に参加してもらいたい。
4. 各テーマは1時間で完結の予定である。内容や順序は変更することもある。なお、年数回ビデオ教材を使って、社会認識を深める工夫をする予定である。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、参加度など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

なお、この授業は、出席は遅刻も含めて厳密にカウントしています。また、成績評価の具体的方法は、3回(初回講義時・夏休み前講義時・最終回講義時)説明し、受講生に公表しています。ご注意ください。

教科書/テキスト
参 考 書

教科書は後日指定する。毎回講義内容をプリントで説明する。
その都度、指示する。

社会

履修コード	057601
科目名	社会調査
担当者名	牛島 千尋

講義の到達目標(ねらい)

社会調査とは、私たちの周囲に生起する社会的現象を解明することを目的として、データを収集し、記録・整理し、分析するという一連の過程を指す。本講義は社会学の重要な方法としての社会調査を学習していくが、しかし、単に技法の習得だけでは社会学の真の研究にはつながらない。本講義では、技法の講述に加えて、これまでに行われた実証的研究を紹介しながら、履修者の理解を深めていきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 実証主義の精神と社会調査
2. 社会調査の範囲と系譜 1—行政目的の統計調査、社会福祉(事業)目的の調査—
3. 日本における社会調査の始まりと発展—ビデオ—
4. 社会調査の範囲と系譜 2—市場調査、世論調査、研究目的のための調査—
5. 理論化の道程—帰納法と演繹法、命題・仮説・検証—
6. 社会調査の二つの方法 1—量的方法と質的方法—
7. 社会調査の二つの方法 2—量的方法と質的方法—
8. 量的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「自殺論」—
9. 質的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「社会分業論」—
10. 仮説の修正と新たな発見—メーヨーの「ホーソン実験」—
11. 社会調査のさまざまな技法 1—横断的調査と縦断的調査—
12. 社会調査のさまざまな技法 2—モレノのソシオメトリーとその応用—
13. 社会調査のさまざまな技法 3—ホワイトの「ストリート・コーナー・ソサエティ」と参与観察—
14. 既存データ、既存資料の収集と使い方 1—国勢調査データ、官公庁統計
15. 既存データ、既存資料の収集と使い方 2—各種民間調査データと公開個票データ—
16. 調査実施過程の説明—フィールド・ノートの作成、調査票を使用した面接調査の手順—
17. 資料の収集とリスト作成
18. 作業仮説の設定と質問項目の作成
19. 調査方法の選定と準備 1—非構成的技法と構成的技法—
20. 調査方法の選定と準備 2—全数調査と標本調査、母集団、標本数と誤差—
21. 調査票の作成 1—質問文作成の注意点—
22. 調査票の作成 2—選択肢作成の注意点—
23. 調査票の作成 3—回答形式の種類、コードブック作成の注意点—
24. 質問文を使用した調査の方法—個人面接調査・留置き調査・郵送調査法・電話調査・集合調査・インターネット調査—
25. 標本抽出の方法 1—単純無作為抽出法、系統抽出法—
26. 標本抽出の方法 2—層化抽出法、多段抽出法、有意抽出法—
27. データの整理と集計の準備 1—データの整理とデータ入力—
28. データの整理と集計の準備 2—データのクリーニング、論理チェック、アフター・コーディング—
29. まとめ—社会調査をする際の心構え—
30. 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

必修科目なので、オリエンテーションぬきで第一回から講義に入ります。
出席状況、授業中のレポート提出、後期試験(持ち込み不可)によって評価します。
森岡清志編『ガイドブック 社会調査 第2版』日本評論社、2007年

社会

履修コード	057701
科目名	社会学基礎研究
担当者名	山田 信行・牛島 千尋・坪井 健・深澤 弘樹・松信 ひろみ・李 妍炎

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

社会学的研究方法について、社会学研究の実例と研究法の基礎をマスターすることを目的とする。
前半は、全教員リレー方式で社会学研究例の講義をする。後期は、ゼミ形式で研究法（文献へのアクセス・レポートの書き方・プレゼンテーションの仕方など）を学ぶ。

前期

1. ガイダンス
2. 学外オリエンテーションの報告会（1）
3. 学外オリエンテーションの報告会（2）
- 4～15. リレー講義

後期

1. ガイダンスおよび自己紹介など
- 2～15. 社会学研究法に関するゼミ

準備学習

少しでも、社会問題などに関心を持つ姿勢が望ましい。日ごろから、社会科学の文献に親しんでおくこと。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

毎回出席が義務付けられている。また前期と後期に必ずレポート提出の義務がある。
出席点と2回のレポートにより評価される。
こちらで指定し配布する。
安藤喜久雄編『わかりやすい論文レポートの書き方』（実業之日本社）1999年

社会

履修コード	057801・057901・058001
科目名	情報処理実習
担当者名	かるべ 幸浩

講義の到達目標(ねらい)

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは、知的作業をおこなう上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するためのコンピュータ利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだ多いと思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成することができる能力を培う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。

講義の内容／
授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

【前期】

- [1] 情報処理の基礎
- [2] Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- [3] 電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- [4] タッチタイピングの完全習得 (Type Quick を利用して)
- [5] 情報の検索 (WWW の利用法)
- [6~12] 大学生として必要なドキュメント処理能力の習得 (MS-Word)
- [13~15] プレゼンテーションの実際 (プレゼンテーションの基礎技術)

【後期】

- [1~11] スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計, グラフ, データベース)
- [12~15] 統計パッケージの習得 ([SPSS, <http://www.spss.co.jp/>]) Statistics Family)

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20数回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2~3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度授業アンケートの結果では、週平均約3時間程度の実習をおこなっていたようである)。

また、Type Quick, MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint, SPSS の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

教科書/テキスト

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してくること。

参 考 書
そ の 他

授業中に最新のものを指示する。
年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回(1回2時間程度)の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンでMS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

【授業Web】(<http://www.int2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>, <http://www.int2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>)

【e-Learning】(<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>, <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>)

履修コード	058011
科目名	統計学基礎演習 A
担当者名	香川 めい

講義の到達目標(ねらい)	社会調査によって得たデータの分析法の基礎——社会統計学の基礎的な知識、データの読み方——を修得する。その上で、実際にデータを分析し、豊富な実例を扱いながら、分析結果の統計的意味と社会的含意を理解できるようになることを目指す。
講義の内容／授業スケジュール	1. イントロダクション：社会調査と統計、2. データを記述する (1) 度数分布表①、3. データを記述する (2) 度数分布表②、4. データを記述する (3) グラフの作成、5. 分布を記述する (1) 中心傾向の特性値、6. 分布を記述する (2) 散らばりの特性値、7. 分布を記述する (3) 分布の形状と特性値の関係、8. 正規分布と相対的位置の測度、9. 2つの変数の関連を探る (1) 相関と因果、10. 2つの変数の関連を探る (2) クロス集計表の読み方、11. 2つの変数の関連を探る (3) クロス表の関連の強さを測る指標、12. 2つの変数の関連を探る (4) χ^2 乗検定、13. 変数の関連の背後を探る—三重クロス表入門—、14. 量的変数の関連を考える、15. まとめ
準備学習	数式を用いた説明を行うことがあるので、和の記号 Σ にあまりなじみのない学生は、高校までの参考書を復習するなど、和の記号 Σ について理解しておくことが望ましい。
履修上の留意点	遅刻や提出期限に遅れて課題を提出した場合は、減点の対象とします。
成績評価の方法	学期末試験(またはレポート)(60%)、出席回数(15%)、演習課題の提出(25%)を基本に評価します。
教科書／テキスト	鳥居泰彦、『はじめての統計学』、日本経済新聞社、1994年
参考書	ボンシュテッド&ノーキ、『社会統計学』、ハーベスト社、1990年 岩井紀子・保田時男、『調査データ分析の基礎』、有斐閣、2007年
その他	社会調査士資格認定のC科目に該当する。 講義と演習とを並行して授業を進めていく。

社会

履修コード	058021
科目名	統計学基礎演習 A
担当者名	池田 心豪

講義の到達目標(ねらい)	社会調査によって得たデータの分析法として統計学を学ぶ。社会統計学の基礎的な知識の習得と、統計を正しく用いる方法、統計データの読み方などを中心に、講義と演習形式で授業を行う。具体的には、記述統計データの読み方や計算方法、グラフの読み方、2変数間の関連についての測度などを中心に、統計の基礎を学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	第1回 社会調査と統計：統計学とは何か、変数の種類 第2回 度数分布と統計図表1：離散測度の度数分布と図示法 第3回 度数分布と統計図表2：連続測度の度数分布と図示法 第4回 中心傾向の測度：代表値(平均値、中央値、最頻値とその比較) 第5回 得点の散布度1：探索的データ解析と散布度、四分位数、箱ヒゲ図など 第6回 得点の散布度2：分散と標準偏差 第7回 代表値、散布度の演習、統計資料の整理 第8回 正規分布と相対的位置の測度1：正規分布、標準正規分布、正規分布表 第9回 正規分布と相対的位置の測度2：Z得点、変動係数 第10回 クロス集計：2重クロス集計 第11回 クロス集計：確率と帰無仮説 第12回 カイ二乗検定 第13回 因果関係と相関関係の区別、擬似相関について 第14回 相関係数1 第15回 相関係数2
成績評価の方法	出席・レポート・試験
教科書／テキスト	鳥居泰彦著『はじめての統計学』(日本経済新聞社)

履修コード	058031
科目名	統計学基礎演習 A
担当者名	二方 龍紀

講義の到達目標(わらい) 本授業の目的は統計学の基礎知識を身につけ、社会調査で得たデータの分析を実際に行えるようにすることである。講義および統計パッケージ SPSS を用いた演習方式により授業を進める。前期は、記述統計データやグラフの読み方およびそれらの計算方法、2変数間の関連についての測度などを中心に、社会調査の結果を読んで理解するために必要な統計学の基礎を学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 社会調査と統計：統計学とは何か
- 2 度数分布と統計図表1：離散測度の度数分布と図表の読み方・作り方
- 3 度数分布と統計図表2：連続測度の度数分布と図表の読み方・作り方
- 4 標本分布の特性値1：平均値、中央値、最頻値
- 5 標本分布の特性値2：分散と標準偏差
- 6 統計図表と標本分布の特性値の演習
- 7 正規分布と相対的位置の測度1：正規分布、標準正規分布、正規分布表
- 8 正規分布と相対的位置の測度2：Z 得点、変動係数
- 9 クロス集計：2重クロス集計
- 10 クロス集計：確率と帰無仮説
- 11 カイ二乗検定
- 12 因果関係と相関関係の区別、擬似相関について
- 13 相関係数1
- 14 相関係数2
- 15 まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

実習・講義
筆記試験と平常点
鳥居泰彦『はじめての統計学』日本経済新聞社、2,345円。
授業内で適宜指示する。

社会

履修コード	058061
科目名	基礎文献講読演習
担当者名	山田 信行

講義の到達目標(わらい) 社会学の基礎的なテキストを輪読することを通じて、社会学の基礎概念や方法論を体得することを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

あらかじめ指定されたテキストをゼミ形式で輪読し、全員で議論する。ゼミの実施にあたっては、報告者、討論者、および司会者を毎回決めて、ディスカッションの仕方も練習する。スケジュールは、以下の通り。

1. ガイダンスおよび自己紹介
2. 分担の決定
- 3～15. 輪読ゼミの実施

準 備 学 習

できるだけ、自らの問題関心を自覚的に育み、日ごろから社会学の文献に親しんでおくことが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

少人数のゼミ形式の授業なので、無断欠席・遅刻は厳禁である。積極的な参加を期待している。平常点と学期末レポートによって評価する。レポートの詳細については、追って指示する。
長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志 2007 『社会学』有斐閣
適宜、指示する。
あらかじめ、指定された学生番号の学生のみ履修できる。3年次の社会学演習1とは、継続性はない。

履修コード	058071
科目名	基礎文献講読演習
担当者名	松信 <small>まつのぶ</small> ひろみ

講義の到達目標(ねらい) 本演習では、1年生で学んできた社会学的な視点を深め、さらに応用力を身につけることを目的として、社会学の基礎的な文献をゼミ形式で輪読して行く。多様な社会学の分野を総合的に扱っているテキストの読破を目指し、毎回、各章についての報告とその内容についての討論を行う。この一連の作業を通じて、各章の中心的なテーマと概要の理解を深めることがねらいである。

本演習において、社会学的応用力を身につけ、3年次以降のゼミ選択と卒業論文のテーマ選択に生かして欲しい。

講義の内容／授業スケジュール 演習は、クラスをいくつかのグループに分けた上で、以下のような順番でテキストの輪読と発表、討論を行う。

- 第1回 インTRODakシヨン
- 第2回 親密性と公共性
- 第3回 相互行為と自己
- 第4回 社会秩序と権力
- 第5回 組織とネットワーク
- 第6回 メディアとコミュニケーション
- 第7回 空間と場所
- 第8回 環境と技術
- 第9回 医療・福祉と自己決定
- 第10回 家族とライフコース
- 第11回 ジェンダーとセクシュアリティ
- 第12回 エスニシティと境界
- 第13回 格差と階層化
- 第14回 文化と再生産
- 第15回 まとめ

準備学習 基本的な準備学習は、1年次に学んだ社会学の基礎知識を復習しておくことである。さらに、演習に参加するにあたっては、報告担当になった章について、その章の概要をレジュメにまとめ、討論のポイントについて整理すること、そして、理解をより深めるために、テキストを超えて、関連する事柄を調べることも必要になる。

また、報告にあたっていない場合でも、テキストを読み、討論に向けての準備を行うことが求められる。

履修上の留意点 ゼミ形式の演習であるため、出席と報告、討論での発言が重視される。報告担当になった章の発表をきちんと行うばかりでなく、報告にあたっていない場合でも予習をし、活発な討論ができるように心掛けて欲しい。

成績評価の方法 平常点(出席、報告、討論の様子など)50%、レポート50%
教科書／テキスト 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』有斐閣、2007
参 考 書 必要に応じて紹介する



社会

履修コード	058081
科目名	基礎文献講読演習
担当者名	深澤 <small>ふかさわ</small> ひろき 弘樹

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、社会学の基礎的知識を網羅したテキストを講読することによって、社会学の基本的な考え方を習得することを目的とする。とりわけ、自己と他者、相互行為、コミュニケーション、メディアなど、人と人との関係性についての基礎概念を学び、現代社会が抱える様々な問題を社会的にとらえる力を身につける。なお、講義は演習方式を採用し、受講者の報告に対して、受講者同士で議論したり補足説明を加えながら進めていく。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：講義のガイダンス、第2回：社会学的考え方とは、第3～4回：親密性と公共性、第5～6回：相互行為と自己、第7～8回：社会秩序と権力、第9～11回：メディアとコミュニケーション、第12回：歴史と記憶 第13回：国家とグローバリゼーション、第14～15回：講義のまとめ

準備学習 毎回、報告者はテキストをまとめたレジュメを作成し、ポイントや疑問点を自分なりにまとめた上で、他の学生にわかりやすく伝える努力をしてほしい。それ以外の学生は、予習を心がけ、受け身ではなく積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法 学期末試験(7割)に出席状況、報告などの平常点(3割)を加味して総合的に判断する。
教科書／テキスト 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』有斐閣、3500円、ISBN978-4-641-05370-0
参 考 書 随時、授業中に指示する。

履修コード	058101
科目名	調査統計基礎演習
担当者名	ふたかた りき 二方 龍紀

講義の到達目標(ねらい)

本授業の目的は統計学の基礎知識を身につけ、社会調査で得たデータの分析を実際に行えるようにすることである。講義および統計パッケージ SPSS を用いた演習方式により授業を進める。前期は、記述統計データやグラフの読み方およびそれらの計算方法、2変数間の関連についての測度などを中心に、社会調査の結果を読んで理解するために必要な統計学の基礎を学ぶ。後期は、確率論の基礎と仮説検定・推定の理論とその応用、相関係数、回帰分析などを学び、標本調査のデータ分析を行うための統計学的知識を修得する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 社会調査と統計：統計学とは何か
- 2 度数分布と統計図表1：離散測度の度数分布と図表の読み方・作り方
- 3 度数分布と統計図表2：連続測度の度数分布と図表の読み方・作り方
- 4 標本分布の特性値1：平均値、中央値、最頻値
- 5 標本分布の特性値2：分散と標準偏差
- 6 統計図表と標本分布の特性値の演習
- 7 正規分布と相対的位置の測度1：正規分布、標準正規分布、正規分布表
- 8 正規分布と相対的位置の測度2：Z得点、変動係数
- 9 クロス集計：2重クロス集計
- 10 クロス集計：確率と帰無仮説
- 11 カイ二乗検定
- 12 因果関係と相関関係の区別、擬似相関について
- 13 相関係数1
- 14 相関係数2
- 15 前期まとめ
- 16 確率論の基礎
- 17 母集団と標本：抽出法の理論
- 18 母数の推定と中心極限定理
- 19 標本から母集団を推定する1：母平均の推定
- 20 標本から母集団を推定する2：母比率の推定
- 21 標本から母集団を推定する3：母標準偏差の推定
- 22 仮説の検定：仮説とは、2種類の過誤、検定の発想
- 23 仮説検定1：母平均・母比率の差の検定
- 24 仮説検定2：母分散に関する検定、独立性の検定
- 25 相関分析1：分析の概要
- 26 相関分析2：相関係数と検定
- 27 回帰分析1：分析と回帰係数の読み方
- 28 回帰分析2：検定
- 29 回帰分析3：その他の回帰分析
- 30 まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

実習・講義
筆記試験と平常点
鳥居泰彦『はじめての統計学』日本経済新聞社、2,345円。
授業内で適宜指示する。

社会

履修コード	058401
科目名	社会学史
担当者名	李 妍炎

講義の到達目標(ねらい)

社会学の学説を取り上げ、社会学の歴史と基本的な考え方について学習する。社会学という学問の概要を把握してもらおうと同時に、単なる「歴史」にとどまらず、社会学の基本的発想法(社会学的思想力)についても理解してもらおう。

講義の内容/
授業スケジュール

前期は、社会学の構想期、形成期と展開期を中心に、20世紀半ばごろまでの学説を紹介する。後期は20世紀後半から現代に至る「現代社会学理論」を取り上げる。受講者の理解度に応じて進度を調整するが、以下を予定している。ガイダンスと社会学の歴史の初段階(第1回)、構想期のA. コント(第2回、第3回)、構想期のH. スペンサー(第4回、第5回)、形成期のM. ウェーバー(第6回、第7回)、形成期のE. デュルケム(第8回、第9回)、形成期のG. ジンメル(第10回、第11回)、形成期のC.H. クーリーとG.H. ミード(第12回)、形成期のシカゴ学派(第13回)、展開期のT. パーソンズとR.K. マーソンの機能主義的社会学(第14回、第15回)、中間考察(第16回)、パーソンズ批判の諸理論:相互作用論を中心に(第17回、第18回)、A. シュッツと現象学的社会学(第19回)、大衆社会論(第20回、第21回)、M. フーコーと管理社会(第22回)、P. ブルデューと格差社会(第24回)、N. ルーマンとシステム論の刷新(第25回、第26回)、J. ハーバーマスの批判的社会理論(第27回、第28回)、A. ゴデンズと再帰性の近代(第29回)、まとめと考察(第30回)

履修上の留意点

「社会学」という名称は、シンプルな名前であるにもかかわらず、その正体を知るのは容易ではありません。本講義は、「社会学」とその歴史についての一定のイメージをもつことをめざしています。他学部、他学科の友人にあなたの専攻している学問(社会学)について、説明できるようにしましょう。

成績評価の方法
教科書/テキスト

原則として中間と最終の試験(2回)、出席も考慮する。
新睦人編、『社会学のあゆみ』、有斐閣、1155円(税込)、ISBN978-4641088573
新睦人編、『社会学のあゆみII』、有斐閣、1155円(税込)、ISBN978-4641090460
新睦人編、『新しい社会学のあゆみ』、有斐閣、2205円(税込)、ISBN978-4641123021

参 考 書

富永健一『思想としての社会学』、新曜社、8715円(税込)、ISBN978-4788510814

社会

履修コード	060901
科目名	社会学演習 I
担当者名	山田 信行

講義の到達目標(ねらい)

この演習では、主として雇用や就職の問題に焦点を当てながら、現代日本における若者が直面している様々な問題を社会学的に考察する。参加者は、各自の問題意識を確立することを通じて、4年次の卒業論文執筆につながる研究を行うことが求められる。

講義の内容/
授業スケジュール

演習の集団は、大学生活における基本的な活動単位であるため、参加者相互の親睦・交流が深まるように配慮したい。

夏休み前(前期)は、演習のテーマに関連した文献の輪読を行う。後期は、数人ずつグループを作って共同研究を行ってもらおう。詳細については、参加者と相談して決める。暫定的なスケジュールは以下の通り。

前期

1. ガイダンス
2. 自己紹介と委員の選出
- 3~15. 文献購読

後期

1. ガイダンス
- 2~5. 共同研究の準備(グループ分け、テーマ決め、役割分担の決定)
- 6~13. 共同研究の中間報告
- 14~15. 卒業論文の構想発表

準 備 : 学 習

日ごろから、ゼミのテーマに関連した問題関心を醸成しておくこと。

履修上の留意点

演習は講義形式の授業と異なり、あくまで参加する学生が主体的に学習・研究活動する場である。したがって、理由のない遅刻・欠席は厳禁である。

成績評価の方法

平常点による。

教科書/テキスト

参加者と相談して決める。

参 考 書

適宜指示する。

履修コード	061101
科目名	社会学演習 I
担当者名	深澤 弘樹

講義の到達目標(ねらい) メディア研究には、制度や産業としてのメディア組織の分析、内容分析を通じたメッセージ分析、受け手研究など様々なアプローチが存在する。この演習は、4年次の卒業論文作成に向けた準備を行うためのものであり、論文作成のために必要なスキルを身につけることを目的とする。文献の講読やゼミ生同士の議論を通してメディア分析の多様な手法を学びながら、各自の問題意識をはっきりさせてテーマを決定する。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、各自の関心に沿ってマス・コミュニケーション論の文献を読み、メディア分析の基本的な視点や手法を学んで卒業論文のテーマを絞り込んでいく。後期は、各自が取り組む課題において、文献や資料の収集を行うほか、随時、各自が報告を行い、ゼミ生相互の議論を深めながら分析に必要な方法を検討する。具体的な進め方については、第1回の授業で学生と相談して決めるつもりである。

準備学習 日頃から新聞やテレビニュースに問題意識を持って接し、メディアが抱える課題に対して自分なりの意見を言えるようにしておく。

成績評価の方法 出席状況や報告、議論への参加度合いなどによって総合的に評価する。

教科書／テキスト 受講者と相談の上、決めるつもりだが、最近のメディア研究の文献として以下の書物を挙げておく。

参 考 書 小玉美意子編『テレビニュースの解剖学』新曜社、1900円、ISBN978-4-7885-1093-7
藤田真文・岡井崇之編『プロセスが見えるメディア分析入門』世界思想社、2300円、ISBN978-4-7907-1405-7
ゼミ生の興味関心に沿って適宜指示する。

社会

履修コード	061301
科目名	社会学演習 I
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) このゼミでは、社会学・社会心理学に関する学習を通して、社会的能力を開発し、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざす。具体的には、個々の学生の自主性を尊重し、学生集団の自己教育力を大切にすると共に、学生個人の能力に応じて丁寧な個別指導を通して、学生自身の潜在的な能力の開花をめざし、自信力を育てることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 具体的な共同研究テーマは、地域と大学・大学と学生・地域とボランティア・学生集団・異文化理解、国際交流・高齢者文化・スポーツ文化・ジェンダー論など領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際的な研究をする。

具体的な共同研究テーマは、毎年変わる。

<坪井ゼミの年間行事予定>
「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB/OG会」(7月) / 「研究発表夏合宿」(9月) / オータム研究発表(11月) / 「4年生卒論発表会」(12月) / 「ゼミ送別会」(1月) / 「卒論構想発表春合宿」(3月)

履修上の留意点 このゼミは、教師による知識伝授型の学習ではなく、学生自身の問題発見型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身である。また、学習の場は教室に限らない。地域社会や街頭や国内・国外を含む。ゼミ活動を通じて積極的な行動力を養ってもらいたい。また、ゼミでは自分の学習目標を持つこと。仲間との良好な人間関係を築くこと。ゼミの望ましい集団文化育成に協力することを期待する。

成績評価の方法 ①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度により総合的に評価する。

教科書／テキスト 特に、事前に指示しない。必要に応じて指示する。

参 考 書 授業時間中に指示する。

そ の 他 ゼミは、少人数授業ですので、全員参加が前提です。遅刻・欠席は教師に直接事前連絡すること。ゼミ行事も多彩ですが、ゼミ生が相互啓発しつつ自分の可能性に挑戦する楽しい学生活動の場にしてください。

履修コード	061401
科目名	社会学演習 I
担当者名	李 ^り 妍炎 ^{けんえん}

講義の到達目標(ねらい) 貧困と格差、雇用と保障、教育と子育て、まちづくりや環境、犯罪や災害、国際紛争、異文化間の葛藤、移民や外国人の問題・・・我々が直面する問題の多くは、政府と大企業に任せるだけでは解決できない。人々の生活を脅かすこれらの問題に対して、数多くのNPOやNGO、社会的企業、市民団体、地域組織、学生グループがそれぞれユニークな方法でアプローチしている。それらが、市民社会のもっともフレッシュで力強い動きを創り出している。この演習は、これらの動きを観察し、研究していく。分野と研究対象の選定、実際の観察、資料収集、報告と討論、報告書作りの諸作業を通して、市民社会の諸事象をより深く理解していただくだけではなく、特定の1つのテーマを中心に、完成度の高い研究を目指していくプロセスを全員に経験してもらうことも、目的としたい。

講義の内容／
授業スケジュール

市民社会に関する基本的な理論と現状の概要を全員で学んだ上で、ワールドカフェなどの討論技法を用いて、特定の社会問題の分野と研究対象を選び出す。その後グループ単位で観察と資料収集を行い、演習でプレゼンテーションと討論を行う。終了時までには、一冊の研究報告書をメンバー全員で作成する。スケジュールはメンバーと相談の上修正していくが、現段階での予定は以下のとおりである。

1. オリエンテーション (第1回)
2. 討論の技法を身につけよう (第2回、第3回、第4回)
3. 演習のテーマについての討論と情報の共有 (第5回～第7回)
4. 研究対象についての討論と選定およびグループ分け (第8回～第10回)
5. 研究対象について観察と資料収集を行い、プレゼンテーションを行う (第11回～第18回、夏休みに中間検討会として、合宿を行う)
6. 報告書作成 (第19回～第25回)
7. 報告書の修正と討論 (第25回～第30回)

履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書

市民社会論を同時に履修することが望ましい。参加の意欲と仕事に対する責任感が要求される。平常点で評価する。
その都度、指示する。

社会

履修コード	061501
科目名	社会学演習 I
担当者名	牛島 ^{うしじま} 千尋 ^{ちひろ}

講義の到達目標(ねらい) 1、2年で学んだ社会学の知識と方法に磨きをかけ、社会的関心事を自分の研究テーマとして結実させるための方向を定めていくことが演習 I の目標である。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は、社会学の知識と方法を一層深めるために文献を輪読・発表していく。後期は各自のテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をし、発表を重ねていく。

履修上の留意点
成績評価の方法

履修者は、年に3回以上の発表を行う。

教科書／テキスト
参 考 書

出席回数、発表内容、演習中の発言、課題を総合して評価します。

特になし。

その都度紹介します。

履修コード	061511
科目名	社会学演習Ⅰ
担当者名	松信 ひろみ

講義の到達目標(ねらい) 本演習では、現代家族やジェンダーにかかわる諸現象・諸問題に焦点を置き、基礎文献の講読、グループでのフィールドワークや報告と討論、報告書の作成などを行う。一連の作業を通じて、卒業論文に向けての研究手法を習得するとともに、卒業論文のテーマの絞込みと研究の基礎固めを行うことが目的となる。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、夏季休暇中のフィールドワーク（プライド・パレードでの参与観察とインタビュー、および保育園での参与観察とインタビュー）に向けての基礎知識習得を行う。第一回目のイントロダクションの後、いくつかのグループに分かれ、セクシュアリティについての基礎文献の輪読（第2回～5回）、育児支援と保育制度についての基礎文献の輪読（第6回～9回）、フィールドワークについての基礎文献の輪読（第10回～13回）を行う。さらに、フィールドワークの準備（第14、15回）で前期は終了する。

後期は、夏季休暇中に行ったフィールドワークについての報告を順次行い（第16回～20回）、その後、報告書の作成を行う（第21回～25回）。さらに、翌年度の卒業論文に向けてのテーマ検討も行う（第26回～30回）。

なお、夏季休暇中に4年生と合同で合宿を実施し、4年生の卒業論文についての中間報告を聞くとともに、フィールドワークの結果について中間報告を行う。

履修上の留意点 履修者は夏季休暇中のフィールドワークに参加することが必要とされる。さらに、前期、後期とも、グループ単位での報告が期待される。なお、本演習履修者は、家族とジェンダー社会学A・Bの講義を履修することが望ましい。

成績評価の方法 平常点（50%）、レポート（50%）

教科書／テキスト 輪読する文献は開講時に指示する。

参 考 書 必要に応じて紹介する。

そ の 他 ゼミは、出席することはもちろん、参加しなければ意義がない。「恥はかき捨て」のつもりで積極的に自分の意見を発言するように心がけて欲しい。

社会

履修コード	061801
科目名	社会学演習Ⅱ
担当者名	深澤 弘樹

講義の到達目標(ねらい) この演習では、大学における学習の集大成である卒業論文の作成に取り組む。各自が設定した課題において、報告を重ねながら論文の骨組みを固めていき、ゼミ生同士の活発な議論を経て卒業論文を書き上げることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、各自のテーマに沿って論文の大まかな内容を報告してもらい、分析手法を検討したうえで論文の構成を固める。後期は、実際に執筆している論文の報告を行い、内容に対しての議論を深めながら論文を書き上げていく。

履修上の留意点 大学生活の総仕上げとなるのが卒業論文である。各自が主体的に論文作成に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席状況や議論への参加度合い、卒業論文の内容によって総合的に評価する。

参 考 書 卒業論文のテーマによって適宜指示する。

履修コード	062001
科目名	社会学演習Ⅱ
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) このゼミでは、三年の「社会学演習Ⅰ」に引き続き、大学における社会学学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 具体的には、3年次3月の「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、7月末研究確認、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降下書き、11月原稿修正と清書、12月初旬に卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。1月末の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

履修上の留意点 (坪井ゼミの年間行事予定)
「新歓コンパ」(4月)／「ゼミOB/OG会」(7月)／「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月)／「卒論発表会」(12月)／「新年会」(1月)／「ゼミ送別会」(1月末)／

最終学年の4年次のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文は必修科目であり、書かなければ卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究ノートを常に携帯して、空き時間等を上手に利用して、図書館等で自主的・計画的に研究を進めることが肝要です。坪井ゼミでは、基本的に3年次の3月卒論構想春合宿で、卒業論文の基礎研究が完了し、研究テーマと研究方法も明確になっているので、就職面接の際にも自信を持って自分の卒論研究を語ることができる利点がある。それを励みにして、しっかり取り組むこと。

成績評価の方法 ①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度等により総合的に評価します。
参 考 書 その 他 その都度、適切な参考文献を指示する。
疑問点や問題点などを日常的に教師に相談する積極性を厭わないことをお勧めします。

社会

履修コード	062101
科目名	社会学演習Ⅱ
担当者名	牛島 千尋

講義の到達目標(ねらい) 自分の研究を進め、最終的に卒業論文として完成させることが到達目標である。
講義の内容／授業スケジュール 履修生の研究進行度を考慮しながら、個別指導、グループ指導を織り交ぜながら柔軟に進めていく。
成績評価の方法 出席状況、発表内容、レジュメの完成度などから、総合的に評価する。

履修コード	062201
科目名	社会学演習Ⅱ
担当者名	山田 信行

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の執筆指導を行う。
講義の内容／授業スケジュール 開講時に指示する。概ね、以下の通り。

- 前期
1. ガイダンス
2～15. タイトルの決定と論文構成の検討
後期
1. ガイダンス
2～7. 最終構成案の検討
8～15. 草稿の検討

準備学習 とくになし。
履修上の留意点 卒業論文は、単なる学生時代の勉学の集大成にととまらず、個々の学生が生まれおちてから身につけた知識・能力を総動員して執筆するものである。力作を期待している。

成績評価の方法 平常点による。卒論の提出が単位取得の条件となる。
教科書／テキスト なし。
参 考 書 適宜指示する。

履修コード	062311
科目名	社会学演習Ⅱ
担当者名	松信 ひろみ

講義の到達目標(ねらい) 本演習では、卒業論文の作成を目指し、個人研究の指導を行う。各々の学生のテーマに沿った研究に基づき、無事卒業論文を執筆できることが最終的な目的となる。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、家族社会学・ジェンダー社会学の基本的な分析枠組みを教授するとともに、個々人の研究の進捗状況について報告してもらうことが中心となる。第1回のイントロダクションの後、第2回～5回までに、論文のタイトルを順次報告し、5月中にタイトルを決定する。第6回～15回までは、卒業論文の進捗状況を個々報告し、随時、関連論文の輪読を行う。

履修上の留意点 後期(第16回～28回)は、執筆中の論文についての個人指導が中心となるが、進捗状況を随時報告をしてもらい、その内容についてゼミ内で討論を行う。論文を提出後は、完成論文についての報告会(第29回、30回)を実施する。

成績評価の方法 平常点による。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参 考 書 特に指定しない。

そ の 他 大学生生活最後のゼミである。論文の作成はもちろんだが、飲み会や合宿を通じてゼミ生同士の交流も図り、有意義な時間として欲しい。

なお、夏季休暇中には、3年生と合同で合宿を実施し、卒業研究の中間報告をしてもらう。論文作成のためには、ゼミへの出席ばかりでなく、自ら行動を起こすことが要求される。文献・資料収集、調査など、自分の足を使い、積極的に行動して欲しい。

社会

履修コード	058111
科目名	統計学基礎演習B
担当者名	香川 めい

講義の到達目標(ねらい) データ分析の基礎をふまえ、(1)推測統計の基本的な考え方を習得し、(2)研究課題を解決するための道具として統計的手法を使いこなせるようになることを目的とする。統計的データの集計・分析に必要な基礎的な統計知識、すなわち基本統計量、確率論の基礎、標本抽出の理論、検定・推定の基礎、多重クロス表に関するエラポレーション、相関係数、偏相関係数、重回帰分析などを扱う。

講義の内容／授業スケジュール 1. イントロダクション：社会調査から得られるデータ、2. 確率論の基礎、3. 母集団と標本、4. さまざまな確率分布、5. 確率分布と仮説検定の考え方、6. 点推定と区間推定、7. 平均の差の検定と推定、8. 比率の差の検定と推定、9. 多重クロス集計とエラポレーション、10. 連続変数の関連：相関係数、11. 単回帰分析(1)、12. 単回帰分析(2)、13. 3つ以上の変数の関連、14. 重回帰分析、15. まとめ

準備学習 平均、分散、標準偏差、共分散など社会統計の基礎的な知識は事前に修得していることを前提に授業を行うので、十分に復習しておくことが望ましい。

履修上の留意点 遅刻や提出期限に遅れて課題を提出した場合は、減点の対象とします。

成績評価の方法 学期末試験(またはレポート)(60%)、出席回数(15%)、演習課題の提出(25%)を基本に評価します。

教科書／テキスト 鳥居泰彦、『はじめての統計学』、日本経済新聞社、1994年

参 考 書 ボーンシュテット&ノーキ、『社会統計学』、ハーベスト社、1990年

そ の 他 岩井紀子・保田時男、『調査データ分析の基礎』、有斐閣、2007年

社会調査士資格認定のD科目に該当する。

講義と演習と並行して授業を進めていく。

履修コード	058121
科目名	統計学基礎演習 B
担当者名	池田 心豪

講義の到達目標(ねらい) 社会調査によって得たデータの分析法として統計学を学ぶ。社会統計学の基礎的な知識の習得と、統計を正しく用いる方法、統計データの読み方などを中心に、講義と演習形式で授業を行う。具体的には、確率論の基礎と仮説検定・推定の理論とその応用、多重クロス集計や相関係数、回帰分析などを学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 確率論の基礎
- 第2回 母集団と標本：抽出法の理論
- 第3回 確率分布と統計的仮説検定の考え方 1：仮説検定の手順、推定とは
- 第4回 確率分布と統計的仮説検定の考え方 2：正規分布、中心極限定理、標準誤差、有意確率など
- 第5回 確率分布と統計的仮説検定の考え方 3：点推定と信頼区間
- 第6回 確率分布と統計的仮説検定の考え方 4：仮説検定
- 第7回 平均の差の検定 1：2つの平均の差の検定
- 第8回 平均の差の検定 2：比率の差の検定
- 第9回 多重クロス集計とエラボレーション
- 第10回 回帰性相関係数
- 第11回 2つの連続変数間の関係：相関係数とその検定
- 第12回 単回帰分析 1：線形回帰、決定係数と検定
- 第13回 単回帰分析 2：非線形回帰
- 第14回 重回帰分析
- 第15回 まとめ

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席・レポート・試験
鳥居泰彦著『はじめての統計学』(日本経済新聞社)

社会

履修コード	058131
科目名	統計学基礎演習 B
担当者名	二方 龍紀

講義の到達目標(ねらい) 本授業の目的は統計学の基礎知識を身につけ、社会調査で得たデータの分析を実際に行えるようにすることである。講義および統計パッケージ SPSS を用いた演習方式により授業を進める。後期は、確率論の基礎と仮説検定・推定の理論とその応用、相関係数、回帰分析などを学び、標本調査のデータ分析を行うための統計学的知識を修得する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 確率論の基礎
- 2 母集団と標本：抽出法の理論
- 3 母数の推定と中心極限定理
- 4 標本から母集団を推定する1：母平均の推定
- 5 標本から母集団を推定する2：母比率の推定
- 6 標本から母集団を推定する3：母標準偏差の推定
- 7 仮説の検定：仮説とは、2種類の過誤、検定の発想
- 8 仮説検定1：母平均・母比率の差の検定
- 9 仮説検定2：母分散に関する検定、独立性の検定
- 10 相関分析1：分析の概要
- 11 相関分析2：相関係数と検定
- 12 回帰分析1：分析と回帰係数の読み方
- 13 回帰分析2：検定
- 14 回帰分析3：その他の回帰分析
- 15 まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

実習・講義
筆記試験と平常点
鳥居泰彦『はじめての統計学』日本経済新聞社、2,345円。
授業内で適宜指示する。

履修コード	058221
科目名	社会学古典研究
担当者名	山田 信行 <small>やまだ のぶゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) なかなか、1人では通読することが難しい社会学の古典をグループで輪読することによって、社会学の基礎的な理論や概念の理解を深める。

講義の内容／授業スケジュール 社会学の古典を1冊とりあげて、できるだけ多く、その本文を購読し、社会学の考え方や基礎概念の的確な理解を目指す。具体的にとりあげる文献については、開講時に指示する。

準備学習 できるだけ、社会学の古典理論に親しんでおくことが望ましい。

履修上の留意点 ゼミ形式で授業を行うので、出席は極めて重要である。理由がない遅刻・欠席は厳禁である。

成績評価の方法 平常点および学期末レポートによる。

教科書／テキスト 開講時に指示する。

参考書 適宜、指示する。

その他 意欲的な学生の参加を期待する。

社会

履修コード	058241
科目名	質的調査法演習
担当者名	深澤 弘樹 <small>ふかさわ ひろき</small>

講義の到達目標(ねらい) 本講義の目的は、質的調査法に関する理解を深めるとともに、実際に、現地調査を実施するのに必要な知識を習得していくことにある。本講義では、社会調査の方法のなかで、とくに、質的調査に関する方法論について検討していく。具体的には、質的調査法の歴史的経緯ならびに特徴を整理した上で、聞き取りの方法、フィールドワーク、会話分析、内容分析などについて解説していく。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス、第2回：質的調査の歴史的経緯、第3～4回：フィールドワーク、第5回：参与観察法、第6～8回：インタビュー、第9回：ライフヒストリー分析、第10～11回：会話分析、第12～13回：内容分析、第14回：質的調査の実際、第15回：まとめ

成績評価の方法 平常点（出席状況、作業への参加度合い）や提出物（課題、レポート）などにより総合的に判断する。

教科書／テキスト 特になし。

参考書 必要に応じて複数の参考書を使用する予定。その都度プリントを配布する。
なお、基本的な参考書として以下の文献を挙げておく。

谷富夫・芦田徹郎編著『よくわかる質的社会調査 技法編』ミネルヴァ書房、2500円、ISBN978-4-623-05273-8

履修コード	058261
科目名	社会参加実習
担当者名	李 ^り 妍 ^{けん} 炎 ^{えん}

講義の到達目標(ねらい) 参加型実践学習を通して、2つの目標を達成したい。1つは、特定の社会問題に関する理解を深めてもらうこと、もう一つの目標はより重要であり、それは受講生に、参加したい現場を自ら選んでもらい、いかなる問題意識を抱いて参加するののかについて考えてもらい、参加するための準備作業を行ってもらい、実際に参加し、さらに成果をまとめてもらうという一連のプロセスをすべて経験してもらうことである。それによって、受講生の各種実践能力を高めていきたい。

講義の内容／
授業スケジュール 社会参加実習のキーワードは「参加」と「実習」である。実際に社会問題が起きている現場、その問題に取り組む実践の現場に身を置き、グループ単位で参加することによって実践的に学習する。具体的には、社会問題に携わる NPO/NGO、市民団体、住民組織、社会的企業での参加実習を想定している。以下のスケジュールで行う。第一部はブレーン・ストーミング、オープン・スペース、ワールドカフェ、評価式探索などの討論技法を用いて、参加したい現場選びと参加の問題意識の明確化、参加計画の制定などの準備作業を行う（第1回～第10回）。第二部は、各グループの参加計画に従って、グループ・ミーティングの手法で事前のデータ集めと参加交渉をしてもらう（第11回～第15回）。第三部は、主に夏休みを利用して、参加を実践する。第四部は、各グループが、順番に参加のプロセス、問題点についてプレゼンテーションを行い、討論を行う（第16回～第25回）。第五部は、実践の経過と成果、反省点について報告レポートおよび添付資料をグループ作業で作成してもらう（第26回～第30回）。

準備学習 受講希望者は、事前に NPO/NGO、市民団体と住民組織、社会的企業とはどのような組織なのかについて、基本的な知識を身につけておく必要がある。

履修上の留意点 参加型実習には、参加の意欲および責任感を必要とする。また、討論の技法を多く採用して進めていくため、それらにも留意し、身につけてもらいたい。

成績評価の方法 グループ内の相互評価が点数の50%、レポート、添付資料が残りの50%を占める。

参考書 中野民夫, 2009, 『ファシリテーション革命』岩波アクティブ新書。

関連リンク 堤公俊, 2009, 『ワークショップ入門』日経文庫（新書）。

<http://www.npo-hiroba.or.jp/>

社会

履修コード	058281
科目名	外書講読演習
担当者名	山田 ^{やまだ} 信 ^{のぶ} 行 ^{ゆき}

講義の到達目標(ねらい) 英語文献の輪読を通じて、社会学に関する理論的・経験的な学識を深めることを目的としている。とりあげる文献については、開講時に指示する。授業はゼミ形式で行う。

講義の内容／

授業スケジュール

準備学習

履修上の留意点

社会学および社会問題への関心を日ごろから培っておくこと。

英語の購読授業とは一線を画するものにしたが、あくまでテキストの理解を徹底することが目的達成のための第一歩なので、丁寧に英文を読み取ることを心がけていくようにしたい。

平常点、中間試験、および学期末試験を総合して評価する。

参加者と相談して決める。

適宜、指示する。

英語の学力については、とくに問題にしないものの、まとまった文献を読みとおすだけの意欲は必要である。

成績評価の方法

教科書／テキスト

参考書

その他

履修コード	058311
科目名	市民社会論
担当者名	李 ^り 妍炎 ^{けんえん}

講義の到達目標(ねらい) この授業では市民社会に関する議論、そして市民社会の実践について学ぶことによって、市民社会の論理を理解していくことと、日本における市民社会の展開の特徴と可能性について考えていくことをテーマとする。

講義の内容／授業スケジュール まず市民社会のイメージと定義を明確にした上で、市民社会論における社会学的アプローチの主要な議論を概説し、さらに市民社会の様々な実践について学んでいく。最後に理論と実践両方の学習を踏まえつつ、日本における市民社会の発展の特徴と可能性を探っていく。

授業計画

第1回：ガイダンス——市民社会に対するあなたのイメージは？

第2回：市民社会の具体像をつかもう（1）

第3回：市民社会の具体像をつかもう（2）

第4回：市民社会の具体像をつかもう（3）

第5回：市民社会の定義と概念を整理してみよう

第6回：市民社会への社会学的アプローチ（古典その1）

第7回：市民社会への社会学的アプローチ（古典その2）

第8回：市民社会への社会学的アプローチ（現代その1）

第9回：市民社会への社会学的アプローチ（現代その2）

第10回：市民社会の実践（世界編その1）

第11回：市民社会の実践（世界編その2）

第12回：市民社会の実践（日本編その1）

第13回：市民社会の実践（日本編その2）

第14回：市民社会の論理と日本における市民社会の特徴

第15回：まとめと討論：日本における市民社会の可能性

履修上の留意点 李の社会学演習Ⅰの受講者は、合わせてこの授業を取るのが望ましい。

成績評価の方法

参 考 書

平常点（出席とリアクションペーパー）とレポートで評価する。

秋元律郎『市民社会と社会学的思考の系譜』（お茶の水書房、1997）

マイケル・ウォルツァー『グローバルな市民社会に向けて』（日本経済評論社、2001年）

佐藤慶幸ほか編『市民社会と批判的公共性』（文真堂、2003）

佐藤慶幸『人間社会回復のために——現代市民社会論』（学文社、2008）

履修コード	058321
科目名	比較社会論
担当者名	李 ^り 妍炎 ^{けんえん}

講義の到達目標(ねらい) 比較とは、社会学の学習と研究を行っていく上で不可欠な、基本的な方法である。この講義では特に、異なる社会の近似領域を比較することによって、両方の社会について理解を深める方法を学んでもらう。なぜ比較が有効な方法なのか、比較するにはどんな前提条件が必要なのか、具体的にはどのように比較することが可能なのかについて、受講生に比較的に明白な理解をしてもらうことを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 講義内容は、具体的には日本社会と中国社会を取り上げ、前半では既存の文化論的な比較検討を紹介した上で、後半は受講生の関心に応じて、日本社会と中国社会の近似分野をいくつか取り上げ、実際に比較を行ってみる。

1. ガイダンスと受講生の要望の受付（第1回）

2. 社会科学における比較という手法（第2回、第3回）

3. 日中比較文化論の紹介（第4回、第5回）

4. 近似分野の比較（受講生の要望に応じて、どの分野を取り上げるかを決める。映像を含めた各種資料、データを活用する予定）（第6回から第12回）

5. 比較を通して得たものに関する検討（受講生参加型のワークショップ形式）（第13回から第15回）

準備学習 中国社会の近年の変化（改革開放後）について、基本的な知識を知っておく必要がある。

履修上の留意点

比較を通して、日本社会についてより深く考えてみたい意欲、中国社会についてある程度の知的好奇心を持っていることが、要求される。

成績評価の方法

平常点40%（出席および授業後のリアクションペーパーで評価）、レポート60%。

参 考 書

陳舜臣、1984、『日本人と中国人』、集英社。

関 連 リ ン ク

<http://j.people.com.cn/>

履修コード	058331
科目名	社会心理学A
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A(前期)では、対人関係、集団の影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容／
授業スケジュール

1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—
2. 対人認知と印象形成 —未知の人をどう認知するか—
3. 対人関係と自己開示 —オタクと日本人の自己開示—
4. 親密性の社会心理学 —若者の友人関係—
5. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ①—
6. 日本人の対人関係戦略 —安心社会から信頼社会へ②—
7. 自信の社会心理学 —あなたは自分に自信がありますか—
8. 対人関係と対人魅力 —対人魅力の条件とは何か—
9. 恋愛の社会心理学 —恋愛と友情は違うのか—
10. 援助行動抑制要因の研究 —何故、人は見て見ぬふりをするのか—
11. 社会的手抜きと社会的促進の研究 —みんなと一緒になら食事もはずむ—
12. 同調行動と集団的意志決定 —集団の意志決定とその危険性—
13. カウラ事件とその社会心理学的考察 —集団脱走はなぜ起こったか—
14. 同調行動と頻度依存行動 —いじめの心理—
15. まとめ

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

平常点(出席+リアクションペーパーの内容+参加度)50%、課題レポート50%
授業中、プリントを配布する。
その都度指示する。

社会

履修コード	058341
科目名	社会心理学B
担当者名	坪井 健

講義の到達目標(ねらい) この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学Ⅱ(後期)では、主として集団と社会の領域における実際的なテーマを中心に、身近な生活に役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容／
授業スケジュール

1. はじめに —講義の方針と受講の仕方—
2. 社会的勢力と権威への服従 —何が人間を鬼にさせるか①—
3. 社会的勢力と権威への服従 —何が人間を鬼にさせるか②—
4. 親和欲求の研究 —何が人を結びつけるか—
5. 達成動機の研究 —やる気のある人はどんな人か—
6. 仕事意欲の研究 —働くことの意味と労働観—
7. リーダーシップの研究 —効果的リーダーシップとは—
8. 集団の社会心理学 —集団のまとまりは如何に可能か—
9. 態度変容の研究 —説得の技法—
10. 態度変容の理論 —セールスマンのテクニック—
11. 異文化コミュニケーションと異文化適応 —異文化に生きる戦略—
12. 学生文化の研究 —学生文化は死んだか—
13. 国際化する大学と学生 —世界の留学交流と在日留学生—
14. 日常生活の中の社会心理学 —しろうと理論の陥穽—
15. まとめ

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

平常点(出席+リアクションペーパーの内容+参加度)50%、課題レポート50%
授業中、プリントを配布する。
その都度指示する。

履修コード	058351
科目名	都市社会学 A
担当者名	牛島 千尋

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、都市社会学の主要な理論を講述し、地域社会としての都市へアプローチするための基本的概念と分析方法について理解を深めていく。

講義の内容／授業スケジュール 講義内容の概略は以下の通りである。
第1回：オリエンテーション 第2回：都市と農村に関する研究、第3～4回：シカゴ学派の遺産と人間生態学、第5～6回：都市の拡大と空間構造、第7～8回：アーバンイズム論、第9～10回：前産業型都市と産業型都市、第11～12回：都市化とコミュニティの変容、第13～14回：都市問題と都市計画、第15回：試験

成績評価の方法 出席状況、小テスト、レポートによって評価します。

教科書／テキスト 高橋勇悦監修、菊池美代志・江上渉編『改訂版 21世紀の都市社会学』学文社、2008年。

参 考 書 その都度紹介します。

そ の 他 ビデオやパワーポイントなどの電子教材を利用し、講義形式で行います。

社会

履修コード	058361
科目名	都市社会学 B
担当者名	牛島 千尋

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、世界の大都市との共通点と相違点に留意しながら、東京を対象として、その歴史の変容と空間構造の変化、大都市固有の都市問題について考察していく。

講義の内容／授業スケジュール 講義内容の概略は以下の通りである。
第1回：オリエンテーション、第2回：世界の大都市の空間構造の特徴、第3～4回：大都市のインナーシティ問題、第5回～6回：東京の歴史的事象と都市としての変容、第7～8回：東京の人口・住宅問題と都市計画、第9～10回：東京の産業構造の変化と地域社会、第11～12回：グローバル化に伴う東京の変容、第13～14回：東京都市再開発とインナーシティの変容、第15回：試験

履修上の留意点 都市社会学 B を履修する人は、都市社会学 A を最初に履修し、理論部分を理解しておくことが望ましい。

成績評価の方法 出席状況、小テスト、レポートによって評価します。

教科書／テキスト 高橋勇悦監修、菊池美代志・江上渉編『改訂版 21世紀の都市社会学』学文社、2008年。

参 考 書 その都度紹介します。

そ の 他 ビデオやパワーポイントなどの電子教材を利用し、講義形式で行います。

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行 <small>やまだ のぶゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) 社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容／授業スケジュール この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。それぞれについて、2回程度講義を行う。

1. 近代化・産業化・資本主義—労使関係の成立
2. 労使関係と生産システム
 - (1) テーラー主義とその限界 (2) フォード主義とその意味
3. ポスト・フォード主義
 - (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界 (2) 雇主の戦略と新国際分業 (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化 (4) 日本的生産システム
4. グローバル化と日本的生産システム
 - (1) グローバル化の原因と日本企業 (2) 国際移転と普遍性
5. グローバル化とサービス経済化
 - (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化 (2) 世界都市と移民労働者の流入
6. インフォーマル化の進展
 - (1) インフォーマル・セクターの拡大 (2) インフォーマル化の概念と意味

準備学習 日ごろから、新聞その他のメディアを通じて、授業で扱う問題についての知識を吸収しておくことが望ましい。

履修上の留意点 継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。授業内で実施する小テスト(5回実施)によって、成績を評価する。出席はとらないが、小テストの成績は出席率と強い相関があることはいうまでもないので、その点留意すること。

教科書/テキスト 特になし。
 参考書 山田信行 1998『階級・国家・世界システム—産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房
 その他 後期に隔年開講している雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい(本年度は休講)。

社会

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	深澤 弘樹 <small>ふかさわ ひろき</small>

講義の到達目標(ねらい) 現代を生きる私たちにとって、世の中の出来事を知る手段としてマス・メディアはなくてはならない存在となっている。その一方で、インターネットの発達により、マス・メディアを媒介とするマス・コミュニケーション活動は日々、変化している。こうした点を踏まえ、本講義では、マス・コミュニケーションの変容過程を概観するとともに、その社会的機能について理解することを目的とする。さらには、マス・コミュニケーションと人々の社会生活、社会との関係を考察していく。また、新聞、テレビ、インターネットなどから発せられる情報を読み解くためのメディアリテラシーを身につけることも本講義の目的である。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス、第2回：マス・コミュニケーションの基礎概念、第3～4回：マス・コミュニケーション発達史、第5～7回：マス・コミュニケーションの機能、第8回：受け手の能動性、第9～10回：メディアによる世論形成、第11～12回：インターネット時代のコミュニケーション、第13～14回：メディアリテラシーを身につける、第15回：まとめ

準備学習 日頃から新聞、テレビなどから発せられる情報を漠然と受け入れるのではなく、批判精神、問題意識を持って接した上で授業に臨んでほしい。

成績評価の方法 学期末試験(7割)に出席状況や小テストなどの平常点(3割)を加味して総合的に評価する。

教科書/テキスト 特不使用しない。
 参考書 授業中に随時、指示する。

履修コード	058451
科目名	家族とジェンダーの社会学A
担当者名	松信 ひろみ

講義の到達目標(ねらい) 本講義のテーマは、現代の結婚と家族にかかわる諸現象や問題を、社会学的な観点から考察することである。統計的なデータから、さまざまな現象や問題についての現状を読み取り、その現状を社会学的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容／授業スケジュール 授業の前半では、家族社会学の基本的な考え方を解説し、近代家族から現代家族への変遷の過程について説明する。授業の後半では、現代家族をめぐる具体的な現象や問題を取り上げ、各々について統計的なデータなども用いて現状の解説と社会学的な観点からの検討を行う。具体的には、未婚化・晩婚化の進展、離婚の増加、少子・高齢化、共働き家族の仕事と家庭生活の調和の問題などを取り上げて検討してゆく。

- 第1回 家族変動と家族のゆくえ
- 第2回 家族機能の変化
- 第3回 ライフコースと家族
- 第4回 ネットワークと家族
- 第5回 新しい家族のかたち①事実婚や同性婚
- 第6回 新しい家族のかたち②ステップ・ファミリー
- 第7回 恋愛と結婚①現代の結婚
- 第8回 恋愛と結婚②シングルライフ
- 第9回 性別役割分業と家族
- 第10回 少子化と子育て支援①現代の少子化
- 第11回 少子化と子育て支援②子育て支援
- 第12回 高齢化と介護、看取り
- 第13回 家族の中での暴力
- 第14回 ストレスとしての家族
- 第15回 まとめ

成績評価の方法 平常点(出席・コメントペーパー)30%、レポート70%
教科書／テキスト 増子勝義編著『新版新世紀の家族さがし・おもしろ家族論 -』学文社、2007
なお、新版が出版されれば、そちらを採用するので、開講時に指示する

参 考 書 適宜紹介する

社会

履修コード	060201
科目名	社会統計学演習
担当者名	吉田 崇

講義の到達目標(ねらい) 社会学的データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方について学ぶとともに、主要な計量モデルについての講義と実習を行なう。データから社会的に意味のある結果を導き出すための方法として、重回帰分析をメインに、因子分析、主成分分析、クラスター分析などをとりあげ解説する。また、実際のデータを用いて統計処理ソフト(SPSS)による実践的手法を習得する。解析ソフトの使用法の習得だけではなく、各手法の考え方やその結果の意味を理解することに重点を置き、多変量解析を使用したレポートの書き方についても指導する。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 統計分析の基礎1: 要約統計量について復習する。
- 2 統計分析の基礎2: 2変数間の関係 (1) 散布図と相関係数。
- 3 統計分析の基礎3: 2変数間の関係 (2) クロス表とカイ2乗検定。
- 4 統計分析の基礎4: 多重クロス表の分析。
- 5 回帰分析の基礎1: 単回帰分析の考え方について学ぶ。
- 6 回帰分析の基礎2: 重回帰分析の考え方とその算出手続きを習得する。
- 7 回帰分析の基礎3: 重回帰分析を用いた研究事例について検討し、使い方を学ぶ。
- 8 回帰分析の応用1: 重回帰分析を使用して調査データを分析し、報告書を書く練習をする。
- 9 回帰分析の応用2: 重回帰分析の応用としてのパス解析の考え方について学ぶ。
- 10 変数を分類する1: 因子分析の考え方について学ぶ。
- 11 変数を分類する2: 主成分分析の考え方について学ぶ。
- 12 変数を分類する3: クラスター分析の考え方について学ぶ。
- 13 変数を分類する4: 因子分析を用いた研究事例について検討し、使い方を学ぶ。
- 14 これまでに習得した分析手法を用いて報告書を書く練習をする。
- 15 多変量解析についての理解に関する検証(定期試験)

履修上の留意点 社会調査士資格のE科目に該当する。出席重視。
成績評価の方法 平常点30%とレポート70%で総合的に評価する。
教科書／テキスト 使用しない(適宜プリントを配布する)
参 考 書 適宜、指示する

履修コード	060301
科目名	社会調査実習
担当者名	松信 ひろみ

講義の到達目標(ねらい)

1,2年次で学んだ社会調査に関する知識を生かし、一連の社会調査のプロセスを体験することによって、現実の社会を分析する手法を会得することを目的とする。

参加者は、調査実習のクラス内で実施される調査を通じて、問題意識の仮説化、調査の企画・設計から調査票の作成、サンプリング、データの収集と入力までを経験する。さらに、二次データ(JGSSおよび民間の調査会社が実施したインターネットによる「日常生活一般調査」)を用いて、データの詳細な分析方法を学び、報告書の作成を行う。二種類の異なったデータを用いることで、調査企画に適した調査法や調査法の設計、コーディング方法を学ぶとともに、二次データの利点と注意点、社会調査を実施する上での倫理的観点をも身につけることを目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

前期はまず受講生の討議に基づき、①調査テーマの決定と調査の設計(1~2回目)、②仮説の検討(3~5回目)、③調査票の作成(6~10回目)、を行う。調査票の作成においては、使用する二次データの調査設計と照らし合わせながら、項目の調整、配置、ワーディングなども検討する。さらに依頼文、あいさつ文の作成についても学ぶ。また、調査票の作成を進めながら、④駒澤大学の社会学科の在学生名簿からランダムサンプリングを実施し、標本抽出についても体験する(11回目)。社会調査実習のクラス内において、調査員を決め、⑤調査票の配布、回収を行い(12~13回目)、⑥回収した調査票のチェック、コーディング、データ入力を行う(14~15回目)。⑦データのクリーニングを実施し(16回目)、データを確定させら上で、単純集計などの簡単な集計を行う(17回目)。その後は、二次データを用いて、各自の仮説に基づいたデータの分析をSPSSを用いて行う(18~22回目)。さらに、それらの分析結果に基づき、⑨報告書の執筆、作成を行う(23~25回目)。報告書の作成にあたっては、各自で執筆した原稿について受講生全員で検討する(26~30回目)。

社会

履修上の留意点

問題意識を明確にもち、社会調査のすべての過程について、自ら積極的に取り組むことのできる姿勢をもって欲しい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

平常点(出席、および調査への取り組み方)(50%)、報告書用のレポート(50%)

適宜指示する

適宜指示する

毎回の出席が基本である。自ら調査に取り組む姿勢を忘れないで欲しい。

履修コード	060311
科目名	社会調査実習
担当者名	かみなが ゆい 神長 唯

講義の到達目標(ねらい)

この実習では主に質的調査の方法を用いて行う。1、2年生の時に学んだ社会調査の手法、特に社会調査演習において学んだ質的調査の手法を、実習を通してマスターしていくことを目的としている。調査テーマの設定、調査地や調査対象者の選定、調査対象地に入るための準備学習、聞き取り調査のアポイントメント取り、実際の聞き取り調査の実施等を行う。また、現地の様々な活動に参加し、参与観察を行うことなども含め、これら一連の質的調査のプロセスを経験した上で、調査テーマに関する質的データに基づいた調査報告書の作成を受講生全員で協力しながら行う予定である。

講義の内容／
授業スケジュール

前期においては、まず、質的調査の方法の特質や具体的な技法について確認する(前期第1回～第3回。以下同)。その上で実習テーマについて討論する(4～7)。次に、受講生のグループ分けを行い、調査テーマに関する基礎データを各自で分担して集め、調査地と調査対象者等の選定作業を行う(8～11)。一部作業を並行して進めながら、グループごとに調査地に赴き事前調査と予備学習を行う(12～15)。

後期は各グループでの準備作業を終え、引き続き本調査に入ってゆく。初回は前期および夏期休業中の進展を報告しあい、調査を進める上での問題点の整理を行う(後期第1回および第2回。以下同)。その後、聞き取り調査対象者のリストを作成し、アポイントを取ることから調査実施、テープ起こし、データのコード化など一連の作業を行う(3～8)。また同時に必要に応じて参与観察を行い、同様に観察ノーツの作成とコード化を進める。調査が終了した時点で受講生が分担して分析を行い、調査報告書の作成を行う(9～15)。

社会

1. 調査のテーマ/領域: 具体的なテーマは受講生と討論した上で決定するが、身近な環境問題や駒澤大学のある世田谷区が有する社会問題等に関連する領域にする予定である。また、調査テーマによっては駒澤大学の地域貢献という点も重視したいと考ええる。

2. 調査の内容/概要: 東京という大都市(圏)にはさまざまな環境問題をはじめとする社会問題が存在する。そのため、たとえば、ごみ問題をはじめとする身近な生活環境問題について、地域の環境運動やリサイクル活動等に携わっている市民や市民団体(組織構成、活動形態、活動団体内の人間関係の形成、活動の位置づけや影響など)の把握を中心とした調査設計を予定している。詳細は受講生の意見を踏まえながら決定する。

3. 調査の範囲/対象: 地域の環境問題(社会問題)に携わる住民運動や市民運動団体とその他関係者(行政、大学等)などを対象者として想定している。

4. 主な調査項目: 活動の歴史と組織構成、リーダーシップのあり方、活動内容、メンバーの人間関係、活動に対するメンバーの考え方や感情、メンバーにとっての活動の位置づけ、活動することがメンバーに与える影響などの項目。具体的に決まったテーマに応じてさらに絞ったり、補足したりしていく。

5. データ収集(現地調査)の方法: 調査対象を選定した後に、グループ単位で聞き取り調査を中心とした調査を行う。

履修上の留意点

1. 受講する学生は、調査テーマの設定段階から調査報告書の作成に至るまで、一貫して主体的に取り組むことが強く求められる。とりわけ実習の講義時間外の事前準備や報告書執筆のとりまとめなど、各自の自主的なかわりが必須である。

2. 質的調査の方法を学ぶ「社会調査演習」の科目を履修したことのある学生、またはこの実習と同時に履修を始める学生が望ましい。

3. この科目は社会調査士の資格を取得するための科目の一つであるが、量的調査の実習は別のクラスが用意されているため、そちらを履修すること。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

出席状況、参加態度、作業に取り組む姿勢、調査報告書作成における貢献により総合的に評価。とくになし。

佐藤郁哉『フィールドワーク: 書を持って街へ出よう』新曜社、2310円、978-4788510302
※この他、講義中に指示(一部、講義中に必要な箇所を配付)。

履修コード	060321
科目名	社会調査実習
担当者名	ふたかた りき 二方 龍紀

講義の到達目標(ねらい)

学生が社会調査の全過程に主体的に関わることで、社会調査を企画・実施するために必要な能力を獲得することを目的とする。受講学生は先行研究の整理から仮説構築、調査票の設計を行い、授業内でサンプリング、調査実施、データ入力と集計までを経験する。あわせて、JGSSおよび民間調査会社のインターネット調査（「日常生活一般調査」）のデータを用いて詳細なデータ分析を行う。種類の異なる調査票とデータを比較することで、調査の企画に適した調査方法や調査票の設計、コーディング方法、また、二次データ分析の利点と注意点を学ぶ。この授業により、(1)社会調査を企画・遂行する力、(2)自らの問題意識をもとに先行研究をレビューし仮説を構築する力、(3)データ分析の技法、(4)結果の報告の仕方、さらに(5)社会調査者として必要な倫理観を身につけることを目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は、社会調査の企画から調査データの簡単な集計までを行う。

1. 社会調査の基本的知識の再確認と既存調査の設計の検討
2. 調査テーマの設定と調査設計
- 3～5. 先行研究の整理と仮説の構築
- 6～7. 調査票の作成（質問項目の配置やワーディングの検討など）
8. 調査対象者への調査依頼文とあいさつ文の作成
9. 大学の在校生名簿を利用したランダム・サンプリング
10. 受講学生間での調査実施（調査票配布・回収）
- 11～13. 調査票のチェックとコーディング、データ・クリーニング
- 14～15. 調査データの単純集計

後期は、二次データを用いた分析から報告書作成までを行う。

- 16～25. 各自の仮説にもとづいたデータ分析
- 26～30. 報告書の作成

データの分析から報告書の作成までの間に、随時、口頭報告の機会を設けて受講学生全員で内容を討議する。

成績評価の方法
教科書／テキスト

平常点（出席、討論・作業への取り組み）＋報告書レポートなし。

社会

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	けいとく ひろとろ 鶏徳 啓登

講義の到達目標(ねらい)

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1回～3回 : 行政法の意義について（法令の種別と法の解釈を含む）。
- 4回～6回 : 行政作用と行政行為について。
- 7回～15回 : 行政行為（特許や許可等）の意義、内容、効力について。
- 16回～20回 : 行政上の強制手段と行政上の処罰について。
- 21回～25回 : 国家による賠償と補償について。
- 26回～30回 : 行政上の不服申し立てと行政事件訴訟について。

成績評価の方法
教科書／テキスト

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

原田尚彦著 『行政法要論』（学陽書房） 3,000円 : ISBN4-313-31222-6

『小六法』 出版社・定価各種

参 考 書

塩野宏著『行政法I・II』（有斐閣）4,000円 その他、教場にて説明。

履修コード	058551
科目名	民法
担当者名	おのみや たかし 大宮 隆

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール 準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	民法は、我々の日常生活の基本法として、財産と家族に関する事項を規律する法律である。 本講義は編別でいうと親族、相続が対象である。 出生、婚姻、離婚、扶養、相続という家庭生活の中で人の一生に生起するほとんどの事柄に係わる身近な法律である。 家庭裁判所調査官補試験などをを目指す人に受講を勧めます。 親族-①婚姻、離婚 ②親子 ③親権、後見補佐補助 ④扶養 相続-①遺言 ②法定相続 ③遺留分 予習が必要である。 教科書、条文を読むこと。 出席状況と試験の成績を総合に評価を行う。 『新民法概説(3)親族・相続』(有斐閣)1,800円 ISBN4-641-11265-7 適宜紹介する。
---	---

社会

履修コード	065001
科目名	社会保障論
担当者名	ながお じょうじ 長尾 譲治

講義の到達目標(ねらい) 講義の内容/ 授業スケジュール 成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す皆さんにとって必要で十分な社会保障制度に関する実践的知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。 社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいつと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。 講義では、マンガやドラマに出てくるおなじみの登場人物とその生活場面などの身近な実例に当てはめ、そこで出てくる社会保障制度を解説するなど、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていくべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。 (1) 社会保障とは(社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系など)(1回目) (2) 各制度の詳細な解説 ①医療保険制度(2~5回目) ②年金保険制度(6~11回目) ③労働保険制度(雇用保険、労災保険)(12~16回目) ④介護保険制度(17~20回目) ⑤民間の保険(生命保険、損害保険、その他の保険)(21回目) (3) こんなときどうする? -私たちのライフサイクルと社会保障- ①就職したら(22回目) ②妊娠・出産・育児とその支援(23~24回目) ③病気や障害状態になったら(25~26回目) ④寝たきりや認知症になったら(27回目) ⑤ターミナル・ケアを受けるには(28回目) (4) 各国の社会保障制度(29回目) (5) 社会保障制度の現状と課題(30回目) 学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。 特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する(授業は毎回の詳説プリントを通じて行う)。 長尾譲治著『ライフサイクルと保健福祉』(春風社) 週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』(法研) その他、随時紹介する。
--	--

履修コード	065521
科目名	老人福祉論
担当者名	東條 光雅 <small>とうじょう みつまさ</small>

講義の到達目標(ねらい)

少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割(1)
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割(2)
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割(3)
- 第15回 これからの高齢者支援

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

原則的には、出席点と定期試験によって評価する。
『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

参 考 書
そ の 他

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

社会

履修コード	065621
科目名	児童福祉論
担当者名	村田 一昭

講義の到達目標(ねらい) 1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。
 そこでこの授業は、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング(well-being)をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目標にしています。

講義の内容/
 授業スケジュール

- 1, 子ども家庭福祉の理念
 - ① ウェルフェアからウェルビーイングへ (第1回)
 - ② 子どもの権利条約 (第2回)
 - ③ 児童福祉法の基本原理 (第3回)
- 2, 子どもと家庭をめぐる最近の動向
 - ① 少子化の動向と対策 (第4回)
 - ② 子ども虐待の実態と対応 (第5回)
 - ③ 少年非行・少年犯罪の動向と対応 (第6回)
- 3, 子ども家庭福祉の法体系
 - ① 児童福祉法 (第7回)
 - ② 児童福祉六法 (第8回)
 - ③ 関連法 (第9回)
- 4, 子ども家庭福祉の実施体制
 - ① 子ども家庭福祉行政の仕組み (第10回)
 - ② 子ども家庭福祉の実施機関 (第11~12回)
- 5, 子ども家庭福祉への歩み (第13回)
- 6, 子ども家庭福祉施策の現状と課題 (第14回)
- 7, 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際 (第15回)

履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。

成績評価の方法
 教科書/テキスト

平常点(出席およびリアクションペーパー、課題)と期末試験にて評価をします。
 高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク(第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ¥2,000
 ※授業内容により、プリントを配布します。

参 考 書
 そ の 他

- 随時、紹介します。
- ① 授業はパワーポイントを使用
 - ② 各テーマ終了時に小テスト実施
 - ③ YeStudy 利用

社会

履修コード	065901
科目名	地域福祉論
担当者名	川上 富雄

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、今日的な福祉理念の理解、およびそれを具現化した制度・事業・実践等に関する知識の獲得をはかり、地域福祉時代のソーシャルワーカーに求められるセンスの涵養をねらいとする。具体的な講義の柱は以下の通り。

- (1) 今日的な福祉理念と地域福祉の考え方に関する理解を深める。
- (2) 様々な地域福祉活動およびその推進方法に関する理解を深める
- (3) 地域自立生活を支える様々な制度に関する理解を深める。
- (4) 地域福祉を推進する様々な機関・施設・団体に関する理解を深める。

なお、講義は高度かつ実践的内容になるので、テキスト等の事前通読を必須とする。各自充分な予習をして講義に臨んでほしい。併せて、本科目は社会福祉士国家試験指定科目ということもあり、試験内容も考慮した水準の講義を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～
2. 今日の福祉理念と地域福祉の概念
3. 地域福祉の歴史
4. 地域社会の変容とコミュニティ／コミュニティ政策①
5. 地域社会の変容とコミュニティ／コミュニティ政策②
6. 社会福祉における住民・利用者参加の意義と課題
7. 住民・利用者参加活動の形態と組織①～コミュニティ型
8. 住民・利用者参加活動の形態と組織②～アソシエーション型
9. 住民・利用者参加活動の形態と組織③～コミュニティビジネス／社会的企業
10. NPO・ボランティア活動とその支援（ボランティアセンターの役割）
11. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営①
12. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営②
13. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク①
14. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク②
15. 在宅福祉サービスの歴史と現状および地域包括支援センターの誕生
16. 福祉情報化と福祉教育の推進
17. 地域福祉推進における国・地方自治体の役割・関係
18. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度①
19. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度②
20. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業①
21. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業②
22. 苦情解決システムと第三者評価事業
23. 福祉計画の系譜と地域福祉計画・地域福祉活動計画
24. 民生委員制度と民生委員活動①
25. 民生委員制度と民生委員活動②
26. 地域福祉における社会福祉施設の役割（施設の社会化）
27. 地域福祉を支える財源～公費・財団・共同募金
28. 利用者主体・地域自立生活を支える供給システムのあり方（トータルケアシステム）
29. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～再考
30. まとめ

準備学習
履修上の留意点

テキストおよび参考図書の通読
地域福祉論は、他の分野論・各論系科目の横断科目的な性格が強い。児童・障害・高齢者・社会保険・生活保護分野等の制度や対象者像、利用の仕組み、施設やサービス等についての知識を前提として講義を進めるので、少なくとも2年次以降の履修が望ましい（できれば3年次履修を勧める）。他学部・他学科生で履修する学生は、『国民の福祉の動向』（厚生統計協会）や『厚生白書』などを熟読し、今日の社会問題や社会保障の枠組みに関する一定の理解を持って臨むこと。

成績評価の方法

定期試験の成績に小テスト（随時）、レポート（随時）、出席点を加味して判定する。講義への出席等外形的な評価よりも、価値理解・知識獲得など実質的な側面を強く評価する予定である。なお、定期試験は社会福祉士国家試験を意識した形式で行い、定期試験の評価が成績評価の過半を占める。

教科書／テキスト

●社会福祉士養成講座編集委員会編『〔改訂〕新・社会福祉士養成講座⑤地域福祉の理論と方法』中央法規出版 2010

参考書

●山本主税・川上富雄『地域福祉新時代の社会福祉協議会』中央法規出版 2003
日本社会福祉士会編『新・社会福祉援助の共通基盤（下）』中央法規出版 2009
井岡勉監修／牧里・山本編『住民主体の地域福祉論』法律文化社 2008
大橋謙策・原田正樹編『地域福祉計画と地域福祉実践』万葉舎 2000
小林雅彦編『社会福祉の新潮流⑤地域福祉論』学文社 2010

その他

その他、講義中に紹介する。
基本的には講義形式で行う。

社会

履修コード	073401
科目名	環境心理学
担当者名	林 久美

講義の到達目標(ねらい) 私たちをとりまく「環境」とは？
 実にさまざまな要素からなる「環境」。室内、建築、都市、いろいろな尺度で環境は捉えることができる。そのなかで私たちの生活は存在し、人間と環境は常に相互に影響を与え合っている。

人間がより豊かで多様な関わりを持てる環境を作るために、人間が環境をどのように知覚・認知しているか、あるいは環境における人間行動・生態など、人間が本来的に持つ性質を実証的に明らかにする観察・実験例（環境行動研究：Environment-Behavior Studies）をもとに、それを基盤とした人間の観点に基づく環境デザインの理論的背景を得ることを目的とする。

講義の内容／
 授業スケジュール

- 1) 環境心理学の概観・問題意識
 ・環境デザインの意義、近代建築の功罪、建築計画学と環境心理学
- 2) 人間の心理・行動とそのデザインへの応用
 ・環境と行動・環境のアフォーダンス、プロクセミクス・パーソナルスペース、テリトリー・ディフェンシブルスペース、空間の知覚・認知、ウェイファインディング
- 3) 建築計画学における環境心理研究・実践
 ・住まいと環境心理学・都市と環境心理学・学ぶ場と環境心理学・病院と環境心理学・仕事の場と環境心理学

履修上の留意点 日常生活に関連する事柄が多いので、日頃から自身の行動、周辺環境との関わりについて興味を持っていること。

成績評価の方法
 参 考 書

- ・レポートによる。
- ・日本建築学会編：人間環境学、朝倉書店、1998
- ・高橋鷹志、長澤泰、西出和彦編：シリーズ<人間と建築>1 環境と空間、朝倉書店、1997
- ・ジョン・ラング著、高橋鷹志監訳「建築理論の創造 建築デザインにおける行動科学の役割」鹿島出版会（1992）
- ・高橋鷹志＋チーム EBS 編著：環境行動のデータファイル・空間デザインのための道具箱、彰国社、2003

社会

履修コード	073501
科目名	児童心理学
担当者名	澤田 匡人

講義の到達目標(ねらい) 小学校入学前後から思春期までを中心とした子どもについて、その心理的特徴に関する基礎的な知識の習得を目的とします。

講義の内容／
 授業スケジュール 「1回1テーマで完結」を原則として行われます。ただし、テーマによっては2～3週に渡る場合もあります（例：「いじめ」「発達障害」）。「発達段階」や「知能」のような定番のテーマ（2～11）から、「感情」や「集団」といった対人関係の発達（12～21）、「いじめ」や「不登校」に代表される不適応の問題（22～30）に至るまで、子どもの心とその発達の変化を理解する上で欠かせないさまざまな内容を取り上げ、わかりやすく解説していきます。

履修上の留意点 授業で説明する「受講契約」（受講する上での基本的なルール）を確認してから履修するようにしてください。また、できるだけ学生の皆さんの要望に沿った授業にしていくために、簡単な感想を毎回提出してもらうことになります。

成績評価の方法
 教科書／テキスト
 そ の 他

授業で取り扱った内容に関する理解度の確認（穴埋め形式のテストを予定）から評価します。一切使用しません。

講義は全回に渡って「スライド」を用いて行われます。テキストやプリントの類は一切使用しませんので、投映された画面が頼りとなります。とはいえ、ノートテイクはあくまで「任意」です。スライドで表示する内容を最小限に抑えてありますので、ノートテイクできないほどの量ではないはずですが、そのため、最初は少し早いと感じるケースもあるかもしれませんが、徐々に慣れていくと思います。単位取得のためではなく純粋に心理学を楽しみながら学んでいただければ幸いです。

履修コード	073601
科目名	産業心理学
担当者名	大谷 ^{おおや} 華 ^{はな}

講義の到達目標(ねらい) 産業心理学では、組織で働いたり、購買活動を行ったりする際の人々の行動を心理学的に考えます。また、どのような組織経営が働き手の意欲を高め、生産性につながるかを研究します。そのため、産業・組織心理学とも呼ばれます。みなさんが社会人となったときに、幸せなワークライフを送り、健全な組織経営を促すための知識と視点を学びましょう。

講義の内容／授業スケジュール 1. ガイダンス、2. 産業・組織心理学の歴史と研究、3. 組織行動（ワークモチベーション、組織のコミュニケーション、リーダーシップ）、4. 人的資源管理（採用・面接、人事評価、キャリア発達）、5. 職場の安全衛生（能率と安全、人間工学、ストレスとメンタルヘルス）、6. 消費者行動、7. まとめ、テスト、フィードバック。受講生の関心・要望に応じて、授業内容を変更する場合があります。

成績評価の方法 前後期末に試験を行います。授業中に随時、ミニレポートとリアクションペーパーを課します。レポートとリアクションペーパーの提出・内容と試験成績を総合的に評価します。

教科書／テキスト 『よくわかる産業・組織心理学』山口裕幸・金井篤子（編）、ミネルヴァ書房

履修コード	073701
科目名	老年心理学
担当者名	植田 ^{うえだ} 恵 ^{めぐみ}

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、生涯発達という観点を軸に、前半では、心身の加齢変化の特徴について学び、後半では、高齢者が直面する問題とそれに対する心理的援助・対応について学ぶ。特に、心理臨床の応用場面として、認知症や脳卒中の後遺症などによるコミュニケーション障害のある高齢者について、具体例を紹介しながら進める。

講義の内容／授業スケジュール

前期
 第1回—2回：少子高齢社会の到来と高齢者の現状
 第3回—4回：加齢と生涯発達
 第5回—6回：身体に加齢変化
 第7回—9回：感覚・知覚、認知機能の加齢変化
 第10回—11回：知恵と創造性
 第12回—14回：パーソナリティと適応
 第15回：まとめ

後期
 第16回—17回：高齢者の暮らしと人間関係
 第18回—19回：老年期の精神病理（1）喪失体験、孤独、死
 第20回—21回：老年期の精神病理（2）自殺、うつ
 第22回—25回：老年期の精神病理（3）認知症
 第26回—27回：高齢者とのコミュニケーション
 第28回—29回：障害をもつ高齢者に対する心理的援助と対応
 第30回：まとめ

成績評価の方法 期末試験（後期末）および小レポート（2回）。成績の配分は、試験8：小レポート2とする。

教科書／テキスト 指定しない

参 考 書 授業の中で随時紹介する

社会

履修コード	091001
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美

講義の到達目標(ねらい) 社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといっていよい。

講義の内容／
授業スケジュール

このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。

年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。

履修上の留意点

受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法
参 考 書

期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。

講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

社会

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義の到達目標(ねらい)

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。

労働者に降りかかるさまざまな事象は、最近では雇用関係法領域において顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容／
授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

準備学習

テキストを読むこと。新聞を読むことなどです。現代雇用問題にかかわる新書なども読んでください。

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価がつきません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価します。

追試験は実施します。

教科書／テキスト

指定教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法Ⅰ [第2版]』(エイデル研究所 2010)。もとより、これ以外でもかまいませんが、相談して下さい。

参考書

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの(法律改正や制定があるので特に注意)。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

社会

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	まつまえ 松前 龍宜

講義の到達目標(わらい) 本講義は、前期にミクロ経済学、後期にマクロ経済学の基礎理論を学び、ミクロ・マクロの経済政策が、どのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。講義方針として、表とグラフの直観的理解に加え、簡単な数式モデルを使って論理的にも理解してもらうこととする。

講義の内容/
授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス、テキストと成績評価。
2. 需給分析・余剰分析Ⅰ (第1章)
3. 需給分析・余剰分析Ⅱ (第1章)
4. 需給分析・余剰分析Ⅲ (第1章)
5. 市場への政府介入Ⅰ (第2章)
6. 市場への政府介入Ⅱ (第2章)
7. 公共事業と競争政策Ⅰ (第3章)
8. 公共事業と競争政策Ⅱ (第3章)
9. 公共事業と競争政策Ⅲ (第3章)
10. 外部性Ⅰ (第4章)
11. 外部性Ⅱ (第4章)
12. 外部性Ⅲ (第4章)
13. 公共財 (第4章)

(後期)

1. マクロ経済指標と国民経済計算 (第1章)
2. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅰ (第7章)
3. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅱ (第7章)
4. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅲ (第7章)
5. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅳ (第7章)
6. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅴ (第7章)
7. インフレ・デフレと失業Ⅰ (第8章)
8. インフレ・デフレと失業Ⅱ (第8章)
9. インフレ・デフレと失業Ⅲ (第8章)
10. インフレ・デフレと失業Ⅳ (第8章)
11. 成長理論Ⅰ (第6章)
12. 成長理論Ⅱ (第6章)
13. 成長理論Ⅲ (第6章)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

数学の知識は特に必要としない。

試験60%、レポート40%で評価する。

岩田規久男、飯田泰之著、『ゼミナール経済政策入門』(2006)、日本経済新聞社、ISBN: 4-532-13310-6

参 考 書

ミクロ経済学：武隈慎一、(1999)、『ミクロ経済学』、新世社

マクロ経済学：N. グレゴリー・マンキュー、足立ほか訳、(2008)、『マンキューマクロ経済学Ⅰ 入門編』、東洋経済新報社

そ の 他

板書による講義形式である。

履修コード	058611
科目名	政治社会論
担当者名	岩瀬 庸理 <small>いわせ のぶだ</small>

講義の到達目標(ねらい) 政治社会学の基礎的概念と理論の習得を目標とします。テーマは現代日本の政治参加の特徴を比較社会的に論じることです。

講義の内容／授業スケジュール 社会学の理論と方法を用いて「市民社会」と「政治社会」との相互関係を理解し、説明する能力を獲得します。現代日本の政治社会の特徴を比較社会的に明らかにします。具体的な社会問題を取り上げながら、社会学的説明力の有効性を学び、また、参加行動の理解を深めます。

- 第1回 デモクラシーの社会的基盤
- 第2回 階層の非構造化と政治参加
- 第3回 官僚制と民主制
- 第4回 政党支持態度の形成
- 第5回 政治的社会化の機関
- 第6回 政党支持態度の変容
- 第7回 地位政治と階級政治
- 第8回 政治的無関心の社会的機能
- 第9回 投票行動の国際比較
- 第10回 あたらしい社会運動
- 第11回 大衆社会の権力構造
- 第12回 地域社会の権力構造
- 第13回 現代日本の権力構造
- 第14回 イデオロギーの機能
- 第15回 まとめ

準備学習 わからない用語などは社会学事典・辞典で調べておくことが大事です。

履修上の留意点 きちんとノートをとるように心がけてください。また、配布する資料は保存しておいてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題を中心に評価します(70%)。

教科書／テキスト 出席状況も評価します(30%)。

参 考 書 必要に応じてリアクションペーパーを使います。

特定の教科書は使用しません。

S.M. リブセット『政治のなかの人間』(創元新社)

講読文献は教室で適宜指示します。

社会

履修コード	058621
科目名	社会階層論
担当者名	吉田 崇 <small>よしだ たかし</small>

講義の到達目標(ねらい) かつて「一億総中流」とされた日本社会も、今日では社会のさまざまな領域において不平等の拡大が報告されており、「格差社会」とまで呼ばれている。本講義では、「社会階層論」の分析ツールを用いて、さまざまな社会・経済的不平等を読み解き、現代社会についての理解を深めていくことを目的とする。さらに、講義で取り上げるトピックに関する各種資料を批判的に読むことを通じて、論理的な思考法を身につけることを副次的な目的とする。

- 講義の内容／授業スケジュール
- 第1回 導入：日本は一億総中流だったのか？
 - 第2回 社会階層論の基礎概念 (1) 不平等の2側面
 - 第3回 社会階層論の基礎概念 (2) 階級・階層とは何か
 - 第4回 格差社会論 (1) 所得格差の拡大？
 - 第5回 格差社会論 (2) 階層の固定化？
 - 第6回 格差社会論 (3) まとめ
 - 第7回 教育と社会階層 (1) 教育機会の格差
 - 第8回 教育と社会階層 (2) 日本は「学歴社会」か？
 - 第9回 若年雇用問題 (1) フリーターとニート
 - 第10回 若年雇用問題 (2) フリーターとニート
 - 第11回 若年雇用問題 (3) フリーターとニート
 - 第12回 就業と格差 (1) 雇用の多様化
 - 第13回 就業と格差 (2) 女性の就業
 - 第14回 貧困と社会的排除
 - 第15回 格差社会の帰結

履修上の留意点 不定期にショートペーパー、小レポートを課す

成績評価の方法 レポート等40%、期末試験60%

教科書／テキスト 使用しない(適宜資料を配布する)

参 考 書 適宜紹介する

履修コード	058641
科目名	宗教文化論A
担当者名	芳賀 ^{はが まなぶ} 学

講義の到達目標(ねらい) この講義では宗教という人間社会にかなり普遍的な現象を取り上げ、それが、個人の精神的な支えとなり、社会の安定(および変化)に大きな役割を果たすことを社会的に概説する。具体的には、まず、セルフ・アイデンティティの維持(または変更)とのかかわりで宗教を捉える視角を提示し、その上で、日本社会の近代化プロセスを事例として、ライフスタイルや人びとの意識の変化と新宗教の拡大との関係を分析することによって、社会と宗教との密接な結びつきを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「宗教を理解する力」の養成と向上を目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1) イントロダクション(2~5) アイデンティティとその揺らぎ、認知的不協和の理論と不幸の神義論、アイデンティティの社会性、アイデンティティと宗教(6~10) 新宗教とは何か: 教団ライフサイクル説、思想、組織、信者、活動(11~15) 新宗教と近代化: 幕末維新期、代表的教団としての天理教、明治末から昭和初期、敗戦直後の状況、高度経済成長期、近代化の気密室としての新宗教

履修上の留意点 結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視野に収める複眼的視角を取るよう努めてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業期間内に提出を求めるミニレポートとの総合評定で行います。

教科書／テキスト
参 考 書

- ・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN: 9784480082732
- ・井上順孝ほか編『新宗教事典』弘文堂、25,200円、ISBN: 9784335160189

社会

履修コード	058651
科目名	宗教文化論B
担当者名	芳賀 ^{はが まなぶ} 学

講義の到達目標(ねらい) この講義においては、宗教という社会現象を取り上げ、それが現代の日本社会においてどのような変化・展開を遂げているかを社会的な観点から概説する。具体的には、1980年代以降の日本社会に時間空間を限定して、伝統宗教と新宗教をめぐる状況の変化(カルト問題を含む)と、宗教を名乗らない広範な精神文化(=グレーゾーン)の拡大、という両面の現象群を取り上げ、それらが私たちのライフスタイルや価値意識と密接に連動して存在することを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「現代社会と宗教とのかかわりを読み解く力」の養成と向上を目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1) イントロダクション(2) 教団勢力の退潮とグレーゾーンの拡大(3~4) 1980年代以降の新宗教: 「親密さ」と自己表出の欲求、3タイプに対応戦略(5~11) グレーゾーンの諸現象: 自己啓発セミナー、背景としての消費社会、セルフ・ヘルプ・グループ、ネットワーク・ビジネス、エステ・サロン、占い、ヒーリング(12~13) オウム真理教とカルト問題: オウム真理教事件の概略、マインドコントロール説再考(14~15) 現代日本人のライフスタイル: その変化と特徴、パラドクスとその対応

履修上の留意点 結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視野に収める複眼的視角を取るよう努めてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業期間内に提出を求める課題との総合評定で行います。

教科書／テキスト
参 考 書

- ・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN: 9784480082732
- ・伊藤雅之・榎尾直樹・弓山達也編『スピリチュアリティの社会学』世界思想社、1,995円、ISBN: 9784790710936

履修コード	058671
科目名	国際社会論
担当者名	山田 ^{やまだ} 信行 ^{のぶゆき}

講義の到達目標(ねらい) グローバル化のもとで、国際的な社会認識を高めることを目標にして、諸外国の社会事象や世界的な社会問題に言及する。

講義の内容／授業スケジュール この講義では、グローバル化という社会変動が周辺社会（発展途上地域）に与える影響について、多民族社会マレーシアを事例に設定し、世界システム論を理論ツールの1つとして用いながら考察する。さらに、そうした社会変動が世界全体に与える影響についても考察する。講義内容は、以下のとおり。それぞれの単元について、1～2回の講義をおこなう。

1. グローバル化とはなにか
2. 世界システムと周辺
2. 周辺社会マレーシア—歴史・現状・特質
3. 多国籍企業の戦略と周辺社会
4. 日本企業は何をしているのか
5. 情報化戦略の現状と意味
6. 国家の政策
- (1) 比較 NIEs 形成論 (2) エスニシティと「三者同盟」
7. 自生的企業とインフォーマル化
8. エスニシティとリンケージ形成—華人ネットワークと企業間関係
9. 移民労働者の両義性
10. 労使関係の動向と労働者の技能形成
11. ニュー・リッチの形成と階級構成の変化
12. 半周辺化とポスト新国際分業—世界システムの変動

準備学習 日ごろから、グローバルな問題について関心を持ち、そうした視野で思考する習慣をつけておくことが望ましい。

履修上の留意点 講義の理解を深めるためには、継続的に出席することが重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書／テキスト 山田信行 2006『世界システムの新世紀—グローバル化とマレーシア』東信堂

参考書 講義のなかで、適宜支持する。

その他 関連科目として、異文化コミュニケーション論がある（本年度休講）。

社会

履修コード	058711
科目名	犯罪と逸脱の社会学A
担当者名	岡邊 ^{おかべ} 健 ^{たけし}

講義の到達目標(ねらい) 最初に、「犯罪と逸脱の社会学」の基本的な考え方、方法等について概観し、つぎに、わが国の刑事司法のプロセスや官庁統計でみた犯罪動向を概説します。

その上で近年の研究動向をふまえて、ドメスティック・バイオレンス、貧困問題など、今日の逸脱・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討します。

犯罪を含む各種の社会問題について、ステレオタイプに陥ることなく、社会的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいです。

講義の内容／授業スケジュール (1) 逸脱の社会学とは何か (2～3) 逸脱の社会学の方法 (4～5) 官庁統計でみた犯罪の動向と現状 (6～8) 刑事司法のプロセス (9～14) 今日の逸脱・社会問題研究の論点 (15) まとめ

準備学習 新聞に目を通すことにより、現在問題になっている犯罪・逸脱現象や社会問題に関する知識を得ておくことは、有益な事前学習となります。また、教科書は比較的平易な文体で書かれているので、早めに関心のある章に目を通しておくことをおすすめします。

履修上の留意点 YeStudy（駒澤大学のeラーニングシステム）を利用します。詳細は、初回の講義で説明します。期末試験（5割）、講義内で提出を求める課題（5割）により評価します。詳細は、初回の講義で説明します。

教科書／テキスト 矢島正見他編『改訂版よくわかる犯罪社会学入門』（2009年刊、学陽書房、1995円、ISBN:9784313340183）

参考書 下記のほか、講義の中で随時紹介します。

デュルケーム（宮島喬訳）『自殺論』（訳1985年刊、中央公論社、980円、ISBN:4122012562）

小林寿一編『少年非行の行動科学—学際的アプローチと実践への応用』（2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047）

河合幹雄『日本の殺人』（2009年刊、筑摩書房、819円、ISBN:9784480064882）

湯浅誠『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』（2008年刊、岩波書店、777円、ISBN:9784004311249）

阿部彩『子どもの貧困—日本の不公平を考える』（2008年刊、岩波書店、819円、ISBN:9784004311577）

その他 後期に開講される「犯罪と逸脱の社会学B」もあわせて履修することをおすすめします。

履修コード	058721
科目名	犯罪と逸脱の社会学B
担当者名	岡邊 健

講義の到達目標(ねらい)	最初に、社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など、犯罪・非行の主要な説明理論を概説し、ついで、ラベリング論をはじめとする「犯罪研究における視点の転換」の態様について紹介します。その後、今日のがが国の犯罪動向を、犯罪報道の諸問題とあわせて検討した上で、少年非行言説、高齢者による犯罪など、今日の犯罪研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討します。
講義の内容／ 授業スケジュール	犯罪・非行問題について、ステレオタイプに陥ることなく、社会学的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいです。
準備学習	(1～6) 犯罪・非行の説明理論（社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など） (7～9) 犯罪研究における視点の転換（ラベリング論、ボンド理論など） (10～14) 今日の犯罪研究の論点（犯罪報道、少年非行言説、高齢者の犯罪など） (15) まとめ
履修上の留意点 成績評価の方法	新聞に目を通すことにより、現在問題になっている犯罪・逸脱現象や社会問題に関する知識を得ておくことは、有益な事前学習となります。また、教科書は比較的平易な文体で書かれているので、早めに関心のある章に目を通しておくことをおすすめします。
教科書／テキスト	YeStudy（駒澤大学のeラーニングシステム）を利用します。詳細は、初回の講義で説明します。期末試験（5割）、講義内で提出を求める課題（5割）により評価します。詳細は、初回の講義で説明します。
参 考 書	矢島正見他編『改訂版よくわかる犯罪社会学入門』（2009年刊、学陽書房、1995円、ISBN:9784313340183） 下記のほか、講義の中で随時紹介します。 河野義行ほか『報道は何を学んだのか——松本サリン事件以後のメディアと世論』（2004年刊、岩波書店、504円、ISBN:4000093363） 浜井浩一・芹沢一也『犯罪不安社会——誰もが「不審者」？』（2006年刊、光文社、777円、ISBN:4334033814） 鮎川潤『新版 少年非行の社会学』（2002年刊、世界思想社、1995円、ISBN:4790709442） 小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』（2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047） 日本犯罪社会学会編『犯罪からの社会復帰とソーシャル・インクルージョン』（2009年刊、現代人文社、2415円、ISBN:9784877984045）
そ の 他	前期に開講される「犯罪と逸脱の社会学A」もあわせて履修することをおすすめします。

履修コード	058741
科目名	災害社会学
担当者名	小嶋 直子

講義の到達目標(ねらい)	自然災害研究には、自然科学と社会科学の双方からのアプローチがあるが、本講義では社会学、社会心理学および都市科学を含めた社会科学的観点から講義する。地震、風水害といった自然災害に関する災害時の情報と人間行動、災害後の復興計画などの諸問題について概説する。
講義の内容／ 授業スケジュール	・オリエンテーション ・「災害社会学」概説 ・災害史（天災～都市災害）災害研究史 ・災害の持つ諸次元 ・災害文化と災害観 ・災害と大衆行動 ・災害と流言飛語 ・災害と報道 ・災害と地域特性 ・ボランティア ・災害の社会文化に対する長期的影響
準備学習 成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	過去の災害研究を踏まえ、災害に関わる様々なトピックを挙げながら講義を進める。また、近年の災害を事例として災害時における諸問題を明らかにする。必要に応じてビデオの使用や資料配布を行う。 身近な災害から世界中で起こっている災害に関心を持つ 出席率を含む平常点と定期試験により評価する 使用せず 授業中に指示する

履修コード	058751
科目名	環境社会学
担当者名	かみなが 唯 神長 唯

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

この講義は、環境社会学についての基本的な知識や考え方を習得することを目的とする。
日本における公害ならびに環境問題の発生を歴史的背景に沿って概観する。ガイダンス（1回）、環境問題の歴史（2回）、高度経済成長と四大公害（4回）、現代社会が抱えるさまざまな地域環境問題（4回）、地球環境問題（1回）、海外の環境問題と日本（2回）、まとめ（1回）

※現段階では以上の講義を想定しているが、受講生の要望も取り入れながら講義内容や取り上げる順序を一部変更することもある。なお、講義中に何回かビデオ鑑賞を予定している。

履修上の留意点

半期の講義ではどうしても環境社会学概論という形にならざるをえない。そのため、受講生には講義中に紹介する参考書等をはじめ関連書籍を積極的に手にとってもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席状況・小テスト：5割）と試験（あるいはレポート：5割）により総合的に評価する。ただし、授業中の私語、携帯電話の使用、飲食、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えない。

教科書/テキスト
参 考 書

教科書は特に指定しない（受講生は下記参考書を適宜参照のこと）

・飯島伸子『環境社会学のすすめ』丸善、1680円、978-4621073520

・飯島伸子『環境社会学』有斐閣、2205円、978-4641085305

・飯島伸子『環境問題の社会史』有斐閣、2310円、978-4641120976

・磯野弥生・除本理史編『地域と環境政策：環境再生と「持続可能な社会」をめざして』勁草書房、2835円、978-4326601981

※この他、参考文献を講義中に適宜、指示。

社会

履修コード	058861
科目名	社会学特殊講義D
担当者名	ふかさわ ひろき 深澤 弘樹

講義の到達目標(ねらい)

私たちは、新聞やテレビから伝えられる情報を通して現実を知ることができるが、その「現実」とは情報の送り手の意図によって切り取られた「社会的現実」であることを忘れてはならない。本講義では、新聞記事やニュース番組を社会的構築物ととらえて、それらの形成プロセスやメッセージの内容について考察することで日々の報道内容を読み解く力を養うことを目的とする。具体的には、ニュースの定義、生産過程、ジャーナリズム機能のほか、人々をニュースへと導くキャスターの意識にも踏み込みながら、マス・メディアによる社会的現実の構築作用について考えていく。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回：ガイダンス、第2回：ニュースとは何か、第3回：客観報道とニュースの物語 第4～5回：ニュースの構造とニュースバリュー、第6～7回：テレビニュースの変遷と娯楽化、第8～9回：ニュースキャスター、アナウンサー論、第10～11回：世論とは何か、第12～13回：ナショナリズムとマス・メディア、第14回：ニュースの今後、第15回：まとめ

準備学習

日常の新聞記事やテレビニュースを例として講義を進めるので、日々の時事的なトピックスを常にチェックした上で授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

学期末試験（7割）のほか、出席や授業での小テストなどの平常点（3割）を加味して総合的に評価する。

教科書/テキスト
参 考 書

特に使用しない。

授業中に随時、指示するが、基本的な参考書として以下の文献を挙げておく。

大石裕・岩田温・藤田真文著『現代ニュース論』有斐閣、1800円、ISBN4-641-12109-5

履修コード	058881
科目名	現代社会学理論研究
担当者名	岩瀬 ^{いわせ} 庸理 ^{のぶり}

講義の到達目標(ねらい) 社会学理論は社会学が社会を説明する基本的概念の体系です。それは、単独の個人の行動の説明でなく、社会現象を説明しようとするものです。また、それは社会学史とは異なります。連字符社会学の個別経験命題の集合でもありません。それは、社会的行為および社会構造の原理と変動を説明するための方法、枠組、仮説、命題、思想などを含む体系化された社会学的知識の総体です。その基本的テーマは「個人と社会」の関係の解明および「近代社会の特徴」の解明です。本講義では、「社会学的に考え、理解し、説明するとはどういうことなのか」を強調します。理論を「学ぶ」のではなく、「応用し、発展させる」ための考え方の獲得を目指します。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 理論と実証：①理念型 ②中範囲の理論 (1～2)
- (2) 社会的行為の理論：①主意主義的行為理論 ②象徴的相互作用論 ③現象学的社会学理論 ④合理的選択理論 (3～7)
- (3) 社会構造の理論：①構造機能主義理論 ②社会構成体論 ③社会システム論 (8～11)
- (4) 社会変動の理論：①近代化論 ②ワールドシステム論 (12～13)
- (5) 現代社会学理論の潮流 (14～15)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

社会学の基礎概念をきちんと身につけるために社会学事典・辞典を活用すること。
ノートをきちんととってください。また、配布する資料は保存しておいてください。
学期末試験と授業内に提出を求める課題を基本に評価します(70%)。出席状況も評価します(30%)。

教科書/テキスト
参考書
その他

特定の教科書は使用しません。
参考書や講読文献は教室で適宜指示します。
必要に応じてリアクション・ペーパーを求めます。

社会

履修コード	060001
科目名	社会学原論
担当者名	橋爪 ^{はしづめ} 敏 ^{とし}

講義の到達目標(ねらい) 本講義の対象は社会学科の2・3・4年生、ならびに「中学校社会科、高等学校地・歴史科、公民科」にかかわる教職科目の受講者である。したがって、「社会学」とは何か、いかなる学問かにはじまり、さらに「中学校社会科、高等学校地・歴史科、公民科」の基礎をなす学問としての、<社会科学>としての「社会学」>とは何かにかかわる問題を取り上げたい。

講義の内容/
授業スケジュール

いずれにせよ、社会学的なモノの見方、考え方を理解し、それを踏まえて、社会現象を理解し、説明する<社会科学>についての認識を深めたい。
前期1)～8)社会科学とは何か、社会科学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。後期は16)～20)フランスにおける現代社会学への歩み21)～25)ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にした。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

学年末の定期試験で評価する。
安藤喜久雄ほか著『社会学概論』学文社
適宜指示する。

履修コード	075001
科目名	宗教学
担当者名	佐藤 憲昭

講義の到達目標(わらい)

宗教学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土各地の行者、祈祷師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や仏僧の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼(彼女)らは、神霊をみずからの身体に憑入(ひょうにゅう)させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝えるなどの役割を担う。

こうした生き神を中心とする宗教形態(=シャーマニズム)は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係に注目して考察してみたい。

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～2回 宗教学の学問的特徴、第3～4回 フィールドワーク、第5～7回 宗教文化の基盤、第8～10回 宗教的職能者、第11～13回 宗教と呪術と巫術、第14～16回 生き神信仰の諸相と研究史、第17～21回 神人交流の諸相、第22～26回 生き神信仰と仏教現象、第27～29回 寺院とシャーマニズムとの互恵性、第30回 総括。

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

学年末のリポート(2400字～2800字)で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。最終評価に際しては出席状況を考慮する。なお、追試験は実施する。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/テキスト
参 考 書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社(学術文庫)
授業中に適宜紹介する。

社会

履修コード	085702
科目名	教育社会学
担当者名	伊藤 茂樹

講義の到達目標(わらい)

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたうえで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

(1～5) 教育社会学の対象と方法、(6～9) 学校の歴史と機能、(10～13) 教育制度の類型と発展、(14～17) 学校における相互作用、(18～22) 情報化社会と子ども、(23～30) 現代の教育問題と教育改革

授業への積極的な参加を求める。

課題とレポートにより評価する。

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/テキスト

專 門 教 育 科 目

(6) 社 会 学 科

社 会 福 祉 学 專 攻

社福

履修コード	062801
科目名	社会福祉原論
担当者名	伊藤 秀一

講義の到達目標(ねらい) 社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

講義の内容/
授業スケジュール

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

〔前期〕

第1回：ガイダンス、第2～4回：社会福祉の理念と概念、第5～10回：社会福祉制度の発展過程（イギリス及び日本）、第11～13回：社会福祉のしくみ、第14・15回：学生による意見発表会とまとめ

〔後期〕

第1・2回：福祉政策におけるニーズと資源、第3～10回：福祉政策の課題（視聴覚機材による各分野の動向把握を含む）、第11・12回：福祉政策の構成要素、第13・14回：福祉政策と関連政策及び相談援助活動、第15回：総括

準備学習

授業の最後に、次回の講義で取り上げるテーマ及びテキストでの該当箇所を指定するので、事前に目配りしておく。できれば疑問点や質問事項を用意されたい。

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法

評価は、前期・年度末の定期試験と出席状況を勘案して行う。

教科書/テキスト

塩野・福田編著『現代社会と福祉（社会福祉士シリーズ4）』弘文堂、2009年、2500円＋税

参考書

随時紹介する。

その他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

社福

履修コード	062901
科目名	法学（福祉）
担当者名	鶏徳 啓登

講義の到達目標(ねらい) 日本の社会は高齢化現象が進行中である。高齢者層の増加および平均寿命の上昇というこの現象は、善きにつけ悪きにつけ高齢者の日常生活にもさまざまな影響を与えている。このような高齢化社会において、憲法が規定している「生存権」の一内容である「社会福祉」にしばって、法制度面から検討し、「社会福祉行政」の各種の法令の意義内容を理解することを目標とする（小林弘人著「高齢化社会における社会福祉の法」はしがきより）。

講義の内容/
授業スケジュール

社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明する。

1回～3回：社会生活における法の作用や役割についての解説。

4回～6回：憲法、民法および行政法の基礎的知識を深める。

7回～15回：日本国憲法について、とくに基本的人権を中心にした解説である。

16回～20回：民法における基礎的概念の説明が中心となる。

21回～30回：行政法の原理および各領域における基本的概念の解説を行う。

成績評価の方法

出席状況と試験を勘案して、評価する。

教科書/テキスト

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』創成社刊（2400円）を使用する。
ISBN4-7944-4050-2

参考書

授業時間中に適宜指示する。

履修コード	063001・063101・063201
科目名	情報処理論
担当者名	かるべ ゆきひろ 軽部 幸浩

講義の到達目標(ねらい)

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは、知的作業をおこなう上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するためのコンピュータ利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会福祉学のレポート等を作成することができる能力を培う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。

講義の内容／
授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

【前期】

- [1] 情報処理の基礎
- [2] Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- [3] 電子のコミュニケーション (電子メールの利用法)
- [4] タッチタイピングの完全習得 (Type Quick を利用して)
- [5] 情報の検索 (WWW の利用法)
- [6~12] 大学生として必要なドキュメント処理能力の習得 (MS-Word)
- [13~15] プレゼンテーションの実際 (プレゼンテーションの基礎技術)

【後期】

- [1] 大学生として必要なドキュメント処理能力の習得 (MS-Word)
- [2~15] スプレッドシートの習得 (MS-Excelによる集計、グラフ、データベース)

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20回数程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2~3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度授業アンケートの結果では、週平均約3時間程度の実習をおこなっていたようである)。

また、Type Quick, MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint, SPSSの習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

教科書／テキスト

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してくること。

参 考 書
そ の 他

授業中に最新ものを指示する。

年間20回数程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回(1回2時間程度)の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

【授業Web】(<http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>, <http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>)

【e-Learning】(<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>, <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>)

社福

履修コード	063301
科目名	社会福祉援助技術総論
担当者名	荒井 浩道

講義の到達目標(ねらい) ① 社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解する。
 ② 精神保健福祉士の役割と意義について理解する。
 ③ 相談援助の概念と範囲について理解する。
 ④ 相談援助の理念について理解する。
 ⑤ 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。
 ⑥ 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。
 ⑦ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 【前期】
- ・オリエンテーション [第01回]
 - ・社会福祉士の役割と意義 [第02回～第03回]
 - ・相談援助の定義と構成要素 [第04回～第05回]
 - ・相談援助の形成過程 I [第06回～第07回]
 - ・相談援助の形成過程 II [第08回～第09回]
 - ・相談援助の理念 I [第10回～第12回]
 - ・相談援助の理念 II [第13回～第15回]
- 【後期】
- ・専門職倫理と倫理的ジレンマ [第16回～第17回]
 - ・総合的かつ包括的な援助の全体像 [第18回～第19回]
 - ・総合的かつ包括的な援助を支える理論 I [第20回～第22回]
 - ・総合的かつ包括的な援助を支える理論 II [第23回～第25回]
 - ・相談援助にかかる専門職の概念と範囲 [第26回～第27回]
 - ・総合的かつ包括的な援助における専門的機能 [第28回～第29回]
 - ・まとめ [第30回]

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業への主体的参加を期待します。
 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
 福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職（新・社会福祉士養成講座第5巻）』（中央法規出版）

参 考 書

授業のなかで随時指示します。

社福

履修コード	068801
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	佐藤 光正

講義の到達目標(ねらい) 社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。
 3年次の「社会福祉専門演習」にスムーズに移行できるよう、広く福祉関連を学び、その中で自分が今後深めたい「関心テーマ」を見つけ出せるよう、また学んだことを論文としてまとめるにあたっての準備を行う。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) オリエンテーション
- (2)～(14) ビデオ教材を通して“感じる（反応する）自分というツール”を磨く演習
 ＊ビデオの内容のマッピング ＊学びや気づきのアウトプットメモ
- (15) 個別面接
- (16)～(25) 福祉領域の論文についての理解を深める演習
 ＊事実と意見 ＊論文のノウハウ ＊先輩たちの卒論
- (26)～(29) 自分の意見を発表する演習
 ＊グループディスカッション ＊プレゼンテーション
- (30) 個別面接

履修上の留意点
成績評価の方法

より効果的に演習を行うために、授業内でいくつかの約束事をする。
 出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。

教科書/テキスト

特に指定しない。
 必要に応じて随時紹介する。

参 考 書
関 連 リ ン ク

<http://www.mhlw.go.jp/>

履修コード	068901
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	東條 光雅 <small>とうじょう みつまさ</small>

講義の到達目標(ねらい)	本演習は、専門演習へ入る前の導入的位置付けであり、資料収集の仕方、資料のまとめ方、分析の仕方、発表の仕方等を実際に体験しながら体得してもらう。
講義の内容／ 授業スケジュール	履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。 こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。
履修上の留意点	出席は勿論、演習であるから自主的・主体的・積極的な参加を重視する。 研究報告会では、エクセルやパワーポイントを使うことになるので、1年次の「情報処理論」の授業でしっかりと会得しておくこと。
成績評価の方法	評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、年2回の研究報告会の発表内容等により、総合的に行なう。
教科書／テキスト 参 考 書	特には指定しない。 適宜紹介する。

社福

履修コード	069001
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>

講義の到達目標(ねらい)	本演習は、社会福祉学専攻2年生が、3年次以降の専門演習で行う研究の前段階として位置づけられる科目であり、社会福祉領域の様々なテーマを研究していくための入門的、基礎的学習を中心とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	学生のテーマ、関心に応じて、クラスをいくつかのグループに分け、それぞれ報告し、討論を行ったり、個別報告を行う。その過程において、プレゼンテーションやディスカッションの指導も含め、資料・文献の収集方法、先行研究論文等のレビューの仕方など、研究を進めていくうえで必要となる一連の予備的作業を体験的に学んでいく。 〔前期〕第1回：ガイダンス、第2～9回：資料・文献等の収集方法、研究テーマの選定・設定、レジメの書き方、プレゼンテーションなど研究を進めていく上で必要となる基礎的事項の学習、第10から15回：グループ報告 〔後期〕第1～13回：夏休み期間の課題をもとに提出されたレポートに即して個別報告とグループでのディスカッション、第14・15回：反省会と総括
準 備 学 習	授業時に、次回用いるプリント等が配布される場合には、必ず日を通し、不明な点等を調べたり、質問をまとめておく。
履修上の留意点	3・4年次に作成する卒業論文を念頭に置いた学習であることを強く意識して受講されたい。
成績評価の方法	出席、授業態度、報告のあり方などを踏まえて総合的に評価する。
教科書／テキスト 参 考 書	配布プリント等を用いて行う。 授業時に指示する。

履修コード	069101
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	桐原 宏行

講義の到達目標(ねらい) この演習は、社会福祉学専攻の学生が研究を行っていく上で必要不可欠となる基礎的知識・技術の獲得及び問題意識の形成をはかることを目的とするものである。

講義の内容/
授業スケジュール

〔前期〕
文献検索の方法をはじめとした資料収集方法(1～2回目)、資料の読み方(3回目)、研究論文の構成(4回目)、プレゼンテーションに関する基礎的事項(5回目)、代表的研究方法(文献研究、調査研究、事例研究等)等への理解を深めていく。可能であれば、基礎レベルのデータ処理等の演習も行う(6～7回目)、前期プレゼンテーション(8～15回目)。

〔後期〕
前期に学習した知識・技術を踏まえて、各自が研究課題を設定し、レジメを作成する。個別にプレゼンテーションを行いつつ、議論していく(1～15回目)。

履修上の留意点

本演習での取り組みは、後の専門演習、卒業論文へのステップに多大な影響を持つものである。積極的に取り組むことはもちろんのことであるが、学習事項を確実に成果に結びつけることが重要である。

なお、演習ではパワーポイントを使用したプレゼンテーションを実施するため、各自がその作成と操作ができることが必要となる。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

出席状況(40%)、前期・後期2回のプレゼンテーション(60%)により評価する。
特に指定しない。
演習の中で随時紹介する。

社 福

履修コード	069501
科目名	社会福祉専門演習 I
担当者名	伊藤 秀一

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文で扱いたいテーマを選定する際の留意事項を学習するとともに、報告・討論をとおして各自の問題意識の深化を図ることを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究を進めることとしたい。前期は、討議のための共通基盤をつくっていくために適当なテキスト・文献を使用し、これを共同で解説する。その後、後期において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。

準 備 学 習

授業時に、次回討議するためのプリントやレジメが配布される場合には必ず目を通し、疑問点、意見、質問等をまとめておく。

履修上の留意点

ゼミを「出る杭を育てる」という方針で考えたいので、学生には主体的・積極的な学習への取り組みが要求される。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方をもとに総合的に評価する。
授業開始時にゼミ生と協議して決定する。
随時紹介する。
3・4年生合同のゼミ合宿を年2回(夏と春)実施する。

履修コード	069601
科目名	社会福祉専門演習 I
担当者名	東條 光雅

講義の到達目標(ねらい) 本演習では、福祉関連雑誌、新聞記事、インターネット等を活用しながら、高齢者保健福祉の制度・サービス・処遇に関する基礎的な知識の修得を目指す一方、研究報告会や集団討議等を通して、自己表現能力を磨いてもらう。

講義の内容/
授業スケジュール

高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方等を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。

履修上の留意点

なお、12月10日までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。
出席ならびに積極的なコミットメントを重視する。なお、年2回(9月と3月頃)の合宿研修を実施している。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

教科書/テキスト
参 考 書

特には指定しない。
適宜紹介する。

履修コード	069701
科目名	社会福祉専門演習Ⅰ
担当者名	佐藤 光正

講義の到達目標(ねらい)	この演習では、学生それぞれの卒論“関心テーマ”が“研究テーマ”へと進化し、いくつかのプロセス(ゆれ)を経て、次年度に「卒業論文(成果)」としてまとまる一連の思考過程(考え方)と技術習得(問題解決法)のための基礎指導を中心に行う。 最終的には絞り込んだ各自のテーマを論文形式でA4用紙10枚程度に仕上げるのが目標。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期は、各自の関心領域からテーマを絞り込むための各演習および論文作成の基礎(1)を演習する。後期は、各自のテーマを深めるために必要な演習および論文作成の基礎(2)を行う。中間報告、ゼミ合宿(9月と3月を予定)では各自の成果のプレゼンテーションを行う。 (1)オリエンテーション (2)～(4)各自の卒論関心テーマ報告 (5)～(14)関心から卒論テーマへの絞り込み方・論文作成の基礎(1) (15)中間報告会 (16)～(30)卒論テーマの深め方・論文作成の基礎(2)
履修上の留意点	個別の指導と平行してグループでのディスカッションを中心にゼミを展開するため、主体的な参加が必須である。また各自の卒論関心テーマへの熱い思いと地道な作業を軸に、教員や文献等を有効に活用してほしい。
成績評価の方法	授業での平常点(出席状況、授業態度、課題提出状況)もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で“ほう(報告)れん(連絡)そう(相談)”をしながら卒論作成の準備が行われたか、またゼミ運営への貢献度も合わせて評価する。
教科書/テキスト 参 考 書	特に指定しない。 必要に応じて随時紹介する。

社 福

履修コード	069801
科目名	社会福祉専門演習Ⅰ
担当者名	桐原 宏行

講義の到達目標(ねらい)	卒業論文を作成するために必要とされる基礎的事項(文献研究、調査研究、事例研究、実験研究等の研究方法)の習得を目指す。演習では各自が研究課題を決定し、年間研究スケジュールを設定して、それに沿って成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。
講義の内容/ 授業スケジュール	演習では、障害者及び特別なニーズのある子どもの福祉(子どもの発達保障の問題も含む)に関する諸問題を中心に取扱いしていく。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「所得保障」「QOL」「家族支援」「地域支援」「バリアフリー」「福祉教育」などの問題の中から、各自が研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。 具体的スケジュールは、前期が文献の探し方・読み方(1～2回目)、論文構成について(3～4回目)、課題の作成とプレゼンテーション(5～15回目)。後期が研究内容のプレゼンテーション(1～15回目)
成績評価の方法 参 考 書	出席状況(50%)、レポートの作成と年間数回のプレゼンテーション(50%)により評価する。 『社会福祉研究の課題と方法』(田研出版)2,200円

履修コード	069901
科目名	社会福祉専門演習Ⅰ
担当者名	長尾 護治 <small>ながお じょうじ</small>

講義の到達目標(ねらい) この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題の検討を通して客観的な思考方法とコミュニケーション能力、わかりやすい文章の書き方を身につけていく。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマを一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を反映させながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と作業への主体的参加が何より求められる。

講義の内容／授業スケジュール ①オリエンテーション(1回目)②ディベート(2～10回目)③週間福祉ニュース(11～15回目)④就職面接ロールプレイ(16～18回目)⑤先輩からの就職活動体験談(19～20回目)⑥履歴書・小論文添削指導(21～25回目)⑦ゼミ論個別面談(26～30回目)

履修上の留意点 本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

成績評価の方法 毎回の授業への参加が前提となる(出席点が基本。※配属実習中は公欠扱い)。出席点に、作業への参加状況とゼミ論の内容を加味して評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。必要な資料を随時配布する。
参 考 書 必要な図書等を随時紹介する。

社福

履修コード	070001
科目名	社会福祉専門演習Ⅰ
担当者名	川上 富雄 <small>かわかみ とみお</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業では社会福祉研究を実施していくうえで求められる、研究テーマの選定、研究計画の立案、文献研究、調査研究、実践研究、研究計画書作成等の一連の研究手法の習得を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。

講義の内容／授業スケジュール この授業では、各自の研究テーマの選定から、研究計画書作成まで指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して問題関心を深めていきます[通年]。年度末に提出を求める研究計画書作成を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。

履修上の留意点 また、ゼミ合宿において、研究の途中経過の報告を行います。

成績評価の方法 授業への主体的参加を期待します。

教科書／テキスト 出席、プレゼンテーション、ディスカッション、研究計画書等により総合的に評価します。

参 考 書 特に指定しません。必要に応じてプリントを配布します。

そ の 他 授業のなかで随時指示します。

3、4年生合同のゼミ合宿を実施します。

履修コード	070011
科目名	社会福祉専門演習Ⅰ
担当者名	荒井 浩道 <small>あらい ひろみち</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業では、研究テーマの選定、研究計画の立案、研究計画書作成等の一連の研究手法の習得を目指し、次年度の卒業論文に繋げます。

講義の内容／授業スケジュール この授業では、研究テーマの選定から、研究計画書作成まで指導します。各自の研究計画に沿って、プレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して問題関心を深めていきます[通年]。またゼミ合宿[夏季、冬季]において、研究成果を発表します。

履修上の留意点 授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法 出席、プレゼンテーション、ディスカッション、研究計画書等により総合的に評価します。

教科書／テキスト 特に指定しません。

参 考 書 授業のなかで随時指示します。

履修コード	061911
科目名	社会福祉専門演習Ⅱ
担当者名	荒井 浩道

講義の到達目標(ねらい) この授業では、研究計画書に基づいた卒業論文の作成を目指します。

講義の内容／授業スケジュール この授業では、研究計画書に基づいた卒業論文の作成を指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して、卒業論文の作成を目指します【通年】。またゼミ合宿【夏季】、卒業論文発表会【12月】を実施し、研究成果を発表します。

履修上の留意点 授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法 出席、プレゼンテーション、ディスカッション、卒業論文等により総合的に評価します。

教科書／テキスト 特に指定しません。

参考書 授業のなかで随時指示します。

履修コード	070101
科目名	社会福祉専門演習Ⅱ
担当者名	東條 光雅

社福

講義の到達目標(ねらい) 本演習は、3年次の社会福祉専門演習Ⅰの持ち上がりであり、“講義のねらい”に関しては、専門演習Ⅰの内容の延長上にある。

講義の内容／授業スケジュール 必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらおう。

履修上の留意点 原則的に、出席状況と積極性を重視する。

成績評価の方法 評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に行なう。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 必要に応じて紹介する。

履修コード	070201
科目名	社会福祉専門演習Ⅱ
担当者名	川上 富雄

講義の到達目標(ねらい) 「地域ケアシステム構築と地域を基盤としたソーシャルワーク」「社会的な援助が必要な人々への社会福祉・ソーシャルワークの役割」をゼミ共通の問題意識としながら、分野論や制度論にこだわらず、横断的・俯瞰的(ふかんてき)・隙間的(すきまてき)視点で各自テーマを見つけ、それへの支援のあり方やシステムを発送豊にかつ利用者・住民の立場で考察し、報告と討議を通して問題意識を深め、卒業論文の作成に結びつけていきます。

講義の内容／授業スケジュール ノーマライゼーション、ICF、地域自立生活支援、権利擁護、社会福祉協議会、NPO、民生委員・児童委員、地域ケアシステム、地域福祉計画、セルフヘルプグループ(当事者組織)、住民参加・住民福祉活動、ボランティア活動、施設の社会化、福祉情報、地域福祉援助技術(コミュニティ・ソーシャルワーク)、地域包括支援センター、といったキーワードに関連づけながら広範な社会問題に関心を向けてテーマ設定を行い、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深め、卒業論文の作成に取り組みます。

履修上の留意点 また、ゼミ合宿において、研究の途中経過の報告を行います。

成績評価の方法 授業への主体的参加を期待します。

教科書／テキスト 出席、プレゼンテーション、ディスカッション、研究計画の進捗等により総合的に評価します。

参考書 特に指定しません。必要に応じてプリントを配布します。

授業のなかで随時指示します。

履修コード	070301
科目名	社会福祉専門演習Ⅱ
担当者名	佐藤 光正

講義の到達目標(ねらい) 必修科目である卒業論文の個別指導が中心となる。「社会福祉専門演習Ⅰ」で土台を固めた各自のテーマが、卒業論文としてより完成するよう、またその過程で良質ないろいろな気づきやスキル習得ができるよう必要な指導を行う。

講義の内容／授業スケジュール 前期・後期ともに各自の卒論進行状況に合わせた個別指導を中心に行う。また全体での卒論中間報告会(随時)、提出後の発表、ゼミ合宿(予定)などを行う。

履修上の留意点 各自の卒論関心テーマへの熱い思いと地道な作業を軸に、教員や文献等を有効に活用してほしい。卒業論文自体の出来もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で“ほう(報告)れん(連絡)そう(相談)”をしながら卒論作成が行われたか、またゼミ運営への貢献度も合わせて評価する。

成績評価の方法 特に指定しない。

教科書／テキスト 各自の研究テーマに合わせて随時紹介する。

参考書

社福

履修コード	070401
科目名	社会福祉専門演習Ⅱ
担当者名	伊藤 秀一

講義の到達目標(ねらい) 3年次の専門演習Ⅰの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、報告と討論をとおして卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容／授業スケジュール 各自のテーマにそった報告をもとに、ゼミメンバー間での討議をとおして考察を深めていく。なお、全員参加を前提とする年2回のゼミ合宿においても卒業論文作成のための集団討議および個別指導を行う。

準備学習 報告と討論を主体とした授業となるため、先行研究論文の読解やプレゼンテーションのあり方に留意して準備されたい。

履修上の留意点 授業への積極的・主体的参加が要請される。

成績評価の方法 出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方をもとに総合的に評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 個々のゼミ生に応じ随時紹介する。

履修コード	070501
科目名	社会福祉専門演習Ⅱ
担当者名	長尾 譲治

講義の到達目標(ねらい) この演習は、専門演習Ⅰに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が設定した卒業論文のテーマに沿って、個別指導を行う。同時に、福祉士の国家試験合格を目指した徹底指導を並行して行っていく。4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力(発言力)をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

講義の内容／授業スケジュール ①オリエンテーション(1回目)②個別面談&国試対策講座(同時並行)(2~27回目)③卒業論文発表会(28~30回目)

履修上の留意点 本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで構成される。仲間関係を有効に生かし、積極的かつ協力的に参加してほしい。

成績評価の方法 毎回の授業への参加が評価の前提となる(出席点が基本。※配属実習中は公欠扱い)。出席点に、作業への参加状況を加味して評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。必要な資料を随時配布する。

参考書 必要な図書等を随時紹介する。

履修コード	070601
科目名	社会福祉専門演習Ⅱ
担当者名	桐原 宏行

講義の到達目標(ねらい) この演習では、前年度の「社会福祉専門演習Ⅰ」での各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。
 具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。
 卒業論文作成のための個別指導、及び研究内容のプレゼンテーション（前期・後期ともに1～15回目）。

講義の内容／授業スケジュール
 成績評価の方法
 参 考 書
 研究への取り組み状況、研究進行過程での数回のプレゼンテーションを総合して評価する。
 研究の進行に応じて、随時指示する。

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	鶏徳 啓登

講義の到達目標(ねらい) 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。
 本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

1回～3回 行政法の意義について（法令の種別と法の解釈を含む）。
 4回～6回 行政作用と行政行為について。
 7回～15回 行政行為（特許や許可等）の意義、内容、効力について。
 16回～20回 行政上の強制手段と行政上の処罰について。
 21回～25回 国家による賠償と補償について。
 26回～30回 行政上の不服申し立てと行政事件訴訟について。

成績評価の方法
 教科書／テキスト
 参 考 書
 成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。
 原田尚彦著『行政法要論』（学陽書房） 3,000円 :ISBN4-313-31222-6
 『小六法』 出版社・定価各種
 塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）4,000円 その他、教場にて説明。

社福

履修コード	058551
科目名	民法
担当者名	おおみや たかし 大宮 隆

講義の到達目標(ねらい) 民法は、我々の日常生活の基本法として、財産と家族に関する事項を規律する法律である。
 本講義は編別でいうと親族、相続が対象である。
 出生、婚姻、離婚、扶養、相続という家庭生活の中で人の一生に生起するほとんどの事柄に係わる身近な法律である。
 家庭裁判所調査官補試験などを目指す人に受講を勧めます。

講義の内容／授業スケジュール
 親族—①婚姻、離婚
 ②親子
 ③親権、後見補佐補助
 ④扶養
 相続—①遺言
 ②法定相続
 ③遺留分

準備学習
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書／テキスト
 参 考 書
 予習が必要である。
 教科書、条文を読むこと。
 出席状況と試験の成績を総合に評価を行う。
 『新民法概説（3）親族・相続』（有斐閣）1,800円
 ISBN4-641-11265-7
 適宜紹介する。

履修コード	063421
科目名	権利擁護と成年後見制度
担当者名	千木良 正

講義の到達目標(ねらい) 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、社会福祉士の相談援助活動に必要な法制度や権利擁護活動について具体的に学習していきます。

- (1) 相談援助活動と法制度との関わりについての理解
 - ・ 日本国憲法の基本原理、民法・行政法
 - ・ 成年後見制度の実際と後見人等の役割
- (2) 福祉分野における権利擁護活動の実際についての理解
 - ・ 社会的排除や虐待などの人権侵害と権利擁護活動
 - ・ 認知症等の日常生活支援が必要な人への権利擁護活動

講義の内容/
授業スケジュール

(1～4) 相談援助活動と法 (5～9) 成年後見制度 (10) 日常生活自立支援事業、(11～15) 権利擁護活動の実際(高齢者虐待、障害者虐待、介護事故等。授業スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もあります)

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
講師が作成したレジュメを使用して説明します。
参考書は必須ではありませんし、持っていないなくても構いません。
①大貫正男他編集「権利擁護と成年後見制度」(中央法規出版・新・社会福祉士養成講座第19巻)(国家試験の受験を考えている人は自習用に持っているとう便利でしょう)
②日本社会福祉士会編「権利擁護と成年後見実践—社会福祉士のための成年後見入門」(民事法研究会)(成年後見制度の具体的な実践活動に興味のある人にとって、具体的なイメージを深めるための参考になります。なお、講師自身も執筆者の一人として参加しています。)

社福

履修コード	063441
科目名	司法福祉論
担当者名	千木良 正

講義の到達目標(ねらい) 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、更生保護制度をはじめとした司法福祉分野の実際について学習していきます。

- (1) 更生保護制度と医療観察制度の実際
 - ・ 制度の概要、制度の担い手、関係機関・団体との連携
 - ・ 近年の動向と課題
- (2) 刑事司法・少年司法その他の司法福祉分野の実際
 - ・ 司法福祉の組織・団体・専門職と他機関との連携
 - ・ 司法福祉の取り組みの実例

講義の内容/
授業スケジュール

(1～2) 刑事司法・少年司法の流れ (3～10) 更生保護制度の概要、更生保護制度の担い手、関係機関・団体との連携、近年の動向と課題、出所者支援についての具体例 (11～12) 医療観察制度の概要 (13～15) 更生保護以外の司法福祉論(子ども、夫婦、親子、家族、高齢者等に関する司法と福祉の関係性など。)(授業スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もあります)

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
講師作成の資料を使用します。
必須ではありませんが、社会福祉士受験を考えている人は、自習用に持っているとう便利でしょう。なお、講師作成の資料(レジュメ)は、この参考書に準拠しています。
①金平輝子他編「更生保護制度」(中央法規出版・新社会福祉士養成講座第20巻)

履修コード	063461
科目名	社会調査の基礎
担当者名	東條 光雅

講義の到達目標(ねらい) この授業では、社会調査を理解してもらうために、基本的事項、質的・量的調査法、基本統計や統計分析法に関して講義する。

講義の内容／授業スケジュール 社会調査の意義・目的、質的調査法、量的調査法、調査法の種類、調査の手順、調査票の作り方、サンプリング法、基本統計、統計分析法、社会調査における倫理・個人情報保護、ITの活用方法等について論じていく。

履修上の留意点 この授業は、内容的に積み上げてゆくので、出席を最重視する。また、時間がゆるせば実際に調査票を作成してもらい、実査も併行して行い、調査報告書の作成まで目指したい。

成績評価の方法 原則的には、出席点と定期試験によって評価する。

教科書／テキスト 『社会調査の基礎』、新社会福祉士養成講座第5巻、中央法規出版

参 考 書 適宜紹介する。

そ の 他 講義はパワーポイントを使って行う予定

履修コード	063481
科目名	精神医学(福祉)
担当者名	浅野 誠

社 福

講義の到達目標(ねらい) 精神医療が対象とする疾病は決して少なくない。しかし、ICDとかDSMといった国際標準の診断分類が使用されるようになってから、診断が細部に厳密になり、細分化し網羅的となり、むしろ、初心者には疾病のイメージがつかみづらくなっている。本授業において、基本的疾病について、イメージできる力を身につけ、疾病に遭遇したときに適切な対応ができるようになることを学習の目的とする。

講義の内容／授業スケジュール

- 1 精神の疾病について総論
生物学的説明(脳科学的な説明)
- 2 精神症状について
- 3 疾病各論
統合失調症について
感情病について(躁うつ病)
神経症(パニック障害、強迫性障害、解離性障害など)について
薬物性精神病(アルコール、覚せい剤など)について
認知症について
その他(脳炎 梅毒 エイズなどによる)精神の疾病について
- 4 精神科の治療について
薬物療法について
精神分析療法について
認知行動療法について
作業療法について
- 5 人はなぜ精神を病むのか(文明論的歴史論的な考察)
毎回資料を渡しますので、あらかじめ読んで授業に望んでください
脳神経の構造についてある程度把握しておくこと
学期末試験(6割)と授業内で提出を求める課題(2割)および出席状況で評価します。
「精神医学ハンドブック」 山下格 著、日本評論社
「海馬」池谷裕二 糸井重里 著 朝日出版
「もやしもん」 石川雅之 著
「モンスター」浦沢直樹 著
「デトロイトメタルシティ」 若杉公徳 著
芥川龍之介全集

準 備 学 習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	063401
科目名	社会福祉援助技術各論ⅠA
担当者名	荒井 浩道

講義の到達目標(ねらい) 1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。
2. 相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。

講義の内容/
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 人と環境の交互作用 (システム理論)
3. 相談援助の対象 (相談援助の対象の概念と範囲)
4. 様々な実践モデルとアプローチ① (治療モデル)
5. 様々な実践モデルとアプローチ② (生活モデル)
6. 様々な実践モデルとアプローチ③ (ストレングスマデル)
7. 様々な実践モデルとアプローチ④ (問題解決アプローチ)
8. 様々な実践モデルとアプローチ⑤ (課題中心アプローチ)
9. 様々な実践モデルとアプローチ⑥ (危機介入アプローチ)
10. 様々な実践モデルとアプローチ⑦ (行動変容アプローチ)
11. 様々な実践モデルとアプローチ⑧ (ケースマネジメント/ケアマネジメント)
12. 様々な実践モデルとアプローチ⑨ (ジェネラリスト・アプローチ)
13. 様々な実践モデルとアプローチ⑩ (エンパワーメント・アプローチ)
14. 様々な実践モデルとアプローチ⑪ (社会構成主義、ナラティブ・アプローチ)
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業への主体的参加を期待します。
出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅰ(新・社会福祉士養成講座第7巻)』(中央法規出版)
福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅱ(新・社会福祉士養成講座第8巻)』(中央法規出版)

参 考 書

授業のなかで随時指示します。

社福

履修コード	063501
科目名	社会福祉援助技術各論ⅠB
担当者名	荒井 浩道

講義の到達目標(ねらい) 1. 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する(介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む)。

講義の内容/
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 相談援助の過程① (インターク、アセスメント)
3. 相談援助の過程② (プランニング、インターベンション)
4. 相談援助の過程③ (モニタリング、エバリュエーション)
5. 相談援助の過程④ (ターミネーション、アフターケア)
7. 相談援助における援助関係(意義、目的、方法、留意点)①
8. 相談援助における援助関係(意義、目的、方法、留意点)②
9. 相談援助のための面接技術(意義、目的、方法、留意点)①
10. 相談援助のための面接技術(意義、目的、方法、留意点)②
11. アウトリーチ(意義、目的、方法、留意点)①
12. アウトリーチ(意義、目的、方法、留意点)②
13. 集団を活用した相談援助(意義、目的、方法、留意点)①
14. 集団を活用した相談援助(意義、目的、方法、留意点)②
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

授業への主体的参加を期待します。
出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅰ(新・社会福祉士養成講座第7巻)』(中央法規出版)
福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法Ⅱ(新・社会福祉士養成講座第8巻)』(中央法規出版)

参 考 書

授業のなかで随時指示します。

履修コード	063601
科目名	社会福祉援助技術各論ⅡA
担当者名	<small>かわつかみ とみお</small> 川上 富雄

講義の到達目標(ねらい) 相談援助(ソーシャルワーク)の過程とそれに係る知識と技術について理解する。とりわけ、本講義においては、ソーシャルワークの中核的技術であるアセスメントとケアマネジメント(介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画、児童分野における児童自立支援計画等についての理解を含む)についての理解を深める。

講義の内容/
履修スケジュール

1. オリエンテーション
2. ソーシャルワークとケアマネジメント①
3. ソーシャルワークとケアマネジメント②
4. 高齢者分野における援助計画①
5. 高齢者分野における援助計画②
6. 高齢者分野における援助計画③
7. 障害者分野における援助計画①
8. 障害者分野における援助計画②
9. 障害者分野における援助計画③
10. 児童分野における援助計画①
11. 児童分野における援助計画②
12. その他の分野における援助計画①
13. その他の分野における援助計画②
14. その他の分野における援助計画③
15. まとめ

社福

準備学習
履修上の留意点

テキストおよび参考図書を通読。

本科目で学ぶ内容は、3年次の相談援助実習において実際に取り組むものであるため、2年次までに履修することが望ましい。一方で、各分野における制度概要や対象者像、利用の仕組み、施設・在宅サービス等に関する一定の前提的知識も必要となるため、1年次に履修する学生は相当の準備をもって臨むこと。

成績評価の方法

定期試験の成績に小テスト(随時)、課題(随時)、レポート(随時)、出席点を加味して判定する。講義への出席等外形的な評価よりも、知識・技術獲得など実質的な側面を強く評価する予定である。なお、定期試験は社会福祉士国家試験を意識した形式で行い、定期試験の評価が成績評価の過半を占める。

教科書/テキスト

●社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座⑧相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規出版 2009

●社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座⑦相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規出版 2009

参 考 書

●白澤政和・蛭江紀雄著『ケアマネジメント—在宅・施設のケアプランの考え方・つくり方』全国社会福祉協議会 2009

●植田章『障害者福祉実践とケアマネジメント—個別支援計画作成と相談支援の手引』かもがわ出版 2008

●門田光司・柳沢享・平沢紀子著『知的障害・自閉症の方へのケアマネジメント入門』中央法規出版 2003

●児童自立支援計画研究会編『子ども・家族への支援計画を立てるために—子ども自立支援計画ガイドライン』日本児童福祉協会 2005

●安梅勅江編著『コミュニティ・エンパワメントの技法』医歯薬出版 2005

その他、講義中に紹介する。

そ の 他

基本的には講義形式で行うが、一部グループ演習、課題発表などを盛り込む場合がある。

履修コード	063701
科目名	社会福祉援助技術各論ⅡB
担当者名	川上 ^{かわかみ} 富雄 ^{とみお}

講義の到達目標(ねらい) 相談援助(ソーシャルワーク)の過程とそれに係る知識と技術について理解する。とりわけ、本講義においては、ケースカンファレンス、社会資源活用・調整・開発、コーディネーションとネットワークング、スーパービジョンとコンサルテーション、グループワーク、福祉情報とICT(情報通信技術)、個人情報保護、事例研究法等についての理解を深める。

講義の内容/
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 相談援助における社会資源活用・調整・開発の意義と方法①～概説
3. 相談援助における社会資源活用・調整・開発の意義と方法②～地域アセスメント
4. コーディネーションとネットワークの意義と方法
5. コーディネーションとネットワークの意義と方法
6. スーパービジョンとコンサルテーションの意義と方法
7. スーパービジョンとコンサルテーションの意義と方法
8. ケースカンファレンスの意義と方法
9. グループワークの意義と方法
10. サービスの質の向上と権利擁護システムへの取り組み
11. 相談援助におけるICT(情報通信技術)の活用
12. 相談援助における個人情報保護
13. 事例分析・事例研究法
14. 事例研究
15. まとめ

準備学習
履修上の留意点

テキストおよび参考図書の通読。
本科目で学ぶ内容は、3年次の相談援助実習において実際に取り組みものであるため、2年次までに履修することが望ましい。一方で、各分野における制度概要や対象者像、利用の仕組み、施設・在宅サービス、専門職の役割等に関する一定の前提的知識も必要となるため、1年次に履修する学生は相当の準備をもって臨むこと。

成績評価の方法

定期試験の成績に小テスト(随時)、課題(随時)、レポート(随時)、出席点を加味して判定する。講義への出席等外形的な評価よりも、知識・技術獲得など実質的な側面を強く評価する予定である。なお、定期試験は社会福祉士国家試験を意識した形式で行い、定期試験の評価が成績評価の過半を占める。

教科書/テキスト

- 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座⑧相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規出版 2009
- 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座⑦相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規出版 2009

参考書
その他の

講義中に指示する。
基本的には講義形式で行うが、一部グループ演習、課題発表などを盛り込む場合がある。

社福

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	堀 ^{ほり} 千鶴子 ^{ちづこ}

講義の到達目標(ねらい) 我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容/
授業スケジュール

- | | | | |
|----|---------------|----|--------------|
| 1 | 社会福祉の歴史と人物史 1 | 13 | 人物史 4 |
| 2 | ” 2 | 14 | ” 4 |
| 3 | 慈善・救済の時代 | 15 | ” 4 |
| 4 | 人物史 1 | 16 | 社会事業・社会福祉の時代 |
| 5 | ” 1 | 17 | 人物史 5 |
| 6 | ” 1 | 18 | ” 5 |
| 7 | ” 2 | 19 | ” 5 |
| 8 | ” 2 | 20 | ” 6 |
| 9 | ” 2 | 21 | ” 6 |
| 10 | ” 3 | 22 | ” 6 |
| 11 | ” 3 | 23 | 社会事業に生きた女性 |
| 12 | ” 3 | 24 | 地域の歴史 |

履修上の留意点
成績評価の方法

出席を重視する。テキスト必ず持参。
出席(40%)、レポート(60%)

教科書/テキスト

室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円 ISBN4-623-04519-6

履修コード	064101
科目名	社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕
担当者名	山本 ^{やまもと} 哲也 ^{てつや}

講義の到達目標(ねらい)	近年、子どもを取り巻く諸問題は、複雑化、多様化し、深刻化してきている。本講では、子どもを取り巻く諸問題を整理、理解すること、支援を必要とする子どもを理解することをねらいとする。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、子どもを取り巻く諸問題について、受講生のレポートをもとに、ディスカッションを織り交ぜながら、問題の理解を深めていく。 後期は、支援を必要とする子どもについて、演習課題等とおして、理解を深めていく。
履修上の留意点	具体的な講義内容は、受講生の興味にあわせて決定していく。なお、受講生によるレポートをもとに、受講生とともに、「考えること」を重視した授業とするので、受講生は主体的・積極的に参加することを望む。
成績評価の方法	出席状況と課題レポートに加えて、ディスカッションへの参加状況など受講姿勢・意欲によって、総合的に評価する。
教科書／テキスト	初回授業で指定する。
参考書	必要に応じ、その都度指示する。
その他	・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。 ・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。

社福

履修コード	064201
科目名	社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕
担当者名	橋内 ^{はつない} 真里子 ^{まりこ}

講義の到達目標(ねらい)	(1) 高齢者福祉の現場で求められる知識・技術を習得する。 (2) ホスピタリティや人権尊重、利用者本位のサービス等について、新聞記事や事例などから考える。 (3) 社会福祉専門職(対人援助職)としての資質を自ら育て、確実なものとする。
講義の内容／授業スケジュール	1回目 教科書の目的と前期の予定について。 2～4回目 高齢者の身体的・心理的特性。 3～7回目 高齢者のライフスタイルから見る特性。 8～10回目 高齢者福祉の視点・目的等。 11～14回目 高齢者福祉の現場を理解する。 15回目 前期のまとめ。 16回目 前期の確認と後期の予定について。 17～19回目 実習での体験や夏休みの体験(ボランティア等)について。 20～22回目 文字で表現された高齢者福祉(ケア含む)から考える。 23～25回目 高齢者福祉に携わる専門職について。 26～28回目 対人援助職としての技術・資質について考える。 29回目 まとめ 30回目 定期試験(レポート)
履修上の留意点	本や新聞を読んで下さい。気にかかるものや興味を持ったもの、必要と思ったものは、メモしたりスクラップしておいて下さい。講演会や研修会にも積極的に参加して下さい。それらをもとにグループワークも予定しています。「見る」「聞く」「話す」「考える」「発言する」「提案する」などに慣れましょう。
成績評価の方法	出席状況、グループワークへの参加状況、レポートなどを総合的に評価します。
教科書／テキスト	未定ですが、毎回の講義の始まりか終わりに、読んで欲しい本や聞いて欲しい講演会などを紹介します。随時資料を配付し、ビデオ等の視聴も予定しています。
参考書	未定ですが、毎回の講義の始まりか終わりに、読んで欲しい本や聞いて欲しい講演会などを紹介します。随時資料を配付し、ビデオ等の視聴も予定しています。

履修コード	064301
科目名	社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕
担当者名	佐藤 将朗

講義の到達目標(ねらい) 本授業では障害の概念を学ぶことから始め、障害者(児)が社会の中でよりよく生きていくために、どのようなことが問題となるかを中心に学習していきます。具体的には身体障害、知的・発達障害、精神障害、認知症の各定義、心理的影響などを整理し、これらを土台として、ノーマライゼーションという人権思想のもと、障害者(児)が社会の中でよりよく生きていくとはどのような意味をもつか、また障害者(児)と健常者(児)の関わりはどのようにあるべきかなどについて、履修者自身の見解を深めていくことを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、障害の概念(1-2)、ノーマライゼーションなどの人権思想(3-4)、身体障害者(児)の理解と社会生活における問題点(5-7)、知的・発達障害者(児)の理解と社会生活における問題点(8-10)、精神障害者(児)の理解と社会生活における問題点(11-12)、認知症高齢者の理解と社会生活における問題点(13-14)、前期のまとめとしての課題作業(15)とする。

準備学習 後期はメディアの取り上げる障害者(児)問題(1-6)、障害者(児)へのケースワークの事例(7-8)、障害者(児)へのグループワークの事例(9)、障害者(児)の属する環境へのコミュニティーワークの事例(10)、履修者の興味・関心に応じた障害者(児)問題の今日的話題に関する討議(11-12)、本授業のまとめとしての課題作業(13-15)とする。

履修上の留意点 障害者問題、高齢者問題、社会福祉がキーワードとなる各種メディア情報(書籍、新聞、テレビ番組や映画などの作品、インターネットで公開されているものなど)を自分なりに整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法 人に優しく、人を援助するとは、人の道とは何かといったいわゆる人道的視点と、社会の中でより良く生きるとは、生活を豊かにするとはどのような意味があるかなど、いわゆる社会福祉的視点の両方について科学的に思考できる人、あるいはそのような人物になりたいと思っている人に最適な授業だと考えます。

前期はまとめとして提出する課題(50%)、授業時の小課題(40%)、授業への参加意欲及び出席(10%)とする。

後期は最終的に提出する課題(80%)、授業時の小課題(10%)、授業への参加意欲及び出席(10%)とする。

これらによって得られた前・後期の成績を総合的に判断したものを全体の成績とする。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 講義中に随時指定する。

その他 基本的に講義形式で進める。学習する内容によっては、履修者による発表や討論を行ってもらう。また、ビデオ、DVD等の視聴を随時行う。

社福

履修コード	064401
科目名	社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕
担当者名	青山 宗雄

講義の到達目標(ねらい) 戦後の混乱を背景に、社会問題化した孤児や浮浪児問題の対応に迫られる経過のなかで産声をあげた児童相談所は、その後、時代々の様々な児童問題と向き合いながら今日に至っている。その歴史は、ひと言でいうならば、一人ひとりの子どもの権利をいかに保障すべきかということに集約されるが、その道のりは必ずしも簡単なものではなく、今なお多くの課題を残しているといえる。

本講においては、そうした状況を踏まえ、児童福祉の第一線機関としての児童相談所の果たす役割や相談・援護の実態について理解を深める。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、公的相談機関として日本独自の歩みを続けてきた児童相談所の歴史を振り返りつつ、機関のもつ性格や職種の役割について理解すると共に、社会構造、家族構造、文化的視点からの議論も活発に行いたい。

後期は、援助者の立場に立った自己分析やイメージトレーニングをとおして様々な事例を検討し臨床感覚を養う。また、最近の児童問題や相談・援護の将来的展望、課題などについても幅広い意見交換を行ないたい。

履修上の留意点 議論のなかで、「自分」という人間をより深く考察する機会となるよう幅広い視点からの発言を望む。

成績評価の方法 出席状況、討論、レポートなどの総合評価

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 必要に応じて紹介する。

履修コード	064501
科目名	社会福祉学特講Ⅴ〔福祉事務所〕
担当者名	船水 浩行 <small>ふねみず ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>社会福祉法に規定される「福祉に関する事務所」(福祉事務所)を巡る諸課題を考察する。</p> <p>昭和26年に発足した福祉事務所は、戦後、生活保護法等のいわゆる福祉六法をはじめとする諸法の現業機関として、国民の最低限度の生活確保等に一定の貢献をしてきた。</p> <p>しかし、最近の社会保障、社会福祉の諸制度の改革、地方分権の推進等の中で、そのあり方は大きな転換期を迎えている。また、一方では生活保護受給層の拡大等に対応すべき機関として、そのあり方が改めて問われている。</p> <p>この授業では、以上のような視点から、今後の福祉事務所とその運営のあり方を考察していく。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>福祉事務所とは、現代社会と福祉事務所の運営(第1～2回)</p> <p>福祉事務所の成立と歴史的展開(第3～7回)</p> <p>福祉事務所を巡る法制度(第8～9回)</p> <p>福祉事務所の業務と組織(第10～11回)</p> <p>福祉事務所と関連社会資源との連携(第12～13回)</p> <p>福祉事務所の専門職員とその役割(第14～15回)</p> <p>社会福祉主事の専門性と倫理(第16～17回)</p> <p>社会福祉主事の業務と社会福祉援助技術の展開(第18～19回)</p> <p>福祉事務所における自立支援の事例と現状(第20～26回)</p> <p>福祉事務所の運営をめぐる課題と動向(第27回以降)</p>
成績評価の方法	最終レポート(定期試験期間に提出)80%、その他(出席等)20%
教科書／テキスト	宇山勝儀、船水浩行編著『福祉事務所運営論(第2版)』(ミネルヴァ書房)
参考書	随時紹介する

社福

履修コード	064701
科目名	家族療法
担当者名	治田 哲之 <small>はらた てつゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)	<p>福祉の専門家は、人間と心についてよく知っていかなくてはならない。それには、心理療法の知識が役に立つ。</p> <p>この講義では、家族療法という心理療法の一分野を切り口としながら、人間と心について具体的な形で理解を深められることを目指して授業を行う。福祉の専門家としての学生諸君にとって実り多い、楽しい授業としたい。</p> <p>教育目標(到達目標)は、次の2点である。(1)人間及び心について、心理学を中心とした科学的な考え方を理解し、自分の言葉で具体的に説明できること。(2)家族について、家族療法の基本概念を理解し、自分の言葉で具体的に説明できること。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>(1)イントロダクション／(2)心理学と心理療法について(福祉の専門家が心理療法を学ぶとどのようなよいことがあるのか)／(3～10)家族療法の考え方と特徴／(11～15)事例をもとに、家族療法の考え方と技法を紹介／(16～20)家族療法的心理臨床に役立つ諸技法の具体例／(21～25)発達という視点について(特に家族の発達という考え方について)／(26～30)家族をめぐる今日の問題とその援助</p> <p>*以上の計画の中で、適宜、映像資料や新聞雑誌等の時事的資料に基づいた、人間や心についての考察・課題を行う</p>
準備学習	この科目は、授業の中で、いろいろなことを考えたり感じたりすることこそ重要なので、事前の準備は必要ない。配布したプリントを読み直したり、自分の考えを整理したりする事後の学習に力を入れてほしい。
成績評価の方法	レポートまたは試験(履修学生の希望に合わせて決める)に、普段の課題や、出席(これは興味・関心の反映としてとらえる)等の状況を加味する。
教科書／テキスト	使用しない。必要に応じ、プリントを配布する。
参考書	履修学生に合わせ、授業の中で、その時学生に役に立つと思われるものを適宜紹介する。
その他	土曜1限は、なかなか大変だと思うので、楽しい授業になるようくふうします。リクエストにもできるだけ応えます。

履修コード	064821
科目名	福祉行財政と福祉計画
担当者名	笹部 昭博

講義の到達目標(わらい) 本科目は、社会福祉士指定科目の一つであり、社会福祉士としての基本的な知識を学ぶため、次の2点に沿って学習を進めます。

(1) 福祉行財政の基本

①福祉行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方自治体の関係、福祉行政の法制度・財源、福祉行政と団体・専門職など)

②福祉行財政の実際(自治体における福祉組織と予算、施策・事業の展開など)

(2) 福祉計画の立案と実施

福祉の各計画の意義・目的、主体、立案のプロセス、住民参加と協働など

福祉制度は、戦後につくられ人口構成や社会情勢に応じて大きく変化しています。そこで福祉制度の基本的な枠組みと今日のダイナミックな変化を理解することを目標にします。

講義の内容/
授業スケジュール

前半、第1回～8回は福祉行財政の実施体制実際

後半、第9回～第15回は福祉計画の立案と実施

但し、受講スケジュールは、受講学生の理解を確認しながら調整する場合があります。

履修上の留意点

日頃から、新聞、雑誌などの福祉制度に関する報道、地元自治体の福祉施策などに関心を払いながら講義にのぞんで下さい。

成績評価の方法

レポート、試験ほかにより総合的に評価します。

教科書/テキスト

指定しません。講義の中でプリントを配布・活用します。

参考書

社会福祉小6法 ほか必要に応じて講義の中で紹介します。

社福

履修コード	064841
科目名	福祉サービスの組織と経営
担当者名	亀田 都

講義の到達目標(わらい) 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、福祉サービスを提供する組織の管理運営や経営のあり方の実際について学習していきます。

(1) 福祉サービスに関わる組織・団体についての理解

・社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など

(2) 福祉サービスの組織と経営についての理解

・組織と経営の基礎理論、経営と管理運営の実際

講義の内容/
授業スケジュール

(1～3) 福祉サービスに関する組織や団体 (4～5) 福祉サービスの組織と経営の基礎理論

(6～10) 福祉サービス提供組織の経営と実際 (11～15) 福祉サービスの管理運営の方法と実際

(授業スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合があります) 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

成績評価の方法

履修コード	064901
科目名	リハビリテーション論
担当者名	佐藤 将朗

講義の到達目標(ねらい)

リハビリテーション(rehabilitation)という言葉は「再び〇〇にふさわしい能力を身につける」という意味で用いられます。怪我や病気、障害などのために普通の日常生活だけでなく、学習、スポーツ、職業生活が機能していない場合、また精神的安定が得られていない場合に、これらを回復していくことの総称と言えます。社会の中で生きる全ての人々の権利や名誉が不本意に侵害されている場合に、これらを回復していくことも考えられます。

本講義では、まずリハビリテーションを医学的リハと社会的リハに大別して整理することからはじめ、リハビリの対象となる人々の個人的能力とこれらの人々を取り巻く環境との関連性について理解していきます。そして、最終的には「リハビリテーションの哲学」として自分なりの意見や知識を整理していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

前期はリハビリテーションの定義(1)、障害及び加齢の概念(2-3)、医学的リハ(4)、社会的リハ(5-7)、障害の種類・程度別のリハビリテーション(8-12)、高齢者のリハビリテーション(13-14)、前期のまとめとしての課題作業(15)とする。

後期はメディアの取り上げるリハビリテーション(1-3)、教育的リハの仕組みとその成功要因(4-5)、職業的リハの仕組みとその成功要因(6-7)、心理的リハの仕組みとその成功要因(8-9)、履修者の興味・関心に応じたリハビリテーションの今日的話題に関する討議(10-12)、「リハビリテーションの哲学」についての課題の整理(13-15)とする。

社福 準備学習

障害者問題、高齢者問題、リハビリテーションがキーワードとなる各種メディア情報(書籍、新聞、テレビ番組や映画などの作品、インターネットで公開されているものなど)を自分なりに整理しておくことが望ましい。

履修上の留意点

人に優しく、人を援助するとは、人の道とは何かといったいわゆる人道的視点について、科学的に思考できる人、あるいはそのような人物になりたいと思っている人に最適の授業だと考えます。

成績評価の方法

前期はまとめとして提出する課題(50%)、授業時の小課題(40%)、授業への参加意欲及び出席(10%)とする。

後期は最終的に提出する課題(80%)、授業時の小課題(10%)、授業への参加意欲及び出席(10%)とする。

教科書/テキスト

これらによって得られた前・後期の成績を総合的に判断したものを全体の成績とする。

参 考 書
そ の 他

特に指定しない。

講義中に随時指定する。

基本的に講義形式で進める。学習する内容によっては、履修者による発表や討論を行ってもらう。また、ビデオ、DVD等の視聴を随時行う。

履修コード	065001
科目名	社会保障論
担当者名	長尾 譲治

講義の到達目標(ねらい)

本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す皆さんにとって必要で十分な社会保障制度に関する実践的知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

講義では、マンガやドラマに出てくるおなじみの登場人物とその生活場面などの身近な事例に当てはめ、そこで出てくる社会保障制度を解説するなど、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていくべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 社会保障とは(社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系など)(1回目)
- (2) 各制度の詳細な解説
 - ①医療保険制度(2～5回目) ②年金保険制度(6～11回目) ③労働保険制度(雇用保険、労災保険)(12～16回目) ④介護保険制度(17～20回目) ⑤民間の保険(生命保険、損害保険、その他の保険)(21回目)
 - (3) こんなときどうする? —私たちのライフサイクルと社会保障—
 - ①就職したら(22回目) ②妊娠・出産・育児とその支援(23～24回目) ③病気や障害状態になったら(25～26回目) ④寝たきりや認知症になったら(27回目) ⑤ターミナル・ケアを受けるには(28回目)
 - (4) 各国の社会保障制度(29回目)
 - (5) 社会保障制度の現状と課題(30回目)

成績評価の方法
教科書／テキスト

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。
特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する(授業は毎回の詳説プリントを通じて行う)。

参 考 書

長尾譲治著『ライフサイクルと保健福祉』(春風社)
週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』(法研)
その他、随時紹介する。

社 福

履修コード	065101
科目名	家庭福祉論
担当者名	武山 梅乗

講義の到達目標(ねらい)

家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、〈家族〉という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール

- I. 家庭福祉の視点 第1回：家庭福祉の視点、第2回：世帯構造と核家族化、第3～4回：家族制度とは、第5回：核家族の機能と構造、第6回：家族周期とライフコース、第7回：イエ制度、第8回：〈近代家族〉とは
- II. 女性と家庭福祉 第9～11回：フェミニズムからみた家族—母性、専業主婦、中絶、第12～13回：女性労働と育児、第14回：一人親家庭の諸問題、第15回：夫婦別姓と婚姻の意義
- III. 子どもと家庭福祉 第16～17回：児童福祉の体系にみる〈子ども〉観、第18回：消費としての子育てと〈地域〉における子育て、第19～20回：児童虐待と家庭
- IV. 高齢者と家庭福祉 第21回：ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題、第22～23回：家族と高齢者介護、第24～25回：高齢者にとっての居住福祉
- V. 国家・地域と家庭福祉 第26回：日本における家族政策と福祉国家論、第27回：在宅福祉と〈地域〉、第28回：家庭—地域福祉という枠組み
- VI. 民間社会福祉と家庭福祉 第29回：家庭福祉の市場性、第30回：非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法

出席状況を勘案した上で、講義期間中に提出を求める課題(2割)、夏休み明けに提出を求めるレポート(3割)、学年末の定期試験(5割)から総合的に評価します。

教科書／テキスト

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参 考 書

参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	065201
科目名	保健福祉論
担当者名	山本 哲也

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。
講義の内容／授業スケジュール	本講義では、保健・福祉の連携システムの実際について、事例をとおして学習していく。具体的には、まず、保健・福祉が連携して関わる必要のある事例を呈示する。次に、その事例の中に登場する用語等について概説する。また、事例に登場する対象者を理解する事、事例に関わる制度について知る事を目的に講義を行う。最後に、その事例対象者を支える保健・福祉の連携システムについて概説する。
履修上の留意点	講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、各自の意見を問う内容を含む授業を行うので、そのつもりで受講すること。
成績評価の方法	出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。
教科書／テキスト	必要に応じ、授業時に指定する。
参考書	必要に応じ、その都度指示する。
その他	・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。 ・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。

社 福

履修コード	065321
科目名	公的扶助論
担当者名	伊藤 秀一

講義の到達目標(ねらい)	本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈善的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史をはじめ、現行法の目的、原理、原則、組織機構、行政運営等を体系的に講述する。また、近年、注目されている権利擁護、社会的排除等にも言及する。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：開講に当たって、第2回：貧困概念をめぐって、第3回：公的扶助の概念と社会保障制度下の位置と役割、第4～8回：イギリス及びわが国の公的扶助制度の歴史的展開、第9～12回：生活保護制度の概要(目的、原理、原則、扶助の種類、保護施設等)、第13回：生活保護の争訟制度とイギリスの福祉権活動、第14回：低所得対策、第15回：まとめ
準備学習	授業の最後に、次回の講義で扱うテーマ・問題を指示するので、事前にテキストの該当箇所を目配りしておく。できれば、疑問点や質問事項をまとめておく。
履修上の留意点	指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、「学生参加」型の授業を心がけたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。
成績評価の方法	評価は、定期試験と出席状況を勘案して行う。
教科書／テキスト	伊藤秀一編著『低所得者に対する支援と生活保護制度(社会福祉士シリーズ16)』弘文堂、2008年、2500円+税
参考書	随時紹介する。
その他	視聴覚教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	065421
科目名	障害者福祉論
担当者名	桐原 宏行 <small>まりはら ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) ・障害の本質及び障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解する
 ・障害者福祉制度の発達過程について理解する
 ・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者福祉に係る他の法制度について理解する

講義の内容/
 授業スケジュール

- 第1回：本科目のねらい・進め方について
 第2回：障害とは何か①（身体障害の理解）
 第3回：障害とは何か②（知的障害・発達障害の理解）
 第4回：障害者福祉の理念
 第5回：障害の概念と定義
 第6回：障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢
 第7回：障害者福祉制度の発達過程
 第8回：障害者基本法
 第9回：障害者自立支援法①（制度移行）
 第10回：障害者自立支援法②（制度解説1）
 第11回：障害者自立支援法③（制度解説2）
 第12回：障害者自立支援法④（制度解説3）
 第13回：障害者福祉関連法の概要①（身体障害者福祉法、知的障害者福祉法）
 第14回：障害者福祉関連法の概要②（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、発達障害者支援法）
 第15回：授業内試験

履修上の留意点

本科目は、社会福祉士法の改正により変更された科目である。平成21年度以降入学者（平成20年度以降の入学者で単位未修得者も含む）で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。なお、平成20年度以前の履修者で、同一名称科目「障害者福祉論（4単位科目）」をすでに履修し単位を取得した者は再履修できないが、法改正で科目内容が改正されており、本年度の社会福祉士国家試験から「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の科目で試験が実施されるため、その対策には十分注意する必要がある。

履修者は、「社会福祉原論」及び「社会福祉援助技術総論」の単位を取得していることが望ましい。

成績評価の方法
 教科書/テキスト

授業内試験又はレポートの提出90%、出席点10%
 福祉臨床シリーズ編集委員会編 日比野清、大熊信成、建部久美子責任編集、『社会福祉士シリーズ14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』、弘文堂、2,625円 ISBN978-4-335-61084-4 C3347
 ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2010』、ミネルヴァ書房

そ の 他

社福

履修コード	065441
科目名	就労支援サービス
担当者名	桐原 宏行 <small>きりはら ひろゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

- ・相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解する
- ・就労支援に係る組織、団体、及び専門職の役割について理解する
- ・就労支援分野における連携方法について理解する

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回：授業のねらい・授業のすすめ方について
- 第2回：労働の意義・動機づけの諸理論
- 第3回：キャリア発達と就労支援「キャリア発達の理論と発達課題」
- 第4回：雇用・就労の動向「労働市場の動向」「就労支援対象者の雇用実態」
- 第5回：労働法規①「基本的労働法規の概要」
- 第6回：労働法規②「就労支援に関連する諸法律の概要」
- 第7回：就労支援制度の概要①「低所得者の就労支援」
- 第8回：就労支援分野の実務①「ハローワークを中心とした機関連携方法」
- 第9回：就労支援制度の概要②「障害者福祉施策における就労支援」
- 第10回：就労支援分野の実務②「障害者雇用施策における機関連携方法」
- 第11回：就労支援制度の概要③「障害者雇用施策における就労支援」
- 第12回：就労支援分野の実務③「障害者福祉施策における機関連携方法」
- 第13回：就労支援サービスの実施体制①「組織及び団体の役割と実際」
- 第14回：就労支援サービスの実施体制②「専門職の役割と実際」
- 第15回：授業内試験

社福

履修上の留意点

本科目は、社会福祉士法の改正により新設された科目である。平成21年度以降の入学者で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。また、平成20年度以前入学者については、履修の必要はないものの、国家試験においては本年度から実施されるため、履修することが望ましい。

本科目の履修に当たっては、「障害者福祉論」「公的扶助論」の単位を取得していることが望ましい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

授業内試験及びレポートの提出90%、出席点10%
福祉臨床シリーズ編集委員会編、桐原宏行責任編集『社会福祉士シリーズ18 就労支援サービス』、弘文堂2,625円 ISBN978-4-335-61088-2

その他

ミネルヴァ書房編集部編、『社会福祉小六法2010』、ミネルヴァ書房

履修コード	065521
科目名	老人福祉論
担当者名	東條 <small>とうじょう</small> 光雅 <small>みつみや</small>

講義の到達目標(ねらい) 少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割(1)
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割(2)
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割(3)
- 第15回 これからの高齢者支援

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

原則的には、出席点と定期試験によって評価する。
『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

参 考 書
そ の 他

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

社福

履修コード	065621
科目名	児童福祉論
担当者名	村田 一昭 <small>むらた かずあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。

そこでこの授業は、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング(well-being)をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目標にしています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1, 子ども家庭福祉の理念
 - ① ウェルフェアからウェルビーイングへ (第1回)
 - ② 子どもの権利条約 (第2回)
 - ③ 児童福祉法の基本原理 (第3回)
- 2, 子どもと家庭をめぐる最近の動向
 - ① 少子化の動向と対策 (第4回)
 - ② 子ども虐待の実態と対応 (第5回)
 - ③ 少年非行・少年犯罪の動向と対応 (第6回)
- 3, 子ども家庭福祉の法体系
 - ① 児童福祉法 (第7回)
 - ② 児童福祉六法 (第8回)
 - ③ 関連法 (第9回)
- 4, 子ども家庭福祉の実施体制
 - ① 子ども家庭福祉行政の仕組み (第10回)
 - ② 子ども家庭福祉の実施機関 (第11～12回)
- 5, 子ども家庭福祉への歩み (第13回)
- 6, 子ども家庭福祉施策の現状と課題 (第14回)
- 7, 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際 (第15回)

履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

平常点(出席およびリアクションペーパー、課題)と期末試験にて評価をします。
高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク(第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ¥2,000
※授業内容により、プリントを配布します。

参 考 書
そ の 他

- 随時、紹介します。
- ① 授業はパワーポイントを使用
 - ② 各テーマ終了時に小テスト実施
 - ③ YeStudy 利用

履修コード	065701
科目名	女性福祉論
担当者名	堀 千鶴子 <small>ほり ちづこ</small>

講義の到達目標(ねらい) この講義では、ジェンダーの視点から女性福祉論を展開する。ジェンダーとは社会的・文化的に規定された性別であり、ジェンダーのアンバランスが歴史的にも女性の生活問題・生活困難の背景となっており、ジェンダーの視点に立つことは問題の理解に大きく寄与するものである。

講義の内容/
授業スケジュール

講義では、特に婦人保護事業を中心とする。婦人保護事業を歴史的に把握すると共に、対象者の変化を理解し、現代的課題を明らかにすることから、女性福祉を考える。

1. ジェンダーの視点とは
ジェンダー・女性学・フェミニズム等の用語の登場の背景を理解し、社会福祉に導入する意味について理解する
2. 女性福祉の定義・対象理解
3. 「女性に対する暴力」とは
・定義、内容 ・取り組みの動向 ・ドメスティック・バイオレンス についての理解
4. 婦人保護事業の歴史
5. 婦人保護事業の動向

成績評価の方法

試験方法: レポート (50%)
出席確認を毎回行う (出席50%)

教科書/テキスト
参 考 書

林千代編著『女性福祉とは何か』(ミネルヴァ書房) 2004年
講義内に紹介する。

履修コード	065821
科目名	医療福祉論
担当者名	宮本 ^{みやもと} 博司 ^{ひろし}

講義の到達目標(ねらい)

保健医療サービスにおいて、生活相談・援助を行う社会福祉士を医療ソーシャルワーカーと定義している。医療福祉論では、医療ソーシャルワークの歴史、理論、技術について学び、医療ソーシャルワークのあり方について理解を深め、医療ソーシャルワーカーがどのような倫理観・価値観に基づいて、ソーシャルワーク実践を重ねているか。また、他専門職との連携・協働、保健医療サービスを支える制度・施設・資格、チームアプローチの理論と実践事例を学ぶことを目的としている。また、現場を目指す学生にとって、保健医療の現場における現実や課題を理解し、考察できるような授業を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

保健医療サービス体系と施策

- ① 保健医療サービスの構成要素と推移、医療法の改正
- ② 医療法・保健医療政策における医療施設の機能・類型
- ③ 診療報酬における医療施設の機能・類型
- ④ 医療保険制度と診療報酬体系

医療ソーシャルワーク

- ① 医療ソーシャルワーカーの歴史と業務の枠組み
- ② 医療ソーシャルワーカーの業務内容
- ③ 医療ソーシャルワークの課題

保健医療サービスにおける理論と実践

- ① 医療ソーシャルワーク実践事例
(急性期・回復期リハビリテーション・慢性期・ターミナルケア等)
- ② 保健医療サービスの連携の理論と実践
(チームアプローチ・クリティカルパス・ケアマネジメント等)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

授業への主体的な参加を望む。

定期試験、課題レポート、授業出欠等により評価。

新・社会福祉士養成講座 17「保健医療サービス」 中央法規出版
開講時に指示する。

社福

履修コード	065901
科目名	地域福祉論
担当者名	川上 富雄

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、今日的な福祉理念の理解、およびそれを具現化した制度・事業・実践等に関する知識の獲得をはかり、地域福祉時代のソーシャルワーカーに求められるセンスの涵養をねらいとする。具体的な講義の柱は以下の通り。

- (1) 今日的な福祉理念と地域福祉の考え方に関する理解を深める。
- (2) 様々な地域福祉活動およびその推進方法に関する理解を深める
- (3) 地域自立生活を支える様々な制度に関する理解を深める。
- (4) 地域福祉を推進する様々な機関・施設・団体に関する理解を深める。

なお、講義は高度かつ実践的内容になるので、テキスト等の事前通読を必須とする。各自充分な予習をして講義に臨んでほしい。併せて、本科目は社会福祉士国家試験指定科目ということもあり、試験内容も考慮した水準の講義を行う。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～
2. 今日の福祉理念と地域福祉の概念
3. 地域福祉の歴史
4. 地域社会の変容とコミュニティ/コミュニティ政策①
5. 地域社会の変容とコミュニティ/コミュニティ政策②
6. 社会福祉における住民・利用者参加の意義と課題
7. 住民・利用者参加活動の形態と組織①～コミュニティ型
8. 住民・利用者参加活動の形態と組織②～アソシエーション型
9. 住民・利用者参加活動の形態と組織③～コミュニティビジネス/社会的企業
10. NPO・ボランティア活動とその支援(ボランティアセンターの役割)
11. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営①
12. 社会福祉協議会の歴史・使命・活動・経営②
13. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク①
14. 社会福祉協議会の実践～地域を基盤としたソーシャルワーク②
15. 在宅福祉サービスの歴史と現状および地域包括支援センターの誕生
16. 福祉情報化と福祉教育の推進
17. 地域福祉推進における国・地方自治体の役割・関係
18. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度①
19. 地域自立生活を支える仕組みⅠ～成年後見制度②
20. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業①
21. 地域自立生活を支える仕組みⅡ～日常生活自立支援事業②
22. 苦情解決システムと第三者評価事業
23. 福祉計画の系譜と地域福祉計画・地域福祉活動計画
24. 民生委員制度と民生委員活動①
25. 民生委員制度と民生委員活動②
26. 地域福祉における社会福祉施設の役割(施設の社会化)
27. 地域福祉を支える財源～公費・財団・共同募金
28. 利用者主体・地域自立生活を支える供給システムのあり方(トータルケアシステム)
29. 地域福祉と生活問題～福祉制度と地域自立生活の狭間～再考
30. まとめ

準備学習
履修上の留意点

テキストおよび参考図書を通読

地域福祉論は、他の分野論・各論系科目の横断科目的な性格が強い。児童・障害・高齢者・社会保険・生活保護分野等の制度や対象者像、利用の仕組み、施設やサービス等についての知識を前提として講義を進めるので、少なくとも2年次以降の履修が望ましい(できれば3年次履修を勧める)。他学部・他学科生で履修する学生は、『国民の福祉の動向』(厚生統計協会)や『厚生白書』などを熟読し、今日の社会問題や社会保障の枠組みに関する一定の理解を持って臨むこと。

成績評価の方法

定期試験の成績に小テスト(随時)、レポート(随時)、出席点を加味して判定する。講義への出席等外形的な評価よりも、価値理解・知識獲得など実質的な側面を強く評価する予定である。なお、定期試験は社会福祉士国家試験を意識した形式で行い、定期試験の評価が成績評価の過半を占める。

教科書/テキスト

●社会福祉士養成講座編集委員会編『[改訂]新・社会福祉士養成講座⑨地域福祉の理論と方法』中央法規出版 2010

参 考 書

- 山本主税・川上富雄『地域福祉新時代の社会福祉協議会』中央法規出版 2003
 - 日本社会福祉士会編『新・社会福祉援助の共通基盤(下)』中央法規出版 2009
 - 井岡勉監修/牧里・山本編『住民主体の地域福祉論』法律文化社 2008
 - 大橋謙策・原田正樹編『地域福祉計画と地域福祉実践』万葉舎 2000
 - 小林雅彦編『社会福祉の新潮流⑤地域福祉論』学文社 2010
- その他、講義中に紹介する。

そ の 他

基本的には講義形式で行う。

履修コード	066151
科目名	社会学(福祉)
担当者名	武山 ^{たけやま} 梅乗 ^{うめのり}

講義の到達目標(ねらい)	社会福祉士(及び精神保健福祉士・社会福祉主事)を目指す学生を対象として、社会学の基礎的な知識(社会理論)を提示し、現代社会における今日的な諸問題や生活、及び人と社会との関係について理解することを通じて、より広い視点から(社会福祉)を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。
講義の内容／授業スケジュール	I 社会学の基礎概念(1~4回)第1回:自我とアイデンティティ、第2回:役割とドラマトゥルギー、第3回:集団と組織、第4回:官僚制の逆機能 II 現代社会論(5~8回)第5回:ジェンダーとフェミニズム、第6回:女性らしさとダイエット、第7回:逸脱とラベリング、第8回:医療化と差別論 III 現代家族論(8~10回)第8回:家族制度と核家族化、第9回:ライフサイクルとライフコース、第10回:未婚化と結婚の意義 IV 地域社会論(11~12回)第11回:アーバニズムとコミュニティ、第12回:国土計画と過疎過密・まちづくりとQOL V 国家とエスニシティ(13~14回)第13回:国民国家としての(日本)、第14回エスニシティとしての(沖縄) VI 社会変動論(15回)第15回:近代化と資本主義
準備学習	教科書は講義開始前に一読しておいてください。また、試験までには講義期間中に随時指示する参考書等にも目を通しておけばより理解が深まります。
成績評価の方法	出席状況を勘案した上で、学期末の試験(7割)と講義期間中に数回提出を求める課題(3割)から総合的に評価します。
教科書/テキスト 参考書	武山梅乗・呉炳三『社会学の扉をノックする』学文社、1575円 参考書は講義期間中に随時紹介します。

社福

履修コード	066221
科目名	医学一般
担当者名	小林 ^{こばやし} 臻 ^{いたる}

講義の到達目標(ねらい)	将来、社会福祉領域で働く専門職が心得ておくべき、医学一般に関する知識の体得を目的とする
講義の内容／授業スケジュール	①医学の歩みについて学びながら、臨床医学の発展を概観する(1回) ②人体の構造と機能について学習し、生命現象に理解を深める(2~5回) ③現代社会における主な疾病について、その成因と実態について学ぶ(6~7回) ④老化現象と高齢者の病気について学び、理解を深める(8回) ⑤精神障害と精神保健について概観し、社会福祉と関係の深い疾病について学習する(9~10回) ⑥リハビリテーション医療の発展の背景と、保健・医療・福祉との相互関係や専門職の連携などについて学ぶ(11~12回) ⑦最近の公衆衛生の現状を概観する(13回) ⑧保健医療対策の現状を概観し、わが国の健康づくり対策の実際や、感染症・結核・難病及び認知症などの対策について学ぶ(14回) ⑨医事法制の概要について学ぶ(15回)
準備学習 履修上の留意点	時間内に理解できなかった内容については必ず復習する ・テレビ、新聞などの関連ニュースや記事に関心を持つ ・解剖・生理に関する内容については予習する ・遅刻20分以上は欠席とみなす
成績評価の方法	試験:出席:課題=5:3:2の比重で評価、追試も実施する
教科書/テキスト	1)福祉士養成講座編集委員会 2)「医学一般(第4版)」 3)中央法規出版 4)2500円+税 5)978-4-8058-2826-7
参考書	1)安藤幸夫 2)人体の不思議 3)ナツメ社 4)1500円+税 5)ISBN978-4-8163-4017-8

履修コード	066301・066311
科目名	介護概論
担当者名	金 美辰 <small>きむ みじん</small>

講義の到達目標(ねらい) 介護の役割と福祉サービスの援助者に求められる倫理観を踏まえ、援助者としての基本的姿勢を理解する。

講義の内容／授業スケジュール 介護とは何かについて考え、介護福祉の概念や福祉サービスの援助者に求められる倫理について法律や専門生の観点から学習し、利用者主体の介護とその具現化としての実践の技法について学ぶ。

1. オリエンテーション
2. 介護とは何か：介護のイメージ
3. 介護の歴史
4. 利用者理解
5. 利用者主体とは何か
6. 介護福祉士に求められる倫理
7. コミュニケーション技法等介護技術総論
8. 認知症高齢者への理解
9. 認知症高齢者への理解
10. 施設介護・在宅介護
11. 介護保険について
12. 施設における危機管理・福祉用具
13. チームアプローチ
14. 試験

成績評価の方法 出席状況：20% 課題達成度：20% 定期試験：60%

教科書／テキスト 「介護技術論」第一法規

「介護過程」ミネルヴァ書房

参 考 書 介護福祉学 介護福祉学研究会 中央法規

社福

履修コード	066401・066411
科目名	介護技術
担当者名	金 美辰 <small>きむ みじん</small>

講義の到達目標(ねらい) 高齢や障害によって阻害されている生活上のニーズや課題に対して利用者の個別性を配慮し、自立支援の視点にたった援助方法を身につける。

講義の内容／授業スケジュール 介護技術の基礎知識や介助時の留意点についての講義やグループでの演習を通して、利用者の自立支援の視点にたった介護技術を学ぶ。

1. オリエンテーション
2. 援助に必要な技術：コミュニケーション・観察・アセスメント
3. 環境整備：居住環境の安全
4. 運動・移動の技法：ボディメカニクス・上方移動・水平移動
5. 運動・移動の技法：体位変換
6. 運動・移動の技法：移乗・移動介助
7. 食事介助（講義）
8. 食事介助（演習）
9. 排泄介助
10. 排泄介助
11. 衣生活の支援
12. 福祉機器と活用法
13. まとめ

履修上の留意点 グループでの演習授業であり、前後授業の関連性が高いので出席・授業態度を重視する。

成績評価の方法 出席状況：30% 授業態度：30% レポート：40%

教科書／テキスト 「介護技術論」第一法規

参 考 書 講義の中で紹介する。

そ の 他 実技演習授業であるので動きやすい服装が望ましい。

履修コード	066521
科目名	心理学 (福祉)
担当者名	<small>たかはし よしひろ</small> 高橋 良博

講義の到達目標(ねらい)	本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。 1. 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得、および日常生活と心の健康についての理解。 2. 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。 3. 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。
講義の内容／授業スケジュール	1. 講義についてのオリエンテーション 2. 心理学の定義・心理学の領域・心理学研究法 3. 欲求・動機づけ 4. 感情・情動 5. 感覚・知覚・認知 6. 学習・記憶・思考 7. 知能・創造性 8. 人格 9. 適応と不適応 10. 発達段階と障害発達 11. 発達課題と高齢期 12. 発達の障害と発達援助 13. 心理的援助技術の概要 (1) 14. 心理的援助技術の概要 (2) 15. 試験 (上記の講義スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もある。)
履修上の留意点	履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保つこと。講義中、私語などの迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめることもある。
成績評価の方法	筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。
教科書／テキスト 参 考 書	福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』(中央法規) 講義中、指示する。

社福

履修コード	066601
科目名	心理検査法
担当者名	<small>いねどみ まさひろ</small> 稲富 正治

講義の到達目標(ねらい)	多くの心理検査(性格傾向を見る検査、ストレスを観る検査、人間関係を観る検査など)の体験を通しながら、その結果から自分を知り、また人を知り、そして臨床において人への関わりとはどういうことかなどを学ぶことを目的としている。
講義の内容／授業スケジュール	心理検査には「質問紙法」「投影法」「作業検査法」などがありますが、最初は、広く使われており、施行も簡単な質問紙法の中で「Y-G性格検査」や「TEG(人間関係のパターンを知る検査)」などから始まり、性格傾向だけでなく、自分のストレス状況などを知る検査(CMI)などを通し、自己理解を深め、同時に人を知るということはどういうことかなどを考える材料にしてもらいたいです。後半には知能検査(「ウェクスラー式知能検査」)を学生同士取り合います。ただ机に向かって質問に答えるだけの検査から、人と向き合いながら取り合う検査の難しさ、重要性などを学んで欲しいと思っています。検査用紙以外にも、絵画を用いた絵の分析や自己紹介の文章などから自分の傾向を知ったり、いろんな角度から自分を観察していきたいと思っています。 1年を通して、全部で7～8種類の心理検査を行ないますが、コミュニケーショントレーニングの一環としてのエクササイズ(ゲーム的な要素を持つもの)の体験を通してコミュニケーションも大事にしていきたいと思っています。
履修上の留意点	基本的に出席を大事にします。実習などは別として、なるべく出席してもらい、一緒に臨床を考えて行きたいと思っています。 また、心理検査代として、1年間で実費1500円ほどかかりますので、ご了承下さい。
成績評価の方法	後期テストの成績と出席日数を点数化し、合計して成績を出します。基本的には、授業での心理検査を体験し、結果を出しておけば、答えられる問題です。
教科書／テキスト	特にありません。必要なものは適時配りたいと思います。

履修コード	066701
科目名	精神保健学
担当者名	坂村 雄

講義の到達目標(ねらい) 精神保健とは精神の健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、精神保健福祉士の実践にも役立つ様、臨床的内容とし、単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。

講義の内容／授業スケジュール 前期は精神的健康とはどのようなことか、精神保健を学んでいく上で必要な精神症状、精神疾患の要点、精神保健的対応の現状について主に学び、後期は、家庭、学校、職場等各環境において問題となっているテーマにつき具体的に検討する。

成績評価の方法 出席、レポート、試験などを総合的に評価する。

教科書／テキスト

- 1) 鹿島晴雄編 2) 『精神保健入門』第2版 3) 八千代出版 4) ￥2900
5) ISBN4-8429-1367-3

履修コード	066801
科目名	精神保健福祉論 I
担当者名	佐藤 光正

社福 講義の到達目標(ねらい) 近年、こころの問題は広く国民的問題となっている。ここでは障害者福祉の理念と施策の理解等を踏まえながら、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇、特に偏見や差別の歴史を学び現状認識を深め、精神障害と福祉について考える。さらに行政・司法・教育・労働など広範に求められる精神保健福祉についても理解を深める。
またそれらの理解をとおして精神障害者を生活の視点で支える精神保健福祉士の役割と実践について学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール テキストを中心に講義を行うが、必要に応じてビデオ教材も併用する。

- (1) オリエンテーション
(2)～(4) 精神保健福祉の大きな変化
(5)～(8) 障害者福祉の理念と意義
(9)～(12) 精神障害者福祉の歴史と理念
(13)～(14) 精神障害者の人権
(15) 前期まとめ
(16)～(18) 精神保健福祉士の理念と意義
(19)～(21) 精神障害者に対する相談援助活動
(22)～(24) 精神保健福祉法・精神保健福祉士法
(25)～(29) その他関連施策
(30) 後期まとめ

履修上の留意点 障害ごとの縦割りの援助ではもはや現場では対応できない時代になった今、精神保健福祉士をめざす学生だけではなく、社会福祉士をめざす学生にも履修が望ましい。なお「精神保健福祉論 II」とはセットであるため併せての履修が効果的である。

成績評価の方法 平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

教科書／テキスト

『改訂第3版精神保健福祉士養成セミナー第4巻 増補新版 精神保健福祉論』、へるす出版、
￥3800+税、ISBN978-4-89269-585-8

参 考 書

必要に応じて随時紹介する。

そ の 他

福祉制度はめまぐるしく変わるため、テキストが新しい情報についていけないことも多い。テキストの補遺が出版社のホームページから出されているので情報を得ておくこと。

関 連 リ ン ク

<http://www.mhlw.go.jp/>

履修コード	066901
科目名	精神保健福祉論Ⅱ
担当者名	佐藤 光正

講義の到達目標(わらい)

「精神保健福祉論Ⅰ」とのセット科目である。ここでは偏見や差別のなか地域において、精神保健福祉活動がどのように行われているか、また精神障害者の地域生活の実態を学び、地域における生活支援の重要性を認識する。

講義の内容／
授業スケジュール

ビデオ教材等を中心に行う。また必要によっては障害当事者や実践家の人たちにも実際に教場に来てもらい、体験的な理解を深める。なおセット科目である「精神保健福祉論Ⅰ」との関連やその時々のタイムリーな話題を臨機応変に扱うこととする。

- (1) オリエンテーション
- (2)～(11) ビデオで見る精神障害者と地域生活支援活動
- (12) 精神障害者の生活実態～当事者の声～
- (13) 精神障害をもつ家族の思い～家族の声～
- (14) 地域における精神保健福祉活動～実践家の話～
○医療機関、社会復帰施設、○ボランティア活動など
- (15) まとめ

履修上の留意点

障害ごとの縦割りの援助ではもはや現場では対応できない時代になった今、精神保健福祉士をめざす学生だけではなく、社会福祉士をめざす学生にも履修が望ましい。

なお「精神保健福祉論Ⅰ」とはセット科目であるため併せての履修が効果的である。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）などにより総合的に評価する。

特に指定しない。

必要に応じて随時紹介する。

社福

履修コード	067001
科目名	精神保健福祉援助技術各論
担当者名	上野 容子

講義の到達目標(わらい)

精神保健福祉援助技術の具体的な方法やそのあり方、倫理感について学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1)～(2)・精神障害者の生活状況
- (3)～(5)・ケースワークの定義、原理と原則・ケースワークのプロセス・具体的な事例
- (6)～(8)・グループワークの定義、原理と原則・グループワークの展開・具体的な事例
- (9)～(10)・当事者活動とその支援
- (11)～(12)・家族に対する支援
- (13)～(17)・コミュニティワークの定義と原則・コミュニティワークの展開プロセス・コミュニティワークの課題・ボランティア活動
- (18)～(21)・ケアマネジメントの歴史的背景・ケアマネジメントの定義と構成要素・精神障害者に対する福祉サービスとしてのケアマネジメントの特徴・ケアマネジメントのプロセス・具体的な事例
- (22)～(23)・チームアプローチと連携・チームアプローチにおける精神保健福祉士の役割
- (24)～(25)・スーパービジョンの意義と構造

履修上の留意点

- ・精神保健福祉論、精神医学を履修済みの前提で授業を進めます。
- ・グループでの演習をとり入れるので、話し合い、発表、レポートがあります。
- ・演習毎のレポート、平常点（出席状況）

成績評価の方法
教科書／テキスト

『精神保健福祉援助技術各論』（中央法規）2,500円

『精神保健福祉援助技術演習』（中央法規）

履修コード	073401
科目名	環境心理学
担当者名	林 久美

講義の到達目標(ねらい)

私たちがとりまく「環境」とは？
 実にさまざまな要素からなる「環境」。室内、建築、都市、いろいろな尺度で環境は捉えることができる。そのなかで私たちの生活は存在し、人間と環境は常に相互に影響を与え合っている。
 人間がより豊かで多様な関わりを持てる環境を作るために、人間が環境をどのように知覚・認知しているか、あるいは環境における人間行動・生態など、人間が本能的に持つ性質を実証的に明らかにする観察・実験例（環境行動研究：Environment-Behavior Studies）をもとに、それを基盤とした人間の観点に基づく環境デザインの理論的背景を得ることを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1) 環境心理学の概観・問題意識
 ・環境デザインの意義、近代建築の功罪、建築計画学と環境心理学
- 2) 人間の心理・行動とそのデザインへの応用
 ・環境と行動・環境のアフォーダンス、プロクセミクス・パーソナルスペース、テリトリー・ディフェンシブルスペース、空間の知覚・認知、ウェイファインディング
- 3) 建築計画学における環境心理研究・実践
 ・住まいと環境心理学・都市と環境心理学・学ぶ場と環境心理学・病院と環境心理学・仕事の場と環境心理学

履修上の留意点

日常生活に関連する事柄が多いので、日頃から自身の行動、周辺環境との関わりについて興味を持ってのこと。

成績評価の方法
参 考 書

- レポートによる。
- ・日本建築学会編：人間環境学、朝倉書店、1998
 - ・高橋鷹志、長澤泰、西出和彦編：シリーズ<人間と建築>1 環境と空間、朝倉書店、1997
 - ・ジョン・ラング著、高橋鷹志監訳「建築理論の創造 建築デザインにおける行動科学の役割」鹿島出版会（1992）
 - ・高橋鷹志+チーム EBS 編著：環境行動のデータファイル—空間デザインのための道具箱一、彰国社、2003

社福

履修コード	091001
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美

講義の到達目標(ねらい)

社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといつてよい。

講義の内容／
授業スケジュール

このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。

年間の具体的な講義スケジュールは、(1) 現代日本の労働・雇用問題 (5回)、(2) 社会政策、労働関係、労働組合の理論 (5回)、(3) 戦後日本の労使関係史 (6回)、(4) 福祉国家の歴史と理論 (3回)、(5) 日本型福祉の現実 (3回)、(6) 現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回) を予定している。

履修上の留意点

受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法
参 考 書

期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。
 講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>

講義の到達目標(ねらい)

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。

労働者に降りかかるさまざまな事象は、最近雇用関係法領域において顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容／授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入りロー採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

準備学習

テキストを読むこと。新聞を読むことなどです。現代雇用問題にかかわる新書なども読んでください。

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価がつきません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価します。

追試験は実施します。

教科書／テキスト

指定教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法Ⅰ [第2版]』(エイデル研究所 2010)。もとより、これ以外でもかまいませんが、相談して下さい。

参考書

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの(法律改正や制定があるので特に注意)。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

社福

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	松前 龍宜

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、前期にミクロ経済学、後期にマクロ経済学の基礎理論を学び、ミクロ・マクロの経済政策が、どのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。講義方針として、表とグラフの直観的理解に加え、簡単な数式モデルを使って論理的にも理解してもらうこととする。

講義の内容/
授業スケジュール

- (前期)
1. ガイダンス、テキストと成績評価。
 2. 需給分析・余剰分析Ⅰ (第1章)
 3. 需給分析・余剰分析Ⅱ (第1章)
 4. 需給分析・余剰分析Ⅲ (第1章)
 5. 市場への政府介入Ⅰ (第2章)
 6. 市場への政府介入Ⅱ (第2章)
 7. 公共事業と競争政策Ⅰ (第3章)
 8. 公共事業と競争政策Ⅱ (第3章)
 9. 公共事業と競争政策Ⅲ (第3章)
 10. 外部性Ⅰ (第4章)
 11. 外部性Ⅱ (第4章)
 12. 外部性Ⅲ (第4章)
 13. 公共財 (第4章)

(後期)

1. マクロ経済指標と国民経済計算 (第1章)
2. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅰ (第7章)
3. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅱ (第7章)
4. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅲ (第7章)
5. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅳ (第7章)
6. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅴ (第7章)
7. インフレ・デフレと失業Ⅰ (第8章)
8. インフレ・デフレと失業Ⅱ (第8章)
9. インフレ・デフレと失業Ⅲ (第8章)
10. インフレ・デフレと失業Ⅳ (第8章)
11. 成長理論Ⅰ (第6章)
12. 成長理論Ⅱ (第6章)
13. 成長理論Ⅲ (第6章)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

数学の知識は特に必要としない。

試験60%、レポート40%で評価する。

岩田規久男、飯田泰之著、『ゼミナール経済政策入門』(2006)、日本経済新聞社、ISBN: 4-532-13310-6

参 考 書

ミクロ経済学:武隈慎一、(1999),『ミクロ経済学』,新世社

マクロ経済学:N. グレゴリー・マンキュー、足立ほか訳、(2008),『マンキューマクロ経済学Ⅰ 入門編』,東洋経済新報社

そ の 他

板書による講義形式である。

社福

履修コード	067121
科目名	ソーシャルワーク演習
担当者名	川上 ^{かわかみ} 富雄 ^{とみお}

講義の到達目標(ねらい) 本学では、「相談援助演習」を「ソーシャルワーク演習」及び「社会福祉援助技術演習Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅱ」の3科目に分けて指導することとしています。

ソーシャルワーク演習では、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換等を踏まえ、実習を想定した具体的な課題別相談援助事例を取り上げて学び、社会福祉士に求められる総合的・包括的な援助について実践的に習得します。

講義の内容/
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2～13. 事例研究(知的障害者、社会的排除、児童虐待、高齢者虐待、DV、低所得者、ホームレス、がん告知患者、HIV感染者、危機状態にある利用者の権利擁護活動、施設福祉の相談援助事例、地域福祉の基盤整備と開発に関する相談援助事例などを、現場実践者からの話題提供等に基づき学ぶ)

14. 総まとめ1(社会福祉士として必要な倫理とは何か)
15. 総まとめ2(今後の学習において体得すべき知識・技術は何か)

なお、この授業は変則的な開講形態を採用しています。詳しくは初回の授業で説明します。

履修上の留意点

受講の条件として、前期の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

単位取得のためには、授業への出席が必須となる。また、指定された発表を行うこと、平常点、及び課題レポートを総合して評価する。

教科書/テキスト

特に指定しません。必要な資料を随時配布します。

参 考 書

『社会福祉士実践事例集Ⅱ』(社団法人日本社会福祉士会編・中央法規)

そ の 他

その他、授業のなかで随時指示します。

この授業は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。この授業の単位未修得者は、翌年度の社会福祉援助技術現場実習Ⅱ・Ⅲ、精神保健福祉援助実習の履修は認められません。

社福

履修コード	067141
科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅰ
担当者名	川上 ^{かわかみ} 富雄 ^{とみお}

講義の到達目標(ねらい)

- ・社会福祉援助技術現場実習の意義の理解
- ・社会福祉専門職の業務の理解
- ・社会福祉施設・機関の特徴・役割の理解
- ・配属実習に向けた心構え/倫理観の形成
- ・各自の配属実習希望分野の明確化

講義の内容/
授業スケジュール

この授業では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解するとともに、社会福祉専門職の業務、社会福祉施設・機関の特徴・役割について理解を深めます。また、この授業は配属実習を含む社会福祉援助技術現場実習Ⅱの事前学習であるため、配属実習に向けた心構え/倫理観の形成を目指し、また各自の配属実習希望分野を明確にします。

授業形態としては、ビデオ教材の視聴、グループディスカッション、課題学習、プレゼンテーションなどを組み合わせて行います。

また、この授業において、配属実習のスクリーニングが実施されます。なお、この授業は変則的な開講形態を採用しています。詳しくは初回の授業で説明します。

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。原則として、無断欠席は認められません。

成績評価の方法

出席、レポート、授業への参加状況等により選抜試験の受験資格を得、それに合格することが必要です。

教科書/テキスト

特に指定しません。必要な資料を随時配布します。

参 考 書

授業のなかで随時指示します。

そ の 他

この授業は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。この授業の単位未修得者は、翌年度の社会福祉援助技術現場実習Ⅱ・Ⅲ、精神保健福祉援助実習の履修は認められません。

履修コード	058451
科目名	家族とジェンダーの社会学A
担当者名	松信 ひろみ

講義の到達目標(ねらい) 本講義のテーマは、現代の結婚と家族にかかわる諸現象や問題を、社会的な観点から考察することである。統計的なデータから、さまざまな現象や問題についての現状を読み取り、その現状を社会的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容／授業スケジュール 授業の前半では、家族社会学の基本的な考え方を解説し、近代家族から現代家族への変遷の過程について説明する。授業の後半では、現代家族をめぐる具体的な現象や問題を取り上げ、各々について統計的なデータなども用いて現状の解説と社会的な観点からの検討を行う。具体的には、未婚化・晩婚化の進展、離婚の増加、少子・高齢化、共働き家族の仕事と家庭生活の調和の問題などを取り上げて検討してゆく。

- 第1回 家族変動と家族のゆくえ
- 第2回 家族機能の変化
- 第3回 ライフコースと家族
- 第4回 ネットワークと家族
- 第5回 新しい家族のかたち①事実婚や同性婚
- 第6回 新しい家族のかたち②ステップ・ファミリー
- 第7回 恋愛と結婚①現代の結婚
- 第8回 恋愛と結婚②シングルライフ
- 第9回 性別役割分業と家族
- 第10回 少子化と子育て支援①現代の少子化
- 第11回 少子化と子育て支援②子育て支援
- 第12回 高齢化と介護、看取り
- 第13回 家族の中での暴力
- 第14回 ストレスとしての家族
- 第15回 まとめ

成績評価の方法 平常点(出席・コメントペーパー)30%、レポート70%

教科書／テキスト 増子勝義編著『新版新世紀の家族さがし・おもしろ家族論』学文社、2007

参 考 書 なお、新版が出版されれば、そちらを採用するので、開講時に指示する

履修コード	058711
科目名	犯罪と逸脱の社会学A
担当者名	岡邊 健

講義の到達目標(ねらい) 最初に、「犯罪と逸脱の社会学」の基本的な考え方、方法等について概観し、つぎに、わが国の刑事司法のプロセスや官庁統計でみた犯罪動向を概説します。

その上で近年の研究動向をふまえて、ドメスティック・バイオレンス、貧困問題など、今日の逸脱・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討します。

犯罪を含む各種の社会問題について、ステレオタイプに陥ることなく、社会的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいです。

講義の内容／授業スケジュール 準備学習 (1) 逸脱の社会学とは何か (2~3) 逸脱の社会学の方法 (4~5) 官庁統計でみた犯罪の動向と現状 (6~8) 刑事司法のプロセス (9~14) 今日の逸脱・社会問題研究の論点 (15) まとめ

新聞に目を通すことにより、現在問題になっている犯罪・逸脱現象や社会問題に関する知識を得ておくことは、有益な事前学習となります。また、教科書は比較的平易な文体で書かれているので、早めに関心のある章に目を通しておくことをおすすめします。

履修上の留意点 成績評価の方法 YeStudy(駒澤大学のeラーニングシステム)を利用します。詳細は、初回の講義で説明します。期末試験(5割)、講義内で提出を求める課題(5割)により評価します。詳細は、初回の講義で説明します。

教科書／テキスト 矢島正見他編『改訂版よくわかる犯罪社会学入門』(2009年刊、学陽書房、1995円、ISBN:9784313340183)

参 考 書 下記のほか、講義の中で随時紹介します。デュルケム(宮島喬訳)『自殺論』(訳1985年刊、中央公論社、980円、ISBN:4122012562)

小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)

河合幹雄『日本の殺人』(2009年刊、筑摩書房、819円、ISBN:9784480064882)

湯浅誠『反貧困——「すべり台社会」からの脱出』(2008年刊、岩波書店、777円、ISBN:9784004311249)

阿部彩『子どもの貧困——日本の不公平を考える』(2008年刊、岩波書店、819円、ISBN:9784004311577)

そ の 他 後期に開講される「犯罪と逸脱の社会学B」もあわせて履修することをおすすめします。

履修コード	058721
科目名	犯罪と逸脱の社会学B
担当者名	おかべ たけし 岡邊 健

講義の到達目標(ねらい)

最初に、社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など、犯罪・非行の主要な説明理論を概説し、ついで、ラベリング論をはじめとする「犯罪研究における視点の転換」の態様について紹介します。その後、今日のが国の犯罪動向を、犯罪報道の諸問題とあわせて検討した上で、少年非行言説、高齢者による犯罪など、今日の犯罪研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討します。

犯罪・非行問題について、ステレオタイプに陥ることなく、社会学的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいです。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～6) 犯罪・非行の説明理論(社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など) (7～9) 犯罪研究における視点の転換(ラベリング論、ボンド理論など) (10～14) 今日の犯罪研究の論点(犯罪報道、少年非行言説、高齢者の犯罪など) (15) まとめ

準備学習

新聞に目を通すことにより、現在問題になっている犯罪・逸脱現象や社会問題に関する知識を得ておくことは、有益な事前学習となります。また、教科書は比較的平易な文体で書かれているので、早めに関心のある章に目を通しておくことをおすすめします。

履修上の留意点
成績評価の方法

YeStudy(駒澤大学のeラーニングシステム)を利用します。詳細は、初回の講義で説明します。期末試験(5割)、講義内で提出を求める課題(5割)により評価します。詳細は、初回の講義で説明します。

教科書/テキスト

矢島正見他編『改訂版よくわかる犯罪社会学入門』(2009年刊、学陽書房、1995円、ISBN:9784313340183)

参考書

下記のほか、講義の中で随時紹介します。
河野義行ほか『報道は何を学んだのか——松本サリン事件以後のメディアと世論』(2004年刊、岩波書店、504円、ISBN:4000093363)

浜井浩一・芹沢一也『犯罪不安社会——誰もが「不審者」?』(2006年刊、光文社、777円、ISBN:4334033814)

鮎川潤『新版 少年非行の社会学』(2002年刊、世界思想社、1995円、ISBN:4790709442)

小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)

日本犯罪社会学会編『犯罪からの社会復帰とソーシャル・インクルージョン』(2009年刊、現代人文社、2415円、ISBN:9784877984045)

その他

前期に開講される「犯罪と逸脱の社会学A」もあわせて履修することをおすすめします。

社福

履修コード	067241・067251・067271・067281
科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅱ
担当者名	荒井 浩道・伊藤 秀一・東條 光雅・長尾 謙治

講義の到達目標(ねらい) 社会福祉援助技術現場実習Ⅱでは、社会福祉援助技術現場実習Ⅰでの学習内容を受け、相談援助実習を行うに際しての事前指導、実習中の巡回指導、実習終了後の継続指導（体験発表、実習レポート原稿作成等）を行う。これらの指導を通じ、次の諸点を体得することが教育目標及び達成課題となる。

講義の内容／
授業スケジュール

- ①個別指導及び集団指導を通じ、相談援助実習の体系及び意義を理解する。
- ②実習事前指導（実習先で必要な介護・保育等の体験学習、相談援助技術及びその知識の再確認、現場体験プレ学習）を通じ、実習先で必要とされる相談援助の知識・技術・福祉倫理（個人情報保護法を含むプライバシー保護と守秘義務）について理解する。
- ③各自が実習計画において実習課題として取り上げた内容について、現場体験を踏まえながら個別具体的に理解・解決し、自らの専門知識・技術の実践的再確認を行う。

(1) 実習事前オリエンテーション (2) 実習におけるプライバシー保護・守秘義務に関する説明と実例研究、実習記録ノートの書き方に関する説明と質疑応答、実例の提示 (3～6) 実習計画の作成 (7～9) 相談援助技術の再確認及び介護・保育等の体験実習(車いす・介護用ベッドを用いたの実技指導) (10～11) 見学実習及び現場体験学習(実習先訪問) (12～21) 各自の実習体験発表 (22～25) テーマ別体験発表 (26～29) 実習体験個別フィードバック(実習評価の提示、課題の整理など) (30) 授業及び実習の評価全体総括会

(実習科目の性格上、授業スケジュールは進度に応じて若干の調整を行う場合がある)
※実習巡回指導は、各自の配属実習中に、実習先への個別訪問として行う。
※実習総括りレポート原稿作成は、実習終了者から順に、個別指導として行う。

準備学習

福祉系のドキュメンタリー番組等で実際の福祉現場の様子・動向を押さえるなど、口頃から関心をもたれたい。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。
授業への出席状況・個別発表状況とレポート原稿提出、及び実習先での勤務状況・評価表等を総合的に評価する。

教科書／テキスト

参考書

開講時に指示する。
『社会福祉士実践事例集Ⅱ』（社団法人日本社会福祉士会編・中央法規）

社福

履修コード	067261
科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅱ
担当者名	桐原 宏行

講義の到達目標(ねらい)

社会福祉援助技術現場実習Ⅱでは、社会福祉援助技術現場実習Ⅰでの学習内容を受け、相談援助実習を行うに際しての事前指導、実習中の巡回指導、実習終了後の継続指導（体験発表、実習レポート原稿作成等）を行う。これらの指導を通じ、次の諸点を体得することが教育目標及び達成課題となる。

- ①個別指導及び集団指導を通じ、相談援助実習の体系及び意義を理解する。
- ②実習事前指導（実習先で必要な介護・保育等の体験学習、相談援助技術及びその知識の再確認、現場体験プレ学習）を通じ、実習先で必要とされる相談援助の知識・技術・福祉倫理（個人情報保護法を含むプライバシー保護と守秘義務）について理解する。
- ③各自が実習計画において実習課題として取り上げた内容について、現場体験を踏まえながら個別具体的に理解・解決し、自らの専門知識・技術の実践的再確認を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

（１）実習事前オリエンテーション （２）実習におけるプライバシー保護・守秘義務に関する説明と実例研究、実習記録ノートの書き方に関する説明と質疑応答、実例の提示 （３～６）実習計画の作成 （７～９）相談援助技術の再確認及び介護・保育等の体験実習（車いす・介護用ベッドを用いての実技指導） （１０～１１）見学実習及び現場体験学習（実習先訪問） （１２～２１）各自の実習体験発表 （２２～２５）テーマ別体験発表 （２６～２９）実習体験個別フィードバック（実習評価の提示、課題の整理など） （３０）授業及び実習の評価全体総括会

（実習科目の性格上、授業スケジュールは進度に応じて若干の調整を行う場合がある）

※実習巡回指導は、各自の配属実習中に、実習先への個別訪問として行う。

※実習総括りポート原稿作成は、実習終了者から順に、個別指導として行う。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」及び「ソーシャルワーク演習」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。

成績評価の方法

授業への出席状況・個別発表状況とレポート原稿提出、及び実習先での勤務状況・評価表等を総合的に評価する。

教科書／テキスト

開講時に指示する。

参考書

『社会福祉士実践事例集Ⅱ』（社団法人日本社会福祉士会編・中央法規）

社福

履修コード	067621
科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅲ
担当者名	長尾 謙治・荒井 浩道・伊藤 秀一・川上 富雄・桐原 宏行・東條 光雅

講義の到達目標(ねらい)

社会福祉援助技術現場実習Ⅲでは、福祉現場において、実習指導者および実習担当教員のもとで、次の諸点を体験的かつ実践的に習得することが教育目標及び達成課題となる。

- ①社会福祉援助技術の実際や具体的内容、福祉現場の抱える課題・各専門職の職務・福祉倫理等について、福祉現場における直接経験学習に基づいて総合的に把握する。
- ②社会福祉士としての資質と職業倫理、他の専門職との連携のあり方、自己に求められる今後の学習課題等を実践的に把握する。福祉現場において、実習指導者のもとで、相談援助の知識及び技術について具体的に指導を受けるとともに、社会福祉士としての資質と職業倫理、他の専門職との連携のあり方、自己に求められる今後の学習課題等を実践的に把握する。

講義の内容／
授業スケジュール

本科目は福祉現場における体験学習であり、各実習先での180時間以上にわたる実習の中で実習指導者による指導を受け、主として次のような内容・方法で、社会福祉士に求められる知識・技術を習得していくことになる。

- （１）利用者とその関係者・施設・職員・地域住民やボランティアとのコミュニケーション技術の習得
- （２）利用者のニーズの理解と需要の把握、個別支援計画の作成実習
- （３）相談援助面接への同席等による個別援助技術の実践的理解
- （４）実習先における集団援助技術の取り組みに関する実践的理解
- （５）実習先における地域社会への働きかけに関する実践的理解
- （６）他職種の実務内容や管理運営面・職員就業規則等に関する実務の把握・他職種連携（チームアプローチ）の実際の把握、チームの一員としての役割・責務の自覚的理解
- （７）実習巡回指導による学生の課題達成状況の確認及び実習先との指導上の連絡調整
- （８）帰校日指導による学生の実習状況の確認、個別指導

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。

成績評価の方法

実習への出席状況、実習巡回指導時の実習指導者からの所見、帰校日指導への出席状況、実習評価表の評価内容を総合的に評価する。

教科書／テキスト

開講時に指示する。

参考書

『新・社会福祉施設現場実習指導マニュアル』（全国社会福祉協議会）

履修コード	067641・067651・067661・067671・067681
科目名	社会福祉援助技術演習 I
担当者名	荒井 浩道・長尾 譲治・村田 一昭・讃岐 真佐子・川上 富雄

講義の到達目標(ねらい) 本学では、相談援助演習をソーシャルワーク演習及び社会福祉援助技術演習 I・社会福祉援助技術演習 II の3科目に分けて指導することとしている。社会福祉援助技術演習 I では、社会福祉援助技術演習 II と合わせ、ソーシャルワーク演習の様々な事例研究で学んだ相談援助技術について、主としてロールプレイによる実技指導の形式で体得することを授業の主な目的としている。

講義の内容／
授業スケジュール
(相談援助の基本)
(1～3) 自己覚知 (4～5) 基本的コミュニケーション技術 (6～8) 基本的面接技術
(課題別相談援助演習の実技指導)
(9～20) 様々なケースに関する相談援助演習(児童虐待、障害者の自立、DV、ホームレス、危機状態にある利用者の権利擁護など、各種相談援助のロールプレイ)
(集団援助技術の実技指導)
(21～25) 集団援助技術の立案・実践・振り返り(ロールプレイ)
(地域福祉の基盤整備と開発に関する実技指導)
(26～29) 地域援助技術の実技指導(ロールプレイ)
(総まとめ)
(30) 相談援助実習(社会福祉援助技術現場実習 III) 後における各自の援助技術・知識に関する体験の交流

社福 履修上の留意点 社会福祉援助技術演習 I と II は2時限連続の授業として開講している。したがって、日程・各回のテーマは I と II では同一となり、それぞれのテーマについて、より深く実技指導を行う。
なお受講の条件として、前期の「社会福祉援助技術現場実習 I」及び「ソーシャルワーク演習」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法 クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。
単位取得のためには、授業への出席が必須となる。また、ロールプレイ(実技指導)への参加状況、平常点、及び課題レポートを総合して評価する。

教科書／テキスト
参 考 書 開講時に指示する。
『社会福祉士実践事例集 II』(社団法人日本社会福祉士会編・中央法規)

履修コード	068041・068051・068061・068071・068081
科目名	社会福祉援助技術演習 II
担当者名	荒井 浩道・長尾 譲治・村田 一昭・讃岐 真佐子・川上 富雄

講義の到達目標(ねらい) 本学では、相談援助演習をソーシャルワーク演習及び社会福祉援助技術演習 I・社会福祉援助技術演習 II の3科目に分けて指導することとしている。社会福祉援助技術演習 II では、社会福祉援助技術演習 I と合わせ、ソーシャルワーク演習の様々な事例研究で学んだ相談援助技術について、主としてロールプレイによる実技指導の形式で体得することを授業の主な目的としている。

講義の内容／
授業スケジュール
(相談援助の基本)
(1～3) 自己覚知 (4～5) 基本的コミュニケーション技術 (6～8) 基本的面接技術
(課題別相談援助演習の実技指導) (9～20) 様々なケースに関する相談援助演習(児童虐待、障害者の自立、DV、ホームレス、危機状態にある利用者の権利擁護など、各種相談援助のロールプレイ)
(集団援助技術の実技指導)
(21～25) 集団援助技術の立案・実践・振り返り(ロールプレイ)
(地域福祉の基盤整備と開発に関する実技指導)
(26～29) 地域援助技術の実技指導(ロールプレイ)
(総まとめ)
(30) 相談援助実習(社会福祉援助技術現場実習 III) 後における各自の援助技術・知識に関する体験の交流

履修上の留意点 社会福祉援助技術演習 I と II は2時限連続の授業として開講している。したがって、日程・各回のテーマは I と II では同一となり、それぞれのテーマについて、より深く実技指導を行う。
なお受講の条件として、前期の「社会福祉援助技術現場実習 I」及び「ソーシャルワーク演習」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法 クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。
単位取得のためには、授業への出席が必須となる。また、ロールプレイ(実技指導)への参加状況、平常点、及び課題レポートを総合して評価する。

教科書／テキスト
参 考 書 開講時に指示する。
『社会福祉士実践事例集 II』(社団法人日本社会福祉士会編・中央法規)

履修コード	068501
科目名	精神科リハビリテーション学
担当者名	城田 晴夫

講義の到達目標(ねらい)

この授業では、通年を通して精神科リハビリテーションに必要な視点、どう関わっていったら良いのか、精神科リハビリテーションでは、精神疾患をどのように捉えているのか、そして精神科リハビリテーションとは何かを講義していきます。

講義の内容／
授業スケジュール

精神科で働いていけるように、臨床現場の経験を活かして、知識を覚える授業というよりも、実際に「わかる」授業を展開していきたい。その為、当事者の方の体験記も読んでもらうこととなります。

履修上の留意点

前期（2～10）は、精神医学の歴史からスタートして、精神科リハビリテーションでは精神疾患をどのように捉えているかを扱い、その為にどのような基本的なアプローチをとるのかを説明する。（11～15）は、臨床心理学的な視点を扱って、いかに信頼関係を築いていくのかを扱う。

後期は、（16～22）で、関係の築き方を扱い、（23～30）で、障害について、精神科リハビリテーションとは何かを扱っていく。特に通年で「心理社会的リハビリテーション」を理解します。

実習等で授業を止むを得ず欠席した場合は必ず出席した学生より尋ねて講義内容を空白にしないようにしてもらいたい。毎回どれも重要な内容ばかりで、講義は連続ものなので出来る限り休まないように心懸けてほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席重視とレポート提出そして、学期末試験の3本立てで評価します。

国家試験を受験する学生は「精神科リハビリテーション学（中央法規）」を必ず買うこと。教科書については、講義の初日で説明します。但し、中心は授業で配布するプリントが中心になると思います。

社福

履修コード	068601
科目名	精神保健福祉援助演習
担当者名	佐藤 光正

講義の到達目標(ねらい)

精神保健福祉士は、精神障害者の保健福祉に関する専門的な知識及び技術をもって、精神障害者の社会復帰、社会参加や自立を促進する相談業務等を担う。そのための具体的な援助技術の習得等を中心に演習を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

精神保健福祉援助実習に必要な演習を行う。

- (1) オリエンテーション
- (2)～(3) 利用者の理解
- (4)～(7) コミュニケーション技術
- (8)～(11) ケースワーク援助
- (12)～(14) グループワーク援助
- (15) 前期まとめ
- (16)～(19) コミュニティワーク援助
- (20)～(26) ケアマネジメント援助
- (27)～(29) 自己点検と自己理解
- (30) 後期まとめ

履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。なお履修にあたっては、予め許可された者（前年度に「精神保健福祉援助実習」履修のスクリーニングを受けて許可された者）のみとなる。

成績評価の方法
教科書／テキスト

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況等）を中心に総合的に評価する。

特に指定しない。

参 考 書

必要に応じて随時紹介する。

履修コード	068701
科目名	精神保健福祉援助実習
担当者名	佐藤 光正

講義の到達目標(ねらい)	実習は、精神保健福祉士をめざす者にとって大事な体験学習となる。そこでは、まず第一に現場の状況を知りそこで展開される現場での援助とこれまで学習してきた知識としての援助を結びつけて体験的に習得する必要がある。そして自己理解を深めることで、今後自分がめざす精神保健福祉士(精神保健福祉領域のソーシャルワーカー)の基礎を体験的に学ぶ。
講義の内容/ 授業スケジュール	実習に必要なこと、また実習の振り返りをおして学びを深める。 (1) オリエンテーション (2)～(4) 実習計画書作成 (5)～(29) 実習報告と振り返り 精神障害者と精神医療の理解、○PSW業務の理解、○援助関係のあり方についての洞察 (30) まとめ
履修上の留意点	すでに社会福祉全般の科目及び精神保健福祉に関する基礎的な科目を修めていることを前提とする。なお履修にあたっては、前年度のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。また授業および実習への主体的な参加が必須であることはいうまでもない。
成績評価の方法	授業での平常点(出席状況、授業態度、課題提出状況)もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で“ほう(報告)、れん(連絡)そう(相談)”をしながら実習が行われたか、また実習先の評価等も総合的に評価する。
社福 教科書/テキスト 参 考 書	特に指定しない。 必要に応じて随時紹介する。

專 門 教 育 科 目

(7) 心 理 學 科

心理

履修コード	070901
科目名	心理学概論
担当者名	間島 ^{まじま} 英俊 ^{ひでとし}

講義の到達目標(ねらい) 心理学が人間の心の理解を科学的に究明する学問のひとつである。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じである。講義では、諸君らがその目的を考えるために、心理学の各領域の基本的事実を、わたしたちの日常生活の中から説明していきます。

講義の内容／
授業スケジュール

ガイダンス

- 1 ひととなりを考える：パーソナリティ心理学
- 2 自己から自己へのタイムトラベリング：発達心理学
- 3 “こころ”のゆきづまり：臨床心理学
- 4 人と人との絆：社会心理学、家族心理学
- 5 みること・きくこと：知覚心理学
- 6 学ぶこと・考えること：学習心理学、認知心理学
- 7 ことばとコミュニケーション：言語心理学

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行います。

履修上の留意点

この講義は卒論、修論のデータ収集に率先して協力します。調査・実験協力者となることにより、次に諸君らの卒論における実施者としての姿勢に備えるためです。

成績評価の方法

3分の2以上の出席は必須です。基本的には12月の最終講義時間にて実施される授業時間内試験(定期試験と同価値)にて8割、残り2割は実験・調査参加並びに課題により評価される。

教科書／テキスト

中村昭之編『心理学概説』八千代出版

参 考 書

講義にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席した者への後日配布はしないので、友人に願うかコピーにて補充のこと。

履修コード	071001
科目名	心理統計学
担当者名	宇佐美 ^{うさみ} 慧 ^{さとし}

講義の到達目標(ねらい) この講義の目的は、様々な学問分野において必要不可欠である統計学の中でも、特に心理学を含めた人文科学系のデータを扱う為の技術・理論である心理統計学の基礎を学ぶことである。

講義の内容／
授業スケジュール

指定の教科書と講師の方から配布されるプリントを中心に、講義形式でその内容を解説しながら、心理統計学的概念の理解を、データの読み取りや簡単な計算演習を織り交ぜて進めていく。前期における講義は概ね以下の順序に基づいて進める。

第1回 心理学と統計学(ガイダンス)

第2—4回 1つの変数のデータの記述：尺度水準と尺度変換・代表値・散布度

第5—7回 2つの変数のデータの記述：共分散・相関係数・連関計数、および復習

第8回 中間試験(レポート)

第9回 標本と母集団の関係

第10—13回 正規分布と標準正規分布・標準誤差の解釈・推定と推定量

第14回 これまでの復習

第15回 期末試験

履修上の留意点

後期では前期と同様に教科書とプリントを用いながら、統計的仮説検定や、より実践的なデータ解析を行う予定である。

成績評価の方法

簡単な計算演習を幾らか行う都合で、電卓が必要になることがある為、各自用意しておく。

前期と後期それぞれ、中間試験と期末試験の結果(4:6)に基づいて成績評価を行う。中間試験はレポート形式で行う予定である。

教科書／テキスト

山田剛史・村井潤一郎 よくわかる心理統計 ミネルヴァ書房 2800円
4-623-039999-4

参 考 書

南風原朝和 心理統計学の基礎 有斐閣アルマ 2310円 978-4641121607

心理

履修コード	071101・071201・071301
科目名	コンピュータ実習
担当者名	大塚 秀治・佐藤 理晴

講義の到達目標(わらい)

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、心理学を専攻する大学生にとってのコンピュータの活用技術は今後の実験や実習等を行う上で最低限習得しなければならない重要なスキルである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験していると思うが、本講義では心理学を学ぶ大学生に求められるコンピュータの利用法を徹底的に習得することを目標とする。従って、コンピュータ操作に関して高校卒業レベルの者が、独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う内容となる。さらに、実習を通じて自分の得た結果や事実、考えをまとめて発表するための方法を習得する。

講義の内容／
授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。概要はおおむね以下の通りである。

- ・パソコンの基本操作
- ・タッチタイピングの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・文書作成の基本、レポート形式の文書作成 (MS - Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS - Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (プレゼンテーションの基礎技術)
- ・電子のコミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (WWW の利用法、マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎知識

詳細スケジュール

- 01回目 : オリエンテーション 教材、資料の配布
- 02回目 : コンピュータの基本操作 タッチタイプ練習の準備
- 03回目 : 日本語入力とワープロによる文書作成の基本
- 04～05回目 : 日本語ワープロ応用技術 (図表の挿入、書式設定など)
- 06回目 : インターネットの仕組みと注意・電子メールの利用法と注意
- 07～08回目 : プレゼンテーションの技術
- 09回目 : コンピュータの基本原理 (ファイル構造とデータの内部表現など)
- 10～13回目 : プレゼンテーション演習
- 14回目 : 前期テスト プレゼンテーション課題提出
- 15回目 : 心理学でよく使うデータ量の計算方法
- 16回目 : 表計算ソフトの基本操作
- 17～21回目 : 実験データの分析1
- 22～25回目 : 総合課題解説
- 26～27回目 : 実験データの分析2
- 28回目 : 期末試験 総合演習課題提出

履修上の留意点

年間30回の授業時間では学習時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となる。この科目では、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センターを利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。総合情報センターの利用資格が必須である。入学時のオリエンテーションで必ず利用資格の交付を受けること。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席点とはならない。なおこの科目は必修科目であるため1年次に単位を取得しておかなければ上級学年で履修できる科目が制限される場合がある。1年次に取得できるように努力されたい。

教科書／テキスト

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意してくること。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。

参 考 書
そ の 他

授業中に最新のものを指示する。
パソコンを独自に購入するのであれば Windows 系のパソコン (Windows - XP や Windows - 7 など) で Microsoft Office 2007 が導入されているものを購入するとよい。詳細や注意事項については開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディアは心理学科が用意し、開講時に配布するので各自が事前に用意するものは無い。

心理

履修コード	071401・071501・071601
科目名	心理学基礎実験
担当者名	佐藤 理晴・加藤 博己・中村 道子・堀内 正彦

講義の到達目標(ねらい)

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から5つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容／
授業スケジュール

各課題において学ぶ測定法・領域・キーワードは、以下の通りである。なお、各課題に共通して、分析には統計解析ソフトを用いる。

好悪判断 測定法：一対比較法，領域・分野：嗜好傾向の調査，キーワード：心理尺度構成

心的回転 測定法：反応時間測定，領域・分野：認知，キーワード：イメージ

暗記学習 測定法：系列予言法，領域・分野：記憶（系列学習），キーワード：系列位置効果

ミューラー・リエル錯視 測定法：調整法，領域・分野：知覚（錯視），キーワード：主観的等価値

鏡映描写 測定法：作業制限法，領域・分野：学習（感覚運動学習），キーワード：反復効果，両側性転移

履修上の留意点
成績評価の方法

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

出席状況（遅刻は2回で1回分の欠席扱い）、5課題分の実験レポート、実験参加回数を、合わせて総合的に評価する。なお、成績評価についてはオリエンテーションの時間に詳しく説明する。

教科書／テキスト
参 考 書

心理学研究室編『心理学基礎実験テキスト』を配布する。

日本心理学会編『執筆・投稿の手びき2005』を配布する。

心理

履修コード	071701
科目名	心理学研究法
担当者名	小野 浩一 <small>おの こういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

現代の科学的心理学の知識は、思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（リサーチクエスチョン）の設定—特定の研究デザインによるデータの収集—データの分析—結果の公表という一連のステップによって成り立っている。この講義の到達目標は、心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを実践的に理解し、3年次以降に履修する心理学実験演習I～IX、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させるための基盤的知識を習得することである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを実施する。

講義の内容／
授業スケジュール

以下の内容を実際の授業日数に配分して講義する。

1. イントロダクション：心理学における研究とは
2. 心理学の対象と方法：歴史の変遷
3. データの種類とさまざまな研究方法
4. 研究の公表方法—学会発表と論文：文献の種類・論文引用の方法
5. 心理学関係の学術論文とそのデータベース：伝説の Psychological Abstract
6. データベース利用の実際：図書館による文献検索の講習（実習）
7. 観察法：観察法のいろいろ
8. 観察の手順①：問題の設定と標的行動の選択、標的行動の定義
9. 観察の手順②：観察データの選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
10. 観察記録の方法①：事象記録・持続時間の記録・潜時記録
11. 観察記録の方法②：間隔記録・瞬時タイムサンプリング
12. 観察法の実際（実習）
13. 信頼性と妥当性：考え方と算出法
14. 観察データの系列分析
15. 参加観察法とフィールドワーク
16. 実験法：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
17. 要因決定実験—さまざまな実験例の検討①
18. 関数決定実験—さまざまな実験例の検討②
19. 現象の規定要因：実験変数と剰余変数
20. 実験変数の統制：独立変数と従属変数
21. 剰余変数の統制：ランダムとカウンターバランスの理論と実際
22. 実験デザイン：多標本実験デザインと単一被験体法
23. 準実験：事前事後デザイン
24. 対応のない1要因デザイン・対応のある1要因デザイン
25. 2要因の実験計画と分散分析の実際（実習）
26. 単一被験体法：ABA・多層ベースライン・条件交替・基準変更
27. 心理テストの考え方：項目反応理論と内的整合性
28. 心理テストの作成（実習）
29. 質問紙調査の方法
30. 質問紙調査の分析

成績評価の方法

出席と定期試験とレポート（授業期間中に複数回提出）による総合評価。評価に占める試験の成績の割合は70%とする。

教科書／テキスト

使用しない。講義の概要を記したプリントと資料を配布する。

心理

履修コード	071801
科目名	禅心理学
担当者名	ちほら ただし 茅原 正

講義の到達目標(ねらい)

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 東洋の心理学の特質
2. 禅と心理学
3. 東洋的行法の研究－日本・外国－
4. 禅瞑想の心理・生理学的研究
5. 調身・調息・調心
6. 「普勧坐禅儀」考
7. 禅とコトバ、心理論理
8. 「空」の立場
9. 「有時」－存在と時間－
10. 華嚴の世界観
11. 唯識の心理学

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。特に指定しない。

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版局）

春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）

児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）

その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

そ の 他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

心理

履修コード	075901
科目名	演習
担当者名	いほらき ひろこ 茨木 博子

講義の到達目標(ねらい)

本演習では、各受講生の卒業論文のテーマに即した個別および演習形式による指導を行い、論文を完成させることを目的とする。その他、グループワークとして集団精神療法の一つであるサイコドラマを実施し、日頃の対人関係やより良い人間関係について考え、討議する。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～14) 卒業論文の構想発表（研究のテーマ設定、研究計画など）および研究計画の実行に関する指導、助言。グループワークによる対人関係の学習 (15) 卒業論文の中間発表 (16～30) 論文の完成へ向け、結果（データの整理と分析）、考察、論文の書き方の留意点などを指導、助言。グループワークによる対人関係の学習

履修上の留意点

自分の研究に協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが論文作成に大切である。

成績評価の方法
参 考 書

卒業論文作成に取り組む態度（出席も含む）によって評価する。

随時紹介する。

履修コード	076001
科目名	演習
担当者名	茅原 正

講義の到達目標(ねらい)	卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。 後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。 (スケジュール) 1～2 ガイダンス 3～5 卒論構想発表 6～8 論題決定 9～11 データの収集分析 12～13 中間報告 14～18 論文指導・中間報告 19～23 論文指導 24～28 まとめ。
履修上の留意点	前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。 後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。
成績評価の方法	出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

履修コード	076201
科目名	演習
担当者名	永田 陽子

講義の到達目標(ねらい)	本演習は、卒業論文を完成させることを最終目標としています。従って、各受講者が卒業論文作成のための文献研究、実験・調査の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を習得することが本演習の目的です。
講義の内容／ 授業スケジュール	各受講者の論文テーマに即した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していきます。受講者は各自のテーマについて、個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見や討論などを通じて、論文の完成を高めていくことになります。
履修上の留意点	各受講者の卒業論文の研究に基づく面接を随時行います。
成績評価の方法	演習時における年間を通じた研究姿勢によって評価します。
参 考 書	必要な参考図書および文献を演習時に随時提示します。

心理

履修コード	076301
科目名	演習
担当者名	小野 浩一

講義の到達目標(ねらい)	行動分析学についての最新の成果を学ぶとともに、受講者各自の卒論テーマに則した研究を推進する。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。授業では、基本的文献を題材に関連する諸問題について各自が考え討論することで、行動分析学について深い理解を得ることを目標とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	正規の時間は演習形式の授業を行う。卒論についての指導は、各受講生の研究の進展に合わせて個別面接形式で行う。
成績評価の方法	出席と平常点によって評価する。
参 考 書	以下の学術雑誌を参照のこと 行動分析学研究 Journal of the Experimental Analysis of Behavior Journal of Applied Behavior Analysis

履修コード	076401
科目名	演習
担当者名	たにくち やすとみ 谷口 泰富

講義の到達目標(ねらい) 本講は、主として卒業論文に関する実践的研究、データの解析方法やその解釈、及び研究の位置づけなどについて学びます。そして最終的には科学的論文の初歩としての卒業論文を実際に完成させることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 『卒業論文作成カルテ』に従い、学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的な指導を行います。そのためには当該時間内だけの指導のみでは不十分ですので、学生と相談の上、別の時間割を編成しそこで個別指導を行います。

(1) オリエンテーション、(2～4) 資料の分析と解釈及び個人面談、(5～6) 結果の表記法及び個人面談、(7～9) 第1回卒業論文点検、(10～11) 文献研究のまとめ方及び個人面談、(12～14) 第2回卒業論文点検、(15～16) 研究結果と考察及び個人面談、(17～19) 第3回卒業論文点検、(20) 引用文献の書き方、(21～23) 第4回卒業論文点検、(24～30) 卒業論文最終点検(個人指導)

履修上の留意点 研究テーマにより個別指導が中心となります。従って、週2回以上の指導を受けることが義務となります。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得ますので留意してください。遅刻や欠席については厳しく指導します。

成績評価の方法 課題報告やレポート及び卒業論文の質的側面から評価します。

教科書／テキスト 『卒業論文作成カルテ』を配布します。

参考書 随時紹介します。

履修コード	076501
科目名	演習
担当者名	まじま ひでとし 間島 英俊

講義の到達目標(ねらい) 本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題(卒論テーマの決定)、問題(文献研究)、目的・方法(研究計画とその実施)、結果・考察(研究結果の分析、議論)のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容／授業スケジュール 基本的には受講者各自の研究テーマに基づいて、上述のスケジュールにそった具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点 演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

成績評価の方法 出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

履修コード	076601
科目名	演習
担当者名	やまさ しゅう 八巻 秀

講義の到達目標(ねらい) 卒論の作成に向けて、そのテーマに関連している臨床心理学関連の文献について学ぶ機会を提供します。それらの臨床心理学に関する文献を読みまとめるという作業を通して、卒論作成のためのスキルも獲得することを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール (1) オリエンテーション、(2～4) 卒論研究の計画の確認、(5～7) 中間報告、(8～13) 個別研究指導面接①ならびに全体会、(14～18) 予備実験あるいは調査に関する報告と討議、(19～23) 個別研究指導面接②ならびに全体会、(24～28) 本実験・調査の計画と実施に関する報告と討議、(29～30) 卒業論文最終報告会

成績評価の方法 出席・授業への取り組み姿勢などを総合的に評価します。

教科書／テキスト 必要に応じて授業中に指示します。

参考書 必要に応じて授業中に指示します。

心理

履修コード	076611
科目名	演習
担当者名	有光 興記

講義の到達目標(ねらい) 臨床心理学(認知行動療法、応用行動分析)、社会心理学領域の研究を実施し、卒業論文の完成を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール 1. テーマ設定、2. 文献の収集、3. 研究計画の立案、4. 研究の実施、5. 研究結果の分析、6. 研究結果の報告および考察、7. 卒業論文の作成、8. 口頭発表を順に行う。そのために、演習中の指導および個別指導を行っていく。すべての段階で、発表を行い、質疑応答を通じて問題点、改善点を明確にして、より良い研究を目指す。

履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書 前期では、テーマ設定(1-2回)、卒業論文関連論文とテーマの発表(3-10回)、結果の分析(11-15回)を行う。後期では、結果の発表(16-23回)、卒業論文本文作成の指導(24-28回)、口頭試問の準備(29-30回)を行う。

演習時間外に、卒業論文に関して面接時間をとることがある。
課題への取り組み、発表内容、研究への姿勢によって総合的に評価する。
適宜、紹介する。

履修コード	076621
科目名	演習
担当者名	鈴木 常元

心理

講義の到達目標(ねらい) 受講生が各自の関心のあるテーマについて、卒業論文を作成する。そのために、受講生は、研究の進行状況について定期的に発表を行い、指導を受けることになる。

講義の内容／
授業スケジュール 研究テーマを決定し、それに関する文献を収集・整理し、研究計画を立てる。それに基づいて、実験あるいは調査をおこない、収集したデータを分析する。これらの成果をまとめ、卒業論文を作成する。また、プレゼンテーションの方法についても身につける。

履修上の留意点
成績評価の方法 授業時間以外にも、研究指導がおこなわれることがある。
授業への出席と授業へ取り組む姿勢によって評価する。

履修コード	071901
科目名	人格心理学
担当者名	鈴木 常元

講義の到達目標(ねらい)

人格心理学の理論とその背景について総合的に学ぶ。前期は、人格心理学の歴史的背景について解説した後、人格心理学のさまざまな理論を紹介していく。すなわち、精神分析的アプローチ、行動主義的アプローチ、現象学的アプローチである。後期には、人格形成に重点をおいた発達心理学的な立場を紹介し、最後に、人格の問題を異常心理学の観点から考える。それぞれの理論は、孤立したものではなく、お互いに関連し合っていることを、授業を進める中で理解してほしい。また、人格という複雑なトピックをさまざまな立場から総合的に理解することを目指し、心理学以外の分野の理論等も随時参照するので、幅広い知識を持った学生の受講を歓迎する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 ガイダンス
- 第2～3回 人格の定義・人格の研究史
- 第4～5回 精神分析的アプローチ
- 第6回 行動主義的アプローチ
- 第7～8回 現象学的アプローチ
- 第9回 その他のアプローチ
- 第10～11回 類型論と特性論
- 第12回 実験人格心理学
- 第13回 人格心理学と臨床現場
- 第14回 テスト
- 第15回 前期のまとめ
- 第16～17回 発達と人格－乳幼児期
- 第18回 発達と人格－青年期
- 第19回 発達と人格－成人期・老人期
- 第20回 発達と人格－家族
- 第21回 人格の正常・異常－統合失調症
- 第22回 人格の正常・異常－躁うつ病
- 第23回 人格の正常・異常－神経症
- 第24回 人格の正常・異常－人格障害
- 第25～26回 人格の正常・異常－多重人格
- 第27回 人格とストレス
- 第28回 人格のアセスメント
- 第29回 テスト
- 第30回 全体のまとめ

成績評価の方法
参 考 書

学期末のテストの成績に、授業への出席を加味し、総合的に評価する。
 人格心理学－パーソナリティと心の構造 鈴木乙史・佐々木正宏 河出書房新社
 入門人格心理学 加藤義明・中里至正(編) 八千代出版
 性格心理学への招待 詫摩武俊ら サイエンス社

心理

履修コード	072001
科目名	学習心理学
担当者名	小野 浩一 <small>おの こういち</small>

講義の到達目標(ねらい)

心理学という「学習」は単にものを覚えたり技術を習得することではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数ヶ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は異なっている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲を聴くようになった」、「朝早く起きるようになった」、「最近友達に会うのがつらい」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学は人間の行動の成り立ちや行動変化の原因を科学的に明らかにする。さらに望ましい行動を増加させたり問題行動を減少させたり、あるいは快適な社会関係を築く方法を探究する。従って、人間や人間の行動そのものに興味がある人はもちろんだが、将来ヒューマンサービスの仕事を指す人にとっても学習心理学の知識は必須である。本講義の目的は、行動変化の2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけの理論と方法を理解し、それにより人間に対する科学的かつ複眼的な視点を身につけることである。

授業は学習心理学の基礎的な知識から興味深い最新の研究までAV機器やビデオを併用して分かりやすく説明するつもりであるが、しかし、もともとテクニカルターム(専門用語)が多く内容も多岐にわたる領域なので、少しばかりの覚悟は必要である。

講義の内容/
授業スケジュール

以下の内容を実際の授業日数に配分して講義する。

1. イントロダクション—学習とは何か、行動とは何か
2. 学習心理学の思想的背景と歴史的背景
3. 行動についての基礎知識：5つの前提
4. 2種類の行動がある：レスポナント行動とオペラント行動
5. レスポナント行動(刺激に誘発される行動)の学習の仕組み
6. レスポナント条件づけの基本現象：条件反射、般化、弁別、消去
7. 最新の研究論文からレスポナント条件づけについて学ぶ
8. 複合する刺激関係の学習
9. 新しい発見と考え方：味覚嫌悪学習、関係性の学習
10. 評価条件づけ、免疫機構の条件づけ、意識、感情の条件づけ
11. オペラント行動(結果によって変化する行動)の学習の仕組み
12. オペラント条件づけの基本：効果の法則と行動随伴性(強化と弱化)
13. 新しい行動の獲得：動物実験に学ぶ
14. 行動を変化(増加、減少、維持、消失)させる手続き：強化スケジュール
15. 動物行動と人間行動の違い：スケジュール感受性
16. 行動の自発頻度を減少させる手続き①：消去
17. 行動の自発頻度を減少させる手続き②：分化強化を中心として
18. 逃避行動と回避行動：負の強化
19. 嫌悪刺激による行動の変化：弱化
20. 刺激性制御：行動は時と場所そして相手や状況によって変化する
21. 弁別に関する諸現象
22. 高次の刺激性制御：条件性弁別と概念
23. ことばと行動—言語はオペラント行動である：言語行動の種類
24. ことばの獲得：話し手と聞き手
25. ことばの働き：意味と理解—刺激等価性と刺激関係性
26. ことばによる行動の制御：「通行禁止！」忠告、貼り紙はなぜ効かない？
27. 選択行動—今の5万円と3年後の15万円では？
28. 不確実場面における行動：確率学習、迷信行動
29. 社会的行動：模倣と観察学習
30. 応用行動分析：オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席と定期試験による総合評価。評価に占める試験の成績の割合は80%とする。
小野浩一著『行動の基礎—豊かな人間理解のために』(培風館)

心理

履修コード	072101
科目名	社会心理学
担当者名	有光 興記

講義の到達目標(ねらい) 社会心理学と臨床—カウンセリング心理学の接点に焦点をあて、感情的、行動的問題の発現・診断・治療の過程を理解するために必要な社会心理学の基本的概念および理論について論ずる。

講義の内容／授業スケジュール 他者の「まなざし」をきっかけに、我々は恥、あがり、罪悪感を経験し、行動を制御するが、過度な内気から人づきあいが困難になることがある。また、他者への意識は、化粧、ダイエットなどの外見への配慮や様々な自己アピールにつながる。前期(1-15回)では、こうした他者の存在と我々の心理状態の関係について講義を行う。また、集団と組織の中での心理状態についても触れる。後期(16-30回)では、主として「あがり」をテーマに、社会的状況、感情状態、その結果の関係を明確にして、対策としてストレスマネジメント、メンタルトレーニング、認知行動療法について解説する。

成績評価の方法 筆記試験を前期、後期に行う。また、授業中の課題の提出を評価する。試験と課題提出を総合して成績評価をする。

教科書／テキスト 永房典之編『なぜ人は他者が気になるのか』(金子書房)

参考書 有光興記・菊池章夫編『自己意識的感情の心理学』(北大路書房)

その他 授業の方法は講義とする。

履修コード	072201
科目名	臨床心理学
担当者名	八巻 秀

講義の到達目標(ねらい) 臨床心理学は、様々な臨床現場における心理臨床・心理援助活動を通して生まれてきた学問であり、現在も発展し続けています。つまり「心理臨床の実践による実践のための学問」と言っても過言ではないでしょう。本講義では、このような臨床心理学とは、どのようなものなのか、どのようにして誕生し、どのように発展してきたのか、現在どのような現場で実際に活かされているのか、などという点について概観していきます。

講義の内容／授業スケジュール (1)オリエンテーション、(2～5)臨床心理学の全体像：臨床心理学とは何か・臨床心理士について、(6～8)臨床心理学の学問的背景：臨床心理学の誕生と発展・心理臨床学と臨床心理学・日本の臨床心理学の現状、(9～16)臨床心理学の様々な理論：精神分析学・分析心理学・個人心理学・家族療法・ブリーフセラピーなど、(17～27)心理臨床活動の実際：学校における心理臨床・医療における心理臨床・福祉領域における心理臨床・司法領域における心理臨床、(28～30)臨床心理学の展開：心のケア活動・社会における心理臨床・これからの心理臨床

準備学習 授業上の留意点 特に必要はありません

本来、授業とは、教員から学生への一方的通行では、成立しえないもので、学生と教員との相互作用・やりとりが起ることが大切です。そのためにも、ぜひ、積極的・主体的に授業に参加しようとするだけでなく、教員と一緒に授業を作っていくこととする心構えを持って臨んでください。

成績評価の方法 授業中にほぼ毎回実施するミニレポートと定期試験により、総合的に評価します。

教科書／テキスト 必要に応じて授業中に紹介していきます。

参考書 下山晴彦 編『よくわかる臨床心理学 (改訂新版)』2009年刊(ミネルヴァ書房)3,150円、ISBN：9784623054350 NDC分類：

心理

履修コード	072301
科目名	生理心理学
担当者名	谷口 泰富

講義の到達目標(ねらい) 生理心理学は行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を研究する科学である。本講は、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール (1)精神身体観とその歴史、(2)神経系の構造と機能、(3～5)中枢神経系と末梢神経系、(6～9)大脳皮質の構造と機能、(10～11)大脳辺縁系の機能、(12)下位脳幹の主たる機能(13～15)自律神経系と体性神経系、(16～18)感情・情動と生体反応、(19～30)生理心理学的測定(脳波、呼吸運動、心臓・血管運動、皮膚電気活動)とその心理学的活用

履修上の留意点 (1)中学校程度の理科的教養が欲しい。視聴覚教材を使用した授業や、実習形式の授業があるので、遅刻や欠席をしないでください。

(2)オリエンテーションは4月8日(木)のみとし、4月15日(木)より正規の講義を始めますので、履修する人は必ず4月15日(木)から出席してください。

成績評価の方法 出席、レポート及び定期試験により総合的に評価します。なお、レポート未提出の場合及び実習に出席していない場合は成績評価をしません。

教科書／テキスト 教科書は使用しませんが、参考資料(プリント)を配布します。

参考書 講義の内容に応じて随時参考書等を紹介します。

履修コード	072401
科目名	認知心理学
担当者名	ながた ようこ 永田 陽子

講義の到達目標(ねらい)	心理学においては心理学的事実をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、本講義では、認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場をとる。認知とは生体の能動的な情報収集・処理の活動であり、このような観点から心理学的事実を捉えようとする心理学は認知心理学とよばれる。本講義では、基礎心理学において重要な視点のひとつである認知心理学に対する基本的知識を習得することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	本講義では、認知心理学の歴史を概観した上で、環境からの情報取得（感覚・知覚）と保持（記憶、知識の表象）について、これらの発達過程や障害についての認知科学の研究動向を解説するとともに、実験のデモンストレーションを紹介する。 1. 認知とは何か(第1回)、2. 認知心理学の歴史的背景(第2～3回)、3. 視覚システム(第4～7回)、4. パターン認知(第8～10回)、5. 物体認知(第11～13回)、6. 顔の認知(第14～15回)、7. 注意(第16～19回)、8. 意識(第20～22回)、9. 心的表象(第23～26回)、10. 記憶(第27～30回)
成績評価の方法 参 考 書	筆記試験、出席状況、実験参加状況などを考慮し、総合的に評価する。 特定の教科書を使用することはないが、適宜、必要な参考図書および文献を紹介する。

履修コード	072501
科目名	発達心理学
担当者名	まじま のぶとし 間島 英俊

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、エリクソン、E.H.の発達理論を中心に展開する。エリクソンのアイデンティ理論は、諸君等の年齢が青年期後期に相当するこの時期に、自己確立を発達課題となす。彼は、人間の一生を誕生から死に至るまでのライフサイクル理論、ならびにそれに対応する心理・社会的危機論にて説明をしている。ライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去—現在—未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では、各ライフサイクル上にて起こるライフイベント、ならびにトピックスを紹介しながら展開していく予定である。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. 発達理論（認知発達、社会的学習理論、精神分析理論、現象学派理論） 2. 胎児期 3. 乳児期（信頼 VS 不信） 4. 歩行期（自律 VS 恥・疑惑） 5. 学童前期（積極性 VS 罪悪感） 6. 学童中期（勤勉性 VS 劣等感） 7. 青年前期（集団同一性 VS 疎外） 8. 青年後期（個人的同一性 VS 役割拡散） 9. 成人前期（親密生 VS 孤立） 10. 成人中期（生殖性 VS 停滞） 11. 成人後期（統合 VS 絶望） 12. エピローグ（今日の問題に対する発達心理学の応用として） 以上のスケジュールにそって講義を進めていきます。
成績評価の方法	3分の2以上の出席を必須とします。成績は最終講義にて行う授業時間内試験（定期試験と同価値）にて評価します。また、成績が合格点に達しない者には出席も補助的評価としてなされるが合格を保証するものではない。
教科書／テキスト 参 考 書	教科書は指定しません。 参考書は資料としてプリントされたものの中で紹介します。なお配布されたプリントは後日再配布しませんので、休む場合は、友人に頼むなり各自で補うこと。

心理

履修コード	072601
科目名	心理学実験演習Ⅰ
担当者名	小室 央允

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

心理学的研究の実験および調査において必要とされる技術の習得を目的とする。
実験2回と調査2回を実施し、各課題終了後にレポートを提出する。

前期：実験Ⅰ EEG バイオフィードバック (t検定等)
実験Ⅱ 呼吸活動 (分散分析等)

後期：調査Ⅰ 不安に関する調査 (項目分析等)
調査Ⅱ 性格に関する調査 (相関分析等)

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席 (2/3以上)、レポート (計4回)、授業態度、実験参加者カードにより評価する。
資料を配布する。

履修コード	072701
科目名	心理学実験演習Ⅱ
担当者名	深堀 友寛

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、実験 (調査) 計画を作成して実際にデータを得るまでの一連の手続きについて学び、そして、結果の分析に必要な統計学的手法を、「実験計画はどのように組み立てようか?」、「何故この統計学的方法なのか (この方法ではいけないのか)?」、「分析結果の数値はそれぞれ何を意味しているのか?」等について、具体的なデータに基づいて教授していく。学生諸氏が4年次になって頭を抱えることが想像されそうな統計学上の疑問も、本講義を受講することで解決の一助になってくれるものと期待している。そうあってくれれば幸甚である。

講義の内容/
授業スケジュール

前期に実験2回、後期に調査2回の計4課題の実習を実施し、各課題の終了時にレポートを課す。
第1回～第3回：実験 (及び調査) の進め方に関する概略の説明、SPSS(PASW)によるデータ入力の仕方、度数分布表とカイ二乗検定。第4回～第7回：相関係数、偏相関係数、単回帰分析、重回帰分析。第8回～第12回：分布の正規性の検定、等分散仮説の検定、t検定 (1標本、独立、対応)、Wilcoxon検定、Kruskal-Wallis検定。第13回～第15回：分散分析 (一元配置、二元配置、繰り返し)、Friedman検定、多重比較の方法。第16回～第23回：因子分析 (因子抽出の基準、回転の種類、因子抽出法、共通性、因子寄与率)。第24回～第26回：項目分析 (Cronbachの α 係数、上位下位分析)。第27回～第30回：その他の多変量解析 (判別分析、主成分分析、共分散構造分析等)。

履修上の留意点
成績評価の方法

履修する上でエクセルを用いてデータ入力ができる事を受講の最低要件とする。
3分の2以上の出席、授業態度及び傾聴姿勢、各実験・調査終了後のレポート (計4回) により総合的に評価する。なお実験参加者カードに記載される実験協力回数も加点項目として考慮する。

教科書/テキスト
参 考 書

その都度プリントを配布する。
山田剛史・村井潤一郎 「よくわかる心理統計」 ミネルヴァ書房 2,800円+税 ISBN4-623-03999-4
山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎 「Rによるやさしい統計学」 オーム社 2,700円+税 ISBN978-4-274-06710-5
橘敏明 「確率化テストの方法」 日本文化科学社 3,500円+税 ISBN4-8210-6213-5

履修コード	072801
科目名	心理学実験演習Ⅲ
担当者名	中澤 世都子・久保 尚也

講義の到達目標(ねらい)

心理学研究における基礎的知識と技術を習得する目的で、実験及び調査の結果をもとに研究レポート作成までのプロセスを学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

前期に実験2回、後期に調査2回、計4種の課題に対しレポートを課す。

前期

① オリエンテーション (1回目) ②実験Ⅰ (2～8) ストループ課題 ③実験Ⅱ (9～15) 概念弁別

後期

①オリエンテーション (16～18回目) ②調査Ⅰ (19～24) 性格に関する調査：相関分析等③調査Ⅱ (25～30) 対人関係に関する調査：クラスター分析、分散分析等

成績評価の方法

2/3以上の出席、レポート4本 (授業時間内提出)、授業及び実験への参加状況などから総合的に評価する。

教科書/テキスト
参 考 書

随時紹介する。
随時紹介する。

履修コード	072901
科目名	心理学実験演習Ⅳ
担当者名	佐藤 理晴

講義の到達目標(ねらい)	知覚的、内的イメージを用いた実験、調査に必要な技術(刺激の作成、統計パッケージソフトの使用方法など)の習得を目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	実験2回、調査2回を実施する。各実験(調査)では、手続きの確認、統計処理の結果などの中間発表を行い、終了時にレポートを課す。 実験1:運動刺激に対するフラッシュラグ効果(t検定、分散分析) 調査1:心像鮮明性と認知課題成績の関連(t検定) 実験2:視覚探索(分散分析) 調査2:自伝的記憶における自己視点と他者視点(多次元尺度構成)
履修上の留意点	コンピュータを利用する作業が多いので、バックアップ用メディア(USBフラッシュメモリなど)を毎回持参すること。実験の刺激作成にはSuperLab、Visual C++、統計処理にはSPSSを使用する予定だが、予備知識は不要である。
成績評価の方法	レポート(4回)、出席日数(2/3以上を必須条件とする)および授業態度、心理学実験演習以外の実験への参加回数を評価の対象とする。レポート評価は最終的な成果物だけでなく、途中経過の発表・提出状況も考慮して行う。
教科書/テキスト 参 考 書	なし(資料は授業時間内に配布する) 授業時間内に紹介する。

履修コード	073001
科目名	心理学実験演習Ⅴ
担当者名	桑原 正修

講義の到達目標(ねらい)	心理学における研究、ならびにその方法論について、実習を通して経験的に理解し、研究を行う上で必要なスキルを習得する。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期に実験2回、後期に調査2回の計4課題の実習を行い、各課題終了時にレポートを課す。各課題は、a)問題の設定(文献検索、先行研究の概観を含む)、b)実験・調査手続きの決定と準備(実験ではプログラミングを含む)、c)データの整理と分析(相関分析、因子分析等、統計的処理を含む)、d)レポートの作成・発表、により構成される。 (1)オリエンテーション、(2~8)実験1:「概念学習」、(9~15)実験2:「評価条件づけ」、(16~22)調査1:「セルフ・コントロール尺度」、(23~30)調査2:「価値割引検査」
成績評価の方法	出席状況(2/3以上)、各課題終了時のレポート(計4回)、心理学実験への参加状況により総合的に評価する。
教科書/テキスト 参 考 書	適宜、資料を配布する。 適宜、紹介する。

心理

履修コード	073101
科目名	心理学実験演習Ⅵ
担当者名	<small>かるべ ゆきひろ</small> 軽部 幸浩

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、生理心理学的測定の技法、機器の操作方法および資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講生の数によっては、内容を一部変更することがあり得る。したがって、受講者が決定した後に、年間実習計画予定表を決定する。生理測定（2回）、調査実習（2回）を予定している。

【前期】

- ・授業内容の説明と YeStudy の登録 (1)
- 1) 開閉眼条件における脳波を測定 (2～12)
 - ・測定機器：脳波計
 - ・指標：脳波
 - ・内容：開閉眼状態での脳波測定
 - ・分析：二元配置分散分析
- 2) 脳波と性格特性 (13～15)
 - ・内容：MPI 得点と脳波出現率の関係
 - ・分析：相関分析, MPI の多変量解析

【後期】

- 3) 慣れと脱慣れ (1～11)
 - ・測定機器：ポリグラフ
 - ・指標：皮膚電気活動, 呼吸, 心電図
 - ・内容：異なる刺激による慣れと脱慣れを測定
 - ・分析：t 検定
- 4) 慣れと不安 (12～15)
 - ・内容：STAI と自律神経系活動の関係
 - ・分析：相関分析, 重回帰分析

準備学習

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、2年次までに生理心理学を受講した学生の履修が望ましい（編入学生、3年次への転部・転科生は除く）。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、危険防止のためにも細心の注意を持って実習に臨むこと。また、生理学的測定のためだけに特別に用意されている実験室へ入室するので、機器の破損、危険回避の観点から、服装についてもきちんとした装いで受講することが望ましい。

成績評価の方法

受講生をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験をおこなう。したがって、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

提出されたレポート、出席回数、授業および実験への参加状態、実習態度、服装などから総合的に評価する。

教科書／テキスト
参考書
その他

随時、最新のものを紹介する。

随時、最新のものを紹介する。

実験データの分析・統計処理は、「MS-Excel」と「Excel 統計」または、「SAS」、「SPSS」等の統計パッケージを使用しておこなう。そのため、回数程度は、実験室を離れコンピュータ教場で授業をおこなうことがある。

また、卒業論文等で生理心理学的指標を用いての実験を考えている学生は、測定機器の操作方法を習得するための授業なので必ず履修すること。

【授業Web】{<http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>, <http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>}

【e-Learning】{<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>, <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>}

心理

履修コード	073201
科目名	心理学実験演習Ⅶ
担当者名	間島 英俊

講義の到達目標(ねらい) 本実験演習は発達心理学領域における研究アプローチを総合的に学ぶことを目的とする。そのために、講義内容は以下の発達に関する基礎的実験並びに調査からなる。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション(1・2回目)
演習の目的 授業スケジュール 成績評価 etc の説明
- 2 実験Ⅰ(共通) 思考の発達(問題解決; 組合せ問題)
実験 結果(信頼性分析) 実験の発表会および講評
- 3 調査Ⅰ(共通) ライフイベントに対するイメージの測定
テーマについては生と死 etc を予定
調査 結果(尺度分析法) 調査の発表会および講評
- 4 実験・調査の発表会および講評
実験Ⅰ、調査Ⅰは前期にて終了予定
- 5 調査Ⅱ(個人または共同) 結婚(結婚観、性役割態度、男女平等意 etc) に対する態度測定
テーマ設定 調査 結果(尺度分析法) 調査の発表会および講評
- 6 調査Ⅲ(個人または共同) ストレス(ストレスコーピング 対人ストレスイベント etc)
テーマ設定 調査 結果(相関分析 因子分析 信頼性分析)
調査の発表会及び講評
- 7 調査Ⅱ、Ⅲの発表論文の提出
- 8 総評

履修上の留意点
成績評価の方法

初回の演習オリエンテーションには必ず出席して、説明を聞いて履修を決めてください。
出席は10点; 2/3以上、年4回の研究発表40点、並びに発表論文提出50点をめどに評価がなされます。

教科書/テキスト
参 考 書

特に指定はしません。
教材、資料についてはその都度コピーにて配布しますし、参考図書については各実験・調査内にて紹介します。

心理

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	鶏徳 啓登

講義の到達目標(ねらい) 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

講義の内容/
授業スケジュール

- 本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。
- 1回～3回 : 行政法の意義について(法令の種別と法の解釈を含む)。
 - 4回～6回 : 行政作用と行政行為について。
 - 7回～15回 : 行政行為(特許や許可等)の意義、内容、効力について。
 - 16回～20回 : 行政上の強制手段と行政上の処罰について。
 - 21回～25回 : 国家による賠償と補償について。
 - 26回～30回 : 行政上の不服申し立てと行政事件訴訟について。

成績評価の方法
教科書/テキスト

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。
原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円 : ISBN4-313-31222-6

参 考 書

『小六法』 出版社・定価各種
塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

履修コード	058551
科目名	民法
担当者名	おおみや たかし 大宮 隆

講義の到達目標(ねらい)	民法は、我々の日常生活の基本法として、財産と家族に関する事項を規律する法律である。本講義は編別でいうと親族、相続が対象である。出生、婚姻、離婚、扶養、相続という家庭生活の中で人の一生に生起するほとんどの事柄に係わる身近な法律である。家庭裁判所調査官補試験などをを目指す人に受講を勧めます。
講義の内容／授業スケジュール	親族－①婚姻、離婚 ②親子 ③親権、後見補佐補助 ④扶養 相続－①遺言 ②法定相続 ③遺留分
準備学習 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	予習が必要である。 教科書、条文を読むこと。 出席状況と試験の成績を総合に評価を行う。 『新民法概説（3）親族・相続』（有斐閣）1,800円 ISBN4-641-11265-7
参 考 書	適宜紹介する。

履修コード	065421
科目名	障害者福祉論
担当者名	きりはら ひろゆき 桐原 宏行

講義の到達目標(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の本質及び障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解する ・障害者福祉制度の発達過程について理解する ・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者福祉に係る他の法制度について理解する
講義の内容／授業スケジュール	<p>第1回：本科目のねらい・進め方について</p> <p>第2回：障害とは何か①（身体障害の理解）</p> <p>第3回：障害とは何か②（知的障害・発達障害の理解）</p> <p>第4回：障害者福祉の理念</p> <p>第5回：障害の概念と定義</p> <p>第6回：障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢</p> <p>第7回：障害者福祉制度の発達過程</p> <p>第8回：障害者基本法</p> <p>第9回：障害者自立支援法①（制度移行）</p> <p>第10回：障害者自立支援法②（制度解説1）</p> <p>第11回：障害者自立支援法③（制度解説2）</p> <p>第12回：障害者自立支援法④（制度解説3）</p> <p>第13回：障害者福祉関連法の概要①（身体障害者福祉法、知的障害者福祉法）</p> <p>第14回：障害者福祉関連法の概要②（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、発達障害者支援法）</p> <p>第15回：授業内試験</p>
履修上の留意点	<p>本科目は、社会福祉士法の改正により変更された科目である。平成21年度以降入学者（平成20年度以降の入学者で単位未修得者も含む）で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。なお、平成20年度以前の履修者で、同一名称科目「障害者福祉論（4単位科目）」をすでに履修し単位を取得した者は再履修できないが、法改正で科目内容が改正されており、本年度の社会福祉士国家試験から「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の科目で試験が実施されるため、その対策には十分注意する必要がある。</p> <p>履修者は、「社会福祉原論」及び「社会福祉援助技術総論」の単位を取得していることが望ましい。</p>
成績評価の方法 教科書／テキスト	<p>授業内試験又はレポートの提出90％、出席点10％</p> <p>福祉臨床シリーズ編集委員会編 日比野清、大熊信成、建部久美子責任編集、『社会福祉士シリーズ14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』、弘文堂、2,625円 ISBN978-4-335-61084-4 C3347</p> <p>ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2010』、ミネルヴァ書房</p>
そ の 他	

心理

履修コード	065521
科目名	老人福祉論
担当者名	とうじよう みつまさ 東條 光雅

講義の到達目標(ねらい) 少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割(1)
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割(2)
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割(3)
- 第15回 これからの高齢者支援

心理

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆすが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

原則的には、出席点と定期試験によって評価する。
『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

参 考 書
そ の 他

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

履修コード	065621
科目名	児童福祉論
担当者名	村田 一昭 <small>むらた かずあき</small>

講義の到達目標(ねらい) 1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。
そこでこの授業は、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング(well-being)をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目標にしています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1, 子ども家庭福祉の理念
 - ① ウェルフェアからウェルビーイングへ (第1回)
 - ② 子どもの権利条約 (第2回)
 - ③ 児童福祉法の基本原理 (第3回)
- 2, 子どもと家庭をめぐる最近の動向
 - ① 少子化の動向と対策 (第4回)
 - ② 子ども虐待の実態と対応 (第5回)
 - ③ 少年非行・少年犯罪の動向と対応 (第6回)
- 3, 子ども家庭福祉の法体系
 - ① 児童福祉法 (第7回)
 - ② 児童福祉六法 (第8回)
 - ③ 関連法 (第9回)
- 4, 子ども家庭福祉の実施体制
 - ① 子ども家庭福祉行政の仕組み (第10回)
 - ② 子ども家庭福祉の実施機関 (第11～12回)
- 5, 子ども家庭福祉への歩み (第13回)
- 6, 子ども家庭福祉施策の現状と課題 (第14回)
- 7, 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際 (第15回)

履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

平常点(出席およびリアクションペーパー、課題)と期末試験にて評価をします。
高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク(第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ¥2,000
※授業内容により、プリントを配布します。

参 考 書
そ の 他

- 随時、紹介します。
- ① 授業はパワーポイントを使用
 - ② 各テーマ終了時に小テスト実施
 - ③ YeStudy 利用

心理

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義の到達目標(ねらい) 今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。労働者に降りかかるさまざまな事象は、最近では雇用関係法領域において顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容／授業スケジュール 下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

準備学習 テキストを読むこと。新聞を読むことなどです。現代雇用問題にかかわる新書なども読んでください。

履修上の留意点 出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法 成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価が付きません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価します。追試験は実施します。

教科書／テキスト 指定教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法Ⅰ [第2版]』(エイデル研究所 2010)。もとより、これ以外でもかまいませんが、相談して下さい。

参考書 概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの(法律改正や制定があるので特に注意)。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他 各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

心理

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	まつまえ たつよし 松前 龍宜

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、前期にミクロ経済学、後期にマクロ経済学の基礎理論を学び、ミクロ・マクロの経済政策が、どのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。講義方針として、表とグラフの直観的理解に加え、簡単な数式モデルを使って論理的にも理解してもらうこととする。

講義の内容／
授業スケジュール

- (前期)
1. ガイダンス、テキストと成績評価。
 2. 需給分析・余剰分析Ⅰ (第1章)
 3. 需給分析・余剰分析Ⅱ (第1章)
 4. 需給分析・余剰分析Ⅲ (第1章)
 5. 市場への政府介入Ⅰ (第2章)
 6. 市場への政府介入Ⅱ (第2章)
 7. 公共事業と競争政策Ⅰ (第3章)
 8. 公共事業と競争政策Ⅱ (第3章)
 9. 公共事業と競争政策Ⅲ (第3章)
 10. 外部性Ⅰ (第4章)
 11. 外部性Ⅱ (第4章)
 12. 外部性Ⅲ (第4章)
 13. 公共財 (第4章)

(後期)

1. マクロ経済指標と国民経済計算 (第1章)
2. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅰ (第7章)
3. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅱ (第7章)
4. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅲ (第7章)
5. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅳ (第7章)
6. 安定化政策の基礎と財政・金融政策Ⅴ (第7章)
7. インフレ・デフレと失業Ⅰ (第8章)
8. インフレ・デフレと失業Ⅱ (第8章)
9. インフレ・デフレと失業Ⅲ (第8章)
10. インフレ・デフレと失業Ⅳ (第8章)
11. 成長理論Ⅰ (第6章)
12. 成長理論Ⅱ (第6章)
13. 成長理論Ⅲ (第6章)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

数学の知識は特に必要としない。

試験60%、レポート40%で評価する。

岩田規久男、飯田泰之著、『ゼミナール経済政策入門』(2006)、日本経済新聞社、ISBN: 4-532-13310-6

参 考 書

ミクロ経済学：武隈慎一、(1999)、『ミクロ経済学』、新世社

マクロ経済学：N. グレゴリー・マンキュー、足立ほか訳、(2008)、『マンキューマクロ経済学Ⅰ 入門編』、東洋経済新報社

そ の 他

板書による講義形式である。

心理

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行

講義の到達目標(ねらい)	社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。
講義の内容／ 授業スケジュール	この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。それぞれについて、2回程度講義を行う。 1. 近代化・産業化・資本主義—労使関係の成立 2. 労使関係と生産システム (1) テーラー主義とその限界 (2) フォード主義とその意味 3. ポスト・フォード主義 (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界 (2) 雇主の戦略と新国際分業 (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化 (4) 日本の生産システム 4. グローバル化と日本的生産システム (1) グローバル化の原因と日本企業 (2) 国際移転と普遍性 5. グローバル化とサービス経済化 (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化 (2) 世界都市と移民労働者の流入 6. インフォーマル化の進展 (1) インフォーマル・セクターの拡大 (2) インフォーマル化の概念と意味
準備学習	口ごころから、新聞その他のメディアを通じて、授業で扱う問題についての知識を吸収しておくことが望ましい。
履修上の留意点	継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。
成績評価の方法	授業内で実施する小テスト(5回実施)によって、成績を評価する。出席はとらないが、小テストの成績は出席率と強い相関があることはいままでもないので、その点留意すること。
教科書／テキスト	特になし。
参考書 その他	山田信行 1998『階級・国家・世界システム—産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房 後期に隔年開講している雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい(本年度は休講)。

心理

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	深澤 弘樹

講義の到達目標(ねらい)	現代を生きる私たちにとって、世の中の出来事を知る手段としてマス・メディアはなくてはならない存在となっている。その一方で、インターネットの発達により、マス・メディアを媒介とするマス・コミュニケーション活動は日々、変化している。こうした点を踏まえ、本講義では、マス・コミュニケーションの変容過程を概観するとともに、その社会的機能について理解することを目的とする。さらには、マス・コミュニケーションと人々の社会生活、社会との関係を考察していく。また、新聞、テレビ、インターネットなどから発せられる情報を読み解くためのメディアリテラシーを身につけることも本講義の目的である。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス、第2回：マス・コミュニケーションの基礎概念、第3～4回：マス・コミュニケーション発達史、第5～7回：マス・コミュニケーションの機能、第8回：受け手の能動性、第9～10回：メディアによる世論形成、第11～12回：インターネット時代のコミュニケーション、第13～14回：メディアリテラシーを身につける、第15回：まとめ
準備学習	日頃から新聞、テレビなどから発せられる情報を漠然と受け入れるのではなく、批判精神、問題意識を持って接した上で授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	学期末試験(7割)に出席状況や小テストなどの平常点(3割)を加味して総合的に評価する。
教科書／テキスト	特不使用しない。
参考書	授業中に随時、指示する。

履修コード	058451
科目名	家族とジェンダーの社会学A
担当者名	松信 ^{まつのぶ} ひろみ

講義の到達目標(ねらい)

本講義のテーマは、現代の結婚と家族にかかわる諸現象や問題を、社会学的な観点から考察することである。統計的なデータから、さまざまな現象や問題についての現状を読み取り、その現状を社会学的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の前半では、家族社会学の基本的な考え方を解説し、近代家族から現代家族への変遷の過程について説明する。授業の後半では、現代家族をめぐる具体的な現象や問題を取り上げ、各々について統計的なデータなども用いて現状の解説と社会学的な観点からの検討を行う。具体的には、未婚化・晩婚化の進展、離婚の増加、少子・高齢化、共働き家族の仕事と家庭生活の調和の問題などを取り上げて検討してゆく。

- 第1回 家族変動と家族のゆくえ
- 第2回 家族機能の変化
- 第3回 ライフコースと家族
- 第4回 ネットワークと家族
- 第5回 新しい家族のかたち①事実婚や同性婚
- 第6回 新しい家族のかたち②ステップ・ファミリー
- 第7回 恋愛と結婚①現代の結婚
- 第8回 恋愛と結婚②シングルライフ
- 第9回 性別役割分業と家族
- 第10回 少子化と子育て支援①現代の少子化
- 第11回 少子化と子育て支援②子育て支援
- 第12回 高齢化と介護、看取り
- 第13回 家族の中での暴力
- 第14回 ストレスとしての家族
- 第15回 まとめ

成績評価の方法
教科書／テキスト

平常点(出席・コメントペーパー)30%、レポート70%
増子勝義編著『新版新世紀の家族さがし・おもしろ家族論 - 』学文社、2007
なお、新版が出版されれば、そちらを採用するので、開講時に指示する

参 考 書

適宜紹介する

心理

履修コード	058641
科目名	宗教文化論A
担当者名	芳賀 ^{はが} 学

講義の到達目標(ねらい)

この講義では宗教という人間社会にかなり普遍的な現象を取り上げ、それが、個人の精神的な支えとなり、社会の安定(および変化)に大きな役割を果たすことを社会学的に概説する。具体的には、まず、セルフ・アイデンティティの維持(または変更)とのかかわりで宗教を捉える視角を提示し、その上で、日本社会の近代化プロセスを事例として、ライフスタイルや人びとの意識の変化と新宗教の拡大との関係を分析することによって、社会と宗教との密接な結びつきを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「宗教を理解する力」の養成と向上を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) イントロダクション(2~5) アイデンティティとその揺らぎ、認知的不協和の理論と不幸の神義論、アイデンティティの社会性、アイデンティティと宗教(6~10) 新宗教とは何か: 教団ライフサイクル説、思想、組織、信者、活動(11~15) 新宗教と近代化: 幕末維新期、代表的教団としての天理教、明治末から昭和初期、敗戦直後の状況、高度経済成長期、近代化の気密室としての新宗教

履修上の留意点

結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視野に収める複眼的視角を取るよう努めてください。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学期末試験と授業期間内に提出を求めるミニレポートとの総合評定で行います。
使用しません。

参 考 書

- ・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN: 9784480082732
- ・井上順孝ほか編『新宗教事典』弘文堂、25,200円、ISBN: 9784335160189

履修コード	058651
科目名	宗教文化論B
担当者名	芳賀 学

講義の到達目標(ねらい) この講義においては、宗教という社会現象を取り上げ、それが現代の日本社会においてどのような変化・展開を遂げているかを社会的な観点から概説する。具体的には、1980年代以降の日本社会に時間空間を限定して、伝統宗教と新宗教をめぐる状況の変化(カルト問題を含む)と、宗教を名乗らない広範な精神文化(=グレーゾーン)の拡大、という両面の現象群を取り上げ、それらが私たちのライフスタイルや価値意識と密接に連動して存在することを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「現代社会と宗教とのかかわりを読み解く力」の養成と向上を目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) イントロダクション (2) 教団勢力の退潮とグレーゾーンの拡大(3~4) 1980年代以降の新宗教:「親密さ」と自己表出の欲求、3タイプの対応戦略(5~11) グレーゾーンの諸現象:自己啓発セミナー、背景としての消費社会、セルフ・ヘルプ・グループ、ネットワーク・ビジネス、エステ・サロン、占い、ヒーリング(12~13) オウム真理教とカルト問題:オウム真理教事件の概略、マインドコントロール説再考(14~15) 現代日本人のライフスタイル:その変化と特徴、パドクスとその対応

履修上の留意点

結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視覚に収める複眼的視角を取るよう努めてください。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

学期末試験と授業期間内に提出を求める課題との総合評価で行います。
使用しません。
・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN:9784480082732
・伊藤雅之・椋尾直樹・弓山達也編『スピリチュアリティの社会学』世界思想社、1,995円、ISBN:9784790710936

心理

履修コード	058711
科目名	犯罪と逸脱の社会学A
担当者名	岡邊 健

講義の到達目標(ねらい) 最初に、「犯罪と逸脱の社会学」の基本的な考え方、方法等について概観し、つぎに、わが国の刑事司法のプロセスや官庁統計でみた犯罪動向を概説します。

講義の内容/
授業スケジュール
準備学習

その上で近年の研究動向をふまえて、ドメスティック・バイオレンス、貧困問題など、今日の逸脱・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討します。
犯罪を含む各種の社会問題について、ステレオタイプに陥ることなく、社会的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいです。

履修上の留意点

(1) 逸脱の社会学とは何か (2~3) 逸脱の社会学の方法 (4~5) 官庁統計でみた犯罪の動向と現状 (6~8) 刑事司法のプロセス (9~14) 今日の逸脱・社会問題研究の論点 (15) まとめ

成績評価の方法

新聞に目を通すことにより、現在問題になっている犯罪・逸脱現象や社会問題に関する知識を得ておくことは、有益な事前学習となります。また、教科書は比較的平易な文体で書かれているので、早めに関心のある章に目を通しておくことをおすすめします。
YeStudy(駒澤大学のeラーニングシステム)を利用します。詳細は、初回の講義で説明します。
期末試験(5割)、講義内で提出を求める課題(5割)により評価します。詳細は、初回の講義で説明します。

教科書/テキスト

矢島正見他編『改訂版よくわかる犯罪社会学入門』(2009年刊、学陽書房、1995円、ISBN:9784313340183)

参 考 書

下記のほか、講義の中で随時紹介します。
デュルケム(宮島喬訳)『自殺論』(訳1985年刊、中央公論社、980円、ISBN:4122012562)
小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)
河合幹雄『日本の殺人』(2009年刊、筑摩書房、819円、ISBN:9784480064882)
湯浅誠『反貧困——「すべり台社会」からの脱出』(2008年刊、岩波書店、777円、ISBN:9784004311249)
阿部彩『子どもの貧困——日本の不公平を考える』(2008年刊、岩波書店、819円、ISBN:9784004311577)

そ の 他

後期に開講される「犯罪と逸脱の社会学B」もあわせて履修することをおすすめします。

履修コード	058721
科目名	犯罪と逸脱の社会学B
担当者名	岡邊 健

講義の到達目標(ねらい)

最初に、社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など、犯罪・非行の主要な説明理論を概説し、ついで、ラベリング論をはじめとする「犯罪研究における視点の転換」の態様について紹介します。その後、今日のわが国の犯罪動向を、犯罪報道の諸問題とあわせて検討した上で、少年非行言説、高齢者による犯罪など、今日の犯罪研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討します。犯罪・非行問題について、ステレオタイプに陥ることなく、社会学的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいです。

講義の内容／授業スケジュール

(1～6) 犯罪・非行の説明理論(社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など) (7～9) 犯罪研究における視点の転換(ラベリング論、ボンド理論など) (10～14) 今日の犯罪研究の論点(犯罪報道、少年非行言説、高齢者の犯罪など) (15) まとめ

準備学習

新聞に目を通すことにより、現在問題になっている犯罪・逸脱現象や社会問題に関する知識を得ておくことは、有益な事前学習となります。また、教科書は比較的平易な文体で書かれているので、早めに関心のある章に目を通しておくことをおすすめします。

履修上の留意点
成績評価の方法

YeStudy(駒澤大学のeラーニングシステム)を利用します。詳細は、初回の講義で説明します。期末試験(5割)、講義内で提出を求める課題(5割)により評価します。詳細は、初回の講義で説明します。

教科書／テキスト

矢島正見他編『改訂版よくわかる犯罪社会学入門』(2009年刊、学陽書房、1995円、ISBN:9784313340183)

参考書

下記のほか、講義の中で随時紹介します。
河野義行ほか『報道は何を学んだのか——松本サリン事件以後のメディアと世論』(2004年刊、岩波書店、504円、ISBN:4000093363)
浜井浩一・芹沢一也『犯罪不安社会——誰もが「不審者」?』(2006年刊、光文社、777円、ISBN:4334033814)

鮎川潤『新版 少年非行の社会学』(2002年刊、世界思想社、1995円、ISBN:4790709442)
小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)
日本犯罪社会学会編『犯罪からの社会復帰とソーシャル・インクルージョン』(2009年刊、現代人文社、2415円、ISBN:9784877984045)

その他

前期に開講される「犯罪と逸脱の社会学A」もあわせて履修することをおすすめします。

心理

履修コード	073401
科目名	環境心理学
担当者名	林 久美

講義の到達目標(ねらい)

私たちをとりまく「環境」とは？
実にさまざまな要素からなる「環境」。室内、建築、都市、いろいろな尺度で環境は捉えることができる。そのなかで私たちの生活は存在し、人間と環境は常に相互に影響を与え合っている。人間がより豊かで多様な関わりを持てる環境を作るために、人間が環境をどのように知覚・認知しているか、あるいは環境における人間行動・生態など、人間が本来的に持つ性質を実証的に明らかにする観察・実験例(環境行動研究: Environment-Behavior Studies)をもとに、それを基盤とした人間の観点に基づく環境デザインの理論的背景を得ることを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール

1) 環境心理学の概観・問題意識
・環境デザインの意義、近代建築の功罪、建築計画学と環境心理学
2) 人間の心理・行動とそのデザインへの応用
・環境と行動・環境のアフォーダンス、プロクセミクス・パーソナルスペース、テリトリー・ディフェンシブルスペース、空間の知覚・認知、ウェイファインディング
3) 建築計画学における環境心理研究・実践
・住まいと環境心理学・都市と環境心理学・学ぶ場と環境心理学・病院と環境心理学・仕事の場と環境心理学

履修上の留意点

日常生活に関連する事柄が多いので、日頃から自身の行動、周辺環境との関わりについて興味を持っていること。

成績評価の方法

レポートによる。

参考書

・日本建築学会編: 人間環境学、朝倉書店、1998
・高橋鷹志、長澤泰、西出和彦編: シリーズ<人間と建築> 1 環境と空間、朝倉書店、1997
・ジョン・ラング著、高橋鷹志監訳「建築理論の創造 建築デザインにおける行動科学の役割」鹿島出版会(1992)
・高橋鷹志+チーム EBS 編著: 環境行動のデータファイル・空間デザインのための道具箱、彰国社、2003

履修コード	073501
科目名	児童心理学
担当者名	澤田 匡人

講義の到達目標(ねらい)	小学校入学前後から思春期までを中心とした子どもについて、その心理的特徴に関する基礎的な知識の習得を目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	「1回1テーマで完結」を原則として行われます。ただし、テーマによっては2～3週に渡る場合もあります(例:「いじめ」「発達障害」)。「発達段階」や「知能」のような定番のテーマ(2～11)から、「感情」や「集団」といった対人関係の発達(12～21)、「いじめ」や「不登校」に代表される不適応の問題(22～30)に至るまで、子どもの心とその発達の変化を理解する上で欠かせないさまざまな内容を取り上げ、わかりやすく解説していきます。
履修上の留意点	授業で説明する「受講契約」(受講する上での基本的なルール)を確認してから履修するようにしてください。また、できるだけ学生の皆さんの要望に沿った授業にしていくために、簡単な感想を毎回提出してもらうことになります。
成績評価の方法 教科書／テキスト その他	授業で取り扱った内容に関する理解度の確認(穴埋め形式のテストを予定)から評価します。一切使用しません。 講義は全回に渡って「スライド」を用いて行われます。テキストやプリントの類は一切使用しませんので、投映された画面が頼りとなります。とはいえ、ノートテイクはあくまで「任意」です。スライドで呈示する内容を最小限に抑えてありますので、ノートテイクできないほどの量ではないはずです。そのため、最初は少し早いと感じるケースもあるかもしれませんが、徐々に慣れていくと思います。単位取得のためではなく純粋に心理学を楽しみながら学んでいただければ幸いです。

心理

履修コード	073601
科目名	産業心理学
担当者名	大谷 華

講義の到達目標(ねらい)	産業心理学では、組織で働いたり、購買活動を行ったりする際の人々の行動を心理学的に考えます。また、どのような組織経営が働き手の意欲を高め、生産性につながるかを研究します。そのため、産業・組織心理学とも呼ばれます。みなさんが社会人となったときに、幸せなワークライフを送り、健全な組織経営を促すための知識と視点を学びましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. ガイダンス、2. 産業・組織心理学の歴史と研究、3. 組織行動(ワークモチベーション、組織のコミュニケーション、リーダーシップ)、4. 人的資源管理(採用・面接、人事評価、キャリア発達)、5. 職場の安全衛生(能率と安全、人間工学、ストレスとメンタルヘルス)、6. 消費者行動、7. まとめ、テスト、フィードバック。受講生の関心・要望に応じて、授業内容を変更する場合があります。
成績評価の方法	前後期末に試験を行います。授業中に随時、ミニレポートとリアクションペーパーを課します。レポートとリアクションペーパーの提出・内容と試験成績を総合的に評価します。
教科書／テキスト	『よくわかる産業・組織心理学』山口裕幸・金井篤子(編)、ミネルヴァ書房

履修コード	073701
科目名	老年心理学
担当者名	<small>うえだ めぐみ</small> 植田 恵

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、生涯発達という観点を軸に、前半では、心身の加齢変化の特徴について学び、後半では、高齢者が直面する問題とそれに対する心理的援助・対応について学ぶ。特に、心理臨床の応用場面として、認知症や脳卒中の後遺症などによるコミュニケーション障害のある高齢者について、具体例を紹介しながら進める。

講義の内容/
授業スケジュール

前期
第1回—2回：少子高齢社会の到来と高齢者の現状
第3回—4回：加齢と生涯発達
第5回—6回：身体に加齢変化
第7回—9回：感覚・知覚、認知機能の加齢変化
第10回—11回：知恵と創造性
第12回—14回：パーソナリティと適応
第15回：まとめ
後期
第16回—17回：高齢者の暮らしと人間関係
第18回—19回：老年期の精神病理（1）喪失体験、孤独、死
第20回—21回：老年期の精神病理（2）自殺、うつ
第22回—25回：老年期の精神病理（3）認知症
第26回—27回：高齢者とのコミュニケーション
第28回—29回：障害をもつ高齢者に対する心理的援助と対応
第30回：まとめ

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

期末試験（後期末）および小レポート（2回）。成績の配分は、試験8：小レポート2とする。
指定しない
授業の中で随時紹介する

心理

履修コード	073801
科目名	宗教心理学
担当者名	葛西 賢太

講義の到達目標(ねらい)	<p>宗教への無関心・嫌悪感を持った人が、何かのきっかけで信仰者に生まれ変わることを回心 (conversion、入信) という。アルコール依存症からの回復と、宗教的回心とそのコントロール、死を前にしての生き方の見直しという、三つの領域を通して、回心について学ぶ。</p> <p>諸宗教における回心の事例を豊富に取り上げて検討するこの講義は、心理学的な人間理解を深める上で有意義なものとなろう。また、回心について学ぶことは、友情や恋愛や忠誠心など、宗教以外についての現代人の心理の変化を理解するにも役立つ。</p> <p>アルコール依存症は、現代人が陥りやすい病理であるが、正確に理解されていない。この病気からの回復は、生き方の大きな変化であり、宗教的回心と似ている。講義は、アルコール依存症の心身両面の病理、対人関係の病理、社会的問題等を多面的に扱う。皆さんがこれから出会うアルコール依存の友人のための予防措置的な情報提供にもなる。</p> <p>すべての講義に出席するよう努力して欲しい。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>●前期ーアルコール依存症を介して回心を知る</p> <p>1. ガイダンス、2. アルコール依存症とは何か、3. 断酒自助会の宗教的背景、4. 仲間との助け合い、5. 「底突き」と「回復」の体験</p> <p>●後期ー心理学的に回心を理解する</p> <p>6. 心理学的説明のためのモデル…多重人格・潜在意識論、洗脳論、7. 社会学的説明のためのモデル…入信の社会学、認知的不協和理論、8. 死をめぐる回心…キューブラー＝ロス、臨死体験、チベットの死者の書、9. 回心をもたらすための修行…千日回峰行、10. まとめ</p>
準備学習	テキストの読むべき箇所を事前の講義で指示するので、目を通すこと。
履修上の留意点	講義の第2回目には、テキスト『断酒』の第1章、講義3回目までに第2章には目を通しておくこと。
成績評価の方法	【履修制限について】受講希望者が多い場合は履修制限をすることがある。初回の授業で受講の可否を判定するので、必ず出席すること。
教科書／テキスト	平常点+試験。学期末のほか、前期末に試験を行う。
参 考 書	出席を考慮し、講義への建設的なレスポンスを高く評価する。
そ の 他	出席3割、平常点3割、試験4割。
	平常点には講義への e-mail 他でのコメントも加味する。
	葛西賢太『断酒が作り出す共同性』世界思想社、2000円+税、ISBN978-4-7907-1260-2
	エリザベス・キューブラー・ロス『死ぬ瞬間』中公文庫、1100円+税、ISBN-13: 978-4122037663
	ウィリアム・ジェームズ『宗教的経験の諸相』(上下)、岩波文庫。
	西田公昭『マインドコントロールとは何か』紀伊國屋書店。
	たくさん資料を読みます。参考文献や参考映画なども講義でたくさん紹介しますので、楽しみにしててください。

履修コード	073901
科目名	健康心理学
担当者名	稲松 信雄

講義の到達目標(ねらい)	<p>従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W.B.Cannon & H.Selye の学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stress を中心に Stressor Agents の認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学 (Psychoneuroimmunology) を関係づけて、最後に psycho の部分の感情に焦点をあて、無力性の情動 (Asthenic Emotion) の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は動機の階層と十牛図や、気と健康の関係、さらに V.E.Frankl や Norman Cousins の Positive Thinking の考え方、最後に長寿高齢者の良き適応例を学ぶ。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>講義内容は以下のような項目となる</p> <p>①序：健康心理学について精神活動と心の重要性 ②精神活動と身体反応との関係</p> <p>③心理学的ストレスと生理学的ストレス ④ストレスと情緒反応 ⑤情緒の生理学的機構</p> <p>⑥情緒の分類と感情の統御 ⑦情緒と精神神経免疫学 ⑧情緒と欲求との関係</p> <p>⑨感情&ストレスと健康の総括 ⑩積極思考の涵養 ⑪健康問題を扱っている著名な精神科医、ジャーナリストの思考を学ぶ ⑫長寿高齢者の良き適応を学習</p>
履修上の留意点	外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。
成績評価の方法	成績は前期は試験を実施、後期はレポート提出その両方の成績に、出席を加味する。
教科書／テキスト	(但：履修者が40名を超えた場合には授業時間の前期・後期の最終日に試験を実施する。)
参 考 書	教科書として「健康心理学：資料集」(東邦大学医学部心理学研究室編)を使用する(授業開始時に配布：実費徴収)、その他随時補助プリントを用いる
そ の 他	参考書は Robert J. Gatchel et al. 「An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY - Second Edition. I (McGraw, Inc.)
	講義を中心とするが、ビデオ、カセット、Power Point を使用する。

履修コード	074001
科目名	比較行動学
担当者名	^{いりえ なおこ} 入江 尚子

講義の到達目標(ねらい) 進化生物学の基礎と、生物の行動理解に対する進化的なアプローチの有効性を理解する。微生物から昆虫、哺乳類といった多様な生物のありようを明らかにするのに共通に用いることができる理論体系であり、ヒトもその対象として例外ではないことを実例を通して学ぶ。さらに、最新の知見に基づきヒトの進化史を再構築し、ヒトを他の動物と異ならせているユニークな特徴とは何かについて検討する。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回 : 自然淘汰による進化という考え方の基礎
 第2回 : 群淘汰説に対する批判と包括適応度
 第3～5回 : 血縁淘汰により説明される協力と攻撃のパターン
 第6～7回 : 互恵的利他行動
 第8～9回 : 進化ゲーム理論
 第10～13回 : 囚人のジレンマと実際の動物の行動
 第14～15回 : コミュニケーション信号とだまし
 第16回 : 進化理論の社会に対する影響
 第17～19回 : 形質に影響をおよぼす適応以外の要因、エボデボ革命
 第20～22回 : 親と子の対立の理論
 第23～25回 : 親の投資理論と性淘汰
 第26～28回 : ヒトの進化
 第29～30回 : 社会学習と文化的継承の認知的基盤

準備学習

授業内で紹介した関連書籍を読むことをはじめ、生物の生態や進化、ヒトの行動の生物学的な基盤について情報を収集し、関心を養う。

成績評価の方法

前期: 期末試験

後期: レポート (授業内で紹介した関連書籍を読んだ感想文)

教科書/テキスト

内田亮子『人類はどのように進化したか—生物人類学の現在』勁草書房 シリーズ認知と文化、2,800円、978-4326199426

参考書

坂口菊恵『ナンパを科学する—ヒトのふたつの性戦略』東京書籍、1,785円、978-4487802739
 リチャード・ドーキンス『利己的な遺伝子: 増補新装版』紀伊國屋書店、2,940円、978-4314010030
 長谷川寿一・長谷川眞理子『進化と人間行動』東京大学出版会、2,625円、978-4130120326

心理

履修コード	074101
科目名	精神医学
担当者名	^{よしかわ まいこ} 吉川 麻衣子

講義の到達目標(ねらい) 精神医学は医師だけに必要な知識ではありません。本講義では、将来、臨床心理・精神保健福祉・介護・社会福祉・作業療法などの分野に進む人にとって必要となる知識に重点を置き、精神医学を幅広く理解することを目的とします。

講義の内容/
授業スケジュール

〔前期〕(1) イントロダクション・講義全体の概要 (2) 脳についての話 (3-9) 主に内因による精神障害 (統合失調症・躁うつ病) についての話、及び神経伝達物質と薬物治療についての話、抑うつと自殺行動についての話 (10-15) 主に外因による精神障害 (認知症、ヘルペス性脳炎後遺症等) についての話

〔後期〕(1) イントロダクション・講義全体の概要 (2-6) 主に心因による精神障害 (不安と恐怖、いわゆる神経症、PTSD、不眠症等) についての話 (7-9) 児童・青年期精神医学 (発達障害など) についての話 (10) 性格のかたより (人格障害など) についての話 (11-15) 薬物依存、アルコール依存、病院精神医療、司法精神医療などについての話

履修上の留意点

できるだけ出席し、ノートなどをとるよう心がけてください。

成績評価の方法

出席状況とレポートで評価します。

教科書/テキスト

特別指定しません。推薦書物は授業の中で紹介します。

履修コード	074201
科目名	心理学特講Ⅰ
担当者名	澤田 匡人

講義の到達目標(ねらい)

この授業では、心理学の中でも、特に「感情心理学」や「社会心理学」の領域において主に取り上げられている概念や理論を中心に学んでいきます。さらに、卒論などの作成に必要な知識や情報を可能な限り提供することも念頭に置き、より幅広いテーマ(心理統計の基礎や応用を含む)についてオムニバス形式で授業を行っていきます。また、心理統計の解説が加わる回では、心理統計を苦手とする人にでもわかるように解説していく予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

「記憶」や「対人認知」などの心理学の基礎知識(2~11)や、「失恋」や「職業適性」といった生き方に関わる問題(12~18)、「因子分析」や「重回帰分析」に代表される多変量解析とそれを用いた研究(感情に関する研究が中心となります)(19~30)など、幅広いテーマについて紹介していきます。

履修上の留意点

授業で説明する「受講契約」(受講する上での基本的なルール)を確認してから履修するようにしてください。

成績評価の方法
教科書/テキスト

授業で紹介した内容に関するレポートによって評価します。
特にありませんが、下記の参考書があると、講義の内容を理解するのに役立つ場合があります(特に、実際に行われた研究を紹介する回を中心として)

参 考 書
そ の 他

澤田匡人 [著]『子どもの妬み感情とその対処』(新曜社) 3,938円
講義は全回に渡って「プレゼン形式」で行われます。プリントの類いは用いませので、投映された画面をノートに取る必要があります(もちろん任意です)。しかし、一度に呈示する内容をできるだけ抑えながら、「見ている飽きないプレゼン」を心がけて毎回作成しておりますので、すぐに慣れると思います。

統計がわからずに悩んでいた、卒論に向けて不安を抱えている学生さんにとって、少しでも役立つような内容にしていきたいと考えています。

心理

履修コード	074301
科目名	心理学特講Ⅱ
担当者名	坂入 洋右・中塚 健太郎・谷木 龍男

講義の到達目標(ねらい)

心身の相互作用のメカニズムを基礎として、スポーツや身体活動を通して自己の心身の状態を良好に調節する「身心のセルフコントロール」の理論と実際を理解し、身心の不調の回復およびストレスマネジメント、そして健康増進、さらにはスポーツや仕事におけるパフォーマンスの向上に役立つ理論と方法の基礎を身につける。

講義の内容/
授業スケジュール

スポーツや身体活動と心の健康の関係性を基礎として、身体活動を活用して自己の心身の状態を良好に調整する身心のセルフコントロールと、スポーツや仕事や試験などでミスを防ぎ実力発揮するための心理的スキルトレーニングに関する理論と方法を実践的に解説する。

成績評価の方法
教科書/テキスト

1~5回 : スポーツ健康心理学の概説
6~10回 : 身心のセルフコントロールの理論と実際
11~15回 : スポーツとポジティブな体験、フロー・ゾーン・至高体験
16~20回 : 心理的スキルトレーニングの理論と技法
21~25回 : スポーツにおける身体的ケア、ライフセービング・救急法
26~30回 : スポーツにおける心理的ケア、カウンセリング・コーチング
授業における提出課題の評価と出席状況を総合的に評価する。

参 考 書

指定教科書はありません。
春木豊(編)「身体心理学」川島書店
日本スポーツ心理学会(編)「スポーツメンタルトレーニング教本」大修館書店
日本ライフセービング協会(編)「サーフライフセービング教本」大修館書店

そ の 他

授業日程 : 7月30日(金)・8月2日(月)~8月6日(金)
(土・日曜日除く)の1~5時限。

履修コード	074401
科目名	心理学特講Ⅲ
担当者名	萩原 滋

講義の到達目標(ねらい)

「社会的認知とコミュニケーション」をテーマに社会心理学とメディア研究の領域で蓄積された研究成果を幅広く紹介したい。前期は、社会心理学の主流をなす理論と実証的研究の方法を学習し、後期は、メディア研究への社会心理学的アプローチについての理解を深めたい。

講義の内容／
授業スケジュール

前期は、「社会的認知」に焦点を合わせ、認知的一貫性理論や帰属理論などの理論枠組みとそれに基づく実証的研究を詳しく紹介する。後期は対人コミュニケーションからマスコミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション過程」を取り上げ、メディア・コミュニケーション研究への社会心理学的アプローチの成果を新旧取り混ぜて紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

前期と後期の試験の成績を総合して成績をつけるので、必ず2回とも試験を受けること。
前期と後期の終了時に筆記試験を行う予定。
使用しない。

唐沢稔・池上知子・唐沢かおり・大平英樹 (2001)『社会的認知の心理学—社会を描く心のはたらき』(ナカニシヤ出版) 3,000円

上瀬由美子 (2002)『ステレオタイプの社会心理学—偏見の解消に向けて』(サイエンス社) 1,300円

ロバート・B・チャルディーニ (2007)『影響力の武器 (第2版) —なぜ、人は動かされるのか』(誠信書房) 2,800円

萩原滋編著 (2007) 『テレビニュースの世界像—外国関連報道が構築するリアリティ』(勁草書房) 3,500円

萩原滋・国広陽子編著 (2004)『テレビと外国イメージ—メディアーステレオタイプング研究』(勁草書房) 3,500円

萩原滋編著 (2001)『変容するメディアとニュース報道—テレビニュースの社会心理学』(丸善) 2,400円

そ の 他

履修者数に応じて講義内容や形式を調整する。

心理

履修コード	074501
科目名	心理検査法Ⅰ
担当者名	丸茂 ひろみ・佐藤 尚代

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈投影法心理検査〉を、後期には〈知能検査とその関連領域〉を学ぶ。

前期は〈投影法心理検査〉の基本的な心構えと基礎知識を身につけることが第1の目標である。投影法検査につきものの煩雑な施行手続きや、難解ともいわれる解釈プロセスには、それぞれに意味がある。それらの基礎を身に付けながら、被検者に利益をもたらす検査施行の心構えを学ぶ。

後期は、〈知能検査とその関連領域〉では、これらの検査を理解するために検査の基礎となる知能や発達観について理解を深め、検査の基礎的な流れに触れることを目的とする。その上で、検査の有用性と限界、利用の注意点など各検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶ機会とする。

前後期共に、授業は、講師による講義に加えて、体験学習(施行実習)やグループ討論・与えられた課題に自分なりのコメントをまとめる、などの形式で進むので主体的な参加が求められる。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期)

1. 心理アセスメントとは(投影法の位置付け)
2. 各種投影法心理検査の実際(成り立ち、背景理論、適用、施行実習)
3. 心理アセスメントにおいて大切なこと

(後期)

1. 心理アセスメントについて、発達・知能検査の概要
2. 発達・知能検査の自己学習(グループ討議と発表)
3. 知能検査の施行について ～ 施行に際しての注意事項や手続きの実際、演習
4. 発達・知能検査の実際 ～ 検査の目的と検査バッテリー、検査の見方・まとめ方

履修上の留意点

履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。用具の準備は勿論のこと、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行う事も多く、時間を遵守し休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、教員に相談の上個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。また、検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法Ⅱ」の授業も併せて履修することが望ましい。(両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可。)

成績評価の方法

出席を重視する。前期・後期とも、提出物(感想文、授業ノート、レポートなど)を課する。学

教科書／テキスト
参 考 書

必要に応じて指示する。
必要に応じて指示する。

履修コード	074601
科目名	心理検査法Ⅱ
担当者名	<small>いなだみ まさはる</small> 稲富 正治・ <small>なかざわ せつこ</small> 中澤 世都子

講義の到達目標(ねらい)

臨床心理学の中で重要な位置を占める「心理検査」の対象は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性など様々で、各々の検査の理論的背景や実施方法は異なる。

本講義では、心理検査法のうち、前期には神経心理学的検査、作業検査、質問紙法検査の一部を、後期には、職業興味検査、質問紙法検査を体験し、各検査の理論的背景の理解と、実施、採点、解釈の仕方を学ぶ。

また、臨床現場での心理検査実施上の心構え、心理検査とは何か、心理検査の妥当性、信頼性、標準化、実用性などについても可能な範囲で取り扱う。

講義の内容/
授業スケジュール

(前期) MMPI、STAI、NEO、VPI、内田クレペリン精神作業検査法、Y-G、

(後期) TEG、CMI、GHQ、MAS、MPI、ベンダーゲシュタルトテスト、ペントン視知覚検査

などを学ぶ。講師の都合により、検査の内容や時期は変更になる場合がありますのでご了承ください。

履修上の留意点

(学生が受講する前に踏まえておくべき点)

前期、後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

授業では、受講生同士が検査者、被検査者の役割を交換して行うので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合には、個人の責任において、実習や提出物に関するフォローを行うこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法Ⅰ」の授業も履修することが望ましい(両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可)。

出席、授業態度、発表、定期試験により評価を行う。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

講義において指示する。

必要に応じて紹介する。

(授業方法—講義形式、ゼミ形式、プリント配布、レジュメ配布等)：心理検査の理論的背景、実施、採点、解釈を発表形式で学び、場合により、グループ討議を行う予定である。

心理

履修コード	074701
科目名	カウンセリング
担当者名	<small>いばらぎ ひみこ</small> 茨木 博子

講義の到達目標(ねらい)

カウンセリングとは、ともすれば悩みや苦しみから目をそむけようとする人が、その悩みや苦しみに立ち向かい、自ら立ち直っていけるよう援助する心理面接である。しかし一般的には、カウンセリングとは何か、その本来の定義が理解されているとは言えない。

そこで本講義では、カウンセリング心理学、マイクロカウンセリングに基づき、カウンセリングおよびカウンセラーとは何かを学び、カウンセリングの基本的技法を修得することを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

(1～4) カウンセリングについて、討議 (5～8) カウンセリング心理学の発達史、討議 (9～11) カウンセリング心理学の独自性、討議 (12～15) 多様化するカウンセラーの機能と働き方、討議 (16～22) カウンセラーに必要な基本的態度と能力、マイクロカウンセリング、討議 (23～30) ビデオ学習とロールプレイングによる体験学習、討議

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

原則として、内容ごとに小グループに分かれ、討議するので、欠席を慎むこと。

出席、授業態度、定期試験、レポートで総合的に評価する。

必要に応じてプリントを配布する。

渡辺三枝子『カウンセリング心理学』(ナカニシヤ出版) 2,100円

河合準雄『カウンセリングの実際問題』(誠信書房) 2,000円

履修コード	074801
科目名	情報処理 I
担当者名	久保 尚也 <small>くぼ なおや</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、
①心理学の実験制御用プログラムの作成、② SPSS によるデータ解析の技術習得を目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- ・プログラムの作成については、初心者でも容易にプログラミングを行うことが可能な Visual Basic (以下, VB) の基礎技術を実習形式による授業で学ぶ。
- ・データ解析については、統計的手法の解説と作成したプログラムで取得した実際のデータ、あるいは模擬データの解析という授業を通じて SPSS による統計処理を学習する。

【前期】

- ・オリエンテーション (1回目)
- ・VBによるプログラム作成 (2~15)
 - ① VBの基本操作とフォームデザイン、② イベントプロシージャの作成、
 - ③ 時間制御、④ 条件分岐の設定、⑤ ループ処理、⑥ ランダムイズ、
 - ⑦ データ保存方法 等

【後期】

- ・統計の基礎知識の確認と SPSS の基本操作 (16回目)
- ・SPSS によるデータ解析 (17~30)
 - ① t 検定、② 分散分析、③ 相関分析、④ 重回帰分析、
 - ⑤ 因子分析、⑥ χ^2 二乗検定 等

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

USB フラッシュメモリーを持参すること
出席日数 (2/3以上)、小テスト、プログラム作成課題等により総合的に評価する
適宜、資料を配布する
随時紹介する

心理

履修コード	074901
科目名	情報処理Ⅱ
担当者名	軽部 幸浩

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、コンピュータ実習などを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。コンピュータを使ったデータ解析を中心におこない、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。

講義の内容／
授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式でおこなう。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。

今年度の具体的な内容については以下に記す。なお、履修生の習熟度に応じて適時授業内容の変更もおこなうと考えている。

◆主に(SAS,<http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/>)を利用しての統計処理および分析方法の理解

- ・データ解析と統計的手法の基礎(基本統計量、相関と回帰、仮説検定、多変量解析の基礎)
- ・SASの操作方法の理解
- ・SASプログラムの書き方
- ・他のアプリケーションとの連携(データハンドリング)
- ・データ取得から分析までの総合演習

◆成果の発表や公開に関すること(時間的に可能な場合に実施する)

- ・コンピュータを使ったプレゼンテーション

履修上の留意点

コンピュータ実習の単位を習得している、またはそれと同等もしくはそれ以上の知識を有していること。

本講義は、実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、自習室等を利用した自習が必要となる場合もある。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、学期末におこなう筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては定期試験期間での期末試験を免除する場合もある。

教科書／テキスト
参 考 書

◆授業中に配布するプリント教材

◆参考書については、授業中に適宜紹介する

- ・コンピュータ実習で使用した教材
- ・心理統計学で使用した教科書や教材
- ・竹内啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬 著
『SASによるデータ解析入門 〔第2版〕』
東京大学出版会、¥3,570、ISBN：4-13-064048-8

そ の 他

【授業Web】(<http://www.int2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>, <http://www.int2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>)

【e-Learning】(<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>, <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>)

心理

履修コード	075001
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭

講義の到達目標(ねらい)

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土各地の行者、祈祷師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や仏僧の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼(彼女)らは、神霊をみずからの身体に憑入(ひょうにゅう)させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝えるなどの役割を担当する。

こうした生き神を中心とする宗教形態(=シャーマニズム)は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係に注目して考察してみたい。

次のテーマのもとに具体的に考察する。

第1～2回 宗教人類学の学問的特徴、第3～4回 フィールドワーク、第5～7回 宗教文化の基盤、第8～10回 宗教的職能者、第11～13回 宗教と呪術と巫術、第14～16回 生き神信仰の諸相と研究史、第17～21回 神人交流の諸相、第22～26回 生き神信仰と仏教現象、第27～29回 寺院とシャーマニズムとの互惠性、第30回 総括。

出席をとるので、欠席をする場合、または欠席をした場合には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

学年末のリポート(2400字～2800字)で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。最終評価に際しては出席状況を考慮する。なお、追試験は実施する。

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社(学術文庫)

授業中に適宜紹介する。

講義の内容/
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/
参考書

心理

履修コード	075101
科目名	心理学特殊演習
担当者名	茨木 博子

講義の到達目標(ねらい)

本演習では、卒業論文作成の準備段階として、受講生の興味、関心のあるテーマについて文献を読み、発表、討議する中で実現可能な研究テーマを明確にし、研究計画を立てることを目的としている。またグループワーク(集団精神療法)を適宜導入し、臨床心理学の重要課題の一つである「より良い人間関係」について実践的に考える。

(1) 自己紹介とオリエンテーション(2～14) 事前に文献を読み、調べた興味、関心のある研究テーマについて発表し、討論する。その過程で、研究可能なテーマかどうか検討し、指導、助言する。グループワーク(15) 4年次生の卒業論文中間発表会出席(16～30) 研究可能なテーマを明確化し、そのテーマに即した研究計画および方法を具体化するために、演習形式を主とした指導を行う。またその過程において、論文の書き方、研究の進め方について指導、助言する。グループワーク

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「私は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。しかし、研究したいテーマが実際に研究できるとは限らないので、最初から無理と思われるテーマは避けること。

成績評価の方法

出席、授業態度、発表内容などによって総合的に評価する。

参考書

随時紹介する。

履修コード	075201
科目名	心理学特殊演習
担当者名	茅原 正 <small>ちはら ただし</small>

講義の到達目標(ねらい) 3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容／授業スケジュール 意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文献を輪読する。文献購読(前期)1～3 心理学における時間 4～6 線的时间体験の次元 7～9 持続の構成 10～11 薬物体験と時間 12～13 非線的时间体験後期は、各自の個人テーマに並行して、以下のような問題をとり上げる。1、ガイダンス 2～4 卒論の構想 5～7 文献・資料 8～10 データの収集について 11～12 データの分析について13まとめ 各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法 出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。
教科書／テキスト R.E.Ornstein The Psychology of Consciousness の予定である。
プリント配布。

参 考 書 参考書・文献等については、随時紹介する。

履修コード	075401
科目名	心理学特殊演習
担当者名	永田 陽子 <small>ながた ようこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 本演習は4年次に提出する卒業論文を、2年間かけて作成することを希望する、3年次の学生を対象としてもうけられた演習であると位置づけています。従って、各受講者が卒業論文の主題を明確にするとともに、その基礎的技法や方法を獲得することが本演習の目的となります。

講義の内容／授業スケジュール 前期は、卒業論文に必須となる心理統計およびSPSSによるデータ解析の実質的指導を行います。後期は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、受講者の興味のある文献検討を行います。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備えます。

履修上の留意点 各受講者の卒業論文の研究に基づく面接を随時行います。
成績評価の方法 課題の取り組み方や授業への姿勢などから総合的に評価します。

参 考 書 必要な参考図書および文献を演習時に随時提示します。

履修コード	075501
科目名	心理学特殊演習
担当者名	小野 浩一 <small>おの こういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについて文献研究ならびに学習を行い、予備的なデータ収集(予備実験や予備調査)を行う。

講義の内容／授業スケジュール 前期の授業では、心理学研究についての具体的手順を学ぶために最新の研究トピックスに関する文献の研究を行う。さらにテーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べ、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。また、後期には Skinner, B.F. (1990). Can psychology be a science of mind? American Psychologist, 45, 1206-1210. を読み、行動分析学についての理解を深める。

履修上の留意点 正規の演習の時間他に、各受講生と卒業研究についての面接指導を随時行う。

成績評価の方法 出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

参 考 書 以下の学術雑誌を参照のこと

行動分析学研究

Journal of the Experimental Analysis of Behavior

Journal of Applied Behavior Analysis

その他、必要に応じて授業中に紹介する

履修コード	075601
科目名	心理学特殊演習
担当者名	たにくち やすとみ 谷口 泰富

講義の到達目標(ねらい)	4年次の卒業論文が必修となっていますが、実証的研究の時間としては1年間では不十分です。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する問題（テーマの決定、文献検索、研究の心理学的位置づけ、研究方法、資料分析方法、研究のまとめ方）について学習することを目的とします。
講義の内容／授業スケジュール	『卒業論文作成カルテ』に従い、計画的な指導を行います。（1）オリエンテーション、（2～4）テーマの決め方と卒業論文の書き方について、（5～7）個人別テーマ及び研究法の相談、（8～9）文献検索指導、（10～15）研究計画と文献研究の発表、（16～17）研究計画再点検、（18～21）予備研究、（22～23）予備研究資料の分析と研究計画の調整、（24～30）本研究指導
履修上の留意点	これまで学んできた心理学の授業のみならず、その他の参考書などに基づき、自分の興味のある分野について大まかにでも考えておくことが望ましいです。授業は講義形式のみならず演習形式になりますので、遅刻や欠席は厳禁です。課題やレポートの提出が多くなります。そのためには、十分な準備の時間が必要となります。
成績評価の方法	研究報告書やレポートにより評価しますが、出席状況も考慮します。
教科書／テキスト	『卒業論文作成カルテ』を配布します。
参考書	随時紹介します。

履修コード	075701
科目名	心理学特殊演習
担当者名	まじま ひでとし 間島 英俊

講義の到達目標(ねらい)	本演習は、4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想を練り、より質的に高い研究を目指す演習ゼミです。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。
講義の内容／授業スケジュール	4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では、研究テーマの設定、研究計画および実施まで進めたいと思います。
履修上の留意点	基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、ゼミ選考届けの前に、一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。
成績評価の方法	出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。
教科書／テキスト	特に指定はしません。
参考書	参考書、文献等については随時紹介します。

履修コード	075811
科目名	心理学特殊演習
担当者名	ありみつ こうき 有光 興記

講義の到達目標(ねらい)	卒業論文の作成に向けて、文献検索、テーマ設定、研究計画など準備を進める。
講義の内容／授業スケジュール	臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学に関する論文を読み、その中で自分自身のテーマを見つけていく。まず、関連領域の動向について説明を受けた上で（1-4回）、テーマを絞り、文献リストの中から発表したい論文を選び、発表する（5-15回）。その過程で、論文の書式、統計手法、最新の知見、発表の仕方について学ぶ。後期には、卒業論文の関連論文の発表とテーマ設定を行い、研究計画を立て、予備実験、調査を行う（16-30回）。テーマが共通している人で、グループを組むこともあり得る。
履修上の留意点	演習時間外に、論文の読み方、テーマ設定などについて面接時間をとることがある。
成績評価の方法	課題の達成度、レポートの内容、発表内容から総合的に評価する。
参考書	適宜、紹介する。

心理

履修コード	075821
科目名	心理学特殊演習
担当者名	鈴木 常元

講義の到達目標(ねらい)	<p>本特殊演習の課題は以下の2つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 催眠や自律訓練法をベースにしたイメージの表現(描画や粘土細工)を通して、それをどのように捉え(心理アセスメント)、心理面接にどのように生かしていくか(心理療法)を学びながら、臨床心理学の基本的な考え方を身につける。 2. 卒業研究の準備を行いながら、研究の進め方やプレゼンテーションの方法について学ぶ。
講義の内容/ 授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス 第2～3回 臨床心理学研究法 第4～11回 催眠・自律訓練法・イメージに関する文献購読と基礎的な実習 第12～14回 卒業論文構想発表 第15回 前期のまとめ</p> <p>第16～17回 臨床心理学研究法 第18～24回 描画・粘土等を用いたイメージ療法の体験学習 第25回 イメージ療法体験のまとめ 第26～29回 卒業論文構想発表 第30回 全体のまとめ</p>
成績評価の方法 参 考 書	<p>授業への出席、発表内容、他の受講生の発表に対する発言などを総合的に評価する。</p> <p>催眠面接の臨床 栗山一八 九州大学出版会 自律訓練法の実践 佐々木雄二 創元社</p>

心理

履修コード	075831
科目名	心理学特殊演習
担当者名	八巻 秀

講義の到達目標(ねらい)	<p>本演習は、卒論作成の2年間のコースを希望する学生のための3年次の演習(ゼミ)です。この演習において、前半は各自が興味のあるテーマについて報告・討議しながら、卒論テーマの方向性を決定します。後半は、そのテーマについて文献研究ならびに学習を行っていきます。さらに可能であれば、具体的なデータ収集(予備実験や予備調査)を行っていくことも目標とします。</p> <p>授業形態としては、基本的にメンバー全員参加による討議形式やグループでの作業で行っていきます。必要に応じて、個別の直接的な研究指導も行っていきます。</p>
講義の内容/ 授業スケジュール	<p>(1)オリエンテーション、(2～6)ゼミの基本方針・計画の決定、(7～15)興味あるテーマについての発表・討議、(16～17)個別研究指導、(18～27)卒論テーマに関する文献研究発表、(28～30)中間報告会</p>
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	<p>出席・課題への取り組みなどにより総合的に評価します。</p> <p>必要に応じて授業中に紹介します。</p> <p>必要に応じて授業中に紹介します。</p>

専 門 教 育 科 目

3. 経 済 学 部

(1) 経済学科

経済学科フレックスA

商学科

現代応用経済学科

履修コード	089201
科目名	経済学概説
担当者名	鄭 章淵

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、専門科目を履修する上で最低限必要と思われる経済学の基礎知識について解説する。受講生のみさんに経済学的思考と解析能力を身に付けてもらうことがこの講義の目的である。

講義の内容/
授業スケジュール

経済学とは何か(第1回)、経済体制について(第2～3回)、資本主義経済の歴史(第4～5回)、経済学の潮流(第7～8回)、国民経済の仕組み:経済主体、企業、市場、価格、金融・財政、国民所得(第9～15回)、世界経済の捉え方(第16回)、世界経済の仕組み:IMF=GATT体制、国際貿易、国際投資、国際金融、地域経済(第17～25回)、その他の分野:労働問題、社会保障、環境問題(第26～29回)、まとめ(第30回)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

参考書の該当箇所や新聞の経済欄を読むこと。

講義内容をレポート課題とするのでノートをよくとってもらいたい。

前・後期2回のレポートと出席で判定する。評価の比重はそれぞれレポート60%、出席40%とする。

教科書/テキスト
参 考 書

特に定めない。

①井原哲夫ほか著『経済学入門』第2版、日本評論社、ISBN 978-4-535-55553-2

②伊藤元重著『はじめての経済学(上)・(下)』日経文庫、ISBN 978-4-532-11014-7、ISBN 978-4-532-11015-4

③杉本昭七ほか編『現代世界経済をとらえる』東洋経済新報社、ISBN 4-492-44196-4

経・経A・
商・現

履修コード	089301
科目名	経済学概説
担当者名	友松 憲彦

講義の到達目標(ねらい) この講義は、経済学の考え方、経済や経済学の基礎知識を理解し、経済学への導入をはかることを目標にしています。経済学の基礎的な知識や理論を説明し、それと関連させながら経済の歴史的発達や現在の経済問題について解説し、経済学という学問の性格や特徴について理解します。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 経済学の課題 (第1回)
2. 経済学の基礎理論
 - (a) 国民経済と経済主体 (企業・家計・政府) (第2,3回)
 - (b) 市場経済の機能と限界 (市場メカニズム, 市場の失敗) (第4,5回)
 - (c) 国民所得と経済成長 (国民所得, 経済成長, 経済循環) (第6,7回)
 - (d) 貨幣と金融 (貨幣と金融の機能, 金融機関, 中央銀行と金融政策) (第8～10回)
 - (e) 政府と財政 (政府財政と租税, 財政の機能, 政府と財政政策) (第11,12回)
 - (f) 国際経済 (貿易と国際収支, 国際経済機構, 地域経済統合) (第13～15回)
3. 経済の歩み
 - (1) 世界経済の歴史
 - (a) 資本主義の発達 (第16回)
 - (b) 資本主義の確立 (第17回)
 - (c) 資本主義の変質 (第18回)
 - (d) 「大恐慌」と資本主義の変容 (第19回)
 - (e) 社会主義の成立と変容 (第20回)
 - (2) 日本経済の歴史
 - (a) 明治維新から第二次世界大戦まで (第21回)
 - (b) 戦後改革 (第22回)
 - (c) 高度経済成長 (第23回)
 - (d) 低成長時代 (第24回)
 - (e) バブル経済の形成と崩壊 (第25回)
 - (f) 平成大不況 (第26,27回)
 - (g) 日本型システム (第28回)
 - (h) 戦後国際経済と日本 (第29,30回)

履修上の留意点 この科目は必修科目であり、講義で話すことは経済学部で学ぶ者が誰でも知らなければならない経済学の基礎です。基礎が身につけていないと、今後4年間で履修する多くの専門科目を理解することが困難になります。講義に真剣に取り組むことはもちろん重要ですが、教科書や参考文献や配布資料を読み、自分でも経済学を理解するための積極的な努力をすることが大切です。

また、新聞は経済学の勉強に大変役に立ちます。新聞を読む習慣を身につけましょう。授業時間内の小テスト、定期試験(年度末)の成績で評価する。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

経済学教育学会教科書編集委員会編『新時代の経済学入門』実教出版, 2003年.
橋本俊詔『家計からみる日本経済』岩波新書, 2004年
野口旭『ゼロからわかる経済の基本』講談社現代新書, 2002年
『Q&A 日本経済100の常識<2010年版>』日本経済新聞出版社, 2009年
三谷・並木・月脚編『大人のための近現代史: 19世紀編』東京大学出版会, 2009年

経・経A・
商・現

履修コード	089401
科目名	経済学概説
担当者名	福原 好喜

講義の到達目標(ねらい) 初めて経済学を学ぶ者に「経済」に興味を持ってもらうことをめざす。私の予測では、今後日本経済も世界経済もデフレスパイラル軌道を進む。日本経済、世界経済に起こる経済的事件をその都度取り上げ、解説する。内外のエコノミストの言説も分かり易く説明する。

講義の内容／授業スケジュール 『総理、お間違えではありませんか?』、『熱血教授心の教育』等の経済分析を紹介しながら、現実の経済との結び付きを説明してゆく。理解し易いように role playing 形式をとる。

準備学習 必ず自宅でもってテキストを読んでおくこと。

履修上の留意点 数回の reports を課す。私語厳禁。違反者は退出させる。30分以上の遅刻は認めない。

成績評価の方法 出席40点、テスト60点で評価する。

教科書／テキスト 前出福原二著の他、福原著『総理に忠告す』、『我も生命、汝も生命』、『日本経済再生の経済学』他。

参考書 適宜指摘します。

その他 戒めの意味もあって、出席を重視する。どうしても単位の欲しい人は、皆出席すること。近年大学で、教育を受ける側もまた与える側も、「教育」に対する真摯な姿勢が失われているように思われる。本年この授業は、助手の「起立」、「礼」の挨拶をもって始めることにする。

履修コード	089511・089512
科目名	経済学基礎 経済学概説
担当者名	森田 成也

講義の到達目標(ねらい) はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識を体系的に教えます。商品・貨幣から始まって、国家・世界市場まで展開します。

講義の内容／授業スケジュール 授業の前半は経済学の基礎理論のうち、資本主義の真の土台であり、その秘密である、資本の生産過程をやります。後半は、それ以降、世界市場までです。

(前半)

1、経済学とは何か、2～3、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、4、貨幣とは何か、5、貨幣の資本への転化、資本の生成、6、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、7～8、剰余価値生産の3つの形態、9、生産様式と包摂、労働者統合、10～11、労賃と雇用、12～13、資本の蓄積メカニズムと相対的過剰人口

(後半)

14～16、資本の流通過程、17、平均利潤率と生産価格、18、利潤率の傾向的低下の法則、19、商業資本、20、利子生み資本、21、銀行資本、22、株式会社と法人資本主義、23、独占資本と独占利潤、24、土地所有と地代、25、国家と市民社会、26、世界市場と帝国主義

履修上の留意点

板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート・・・夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験・・・1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書／テキスト

森田成也『価値と剰余価値の理論』(作品社)、2009年刊、2300円

参考書

森田成也『資本と剰余価値の理論』(作品社)、2008年刊、2300円

経・経A・
商・現

履修コード	089701・089702
科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論I A・資本の原理
担当者名	<small>ありい ゆきお</small> 有井 行夫

講義の到達目標(わらい)

経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて表現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいます。資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論Aは、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論Bは、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる経済理論Aの発展コースです。また、ミクロ経済学、マクロ経済学は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論A、Bとはアプローチの方法がちがいます。

講義の内容／
授業スケジュール

【前期】(第1週-第4週) 第1章=経済学の対象と方法。(第5週-第13週) 第2章=商品と貨幣。
【後期】(第13週-第22週) 第3章=資本と剰余価値。(第23週-第26週) 第4章=資本の蓄積。(第27週) 第5章=結論。

履修上の留意点
成績評価の方法

骨格的内容の理解に時間を集中します。

授業中にアンダーラインを指示した箇所から出題した実力試験で7割、秋のレポートで3割の評価をします。

教科書/テキスト

大谷禎之介『図解社会経済学』(桜井書店) 3,000円

履修コード	089801・089802
科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論I A・資本の原理
担当者名	阿部 弘

講義の到達目標(ねらい) 「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は主としてマルクスの『資本論』などの「批判科学」を軸にして講義・演習をおこなう。『資本論』はその副題を「経済学批判」として、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では、「資本主義の経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば(1867年)に批判をしたその内容を検証する。現在、人間を「産業予備軍」として、半ば生かさぬよう・殺さぬよう的な扱いをし、「コスト」としてのみ扱い、これに見合った「利益」を追求していくような「資本」というものの実態・本質が私達の目の前で展開されているなかで、マルクスへの回帰が言われるようになってきている。それは何を意味するのか。そして「経済学」は今何を課題として提起すべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は前期15回、後期15回の合計で30回である。

- I 「富」とは何か(前期15回)
- 1 : 「富」とは何か(01-03回)
- (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
- (2) 「富」の人間からの乖離
- (3) 「富」に支配された人間
- 2 : 「経済学の方法」(04-10回)
- (1) 「国富」
- (2) 私的所有
- (3) 価値
- 3 : 人間社会と交換価値(11-15回)
- (1) 商品
- (2) 貨幣
- (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本(II/IIIで後期15回)
- 1 : 資本の生産(01-03回)
- (1) 資本と商品
- (2) 資本の本質
- (3) 階級の生産
- 2 : 資本の運動法則(04-09回)
- (1) 資本の運動範式
- (2) 資本の生産と再生産
- (3) 階級社会の拡大再生産
- 3 : 資本の蓄積と階級の生産(10-14回)
- (1) 資本の蓄積
- (2) 資本関係と人間労働
- (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会 -- まとめ(15回)

準備学習

大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをモットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点
成績評価の方法

講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

- 1 レポートによる評価
- (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行う。
- (2) レポートは、第1回目：5月／第2回目：6月末～7月初旬
第3回目：10月～11月／第4回目：12月～1月
- 2 その他：「定期試験」は行なわない。

教科書／テキスト

阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983。

同：『経世済民論と経済学』、創成社、2010

参考書

講義が『資本論』などを前提にしているので次の文献を参照すること。

*マルクス『資本論』、国民文庫版、大月書店、1-9

*ヒルファーディング『金融資本論』、岩波文庫

*レーニン『帝国主義論』、国民文庫版／その他

経・経A・
商・現

そ の 他

この講義は「資本論」などを前提にしているので、「資本論」を読んでいく研究会を別に開設するので、希望者は申しでて欲しい。その場合の条件は「資本論」(国民文庫版を用いる予定)を分担し「レジュメ」を作製し、報告をするものとする。なお詳細は授業開始時に提示する。

受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟, 5F 2538研究室

電話: 03-3418-9360

メールアドレス: xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

履修コード	090101・090102
科目名	ミクロ経済学 経済理論Ⅱ・ミクロ経済学
担当者名	はたなか たかし 畠中 貴

講義の到達目標(わらい)

ミクロ経済学は様々な経済分析の基礎となる理論の一つである。この講義では、ミクロ経済学の基礎的な内容を一通り説明する。数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学(関数、微分)の説明も併せて行う。

この講義の目標とするところは、次の二点である。

(i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。

(ii) 筋道立ててものを考える力をつける。

講義の内容/
授業スケジュール

前期は需要曲線、供給曲線、完全競争市場、集合、関数について説明する。

後期は需要曲線の背後にある家計の行動、供給曲線の背後にある企業の行動、市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、微分について説明する。

履修上の留意点

経済学の説明も数学の説明もすべて一から行うので、この講義を受講するにあたって前提とする知識は何もない。高校時代にあまり数学の勉強をしてこなかった人も積極的に受講して欲しい。ただし、講義の内容は抽象的で頭に入りにくい上、一旦理解できたと思った内容も日が経つと忘れてしまうのが通常であるから、一年を通して根気よく予習・復習を継続する必要がある。テキストは熟読しなくてはならない。前に説明したことの上に新しい内容を組み立てていくから、前にやったことがよく理解できていないと今やっていることが分からないということが起こるので、注意して欲しい。分からない部分があったら、分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書/テキスト

授業時に配布するプリントをテキストとする。

経・経A・
商・現

履修コード	090201・090202
科目名	ミクロ経済学 経済理論Ⅱ・ミクロ経済学
担当者名	まつい 柳平

講義の到達目標(ねらい)

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容／
授業スケジュール

<前期>
ガイダンス 講義の概要等説明・あるパン屋の話・ナッシュ均衡・バックワード・インダクション・サブゲーム完全均衡
<後期>

準備学習

交渉ゲーム・オークション・消費者理論・金融とリスク管理・契約と誘因
事前に、中学時代の数学の計算問題等について、理解と計算能力を完全にしておくこと。講義プリントを、YeStudy から事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

履修上の留意点

この講義の履修においては、小学校・中学校・高校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書を事前に十分よく復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、

◎小学校の算数における「数と計算」(個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分)、「数量関係」(表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例)

◎中学校の数学における「数と式」(正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等)、「数量関係」(比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等)

◎高校の「数学Ⅰ」における「方程式と不等式」、「二次関数」

以上について理解ができていない人は、この講義を理解するのに困難を感じる場合が多々あるだろう。こうした基礎学力について自信がない受講生は、必ず、算数や中学時代の数学の勉強を自学自習すること。

また、受講生の予習と復習を前提とし、授業中に学生に答えを尋ねる場合が多々ある。したがって、受講生はYeStudyに登録し、講義プリントを、YeStudyから事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は基本的に、定期試験(年度末)に基づくが、授業中に自ら手を上げて練習問題を自発的に発表して内容がよかった人には成績評価に加味する。

また、夏期休暇中にレポート課題を課す場合がある(レポート課題の有無は7月の授業中にアナウンスする)。

教科書／テキスト
参 考 書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』(日本評論社) ISBN4-535-55202-9

岩田 規久男『経済学を学ぶ』(筑摩書房)(ちくま新書) ISBN4-480-05602-5

武藤 滋夫『ゲーム理論入門(日経文庫:経済学入門シリーズ)』(日本経済新聞社)

ISBN:4532108292

渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』(ナツメ社) ISBN:4816337458

渡辺 隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』(日本経済新聞出版社) ISBN:4532133467

そ の 他

受講生の予習と復習を前提として講義を進める。練習問題等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

経・経A・
商・現

履修コード	090301・090302
科目名	マクロ経済学 経済理論Ⅱ・マクロ経済学
担当者名	荒木 ^{あらか} 勝啓 ^{よしか}

講義の到達目標(ねらい)

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP 曲線による国際経済と国内経済の
関係の理解、という4つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容/
授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
- 4-5. 国民所得の決定
- 6-7. 政府・輸出入の導入
8. 乗数理論
9. ビルト=イン=スタビライザー
10. 貨幣とは何か
- 11-12. 信用通貨の成立
13. 信用創造理論
- 14-15. 貨幣数量説と古典派学説
16. 流動性選好説
17. LM 曲線
18. IS 曲線
- 19-20. IS=LM 曲線による均衡実質国民所得の決定
21. マンデル=フレミングの定理
22. クラウディング・アウト
23. フィリップス曲線と期待理論
- 24-30. IS=LM=BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解

ノートを取ることが肝要。

主として計算問題から成る定期試験100により評価する。

特に指示しない。

適宜紹介する。

経・経A・
商・現

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

履修コード	090401・090402
科目名	マクロ経済学 経済理論Ⅱ・マクロ経済学
担当者名	あきの かつみ 浅野 克巳

講義の到達目標(わらい)

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容／
授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけた。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の働き
- 22～23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。

成績評価の方法

定期試験（年度末）と授業内試験（5～7回実施予定）、およびレポート（1～2回）の成績を総合評価する。

教科書／テキスト
参 考 書

テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。

公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

そ の 他

授業中の問題点などあったら、オフィスアワーを設けていますので利用してください。

経・経A・
商・現

履修コード	091311・091312
科目名	流通論基礎 商学総論
担当者名	<small>おちふき かつお</small> 大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい) この授業では、「流通論基礎」を講義するのですが、どのような内容の講義であるのか。まず、「流通論」の「基礎」を講義することは解るでしょう。それでは、「流通論」とは何を論じるものなのか。すくなくとも、「流通」について論じるものであることも解るでしょう。しかし、問題はここからです。以上ではまだ何も解っていないということは解っていますね。あるいは、これから論じる「流通」とは何か、ということは知っていますか。諸君は、この授業で、「流通」に関する理論、のさらにその「基礎」を学習することになるのですが、私達の毎日の生活と流通とがどのように関係しているのかを働く人の立場から、そして消費者の立場から考えていくうえで、その基礎となる理論について講義する予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の内容は下記の通りです。
 (1) 私達が毎日の生活のために購入する商品について。
 (2) 商品の生産について・商品がなければ流通はありません。
 (3) 商品の流通について。
 (4) 現代社会では私達消費者は商品を買わなければ生活できません。
 (5) 企業は商品を生産し販売するためには、商品を保管しなければなりません。
 (6) 商品を販売するためには、市場まで輸送しなければなりません。

成績評価の方法

評価は期末試験による。各授業項目が終わる毎に、小テストを実施し、諸君の理解度確かめ、一層の理解を深めるようにする。

教科書／テキスト

大吹 勝男「流通諸費用の経済学的研究」梓出版社・2010年 5月刊行予定

履修コード	091411・091412
科目名	経営学基礎 経営学総論
担当者名	まつだ なけし 松田 健

講義の到達目標(ねらい)

本講義の目的は、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得することにあります。現代における企業社会の変容と企業経営の現代的課題について、企業の目的と企業活動の枠組み、経営理論、経営組織、経営戦略など、個別テーマを設定して講義を行います。後半からは、企業経営における今日的課題である、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任などに焦点を当て、国際比較を通じつつこれを学習します。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 前期オリエンテーション：経営学の学び方
- 第2回 企業の成立と展開（1）：産業革命と資本主義的生産システムの確立
- 第3回 企業の成立と展開（2）：重工業化と株式会社の成立
- 第4回 経済学と経営学
- 第5回 新制度派経済学と企業：企業と市場
- 第6回 株式会社論
- 第7回 企業統治
- 第8回 CSRと企業倫理
- 第9回 生産管理
- 第10回 職能と組織
- 第11回 人的資源管理論
- 第12回 株式会社金融と財務管理
- 第13回 経営戦略
- 第14回 非営利組織（NPO）論
- 第15回 前期の総復習
- 第16回 後期オリエンテーション：中小企業論
- 第17回 日本の経営
- 第18回 国際経営
- 第19回 「企業と社会」とコーポレート・ガバナンス
- 第20回 会社支配論とコーポレート・ガバナンス
- 第21回 機関投資家の台頭とコーポレート・ガバナンス
- 第22回 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス
- 第23回 「企業の社会的責任」とコーポレート・ガバナンス
- 第24回 社会的責任投資（SRI）とコーポレート・ガバナンス
- 第25回 日本のコーポレート・ガバナンスの特徴と課題
- 第26回 アメリカのコーポレート・ガバナンスの特徴と課題
- 第27回 イギリスのコーポレート・ガバナンスの特徴と課題
- 第28回 ドイツのコーポレート・ガバナンスの特徴と課題
- 第29回 21世紀のコーポレート・ガバナンスの課題と展望
- 第30回 後期の総復習

準備学習

企業経営とそれを取り巻く「経営環境」としての経済社会との相互関連への理解を深めるためには「新聞を毎日読むこと」がとてもよい刺激になります。新聞、雑誌の政治・経済・経営欄に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

履修上の留意点

講義の予習復習を心がけてください。用語がわからないと講義を聞いても理解不足に陥ります。自分で使い易い経営学辞典あるいは経営学用語集を入手しておいて下さい。また、聴講する皆さんは大学生ですから細かいことは言いませんが、少なくとも講義を聴きたいと思って参加している同僚学生にとって邪魔になる行為は慎んでください。

成績評価の方法

授業への出席は、単位認定のための最低要件です。定期試験を行い、この評価に、授業中の小レポート、夏休み中のレポート等による評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書／テキスト
参 考 書

『コーポレート・ガバナンスと経営学』海道ノブチカ・風間信隆編著、ミネルヴァ書房、2009年。

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

経営学辞典あるいは経営学用語集（⇒これでなければならないという指定はありませんが、自分で使い易いものを選んで使用して下さい）。

そ の 他

なし

経・経A・
商・現

履修コード	091511・091512
科目名	会計学基礎 会計学総論
担当者名	北口 ^{きたぐち} りえ

講義の到達目標(ねらい) 会計学に関する基礎的知識やその考え方を身につけることが、本講義の目的です。本講義では、会計学の基本原理、会計制度の構造、さらに貸借対照表や損益計算書を中心とする財務諸表の利用の仕方について講義します。

講義の内容／授業スケジュール 会計学という無機質なイメージをもたれがちですが、皆さんが理解しやすいよう身近な具体的事例を交えながら講義します。財務諸表は企業の通信簿と言われます。この通信簿を読み解くことで、就職活動等における企業分析などに役立ててもらえればと思います。

- 第1回：ガイダンス
- 第2・3回：会計とは何か、会計の意義・目的
- 第4・5回：複式簿記の原理
- 第6・7回：会計制度の体系、会計情報のディスクロージャー
- 第8回：財務諸表の体系
- 第9～15回：貸借対照表の構造
- 第16～19回：損益計算書の構造
- 第20～22回：キャッシュ・フロー計算書
- 第23回：株主資本等変動計算書
- 第24・25回：連結財務諸表
- 第26～29回：財務諸表分析
- 第30回：会計学の展開

履修上の留意点 簿記に関する知識を全く有していない学生は、なるべく本講義と同時に「簿記論」を履修してください。

成績評価の方法 成績評価は、出席点、授業内試験、定期試験の総合評価により行います。ただし、受講者数次第では、出席点を加味しない場合があります。

教科書／テキスト 未定（最初の講義で指示します）。

参 考 書 必要に応じて紹介します。

履修コード	090501
科目名	経済学史
担当者名	福原 好喜

講義の到達目標(ねらい)

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓誥学となりやすいので、極力現代の経済問題も取り上げる。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 近代社会の生誕と近代化の諸類型
2. F.Quesnay：フランス絶対王政末期の経済学
3. Adam Smith：イギリス産業革命の夜明け前
4. Karl Marx：資本主義の一般理論
5. John Maynard Keynes：世界恐慌脱出の経済学
6. 軍国主義批判の経済学—石橋湛山
7. 平成恐慌と銀八経済学
8. 来たるべき世界大不況と銀八経済学

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語、居眠りは厳禁。違反者は退場願う。(イエローカード二枚でレッドカード)

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。数回レポートを課す。

参 考 書

福原著『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』、『熱血教授心の教育』

そ の 他

経済に興味を持ってもらうために極力経済の今の問題にも言及する。授業には全力投球する。ケイタイ PHS 禁止。覚える授業でなく、感じる授業、考えさせる授業を心掛ける。昨年授業を escape した二人の学生を246まで追いかけて教場へつれ戻した。近年学生の「教育」に対する真摯な姿勢が薄らいでいる。本年は授業を教師、学生の「起立」、「礼」の挨拶をもって始める。途中退場者はつれ戻す。

経・経A・
商・現

履修コード	090601
科目名	経済史
担当者名	やすもと <small>みのる</small> 安元 稔

講義の到達目標(ねらい) この講義の目的は、社会科学的なものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。現在、『経済史』では何が問題になっているのか。まず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパにおける中世以降の経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・組織・慣習・技術を発展させてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年までのヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近世の誕生を告げたおよそ1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみて行きます。

最後に、現代社会の根幹を形作った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、アジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明します。

講義の内容／
授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か：(1) 『経済史』の対象と課題、(2-4) 資源配分の方法、第2編 外国経済史を学ぶ意味：(5-7) ヨーロッパとアジア、(8) 環境・政治支配の型と経済発展、第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展：(9-12) 中世の経済と社会、(13-17) 近世の幕開け、(18-21) 工業化のモデル、(22-24) 最初の工業国家、(25-28) 工業化の伝播と拡大、(29-30) 国際経済の生成と発展

経・経A・
商・現

準備学習

ネット上に公開する講義資料、参考書、講義の最初に配布する参考文献を参照して、事前の準備をするよう心がけて下さい。

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多く出てきます。億劫がらずに調べ、理解することが必要です。受講者は、授業スケジュール(シラバス)、参考文献リストを持参し、講義資料(ネット上に公開)をいつも参照して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに、E. L. ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』を読み、レポート(4,000字以上＝40点配点)を提出してもらい、後期試験(60点配点)と総合して成績を評価します。

教科書/テキスト

特に指定しません。

参考書

E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』(名古屋大学出版会)
(ISBN4-8158-0389-7)

その他

授業の方法は、講義方式です。Power Point・紙媒体資料を使って説明します。年間の講義資料をネット上に公開します。アクセスの仕方、その他は講義中に知らせます。

履修コード	090701
科目名	経済政策
担当者名	飯田 泰之 <small>いいた やすゆき</small>

講義の到達目標(ねらい)

現代経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。
 複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。
 経済問題に関してその導きの糸となるものが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ
 経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とす
 る。講義全体に必要な基本ツールの学習後、個々の経済問題について、
 (1) 理論的な枠組みを解説し
 (2) 基本理論を用いて政策的課題を論じ
 (3) 現実の事例・データで確認する
 というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。
 以下のテーマを各3講毎に講義する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 【前期】
1. 経済学と経済政策の基礎理論 (1) ミクロ編
 2. 競争市場の効率性と政府介入
 3. 公益事業と競争政策
 4. 外部性と公共財
 5. 情報の経済学
- 【後期】
6. 経済学と経済政策の基礎理論 (2) マクロ編
 7. 短期安定化政策
 8. 中期安定化政策
 9. 再分配政策の意義と方法
 10. 現代日本経済の政策的課題

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。
 夏・冬2回のレポート提出と後期試験による。
 岩田規久男・飯田泰之『ゼミナール経済政策入門』(日本経済新聞社)2006年
 必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

経・経A・
商・現

履修コード	090801
科目名	財政学
担当者名	野村 容康 <small>のむら ひろやす</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、財政赤字、税制改革、年金改革、公共事業といったわが国の財政問題を考えていく
 際の手掛かりとなるように財政学の基礎的事項について概説する。財政の基礎的な制度とその機能
 について理解を深め、現実の財政問題について自分なりに考える力を身につけることを目標とする。
 前期は、どちらかと言えば政府の支出活動面に重点を置きながら、財政の機能とわが国財政の現
 状、公共支出に関する理論、政府債務の問題、公的年金問題等について解説する。後期は、政府収
 入の中で最も重要な租税に関する議論(租税理論、制度、税制改革論等)に焦点を絞って授業を進
 める。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期
1. 財政とは何か
 2. 財政学とその変遷
 3. 資源配分の調整機能
 4. 財政と所得再分配
 5. 価格政策と補助金
 6. 財政政策の理論①
 7. 財政政策の理論②
 8. 公共財の理論①
 9. 公共財の理論②
 10. わが国財政の現状
 11. 公債の制度と理論①
 12. 公債の制度と理論②
 13. 公的高齢年金①
 14. 公的高齢年金②
 15. まとめ
- 後期
1. 租税の意義と根拠
 2. 租税の基礎的概念
 3. 課税の公平性
 4. 課税の中立性
 5. 租税の転嫁と帰着
 6. 包括的所得税論
 7. 支出税と最適課税
 8. 二元的所得税
 9. わが国の租税体系
 10. 個人所得課税
 11. 法人所得課税
 12. 間接消費課税
 13. 資産課税
 14. グローバル化と税制
 15. まとめ

履修上の留意点

受講生には、新聞などを通じてできるだけ財政制度改革、税制改正の動向についてフォローし、
 わが国の財政に関する問題意識を高めることを期待している。また、受講に際しては、微分とミク
 ロ経済学に関する基礎的知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法
教科書/テキスト

原則として定期試験の成績で評価する。出席は考慮しない。
 里中恆志・八巻節夫『新財政学』文真堂、3300円(税込)、ISBN 9784830945465

履修コード	090901
科目名	金融論
担当者名	代田 純 <small>しうた じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい)	通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融、証券市場を含む、金融の全体像の理解を目指す。 テキストはイラストを多用した、ビジュアル系なので、わかりやすい。
講義の内容／授業スケジュール	年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。 1 金融とは、2 通貨とは、3 小切手・手形とは、4 ペイオフ解禁とは、5 銀行貸出とは、6 金利とは、7 金融市場とは、8 証券市場とは、9 国債とは、10 金融機関とは、11 公的金融とは、12 財政投融资とは、13 郵便貯金とは、14 簡易保険とは、15 公的年金とは、16 政府系金融機関の再編とは
履修上の留意点	OHPにより、授業を進める。原則として板書はしない(チョークによる環境問題もあるため)。毎年、多人数の学生が履修登録しており、大規模講義になっています。しかし経済学科では選択必修科目であり、履修制限はしない。
成績評価の方法	定期試験(80点)とレポート(20点)により評価する。出席は評価点には関係しない。追試験は実施する。
教科書／テキスト	代田 純著、『新版 図説 やさしい金融財政』(丸善)、2009年12月、定価1800円+税、ISBN-978-4-621-08214-0を使用する。
参 考 書	レポートの際に、 代田純編、『日本の国債・地方債と公的金融』(税務経理)2007年 代田純編、『金融危機と証券市場の再生』(同文館)2010年 のいずれか(本人の選択による)を使用する。
そ の 他	出席はとらないが、私語は厳禁する。

履修コード	091001
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美 <small>みつおか ひろみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといつてよい。
講義の内容／授業スケジュール	このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。 年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。
履修上の留意点	受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。
成績評価の方法	期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。
参 考 書	講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	091101
科目名	日本経済論
担当者名	貝塚 亨

講義の到達目標(ねらい)	現代日本経済の特徴と問題を把握し、将来を展望することを目標とする。そのためには、日本経済の発展過程を歴史的に理解する事が重要である。そこで、日本資本主義の明治維新以降の史的発展過程を、概観する。とはいえ、日本経済システムは第二次大戦前後で質的に変化しているため、戦後の歩みを中心として講義する。また、農業・工業分野だけでなく、先進資本主義諸国に特徴的な「サービス経済化」についてもあわせて検討する。
講義の内容／授業スケジュール	以下の予定であるが、必要に応じて時事問題も取り扱う。 1回 講義概要 2～6回 第二次大戦以前の日本経済 7～9回 戦後復興期 10～12回 高度経済成長期 13～15回 二つのショックと世界経済の変質 16～18回 低成長期 19～21回 バブル景気 22～24回 1990年代不況 24～26回 日本経済の現代的課題 (1) 産業構造 27～29回 日本経済の現代的課題 (2) 企業・労働 30 まとめと展望
準備学習 履修上の留意点	日常的に新聞を読むこと、日本史・世界史の基礎的知識を習得しておくこと。 本講義では、毎回リアクションペーパーの提出を求めるので、受身ではなく積極的に講義に参加することを望む。
成績評価の方法	基礎的な経済理論についても適宜講義するので、経済学部以外の学生もおおいに歓迎する。 以下を合算して評価する。 リアクションペーパーの提出を含めた受講状況 夏期レポート 学年末テスト
教科書／テキスト 参考書	特に指定しない。 参考書に関しては適時紹介する。

経・経A・
商・現

履修コード	091201
科目名	国際経済論
担当者名	徳永 俊明

講義の到達目標(ねらい)	世界経済は、今日、世界社会・日本社会のあり方の<土台>をなしているものです。世界の姿・日本の姿を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の<基本構造>の解明をめざします。
講義の内容／授業スケジュール	[前期] (1・2) 講義のテーマ・趣旨の説明、(3・4) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制、(5・6) 産業革命と自由貿易植民地体制、(7) 小括、(8・9) 帝国主義植民地体制、(10・11) 第1次世界大戦と世界経済、(12・13) 戦間期の世界経済、(14) 小括、(15) 予備日 [後期] (1・2) 第2次世界大戦と世界経済、(3・4) 「アメリカ中心体制」、(5) 貿易：GATT / WTO、(6) 国際通貨制度：IMF、(7・8) 「援助」、(9・10) 多国籍企業、(11) 小括、(12・13) <南北問題>、(14) 新国際経済秩序、(15) 小括
成績評価の方法	ミニ・レポート(2回予定、各20点)と学年末レポート(60点)で評価します。世界経済の”枝葉”ではなく、”幹”の理解度を重視します。(追試験は行いません)
教科書／テキスト	とくにありません。

履修コード	091901
科目名	経営管理論
担当者名	岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい)

経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。本講義では、コーポレート・ガバナンスからのアプローチおよびCSRからのアプローチに基づき現代の企業管理の特質、特にトップ・マネジメント機能の現代的特質を考察していきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 授業の概要・ガイダンス (1)
2. 企業と社会 (2~3)
3. 会社支配論とトップ・マネジメント (4~5)
4. 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス (6)
5. CSRとトップ・マネジメント機能 (7)
6. 日本企業のトップ・マネジメント改革 (8~9)
7. アメリカ企業のトップ・マネジメント改革 (10)
8. イギリス企業のトップ・マネジメント改革 (11)
9. ドイツ企業のトップ・マネジメント改革 (12)
10. ロシア企業のトップ・マネジメント改革 (13)
11. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス (14)
12. トップ・マネジメント改革とコーポレート・ガバナンスの展望 (15)
13. CSRと企業管理 (16~17)
14. ステークホルダーと企業管理 (18)
15. ステークホルダーの現状 (19)
16. コーポレート・ガバナンスとマネジメント (20~21)
17. グローバル・ガバナンスとマネジメント (22~23)
18. CSRと環境マネジメント (24)
19. 労働CSRの現状と課題 (25~27)
20. 企業管理改革の課題と展望 (28~30)

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

企業経営の動向について、日常的に新聞・ニュース等を通じて情報収集をしてください。

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

定期試験(年度末)により評価します。

前期教科書: 風間信隆・海道ノブチカ編著(2009)『コーポレート・ガバナンスと経営学』ミネルヴァ書房、2800円+税、ISBN978-4-623-05409-1

後期教科書: 足立辰雄・井上千一編著(2009)『CSR経営の理論と実際』中央経済社、2800円+税、ISBN978-4-502-66680-3

参 考 書

代田純編著(2010)『金融危機と証券市場』同文館。

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣、3150円、ISBN-13: 978-4892595318

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社、2600円+税、ISBN4-502-37970-0

経・経A・
商・現

履修コード	092001
科目名	労務管理論
担当者名	堀 龍二

講義の到達目標(ねらい)

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理(=人的資源管理)の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実と経済的・経営的背景を把握することを到達目標にしている。

講義の内容/
授業スケジュール

テキストに沿って進める。

<前期の講義概要>

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3～5) 求められる人材像の変化、(6～8) 年功主義と能力主義、(9～10) 成果主義、(11～15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

<後期の講義概要>

(1) 後期講義概要の紹介、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価(5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイアビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

準備学習

講義では最近の動向や傾向を取り扱うので、その具体的イメージをつかむために、新聞や雑誌等で人事労務管理関連の記事を点検しておくことが有益であろう。また、インターネットや統計資料でわが国の雇用や賃金の趨勢にも目配りしておくことが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法

平成15年度以前に入学した商学科学生を対象としています。

出席(10%)、小レポート(10%)、夏期レポート(10%)年度末の定期試験(70%)を総合して評価します。定期試験受験時の注意事項:本講義の受講対象である平成15年度以前入学生は、通年4単位科目として登録履修するので、定期試験は年度末(後期)の1回のみとなります。前期の定期試験はありません。年度末定期試験に対応する追試験は実施します。

教科書/テキスト

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。

参考書

なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

伊藤・中川・堀編『アメリカの経営・日本の経営』(ミネルヴァ書房、2010年3月刊行予定)。その他、講義中に適宜紹介する。

経・経A・
商・現

履修コード	097211
科目名	社会経済学 a
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義の到達目標(わらい)

この科目は「現代応用経済学科」の基本的科目の一つである。
経済学がその形成期より現在に至るまで問題にしてきた「富」を論理的に考察する。この場合、到達点は、「私的」・「個別的・私人的」な次元での富から協同・社会の富の解明に至ることである。

講義の内容／
授業スケジュール

私たちの日常社会における「豊かさ」とは何か、これがこの講義の主たる内容になる。この「豊かさ」ということは、私たちの社会の「富」に結実している。したがって、講義では、この「豊かさ」的な人間の個々人の生活のさまを考察し、基本にあるのは何かをえぐり出す。その場合に、そのような「富」の現実の複雑に入り組んだ構造を明らかにしていき、現在の世界で、いわばグローバル現象となっている「格差社会」、人間の存在そのものが格差的になっているさまが、どのようにして形成されるのか、この「格差」をすすめている反人間的なもの・システムは何か、「資本主義」という生産・社会秩序が、人間をコスト原理で規定して「非人間化」していくさまを明らかにして、その社会の基底に存在する貧困化はなぜ起るのかを根本原理から問題にしていく。

講義のプラン：講義回数は15回なので、次のような形ですすめる：

1. 「富」とは何か (01-05回)
2. 資本家的な生産様式の基本 (06-10回)
3. 取得の体系とその社会化の問題点 (11-15回)

準備学習

大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをモットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点

この科目は初年次「選択必修」である。皆さん全員にこの科目を履修していただくために「レポート」を3回おこなうので、出席が重要になる。

講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

成績評価の方法

3回の「レポート」で評価する。したがって「定期試験」は行なわない。なお何度か出席の確認を簡単なペーパーで行う。これも評価の基準に入れる。

経・経A・
商・現

教科書／テキスト

阿部弘：『労働と所有』，八千代出版，1983。

同：『経世済民論と経済学』，創成社，2010

その他

受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス：xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

履修コード	097221
科目名	社会経済学 b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい) この科目は「社会経済学 a」の発展したものである。講義” a” では、私たちの社会の「富」とは何かをその原理から明らかにしてきた。この講義では「富」の形成・存在が個人レベルから社会全体の公共的な形で形成・存在し得るためには、「富」観念をどのような形で形成していったらいいのかを考える。

講義の内容／授業スケジュール 講義の内容：資本主義社会の「富」は貨幣や資本的な形で形成され運動していく。この「資本」という非人間的な、コスト原理で決定される価値＝「富」は人間を格差分断してしまうので、もはや「個人」のレベルでの生活を保障する富の形成は不可能になってしまう。人間、といってもその大半は、常に資本・企業のための労働者およびその「予備軍」として編成されていて、時間や機械（コンピュータ）に隷属し、その挙げ句の果てには「過労死」というものが待ち受けている状態にある。そして、退職して公認の失業体制に入っても、資本家的な国家の本質・仕組みのために老人医療や看護、そして年金システムなどの瓦解によって強制的に死に追いやられるというのが現状である。このようななかにあって、このシステムに反映している「公共的なもの」とは何かを追及していくことが重要になってくる。そして私的・個別的な次元では統御不可能な「共通の利益」の観念の形成がどのようにすれば可能なのかを考察していく。

講義のプラン：講義回数は15回なので、次のような形ですすめる：

1. 社会的価値体系 (01-05回)
2. 「企業社会」と価値体系の分裂 (06-10回)
3. 地球的規模での価値体系の形成 (11-15回)

準備学習 大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをもットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点 この科目は初年次「選択必修」である。皆さん全員にこの科目を履修していただくために「レポート」を3回行うので、出席が重要になる。講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

成績評価の方法 3回の「レポート」で評価する。したがって「定期試験」は行わない。なお何度か出席の確認を簡単なペーパーで行う。これも評価の基準に入れる。

教科書／テキスト 阿部弘：『労働と所有』，八千代出版，1983。

同：『経世済民論と経済学』，創成社，2010

その他 受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス：xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

経・経A・
商・現

履修コード	097231
科目名	企業経済学 a
担当者名	飯田 泰之

講義の到達目標(ねらい) 企業活動のミクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがミクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体に積極的に言及することで、今後の学習の基礎(ベース)を提供したいと考えている。

なお、企業経済学 a で主に取り扱うのは市場に対する企業の活動である。様々な市場環境に対して、企業はどのように活動するかを主なターゲットとする。

講義の内容／授業スケジュール 以下のテーマを各二講義ずつ講義する。

1. 企業とはなにか?
2. 経済学と経営学
3. 経済学思考について
4. 競争市場での企業活動
5. 価格支配力と企業活動
6. ライバル企業との競争と協調
7. 利潤最大化の3つの方向性

履修上の留意点 出席は問わないかわりに講義中の私語には厳しく対応する。なお、企業経済学 b との同時履修を強く推奨する。

成績評価の方法 中間レポートと学期末試験によって評価する。

教科書/テキスト なし

参考書 必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	097241
科目名	企業経済学 b
担当者名	飯田 泰之

講義の到達目標(ねらい) 企業活動のミクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがミクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体にも積極的に言及することで、今後の学習の基礎(ベース)を提供したいと考えている。

なお、企業経済学 b では企業戦略の立案、企業内部でのマネジメント・ガバナンスの問題を主に取り扱う。

講義の内容／授業スケジュール 以下のテーマについて、各二講義ずつで学習していく。

1. レッドオーシャンとブルーオーシャン
2. コスト優位戦略
3. 差別化優位戦略
4. 価格戦略
5. ファイブ・フォース分析
6. コーポレート・ファイナンス
7. 企業経済学から考える

履修上の留意点 出席は問わないかわりに講義中の私語には厳しく対応する。なお、企業経済学 a との同時履修を強く推奨する。また、企業経済学 a を履修していることを前提に講義を進めるため注意すること。

成績評価の方法 中間レポートと学期末試験によって評価する。

教科書/テキスト なし

参考書 必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	097251
科目名	地域経済論 a
担当者名	<small>ながやま むねひろ</small> 長山 宗広

講義の到達目標(ねらい)

グローバル化の進展下、現代経済における「地域」という存在を再評価し、その活性化を図るための理論面の理解と実践的な課題解決について考えていく。地域経済および産業集積の構造的把握とともに、企業間関係・企業家ネットワーク・スピノフ連鎖・産学官連携などの実態把握を目指す。特に、地域経済の活性化を図る上での地域イノベーションシステム、新産業集積の形成と既存産業集積の再生を一体的に進めるメカニズムを明らかにしていく。本講義では、その上で前提となる地域経済論の基礎的な諸理論・概念を学んでいく。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 今、地域の現場に何が起きているのか(ガイダンス)
- (2) 地域、地域経済とは
- (3) 古典的な立地論
- (4) 日本の地場産業・産地研究
- (5) フレキシビリティ論と新経済地理学
- (6) 産業クラスター論
- (7) 日本と海外の地域クラスター政策
- (8) 地域産業システム論(シリコンバレーの事例)
- (9) 学習地域・ミリュー・地域イノベーションシステム論
- (10) 新産業集積の新理論(浜松地域のIT・光電子集積の事例)
- (11) 都市と中心地の理論、小売商業の実態
- (12) まちづくりと地域活性化

履修上の留意点
成績評価の方法

地域経済論 a、b を一括履修することががのぞましい。

期末試験による評価：50%

講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%

教科書／テキスト
参 考 書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。

吉田敬一・井内尚樹編『地域振興と中小企業』ミネルヴァ書房 2009年

岡田・川瀬・鈴木・富樫『地域経済学』有斐閣アルマ 1997年

中村剛治郎編『基本ケースで学ぶ地域経済学』有斐閣 2007年

松原宏『経済地理学』東京大学出版会 2006年

M. ポーター『競争戦略論 II』ダイヤモンド社 1999年

浜松信金・信金中金総研編『産業クラスターと地域活性化』同友館 2004年

そ の 他

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

経・経A・
商・現

履修コード	097261
科目名	地域経済論 b
担当者名	<small>ながやま むねひろ</small> 長山 宗広

講義の到達目標(ねらい)

本講義の基本的な狙いは、地域経済論 a と同じであるので、そちらを参照のこと。

本講義では、地域経済論 a で学んだ理論を踏まえて、日本および欧米の地域経済事例へと接近し、現代経済における地域的視点をより一層養っていく。具体的には、各種統計データを用いた地域経済分析、地域産業集積の実態把握、地域活性化プランの策定、といった実践的手法・方法論についてケーススタディ等を通じて学んでいく。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 地域経済論 a (前期) の試験サマリー、後期のガイダンス
- (2) 地域経済の統計分析
- (3) 地域産業の統計分析
- (4) ~ (5) 地域の工業
- (6) ~ (7) 地域の商業
- (8) ~ (9) 地域の観光
- (10) 地域の一次産業(主に農業)
- (11) 地域の新たな産業
- (12) 地域産業の活性化プラン

履修上の留意点
成績評価の方法

地域経済論 a、b を一括履修することががのぞましい。

期末試験による評価：50%

講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%

教科書／テキスト
参 考 書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。

地域経済論 a と同じ

そ の 他

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	099331
科目名	現代企業論 a
担当者名	松田 健

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得します。企業の基本的構造、主として制度上の観点からの基本的課題事項の整理を通じて、現代企業の特質とその役割を理解することを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 現代企業と経済学（1）（持続可能な社会と企業：現代企業論の基礎）
- 第3回 現代企業と経済学（2）（企業と市場）
- 第4回 現代企業と経済学（3）（取引コスト論）
- 第5回 現代企業と経済学（4）（所有権理論）
- 第6回 企業形態（1）（企業形態の分類とその意図）
- 第7回 企業形態（2）（個人企業・合名・合資・株式会社・LLC/LLP）
- 第8回 企業形態（3）（会社制度の歴史的発展とその意義）
- 第9回 株式会社の特質（1）（株式会社制度と所有者支配論）
- 第10回 株式会社の特質（2）（株式会社制度と専門経営者）
- 第11回 現代株式会社の特質と機関化現象（1）（株主機関化・法人化を巡る問題）
- 第12回 現代株式会社の特質と機関化現象（2）（機関的大株主と企業支配様式）
- 第13回 企業集中形態（1）（企業集団）
- 第14回 企業集中形態（2）（連結経営と企業グループ）
- 第15回 まとめ

準備学習

企業経営とそれを取り巻く「経営環境」としての経済社会との相互関連への理解を深めるためには「新聞を毎日読むこと」がとてもよい刺激になります。新聞、雑誌の政治・経済・経営欄に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

履修上の留意点

講義の予習復習を心がけてください。用語がわからないと講義を聞いても理解不足に陥ります。自分で使い易い経営学辞典あるいは経営学用語集を入手しておいて下さい。また、聴講する皆さんは大学生ですから細かいことは言いませんが、少なくとも講義を聴きたいと思って参加している同僚学生にとって邪魔になる行為は慎んでください。

成績評価の方法

授業への出席は、単位認定のための最低要件です。定期試験を行い、この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書／テキスト

開講時に指示します。

参考書

経営学辞典あるいは経営学用語集（⇒これでなければならないという指定はありませんが、自分で使い易いものを選んで使用して下さい）。

その他

なし

経・経A・
商・現

履修コード	099341
科目名	現代企業論 b
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義の到達目標(ねらい)

本講義では「現代企業論 a」の履修を踏まえ、「企業とは何か」という視点から、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任など、現代の企業経営にとって重要な TOPICS を欧州企業のケースを中心に学習します。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 企業の目的と経営者の役割 (1) (経営理念と企業の目的)
- 第2回 企業の目的と経営者の役割 (2) (企業価値と株主の富の最大化)
- 第3回 企業統治 (1) (企業統治とは何か：利害関係者と会社権力の正当性)
- 第4回 企業統治 (2) (株主と企業 (経営者)：プリンシパル＝エージェント問題)
- 第5回 企業統治 (3) (株式所有構造と企業間関係)
- 第6回 企業統治 (4) (アングロ・サクソン型企業統治)
- 第7回 企業統治 (5) (日本型企業統治)
- 第8回 欧州企業の戦略と社会性 (1) EU (欧州連合) と企業の社会性
- 第9回 欧州企業の戦略と社会性 (2) RDS：スーパーメジャーの戦略
- 第10回 欧州企業の戦略と社会性 (3) スタトイル：ノルウェーにおける CSR
- 第11回 欧州企業の戦略と社会性 (4) ルノー：CSR 戦略の国際的展開
- 第12回 欧州企業の戦略と社会性 (5) フォルクスワーゲン：共同決定法と資本市場
- 第13回 欧州企業の戦略と社会性 (6) レゴ：安全性、高品質
- 第14回 欧州企業の戦略と社会性 (7) エアバス：汎欧州企業
- 第15回 まとめ

準備学習

「現代企業論 a」を受講していることが望ましいです。

特に「現代企業論 b」では、ケースを取り上げながら進めていくので、「新聞を毎日読むこと」や、「経済ニュース」を見聞きすることは不可欠です。日々の新聞、雑誌の政治・経済・経営欄に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

履修上の留意点

講義の予習復習を心がけてください。用語がわからないと講義を聞いても理解不足に陥ります。自分で使い易い経営学辞典あるいは経営学用語集を入手しておいて下さい。また、聴講する皆さんは大学生ですから細かいことは言いませんが、少なくとも講義を聴きたいと思って参加している同僚学生にとって邪魔になる行為は慎んでください。

成績評価の方法

授業への出席は、単位認定のための最低要件です。定期試験を行い、この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書／テキスト
参考書

高橋俊夫編著『EU 企業論』中央経済社、2008年。

経営学辞典あるいは経営学用語集 (⇒これではなければならないという指定はありませんが、自分で使い易いものを選んで使用して下さい)。

その他

なし

経・経A・
商・現

履修コード	099991
科目名	企業経営学 a
担当者名	なとり しほりいち 名取 修一

講義の到達目標(ねらい)

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容／
授業スケジュール

企業経営学 a では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。ここでは、単に企業そのものの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的連関の構図の把握を目指す。

まず、資本と労働の構造的・機能的な関係からの二重性、また国内・国際市場との複層性を理解する。その上で、国際社会化、情報社会化の展開とともに、たとえば労働生産性の追求と超高齢社会、人々の生活と機械的合理主義、国内ならびに国際的格差の構造化、自然環境や生活圏の保全と物質的豊かさの追求問題等を考察し、広い視野から企業の実像を探る。

履修上の留意点

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。

成績評価の方法

受講態度 (出席状況) ・定期試験により評価する。

教科書／テキスト

百田義治編著『経営学 基礎』(中央経済社)

参考書

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』(税務経理協会)、

名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』(同友館)

その他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

履修コード	099981
科目名	企業経営学 b
担当者名	名取 修一 <small>なとり しゅういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容／授業スケジュール 企業経営学 a で理解した企業活動の構造的な理解の上で、経営学の体系的な理解を目指す。経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的理解と統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるように努めたい。

企業による生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければならない。今日、企業経営活動は構造改革が展開され、またそれに伴ってさまざまな制度改革が勧められている。「日本の経営」の優位性が変異し、従来とは大きく様変わりしてきている。後期の授業は、学生自身が積極的に問題視角を形成していくよう、講義の進行に努めたい。

履修上の留意点 受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。

成績評価の方法 受講態度（出席状況）・定期試験により評価する。

教科書／テキスト 百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）

参 考 書 鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、

名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）

そ の 他 講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

履修コード	091911・091912
科目名	企業管理論 a 経営管理論 a
担当者名	岩波 文孝 <small>いわなみ ぶんたか</small>

講義の到達目標(ねらい) 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。巨大企業のトップ・マネジメントをめぐって、所有と経営の分離にともなう会社支配の問題、グローバル化の進展・企業間競争の激化・資本調達にともない企業の透明性と効率性が求められている。本講義では、コーポレート・ガバナンスに関連付けながら現代の巨大企業におけるトップ・マネジメント機能の特質を考察していきたい。

講義の内容／授業スケジュール

1. 授業の概要：ガイダンス (1)
2. 企業と社会 (2～3)
3. 会社支配論とトップ・マネジメント (3～4)
4. 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス (5)
5. CSR とトップ・マネジメント機能 (6～7)
6. 日本企業のトップ・マネジメント改革 (8～9)
7. アメリカ企業のトップ・マネジメント改革 (10)
8. イギリス企業のトップ・マネジメント改革 (11)
9. ドイツ企業のトップ・マネジメント改革 (12)
10. ロシア企業のトップ・マネジメント改革 (13)
11. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス (14)
12. 企業管理改革の課題と展望 (15)

準備学習

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

企業経営の動向について、日常的に新聞・ニュース等を通じて情報収集をしてください。

成績評価の方法

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

教科書／テキスト

定期試験（前期末）により評価します。

参 考 書

風間信隆・海道ノブチカ編著 (2009)『コーポレート・ガバナンスと経営学』ミネルヴァ書房、2800円＋税、ISBN978-4-623-05409-1

代田純編著 (2010)『金融危機と証券市場』同文館。

日本比較経営学会編 (2006)『会社と社会』文理閣、3150円、ISBN-13: 978-4892595318

仲田正機編著 (2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社、2600円＋税、ISBN4-502-37970-0

履修コード	091921・091922
科目名	企業管理論 b 経営管理論 b
担当者名	<small>いわなみ ふみたか</small> 岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい) 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。本講義では、日本企業を中心とする CSR 経営とそれを主導すべき社会的規制の脆弱な実態を踏まえ、現代日本の CSR の意義と限界を導きだし、持続可能な社会をめざす CSR 型ビジネスモデルと経営、環境、社会分野における今後の課題を検討する。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 授業の概要：ガイダンス (1)
2. CSR と企業管理 (2～3)
3. ステークホルダーと企業管理 (4)
4. コーポレート・ガバナンスとマネジメント (5～6)
5. グローバル・ガバナンスとマネジメント (7～8)
6. 多国籍企業とCSR (9～10)
7. CSR と環境マネジメント (11)
8. 労働CSR の現状と課題 (12～13)
9. CSR 経営の課題と展望 (14～15)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。企業経営の動向について、日常的に新聞・ニュース等を通じて情報収集をしてください。現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。定期試験(後期末)により評価します。
足立辰雄・井上干一編著(2009)『CSR 経営の理論と実際』中央経済社、2800円＋税、ISBN978-4-502-66680-3

参考書

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣、3150円、ISBN-13: 978-4892595318

履修コード	097071
科目名	非営利組織論 a
担当者名	<small>まつもと のりこ</small> 松本 典子

経・経A・
商・現

講義の到達目標(ねらい) 非営利組織(非営利セクターに属する組織)には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO 法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、公益法人、協同組合など多種多様な組織が含まれます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、介護分野、まちづくり分野、環境分野、国際協力分野などにおいて活躍の場を着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織との協働(コラボレーション)も活性化しています。

講義の内容／
授業スケジュール

- 本講義では、非営利組織の現実を踏まえて、営利／非営利組織の共通性／差異性を明確化し国際比較を行うことによって、非営利組織とは何か、とくに非営利事業体を含めてその発展の課題や社会的な存在意義に関する理解が深められる授業を行います。
- ・非営利組織の定義と範囲 (1～3)
 - ・非営利組織に関する法、税制度および経済規模 (4～5)
 - ・非営利組織の活動分野〔福祉、まちづくり、環境等〕 (6～9)
 - ・非営利事業体、コミュニティ・ビジネス、社会的企業 (10～12)
 - ・非営利組織の国際比較 (13～14)
 - ・非営利組織論 a のまとめ (15)
 - ・定期試験

準備学習
履修上の留意点

インターネットで自分の住む地域の「NPO 法人」を検索してください。講義に主体的・積極的に参加する学生の履修を望みます。駒澤大学 E-Learning システム「YeStudy」に必ず登録してください。レポート提出などに利用します。

成績評価の方法
教科書／テキスト

成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。特に指定しません。

参考書

- ・雨森孝悦『テキストブック NPO』東洋経済新報社、2007年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかる NPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・田尾雅夫・吉田忠彦『非営利組織論』有斐閣、2009年。
- ・山岡義典編著『NPO 基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。

その他

講義形式で行います。適宜、レジュメを配布し、参考文献や関連 HP を紹介します。また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実を実感できるように講義を進めています。

履修コード	097081
科目名	非営利組織論 b
担当者名	松本 典子

講義の到達目標(ねらい)

非営利組織(非営利セクターに属する組織)には、営利セクター・行政セクターに含まれない NPO 法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、公益法人、協同組合など多種多様な組織が含まれます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、介護分野、まちづくり分野、環境分野、国際協力分野などにおいて活躍の場を着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織との協働(コラボレーション)も活性化しています。

本講義では、非営利組織論 a で学習した内容に基づき、「営利/非営利」、「社会的企業」、「社会起業家」、「コミュニティ・ビジネス」、「ソーシャル・キャピタル」等をキーワードに、非営利組織の経営学を学びます。

講義の内容/
授業スケジュール

- ・非営利組織の存在理由(1~2)
- ・非営利組織の法制・税制(3~4)
- ・社会起業家とは何か(5~6)
- ・非営利組織のガバナンス、マネジメントの基本的特徴、経営戦略、資金調達など(7~11)
- ・非営利組織のネットワーク、行政・企業との協働(12~14)
- ・非営利組織論 b のまとめ(15)
- ・定期試験

準備学習
履修上の留意点

非営利組織論 a の内容を復習してください。

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修をのぞみます。

講義内容は、非営利組織論 a を履修していることを前提とします。

駒澤大学 E-Learning システム「YeStudy」に必ず登録してください。レポート提出などに利用します。

成績評価の方法

成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。

教科書/テキスト

特に指定しません。

参考書

- ・風見正三・山口浩平編著『コミュニティビジネス入門』学芸出版社、2009年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかる NPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・塚本一郎・山岸秀雄編著『ソーシャル・エンタープライズ』丸善、2008年。
- ・パブリックリソースセンター編『NPO 実践マネジメント入門』東信堂、2009年。
- ・山岡義典・雨宮孝子編著『NPO 実践講座・新版』ぎょうせい、2008年。

その他の

講義形式で行います。適宜、レジュメを配布し、参考文献や関連 HP を紹介します。また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実を実感できるように講義を進めています。

履修コード	097271
科目名	ゲーム理論 a
担当者名	館 健太郎

講義の到達目標(ねらい)

複数の意思決定主体が関わる状況を分析するためのツールであるゲーム理論について、できるだけ多くの応用例を交えながら基本的な考え方を解説する。講義で解説される例に対する理解を深める中で、ゲーム理論が幅広い分野で利用されていることを実感してほしい。ゲーム理論 a では基礎的な概念について学習する。

講義の内容/
授業スケジュール

1 イントロダクション、2-5 戦略形ゲームの基礎と応用、6-9 戦略形ゲームの基礎と応用、10-13 リスクと混合戦略、14-15 交渉とコミットメント

※講義の進度に応じて内容を変更することがある。

履修上の留意点

ゲーム理論 b と合わせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験によって評価する。

教科書/テキスト

なし。板書を中心に授業を行う。

参考書

ジョン・マクミラン 『経営戦略のゲーム理論』 有斐閣 3600円 4-641-06754-6

履修コード	097281
科目名	ゲーム理論 b
担当者名	館 健太郎

講義の到達目標(ねらい) 複数の意思決定主体が関わる状況を分析するためのツールであるゲーム理論について、できるだけ多くの応用例を交えながら基本的な考え方を解説する。講義で解説される例に対する理解を深める中で、ゲーム理論が幅広い分野で利用されていることを実感してほしい。ゲーム理論 b ではゲーム理論 a の内容を踏まえて、特に情報の非対称性が存在する場合を扱う。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点
1 インTRODクシヨ、2-6 戦略的な情報利用、7-10 契約、11-15 入札
※講義の進度に応じて内容を変更することがある。
ゲーム理論 a を履修していることを前提として講義を行う。履修していない場合にはナッシュ均衡、混合戦略、部分ゲーム完全均衡、期待効用などについて学習しておくこと。

成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書
定期試験によって評価する。
なし。板書を中心に授業を行う。
ジョン・マクミラン 『経営戦略のゲーム理論』 有斐閣 3600円 4-641-06754-6

履修コード	099111
科目名	公共経済学 a
担当者名	鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい) 社会福祉や環境政策といった政府介入はなぜ必要か、どのような政策が望ましいのか、理想をすべて満たすような政策はあるのか、ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか、そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか、公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて効率性・公平性の観点から考えます。

市場への政府介入の経済学的根拠は、効率性面での市場の失敗を引き起こす「不完全競争」「外部性」「不完全情報」の3要因と、「公平性」にあります。一方、市場の失敗は必ずしも政府介入により解決されるとは限りません。不完全情報のため最適な政策が実施できなかつたり、規制が新たな不完全競争の原因となつたりするからです。

経・経A・
商・現

【公共経済学 a】では、上で挙げた効率性3要因のうち「不完全競争」を中心に扱いながら、完全競争市場の効率性・公平性と政府介入の影響について学びます。【公共経済学 b】では「外部性」「不完全情報」を学ぶとともに、「外部性」と「公平性」を組み合わせて所得再分配を説明したり、「外部性」と「不完全情報」の両側面から教育を捉えたりと、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができますはず。

講義の内容／授業スケジュール
「1. ガイダンス」(第1回)
「2. 政府の役割」(第1-2回)
「3. 完全競争」(第2-4回)
「4. 独占」(第4-6回)
「5. 寡占」(第6-8回)
「6. 課税」(第8-10回)
「7. 価格統制」(第10-12回)
「8. 競争均衡の効率性・公平性」(第12-回)

履修上の留意点 【ミクロ経済学】もしくは【企業経済論 a・b】を履修済みであることを前提として講義を進めます。また、公共経済学は数学を多用する分野です。高校数学の予備知識は要求しませんが、講義でわからなかった部分を理解するまで根気よく復習できない人には履修をお勧めしかねます。

成績評価の方法 中間レポート1回(50点満点)と期末試験1回(100点満点)の合計点で評価します。合計点60点未満の場合は不可とし、60点以上は本学の GPA 評価ルールに従って成績をつけます。

教科書／テキスト 穴埋め式の講義ノートを配布します。市販の教科書は特に指定しません。

そ の 他 YeStudy(現代応用経済学科)にてレポート課題や練習問題を配布します。配布済みの講義ノート(空欄は未記入)も YeStudy で公開するので、欠席・紛失の際は各自ダウンロードしてください。

履修コード	099121
科目名	公共経済学 b
担当者名	鈴木 伸枝

講義の到達目標(わらい)

社会福祉や環境政策といった政府介入はなぜ必要か、どのような政策が望ましいのか、理想をすべて満たすような政策はあるのか、ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか、そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて効率性・公平性の観点から考えます。

市場への政府介入の経済学的根拠は、効率性面での市場の失敗を引き起こす「不完全競争」「外部性」「不完全情報」の3要因と、「公平性」にあります。一方、市場の失敗は必ずしも政府介入により解決されるとは限りません。不完全情報のため最適な政策が実施できなかったり、規制が新たな不完全競争の原因となったりするからです。

【公共経済学 a】では、上で挙げた効率性3要因のうち「不完全競争」を中心に扱いながら、完全競争市場の効率性・公平性と政府介入の影響について学びます。【公共経済学 b】では「外部性」「不完全情報」を学ぶとともに、「外部性」と「公平性」を組み合わせて所得再分配を説明したり、「外部性」と「不完全情報」の両側面から教育を捉えたりと、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容/
授業スケジュール

- 「E.【公共経済学 a】復習」(第1回)
- 「9. 消費者行動」(第2-4回)
- 「10. 外部性」(第4-6回)
- 「11. 公共財」(第6-9回)
- 「12. 応用1：環境問題・所得再分配」(第9-11回)
- 「13. 情報の非対称性」(第12-13回)
- 「14. 応用2：教育」(第13回)

履修上の留意点

【公共経済学 a】に加えて【ミクロ経済学】もしくは【企業経済論 a・b】を履修済みであることを前提として講義を進めます。また、公共経済学は数学を多用する分野です。高校数学の予備知識は要求しませんが、講義でわからなかった部分を理解するまで根気よく復習できない人には履修をお勧めしかねます。

成績評価の方法

定期試験は「レポート試験」(12月にレポート課題を公開し、1月の期末試験会場にて回収するシステム)とします。60点未満は不可とし、60点以上の場合は本学の GPA 評価ルールに従って成績を評価します。

教科書/テキスト
その他の

穴埋め式の講義ノートを配布します。市販の教科書は特に指定しません。
YeStudy (現代応用経済学科)にてレポート課題や練習問題を配布します。配布済みの講義ノート(空欄は未記入)も YeStudy で公開するので、欠席・紛失の際は各自ダウンロードしてください。

経・経A・
商・現

履修コード	100611
科目名	現代産業論 a
担当者名	北嶋 守

講義の到達目標(わらい) 本講義は、日々変化する日本の産業の動向について、特に戦後からバブル経済崩壊までの高度経済成長期とその後のインターネットの登場、経済のグローバル化、環境問題及び人口減少社会の到来等々に伴う日本の産業の変化に焦点を当て、具体的な事例を紹介することによって、学生諸君の現代産業を見る眼を豊かにすることを目的に開講するものである。

講義の内容／授業スケジュール 第1回目は、講義全体の進め方を説明した上で、日本の産業の分類及び歴史的概観について講義する。第2回目から第3回目は、戦後日本の産業の黎明期について講義する。第4回から第5回は、戦後日本の産業の革新期・成長期について講義する。第6回から第7回は、バブル経済崩壊に至る経緯及びバブル経済崩壊後の日本の産業構造の変化について講義する。第8回から第9回は、IT(情報技術)、インターネットの普及が日本の産業に与えた影響を中心に講義する。第10回から第11回は、アジア地域を中心とした日本企業のグローバル展開に伴う日本の産業の変化について講義する。第12回から第13回から環境問題・高齢化社会の進行が日本の産業に与える影響について講義する。第14回から第15回は、地域産業イノベーションの視点から今後の日本の産業政策の方向性について講義する。

履修上の留意点 定期的にレポート課題を用意するので、常に産業情報、特に新聞情報について目を通しておくこと。欠席は大きなマイナスになるのでその点も十分留意すること。

成績評価の方法 レポート課題の提出状況、期末試験(執筆試験)及び出席状況に基づいて評価する。

教科書／テキスト 三菱総合研究所編『日本産業読本』また、必要に応じてプリント類を配布する。

参考書 経済産業省等編『ものづくり白書』、中小企業庁編『中小企業白書』、(財)日本情報処理開発協会編『情報化白書』、(財)機械振興協会経済研究所編『日本の機械産業2009』他。

その他 意欲的な学生の出席を期待する。

履修コード	100621
科目名	現代産業論 b
担当者名	北嶋 守

講義の到達目標(わらい) 本講義は、日々変化する日本の産業の動向について、リーディング産業及び地域産業等に焦点を当てながら、個々の産業セクター別に具体的な事例を紹介することによって、学生諸君の現代産業を見る眼を豊かにすることを目的に開講するものである。

講義の内容／授業スケジュール 第1回目は、講義全体の進め方を説明した上で、日本の産業を牽引する産業(リーディング産業)の概要及びこれまでのリーディング産業の変遷過程について講義する。第2回目から第3回目は、日本の自動車産業の動向とその競争力について講義する。第4回から第5回は、電気電子産業(家電・半導体・液晶・太陽光パネル等)の動向について講義する。第6回から第7回は、精密機械産業について講義する。第8回から第9回は、医療福祉機器及び環境機器産業の動向について講義する。第10回から第11回は、サービス産業及びコンテンツ産業の動向について講義する。第12回から第13回は、地域産業(観光及び地場産業)の動向について講義する。第14回から第15回は、今後成長が期待される新産業分野とそれに関連する産業政策及び世界規模で見た場合の日本の産業の競争力向上における課題について講義する。

履修上の留意点 定期的にレポート課題を用意するので、常に産業情報、特に新聞情報について目を通しておくこと。欠席は大きなマイナスになるのでその点も十分留意すること。

成績評価の方法 レポート課題の提出状況、期末試験(執筆試験)及び出席状況に基づいて評価する。

教科書／テキスト 三菱総合研究所編『日本産業読本』また、必要に応じてプリント類を配布する。

参考書 新庄浩二『産業組織論』(有斐閣ブックス)、経済産業省等編『ものづくり白書』、中小企業庁編『中小企業白書』、(財)日本情報処理開発協会編『情報化白書』、(財)デジタルコンテンツ協会編『デジタルコンテンツ白書』、(財)機械振興協会経済研究所編『日本の機械産業2009』他。

その他 意欲的な学生の出席を期待する。

経・経A・
商・現

履修コード	100631
科目名	産業組織論 a
担当者名	館 健太郎

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、消費者の行動や企業の戦略を調べることを通じて、個別の産業について調査するための方法を身につけることを目指す。そこで、前期の講義では、分析のための概念やモデルを提供するミクロ経済学の基礎を固めたい。また、企業や産業の調査を行う際に使われる指標についても適宜紹介していく予定である。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 経済と経済学
2. 市場の均衡とその変化
3. 価格と所得の価格弾力性
4. エンゲル曲線と需要の所得弾力性
5. 企業の技術と費用
6. 競争的企業の利潤最大化
7. 課税の影響
8. 長期市場均衡
9. 競争の経済的意義
10. 独占
11. 自然独占と価格規制
12. 価格差別
13. 独占的競争
14. 総復習

※講義の進度などにより内容を変更することがある。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

授業後に配布プリントを十分に復習して欲しい。
ミクロ経済学、経済数学、ゲーム理論の学習を並行して行うことが望ましい。
定期試験(100点)。ただし、授業中に加点方式で課題を出すことがある。
とくになし。
芦谷政浩『ミクロ経済学』有斐閣、2009年、3255円、ISBN978-4-641-16350-8

経・経A・
商・現

履修コード	100641
科目名	産業組織論 b
担当者名	館 健太郎

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、現実の経済で最もよく見られる独占、寡占などの不完全競争市場を中心として、個別の産業における企業の戦略や市場の結果を分析するために必要となる概念やモデルについて説明する。また、企業や産業の調査を行う際に使われる指標についても簡単にふれたい。近年多くの関心が寄せられるようになってきている情報通信産業などの特徴についても紹介したい。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 最適化問題の解き方
2. クールノー競争(1)
3. クールノー競争(2)
4. シュタッケルベルグ競争
5. ベルトラン競争
6. 数量競争と価格競争の比較
7. ホテリング競争
8. 参入阻止
9. 合併と買収
10. 垂直的取引関係
11. オークション
12. 企業の研究開発投資
13. ネットワーク産業
14. チェーンストアパラドックス

※講義の進度により内容を変更することがある。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

授業後に配布プリントを十分に復習して欲しい。
ミクロ経済学、経済数学、ゲーム理論の学習を並行して行うことが望ましい。
定期試験(100点)。ただし、授業中に加点方式で課題を出すことがある。
とくになし。
芦谷政浩『ミクロ経済学』有斐閣、2009年、3255円、ISBN978-4-641-16350-8
板書を中心にして講義を進めていく。

履修コード	092101
科目名	簿記論
担当者名	ふくしま たかし 福島 隆

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、複式簿記について学習します。簿記とは、企業活動を貨幣額で記録し、測定し、その結果を報告するための技術です。今日では企業活動を行ったり、実際のビジネスを理解したりする際には、簿記の知識が必要不可欠です。また簿記は、会計諸学(会計学、財務会計論、経営分析論、管理会計論、原価計算論等)の基礎であるため、これらの学習をするには簿記の知識が必要になります。本講義では、簿記の初心者を対象として、日商簿記3級取得を目標に、なるべく具体的に分かりやすく講義したいと考えています。その際、簿記の技術だけを講義するのではなく、理論や実際の企業活動との係り合いについても説明する予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。なお、授業内で中間試験を2回行います。中間試験の日程は、授業中に指示します。

準備学習
履修上の留意点

(1) ガイダンス(簿記の意義) (2・3) 簿記の基礎概念 (4) 仕訳と転記 (5・6) 現金預金 (7・8) 商品売買 (9・10) 手形 (11・12) 債権と債務 (13) 有価証券 (14) 固定資産 (15) 資本金と引出金・税金、(16・17) 収益と費用の見越し・繰延べ (18) 伝票 (19・20) 決算と財務諸表 (21・22) 財務諸表の読み方 (23-) その他
事前学習は不要です。それよりも復習に時間を費やして下さい。

簿記は積み重ねが重要ですので、毎回出席して、復習に時間を当てて下さい。また、毎回必ず電卓を持参して下さい。なお、10分以上の遅刻は欠席扱いとします。授業中の私語で注意された学生は、大幅減点されます。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

(1) 平常点重視型・・・出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。

(2) 試験重視型・・・中間試験60点(30点×2回)、定期試験40点。

教科書/テキスト

福島隆「簿記論」、創成社、2,625円(税込)を使用します。この教科書は、駒澤大学で教えるために作成したものであり、大学の売店でしか購入できません(市販はしていません)ので、注意して下さい。

参考書
その他

必要に応じて指示します。

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

経・経A・
商・現

履修コード	092201
科目名	簿記論
担当者名	わたなべ さとし 渡邊 智

講義の到達目標(ねらい)

企業は貸借対照表・損益計算書をはじめとする財務諸表を社会に向けて開示しているが、これらを作成あるいは解釈するためには、簿記に関する知識が必要となる。この講義は、基本的な複式簿記原理の理解、さらには初歩的な記帳技術の習得を目標とするものである。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) ガイダンス (2) 簿記の基礎概念 (3) 簿記の取引 (4) 勘定記入 (5) 仕訳 (6) 仕訳帳への記入 (7) 総勘定元帳への転記 (8) 試算表 (9) 6桁精算表 (10~13) 決算 (14~15) 前期のまとめ (16) 現金・小口現金 (17) 当座預金 (18) 商品 (19) 仕入帳・売上帳・商品有高帳 (20) 売掛金・買掛金 (21) 手形 (22) その他の債権債務 (23) 貸倒れと貸倒引当金 (24) 有価証券 (25) 固定資産 (26) 資本金・引出金、税金 (27) 決算整理 (28) 8桁精算表・10桁精算表と決算 (29) 伝票 (30) 後期のまとめ

準備学習

簿記の学習は積み重ねが大切であるため、講義には毎回必ず出席すること。万一欠席した場合には、欠席した回の学習事項を十分に理解しておくこと。

勘定記入の方法や仕訳については常に練習を重ね、学力の維持を図ること。

理解できなかった点については、そのままにせず、質問などにより必ず解決しておくこと。

履修上の留意点

講義中は静粛を保ち、与えられた課題には真剣に取り組むこと。

予習・復習は毎回必ず行なうこと。

電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の結果および平常点(小テスト、課題など)によって総合的に成績評価を行なう。

教科書/テキスト

渡部裕吾・片山覚・北村敬子編著『新検定 簿記ワークブック 3級 商業簿記』中央経済社
定価700円+税 ISBN978-4-502-03590-6

伊藤秀俊編著『入門 商業簿記テキスト』中央経済社 定価2,400円+税

ISBN978-4-502-03430-5

参考書

『日商簿記検定テキスト商業簿記3級』実教出版

『日商簿記検定テキスト問題集 商業簿記3級』実教出版

その他必要に応じて講義中に紹介する。

履修コード	092301
科目名	簿記論
担当者名	小栗 崇資

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、企業会計の基盤となる複式簿記について学習します。複式簿記は、さまざまな企業活動を記録・計算し、それにより企業の財政状態および経営成績を報告するための技術です。財務会計論や原価計算論、管理会計論などの会計に関する理論や技術を習得するうえでも複式簿記の知識が不可欠となります。この講義では、初心者を対象に日商簿記3級レベルの簿記の基礎知識とそれを駆使する能力を身につけることをめざします。

講義の内容／授業スケジュール (1) 簿記の意義・種類、(2~3) 簿記一巡の手続、(4~5) 資産・負債・純資産・収益・費用、(6) 財産法と損益法、(7) 勘定記入、(8) 取引の二面性、(9) 貸借平均の原則、(10) 仕訳、(11) 仕訳帳と総勘定元帳、(12) 試算表、(13) 決算、(14) 6桁精算表、(15) 現金および現金過不足勘定、(16) 当座預金勘定と当座借越、(17) 小口現金、(18) 3分法、(19) 商品有高帳、(20) 売掛金と買掛金、(21) 貸倒引当金、(22~23) 売掛金・買掛金以外の債権債務、(24) 手形、(25) 有価証券、(26) 固定資産と減価償却、(27) 資本金と引出金、(28) 8桁精算表、(29) 費用・収益の見越し・繰延べ、(30) 財務諸表の作成

履修上の留意点 簿記の学習では、積み重ねが重要であり、毎回の講義内容の完全な理解がないと、簿記をマスターすることはできません。また実際に自分で帳簿に記帳する練習も必要となります。講義ではワークブックを使って初歩的な技術習得をめざしますので、毎回必ず出席してください。電卓を使うので持参すること。

成績評価の方法 中間試験および学年末試験の結果により評価します。
教科書／テキスト 加古宜士、渡部裕亘、片山覚編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』（中央経済社）
加古宜士、渡部裕亘、片山覚編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』（中央経済社）

履修コード	092411
科目名	企業論基礎
担当者名	劉 永錫

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、企業の法律形態、企業の支配・統治構造ならびに企業成長に対する理論的究明を中心内容とする。なかには、株式会社の特質、支配形態および統治構造を重点的に講義し、その国際比較も行う。これを通して、現代社会における企業とくに巨大な株式会社の全体構図ならびに最新動向をより広い角度からアプローチする。

講義の内容／授業スケジュール 前期には、企業論の研究対象、主な企業形態とそれぞれの特徴について講義する。

- I 企業論の研究対象
- II 企業の種類と企業形態
- III 企業形態の発展過程
- IV 単独出資者の企業：個人企業
- V 会社企業：①合名会社 ②合資会社 ③合同会社 ④有限会社

後期には、株式会社の特徴と会社機関、企業支配、企業統治、企業成長と社会などを講義する。

- VI 株式会社の特質
- VII 株式会社の資金調達
- VIII 株式会社の支配
- IX 株式会社のガバナンス
- X 企業成長と社会

履修上の留意点 予習はもちろんのこと、各章ごとに「演習問題」を出すので、それを中心に復習することも望まれる。

成績評価の方法 前期と後期に分けて2回の筆記テストを行い、その成績に、普段の講義への出席状況を加味して評価する。

教科書／テキスト ・百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。
・作新学院大学経営学研究グループ（代表：中村瑞穂）著『経営学—企業と経営の理論』白桃書房、2003年。
その他、授業の初回目に指示する。

経・経A・
商・現

履修コード	092421
科目名	ファイナンス基礎
担当者名	須藤 時仁

講義の到達目標(ねらい)

この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われていますが、80年代からは株式市場を通じた、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。

前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。

講義の内容／
授業スケジュール

(前期) (1-5) 金融制度と金融機関 (6-10) 金融システムの形成とその変遷
(11-15) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達)
(後期) (16-20) 債券市場を用いた資金調達 (21-25) 株式市場を用いた資金調達
(26-30) まとめと今後の展望

履修上の留意点
成績評価の方法

できる限り新聞や雑誌に目を通して、現実の経済・金融の動きを理解するように努めてください。講義中に出席は取りません。評価は基本的に学年末の定期試験で行います。なお、夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを考えていますが、その場合には提出されたレポートを20点満点で評価し、その成績を加味します。

教科書／テキスト

この講義は金融・証券市場といった幅広いテーマを扱うため、講義内容のすべてを1冊の教科書でカバーすることは困難です。したがって、特定の教科書は指定しません。

参 考 書

講義の内容を理解するために有用な参考書を第1回目の講義のときに示します。また、細かい論点をさらに理解するために必要な参考文献は講義中に適宜指示します。

履修コード	095411
科目名	情報入門 I
担当者名	谷口 裕子

経・経A・
商・現

講義の到達目標(ねらい)

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、基礎ゼミと連携して商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット(電子メールやWWW)を利用できるようになること、さらにはPower Pointによる発表資料作成法、WORDの基本機能を習得することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
(2~4) パソコンの仕組み、Windowsの基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネットワーク、インターネット用語の説明、検索の方法、電子メールの使い方
(5~9) Power Pointの基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
(10~14) Wordの基本操作、Word文書の作成・印刷、表の作成
(15) テスト

履修上の留意点

1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
5) 2年次以降の履修はできないので注意すること。
6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
7) 後期の情報入門IIの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに履修登録すること。
8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書／テキスト

開講時に指定。

参 考 書
そ の 他

必要に応じて紹介する。

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	095421
科目名	情報入門Ⅰ
担当者名	井川 俊実 <small>いかわ としむ</small>

講義の到達目標(ねらい)

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。

本講義では、基礎ゼミと連携して商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらにはPower Pointによる発表資料作成法、WORDの基本機能を習得することを目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- (2～4) パソコンの仕組み、Windowsの基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネットワーク、インターネット用語の説明、検索の方法、電子メールの使い方
- (5～9) Power Pointの基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
- (10～14) Wordの基本操作、Word文書の作成・印刷、表の作成
- (15) テスト

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修はできないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。
- 8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

中濱光昭監修『情報リテラシー基礎演習』FOM出版4,200円

必要に応じて紹介する。

YeStudyを利用した講義なので、前もってユーザIDを取得する必要があります。

経・経A・
商・現

履修コード	095451
科目名	情報入門Ⅰ
担当者名	山邊 ^{やまべ} 茂之 ^{しげゆき}

講義の到達目標(ねらい)

コンピュータを活用した情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学んでいく上で欠かせないスキルとなっている。また、コンピュータの知識・スキルは、社会においても必須である。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない段階から習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れること、インターネット（電子メール含む）を利用できるようになること、さらには Microsoft Office Word による文書作成技法の習得を目的とする。

ガイダンス：教場の使い方、受講上の注意、パソコンの起動・終了方法。

情報リテラシー(1)～(5)：パソコンの仕組み・用語。Windowsの基本操作。マウス操作。YeStudyの使い方。日本語入力(IME)の説明。タイピング。Windowsのトラブル回避方法。インターネット・ネチケットについて。ActiveMailの使い方。ファイルとフォルダ。ネットワークドライブの活用。

小テスト：情報リテラシー後

Office Word(1)～(6)：Microsoft Office Word(2007)の基本操作、文書の作成。フォントの変更、文字の大きさ・色の変更。箇条書き。印刷、図・クリップアート・図形の挿入。表の作成、ワードアートの挿入、文章の校正、検索、置換。レイアウト（ページ番号、改ページ、段組みなど）。

Office Word(7)：Microsoft Office Word(2007)実機テスト

前期最終講義：期末総合テスト

履修上の留意点

1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。

2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。

3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

4) 現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。

5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。

6) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テストと実機試験及び最終講義に実施する総合試験の結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は、別途加点する。

教科書／テキスト

開講時に指定する。

参 考 書

必要に応じて紹介します。

そ の 他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

経・経A・
商・現

履修コード	095431
科目名	情報入門Ⅱ
担当者名	たにくち ゆうこ 谷口 裕子

講義の到達目標(わらい) 本講義は「情報入門Ⅰ」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き Word による文書作成技法および表計算ソフト (Excel) の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。また、基礎ゼミと連携して、大学で学ぶ上で必要な技法の習得を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール (1～6) Word の文書レイアウト、図の作成、図の挿入
(7～11) 表計算 Excel の基本操作、データ集計、関数の利用、表の書式 (罫線・列幅の変更など)・印刷

(12～14) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携
(15) 総合テスト、基礎ゼミレポート課題提出

履修上の留意点 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2) 「情報入門Ⅰ」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4) 商学科 1 年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
5) 2 年次以降の履修は出来ないので注意すること。
6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
7) 4 月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに登録すること。
8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、基礎ゼミレポート課題及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書／テキスト 開講時に指定。

参考書 必要に応じて紹介します。

その他の他 1 年次生のみ対象の科目です。2 年次以降は履修できません。

経・経A・
商・現

履修コード	095441
科目名	情報入門Ⅱ
担当者名	井川 俊実

講義の到達目標(ねらい) 本講義は「情報入門Ⅰ」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き Word による文書作成技法および表計算ソフト(Excel)の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。また、基礎ゼミと連携して、大学で学ぶ上で必要な技法の習得を目指す。

講義の内容／授業スケジュール (1~6) Wordの文書レイアウト、図の作成、図の挿入
(7~11)表計算 Excelの基本操作、データ集計、関数の利用、表の書式(罫線・列幅の変更など)・印刷

(12~14) WordとExcelの要点の復習、グラフの作成、Wordとの連携

(15) 総合テスト、基礎ゼミレポート課題提出

履修上の留意点 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。

2) 「情報入門Ⅰ」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。

3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。

5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。

6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。

7) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに登録すること。

8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、基礎ゼミレポート課題及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書／テキスト 中済光昭監修『情報リテラシー基礎演習』F O M出版4,200円

参考書 必要に応じて紹介します。

その他 YeStudy を利用した講義になります。

経・経A・
商・現

履修コード	095461
科目名	情報入門Ⅱ
担当者名	山邊 茂之

講義の到達目標(ねらい) 本講義は「情報入門Ⅰ」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、Microsoft Office Excel による表計算・グラフ作成法、Microsoft Office PowerPoint によるプレゼンテーション技法の習得を目的とする。

講義の内容／授業スケジュール ガイダンス：教場の使い方、受講上の注意

Office Excel(1)～(7)：Microsoft Office Excel(2007)の基本操作。表計算、相対参照・絶対参照。シート間計算、関数、ユーザー定義。グラフの作成。複合グラフ。データの並べ替え。

Office Excel(8)：Office Excel 実機テスト

Office PowerPoint(1)～(5)：Microsoft Office PowerPoint(2007)の基本操作。スライドマスタ。アニメーション。プレゼンテーション資料作成、個人発表。

後期最終講義：期末総合テスト

履修上の留意点 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。

2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。

3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

4) 現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。

5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の実機試験、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果、そして最終講義に行う総合試験結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書／テキスト 開講時に指定する。

参考書 必要に応じて紹介します。

その他 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	095901・095911・095921
科目名	基礎情報処理Ⅰ
担当者名	<small>あいうら</small> 相浦 <small>のぶのり</small> 宣徳・ <small>たにぐち</small> 谷口 <small>ゆうこ</small> 裕子

講義の到達目標(ねらい) コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット(電子メールやWWW)を利用できるようになること、さらにはMicrosoft Wordによる文書の作成技法および表計算ソフト(Microsoft Excel)の基本操作を習得することを目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- (2-6) パソコンの仕組み、Microsoft Windowsの基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネットワーク、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
- (7-13) Wordの基本操作、文書の作成・印刷、表の作成、文書レイアウト、図の作成、図の挿入
- (14-15) 表計算 Excelの基本操作

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
 - 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
 - 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
 - 4) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
 - 5) 抽選登録の際、3つある基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ全てについて第1順位から第3順位まで優先順位を決めて、3つとも抽選登録すること。
 - 6) 基礎情報処理Ⅰ・Ⅱは、同じ曜日・時限のものをセットで選択しなければならない。
 - 7) 抽選で当選した前期「基礎情報処理Ⅰ」の4月初回の授業に必ず出席して、担当教員から許可を得なければ履修できない。
 - 8) 経済学科1年次は必ずこの講義を履修登録すること。来年度以降2年次以降の履修は原則としてできないので注意すること。
 - 9) 2年次以降の学生で当科目を履修したい場合は初回講義に必ず出席し、担当教員の指示を受けること。
 - 10) 後期の基礎情報処理Ⅱの履修登録ミスが目立っている。後期の基礎情報処理Ⅱも忘れずに履修登録すること。
- 成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。
- 教科書/テキスト 開講時に指定する。
- 参考書 必要に応じて紹介する。
- その他 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は【原則として】履修できません。

履修コード	096001・096011・096021
科目名	基礎情報処理 II
担当者名	<small>あいうら のぶのり たにぐち ゆうこ</small> 相浦 宣徳・谷口 裕子

講義の到達目標(ねらい)	本講義は「基礎情報処理 I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト (Microsoft Excel) によるデータ処理法、Microsoft PowerPoint によるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1-3) Word と Excel の要点の復習 (4-10) データ集計、関数の利用、表の書式 (罫線・列幅の変更など) ・印刷、グラフの作成、Word との連携 (11-15) プレゼンテーション PowerPoint の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能、個人発表
履修上の留意点	1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。背積極的に知識を吸収することを期待している。 2) 「基礎情報処理 I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。 4) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。 5) 抽選登録の際、3つある基礎情報処理 I ・ II 全てについて第 1 順位から第 3 順位まで優先順位を決めて、3つとも抽選登録すること。 6) 基礎情報処理 I ・ II は、同じ曜日・時限のものをセットで選択しなければならない。 7) 抽選で当選した前期「基礎情報処理 I」の4月初回の授業に必ず出席して、担当教員から許可を得なければ履修できない。 8) 経済学科1年次は必ずこの講義を履修登録すること。来年度以降2年次以降の履修は原則としてできないので注意すること。 9) 2年次以降の学生で当科目を履修したい場合は初回講義に必ず出席し、担当教員の指示を受けること。 10) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っている。必ず後期の基礎情報処理 II も忘れずに履修届に記入して登録すること。
成績評価の方法	各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表、最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	開講時に指定する。 必要に応じて紹介する。 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は【原則として】履修できません。

経・経A・
商・現

履修コード	101211・101221・101231・101241・101251・101261
科目名	基礎ゼミ
担当者名	勝田 佳裕・小西 宏美・吉田 真広

講義の到達目標(ねらい)

基礎ゼミは、勉学意欲に燃えて入学してきた新入生の皆さんに、入学後の学習の道案内をするとともに、学習のためのスキル（学習技術）を身につけてもらおうという目的で設けられた科目です。新聞を広げてみると、私たちの暮らす社会は実に様々な問題があることがわかります。社会科学、とくに経済学や商学・会計学・経営学を学ぶということは、新聞に載っているさまざまな問題がなぜ生まれてくるのか、その問題をどのように解決すれば良いのかということについて、事実を正確に認識した上で、考えることです。その過程で、どのような問題であろうと興味・関心が湧いてくればしめたものです。

興味・関心が芽生えた問題をさらに追求しようとするとき、基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった学習技術が大いに役立ちます。たとえば、講義で聴いたことをノートにとるだけでもそれなりのコツが必要です。ノートはとったけれども、後で見直してみたらサッパリ、というのでは役に立ちません。基礎ゼミでは、具体的な問題を皆さんに紹介して興味・関心を喚起しながら、同時にそれを題材にして学習のための知識と技術を演習形式で身に付けてもらいます。

講義の内容／
授業スケジュール

内容は、大別して（１）大学生活の過ごし方（３回程度）、（２）学習技術の習得（６回程度）、（３）レポート作成とプレゼンテーション（５回程度）の３つを柱とします。

基礎ゼミは、商学科の新入生を対象としていますので、最初に大学生活の過ごし方について考えます。大学４年間でどう過ごすのか、卒業後の進路も含めた人生計画を立ててみましょう。

学習技術の習得は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これらを、具体的問題を題材にしながら実習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションします。

準備学習

基礎ゼミでは、新聞の切り抜きやレポートなどの課題が出されることがあります。担当者の指示に従って課題をこなしましょう。

履修上の留意点

基礎ゼミが１年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないことを望みます。また、学習スキルを身に付けたり、プレゼンテーションを行うためにはPCの活用が不可欠です。「情報入門Ⅰ」、「情報入門Ⅱ」は必ず履修して下さい。

成績評価の方法

出席、レポート、プレゼンテーションで評価します。

教科書／テキスト

第１講時に担当者がそれぞれ指示します。

参考書

担当者が適宜紹介します。

その他

基礎ゼミで基礎知識と学習技術を習得し、社会・経済問題への興味・関心を養い、４年間の勉学に大いに役立てられることを期待します。

１年次生のみ対象の科目です。２年次以降は履修できません。

履修コード	101271・101281・101291・101311
科目名	基礎ゼミ
担当者名	館 健太郎・山下 裕介・松本 典子

講義の到達目標(ねらい)

基礎ゼミは1年生を対象とし、今後の4年間で社会・経済問題への興味・関心を養いながら、大学生として自らのキャリアをどのように積んでいくのかを考え、同時に勉学の基礎となる知識と学習技術(「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった技術)を具体的な問題を題材にしなが

講義の内容／
授業スケジュール

ら、学習のための知識と技術とを演習形式で身に付けてもらうことを目的としています。
本講義は大別して(I)～(III)のモジュールから構成されており、それぞれ
(I) 基礎知識の習得(1～5)、
(II) 学習技術の習得(6～10)、
(III) 基礎知識・学習技術を活用したレポート作成とプレゼンテーション(11～15)
の3つを柱としています。

ここでの基礎知識は、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルのいわゆる暗記物の知識だけでなく、大学生として今後の4年間で積み上げていく自らのキャリアをどのように捉え、またこれを発展させていくのかを考える上で必要となるような知識や技法も含まれます。また、学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これら具体的問題を題材にしなが

準備学習
履修上の留意点

ら実習します。
最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションをしてもらいます。

新聞を読みましょう。

基礎ゼミが1年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないようにして下さい。またPCの活用が不可欠になりますから、「情報入門I」、「情報入門II」は必ず履修して下さい。さらに、企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるためにも、新聞、雑誌の経済・経営欄に目を向け、自らアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、レポート(50%)、プレゼンテーション(20%)ならびに講義への参加姿勢その他(30%)で評価します。

教科書／テキスト
参考書

『MY CARRER NOTE』BENESSE、2006年。

適宜指示します。

経・経A・
商・現

履修コード	099291
科目名	キャリア・デザイン
担当者名	竹下 睿麒

講義の到達目標(ねらい)

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してつづける職業および職務」ですが、広義には(職業・労働の世界での生き方に限定されず)「人生の諸過程(ライフプロセス)、生き方(ライフスタイル)」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること(人生設計)です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要となります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール

講義—1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応(学業と就職準備活動の両立)、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか(生涯学習社会と「キャリア・デザイン」)、3. ライフサイクルと職業生活(職業と就職の意味)、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割(学業と課外活動の意義)、5. 大学生生活をどのように過ごすか(進路選択=職探しは自分探しである)。ゲスト講師による「キャリア・デザイン(人生設計論)」—前期3～4回、後期5～6回。なお、前期、後期の初めに「授業実施計画」(スケジュール表)を配布します。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

後期の期末に記述形式の定期試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書／テキスト

教科書は使用しません。

参考書

講義のつど紹介します。

その他の

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。適宜、講義内容に関連するレジュメ、プリント、資料を配付します。

履修コード	090001・090002
科目名	経済理論B・経済システムの原理 経済理論I B・経済システムの原理
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい) 今日のエconomicシステムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業による商品生産、すなわち資本の運動にもとづいて実現されています。経済理論Aは、資本のシステムの基礎的諸条件をあきらかにしました。資本のシステムは、資本の運動法則を基礎に、それを構成する様々な部分に関連しあっています。経済理論Bは、このような観点から、経済システムの諸姿態を捉えていきます。その上で、現代資本主義を法則的なシステムとして捉えるのに必要な、独占資本主義論、国家独占資本主義論などについても触れていきます。

講義の内容／授業スケジュール
1 経済理論Bを始めるにあたって
2～3 経済学の対象と方法
4～6 商品と貨幣
7～10 資本の生産過程
11～13 資本の再生産と流通
14～16 利潤と利潤率低下の法則
17～19 商業利潤・利子・地代
20～23 独占資本主義の理論
24～ 現代資本主義の理論

準備学習 現実の経済への問題意識を養う上で、新聞に絶えず目を通したり、テレビ・ラジオなどのニュースに注意を払うことが必要です。

履修上の留意点 この科目は、経済理論Aの発展科目です。原則として、講義は、経済理論Aの既修者を想定して行ないますが、未修者にも配慮しますのでなんら不利な点はありません。

この科目は、ノートをよく取りながら学ぶことで全体の理解が可能となる、といった体系性を持っていますので、1年を通して欠かさず出席することが求められます。なお、年に数回、授業時間中に小レポートを書いていただきます。

成績評価の方法 成績評価は、期末試験の成績に小レポートの評価を勘案して行ないます。
教科書／テキスト 一井 昭著『ポリティカル・エコノミー』(桜井書店) 2,520円
参 考 書 大石雄爾著『商品の価値と価格』(創風社) 3,600円

経・経A・
商・現

履修コード	091601
科目名	会計学総論
担当者名	ふくしま たかし 福島 隆

講義の到達目標(ねらい) 「会計はビジネスの共通言語」とも言われ、ビジネスをする際には必要不可欠な知識であり、会計の存在を抜きにして企業の経営状態を表すことはできません。また、会計の国際化に伴い、その重要性は以前にも増して高まってきています。本講義は、会計学の基本的な知識を習得することを目的としており、「総論」という名称通り、どちらかといえば「浅く広く」講義を行います。具体的には、財務諸表や会計に関連する新聞・雑誌記事を「読む」ことを主眼として、講義を行います。

以下のようなスケジュールを予定しています。なお、授業内で中間試験を2回行います。中間試験の日程は、授業中に指示します。

講義の内容／授業スケジュール
(1) オリエンテーション、(2～4) 財務諸表総論、会計を取り巻く法律、(5～10) 資産会計論、負債・純資産会計、損益会計等、(11～13) 連結財務諸表、キャッシュフロー計算書、(14～16) 各種会計基準の概要、(17～19) 財務諸表分析、(20～23) 管理会計、(24～25) 監査制度、(26) 国際会計の動向

準備学習 特にありませんが、簿記の知識があることが望ましいです。

履修上の留意点 会計学は積み重ねが重要ですので、毎回出席して、復習に時間を当ててください。また、毎回電卓を持参して下さい。なお、10分以上の遅刻は欠席扱いとします。授業中の私語で注意された学生は、大幅減点されます。

成績評価の方法 出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。なお、受講生が少ない場合には、授業中に発言を求められることがあり、発言してくれた学生には別途加点します。

教科書／テキスト 未定。初回の授業で指示します。

参 考 書 必要に応じて指示します。

そ の 他 簿記論を未履修の学生は、なるべく簿記論を同時履修するようにしてください。

履修コード	092311
科目名	上級簿記
担当者名	ふくしま たかし 福島 隆

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、日商簿記検定2級の取得を目指し、株式会社における簿記を中心に学習します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。2009年度は、商業簿記終了後は工業簿記と1級の導入部分を行いました。

講義の内容/
授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。授業中に2回中間試験を行います。中間試験の日程は、授業中に指示します。11月の日商簿記試験までに、2級の商業簿記の範囲と(可能な限り)工業簿記を終わらせます。

(1) ガイダンス (2) 現金預金 (3) 有価証券 (4・5) 手形 (6) 引当金 (7・8) 商品売買 (9・10) 特殊商品売買取引 (11) 固定資産 (12) 税金 (13・14) 株式会社会計 (15・16) 本文店会計 (17・18) 帳簿組織 (19～) 工業簿記、連結会計等

準備学習
履修上の留意点

日商簿記3級の範囲は各自で復習しておいてください。

簿記は積み重ねが重要ですので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。10分以上の遅刻は欠席扱いとします。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

- (1) 平常点重視型・・出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。
(2) 試験重視型・・中間試験60点(30点×2回)、定期試験40点。

教科書/テキスト

福島隆「上級簿記」2,940円(税込)。駒澤大学で教えるためだけに作成したもので、大学の売店でしか販売していません(市販はしていません)ので、注意して下さい。

参考書
その他

必要に応じて指示します。

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

経・経A・
商・現

履修コード	092501
科目名	経済数学
担当者名	いけだ ひろし 池田 宏

講義の到達目標(ねらい)

経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的な方法の修得を目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

前期: 線形代数 1. ガイダンス (2.3.4.5) ベクトルと行列の定義と計算 (6.7) 1次変換と固有値、固有ベクトル (8.9.10) 行列式の定義と計算 (11.12) 連立1次方程式(掃き出し方) (13) 線形計画法 (14) 試験

後期: 微分積分 (1.2.3.4) 微分の基礎 (5.6) 接線、増減、極値 (7.8.9.10) 基本関数の微分 (11.12) 高次導関数 (13.14) 多変数関数と偏微分 15. 試験

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

高校普通科の2年までに学習する行列、ベクトル、微分の復習

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

前後期に各一回行う試験と、授業内で提出する課題と出席状況からなる平常点から総合評価します。評価の割合は試験点(80%)と平常点(20%)です。

教科書/テキスト

教科書は指定しない。必要な時に適宜、教材プリントを配布する。

参考書

田代嘉宏著 『数学概論 線形代数/微分積分』 裳華房 本体2400円
ISBN4-7853-1078-2 C3041

履修コード	101301
科目名	演習 I
担当者名	溝手 芳計 <small>みぞて よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい) 食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容／授業スケジュール テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは2年次生だけで学習しますが、このほか上級生と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点 ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

成績評価の方法 ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書／テキスト 1冊目：別途指示します。

参 考 書 2冊目以降は、ゼミ生と相談の上、決定しますが、2年次は食料問題を中心にします。

そ の 他 食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

演習 III で「卒業研究」を併設します。

履修コード	101401
科目名	演習 I
担当者名	森田 佳宏 <small>もりた よしかろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計とに分けられる。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

講義の内容／授業スケジュール 本演習では、財務会計および監査の基礎理論を学ぶことを目的とする。

履修上の留意点 テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習を取り入れることもある。演習 I の終了時にはレポートの提出を課すので必ず提出すること。

成績評価の方法 演習であるから、すでにどれだけ知識を持っているかということよりも、みんなと一緒に会計を勉強したいという気持ち重視したい。したがって、特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。

教科書／テキスト 出席を重視するが、そのほかに報告内容（レジュメを含む）、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

参 考 書 新井清光著、川村義則補訂『現代会計学（第10版）』中央経済社、2,730円（なお、改訂版が出る可能性があるため、初回の演習時まで購入しないこと）

そ の 他 演習時に適宜紹介する。

演習 III に「卒業研究」を併設する。

履修コード	101411
科目名	演習 I
担当者名	小西 宏美 <small>こにし ひろみ</small>

講義の到達目標(ねらい) 「多国籍企業、多国籍金融機関とカジノ資本主義」をテーマとしています。「カジノ資本主義」とは何か、多国籍企業、多国籍金融機関の活動がいかに経済を「カジノ化」してきたのか、「カジノ資本主義」は我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容／授業スケジュール 国際経済、国際金融関係のテキストを使ってレジュメの作成や報告、討論を行います。また学内／学外のゼミ連に参加します。

履修上の留意点 演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法 出席、報告、討論の3点で評価します。

教科書／テキスト 最初の授業時に指定します。

履修コード	101421
科目名	演習 I
担当者名	なち けんたろう 館 健太郎

講義の到達目標(ねらい)

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざす。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとても広い。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっている。

本演習では主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱う。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考える。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になるが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきだろうか。政府は何か政策を打ち出すべきだろうか。ゲーム理論という共通の土台の上に立って議論できるようになることを目指す。

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使ってゲーム理論そのものの学習を中心に勧める。その後、ゲーム理論の学習と並行してグループや個人で実際の産業や行政について調べ、そこからゲームを作って分析するなどより実践的な研究へと展開する。

自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視する。

出席回数・発表などの平常点と授業内試験で評価する。

渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』、ナツメ社、1470円、ISBN4-8163-3745-8

とくになし。

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト

参 考 書

履修コード	101431
科目名	演習 I
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広

経・経A・
商・現

講義の到達目標(ねらい)

演習 I では、講義「地域経済論 a、b」の予習・復習をかねて、地域経済・地域産業に関する基礎的な理論と分析手法を学ぶ。また、レポート・論文作成にとって必要なスキルを高めてもらう。

地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。

前期では、地域経済論の基礎的な文献や統計データ等を使って、輪読や担当を決めての要旨報告を中心に討論を行なう。具体的には、地域の人口・世帯、就業・労働、事業所・企業、産業（農業・工業・商業・サービス業）、各種インフラ、財政等、に関する地域経済の統計データについて、その分析方法を学ぶ。

ゼミ合宿では、仮想（実在しないが地方都市の典型例）の A 地域の活性化プランをグループ単位で取りまとめてもらう。既に用意してある A 地域の統計データや、A 地域の主要企業やキーマンのヒアリング情報等を分析し、A 地域の課題抽出とその解決に向けた活性化策を提示してもらう。

後期では、ゼミ生各人（またはグループ）が愛着のある実在の地域を選定し、そこをケーススタディにして地域活性化プランを取りまとめてもらい、発表まで行う。

「地域経済論 a・b」の講義、「ベンチャー論・起業論」の講義を履修することがのぞましい。

ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト

参 考 書

そ の 他

出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。

開講時にゼミ生と相談して決定する。

都度、紹介する。

とりあえずは、講義の「地域経済論 a・b」「ベンチャー論・起業論」を参照のこと。

演習 III では、「卒業研究」を併設する。

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	101441
科目名	演習 I
担当者名	<small>まつだ たけし</small> 松田 健

講義の到達目標(ねらい)	今日の企業は単に経済的な機関として位置づけられるのみならず、私たちの生活に大きな影響力を及ぼす社会的存在に成長しました。企業とは一体どのような存在なのでしょう？私たちはどの程度企業について知っているのでしょうか？
講義の内容／授業スケジュール	本演習はこうした基底的問題意識を踏まえつつ、現代における企業の基本的活動について体系的に理解することを目的としています。 利潤の追求を基本的原理としながら、製品・サービスの生産・流通・販売という経済活動を担う、企業の行動を主たる対象として、私たちの生活に密接不可分な存在になってきている企業を、再度「企業とは何か」という視点から見つめ直します。一年を通じて、企業の意義、役割およびその特質について理論的に考察を進めます。 第1回 前期オリエンテーション 第2回～第10回 研究課題に関する資料輪読とレジュメに基づいた報告 第11回 小括：資料輪読による知見をまとめた研究報告（1） 第12回～第14回 夏合宿で扱う研究課題に関する資料輪読と討論 第15回 小括：資料輪読と討論による知見をまとめた研究報告（2） 第16回後期オリエンテーション 第17回～第26回 研究課題に関する資料輪読とレジュメに基づいた報告 第27回 小括：資料輪読による知見をまとめた研究報告 第28回 他大学ゼミとの研究交流会（1） 第29回 他大学ゼミとの研究交流会（2） 第30回 まとめ
履修上の留意点	専門演習とは、一つの学問領域に絞りながら、この領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。
成績評価の方法	ゼミへの出席は最低要件です。したがって各自の発表を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	適宜指示します。 経営学辞典あるいは経営学用語集 ⇒これではなければならないという指定はありませんが、用語がわからないと聴講しても理解不足に陥りますので、自分で使い易いものを選んで使用して下さい。 その他の指定図書については、適時指示します。
そ の 他	卒業研究有り

経・経A・
商・現

履修コード	101451
科目名	演習 I
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子

講義の到達目標(ねらい)

非営利組織をベースに、企業と非営利組織を比較することによって両者の特徴を学び、社会的企業のような営利／非営利を超えたハイブリッドな組織も対象として、経営学的・経済学的な研究を行います。また、実際に非営利組織や社会的企業に訪問ヒアリング調査を実施したり、ゼミ内でプレゼンを行ったり、サブゼミや懇親会等を通じてゼミ生同士の交流を深めることで、卒業研究や就職にむけた様々な能力を培います。

講義の内容／
授業スケジュール

講義では、非営利組織や社会的企業に関する文献を読み、基礎知識を身につけます。また、第一線で活躍している人に話を聞いたり現場を見学することで、文献では学べないことを積極的に学びます。同時に、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力やHP作成能力、訪問ヒアリング調査やゼミ生同士の交流によるコミュニケーション能力を獲得することを目指します。

準備学習
履修上の留意点

1年間の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。

教科書を読み進めましょう。新聞を読みましょう。

①積極的な姿勢で授業にのぞんでください。無断欠席・無断遅刻厳禁！

②物事を積極的に調べてください。

③ NPO・企業・行政訪問、プレゼン大会、合宿等を積極的に企画し、参加しましょう。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に評価します。

田尾雅夫・吉田忠彦『非営利組織論』有斐閣、2009年、を予定しています。

参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。

非営利組織の用語に関する基本文献として以下を薦めます。

・雨森孝悦『テキストブック NPO』東洋経済新報社、2007年。

・パブリックリソースセンター編『NPO 実践マネジメント入門』東信堂、2009年。

・山岡義典編著『NPO 基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。

そ の 他

4年次(演習 III)に卒業研究を併設します。

非営利組織論 a・b を履修することがのぞましいです。

経・経A・
商・現

履修コード	101461
科目名	演習 I
担当者名	むらまつ けんじ 村松 幹二

講義の到達目標(ねらい)

現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために2年次には、ビジネス・エコノミクスの基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。

講義の内容／
授業スケジュール

経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心を持ち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。

前期には、ビジネス・エコノミクスのテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに合宿討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期には企業組織論や「法と経済学」のテキストの輪読とワーキング・グループによる研究発表を行う。

3年次前期には、企業組織論や「法と経済学」のテキストを輪読し、各自の研究テーマを決定する。3年次後期には、各自の研究発表をもとに討論を行う。4年次は卒論指導を行う。

履修上の留意点

ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。

成績評価の方法

ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的評価を行う。

教科書／テキスト

開講時にゼミ生と相談の上、決定する。

そ の 他

演習 III 履修時には、「卒業研究」(卒業論文)を併設する。

履修コード	101481
科目名	演習 I
担当者名	番場 博之

講義の到達目標(ねらい) 社会には、普段の生活で我々が気づかない様々な不思議があります。その不思議をマーケティング的発想で発見するセンスを磨くことが番場ゼミ(演習 I)の目的です。

講義の内容／授業スケジュール (1～5) ビジネス教育としてのグループエンカウンター
(6～10) ディベート
(11～15) フィールドワーク
(16～30) 「ビジネスモデルづくり」あるいは「課題研究」

履修上の留意点 詳細なシラバスは開講時に配布します。様々な活動を自主的かつ積極的に経験してみたい人のみ履修してください。

成績評価の方法 日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。レポートや試験は行わない。

教科書／テキスト 使用しない。

その他 ゼミの運営モデルは2年生から卒業までの3年間でつくられています。3年間のプログラムの内容やゼミの運営・活動の内容を十分に理解したうえで履修してください。番場が担当する演習 II、演習 III の詳細な内容を知りたい方は、問い合わせてください。

履修コード	101501
科目名	演習 I
担当者名	鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい) 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて、「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容／授業スケジュール 2年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるミクロ経済学・ゲーム理論のテキストを輪読します。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。必要に応じてコンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点 ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法 出席状況・予習状況・討論への参加度により評価します。

教科書／テキスト 梶井厚志・松井彰彦(2000年)『ミクロ経済学戦略的アプローチ』日本評論社

履修コード	101601
科目名	演習 I
担当者名	大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい) 現代の格差社会と貧困、及び社会保障について学習します。ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

講義の内容／授業スケジュール

履修上の留意点 ゼミでは、当然のことながら欠席や遅刻はゆるぎません。

成績評価の方法 平常点によるが、年に2回～3回のテキスト以外の読者感想文の提出を求めます。あとは諸君の勉強次第です。

教科書／テキスト 未定

その他 〈卒業研究の有無〉 ゼミ論は4年次に必ず提出しなければなりません。「卒業研究」は、義務ではないが、4年次の演習で開講します。自分自身の力をつけるために、提出することを要望します。

履修コード	101701
科目名	演習 I
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい) 金融や証券市場に関する基礎を習得すること。
 講義の内容／授業スケジュール 2年生の前半は、金融に関する基本を理解することを目指す。後半には、証券市場の現状理解へと進む。また毎年、2年生の後半には、日経ストックリーグへ参加している。
 履修上の留意点 欠席しないこと。
 成績評価の方法 出席点は80点、発表点は20点。レポートやテストはない。
 教科書／テキスト 代田 純、『新版 図説 やさしい金融財政』、丸善、定価1800円＋税、ISBN978-4-621-08214-0
 代田 純、『日本の株式市場と外国人投資家』、東洋経済、定価2800円＋税 ISBN 4-492-71155-4

履修コード	101801
科目名	演習 I
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義の到達目標(ねらい) 企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。特に、演習 I では、そのような分析視点を確立するために、基本的なスキルと知識を身につけることが目標となる。
 講義の内容／授業スケジュール 演習 I では、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に扱う。基本的には、プリントを中心にディスカッションを行いたい。
 履修上の留意点 積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。
 成績評価の方法 また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。
 教科書／テキスト 特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。
 参考書 特になし。
 その他 必要に応じて紹介する。
 合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

経・経A・
商・現

履修コード	101901
科目名	演習 I
担当者名	浅野 克巳 <small>あさの かつよし</small>

講義の到達目標(ねらい) ゼミの目標は3つ
 ・はじめに経済学を基礎理論からしっかり勉強しよう
 ・新聞の事例などを参考に理論を現実の経済に応用してみよう
 ・練習問題を通して経済学をしっかりマスターしよう
 講義の内容／授業スケジュール 1. マクロ経済学を基礎から学ぶ
 2. ミクロ経済学を基礎から学ぶ
 3. 経済学の理論を通して新聞や経済白書を読み経済学的に考える練習をする
 4. インターネットで経済学を学ぼう
 5. エクセルで需要曲線や供給曲線を描いてみよう
 6. 国家試験などの過去問を実際に解いてみよう
 履修上の留意点 演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。
 成績評価の方法 なにより授業にまじめに出席することが前提だ。
 教科書／テキスト 経済学の入門書を授業の際に指示する。
 参考書 必要に応じて参考書その他の資料については授業の中で指示する。

履修コード	102001
科目名	演習 I
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義の到達目標(ねらい) テーマ：日本経済論 - 1
 講義の内容／
 授業スケジュール 日本経済の歴史的展開
 また年間 2 回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。
 ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載します。

履修上の留意点 「演習」ですから出席することは基本です。
 合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。
 4 年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。

成績評価の方法 総合的に評価します。「定期試験」はありません。

履修コード	102101
科目名	演習 I
担当者名	いわたか みみたか 岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい) 企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、企業不祥事の続出、経営不振、敵対的買収、機関投資家・投資ファンドの不祥事など経営システムの改革が企業経営に求められています。演習では、現代企業におけるトップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業経営の仕組みやコーポレート・ガバナンスとコーポレート・パワーとの連関を理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関係、企業の社会的責任 (CSR) を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

講義の内容／
 授業スケジュール 企業経営に関わる基礎的な文献を用いて輪読形式によりグループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期に行うゼミ合宿では、現代の企業経営が直面する諸問題について、討論していきます。

準備学習
 履修上の留意点 企業経営の動向について、日常的に新聞・ニュース等を通じて情報収集をしてください。
 ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。専門の学習に向けて自らの課題を発見することや積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法 ゼミへの出席、発表内容、積極的な討論への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書／テキスト 開講時に指定します。

参考書 開講時に指定します。

その他 演習 III 履修時には「卒業研究」(4 単位)を併設します。

履修コード	102201
科目名	演習 I
担当者名	おおishi ひろし 大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい) 現在、日本の経済構造は大きく変化しつつあります。この変化は、1970年代の国際通貨制度の崩壊、石油危機などとともに始まり、バブル経済とその崩壊を経て今日に至っています。この演習では、資本主義の経済理論を学びながら、現代資本主義の諸問題について考えます。とくに、バブル経済がなぜ起こり崩壊したか、その原因を考えながら今日の日本経済の特質について学びます。

講義の内容／
 授業スケジュール 今年度は、北村洋基著『岐路に立つ日本経済』をテキストとし、日本経済の特質について、理論と歴史の両面から迫ります。また、環境問題、高齢化社会のあり方、日本の開発援助など、今日の重要問題について学習します。

履修上の留意点 欠席・遅刻をしないこと。演習 I の履修者は、原則として演習 II・III を履修し、4 年次に「卒業論文」を作成することになります。

成績評価の方法 平常点により評価します。

教科書／テキスト 北村洋基『岐路に立つ日本経済』(大月書店) 2,520円

参考書 大西広他『政治経済学』(大月書店)

その他 ①「卒業研究」を併設します。
 ②演習 II では、選択科目「ビジネス・インターンシップ」を履修することができます。
 ③コース制との関連：コースの履修は自由です。

履修コード	102301
科目名	演習 I
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

テーマ〔日本の工業化と産業・経済発展史〕

日本の経済、産業、企業の驚異的な成長はいかにして可能だったかを考察します。2年生の演習は、戦前の日本経済や産業の発展過程と経済システムの形成を中心に学びます。3年生の演習では、戦後の経済や産業の発展過程を中心に学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

〔前期〕 ①近代産業の形成期に外貨を獲得するのに最も貢献した製糸業(繭を原料に絹糸をつくる工業)の理解の手がかりとして和田英『富岡日記』、島岡幸一『野麦峠に立つ経済学』、山本茂実『ああ野麦峠—ある製糸女工哀史』、②綿織物の工程を手織りから機械織機に変え、織物業を飛躍的に発展させた「豊田佐吉」の国産「力織機」の発明、豊田織機製作所から分離し、国産初の乗用車「トヨベツクラウン」をつくつた「豊田喜一郎」の理解の手がかりとして邦光史郎『トヨタ王国』、③両替商から証券業・銀行業の基礎を築いた「野村徳七」の理解の手がかりとして邦光史郎『野村証券王国』などの経済小説を読み進めます。

また、参考資料として、「ああ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、「乗用車ゼロからの出発」「ビジュアル近代産業の形成」「日本の企業家群像 豊田喜一郎」などのDVDやVTRを副教材として使用します。

前期はこれらの教材を使用して、班別の課題研究発表やプレゼンテーションを行います。

〔後期〕 前期に学んだ日本の製糸業、紡績業、織物業や日本の自動車産業について論じた「学術論文」(学会雑誌)を読んだり、基礎的文献を教材に日本経済の形成期、産業資本の確立期を中心に、日本経済の発展過程や経済システムの形成を班別の課題研究発表やプレゼンテーションを行います。

日頃から新聞や経済の雑誌などを通じて日本経済について関心をもつこと。

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

授業の出席を基本的に総合評価します。

演習の時間に適宜紹介します。

島岡光一『野麦峠に立つ経済学』春風社。玉川寛治『製糸女工と富国強兵の時代・生糸がさきえた日本資本主義』新日本出版。その他演習の時間に適宜紹介します。

4年ゼミ(演習III)では、「卒業研究」(4単位)を併設しており、併せて履修することができます。演習IIIと「卒業研究」の合計8単位修得できます。

3年ゼミ(演習II)では、「インターンシップb」(2単位)を併設しており、併せて履修することができます。

インターンシップは「インターンシップa」(2単位)の履修が必要です。「a」と「b」の合計4単位修得できます。

2年ゼミ(演習I)は、できれば「教育経済論」の講義(4単位)も履修して下さい。

準備学習

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト

参考書

その他

経・経A・
商・現

履修コード	102401
科目名	演習 I
担当者名	有井 行夫

講義の到達目標(ねらい)

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企業社会に構造変革を迫っている今日のグローバルゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、佐和隆光『市場主義の終焉』

夏合宿 競争主義対平等主義

後期 有井のプリント、新聞の読み方(ファイルの作成)、ドーア『誰のための会社にするか』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%

教科書／テキスト

佐和隆光『市場主義の終焉』(岩波新書)。ロナルド・ドーア『誰のための会社にするか』(岩波新書)。

履修コード	102501
科目名	演習 I
担当者名	<small>なかすみ みつとむ</small> 中 濟 光 昭

講義の到達目標(ねらい)	インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。
講義の内容／授業スケジュール	履修者のパソコンスキルによっては、ICTリテラシー、レジュメ作成、レポーティング、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。
履修上の留意点	・合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。 ・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。インターネットに接続できるノートパソコンが必要です。
成績評価の方法	出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	別途指示 別途指示 ・積極性のある学生の参加を希望します。 ・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。 ・演習 III では、卒業研究（論文及び作品）を併設します。 ・編入学および転部・転科の学生を主な対象として4月に追加募集を行います。希望者は初回の演習に必ず出席すること。
関 連 リ ン ク	http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakasumi/

経・経A・
商・現

履修コード	102601
科目名	演習 I
担当者名	<small>しみず たかし</small> 清 水 卓

講義の到達目標(ねらい)	このゼミは、現在のヨーロッパ経済や社会の研究を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは多数の国や地域からなる大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、中東欧諸国の加盟、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会、教育制度、各国国民の日常生活など興味の対象はつきません。3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自分の考えを表現できるようになることを目指します。
講義の内容／授業スケジュール	担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行いますが、ゼミの中心は参加者学生との自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場にしたしたいと思います。
履修上の留意点	中・東欧諸国の加盟による構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。 演習 I では、ディベートとEUに関する基礎知識修得を課題とします。見学（裁判所、TBS、製鉄所、東京の街散歩）などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやりませぬ。 色々なことに挑戦しようというのがゼミの基本姿勢です。このように書くことと遊びの方を期待するかもしれませんが、はじめをつけて、何事につけ前向き真剣に取り組もうとする姿勢がほしいです。
成績評価の方法	それと、数年前から基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TOFLE、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。 参加者の意向を聞き取った上で決定します。 授業で紹介します。 「卒業研究」併設。

履修コード	102801
科目名	演習 I
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義の到達目標(ねらい)

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した社会、経済、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうこと。

講義の内容／
授業スケジュール

アメリカの大学（なかでも名門シカゴ大学）の演習の方式を採用して、「基礎はしっかり、研究は自由に」のスローガンのもと、活気あるゼミ活動をしています。何を研究・学習の対象とするかは、受講生の希望によりかなり幅広くみとめているのが当ゼミの特徴。

最初の2ヶ月は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。その後は、グローバル時代の世界経済の特質と諸問題、および日本経済の特質とその歴史的背景など、自主的研究としてどんなテーマをとりあげるばあいでも最小限知っておくべきことについて、共同で学習し、討論します。しばしば英語の文献も使用します。

その他、上級生によるパソコン教室、英語圏から当ゼミにきた留学生による英会話教室、上級生と少人数グループで一緒に学習・研究をするサブゼミの活動、他大学の学生と交流できる日本学生経済ゼミナールへの参加、アメリカの学生とのインターネットによる交流とテレビ会議システムをつかった遠隔討論会、工場見学・企業訪問など多彩なイベントが用意されています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

随時、有益な文献を紹介します。

随時、有益な文献を紹介します。

当ゼミは、2003年には『世界週報』で全国に、1994年にはCNN テレビで世界120カ国に紹介されました。

当ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

経・経A・
商・現

履修コード	103001
科目名	演習 I
担当者名	<small>みつおか けいみ</small> 光岡 博美

講義の到達目標(ねらい)

日本の福祉・社会保障、またそれを支える日本経済や労働問題について入門的な学習を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストにしたがって各自の分担を決め、レポーターの報告に従って討議を行う。また、夏と春は2泊3日の合宿を行う予定。但し、合宿への参加は強制しない。

履修上の留意点

自分からテキストに関連する、また興味あるテーマを決めて勉強して欲しいが、毎回の論読の個所は事前に精読しておくこと。

成績評価の方法

出席状況やレポートの内容などで総合的に判断する。

教科書／テキスト
参 考 書

参加者の意見や希望も考慮して決める。テキストは岩波新書程度のものを使用する。

テキストに従って、または必要に応じて紹介する。

履修コード	103101
科目名	演習 I
担当者名	<small>とくなが としあき</small> 徳永 俊明

講義の到達目標(ねらい)

発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とその中での人びとの生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたたかひについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさ”と“貧困”を考えます。

講義の内容／
授業スケジュール

上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも<考える>努力を求めます。

成績評価の方法

<考える>努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書
そ の 他

考え、討論するための資料を使ってすすめます。

演習 III に卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	103201
科目名	演習 I
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい) 演習のテーマは「ビジネス・経済・社会についての実証的アプローチ」である。ビジネス・経済・社会などの様々な問題について自分の力で考え行動できるように実証分析のやり方を学ぶ。それには統計学や経済学・データ分析などの知識が必要である。さらに自分の意見をしっかりと人に伝える文章表現やプレゼンテーション能力、自分の意見を裏付ける統計手法を身につけることを目指す。

講義の内容/
授業スケジュール

前期
 ・統計学・経済学・マーケティング等の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
 ・Word、Excel、Powerpointの基本操作に関する講義等
 ・統計学・経済学・マーケティング等の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表
 ・ディベート大会

後期

・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
 ・統計学・経済学・マーケティング等の本を輪読
 ・ゼミ成果報告会等

(ただし、学生ごとに理解度にばらつきがあると思われるために、演習内容はそれに応じて柔軟に対応する)

準備学習
履修上の留意点

教科書・参考書・資料等を予習しておくこと。

「統計原論」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「応用マクロ経済学」等の関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のために駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

参 考 書

教科書は開講時に協議する。

教科書だけにこだわらず、統計学・経済学・マーケティング等関連分野の書籍・雑誌・論文等から適宜選択する。

経・経A・
商・現

履修コード	103401
科目名	演習 I
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容/
授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が必要不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(ものの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書/テキスト

橋本寿朗『戦後の日本経済』(岩波新書)

参 考 書

演習を進める中で適宜に紹介します。

そ の 他

演習 III では「卒業研究」を併設します。

履修コード	103501
科目名	演習 I
担当者名	荒木 勝啓

講義の到達目標(ねらい) 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容／授業スケジュール モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低 DTP (デスクトップパブリケーション) の方法を習得させる。すなわち (1) 編集方法 (Page Maker, Quark Express) (2) グラフィックス (Illustrator) (3) レタッチ・修正 (Photoshop) を習得させる。ゼミ生は課題として、DTP 検定 2 種試験にチャレンジする。

成績評価の方法 検定試験への挑戦 50 と出席点 50。ただし検定試験に不合格だからといってゼミが不合格ということにはならないので、ご安心。

教科書／テキスト 指定なし。ただし必要な場合指示する。

履修コード	103601
科目名	演習 I
担当者名	曾我 信孝

講義の到達目標(ねらい) 2 年生のゼミでは、マーケティングの基礎理論を理解しながら学習姿勢と発表力を身に付けることを目標にする。

講義の内容／授業スケジュール 1～2 回 学習方法、調査方法、発表方法などを指導。
3～7 回 製品政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
8～12 回 価格政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
13～15 回 製品、価格政策に関するディベートをする。
夏合宿 マーケティングに関する時事問題を取り上げ、ディベートをする。
16～20 回 チャネル政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
21～25 回 販売促進政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
26～29 回 ディベート大会に向けての学習指導。
ゼミ合同ディベート大会
30 回 ディベート大会反省会

履修上の留意点 ・出席を重視するが、特に夏合宿、12 月のディベート大会は必ず出席をしてもらいたい。

成績評価の方法 平常点 (・日常の出席と学習態度 60%、・合宿の出席と学習態度 20%、・ディベート大会の出席と学習態度 20%) で評価する。

教科書／テキスト 特に指定しない。

参考書 必要に応じて紹介する。

経・経 A・
商・現

履修コード	103701
科目名	演習 I
担当者名	百田 義治

講義の到達目標(ねらい) 現代の日本企業の経営管理に関わる主要なテーマを中心に、グローバル化・情報化 (IT 革命) の進展など経営環境が激変するなかで大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。同時に、「社会から信頼される企業」に求められるものは何か、という視点から企業倫理や企業の社会的責任 (CSR) について学びます。

講義の内容／授業スケジュール 次のようなテーマに取り組みます。
(1) 経済危機のなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか? (1～6)
(2) 企業不祥事がなぜ多発するのか? その防止 (コーポレート・ガバナンス) には何が必要なのか? 株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか? 企業の社会的責任とは何か? (7～12)
(3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか? 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか? 日本の経営の何を残し、何を改革すべきか? (13～18)
(4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか? (19～24)
(5) 21 世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か? ネットワーク経営とは何か? (25～30)

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書／テキスト 百田義治編著『経営学基礎』(中央経済社) 2006 年

参考書 鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008 年。
稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005 年。

その他 「卒業研究」(4 単位) を併設します。

履修コード	103801
科目名	演習Ⅰ
担当者名	小栗 ^{おぐり} 崇 ^{たかし} 資

講義の到達目標(ねらい)

日本の企業会計制度は、現在、大きな転換期にさしかかっており、会計ビッグバンを経て国際会計基準への統合へと突き進んでいます。計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつあるといえます。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変ですが、発想を変えれば、現代社会のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスと考えられます。演習では、「グローバル化する日本の企業会計制度」をテーマに学習を進めたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

演習Ⅰでは、まず企業会計の基礎原理を理解することに重点を置き、企業会計の従来の方と新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の理論や方法を学習する予定です。そうした中で、国際会計基準のいくつかを取り上げ、その内容を深く検討してみたいと思います。演習は皆さんに報告をしてもらい、ディスカッションする方式で行います。資格勉強のように暗記するのではなく、「なぜそうなのか」「どうしてこうなるのか」という問題意識をぶつけあって研究することをこの演習ではめざします。

履修上の留意点

ゼミでは皆さんに積極的に発言したり質問したりすることを求めます。毎回、司会者や報告者、質問者などの役割を分担して進める予定です。必ず出席してください。ゼミの運営や行事にも意欲的に取り組む学生を希望します。なお「卒業研究」も開講する予定です。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

総合的に判断します。①出席状況、②報告内容、③レポート、④ゼミ運営への貢献度。
演習の中で指示します。
演習の中で指示します。

履修コード	103901
科目名	演習Ⅰ
担当者名	あわは あさ 姉 暁

講義の到達目標(ねらい)

紙面を賑わせるさまざまな社会・経済問題は、わたしたちの生活に多大な影響を与えるものでありながら、難解な言葉で語られることが多いので、実際には、それがどのように生活と関わっているのかが見えにくいものもあります。

そこで、演習Ⅰでは、生活実感を通して社会・経済の問題を考えていくことを体験してもらおうと同時に、「真理の探究」のために必要不可欠な「問題意識」を持てるような課題に取り組む作業を行いたいと考えています。

皆で一緒に考えていくこと、意見を交わしていくことで、複雑な問題でも理解しやすくなるという実感は、ゼミならではの最も大切な体験になることでしょう。

具体的には、「グローバル経済下の日本の消費生活」という大きなテーマの下、報告ならびに討論を行うつもりです。

講義の内容／
授業スケジュール

①通常のゼミ活動

ゼミの活動に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。タイムリーな問題を扱った新書やブックレットといった安価で簡潔にまとめられた題材を利用して、レジュメの作り方から報告・討論の手法を身につけます。

②合宿について

春と夏に合宿を行います。春合宿は2泊程度で、長時間にわたる集中的なゼミ勉強を通じて、レジュメ作成能力、討論能力を徹底して習得します。夏合宿は、これまでは5泊～6泊にわたる農村での合宿でした。共同作業、座学、地域の皆さんとの交流を経験しました。

③インナー大会、ゼミ討論会等への参加

学内・学外のゼミ討論会には積極的に参加します。特に11月に行われる学外ゼミとの討論会に合わせて論文作成、討論スキルの向上などに力をいれていくことになります。

そのほかに、ふれあい広場への参加などを通して、プランニング能力および実行力の向上をめざします。

準備学習

経済学の基礎理論を1年の時にしっかり学んでおいてください。とはいえ、ゼミでも基礎理論を復習しながら、現実問題を読み解く基礎を作っていくので「基礎知識が充分ではないからゼミについていけないのではないか？」などとは考えなくて大丈夫です。

経・経A・
商・現

履修上の留意点

とにかく、やる気と継続性、ゼミを最優先する覚悟があればゼミに入る資格としては十分です。

また、ゼミ登録後、春合宿に備えて、春休み中にレジュメの書き方指導が入ります。

遅刻・欠席は厳禁です。

ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、課題の解決に達するための努力が不可欠となります。

また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必須です。

時には、土日でもゼミ活動に割かれます。アルバイトよりゼミが優先となります。

ただ、その場に座っているだけでは、ゼミへの参加とはみなしえません。必ず毎回発言することが求められます。

また本ゼミでは、受動喫煙から徹底して非喫煙者の健康を守ります。

したがって、ゼミ開始10分前以降の喫煙、ゼミ合宿中の喫煙は禁止いたします。

報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。

最初の時間に何冊かを提示し、相談の上で決定します。

随時紹介します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

履修コード	104001
科目名	演習 I
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}

講義の到達目標(ねらい)

大学の授業には演習と講義があります。講義はいわば先生が中心にしゃべり、結論を出していきます。これに対して、ゼミ(演習)は学生が自分たちで問題を確かめ、事実と論理を確認し、結論へとたどり着くようにします。その意味では、皆さんが中心になって進めていきます。

変化の激しい近頃の社会では学んだことが古くなるスピードも速くなりつつあります。覚えたことは古くなったら使えなくなるものもあるでしょう。でも、大丈夫です。新しい状況について、また勉強すればよいのです。でも勉強をしたことがない人は勉強ができません。大学では特定の事柄について勉強しますが、同時にそれを通じて勉強の仕方を勉強しましょう。その勉強の仕方の中で、自分で調べたり、討論したり、人の意見を聞いたりしながら、知識を深め、根拠を確かめ、結論を出すといったトレーニングをし、また、相手に理解してもらおう発表に熟達するトレーニングをするのがゼミです。

講義の内容/
授業スケジュール

このゼミでは地球環境問題の中の「地球温暖化問題」を考えます。

近年の猛暑が騒がれていますが、これも年間平均にすると、平年に対して1度程度の昇温に過ぎません。国連の機関である IPCC によれば、今世紀末には地球全体が1.8-4.0度の気温上昇を見るだろうとされています。文明(農業)が生まれたのが1万年前とされていますが、この1万年というのは、地球の平均気温は15度近辺で安定していました。時々起きる変動の幅もプラスマイナス1度程度でした。つまり、今予想されている気候の変動は「文明の未体験ゾーン」なのです。

温暖化の害悪はさまざまありますが、海面上昇や雨の降り方の変化、農地の乾燥化、熱帯の病虫・害虫の北上などが言われています。映画にも取り上げられた「温暖化が地球の寒冷化をもたらす」という逆転現象も決して「冗談」ではない現実性をもったものです。

原因の主たるものは石炭・石油・天然ガスの燃焼に伴う炭酸ガスが太陽からの熱を閉じ込めて宇宙空間に逃げにくくするからです。しかも厄介なことに、暑くなるとますます暑くなるというメカニズムが地球にはあります。例えばシベリヤの永久凍土層にはメタンが閉じ込められていますが、暑くなればこれらが溶け出てきます。メタンガスは炭酸ガスの20倍の温暖化効果があります。こうした加速要因は23ほど見つかっていますが、そのほとんどがプラスの加速要因です。「サプライズ」とも言われる急激で過激な気候変動の可能性も排除はできません。

温暖化問題は近代文明・経済活動を支える化石燃料が主たる原因となって起こるため、その対策は経済活動にも大きな影響をもたらすし、経済活動のあり方や文明のあり方にも変更を迫ることになる可能性もあります。その対策をする時に必ず「利害」が絡みます。この利害関係を合理的に制御するのが経済学の課題です。

こういった問題を勉強するのがこのゼミです。通常の授業とならんで年2回の「ゼミ合宿」では集中的に1冊の本を勉強します。また、ゼミ生同士の親睦を図るため、いくつかのイベントも用意しています。

第1-5週: テキスト第1章第1-3節

第6-10週: テキスト第1章第4-5節

第11-15週: テキスト第2章第1-6節

第16-20週: テキスト第2章第7-9節、第3章第1-3節

第25-30週: テキスト第3章第4-12節

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書/テキスト

参考書

その他

出席の悪い人は単位を認定できません。

出席状況とゼミへの参加の積極性・発言を総合して判定する。

『よくわかる地球温暖化問題』(中央法規社)

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』(東大出版会)、『IPCC 地球温暖化第4次レポート』(中央法規社)

(卒業研究の有無)

あり。4年次に履修(別に4単位が与えられる)。

履修コード	104201
科目名	演習Ⅰ
担当者名	まつい りゆうへい 松井 柳平

講義の到達目標(ねらい) 統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容／授業スケジュール ガイドンス データの要約と視覚化 基本統計量 確率分布 相関分析 推定 仮説・検定 集計表と適合度検定 回帰分析 等分散の検定 時系列分析。数学モデル、確率モデルを視覚的に理解できることに重点を置く。

履修上の留意点 このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法 成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

教科書／テキスト 開講時に、ゼミ生と相談の上、決定する。

参 考 書 鳥居『はじめての統計学』（日本経済新聞社）ISBN4-532-13074-3
縄田『Excelによる統計入門』（朝倉書店）ISBN4-254-12142-3
得津『はじめての統計』（有斐閣）ISBN4-641-08667-2

そ の 他 パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

履修コード	104301
科目名	演習Ⅰ
担当者名	きたぐち りえ 北口 りえ

講義の到達目標(ねらい) 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習は、法人税における課税所得が企業利益をベースとしてどのように算出されるのか、その課税所得の計算構造に関する理解を深めることを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール 演習Ⅰ・Ⅱでは、企業会計を基礎として課税所得および税額を計算し、申告・納税するという企業会計と税務の一連の手続きについて、なぜそのような処理を行うのかという理論的部分を重視しながら学んでいきます。

履修上の留意点 課税所得は企業利益に調整を加えて算出されるものであるため、演習Ⅰでは、税務会計についての理解を深める前段階として、まず企業会計についての基礎知識－企業会計の基本原則や会計制度の構造について習得します。

成績評価の方法 基本的には、テキストの1つのテーマに対してレジュメを作成し報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

教科書／テキスト ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事（合宿、ゼミナール連合会での研究発表会、証券取引所見学や裁判所見学など）にも積極的に参加してください。

参 考 書 出席率、報告内容、ゼミやゼミの運営への参加度、レポート等の総合評価により行います。

そ の 他 理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

教科書／テキスト 未定（最初の演習の際に指示します）。

参 考 書 その他、適宜プリントを配布します。

そ の 他 伊藤邦雄『ゼミナール現代会計入門』（日本経済新聞出版社）
柳裕治『税務会計論』（創成社）
日商簿記2級取得のためのサブゼミを開きます（希望者のみ）。

経・経A・
商・現

履修コード	104401
科目名	演習 I
担当者名	飯田 泰之 <small>いいた やすゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) 演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する(つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」)際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
- ・Word、Excelの基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読
- ・卒論報告会

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学のa、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書は開講時に協議する。

参 考 書
そ の 他

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

経・経A・
商・現

履修コード	104601
科目名	演習 I
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゆんじ</small>

講義の到達目標(ねらい) ゼミのモットーは「常識や通念、風潮にとらわれない」です。その力はどのようにすれば養えるか、そのための学習をします。

また社会経済における「生きた会計」を学習するために「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容/
授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です、したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行います。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

単に本のなかの会計を学ぶのではなく、それを通して世の中の社会経済問題を読み解く力をつちかう。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

『日本の論点2009』(文藝春秋)、会計学の初級レベル。

参 考 書
そ の 他

『常識「日本の論点」』(文藝春秋)など、必要に応じて指示します。

世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生、国家試験にも挑戦する意欲ある学生を歓迎します。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見る事ができますので参考にしてください。

関 連 リ ン ク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>

履修コード	104701
科目名	演習 I
担当者名	友松 憲彦

講義の到達目標(ねらい)

経済史の基礎を学びます。現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに関心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことで現在の経済の理解を深め、その問題点を明らかにすることは、今後の社会や経済のあり方を考えることにつながります。経済学の基礎知識を習得しながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容／
授業スケジュール

2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。
2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。
3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読し報告と討論を行います。
4年次は、自分でテーマを決めて卒業研究をまとめます。
また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやレポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。
「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。
出席、発表、討論、レポートの状態を総合して評価します。
最初の授業で指示します。
演習を通じて紹介します。
卒業研究を併設します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

履修コード	104801
科目名	演習 I
担当者名	鄭 章淵

講義の到達目標(ねらい)

この授業の目的は、ゼミ生のみなさんに第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことである。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定している。同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs (新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール)、ASEAN3 (タイ、マレーシア、インドネシア)、中国、その他と続く発展の様は「雁行型発展」と称されてきた。

ところが、1997年のアジア通貨危機を機に東アジア経済は混迷に陥り、雁行型発展に乱れが見られるようになった。今日の事態は、東アジア経済を発展の側面からのみ捉えるのではなく、発展と危機の両面を視野に入れたアプローチが必須であることを示している。日本の経済的パートナーとして東アジア諸国の重要性が増している現状を鑑みると、日本の将来を担う皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えよう。

東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、下記の文献(教科書)を輪読する。具体的には、予め報告分担を決め、報告者には各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらう。

夏季休暇中にゼミ合宿を実施する。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定している。また、演習(ゼミ)の特別企画として課外活動も行うつもりである。

講義の内容／
授業スケジュール

準 備 学 習
履修上の留意点

アジア経済に関する新聞記事を常日頃から読むようにすること。

演習は何よりも学生の皆さんが主人公となるべき科目である。授業には休まず出席し、積極的に発言することを心掛けてもらいたい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定する。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』(有斐閣アルマ) 2,000円+税、ISBN4-641-12044-7

参 考 書
そ の 他

参考書については、授業の中でそのつど紹介する。
4年次に「卒業研究」を併設する。

経・経A・
商・現

履修コード	105001
科目名	演習 I
担当者名	吉田 真広 <small>よしだ まことひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本経済との関連から金融、国際金融、国際経済の基礎と現実、とりわけ今日の国際金融不安について理解していくことを演習テーマとします。そのためには、国際金融現象の基礎にある基本的原理や制度を学ぶと共に、日本経済に与える今日の国際金融の実体について理解を深めていきます。

講義の内容／授業スケジュール 国内及び国際的信用制度、日本と海外の証券市場、円ドル相場などに関する基礎的な理解を深めていきます。同時に、日本経済を巡る金融及び国際金融環境の変化、ヨーロッパ共通通貨ユーロ、人民元や円の国際化、銀行業及び金融業の国内及び対外的展開、日本とアジアの金融システム、通貨危機、金融危機などを含む様々な金融・国際金融現象を学んでいきます。最近の国際的金融不安についても、アメリカの金融システム、国際通貨論の視点から、その原因と構造を検討していきます。

準備学習 前期はテキストを利用しつつ、毎回報告者によるレポートと討論を行います。後期はゼミ論文の報告を前提に各人がテーマをもって報告を行っていく予定です。

成績評価の方法 演習では基本的なことから勉強していきますので、特段、事前の国際経済や金融に関する専門的知識は必要ありません。

教科書／テキスト 授業での報告内容と発言の積極性・内容、提出物など、総合的に判断します。

参考書 現在、山田博文『これならわかるグローバル時代の日本経済入門 金融経済 第2版』大月書店、2005年12月、を予定していますが、良いテキストが出版されたならば、変更もあり得ます。また、第1回目のゼミで、ゼミ生の希望を聞いてから、テキストを変更することもあります。

その他 必要に応じて、その都度示していきます。

ゼミ合宿を予定しています。また、東京証券取引所や日本銀行の見学・セミナーを予定しています。

履修コード	105101
科目名	演習 I
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゅうじ</small>

講義の到達目標(ねらい) 雇用、賃金、労働時間、能力開発、人事制度、労使関係といった人的資源管理論に関する基本的知識を獲得するとともに、現代的な問題意識をもってもらうことをねらいとしています。現代日本企業の人的資源管理はいま大きく変化を遂げつつあるところですが、従来の人的資源管理がどのような特徴と構造をもっていったのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化しているのか。このような問題を考えるのに有用な知識を修得してもらいます。

講義の内容／授業スケジュール 適当なテキストを選んで、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。適切な時期に、グループを作り、グループごとに小さなテーマを決めて、メンバー同士の協力のもとに下調べを行って、ゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点 人的資源管理に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他のメンバーの報告、それに基づく議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、率直に質問する姿勢を大切にしたい。つまり、とにかく積極的な参加・協力姿勢を重んじます。

成績評価の方法 毎週のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教科書／テキスト 初回ゼミで相談して決めます。

参考書 ゼミのなかで適宜指示します。

その他 (卒業研究の有無)
演習 II・III まで引き続き履修した場合には、演習 III 履修時に卒業研究を併設します。

経・経A・
商・現

履修コード	105201
科目名	演習Ⅰ
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい)	本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Ⅰでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を読み、基本的な事実関係や先行研究について理解することから始める。文献輪読と並行して、ゼミの共同研究にも着手する。テーマは受講生の話し合いで決め、学生主体で調査、発表、論文化する力を養っていきたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1)前期ガイダンス、(2)～(14)文献輪読およびゼミ研究の基礎的作業、(15)ゼミ研究中間報告、(16)後期ガイダンス、(17)～(29)文献輪読およびゼミ研究の応用的作業、(30)ゼミ研究最終報告 *詳細については、前期ガイダンス、後期ガイダンス時に知らせる。
履修上の留意点	授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。ゼミ活動の詳細については、1年次の秋に説明会を開催するので、受講希望者は必ず出席すること。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	演習へ取り組む姿勢を総合的に評価した平常点。 開講時に受講生と相談のうえ指定する。 授業の中で、その都度紹介する。 演習Ⅱでは、「インターンシップb」を併設する。 演習Ⅲでは、「卒業研究」を併設する。

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	けいとく ひろとく 鶏徳 啓登

講義の到達目標(ねらい)	現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。
講義の内容／授業スケジュール	本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。 1回～3回 : 行政法の意義について(法令の種別と法の解釈を含む)。 4回～6回 : 行政作用と行政行為について。 7回～15回 : 行政行為(特許や許可等)の意義、内容、効力について。 16回～20回 : 行政上の強制手段と行政上の処罰について。 21回～25回 : 国家による賠償と補償について。 26回～30回 : 行政上の不服申し立てと行政事件訴訟について。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。 原田尚彦著『行政法要論』(学陽書房) 3,000円:ISBN4-313-31222-6 『小六法』 出版社・定価各種 塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

経・経A・
商・現

履修コード	091701
科目名	商業政策
担当者名	番場 博之

講義の到達目標(ねらい) 経済活動としての流通活動は、単なる競争ではなくルールにもとづく競争である。そして、このような流通や商業に関わる方針やルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方
- (2～5) 流通・商業の基礎知識
- (6～9) 流通・商業政策の枠組み
- (10～15) 競争政策
- (16～21) 振興政策と調整政策
- (22～27) まちづくり政策
- (28～30) 海外における商業に関わる政策

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する
定期試験によって評価する。ただし、若干の平常点を加味することもある。
加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 『現代流通入門』有斐閣 978-4-641-18351-3
渡辺達朗『流通政策入門 第2版』中央経済社、2007年。
岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店、2007年。
番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房、2003年。

履修コード	091801
科目名	マーケティング
担当者名	曾我 信孝

経・経A・
商・現

講義の到達目標(ねらい) マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1～2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。
- 3～9回 製品政策について学習させる。
その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。
- 10～15回 価格政策について学習させる。
その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。
- 16～22回 チャンネル政策について学習させる。
流通機構とメーカーの販売チャンネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。
- 23～28回 促進政策について学習させる。
広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。
- 29～30回 マーケティング・ミックスについて学習する。

準 備 学 習

ケーススタディを豊富に取り入れて講義をしていく計画です。企業の製品開発や広告などマーケティングに関するニュースは把握しておいてください。
なお、日本経済新聞のニュースのデータベースが図書館から見ることができます。

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート（20％）年度末の課題レポート（20％）と平常点（講義中の小テスト評価：60％）によって評価する。

教科書／テキスト

基本的に教科書は使用しない。

参 考 書

参考書は適宜紹介する。

そ の 他

授業方法・講義形式

履修コード	092011
科目名	人的資源管理論 a
担当者名	堀 龍二

講義の到達目標(ねらい)

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

a (前期)では、主に、わが国企業が求める人材像の変化および人的資源管理の基本理念の変化を、企業を取り巻く環境の変化と関わらせて考察します。概略としては、グローバリゼーションとIT革命、さらには新自由主義に基づく規制緩和といった環境の変化が、労働の質や労働市場の構造を変化させ、それに対応して企業の人的資源管理の基本理念が変化していることを具体的に検討し、それが労働者の働き方にどのような影響を与えているかという時代状況を把握することをねらいとしています。

講義の内容／
授業スケジュール

教科書の順序にそって進める予定ですが、変更することもあります。

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3～5) 求められる人材像の変化、(6～8) 年功主義と能力主義、(9～10) 成果主義、(11～15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

準備学習

講義では最近の動向や傾向を取り扱うので、その具体的イメージをつかむために、新聞や雑誌等で人事労務管理関連の記事を点検しておくことが有益であろう。また、インターネットや統計資料でわが国の雇用や賃金の趨勢にも目配りしておくことが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a (前期)とb (後期)を合わせて同一年度に履修してください。

出席・小レポート (20%)、前期レポート (10%)、前期定期試験 (70%) を総合して評価します。追試験は実施します。

教科書／テキスト

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書

伊藤・中川・堀編『アメリカの経営・日本の経営』(ミネルヴァ書房、2010年3月刊行予定)。その他、講義中に適宜紹介する。

経・経A・
商・現

履修コード	092021
科目名	人的資源管理論 b
担当者名	堀 龍二

講義の到達目標(ねらい)

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

b (後期)では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するか、やる気をどう引き出し、どう育てるのかといった問題を取り上げます。具体的には、人事評価や賃金システムのあり方、職務割当や仕事の与え方、キャリア形成のあり方などが、成果主義時代にどのように変化してきているかという問題を考察します。いま、わが国企業は激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の有効活用の新たな方法を模索しています。こうした動向や傾向を把握することを目標としています。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストに沿って以下の構成で進める予定ですが、変更することもあります。

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価 (5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイヤビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

準備学習

講義では最近の動向や傾向を取り扱うので、その具体的イメージをつかむために、新聞や雑誌等で人事労務管理関連の記事を点検しておくことが有益であろう。また、インターネットや統計資料でわが国の雇用や賃金の趨勢にも目配りしておくことが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a (前期)とb (後期)を合わせて同一年度に履修してください。

出席・小レポート (20%)、後期レポート (10%)、後期定期試験 (70%) を総合して評価します。追試験は実施します。

教科書／テキスト

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書

伊藤・中川・堀編『アメリカの経営・日本の経営』(ミネルヴァ書房、2010年3月刊行予定)。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	092401
科目名	財務会計論
担当者名	小栗 崇資

講義の到達目標(ねらい)

企業活動の実態を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計です。財務会計は会社法や金融商品取引法のような制度(法律や規則)によって社会的に規制されています。そのような日本の企業会計制度はこの間、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化の過程をたどり、現在はさらにグローバルスタンダードである国際会計基準との統合の最中にあります。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような変化をとげていくかが、今問われているところです。

講義の内容/
授業スケジュール

講義の前半では、そうした制度変化を理解するのに必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みについて理解を深めた上で、財務諸表の(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)の構成や内容について学習を進めます。講義の後半では、新たに導入された様々な会計基準を取り上げ、その習得をめざします。特に国際会計基準の内容をできるかぎり紹介して検討する予定です。

次のような構成で進める予定です。

(1) 会計とは何か、(2~3) 経済社会と企業会計、(4~5) 会計規制の仕組み、(6~7) 日本の企業会計制度の歴史、(8) 会計ビッグバンとグローバル化、(9~12) 財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)の仕組み、(13~14) 連結財務諸表の仕組み、(15) 金融商品会計、(16) 退職給付会計、(17) リース会計(18) 税効果会計、(19~22) その他の新会計基準、(23~25) 国際会計基準の概要、(26~30) 財務諸表の活用

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み重ねていく学習スタイルが重要です。プリントを適時、配布しますので休まずに受講してください。私語は厳禁とします。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

中間試験および学年末試験の結果により評価します。

現在準備中。授業の中で指示する予定です。しばらくは配布するプリントを使います。

遠藤・小栗・新谷・徳前『新世紀の企業会計論』(白桃書房)

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える一変わる会計と経済』(大月書店)

履修コード	092611
科目名	応用ミクロ経済学
担当者名	荒木 勝啓

講義の到達目標(ねらい)

全体テーマを「ミクロ経済学はどのように実践的に役に立つのか」とする。ミクロ経済学に馴染みのない学生でも理解可能なように、数学基礎から解説するが、飽くまで最終テーマは「役に立つ」であるので、最後までテーマを見失わないように。役に立つとは、経済学的には最適性と言い換えることができる。したがって、以下の小テーマは、各局面に応じた最適手法のバリエーションである。そのような観点から俯瞰すると、我々は経済の各局面で結局は最適な行動を追い求めているのだということに気づき、テーマが自ずと見えてくるであろう。授業では、世界中で日々実行されている計算を、株価などのデータをもとに、関数電卓を使って実習する。

全体テーマを具体的に小テーマに分けると次のようになる。
まず経済学における制約付き最適化を身につけるために

(1) 制約付き最適化問題 -- ラグランジュ乗数法の習熟

次に要素間の最適代替関係の具体化として

(2) 長・短期費用関数の導出 -- 撤退か拡張か

を学習する。さらにその応用としての

(3) 最適在庫管理問題

を学習する。これは経営学・経営工学では必修項目である。

以上は基礎的なミクロ経済学の復習ともなっている。

経済学における割引 (discount) の概念を身につけるために、生活に身近な

(4) ローン計算の方法 -- 毎月いくら返済すればよいか

を実習する。金融・証券・貿易・不動産・流通などの分野を将来目指す学生ならばこの知識は必要不可欠である。速算法 (近似法) も学習する。

最後に現代社会における最大テーマの1つであるリスク最小化問題の

(5) 最適ヘッジの方法 -- 現物と先物のポートフォリオを例に

を統計手法とともに計算する。(5)のために特にベータの求め方とt-検定という統計的手法も合わせて学習する。(5)によって金融工学のメイン・テーマとしての「ヘッジ」の実践が理解されるであろう。証券アナリストやファイナンシャル・プランナーを目指す学生にとってはいうまでもなく必須の知識である。

なおここにたどり着く前に煩雑な統計分析の知識を講義するが(下記19-23)、その過程で基本テーマを見失う学生が多いことが、アンケート調査からもわかる。しかし、抽象理論を現実化するにはデータ解析が不可欠であり、それには統計分析以外あり得ない。理論が力となるためにこの回り道は必要である。

以上を時期的に大きく2つに分けると(1)から(3)が前期で(4)から(5)が後期である。授業には計算のために関数電卓(1000円程度から各種売られている)が必要である。

実社会では計算はコンピュータによりなされているが、それだからこそ、良い悪いは別にして世の中はそのように回っているのだということ電卓による手計算で実感することが必要で、その感覚はおそらく、将来諸君のビジネスに生かされることであろう。

経・経A・
商・現

講義の内容／
授業スケジュール

- 1-3. 基礎となる数学の復習——基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていた人でもよく理解できると思う。
内容：微分・全微分・偏微分係数・ベクトル・一次方程式（クラームルの公式）
- 4-6. 制約付き最適化問題（ラグランジュ乗数法）
- 7-9. 長・短期費用関数の導出
- 10-11. 最適在庫管理問題
- 12-13. 離散分析と連続分析、 e と対数関数
14. 対数微分と成長
15. テイラー展開・マクローリン展開
- 16-17. 割引の各種公式
18. ローン計算の実習
19. 記述統計 -- 平均・分散・標準偏差の計算
- 20-21. 確率、確率分布、密度分布、正規分布、 t -分布、小標本データの t -検定
- 22-23. 回帰分析の計算法 -- ベータの産出
- 23-30. 最適ヘッジの方法

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないと。金融工学などの手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとする膨大な量になる。
しかし、ノートをあとから見直すと、内容は専門書（洋書を含む）何冊分かの要約となり、また将来社会に出たときに使うことのできる真に有用な公式や図などで埋め尽くされていることが分かる。大げさな言い方をすれば、一生ものの公式集となるであろう。

学習内容は、金融、証券、貿易、流通、不動産、製造現場などでは実際にごく普通に使われている（むしろその入門でしかない）知識であり、諸君がもし将来ビジネスでまともに仕事をこなそうとするならば、必ず壁となって立ちふさがるであろう必須知識である。たとえば住宅販売に従事したならば、パソコンもなにもない現場で顧客に速算で月々のローン返済額を提示しなければならないかもしれない。そうした役に立つ経済学的知識をこの授業では体育会系的に身につけさせようとしている。役に立つならばだじゃれ暗記もいとわない。世界は想像以上に先に進んでいる。授業はそうした実践で使える専門知識を体感で（手計算で）たたきこむことを目指している。

成績評価の方法

定期試験100、ただしノート持込可。ノートのコピー不可。授業に出ているほぼ確実に解けるような問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。授業は難解である。しかし授業にまともに出ていたら試験問題は解ける（なぜなら授業時間中に繰り返し経験済みだから）という不思議なデジャブ試験。解き方が理にかなってれば、多少の計算ミスは大幅減点にはしない。もしきちんと計算したはずなのに点が悪い人は、解き方に合理性がなかったということ。

教科書／テキスト
参 考 書

- 特になし。
高森寛 『現代ファイナンスの基礎理論』
池田昌幸『金融経済学の基礎』（朝倉書店）2000年
Cuthbertson, K. and Nitzsche, D., Financial Engineering-Derivatives and Risk Management, John Wiley and Sons, Ltd., 2001.

経・経A・
商・現

履修コード	092711
科目名	応用マクロ経済学
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい) この講義では「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」で学んだ知識を基礎に、より進んだマクロ経済学の講義を行う(ただし、「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」の内容も適宜、講義の中で復習する)。講義では1年をかけてマクロ経済学の内容を懇切丁寧に解説するため、受講することにより新聞や雑誌で取り上げられる様々な経済問題についてきちんと考えられるようになり、社会人になっても役立つ知識が身に付く。

講義の内容/
授業スケジュール

1. マクロ経済学とは何か
2. マクロ経済データと日本経済
- 3-4. 需要と供給
- 5-6. マクロ経済の様々な市場と登場人物
- 7-8. 市場の不完全性と失業・不景気
- 9-10. 貨幣とインフレーション
- 11-14. 景気変動と経済統計
- 15-18. 経済成長
- 19-20. 消費
- 21-22. 投資
- 23-24. マクロ経済政策論争(1) 財政政策
- 25-26. マクロ経済政策論争(2) 金融政策
- 27-28. 経済変動の理論の発展
- 29-30. マクロ経済学で「分かっていること」と「分かっていること」

準備学習
履修上の留意点

教科書と事前に配布する講義資料をよく読んでおくこと。
「応用マクロ経済学」の理解を深めるには「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」を履修していることが望ましい。ただし、必要な知識は講義の中で復習するので必須ではない。高度な数学の知識は必要ないが、若干は使わざるを得ないので、必要に応じて講義の中で解説する。講義には積極的に参加すること。また、私語は厳しく禁じる。携帯電話の電源は切るか、マナーモードすること。これらの常識が守れない者は退出させることがある。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。ただし、夏季休暇中の課題も成績評価の考慮に入れるため、課題は必ず提出すること。

教科書/テキスト
参考書

マンキュー「マクロ経済学(II) 応用編」(東洋経済新報社)、3675円、ISBN-10: 4492313346
マンキュー「マクロ経済学(I) 入門編」(東洋経済新報社)、3885円、ISBN-10: 4492313222

経・経A・
商・現

履修コード	092801
科目名	計量経済学
担当者名	田中 正光

講義の到達目標(ねらい) 経済学で学んだ消費関数や投資関数などが現実の経済にどの程度適用できるか検証を行うには、関連データを収集し、これら諸関数の構造方程式を推計し、それらの推計パラメータをさまざまな角度から評価する作業が必要になる。

講義の内容/
授業スケジュール

こうした経済の構造の解明を目指すためのツールとして、また簡単な経済予測を行うためのツールとして計量経済学がある。本講義では、計量経済学の概略を簡単な理論と数値例から学び、計量経済学の有用性の理解を深めることを目指す。

準備学習

- (1~6) 計量経済学に最低限必要な基礎的統計学(7~10) 統計学の応用(11~16) 最小二乗法と回帰モデル(17~18) 重回帰モデル(19~20) 回帰モデルの仮説検定(21) ダミー変数の利用(22~27) 系列相関、多重共線性、分散不均一(28~30) 連立方程式モデル

履修上の留意点

初めに講義全体の目次を渡すので、講義前に該当箇所のおよその内容を図書館などで調べておくことが望ましい。

成績評価の方法

授業の中で簡単な計算をする場面がしばしばあるので、電卓(関数電卓が望ましい)を持参すること。また、エクセルをしばしば使うので同ソフトにもある程度慣れていただきたい。
前期末と後期末に授業内で実施する試験の結果、通常授業における演習問題の結果、出席状況等を総合的に判断して成績を評価する。

教科書/テキスト
参考書

指定なし。
伴金美・中村二郎・跡田直澄『エコノメトリックス(新版)』2006年(有斐閣)
唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学』2003年(東洋経済新報社)
白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』2000年(日本評論社)
藪谷千風彦『計量経済学』1993年(東洋経済新報社)

その他

授業では、原則的にプリントを配布する。これに従って授業を進める予定である。しかしながら、講義を進める過程で、履修者の興味・理解度に応じて講義内容の軌道修正を行う場合があるのでご理解願いたい。

履修コード	092901
科目名	統計原論
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい) この講義では、はじめて統計学を学ぶ学部生向けに初歩から統計学を講義する。授業の目標は(1)統計学の基礎を学び、(2)ビジネスや経済におけるデータ分析を学び、(3)Excelなどのソフトウェアを用いて実際にデータ分析する方法を合わせて学ぶことにある。それらを通じてビジネスや社会において統計学をどのように応用すればよいか学び、実践的な能力を身につけることができる。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 統計学とは何か
- 2-3. グラフを使って表す
- 4-5. 全体を一言で表すには
- 6-7. ばらつきとリスクを追いかける
- 8-9. 確率の基礎
- 10-13. 分布とは何か
- 14-15. 標本を作る
- 16-18. 単回帰分析
- 19-20. 推定
- 21-23. 仮説検定
- 24-27. データ分析の実際
- 28-30. ツリーで学ぶベイズ統計学

準備学習
履修上の留意点

教科書と事前に配布する講義資料をよく読んでおくこと。

数学上の前提知識は特に必要としないが、講義の中である程度は使用せざるを得ないため、必要な知識は講義の中で教える。講義には積極的に参加すること。また、私語は厳しく禁じる。携帯電話の電源は切るか、マナーモードすること。これらの常識が守れない者は退出させることがある。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。ただし、夏季休暇中の課題も成績評価の考慮に入れるため、課題は必ず提出すること。

教科書/テキスト
参考書

吉田耕作「直感的統計学」(日経BP社)、2940円、ISBN-10: 4822245101
適宜指定する。

経・経A・
商・現

履修コード	093001
科目名	景気循環論
担当者名	野村 信廣

講義の到達目標(ねらい) 景気循環への関心は極めて高い。それは(1)景気循環が多くの人の生活に影響すること(2)景気循環の姿がその都度変化すること(3)景気循環が経済・政治の諸問題に影響すること—のためである。講義では(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用した景気の過去分析や現状把握、将来予測—などを学ぶ。受講生が景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容/
授業スケジュール

[前期] (1) 景気とサイクル(第1回～第6回)
(2) 景気循環の主な内容(第7回～第15回)

[後期] (3) 景気循環の歴史(第16回～第24回)
(4) 景気循環の理論(第25回～第30回)

準備学習
履修上の留意点

過去1週間の内外の景気循環の記事を整理し、予定されている授業のテキストを読んでおくこと
日々の内外景気循環に興味を持つこと

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

レポート(前期)、定期試験(筆記・後期)、出席状況を加味して総合的に評価
景気循環学会・金森久雄「ゼミナール・景気循環入門」(東洋経済新報社)
適宜参考資料を作成・配布
講義中心だが、質問や討議を歓迎

履修コード	093101
科目名	現代資本主義論
担当者名	森田 成也 <small>もりた せいや</small>

講義の到達目標(ねらい)

私たちが生きている資本主義社会がまさに現代資本主義であり、そこではグローバリゼーション、貧困と格差の拡大、地球温暖化と環境破壊、戦争、繰り返される金融バブルと金融恐慌、等々の深刻な現象が起きています。こうした現象を、まず前半では、その基本枠組みが20世紀に成立し20世紀末に新自由主義へと大きく変貌した現代資本主義という枠組みで解明し、現代資本主義を論じたさまざまな論者の議論も紹介していきます。後半では、この日本における特殊性について講義し、今日における現状変革の課題について考えていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

<前半>

1、講義を始めるにあたっての簡単な説明、2、現代資本主義とは何か——その20世紀的特徴と21世紀の変容、3～5、現代資本主義の成立過程、6～8、さまざまな論者による現代資本主義論の紹介、9～11、20世紀末から21世紀にかけての現代資本主義の変容、12～13、さまざまな論者による変容の解明

<後半>

14、資本主義一般と日本資本主義論、15、日本資本主義の成立の特殊性、16、戦後改革と現代日本資本主義の枠組みの成立、17～18、高度経済成長と現代日本資本主義の発展、19～20、高度成長の終焉と日本資本主義の変容の開始、21～22、新自由主義化の流れと日本資本主義の変容、23～25、年功賃金、福祉国家、開発主義、26、日本資本主義の今後の課題

履修上の留意点
成績評価の方法

板書中心の授業になるので、必ずノートをとること。とくに出席はとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

『新自由主義批判の再構築』、2010年5月出版予定、法律文化社
デヴィッド・ハーヴェイ『新自由主義』、2007年刊、作品社、2400円
経済原論や経済学概説など基礎的科目の履修者が望ましい。

経・経A・
商・現

履修コード	093211・093212
科目名	市民と経済学 a 社会思想史 a
担当者名	<small>あべ ひろし</small> 阿部 弘

講義の到達目標(ねらい)

「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

講義の内容： 「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方であった。

近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。

講義のスケジュール：講義は15回であるので、次のスケジュールになる。

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開 (01-05回)

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程 (05-12回)

第3章：現代の経済的諸問題 (13-15回)

準備学習

大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをもットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点
成績評価の方法

講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているので、受講生の積極的参加が重要視される。したがってつぎのようなになる：1、出席の確認(授業中に適宜実施される)・2、3回のレポートの作成

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う「追試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書/テキスト

阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983.

同：『経世済民論と経済学』、創成社、2010

参考書
その他

適宜授業中に指定する。

受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス:xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

経・経A・
商・現

履修コード	093221・093222
科目名	市民と経済学 b 社会思想史 b
担当者名	<small>あべ ひろし</small> 阿部 弘

講義の到達目標(ねらい) 私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」・「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容／授業スケジュール 講義の内容：
「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それ自体をコスト原則で規定していった、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

講義のスケジュール： 講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

第1章：「経世済民」の思想 (01-05回)

第2章：「経世済民論」と経済学 (06-12回)

第3章：「経世済民論」と現代 (13-15回)

準備学習 大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをもットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点 講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

成績評価の方法 この科目は講師から一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているので、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：1、出席の確認(授業中に適宜実施される)・2、3回のレポートの作成

「成績評価」は以上の形でいき、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書／テキスト 阿部弘：『労働と所有』，八千代出版，1983。

同：『経世済民論と経済学』，創成社，2010

参 考 書 適宜授業中に指定する。

そ の 他 受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス：xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

経・経A・
商・現

履修コード	093301
科目名	日本経済史
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい)	経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望
準備学習	講義の内容およびテキストのページ範囲は、前回講義の最後の時間に指示する。講義は、受講生がテキストにあらかじめ目を通していることを前提に行う。
履修上の留意点	毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がなくなってしまうことを意味するので、くれぐれも注意されたい。
成績評価の方法	定期試験(年度末)の成績をベースとして、授業中に随時配布する「リアクション・ペーパー」の提出状況、記載内容などを平常点として加味し、総合的に判断して評価する。
教科書／テキスト	老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2940円、ISBN4-419-04025-4)。 補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。
参考書その他	上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。 日本史の知識不問(挫折者歓迎!)。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

経・経A・
商・現

履修コード	093401
科目名	西洋経済史
担当者名	ともまつ よしひこ 友松 憲彦

講義の到達目標(ねらい)

この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史を説明しますが、中心は18世紀末から19世紀にかけての工業化(産業革命)の諸問題です。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を中心とする「北アメリカ」、そして日本や近年成長著しい「アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化はどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。また、工業化が引き起こした社会問題に対して、どのような改革が進められたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ(とりわけイギリス)の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化が他の地域にどのような影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋経済の歴史を学び、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 講義のねらい
- (1) 資本主義市場経済
2. 前近代の経済 - 封建制 -
- (2) (3) 農村と農業, (4) (5) 都市と商工業
3. 資本主義の成長
- (6) (7) 「封建制の危機」と資本主義の誕生, (8) (9) 農村工業の成長, (10) 農業革命, (11) 海外市場の発達, (12) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立 - イギリス産業革命(工業化)
- (13) 産業革命の原因, (14) (15) 産業革命の過程, (16) (17) 産業革命の結果, (18) (19) 経済・社会問題の改革
5. 世界資本主義の形成
- (20) イギリス経済と世界経済, (21) (22) (23) 後発国の産業革命, (24) (25) 脱工業化
6. 資本主義の変質
- (26) 「大不況」と資本主義の構造変化, (27) 国際経済, (28) (29) 帝国主義と植民地
7. まとめ
- (30) 現代への展望

経・経A・
商・現

成績評価の方法
教科書/テキスト

定期試験(年度末)と授業中に行う小レポートにより評価します。とくに指定しませんが毎回資料を配布します。講義の理解にとって重要なものですから必ずファイルしてください。

参 考 書

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』ミネルヴァ書房, 1992年
岡田泰男編著『西洋経済史』八千代出版, 1996年
原輝史・工藤章『現代ヨーロッパ経済史』有斐閣, 1996年
岡田泰男著『アメリカ経済史』慶応義塾大学出版会, 2000年
楠井他著『エレメンタル西洋経済史』英創社, 2006年
三谷・並木・月脚編『大人のための近現代史: 19世紀編』東京大学出版会, 2009年

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	溝手 芳計

講義の到達目標(ねらい)

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していく必要があります。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1回)
2. 食料問題と食料政策 (6回程度)
3. 農業の特質と現代農業 (4回程度)
4. 戦後日本の農業問題と農業政策 (6回程度)
5. 農産物価格問題と価格・所得政策 (5回程度)
6. グローバリゼーション下における世界の農業 (5～8回)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験(年度末)を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書/テキスト

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参 考 書

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

経・経A・
商・現

履修コード	093601
科目名	工業政策
担当者名	おくやま まさゆき 奥山 雅之

講義の到達目標(ねらい) わが国の工業(「ものづくり」産業)は、その技術力を背景に高い国際競争力を有しており、産業全体を支える重要な存在です。

この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、ものづくり産業の特徴を確認しながら、産業の「過去」「現在」そして「将来」を考察します。また、ものづくり産業に対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性についても検討を加えていきます。

前期では、ものづくり産業の現状をさまざまな角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、産学連携、知的財産、環境問題、CSR(企業の社会的責任)など、ものづくり産業をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

1年間を通じて、ものづくり産業に関する政策的な課題設定力と、自分なりの解決策を提案する力を持つことを到達目標としています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期(1~3) 工業の意義と役割
(4~6) 工業の発展と工業政策の歩み
(7~9) 産業構造とものづくり産業
(10~13) 工業の立地問題
(14~15) ものづくり中小企業と政策
- 後期(16~19) ものづくり産業の業種別動向(自動車産業、繊維産業ほか)
(20~21) 「ソフトなものづくり」産業(映画産業、アニメーション産業ほか)
(22~23) ものづくりを支える人材の確保・育成
(24~25) イノベーションと産学連携
(26) 知的財産の創造・保護・活用
(27) 創業・ベンチャー支援策
(28~29) 工業振興と環境問題
(30) 工業振興とCSR(企業の社会的責任)

準備学習

事前学習としては、日ごろから新聞の経済・産業関連記事に接しておくことを望みます。事後学習としては、配布した資料とノートを再確認し、各週のテーマに対する自分なりの考え方をまとめておくことが重要です。

経商
A・
現

履修上の留意点
成績評価の方法

日頃からもものづくり産業や企業に関心を持つことを望みます。
成績は学年末試験とレポートで評価します。試験が8割、レポートが2割のウェイトで評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書/テキスト
参考書
その他

特に指定しません。配布する資料によって講義を実施します。
加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』(新評論)
なし

履修コード	093701
科目名	経済地理
担当者名	やのた ひろゆき 矢延 洋泰

講義の到達目標(ねらい) 経済的諸活動の空間構造を地理学的に捉えてみたい。なかでも世界で最も経済発展が著しい東アジア地域を中心に考察します。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) 地理学の中における経済地理学とは (2) 経済を中心にみた世界史の潮流 (3) 経済社会の変化を探る (4) 東南アジアの基礎知識 (5) アジア・ダイナミズムの源泉を探る—OECD レポートの衝撃とその分析、アジア NIES 誕生の意味。(6) 成長の基層文化 (7) 戦後日本の経済発展と周辺アジアとの関係 (8) 東南アジアにみる地域協力機構の色々—ASEANの成立過程、シンガポールの経済開発と成長の限界、成長の三角地帯構想の背景、(9) 冷戦崩壊後の世界と日本—冷戦とバブル崩壊後の日本の対応、幻の EAEC 構想と AFTA 実現の意味、太平洋を跨ぐ APEC の思惑、日米中が描く ASEAN を核にした地域協力、(10) 「ハブ」と「スポークス」の考え方 (11) 大航空時代の周辺アジアと日本の動向

履修上の留意点

学ぶことに意欲を持ち、アジアに興味と関心のある学生を期待します。文献紹介は適宜するつもりですが、それらは必ず読むようにしてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験(80%)と、授業内に提出を求める課題、アトランダムに取る出席(20%)で評価します。

教科書/テキスト

教科書は使いませんが、適宜プリントを配布します。配布は基本的に2週としますので、忘れずに取得するようにしてください。

参考書
その他

矢延洋泰『インサイト東南アジア』勁草書房 3255円 ISBN4-326-65182-2
質問は授業の後に受け付けます。諸般の事情で授業スケジュールを変更する場合があります。

履修コード	093811
科目名	中小企業論
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) 商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容/
授業スケジュール

- 講義ガイダンス (1)
I 中小企業の基礎理論
I-1 中小企業の法的規定 (2)
I-2 中小企業の経営類型 (3)
I-3 中小企業の企業形態 (4)
I-4 日本型下請構造の特質 (5~6)
II 日本型下請システムの形成過程、
II-1 日本経済復活期の生産分業構造 (7~8)
II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化 (9~10)
II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立 (11~12)
II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変 (13~14)
講義のまとめ (15)

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として、定期試験（前期末：80点）とレポート（最終授業日提出：20点）を基準として行ないます。詳細は最初の授業で説明します。追試験は実施します。

教科書/テキスト

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参 考 書

- 『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

経・経A・
商・現

履修コード	093821
科目名	中小企業政策論
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支えた中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容/
授業スケジュール

- 講義ガイダンス (1)
1 復興期の中小企業政策 (2~4)
2 高度成長と中小企業近代化政策 (5~8)
3 中小企業政策の大転換 (9~11)
4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12~13)
5 中小企業と不公正取引問題 (14)
講義のまとめ (15)

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として、定期試験（後期末：80点）とレポート（最終授業日提出：20点）を基準として行ないます。詳細は最初の授業時に説明します。追試験は実施します。

教科書/テキスト

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参 考 書

- 『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	093831
科目名	福祉経済論
担当者名	齋藤 雅元

講義の到達目標(ねらい) 社会保障制度のうち、年金、医療、介護、保育制度に焦点をあて、日本の各制度の現状を確認すると共に、社会保障制度一般について、公共経済学の視点からどのような含意が得られるかについても解説する。

講義の内容／授業スケジュール 1 イントロダクション 2 社会保障とは 3—5 年金 6—8 医療 9—11 介護 12—14 保育 15 期末試験

成績評価の方法 中間レポート(30%程度)と定期試験(70%程度)により評価。出席状況は問わない。

教科書／テキスト なし。講義内容をまとめたプリントを配布。

参 考 書 村上雅子『社会保障の経済学 第2版』東洋経済新報社 2300円 4-492-81456-6

履修コード	093841
科目名	医療経済論
担当者名	河野 敏鑑

講義の到達目標(ねらい) 医療制度特有の問題を経済理論によって分析する。医療経済学の理論的成果を紹介するとともに、日本を中心に医療制度とその問題点について解説する。

講義の内容／授業スケジュール 1 イントロダクション 2-6 医療・健康と経済学 7 医療保険制度 8-11 医療費の決定要因(所得増加・高齢化・医師誘発需要・技術進歩・健康増進) 12 医療サービスの経済的評価 13 高齢者医療 14 医療システムの国際比較 15 期末試験

成績評価の方法 中間レポート(30%程度)と定期試験(70%程度)により評価します。出席状況は問いません。

教科書／テキスト 田中滋・川渕孝一・河野敏鑑編『会社と社会を幸せにする健康経営』勁草書房(2010年夏出版予定)を用います。万が一、出版が講義の開始に間に合わない場合は、講義内容をまとめたプリントを配布します。

参 考 書 第一回目の講義で紹介しますが、初心者向けの書籍としては、鈴木亘『だまされないための年金・医療・介護入門』東洋経済新報社 1900円+税 4-492-70123-2
より深く学びたい人向けの書籍としては、漆博雄『医療経済学』東京大学出版会 4000円+税 4-13-042105-0を推薦します。

関 連 リ ン ク <http://home.e01.itscom.net/tkouno>

経・経A・
商・現

履修コード	094101
科目名	地方財政論
担当者名	篠原 章 <small>しのはら あきら</small>

講義の到達目標(ねらい)

「分権の時代」といわれて久しいが、本講義では、地方自治体（地方政府）の財政（収入と支出）に関する制度的・理論的な知識を身につけると同時に、地方分権に関わるさまざまな問題点を理解・分析し、その解決策を見いだす能力を涵養することが目標である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 前期オリエンテーション（講義の進め方・注意点）
- 2 財政・地方財政と経済（1）
- 3 財政・地方財政と経済（2）
- 4 中央政府と地方政府（1）
- 5 中央政府と地方政府（2）
- 6 財政の三つの機能と地方財政支出（1）資源配分
- 7 財政の三つの機能と地方財政支出（2）資源配分
- 8 財政の三つの機能と地方財政支出（3）所得再分配
- 9 財政の三つの機能と地方財政支出（4）所得再分配
- 10 財政の三つの機能と地方財政支出（5）経済安定
- 11 地方財政の現状と課題（1）合併と道州制
- 12 地方財政の現状と課題（2）合併と道州制
- 13 地方財政の現状と課題（3）地方分権の課題
- 14 地方財政の現状と課題（4）地方分権の課題
- 15 中間総括（前期総括）
- 16 後期オリエンテーション（講義のポイント）
- 17 地方税の理論（1）
- 18 地方税の理論（2）
- 19 地方税の現状と課題（1）
- 20 地方税の現状と課題（2）
- 21 地方税の現状と課題（3）
- 22 社会保障と地方財政（1）年金
- 23 社会保障と地方財政（2）年金
- 24 社会保障と地方財政（3）医療
- 25 社会保障と地方財政（4）医療
- 26 社会保障と地方財政（5）福祉
- 27 社会保障と地方財政（6）福祉
- 28 ケーススタディ：沖縄県の財政（1）
- 29 ケーススタディ：沖縄県の財政（2）
- 30 総括講義

履修上の留意点
成績評価の方法

経済学・財政学に関する基礎的な知識が身につけていることが望ましいが、必要条件ではない。平常点（レポート）と定期試験（後期／論述形式）の総合評価。前期と後期に各1～2回のレポート提出を義務づける。成績評価の際の配分は、レポート3割・定期試験6割が目安だが、レポート実施回数にも依存するので、詳細は授業時に開示する。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

特に指定せず。
必要に応じて指定する。
shino.hara@nifty.com（篠原章）

経・経A・
商・現

履修コード	094201
科目名	国際金融論
担当者名	吉田 真広 <small>よしだ まさひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

近年、米国で発生したサブプライムローン問題は、日本を始め各国の経済と金融に深刻な影響を与えました。国際金融とは国際的なお金の流れであり、まさに国際金融上の出来事が各国経済に直結していることを示したものと いえます。グローバル化が進化した今日の経済の動きを理解するためには、国際金融についての知識が不可欠です。本講義では、今日のドル体制下の世界経済とグローバル化している各国経済を理解するため、国際金融市場と国際金融制度に関する基礎的な理解を身につけることを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

- 1 国際収支
 - ・国際取引 ・経常収支 ・資本収支
- 2 為替の基礎
 - ・基本的な仕組み ・逆為替と並為替 ・為替相場 ・直物相場と先物相場
- 3 為替市場
 - ・外国為替市場の構造 ・銀行の為替取引 ・金融派生商品

後期

- 4 国際通貨体制1
 - ・金本位制 ・戦後の固定相場制 ・変動相場制
 - 5 国際通貨体制2
 - ・国際通貨条件 ・ドル体制 ・ユーロと人民元
 - 6 為替相場諸学説
 - ・購買力平価説 ・為替心理説 ・諸為替相場アプローチ
- *なお、トピックスを取り上げることもあり得ます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

出席をとることもある。
年二回の試験。
テキストは使用しない。
授業中、必要に応じて適宜指示する。
国際金融に関係のあるニュースや新聞記事に日頃から関心を持つておくこと。

経・経A・
商・現

履修コード	094301
科目名	人口論
担当者名	森岡 仁 <small>もりおか じん</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかにわれわれにとって身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～8) 経済人口学とは何か、A. スミスの人口論、T.R. マルサスの人口波動理論、K. マルクスの相対的過剰人口論、J.S. ミルの人口論、E. キヤナンの適度人口論、J.M. ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9～13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者 H. ライベンシュタイン、G.S. ベッカーの出生力の経済学、R. イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14～16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17～25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26～29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点

近年大きな関心ごとになっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学年末の定期試験。追試験も実施する。
大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論)1981年、2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年、2800円。4-562-09112-6

参 考 書
そ の 他

人口学研究会編『現代人口辞典』(原書房)2010年、3000円
授業方法：講義

履修コード	094401
科目名	教育経済論
担当者名	やしき たなかみつ 谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

この講義は経済発展に産業教育・人材養成教育が果たした意義とその役割について明らかにする。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この経済発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。一時、欧米各国は経済面で国際競争力の低下が顕著となり、国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から、一連の教育改革が行われた。

本年度は、外国からは高く評価された日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前・戦後期に分け、戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は「特需」を契機に復興した経済復興期から高度経済成長・低成長期を中心に、それぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材養成をまざまらかにする。その上で欧米先進国の経済再生計画と教育改革の動向を日本との比較しながら明らかにする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 経済発展とリテラシー・識字教育

(1) ガイダンス～経済・産業の発展とリテラシー、(2) 日本の産業化とリテラシー～教育水準と識字率、非識字者と児童労働、(3) 日本の近代化と教育～徳川時代の遺産、(4) 江戸時代・工業化の準備機能、開発途上国と非識字運動

2. 戦前期日本の経済発展と実業教育政策

(5) 学制時代の経済と教育～産業革命育成期「富国強兵・殖産興業」、(6) 学制時代の経済と教育～「学制」公布と行政管理学校、(7) 教育令時代の経済と教育～産業革命準備期（明治10年代）、(8) 教育令時代の経済と教育～「教育令」公布と職工学校・機業地学校、(9) 学校令時代の経済と教育～第1次産業革命と紡績業の発展、(10) 学校令時代の経済と教育～「学校令」公布と実業補習学校・徒弟学校、(11) 実業学校令時代の経済と教育～第2次産業革命と鉄鋼業の発展・生産財部門の確立、(12) 実業学校令時代の経済と教育～「実業学校令」「専門学校」公布と上からの教育、(13) 実業学校令時代の経済と教育～委託教育・工場内学校と下からの教育、

3. 戦後期日本の経済発展と産業教育政策

(14) 戦後経済の民主化と教育、(15) 経済復興期の経済発展と教育～「産業教育振興法」、(16) 高度成長第I期の経済発展と教育、(17) 高度成長第II期の経済発展と教育、(18) 高度成長第III期の経済発展と教育、(19) 高度成長第IV期の経済発展と教育、(20) 低成長期の経済発展と教育、(21) バブル経済期の経済発展と教育

4. 欧米の経済発展と教育

(22) サッチャー政権の経済と教育～「チッチャーリズム」、(23) サッチャー政権の経済と教育～「教育改革法」、(24) プレア政権の経済と教育～「福祉のニューディールとオプティングアウト」、(25) プレア政権の経済と教育～「学校の水準・枠組み法」とビーコンクール、(26) レーガン政権の経済と教育～「危機に立つ国家」教育水準特別委員会報告、(27) ブッシュ政権の経済と教育、(28) ブッシュ政権の経済と教育～「全米教育サミット」、(29) クリントン政権の経済と教育、(30) クリントン政権の経済と教育～「アメリカ教育法」「教育大国」

準備学習
履修上の留意点

毎時間提示する「課題」は必ずまとめてください。

- ① 年間数回小テストを実施し、平常点とする。
- ② 毎時間、講義の参考資料として、ビデオ (VTR)・DVD を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。

成績評価の方法

授業中の小テストと夏休レポート(2割)、定期試験(8割)によって評価する。定期試験は持込ではありません。

教科書／テキスト
参 考 書

教科書の代わりとして毎時間、講義用プリントを配布し、教科書とする。

参考文献は講義の中で適宜紹介する。以下は当初の参考文献です。

OECD 編『世界の児童労働』明石書店。 H・R・ウオッチ著『インドの債務児童労働』明石書店。 中岡哲郎著『日本近代技術の形成 伝統と近代のダイナミックス』朝日新聞社。 佐々木謙著『幕臣たちと技術立国』集英社。 大野健一著『途上国日本の歩み』有斐閣。

以下は講義の中で単元ごとに紹介します。

履修コード	094601
科目名	アジア経済論
担当者名	鄭 章淵 <small>ちよん ちやんよん</small>

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、受講生のみなさんに東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、歴史・理論・現状分析の三つの側面から、下記の講義内容に記載された個別のテーマについてそれぞれ解説する。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴ならびに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。

その際、従来のアジア経済論（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期のみを注目するのではなく、その前史（植民地期や1950年代までの時期）も射程に入れて通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割について言及する。そして、あくまで東アジアに軸足を置きつつも、これまで東アジア経済にさまざまな影響を及ぼしてきた世界経済の動向についても関心を向ける。

講義の内容／
授業スケジュール

東アジア経済の全体像：アジアの多様性、東アジアの範疇（第1～2回）、東アジア経済と経済理論：新古典派開発経済学、その他の理論（第3～5回）、東アジアの経済発展：工業化の前史、東アジアの経済発展過程、経済発展の特徴（6～10回）、アジアNIEsの経済発展：用語説明、経済発展の特徴、各アジアNIEs経済の状況（11～16回）、東南アジア諸国の経済：主要各国の経済発展過程、ASEANの歴史（17～21回）、アジア社会主義国の経済：中国の改革・開放政策、その他社会主義国の現状（22～23回）、アジア通貨危機：危機の背景・原因・特徴、危機への対応策（24～25回）、アジアの地域経済協力：地域経済協力の歴史と現状、東アジア経済圏の展望（26～28回）、東アジア経済の展望：東アジアと日本、環境問題（29～30回）

準備学習
履修上の留意点

参考書の該当箇所と新聞のアジア経済に関する記事をよく読むこと。

試験およびレポートの際に自筆のノートを参照するので、授業中にノートをよくとってもらいたい。

成績評価の方法

前期のレポートと定期試験（学年末）で総合的に評価する。なお、定期試験とレポートの成績比重は、前者80%、後者20%とする。

教科書／テキスト

特に定めない。

参 考 書

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）、ISBN 4-641-12044-7

経・経A・
商・現

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 修二

講義の到達目標(ねらい)

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容/
授業スケジュール

第1週—3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。

第4週—10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週—15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期に6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年—)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち=「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週—25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26週—30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

前期レポート、後期試験(30%、70%)。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年) 4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年、周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

経・経A・
商・現

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	瀬戸岡 紘

講義の到達目標(ねらい)

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容／
授業スケジュール

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

履修上の留意点

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向、◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書／テキスト

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、

瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社、2005年)

グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店、1994年)

瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店、2003年)

をおすすめします。

経・経A・
商・現

履修コード	095001
科目名	EU統合論
担当者名	清水 卓

講義の到達目標(ねらい)

第二次大戦後の統合運動を軸に、多様性の統合、絶えず緊密化する結束により、拡大と深化を遂げ、覇権国アメリカに対抗しうる世界的影響力を持つに至ったEUについて、体系的・総合的な正しい認識を持ち、そこから、我が国への教訓を導き出すことが出来るようになること。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回～第3回 欧州統合運動の歴史(～1950年代)

第4回～第6回 EEC(1960年代の共同市場建設)

第7回～第9回 1970年代のEC(第1次拡大、通貨統合への挑戦)

第10回～第12回 1980年代の再活性化(単一欧州議定書と市場統合計画)

第13回～第15回 EUの成立(通貨統合とEU拡大)

準備学習

過去一週間の新聞からEU関連の記事を整理する作業がもっとも有益、効果的事前学習となります。さらに、予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業内容をより深く理解できるようになります。

履修上の留意点

国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU統合日頃から、新聞・雑誌、インターネット、TV特集番組などで欧州諸国の動きについて関心を持つ。

成績評価の方法

学期末試験(8割)と授業内で提出を求める課題(2割)を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。

教科書／テキスト

教科書は指定しません。

参考書

(1) 庄治克宏『欧州連合－統合の論理とゆくえ』岩波新書1099、740円

(2) 藤井良広『EUの知識』日経文庫1079、900円

その他

なし

関連リンク

<http://www.deljip.ec.europa.eu>

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	<small>しみず たかし</small> 清水 卓

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、第2次大戦から今日に至る間の、西欧諸国の経済の構造変化と経済政策の展開を段階的に把握し、現在の経済・社会諸課題を視る視座を得ることを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回～第3回 欧州の東西分断と戦後復興（～1950年代） 第4回～第6回 共同市場建設と経済の高度成長 第7回～第9回 高度成長の終焉とスタグフレーションへの対応 第10回～第12回 新自由主義の展開 第13回～第15回 グローバリゼーションと欧州社会モデル
準備学習	過去一週間の新聞から EU 関連の記事を整理する作業がもっとも有益、効果的事前学習となります。さらに、予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業内容をより深く理解できるようになります。
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU 統口頃から、新聞・雑誌、インターネット、TV 特集番組などで欧州諸国の動きについて関心を持つとう。
成績評価の方法	学期末試験(8割)と授業内で提出を求める課題(2割)を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。
教科書／テキスト 参 考 書	特に指定しません。 (1) 庄治克宏『欧州連合－統合の論理とゆくえ』岩波新書1099、740円 (2) 藤井良広『EUの知識』日経文庫1079、900円
そ の 他 関 連 リ ン ク	なし http://europa.eu/

経・経A・
商・現

履修コード	095311
科目名	契約理論
担当者名	<small>むらまつ かんじ</small> 村松 幹二

講義の到達目標(ねらい)	生産や消費といった経済活動を相互に結び付けている取引関係には、大きく分けると、交換と契約の2つがある。交換(市場取引)は通常、匿名の相手との一時点で終わる関係であるのに対し、契約関係は事前の調査・交渉や契約内容の実行に時間がかかり、多くの場合、長期にわたって続く関係である。経済主体は相互に様々な契約関係を結ぶことで、企業をはじめ様々な組織・システムを構築している。
講義の内容／ 授業スケジュール	本講義では、ミクロ経済学、なかでも「情報の経済学」、「法と経済学」などの手法を用いて、雇用契約や金融契約などの契約関係から見た経済主体の相互の関連と経済システムについて論じる。 受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、その中における経済主体の相互関連を考えることで経済社会全体についての視点を身につけてもらいたい。 1. イントロダクション：契約と契約理論(1) 2. エージェンシー関係と情報の経済学(2～4) 3. 雇用契約とインセンティブ(5～8) 4. 金融契約とコーポレート・ガバナンス(9～12) 5. 契約法の経済分析(13～14) 6. 契約の不完備性、契約違反と再交渉(15)
履修上の留意点	講義ではミクロ経済学と情報の経済学の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、「情報の経済学」、「制度の経済学」のいずれかをすでに履修した学生を対象とする。
成績評価の方法	成績評価は、主に定期試験による。ただし必要に応じて課題を出し、成績評価に加算する場合もある。
教科書／テキスト 参 考 書	テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	095321
科目名	情報の経済学
担当者名	村松 幹二 <small>むらまつ かんじ</small>

講義の到達目標(ねらい)

入門レベルでのミクロ経済学では、人々が行動を選択するために必要な情報はすべて容易に入手できると想定していた。しかし現代社会において我々はしばしば先の見えない不確実な状況（リスクのある状況）に直面し、また人によって保有する情報は大きく異なっている。

このような状況にあるとき、人々の行動はどのように変化するだろうか？また、情報不足に起因する問題に対してどのような対処が考えられるだろうか？本講義では、日常生活やビジネスの現場でのリスクと情報に関連する経済現象・経済問題を検討する。受講する学生には、この授業を通じて、リスクと情報の側面から見た現代経済社会についての視点を身につけてもらいたい。

全体として4部構成で説明していく。

第1部 市場と情報

1. 市場の情報効率性
2. 不確実性と情報

第2部 リスク：不確実性下の意思決定

3. リスクと期待値
4. 期待効用
5. リスクプレミアム
6. 保険の役割

第3部 情報の非対称性1：逆選択

7. 情報の非対称性と市場取引
8. 逆選択
9. シグナリング
10. スクリーニング

第4部 情報の非対称性2：モラルハザード

11. モラルハザード
12. モラルハザードと賃金体系
13. 保険と情報の非対称性
14. ホールドアップ問題

※講義の進度などにより内容を変更することがある。

授業後に配布プリントと板書を十分に復習してほしい。

ミクロ経済学、ゲーム理論、経済数学を並行して学習することが望ましい。また、契約理論は本講義の内容を前提とした講義であるため、本講義を履修した後、契約理論を学習することが望ましい。

成績評価は、定期試験（80点程度）と授業中の課題提出（20点程度）による予定である。

テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。

テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

講義の内容／
授業スケジュール

準備学習
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

経・経A・
商・現

履修コード	095401
科目名	プログラミング論
担当者名	濱本 和彦 <small>はまもと かずのこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。
講義の内容／授業スケジュール	本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。 (1～3)ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法(構造化やオブジェクト指向) (4～5)実習のためのコンピュータ操作方法の習得 (6～8)言語学習してのプログラム学習とCプログラムの構成 (9～10)画面への文字列の表示 (11～13)各種データとデータ構造 (14～17)変数の計算と数値の入出力 (18)中間テスト (19～22)条件付き分岐構造 (23～26)繰り返し構造 (27～29)関数 (30)総復習とまとめ
履修上の留意点	できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール(大学のメールアドレスを利用)による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。
成績評価の方法	講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。出席状況も考慮する。
教科書／テキスト	特に指定しない。授業で利用するパワーポイント、プログラムリストはweb上で公開する。必要に応じてプリントを配布する。
参 考 書	新訂新C言語入門 {スーパービギナー編、ビギナー編、シニア編}、林晴比古著、ソフトバンクパブリッシング
そ の 他	講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行い、実習中心に行う。出席、レポート提出はe-mailを用いる。よって、受講学生は、コンピュータの基本的な操作を習得している必要がある。
関 連 リ ン ク	http://www.dm.u-tokai.ac.jp/~hama

経 経 A
商 現

履修コード	095501
科目名	コンピュータ会計Ⅰ
担当者名	<small>すずき かつひろ</small> 鈴木 勝浩

講義の到達目標(ねらい)

今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、そのシステムへのデータ入力の実習を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 会計情報とデータベース (3) 会計情報とシステム設計
(4) 表計算ソフトによる実習(基礎準備) (5) 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) (6) 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成)
(7) 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) (8) 表計算ソフトによる実習(決算処理)
(9) 表計算ソフトによる実習(財務諸表の作成) (10) 表計算ソフトによる実習(取引の入力①)
(11) 表計算ソフトによる実習(取引の入力②) (12) 表計算ソフトによる実習(財務分析)
(13) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成①) (14) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成②)
(15) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成③)

準備学習

簿記会計の知識があればより学習効果が向上します。簿記会計の基本原則や帳簿体系を理解するよう心がけてください。

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。
志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

参考書
その他

講義中に適時指示する。

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義時には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡してください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

経・経A・
商・現

履修コード	095601
科目名	コンピュータ会計Ⅱ
担当者名	鈴木 勝浩

講義の到達目標(ねらい)

今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 表計算ソフトによる実習(製造原価報告書・損益計算書)
(3) 表計算ソフトによる実習(貸借対照表・キャッシュフロー計算書) (4) 表計算ソフトによる実習(財務指標) (5) 表計算ソフトによる実習(売上データ) (6) 表計算ソフトによる実習(原価分解法) (7) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析①) (8) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析②) (9) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法①) (10) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法②) (11) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス①) (12) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス②) (13) 表計算ソフトによる実習(予算シミュレーション) (14) 表計算ソフトによる実習(予算コントロール) (15) 表計算ソフトによる実習(投資プロジェクトの評価法)

準備学習

簿記会計の知識があればより学習効果が向上します。簿記会計の基本原理や帳簿体系を理解するよう心がけてください。

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法
教科書／テキスト
その他の

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

履修コード	095701
科目名	経営情報システム論 I
担当者名	<small>なかすみ みつあき</small> 中 濟 光 昭

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、企業情報システム発展の経緯と ERP (Enterprise Resource Planning) の役割、今後の課題について ERP に関する基本的知識を解説しながら網羅的に学習することにより、ERP に関する知識を習得することを目標とする。世界最大のエンタープライズ・ソフトウェア企業であり、日本を含む120もの国々において、105,000の導入実績を持つ独 SAP 社の SAP ERP を用い、受注管理、品目/生産計画、調達、在庫管理、プロジェクト管理、プラント保全、得意先サービス、Human Capital Management、財務会計、および管理会計のプロセスを実習し、SAP ERP の統合されたロジスティクスおよび財務プロセスの概要と、ビジネスインテリジェンスや戦略的企業経営などの分析機能の使用方法について理解する。意欲のある学生は補習を受け就職活動で有用である SAP 認定資格を取得することができる。

講義の内容/
授業スケジュール

第1～3回 ERPの基本事項
第4回 SAP NetWeaver
第5～6回 調達周期
第7～8回 品目計画
第9～10回 ライフサイクルデータ管理
第11～12回 製造実行
第13～14回 在庫/倉庫管理 受注管理
第15回 小テスト

準備学習
履修上の留意点

簿記・会計、流通、経営に関する基礎知識を持っていることが望ましい。
授業は、説明と実習 (SAP を実際に使う) により構成されており、課題や小テストは YeStudy と呼ばれる Web システムを用いて行う。
IT リテラシーが求められる内容であり、ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行う。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用する。パソコン初心者には、まずコンピュータ基礎、基礎情報処理 I・II や情報入門 I・II を履修すること。
資格取得を希望する履修者には、講義とは別に補習を行う。SAP は、名前を言えば皆さんがご存じの多くの会社が導入しているシステムなので、資格を取りこれをうまくアピールすれば就職活動を有利に進めることが可能である。

成績評価の方法

講義時の課題と授業内テストによる。卒業年次生においてもこれらを提出しないものは、単位を認めない。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

初回講義で説明
初回講義で紹介
・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがある。初回の講義で履修許可票を配布することがあるので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めない。
・経営情報システム論 II の履修許可も経営情報システム論 I の初回講義で行う。経営情報システム論 II の履修登録も忘れないようにすること。
・KOMAnet に登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet 未登録者は4号館2F 事務室に行き、登録手続きを行なうこと (登録なしに受講することは講義内容上困難です)。
・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

関 連 リ ン ク

<http://www.sap.com/japan/index.epx>

経・経A・
商・現

履修コード	095801
科目名	経営情報システム論Ⅱ
担当者名	<small>なかすみ みつあき</small> 中 濟 光 昭

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、企業情報システム発展の経緯とERP (Enterprise Resource Planning) の役割、今後の課題についてERPに関する基本的知識を解説しながら網羅的に学習することにより、ERPに関する知識を習得することを目標とする。世界最大のエンタープライズ・ソフトウェア企業であり、日本を含む120もの国々において、105,000の導入実績を持つ独SAP社のSAP ERPを用い、受注管理、品目/生産計画、調達、在庫管理、プロジェクト管理、プラント保全、得意先サービス、Human Capital Management、財務会計、および管理会計のプロセスを実習し、SAP ERPの統合されたロジスティクスおよび財務プロセスの概要と、ビジネスインテリジェンスや戦略的企業経営などの分析機能の使用方法について理解する。意欲のある学生は補習を受け就職活動に有用であるSAP認定資格を取得することができる。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1～2回 企業資産管理と得意先サービス
- 第3～4回 計画/プロジェクト管理
- 第5～6回 Human Capital Management (人財管理)
- 第7～9回 財務会計
- 第10～12回 管理会計
- 第13回 ビジネスインテリジェンス
- 第14回 戦略的企業経営
- 第15回 小テスト

準備学習

簿記・会計、流通、経営に関する基礎知識を持っていることが望ましい。経営情報システム論Ⅰを履修していることが必須である。

履修上の留意点

授業は、説明と実習(SAPを実際に使う)により構成されており、課題や小テストはYeStudyと呼ばれるWebシステムを用いて行う。

経・経A・
商・現

ITリテラシーが求められる内容であり、ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行う。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用する。パソコン初心者には、まずコンピュータ基礎、基礎情報処理Ⅰ・Ⅱや情報入門Ⅰ・Ⅱを履修すること。

成績評価の方法

資格取得を希望する履修者には、講義とは別に補習を行う。SAPは、名前を言えば皆さんがご存じの多くの会社が導入しているシステムなので、資格を取りこれらをうまくアピールすれば就職活動を有利に進めることが可能である。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

講義時の課題と授業内テストによる。卒業年次生においてもこれらを提出しないものは、単位を認めない。

初回講義で説明

初回講義で紹介

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。4月に行う経営情報システム論Ⅰの初回講義で履修許可票を配布することがあるので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めない。

- ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4号館2F事務室に行き、登録手続きを行なうこと(登録なしに受講することは講義内容上困難です)。

- ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jpにメールすること。

関連リンク

<http://www.sap.com/japan/index.epx>

履修コード	095811
科目名	ネットワーク組織論 a
担当者名	梅木 眞

講義の到達目標(ねらい)

20世紀は「(巨大)組織の時代」であった。しかし、21世紀を迎えた今、そうした潮流は大きく変わりつつある。これまで支配的であった巨大組織に代わり、「組織のネットワーク」が重要な存在となってきた。本講義では組織のネットワークの形成・発展のメカニズムと、そのマネジメントについて学んでいくこととする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. はじめに
2. 市場と組織
3. ピラミッド型組織
4. 分権型組織
5. 組織間ネットワーク
6. 組織間ネットワークのマネジメント (1) - 資源依存の観点
7. 組織間ネットワークのマネジメント (2) - 組織学習の観点
8. 組織間ネットワークのマネジメント (3) - 外部経済の観点
9. 戦略的提携とアウトソーシング (1)
10. 戦略的提携とアウトソーシング (2)
11. M&A (1)
12. M&A (2)
13. グループ経営
14. パーチャル組織とインターネット
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価 (100%) を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5～10点を試験成績に上乘せする。

教科書／テキスト
参 考 書

(使用しない)
山倉健嗣『新しい戦略マネジメント—戦略・組織・組織間関係』同文館出版、2940円
ISBN:978-4-495-37701- 4

経・経A・
商・現

履修コード	095821
科目名	ネットワーク組織論 b
担当者名	梅木 眞

講義の到達目標(ねらい)

現代は巨大企業中心の社会から中小企業・地域企業・コミュニティビジネス・NPO など多様な組織から成る社会へと移行しつつある。また、インターネットの普及は従来型のビジネスモデルを大きく変えてしまった。本講義ではそれらの組織が織り成すネットワークと、その社会に対する影響について学んでいくこととする。

講義の内容／
授業スケジュール

1. はじめに
2. 均質化社会から多様性社会への移行
3. 中堅・中小企業の台頭とネットワーク
4. クラスタ (1) 概論
5. クラスタ (2) 事例分析①
6. クラスタ (3) 事例分析②
7. 産学官のネットワーク (1) 概論
8. 産学官のネットワーク (2) 事例分析①
9. 産学官のネットワーク (3) 事例分析②
10. コミュニティビジネス (1) 概論
11. コミュニティビジネス (2) 事例分析
12. NPO (1) 概論
13. NPO (2) 事例分析
14. ネットワーク組織におけるメディアと情報
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価 (100%) を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5～10点を試験成績に上乘せする。

教科書／テキスト
参 考 書

使用しない。
中小企業総合研究機構『産業集積の新たな胎動』同友館、2730円、ISBN: 4-496-03702- 5
五十嵐敬喜・天野礼子『市民事業』中公新書 ラクレ、ISBN: 4-12-150085- 7

履修コード	095831
科目名	グローバル・ビジネス論 a
担当者名	<small>ひだか かづせい</small> 日高 克平

講義の到達目標(ねらい)	1980年代末から本格化した地球規模での経済活動(グローバリゼーション)によって、現代企業のビジネスは劇的に変化しています。グローバリゼーションの現代的特徴は、ICT(情報通信技術)の飛躍的発展をともなっていることにあるため、現代企業のビジネス・モデルを分析する際にも、企業経営のグローバル化とICT化を関連付けることが肝要です。本講義では、そのような視座に立って、グローバル・ビジネスを展開する企業の具体的な事例を取り上げつつ、企業経営の新たな手法や技法を探るとともに、その革新的特性や問題点を解明することを目的としています。
講義の内容／授業スケジュール	グローバル・ビジネスの概念と歴史(第1～3回)、今日のグローバリゼーションと企業経営(第4～5回)、グローバル・ビジネス論—グローバル戦略とローカル戦略—(第6～7回)、グローバル・マーケティング戦略(第8～9回)、生産活動のグローバル化—海外生産拠点の配置と調整—(第10～12回)、革新的ビジネス・モデルの事例研究(第13～15回)
履修上の留意点	グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。
成績評価の方法	学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。
教科書／テキスト	講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

履修コード	095841
科目名	グローバル・ビジネス論 b
担当者名	<small>ひだか かづせい</small> 日高 克平

経・経A・ 商・現	講義の到達目標(ねらい)	国境を越えて事業を拡大する企業行動は、市民生活にもさまざまな影響を及ぼしています。後期の課題を一言で表現すれば、グローバル・ビジネスと市民社会との共生関係をどのように築くべきか、という問題を検討すること、と言えましょう。グローバル・ビジネスは、優れた商品やサービスの提供という部分ではわれわれの生活に欠かせないものではありませんが、他方で、環境問題、雇用や労働条件をめぐる問題、人権問題等を引き起こす場合もあります。したがって、個々のビジネス・モデルを検討する場合、グローバル・ビジネスの恩恵の部分だけでなく、負の部分も認識した上で総合的に評価をくだすことが重要です。また21世紀のビジネス・モデルがどうあるべきか、どのようなビジネスを育成していくべきか、という問題について、「共生」というキーワードを用いて考察します。
	講義の内容／授業スケジュール	グローバル・ビジネスの現代的特徴および戦略的課題(第1～3回)、グローバル・リストラクチャリング—グローバル M&A とアライアンス戦略—(第4～6回)、グローバル・ビジネスと国家・地域・都市(第7～9回)、グローバル・ビジネスと CSR—環境・人権・労働問題—(第10～12回)、共生型ビジネス・モデルとその事例研究(第13～15回)
	履修上の留意点	グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。
	成績評価の方法	学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。
	教科書／テキスト	講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

履修コード	096101
科目名	応用情報処理Ⅰ
担当者名	井川 俊実

講義の到達目標(ねらい)	表計算ソフト (Excel) を使用したデータの分析やグラフ化は経済学を学ぶものにとっても必要不可欠なものになっています。この講義では、Excel の基本操作を習得しているものが経済分析などへの応用に活かせるように更に高度な技法を習得することを目的とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ Excel の基本操作 (セル参照、合計関数など) ・ ピボットテーブル ・ VLOOKUP 関数 ・ テンプレートとクエリ ・ ExcelVBA の基礎 ・ 相関と単回帰分析 ・ パレート図の作成と ABC 分析 ・ ゴールシークとソルバー、線形計画法への適用 ・ 重回帰分析 (3 変数間の相関)
履修上の留意点	1) 本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。 2) Excel の応用面に重点を置くので、「情報入門」講座、「基礎情報処理」講座を履修するなど、Excel の基本操作は知っていることを前提にしています。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	講義の中で課す課題及び出席状況により評価します。 配布資料 (講義時に随時配布します)。 日花弘子『仕事に役立つ Excel ビジネスデータ分析 改訂版』ソフトバンククリエイティブ2,680円 ISBN978-4-7973-4636-7 木村幸子『速効! 図形 Excel2007 データベース編』毎日コミュニケーションズ1,580円 ISBN978-4-8399-2336-5
そ の 他	本講座は YeStudy を利用した講義になります。

履修コード	096201
科目名	応用情報処理Ⅱ
担当者名	井川 俊実

講義の到達目標(ねらい)	プレゼンテーション技術は、企業の営業活動や社内会議などでのプレゼンテーションで非常に重要なものになっていますが、大学においても研究成果の発表などで今後ますます重要になってきます。本講義では、プレゼンテーションツールの代表とも言える PowerPoint を使用して、効果的な発表資料の作成とその資料に基づく発表を繰り返して行なうことで実際に活用できるレベルのプレゼンテーション技術を習得します。
講義の内容／ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図解のポイント ・ PowerPoint の基本操作 (クリップアート・写真の取込み、表・棒グラフ、円グラフ・Excel 表・組織図) ・ アニメーションの設定 ・ 良い図解悪い図解 ・ プレゼンテーション技法 ・ プレゼン資料作成とプレゼンの実施 ・ 企画書の作成
履修上の留意点	本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。 ・ PowerPoint の活用面に重点を置くので、「情報入門」講座、「基礎情報処理」講座を履修するなど、PowerPoint の基本操作は知っていることを前提にしています。 ・ PowerPoint で作成した資料の発表に多くの時間を割くので、欠席や遅刻をしないこと。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	作成した PowerPoint 資料とその発表及び出席状況により評価します。 配布資料 (講義時に随時配布します)。 大槻有一郎『はじめての PowerPoint2007 基本編』秀和システム1,200円 ISBN978-4-7980-1542-2 アスキー書籍編集部『Z 式マスター パワーポイント2007』アスキー1,480円 ISBN978-4-7561-4910-7
そ の 他	本講座は YeStudy を利用した講義になります。

経・経A・
商・現

履修コード	096501
科目名	商業史
担当者名	幸野 保典 <small>こうの やすのり</small>

講義の到達目標(ねらい)

広い意味での商業とは、商品（あるいはサービス）を円滑に生産者から消費者（あるいはサービスの受益者）に社会移転させる行為を指す。生産者から消費者へ商品が移転する過程、すなわち、商品取引過程で介在する倉庫業・運輸業や金融業・保険業も広義の商業の中に含まれる。

本講義では、いわゆる狭義の商業とされる問屋・卸と小売業を中心として、これらの歴史的展開を幕末維新时期から戦前期（1859年～1945年）までを4期にくぎり検討する。そして当該期に、社会経済構造の変容と係わらせながら問屋・卸と小売業が、商業機構の内部で役割をどのように変化したか、また新たな商業形態をいかに出現させたかを考察する。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1期 外圧への権力・商人的対応。
1. 自由貿易の開始から産業革命へ。
 2. 外圧の下で拡大する国内市場。
 3. 問屋＝卸商主導の商業機構の再編。
- 第2期 産業革命と流通の新基軸。
4. 産業革命の進行と生活・社会に現出する諸変化。
 5. 商業関連政策・制度の整備。
 6. 交通・通信網の発達と商業の再編。
 7. 第一次大戦期の商業と消費。
- 第3期 戦間期の商業と消費―不況・恐慌から景気回復へ―。
8. 俸給生活者の増加と消費構造の変化。
 9. 関東大震災後の商業構造の変容。
 10. 小売業の新たな展開。
 11. 1930年代の中小小売商の窮乏化と政策対応。
- 第4期 戦時下の商業統制。
12. 日中戦争の卸・小売業。
 13. 「新体制」下の商業再編成。
 14. アジア太平洋戦争期の配給機構。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

特になし
前期にレポート、後期に定期試験を行う。出席も考慮する。
石井寛治編『近代日本流通史』（東京堂出版）2005年 2800円＋税 ISBN4-490-20550-3

参 考 書

石原武政・矢作敏行編『日本の流通100年』有斐閣、2004年
石井寛治『日本流通史』（有斐閣）2003年。鈴木安明『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年。

そ の 他

授業の方法－講義形式で行う。

経・経A・
商・現

履修コード	096601
科目名	消費経済論
担当者名	姉齒 暁

講義の到達目標(ねらい)

「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動の抱える問題が噴き出す場でもある。従って、私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。「食の安全」をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金のCMから消費者信用の性格が見えてくる。

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるこうした問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

講義の内容/
授業スケジュール

- I. 消費の成立—生産力の変化と消費
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 - ①生産と消費の分離
 - ②産業革命と「消費する人々」の誕生
 2. 経済の変化と消費行動
 - ①高度経済成長と消費生活の変化
 - ②「消費させられる」消費者
 3. 消費者運動と「消費者主権」という幻想
 - ①高度経済成長と消費者運動
 - ②「消費者主権」はありうるのか
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. サブプライムショックから家計債務を見る
 - ①サブプライムショックとは何だったのか?
 - ②アメリカの家計債務にみる消費者信用の役割
 - ③家計と金融—家計内債務と消費者問題
 2. 「情報化社会」と消費
 - ①「情報化社会」論
 - ②情報の偏在と消費者の「選択の自由」
 3. グローバリゼーションと消費生活
 - ①食料輸入大国日本の消費生活
 - ②グローバリゼーション下における地域経済と消費生活

経・経A・
商・現

準備学習

新聞、ニュースを毎日チェックしておくことを勧める。生活実感がないと講義を理解するのが難しいからである。

また、「消費経済論」は、随所にジェンダー論を取り入れながら講義を行う。ジェンダーとは社会的性差のことである。消費行動の分析と論証にはジェンダー論の視点が欠かせない。したがって、ジェンダー論そのものを講義するわけではないにせよ、ジェンダー論の勉強を行う機会としても、この講義を役立ててほしいと思う。

履修上の留意点

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。私語および中途の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

成績評価の方法

中間試験及び定期試験によって評価する。講義中で行われた受け答えも評価に組み入れる。また、理解度を確認するための小テストを行う場合もある。

教科書/テキスト

教科書は使用しない。

参考書
その他

伊藤セツ・川島美保共編著『三訂消費生活経済学』光生館(2008年)

配布するレジュメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

履修コード	096711・096712
科目名	企業戦略論 a 経営戦略論 a
担当者名	田淵 泰男

講義の到達目標(ねらい)

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

「企業戦略論 a・経営戦略論 a」は、「企業戦略論」を主たる内容とします。企業戦略は、企業全体の将来のあり方に関する戦略です。その内容は、企業の諸事業を全体としてどのようにバランスないし統合するか、新しくどのような事業に進出するか、将来にわたってどのような企業を形成していくか、等にかかわる戦略です。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

・経営戦略論への招待

戦略とは何か、経営戦略の概念、経営戦略論の発展過程、経営戦略の体系。

・企業のアイデンティティと事業活動領域を選択・決定する「ドメインの定義」

・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」

・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法
教科書/テキスト

授業の進捗内容にあわせて実施する試験(事前に予告)によって評価します。

使用しません。毎回、プロジェクター(パワーポイント)を利用します。図表を多用するときや、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

参 考 書

適宜紹介します。

経・経A・
商・現

履修コード	096721・096722
科目名	企業戦略論 b 経営戦略論 b
担当者名	田淵 泰男

講義の到達目標(ねらい)

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

「企業戦略論 b・経営戦略論 b」は、「競争戦略論」を主たる内容とします。競争戦略は、競合企業に対して持続的な競争優位を確立するための戦略であり、現在最も注目されている戦略論の研究テーマです。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

・業界の競争構造分析フレームワーク(競争の程度から収益性の高い魅力的な業界を探し出す考え方と手法)である「5つの競争要因」分析。

・競争優位状態の分析と戦略的ポジションの選択にかかわる「競争の基本戦略」、および「戦略グループ」「価値連鎖」等。

・競争優位の源泉に関する2つの考え方として、「ポジショニング・アプローチ」と「資源ベース・アプローチ」。

・競争地位の類型化とそれに対応して要求される「競争対抗戦略」。

・製品ライフサイクル別の競争戦略、先発企業の競争優位性、後発企業の競争逆転の戦略、業界標準規格をめぐる競争戦略、など。

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法
教科書/テキスト

授業の進捗内容にあわせて実施する試験(事前に予告)によって評価します。

開講時に説明します。毎回、プロジェクター(パワーポイント)を利用します。図表を多用するときや、詳細を要するときはプリントを配布します。

参 考 書

適宜紹介します。

履修コード	096811・096812
科目名	ファイナンス論 a 財務管理 a
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

講義の到達目標(ねらい)	サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
講義の内容／ 授業スケジュール	<財務管理論とは何か> 1. 財務管理論概説 2. 機関投資家支配の時代 3. コーポレート・ガバナンス 4. キャッシュフロー管理 5. EVAと資本コスト管理 <財務計画と財務管理> 6. 経営計画 7. 財務計画 8. 設備資本管理 9. 運転資本管理 10. 利益管理 <株式資本とは何か> 11. 増資の方法 12. 株式の多様化 13. 株式所有 14. 配当政策 15. 自己金融
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
教科書／テキスト	4月授業開始時に指示します。
参考書	4月授業開始時に指示します。

履修コード	096821・096822
科目名	ファイナンス論 b 財務管理 b
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

講義の到達目標(ねらい)	サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
講義の内容／ 授業スケジュール	<株式会社> 1. 株式会社と企業形態 2. 株式会社とLLP、NPO 3. 株式会社とベンチャービジネス 4. 株式会社と中小企業 5. 株式会社とM&A <債務資本とは何か> 6. 企業間信用 7. CPとMTN 8. 借入金 9. 金利 10. 社債 <現代の財務管理> 11. 企業と銀行 12. 証券化 13. デリバティブ 14. ディスクロージャー 15. 明日の財務管理
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
教科書／テキスト	4月授業開始時に指示します。
参考書	4月授業開始時に指示します。

経・経A・
商・現

履修コード	096901
科目名	経営学史
担当者名	小坂 隆秀

講義の到達目標(ねらい)

アメリカにおける経営管理の領域でさまざまな理論が登場しながら発展してきた過程を体系的に跡付けていくことが、この講義の目的である。

経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論に支えられて効率性を高め、競争優位を形成し、成長・発展することができた。そして、企業の成長と発展にともない、それまでの理論の競争優位性は低下していき、古いものとなり、やがて新たな競争優位を生み出す新しい管理論を必要とするようになる。その新しい理論が、さらに企業の成長と発展を可能にしていくことになる。本講義では、このようにして経営学の実史が形成されてくることを明らかにしていきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

- ①初期のマネジメント思想：産業革命と体系的マネジメント
- ②科学的管理の理論とその発展：F.W. テイラーとH. フォードの理論
- ③人間関係論とモチベーションの諸理論：人間関係論、D. マグレガーのY理論、F. ハーツバーグの動機づけ・衛生理論、C. アージリスの組織の中の人間、R. リッカートのシステム4
- ④オーガニゼーションの諸理論：M.P. フォレットの状況の法則、C.I. バーナードの経営者の役割
- ⑤経営戦略の諸理論：A.D. チャンドラー、Jr. の組織と戦略、I. アンゾフの企業戦略、M. ポーターの競争優位戦略
- ⑥現代のマネジメント思想：H. クーンツの管理論のジャングル、P.F. ドラッカーとマネジメント実践

準備学習
履修上の留意点

特に必要ありません。
これまで習った経営学や経営管理の理論を、この講義のなかでしっかり復習してもらいたい。それによって、経営管理論の実史を体系的に理解できるようになる。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学年末試験60%、授業中の小テスト(年間8回)40%を目安の総合的に評価する。

参考書

特に指定しない。
授業の中で必要に応じて指示する。

経・経A・
商・現

履修コード	096911
科目名	ビジネスの歴史(日本)
担当者名	宇田 理

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、独自の企業システムを構築することによって高い競争力を誇っている日本の企業を、企業の生成・発展・衰退の歴史から振り返ることで、そうしたシステムの生成の契機、そして、それが発展に結びついていった要因、さらには、それが長期の成長を維持するのに貢献した場合、あるいは、衰退への道筋を招いてしまう場合の各要因を軸に、実際の事例に基づき説明する。それによって、企業にとっての「変化」とは何か、についての理解を深めることが本講義のねらいである。

講義の内容／
授業スケジュール

第一回の講義で講義計画のプリントを配布するが、だいたい以下のトピックに沿って講義を進めていく。各トピックは約二回の講義から成っている。なお、取り上げるトピックは変更される場合がある。

1. 無から有を創り出す：松下幸之助と松下電器産業
2. ニーズの多様化に対峙する：鈴木敏文とイトーヨーカ堂
3. 大量生産システムの超克：大野耐一とトヨタ生産システム
4. 規制に真っ向から立ち向かう：小倉正男とヤマト運輸
5. アパレルの革命児：オンワード樫山と樫山純二
6. 国産コンピュータに賭けた夢：富士通と池田敏夫

成績評価の方法
教科書／テキスト

期末試験「持ち込み可」(80%)、授業中の感想(20%)
講義中に指示する。

履修コード	096921
科目名	ビジネスの歴史 (欧米)
担当者名	宇田 理 <small>うだ り</small>

講義の到達目標(ねらい)

国際間で色んな経済摩擦が起きるが、そのなかの1つは、商習慣や各国企業の経営システム(ビジネスのやり方)から派生している。そのため、各国企業の発展史を学び、比較検討することは、国際ビジネス環境の理解を深めることになろう。この経済摩擦の原因を理解するのにかかせないのが、各国企業がどのような環境の下、どのようにして発展してきたのかという「各国企業の経営史」を学ぶことである。

今年度は、日本にとってとりわけ重要なアメリカの企業が、どのように発展してきたのかということを中心に学ぶ。それは建国期アメリカにおけるビジネス活動から始まって、近年のコンピュータ産業の歴史までをカバーする予定である。また、企業活動にかかわった人物も頻繁に取りあげるので、企業家精神のアメリカ的「カタチ」にも触れることになる。

講義の内容/
授業スケジュール

1. アメリカ経営史を学ぶ意味
2. 植民地時代のビジネス①
3. 植民地時代のビジネス②
4. 最初の大企業としての鉄道業①
5. 最初の大企業としての鉄道業②
6. ロックフェラーと石油産業
7. 鉄鋼業とカーネギー
8. フォードと GM ①
9. フォードと GM ②
10. 小売業の発展: シアーズ、ウォルマート
11. フィリップ・モリスの経営史
12. コカ・コーラの経営史
13. 組織革新の歴史: GE
14. IT 産業の展開: IBM
15. まとめ

成績評価の方法
教科書/テキスト

期末テスト(80%) + 平常点(出席・ミニテスト20%)
安部・壽永・山口『ケースブック アメリカ経営史』有斐閣ブックス(2600円)(テキストは第1回日の講義で指示するので事前に購入しないこと)

経・経A・
商・現

履修コード	097001
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏 <small>もりた よしかろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 会計監査の意義と概要 (2~5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6~10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11~15) ディスクロージャー制度(金融商品取引法・会社法)、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16~20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21~25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26~30) 監査証拠、継続企業の前提、監査意見、監査報告書

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

原則として定期試験(年度末)により評価する。出席調査を数回行い、これも評価に反映させる。指定しない。必要に応じて資料を配付する。
山浦久司『監査論テキスト(第2版)』中央経済社
盛田良久、蟹江章、友杉芳正、長吉眞一、山浦久司編著『スタンダードテキスト監査論(第2版)』中央経済社
中央経済社編『監査法規集』中央経済社

履修コード	097011
科目名	ボランティア経済 a
担当者名	^{すずき なかし} 鈴木 岳

講義の到達目標(ねらい)	ボランティアという表現のイメージとは裏腹に、世の中の活動はすべからず経済面と切り離せません。日本を中心に、ボランティアをめぐる経済について、その成り立ちと近況、さらに有用性と限界についてまで冷静に考えてみましょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～2) はじめに、日本における経済社会、くらしの基礎素養をチェックする (3～7) ボランティアの定義、その歴史的経緯、近年のボランティア活動、その形態と経済活動における領域、新自由主義とボランティアリズム、慈善、パターナリズム (8～11) 協同組合、NPO、地域通貨、国家・自治体との関係、企業との関係 (12～14) 評価と表彰、批判と限界について (15) これから
準備学習 履修上の留意点	特に要求はしません。ただ、町をよく見ること。 ボランティアに関わろうと考える人は、人間愛・博愛精神に裏打ちされた善意を強く有する愛すべき人間である一方、ともすれば観念的で、現実の経済システムとその基本的問題を見落としがちです。あふれる情報を自分の頭で考え自分の見解を持つこと、このことを常日頃から意識して下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	定期試験を中心とします。授業内に提出を求めるコメント票は、出席状況とともに考慮します。特に使いません。 参考文献や資料については授業内に示すほか、質問に応じて適当なものを紹介します。

履修コード	097021
科目名	ボランティア経済 b
担当者名	^{すずき なかし} 鈴木 岳

講義の到達目標(ねらい)	世界に目を向け、ボランティアをめぐる経済活動についていくつかの諸国を抽出し、それぞれの成り立ちと近況、さらにその周辺の経済活動と各種の課題についてお話します。ボランティアという表現や活動は、経済や国家の仕組みに応じて、さまざまな様相を持つことを理解するでしょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～2) はじめに、世界経済をめぐる基礎事項をチェックする (3～14) 諸国の政治経済事情を踏まえた各国ボランティア事情について イギリス、スウェーデンなど北欧、スイス、フランス、イタリア、スペイン、カナダ、米国東アジア、南米ほか(キーワードとして、社会的経済論、ノープレス・オブリージュ、良心的兵役拒否、地域通貨、フェアトレード、国家・自治体との関係、企業との関係、税制・社会保障、民族性、社会的包摂と排除など) (15) まとめ
準備学習 履修上の留意点	特に要求しませんが、なるべく自分の関心のある国や民族を探しておいてください。 ボランティア経済論 a に同じです。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	定期試験を中心とします。授業内に提出を求めるコメント票は、出席状況とともに考慮します。特に使いません。 参考文献や資料については、授業内で示します。また照会に応じて、個別の対応もします。

経・経A
商・現

履修コード	097031
科目名	ベンチャー論
担当者名	<small>ながやま</small> 長山 <small>わねひろ</small> 宗広

講義の到達目標(ねらい)

日本は、大量生産体制・キャッチアップ型経済から、知識集約化・フロントランナー型経済へとパラダイムの転換を果たした。こうした時代環境の中、ミクロレベルでは、プロダクト・イノベーション創出の担い手として、ベンチャービジネスに期待が高まっている。本講義では、ベンチャービジネスに関する正確な理解を深めるとともに、ベンチャービジネスの担い手である起業家を養成していく。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ケーススタディなどを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) ベンチャービジネスとは (ガイダンス)
- (2) ベンチャービジネスのブームとベンチャー企業「観」
- (3) 中小企業、中堅企業、ベンチャー企業
- (4) ベンチャー企業の成長ステージ別マネジメント
- (5) ベンチャー企業とイノベーション
- (6) イノベーションの発見
- (7) ケーススタディ：SWOT分析の活用
- (8) ベンチャー企業のマーケティング戦略
- (9) 大学発ベンチャー、産学連携の実態
- (10) スピンオフ・ベンチャーの実態
- (11) ベンチャー金融 (ベンチャーキャピタル、エンジェル、株式公開)
- (12) ベンチャー支援施策とインキュベーション

履修上の留意点
成績評価の方法

起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。

期末試験による評価：50%

講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%

教科書／テキスト
参 考 書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。

植田・桑原・本多・義永『中小企業・ベンチャー企業論』有斐閣コンパクト,2006年

金井・角田編『ベンチャー企業経営論』有斐閣,2002年

松田修一『ベンチャー企業』日本経済新聞社,1998年

ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社,1997年

そ の 他

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

経・経A・
商・現

履修コード	097041
科目名	起業論
担当者名	<small>ながやま ひねのろ</small> 長山 宗広

講義の到達目標(ねらい) 1990年代以降、日本では廃業率が開業率を上回り、経済のダイナミズムが失われてきている。特に、地方圏においては、企業誘致による外来型開発に限界が見える中、地域における新規開業企業の増大・創業支援が重要な課題となっている。本講義では、こうした課題解決に向けて主体的に挑戦できる人材(起業家)を養成する。そのため、学術的研究を概説するとともに、ビジネスプラン(事業計画書)作成の演習などを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 前期(ベンチャー論)のサマリー、起業論のガイダンス
- (2) 起業、起業家とは
- (3) 近年の起業活動の実態
- (4) 近年の起業家の実態
- (5) 起業活動の出発点(事業機会の発見)
- (6) ビジネス・アイデアの創出
- (7) 起業とイノベーション
- (8) ビジネスプランと起業家
- (9) 起業活動と経営戦略(ビジネスモデル、ドメイン)
- (10) 創業期のマーケティング活動
- (11) アクションプラン
- (12) 計数計画、資金調達
- (13) 組織・人材戦略
- (14) ビジネスプランの作成

履修上の留意点
成績評価の方法

起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。
期末試験による評価:50%
講義中のレポート(ビジネスプラン)および出席状況など平常点:50%

教科書/テキスト
参 考 書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。
高橋徳行『起業学の基礎』勁草書房,2005年
高橋徳行『起業学入門』通商産業調査会,2000年
ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社,1997年
本学のe-Educationシステム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	097051
科目名	コミュニティ・ビジネス論
担当者名	<small>やまぐち こうせい</small> 山口 浩平

講義の到達目標(ねらい) 従来の社会システムが有効に解決し得ない多様な地域的な課題に対して、ビジネスの手法を用いてそれらを解決し、得られた利益を構成員に分配するだけでなく、コミュニティへの還元へと使用する組織が近年注目を集めています。この講義ではこのコミュニティ・ビジネス(CB)の概念を整理し、その存在を理解することを目的とします。

講義の内容/
授業スケジュール

1. CB 登場の背景:歴史と理論的背景、事例紹介(1~6回)、2. CB をどのように立ち上げるか:社会性を持った起業の形態(7~10回)、3. CB を支える仕組みと展望:支援組織、金融システム(11~15回)

準 備 学 習

日常的に各種メディアで社会的企業、社会起業家、ソーシャル・ビジネスなど、関連するキーワードに注目しておいて下さい。

履修上の留意点
成績評価の方法

非営利組織についての一定の知識を要します。非営利組織論、協同組合論等の受講をお勧めします。学期末試験(及びそれに替わるもの7割)と授業内に提出を求める課題(3割)を中心に、講義への参加も考慮して、総合的に評価します。

教科書/テキスト

風見正三・山口浩平編著(2009)『コミュニティ・ビジネス入門』学芸出版社
ほか、資料も配布します。

参 考 書

細内信孝(1999)『コミュニティ・ビジネス』中央大学出版部
斎藤慎(2004)『社会起業家』岩波新書
福原宏幸(2007)『社会的排除/包摂と社会政策』法律文化社

履修コード	097061
科目名	協同組合論
担当者名	山口 浩平

講義の到達目標(ねらい) 生協、農協などの協同組合は、民主的に管理され、構成員の共通の目的を達成するための事業体です。この講義では協同組合の実態と役割、その意義を理解し、その各国における現状と課題を把握し、そしてその現代的な姿を探ることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 1. 協同組合が存在する背景と法制度、社会・経済システムの中での位置づけ：株式会社・NPO等との比較(1～5回)、2. 日本における各種協同組合の現状：農協・生協・協同組織金融等(6～10回)、諸外国の協同組合と非営利・協同セクターの中での存在意義、新しい協同組合(11～15回)

準備学習 日本における協同組合は個別法によって規定されています。可能ならば、事前に日本の法人制度についての学習を行って下さい。

履修上の留意点 実際の協同組合が提供しているサービス(生協の店舗、宅配など)を利用してみることをお勧めします。

成績評価の方法 学期末試験(7割)と授業内に提出を求める課題(3割)を中心に、講義への参加も考慮し、総合的に評価します。

教科書／テキスト 特に指定しません。毎回資料を配布します。

参考書 河野直踐(2006)『協同組合入門』創森社
栗本昭編著(2006)『21世紀の新協同組合原則』コープ出版社
川口清史・富沢賢治編(1999)『福祉社会と非営利・協同セクター』日本経済評論社

履修コード	097111
科目名	管理会計論 a
担当者名	石川 祐二

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス、(2～4) 管理会計論をとらえる視点、(5～8) 管理会計上の基礎概念、(9～12) 設備投資の意思決定、(13～15) 製品関連の意思決定

履修上の留意点 会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法 また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

教科書／テキスト 定期試験(前期末)により評価する。

参考書 毎回配布するプリントが教科書代わりである。

必要に応じて紹介する。

経・経A・
商・現

履修コード	097121
科目名	管理会計論 b
担当者名	石川 祐二

講義の到達目標(ねらい) 本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることとする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容／授業スケジュール (1) ガイダンス、(2～3) リスク・マネジメントと法律規定：リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4～5) ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6～7) 企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8) リスク・マネジメントと状況報告書、(9) リスク・マネジメントと引当金、(10～11) リスク・マネジメントとバランスト・スコアカード、(12～13) リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14～15) リスク・マネジメントとチャンスの記載：リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

準備学習 毎回、テキストを一読した上で講義に臨むこと。

履修上の留意点 会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法 中間レポート(30%)および定期試験(後期末：70%)により評価する。

教科書／テキスト 石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)

参考書 必要に応じて紹介する。

履修コード	097141
科目名	ビジネス英会話 a
担当者名	井上 愛子

講義の到達目標(ねらい)

本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

講義
1回目 インTRODクシヨソ
2—4回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
5—6回目 プレゼンテーション
7—10回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
11—12回目 プレゼンテーション
13—15回目 総合演習

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。

成績評価の方法
教科書/テキスト

履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。

ディビッド・ワグナー ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 朝日出版社 1400円 ISBN4-255-99045-X

参 考 書
そ の 他

適宜授業中に案内します。

英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

履修コード	097151
科目名	ビジネス英会話 b
担当者名	井上 愛子

講義の到達目標(ねらい)

本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

講義
1回目 インTRODクシヨソ
2—4回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
5—6回目 プレゼンテーション
7—10回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
11—12回目 プレゼンテーション
13—15回目 総合演習

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。

ディビッド・ワグナー ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「ミーティング」マネージメント編 朝日出版社 1400円 ISBN-255-99044-1

参 考 書
そ の 他

適宜授業中に案内します。

英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

経・経A・
商・現

履修コード	097161
科目名	ビジネス事例研究
担当者名	<small>ひやくた ましはる</small> 百田 義治

講義の到達目標(ねらい) 本年度は寄附講座として開講します。
詳細が決まり次第(6月末)担当者のHPに授業内容等を発表します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hyakuta/>

講義の内容/
授業スケジュール
成績評価の方法
その他の

この科目は、履修制限(150名~200名)をします。最初の授業で履修制限の説明をします。
本授業は外部講師を中心に進められます。授業における私語および携帯電話の使用は禁止します。
また講師講演中の遅刻入場や途中退席も原則として禁止します。

履修コード	097171
科目名	トップ・マネジメント講座
担当者名	<small>ひやくた ましはる</small> 百田 義治

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、企業のトップ(経営者)の人達に、その貴重な経験を踏まえて、企業経営の実践、
経営の真髄、コーポレート・ガバナンス、また職業観や人生観などを講演していただき、学生諸君
とのディスカッションにも応じていただきます。経済学・経営学などの学習に大きな刺激となるだけ
でなく、経営者が学生に期待するものを知ることはキャリア・デザインにも大いに参考になること
でしょう。企業と経営について、企業の経営者から体験的・経験的な生きた知識を学ぶことが本
講義のねらいです。

講義の内容/
授業スケジュール

ほぼ2回に1回のペースで講師に講演していただきます。今年は6人の講師を予定しています。
講師の方々の授業の前後の授業日には、予習(企業やテーマの紹介など)と復習(講演の理解を深
めるためのフォローアップ)を行います。

履修上の留意点

予備的講義を予習として行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極
的に予備知識を獲得して参加し、ディスカッションにも積極的に参加してください。

成績評価の方法

各講師の話についてレポートを提出してもらいます。今学期は6回のレポート(1200~1600字)
の評価と学期末の授業全体に関するレポート(4000字程度)で評価します。

教科書/テキスト
参考書
その他

なし
必要に応じて授業で紹介します。
この科目は、「ビジネス事例研究」(2単位)とともに、履修制限(150名~200名)をします。4
月の「ビジネス事例研究」の最初の授業で履修制限の説明をします。授業における私語および携帯
電話の使用は禁止します。また講師講演中の遅刻入場や途中退席はできません。

経・経A・
商・現

履修コード	097201
科目名	原価計算論
担当者名	鈴木 勝浩

講義の到達目標(ねらい)

原価計算は、企業の経営管理者が企業活動を計画し、統制するために不可欠なツールであると考えられます。これは、原価計算が単に製品原価に関する資料を提供するのみならず、企業の経営管理をも対象にしていることを意味します。そこで本講義では、伝統的な原価計算の手法を取り上げた後、新しい原価計算の流れ（特に情報化時代における原価計算の位置づけ）について考えていきます。

本講義は、基礎的な理論を学習した後、具体的な計算事例を参考にしながら理解を深めていきます。またこれまで会計学を学んだことのない学生にも理解できるよう、原価計算の発展経緯をその時代の経済社会的背景に触れながら講義を進めていく予定です。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 原価計算の歴史（1）
会計の歴史と原価計算（産業革命以前）
- 第2回 原価計算の歴史（2）
産業革命以降の史的展開
- 第3回 原価概念
原価概念の多様性について
- 第4回 原価計算の目的
目的の歴史的変遷とその重点移動について
- 第5回 財務諸表作成のための原価計算（1）
材料費の計算
- 第6回 財務諸表作成のための原価計算（2）
労務費の計算
- 第7回 財務諸表作成のための原価計算（3）
経費の計算
- 第8回 財務諸表作成のための原価計算（4）
製造間接費の配賦
- 第9回 財務諸表作成のための原価計算（5）
個別原価計算
- 第10回 財務諸表作成のための原価計算（6）
部門別原価計算
- 第11回 財務諸表作成のための原価計算（7）
単一工程単純総合原価計算（平均法）
- 第12回 財務諸表作成のための原価計算（8）
単一工程単純総合原価計算（先入先出法）
- 第13回 財務諸表作成のための原価計算（9）
単一工程単純総合原価計算（後入先出法）
- 第14回 原価概念と基礎的原価計算計算のまとめ
原価概念から製造間接費まで
- 第15回 基礎的原価計算のまとめ
単純総合原価計算
- 第16回 前期の復習（1）
原価概念から製造間接費
- 第17回 前期の復習（2）
単純総合原価計算
- 第18回 財務諸表作成のための原価計算（10）
工程別総合原価計算
- 第19回 財務諸表作成のための原価計算（11）
組別総合原価計算
- 第20回 財務諸表作成のための原価計算（12）
等級別総合原価計算
- 第21回
連産品等
- 第22回 原価管理目的の原価計算（1）
科学的管理法と原価管理
- 第23回 原価管理目的の原価計算（2）
経営管理サイクルと標準原価の設定
- 第24回 原価管理目的の原価計算（3）
標準原価差異の計算と分析（直接材料費、直接労務費）
- 第25回 原価管理目的の原価計算（4）
標準原価差異の計算と分析（製造間接費）

経・経A・
商・現

- 第26回 利益管理目的の原価計算（1）
原価の固変分解
- 第27回 利益管理目的の原価計算（2）
損益分岐点分析の意義と損益分岐点図表
- 第28回 利益管理目的の原価計算（3）
損益分岐点分析の計算
- 第29回 利益管理目的の原価計算（4）
直接原価計算
- 第30回 原価計算論のまとめ

FA・CIM化の進展と原価計算の変革

準備学習

日頃から、新聞・雑誌・ニュースなどを通じて、企業の経営活動に関心を持つように心がけてください。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

計算演習を通じて学習を進めていきますので、計算器具（電卓）を持参するようにしてください。
定期試験・授業内で提出を求める課題を基本に評価します。総合評価の際、出席率を考慮します。
清水孝・長谷川恵一・奥村雅史著『入門原価計算』（中央経済社）
岡本清著『原価計算』（国元書房）
清水孝著『上級原価計算』（中央経済社）

履修コード	097301
科目名	会計情報論
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 純治

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール
準備学習

変容する現代の会計のトータルな理解と将来の予見に役立つことを目標とする。
教科書と放送大学「現代の会計」(DVD)の講義とをあわせて、企業会計の変容のあり方を理論と制度の両面から講義する。
テキストの各章を(DVDもふくめて)2回行う予定です。1回目の講義(パワーポイントのスライド使用)を聞いた後、テキストでよく復習して、2回目の講義に臨んで下さい。

履修上の留意点

細かな会計基準の知識は必要ないが、一応の会計学の基礎知識ないし関心をもっていただくが望ましい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他
関連リンク

小テストと定期試験。小テストは総合評価に加味されます。
石川純治『変貌する現代会計』（日本評論社）1,600円。
別途指示する。
YeStudyをよくご覧になってください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>

経・経A・
商・現

履修コード	097401
科目名	税務会計論
担当者名	北口 りえ

講義の到達目標(ねらい) 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。

本講義では、税務計算技術の習得や課税所得計算構造への理解を深めることに重点をおき、企業会計を基礎として課税所得および税額を計算し、申告・納税するという企業会計と税務の一連の手続きについて学習します。まず税務会計の基礎的な概念や考え方などについて学んだ上で、個別具体的な税務会計処理について学んでいきます。本講義をきっかけに、なぜ課税所得は企業利益に調整を加えて算出されるのか、公平な課税はどのようにしたら実現できるのかということについて考えてもらえればと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回：ガイダンス
第2～4回：税務会計の制度的基礎
第5～7回：法人税の基礎
第8～10回：課税所得計算の基礎
第11～15回：益金の会計
第16～24回：損金の会計
第24～27回：課税所得・税額の計算
第28回：申告・納付等

履修上の留意点

第29・30回：企業組織再編税制、連結納税制度
会計学の基礎的知識を前提として授業を行いますので、なるべく「簿記論」および「会計学基礎(会計学総論)」を履修した上で受講してください。

成績評価の方法

計算演習を行いますので、電卓を持参してください(講義内で指示します)。
成績評価は、出席点、授業内試験、定期試験の総合評価により行います。
ただし、受講者数次第では、出席点を加味しない場合があります。

教科書／テキスト

柳裕治他『税務会計論』(創世社)

履修コード	097501
科目名	経営分析
担当者名	渡邊 智

講義の到達目標(ねらい) 企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えていますが、財務諸表の見方を知らなければ情報を正確に把握することはできない。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それらを正確に分析し、当該企業がどのような状態にあるのか判断するものである。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としている。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) ガイダンス(2～5) 財務諸表分析とは何か(6～14) 貸借対照表とその分析(15) 前期のまとめ(16～22) 貸借対照表と損益計算書の分析(23～25) 株主資本等変動計算書とその分析(26～29) キャッシュフロー計算書とその分析(30) 後期のまとめ

準備学習

簿記と会計の知識が必要となるので、簿記と会計に関連する科目を履修し、単位を取得しておくこと。
講義には毎回必ず出席すること。万一欠席した場合には、欠席した回の学習事項を十分に理解しておくこと。

履修上の留意点

また、電卓を使用しても構わないが、ある程度の計算力は必要となる。
ただ講義に出席していれば良いのではなく、日頃から企業の動向に関心を持ち、財務諸表や資料を自ら積極的に収集して分析を行うなど、積極的な姿勢で課題に取り組むことが求められる。
理解できなかった点については、そのままにせず、質問などにより必ず解決しておくこと。
講義中は静粛を保ち、与えられた課題には真剣に取り組むこと。

成績評価の方法

電卓を持参すること。
予習・復習は毎回必ず行なうこと。
期末試験の結果、平常点(出席状況、小テスト、レポート)などから総合的に判断して成績を評価する。

教科書／テキスト

平林亮子編『財務諸表分析入門』アスキーメディアワークス 定価1,700円＋税
ISBN978-4-04-867324-2

参考書

村形聡著『財務諸表と経営分析』アスキーメディアワークス 定価1,700円＋税
ISBN978-4-04-867325-9

その他

講義の進行状況に応じてプリントを配布する。
ただ説明をするだけでなく、受講者とのディスカッションも随時行ない、お互いに理解を深めながら講義を進めてゆきたい。

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	よしだ まさひろ 吉田 真広

講義の到達目標(ねらい)

一国の経済は外国貿易なしには成立しません。今日、先進国において国際取引全体に占める貿易の割合は縮小していますが、依然として対外関係を様々な面において方向付けています。たとえば、貿易を中心とした経常取引は、一国の対外債権債務動向を左右します。また貿易動向は国内産業構造の変化や景気動向の反映でもあり、逆に貿易動向が国内経済に大きな影響を及ぼすことも少なくありません。講義では、貿易の基本原則や取引方法を学び、さらに日本の経済と貿易がどのように関連しているのかを考えていきます。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

- 1 国際取引と貿易
 - ・国際収支 ・記載原理 ・国際収支統計と国民所得統計
- 2 貿易原理
 - ・比較生産費説 ・特化と独占 ・交易条件
- 3 国際競争力
 - ・価格転嫁率 ・為替相場と商品価格

後期

- 4 貿易の歴史
 - ・保護貿易と自由貿易 ・産業革命と貿易 ・帝国主義と貿易 ・戦後の貿易体制
- 5 為替取引原理
 - ・約束手形と為替手形 ・銀行と為替取引
- 6 貿易実務
 - ・船積み書類と信用状 ・ユーザンス ・貿易金融

*なお、トピックを取り上げることがあり得る。

出席を取ることもあり得る。

年二回の試験

特に指定しない。

授業中、必要に応じて適宜示します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

経・経A
商・現

履修コード	098011
科目名	グローバル・ファイナンス
担当者名	小西 宏美

講義の到達目標(わらい)

本講義では、多国籍企業の生産、投資活動を金融の側面から支えてきたグローバル・ファイナンスの役割とその弊害について学習する。今日のグローバル化は多国籍企業の活動に因るところが大きい。たとえば多国籍企業による海外生産活動と企業内国際貿易、海外企業の買収などである。グローバル・ファイナンスは、こうした企業の国際的生産、投資活動を資金調達や為替リスク管理といった側面から支えてきた。

しかし逆にグローバル・ファイナンスがもたらす問題もある。それは経済の「カジノ化」(カジノ資本主義)である。今アメリカ発の金融危機によって世界経済が混乱しているが、これも「カジノ資本主義」がもたらした問題と言える。本講義ではグローバル・ファイナンスの役割とその問題点を検討しながら、将来的に望ましい企業金融のあり方や金融システムの枠組みについて考える。

講義の内容/
授業スケジュール

I 多国籍企業の国際的生産体制とグローバル・ファイナンス (1~14) ユーロ市場、シンジケート・ローン、証券化

II デリバティブ取引 ~リスク回避と投機的取引~ (15~24) デリバティブ取引

III カジノ化する国際金融市場 (25~28) ヘッジ・ファンド、カジノ資本主義

準備学習

毎日、新聞を読みグローバル・ファイナンス関連の用語に慣れておくこと。

授業終了後は、講義で得た知見をノートにまとめること。また理解できなかった点は毎回配布するコメントカードに記載し、解答を Yestudy で確認しておくこと。

履修上の留意点

新聞やテレビ、インターネットなどで見聞きした情報を、授業時に得た知識と結びつけながら様々な事象の関連性を考えて下さい。

成績評価の方法

前期終了時点での授業内試験、後期終了後の定期試験、毎回のコメントカードへの記入の3点で評価します。

教科書/テキスト

指定しません。

参考書

奥田宏司、神沢正典編 (2010)『現代国際金融論 (第2版)』法律文化社、2600円 (予価)、978-4-589-03240-9

スーザン・ストレンジ (2007)『カジノ資本主義』岩波現代文庫 ("Casino Capitalism" 1986) 1260円、978-4006001728

上川孝夫、藤田誠一、向寿一 (2007)『現代国際金融論 (第3版)』有斐閣ブックス、3045円、978-4641183469

その他

授業内で配布するプリントや毎回のコメントカードへの解答は YeStudy にアップしています。学習の参考にして下さい。

経・経A・
商・現

履修コード	098161
科目名	企業倫理
担当者名	桑山 三恵子 <small>くわやま みえこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 営利組織である企業に、なぜ企業倫理の重要性が増してきているのか？ この基本的な設問を軸に授業を進める。現代の企業経営に起きている変革の要因を分析し、企業経営の質の向上をいかに高めるかについて学習する。理論的な学習とともに、具体的な事例をとりあげグループによるケースディスカッションを行い、倫理的思考にもとづく意思決定を体験する。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) ガイダンス
- (2～5) 法と倫理、コンプライアンスと企業倫理、倫理規範論と企業倫理
- (6～7) 米国における企業倫理の展開
- (8～9) 日本の産業社会と企業倫理
- (10～12) 企業倫理の組織内制度化 倫理綱領、組織体制、教育コミュニケーション、内部通報制度 監査
- (13) コーポレートガバナンスと企業倫理
- (14) 環境倫理と企業倫理
- (15) まとめ

準備学習

次回の授業のテーマに関連する情報を参考書やインターネットで収集すると効果が高まる。また、授業中に紹介する資料や配布する資料を講義終了後に熟読しておくこと。

履修上の留意点

ケースディスカッションの時には、ケースの資料を熟読し、授業中のディスカッションタイムに加えてグループメンバー間で積極的にEメール等を使い意見交換し理解を深めること。

成績評価の方法

企業経営と倫理に関するテーマをとりあげた新聞、雑誌、テレビの特集番組等の情報に積極的にアクセスすることを心がけること。

教科書／テキスト

授業開始時に決定

参考書

日本経営倫理学会監修 水谷雅一編著『経営倫理』2003年刊(同文館出版)2400円 ISBN4-495-37131-2

小林俊治 百田義治 編 『社会から信頼される企業—企業倫理の確立に向けて』2004年刊(中央経済社)2400円 ISBN4-502-37550-0

経・経A・
商・現

履修コード	098171
科目名	企業社会責任論
担当者名	桑山 三恵子 <small>くわやま みえこ</small>

講義の到達目標(ねらい) 「企業の社会責任」とは何か、近年、関心が高まっているのは何故か、その背景と意味を学習する。日・米・欧・アジアの企業の社会責任に対するとらえ方や活動を比較し、グローバルな視点に立ち、企業と社会が共に持続的に発展する企業像を考察する。さらに、理論面だけでなく、具体的なケースをとりあげ、グループワークを行い、グループディスカッションにより切磋琢磨し理解を深める。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) ガイダンス
- (2～3) 企業とは何か、日米欧のコーポレートガバナンス
- (4～5) ステークホルダーマネジメント理論
- (6～7) 企業の社会責任とグループ経営、サプライチェーンマネジメント
- (8～10) 日米欧アジアの企業社会責任の認識と実践の比較
- (11) 企業社会責任投資の歴史的経緯と現状
- (12～13) 企業の社会責任とコミュニケーション
- (14) 企業の社会責任と国際規格
- (15) まとめ：社会企業家と新たな企業像

準備学習

配布資料および教科書の該当する章を熟読すること。関心のある企業の社会責任報告書(CSRレポート)をホームページ等で閲覧し企業はどのような活動をしているかについて理解しておくこと。

履修上の留意点

企業と社会の相互関係という視点から、新聞、雑誌、テレビの特集番組、企業の社会責任報告書、インターネット上の情報に積極的にアクセスすること。

成績評価の方法

学期末の定期試験(6割)、授業内に求める課題レポート(2割)、授業やグループワーク・グループディスカッションへの取り組み姿勢(2割)を総合的に評価。

教科書／テキスト

谷本寛治『CSR—企業と社会を考える』2006年刊(NTT出版)1600円 ISBN4-7571-2179-2

参考書

田中宏司 CSR 入門講座 第1巻『CSRの基礎知識』2005年刊(日本規格協会)1300円 ISBN4-542-70150-6

高巖+日経 CSR プロジェクト編 『CSR- 企業価値をどう高めるか』2004年刊 1600円 ISBN4-532-31181-0

履修コード	098181
科目名	法と経済学
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい)	法制度は日常生活や企業活動などの様々な側面で経済に大きな影響を与えており、経済現象を考 える上で、法制度の役割を理解することは不可欠である。そのような法制度の役割を経済システム 全体の中で見るために、「法と経済学」ではミクロ経済学的手法を用いてインセンティブの視点から 様々な法制度の役割について論じる。
講義の内容/ 授業スケジュール	受講する学生には、この授業を通じて経済における法制度の役割、それに関する政策の意義を考 え、経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。 1. イントロダクション(1) 2. 法律学と経済学の基礎(2~3) 3. 犯罪と刑罰の「法と経済学」(4~6) 4. 事故と損害賠償の「法と経済学」(7~9) 5. 所有と契約の「法と経済学」(10~12) 6. 競争政策の「法と経済学」(13~15)
履修上の留意点	講義ではミクロ経済学、ゲーム理論の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、 「ゲーム理論」、「情報の経済学」のいずれかを履修した学生を対象とする。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	成績評価は、定期試験による。 テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。 テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	098191
科目名	制度の経済学
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい)	企業組織と企業を取りまく制度は相互に関連しながら経済システムを作り上げており、景気の動 向や産業構造、雇用形態などを通じて消費者・労働者としての我々の日々の生活に大きな影響をも たらす。また1990年代以降、企業の雇用形態や資本市場との関係などは大きく変化しており、その なかで企業の不祥事が頻発するなど、企業組織のあり方やコーポレート・ガバナンスのあり方が問 われている。
講義の内容/ 授業スケジュール	本講義では、ミクロ経済学、なかでも「比較制度分析」と情報の経済学などの手法を用いて企業 組織に関する諸制度の相互の関連と経済システムについて論じる。 受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、経済における制度の 役割、それに関する政策の意義を考えることで経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。 1. 企業システムと法・制度(1~2) 2. 日本の企業システム(3~4) 3. 雇用システムとインセンティブ(5~7) 4. 企業の競争戦略と競争政策(8~10) 5. 企業間取引(11~12) 6. 会社法とコーポレート・ガバナンス(13~15)
履修上の留意点	講義ではミクロ経済学、情報の経済学の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、 「ゲーム理論」、「情報の経済学」のいずれかを履修した学生を対象とする。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	成績評価は、定期試験による。 テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。 テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	098201
科目名	憲法
担当者名	金子 勝 <small>かねこ まさる</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本国憲法は、国民を「幸福」にする憲法であり、世界に存在する憲法の中で、最も優れた憲法の一つであることを確認していただくこと。

講義の内容／
授業スケジュール

第1回 講義事始。
第2回・第3回 憲法学という科学の性質。
第4回・第5回 憲法とは何か。
第6回～第8回 憲法を制定・運用する国家権力。
第9回～第11回 日本国憲法の制定。
第12回～第14回 日本国憲法の内容－(1) 国民主権と国家主権。
第15回～第20回 日本国憲法の内容－(2) 基本的人権。
④自由権 ⑤法の下での平等権 ⑥社会権 ⑦政治的権利

⑧平和的生存権

第21回～第23回 日本国憲法の内容－(3) 非武装・非戦平和主義。
第24回～第26回 日本国憲法の内容－(4) 統治機構。
⑧国会 ⑨内閣 ⑩裁判所 ⑪財政
第27回 日本国憲法の内容－(5) 地方自治。
第28回 日本国憲法の内容－(6) 天皇
第29回・第30回 日本国憲法と日米安保条約

準備学習

新聞やテレビ・ラジオや雑誌などのマス・メディアによって、現実の憲法問題を把握しておいていただきたい。

履修上の留意点

憲法問題が起きたら、その問題が日本国憲法のどの条項と関係しているのかを把握できるようになっていただきたい。

成績評価の方法

学年末試験で判定する。

教科書／テキスト

金子勝『社会科学の世界』・勁草書房・2600円。

参考書

講義において指示します。

その他

「六法」を必ず持参して下さい。

経・経A・
商・現

履修コード	098301
科目名	民法一部
担当者名	竹中 智香 <small>たけなか ともか</small>

講義の到達目標(ねらい)

民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。

[前期]

(1) 導入 (2) 民法における個人、(3) 権利能力 (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度～ (5) 所有権の概念 (6) 所有権の効力 (7) 契約とその効力 (8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1] (9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2] (10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1] (11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2] (12) 予備日

[後期]

(1) 法人 [1] (2) 法人 [2] (3) 代理制度 (4) 無権代理 (5) 表見代理 (6) 法律行為 (7) 消滅時効、(8) 取得時効 (9) 抵当権 (10) 先取特権、留置権、質権 (11) 譲渡担保 (12) 予備日

履修上の留意点

第1編の「総則」は民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、必ず教科書を購入して、講義の前に教科書を読むように心がけてください。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

成績評価の方法

学年末の定期試験の他、出席状況などの平常点も加味します。

教科書／テキスト

山野目章夫『民法 総則・物権 [第4版]』(有斐閣)

参考書

六法 (コンパクトタイプのもの)

『法律学小辞典 [第4版]』(有斐閣)

履修コード	098401
科目名	民法二部
担当者名	織田 晃子

講義の到達目標(ねらい) 民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。契約を中心にその交渉、成立そして履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげる。

講義の内容／授業スケジュール (1) 契約の成立(2~8) 契約不履行の法的処理として債務不履行、危険負担、瑕疵担保責任、契約解除等(9~11) 債権者代位権、詐害行為取消権(12~13) 債権譲渡(14~15) 第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等(16~20) 保証契約(21~22) 相殺、同時履行(23~30) 典型契約(消費貸借契約、賃貸借契約、請負契約等)

履修上の留意点 六法は必ず持参すること

成績評価の方法 期末試験の成績による

教科書／テキスト 『民法第三版②債権法』(勁草書房)

その他 ポケット六法(有斐閣)
プリント配布

履修コード	098501
科目名	商法一部
担当者名	川口 幸美

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、株式会社の経済活動を経営管理の側面と資金調達の側面について規制する会社法を体系的・基礎的に理解することを目的とする。具体的には法規制の内容と、重要かつ興味深い事例等を随時紹介し、現実社会で会社法が果たしている役割について説明する。

講義の内容／授業スケジュール

1. 会社の種類(LLCとLLP)
2. 会社の設立
3. 組織と会計(機関設計と会計参与)
4. 組織と会計(リスク管理と内部統制)
5. 会社の計算(配当・持分変動計算書)
6. 企業の計算(役員賞与の扱い)
7. 企業買収・再編(三角合併)
8. 企業買収・再編(新株予約権の強制償却)
9. 企業買収・再編(黄金株と譲渡制限)
10. その他

履修上の留意点 会社法を体系的により深く理解するために、他の商法科目(商法総則・商行為法)および民法科目(特に民法総則・債権法)を現在履修しているか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法 試験の点数による。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しないものと考えてください。つまり、就職活動・部活動および病欠等による欠席者を優遇することはありません。期末試験は12月最後の授業内で行いますので注意してください。

教科書／テキスト 開講時に指定する。

参考書 神田秀樹「会社法(第11版)」(弘文堂)
江頭憲治郎・岩原紳作・藤田友敬／編
別冊ジュリスト「会社法判例百選」

その他 (当然のことですが) 授業中の私語・携帯電話の使用を厳しく注意します。場合によっては退室を命じます。

経A・
商・現

履修コード	098601
科目名	商法二部
担当者名	<small>なかほま ましあき</small> 中濱 義章

講義の到達目標(ねらい) 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容／授業スケジュール 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義(約束手形・為替手形・小切手の異同)
- 2 手形法・小切手の経済的機能
- 3 手形行為の意義・性質
- 4 手形行為の成立時期(手形理論)
- 5 手形行為と法律行為に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造、変造
- 8 手形行為と実質関係

- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 善意取得の制度
- 13 手形抗弁、人的抗弁切断(制限)の制度
- 14 支払、支払拒絶など
- 15 為替手形・小切手に特有の法制度
- 16 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点 六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『セレクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)など。

成績評価の方法 民法(財産法関係科目)および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。夏休み前と期末に行う筆記試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書/テキスト 大塚龍児ほか『商法Ⅲ－手形・小切手(第3版)』(有斐閣Sシリーズ)

参 考 書 落合誠一＝神田秀樹編『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選(第6版)』(有斐閣)

詳細については、開講時に指示します。

山下友信＝神田秀樹編『商法判例集(第3版)』(有斐閣)

経・経A・
商・現

履修コード	098701
科目名	経済法
担当者名	<small>わかばやし ありさ</small> 若林 亜理砂

講義の到達目標(ねらい) 経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容／授業スケジュール 以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法 期末試験により評価を行う。

教科書/テキスト 丹宗・厚谷編『新現代経済法入門(第3版)』(法律文化社)

参 考 書 別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選(第六版)』(有斐閣)

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂

講義の到達目標(ねらい)

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

労働者に降りかかるさまざまな事象は、最近では雇用関係法領域において顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容／
授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

準備学習

テキストを読むこと。新聞を読むことなどです。現代雇用問題にかかわる新書なども読んでください。

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。

成績評価の方法

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。
成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価がつきません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価します。

教科書／テキスト

追試験は実施します。
指定教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法Ⅰ [第2版]』(エイデル研究所 2010)。もとより、これ以外でもかまいませんが、相談して下さい。

参考書

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。
六法は最新のもの(法律改正や制定があるので特に注意)。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	099001
科目名	国際法
担当者名	橋本 靖明

講義の到達目標(ねらい)	私達は今、国際社会の中で生きています。国際社会の動きとその行動を規律する法体系である国際法を無視しては、社会のさまざまな構成員間の関係を良好に保つことができないのです。
講義の内容／ 授業スケジュール	本講義では、皆さんとともに国際社会の現状と展望を概観しつつ、その社会を規律する国際法とは何か、について学んでゆきます。 大きく、以下の三つのパートに分けて進めてゆく予定です。
準備学習	①国際法の全体像をを概観する。(2～5) ②領域(陸、海、空、宇宙等)に関する国際法を考える。(6～25) ③領域を越えるさまざまな今日の問題(人権、環境、テロ等)に関する国際法を考える。(26～30)
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書/テキスト	新聞、雑誌、インターネット等で報道される国際情勢に留意し、その法的背景を探ってみてください。 特別な予習を必要としませんが、その分、授業への出席を求めます。 受講生の出席状況と筆記試験の回答内容から総合的に成績評価を行います。 編者：松井 芳郎(編集代表) 書名：『ベーシック条約集』2010年版 出版社：東信堂 価格：2730円(税込み：2009年版参考) ISBN：978-4-88713-897-1(2009年版参考)
参考書 その他	特に指定する予定はありません。 (講義の進め方)講義は、必要に応じて資料等を参照しながら行います。

履修コード	099181
科目名	企業統治論 a
担当者名	水村 典弘

講義の到達目標(ねらい)	株式会社の歴史と制度を正確に理解したうえで、企業統治(コーポレート・ガバナンス)のメカニズムを解明していく。そして、比較制度分析の観点から、先進資本主義経済圏における企業統治の制度について解明していく。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス、第2回～4回：株式会社の歴史と現在、第5回～7回：株式会社制度と企業統治、第8回～12回：機関の設計と経路依存の問題、第13回～15回：日本における企業統治問題と公開会社法の問題
準備学習	報道される株式会社制度や証券市場の変化に関心を持つように心掛けて下さい。日本国外の変化や日本国外の変化をフォローしていれば、授業の内容を深く理解できると思います。また受講生に予備的な知識が乏しくとも、株式会社制度の基本については授業の前半部で詳細に説明していきます。
履修上の留意点	経済報道及び企業報道(新聞・雑誌、インターネット、TVの特集番組)等に日頃から接するように心掛けて下さい。また、講義の内容についてわからない点は必ず質問するようにして下さい。
成績評価の方法 教科書/テキスト	平常点をベースとして、学期末試験(70%)と中間テスト(30%)の得点を基準として評価します。 海道ノブチカ・風間信隆編著『コーポレート・ガバナンスと経営学—グローバル化下の変化と多様性—』ミネルヴァ書房、2009年。(http://www.minervashobo.co.jp/book/b49888.html)
参考書 その他	講義の進行に応じて適宜に紹介します。 記載事項無し。

経・経A・
商・現

履修コード	099191
科目名	企業統治論 b
担当者名	みずむら のりひろ 水村 典弘

講義の到達目標(ねらい)	世の中には様々な制度があります。どの制度も何らかの目的を実現していくために誰かが編み出したものです。しかし制度が正しく設計されていたとしても、当該制度が適切に運用されるとはかぎりません。講義では、制度の設計と運用の問題について、企業倫理の観点からアプローチしていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス、第2回～4回：資本主義経済における〈ビジネスと倫理の問題〉と〈企業活動と倫理の問題〉、第5回～6回：経営のプロフェッショナルリズム、第7回～11回：個人・組織・社会レベルの倫理、第12回～15回：新たな企業価値の創造に向けて
準備学習	「良い企業とは、どのような企業なのか?」、「良い仕事とは、どのような仕事なのか?」、こうした抽象的な問いについて、考えておくようにして下さい。特に就職活動を控えている学生の方や、社会人になる学生の方にとっては、重要で切実な問題でしょう。
履修上の留意点	経済報道及び企業報道(新聞・雑誌、インターネット、TVの特集番組)等に日頃から接するよう に心掛けて下さい。また、講義の内容についてわからない点は必ず質問するようして下さい。
成績評価の方法 教科書／テキスト	平常点をベースとして、学期末試験(70%)と中間テスト(30%)の得点を基準として評価します。 水村典弘『ビジネスと倫理—ステークホルダー・マネジメントと価値創造—』文真堂、2008年。 { http://www.bunshin-do.co.jp/catalogue/book/book0595.htm }
参考書 その他	講義の進行に応じて適宜に紹介します。 記載事項無し。

履修コード	099211
科目名	流通経済論
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい)	大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1～3) 商品、貨幣および資本 (4～7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8～16) 資本の流通過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17～20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21～28) 商品買取資本と商業利潤、純粹流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粹流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29～30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤
成績評価の方法 教科書／テキスト	成績は期末試験により評価します。 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

履修コード	099811・099812・099813・099814
科目名	経済外国書講読Ⅰa [英語] 外国書講読Ⅰa [英語] 経済外国書講読Ⅱa [英語] 外国書講読Ⅱa [英語]
担当者名	すずき のぶ 鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい)	ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます(多数決)。 第2回以降：1人あたり1段落程度を音読して訳してもらいます。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席・予習・発表(訳)の平常点により評価します。 ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

経・経A・
商・現

履修コード	099821・099822・099823・099824
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕 外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい) ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます(多数決)。

成績評価の方法 第2回以降：1人あたり1段落程度を音読して訳してもらいます。

教科書／テキスト 出席・予習・発表(訳)の平常点により評価します。ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

履修コード	099831・099832・099833・099834
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕 外国書講読Ⅱa〔英語〕
担当者名	松本 典子

講義の到達目標(ねらい) 非営利組織(non-profit organization)や社会的企業(social enterprise)に関する英語文献を素材に、外国語の専門書に慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、非営利組織および社会的企業の経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。

講義の内容／授業スケジュール 非営利組織および社会的企業に関する下記の英語文献を講読します。

履修上の留意点

- ・必ず予習をして参加してください。
- ・非営利組織論aとbをすでに履修していることを前提として講義をすすめます。

成績評価の方法

- ・成績は、定期試験50%、出席・報告状況等50%で、総合的に評価します。

教科書／テキスト

参 考 書

- ・随時、配布します。
- ・適宜、指示します。

そ の 他

- ・輪読形式です。

経・経A・
商・現

履修コード	099841・099842・099843・099844
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕 外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	松本 典子

講義の到達目標(ねらい) 非営利組織(non-profit organization)や社会的企業(social enterprise)に関する英語文献を素材に、外国語の専門書に慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、非営利組織および社会的企業の経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。

講義の内容／授業スケジュール 非営利組織および社会的企業に関する下記の英語文献を講読します。

履修上の留意点

- ・必ず予習をして参加してください。
- ・非営利組織論aとb、経済外国書講読Ⅰa(松本)あるいはⅡa(松本)をすでに履修していることを前提として講義をすすめます。

成績評価の方法

- ・成績は、定期試験50%、出席・報告状況等50%で、総合的に評価します。

教科書／テキスト

参 考 書

- ・随時、配布します。
- ・適宜、指示します。

そ の 他

- ・輪読形式です。

履修コード	099911・099912・099913・099914
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕 外国書講読Ⅱa〔英語〕
担当者名	やすもと みのる 安元 稔

講義の到達目標(ねらい)

今年度の「経済外国書講読Ⅰa〔英語〕」は、テキストとして、Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009 を用いて、イギリス産業革命を世界経済史という大きな流れの中で再検討します。「産業革命」は、何故、他のヨーロッパ諸国やアジアではなく、18世紀末期のイギリスで起きたのかという古典的な問いを解く鍵は、著者アレンによれば、17・18世紀の世界経済に対するイギリスの反応の仕方にあります。イギリスにおける賃金水準の相対的な高さ、資本調達費用およびエネルギー費用の相対的な低さに巧妙に対処した結果が、蒸気機関、綿工業に導入された機械、金属工業における木炭エネルギーに代わる石炭の利用であったということです。

講義の内容／
授業スケジュール

英文は、論理的かつ明快で、特に難解なところはありません。本書を熟読することによって、経済学、経済史、歴史学の最新の成果を吸収することがこの講義のねらいです。英文の正確な解釈と全体の趣旨を把握する力をつけることを目的とします。受講者には、適宜、関連する英文・邦文文献を指示します。講義のはじめの数回は、本書の要約と内容の紹介を行い、以後、毎回、受講者に英訳をしてもらい、英訳および内容について、皆で検討します。

- 第1回 テキストの概要解説(1)
- 第2回 テキストの概要解説(2)
- 第3回 global history の動向
- 第4-8回 テキスト講読(1. The Industrial Revolution and the pre-industrial economy)
- 第9-14回 テキスト講読(2. The high-wage economy of pre-industrial Britain)
- 第15-18回 テキスト講読(3. The agricultural revolution)
- 第19-22回 テキスト講読(4. The cheap energy economy)
- 第23-26回 テキスト講読(5. Why England succeeded)
- 第27-30回 テキスト講読(6. Why was the Industrial Revolution British?)

経・経A・
商・現

準備学習
履修上の留意点

和訳担当者だけでなく、履修者全員が講読予定箇所を予習しておくことが必要です。英文で文献・新聞を読むこと、読解だけでなく、声を出して英文を読む習慣を身に付けてほしいと思います。

成績評価の方法
教科書／テキスト

期末試験の成績と出席状況で成績を評価します。
Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009. プリントを配布します。

参 考 書

E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 --- 環境・経済・地政の比較史』(名古屋大学出版会) (ISBN4-8158-0389-7)

そ の 他

特にありません。

履修コード	099921・099922・099923・099924
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕 外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	やすもと みのる 安元 稔

講義の到達目標(ねらい) 今年度の「経済外国書講読Ⅰb(英語)」は、テキストとして、Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009 を用いて、イギリス産業革命を世界経済史という大きな流れの中で再検討します。「産業革命」は、何故、他のヨーロッパ諸国やアジアではなく、18世紀末期のイギリスで起きたのかという古典的な問いを解く鍵は、著者アレンによれば、17・18世紀の世界経済に対するイギリスの反応の仕方にあります。イギリスにおける賃金水準の相対的な高さ、資本調達費用およびエネルギー費用の相対的な低さに巧妙に対処した結果が、蒸気機関、綿工業に導入された機械、金属工業における木炭エネルギーに代わる石炭の利用であったというのです。

講義の内容／
授業スケジュール

英文は、論理的かつ明快で、特に難解なところはありません。本書を熟読することによって、経済学、経済史、歴史学の最新の成果を吸収することがこの講義のねらいです。
英文の正確な解釈と全体の趣旨を把握する力をつけることを目的とします。受講者には、適宜、関連する英文・邦文文献を指示します。講義のはじめの数回は、本書の要約と内容の紹介を行い、以後、毎回、受講者に英訳をしてもらい、英訳および内容について、皆で検討します。

- 第1回 テキストの概要解説(1)
- 第2回 テキストの概要解説(2)
- 第3回 global history の動向
- 第4-8回 テキスト講読 (1. The Industrial Revolution and the pre-industrial economy)
- 第9-14回 テキスト講読 (2. The high-wage economy of pre-industrial Britain)
- 第15-18回 テキスト講読 (3. The agricultural revolution)
- 第19-22回 テキスト講読 (4. The cheap energy economy)
- 第23-26回 テキスト講読 (5. Why England succeeded)
- 第27-30回 テキスト講読 (6. Why was the Industrial Revolution British?)

準備学習
履修上の留意点

和訳担当者だけでなく、履修者全員が講読予定箇所を予習しておくことが必要です。
英文で文献・新聞を読むこと、読解だけでなく、声を出して英文を読む習慣を身に付けてほしいと思います。

成績評価の方法
教科書／テキスト

期末試験の成績と出席状況で成績を評価します。
Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009. プリントを配布します。

参考書

E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』(名古屋大学出版会)
(ISBN4-8158-0389-7)

その他

特にありません。

経・経A・
商・現

履修コード	099931・099932・099933・099934
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕 経済外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕
担当者名	しろた じゆん 代田 純

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語で経済を学ぶ。ドイツ語に親しむことで、ドイツやEU経済に関しても学ぶ。
講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点 テキストと参考書を輪読していきます。履修者の語学力に応じて、スケジュールを調整します。

成績評価の方法
教科書／テキスト

ドイツ語を履修していなくても、ドイツやEUの経済に関心があれば、履修できる。英語の資料も使用します。
出席が基本です。順番に訳していきますので、当たっている時は、和訳してください。
Die Geldpolitik der Bundesbank
これはドイツ連邦銀行(中央銀行)が金融政策の仕組みを解説したものです。

参考書

The monetary policy of the bundesbank
ドイツ語テキストの英語版です。

その他

半期2単位でも履修可能。

履修コード	099941・099942・099943・099944
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕 経済外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕 外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕
担当者名	代田 純 <small>しろた じゅん</small>

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語で経済を学ぶ。ドイツ語に親しむことで、ドイツやEU経済に関しても学ぶ。テキストと参考書を輪読していきます。履修者の語学力に応じて、スケジュールを調整します。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 ドイツ語を履修していなくても、ドイツやEUの経済に関心があれば、履修できる。英語の資料も使用します。

成績評価の方法 出席が基本です。順番で訳していきますので、当たっている時には、和訳してください。

教科書／テキスト Die Geld politik der Bundesbank
これはドイツ連邦銀行(中央銀行)が金融政策の仕組みを解説したものです。

参 考 書 The monetary policy of the bundesbank
ドイツ語テキストの英語版です。

そ の 他 半期2単位でも履修可能。

履修コード	100011・100012・100013・100014
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔フランス語〕 外国書講読Ⅰa〔フランス語〕 経済外国書講読Ⅱa〔フランス語〕 外国書講読Ⅱa〔フランス語〕
担当者名	清水 卓 <small>しみず たく</small>

講義の到達目標(ねらい) フランス語でEUの公式文書を読み取る力をつけるのが目標です。平成21年度は前期はEUの共通農業政策に関する文書、後期はフランスの外国人移民問題についての調査報告書を読みました。履修者の関心に応じて専門資料を解説するため、EUの主要政策分野について概要を説明し、その上で翻訳作業を行います。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 翻訳には時間がかかります。自分で日本語の翻訳文を作成した上で授業に参加してください。特にありません。

準備学習 作成できた翻訳文の量と質によって決めます。

履修上の留意点 履修者の要望を聞いた上で決めます。

成績評価の方法 特にありません。

教科書／テキスト 特にありません。

参 考 書 特にありません。

そ の 他 特にありません。

関 連 リ ン ク http://europa.eu/index_en.htm

履修コード	100021・100022・100023・100024
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔フランス語〕 外国書講読Ⅰb〔フランス語〕 経済外国書講読Ⅱb〔フランス語〕 外国書講読Ⅱb〔フランス語〕
担当者名	清水 卓 <small>しみず たく</small>

講義の到達目標(ねらい) フランス語でEUの公式文書を読み取る力をつけるのが目標です。平成21年度は前期はEUの共通農業政策に関する文書、後期はフランスの外国人移民問題についての調査報告書を読みました。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 講義の内容／授業スケジュール 履修者の関心に応じて専門資料を解説するため、EUの主要政策分野について概要を説明し、その上で翻訳作業を行います。

準備学習 準備学習 翻訳には時間がかかります。自分で日本語の翻訳文を作成した上で授業に参加してください。

履修上の留意点 履修上の留意点 特にありません。

成績評価の方法 作成できた翻訳文の量と質によって決めます。

教科書／テキスト 教科書／テキスト 履修者の要望を聞いた上で決めます。

参 考 書 参考書 特にありません。

そ の 他 その他 特にありません。

関 連 リ ン ク http://europa.eu/index_en.htm

経・経A・
商・現

履修コード	100131・100132・100133・100134
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔中国語〕 外国書講読Ⅰa〔中国語〕 経済外国書講読Ⅱa〔中国語〕 外国書講読Ⅱa〔中国語〕
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}

講義の到達目標(ねらい) 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。

講義の内容／授業スケジュール ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。
第1－5週：第1章 第6－10週：第2章 第11－15週：第3章 第16－20週：第4章 第21－25週：第5章 第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

履修コード	100161・100162・100163・100164
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔中国語〕 外国書講読Ⅰb〔中国語〕 経済外国書講読Ⅱb〔中国語〕 外国書講読Ⅱb〔中国語〕
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}

講義の到達目標(ねらい) 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。

講義の内容／授業スケジュール ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。
第1－5週：第1章 第6－10週：第2章 第11－15週：第3章 第16－20週：第4章 第21－25週：第5章 第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

経・経A・
商・現

履修コード	100151・100152・100153・100154
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔朝鮮語〕 外国書講読Ⅰa〔朝鮮語〕 経済外国書講読Ⅱa〔朝鮮語〕 外国書講読Ⅱa〔朝鮮語〕
担当者名	鄭 ^{ちやん} 章淵 ^{ちやんえん}

講義の到達目標(ねらい) この授業は、韓国の経済発展に関する朝鮮語（韓国語）文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、授業では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してもらいたい。

準備学習 新聞の韓国経済に関する記事を読むこと。

履修上の留意点 授業での課題や出席を基に成績を評価するので授業に休まないで出席してもらいたい。

成績評価の方法 出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。

教科書／テキスト 初回授業時にプリントを配布する。

参 考 書 辞書や文法書など参考書については初回授業時に紹介する。

履修コード	100181・100182・100183・100184
科目名	経済外国語講読Ⅰb〔朝鮮語〕 外国語講読Ⅰb〔朝鮮語〕 経済外国語講読Ⅱb〔朝鮮語〕 外国語講読Ⅱb〔朝鮮語〕
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵

講義の到達目標(ねらい) この授業は、韓国の経済発展に関する朝鮮語(韓国語)文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、授業では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してもらいたい。

準備学習 新聞の韓国経済に関する記事を読むこと。

履修上の留意点 授業での課題や出席を基に成績を評価するので授業に休まないで出席してもらいたい。

成績評価の方法 出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。

教科書／テキスト 初回授業時にプリントを配布する。

参 考 書 辞書や文法書など参考書については初回授業時に紹介する。

履修コード	100311
科目名	貿易実務
担当者名	あらはた はるお 荒畑 治雄

講義の到達目標(ねらい) 第二次世界大戦後、世界の貿易取引が急速に増大した。貿易取引は、お互いに国境を異にする企業と企業との物品売買である。通常、貿易取引は、売買当事者間で長期的・継続的に取引関係を形成させて遂行されるが、このような取引がどのように履行されていくのかという観点から、本講義においては海外市場調査から売買契約の成立、外国為替相場変動のもとにおける取引当事者の対応、海上および航空運送、海上保険、代金決済に至る取引の流れを把握する。さらに近年著しく普及してきた国際電子商取引についても詳細に検討を行い、履修生が実社会で活躍する場合に備えて実際に役立つ講義を行う。

講義の内容／授業スケジュール

1. 海外市場調査
2. 取引関係の形成
 - (1) 見本と価格表の送付 (2) 一般的取引条件の協定
3. 取引の基本5条件
 - (1) 品質条件 (2) 数量条件 (3) 価格条件・・・Trade Terms(EXW, FAS, FOB.)
4. 価格条件(CIF, CPT, CIP, DDU, DDPその他)
5. 受渡し条件
 - (1) 決済条件・・・送金為替、荷為替手形方式
6. 輸出入貿易管理と規制
 - (1) 輸出の許可・承認 (2) 輸入承認
7. 売買契約成立に伴う実務
 - (1) 為替手形の作成 (2) 信用状の内容
8. 先物為替の予約
9. 国際運送
 - (1) 海上運送 (a) 在来船による運送 (b) コンテナ運送 船荷証券・海上運送状
 - (2) 航空運送
10. 海上保険契約
 - (1) 海上保険の契約当事者 (2) 予定保険契約 (3) 被保険利益 (4) 危険の種類と損害の程度
 - (5) 保険条件
11. 輸出通関と船積手続き
 - (1) 輸出通関 (2) 保税地域 (3) 船積手続きの流れ (4) コンテナ船積み
12. 輸入貨物の荷揚げと輸入通関
 - (1) コンテナ貨物の輸入港への荷揚げ (2) 輸入通関
13. 貿易金融

準備学習 本講義を受講する前および授業と平行して国際ビジネスに関する一連の出版物をよく読んでおくことによって効果的に知識を吸収することができる。こうした点を各自が自覚することによって授業内容を正確に把握することができるようになる。

履修上の留意点 学生は日常より日本・米国・EU・アジア諸国の貿易の動向について、インターネットや新聞その他のメディアから調べることが重要である

成績評価の方法 授業への参加度およびその内容に関する質問等を勘案し、期末試験(80%)により決定する。

教科書／テキスト 荒畑 治雄『現代国際商取引論』慶應義塾大学出版会 2009年4月 3,000円

参 考 書 授業時に指示する。

履修コード	100321
科目名	通関実務
担当者名	あらはた はるお 荒畑 治雄

講義の到達目標(ねらい)

貿易取引における輸出とは、内国貨物を外国に向けられた船舶・航空機・鉄道・トラック等に積み込んで送り出すことをいう。そして輸入とは、外国から到着した貨物または輸出許可を受けた貨物を輸入通関手続きを行って国内に引き取ることをいう。企業が商品を輸出または輸入する場合には、税関に申告して、当該税関長の許可を得る必要がある。

本講義において、税関手続きに関する総合的な知識を持ち、通関についての体系的な知識を修得して各自の能力を発揮することで実社会に役立つよう指導する。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 課税物件の確定の時期
2. 納税義務者・税額の確定
3. 修正申告、更正の請求
4. 納付と法定納期限・納期限
5. 輸出入申告の時期
6. 保税地域・保税運送
7. 課税価格
8. 税率の種類
9. 減免税制度(Aグループ・・・加工・修繕のために輸出された貨物の減免、再輸入免税、際輸出免税その他)
10. 減免税制度(Bグループ・・・製造用原料品の減免税、外国で採捕された水産物の減免税・戻し税)
11. 特惠関税
12. 電子情報処理組織による税関手続の特例
13. 外国為替および外国貿易法

準備学習

我が国において、通関に関する各種手続きを迅速に行うため、「電子情報処理組織による関税手続きの特例等に関する法律」が制定され、こうしたシステムによって輸出入通関手続きが実施されている。そこでコンピュータを使用した貿易取引および米国・EU・日本・アジアをはじめとするグローバル・ビジネスに関心を深めておくことが望ましい。

履修上の留意点

本講義を受講するにあたり、日頃から、国際商取引の動きについて各種のメディアを通じて学習するように心がけておくこと。

成績評価の方法

出席状況、授業態度を勘案し、学期末試験(80%)により総合的に判定する。

教科書/テキスト

寺尾 秀雄 『通関士試験—得点源の解説』 一ツ橋書店 2,800円

参考書

授業に使用する参考書は講義日に指示する。

経・経A
商・現

履修コード	100451
科目名	税法Ⅰ
担当者名	奥村 正郎

講義の到達目標(ねらい)

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法Ⅰ（前期）では個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年にシャープ勧告以来の大きな改正があり、平成21年度改正においても課税方式の検討が行われた。今後どのように推移していくのか関心が寄せられている。

1. 租税のあらまし
2. 税法の基本原則
3. 租税の種類と分類
4. 民法の相続制度(1)
5. 民法の相続制度(2)
6. 相続税の納税義務者
7. 相続税の課税財産
8. みなし相続財産
9. 相続税の財産評価(1)
10. 相続税の財産評価(2)
11. 相続税の計算(1)
12. 相続税の計算(2)
13. 贈与税
14. 贈与税と相続時精算課税制度
15. まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他
関連リンク

テキスト、配布プリント等を事前に読んでおく授業の理解に効果的です。
簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。
学期末試験80%、平常点20%、出席状況も勘案して評価する。
仮題『公共経済と租税』速水昇編著（学文社）開講時指示する。
授業を進める中で適宜紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用するので持参すること。
<http://www.nta.go.jp/>

履修コード	100461
科目名	税法Ⅱ
担当者名	奥村 正郎

講義の到達目標(ねらい)

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法Ⅱでは所得控除の改正等、抜本的見直しが予定されている個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

1. 所得の概念
2. 納税義務者
3. 課税所得の範囲等
4. 各種所得の種類
5. 各種所得金額の計算(1)
6. 各種所得金額の計算(2)
7. 各種所得金額の計算(3)
8. 各種所得金額の計算(4)
9. 所得控除及び税額の計算(1)
10. 所得控除及び税額の計算(2)
11. 申告・納付、源泉徴収、その他
12. その他の税法(法人税法)
13. その他の税法(消費税法1)
14. その他の税法(消費税法2)
15. まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他
関連リンク

テキスト、配布プリント等を事前に読んでおく授業の理解に効果的です。
簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。
学期末試験80%、平常点20%、出席状況も勘案して評価する。
仮題『公共経済と租税』速水昇編著（学文社）開講時指示する。
授業を進める中で適時紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用するので持参すること。
<http://www.nta.go.jp/>

履修コード	100511
科目名	会計資格特別演習
担当者名	鈴木 勝浩

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、特に税理士試験の法人税法（公認会計士試験の租税法の一部も含む）について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税法は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。また本講義履修後は、税務会計（法人税法）を受験できるレベルに到達するのぜひ挑戦してほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 法人税のあらまし (2) 総則 (3) 課税所得 (4) 損益の期間帰属 (5) 棚卸資産 (6) 減価償却① (7) 減価償却② (8) 減価償却③ (9) 繰延資産 (10) 給与等① (11) 給与等② (12) 交際費等① (13) 交際費等② (14) 寄附金① (15) 寄附金② (16) 租税公課 (17) 貸倒損失と貸倒引当金① (18) 貸倒損失と貸倒引当金② (19) 圧縮記帳 (20) 受取配当等の益金不算入① (21) 受取配当等の益金不算入② (22) 有価証券 (23) その他の損益 (24) 同族会社と留保金課税① (25) 同族会社と留保金課税② (26) 所得税の控除 (27) 申告と納税 (28) 連結納税 (29) 総合演習① (30) 総合演習②

準備学習

財務会計の基礎理論の知識があれば効果的に学習を進めることができます。できる限り財務会計の基礎理論を理解するようにしてください。

履修上の留意点

本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席率と講義中の演習で評価する。

TAC税理士法人税法研究会編『税理士試験対策 平成22年度版 ポケットテキスト 法人税法』(TAC)

参考書

渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成22年受験用〕』（中央経済社）

渡辺淑夫著『法人税法（平成22年度版）』（中央経済社）

『法人税法 個別問題集〔平成22年度版〕』（TAC 出版）

『法人税法 理論マスター〔平成22年度版〕』（TAC 出版）

染谷英雄著『法人税法を初歩から学ぶ（第11版）』（中央経済社）

金子宏著『租税法（第12版）』（弘文堂）

その他

法人税法はボリュームの多い科目であり、難しいといわれています。しかし法理念と体系さえ把握できれば必ず理解できます。また実務上必ず必要となりますから、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決してください。

経・経A・
商・現

履修コード	100551
科目名	教員試験特別演習
担当者名	谷敷 ^{やしき たかみつ} 正光

講義の到達目標(ねらい) この講義は、教員採用試験を目指している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としています。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接試験、論作文試験、模擬授業・場面指導・ロールプレイング試験、その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、①本講は「今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念・教師像の形成をはじめ、

②教育現場に山積するさまざまな学習指導・生徒指導上の問題を想定し、徹底的に討論し、それらの指導理念や方法を学びます。その指導理念や方法が適切かどうかを確認し、教育現場の対処法を学ぶために先輩教師との対話を行います。

③教員試験対策として教職教養、一般教養、専門教養の学習、面接・論作文演習を行います。

④教師としての資質・力量の形成のため模擬授業の実践、「小・中学校学習支援ボランティア」「小・中学校ティーチングアシスタント」の実践活動を行います。

模擬授業の実践、「学校学習支援ボランティア」「小・中学校ティーチングアシスタント」など実践経験を要するものは「サブゼミ」でも行います。

教職を目指す人ならば学部、学科を問いませんので、ともに勉強し、教員志望の夢を叶えたいと思う。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 教員採用試験の実施状況
2. 教員試験の心構えと学習計画
3. 教師として必要な資質と能力について
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和・人権教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み方について
13. 専門教養の取り組み方について
14. 集団討論の実際(今日的教育課題を中心に実践演習・討論)
15. 個人面接の実際(演習)
16. 集団面接の実際(演習)
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業実践
19. 総合問題演習
20. 先輩教師(小学校、中学校、高等学校、教育委員会の先生)との交流や対話
21. 小・中学校でのティーチング・アシスタントの実践

準備学習

日頃から新聞・教育雑誌・テレビのニュースや教育特集を見て、教育界の動向や最近の教育問題などをつかむこと。

履修上の留意点

- 1 講義、問題演習、各種討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。
- 2 教育現場への認識・理解を深め、教師としての資質・力量の形成を目指して、参加者全員が小学校、中学校でティーチング・アシスタントを実践し、教師としての実際的能力の修得を行います。
- 3 小学校、中学校、養護学校でのボランティアも実施します。ボランティア活動は教員の資質の養成に役立ちます。

成績評価の方法

出席を基本に、授業中実施する小テスト、各種討論、小論文作成などで総合的に評価します。追試験は実施しない。

教科書/テキスト

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

経・経A・
商・現

履修コード	100601
科目名	現代経済事情Ⅰ〔現代の就職事情〕
担当者名	川村 稔

講義の到達目標(ねらい) 現代の企業や自治体で求める人材や活躍する人材とは？をテーマに様々な業界が求める人材像＝人材イメージ（能力、資質、性格、意欲、志向など）について具体的に紹介し、現代企業などの採用戦略についての理解を深めます。

講義の内容／授業スケジュール 様々な業界や業種で働く人材という視点から社会について学びます。就職がゴールではなく、そこで活躍する人材を研究することで、より社会を実践的に学ぶことができます。

- ・人材像を知る意味と必要性について
- ・新卒採用への期待と中途採用の違い
- ・人材要件と人材像とは
- ・営業職、開発職、管理職など職域や階層により必要な人材要件とは
- ・企業が人材像を決める方法
- ・全ての業界で共通する人材像や人材要件とは
- ・社会、経済状況による人材像の変化
- ・様々な業界、業種を知り、活躍する人材像を考え、その理由を検討する

例：

公務員、流通、ホテル、メーカー、マスコミ、IT、食品、金融、薬品、コンサル 他

準備学習 簡潔な課題レポート（A4版 1枚）を出します。そのレポートを元に授業の出席者と意見交換をしながら考えをまとめ、伝える、理解する力も合わせて養成します。

履修上の留意点 課題レポートの提出と意見交換をしてもらいますので、積極的な参加を希望します。

成績評価の方法 毎回の課題レポートと期末レポートの提出で評価します。

教科書／テキスト レジメを配布します。YeStudyを活用しますが、利用できない方は考慮します。

参考書 適宜紹介します。

その他 毎回、社会全般に常に興味を持ってもらうために、ニュースや日常の出来事から気になったテーマを取り上げ、意見などを課題レポートに記入してもらいます。

経・経A・
商・現

積極的に学生と交流し、有意義な時間を作りたいと思います。

駒大OBとしてできるだけ多くのメッセージを伝えたいと思いますので、意欲のある方の出席を希望します。

関連リンク <http://www014.upp.so-net.ne.jp/minoru-4/index.html>

履修コード	100701
科目名	現代経済事情Ⅱ〔子育て市民事業の現状〕
担当者名	いちかわ のぞみ 市川 望美

講義の到達目標(ねらい)

少子高齢化が進む現代社会において、多様化するニーズや社会的課題を解決する手法の一つとして、市民事業の必要性が高まってきています。

従来は、地域や社会における課題は、行政などの公的セクターによって対応が図られてきましたが、社会的課題の増加・多様化を受け、公的セクターだけで解決を図ることは、難しい状況にあります。

また、地域コミュニティへの貢献を目的に、自発性・自立性を持って行われてきたボランティアな市民活動も、そういった社会的背景の中で、継続性を確保しながら安定した事業主体として成長していくことも求められています。

本講義では、多様な事業内容で展開される市民事業を、子育て支援の切り口からひもとき、市民事業が生み出す社会的な価値や意義、新しい働き方、地域及び社会・経済全体の活性化などについて理解を深めていきます。

市民事業は未知の世界かもしれませんが、共感力・想像力・好奇心を最大限に発揮しながら自由な発想で参加してください。

講義だけではなく、多様なゲストティーチャーをお迎えし、生きた実践を通して学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) オリエンテーション、講義への期待

(2～3) 市民事業の歴史、市民事業に期待される役割、市民事業が創出する価値、企業活動との対比、「市民事業」という言葉に対する自由なディスカッションなど

(4～9) 事例を通してみる子育て市民事業の現状

3～4 事例を予定。地域に根差した子育て市民団体 (NPO)、企業代表者、行政担当者等をお招きし、実際の取り組みを紹介いただきます。また、各事例から得たものを簡単なレポートやグループワークを通して振り返り (アウトプット)、自分の考えとして消化していきます。

(10～13) 生活上の身近な課題から大きな社会的課題まで、自分たちの視点からの「子育て市民事業」計画づくり (グループワーク)、レポート

※詳細は、受講生と相談しながら決定する予定です。

準備学習

特にありませんが、普段から身近な話題やニュースなどを通し、現代社会においてどのような課題があり、どのような担い手がどのように課題に取り組んでいるのか、経済活動だけに縛られることなく、幅広くアンテナを立てておいてください。

履修上の留意点

学術的な裏付けによる理解や形式的なレポートではなく、自分の感覚や感性をいかした議論や発表を期待しています。市民である自分との接点をもって講義にのぞんでください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

講義・議論への参加 (40%)、発表・レポート試験 (1回) (60%)

各授業でプリントを配布します。

必要に応じ、講義に合わせて紹介します。

経・経A・
商・現

履修コード	100801
科目名	現代経済事情Ⅲ〔韓・台・中企業の成長と日本産業〕
担当者名	あさみ のぶき 浅海 信行
講義の到達目標(ねらい)	2000年に入って急成長したのが韓国・台湾・中国企業である。日本が得意とする電機や自動車などでも三星電子、現代自動車、エイサーなどアジア企業に追い抜かれるという状況にある。一方、日本経済は特に97年の金融危機、アジア通貨危機、2000年の米国 IT バブル崩壊などで低迷し、産業界も過剰負債、過剰設備、過剰雇用などに直面し投資余力を失ったことなどから、これら東アジア企業との競争で不利になったということがある。三星電子や現代自動車は積極的な設備投資でコストを下げ、台湾企業は日米欧企業のアウトソーシングの受け皿として中国での生産によりコストを下げ、アイアールやレノボなどの中国企業は巨大な国内市場を背景に、競争力を高めた。そこで、本授業では日米欧企業との対比を含め、これら東アジア企業の成長の背景、経営戦略、課題などを理解することを通じ、日本企業はどのようにして競争力を回復すべきかのヒントを学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：アジア企業の世界ランキング、第2回：ハイテク製品の国別世界シェア、第3回：韓国財閥の発展要因、第4回：97年のアジア通貨危機による韓国財閥の破綻、第5～7回：LG 電子、三星電子、現代自動車の急成長要因、第8～10回：台湾の半導体、パソコン産業の成長要因、第11回：台湾のOEM 産業の成功の秘密、第12回：対中投資で競争力を付けた台湾企業、第13～15回：レノボ、ハイアールなど中国企業の急成長と課題。
準備学習	下記で指定した教科書をもとに講義を行うが、300ページあるため、すべてを説明することは困難であるので、事前に授業スケジュールに沿って、読んでおくことで授業の理解が容易であるし、ビジネス界に就職した場合には必ず役に立ちます。
履修上の留意点	本授業では比較的身近な企業名が多く出てくるので、日頃からアジア企業や日米欧企業の動向を日本経済新聞などでフォローしておくことで一層興味が湧くうえ、就活での業種や企業の選択にも有用である。また、授業では下記教科書をもとに講義するので事前に入手しておいてください。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期学期末で試験を行い、評価します。
参考書	1. 著者名：浅海信行、2. 『韓国・台湾・中国企業の成長戦略 ～課題はガバナンスと研究開発～』、3. 勁草書房、4. 本体3,400円＋税、5. ISBN978-4-326-50309-4 授業で必要に応じて紹介します。

経・経A・
商・現

履修コード	100901
科目名	現代経済事情Ⅳ〔ユニバーサルデザイン〕
担当者名	あんどう ちか 安藤 千賀
講義の到達目標(ねらい)	障害者や高齢者を含めた様々な人々が心地よく過ごすことができる社会の実現をめざして、「相手の立場を考える」という基準に基づいて社会のあり方を再考する、このような考え方をユニバーサルデザインと言います。本講義ではユニバーサルデザインの視点＝「相手の立場で考える」を基準に私達の生活に関わりの多い法律や制度などをも含めて社会のあらゆる側面を対象にその問題点を検証します。
講義の内容／授業スケジュール	1～2回：ユニバーサルデザインとは？（その概念と歴史について） 3回～4回：優しくないニッポン社会の代表的事例 5～8回：ユニバーサルデザインに取り組む企業の事例紹介 9回～12回：ユニバーサルデザインに取り組む地域の事例紹介 13回～15回：ユニバーサルデザインの未来（ユニバーサルデザイン社会を築く為に） ※講義の順序や内容などは変更の可能性があります。
準備学習	特別にはありません。できるだけ新聞、テレビ、雑誌、ネットなどでUDに関する記事などを見つけて読んでおいて下さい。できれば参考書として挙げている文献を読んでおくことで授業の内容が良く理解できるでしょう。
履修上の留意点	特にありません。
成績評価の方法	出席、小レポート、学期末レポート試験で総合的に評価します。
教科書／テキスト	講義に必要な資料は授業中に配布します。
参考書	『UD革命 思いやりの復権』 ばばこういち / 安藤千賀 2008年 リベルタ出版 その他必要に応じて参考文献を紹介いたします。
その他	毎回ではないが講義にDVD上映、パワーポイントを使用したい。

履修コード	101001
科目名	現代産業事情Ⅰ
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい) 全日空グループの ANA 総研主席研究員、山路頼氏を中心として講義は進められる。航空や観光、ツーリズムは、さまざまな形で文化交流を通して経済の活性化も促してゆく平和産業の核となるものである。いかに IT 技術が進んでも、人が移動し、異文化との交流を肌で感じる欲求は絶えることがないだろう。人が移動することは、大きな経済のメカニズムに不可欠な生命線である。航空や観光の最前線を学ぶ中で、国と国との間で、また、社会の中で、さまざまな形で人の動きを阻害している規制や制度に目を向け、これからの航空産業、観光産業のあるべき姿について考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1回 ガイダンス；講義の進め方、成績評価方法等について
- 2回 航空の始まり；航空大国だった日本、国家戦略としての航空、航空禁止令から再開
- 3回 国際民間航空の枠組み；航空産業の特徴、シカゴ・バミューダ体制、5つの自由
- 4回 規制緩和の流れ&ディスカッション；米国オープンスカイが生み出したもの、日本の航空産業の規制の下での発展と規制緩和
- 5回 観光の歴史；富国強兵策と観光政策、Welcome Society
- 6回 観光立国；観光の経済効果、VJC、観光立国基本法が目指すもの
- 7回 「若者の旅離れ」&ディスカッション；なぜフランスに人は行く？なぜ日本には人が来ない？若者は旅離れているのか？
- 8回 発展する航空（その1）；グローバル・アライアンス誕生の背景、アライアンスによる増収戦略
- 9回 発展する航空（その2）；EU 単一航空市場、中国、アセアンの航空事情
- 10回 環境と航空、観光；食糧＝資源＝観光、CSR と環境、航空会社の環境への取り組み
- 11回 観光とホスピタリティ；ホスピタリティとは？大黒屋旅館の取り組み
- 12回 エアラインとホスピタリティ；顧客満足（CS）経営、従業員満足（ES）経営、
- 13回 ディスカッション；サービスとホスピタリティの違い、違いから見えるものは？
- 14回 日中韓、北東アジア共通航空・観光市場に向けて
- 15回 全体講義のまとめ& ディスカッション

(*) 各分野の専門家の講話も2回程度予定する。
上記予定との関連も含め、講義の順序を事前通知の上変更することがある。

履修上の留意点 一方通行では無く、双方向で、議論や考え方を交換しながら授業をすすめたいため、講義内容について自分なりの考えを持つことが大切。日頃から、航空や、観光について幅広い関心を持ち授業に臨む。

成績評価の方法 平常の出席状況、授業への参加姿勢、ディスカッション等での発表姿勢に期末テスト（ウエイト65%）を総合して評価。

教科書/テキスト

参 考 書

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 航空産業入門（ANA総合研究所編著） | 東洋経済新報社 |
| 航空の経済学（村上英樹他） | ミネルバ書房 |
| 航空の規制緩和（戸崎肇） | 勁草書房 |
| ていくおふ（ANA） | ANA総合研究所 |
| - N o 8 3 | オープンスカイVSアジア航空会社 |
| - N o 1 1 6 | 成長するアセアン |
| 観光学基礎（羽田耕治） | ジェイティービー能力開発 |
| 観光概論（今井成男、捧富雄） | ジェイティービー能力開発 |
| 「観光立国」と地域観光政策（鈴木茂、奥村武久編） | 晃洋書房 |
- 参考になるWWWページ

そ の 他

- | | |
|----------|--|
| 国土交通省 | www.mlit.go.jp |
| 定期航空協会 | www.teikokyo.gr.jp |
| 国際民間航空機関 | www.icao.org |
| 国際航空運送協会 | www.iata.org |
| エアバス | www.airbus.com |
| ボーイング | www.boeing.com |

経・経A・
商・現

履修コード	101201
科目名	現代産業事情Ⅲ
担当者名	江夏 ^{えなつ} あかね

講義の到達目標(ねらい)

本講座は、「現代の資本主義と証券市場」をテーマとして、外資系金融機関の現役アナリストによって講義が行われる。証券市場に関する基礎から出発するため、証券業務に初めて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、講義においては、主にクレジット市場で注目されているニュース等を題材としたケース・スタディーなどを通じて、実践に即した機会を設ける。証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容／
授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 金融・経済関連情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターンの概念
- 第4回 証券市場の概要と市場参加者
- 第5回 債券市場の役割と債券の基礎知識
- 第6回 債券市場のインフラおよび格付けの基礎
- 第7回 社債等民間セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎（1）
- 第8回 社債等民間セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎（2）
- 第9回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎（地方債－1）
- 第10回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎（地方債－2）
- 第11回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎（財投機関債－1）
- 第12回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎（財投機関債－2）
- 第13回 海外クレジット市場の概要および最近の動き
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価する。

教科書／テキスト

毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

参 考 書

江夏あかね『地方債の格付けとクレジット』商事法務、¥4,725、978-4785716172。

代田純『日本の国債・地方債と公的金融』税務経理協会、¥2,100、978-4419048792。

そ の 他

金融機関の現役社員による講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

経・経A・
商・現

履修コード	099311
科目名	ビジネス・インターンシップ a
担当者名	小栗 ^{おぐり} 崇資 ^{たかし} ・姉齒 ^{あねは} 暁 ^{あき}

講義の到達目標(ねらい)

「ビジネス・インターンシップ a」は、皆さんが企業や団体での現場研修を受けるために必要な社会的常識や作法・知識を身につけるための科目です。

また現場研修に関わる「ビジネス・インターンシップ b」を受講するためには、この科目の単位の修得が条件になりますので、真剣に受講することが求められます。

講義の内容／
授業スケジュール

「ビジネス・インターンシップ a」では、教室での授業を通じて、企業に入ってから現場研修で最低限必要な社会人としての素養や基礎知識を修得するために必要な準備トレーニングを行います。経営者・団体役員・専門家を招聘し、次のような点を目標にして授業を進めます。

- ・ 講義ガイダンス (1)
- ・ インターンシップの目標とプログラムについての理解 (2～3)
- ・ 仕事のルールとビジネスマナーの修得 (4～8)
- ・ 自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定 (9～10)
- ・ インターンシップ先についての研究 (11～12)
- ・ インターンシップ先の確定と研修計画の相談 (13～15)

履修上の留意点

(1) この科目は a (前期) と b (後期) に分かれています。登録時は必ず ab 2 つセットで登録してください。a のみ、あるいは b のみの登録および履修は認めません。

(2) 単位認定は、a、b それぞれに 2 単位を認めますが、a (前期) の 2 単位を修得できなかった場合は、b (後期) の履修と単位は認められません。

(3) ビジネス・インターンシップ a (前期) を登録・履修できる商学科・現代応用経済学科の学生は、演習Ⅱに所属している 3 年生だけです。

(4) 受講希望者は、最初の授業に必ず出席してください。

成績評価の方法

出席点と授業中の課題とレポートおよび受講態度で総合的に評価します。授業に対する取り組み方自体も、インターンシップに対する心構えの一環となりますので、安易な考えで受講しないようにしてください。

教科書／テキスト

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

社会に出るとメモの取り方も重要なポイントになりますので、5 W 1 H の観点からメモを取る方法を身につけるように努力してください。

経A・
商・現

履修コード	099321
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	小栗 ^{おぐり} 崇資 ^{たかし} ・姉齒 ^{あねは} 暁 ^{あき}

講義の到達目標(ねらい)

「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体など多様な体験のできる場を予定しています。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。原則として、8月上旬から9月上旬に約2週間の研修を行います。

(2) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。また「インターンシップ報告書」の刊行も予定しています。

履修上の留意点

次の点を必ず確認して履修してください。

1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ b は多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。

2. ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。

3. 研修の際の経費 (交通費や被服費等) は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。

4. ビジネス・インターンシップ b を受講できる学生は、演習Ⅱに所属している 3 年生に限定されます。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価なども参考にして判断します。

履修コード	100951
科目名	ビジネス・インターンシップ a
担当者名	みぞて よしかず みつおか ほくみ 溝手 芳計・光岡 博美

講義の到達目標(ねらい)

「ビジネス・インターンシップ a」は、皆さんが企業や団体で現場の実習を受けるために必要な社会的常識や作法・知識を身につけるための科目です。

講義の内容/
授業スケジュール

実習科目である「ビジネス・インターンシップ b」を受講するには、この科目の単位を修得することが条件となります。事故なく、実りある実習にするため、真剣に受講することが求められます。「ビジネス・インターンシップ a」では、教室での授業を通じて、企業等の現場における実習で最低限必要な、社会人としての素養や基礎知識を習得するための準備トレーニングを行います。ビジネス研修の専門家・団体役員等を招聘し、次のような点を目標にして授業を進めます。

- ・講義ガイダンス (1)
- ・インターンシップの目標とプログラムについて (2~3)
- ・仕事のルールとビジネスマナー (4~6)
- ・自己分析トレーニングと各自の目標・計画 (7~8)
- ・インターンシップ先の確定作業とその研究 (9~12)
(各ゼミで、ゼミ担当教員の指導のもとに進める)
- ・実習先企業・団体に関する資料作成 (13~14)
- ・インターンシップ実習先の確定と研修計画の相談 (15)
(各ゼミで、ゼミ担当教員の指導のもとに進める)

*授業計画が事情により多少変わる場合があります。

準備学習
履修上の留意点

授業中の指示に従ってください。

①この科目は、経済学科の3年次生のみを対象として開講されている専門・選択科目です。実習科目である「ビジネス・インターンシップ b」(後期)を履修するためには、この「ビジネス・インターンシップ a」(前期)を履修し、単位を修得することが必要となります。受講希望者は、第1回目の講義時間に必ず出席してください。

②「ビジネス・インターンシップ b」(実習科目、後期)は、演習 II の担当者がこの科目を開講しているゼミの学生のみ履修が可能です。履修登録前に、開講されているかどうかを必ず確認してください。

③履修登録のさいには、必ず「a」「b」の2科目をセットで登録してください。

④現場実習の事前学習として、出席、時間厳守等を社会人マナーを重視します。

成績評価の方法

出席点と授業中の課題とレポートおよび受講態度で総合的に評価します。授業に対する取り組み方自体も、インターンシップに対する心構えの一環となりますので、安易な考えで受講しないようにしてください。

教科書/テキスト

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

社会に出ると、メモの取り方も重要なポイントとなりますので、5W1Hを絶えず考えてメモをとるという方法を身につけるよう努力してください。

経・経A・
商・現

履修コード	105301
科目名	演習 II
担当者名	みぞて よしかず 溝手 芳計

講義の到達目標(ねらい)

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス(農業・食料関連産業)の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思っています。演習 II では、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容/
授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。今年はディベートにチャレンジしましょう。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは3年次生だけで学習しますが、このほか演習 I (2年次生)等と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

成績評価の方法

ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書/テキスト

ゼミ生と相談の上、1年間のテーマを決め、これに沿ってテキストを選定します。

その他

演習 III で「卒業研究」を併設します。

履修コード	105311
科目名	演習Ⅱ
担当者名	なち けんたろう 館 健太郎

講義の到達目標(ねらい)

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざす。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとてつもない。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっている。

講義の内容／
授業スケジュール

本演習では主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱う。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考える。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になるが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきだろうか。政府は何か政策を打ち出すべきだろうか。ゲーム理論という共通の土台の上で立って議論できるようになることを目指す。

履修上の留意点

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使ってゲーム理論そのものの学習を中心にすすめる。その後、ゲーム理論の学習と並行してグループや個人で実際の産業や行政について調べ、そこからゲームを作って分析するなどより実践的な研究へと展開する。

成績評価の方法

自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視する。

教科書／テキスト

出席回数・発表などの平常点と授業内試験で評価する。

参 考 書

渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』、ナツメ社、1470円、ISBN4-8163-3745-8

そ の 他

とくになし。

卒業研究として仕上げることを目指す。

経・経A・
商・現

履修コード	105321
科目名	演習Ⅱ
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義の到達目標(ねらい)

現代は極めて変化のスピードが早い時代です。こうした傾向は企業経営の世界にも当てはまりません。企業は経営環境の著しい変化の中で日々の業務に携わりながらも、自らが拠って立つ基盤を模索しています。これは企業自身も自らと社会との関係をどのように構築していけばよいのかという課題に直面しているといえるでしょう。こうした理解に立ち、本演習では企業経営の現代的課題について取り上げながら、企業活動の体系的理解を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール

本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業論文作成の準備に取り掛かれるように、企業の意義、役割ならびにその特質に関わる体系的な理解を目指します。

履修上の留意点

- 第1回 前期オリエンテーション
- 第2回～第11回 研究課題に関する資料輪読とサブゼミのレジュメ作成
- 第13回～第15回 夏合宿で扱う研究課題に関する資料輪読と討論
- 第16回 後期オリエンテーション
- 第17回～第26回 研究課題に関する資料輪読とサブゼミのレジュメ作成
- 第27回 小括：資料輪読による知見をまとめた研究報告
- 第28回 他大学ゼミとの研究交流会（1）
- 第29回 他大学ゼミとの研究交流会（2）
- 第30回 まとめ

成績評価の方法

専門演習とは、一つの学問領域に絞りながら、この領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。

教科書／テキスト

ゼミへの出席は最低要件です。したがって各自の発表を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。

参 考 書

適宜指示します。

そ の 他

経営学辞典あるいは経営学用語集。

卒業研究有り

履修コード	105331
科目名	演習Ⅱ
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子

講義の到達目標(ねらい)	演習Ⅰと同じです。 演習Ⅰで研究したことを基礎に、更に発展した調査および研究を行います。また、非営利組織(NPO)・社会的企業の役割や社会問題に関する討論を行うことで、最後まで考え抜く力を養います。
講義の内容／ 授業スケジュール	演習Ⅰと同様に、文献の輪読・討論を行い、非営利組織・行政・企業への訪問ヒアリング調査を実施します。年度末には、卒業研究の基礎となる報告書をまとめます。 1年の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。
履修上の留意点	①積極的な姿勢で授業にのぞんでください。無断欠席・無断遅刻厳禁！ ②物事を積極的に調べてください。 ③NPO・企業・行政訪問、合宿等を積極的に企画し、参加しましょう。
成績評価の方法	出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に判断します。
教科書／テキスト	ゼミ生と相談の上、決定します。
参考書	参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。
その他	4年次(演習Ⅲ)に卒業研究を併設します。 非営利組織論a・bを履修することがのがぞましいです。

履修コード	105341
科目名	演習Ⅱ
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二

講義の到達目標(ねらい)	現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために3年次には、企業組織論と「法と経済学」の基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。
講義の内容／ 授業スケジュール	経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心を持ち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。 前期には、企業組織論や「法と経済学」のいずれかのテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期にはワーキング・グループによる研究発表を行うとともに個人の研究テーマを決定し、個人研究のための指導を行う。4年次は卒論指導を行う。
履修上の留意点	ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。
成績評価の方法	ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的評価を行う。
教科書／テキスト	開講時にゼミ生と相談の上、決定する。
その他	演習Ⅲ履修時には、「卒業研究」(卒業論文)を併設する。

経・経A・
商・現

履修コード	105361
科目名	演習Ⅱ
担当者名	ばんば ひろゆき 番場 博之

講義の到達目標(ねらい)	番場ゼミ(演習Ⅱ)の目的は、専門分野の研究を通して問題の発見からその解決へと向かう問題解決能力を育成することにあります。専門分野の研究は、流通政策・マーケティング・流通経済学などを中心に行います。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1~15)「ビジネスモデル」あるいは「課題研究」の研究報告書作成 (16~22)テキストを利用した学習(グループ単位) (23~30)テキストを利用した学習(個人単位)
履修上の留意点	詳細なシラバスは開講時に配布します。様々な活動を自主的かつ積極的に経験してみたい人のみ履修してください。
成績評価の方法	日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。レポートや試験は行わない。
教科書／テキスト	必要に応じて相談して決める。
その他	このゼミの運営モデルは2年生から卒業までの3年間でつくられています。3年次からの入ゼミは基本的には想定していませんが、欠員が生じた等の場合には追加募集をすることもあります。詳しくは、問い合わせてください。

履修コード	105401
科目名	演習Ⅱ
担当者名	もりた よしひろ 森田 佳宏

講義の到達目標(ねらい)	財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきている。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。
講義の内容／授業スケジュール	まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。なお、夏合宿では日商簿記検定試験2級程度の学習を行う。
履修上の留意点	特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。
成績評価の方法	いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告(レジュメを含む)・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	最初の演習時に指示する。 演習時に適宜紹介する。 演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

履修コード	105501
科目名	演習Ⅱ
担当者名	すずき のぶ 鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい)	公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どういふ問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。
講義の内容／授業スケジュール	三年生のゼミでは、公共経済学のテキストを輪読します。毎回、報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。 必要に応じて、コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。
履修上の留意点	ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。
成績評価の方法	出席状況・予習状況・討論への参加度により評価します。
教科書／テキスト	受講者と相談して決定します。

経A・
商現

履修コード	105601
科目名	演習Ⅱ
担当者名	なかずみ みつあき 中 濟 光 昭

講義の到達目標(ねらい)	演習Ⅰの内容を前提に、具体的なテーマを設定して研究します。 インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。
講義の内容／授業スケジュール	履修者のパソコンスキルによっては、ICTリテラシー、レジュメ作成、レポート作成、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。
履修上の留意点	・演習Ⅱでは、就職のための準備など、様々な活動が要求されます。もちろん、合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。 ・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。インターネットに接続できるノートパソコンが必要です。
成績評価の方法	出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	別途指示 別途指示 ・積極性のある学生の参加を希望します。 ・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。 ・編入学および転部・転科の学生を主な対象として4月に追加募集を行います。希望者は初回の演習に必ず出席すること。 ・演習Ⅲでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。
関 連 リ ン ク	http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakasumi/

経・経A・
商・現

履修コード	105701
科目名	演習Ⅱ
担当者名	しろた じゆん 代 田 純

講義の到達目標(ねらい)	代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。証券アナリスト、証券外務員の受験指導も実施します。
講義の内容／授業スケジュール	4～7月においては、日本の株式市場について、テキストを使用し、学習する。夏合宿を経て、9～12月には証券外務員資格の学習指導も行う。3回生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。
履修上の留意点	金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。
成績評価の方法	まず出席が基本です(80点)。さらにゼミでの発表、質問など発言(20点)によって日常点で評価します。
教科書／テキスト	代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済) 定価2800円＋税 ISBN4-492-71155-4
参 考 書 そ の 他	適宜紹介します。 夏にインターンシップを予定する。希望者はインターン関係の科目を履修すること。

履修コード	105801
科目名	演習Ⅱ
担当者名	<small>いわなみ みよたか</small> 岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい) 21世紀を迎えて以降も経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、コーポレート・ガバナンスとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。

講義の内容／授業スケジュール 現代企業におけるコーポレート・パワーに関する文献の輪読形式により報告者・グループによる報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

1. ゼミナールの概要とガイダンス (1)
2. 企業と社会をめぐる論点 (2~7)
3. 企業と市場 (8~12)
4. 企業と社会 (13~17)
5. 企業の社会的責任 (CSR) の現状 (18~23)
6. 企業の社会的責任 (CSR) の課題 (24~30)

履修上の留意点 ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法 ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書／テキスト 開講時に指定します。

参考書 開講時に指定します。

その他 演習Ⅲ履修時には「卒業研究」(4単位)を併設します。

経・経A・
商・現

履修コード	105901
科目名	演習Ⅱ
担当者名	<small>いしかわ ゆうじ</small> 石川 祐二

講義の到達目標(ねらい) 企業においては、会計情報が様々な目的をもって利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

また、テキストの枠に縛られることなく、様々な書籍・データを用いてレジュメを作成し、発表するスキルを養うことも目標である。

講義の内容／授業スケジュール 演習Ⅱでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることにする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけだし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。

履修上の留意点 積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法 特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書／テキスト 特になし。

参考書 必要に応じて紹介する。

その他 合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

履修コード	106001
科目名	演習Ⅱ
担当者名	浅野 克巳 <small>あきの かつみ</small>

講義の到達目標(ねらい)	基礎的な経済学をしっかり勉強した上で現代経済社会の抱えるさまざまな問題に実際に応用し経済学の理解を確実なものとしよう
講義の内容／授業スケジュール	1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム 4. 日本企業とコーポレートガバナンス
履修上の留意点	演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションにも挑戦
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。 内閣府『経済財政白書』その他 その他の資料については授業の中で指示する。

履修コード	106101
科目名	演習Ⅱ
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)	テーマ：日本経済論 - 2
講義の内容／授業スケジュール	日本経済の構造分析 年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。 「卒業研究」(4年次)を併設します。 ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載します。
履修上の留意点	「演習」ですから出席することは基本です。 4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。 合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。
成績評価の方法	総合的に評価します。「定期試験」はありません。

経・経A・
商・現

履修コード	106201
科目名	演習Ⅱ
担当者名	大石 雄爾 <small>おおいし ゆうじ</small>

講義の到達目標(ねらい)	2年次の演習Ⅰでは現実の経済問題について幅広く学びました。演習Ⅱではそれをふまえて、市場経済の進歩的な側面とそれが抱える問題点を検討し、資本主義経済の本質について理解を深めていきます。 また、グローバル化の過程で生じている国際的な経済問題を見る目を養えるような、そんな学習にも取り組みます。
講義の内容／授業スケジュール	いまや世界中が市場経済に組み込まれています。これは、資本主義の商品経済の仕組みが、地球的な規模で成立したことを意味しています。そのため、現代社会の動きを真に理解するには、市場経済の仕組みおよび運動法則を理解することがますます重要になってきます。 この演習Ⅱでは、マルクスが『資本論』で明らかにした資本主義の経済法則を学び、前年に学んだ日本経済・地球環境問題への理解を深めつつ、現代資本主義の本質に迫ります。
準備学習	経済理論Aないし経済原論の講義を受講するか、その教科書を読むことが最適の準備学習となります。
履修上の留意点	少人数形式の演習では、欠席をしないこと、遅刻をしないことが各人に求められます。参加者には、その点を自覚した上で、積極的にゼミの活動に取り組むことを期待します。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参考書	平常点により評価します。 大石雄爾『商品の価値と価格』(創風社) 3,600円 マルクス『資本論』(新日本新書) 西川潤『世界経済入門 (第3版)』(岩波新書)
その他	①4年次の演習Ⅲに「卒業研究」を併設します。 ②選択科目「ビジネス・インターンシップ」を履修することができます。 ③コース制との関連：コースの履修は自由です。

履修コード	106301
科目名	演習Ⅱ
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(わらい)

テーマ〔戦後日本経済の発展と日本型経済システム〕

3年演習は、戦後の日本経済の発展過程を中心に学びます。戦後の日本経済は、1950年代半ばから驚異的な経済成長を遂げ、国民総生産で資本主義第2位にまで成長し、「経済大国」「貿易大国」と称されたが、「バブル経済」崩壊後は「バックスジャボニカ」も露と消えた。戦後60年間に形成された「日本経済システム」の形成と「制度的疲労」による破綻の要因を基本文献や「学術論文」(学会雑誌)を教材に解明します。また、4年演習は経済の発展過程を経済・人材・学校の側面から明らかにします。

講義の内容／
授業スケジュール

〔前期〕 戦後の日本経済を中心に、1950年代前半経済復興期、1955年以降の高度成長第1期、第Ⅱ期、第Ⅲ期、第Ⅳ期キャッチアップ完成から経済構造転換期、安定成長期、バブル経済期に至る各段階の発展要因とその構造的特質を捉え、「日本経済システム」はどのように構築されたかを解明します。

〔後期〕 「制度的疲労」によって戦後の日本経済を支えてきた日本経済システムは破綻した。日本経済システム破綻の要因を基本文献や「学術論文」(学会雑誌)等を教材に考察します。

口頃より新聞や経済の雑誌を読み、日本経済に関心を持つこと。

後期は就職を控えて「就職セミナー」に参加する機会も多くなるが、差し支えない日は必ず授業に出席して下さい。

準備学習
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席を基本にレポートや発表などで総合評価します。

演習の時間に適宜紹介します。

学術論文を多く使用しますが、学術論文はプリントして配布します。

参考書
その他

演習の時間に適宜紹介します。

4年ゼミ(演習Ⅲ)では、「卒業研究」(4単位)を併設していますので、併せて履修が可能です。

3年ゼミ(演習Ⅱ)では、「インターンシップb」(2単位)を併設していますので、併せて履修が可能です。

インターンシップは「インターンシップa」(2単位)の履修が必要です。希望する人は併せて履修することができます。

2年次で「教育経済論」の講義(4単位)を履修していない人は3年次での履修をのぞみます。

経・経A・
商・現

履修コード	106401
科目名	演習Ⅱ
担当者名	有井 行夫

講義の到達目標(わらい)

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバルゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』

夏合宿 競争主義対平等主義

後期 有井のプリント、新聞の読み方(ファイルの作成)、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法
教科書／テキスト

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%。

川人博『過労死社会と日本』(岩波新書)、野村正実『雇用不安』(岩波新書)

履修コード	106501
科目名	演習Ⅱ
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい) 現代の格差社会と貧困及び、社会保障について学習します。

講義の内容／
授業スケジュール
成績評価の方法
その他の 平常点によりますが、昨年同様に読書感想文の提出を求めます。あとは諸君の勉強次第です。
(卒業研究の有無)
義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

履修コード	106601
科目名	演習Ⅱ
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義の到達目標(ねらい) 現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU 諸国の第二次大戦後の経済発展と EU 統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求している EU の動向と、我が国の「改革」路線との比較検討をします。
また3年次後半からは就職活動が日程に上ってきますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
その他の 専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。
演習Ⅰを参照のこと。
演習Ⅰを参照のこと。
演習Ⅰを参照のこと。
演習Ⅰを参照のこと。

履修コード	106701
科目名	演習Ⅱ
担当者名	きたぐち りえ 北口 りえ

講義の到達目標(ねらい) 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習は、法人税における課税所得が企業利益をベースとしてどのように算出されるのか、その課税所得の計算構造に関する理解を深めることを目的とします。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他 演習Ⅰ・Ⅱでは、企業会計を基礎として課税所得および税額を計算し、申告・納税するという企業会計と税務の一連の手続きについて、なぜそのような処理を行うのかという理論的部分を重視しながら学んでいきます。
演習Ⅱでは、演習Ⅰで得た企業会計についての基礎的知識を前提として、法人税の特質、課税所得の計算構造などについて学び、税務会計への理解を深めていきます。
法人税法における課税所得は、公平な課税を実現させるために、企業利益に「別段の定め」による調整を加えて算出されます。したがって、企業利益と課税所得を比較しながら、益金の額・損金の額についての学習を進めます。
基本的には、テキストの1つのテーマに対してレジュメを作成し報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫してもらいたいと思います。
ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事(宿舎、ゼミナール連合会での研究発表会、証券取引所見学や裁判所見学など)にも積極的に参加してください。
出席率、報告内容、ゼミやゼミの運営への参加度、レポート等の総合評価により行います。
理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。
柳裕治『税務会計論』(創成社)
その他、適宜プリントを配布します。
井上久彌・平野嘉秋『法人税の計算と理論』
伊藤邦雄『ゼミナール現代会計入門』(日本経済新聞出版社)
日商簿記2級取得のためのサブゼミを開きます(希望者のみ)。

経・経A・
商・現

履修コード	106901
科目名	演習Ⅱ
担当者名	<small>もりおか じん</small> 森岡 仁

講義の到達目標(ねらい)	人口が増加する状況で発展してきた日本の経済が、人口減少によってどのような影響を受けるのかを知ることが重要です。人口減少が日本経済に与える影響を研究するのがこの演習の目的です。
講義の内容／ 授業スケジュール	人口減少が経済に与える影響を考える場合、そこには幾つかの経済的諸要因が存在します。例えば、労働力、生産性、技術進歩、消費、貯蓄、投資などです。人口増加がこれら経済的諸要因との間に維持していた良循環が、人口減少状態においてどのように変化するのが問われています。
履修上の留意点	休まず遅れず必ず出席すること。
成績評価の方法	出席率と平常点。
教科書／テキスト	未定。
参 考 書	特に指定せず。
そ の 他	卒業研究有。

履修コード	107001
科目名	演習Ⅱ
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義の到達目標(ねらい)	「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。
講義の内容／ 授業スケジュール	アメリカの大学の演習方式を大胆に採用しながらも、独自の方式で演習をすすめています。思考に強くなるための方法（弁証法の学習）、デジタル時代の学習と研究の方法（インターネット活用法の学習）、学ぶ者の社会的責任の体得などがそれです。 とくに最近数年間は、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中でおこっている経済事象を読み解く実力がやしなわれるからです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語れるようなゼミ生が確実にそだっています。 あわせて、後輩のゼミ生の世話をすること、日本学生経済ゼミナールの東京大会・全国大会への参加、インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩な企画を実行しています。
履修上の留意点	4年次生で卒業論文を作成します。
成績評価の方法	ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。
教科書／テキスト	随時、有益な文献を紹介します。 アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。
そ の 他	ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。当ゼミのOB・OGも、しばしば3年生や4年生のゼミに顔をだし、社会や会社の現場の話をしてくれます。 このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka

経・経A・
商・現

履修コード	107101
科目名	演習Ⅱ
担当者名	工藤 芽衣 <small>くどう めい</small>

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール

E U加盟国の政治経済制度の比較を通じて、現代ヨーロッパにおける諸問題を勉強する
現代ヨーロッパの政治経済の中心とえば、欧州連合（E U）である。欧州統合は、加盟国の政治経済的主権を、超国家的機関に委譲することで欧州を統一し、欧州経済の繁栄と平和をもたらすという理想のもと出発し、経済分野を中心に、共通政策を敷いてきた。しかし、E E C設立後、50年以上経った現在においてさえ、各国の政治・経済・社会制度、文化・言語などには多様性が残る。この授業では、E U加盟国の特定諸国を取り上げて、各国の政治経済的な違いと共通点を探る。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。

準備学習

配布する資料、レジュメに目を通し、わからない言葉や、質問を準備しておく。また、日頃から、新聞、インターネット、学術文献に目を通して、ヨーロッパの歴史・現状・政策…等に関心をもつように心がける。

履修上の留意点
成績評価の方法

この授業では毎回、発表担当者だけでなく、出席者全員の積極的発言を求めます。
出席、授業への貢献度（発表、発言）、で総合的に評価します。 やむを得ない事情による欠席は事前・事後に必ず連絡をすること。 発表・分担の無断での放棄は評価に対する致命的打撃になります。

教科書／テキスト
その他

相談の上決める。
「卒業研究」有。

履修コード	107201
科目名	演習Ⅱ
担当者名	光岡 博美 <small>みつおか ひくみ</small>

講義の到達目標(ねらい)

日本の福祉・社会保障、その制度や現状、日本経済との関連について、やや専門的な学習をする。
この演習Ⅱでの勉強をもとに、演習Ⅲではゼミ論文の作成に取り組んでもらいたい。

講義の内容／
授業スケジュール

テキストに従って、各自の分担を決め、レポーターの報告に従って討議を行う。また、後半は各自の研究を発表してもらう。

履修上の留意点

夏と春は2泊3日の合宿を行う。但し、合宿への参加は強制しない。
前期はテキストを論読していくが、後期は各自の研究を発表してもらうので、前期のうちから準備しておくこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

出席状況、レポート報告、研究発表等、総合的に判断する。
参加者の意見や希望も考慮して決める。
テキストに従って、また必要に応じて紹介する。

経・経A・
商・現

履修コード	107301
科目名	演習Ⅱ
担当者名	吉田 真広 <small>よしだ まさひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

国際金融現象の基礎にある原理や制度を学ぶと共に、日本経済に与える国際金融の実体について学ぶことが目的です。基本的には演習Ⅰで学んだことを基礎にして、金融、国際経済、国際金融について、さらに理解を深めることを目的としています。
また、単に国際金融を専門として勉強するのではなく、それを通じて、社会を見る目、物事の考え方について学ぶことを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール

国内及び国際的信用制度、日本と海外の証券市場、円ドル相場などに関する基礎的な理解を深めていきます。同時に、日本経済を巡る金融及び国際金融環境の変化、ヨーロッパ共通通貨ユーロ、人民元や円の国際化、銀行業及び金融業の国内及び対外的展開、日本とアジアの金融システム、通貨危機、金融危機などを含む様々な金融・国際金融現象を学んでいきます。最近の国際的金融不安についても、アメリカの金融システム、国際通貨論の視点から、その原因と構造を検討していきます。

成績評価の方法
教科書／テキスト

前期はテキストを利用しつつ、毎回報告者によるレポートと討論を行います。後期は卒業論文の報告を前提に、各人がテーマをもって報告を行っていく予定です。
授業での報告内容と発言の積極性・内容、提出物など、総合的に判断します。
現在、山田博文『これならわかるグローバル時代の日本経済入門 金融経済 第2版』大月書店、2005年12月、を予定していますが、良いテキストが出版されたならば、変更もあり得ます。また、第1回目のゼミで、ゼミ生の希望を聞いてから、テキストを変更することもあります。

参考書
その他

必要に応じて、その都度示していきます。
ゼミ合宿または研修旅行を予定しています。

履修コード	107401
科目名	演習Ⅱ
担当者名	徳永 俊明

講義の到達目標(ねらい)

発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とその中での人びとの生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたたかいかいについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさ”と“貧困”を考えます。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
参考書
その他

上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

何よりもく考える＞努力を求めます。
く考える＞努力をしたかどうかをもって評価します。
考え、討論するための資料を使ってすすめます。
演習Ⅲに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	107501
科目名	演習Ⅱ
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい)

演習のテーマは「ビジネス・経済・社会についての実証的アプローチ」である。ビジネス・経済・社会などの様々な問題について自分の力で考え行動できるように実証分析のやり方を学ぶ。それには統計学や経済学・データ分析などの知識が必要である。さらに自分の意見をしっかりと人に伝える文章表現やプレゼンテーション能力、自分の意見を裏付ける統計手法を身につけることを目指す。演習Ⅰの内容を踏まえて、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく(ただし、学生ごとに理解度にばらつきがあると思われるために、演習内容はそれにに応じて柔軟に対応する)。

講義の内容／
授業スケジュール
準備学習
履修上の留意点

教科書・参考書・資料等を予習しておくこと。

「統計原論」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「応用マクロ経済学」等の関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のために駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書は開講時に協議する。

教科書だけにこだわらず、統計学・経済学・マーケティング等関連分野の書籍・雑誌・論文等から適宜選択する。

経A・
商現

履修コード	107601
科目名	演習Ⅱ
担当者名	勝田 佳裕

講義の到達目標(ねらい)

「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容／
授業スケジュール

金融ビッグバン、小泉構造改革を経て戦後日本の金融制度改革は総仕上げの局面にあります。金融コングロマリットを志向する大手金融機関と地域密着を掲げる地域・中小企業金融機関の経営手法の相違もいっそう明らかになってきました。

履修上の留意点

演習Ⅱでは、サブプライム金融危機などの具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融システムのあり方を「持続的発展」という視点から考えます。

成績評価の方法
教科書／テキスト
その他

日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』(大月書店)

『卒業研究』を併設します。

履修コード	107701
科目名	演習Ⅱ
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい)	この演習は日本経済の構造転換問題をグローバル化との関わりで共同研究し、併せて企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。
講義の内容／授業スケジュール	講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。
履修上の留意点	受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。
教科書／テキスト 参 考 書	共同研究のテキストは、最初のゼミの時間に指定します。 適宜、指示します。

履修コード	107801
科目名	演習Ⅱ
担当者名	荒木 勝啓

講義の到達目標(ねらい)	経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。
講義の内容／授業スケジュール	演習Ⅱからはエクセル上でVBAプログラミングを行う。同時にEXtendによりC言語の基礎を習得する。
成績評価の方法	出席点100。
教科書／テキスト	指定なし。ただし必要な場合指示する。

経・経A・
商・現

履修コード	107901
科目名	演習Ⅱ
担当者名	曾我 信孝

講義の到達目標(ねらい)	マーケティングの問題点を把握し、それを解決する方法を身に付けさせることをねらいとしている。
講義の内容／授業スケジュール	1～5回 問題発見の方法と論文の書き方についての指導 6～15回 ゼミ生各自の研究テーマ発表とそれに対する指導 夏合宿 ゼミ生各自の研究に関する弁別構成の指導 16～25回 論文執筆に対する指導 26～28回 ディベート大会に関する指導 ディベート大会 12月の第2日曜に開催 29～30回 論文集の校正に関する指導
履修上の留意点	・平常の出席はもちろんであるが、論文の執筆と夏合宿及びディベート大会への参加は必ず必要です。
成績評価の方法	平常点（・出席状況20%、・夏合宿20%、・ディベート大会出席30%・論文30%）
教科書／テキスト 参 考 書	指定しない 必要に応じて紹介する。

履修コード	108001
科目名	演習Ⅱ
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義の到達目標(ねらい) グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで、大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容／授業スケジュール 演習Ⅰの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書／テキスト 未定

参 考 書 鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。
稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

そ の 他 「卒業研究」（4単位）を併設します。

経・経A・
商・現

履修コード	108101
科目名	演習Ⅱ
担当者名	あき 既 姉歯

講義の到達目標(わらい)

演習Ⅰに引き続き、「グローバル経済と生活」を大まかなテーマに据え、「生活」を取り巻くさまざまな問題について学ぶと同時に、卒業研究への取り組みを開始します。

講義の内容／
授業スケジュール

①通常のゼミ活動

前半はテキストを決め、卒業研究に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。レジュメの作り方から報告・討論の手法を身につけます。

②合宿について

春と夏に合宿を行います。春合宿は2泊程度で、長時間にわたる集中的なゼミ勉強を通じて、レジュメ作成能力、討論能力を徹底して習得します。夏合宿は、これまでは5泊～6泊にわたる農村での合宿でした。共同作業、座学、地域の皆さんとの交流を経験しました。

③インナー大会、ゼミ討論会等への参加

学内・学外のゼミ討論会には積極的に参加します。特に11月に行われる学外ゼミとの討論会に合わせて論文作成、討論スキルの向上などに力をいれていくことになります。特に、ゼミの上級生として、2年生をリードする役割を果たすことが期待されます。

そのほかに、ふれあい広場への参加などを通して、プランニング能力の向上、実行力の向上をめざします。

④原書講読も含めて、より高度な文献を読みこなし、資料を解析し、卒業研究に取り組むことになります。インナー大会で培った論文作成能力をさらに向上させることを目標とします。

本ゼミからは「経済学部創立60周年記念奨学論文」特賞(1位)1名、入選1名、佳作3名の受賞者が出ました。いずれも論文の書き方から一步一步勉強していった成果です。論文作成は大変な作業ですが、理論を武器に現実問題に切り込んでいく楽しさを味わってもらいたいと思います。ぜひ、後に続けてください。

興味を持てる課題を探ること、理論をきちんと勉強すること、論文に「のめりこめる楽しさ」を発見すること、これが本ゼミの目指すところです。

遅刻・欠席は厳禁です。

ゼミは意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。

また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。

アルバイトやサークル活動などでゼミ活動を欠席することはできません。履修予定表に載っている時間配分では終わらないのがゼミ活動です。忙しいことを承知の上で、やる気のある方の参加を希望します。

また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必須です。

時には、土日もゼミ活動に割かれます。アルバイトよりゼミが優先となります。

ただ、その場に座っているだけでは、ゼミへの参加とはみなしえません。必ず毎回発言することが求められます。

ゼミでは、受動喫煙から徹底して非喫煙者の健康を守ることをモットーといたします。

したがって、ゼミ開始10分前以降の喫煙、ゼミ合宿中の喫煙は禁止いたします。

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。

時間のはじめに指示します。

時間のはじめに指示します。

経・経A・
商・現

履修コード	108201
科目名	演習Ⅱ
担当者名	小杉 修二

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

演習Ⅰと同じですので、そちらを見てください。
基本的には演習Ⅰと同じです。演習Ⅰでは温暖化のメカニズム、その害悪について学びますが、演習Ⅱではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか(①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減)について考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。ここから利害の合理的制御の学としての経済学の知見・方法が役に立つこととなります。3年次以降は温暖化対策の技術的側面と並んでその社会的側面を学習することになります。

授業のやり方としては学生と相談しながら、「デベート」形式で問題を表と裏から考えます。デベートは為にする議論、という印象もありますが、ある問題に徹底的に賛成あるいは反対の立場に立ってみた時、それが簡単に崩れるようなら、それは役に立たない議論ということになります。こうした議論を通じて、確実な根拠ある結論を探しましょう。やってみると意外に楽しいものようです。

第1-5週：温暖化対策として省エネルギーの可能性

第6-10週：代替エネルギーの可能性

第11-15週：炭酸ガスの吸収源の可能性

第16-20週：巨大技術の可能性

第21-25週：身近な方法の可能性

第26-30週：炭酸ガス削減の国際的取り決めの方法

演習Ⅰと同じ。

出席状況とゼミへの参加の積極性、発言を総合して判定。

演習Ⅰの継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

演習Ⅰと同じ。

(卒業研究)あり。通常のゼミの4単位とは別に卒業研究の4単位が当てられる。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

経・経A・
商・現

履修コード	108301
科目名	演習Ⅱ
担当者名	飯田 泰之

講義の到達目標(ねらい)

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する(つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」)際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

演習Ⅰでの学習内容をふまえ、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学 a, b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書は開講時に協議する。

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

履修コード	108501
科目名	演習Ⅱ
担当者名	こにし ひろみ 小西 宏美

講義の到達目標(ねらい)

「多国籍企業、多国籍金融機関とカジノ資本主義」をテーマとしています。「カジノ資本主義」とは何か、多国籍企業・多国籍金融機関の活動がいかに関係を「カジノ化」してきたのか、「カジノ資本主義」は我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

国際経済、国際金融関係のテキストを使ってレジュメの作成、報告、討論を行います。後期は「日本学生経済ゼミナール関東部会」に参加し、他大学のゼミと討論します。

演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席、報告、討論の3点で評価します。
最初の授業時に指定します。

履修コード	108601
科目名	演習Ⅱ
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい)

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行なう。演習Ⅱで輪読する文献は、もう少し読みごたえのある専門書へとステップアップしたい。文献輪読と並行して、ゼミの共同研究にも着手する。テーマは受講生の話し合いで決め、学生主体で調査、発表、論文化する力を養っていききたい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1)前期ガイダンス、(2)～(14)文献輪読およびゼミ研究の基礎的作業、(15)ゼミ研究中間報告、(16)後期ガイダンス、(17)～(29)文献輪読およびゼミ研究の応用的作業、(30)ゼミ研究最終報告
*詳細については、前期ガイダンス、後期ガイダンス時に知らせる。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

演習に取り組む姿勢を総合的に評価した平常点。
開講時に受講生と相談のうえ指定する。
授業の中で、その都度紹介する。
演習Ⅱでは、「インターンシップb」を併設する。
演習Ⅲでは、「卒業研究」を併設する。

経・経A・
商・現

履修コード	108701
科目名	演習Ⅱ
担当者名	ともまつ よしのぶ 友松 憲彦

講義の到達目標(ねらい)

西洋社会経済史の研究を課題にしています。ヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

西洋経済史の文献講読をおこなうと同時に、各自が設定したテーマについて研究をすすめ、卒業研究のための基礎づくりをします。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席、発表、討論、レポートの状態を総合して評価します。

教科書／テキスト

最初の授業で指示します。

参 考 書

演習を通じて紹介します。

そ の 他

卒業研究を併設します。

履修コード	108801
科目名	演習Ⅱ
担当者名	鄭 章淵 <small>ちよん ちやんよん</small>

講義の到達目標(ねらい) この授業の目的は、ゼミ生のみなさんに第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことである。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定している。同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs(新興工業経済地域:韓国、台湾、香港、シンガポール)、ASEAN3(タイ、マレーシア、インドネシア)、中国、その他と続く発展の様は「雁行型発展」と称されてきた。

ところが、1997年のアジア通貨危機を機に東アジア経済は混迷に陥り、雁行型発展に乱れが見られるようになった。今日の事態は、東アジア経済を発展の側面からのみ捉えるのではなく、発展と危機の両面を視野に入れたアプローチが必須であることを示している。日本の経済的パートナーとして東アジア諸国の重要性が増している現状を鑑みると、日本の将来を担う皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えよう。

講義の内容/授業スケジュール 演習Ⅰで身につけた基礎知識を土台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、下記(教科書)の文献を輪読してもらう。

準備学習 夏季休暇中にゼミ合宿を実施する。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定している。また、演習(ゼミ)の特別企画として課外活動を行うつもりである。

履修上の留意点 アジア経済に関する新聞記事を常日頃から読むようにすること。

成績評価の方法 演習は何よりも学生の皆さんが主人公となるべき科目である。授業には休まず出席し、積極的に発言することを心掛けてもらいたい。

教科書/テキスト 出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定する。
北原淳・西澤信善編著『アジア経済論』現代世界経済叢書4、ミネルヴァ書房、2004年、3,200円+税、ISBN 4-623-04158-1

参考書 参考書については、授業の中でそのつど紹介する。

その他 4年次に「卒業研究」を併設する。

経A・
商現

履修コード	109001
科目名	演習Ⅱ
担当者名	小栗 崇資 <small>おぐり たかし</small>

講義の到達目標(ねらい) 日本の企業会計制度は、現在、大きな転換期にさしかかっており、会計ビッグバンを経て国際会計基準への統合へと突き進んでいます。計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつあるといえます。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変ですが、発想を変えれば、現代社会のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスと考えられます。演習では、「グローバル化する日本の企業会計制度」をテーマに学習を進めたいと思います。

講義の内容/授業スケジュール 演習Ⅱでは、演習Ⅰと同じく、企業会計の従来の考え方と新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の理論や方法を学習する予定です。そうした中で、国際会計基準のいくつかを取り上げ、その内容を深く検討してみたいと思います。演習は皆さんに報告をしてもらい、ディスカッションする方式で行います。資格勉強のように暗記するのではなく、「なぜそうなのか」「どうしてこうなるのか」という問題意識をぶつけあって研究することをこの演習ではめざします。後期には自分の研究テーマをもってゼミ生自身で研究を進め、論文を書いてもらうつもりです。

履修上の留意点 ゼミでは皆さんに積極的に発言したり質問したりすることを求めます。毎回、司会者や報告者、質問者などの役割を分担して進める予定です。必ず出席してください。ゼミの運営や行事にも意欲的に取り組む学生を希望します。なお「卒業研究」も開講する予定です。

成績評価の方法 総合的に判断します。①出席状況、②報告内容、③レポート、④ゼミ運営への貢献度。

教科書/テキスト 演習の中で指示します。

参考書 演習の中で指示します。

履修コード	109101
科目名	演習Ⅱ
担当者名	ほし りゆうじ 堀 龍二

講義の到達目標(ねらい)

わが国企業の人事・労務管理(人的資源管理)はいま大きく変化しつつあります。雇用、賃金、労働時間、昇進・昇格などの人事制度、能力開発、福利厚生、企業内労使関係といった労務管理のほとんどの領域で、かつて日本的労務管理(あるいは日本的経営)と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。グローバルイゼーション、メガコンペティション、情報技術革新、それらに伴う企業・職場組織の再編などがその背景にあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化(フレキシビリティ)、成果主義、個別化などです。こうした変化をどのように把握し、どのように評価するか、自らの働き方(社会への貢献の仕方)として何を望むのか、メンバー同士の語り合いのなかで模索することがねらいです。その際に、諸外国の制度や慣行も比較対照として学習していきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもら。現代人事労務管理の変容を、①雇用、②賃金、③労働時間、④能力開発、⑤福利厚生(企業年金を含む)、⑥労使関係などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて下調べや報告をし、全員で議論するという形式で進める予定です。ワーキンググループ方式以外の方法をゼミ生が希望する場合は、進め方を相談して決めます。

履修上の留意点

1つのテーマのもとにグループメンバーがお互いに協力して調べものをする楽しい学習と思ってほしい。また、全員が自由に発言できる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言と参加を中心に評価します。

教科書/テキスト

共通テキストを用いるかどうかはゼミ生と相談して決めます。

参 考 書

ゼミのなかで適宜指示します。

そ の 他

(卒業研究の有無)

引き続き演習Ⅲを履修する場合には、履修時に卒業研究を併設します。

履修コード	109201
科目名	演習Ⅱ
担当者名	ながやま しよう 長山 宗広

講義の到達目標(ねらい)

演習Ⅱでは、地域経済・地域産業の理論を踏まえて、地域の実態を把握する実践的手法を学んでいく。

講義の内容/
授業スケジュール

地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。

世田谷区や夕張市など実在の地域を選定し、当該地域の実態把握と活性化プランを取りまとめていく。まずは、ゼミ生全員で、選定地域における既存資料や統計データを入手・分析する。その後は、グループ単位で、選定地域において興味のある研究テーマ(例:地場産業・中小企業の再生、新産業・ベンチャービジネスの創出、商店街・中心市街地の活性化、観光振興による交流人口アップなど)を設定し、各種調査を実施・取りまとめていく。それぞれの研究テーマにおける調査結果をもとに、当該地域の関係者(中小企業経営者や政策担当者など)と議論を行ない、最終的に当該地域の活性化プランとして取りまとめていく。この活性化プランは、当該地域の関係者に対して発表会が行なえる水準を目指す。

履修上の留意点

夏休み等を利用して、合宿やフィールドワークも行なう予定。

「地域経済論 a・b」の講義、「ベンチャー論」「起業論」の講義を既に履修済みであることが求められる。

ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。

教科書/テキスト

開講時にゼミ生と相談して決定する。

参 考 書

都度、紹介する。

そ の 他

とりあえずは、講義の「地域経済論 a・b」「ベンチャー論・起業論」を参照のこと。

演習Ⅲでは、「卒業研究」を併設する。

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

経・経A・
商・現

履修コード	109211
科目名	演習Ⅱ
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 純治

講義の到達目標(ねらい) 企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をととして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容／授業スケジュール 財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では米国会計基準・国際会計基準も取り上げます。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、新聞・雑誌・小論文を素材にした学習も行います。

履修上の留意点 会計学だけでなく、会計を通して世の中の社会経済問題を学習するというより広い視点にたてる学生を歓迎します。

成績評価の方法 出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書／テキスト 財務会計の標準的テキスト(その都度指示します)。

参 考 書 その都度、指示します。

そ の 他 私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見る事ができますので参考にしてください。

関 連 リ ン ク <http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>

履修コード	109221
科目名	演習Ⅱ
担当者名	まつい りゆうへい 松井 柳平

講義の到達目標(ねらい) 統計学の知識が経済の分野で必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容／授業スケジュール 統計的な分析をおこない、評価・討論する。

履修上の留意点 必要な場合、輪読をおこなう。テキストは、ゼミ生と相談の上、決定する。

成績評価の方法 このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

教科書／テキスト 開講時に、ゼミ生と相談の上、決定する。

参 考 書 授業のなかで必要に応じて、指示する。

そ の 他 パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

履修コード	112931
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二

講義の到達目標(ねらい) 企業や団体、自治体の現場で就業体験してもらい、「仕事」の現場を見ることで、活きた経済を学ぶことが目標です。それにより自らの進路選択と学習・研究目標の策定に役立てることをねらいとしています。

講義の内容／授業スケジュール 夏休みに、現場で実際の研修を行います。

履修上の留意点 後期は、現場での研修についてレポートの作成と発表会を行います。

ビジネス・インターンシップaの単位を修得しており、かつ、村松幹二ゼミ演習Ⅱを履修しているものに限り、かつ、研修の際の交通費等の経費は自己負担であり、報酬は支給されないことを了解しておいてください。

現場の迷惑にならないよう、自覚を持って責任ある行動をとってください。

成績評価の方法 研修後のレポートや発表、研修先の評価などを総合的に評価します。

教科書／テキスト とくにありません。研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。

履修コード	112941
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	小西 宏美

講義の到達目標(ねらい) インターンシップに参加することで、「働くこと」の意味を考え、社会人としてのマナーを身につける。

講義の内容／授業スケジュール 夏季休暇中にインターンシップを行う。

履修上の留意点 インターンシップ先は学生自身が見つけること。

成績評価の方法 この科目は、小西ゼミの演習Ⅱを受講している経済学科学生しか登録できません。ビジネス・インターンシップ a とセットで登録して下さい。

成績評価の方法 インターンシップ後に提出する報告書に基づいて評価します。

履修コード	112951
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい) 3年次の夏期休暇中、企業や各種団体で一定期間研修に従事し、その職場経験を大学における専門学習、あるいは自分の進路選択に生かす。

講義の内容／授業スケジュール (1) 前期にビジネス・インターンシップ a を受講するとともに、各自で研修先を確定、(2) 夏季休暇中、企業や各種団体で研修に従事、(3) 研修の成果を報告書として作成・提出

履修上の留意点 対象は担当者の演習Ⅱを受講する3年生のみ。前期開講のビジネス・インターンシップ a の単位修得ができなかった場合、この科目の履修は認められない。

成績評価の方法 研修報告書および受講生との面談から総合的に判断する。

履修コード	112961
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	小栗 崇資

講義の到達目標(ねらい) 「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体など多様な体験のできる場を予定しています。

講義の内容／授業スケジュール (1) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。原則として、8月上旬から9月上旬に約1～2週間の研修を行います。

履修上の留意点 (2) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。また「インターンシップ報告書」の刊行も予定しています。

成績評価の方法 これは私の演習Ⅱに所属する経済学科3年生のみが履修できる科目です。研修先の企業についてや履修上の心得や注意事項についてはゼミで指導します。

成績評価の方法 研修先の評価を参考に、研修後のレポートによって評価します。

履修コード	112971
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	工藤 芽衣

講義の到達目標(ねらい) ビジネス・インターンシップは、学生が企業やNPOなどでの就業体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール 4月：履修登録後、受け入れ先との調整を行います。

履修上の留意点 7月：事前研修

成績評価の方法 8月～9月：1～2週間程度の就業体験

履修上の留意点 10月～12月：事後研修、レポートの作成

成績評価の方法 ゼミの演習Ⅱの受講生のみが登録できます。

成績評価の方法 研修後のレポートおよび研修先の評価によって総合的に評価します。

経・経A・
商・現

履修コード	112981
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	吉田 真広 <small>よしだ まさひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 企業や団体での就業体験を通じて、社会人・職業人として必要な基本的な心構えや姿勢を身につけ、さらにその体験をレポートやプレゼンテーションの形で報告する能力も身につけることを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

- 1 夏季休業中に一定期間にわたって、企業において就業体験を行います。
- 2 インターンシップ体験のレポート作成と報告を行います。
- 1 実地研修をを必須条件とするため、何らかの理由から研修に参加できなかった場合、単位は認められません。
- 2 ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、ビジネス・インターンシップ b は受けられません。
- 3 研修の際の交通費、被服などの経費は自己負担です。
- 4 研修なので勤務報酬は出ません。

成績評価の方法 研修先による評価、レポート、報告によって総合的に判断します。

履修コード	112991
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	矢野 浩一 <small>やの こういち</small>

講義の到達目標(ねらい) 「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることがねらいである。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

(1) 実際の研修は夏休み期間に実施される。原則として、8月上旬から9月上旬に約2週間の研修を行う。

(2) 後期は、研修についてのレポート作成を行う。

履修上の留意点 ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできない。また、ビジネス・インターンシップ b を受講できる学生は、矢野ゼミの演習 II に所属している3年生に限定される。受け入れ先の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生のみを受講してもらおう。

成績評価の方法 基本的には研修後のレポートによって成績評価するが、研修先の評価なども参考にして判断する。

履修コード	113011
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゆんぢ</small>

講義の到達目標(ねらい) インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

ゼミにて説明します。

履修上の留意点 このインターンシップは私の演習 II に所属する経済学科の学生しか取れません。演習の中で希望者と相談したいと思います。

成績評価の方法 事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。

教科書／テキスト 講義の際に必要な資料を配布します。

その他 3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113021
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義の到達目標(ねらい) インターンシップは、学生が企業等で実習する体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

7月：インターンシップ先の決定

8月～9月上旬：インターンシップ研修

9月～10月：研修についてのレポート作成

履修上の留意点 インターンシップは、演習 II に所属する学生のうち、経済学科の学生に履修が限定されます。また、企業等にお世話になるため、自らの責任を自覚して下さい。

成績評価の方法 研修内容とレポートを中心に評価します。

教科書／テキスト 適宜指示します。

その他 3年次生のみ履修可能です。

履修コード	113031
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>いわたみ ふみたか</small> 岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい) ビジネス・インターンシップは、企業や団体の現場実習を通じて就業体験をすることにより、自分の適性を発見し、就業することや社会について認識を深め、人生設計など自らの将来像を描くための授業です。

講義の内容／授業スケジュール 研修に関する自己評価(1～5)、研修に関するレポート作成(6～10)、レポートに基づく発表(11～13)、各受講生における今後の課題に関するレポートの作成(14～15)

履修上の留意点 現場実習を行なうので、受講生の自覚と責任がきびしく要求されます。この科目は、演習Ⅱ(岩波ゼミ)を受講する経済学科の学生のみが履修できます。受け入れ先や研修の調整作業が必要となるとともに、受け入れ先の都合で、時期・期間が変更になることもあります。

成績評価の方法 次の点を必ず確認して履修してください。

そ の 他 1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ b は多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。
2. 研修の際の経費(交通費や被服費等)は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。

成績評価の方法 インターンシップ事前準備、インターンシップ受け入れ先からの報告、および事後研修レポートにより評価します。

そ の 他 演習Ⅱ(岩波ゼミ)を履修する3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113041
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>まつもと のりこ</small> 松本 典子

講義の到達目標(ねらい) ビジネス・インターンシップは、企業やNPO等での就業体験を通じて「働く意味」を考えます。

講義の内容／授業スケジュール 4月：履修登録後、履修生の希望を受けて、受け入れ先との調整を行います。
主にNPO法人、財団法人、社会福祉法人をインターンシップ先として検討します。

履修上の留意点 7月：事前研修
8月～9月：1～2週間程度の就業体験
10月～12月：事後研修、レポートの作成
経済学部松本ゼミの演習Ⅱの受講生のみが登録できます。

成績評価の方法 ビジネス・インターンシップ a を必ず履修してください。
研修後のレポートおよび研修先の評価によって総合的に評価します。

経・経A・
商・現

履修コード	113051
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>かつた よしひろ</small> 勝田 佳裕

講義の到達目標(ねらい) 社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのかわかりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容／授業スケジュール 4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
4月に履修登録。
7月に事前研修。

履修上の留意点 夏休みまたは後期授業期間中に就業体験(2週間程度)
終了後事後研修(レポート作成)など

成績評価の方法 受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。
受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

そ の 他 3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113061
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義の到達目標(ねらい) インターンシップという科目が設けられたのは比較的最近のことです。その背景には、大学卒業生の3割が新規就職して3年以内に転職するという現象に現れているように、自己の適性にあった安定的な就職先を見つけることが困難となってきたことがあります。企業や団体その他公的機関等も、テレビなどの一般向PR情報では、その実際の姿を知ることはできません。学生時代に企業や団体の現場を直接経験することで、自分を活かせる産業や企業など、就職先の選択を確かなものとすることができます。そして現場に立つことによって、今まで気が付かなかった自分の本当の姿を発見することもできるでしょう。

講義の内容／授業スケジュール 前期は講義形式での授業、夏休みに企業研修体験、後期に報告書をさまざまな資料を参考にして報告文書を作成します。

履修上の留意点

このインターンシップは私の演習 II 参加者のみ受講可能です。履修登録する人は、可能な限り至急私と連絡を取ってください。

成績評価の方法
教科書／テキスト

事前の準備の質と量、事後のレポートで評価します。適宜指示します。

履修コード	113071
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	しろた じゆん 代田 純

講義の内容／授業スケジュール 相手先の都合により変更となる可能性があるものの、岡三証券本社において夏休み中に3～4日間のインターンシップを予定している。

履修上の留意点

インターン期間中は岡三証券の社員と一緒にになります。このため男子の場合、茶髪、ひげ、長髪等は禁止されます。女子もこれに準じます。スーツ着用になります。

成績評価の方法
その他

成績評価については、インターンの出席と相手先からの評価、事後のレポートで決定する。希望者多数の場合は、選抜となる。また留学生は日本語水準が高いことが必要です。

経・経A・
商・現

履修コード	113081
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘

講義の到達目標(ねらい) 企業、商店、NGO、芸術団体、自治体など実際に経済活動や社会活動をおこなっている現場に向いて作業や労働を経験してもらうことが目標です。相応の責任感が要求されますが、大学のキャンパス内では学べない多くのことを体験学習することができます。本学の構内は決して広くはありませんが、学外の広い世界をいわば広義の学園と見立てて大学生活にふくらみをもたせてみることをお勧めします。

講義の内容／授業スケジュール

この科目のスケジュールは、大きく三つの時期にわけられます。

履修上の留意点

前期は、学内の教室でおこなわれる授業をとおして、インターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。

夏休みには、現場での実際の研修をおこないます。

後期は、現場での研修について、レポートの作成と発表会をおこないます。

現場の作業や労働の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。研修先を自分で探してくる学生は歓迎します。インターンシップに必要な交通費や衣服などの諸経費は自己負担になります。また、あくまで研修というたてまえから、報酬は支給されないことを了解しておいてください。

成績評価の方法
教科書／テキスト

学内での授業、研修先からの評価、レポートや発表などを総合的に評価します。とくにありません。ただし、随時、必要と思われるプリント等の配布はいたします。

履修コード	113091
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義の到達目標(ねらい)

本科目は学生が企業や各種団体において現場研修を受け、その就業体験を通じて企業経営や団体活動の実際・動向を理解し、大学における専門科目の学習意欲を高めることを目指しています。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

本科目では、講義にあたるものは、インターンシップ先における実際の研修です。研修期間は、原則として、夏休み期間です。通常は、約2週間～1ヶ月の研修が実施されます。

本科目は、百田ゼミの演習Ⅱの受講生のみが登録できます。また、「ビジネス・インターンシップ a」の単位を修得していない学生は「ビジネス・インターンシップ b」を受けることはできません。

成績評価の方法

研修後のレポートおよび研修先の評価によって成績評価します。

履修コード	113111
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>あおは あき</small> 姉齒 暁

講義の内容／
授業スケジュール

インターンシップという制度は、学生のみなさんが、社会に出る前に企業・商店・団体等の現場で実際に就業を体験するものです。この研修を通じて、イメージだけで語られることの多い「仕事」の実際を垣間見ることができます。皆さんは、この経験を通じて、自分がどんな仕事に就きたいのか、自分に合った仕事は何かといった疑問に対する答えを得られるでしょう。この演習が、ブランド名やイメージだけにとらわれず、自分の適性を活かす道を見つけられる一助となるよう、企業選びから研修、その後のまとめに至るまで、相談しながら進めていきたいと思えます。

インターンシップ研修そのものは夏休み中に行われることとなります。数ある研修先企業・団体の中から研修先を選定し、研修前に行き先についての予習もしておきましょう。

研修終了後、レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

この演習を受けるものは、演習Ⅱを履修しているものに限ります。

研修後の「レポート」等の提出物により評価します。

研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。

研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。

経・経A・
商・現

履修コード	113121
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>みつおか はくみ</small> 光岡 博美

講義の内容／
授業スケジュール

ビジネス・インターンシップは、演習Ⅱの履修者(3年生)のみを対象とする。具体的な取り組みについては、最初の授業で、希望者と打ち合わせを行う。インターンシップを希望する学生は、(イ)どのような業種、企業を希望するか (ロ)学生自身がインターンシップの志望先を確保しているか否かについて話し合うことにする。志望先のない学生は私の側で、相手先の企業 etc を探す努力をしてみたい。

成績評価の方法

インターンシップ研修前の課題レポートと研修後のレポートで評価します。

履修コード	113131
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	谷敷 ^{やしき たかみつ} 正光

講義の到達目標(わらい)

インターンシップとは、学生が在学中に、企業、学校、教育委員会その他公共施設、各種団体などで研修生として「就業(職場)体験」を積むための制度です。

インターンシップによって、実社会=職場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野について大学の講義では学べない具体的な知識を得、「自己の適性」を的確に判断しながら、進路の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。

大学での普段の学習方式とは異なり、仕事の大変さや厳しき、責任の重さややりがい(生きがい)など「就業(職場)体験」で得たものは、きっと貴重な生きた知識になるとともに就職活動の「自己啓発」にも大いに役立ちます。受け入れ先によっては企業経営に参加させてくれるなど、思わぬ貴重な体験をすることがあります。

講義の内容/
授業スケジュール

前期 「インターンシップa」履修

後期 「インターンシップb」履修

①前期5~7月頃、就業体験ができる受け入れ先を探す。

②【受け入れ先】

- ・ 各自で探す(インターンシップ紹介サイトなどで探す。サイトは授業中に紹介する。)
- ・ 経済学科で紹介する企業から探す。
- ・ キャリアセンターが実施するインターンシップを利用する。

③就業体験受け入れ先が決定したら「受け入れ先決定報告書」を演習(II)担当教員に提出。

④就業体験前に受け入れ先への挨拶と書類持参、受け入れ先との打ち合わせを行う。

⑤夏休みなどを利用して3日~1週間程度就業体験=実践。

⑥10~11月頃レポート「インターンシップ報告」作成し、演習(II)担当教員に提出。

⑦「インターンシップ報告書」作成=「インターンシップ報告」をインターンシップ担当教員に提出(④と同じもの)。

準備学習
履修上の留意点

日頃より新聞や雑誌を読み、産業や企業の動向と就職状況などに興味を持つこと。

- (1) インターンシップは目的意識を持って参加すること。
- (2) インターンシップでは、受け入れ先との信頼関係の構築が大切です。
- (3) スケジュールは、受け入れ先の都合で時期・期間はいろいろです。

成績評価の方法
教科書/テキスト

受け入れ先からの「就業報告」とレポート「インターンシップ報告」などで評価します。

その都度、必要な資料を配布する。

受け入れ先に関する資料を配布する。

参 考 書

各自、必要に応じて読んで下さい。

スピーキングエッセイ編『図解でよくわかる上手な話し方が身につく法』アスカ680円。

渡部昌平『進路指導・就職支援マニュアル』大学教育出版1800円。

山口憲二『キャリアデザインの多元化的探求』現代図書2667円。

『ぎ ビジネスマナー』NEC ユニバーシティ。

安田佳生『仕事の選び方・人生の選び方』サンマーク出版1300円。

門脇厚史『社会力を問う 大人の条件』岩波出版660円。

安田雪『大学生の就職活動』中公新書660円。

安河内哲也『それでいいのか大学生』ナガセブックス900円。

香山リカ『就職がこわい』講談社1300円。

小島貴子『就職迷子の若者たち』集英社660円。

檜谷芳彦著『大学3年生になったらすぐ読む本』大和書房619円。

「高感度をアップさせる「モノの言いよう」』PHP 新書514円。

武田哲男著『「顧客満足」の常識』PHP ビジネス新書800円。

高井伸夫著『3分以内に話はまとめなさい』かんき出版1300円。

梅沢正著『職業とキャリア』学文社2415円。

古関博美著『インターンシップ』学文社2100円。

高良和武著『インターンシップとキャリア』学文社2520円。

野田・浜田著『会社のしくみが分かる本』日系ビジネス新書 667円。

川合雅子著『キャリア発掘わたしの適性・適職発見』学文社1575円。

そ の 他

ゼミ3年次生のみ履修が可能な科目です。「インターンシップa」の履修を済ませることが必要です。

履修コード	113141
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) 「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとした科目です。

講義の内容／授業スケジュール 実際の研修は原則として、夏休み期間に実施される公募制インターンシップないしボランティアの中から自分でチャレンジし、レポートを作成してもらいます。受講希望者は最初のゼミの時間に相談してください。

成績評価の方法 基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価なども参考にして判断します。

その他 *次の点を必ず確認して履修してください。
 ①吉田ゼミの演習 II を受講している経済学科 3 年生のみが登録できます。
 ②ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。

履修コード	113151
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい) インターンシップのねらいは、学生が企業等の実習を通して就業体験をし、働くことの意味を考えることにあります。

講義の内容／授業スケジュール 第 1 回目のゼミで説明します。

履修上の留意点 このインターンシップは、私の演習 II に所属する経済学科の学生のみ履修することができます。希望する学生は、前期科目「ビジネス・インターンシップ a」を履修する必要があります。

成績評価の方法 インターンシップ実習報告書および事後のレポートで評価します。

経・経 A
商・現

履修コード	113161
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	中濟 光昭

講義の到達目標(ねらい) 企業の現場に出向いて、どのような仕事をするのかを経験してもらうことがこの講義の狙いです。

講義の内容／授業スケジュール ビジネス・インターンシップ a やゼミにおいてインターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。
夏休み等長期休暇を中心に 1～2 週間程度、現場での実際の研修をおこないます。終了時にインターンシップについて、レポートの作成と発表会をおこないます。

履修上の留意点 ・会社の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。無断遅刻・欠席があった場合、インターンシップを打ち切ります。
・インターンシップでは、報酬などが支給されませんので、あらかじめ了解ください。

成績評価の方法 ゼミでのビジネスマナー等に関する評価、研修先の評価、レポートや発表などを総合的に評価します。

教科書／テキスト とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。

参考書 とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。

その他 * 次の条件を満たさない場合受講できません。確認してから履修してください。
 ・中濟ゼミの演習 II を受講している 3 年生のみが登録できます。
 ・ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。
 ・演習 II 担当教員 (中濟)・就業体験受け入れ先・学生の 3 者間でインターンシップに関する基本的な合意が得られた後派遣します。

履修コード	113171
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい) この演習では、企業社会の現実・内容などについて、演習を通じて体現していくことが要求される。

講義の内容/
授業スケジュール

演習は次の3つの過程を経る。
(1):前期中に希望する職種の設定と実習先の選定。関連する授業等の履修。
(2):夏季(8月)に実習をする。
(3):後期に、実習のまとめと報告書の作成。

成績評価の方法
その他の

定期試験などはしない。評価は「スケジュール」の総合的評価とする。
この演習講義は、阿部弘ゼミナール(演習II)生にのみ履修が許可される。なお、参考文献などはその都度指定する。

履修コード	113181
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	北口 りえ <small>きたぐち りえ</small>

講義の到達目標(ねらい) ビジネス・インターンシップは、企業など実際の職場で就業体験をすることにより、働くということがどういうことなのか、自分の適性にあった仕事はどのような仕事なのかということについて考え、就職活動において自己の適性にあった就職先を主体的に選択することができるようになることを目的としています。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

ゼミにて説明します。
私の演習IIに所属する経済学科の学生のみ履修できます。
インターンシップの研修状況や研修後の報告書等により評価します。
3年次生のみ履修可能な科目です。
「ビジネス・インターンシップ a」の単位を修得していないと、「ビジネス・インターンシップ b」を履修することはできません。

履修コード	113191
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	溝手 芳計 <small>みぞて よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい) ビジネス・インターンシップ bは、企業や団体での就業体験をとおして、働くことの意味や職業人としての基本姿勢を身につけ、あわせて大学での専門科目の学習意欲を高めることを目的とする科目です。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

研修期間は、原則として夏休みですが、研修先探しや受け入れ先との打ち合わせ等のため、前期からの取り組みが必要です。詳しくは、4月最初の演習IIの時間に説明します。
(1) この科目は、経済学科、同FAの学生で溝手担当の「演習II」の受講生しか履修できません。
(2) 「ビジネス・インターンシップ a」(経済学科向け)をきちんと履修してください。
(3) 研修先は、原則として受講生の責任で探してください。
(4) インターンシップの研修は、受け入れ先の企業・団体のご協力に頼って行われます。無責任な行為は、ご好意をアダで返すこととなりますので、安易な気持ちでの履修は謹んでください。
(5) 研修に要する費用(交通費等)は受講者の自己負担となります。あくまで研修ですので、報酬はありません。

成績評価の方法

研修先による評価、事後レポートで評価します。

履修コード	109291・109292
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	有井 行夫

講義の到達目標(ねらい)

現代日本社会は、経済問題にとどまらず、実に様々な社会問題をかかえています。少子高齢化、過労死、地域社会の荒廃、犯罪の増加、子供たちの学力の低下から、地球温暖化対策や地震災害対策にいたるまで容易に列挙することができますね。これら様々な社会問題の根底には実は企業中心社会という特殊な社会編成原理がすわっています。逆に様々な社会問題は企業中心社会の諸相であり、諸断面なのです。関心のある社会問題を自由に選んでその根底に潜む企業中心社会をえぐりだしてみましょう。演習Ⅰと演習Ⅱとの発展研究がこれです。演習Ⅲでは、以上の観点から卒業研究をまとめます。

講義の内容／
授業スケジュール
成績評価の方法

前期＝各自卒業研究のテーマを決定。夏休み中＝資料と文献の読み込み。9月中間報告合宿。後期＝執筆。
卒業研究で評価します。

履修コード	109301・109302
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	溝手 芳計

講義の到達目標(ねらい)

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思います。演習Ⅲでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点

演習Ⅲでは、卒業研究に向けて、個別指導と集団討論を中心に進めます。

成績評価の方法
教科書／テキスト

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にして下さい。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。平常の出席状況や卒業研究に向けた取り組み姿勢を基本として評価します。

参 考 書
そ の 他

木下是雄『レポートの組み立て方』、ちくま学芸文庫、780円＋税、ISBN4-480-08121-6
他は、別途指示します。
必要に応じて紹介します。
「卒業研究」を併設します。

経・経A・
商・現

履修コード	109401・109402
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	森田 佳宏

講義の到達目標(ねらい)

本演習は「卒業研究」（卒業論文）の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは、演習Ⅰおよび演習Ⅱにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容（レジュメを含む）、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。卒業論文未提出者には演習Ⅲの単位を認定しない。

教科書／テキスト
参 考 書

原則として使用しない。
演習時に適宜紹介する。

履修コード	109411・109412
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	あねは あき 姉齒 暁

講義の到達目標(ねらい) 卒業研究を行うためのゼミ活動を行います。

社会人になってから即戦力となる「資料収集能力」「レジュメ等の書類作成能力」「討論・プレゼンテーション能力」、さらにみんなで協力してプロジェクトを成功させるためのプランニング能力を身につけることが目標のひとつです。

講義の内容/
授業スケジュール

また、大学生生活の集大成としての年度にふさわしく、卒業研究の成果を論文としてまとめる作業とリンクさせるゼミ活動を行います。

演習Ⅱに引き続き、グローバルゼーションの下での国民生活の問題を扱います。食料問題、農業問題、地域経済に大きな影響をもたらすグローバル経済システムの実態を読み解く理論的枠組みを合わせて学んでいくので、経済理論の基礎も同時に身につきます。

履修上の留意点

卒業研究を行うためのゼミ活動となります。

就職活動中であっても、ゼミは通常通り毎週開かれます。

やむを得ない理由でゼミを休む時もかならず連絡を毎度入れることが必須となります。

自分が休む場合には、事前に提出物の提出、報告内容(レジュメ)等の送付などの作業が必要です。

就職活動を孤独ななかで行わない、就職活動だけの学生生活にならない、それが就職活動を成功に導くものです。

成績評価の方法

語れることをたくさん身につけて社会に出ていけるよう、ゼミで卒業まで頑張りましょう。

報告・討論への参加、提出物を含め、平常点で評価します。

経・経A・
商・現

履修コード	109421・109422
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	きたぐち りえ 北口 りえ

講義の到達目標(ねらい)

税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習は、法人税における課税所得が企業利益をベースとしてどのように算出されるのか、その課税所得の計算構造に関する理解を深めることを目的とします。

講義の内容/
授業スケジュール

各自が選んだ研究テーマについての発表を中心に進め、ゼミ内でのディスカッションや論文指導により、その研究について深く掘り下げてもらいます。

履修上の留意点

ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事(合宿、ゼミナール連合会での研究発表会、証券取引所見学や裁判所見学など)にも積極的に参加してください。

成績評価の方法

卒業研究も開講します。

出席率、報告内容、ゼミやゼミの運営への参加度、レポート等の総合評価により行います。

理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

履修コード	109431・109432
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	こにし ひろみ 小西 宏美

講義の到達目標(ねらい)

「多国籍企業、多国籍金融機関とカジノ資本主義」をテーマとしています。「カジノ資本主義」とは何か、多国籍企業・多国籍金融機関の活動がいかにかに経済を「カジノ化」してきたのか、「カジノ資本主義」は我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容/
授業スケジュール

前期はテキストを読み進めながら卒業研究のテーマを考えます。

後期は各自の研究テーマにそって卒業研究を作成します。

成績評価の方法

後期は3年生が参加する「日本学生経済ゼミナール関東部会」に議長団として参加してもらいます。

演習Ⅲは出席、報告、討論で評価します。

卒業研究は提出した卒業論文で評価します。

教科書/テキスト

第1回目の講義で指示します。

履修コード	109441・109442
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	館 健太郎

講義の到達目標(ねらい)

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざす。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとて広い。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっている。

本演習では主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱う。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考える。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になるが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきだろうか。政府は何か政策を打ち出すべきだろうか。ゲーム理論という共通の土台の上に乗って議論できるようになることを目指す。

現実の経済現象をゲーム理論を応用して説明する論文を作成するために、発表とコメント、文章作成と添削と繰り返しながら完成を目指す。

さまざまな文献を読みながら早めにテーマ探しをしてほしい。

卒業研究を提出することを前提とする。

平常点、卒業研究の仮提出（10月第4週まで）、本提出（12月）と内容で評価する。

講義の内容／
授業スケジュール
準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

履修コード	109451・109452
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	ながやま 宗広

講義の到達目標(ねらい)

テーマ：「地域の活性化」

演習ⅠおよびⅡでの学びを活かし、4年間の経済学部での学習と研究の集大成として、「卒業研究」の作成に取り組む。

各ゼミ生の「卒業研究」報告を中心に討論する。

卒業論文の提出にあたっては、「研究企画書の作成」「中間報告会での予備審査」「最終原稿の審査」といったプロセスを経る必要がある。

演習Ⅰ、Ⅱと同じ。

演習Ⅰ、Ⅱと同じ。

この他、上記の卒業論文提出までのプロセスに関して評価する。

演習Ⅰ、Ⅱと同じ。

演習Ⅰ、Ⅱと同じ。

「卒業研究」を併設する。

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

講義の内容／
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書／テキスト
参考書
その他

経・経A・
商・現

履修コード	109461・109462
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	松田 健 <small>まつだ たけし</small>

講義の到達目標(ねらい)

本演習では、「現代における企業と社会との関係を、どのように捉えればよいのか」という命題に基づきながら、企業経営の現代的課題や企業活動の体系的理解を通じて企業を広く理解する視点をも身につけることを目標としています。

とりわけ1990年代以降、企業の経済活動が急速にグローバル化したことを受け、それ以前の社会・政治・文化・国際関係といった多様な領域と企業との関係性は大きく変容しつつあります。企業が持つ経済的性格のみならずその社会的性格にも焦点を当て、企業を社会経済システムの中に位置づけながら、企業と社会の相互関係性から生じている現代的諸問題を考察し、それを卒業研究につなげていきたいと考えています。

講義の内容／
授業スケジュール

本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業研究論文の作成を試みます。

第1回 オリエンテーション

第2回～第5回 演習参加者各自の研究課題テーマについての討論

第6回～第10回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(1)

第11回 小括：資料輪読(1)による知見をまとめた研究報告(1)

第12回～第14回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(2)

第15回 小括：資料輪読(2)による知見をまとめた研究報告(2)

第16回～第20回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(3)

第21回 小括：資料輪読(3)による知見をまとめた研究報告(3)

第22回～第26回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(4)

第27回 小括：資料輪読(4)による知見をまとめた研究報告(4)

第28回 論文作成の技術的指導(1)

第29回 論文作成の技術的指導(2)

第30回 卒業論文口頭報告

履修上の留意点

卒業研究に向け、自らが設定した研究課題を体系的な論文にまとめ上げていく作業には、強い自律心が求められます。したがって演習参加者は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。卒業研究が提出されない場合は単位認定が取り消される場合があります。

成績評価の方法

授業への出席は最低要件です。したがって卒業研究にかかわる各自の報告を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。

教科書／テキスト

開講時に指示します。

参 考 書

経営学辞典あるいは経営学用語集。

そ の 他

卒業研究を併設します。

経・経A・
商・現

履修コード	109471・109472
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	松本 典子 <small>まつもと のりこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

演習Ⅱで研究したことを基礎に、卒業研究をまとめます。

また、非営利組織・社会的企業の経営学についての理解を深めます。

各自の研究テーマにあわせて、文献講読、調査・分析を行い、卒業研究に取り組みます。講義内での発表、サブゼミにおいて中間報告を行うことで、卒業研究の質を高めます。

積極的に物事を調べ、積極的な姿勢で授業にのぞんでください。

出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に判断します。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書／テキスト

ゼミ生と相談の上、決定します。

参 考 書

参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。

そ の 他

卒業研究を併設します。

履修コード	109481・109482
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい) 本演習ではこれまでの演習や共同研究において習得した知識にもとづき、各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行なう。

講義の内容／授業スケジュール 卒業研究では、自身の意見を論理的に構成し、それに関する十分な実証的根拠を示し、相手に伝わる発表を行うことが必要とされる。そのために必要な論理的思考能力、資料収集・整理能力、プレゼンテーション能力を養い、自らの問題意識を卒業研究の形でまとめることを目的とする。

履修上の留意点 卒業研究の作成は、テーマの選定、論理の組み立て、資料収集・整理、本文の執筆、内容の報告の順に進める。

成績評価の方法 ゼミ形式での発表と個別指導の形で演習を行なう。

参 考 書 特別な事情がない限り、毎回出席すること。原則として4年生の新規募集は行わない。

卒業研究の内容を中心に、ゼミへの出席状況、卒業研究作成プロセス、研究のプレゼンテーションなどから総合的に評価する。

卒業研究の課題に応じて個別に紹介する。

履修コード	109501・109502
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	代田 純

講義の到達目標(ねらい) 金融についての研究

講義の内容／授業スケジュール 就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

成績評価の方法 卒業論文の提出、内容で評価する。9月以降の卒業研究中間発表をしない場合、単位は認定しない。

教科書／テキスト 特に決めない。

参 考 書 必要に応じて紹介する。

経・経A・
商・現

履修コード	109601・109602
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行ないます。

講義の内容／授業スケジュール 演習Ⅲでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行ないます。

履修上の留意点 第一回目の演習の時間に今年度の予定を伝えますので、必ず出席してください。

成績評価の方法 演習Ⅲは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習Ⅱをすでに履修していることが前提となります。

出席状況、平常点(卒業研究作成指導への対応姿勢など)、卒業研究の内容を中心にして総合的に評価します。

教科書／テキスト 使用しません。

参 考 書 卒業研究の課題に応じて個別に紹介します。

そ の 他 演習Ⅲでは原則として「卒業研究」を作成することが求められます。

履修コード	109701・109702
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	石川 祐二

講義の到達目標(ねらい) 企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。

講義の内容／授業スケジュール 具体的には、「卒業研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。

履修上の留意点 ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。

成績評価の方法 初回の演習時に伝達するスケジュールに則り、「卒業研究」を作成するように努めること。

教科書／テキスト 「卒業研究」の内容で評価する。

参 考 書 特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。

そ の 他 必要に応じて紹介する。

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

履修コード	109801・109802
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	<small>いいた やすゆき</small> 飯田 泰之

講義の到達目標(ねらい)

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する(つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」)際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容／
授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習内容を継続的に発展させ、卒業研究の形で4年間の学習成果をまとめることを最終目標とする。

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学 a、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書は開講時に協議する。

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

「卒業研究」を併設する。演習Ⅲは卒業論文の指導が中心のため、履修登録時の登録を忘れないこと。

履修コード	109901・109902
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	<small>あさの かづみ</small> 浅野 克巳

講義の到達目標(ねらい)

演習Ⅱの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム 4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収穫増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

長岡・平尾『産業組織の経済学』(日本評論社)1998年

ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』(NTT出版)1997年

小田切宏之『企業経済学』(東洋経済新報社)2000年

参 考 書
そ の 他

内閣府『経済財政白書』その他の資料については授業の中で指示する。

卒業研究 有

経・経A・
商・現

履修コード	110001・110002
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい)	経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、コーポレート・ガバナンスとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、卒業研究またはゼミ論文の執筆を通じて、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。
講義の内容／授業スケジュール	各ゼミ生の「ゼミ論文」あるいは「卒業研究」報告を中心に討論し、「ゼミ論文」・「卒業研究」の作成に取り組みます。 合宿では、各ゼミ生のゼミ論文・卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。
履修上の留意点	ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。
成績評価の方法	ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加、論文の執筆など平常点による総合評価を行います。
教科書／テキスト	開講時に指定します。
参考書	必要に応じて指定します。
その他	「卒業研究」を併設します。

履修コード	110101・110102
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい)	2年次・3年次の活動成果を「卒業論文」としてまとめること、そのための準備と執筆が主な活動となります。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、各自が就職活動に専念し、自分の性格や能力に適した、やりがいのある仕事や就職先を見つけるための活動をします。 後期には、卒業論文作成のために詳細なレジюмеを作成し、執筆にとりかかります。提出された論文は、ゼミ活動の思い出として残るよう『経済学ゼミ論集』(大石ゼミナール発行)にまとめられます。
準備学習	新聞にできるだけ目を通し、時事問題については自分でよく考えてみることを。
履修上の留意点	原則として平常点で評価しますが、「卒業論文」が提出されない場合には演習Ⅲの単位を取り消すことがあります。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書／テキスト	新聞記事等、授業に使用する教材はそのつど支給します。
参考書	特に指定しない。
その他	①「卒業研究」を併設します。 ②コース制との関連：コースの履修は自由です。

経・経A・
商・現

履修コード	110201・110202
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

テーマ〔経済発展と人材・技術〕

講義の内容／
授業スケジュール

4年ゼミは、戦前の日本の近代化・工業化、戦後の経済成長とそれを支えた人材や技術開発、教育制度などについて、各自の問題意識に応じて自由に論題を設定して研究します。12月にはゼミ論文を完成し、論文集に発表します。

〔4年ゼミ〕は、就職活動で会社訪問する機会が多くなるので、プレゼンテーション、ディスカッションが難しくなります。したがって基礎文献、参考資料を使って、日本経済の発展と技術、人材、教育を検証します。

また、〔卒業研究〕は、2年生からゼミで学んできた集大成として各自の問題意識として自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。12月には完成し、15日頃に教務部に提出します。

①詳細は4年ゼミ当初に説明します。

②研究の基礎資料は提供できるものは提供します。足りない所は、駒澤大学図書館、他大学図書館、国会図書館、政府関係機関などから資料収集をします。

③図書館での資料の収集の仕方は、授業中に指導します。

④「卒業研究」の作成の仕方、論述の技法等については「卒業研究手引き」「ゼミ論文の書き方」を配布し、詳細に指導します。

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他

日頃より新聞や雑誌「エコノミスト」「東洋経済」などを読み、日本経済に関心を持つこと。

就職活動で多忙になる時期ですが、差し支えない日は必ず授業に出席して下さい。

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況、完成した「ゼミ卒業論文」(卒業研究)で評価します。

演習の時間に適宜紹介します。

各自の問題意識や論題によって、その都度、適宜紹介します。

4年ゼミでは「卒業研究」を併設しています。

希望する人は併せて履修することができます。

「卒業研究」の進め方は4年ゼミの中で適宜説明します。

履修コード	110401・110402
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい)

2年次・3年次の学習成果を基礎にして卒業論文の作成をめざします。

講義の内容／
授業スケジュール

現代日本企業の物流あるいはマーケティングに係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習Ⅱ」のテーマの、より高度な内容とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

履修コード	110501・110502
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	清水 卓

講義の到達目標(ねらい)

EU諸国の経済社会問題について、自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

講義の内容／
授業スケジュール

年間を通して、現在のEUに関する研究書の講読します。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教科書／テキスト

演習Ⅰを参照のこと。

その他

演習Ⅰを参照のこと。

履修コード	110601・110602
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	鈴木 伸枝

講義の内容／
授業スケジュール

公共経済学のゼミで学んだ知識を生かし、自らの興味をもった事柄について卒論(卒業研究)を書いてもらいます。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書／テキスト

受講者と相談して決定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

履修コード	110801・110802
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	もりおか じん 森岡 仁

講義の到達目標(ねらい)

「卒業研究」の論文作成。
(新規募集はしない)

講義の内容／
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

各自が決定した論文のテーマに沿って議論を重ね、最終的には論文の完成を目指す。
出席状況。
特に使用せず。
論文テーマに沿って適宜指示する。
「卒業研究」を併設。

履修コード	110901・110902
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘

講義の到達目標(ねらい)

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。現代経済過程の成功例、失敗例どちらも最も豊富にもっているアメリカの経験を参照するところから、意外な結論をひきだせるなら卒論は成功といえましょう。

講義の内容／
授業スケジュール

卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が教科書になりますが、それは個々人で異なります。卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。このゼミは、卒業生のほか、外部の人も参加・協力してくれることの多いゼミです。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

経・経A・
商・現

履修コード	111001・111002
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	くどう めい 工藤 芽衣

講義の到達目標(ねらい)

EUとその加盟国の政治経済制度研究を進め、論文作成をめざす。
就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

講義の内容／
授業スケジュール
成績評価の方法
そ の 他

出席、発表、討論参加を総合評価する。
「卒業研究」有。

履修コード	111101・111102
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	そが のぶたか 曾我 信孝

講義の到達目標(ねらい)

アフリカの社会や文化に関係した卒業作品を完成する。
(1) 卒業作品について2回の中間発表会と、公開発表会を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
(3) アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。

成績評価の方法
そ の 他

作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。
「卒業研究」を併設する。

古沢紘造先生の「演習Ⅱ」を履修した学生用

履修コード	111301・111302
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	徳永 俊明

講義の到達目標(ねらい) 発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とそこでの人びとの生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたたかいかいについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさ”と“貧困”を考えます。

講義の内容／授業スケジュール 上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点 何よりも<考える>努力を求めます。
成績評価の方法 <考える>努力をしたかどうかをもって評価します。
参 考 書 考え、討論するための資料を使ってすすめます。
そ の 他 演習Ⅲに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	111401・111402
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	光岡 博美

講義の内容／授業スケジュール 演習Ⅰ、Ⅱの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習Ⅲの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。ゼミ論文の完成の直前の時期には合宿(2泊3日程度)を行い、また、ゼミ論文の発表会の場とします。ゼミでの勉強の総仕上げとしての意味をもつ合宿です。全員参加を原則とします。

成績評価の方法 ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。なお、演習Ⅲには課題研究を併設します。

履修コード	111501・111502
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	勝田 佳裕

講義の到達目標(ねらい) 演習Ⅰ・Ⅱの集大成としてゼミナール論文(「卒業研究」)の作成をめざします。テーマは自由ですが第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容／授業スケジュール 前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいことが予想されますが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。

履修上の留意点 後期はゼミ論の完成に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。
4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法 年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

そ の 他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	111601・111602
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	石川 純治

講義の到達目標(ねらい) 上級会計学の学習、および卒業論文の指導を行います。
卒業論文については、夏休み中に論文のテーマおよびおおよそ章別構成を仕上げる。後期になってそれを発表しながら完成させていくという作業をします。

講義の内容／授業スケジュール ゼミ報告・レポートなどの平常点、及び卒業論文の内容評価。

成績評価の方法 その都度指示します。

教科書／テキスト その都度指示します。

参 考 書 参 考 書

関 連 リ ン ク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>

履修コード	111701・111702
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	<small>あらかき よしひろ</small> 荒木 勝啓

講義の到達目標(ねらい) 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容／授業スケジュール 4年生は経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。昨年度は回帰分析モデル、移動平均モデルを使い株式の売買シミュレーションを行なった。今年度は重回帰プログラミングの成果をもとにさまざまな社会現象の重回帰分析とその統計的検定を行う。

成績評価の方法その他 オリジナルモデルの作成と検定(ゼミ論)80、出席点20。
プログラミングやコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得て欲しい。

履修コード	111801・111802
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	<small>そが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義の到達目標(ねらい) 卒業研究の指導と実社会に向けてのマーケティングの問題点の検討をねらいとする。

講義の内容／授業スケジュール 1～15回 ゼミ生の就職希望企業のマーケティング分析。
16～25回 卒業研究の指導およびマーケティングの社会問題の検討。
26～29回 合同ディベート大会の準備、合同ディベート大会(12月の第2日曜に開催予定)
30回 合同ディベート大会の反省会

履修上の留意点 就職活動のため出席が困難な場合があるでしょうが、極力出席することを義務付けます。なお、併設している卒業研究受講者は、最低1回の発表を義務付けます。

成績評価の方法 平常点(出席状況40%、授業への取り組み態度20%、ディベート大会参加40%)

教科書／テキスト 特に指定しない

参考書 必要に応じて紹介する。

経・経A・
商・現

履修コード	111901・111902
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義の到達目標(ねらい) 本演習は演習Ⅰ・Ⅱの継続として位置づけています。現代企業の経営管理に関わるテーマを中心に、演習Ⅱの夏休み後に決定した卒業論文の作成に取り組みます。

講義の内容／授業スケジュール 演習Ⅰ・Ⅱの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書／テキスト 未定

参考書 未定

その他 「卒業研究」(4単位)を併設します。

履修コード	112001・112002
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	小杉 修二

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

演習Ⅰと同じですので、そちらを見てください。

基本的には演習Ⅰ、Ⅱに同じです。演習Ⅰでは温暖化のメカニズム、その害悪について学び、演習Ⅱではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか(①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減)について考えます。

Ⅲはその総仕上げとして、2050年の世界の人口、経済規模を予測し、そこからどれほどの温室効果ガスが出てくるかを考えます。そして、海と森林が吸収してくれる分を差し引けば、放置しておいたときに大気中の炭酸ガス濃度を増やす分です。これらを「自然エネルギー」でどれだけ代替できるのか、また、省エネルギーの可能性はどれだけあるのかを考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。先進国と途上国では所得に大きな格差があります。貧しい国は豊かな国の生活レベルに追い付くこと、特に古典的貧困を解消することを優先しています。豊かな生活を謳歌している先進国の人間がその現実を知らながら、中国人やインド人はこれまで車に乗っていなかったのだから、これからもそれで頼むといって通じるのでしょうか。それどころか、先進国の中にも「格差」があって、これらを解決するためには経済成長が必要だと議論がされています。これまでは経済成長の中で格差問題は解決されてきたと考えられていました。一説によれば、21世紀末の世界の経済規模は今の10倍程度とされています。その時には炭酸ガスの排出規模も10倍程度になるでしょう。これを省エネルギーで乗り切るとしたら、効率を10倍にすることが最低限の条件です。トヨタのプリウスで言えばガソリン1リッターで140キロメートル走ることになります。たぶん不可能ですね。私たちが挑戦する課題はこうしたものです。

この課題を解決するのがいかに難しいかはすぐ想像できます。発想を変えて炭酸ガスを出さないエネルギーへの転換が必要です。つまり、今はエネルギー革命の時代です。これに対応して経済も全面的に変わる時代です。それにはどんな技術、社会の仕組みが必要かを考えます。

第1-5週: 2050年の世界の人口と経済規模

第6-10週: 代替エネルギーの可能性

第11-15週: 温暖化対策として省エネルギーの可能性

第16-20週: 炭酸ガスの吸収源の可能性

第21-25週: 巨大技術の可能性とライフスタイル変更の可能性

第26-30週: 炭酸ガス削減の国際的取り決めの方法

演習Ⅰと同じ。

出席状況とゼミへの参加の積極性、発言を総合して判定。

演習Ⅰの継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

演習Ⅰと同じ。

(卒業研究)あり。通常のゼミの4単位とは別に卒業研究の4単位が当てられる。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

履修コード	112101・112102
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	番場 博之

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

番場ゼミ(演習Ⅲ)の目的は、流通論の研究と卒業論文の執筆である

(1~20) 企画授業・プレゼンテーション

(21~30) 卒論報告

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト

詳細なシラバスは開講時に配布

日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価

使用しない

履修コード	112201・112202
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	福原 好喜

講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書

経済理論、経済学史、日本経済及び世界経済について、各自のテーマに合わせた卒業指導を行う。
原則として4年生からの募集は行わない。
成績は出席点とレポートでつける。
福原好喜『総理に忠告す——日本経済危機水域に入れり——』、『総理お間違えではありませんか?—銀八教授内閣への直言—』、『Warm Heart』、『私も生命 汝も生命』、『熱血教授 心の教育』

履修コード	112301・112302
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	安元 稔

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール
準備 学 習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

演習Ⅰ・Ⅱで勉強して来た経済史の知識に基づいて、より専門的なテーマを選び、ゼミナール論文・卒業研究論文にまとめることが、演習Ⅲの目的です。
ゼミナール論文・卒業研究論文の中間発表と指導を中心に、演習を進めます。
ゼミナール論文・卒業研究論文ともに、タイトル、概要と参考文献(邦文文献15冊、欧文文献5冊)を提出し、これに基づいて、中間報告をしてもらいます。指示された参考文献を予め精読し、報告して下さい。
ゼミナール論文、卒業研究論文を書くための「文献・史料目録」をまず提出してもらいます。提出された目録に記載された文献・史料が妥当であれば、これに基づいて、ゼミナール論文、卒業研究論文作成を進めてもらいます。文献・史料をよく読み、ゼミナール論文の内容を豊富にして下さい。ゼミナール論文、卒業研究論文の内容と出席状況を勘案して成績を評価します。
特に指定しません。
特に指定しません。
同時に「卒業研究」を履修して、所定の手続きを経て、「卒業研究」論文を提出し、口頭試問を受けて合格したゼミナール生に対しては、更に4単位を与えます。「卒業研究」論文の詳しい内容・形式、分量等については、経済学部事務室前においてある小冊子、『卒業研究』の手引き』を参照して下さい。

経・経A・
商・現

履修コード	112401・112402
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
参 考 書
そ の 他

近現代日本の経済史・経営史に関連したテーマにもとづく卒業研究(卒論)を、教員の指導を受けつつ執筆する。受講生は、執筆に必要な資料や統計データをできるかぎり渉猟し、実証密度の高い分析作業に挑んでもらう。
(1)前期ガイダンス、(2)～(14)目次案の作成、論文執筆や図表作成の技法、先行研究のサーベイ、参照資料・統計データの収集などに関する指導、(15)卒業研究中間報告会、(16)後期ガイダンス、(17～29)卒業研究の草稿作成と個別添削指導、(30)卒業研究最終報告会
*詳細については、前期ガイダンス、後期ガイダンス時に知らせる。
受講生の新規募集は行わない(演習Ⅱの継続者のみ)。
卒業研究の作成に取り組む姿勢と論文の完成度で評価する。
個別指導の中で、適宜紹介していく。
「卒業研究」を併設する。

履修コード	112501・112502
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	中濟 光昭

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文作成を中心にゼミを進めます。各自の研究内容における問題点を明確にし、それについて全員で討論・アドバイスをすることで、お互いの卒業論文の内容を高めていくことを目的とします。

講義の内容／授業スケジュール

- ・研究計画書作成
- ・論題の提出
- ・研究テーマに関する調査・分析
- ・レジュメ作成、レポーティング、発表

履修上の留意点

- ・ゼミへの積極的な参加を期待しています。
- ・追加募集は致しません。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

出席、発表とレポートの内容、積極的な討議への参加など、平常点による総合評価を行います。別途指示

ゼミではパソコンを使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

関 連 リ ン ク <http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakasumi/>

履修コード	112601・112602
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	友松 憲彦

講義の到達目標(ねらい) 演習Ⅱ（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究をまとめます。

講義の内容／授業スケジュール 文献講読と卒業研究の中間報告を並行しておこないます。

履修上の留意点 「経済史」、「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法 出席、発表、討論、レポートの状態を総合して評価します。

教科書／テキスト 最初の授業で指示します。

そ の 他 卒業研究を併設します。

履修コード	112801・112802
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	鄭 章淵

講義の到達目標(ねらい) この授業の目的は、ゼミ生のみなさんに第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことである。

講義の内容／授業スケジュール

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定している。同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は「雁行型発展」と称されてきた。

ところが、1997年のアジア通貨危機を機に東アジア経済は混迷に陥り、雁行型発展に乱れが見られるようになった。今日の事態は、東アジア経済を発展の側面からのみ捉えるのではなく、発展と危機の両面を視野に入れたアプローチが必須であることを示している。日本の経済的パートナーとして東アジア諸国の重要性が増している現状を鑑みると、日本の将来を担う皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言える。

演習Ⅰ・Ⅱでの学習を基礎に初回授業時に発表する年間スケジュールに則って「卒業研究」（卒業論文）を作成する。ゼミ生各自のテーマに従い、グループおよび個別指導を行う。

アジア経済に関する新聞記事を常日頃から読むようにすること。

この演習では3年間のゼミ活動の集大成として卒業論文の作成を目標としているので、ゼミ生の皆さんには論文の完成に向けて大いに努力してもらいたい。

履修上の留意点 出席率、卒業研究の内容を参考に評価する。

成績評価の方法 「卒業研究」を併設する。

そ の 他

経・経A・
商・現

履修コード	112901・112902
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	貝塚 亨

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

卒業論文を完成させることを目標とする。そのために、他のゼミ生との積極的な討議を望む。
以下の通りである。
前期 資料収集・読解及び討議、目次の完成
後期 進捗状況の定期報告及び討議

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

卒業論文完成にむけた資料読解を日常的に行うこと。
就職活動等のやむを得ない事情以外は、必ず出席し、討議に参加すること。
卒業論文が中心となるが、その作成過程も評価する。
指定しない。
適宜紹介するが、資料収集は、基本的に学生が行うものである。

履修コード	113001・113002
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	堀 龍二

講義の到達目標(ねらい)

演習ⅠとⅡの履修を前提にし、その集大成として各自が興味あるテーマに関して論文ないし本格的レポートを作成することを目指す。テーマは広く労働に関連する問題が望ましい。

講義の内容/
授業スケジュール

各自のテーマに沿って、調べたことや纏めたことを、逐次報告してもらい、全員で討論・アドバイスをする形式で進める。あわせて、問題意識の深め方、情報収集の仕方・整理、論理的な記述の方法、レポートや論文の作法なども身に付けていくことにする。

履修上の留意点

興味をもった問題の検討をまとめるという作業は考えることそのものである。そうした作業は必ずや役に立つ。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

ゼミでの積極的な姿勢、レポート・論文への取り組みと成果で評価します。
ゼミ生と話し合っで決定します。
適宜指示します。
「卒業研究」を併設します。

経・経A・
商・現

履修コード	113101・113102
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	松井 柳平

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

卒論を完成させる。
卒論指導。

履修上の留意点
成績評価の方法

受講生は、3年次からの継続に限る。
成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

教科書/テキスト
参考書
その他

必要な場合、輪読をおこなう。テキストは、ゼミ生と相談の上、決定する。
授業のなかで必要に応じて、指示する。
「卒業研究」を開設する。

履修コード	113201・113202
科目名	演習Ⅲ 卒業研究
担当者名	阿部 弘

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

テーマ：日本経済論
「卒業研究」を併設し、演習Ⅲおよび「卒業研究」の指導を行います。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。
「卒業研究」の論文発表ができない場合は、単位にはなりません。

履修コード	100251・100252	
科目名	会計プロフェッショナルクラスⅠ（会計士）	会計プロフェッショナルクラスⅠ（税理士）
担当者名	寺坪 修・石川 純治・石川 祐二・小栗 崇資・北口 りえ・森田 佳宏	

講義の到達目標(ねらい) 将来、公認会計士・税理士となることを目指している学生を対象として、資格試験の合格目標達成を側面から支援するとともに、学生生活が試験対策・受験勉強のみに偏ることのないよう指導して行きます。そのため、履修学生の日常生活等に関する相談にも対応し、かつ、職業会計人となった場合において役立つと思われる事柄で会計関連教科において触れる機会が少ないテーマについて、幅広く取り上げていきます。

講義の内容／授業スケジュール おおむね、以下に掲げる「経営・会計・税務・監査」に関するテーマ（順番は目安であり、適宜、入れ替えや変更がある）について、講義とクラス討議を、演習（ゼミ）形式で進めます。その他、資格取得のための学習相談・指導や「会計研究」のレポート課題の出題および解説も、適宜、講義時間内に行います。

(1) イントロダクション、(2～4) インベスター・リレーションズ (IR) ・アニュアルレポート、(5～8) 企業倫理コンプライアンス・リスクマネジメント（内部統制を含む）・職業倫理（公認会計士・税理士）、(9～12) 公会計監査（国・地方自治体・非営利法人）・中小企業の会計指針、(13～16) 企業利益と課税所得・企業分析と診断・経営問題解決方法論（コンサルティング手法）、(17～20) 時事問題、(21～24) 「会計研究」レポート課題の出題および解説、(25～30) 学習相談および指導（クラス全体および履修生別）。

準備学習 事前に次回の講義内容を伝えた場合には、インターネット・新聞雑誌・書籍等で、情報収集や予習をすること。また、日頃、プラス思考で幅広く知識獲得を心がける（常にアンテナを張る）こと。

履修上の留意点 職業会計人には「創造性・自主性・先見力・調査力」等が求められます。国家試験対策（受験勉強）に十分な時間をかけることは当然ですが、上記「講義のねらい」にもあるように、幅広い知識（ひいては哲学等の教養）も養う必要があります。クラスへの積極的参加をとおして、それらの能力の開発・養成を心がけてください。

成績評価の方法 出席率・討議参加度を勘案して、総合的に評価します。テーマについての発表や、別途（「会計研究」とは別に）、クラスレポートの提出を求めるともあります。

教科書／テキスト 他に 特指定しません。必要な資料は配布します。

その他の 紹介します。

1. 「会計プロフェッショナルクラスⅠ（会計士）」には、「会計研究A」の(1)～(5)が併設されます。

併設される「会計研究A」については、(1)が財務会計論、(2)が管理会計論、(3)が監査論、(4)が租税法、(5)が「企業法」となります。いずれも、専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスⅠ（会計士）」の前期と後期に、それぞれ「会計研究A」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究A」の評価は、前期および後期に「会計研究A」の(1)～(5)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

2. 「会計プロフェッショナルクラスⅠ（税理士）」には、「会計研究B」の(1)および(2)が併設されます。

併設される「会計研究B」については、(1)が簿記論、(2)が財務諸表論となります。いずれも、専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスⅠ（税理士）」の前期と後期に、それぞれ「会計研究B」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究B」の評価は、前期および後期に「会計研究B」の(1)および(2)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

履修コード	100261・100262
科目名	会計プロフェッショナルクラスⅡ（会計士） 会計プロフェッショナルクラスⅡ（税理士）
担当者名	寺坪 修・石川 純治・石川 祐二・小栗 崇資・北口 りえ・森田 佳宏

講義の到達目標(ねらい)

本クラスは、「会計プロフェッショナルクラスⅠ」を履修済みの学生で公認会計士試験・税理士試験を受けることとなる者を対象として、引き続き資格試験の合格目標達成を側面から支援することにも、学生生活が試験対策・受験勉強のみに偏ることのないよう指導して行きます。そのため、履修学生の日常生活等に関する相談にも対応し、かつ、職業会計人となった場合において役立ちと思われる事柄で会計関連教科において触れる機会が少ないテーマについて、幅広く取り上げていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

おおむね、以下に掲げる「経営・会計・税務・監査」に関するテーマ（順番は目安であり、適宜、入れ替えや変更がある）について、講義とクラス討議を、演習（ゼミ）形式で進めます。その他、資格取得のための学習相談・指導や「会計研究」のレポート課題の出題および解説も、適宜、講義時間内に行います。

(1) イントロダクション、(2～4) 会計基準の統合（IFRS等）、(5～7) 内部統制（システム監査を含む）、(8～9) 職業倫理（公認会計士・税理士）、(10～12) 公会計（東京都の会計基準・システム等）、(13～15) 経営コンサルティングの動向、(16～17) 国際税務、(18～20) 時事問題、(21～24) 「会計研究」レポート課題の出題および解説、(25～30) 学習相談および指導（クラス全体および履修生別）。

準備学習

事前に次回の講義内容を伝えた場合には、インターネット・新聞雑誌・書籍等で、情報収集や予習をすること。また、日頃、プラス思考で幅広く知識獲得を心がける（常にアンテナを張る）こと。

履修上の留意点

職業会計人には「創造性・自主性・先見力・調査力」等が求められます。国家試験対策（受験勉強）に十分な時間をかけることは当然ですが、上記「講義のねらい」にもあるように、幅広い知識（ひいては哲学等の教養）も養う必要があります。クラスへの積極的参加をとおして、それらの能力の開発・養成を心がけてください。

成績評価の方法

出席率・討議参加度を勘案して、総合的に評価します。テーマについての発表や、別途（「会計研究」とは別に）、クラスレポートの提出を求めることもあります。

教科書／テキスト
参考書
その他

特に指定しません。必要な資料は配布します。

そのつど紹介します。

1. 「会計プロフェッショナルクラスⅡ（会計士）」には、「会計研究A」の(6)～(8)が併設されます。

併設される「会計研究A」については、(6)が上級財務会計論、(7)が上級管理会計論、(8)が上級監査論となります。いずれも、専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスⅡ（会計士）」の前期と後期に、それぞれ「会計研究A」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究A」の評価は、前期および後期に「会計研究A」の(6)～(8)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

2. 「会計プロフェッショナルクラスⅡ（税理士）」には、「会計研究B」の(3)～(5)が併設されます。

併設される「会計研究B」については、(3)が上級簿記論、(4)が上級財務諸表論、(5)が税法となります。いずれも、専任教員が副担当として受け持ちますが、(5)の税法については履修時に登録が必要となります。「会計プロフェッショナルクラスⅡ（税理士）」の前期と後期に、それぞれ「会計研究B」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究B」の評価は、前期および後期に「会計研究B」の(3)～(5)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

経・経A・
商・現

履修コード	100271・100272
科目名	会計プロフェッショナルクラスⅢ（会計士） 会計プロフェッショナルクラスⅢ（税理士）
担当者名	寺坪 修・石川 純治・石川 祐二・小栗 崇寛・北口 りえ・森田 佳宏

講義の到達目標(ねらい)

本クラスは、「会計プロフェッショナルクラスⅡ」を履修済みで既に公認会計士試験・税理士試験を受けた学生を対象として、当初の目的を達成した学生には今後の進路を、また、引き続き受験を行う学生にはその合格目標達成を、側面から支援するとともに、学生生活が試験対策・受験勉強のみに偏ることのないよう指導して行きます。そのため、履修学生の日常生活等に関する相談にも対応し、かつ、職業会計人となった場合において役立つと思われる事柄で会計関連教科において触れる機会が少ないテーマについて、幅広く取り上げていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

おおむね、以下に掲げる「経営・会計・税務・監査」に関するテーマ（順番は目安であり、適宜、入れ替えがある）について、講義とクラス討議を、演習（ゼミ）形式で進めます。その他、資格取得のための学習相談・指導および進路に関する相談・指導を行います。

(1) イントロダクション、(2～5) 職業会計人の動向、(6～9) 国際財務報告基準 (IFRS) および国際監査基準 (ISA) の動向、(10～13) 職業会計人と企業経営者の関わり、(14～17) 外部講師 (実務家等) による講義、(18～23) 時事問題、(24～30) 受験および進路に関する相談および指導。

準備学習

事前に次回の講義内容を伝えた場合には、インターネット・新聞雑誌・書籍等で、情報収集や予習をすること。また、日頃、プラス思考で幅広く知識獲得を心がける（常にアンテナを張る）こと。

履修上の留意点

職業会計人には「創造性・自主性・先見力・調査力」等が求められます。国家試験対策（受験勉強）に十分な時間をかけることは当然ですが、上記「講義のねらい」にもあるように、幅広い知識（ひいては哲学等の教養）も養う必要があります。クラスへの積極的参加をとおして、それらの能力の開発・養成を心がけてください。

成績評価の方法

出席率・討議参加度を勘案して、総合的に評価します。テーマについての発表やクラスレポートの提出を求めることもあります。

教科書／テキスト

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書

そのつど紹介します。

その他

1. 「会計プロフェッショナルクラスⅢ（会計士）」には、「会計研究A」の併設はありません。
2. 「会計プロフェッショナルクラスⅢ（税理士）」には、「会計研究B」の(6)が併設されます。併設される「会計研究B」の(6)は、上級税法となり、専任教員が副担当として受け持ちますが、クラスの履修時に登録が必要となります。この場合、前期に、レポート課題の説明および解説を行います。なお、その評価は、当該レポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

経・経A・
商・現

履修コード	101151
科目名	ITプロフェッショナルクラス I
担当者名	<small>なかずみ みつあき</small> 中 濟 光 昭

講義の到達目標(ねらい) 当科目は基本的な IT の知識を持ち、海外のプログラマやリーダーと英語や中国語で打ち合わせを行い、業務知識やプロジェクト管理能力、コミュニケーション力にたけた IT プロフェッショナルを養成することを目的としている。そのため、専門学校における情報系資格取得や国内・海外 IT 企業でのインターンシップ等も単位として認める特別演習として開講する。IT をデザインする力は様々な職種に有効であるが、特に将来の進路として IT コンサルタントを考えている学生の参加を期待する。

講義の内容 / 授業スケジュール

- (1) ガイダンス
- (2) ~ (5) 基礎的な英語文献を調査しまとめる練習とレポーティング、プレゼンの練習、コンサルタントとして必要な心構えやマナー、会話技法、ユニークな発想を発案するための演習 (KJ 法、ブレインストーミング法など)
- (6) ~ (30) ドイツ SAP 社の ERP 認定資格取得のための研修

準備学習
履修上の留意点

- IT パスポートや簿記の資格を取ることが望ましい。
- ・当科目は演習と同等の科目であるので、演習 I を同時に履修することはできない。
 - ・このクラスでは教員と相談の上、専門学校に半年間通学し資格試験を受けることを推奨している。
 - ・このクラスではインターンシップに参加することが必須であり、交通費等インターンシップにかかる費用は自己負担となる。
 - ・合宿、課外イベントなどには原則として出席すること。
 - ・メールの読み書きやワープロを打つといったことが必須である。無線でインターネットに接続できるノートパソコンを持っていることが望ましい。

成績評価の方法
教科書 / テキスト
参 考 書
そ の 他

- 出席と課題提出、学年末に行う発表とレポート提出、イベントへの参加を総合評価する。
適宜指示する。
- 適宜指示する。
- ・編入学および転部・科の学生を主な対象とする追加募集を行うので、履修許可を受けていないが、履修したい者は4月初回の授業に必ず出席すること。
 - ・当科目に併設される IT 研究 I ~ V は専門学校での資格取得と学習状況および当クラスを指導する副担当が課すレポートに基づき成績評価する。
 - ・当科目に併設される IT インターンシップ I、II では、担当者と派遣先の IT 企業が職務内容を決め、それによってインターンシップを行い、最終発表および派遣先からの勤務状況報告に基づいて成績評価する。
 - ・IT プロフェッショナルクラス III では卒業制作を併設する。

関 連 リ ン ク

<http://www.komazawa-u.ac.jp/gakubu/keizai/index.html>

経・経A・
商・現

履修コード	101171・101172・101173
科目名	ITプロフェッショナルクラスⅡ ITプロフェッショナルクラスⅢ 卒業研究
担当者名	寺尾 創・中濟 光昭

講義の到達目標(ねらい)

当科目は基本的なITの知識を持ち、海外のプログラマやリーダーと英語や中国語で打ち合わせを行い、業務知識やプロジェクト管理能力、コミュニケーション力にたけたITプロフェッショナルを養成することを目的としている。そのため、専門学校における情報系資格取得や国内・海外IT企業でのインターンシップ等も単位として認める特別演習として開講する。特に将来の進路としてITコンサルタントを考えている学生の参加を期待する。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

(1) ガイダンス

(2) - (30) 事例を設定して、ヒアリングを行い提案を作成するシステム提案・開発演習

- ・当科目は演習と同等の科目であるので、演習Ⅱ、演習Ⅲを同時に履修することはできない。
- ・このクラスでは教員と相談の上専門学校に半年間通学し資格試験を受けることなどが推奨される。
- ・このクラスではインターンシップに参加することが必須であり、交通費等インターンシップにかかる費用は自己負担となる。
- ・合宿、課外イベントなどには原則として出席すること。
- ・メールの読み書きやワープロを打つといったことが必須である。インターネットに接続できるノートパソコンを持参することがある。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他の他

出席と課題提出、学年末に行う発表とレポート提出、イベントへの参加を総合評価する。

適宜指示する。

適宜指示する。

・編入学および転部・科の学生を主な対象とする追加募集を行うので、履修許可を受けていないが履修したい者は4月初回の授業に必ず出席すること。

・当科目に併設されるIT研究Ⅰ-Ⅴは専門学校での資格取得と学習状況および当クラスを指導する副担当が課すレポートに基づき成績評価する。

・当科目に併設されるITインターンシップⅠ、Ⅱでは、担当者と派遣先のIT企業が職務内容を決め、それによってインターンシップを行い、最終発表および派遣先からの勤務状況報告に基づいて成績評価する。

・ITプロフェッショナルクラスⅢでは、卒業研究(システム開発)を併設する。

・ITプロフェッショナルクラスⅢはITプロフェッショナルクラスⅡの単位を修得していることが受講条件である。新規募集は行わない。

経・経A・
商・現

専 門 教 育 科 目

(2) 経済学科フレックスB

履修コード	306701
科目名	経済理論 I A・資本の原理
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい)

私たちが生活している資本主義社会は、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産・分配・消費の在り方を規定している社会です。現代社会はますます複雑なものとなっているため、まず資本主義経済の一般的な仕組みや法則を理解することが必要です。この「経済理論A」では、科学的な方法に基づいて打ち立てられたマルクスの経済理論を中心に話を進めていきます。

この講義では、経済理論と現実の経済問題との関連についてもできる限り触れてみたいと考えています。受講生の皆さんも、新聞・テレビ・ラジオなどの報道に注意を向け、世界や日本国内で生じている政治・経済問題について考えるよう心がけて欲しいものです。

講義の内容/
授業スケジュール

この講義は、次のようなテーマに沿って進められます。

- 1 経済学を始めるにあたって
- 2～3 経済学とはどのような学問か？
- 4～6 商品とは何か？
- 7～8 貨幣とは何か？
- 9～10 貨幣の資本への転化
- 11～14 資本の生産過程
- 15～16 労賃とは何か？
- 17～18 資本の蓄積過程
- 19～20 資本の循環と回転
- 21～22 社会的総資本の再生産と流通
- 23～25 利潤と価値の生産価格への転化
- 26～ 利潤率の傾向的低下の法則

準備学習

現実の経済への問題意識を養うため、新聞に絶えず目を通したり、テレビ・ラジオなどのニュースに注意を払うこと。

履修上の留意点

経済理論A(資本の原理)は体系的なまとまりを持っており、講義の全体を通して聞くことによつてよく理解できるという性質の科目です。授業には、年間を通して毎回出席することを勧めます。

成績評価の方法

授業時間中に小レポートを書き、提出していただくことがあります。成績評価は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案して行ないます。

教科書/テキスト

一井 昭著『ポリティカル・エコノミー』(桜井書店) 2,520円

参 考 書

大石雄爾著『商品の価値と価格』(創風社) 3,600円

経 B

履修コード	306801
科目名	経済理論 I B・経済システムの原理
担当者名	あらい ゆきお 有井 行夫

講義の到達目標(ねらい)

現代の私たちの経済社会の運動は「資本」の運動原理に基づいている。この講義の前半部分は〈A〉としてその原理の根本を明らかにしてきたが、この後半部分では、現実の資本の運動がどのようなことに基づいているのかを明らかにして、現代社会が直面している諸問題に取り組んでいきたい。

講義の内容/
授業スケジュール

講義は前期15回・後期15回の年間30回の予定で行う。

A: 利潤の生産(前期01-07回)

- 1 剰余価値と利潤
- 2 利潤の生産と生産価格体系の形成
- 3 社会的虚偽の価値体系の形成

B: 利潤体系の運動(前期08-15回)

- 1 利潤体系とその構成要素
- 2 利潤の分配と再分配
- 3 資本の商品化

C: 恐慌と独占(後期15回)

- 1 過剰生産恐慌とその必然性(01-05回)
- 2 失業とその産業予備軍機構化(06-10回)
- 3 労働組合と独占体(11-15回)

履修上の留意点

この科目は経済理論の応用部分を含むので、積み重ねが肝要である。したがって出席は重視される。

成績評価の方法

成績の評価は出席とレポートによる。

レポートは年間4回の予定である。

教科書/テキスト

「教科書」は用いないが、次の文献を重要参考書として揚げておく:

参 考 書

* マルクス:『資本論』。大月書店、国民文庫 1～9分冊

* レーニン:『帝国主義論』。大月書店、国民文庫

履修コード	306901
科目名	経済理論Ⅱ・ミクロ経済学
担当者名	まつい りゅうへい 松井 柳平

講義の到達目標(ねらい) 理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容／
授業スケジュール

<前期>
ガイダンス 講義の概要等説明
あるパン屋の話
ナッシュ均衡
バックワード・インダクション
サブゲーム完全均衡

<後期>
交渉ゲーム
オークション
消費者理論
金融とリスク管理
契約と誘因

準備学習 事前に、中学時代の数学の計算問題等について、理解と計算能力を完全にしておくこと。講義プリントを、YeStudy から事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

履修上の留意点 この講義の履修においては、小学校・中学校・高校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書を事前に十分よく復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、

◎小学校の算数における「数と計算」(個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分,)、「数量関係」(表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例)

◎中学校の数学における「数と式」(正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等)、「数量関係」(比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等)

◎高校の「数学Ⅰ」における「方程式と不等式」、「二次関数」

以上について理解ができていない人は、この講義を理解するのに困難を感じる場合が多々あるだろう。こうした基礎学力について自信がない受講生は、必ず、算数や中学時代の数学の勉強を自学自習すること。

また、受講生の予習と復習を前提とし、授業中に学生に答えを尋ねる場合が多々ある。したがって、受講生はYeStudy に登録し、講義プリントを、YeStudy から事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法 成績評価は基本的に、定期試験(年度末)に基づくが、授業中に自ら手を上げて練習問題を自発的に発表して内容がよかった人には成績評価に加味する。

また、夏期休暇中にレポート課題を課す場合がある(レポート課題の有無は7月の授業中にアナウンスする)。

教科書／テキスト
参 考 書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』(日本評論社) ISBN4-535-55202-9
岩田 規久男『経済学を学ぶ』(筑摩書房)(ちくま新書) ISBN4-480-05602-5
武藤 滋夫『ゲーム理論入門(日経文庫:経済学入門シリーズ)』(日本経済新聞社)
ISBN: 4532108292

渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』(ナツメ社) ISBN: 4816337458

渡辺 隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』(日本経済新聞出版社) ISBN: 4532133467

そ の 他 受講生の予習を前提とし、授業中の学生による発表によって授業を進めていく。

履修コード	307001
科目名	経済理論Ⅱ・マクロ経済学
担当者名	浅野 克巳

講義の到達目標(ねらい)

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはベアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容／
授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の働き
- 22～23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つおすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない

成績評価の方法

定期試験(年度末)と授業内試験(5～7回実施予定)、およびレポート(1～2回)の成績を総合評価する。

教科書／テキスト

テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。

参 考 書

参考書 公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

そ の 他

授業中わからないこと、その他問題点などあったら、オフィスアワーを設けていますので利用してください。

経 B

履修コード	307301
科目名	経済史
担当者名	やすもと 安元 稔

講義の到達目標(わらい) この講義の目的は、社会科学的なものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。現在、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパにおける中世以降の経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・組織・慣習・技術を発展させてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年までのヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近世の誕生を告げたおよそ1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみて行きます。

最後に、現代社会の根幹を形作った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、アジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明します。

講義の内容/
授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か：(1) 『経済史』の対象と課題、(2-4) 資源配分の方法、第2編 外国経済史を学ぶ意味：(5-7) ヨーロッパとアジア、(8) 環境・政治支配の型と経済発展、第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展：(9-12) 中世の経済と社会、(13-17) 近世の幕開け、(18-21) 工業化のモデル、(22-24) 最初の工業国家、(25-28) 工業化の伝播と拡大、(29-30) 国際経済の生成と発展

準備学習

ネット上に公開する講義資料、参考書、講義の最初に配布する参考文献を参照して、事前の準備をするよう心がけて下さい。

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多く出てきます。億劫がらずに調べ、理解することが必要です。受講者は、授業スケジュール(シラバス)、参考文献リストを持参し、講義資料(ネット上に公開)をいつも参照して下さい。

経 B

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに、E. L. ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』を読み、レポート(4,000字以上＝40点配点)を提出してもらい、後期試験(60点配点)と総合して成績を評価します。

教科書/テキスト
参考書

特に指定しません。
E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』(名古屋大学出版会)
(ISBN4-8158-0389-7)

その他

授業の方法は、講義方式です。Power Point・紙媒体資料を使って説明します。年間の講義資料をネット上に公開します。アクセスの仕方、その他は講義中に知らせます。

履修コード	093401・307401
科目名	西洋経済史
担当者名	ともまつ よしひこ 友松 憲彦

講義の到達目標(ねらい)

この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史を説明しますが、中心は18世紀末から19世紀にかけての工業化(産業革命)の諸問題です。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を中心とする「北アメリカ」、そして日本や近年成長著しい「アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化はどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。また、工業化が引き起こした社会問題に対して、どのような改革が進められたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ(とりわけイギリス)の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化が他の地域にどのような影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋経済の歴史を学び、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 講義のねらい

(1) 資本主義市場経済

2. 前近代の経済 ―封建制―

(2) (3) 農村と農業、(4) (5) 都市と商工業

3. 資本主義の成長

(6) (7) 「封建制の危機」と資本主義の誕生、(8) (9) 農村工業の成長、(10) 農業革命、

(11) 海外市場の発達、(12) 国内市場の発達

4. 資本主義の確立 ―イギリス産業革命(工業化)

(13) 産業革命の原因、(14) (15) 産業革命の過程、(16) (17) 産業革命の結果、

(18) (19) 経済・社会問題の改革

5. 世界資本主義の形成

(20) イギリス経済と世界経済、(21) (22) (23) 後発国の産業革命、(24) (25) 脱工業化

6. 資本主義の変質

(26) 「大不況」と資本主義の構造変化、(27) 国際経済、(28) (29) 帝国主義と植民地

7. まとめ

(30) 現代への展望

成績評価の方法
教科書/テキスト

定期試験(年度末)と授業中に行う小レポートにより評価します。

とくに指定しませんが毎回資料を配布します。講義の理解にとって重要なものですから必ずファイルしてください。

参 考 書

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』ミネルヴァ書房、1992年

岡田泰男編著『西洋経済史』八千代出版、1996年

原輝史・工藤章『現代ヨーロッパ経済史』有斐閣、1996年

岡田泰男著『アメリカ経済史』慶応義塾大学出版会、2000年

楠井他著『エレメンタル西洋経済史』英創社、2006年

三谷・並木・月脚編『大人のための近現代史：19世紀編』東京大学出版会、2009年

経B

履修コード	307501
科目名	商学総論
担当者名	おろがき かつら 大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい)

大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～3) 商品、貨幣および資本 (4～7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8～16) 資本の流過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17～20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21～28) 商品買取資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29～30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤

成績評価の方法
教科書/テキスト

成績は期末試験により評価します。
大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円
大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

履修コード	307611
科目名	企業経営学 a
担当者名	なとり しゅういち 名取 修一

講義の到達目標(ねらい)

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容／
授業スケジュール

企業経営学 a では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。そこでは、単に企業そのものの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的連関の構図の把握を目指す。

まず、資本と労働の構造的・機能的な関係からの二重性、また国内・国際市場との複層性を理解する。その上で、国際社会化、情報社会化の展開とともに、たとえば労働生産性の追求と超高齢社会、人々の生活と機械的合理主義、国内ならびに国際的格差の構造化、自然環境や生活圏の保全と物質的豊かさの追求問題等を考察し、広い視野から企業の実像を探る。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。
受講態度 (出席状況)・定期試験により評価する。
百田義治編著『経営学 基礎』(中央経済社)
鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』(税務経理協会)、
名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』(同友館)

そ の 他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

経 B

履修コード	307621
科目名	企業経営学 b
担当者名	なとり しゅういち 名取 修一

講義の到達目標(ねらい)

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容／
授業スケジュール

企業経営学 a で理解した企業活動の構造的理解の上から立って、経営学の体系的理解を目指す。経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的理解と統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるように努めたい。

企業による生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければならない。今日、企業経営活動は構造改革が展開され、またそれに伴ってさまざまな制度改革が勧められている。「日本的経営」の優位性が変異し、従来とは大きく様変わりしてきている。後期の授業は、学生自身が積極的に問題視角を形成していくよう、講義の進行に努めたい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。受講態度（出席状況）・定期試験により評価する。

百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、

名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）

そ の 他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

履修コード	307801
科目名	民法一部
担当者名	おだ てるこ 織田 晃子

講義の到達目標(ねらい)

民法総則、物権が講義の対象です。具体的な事件、従って判例をなるべく使って基礎的な力をつける。

講義の内容／
授業スケジュール

(1～4) 権利の主体、特に自然人について権利能力、意思能力、行為能力、不在者、失踪宣告
(5) 権利の客体 (6～9) 権利の変動として法律行為、意思表示、代理、無効及び取消、時効等
(10～12) 物権変動 (13～15) 抵当権 (16～20) 譲渡担保 (21～22) 仮登記担保 (23～25) 所有権留保 (26～30) 買戻し・再売買の予約

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
そ の 他

六法は必ず持参すること

期末試験の成績による

『民法第三版①総則・物権法』（勁草書房）、ポケット六法（有斐閣）

プリント配布

経 B

履修コード	308201
科目名	日本経済史
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい) 経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容／授業スケジュール (1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望

準備学習 講義の内容およびテキストのページ範囲は、前回講義の最後の時間に指示する。講義は、受講生がテキストにあらかじめ目を通していることを前提に行う。

履修上の留意点 毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がなくなってしまうことを意味するので、くれぐれも注意されたい。

成績評価の方法 毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がなくなってしまうことを意味するので、くれぐれも注意されたい。

教科書／テキスト 老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2940円、ISBN4-419-04025-4)。

補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書 上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他 日本史の知識不問(挫折者歓迎!)。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみて下さい。

履修コード	308301
科目名	経済学史
担当者名	ふくはら よしのぶ 福原 好喜

講義の到達目標(ねらい) 学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓詁学となりやすいので、極力現代の経済問題も取り上げる。

- 講義の内容／授業スケジュール
1. 近代社会の生誕と近代化の諸類型
 2. F.Quesnay: フランス絶対王政末期の経済学
 3. Adam Smith: イギリス産業革命の夜明け前
 4. Karl Marx: 資本主義の一般理論
 5. John Maynard Keynes: 世界恐慌脱出の経済学
 6. 軍国主義批判の経済学—石橋湛山
 7. 平成恐慌と銀八経済学
 8. 来たるべき世界大不況と銀八経済学

準備学習 自宅で必ずテキストを読んでおくこと!

履修上の留意点 出席点を40点つける。私語、居眠りは厳禁。違反者は退場させる。

成績評価の方法 出席を頻繁にとる。テストも厳格につける。数回レポートを課す。

参考書 福原著『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』、『熱血教授心の教育』、『日本経済再生の経済学』他。

その他 経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。授業には全力投球する。ケイタイ PHS 禁止。覚える授業でなく、感じる授業、考えさせる授業を心掛ける。出席率が高くないと単位を取りにくいことを留意。

経 B

履修コード	308601
科目名	金融論
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい)	通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融、証券市場を含む、金融の全体像の理解を目指す。
講義の内容／授業スケジュール	年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。 1 金融とは、2通貨とは、3小切手・手形とは、4ペイオフ解禁とは、5銀行貸出とは、6金利とは、7金融市場とは、8証券市場とは、9国債とは、10金融機関とは、11公的金融とは、12財政投融資とは、13郵便貯金とは、14簡易保険とは、15公的年金とは、16政府系金融機関の再編とは
履修上の留意点	OHPにより授業を進める。原則として板書はしない(チョークによる環境問題もあるため)。この授業をフレックスA全学年、商学科2年生以上が履修登録できます。
成績評価の方法	定期試験(80点)とレポート(20点)により評価する。出席は評価点に関係しない。追試験は実施する。
教科書／テキスト	代田 純著、『図説 やさしい金融財政』(丸善)、定価1800円＋税、ISBN978-4-621-08214-0を使用する。
参 考 書	レポートの際に、 代田 純編、『日本の国債・地方債と公的金融』(税務経理)2007年 代田 純編、『金融危機と証券市場の再生』(同文館)2010年のいずれか(本人の選択による)を使用する。
そ の 他	出席はとらないが、私語は厳禁する。

履修コード	308801
科目名	商法一部
担当者名	井上 健一 <small>いのうえ けんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)	企業活動の内部的な規整である会社組織に関する法規整(いわゆる形式的な意味での会社法)について講義する。単なる制度の紹介にとどまらず、なぜそのような制度が存在するのかという「制度の存在理由」を、近時の敵対的買収と対抗策の問題などに代表されるような現実の会社実務との関係で理解することを心がける。前期は主としてコーポレートガバナンスに関する規整、後期は企業金融および組織再編に関する規整を中心に講義する。商法総則についても適宜会社法との関連部分について触れていく。
講義の内容／授業スケジュール	前期 1 会社法総論：商法の体系および会社法の意味 2 会社の機関と法：コーポレートガバナンスに関する法規整(株主総会、取締役会・代表取締役、監査役等) 後期 3 会社の資金調達と法規整(設立時の資金調達、設立後の資金調達：新株発行、社債等) 4 会社の組織再編(M&A等) 5 企業会計
履修上の留意点	少なくとも民法(総則・債権各論)を履修済か、履修中であることが望ましい。日経などの新聞・雑誌の経済記事についてもアンテナを張っておくこと。
成績評価の方法	原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で質疑応答形式によるケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。
教科書／テキスト	伊藤・大杉・田中・松井「リーガルクエスト会社法」(有斐閣)ISBN 978-4-641-17906-6 ¥2940
参 考 書	江頭憲治郎「株式会社法」(有斐閣)、神田秀樹「会社法」(弘文堂)。その他、適宜授業内で紹介する。
関 連 リ ン ク	http://homepage3.nifty.com/inoue-k/

経 B

履修コード	308901
科目名	国際経済論
担当者名	徳永 俊明

講義の到達目標(ねらい)	世界経済は、今日、世界社会・日本社会のあり方の<土台>をなしているものです。世界の姿・日本の姿を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の<基本構造>の解明をめざします。
講義の内容／授業スケジュール	[前期] (1・2) 講義のテーマ・趣旨の説明、(3・4) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制、(5・6) 産業革命と自由貿易植民地体制、(7) 小括、(8・9) 帝国主義植民地体制、(10・11) 第1次世界大戦と世界経済、(12・13) 戦間期の世界経済、(14) 小括、(15) 予備日 [後期] (1・2) 第2次世界大戦と世界経済、(3・4) 「アメリカ中心体制」、(5) 貿易：GATT / WTO、(6) 国際通貨制度：IMF、(7・8) 「援助」、(9・10) 多国籍企業、(11) 小括、(12・13) <南北問題>、(14) 新国際経済秩序、(15) 小括
成績評価の方法	ミニ・レポート(2回予定、各20点)と学年末レポート(60点)で評価します。世界経済の”枝葉”ではなく、”幹”の理解度を重視します。(追試験は行いません。)
教科書／テキスト	とくにありません。

履修コード	309101
科目名	農業政策
担当者名	溝手 芳計

講義の到達目標(ねらい)	“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。 農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。 授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。
講義の内容／授業スケジュール	1. 「農業政策」とは(2回) 2. 食料問題と食料政策(7回程度) 3. 農業の特質と現代農業(5回程度) 4. 戦後日本の農業問題と農業政策(7回程度) 5. 農産物価格問題と価格・所得政策(7回程度)
履修上の留意点	充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。
成績評価の方法	成績評価は定期試験(年度末)を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。
教科書／テキスト	田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6 ※ 授業中には使いませんが、予復習してください。
参考書	大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0 加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033 中野一・新・岡田知弘編『グローバル化と世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8 橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

経 B

履修コード	309511
科目名	応用マクロ経済学
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい)

この講義では「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」で学んだ知識を基礎に、より進んだマクロ経済学の講義を行う(ただし、「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」の内容も適宜、講義の中で復習する)。講義では1年をかけてマクロ経済学の内容を懇切丁寧に解説するため、受講することにより新聞や雑誌で取り上げられる様々な経済問題についてきちんと考えられるようになり、社会人になっても役立つ知識が身に付く。

講義の内容／
授業スケジュール

1. マクロ経済学とは何か
2. マクロ経済データと日本経済
- 3-4. 需要と供給
- 5-6. マクロ経済の様々な市場と登場人物
- 7-8. 市場の不完全性と失業・不景気
- 9-10. 貨幣とインフレーション
- 11-14. 景気変動と経済統計
- 15-18. 経済成長
- 19-20. 消費
- 21-22. 投資
- 23-24. マクロ経済政策論争(1) 財政政策
- 25-26. マクロ経済政策論争(2) 金融政策
- 27-28. 経済変動の理論の発展
- 29-30. マクロ経済学で「分かっていること」と「分かっていないこと」

準備学習
履修上の留意点

教科書と事前に配布する講義資料をよく読んでおくこと。
この講義はゼミ形式で進める予定であるため、発表順番を決めるために第1回講義には必ず出席すること。「応用マクロ経済学」の理解を深めるには「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」を履修していることが望ましい。ただし、必要な知識は講義の中で復習するので必須ではない。高度な数学の知識は必要ないが、若干は使わざるを得ないので、必要に応じて講義の中で解説する。講義には積極的に参加すること。また、私語は厳しく禁じる。携帯電話の電源は切るか、マナーモードすること。これらの常識が守れない者は退出させることがある。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。ただし、夏季休暇中の課題も成績評価の考慮に入れるため、課題は必ず提出すること。

教科書／テキスト
参 考 書

マンキュー「マクロ経済学(II) 応用編」(東洋経済新報社)、3675円、ISBN-10: 4492313346
マンキュー「マクロ経済学(I) 入門編」(東洋経済新報社)、3885円、ISBN-10: 4492313222

経B

履修コード	094701・309901
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 修二

講義の到達目標(ねらい)

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大國志向としての「ソ連モデル」、独自の超大國を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容／
授業スケジュール

第1週—3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。
第4週—10週：ソ連モデル期に中国は発展途上國の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上國が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの國でもまねができるかといえ必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週—15週：毛沢東モデル時期には國家目標は独自の超大國に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期に6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年—)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大國を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上國の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち「4人組」が敗退したということは、新しい國際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週—25週：新しい発展戦略は外國の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産國になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26週—30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。
前期レポート、後期試験(30%、70%)。
前期 小杉修二『増補 現代中国の國家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年)4000円
加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年、周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

経 B

履修コード	094601・310001
科目名	アジア経済論
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵

講義の到達目標(ねらい)

この講義では、受講生のみなさんに東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、歴史・理論・現状分析の三つの側面から、下記の講義内容に記載された個別のテーマについてそれぞれ解説する。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴ならびに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。

その際、従来のアジア経済論（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期のみを注目するのではなく、その前史（植民地期や1950年代までの時期）も射程に入れて通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割について言及する。そして、あくまで東アジアに軸足を置きつつも、これまで東アジア経済にさまざまな影響を及ぼしてきた世界経済の動向についても関心を向ける。

講義の内容／授業スケジュール

東アジア経済の全体像：アジアの多様性、東アジアの範疇（第1～2回）、東アジア経済と経済理論：新古典派開発経済学、その他の理論（第3～5回）、東アジアの経済発展：工業化の前史、東アジアの経済発展過程、経済発展の特徴（6～10回）、アジア NIEs の経済発展：用語説明、経済発展の特徴、各アジア NIEs 経済の状況（11～16回）、東南アジア諸国の経済：主要各国の経済発展過程、ASEAN の歴史（17～21回）、アジア社会主義国の経済：中国の改革・開放政策、その他社会主義国の現状（22～23回）、アジア通貨危機：危機の背景・原因・特徴、危機への対応策（24～25回）、アジアの地域経済協力：地域経済協力の歴史と現状、東アジア経済圏の展望（26～28回）、東アジア経済の展望：東アジアと日本、環境問題（29～30回）

準備学習
履修上の留意点

参考書の該当箇所と新聞のアジア経済に関する記事をよく読むこと。
試験およびレポートの際に自筆のノートを参照するので、授業中にノートをよくとってもらいたい。

成績評価の方法

前期のレポートと定期試験（学年末）で総合的に評価する。なお、定期試験とレポートの成績比重は、前者80%、後者20%とする。

教科書／テキスト

特に定めない。

参考書

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）、ISBN 4-641-12044-7

経 B

履修コード	310111
科目名	E U 統合論
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義の到達目標(ねらい)

第二次大戦後の統合運動を軸に、多様性の統合、絶えず緊密化する結束により、拡大と深化を遂げ、覇権国アメリカに対抗しうる世界的影響力を持つに至った EU について、体系的・総合的な正しい認識を持ち、そこから、我が国への教訓を導き出すことが出来るようになること。

講義の内容／授業スケジュール

第1回～第3回 欧州統合運動の歴史（～1950年代）
第4回～第6回 E E C（1960年代の共同市場建設）
第7回～第9回 1970年代の E C（第1次拡大、通貨統合への挑戦）
第10回～第12回 1980年代の再活性化（単一欧州議定書と市場統合計画）
第13回～第15回 E U の成立（通貨統合と E U 拡大）

準備学習

過去一週間の新聞から EU 関連の記事を整理する作業がもっとも有益、効果的事前学習となります。さらに、予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業内容をより深く理解できるようになります。

履修上の留意点

履修上の留意点 国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU 統日頃から、新聞・雑誌、インターネット、TV 特集番組などで欧州諸国の動きについて関心を持とう。

成績評価の方法

成績評価の方法 学期末試験（8割）と授業内で提出を求める課題（2割）を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。

教科書／テキスト

特に指定しない。

参考書

（1）庄治克宏『欧州連合－統合の論理とゆくえ』岩波新書1099、740円
（2）藤井良広『E U の知識』日経文庫1079、900円

その他

特になし。

関連リンク

<http://www.deljip.ec.europa.eu>

履修コード	095101・310121
科目名	現代西欧経済論
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、第2次大戦から今日に至る間の、西欧諸国の経済の構造変化と経済政策の展開を段階的に把握し、現在の経済・社会諸課題を視る視座を得ることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	第1回～第3回 欧州の東西分断と戦後復興(～1950年代) 第4回～第6回 共同市場建設と経済の高度成長 第7回～第9回 高度成長の終焉とスタグフレーションへの対応 第10回～第12回 新自由主義の展開 第13回～第15回 グローバリゼーションと欧州社会モデル
準備学習	過去一週間の新聞からEU関連の記事を整理する作業がもっとも有益、効果的事前学習となります。さらに、予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業内容をより深く理解できるようになります。
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU 統計頃から、新聞・雑誌、インターネット、TV特集番組などで欧州諸国の動きについて関心を持つよう。
成績評価の方法	学期末試験(8割)と授業内で提出を求める課題(2割)を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。
教科書/テキスト 参考書	特に指定しません。 (1) 庄治克宏『欧州連合－統合の論理とゆくえ』岩波新書1099、740円 (2) 藤井良広『EUの知識』日経文庫1079、900円
その他 関連リンク	特になし。 http://europa.eu/

履修コード	094801・310201
科目名	アメリカ経済論
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘

講義の到達目標(ねらい)	現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。
講義の内容／授業スケジュール	1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。 以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向、◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など
履修上の留意点	この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。 アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。
成績評価の方法	随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。
教科書/テキスト	最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社、2005年) グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店、1994年) 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店、2003年) をおすすめします。

経B

履修コード	311001
科目名	国際金融論
担当者名	吉田 真広 <small>よしだ まきのひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

近年、米国で発生したサブプライムローン問題は、日本を始め各国の経済と金融に深刻な影響を与えました。国際金融とは国際的なお金の流れであり、まさに国際金融上の出来事が各国経済に直結していることを示したものと いえます。グローバル化が進化した今日の経済の動きを理解するためには、国際金融についての知識が不可欠です。本講義では、今日のドル体制下の世界経済とグローバル化している各国経済を理解するため、国際金融市場と国際金融制度に関する基礎的な理解を身につけることを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール

前期

- 1 国際収支
 - ・国際取引 ・経常収支 ・資本収支
- 2 為替の基礎
 - ・基本的な仕組み ・逆為替と並為替 ・外国為替相場の見方・直物相場と先物相場
- 3 為替市場
 - ・外国為替市場の構造 ・銀行の為替取引 ・金融派生商品

後期

- 4 国際通貨体制 1
 - ・金本位制 ・戦後の固定相場制 ・変動相場制
 - 5 国際通貨体制 2
 - ・国際通貨条件 ・ドル体制 ・ユーロと人民元
 - 6 為替相場諸学説
 - ・購買力平価説 ・為替心理説 ・諸為替相場アプローチ
- *なお、トピックスを取り上げることもあり得ます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

出席をとることもある。
年二回の試験。
テキストは使用しない。
授業中、必要に応じて適宜示す。
国際金融に関係のあるニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと

履修コード	311311
科目名	中小企業論
担当者名	吉田 敬一 <small>よしだ けいいち</small>

講義の到達目標(ねらい)

商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容／
授業スケジュール

- 講義ガイダンス (1)
- I 中小企業の基礎理論
 - I - 1 中小企業の法的規定 (2)
 - I - 2 中小企業の経営類型 (3)
 - I - 3 中小企業の企業形態 (4)
 - I - 4 日本型下請構造の特質 (5~6)
 - II 日本型下請システムの形成過程、
 - II - 1 日本経済復活期の生産分業構造 (7~8)
 - II - 2 高度経済成長期の下請管理の合理化 (9~10)
 - II - 3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立 (11~12)
 - II - 4 グローバル化と日本型下請け構造の改変 (13~14)
- 講義のまとめ (15)

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は定期試験（前期末：80点）とレポート（最終授業日提出：20点）を基準として行ないます。追試験は実施しません。

教科書／テキスト
参 考 書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。
『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

経 B

履修コード	311401
科目名	中小企業政策論
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい)	この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。
講義の内容／ 授業スケジュール	講義ガイダンス (1) 1 復興期の中小企業政策 (2～4) 2 高度成長と中小企業近代化政策 (5～8) 3 中小企業政策の大転換 (9～11) 4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12～13) 5 中小企業と不公正取引問題 (14) 講義のまとめ (15)
履修上の留意点	中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は定期試験(後期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施しません。
教科書/テキスト 参 考 書	教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。 『中小企業白書』 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

経B

履修コード	092611・311411
科目名	応用ミクロ経済学
担当者名	荒木 勝啓 <small>あらかし かつひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

全体テーマを「ミクロ経済学はどのように実践的に役に立つのか」とする。ミクロ経済学に馴染みのない学生でも理解可能なように、数学基礎から解説するが、飽くまで最終テーマは「役に立つ」であるので、最後までテーマを見失わないように。役に立つとは、経済学的には最適性と言い換えることができる。したがって、以下の小テーマは、各局面に応じた最適手法のバリエーションである。そのような観点から俯瞰すると、我々は経済の各局面で結局は最適な行動を追い求めているのだということに気づき、テーマが自ずと見えてくるであろう。授業では、世界中で日々実行されている計算を、株価などのデータをもとに、関数電卓を使って実習する。

全体テーマを具体的に小テーマに分けると次のようになる。
まず経済学における制約付き最適化を身につけるために

(1) 制約付き最適化問題 -- ラグランジュ乗数法の習熟

次に要素間の最適代替関係の具体化として

(2) 長・短期費用関数の導出 -- 撤退か拡張か

を学習する。さらにその応用としての

(3) 最適在庫管理問題

を学習する。これは経営学・経営工学では必修項目である。

以上は基礎的なミクロ経済学の復習ともなっている。

経済学における割引(discount)の概念を身につけるために、生活に身近な

(4) ローン計算の方法 -- 毎月いくら返済すればよいか

を実習する。金融・証券・貿易・不動産・流通などの分野を将来目指す学生ならばこの知識は必要不可欠である。速算法(近似法)も学習する。

最後に現代社会における最大テーマの1つであるリスク最小化問題の

(5) 最適ヘッジの方法 -- 現物と先物のポートフォリオを例に

を統計手法とともに計算する。(5)のために特にベータの求め方とt-検定という統計的手法も合わせて学習する。(5)によって金融工学のメイン・テーマとしての「ヘッジ」の実際が理解されるであろう。証券アナリストやファイナンシャル・プランナーを目指す学生にとってはいうまでもなく必須の知識である。

なおここにたどり着く前に煩雑な統計分析の知識を講義するが(下記19-23)、その過程で基本テーマを見失う学生が多いことが、アンケート調査からもわかる。しかし、抽象理論を現実化するにはデータ解析が不可欠であり、それには統計分析以外あり得ない。理論が力となるためにこの回り道は必要である。

以上を時期的に大きく2つに分けると(1)から(3)が前期で(4)から(5)が後期である。授業には計算のために関数電卓(1000円程度から各種売られている)が必要である。

実社会では計算はコンピュータによりなされているが、それだからこそ、良い悪いは別にして世の中はそのように回っているのだということを電卓による手計算で実感することが必要で、その感覚はおそらく、将来諸君のビジネスに生かされることであろう。

経 B

講義の内容／
授業スケジュール

1-3. 基礎となる数学の復習——基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていない人でもよく理解できると思う。

内容：微分・全微分・偏微分係数・ベクトル・一次方程式（クラームの公式）

4-6. 制約付き最適化問題（ラグランジュ乗数法）

7-9. 長・短期費用関数の導出

10-11. 最適在庫管理問題

12-13. 離散分析と連続分析、 e と対数関数

14. 対数微分と成長

15. テイラー展開・マクローリン展開

16-17. 割引の各種公式

18. ローン計算の実習

19. 記述統計 -- 平均・分散・標準偏差の計算

20-21. 確率、確率分布、密度分布、正規分布、 t 分布、小標本データの t -検定

22-23. 回帰分析の計算法 -- ベータの産出

23-30. 最適ヘッジの方法

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないと。金融工学などの手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとすると膨大な量になる。

しかし、ノートをあとから見直すと、内容は専門書（洋書を含む）何冊分かの要約となり、また将来社会に出たときに使うことのできる真に有用な公式や図などで埋め尽くされていることが分かる。大きな言い方をすれば、一生ものの公式集となるであろう。

学習内容は、金融、証券、貿易、流通、不動産、製造現場などでは実際にごく普通に使われている（むしろその入門でしかない）知識であり、諸君がもし将来ビジネスでまともに仕事をこなそうとするならば、必ず壁となって立ちふさがらるであろう必須知識である。たとえば住宅販売に従事したならば、パソコンもなにもない現場で顧客に速算で月々のローン返済額を提示しなければならないかもしれない。そうした役に立つ経済学的知識をこの授業では体育会系的に身につけさせようとしている。役に立つならばだじゃれ暗記もいとわない。世界は想像以上に先に進んでいる。授業はそうした実践で使える専門知識を体感で（手計算で）たたきこむことを目指している。

成績評価の方法

定期試験100、ただしノート持込可。ノートのコピー不可。授業に出ていけばほぼ確実に解けるような問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。授業は難解である。しかし授業にまともに出ていたら試験問題は解ける（なぜなら授業時間中に繰り返し経験済みだから）という不思議なデジャブ試験。解き方が理にかなってれば、多少の計算ミスは大幅減点にはしない。もしきちんと計算したはずなのに点が悪い人は、解き方に合理性がなかったということ。

経 B

教科書／テキスト
参 考 書

特になし。

高森寛 『現代ファイナンスの基礎理論』

池田昌幸 『金融経済学の基礎』(朝倉書店) 2000年

Cuthbertson, K. and Nitzsche, D., Financial Engineering-Derivatives and Risk Management, John Wiley and Sons, Ltd., 2001.

履修コード	094301・311701
科目名	人口論
担当者名	もりおか じん 森岡 仁

講義の到達目標(ねらい) 本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかにわれわれにとって身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容／授業スケジュール (1～8) 経済人口学とは何か、A. スミスの人口論、T.R. マルサスの人口波動理論、K. マルクスの相対的過剰人口論、J.S. ミルの人口論、E. キャンンの適度人口論、J.M. ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9～13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者 H. ライベンシュタイン、G.S. ベッカーの出生力の経済学、R. イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14～16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17～25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26～29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点 近年大きな関心ごとになっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法 学年末の定期試験。追試験も実施する。

教科書／テキスト 大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論)1981年、2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年、2800円。4-562-09112-6

参考書 人口学研究会編『現代人口辞典』(原書房)2010年、3000円

その他の他 授業方法：講義

履修コード	311801
科目名	社会政策
担当者名	みつおか はぐみ 光岡 博美

講義の到達目標(ねらい) 社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといつてよい。

講義の内容／授業スケジュール このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。年間の具体的な講義スケジュールは、(1) 現代日本の労働・雇用問題 (5回)、(2) 社会政策、労働関係、労働組合の理論 (5回)、(3) 戦後日本の労使関係史 (6回)、(4) 福祉国家の歴史と理論 (3回)、(5) 日本型福祉の現実 (3回)、(6) 現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。

履修上の留意点 受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法 期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。

参考書 講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

経 B

履修コード	311901
科目名	情報・経済ネットワーク論
担当者名	なかすみ みつあき 中 濟 光 昭

講義の到達目標(ねらい)	この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ICTによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など (2)～(6) インターネットのサービスを使ってみる(株取引シミュレーション、グループウェア、経営情報システムの実例(SAP ERP))。 (7)～(15) 情報システム概論 —コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論 (16)～(21) 情報経済システム論 —情報とは、カジノテーブルと収穫逡増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは (21)～(26) 電子商取引概論 —電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度 (27)～(29) インターネットビジネス概況 —マイクロソフトにみる情報とビジネス戦略、Web2.0やロングテール、googleのビジネスモデル、インターネットビジネスを覆う危機 (30) まとめ
履修上の留意点	ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず、コンピュータ基礎、基礎情報処理I・IIや情報入門I・IIを履修することをお薦めします。
成績評価の方法	講義時の課題、夏季休業時に課すレポートと授業内テストによります。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他	初回の講義で指示 初回の講義で指示 ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義で履修許可票を配布することがあるので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません。 ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4月初旬に4号館2F事務室に行き、登録手続きを行なうこと(登録なしに受講することは講義内容上困難です)。 ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jpにメールすること。

経 B

履修コード	312611
科目名	社会思想史 a
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義の到達目標(ねらい)

「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。

講義の内容/
授業スケジュール

「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方であった。

近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。

講義は15回であるので、次のスケジュールになる。

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開 (01-05回)

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程 (05-12回)

第3章：現代の経済的諸問題 (13-15回)

準備学習

大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをもットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているので、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

1 出席の確認(授業中に適宜実施される)

2 3回のレポートの作成

講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等は行わないので注意して欲しい。

成績評価の方法

教科書/テキスト

阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983

阿部弘：『経世済民論と経済学』、創成社、2010

参 考 書

適宜授業中に指定する。

そ の 他

受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス：xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

経 B

履修コード	312621
科目名	社会思想史 b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい)

私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」・「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容／
授業スケジュール

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それぞれ自体をコスト原則で規定していき、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

第1章：「経世済民」思想 (01-05回)

第2章：「経世済民論」と「経済学」(06-12回)

第3章：「経世済民論」と現代 (13-15回)

準備学習

大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをモットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

1 出席の確認(授業中に適宜実施される)

2 3回のレポートの作成

講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等を行わないので注意して欲しい。

成績評価の方法

教科書／テキスト

阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983。

同：『経世済民論と経済学』、創成社、2010

参考書

適宜授業中に指定する。

その他

受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス：xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

経B

履修コード	313511
科目名	公共経済学 a
担当者名	^{すずき} 鈴木 ^{のぶえ} 伸枝

講義の到達目標(ねらい)

社会福祉や環境政策といった政府介入はなぜ必要か、どのような政策が望ましいのか、理想をすべて満たすような政策はあるのか、ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか、そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか、公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて効率性・公平性の観点から考えます。

市場への政府介入の経済学的根拠は、効率性面での市場の失敗を引き起こす「不完全競争」「外部性」「不完全情報」の3要因と、「公平性」にあります。一方、市場の失敗は必ずしも政府介入により解決されるとは限りません。不完全情報のため最適な政策が実施できなかったり、規制が新たな不完全競争の原因となったりするからです。

【公共経済学 a】では、上で挙げた効率性3要因のうち「不完全競争」を中心に扱いながら、完全競争市場の効率性・公平性と政府介入の影響について学びます。【公共経済学 b】では「外部性」「不完全情報」を学ぶとともに、「外部性」と「公平性」を組み合わせて所得再分配を説明したり、「外部性」と「不完全情報」の両側面から教育を捉えたりと、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容/
授業スケジュール

- 「1. ガイダンス」(第1回)
- 「2. 政府の役割」(第1-2回)
- 「3. 完全競争」(第2-4回)
- 「4. 独占」(第4-6回)
- 「5. 寡占」(第6-8回)
- 「6. 課税」(第8-10回)
- 「7. 価格統制」(第10-12回)
- 「8. 競争均衡の効率性・公平性」(第12- 回)

履修上の留意点

【ミクロ経済学】もしくは【企業経済論 a・b】を履修済みであることを前提として講義を進めます。また、公共経済学は数学を多用する分野です。高校数学の予備知識は要求しませんが、講義でわからなかった部分を理解するまで根気よく復習できない人には履修をお勧めしかねます。

成績評価の方法

受講者数20名以上の場合には、中間レポート1回(50点満点)と期末試験1回(100点満点)の合計点で評価します。合計点60点未満は不可とし、60点以上は本学のGPA評価ルールに従って成績をつけます。受講者数20名未満の場合には、中間レポート・期末試験のかわりに宿題を5回程度出し、平常点と合わせて評価します。

教科書/テキスト
そ の 他

穴埋め式の講義ノートを配布します。市販の教科書は特に指定しません。

YeStudy(現代応用経済学科)にてレポート課題や練習問題を配布します。配布済みの講義ノート(空欄は未記入)もYeStudyで公開するので、欠席・紛失の際は各自ダウンロードしてください。

経 B

履修コード	313521
科目名	公共経済学 b
担当者名	鈴木 ^{すぎ} ^{のぶ} 伸枝

講義の到達目標(ねらい)

社会福祉や環境政策といった政府介入はなぜ必要か、どのような政策が望ましいのか、理想をすべて満たすような政策はあるのか、ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか、そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて効率性・公平性の観点から考えます。

市場への政府介入の経済学的根拠は、効率性面での市場の失敗を引き起こす「不完全競争」「外部性」「不完全情報」の3要因と、「公平性」にあります。一方、市場の失敗は必ずしも政府介入により解決されるとは限りません。不完全情報のため最適な政策が実施できなかつたり、規制が新たな不完全競争の原因となつたりするからです。

講義の内容／
授業スケジュール

【公共経済学 a】では、上で挙げた効率性3要因のうち「不完全競争」を中心に扱いながら、完全競争市場の効率性・公平性と政府介入の影響について学びます。【公共経済学 b】では「外部性」「不完全情報」を学ぶとともに、「外部性」と「公平性」を組み合わせて所得再分配を説明したり、「外部性」と「不完全情報」の両側面から教育を捉えたりと、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

- 「E.【公共経済学 a】復習」(第1回)
- 「9. 消費者行動」(第2-4回)
- 「10. 外部性」(第4-6回)
- 「11. 公共財」(第6-9回)
- 「12. 応用1：環境問題・所得再分配」(第9-11回)
- 「13. 情報の非対称性」(第12-13回)
- 「14. 応用2：教育」(第13-回)

履修上の留意点

【公共経済学 a】に加えて【ミクロ経済学】もしくは【企業経済論 a・b】を履修済みであることを前提として講義を進めます。また、公共経済学は数学を多用する分野です。高校数学の予備知識は要求しませんが、講義でわからなかった部分を理解するまで根気よく復習できない人には履修をお勧めしかねます。

経 B

成績評価の方法

受講者数20名以上の場合には、定期試験は「レポート試験」(12月にレポート課題を公開し、1月の期末試験会場にて回収するシステム)とします。60点未満は不可とし、60点以上は本学の GPA 評価ルールに従って成績を評価します。受講者数20名未満の場合には、定期試験のかわりに宿題を5回程度出し、平常点と合わせて評価します。

教科書／テキスト
その他の

穴埋め式の講義ノートを配布します。市販の教科書は特に指定しません。
YeStudy (現代応用経済学科)にてレポート課題や練習問題を配布します。配布済みの講義ノート(空欄は未記入)も YeStudy で公開するので、欠席・紛失の際は各自ダウンロードしてください。

履修コード	323401
科目名	国際法
担当者名	王 ^{おう} 志 ^し 安 ^{あん}

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容/
授業スケジュール

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。
国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。

前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

準備学習

授業前教科書の関連箇所を読むこと。関心のあるテーマについて読書すること。聞きたい問題を用意すること

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書/テキスト

王志安・飯田順三『国際法への誘い』(八千代出版 2006年)

参 考 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002年 2,800円

市販されている国際条約集

そ の 他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートの、Yestudy から入手できる。

経 B

履修コード	323601
科目名	行政法
担当者名	塩入 ^{しおいり} みほも ^{みほも}

講義の到達目標(ねらい) 存在する法の約8～9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組みと理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なおことがたくさんあります。そして何より、行政法は、権力分立構造の要であり、「憲法の実体化法」として、法治国家を支えている基盤なのです。言い換えれば、国家と国民の法律関係を規律しているのが行政法です。法治国における国家統治権行使のあり方や国民の権利について学ぶのが、当講義の狙いです。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1)～(2) 行政法とは何か：行政法の成立、行政の定義、行政法の領域
- (3)～(5) 行政法の基本構造：現代日本行政法の特徴、法治行政の原理
- (6)～(8) 行政法の法源：成文法源、不文法源
- (9)～(11) 行政作用の様々な分類論
- (12) 行政立法
- (13) 行政計画
- (14) 行政指導
- (15) 行政契約
- (16)～(20) 行政行為論：特徴、成立と消滅、効力、行為類型論
- (21)～(22) 行政裁量論
- (23)～(24) 行政行為の瑕疵
- (25)～(26) 職権取消しと撤回
- (27)～(29) 行政上の強制制度
- (30) まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

授業には六法持参のこと
定期試験は学年末試験のみだが、場合によっては前期に授業内小テストを実施する。また、授業の進行状況や履修態度の如何によっては、レポートの課題を出す。
成績評価は、定期試験、小テスト、(レポート)、平常点(不定期に確認する出欠)の総合判断により行う。

経 B

教科書／テキスト
参 考 書

特定の教科書は使用しない
初回講義時に紹介する。

履修コード	324902
科目名	商法二部
担当者名	なかほま よしあき 中濱 義章

講義の到達目標(ねらい) 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容／授業スケジュール 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義(約束手形・為替手形・小切手の異同)
- 2 手形法・小切手の経済的機能
- 3 手形行為の意義・性質
- 4 手形行為の成立時期(手形理論)
- 5 手形行為と法律行為に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造、変造
- 8 手形行為と実質関係

- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 善意取得の制度
- 13 手形抗弁、人的抗弁切断(制限)の制度
- 14 支払、支払拒絶など
- 15 為替手形・小切手に特有の法制度
- 16 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点 六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『セレクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)など。

成績評価の方法 民法(財産法関係科目)および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。夏休み前と期末に行う筆記試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書/テキスト 大塚龍児ほか『商法Ⅲ－手形・小切手(第3版)』(有斐閣Sシリーズ)

落合誠一＝神田秀樹編『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選(第6版)』(有斐閣)

参 考 書 詳細については、開講時に指示します。

山下友信＝神田秀樹編『商法判例集(第3版)』(有斐閣)

経B

履修コード	325002
科目名	民法二部
担当者名	中田 英幸

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 序論 (1)
 - (①債権総論とは何か②債権とは何か)
- (2) 債権の「目的」(2-3)
 - (①債権の「目的」の意味②債権の種類)
- (3) 債権の効力(4-13)
 - (①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞)
- (4) 債権債務の移転(14-18)
 - (①債権譲渡②債務引受)
- (5) 債権の消滅(19-24)
 - (①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同)
- (6) 多数当事者の債権関係(25-30)
 - (①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務)

準備学習
履修上の留意点

指定教科書を事前に読んでおくこと。
債権総論と債権各論が合わさって債権法を構成するので、債権各論も同時に履修することが望ましい。

最新の六法は必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

期末試験により評価する。
野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）
中田裕康・潮見佳男・道垣内弘人編『民法判例百選II 債権（第6版）』（有斐閣、2009年）
他の文献は講義中に指示する。

履修コード	325101
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義の到達目標(ねらい)

今日、わが国の労働関係（雇用社会）は、少子高齢社会・人口減社会やグローバル化に伴って、リストラ、成果主義人事管理の導入・見直しなどが大きく変貌しています。

労働法は、労働問題を平和的に（つまりは法的に）解決する妥当な考え方を学ぶ法領域です。雇用社会の変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法や男女雇用平等などの雇用関係法領域において、顕著です。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。到達目標は、基礎的知識の習得とリーガルマインドを身につけることです。

授業では、下記事項について、行います。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

準備学習

準備学習といえば、以下のことをお願いするだけです。当り前のことですが、教科書を読んで授業に臨むということです。

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

適宜、項目を列挙したレジュメや資料を配りますが、それでは十分ではありません。教科書を使って有意義な勉強を心がけてください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価はつきません。前期試験、レポートや出席を含めて、総合的に評価します。

追試験は実施します。

教科書／テキスト

金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法【第2版】』（エイデル研究所2010予定）。これ以外でもかまいませんが、相談して下さい。

参考書

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、これも1回目の授業で話します。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

経 B

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	東出 浩一

講義の到達目標(ねらい) 経済法を中心をなす独占禁止法について、21年改正の内容を含め、基本的な事項を理解することを目標とします。

講義の内容／授業スケジュール 条文の解説にとどまらず、できるだけ具体的な事件の審判決や相談事例を紹介し、実際の事例でどのような事項が論点となったか等を説明することにより、実務的な理解が進むように講義を進める予定です。

準備学習履修上の留意点 おおむね、次の事項について説明する予定です。

成績評価の方法 1 独占禁止法の概要、行為主体 2～6 私的独占・不当な取引制限 7～14 不正な取引方法等 15～17 企業結合規制 18～20 適用除外・民事訴訟 21～25 事件処理手続・排除措置・課徴金 26～28 刑事罰・犯則調査手続、その他

教科書／テキスト 教科書「経済法」(第5版補訂)の該当部分を一読しておいてください。

参 考 書 教科書である「経済法」(第5版補訂)は、21年改正に対応していないので、留意してください。

そ の 他 期末試験によって成績評価をします。

関 連 リ ン ク 「経済法」(第5版補訂・岸井大太郎・向田直範ほか)・有斐閣アルマ
「逐条解説 平成21年改正独占禁止法」(藤井宣明・稲熊克己)・商事法務
レジュメを配布する予定です。
<http://www.jftc.go.jp/>

履修コード	325301
科目名	社会保障法
担当者名	原田 啓一郎

経 B 講義の到達目標(ねらい) 社会保障法の各分野について、基本的な体系と現状、法主体間の権利義務関係、法解釈上の論点を学習することにより、社会保障に関する法制度を正確に理解し、どこに課題が残されており、どのような解決が望ましいかを規範的に考察する力を養うことを目標とする。

講義の内容／授業スケジュール 第1～2回：社会保障(法)とは何か、第3～7回：医療保障法、第8～11回：介護保障法、第12～13回：福祉サービス法、第14～18回：年金法、第19～21回：労災保険法 第22～23回：雇用保障法 第24～25回：社会的補償法、第26～28回：公的扶助法、第29～30回：社会保障財政の法理論

履修上の留意点 社会保障に関する立法論上の課題については、同担当者の担当科目「社会政策」にて取り扱うので、並行履修が望ましい。「社会保障法」と「社会政策」の両科目を履修することにより、社会保障に関する法制度と政策的課題を立体的に理解することが可能となる。

成績評価の方法 社会保障に関する法的紛争は行政事件が多いため、「行政法」及び「行政救済法」を履修済みまたは並行履修中であることが必要である。

教科書／テキスト 学期末試験によるものとし、出席状況は加味しない。

参 考 書 教科書は開講時に指定する。受講にあたっては、指定教科書のほかに下記の法令集を毎回持参すること。

そ の 他 ・労働調査会出版局(編)『社会保障法令便覧 2010』(労働調査会、2010年)
・西村健一郎・岩村正彦[編]『社会保障判例百選〔第4版〕』(有斐閣、2008年)
その他の文献は適宜指示する。
YeStudyを活用する。Password等の説明は第1回目の講義で説明するので必ず出席のこと。

履修コード	325501
科目名	商法総則・商行為法
担当者名	みずしま けいむ 水島 治

講義の到達目標(ねらい)

1、本講義の目的
本講義の目的は、商法総則（商法1～31条）及び商行為（商法501～683条）に関する基本的な制度概要と解釈論的問題を解説することにあります。

2、本講義の到達目標

本講義の到達目標は、(1) 商法の基本的な制度の趣旨や内容を理解してもらうこと、(2) 簡単な事例について商法総則又は商行為法の規定を適用して法律関係を説明できるようになること、(3) 基本的な判例や学説を具体的に適用することで法令の適用に必要な解釈論的な処理ができるようになること、の3点にあります。

なお、講義の基本的な水準は、昼間開講の商法総則・商行為法（11710）と基本的に同水準とします。

講義の内容／
授業スケジュール

講義で扱う内容は、商法総則の範囲として①から⑥、商取引法の範囲として⑦から⑬となります（講義の進行上、順序は若干入れ替わる可能性があります）。扱う内容や履修者の理解度等にもよりますが、原則として、各テーマに関して数回に分けて講義を行ない、前期に商法総則の領域、後期に商行為法の領域を主として扱うこととします。

- | | |
|---------|--------------|
| ①商法総則総論 | ②商人・商行為 |
| ③商業登記 | ④商号 |
| ⑤商業帳簿 | ⑥商業使用人・代理商 |
| ⑦商事契約総論 | ⑧交互計算 |
| ⑨匿名組合 | ⑩仲立営業 |
| ⑪問屋営業 | ⑬運送取扱営業・運送営業 |
| ⑬寄託 | |

準備学習

- 1、講義の対象となる条文は、事前に六法等で確認してきて下さい。
- 2、余力があれば、テキスト等で該当する部分を読んできて下さい。
- 3、民法（財産法）の知識を多用しますので、民法に不安のある人は、あらかじめ復習しておくことを勧めます。

履修上の留意点

- 1、履修を必要とする科目
民法の財産法分野（総則、物権、債権）は、必ずすべて履修しておくことが必要です。当該科目を履修していない場合には、本講義の単位取得は相当難しくなると考えられますので、くれぐれも注意して下さい。

経B

2、講義は、基本的には商法本法の解説が中心となります。

このため、不正競争防止法、商業登記法、国際海上物品運送法のような商法以外の付属法令や関連法令に関しては、本講義では最小限度で扱うものとします。また、保険法、海商法、金融商品取引法に関しては、本講義の対象外となりますので、これらの講義の履修が必要な学生は該当する科目を履修して下さい。

3、会社法の取扱い

会社法総則（会社法1～24条）は本講義の範囲と重複する限りにおいて、講義で併せて説明しますが、それ以外の会社法の規定は本講義では扱いません。別途、会社法の講義を履修して下さい。

成績評価の方法

- 1、期末試験の成績
- 2、出席は取りません。また、レポートや中間試験等に関しても実施しない予定です。
本講義は、期末試験一本での成績評価ですから、単位認定に関する救済措置はありません。履修に際してはくれぐれも注意して下さい。

教科書／テキスト

- 1、六法
小型のものでかまいませんが、必ず最新版（平成22年版）を用意して下さい。また、判例付きの六法は、期末試験等に持ち込むことを禁止しますので、その点を考慮して六法を選択して下さい。

2、レジュメ

本講義は基本的にレジュメで進行しますので、必ず持参して下さい。

3、教科書

レジュメで講義しますので、教科書を購入して頂く必要はありません。

4、参考書

参考書に関しては、第1回講義時に文献リストを配布して説明します。

参 考 書
そ の 他

- 第1回講義時に配布する参考文献リストで説明します。
- 1、期末試験だけの成績評価ですから、無理に講義に来てもらう必要はありません。
- 2、講義中に私語や携帯電話をすること等は、他の学生の履修の妨げになることは厳に謹んで下さい。
- 3、担当者は非常勤講師ですから、質問等に関しては講義終了時に受けることになりますので、その点はあらかじめ了解して履修判断をして下さい。

履修コード	326501
科目名	保険・海商法
担当者名	井上 健一 <small>いのうえ けんいち</small>

講義の到達目標(ねらい)

商法のうち、保険取引および海商を含めた国際取引に関する法規整を概観する。この分野は、商法典の条文、もしくは判例の理解のみならず、約款や条約、あるいは商慣習なども含めた実務慣行に注意を払う必要がある。いわば実務との関係で「生きている法」を扱うという意味で、意欲を持って取り組めば非常に面白い内容である。前期および後期の半分は保険法を、特に保険契約法を中心に扱い、後期の後半(11月～)は海商法およびそれに関連した国際取引に関する契約に対する法規整を扱う。保険会社や商社などの実務に興味がある者は是非参加してほしい。

講義の内容/
授業スケジュール

- I 保険法
1. 保険法総論・保険契約法総論 2. 損害保険契約 3. 生命保険契約 4. 傷害保険
- II 海商法・国際取引法
1. 海商法・国際取引法総論 2. 海上企業者 3. 海上運送契約・国際取引契約
4. 海上危険・海上保険 5. 国際取引における紛争解決

履修上の留意点
成績評価の方法

民法(総則・債権各論)および商法総則・商行為法を履修済みか、履修中であることが望ましい。原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で対話式のケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書/テキスト
参 考 書
関 連 リ ン ク

山下・竹濱・洲崎・山本「保険法」(第3版)(有斐閣)
レジュメで随時紹介する
<http://homepage3.nifty.com/inoue-k/>

履修コード	097111・308111
科目名	管理会計論 a
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2~4) 管理会計論をとらえる視点、(5~8) 管理会計上の基礎概念、(9~12) 設備投資の意思決定、(13~15) 製品関連の意思決定

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。
また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法

定期試験(前期末)により評価する。

教科書/テキスト
参 考 書

毎回配布するプリントが教科書代わりである。
必要に応じて紹介する。

経 B

履修コード	097121・308121
科目名	管理会計論 b
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることとする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2~3) リスク・マネジメントと法律規定：リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4~5) ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6~7) 企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8) リスク・マネジメントと状況報告書、(9) リスク・マネジメントと引当金、(10~11) リスク・マネジメントとバランス・スコアカード、(12~13) リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14~15) リスク・マネジメントとチャンスの記載：リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

準備学習

毎回、テキストを一読した上で講義に臨むこと。

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

中間レポート(30%)および定期試験(後期末:70%)により評価する。

教科書/テキスト
参 考 書

石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)
必要に応じて紹介する。

履修コード	309301
科目名	商業政策
担当者名	番場 博之

講義の到達目標(ねらい)	経済活動としての流通活動は、単なる競争ではなくルールにもとづく競争である。そして、このような流通や商業に関わる方針やルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方 (2～5) 流通・商業の基礎知識 (6～9) 流通・商業政策の枠組み (10～15) 競争政策 (16～21) 振興政策と調整政策 (22～27) まちづくり政策 (28～30) 海外における商業に関わる政策
履修上の留意点	詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。なお、履修者が少数の場合には、履修者の理解度や関心にある程度あわせて講義内容やスケジュール等を調整するつもりである。
成績評価の方法	定期試験によって評価する。ただし、履修者が少数の場合には、レポート等の方法に変更する可能性がある。
教科書／テキスト 参 考 書	加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 『現代流通入門』有斐閣 978-4-641-18351-3 渡辺達朗『流通政策入門 第2版』中央経済社、2007年。 岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店、2007年。 番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房、2003年。

履修コード	309411
科目名	会計情報論
担当者名	石川 純治

講義の到達目標(ねらい)	大きく変貌する今日の企業会計はどこに行こうとしているのか、その変容の形と方向について学習する。
講義の内容／授業スケジュール 準 備 学 習	教科書と放送大学「現代の会計」(DVD)の講義とをあわせて、企業会計の変容のあり方を理論と制度の両面から講義する。 テキストの各章を(DVDもふくめて)2回行う予定です。1回目の講義(パワーポイントのスライド使用)を聞いた後、テキストでよく復習して2回目の講義に臨んで下さい。 会計学の基礎知識をもっていることが望ましい。
履修上の留意点	小テスト(2回)と定期試験。小テストは総合評価に加味されます。
成績評価の方法	石川純治『変貌する現代会計』(日本評論社)1600円。
教科書／テキスト 参 考 書 そ の 他 関 連 リ ン ク	別途指示する。 YeStudyをご覧ください。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm

経 B

履修コード	309701
科目名	交通政策
担当者名	金 兌奎

講義の到達目標(ねらい)	交通サービス及び交通産業の概念・特徴・分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。
講義の内容／ 授業スケジュール	①交通論の概略：交通論を学ぶ目的、交通論の対象 ②交通サービスの需要と供給の特性（2回） ③交通サービスへの規制（2回） ④運賃理論（2回） ⑤運賃政策（3回） ⑥交通投資の特徴（2回） ⑦前期のまとめ ⑧鉄道政策及び鉄道輸送事業の特徴（2回） ⑨国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状（2回） ⑩航空政策及び航空輸送事業の特徴（2回） ⑪航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入（2回） ⑫空港整備制度 ⑬道路政策及び道路整備制度（2回） ⑭高速道路公団の民営化及び高速道路の無料化 ⑮後期のまとめ
履修上の留意点	交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	平常点（出席、レポートなど）と試験の成績による総合評価 なし 藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』東京大学出版会、1992年 山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』有斐閣アルマ、2002年 杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』成文堂、2003年
そ の 他	授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

経 B

履修コード	097001・310501
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏

講義の到達目標(ねらい)	会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) 会計監査の意義と概要 (2~5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6~10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11~15) ディスクロージャー制度（金融商品取引法・会社法）、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16~20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21~25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26~30) 監査証拠、継続企業的前提、監査意見、監査報告書
履修上の留意点	本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。
成績評価の方法 教科書／テキスト 参 考 書	原則として定期試験（年度末）により評価する。出席調査を数回行い、これも評価に反映させる。指定しない。必要に応じて資料を配付する。 山浦久司『監査論テキスト（第2版）』中央経済社 盛田良久、蟹江章、友杉芳正、長吉真一、山浦久司編著『スタンダードテキスト監査論（第2版）』中央経済社 中央経済社編『監査法規集』中央経済社

履修コード	310701
科目名	証券市場論
担当者名	<small>ひろた まさと</small> 広田 真人

講義の到達目標(ねらい) ファイナンス理論の裏づけなくして証券制度の理解はありえない。そこで講義の大部分はファイナンスの基礎理論の学習のために費やされる。最後に「金融ビックバン」の説明の際、「改革」の前提としての既存制度についても言及する。従って、本講義のキーワードは、「資本コスト」発見の場としての証券市場の役割となる。

- 講義の内容／授業スケジュール
- ①「出席表—同様な事業内容を持つ日米両企業の株価等を毎週提出—」の説明—1週目
 - ②株式市場の存在理由—資本コスト発見機能を中心に—2～4週目
 - ③資産価値の評価—NPV・IRR、債券と株式の評価—5～8週目
 - ④株式投資におけるリスク— α と β —9～12週目
 - ⑤資本コストの計測とEVA—13～16週目
 - ⑥デリバティブの初歩—オプションを中心に—17～20週目
 - ⑦株価指数とインデックス運用—21～24週目
 - ⑧金融ビックバンの評価からみた日本の証券市場の特色—25～28週目

履修上の留意点 最初の授業で「出席表」の説明を行うので必ず出席すること
 成績評価の方法 期末レポート(中間は未定)、ただし、問題数は計算問題を含めて10近く、全て回答すること
 教科書/テキスト 特になく、授業中にプリント配布
 参考書 井手・高橋『経営財務入門』 ¥3600 ISBN4-532-13312-2・周『証券分析入門』(いずれも日本経済新聞社) 2003～2009年 ¥3000 ISBN4-532-13297-5

履修コード	311101
科目名	マーケティング
担当者名	<small>そが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義の到達目標(ねらい) マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

- 講義の内容／授業スケジュール
- 1～2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。
 - 3～9回 製品政策について学習させる。
その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。
 - 10～15回 価格政策について学習させる。
その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。
 - 16～22回 チャネル政策について学習させる。
流通機構とメーカーの販売チャネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。
 - 23～28回 促進政策について学習させる。
広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。
 - 29～30回 マーケティング・ミックスについて学習する。

準備学習 ケーススタディを取り入れて講義を進めていきます。企業の製品開発や広告など、マーケティングに関係する新聞や雑誌のニュースを把握しておきますと、よりいっそう理解しやすいと思います。

履修上の留意点 マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法 夏休みの課題レポート(20%) 年度末の課題レポート(20%)と平常点(講義中の小テスト評価:60%)によって評価する。

教科書/テキスト 基本的に教科書は使用しない。

参考書 参考書は適宜紹介する。

その他 授業方法・講義形式

経B

履修コード	092011・312211
科目名	人的資源管理論 a
担当者名	ほりりゆうじ 堀 龍二

講義の到達目標(ねらい) 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

a (前期) では、主に、わが国企業が求める人材像の変化および人的資源管理の基本理念の変化を、企業を取り巻く環境の変化と関わらせて考察します。概略としては、グローバル化とIT革命、さらには新自由主義に基づく規制緩和といった環境の変化が、労働の質や労働市場の構造を変化させ、それに対応して企業の人的資源管理の基本理念が変化していることを具体的に検討し、それが労働者の働き方にどのような影響を与えているかという時代状況を把握することをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

教科書の順序にそって進める予定ですが、変更することもあります。

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3～5) 求められる人材像の変化、(6～8) 年功主義と能力主義、(9～10) 成果主義、(11～15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

準備学習

講義では最近の動向や傾向を取り扱うので、その具体的イメージをつかむために、新聞や雑誌等で人事労務管理関連の記事を点検しておくことが有益であろう。また、インターネットや統計資料でわが国の雇用や賃金の趨勢にも目配りしておくことが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a (前期) と b (後期) を合わせて同一年度に履修してください。

出席・小レポート (20%)、前期レポート (10%)、前期定期試験 (70%) を総合して評価します。追試験は実施します。

教科書/テキスト

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書

伊藤・中川・堀編『アメリカの経営・日本の経営』(ミネルヴァ書房、2010年3月刊行予定)。その他、講義中に適宜紹介する。

経 B

履修コード	092021・312221
科目名	人的資源管理論 b
担当者名	ほりりゆうじ 堀 龍二

講義の到達目標(ねらい) 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

b (後期) では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するか、やる気をどう引き出し、どう育てるのかといった問題を取り上げます。具体的には、人事評価や賃金システムのあり方、職務割当や仕事の与え方、キャリア形成のあり方などが、成果主義時代にどのように変化してきているかという問題を考察します。いま、わが国企業は激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の有効活用の新たな方法を模索しています。こうした動向や傾向を把握することを目標としています。

講義の内容/
授業スケジュール

テキストに沿って以下の構成で進める予定ですが、変更することもあります。

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価 (5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイアビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

準備学習

講義では最近の動向や傾向を取り扱うので、その具体的イメージをつかむために、新聞や雑誌等で人事労務管理関連の記事を点検しておくことが有益であろう。また、インターネットや統計資料でわが国の雇用や賃金の趨勢にも目配りしておくことが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a (前期) と b (後期) を合わせて同一年度に履修してください。

出席・小レポート (20%)、後期レポート (10%)、後期定期試験 (70%) を総合して評価します。追試験は実施します。

教科書/テキスト

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書

伊藤・中川・堀編『アメリカの経営・日本の経営』(ミネルヴァ書房、2010年3月刊行予定)。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	313101
科目名	消費経済論
担当者名	あねは あき 姉齒 暁

講義の到達目標(ねらい)

「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動の抱える問題が噴き出す場でもある。従って、私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。「食の安全」をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金のCMから消費者信用の性格が見えてくる。

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるこうした問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

講義の内容/
授業スケジュール

- I. 消費の成立—生産力の変化と消費
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 - ①生産と消費の分離
 - ②産業革命と「消費する人々」の誕生
 2. 経済の変化と消費行動
 - ①高度経済成長と消費生活の変化
 - ②「消費させられる」消費者
 3. 消費者運動と「消費者主権」という幻想
 - ①高度経済成長と消費者運動
 - ②「消費者主権」はありうるのか
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. サブプライムショックから家計債務を見る
 - ①サブプライムショックとは何だったのか?
 - ②アメリカの家計債務にみる消費者信用の役割
 - ③家計と金融—家計内債務と消費者問題
 2. 「情報化社会」と消費
 - ①「情報化社会」論
 - ②情報の偏在と消費者の「選択の自由」
 3. グローバリゼーションと消費生活
 - ①食料輸入大国日本の消費生活
 - ②グローバリゼーション下における地域経済と消費生活

履修上の留意点

遅刻は禁止。私語および中途の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。

しっかり学びとらないと、試験で合格点を取ることにはかなり難しい。したがって、わからないところはそのままにせず、講義の前でも後でもよいので必ず質問し、自分の理解度を確認しつつ、次に進むように努めてほしい。

成績評価の方法

中間試験及び定期試験によって評価する。
その他、理解度を図るための小テストや講義の中で行われた受け答えも評価に組み入れる。

教科書/テキスト

教科書は使用しない。

参 考 書

伊藤セツ・川島美保共編著『三訂消費生活経済学』光生館（2008年）

そ の 他

配布するレジュメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

経B

履修コード	098011・313911
科目名	グローバル・ファイナンス
担当者名	小西 宏美

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、多国籍企業の生産、投資活動を金融の側面から支えてきたグローバル・ファイナンスの役割とその弊害について学習する。今日のグローバル化は多国籍企業の活動に因るところが大きい。たとえば多国籍企業による海外生産活動と企業内国際貿易、海外企業の買収などである。グローバル・ファイナンスは、こうした企業の国際的生産、投資活動を資金調達や為替リスク管理といった側面から支えてきた。

講義の内容／授業スケジュール しかし逆にグローバル・ファイナンスがもたらす問題もある。それは経済の「カジノ化」(カジノ資本主義)である。今アメリカ発の金融危機によって世界経済が混乱しているが、これも「カジノ資本主義」がもたらした問題と言える。本講義ではグローバル・ファイナンスの役割とその問題点を検討しながら、将来的に望ましい企業金融のあり方や金融システムの枠組みについて考える。

準備学習 I 多国籍企業の国際的生産体制とグローバル・ファイナンス(1~14) ユーロ市場、シンジケート・ローン、証券化
II デリバティブ取引 ～リスク回避と投機的取引～(15~24) デリバティブ取引
III カジノ化する国際金融市場(25~28) ヘッジ・ファンド、カジノ資本主義

履修上の留意点 毎日、新聞を読みグローバル・ファイナンス関連の用語に慣れておくこと。
授業終了後は、講義で得た知見をノートにまとめること。また理解できなかった点は毎回配布するコメントカードに記載し、解答をYestudyで確認しておくこと。

成績評価の方法 新聞やテレビ、インターネットなどで見聞きした情報を、授業時に得た知識と結びつけながら様々な事象の関連性を考えて下さい。

教科書/テキスト 前期終了時点での授業内試験、後期終了後の定期試験、毎回のコメントカードへの記入の3点で評価します。

参考書 指定しません。

奥田宏司、神沢正典編(2010)『現代国際金融論(第2版)』法律文化社、2600円(予価)、978-4-589-03240-9

スーザン・ストレンジ(2007)『カジノ資本主義』岩波現代文庫(“Casino Capitalism”1986)1260円、978-4006001728

上川孝夫、藤田誠一、向寿一(2007)『現代国際金融論(第3版)』有斐閣ブックス、3045円、978-4641183469

その他 授業内で配布するプリントや毎回のコメントカードへの解答はYeStudyにアップしています。学習の参考にして下さい。

経B

履修コード	314371
科目名	非営利組織論 a
担当者名	松本 典子

講義の到達目標(ねらい) 非営利組織(非営利セクターに属する組織)には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、公益法人、協同組合など多種多様な組織が包含されます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、介護分野、まちづくり分野、環境分野、国際協力分野などにおいて活躍の場を着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織との協働(コラボレーション)も活性化しています。

本講義では、非営利組織の現実を踏まえて、営利/非営利組織の共通性/差異性を明確化し国際比較を行うことによって、非営利組織とは何か、とくに非営利事業体を含めてその発展の課題や社会的な存在意義に関する理解が深められる授業を行います。

講義の内容／授業スケジュール

- ・非営利組織の定義と範囲(1~3)
- ・非営利組織に関する法、税制度および経済規模(4~5)
- ・非営利組織の活動分野[福祉、まちづくり、環境等](6~9)
- ・非営利事業体、コミュニティ・ビジネス、社会的企業(10~12)
- ・非営利組織の国際比較(13~14)
- ・非営利組織論 a のまとめ(15)
- ・定期試験

準備学習 インターネットで自分の住む地域の「NPO法人」を検索してください。
履修上の留意点 講義に主体的・積極的に参加する学生の履修を望みます。

成績評価の方法 成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。
最初の講義で指定します。

参考書

- ・雨森孝悦『テキストブックNPO』東洋経済新報社、2007年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・田尾雅夫・吉田忠彦『非営利組織論』有斐閣、2009年。
- ・山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。

履修コード	314381
科目名	非営利組織論 b
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子

講義の到達目標(ねらい)

非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれない NPO 法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、公益法人、協同組合など多種多様な組織が含まれます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、介護分野、まちづくり分野、環境分野、国際協力分野などにおいて活躍の場を着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織との協働（コラボレーション）も活性化しています。

本講義では、非営利組織論 a で学習した内容に基づき、「営利／非営利」、「社会的企業」、「社会起業家」、「コミュニティ・ビジネス」、「ソーシャル・キャピタル」等をキーワードに、非営利組織の経営学を学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

- ・非営利組織の存在理由（1～2）
- ・非営利組織の法制・税制（3～4）
- ・社会起業家とは何か（5～6）
- ・非営利組織のガバナンス、マネジメントの基本的特徴、経営戦略、資金調達など（7～11）
- ・非営利組織のネットワーク、行政・企業との協働（12～14）
- ・非営利組織論 b のまとめ（15）
- ・定期試験

準備学習
履修上の留意点

非営利組織論 a の内容を復習してください。

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修をのぞみます。

講義内容は、非営利組織論 a を履修していることを前提とします。

成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。

最初の講義で指定します。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

- ・風見正三・山口浩平編著『コミュニティビジネス入門』学芸出版社、2009年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかる NPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・塚本一郎・山岸秀雄編著『ソーシャル・エンタープライズ』丸善、2008年。
- ・パブリックリソースセンター編『NPO 実践マネジメント入門』東信堂、2009年。
- ・山岡義典・雨宮孝子編著『NPO 実践講座・新版』ぎょうせい、2008年。

経 B

履修コード	314391
科目名	現代企業論 a
担当者名	<small>まつだ たけし</small> 松田 健

講義の到達目標(わらい) 本講義では、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得します。企業の基本的構造、主として制度上の観点からの基本的課題事項の整理を通じて、現代企業の特質とその役割を理解することを目的としています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 現代企業と経済学(1)(持続可能な社会と企業:現代企業論の基礎)
- 第3回 現代企業と経済学(2)(企業と市場)
- 第4回 現代企業と経済学(3)(取引コスト論)
- 第5回 現代企業と経済学(4)(所有権理論)
- 第6回 企業形態(1)(企業形態の分類とその意図)
- 第7回 企業形態(2)(個人企業・合名・合資・株式会社・LLC/LLP)
- 第8回 企業形態(3)(会社制度の歴史的発展とその意義)
- 第9回 株式会社の特質(1)(株式会社制度と所有者支配論)
- 第10回 株式会社の特質(2)(株式会社制度と専門経営者)
- 第11回 現代株式会社の特質と機関化現象(1)(株主機関化・法人化を巡る問題)
- 第12回 現代株式会社の特質と機関化現象(2)(機関的大株主と企業支配様式)
- 第13回 企業集中形態(1)(企業集団)
- 第14回 企業集中形態(2)(連結経営と企業グループ)
- 第15回 まとめ

準備学習

企業経営とそれを取り巻く「経営環境」としての経済社会との相互関連への理解を深めるためには「新聞を毎日読むこと」がとてもよい刺激になります。新聞、雑誌の政治・経済・経営欄に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

履修上の留意点

講義の予習復習を心がけてください。用語がわからないと講義を聞いても理解不足に陥ります。自分で使い易い経営学辞典あるいは経営学用語集を入手しておいて下さい。また、聴講する皆さんは大学生ですから細かいことは言いませんが、少なくとも講義を聴きたいと思って参加している同僚学生にとって邪魔になる行為は慎んでください。

経 B

成績評価の方法

授業への出席は、単位認定のための最低要件です。定期試験を行い、この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書/テキスト

開講時に指示します。

参考書

経営学辞典あるいは経営学用語集(⇒これでなければならないという指定はありませんが、自分で使い易いものを選んで使用して下さい)。

その他

なし

履修コード	314411
科目名	現代企業論 b
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義の到達目標(ねらい)	本講義では「現代企業論 a」の履修を踏まえ、「企業とは何か」という視点から、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任など、現代の企業経営にとって重要な TOPICS を欧州企業のケースを中心に学習します。
講義の内容／授業スケジュール	<p>第1回 企業の目的と経営者の役割 (1) (経営理念と企業の目的)</p> <p>第2回 企業の目的と経営者の役割 (2) (企業価値と株主の富の最大化)</p> <p>第3回 企業統治 (1) (企業統治とは何か：利害関係者と会社権力の正当性)</p> <p>第4回 企業統治 (2) (株主と企業 (経営者)：プリンシパル＝エージェント問題)</p> <p>第5回 企業統治 (3) (株式所有構造と企業間関係)</p> <p>第6回 企業統治 (4) (アングロ・サクソン型企業統治)</p> <p>第7回 企業統治 (5) (日本型企業統治)</p> <p>第8回 欧州企業の戦略と社会性 (1) EU (欧州連合) と企業の社会性</p> <p>第9回 欧州企業の戦略と社会性 (2) RDS：スーパーメジャーの戦略</p> <p>第10回 欧州企業の戦略と社会性 (3) スタトイル：ノルウェーにおける CSR</p> <p>第11回 欧州企業の戦略と社会性 (4) ルノー：CSR 戦略の国際的展開</p> <p>第12回 欧州企業の戦略と社会性 (5) フォルクスワーゲン：共同決定法と資本市場</p> <p>第13回 欧州企業の戦略と社会性 (6) レゴ：安全性、高品質</p> <p>第14回 欧州企業の戦略と社会性 (7) エアバス：汎欧州企業</p> <p>第15回 まとめ</p>
準備学習	<p>「現代企業論 a」を受講していることが望ましいです。</p> <p>特に「現代企業論 b」では、ケースを取り上げながら進めていくので、「新聞を毎日読むこと」や、「経済ニュース」を見聞きすることは不可欠です。日々の新聞、雑誌の政治・経済・経営欄に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。</p>
履修上の留意点	講義の予習復習を心がけてください。用語がわからないと講義を聞いても理解不足に陥ります。自分で使い易い経営学辞典あるいは経営学用語集を入手しておいて下さい。また、聴講する皆さんは大学生ですから細かいことは言いませんが、少なくとも講義を聴きたいと思って参加している同僚学生にとって邪魔になる行為は慎んでください。
成績評価の方法	授業への出席は、単位認定のための最低要件です。定期試験を行い、この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。
教科書／テキスト 参 考 書	<p>高橋俊夫編著『EU 企業論』中央経済社、2008年。</p> <p>経営学辞典あるいは経営学用語集</p> <p>⇒これだけではならぬという指定はありませんが、用語がわからないと聴講しても理解不足に陥りますので、自分で使い易いものを選んで使用して下さい。</p> <p>その他の指定図書については、適時指示します。</p>
そ の 他	なし

経 B

履修コード	330011
科目名	経営戦略論 a
担当者名	田淵 泰男

講義の到達目標(ねらい) 企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容／授業スケジュール 「経営戦略論 a」は、「企業戦略論」を主たる内容とします。企業戦略は、企業全体の将来のあり方に関する戦略です。その内容は、企業の諸事業を全体としてどのようにバランスないし統合するか、新しくどのような事業に進出するか、将来にわたってどのような企業を形成していくか、等にかかわる戦略です。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
戦略とは何か、経営戦略の概念、経営戦略論の発展過程、経営戦略の体系。
- ・企業のアイデンティティと事業活動領域を選択・決定する「ドメインの定義」
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」

履修上の留意点 企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法 授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。
教科書／テキスト 使用しません。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

参 考 書 適宜紹介します。

履修コード	330021
科目名	経営戦略論 b
担当者名	田淵 泰男

講義の到達目標(ねらい) 企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容／授業スケジュール 「経営戦略論 b」は、「競争戦略論」を主たる内容とします。競争戦略は、競合企業に対して持続的な競争優位を確立するための戦略であり、現在最も注目されている戦略論の研究テーマです。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・業界の競争構造分析フレームワーク（競争の程度から収益性の高い魅力的な業界を探し出す考え方と手法）である「5つの競争要因」分析。
- ・競争優位状態の分析と戦略的ポジションの選択にかかわる「競争の基本戦略」、および「戦略グループ」「価値連鎖」等。
- ・競争優位の源泉に関する2つの考え方として、「ポジショニング・アプローチ」と「資源ベース・アプローチ」。
- ・競争地位の類型化とそれに対応して要求される「競争対抗戦略」。
- ・製品ライフサイクル別の競争戦略、先発企業の競争優位性、後発企業の競争逆転の戦略、業界標準規格をめぐる競争戦略、など。

履修上の留意点 企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法 授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。
教科書／テキスト 開講時に説明します。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細を要するときはプリントを配布します。

参 考 書 適宜紹介します。

経 B

履修コード	330111
科目名	経営管理論 a
担当者名	岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい) 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。巨大企業のトップ・マネジメントをめぐって、所有と経営の分離にともなう会社支配の問題、グローバル化の進展・企業間競争の激化・資本調達にともない企業の透明性と効率性が求められている。本講義では、コーポレート・ガバナンスに関連付けながら現代の巨大企業におけるトップ・マネジメント機能の特質を考察していきたい。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 授業の概要：ガイダンス (1)
2. 企業と社会 (2～3)
3. 会社支配論とトップ・マネジメント (3～4)
4. 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス (5)
5. CSR とトップ・マネジメント機能 (6・7)
6. 日本企業のトップ・マネジメント改革 (8～9)
7. アメリカ企業のトップ・マネジメント改革 (10)
8. イギリス企業のトップ・マネジメント改革 (11)
9. ドイツ企業のトップ・マネジメント改革 (12)
10. ロシア企業のトップ・マネジメント改革 (13)
11. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス (14)
12. 企業管理改革の課題と展望 (15)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。企業経営の動向について、日常的に新聞・ニュース等を通じて情報収集をしてください。現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。レポートにより評価します。

参 考 書

風間信隆・海道ノブチカ編著 (2009)『コーポレート・ガバナンスと経営学』ミネルヴァ書房、2800円＋税、ISBN978-4-623-05409-1
代田純編著 (2010)『金融危機と証券市場』同文館。
日本比較経営学会編 (2006)『会社と社会』文理閣、3150円、ISBN-13: 978-4892595318
仲田正機編著 (2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社、2600円＋税、ISBN4-502-37970-0

経 B

履修コード	330121
科目名	経営管理論 b
担当者名	岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい) 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。本講義では、日本企業を中心とする CSR 経営とそれを主導すべき社会的規制の脆弱な実態を踏まえ、現代日本の CSR の意義と限界を導きだし、持続可能な社会をめざす CSR 型ビジネスモデルと経営、環境、社会分野における今後の課題を検討する。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 授業の概要：ガイダンス (1)
2. CSR と企業管理 (2～3)
3. ステークホルダーと企業管理 (4)
4. コーポレート・ガバナンスとマネジメント (5～6)
5. グローバル・ガバナンスとマネジメント (7～8)
6. 多国籍企業とCSR (9～10)
7. CSR と環境マネジメント (11)
8. 労働CSRの現状と課題 (12～13)
9. CSR 経営の課題と展望 (14～15)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。企業経営の動向について、日常的に新聞・ニュース等を通じて情報収集をしてください。現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。レポートにより評価します。
足立辰雄・井上千一編著 (2009)『CSR 経営の理論と実際』中央経済社、2800円＋税、ISBN978-4-502-66680-3

参 考 書

日本比較経営学会編 (2006)『会社と社会』文理閣、3150円、ISBN-13: 978-4892595318

履修コード	097401・330151
科目名	税務会計論
担当者名	北口 りえ

講義の到達目標(ねらい) 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。

本講義では、税務計算技術の習得や課税所得計算構造への理解を深めることに重点をおき、企業会計を基礎として課税所得および税額を計算し、申告・納税するという企業会計と税務の一連の手続きについて学習します。まず税務会計の基礎的な概念や考え方などについて学んだ上で、個別具体的な税務会計処理について学んでいきます。本講義をきっかけに、なぜ課税所得は企業利益に調整を加えて算出されるのか、公平な課税はどのようにしたら実現できるのかということについて考えてもらえればと思います。

講義の内容/
授業スケジュール

第1回：ガイダンス
第2～4回：税務会計の制度的基礎
第5～7回：法人税の基礎
第8～10回：課税所得計算の基礎
第11～15回：益金の会計
第16～24回：損金の会計
第24～27回：課税所得・税額の計算
第28回：申告・納付等
第29・30回：企業組織再編税制、連結納税制度

履修上の留意点

会計学の基礎的知識を前提として授業を行いますので、なるべく「簿記論」および「会計学基礎(会計学総論)」を履修した上で受講してください。

成績評価の方法

計算演習を行いますので、電卓を持参してください(講義内で指示します)。成績評価は、出席点、授業内試験、定期試験の総合評価により行います。ただし、受講者数次第では、出席点を加味しない場合があります。

教科書/テキスト

柳裕治他『税務会計論』(創世社)

経 B

履修コード	332301
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義の到達目標(ねらい) 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

講義の内容/
授業スケジュール

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

履修上の留意点

講義内容の概要は次のとおりである。

(1～2) 税務会計の制度的基礎、(3～5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6～8) 事業年度、同族会社、(9～12) 課税所得計算の基礎、(13～16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17～21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22～24) 税額の計算、申告、納付等、(25～28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29～30) 国際課税、不服申立・訴訟等

成績評価の方法

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

教科書/テキスト
参 考 書

原則として学年末の試験によって評価する。数回の小テストを行う予定である。開講時に指示する。開講時に指示する。

履修コード	318701・318702・318703
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	<small>せとおが ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義の到達目標(ねらい)

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。

講義の内容／
授業スケジュール

アメリカの大学の演習方式を大胆に採用しながらも、独自の方式で演習をすすめています。思考に強くなるための方法（弁証法の学習）、デジタル時代の学習と研究の方法（インターネット活用法の学習）、学ぶ者の社会的責任の体得などがそれです。

とくに最近数年間は、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中でおこっている経済事象を読み解く実力がやしなわれるからです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語れるようなゼミ生が確実にそだっています。

履修上の留意点
成績評価の方法

あわせて、日本学生経済ゼミナールの東京大会・全国大会への参加、インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩な企画を実行しています。

4年次生は卒業論文を作成します。

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書／テキスト

随時、有益な文献を紹介します。

アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

そ の 他

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。当ゼミのOB・OGも、しばしばゼミに顔をだし、社会や会社の現場の話をしてくれます。

このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするこのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

履修コード	319001・319002・319003
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	<small>あべ ひろし</small> 阿部 弘

講義の到達目標(ねらい)

テーマ：日本経済論

講義の内容／
授業スケジュール

日本経済の歴史的展開

通常のゼミの他に年間2回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載する。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。

年間2回の合宿への参加は不可欠です。

4年次に「課題研究」を履修することが前提です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

教科書／テキスト

池上惇『文化経済学のすすめ』丸善ライブラリー

経 B

履修コード	320911・320912・320913
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	岩波 文孝

講義の到達目標(ねらい) 企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振などを解決するために経営システムの改革が企業に求められています。授業では、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関わり、企業の社会的責任(CSR)を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

講義の内容／
授業スケジュール

課題研究は演習Ⅱまたは演習Ⅲに併設開講されているため、演習で学習した成果や受講生の問題意識に基づき、課題研究を執筆することになります。

演習時に通常の演習の授業とともに課題研究の指導を行います。

1. 授業のガイダンス (1～2)
2. 企業と社会をめぐる論点 (2～7)
3. CSRの現状 (8～15)
4. 現代CSRの課題 (16～23)
5. 現代の企業管理の課題と展望 (24～30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

課題研究は演習Ⅱまたは演習Ⅲに併設されています。

日常の課題研究報告および指定された期日に提出された課題研究に基づき評価する。

開講時に指定。

随時指定。

「課題研究」を併設します。

履修コード	321201・321202・321203
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	番場 博之

講義の到達目標(ねらい) この演習の目的は、流通産業および流通システムの研究である

講義の内容／
授業スケジュール

(1～20) 調査・研究報告

(21～30) 課題研究・研究報告

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

詳細なシラバスは開講時に履修者と相談して決める

日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価

必要な場合には、履修者と相談して決める

経 B

履修コード	321241・321242・321243
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	堀 龍二

講義の到達目標(ねらい) 労務管理や人的資源管理に関する基本的知識の習得、現代的問題意識の喚起、それらに基づいてテーマを設定してアプローチすることなどをねらいとしている。現代の日本企業で働くとき、企業の働き方やねらいと自らの望む働き方をいかに調和させていくかを考えてもらいたい。雇用はどうあるべきか。賃金・処遇は何を基準にすべきか。仕事をやる能力をどのように育成していくのか、企業が考える問題は、働く者の職業人生に大きく関係・影響する。労働のあり方を身近な問題として考えたい。

講義の内容／
授業スケジュール

最初は適当なテキストや資料を利用して、輪読や要旨報告の形で知識の習得と問題意識の喚起を図る。次にゼミ生の数にもよるが、グループ研究を行う。グループごとに小テーマを決めて、下調べをしてその成果をゼミで報告し、全員で討論する。適宜、統計資料の利用方法の実践、諸外国との比較なども行う。

履修上の留意点

テキスト・資料・新聞記事などを読んで、分かりにくいと感じたところをそのままにしないで、ゼミで疑問をぶつけるような積極的姿勢の持ち主を歓迎する。

成績評価の方法

ゼミへの出席・参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価する。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

初回に相談して決める。

適宜、紹介する。

課題研究を併設する。

専修過程「企業労働」を認定する。系統学習に必要な科目は、社会政策、労働法、経営管理論、企業統治論、人的資源管理論、演習などである。

履修コード	317201・317202・317203
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい) これまでの演習や共同研究において習得した知識にもとづき、各自の問題意識を踏まえて、課題研究の作成を行なう。

講義の内容／授業スケジュール 課題研究では、自身の意見を論理的に構成し、それに関する十分な実証の根拠を示し、相手に伝わる発表を行うことが必要とされる。そのために必要な論理的思考能力、資料収集・整理能力、プレゼンテーション能力を養い、自らの問題意識を卒業研究の形でまとめることを目的とする。

履修上の留意点 課題研究の作成は、テーマの選定、論理の組み立て、資料収集・整理、本文の執筆、内容の報告の順に進める。

成績評価の方法 ゼミ形式での発表と個別指導の形で演習を行なう。

特別な事情がない限り、毎回出席すること。

参 考 書 課題研究の内容を中心に、ゼミへの出席状況、卒業研究作成プロセス、研究のプレゼンテーションなどから総合的に評価する。

課題研究の課題に応じて個別に紹介する。

履修コード	317901・317902・317903
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	館 健太郎

講義の到達目標(ねらい) 人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざす。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとてつもない。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっている。

講義の内容／授業スケジュール 本演習では主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱う。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考える。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になるが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきだろうか。政府は何か政策を打ち出すべきだろうか。ゲーム理論という共通の土台の上に立って議論できるようになることを目指す。

準備学習 現実の経済現象をゲーム理論を応用して説明する論文を作成するために、発表とコメント、文章作成と添削と繰り返しながら完成を目指す。

履修上の留意点 さまざまな文献を読みながら早めにテーマ探しをしてほしい。

成績評価の方法 卒業研究を提出することを前提とする。

参 考 書 課題研究の提出と内容で評価する。

経 B

履修コード	318201・318202・318203
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、課題研究の作成を行ないます。

講義の内容／授業スケジュール 演習Ⅲでは、課題研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行ないます。

第一回目の演習の時間に今年度の予定を伝えますので、必ず出席してください。

成績評価の方法 出席状況、平常点(課題研究作成指導への対応姿勢など)、課題研究の内容を中心にして総合的に評価します。

教科書／テキスト 使用しません。

参 考 書 課題研究指導の中で適時に紹介します。

履修コード	319201・319202・319203
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	飯田 泰之

講義の到達目標(ねらい) 演習Ⅲでは、演習Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を元にゼミ論文・課題研究の完成を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール 前期
・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿
・ディベート大会

後期
・課題研究指導

履修上の留意点 「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学の a. b)」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法 出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書／テキスト 教科書は開講時に協議する。

参 考 書 テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

そ の 他 課題研究と合わせて履修すること。

履修コード	319301・319302・319303
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	長山 宗広

講義の到達目標(ねらい) テーマ：「地域の活性化」
フレ B の演習Ⅲでは、これまでの学びを活かし、4年間の経済学部での学習と研究の集大成として、卒業論文の作成に取り組む。

講義の内容／
授業スケジュール 各ゼミ生の「卒業研究（課題研究）」報告を中心に討論する。
卒業論文の提出にあつては、「研究企画書の作成」「中間報告会での予備審査」「最終原稿の審査」といったプロセスを経る必要がある。

履修上の留意点 演習Ⅱの際と同じ。

成績評価の方法 平常点。
出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。
この他、上記の卒業論文提出までのプロセスに関して評価する。

教科書／テキスト なし

参 考 書 都度、紹介する。

そ の 他 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

経 B

履修コード	319901・319902・319903
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	松本 典子

講義の到達目標(ねらい) 非営利組織（NPO）とは何か、について学びます。
①営利組織と非営利組織を比較することによって、両者の特徴を学びます。
②非営利組織の実際の活動、行政や企業との協働を経営学の視点から考えます。

講義の内容／
授業スケジュール 非営利組織に関する基本文献を読み、基礎知識や理論を学習します。
同時に、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力を獲得することを目指します。

履修上の留意点 1年間の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。
積極的に物事を調べ、積極的な姿勢で授業にのぞんでください。

成績評価の方法 出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に評価します。

教科書／テキスト ゼミ生と相談の上、決定します。

参 考 書 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連 HPなどを随時紹介します。

履修コード	320921・320922・320923
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	^{すずきののぶ} 鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい) 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どうい
う問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容／授業スケジュール 公共経済学のテキストを読みます。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。必要に応じて、コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

成績評価の方法 出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書／テキスト 受講者と相談して決定します。事前に購入する必要はありません。

その他の 「課題研究」を併設します。

履修コード	321261・321262・321263
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ 課題研究
担当者名	^{まつだ たけし} 松田 健

講義の到達目標(ねらい) 本演習では、「現代における企業と社会との関係と、どのように捉えればよいのか」という命題に基づきながら、企業経営の現代的課題や企業活動の体系的理解を通じて企業を広く理解する視点を身につけることを目標としています。

とりわけ1990年代以降、企業の経済活動が急速にグローバル化したことを受け、それ以前の社会・政治・文化・国際関係といった多様な領域と企業との関係性は大きく変容しつつあります。企業が持つ経済的性格のみならずその社会的性格にも焦点を当て、企業を社会経済システムの中に位置づけながら、企業と社会の相互関係性から生じている現代的諸問題を考察し、それを卒業研究につなげていきたいと考えています。

講義の内容／授業スケジュール 本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業研究論文の作成を試みます。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回～第5回 演習参加者各自の研究課題テーマについての討論
- 第6回～第10回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(1)
- 第11回 小括：資料輪読(1)による知見をまとめた研究報告(1)
- 第12回～第14回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(2)
- 第15回 小括：資料輪読(2)による知見をまとめた研究報告(2)
- 第16回～第20回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(3)
- 第21回 小括：資料輪読(3)による知見をまとめた研究報告(3)
- 第22回～第26回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(4)
- 第27回 小括：資料輪読(4)による知見をまとめた研究報告(4)
- 第28回 論文作成の技術的指導(1)
- 第29回 論文作成の技術的指導(2)
- 第30回 課題研究論文口頭報告

履修上の留意点 課題研究に向け、自らが設定した研究課題を体系的な論文にまとめ上げていく作業には、強い自律心が求められます。したがって演習参加者は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。

成績評価の方法 講義への出席は最低要件です。したがって卒業研究にかかわる各自の報告を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。

教科書／テキスト 開講時に指示します。

参考書 経営学辞典あるいは経営学用語集。

その他 課題研究を併設します。

経 B

履修コード	089512
科目名	経済学概説
担当者名	森田 成也

講義の到達目標(ねらい)

はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識を体系的に教えます。商品・貨幣から始まって、国家・世界市場まで展開します。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の前半は経済学の基礎理論のうち、資本主義の真の土台であり、その秘密である、資本の生産過程をやります。後半は、それ以降、世界市場までです。

(前半)

1、経済学とは何か、2～3、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、4、貨幣とは何か、5、貨幣の資本への転化、資本の生成、6、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、7～8、剰余価値生産の3つの形態、9、生産様式と包摂、労働者統合、10～11、労賃と雇用、12～13、資本の蓄積メカニズムと相対的過剰人口

(後半)

14～16、資本の流通過程、17、平均利潤率と生産価格、18、利潤率の傾向的低下の法則、19、商業資本、20、利子生み資本、21、銀行資本、22、株式会社と法人資本主義、23、独占資本と独占利潤、24、土地所有と地代、25、国家と市民社会、26、世界市場と帝国主義

履修上の留意点
成績評価の方法

板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート・・・夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験・・・1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書／テキスト
参 考 書

森田成也『価値と剰余価値の理論』(作品社)、2009年刊、2300円

森田成也『資本と剰余価値の理論』(作品社)、2008年刊、2300円

履修コード	099291
科目名	キャリア・デザイン
担当者名	竹下 睿騏

講義の到達目標(ねらい)

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してもつ一連の職業および職務」ですが、広義には(職業・労働の世界での生き方に限定されず)「人生の諸過程(ライフプロセス)、生き方(ライフスタイル)」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること(人生設計)です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要となります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容／
授業スケジュール

講義—1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応(学業と就職準備活動の両立)、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか(生涯学習社会と「キャリア・デザイン」)、3. ライフサイクルと職業生活(職業と就職の意味)、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割(学業と課外活動の意義)、5. 大学生活をどのように過ごすか(進路選択=職探しは自分探しである)。ゲスト講師による「キャリア・デザイン(人生設計論)」—前期3～4回、後期5～6回。なお、前期、後期の初めに「授業実施計画」(スケジュール表)を配布します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

出席を重視します。

後期の期末に記述形式の定期試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書は使用しません。

講義のつど紹介します。

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。適宜、講義内容に関連するレジュメ、プリント、資料を配付します。

経 B

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	鶏徳 啓登

講義の到達目標(ねらい)

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1回～3回 : 行政法の意義について(法令の種別と法の解釈を含む)。
- 4回～6回 : 行政作用と行政行為について。
- 7回～15回 : 行政行為(特許や許可等)の意義、内容、効力について。
- 16回～20回 : 行政上の強制手段と行政上の処罰について。
- 21回～25回 : 国家による賠償と補償について。
- 26回～30回 : 行政上の不服申し立てと行政事件訴訟について。

成績評価の方法
教科書/テキスト

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。
原田尚彦著『行政法要論』(学陽書房) 3,000円 : ISBN4-313-31222-6
『小六法』 出版社・定価各種

参 考 書

塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

履修コード	090002
科目名	経済理論 I B・経済システムの原理
担当者名	大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい)

今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業による商品生産、すなわち資本の運動にもとづいて実現されています。経済理論Aは、資本のシステムの基礎的諸条件をあきらかにしました。資本のシステムは、資本の運動法則を基礎に、それを構成する様々な部分に関連しあって動いています。経済理論Bは、このような観点から、経済システムの諸姿態を捉えていきます。その上で、現代資本主義を法則的なシステムとして捉えるのに必要な、独占資本主義論、国家独占資本主義論などについても触れています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1 経済理論Bを始めるにあたって
- 2～3 経済学の対象と方法
- 4～6 商品と貨幣
- 7～10 資本の生産過程
- 11～13 資本の再生産と流通
- 14～16 利潤と利潤率低下の法則
- 17～19 商業利潤・利子・地代
- 20～23 独占資本主義の理論
- 24～ 現代資本主義の理論

準備学習

現実の経済への問題意識を養う上で、新聞に絶えず目を通したり、テレビ・ラジオなどのニュースに注意を払うことが必要です。

履修上の留意点

この科目は、経済理論Aの発展科目です。原則として、講義は、経済理論Aの既修者を想定して行ないませんが、未修者にも配慮しますのでなんら不利な点はありません。

この科目は、ノートをよく取りながら学ぶことで全体の理解が可能となる、といった体系性を持っていますので、1年を通して欠かさず出席することが求められます。なお、年に数回、授業時間中に小レポートを書いていただきます。

成績評価の方法
教科書/テキスト

成績評価は、期末試験の成績に小レポートの評価を勘案して行ないます。

一井 昭著『ポリティカル・エコノミー』(桜井書店) 2,520円

参 考 書

大石雄爾著『商品の価値と価格』(創風社) 3,600円

経 B

履修コード	091312
科目名	商学総論
担当者名	大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい) この授業では、「流通論基礎」を講義するのですが、どのような内容の講義であるのか。まず、「流通論」の「基礎」を講義することは解るでしょう。それでは、「流通論」とは何を論じるものなのか。すくなくとも、「流通」について論じるものであることも解るでしょう。しかし、問題はここからです。以上ではまだ何も解っていないということは解っていますね。あるいは、これから論じる「流通」とは何か、ということは知っていますか。諸君は、この授業で、「流通」に関する理論、のさらにその「基礎」を学習することになるのですが、私達の毎日の生活と流通とがどのように関係しているのかを働く人の立場から、そして消費者の立場から考えていくうえで、その基礎となる理論について講義する予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

授業の内容は下記の通りです。
 (1) 私達が毎日の生活のために購入する商品について。
 (2) 商品の生産について・商品がなければ流通はありません。
 (3) 商品の流通について。
 (4) 現代社会では私達消費者は商品を買わなければ生活できません。
 (5) 企業は商品を生産し販売するためには、商品を保管しなければなりません。
 (6) 商品を販売するためには、市場まで輸送しなければなりません。

成績評価の方法

評価は期末試験による。各授業項目が終わる毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深めるようにする。

教科書／テキスト

大吹 勝男「流通諸費用の経済学的研究」 梓出版社・2010年 5月刊行予定

履修コード	091601
科目名	会計学総論
担当者名	福島 隆

講義の到達目標(ねらい) 「会計はビジネスの共通言語」とも言われ、ビジネスをする際には必要不可欠な知識であり、会計の存在を抜きにして企業の経営状態を表すことはできません。また、会計の国際化に伴い、その重要性は以前にも増して高まってきています。本講義は、会計学の基本的な知識を習得することを目的としており、「総論」という名称通り、どちらかといえば「浅く広く」講義を行います。具体的には、財務諸表や会計に関連する新聞・雑誌記事を「読む」ことを主眼として、講義を行います。

経 B

講義の内容／
授業スケジュール

以下のようなスケジュールを予定しています。なお、授業内で中間試験を2回行います。中間試験の日程は、授業中に指示します。

(1) オリエンテーション、(2~4) 財務諸表総論、会計を取り巻く法律、(5~10) 資産会計論、負債・純資産会計、損益会計等、(11~13) 連結財務諸表、キャッシュフロー計算書、(14~16) 各種会計基準の概要、(17~19) 財務諸表分析、(20~23) 管理会計、(24~25) 監査制度、(26) 国際会計の動向

準備学習
履修上の留意点

特にありませんが、簿記の知識があることが望ましいです。
 会計学は積み重ねが重要ですので、毎回出席して、復習に時間を当ててください。また、毎回電卓を持参してください。なお、10分以上の遅刻は欠席扱いとします。授業中の私語で注意された学生は、大幅減点されます。

成績評価の方法

出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。なお、受講生が少ない場合には、授業中に発言を求められることがあり、発言してくれた学生には別途加点します。

教科書／テキスト

未定。初回の授業で指示します。

参考書
その他

必要に応じて指示します。
 簿記論を未履修の学生は、なるべく簿記論を同時履修するようにしてください。

履修コード	092411
科目名	企業論基礎
担当者名	劉 永鶴

講義の到達目標(ねらい)	本講義は、企業の法律形態、企業の支配・統治構造ならびに企業成長に対する理論的究明を中心内容とする。なかには、株式会社の特質、支配形態および統治構造を重点的に講義し、その国際比較も行う。これを通して、現代社会における企業とくに巨大な株式会社の全体構図ならびに最新動向をより広い角度からアプローチする。
講義の内容／授業スケジュール	前期には、企業論の研究対象、主な企業形態とそれぞれの特徴について講義する。 I 企業論の研究対象 II 企業の種類と企業形態 III 企業形態の発展過程 IV 単独出資者の企業：個人企業 V 会社企業：①合名会社 ②合資会社 ③合同会社 ④有限会社 後期には、株式会社の特徴と会社機関、企業支配、企業統治、企業成長と社会などを講義する。 VI 株式会社の特質 VII 株式会社の資金調達 VIII 株式会社の支配 IX 株式会社のガバナンス X 企業成長と社会
履修上の留意点	予習はもちろんのこと、各章ごとに「演習問題」を出すので、それを中心に復習することも望まれる。
成績評価の方法	前期と後期に分けて2回の筆記テストを行い、その成績に、普段の講義への出席状況を加味して評価する。
教科書／テキスト	・百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。 ・作新学院大学経営学研究グループ（代表：中村瑞穂）著『経営学—企業と経営の理論』白桃書房、2003年。 その他、授業の初回目に指示する。

履修コード	092421
科目名	ファイナンス基礎
担当者名	須藤 時仁

講義の到達目標(ねらい)	この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われていましたが、80年代からは株式市場を通じた、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。 (前期) (1-5) 金融制度と金融機関 (6-10) 金融システムの形成とその変遷 (11-15) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達) (後期) (16-20) 債券市場を用いた資金調達 (21-25) 株式市場を用いた資金調達 (26-30) まとめと今後の展望
履修上の留意点	できる限り新聞や雑誌に目を通して、現実の経済・金融の動きを理解するように努めてください。
成績評価の方法	講義中に出欠は取りません。評価は基本的に学年末の定期試験で行います。なお、夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを考えていますが、その場合には提出されたレポートを20点満点で評価し、その成績を加味します。
教科書／テキスト	この講義は金融・証券市場といった幅広いテーマを扱うため、講義内容のすべてを1冊の教科書でカバーすることは困難です。したがって、特定の教科書は指定しません。
参 考 書	講義の内容を理解するために有用な参考書を第1回目の講義のときに示します。また、細かい論点をさらに理解するために必要な参考文献は講義中に適宜指示します。

経B

履修コード	092501
科目名	経済数学
担当者名	池田 宏

講義の到達目標(ねらい)

経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的な方法の修得を目指す。

講義の内容／
授業スケジュール

前期：線形代数 1. ガイダンス (2.3.4.5) ベクトルと行列の定義と計算 (6.7) 1次変換と固有値、固有ベクトル (8.9.10) 行列式の定義と計算 (11.12) 連立1次方程式(掃き出し方) (13) 線形計画法 (14) 試験

後期：微分積分 (1.2.3.4) 微分の基礎 (5.6) 接線、増減、極値 (7.8.9.10) 基本関数の微分 (11.12) 高次導関数 (13.14) 多変数関数と偏微分 15. 試験

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法

高校普通科の2年までに学習する行列、ベクトル、微分の復習
高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。
前後期に各一回行う試験と、授業内で提出する課題と出席状況からなる平常点から総合評価します。評価の割合は試験点(80%)と平常点(20%)です。

教科書／テキスト
参考書

教科書は指定しない。必要な時に適宜、教材プリントを配布する。
田代嘉宏著 『数学概論 線形代数／微分積分』 裳華房 本体2400円
ISBN4-7853-1078-2 C3041

履修コード	092711
科目名	応用マクロ経済学
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい)

この講義では「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」で学んだ知識を基礎に、より進んだマクロ経済学の講義を行う(ただし、「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」の内容も適宜、講義の中で復習する)。講義では1年をかけてマクロ経済学の内容を懇切丁寧に解説するため、受講することにより新聞や雑誌で取り上げられる様々な経済問題についてきちんと考えられるようになり、社会人になっても役立つ知識が身に付く。

講義の内容／
授業スケジュール

1. マクロ経済学とは何か
2. マクロ経済データと日本経済
- 3-4. 需要と供給
- 5-6. マクロ経済の様々な市場と登場人物
- 7-8. 市場の不完全性と失業・不景気
- 9-10. 貨幣とインフレーション
- 11-14. 景気変動と経済統計
- 15-18. 経済成長
- 19-20. 消費
- 21-22. 投資
- 23-24. マクロ経済政策論争(1) 財政政策
- 25-26. マクロ経済政策論争(2) 金融政策
- 27-28. 経済変動の理論の発展
- 29-30. マクロ経済学で「分かっていること」と「分かっていること」

準備学習
履修上の留意点

教科書と事前に配布する講義資料をよく読んでおくこと。
「応用マクロ経済学」の理解を深めるには「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」を履修していることが望ましい。ただし、必要な知識は講義の中で復習するので必須ではない。高度な数学の知識は必要ないが、若干は使わざるを得ないので、必要に応じて講義の中で解説する。講義には積極的に参加すること。また、私語は厳しく禁じる。携帯電話の電源は切るか、マナーモードすること。これらの常識が守れない者は退出させることがある。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。ただし、夏季休暇中の課題も成績評価の考慮に入れるため、課題は必ず提出すること。

教科書／テキスト
参考書

マンキュー「マクロ経済学(II) 応用編」(東洋経済新報社)、3675円、ISBN-10: 4492313346
マンキュー「マクロ経済学(I) 入門編」(東洋経済新報社)、3885円、ISBN-10: 4492313222

経B

履修コード	092801
科目名	計量経済学
担当者名	田中 正光

講義の到達目標(ねらい)	経済学で学んだ消費関数や投資関数などが現実の経済にどの程度適用できるか検証を行うには、関連データを収集し、これら諸関数の構造方程式を推計し、それらの推計パラメータをさまざまな角度から評価する作業が必要になる。
講義の内容／ 授業スケジュール	こうした経済の構造の解明を目指すためのツールとして、また簡単な経済予測を行うためのツールとして計量経済学がある。本講義では、計量経済学の概略を簡単な理論と数値例から学び、計量経済学の有用性の理解を深めることを目指す。
準備学習	(1～6) 計量経済学に最低限必要な基礎的統計学 (7～10) 統計学の応用 (11～16) 最小二乗法と回帰モデル (17～18) 重回帰モデル (19～20) 回帰モデルの仮説検定 (21) ダミー変数の利用 (22～27) 系列相関、多重共線性、分散不均一 (28～30) 連立方程式モデル
履修上の留意点	初回に講義全体の目次を渡すので、講義前に該当箇所のおよその内容を図書館などで調べておくことが望ましい。
成績評価の方法	授業の中で簡単な計算をする場面がしばしばあるので、電卓(関数電卓が望ましい)を持参すること。また、エクセルをしばしば使うので同ソフトにもある程度慣れていただきたい。
教科書／テキスト 参考書	前期末と後期末に授業内で実施する試験の結果、通常授業における演習問題の結果、出席状況等を総合的に判断して成績を評価する。
その他	指定なし。 伴金美・中村二郎・跡田直澄『エコノメトリックス(新版)』2006年(有斐閣) 唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学』2003年(東洋経済新報社) 白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』2000年(日本評論社) 蓑谷千鳳彦『計量経済学』1998年(東洋経済新報社)

履修コード	092901
科目名	統計学
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい)	この講義では、はじめて統計学を学ぶ学部生向けに初歩から統計学を講義する。授業の目標は(1)統計学の基礎を学び、(2)ビジネスや経済におけるデータ分析を学び、(3)Excelなどのソフトウェアを用いて実際にデータ分析する方法を合わせて学ぶことにある。それらを通じてビジネスや社会において統計学をどのように応用すればよいか学び、実際の能力を身につけることができる。
講義の内容／ 授業スケジュール	1. 統計学とは何か 2-3. グラフを使って表す 4-5. 全体を一言で表すには 6-7. ばらつきとリスクを追いかける 8-9. 確率の基礎 10-13. 分布とは何か 14-15. 標本を作る 16-18. 単回帰分析 19-20. 推定 21-23. 仮説検定 24-27. データ分析の実際 28-30. ツリーで学ぶベイズ統計学
準備学習	教科書と事前に配布する講義資料をよく読んでおくこと。
履修上の留意点	数学上の前提知識は特に必要としないが、講義中である程度は使用せざるを得ないため、必要な知識は講義の中で教える。講義には積極的に参加すること。また、私語は厳しく禁じる。携帯電話の電源は切るか、マナーモードすること。これらの常識が守れない者は退出させることがある。
成績評価の方法	基本的には期末試験による。ただし、夏季休暇中の課題も成績評価の考慮に入れるため、課題は必ず提出すること。
教科書／テキスト 参考書	吉田耕作「直感的統計学」(日経BP社)、2940円、ISBN-10: 4822245101 適宜指定する。

経B

履修コード	093001
科目名	景気循環論
担当者名	野村 信廣 <small>のむら のぶひろ</small>

講義の到達目標(わらい) 景気循環への関心は極めて高い。それは(1)景気循環が多くの人の生活に影響すること(2)景気循環の姿がその都度変化すること(3)景気循環が経済・政治の諸問題に影響すること—のためである。講義では(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用した景気の過去分析や現状把握、将来予測—などを学ぶ。受講生が景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容/
授業スケジュール

- [前期](1)景気とサイクル(第1回～第6回)
(2)景気循環の主な内容(第7回～第15回)
[後期](3)景気循環の歴史(第16回～第24回)
(4)景気循環の理論(第25回～第30回)

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書
その他

過去1週間の内外の景気循環の記事を整理し、予定されている授業のテキストを読んでおくこと
日々の内外景気循環に興味を持つこと
レポート(前期)、定期試験(筆記・後期)、出席状況を加味して総合的に評価
景気循環学会・金森久雄「ゼミナール・景気循環入門」(東洋経済新報社)
適宜参考資料を作成・配布
講義中心だが、質問や討議を歓迎

履修コード	093101
科目名	現代資本主義論
担当者名	森田 成也 <small>もりた せいや</small>

講義の到達目標(わらい) 私たちが生きている資本主義社会がまさに現代資本主義であり、ここではグローバリゼーション、貧困と格差の拡大、地球温暖化と環境破壊、戦争、繰り返される金融バブルと金融恐慌、等々の深刻な現実が起きています。こうした現象を、まず前半では、その基本枠組みが20世紀に成立し20世紀末に新自由主義へと大きく変貌した現代資本主義という枠組みで解明し、現代資本主義を論じたさまざまな論者の議論も紹介していきます。後半では、この日本における特殊性について講義し、今日における現状変革の課題について考えていきます。

経 B

講義の内容/
授業スケジュール

- <前半>
1、講義を始めるにあたっての簡単な説明、2、現代資本主義とは何か—その20世紀的特徴と21世紀的変容、3～5、現代資本主義の成立過程、6～8、さまざまな論者による現代資本主義論の紹介、9～11、20世紀末から21世紀にかけての現代資本主義の変容、12～13、さまざまな論者による変容の解明

履修上の留意点
成績評価の方法

- <後半>
14、資本主義一般と日本資本主義論、15、日本資本主義の成立の特殊性、16、戦後改革と現代日本資本主義の枠組みの成立、17～18、高度経済成長と現代日本資本主義の発展、19～20、高度成長の終焉と日本資本主義の変容の開始、21～22、新自由主義化の流れと日本資本主義の変容、23～25、年功賃金、福祉国家、開発主義、26、日本資本主義の今後の課題
板書中心の授業になるので、必ずノートをとること。とくに出席はとりません。
夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください
(1)夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。
(2)学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書/テキスト
参考書
その他

『新自由主義批判の再構築』、2010年5月出版予定、法律文化社
デヴィッド・ハーヴェイ『新自由主義』、2007年刊、作品社、2400円
経済原論や経済学概説など基礎的科目の履修者が望ましい。

履修コード	093212
科目名	社会思想史 a
担当者名	阿部 弘

講義の到達目標(ねらい)

「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。

講義の内容／
授業スケジュール

講義の内容： 「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考えであった。

近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。

講義のスケジュール：講義は15回であるので、次のスケジュールになる。

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開（01-05回）

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程（05-12回）

第3章：現代の経済的諸問題（13-15回）

準備学習

大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをもットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点
成績評価の方法

講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているので、受講生の積極的参加が重要視される。したがってつぎのようになる：1、出席の確認（授業中に適宜実施される）・2、3回のレポートの作成

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う「追試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書／テキスト

阿部弘：『労働と所有』，八千代出版，1983。

同：『経世済民論と経済学』，創成社，2010

参考書
その他の

適宜授業中に指定する。

受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス：xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

経B

履修コード	093222
科目名	社会思想史 b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい) 私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容／
授業スケジュール

講義の内容：
「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それぞれ自体をコスト原則で規定して、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

講義のスケジュール： 講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

第1章：「経世済民」の思想 (01-05回)

第2章：「経世済民論」と経済学 (06-12回)

第3章：「経世済民論」と現代 (13-15回)

準備学習

大学の「授業」は、受講生の皆さんが自ら考え・研究していく、ということをもットーとしている。そこでこの「講義」は、皆さん一人一人が全員毎回授業に出席しノートをとって考えるというのが基本なので、もし止むを得なくて「欠席」するようなことがあれば、そのときにはどのような内容の講義がなされたのかなどを調べて自分の考えを身につけていることが必要である。

履修上の留意点
成績評価の方法

講義開始の日にレポートの課題を提示するのでノートをとっておくこと。

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：1、出席の確認（授業中に適宜実施される）・2、3回のレポートの作成

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書／テキスト

阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983。

同：『経世済民論と経済学』、創成社、2010

参考書
その他

適宜授業中に指定する。

受講生との連絡に必要な「研究室」などを次に記しておく。

阿部弘 研究室 第2研究棟、5F 2538研究室

電話：03-3418-9360

メールアドレス：xupabe@nifty.com

メールでは、基本的に名前・講義名・用件を記すこと。

経 B

履修コード	093301
科目名	日本経済史
担当者名	渡邊 恵一

講義の到達目標(ねらい) 経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容／授業スケジュール (1)課題と方法、(2)～(6)幕藩制下の経済発展、(7)～(9)幕末開港の歴史的意義、(10)～(12)明治前期の経済政策、(13)～(18)日本産業革命の展開、(19)～(23)第一次大戦期の日本経済、(24)～(27)恐慌の時代、(28)～(29)戦時経済の展開と崩壊、(30)総括と展望

準備学習 講義の内容およびテキストのページ範囲は、前回講義の最後の時間に指示する。講義は、受講生がテキストにあらかじめ目を通して行くことを前提に行う。

履修上の留意点 毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がつかなくなることを意味するので、くれぐれも注意されたい。

成績評価の方法 定期試験(年度末)の成績をベースとして、授業中に随時配布する「リアクション・ペーパー」の提出状況、記載内容などを平常点として加味し、総合的に判断して評価する。

教科書／テキスト 老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会、2940円、ISBN4-419-04025-4)。

補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書 上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他 日本史の知識不問(挫折者歓迎!)。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみて下さい。

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	溝手 芳計

講義の到達目標(ねらい) “工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容／授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1回)
2. 食料問題と食料政策 (6回程度)
3. 農業の特質と現代農業 (4回程度)
4. 戦後日本の農業問題と農業政策 (6回程度)
5. 農産物価格問題と価格・所得政策 (5回程度)
6. グローバリゼーション下における世界の農業 (5～8回)

履修上の留意点 充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法 成績評価は定期試験(年度末)を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書／テキスト 田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書 ※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

経 B

履修コード	093601
科目名	工業政策
担当者名	奥山 雅之 <small>おくやま まさゆき</small>

講義の到達目標(ねらい) わが国の工業(「ものづくり」産業)は、その技術力を背景に高い国際競争力を有しており、産業全体を支える重要な存在です。

この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、ものづくり産業の特徴を確認しながら、産業の「過去」「現在」そして「将来」を考察します。また、ものづくり産業に対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性についても検討を加えていきます。

前期では、ものづくり産業の現状をさまざまな角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、産学連携、知的財産、環境問題、CSR(企業の社会的責任)など、ものづくり産業をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

1年間を通じて、ものづくり産業に関する政策的な課題設定力と、自分なりの解決策を提案する力を持つことを到達目標としています。

講義の内容/
授業スケジュール

- 前期(1~3)工業の意義と役割
(4~6)工業の発展と工業政策の歩み
(7~9)産業構造とものづくり産業
(10~13)工業の立地問題
(14~15)ものづくり中小企業と政策
後期(16~19)ものづくり産業の業種別動向(自動車産業、繊維産業ほか)
(20~21)「ソフトなものづくり」産業(映画産業、アニメーション産業ほか)
(22~23)ものづくりを支える人材の確保・育成
(24~25)イノベーションと産学連携
(26) 知的財産の創造・保護・活用
(27) 創業・ベンチャー支援策
(28~29)工業振興と環境問題
(30) 工業振興とCSR(企業の社会的責任)

準備学習

事前学習としては、日ごろから新聞の経済・産業関連記事に接しておくことを望みます。事後学習としては、配布した資料とノートを再確認し、各週のテーマに対する自分なりの考え方をまとめておくことが重要です。

経 B

履修上の留意点
成績評価の方法

日頃からものづくり産業や企業に関心を持つことを望みます。
成績は学年末試験とレポートで評価します。試験が8割、レポートが2割のウェイトで評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

特に指定しません。配布する資料によって講義を実施します。
加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』(新評論)
なし

履修コード	093701
科目名	経済地理
担当者名	矢延 洋泰 <small>やのぶ ひろやす</small>

講義の到達目標(ねらい) 経済的諸活動の空間構造を地理学的に捉えてみたい。なかでも世界で最も経済発展が著しい東アジア地域を中心に考察します。

講義の内容/
授業スケジュール

(1) 地理学の中における経済地理学とは (2) 経済を中心にみた世界史の潮流 (3) 経済社会の変化を探る (4) 東南アジアの基礎知識 (5) アジア・ダイナミズムの源泉を探る—OECD レポートの衝撃とその分析、アジア NIES 誕生の意味。(6) 成長の基層文化 (7) 戦後日本の経済発展と周辺アジアとの関係 (8) 東南アジアにみる地域協力機構の色—ASEANの成立過程、シンガポールの経済開発と成長の限界、成長の三角地帯構想の背景、(9) 冷戦崩壊後の世界と日本—冷戦とバブル崩壊後の日本の対応、幻の EAEC 構想と AFTA 実現の意味、太平洋を跨ぐ APEC の思惑、日米中が描く ASEAN を核にした地域協力、(10) 「ハブ」と「スポークス」の考え方 (11) 大航空時代の周辺アジアと日本の動向

履修上の留意点

学ぶことに意欲を持ち、アジアに興味と関心のある学生を期待します。文献紹介は適宜するつもりですが、それらは必ず読むようにしてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験(80%)と、授業内に提出を求める課題、アトランダムに取る出席(20%)で評価します。

教科書/テキスト

教科書は使いませんが、適宜プリントを配布します。配布は基本的に2週としますので、忘れずに取得するようにしてください。

参 考 書
そ の 他

矢延洋泰『インサイト東南アジア』勁草書房 3255円 ISBN4-326-65182-2
質問は授業の後に受け付けます。諸般の事情で授業スケジュールを変更する場合があります。

履修コード	093811
科目名	中小企業論
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) 商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容/
授業スケジュール

講義ガイダンス (1)
I 中小企業の基礎理論
I-1 中小企業の法的規定 (2)
I-2 中小企業の経営類型 (3)
I-3 中小企業の企業形態 (4)
I-4 日本型下請構造の特質 (5~6)
II 日本型下請システムの形成過程、
II-1 日本経済復活期の生産分業構造 (7~8)
II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化 (9~10)
II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立 (11~12)
II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変 (13~14)
講義のまとめ (15)

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として、定期試験(前期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。詳細は最初の授業で説明します。追試験は実施します。

教科書/テキスト
参 考 書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。
『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	093821
科目名	中小企業政策論
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい) この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容/
授業スケジュール

講義ガイダンス (1)
1 復興期の中小企業政策 (2~4)
2 高度成長と中小企業近代化政策 (5~8)
3 中小企業政策の大転換 (9~11)
4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12~13)
5 中小企業と不正取引問題 (14)
講義のまとめ (15)

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として、定期試験(後期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。詳細は最初の授業時に説明します。追試験は実施します。

教科書/テキスト
参 考 書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。
『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

経B

履修コード	094101
科目名	地方財政論
担当者名	篠原 章

講義の到達目標(ねらい) 「分権の時代」といわれて久しいが、本講義では、地方自治体（地方政府）の財政（収入と支出）に関する制度的・理論的な知識を身につけると同時に、地方分権に関わるさまざまな問題点を理解・分析し、その解決策を見いだす能力を涵養することが目標である。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1 前期オリエンテーション（講義の進め方・注意点）
- 2 財政・地方財政と経済（1）
- 3 財政・地方財政と経済（2）
- 4 中央政府と地方政府（1）
- 5 中央政府と地方政府（2）
- 6 財政の三つの機能と地方財政支出（1）資源配分
- 7 財政の三つの機能と地方財政支出（2）資源配分
- 8 財政の三つの機能と地方財政支出（3）所得再分配
- 9 財政の三つの機能と地方財政支出（4）所得再分配
- 10 財政の三つの機能と地方財政支出（5）経済安定
- 11 地方財政の現状と課題（1）合併と道州制
- 12 地方財政の現状と課題（2）合併と道州制
- 13 地方財政の現状と課題（3）地方分権の課題
- 14 地方財政の現状と課題（4）地方分権の課題
- 15 中間総括（前期総括）
- 16 後期オリエンテーション（講義のポイント）
- 17 地方税の理論（1）
- 18 地方税の理論（2）
- 19 地方税の現状と課題（1）
- 20 地方税の現状と課題（2）
- 21 地方税の現状と課題（3）
- 22 社会保障と地方財政（1）年金
- 23 社会保障と地方財政（2）年金
- 24 社会保障と地方財政（3）医療
- 25 社会保障と地方財政（4）医療
- 26 社会保障と地方財政（5）福祉
- 27 社会保障と地方財政（6）福祉
- 28 ケーススタディ：沖縄県の財政（1）
- 29 ケーススタディ：沖縄県の財政（2）
- 30 総括講義

履修上の留意点
成績評価の方法

経済学・財政学に関する基礎的な知識が身につけていることが望ましいが、必要条件ではない。平常点（レポート）と定期試験（後期／論述形式）の総合評価。前期と後期に各1～2回のレポート提出を義務づける。成績評価の際の配分は、レポート3割・定期試験6割が目安だが、レポート実施回数にも依存するので、詳細は授業時に開示する。

教科書／テキスト
参 考 書
そ の 他

特に指定せず。
必要に応じて指定する。
shino.hara@nifty.com（篠原章）

経 B

履修コード	094201
科目名	国際金融論
担当者名	吉田 真広 <small>よしだ まさひろ</small>

講義の到達目標(わらい)

近年、米国で発生したサブプライムローン問題は、日本を始め各国の経済と金融に深刻な影響を与えました。国際金融とは国際的なお金の流れであり、まさに国際金融上の出来事が各国経済に直結していることを示したものと いえます。グローバル化が進展した今日の経済の動きを理解するためには、国際金融についての知識が不可欠です。本講義では、今日のドル体制下の世界経済とグローバル化している各国経済を理解するため、国際金融市場と国際金融制度に関する基礎的な理解を身につけることを目的としています。

講義の内容/
授業スケジュール

前期

- 1 国際収支
・国際取引 ・経常収支 ・資本収支
- 2 為替の基礎
・基本的な仕組み ・逆為替と並為替 ・為替相場 ・直物相場と先物相場
- 3 為替市場
・外国為替市場の構造 ・銀行の為替取引 ・金融派生商品

後期

- 4 国際通貨体制1
・金本位制 ・戦後の固定相場制 ・変動相場制
- 5 国際通貨体制2
・国際通貨条件 ・ドル体制 ・ユーロと人民元
- 6 為替相場諸学説
・購買力平價説 ・為替心理説 ・諸為替相場アプローチ

*なお、トピックスを取り上げることもあり得ます。

出席をとることもある。

年二回の試験。

テキストは使用しない。

授業中、必要に応じて適宜指示する。

国際金融に関係のあるニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

経 B

履修コード	094401
科目名	教育経済論
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい)

この講義は経済発展に産業教育・人材養成教育が果たした意義とその役割について明らかにする。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この経済発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。一時、欧米各国は経済面で国際競争力の低下が顕著と成り、国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から、一連の教育改革が行われた。

本年度は、外国からは高く評価された日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前・戦後期に分け、戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は「特需」を契機に復興した経済復興期から高度経済成長・低成長期を中心に、それぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材養成をまず明らかにする。その上で欧米先進国の経済再生計画と教育改革の動向を日本との比較しながら明らかにする。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 経済発展とリテラシー・識字教育

(1) ガイダンス～経済・産業の発展とリテラシー、(2) 日本の産業化とリテラシー～教育水準と識字率、非識字者と児童労働、(3) 日本の近代化と教育～徳川時代の遺産、(4) 江戸時代・工業化の準備機能、開発途上国と非識字運動

2. 戦前期日本の経済発展と実業教育政策

(5) 学制時代の経済と教育～産業革命育成期「富国強兵・殖産興業」、(6) 学制時代の経済と教育～「学制」公布と行政管理学校、(7) 教育令時代の経済と教育～産業革命準備期（明治10年代）、(8) 教育令時代の経済と教育～「教育令」公布と職工学校・機業地学校、(9) 学校令時代の経済と教育～第1次産業革命と紡績業の発展、(10) 学校令時代の経済と教育～「学校令」公布と実業補習学校・徒弟学校、(11) 実業学校令時代の経済と教育～第2次産業革命と鉄鋼業の発展・生産財部門の確立、(12) 実業学校令時代の経済と教育～「実業学校令」「専門学校」公布と上からの教育、(13) 実業学校令時代の経済と教育～委託教育・工場内学校と下からの教育、

3. 戦後期日本の経済発展と産業教育政策

(14) 戦後経済の民主化と教育、(15) 経済復興期の経済発展と教育～「産業教育振興法」、(16) 高度成長第I期の経済発展と教育、(17) 高度成長第II期の経済発展と教育、(18) 高度成長第III期の経済発展と教育、(19) 高度成長第IV期の経済発展と教育、(20) 低成長期の経済発展と教育、(21) バブル経済期の経済発展と教育

4. 欧米の経済発展と教育

(22) サッチャー政権の経済と教育～「テッチャーリズム」、(23) サッチャー政権の経済と教育～「教育改革法」、(24) ブレア政権の経済と教育～「福祉のニューディールとオプティミズム」、(25) ブレア政権の経済と教育～「学校の水準・枠組み法」とビーコンクルール、(26) レーガン政権の経済と教育～「危機に立つ国家」教育水準特別委員会報告、(27) ブッシュ政権の経済と教育、(28) ブッシュ政権の経済と教育～「全米教育サミット」、(29) クリントン政権の経済と教育、(30) クリントン政権の経済と教育～「アメリカ教育法」「教育大国」

経 B

準備学習
履修上の留意点

毎時間提示する「課題」は必ずまとめてください。

① 年間数回小テストを実施し、平常点とする。

② 毎時間、講義の参考資料として、ビデオ (VTR)・DVD を使用する。

③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。

成績評価の方法

授業中の小テストと夏休レポート(2割)、定期試験(8割)によって評価する。定期試験は持込ではありません。

教科書/テキスト
参考書

教科書の代わりとして毎時間、講義用プリントを配布し、教科書とする。

参考文献は講義の中で適宜紹介する。以下は当初の参考文献です。

OECD 編『世界の児童労働』明石書店。 H・R・ウォッチ著『インドの債務児童労働』明石書店。 中岡哲郎著『日本近代技術の形成 伝統と近代のダイナミクス』朝日新聞社。 佐々木譲著『幕臣たちと技術立国』集英社。 大野健一著『途上国日本の歩み』有斐閣。

以下は講義の中で単元ごとに紹介します。

履修コード	095001
科目名	E U 統合論
担当者名	清水 卓

講義の到達目標(ねらい)	第二次大戦後の統合運動を軸に、多様性の統合、絶えず緊密化する結束により、拡大と深化を遂げ、覇権国アメリカに対抗しうる世界的影響力を持つに至ったEUについて、体系的・総合的な正しい認識を持ち、そこから、我が国への教訓を導き出すことが出来るようになること。
講義の内容／授業スケジュール	第1回～第3回 欧州統合運動の歴史(～1950年代) 第4回～第6回 EEC(1960年代の共同市場建設) 第7回～第9回 1970年代のEC(第1次拡大、通貨統合への挑戦) 第10回～第12回 1980年代の再活性化(単一欧州議定書と市場統合計画) 第13回～第15回 EUの成立(通貨統合とEU拡大)
準備学習	過去一週間の新聞からEU関連の記事を整理する作業がもっとも有益、効果的事前学習となります。さらに、予定されている授業のテーマに関連した質問を用意して出席すれば、授業内容をより深く理解できるようになります。
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU 統合頃から、新聞・雑誌、インターネット、TV 特集番組などで欧州諸国の動きについて関心を持つよう。
成績評価の方法	学期末試験(8割)と授業内で提出を求める課題(2割)を基本に評価します。総合評価の際、出席状況も勘案します。
教科書／テキスト 参 考 書	教科書は指定しません。 (1) 庄治克宏『欧州連合－統合の論理とゆくえ』岩波新書1099、740円 (2) 藤井良広『EUの知識』日経文庫1079、900円
そ の 他 関 連 リ ン ク	なし http://www.deljip.ec.europa.eu

履修コード	095401
科目名	プログラミング論
担当者名	濱本 和彦

講義の到達目標(ねらい)	現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。
講義の内容／授業スケジュール	本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。 (1～3)ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法(構造化やオブジェクト指向) (4～5)実習のためのコンピュータ操作方法の習得 (6～8)言語学習してのプログラム学習とCプログラムの構成 (9～10)画面への文字列の表示 (11～13)各種データとデータ構造 (14～17)変数の計算と数値の入出力 (18)中間テスト (19～22)条件付き分岐構造 (23～26)繰り返し構造 (27～29)関数 (30)総復習とまとめ
履修上の留意点	できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール(大学のメールアドレスを利用)による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。
成績評価の方法	講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。出席状況も考慮する。
教科書／テキスト	特に指定しない。授業で利用するパワーポイント、プログラムリストはweb上で公開する。必要に応じてプリントを配布する。
参 考 書	新訂新C言語入門{スーパービギナー編、ビギナー編、シニア編}、林晴比古著、ソフトバンクパブリッシング
そ の 他	講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行い、実習中心に行う。出席、レポート提出はe-mailを用いる。よって、受講学生は、コンピュータの基本的な操作を習得している必要がある。
関 連 リ ン ク	http://www.dm.u-tokai.ac.jp/~hama

経 B

履修コード	096101
科目名	応用情報処理 I
担当者名	井川 俊実

講義の到達目標(ねらい)	表計算ソフト (Excel) を使用したデータの分析やグラフ化は経済学を学ぶものにとっても必要不可欠なものになっています。この講義では、Excel の基本操作を習得しているものが経済分析などへの応用に活かせるように更に高度な技法を習得することを目的とします。
講義の内容/ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ Excel の基本操作 (セル参照、合計関数など) ・ ピボットテーブル ・ VLOOKUP 関数 ・ テンプレートとクエリ ・ ExcelVBA の基礎 ・ 相関と単回帰分析 ・ パレート図の作成と ABC 分析 ・ ゴールシークとソルバー、線形計画法への適用 ・ 重回帰分析 (3 変数間の相関)
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。 2) Excel の応用面に重点を置くので、「情報入門」講座、「基礎情報処理」講座を履修するなど、Excel の基本操作は知っていることを前提にしています。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	<p>講義の中で課す課題及び出席状況により評価します。</p> <p>配布資料 (講義時に随時配布します)。</p> <p>日花弘子『仕事に役立つ Excel ビジネスデータ分析 改訂版』ソフトバンククリエイティブ2,680円 ISBN978-4-7973-4636-7</p> <p>木村幸子『速効! 図形 Excel2007 データベース編』毎日コミュニケーションズ1,580円 ISBN978-4-8399-2336-5</p>
そ の 他	本講座は YeStudy を利用した講義になります。

履修コード	096201
科目名	応用情報処理 II
担当者名	井川 俊実

講義の到達目標(ねらい)	プレゼンテーション技術は、企業の営業活動や社内会議などでのプレゼンテーションで非常に重要なものになっていますが、大学においても研究成果の発表などで今後ますます重要になってきます。本講義では、プレゼンテーションツールの代表とも言える PowerPoint を使用して、効果的な発表資料の作成とその資料に基づく発表を繰り返し行なうことで実際に活用できるレベルのプレゼンテーション技術を習得します。
講義の内容/ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図解のポイント ・ PowerPoint の基本操作 (クリップアート・写真の取込み、表・棒グラフ、円グラフ・Excel 表・組織図) ・ アニメーションの設定 ・ 良い図解悪い図解 ・ プレゼンテーション技法 ・ プレゼン資料作成とプレゼンの実施 ・ 企画書の作成
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。 ・ PowerPoint の活用面に重点を置くので、「情報入門」講座、「基礎情報処理」講座を履修するなど、PowerPoint の基本操作は知っていることを前提にしています。 ・ PowerPoint で作成した資料の発表に多くの時間を割くので、欠席や遅刻をしないこと。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書	<p>作成した PowerPoint 資料とその発表及び出席状況により評価します。</p> <p>配布資料 (講義時に随時配布します)。</p> <p>大槻有一郎『はじめての PowerPoint2007基本編』秀和システム1,200円 ISBN978-4-7980-1542-2</p> <p>アスキー書籍編集部『Z 式マスター パワーポイント2007』アスキー1,480円 ISBN978-4-7561-4910-7</p>
そ の 他	本講座は YeStudy を利用した講義になります。

履修コード	098201
科目名	憲法
担当者名	金子 勝 <small>かねこ まさる</small>

講義の到達目標(ねらい)	日本国憲法は、国民を「幸福」にする憲法であり、世界に存在する憲法の中で、最も優れた憲法の1つであることを確認していただくこと。
講義の内容／ 授業スケジュール	第1回 講義事始。 第2回・第3回 憲法学という科学の性質。 第4回・第5回 憲法とは何か。 第6回～第8回 憲法を制定・運用する国家権力。 第9回～第11回 日本国憲法の制定。 第12回～第14回 日本国憲法の内容－(1) 国民主権と国家主権。 第15回～第20回 日本国憲法の内容－(2) 基本的人権。 ③自由権⑥法の下の平等権⑨社会権⑩政治的権利 ⑩平和的生存権 第21回～第23回 日本国憲法の内容－(3) 非武装・非戦平和主義。 第24回～第26回 日本国憲法の内容－(4) 統治機構。 ④国会⑤内閣⑥裁判所⑦財政 第27回 日本国憲法の内容－(5) 地方自治。 第28回 日本国憲法の内容－(6) 天皇 第29回・第30回 日本国憲法と日米安保条約
準備学習	新聞やテレビ・ラジオや雑誌などのマス・メディアによって、現実の憲法問題を把握していただきたい。
履修上の留意点	憲法問題が起きたら、その問題が日本国憲法のどの条項と関係しているのかを把握できるようになっていただきたい。
成績評価の方法	学年末試験で判定する。
教科書／テキスト	金子勝『社会科学の世界』・勁草書房・2600円。
参考書	講義において指示します。
その他	「六法」を必ず持参して下さい。

履修コード	098301
科目名	民法一部
担当者名	竹中 智香 <small>たけなか ともか</small>

講義の到達目標(ねらい)	民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。
講義の内容／ 授業スケジュール	[前期] (1) 導入 (2) 民法における個人、(3) 権利能力 (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度～ (5) 所有権の概念 (6) 所有権の効力 (7) 契約とその効力 (8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1] (9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2] (10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1] (11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2] (12) 予備日 [後期] (1) 法人 [1] (2) 法人 [2] (3) 代理制度 (4) 無権代理 (5) 表見代理 (6) 法律行為 (7) 消滅時効、(8) 取得時効 (9) 抵当権 (10) 先取特権、留置権、質権 (11) 譲渡担保 (12) 予備日
履修上の留意点	第1編の「総則」は民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、必ず教科書を購入して、講義の前に教科書を読むように心がけてください。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。
成績評価の方法	学年末の定期試験の他、出席状況などの平常点も加味します。
教科書／テキスト	山野目章夫『民法 総則・物権 [第4版]』(有斐閣)
参考書	六法 (コンパクトタイプのもの) 『法律学小辞典 [第4版]』(有斐閣)

経 B

履修コード	098401
科目名	民法二部
担当者名	織田 晃子

講義の到達目標(ねらい) 民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。契約を中心にその交渉、成立そして履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげる。

講義の内容／授業スケジュール (1) 契約の成立(2~8) 契約不履行の法的処理として債務不履行、危険負担、瑕疵担保責任、契約解除等(9~11) 債権者代位権、詐害行為取消権(12~13) 債権譲渡(14~15) 第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等(16~20) 保証契約(21~22) 相殺、同時履行(23~30) 典型契約(消費貸借契約、賃貸借契約、請負契約等)

履修上の留意点 六法は必ず持参すること

成績評価の方法 期末試験の成績による

教科書／テキスト 『民法第三版②債権法』(勁草書房)

そ の 他 ポケット六法(有斐閣)
プリント配布

履修コード	098501
科目名	商法一部
担当者名	川口 幸美

講義の到達目標(ねらい) 本講義では、株式会社の経済活動を経営管理の側面と資金調達の側面について規制する会社法を体系的・基礎的に理解することを目的とする。具体的には法規制の内容と、重要かつ興味深い事例等を随時紹介し、現実社会で会社法が果たしている役割について説明する。

講義の内容／授業スケジュール 1. 会社の種類(LLCとLLP) 2. 会社の設立
3. 組織と会計(機関設計と会計参与) 4. 組織と会計(リスク管理と内部統制)
5. 会社の計算(配当・持分変動計算書) 6. 企業の計算(役員賞与の扱い)
7. 企業買収・再編(三角合併) 8. 企業買収・再編(新株予約権の強制償却)
9. 企業買収・再編(黄金株と譲渡制限) 10. その他

履修上の留意点 会社法を体系的により深く理解するために、他の商法科目(商法総則・商行為法)および民法科目(特に民法総則・債権法)を現在履修しているか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法 試験の点数による。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しないものと考えてください。つまり、就職活動・部活動および病欠等による欠席者を優遇することはありません。期末試験は12月最後の授業内で行いますので注意してください。

教科書／テキスト 開講時に指定する。

参 考 書 神田秀樹「会社法(第11版)」(弘文堂)
江頭憲治郎・岩原紳作・藤田友敬/編
別冊ジュリスト「会社法判例百選」

そ の 他 (当然のことですが)授業中の私語・携帯電話の使用を厳しく注意します。場合によっては退室を命じます。

経 B

履修コード	098601
科目名	商法二部
担当者名	なかはま よしあき 中濱 義章

講義の到達目標(ねらい)

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容／
授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義(約束手形・為替手形・小切手の異同)
- 2 手形法・小切手の経済的機能
- 3 手形行為の意義・性質
- 4 手形行為の成立時期(手形理論)
- 5 手形行為と法律行為に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造、変造
- 8 手形行為と実質関係

履修上の留意点

- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 善意取得の制度
- 13 手形抗弁、人的抗弁切断(制限)の制度
- 14 支払、支払拒絶など
- 15 為替手形・小切手に特有の法制度
- 16 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『セレクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)など。

成績評価の方法
教科書／テキスト

民法(財産法関係科目)および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。夏休み前と期末に行う筆記試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。大塚龍児ほか『商法Ⅲ－手形・小切手(第3版)』(有斐閣Sシリーズ)

参 考 書

落合誠一＝神田秀樹編『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選(第6版)』(有斐閣)

詳細については、開講時に指示します。

山下友信＝神田秀樹編『商法判例集(第3版)』(有斐閣)

経B

履修コード	098701
科目名	経済法
担当者名	わかばやし ありさ 若林 亜理砂

講義の到達目標(ねらい)

経済法を中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容／
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法
教科書／テキスト

期末試験により評価を行う。

参 考 書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門(第3版)』(法律文化社)

別冊ジュリスト『独占法審決・判例百選(第六版)』(有斐閣)

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>

講義の到達目標(ならい)	<p>今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。</p> <p>労働者に降りかかるさまざまな事象は、最近雇用関係法領域において顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法などです。</p> <p>本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。</p>
講義の内容／授業スケジュール	<p>下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。</p> <p>詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働法の基礎的考え方 (2) 日本型雇用システムの変化と労働法 (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合 (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴 (5) 雇用における男女平等 (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約 (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間 (8) 人事異動－配転、出向、転籍 (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職 (10) 賃金、賞与、退職金 (11) 労働時間、時間外・休日労働 (12) 休憩、休日、休暇 (13) 労働災害など
準備学習	<p>テキストを読むこと。新聞を読むことなどです。現代雇用問題にかかわる新書なども読んでください。</p>
履修上の留意点	<p>出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。</p> <p>憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。</p>
成績評価の方法	<p>成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価が付きません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価します。</p> <p>追試験は実施します。</p>
教科書／テキスト	<p>指定教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法Ⅰ [第2版]』(エイデル研究所 2010)。もとより、これ以外でもかまいませんが、相談して下さい。</p>
参考書	<p>概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。</p> <p>六法は最新のもの(法律改正や制定があるので特に注意)。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。</p>
その他	<p>各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。</p>

経B

履修コード	099001
科目名	国際法
担当者名	橋本 靖明

講義の到達目標(ねらい)	私達は今、国際社会の中で生きています。国際社会の動きとその行動を規律する法体系である国際法を無視しては、社会のさまざまな構成員間の関係を良好に保つことができないのです。 本講義では、皆さんとともに国際社会の現状と展望を概観しつつ、その社会を規律する国際法とは何か、について学んでゆきます。
講義の内容／授業スケジュール	大きく、以下の三つのパートに分けて進めてゆく予定です。 ①国際法の全体像をを概観する。(2～5) ②領域(陸、海、空、宇宙等)に関する国際法を考える。(6～25) ③領域を越えるさまざまな今日の問題(人権、環境、テロ等)に関する国際法を考える。(26～30) 新聞、雑誌、インターネット等で報道される国際情勢に留意し、その法的背景を探ってみてください。
準備学習	
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書／テキスト	特別な予習を必要としませんが、その分、授業への出席を求めます。 受講生の出席状況と筆記試験の回答内容から総合的に成績評価を行います。 編 者：松井 芳郎(編集代表) 書 名：『ベーシック条約集』2010年版 出版社：東信堂 価 格：2730円(税込み：2009年版参考) ISBN：978-4-88713-897-1(2009年版参考)
参 考 書 そ の 他	特に指定する予定はありません。 (講義の進め方) 講義は、必要に応じて資料等を参照しながら行います。

履修コード	099811・099813
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕
担当者名	鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい)	ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます(多数決)。 第2回以降：1人あたり1段落程度を音読して訳してもらいます。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席・予習・発表(訳)の平常点により評価します。 ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

経B

履修コード	099821・099823
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	鈴木 伸枝

講義の到達目標(ねらい)	ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます(多数決)。 第2回以降：1人あたり1段落程度を音読して訳してもらいます。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席・予習・発表(訳)の平常点により評価します。 ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

履修コード	099831・099833
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕
担当者名	松本 ^{まつもと} のりこ ^{のりこ} 典子

講義の到達目標(ねらい)	非営利組織 (non-profit organization) や社会的企業 (social enterprise) に関する英語文献を素材に、外国語の専門書に慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、非営利組織および社会的企業の経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。
講義の内容／ 授業スケジュール	非営利組織および社会的企業に関する下記の英語文献を講読します。 ・Nyssens, Marthe, ed. [2006] "Social Enterprise", Routledge. ・Carroll, Archie B. and Buchholtz, Ann K., eds. [2009] "Business & Society : ethics and stakeholder management", South-Western Cengage Learning.
履修上の留意点	・必ず予習をして参加してください。 ・非営利組織論 a と b をすでに履修していることを前提として講義をすすめます。
成績評価の方法	・成績は、定期試験50%、出席・報告状況等50%で、総合的に評価します。
教科書／テキスト	随時、配布します。
参考書	適宜、指示します。
その他	・輪読形式です。

履修コード	099841・099843
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	松本 ^{まつもと} のりこ ^{のりこ} 典子

講義の到達目標(ねらい)	非営利組織 (non-profit organization) や社会的企業 (social enterprise) に関する英語文献を素材に、外国語の専門書に慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、非営利組織および社会的企業の経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。
講義の内容／ 授業スケジュール	非営利組織および社会的企業に関する下記の英語文献を講読します。 ・Nyssens, Marthe, ed. [2006] "Social Enterprise", Routledge. ・Carroll, Archie B. and Buchholtz, Ann K., eds. [2009] "Business & Society : ethics and stakeholder management", South-Western Cengage Learning.
履修上の留意点	・必ず予習をして参加してください。 ・非営利組織論 a と b、経済外国書講読Ⅰa (松本) あるいはⅡa (松本) をすでに履修していることを前提として講義をすすめます。
成績評価の方法	・成績は、定期試験50%、出席・報告状況等50%で、総合的に評価します。
教科書／テキスト	随時、配布します。
参考書	適宜、指示します。
その他	・輪読形式です。

経 B

履修コード	099911・099913
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔英語〕 経済外国書講読Ⅱa〔英語〕
担当者名	やすもと 安元 稔

講義の到達目標(ねらい)

今年度の「経済外国書講読Ⅰa〔英語〕」は、テキストとして、Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009 を用いて、イギリス産業革命を世界経済史という大きな流れの中で再検討します。「産業革命」は、何故、他のヨーロッパ諸国やアジアではなく、18世紀末期のイギリスで起きたのかという古典的な問いを解く鍵は、著者アレンによれば、17・18世紀の世界経済に対するイギリスの反応の仕方にあります。イギリスにおける賃金水準の相対的な高さ、資本調達費用およびエネルギー費用の相対的な低さに巧妙に対処した結果が、蒸気機関、綿工業に導入された機械、金属工業における木炭エネルギーに代わる石炭の利用であったということです。

講義の内容／
授業スケジュール

英文は、論理的かつ明快で、特に難解なところはありません。本書を熟読することによって、経済学、経済史、歴史学の最新の成果を吸収することがこの講義のねらいです。

英文の正確な解釈と全体の趣旨を把握する力をつけることを目的とします。受講者には、適宜、関連する英文・邦文献を指示します。講義のはじめの数回は、本書の要約と内容の紹介を行い、以後、毎回、受講者に英訳をしてもらい、英訳および内容について、皆で検討します。

- 第1回 テキストの概要解説(1)
- 第2回 テキストの概要解説(2)
- 第3回 global history の動向
- 第4-8回 テキスト講読(1. The Industrial Revolution and the pre-industrial economy)
- 第9-14回 テキスト講読(2. The high-wage economy of pre-industrial Britain)
- 第15-18回 テキスト講読(3. The agricultural revolution)
- 第19-22回 テキスト講読(4. The cheap energy economy)
- 第23-26回 テキスト講読(5. Why England succeeded)
- 第27-30回 テキスト講読(6. Why was the Industrial Revolution British?)

準備学習
履修上の留意点

和訳担当者だけでなく、履修者全員が講読予定箇所を予習しておく必要があります。英文で文献・新聞を読むこと、読解だけでなく、声を出して英文を読む習慣を身に付けてほしいと思います。

成績評価の方法
教科書／テキスト

期末試験の成績と出席状況で成績を評価します。
Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009. プリントを配布します。

参 考 書

E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』(名古屋大学出版会)
(ISBN4-8158-0389-7)

そ の 他

特にありません。

経 B

履修コード	099921・099923
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕 経済外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	安元 稔

講義の到達目標(ねらい) 今年度の「経済外国書講読Ⅰb〔英語〕」は、テキストとして、Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009を用いて、イギリス産業革命を世界経済史という大きな流れの中で再検討します。「産業革命」は、何故、他のヨーロッパ諸国やアジアではなく、18世紀末期のイギリスで起きたのかという古典的な問いを解く鍵は、著者アレンによれば、17・18世紀の世界経済に対するイギリスの反応の仕方にあります。イギリスにおける賃金水準の相対的な高さ、資本調達費用およびエネルギー費用の相対的な低さに巧妙に対処した結果が、蒸気機関、綿工業に導入された機械、金属工業における木炭エネルギーに代わる石炭の利用であったということです。

講義の内容／授業スケジュール 英文は、論理的かつ明快で、特に難解なところはありません。本書を熟読することによって、経済学、経済史、歴史学の最新の成果を吸収することがこの講義のねらいです。

英文の正確な解釈と全体の趣旨を把握する力をつけることを目的とします。受講者には、適宜、関連する英文・邦文文献を指示します。講義のはじめの数回は、本書の要約と内容の紹介を行い、以後、毎回、受講者に英訳をしてもらい、英訳および内容について、皆で検討します。

- 第1回 テキストの概要解説(1)
- 第2回 テキストの概要解説(2)
- 第3回 global history の動向
- 第4-8回 テキスト講読 (1. The Industrial Revolution and the pre-industrial economy)
- 第9-14回 テキスト講読 (2. The high-wage economy of pre-industrial Britain)
- 第15-18回 テキスト講読 (3. The agricultural revolution)
- 第19-22回 テキスト講読 (4. The cheap energy economy)
- 第23-26回 テキスト講読 (5. Why England succeeded)
- 第27-30回 テキスト講読 (6. Why was the Industrial Revolution British?)

準備学習 和訳担当者だけでなく、履修者全員が講読予定箇所を予習しておくことが必要です。
履修上の留意点 英文で文献・新聞を読むこと、読解だけでなく、声を出して英文を読む習慣を身に付けてほしいと思います。

成績評価の方法 期末試験の成績と出席状況で成績を評価します。
教科書／テキスト Robert C. Allen, “The British Industrial Revolution in Global Perspective,” Cambridge, Cambridge University Press, 2009. プリントを配布します。

参考書 E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』(名古屋大学出版会) (ISBN4-8158-0389-7)

その他 特にありません。

経B

履修コード	099931・099933
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕 経済外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕
担当者名	代田 純

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語で経済を学ぶ。ドイツ語に親しむことで、ドイツやEU経済についても学ぶ。
テキストと参考書を輪読していきます。履修者の語学力に応じて、スケジュールを調整します。

講義の内容／授業スケジュール 履修上の留意点 ドイツ語を履修していなくても、ドイツやEUの経済に関心があれば、履修できる。英語の資料も使用します。

成績評価の方法 出席が基本です。順番に訳していきますので、当たっている時は、和訳してください。

教科書／テキスト Die Geldpolitik der Bundesbank
これはドイツ連邦銀行(中央銀行)が金融政策の仕組みを解説したものです。

参考書 The monetary policy of the bundesbank

ドイツ語テキストの英語版です。

その他 半期2単位でも履修可能。

履修コード	099941・099943
科目名	経済外国書講読Ⅰ b〔ドイツ語〕 経済外国書講読Ⅱ b〔ドイツ語〕
担当者名	代田 純

講義の到達目標(ねらい) ドイツ語で経済を学ぶ。ドイツ語に親しむことで、ドイツやEU経済に関しても学ぶ。

講義の内容／授業スケジュール テキストと参考書を輪読していきます。履修者の語学力に応じて、スケジュールを調整します。

履修上の留意点 ドイツ語を履修していなくとも、ドイツやEUの経済に関心があれば、履修できる。英語の資料も使用します。

成績評価の方法 出席が基本です。順番で訳していきますので、当たっている時には、和訳してください。

教科書／テキスト Die Geld politik der Bundesbank
これはドイツ連邦銀行（中央銀行）が金融政策の仕組みを解説したものです。

参 考 書 The monetary policy of the bundesbank
ドイツ語テキストの英語版です。

そ の 他 半期2単位でも履修可能。

履修コード	100011・100013
科目名	経済外国書講読Ⅰ a〔フランス語〕 経済外国書講読Ⅱ a〔フランス語〕
担当者名	清水 卓

講義の到達目標(ねらい) フランス語でEUの公式文書を読み取る力をつけるのが目標です。平成21年度は前期はEUの共通農業政策に関する文書、後期はフランスの外国人移民問題についての調査報告書を読みました。

講義の内容／授業スケジュール 履修者の関心に応じて専門資料を解説するため、EUの主要政策分野について概要を説明し、その上で翻訳作業を行います。

準備学習 翻訳には時間がかかります。自分で日本語の翻訳文を作成した上で授業に参加してください

履修上の留意点 特にありません。

成績評価の方法 作成できた翻訳文の量と質によって決めます。

教科書／テキスト 履修者の要望を聞いた上で決めます。

参 考 書 特にありません。

そ の 他 特にありません。

関 連 リ ン ク http://europa.eu/index_en.htm

経 B

履修コード	100021・100023
科目名	経済外国書講読Ⅰ b〔フランス語〕 経済外国書講読Ⅱ b〔フランス語〕
担当者名	清水 卓

講義の到達目標(ねらい) フランス語でEUの公式文書を読み取る力をつけるのが目標です。平成21年度は前期はEUの共通農業政策に関する文書、後期はフランスの外国人移民問題についての調査報告書を読みました。

講義の内容／授業スケジュール 講義の内容／授業スケジュール 履修者の関心に応じて専門資料を解説するため、EUの主要政策分野について概要を説明し、その上で翻訳作業を行います。

準備学習 準備学習 翻訳には時間がかかります。自分で日本語の翻訳文を作成した上で授業に参加してください。

履修上の留意点 履修上の留意点 特にありません。

成績評価の方法 成績評価の方法 作成できた翻訳文の量と質によって決めます。

教科書／テキスト 教科書／テキスト 履修者の要望を聞いた上で決めます。

参 考 書 参考書 特にありません。

そ の 他 その他 特にありません。

関 連 リ ン ク http://europa.eu/index_en.htm

履修コード	100131・100133
科目名	経済外国書講読Ⅰ a〔中国語〕 経済外国書講読Ⅱ a〔中国語〕
担当者名	小杉 修二

講義の到達目標(ねらい) 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。

講義の内容／授業スケジュール ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。
第1－5週：第1章 第6－10週：第2章 第11－15週：第3章 第16－20週：第4章 第21－25週：第5章 第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

履修コード	100161・100163
科目名	経済外国書講読Ⅰ b〔中国語〕 経済外国書講読Ⅱ b〔中国語〕
担当者名	小杉 修二

講義の到達目標(ねらい) 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。

講義の内容／授業スケジュール ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。
第1－5週：第1章 第6－10週：第2章 第11－15週：第3章 第16－20週：第4章 第21－25週：第5章 第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

履修コード	100151・100153
科目名	経済外国書講読Ⅰ a〔朝鮮語〕 経済外国書講読Ⅱ a〔朝鮮語〕
担当者名	鄭 章淵

講義の到達目標(ねらい) この授業は、韓国の経済発展に関する朝鮮語（韓国語）文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、授業では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してもらいたい。

準備学習 新聞の韓国経済に関する記事を読むこと。

履修上の留意点 授業での課題や出席を基に成績を評価するので授業に休まないで出席してもらいたい。

成績評価の方法 出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。

教科書／テキスト 初回授業時にプリントを配布する。

参考書 辞書や文法書など参考書については初回授業時に紹介する。

履修コード	100181・100183
科目名	経済外国書講読Ⅰ b〔朝鮮語〕 経済外国書講読Ⅱ b〔朝鮮語〕
担当者名	鄭 章淵

講義の到達目標(ねらい) この授業は、韓国の経済発展に関する朝鮮語（韓国語）文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。

講義の内容／授業スケジュール 受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、授業では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してもらいたい。

準備学習 新聞の韓国経済に関する記事を読むこと。

履修上の留意点 授業での課題や出席を基に成績を評価するので授業に休まないで出席してもらいたい。

成績評価の方法 出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。

教科書／テキスト 初回授業時にプリントを配布する。

参考書 辞書や文法書など参考書については初回授業時に紹介する。

経 B

履修コード	100311
科目名	貿易実務
担当者名	荒畑 治雄

講義の到達目標(ねらい)

第二次世界大戦後、世界の貿易取引が急速に増大した。貿易取引は、お互いに国境を異にする企業と企業との物品売買である。通常、貿易取引は、売買当事者間で長期的・継続的に取引関係を形成させて遂行されるが、このような取引がどのように履行されていくのかという観点から、本講義においては海外市場調査から売買契約の成立、外国為替相場変動のもとにおける取引当事者の対応、海上および航空運送、海上保険、代金決済に至る取引の流れを把握する。さらに近年著しく普及してきた国際電子商取引についても詳細に検討を行い、履修生が実社会で活躍する場合に備えて実際に役立つ講義を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 海外市場調査
2. 取引関係の形成
 - (1) 見本と価格表の送付 (2) 一般的取引条件の協定
3. 取引の基本5条件
 - (1) 品質条件 (2) 数量条件 (3) 価格条件・・・Trade Terms(EXW, FAS, FOB.)
4. 価格条件 (CIF, CPT, CIP, DDU, DDP その他)
5. 受渡し条件
 - (1) 決済条件・・・送金為替、荷為替手形方式
6. 輸出入貿易管理と規制
 - (1) 輸出の許可・承認 (2) 輸入承認
7. 売買契約成立に伴う実務
 - (1) 為替手形の作成 (2) 信用状の内容
8. 先物為替の予約
9. 国際運送
 - (1) 海上運送 (a) 在来船による運送 (b) コンテナ運送 船荷証券・海上運送状
 - (2) 航空運送
10. 海上保険契約
 - (1) 海上保険の契約当事者 (2) 予定保険契約 (3) 被保険利益 (4) 危険の種類と損害の程度
- (5) 保険条件
11. 輸出通関と船積手続き
 - (1) 輸出通関 (2) 保税地域 (3) 船積手続きの流れ (4) コンテナ船積み
12. 輸入貨物の荷揚げと輸入通関
 - (1) コンテナ貨物の輸入港への荷揚げ (2) 輸入通関
13. 貿易金融

準備学習

本講義を受講する前および授業と平行して国際ビジネスに関する一連の出版物をよく読んでおくことによって効果的に知識を吸収することができる。こうした点を各自が自覚することによって授業内容を正確に把握することができるようになる。

履修上の留意点

学生は日常より日本・米国・EU・アジア諸国の貿易の動向について、インターネットや新聞その他のメディアから調べることが重要である

成績評価の方法

授業への参加度およびその内容に関する質問等を勘案し、期末試験(80%)により決定する。

教科書／テキスト

荒畑 治雄『現代国際商取引論』慶應義塾大学出版会 2009年4月 3,000円

参考書

授業時に指示する。

経B

履修コード	100321
科目名	通関実務
担当者名	あらいた ほんま 荒畑 治雄

講義の到達目標(ねらい) 貿易取引における輸出とは、内国貨物を外国に向けられた船舶・航空機・鉄道・トラック等に積み込んで送り出すことをいう。そして輸入とは、外国から到着した貨物または輸出許可を受けた貨物を輸入通関手続きを行って国内に引き取ることをいう。企業が商品を輸出または輸入する場合には、税関に申告して、当該税関長の許可を得る必要がある。

講義の内容/
授業スケジュール

本講義において、税関手続きに関する総合的な知識を持ち、通関についての体系的な知識を修得して各自の能力を発揮することで実社会に役立つよう指導する。

1. 課税物件の確定の時期
2. 納税義務者・税額の確定
3. 修正申告、更正の請求
4. 納付と法定納期限・納期限
5. 輸出入申告の時期
6. 保税地域・保税運送
7. 課税価格
8. 税率の種類
9. 減免税制度(Aグループ・・・加工・修繕のために輸出された貨物の減免、再輸入免税、際輸出免税その他)
10. 減免税制度(Bグループ・・・製造用原料品の減免税、外国で採捕された水産物の減免税・戻し税)
11. 特恵関税
12. 電子情報処理組織による税関手続の特例
13. 外国為替および外国貿易法

準備学習

我が国において、通関に関する各種手続きを迅速に行うため、「電子情報処理組織による関税手続きの特例等に関する法律」が制定され、こうしたシステムによって輸出入通関手続きが実施されている。そこでコンピュータを使用した貿易取引および米国・EU・日本・アジアをはじめとするグローバル・ビジネスに関心を深めておくことが望ましい。

履修上の留意点

本講義を受講するにあたり、日頃から、国際商取引の動きについて各種のメディアを通じて学習するように心がけておくこと。

経B

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

出席状況、授業態度を勘案し、学期末試験(80%)により総合的に判定する。
寺尾 秀雄 『通関士試験—得点源の解説』 一ツ橋書店 2,800円
授業に使用する参考書は講義日に指示する。

履修コード	100451
科目名	税法Ⅰ
担当者名	おくむら まさろう 奥村 正郎

講義の到達目標(ねらい)

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法Ⅰ（前期）では個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年にシャープ勧告以来の大きな改正があり、平成21年度改正においても課税方式の検討が行われた。今後どのように推移していくのか関心が寄せられている。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 租税のあらまし
2. 税法の基本原則
3. 租税の種類と分類
4. 民法の相続制度(1)
5. 民法の相続制度(2)
6. 相続税の納税義務者
7. 相続税の課税財産
8. みなし相続財産
9. 相続税の財産評価(1)
10. 相続税の財産評価(2)
11. 相続税の計算(1)
12. 相続税の計算(2)
13. 贈与税
14. 贈与税と相続時精算課税制度
15. まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他
関連リンク

テキスト、配布プリント等を事前に読んでおくことと授業の理解に効果的です。
簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。
学期末試験80%、平常点20%、出席状況も勘案して評価する。
仮題『公共経済と租税』速水昇編著（学文社）開講時指示する。
授業を進める中で適宜紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用するので持参すること。
<http://www.nta.go.jp/>

履修コード	100461
科目名	税法Ⅱ
担当者名	おくむら まさろう 奥村 正郎

講義の到達目標(ねらい)

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法Ⅱでは所得控除の改正等、抜本的見直しが予定されている個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容／
授業スケジュール

1. 所得の概念
2. 納税義務者
3. 課税所得の範囲等
4. 各種所得の種類
5. 各種所得金額の計算(1)
6. 各種所得金額の計算(2)
7. 各種所得金額の計算(3)
8. 各種所得金額の計算(4)
9. 所得控除及び税額の計算(1)
10. 所得控除及び税額の計算(2)
11. 申告・納付、源泉徴収、その他
12. その他の税法(法人税法)
13. その他の税法(消費税法1)
14. その他の税法(消費税法2)
15. まとめ

準備学習
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他
関連リンク

テキスト、配布プリント等を事前に読んでおくことと授業の理解に効果的です。
簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。
学期末試験80%、平常点20%、出席状況も勘案して評価する。
仮題『公共経済と租税』速水昇編著（学文社）開講時指示する。
授業を進める中で適時紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用するので持参すること。
<http://www.nta.go.jp/>

経B

履修コード	100511
科目名	会計資格特別演習
担当者名	鈴木 ^{すずき} 勝浩 ^{かつひろ}

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、特に税理士試験の法人税法（公認会計士試験の租税法の一部も含む）について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。また本講義履修後は、税務会計（法人税法）を受験できるレベルに到達するのでぜひ挑戦してほしい。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) 法人税のあらまし (2) 総則 (3) 課税所得 (4) 損益の期間帰属 (5) 棚卸資産 (6) 減価償却① (7) 減価償却② (8) 減価償却③ (9) 繰延資産 (10) 給与等① (11) 給与等② (12) 交際費等① (13) 交際費等② (14) 寄附金① (15) 寄附金② (16) 租税公課 (17) 貸倒損失と貸倒引当金① (18) 貸倒損失と貸倒引当金② (19) 圧縮記帳 (20) 受取配当等の益金不算入① (21) 受取配当等の益金不算入② (22) 有価証券 (23) その他の損益 (24) 同族会社と留保金課税① (25) 同族会社と留保金課税② (26) 所得税の控除 (27) 申告と納税 (28) 連結納税 (29) 総合演習① (30) 総合演習②

準備学習

財務会計の基礎理論の知識があれば効果的に学習を進めることができます。できる限り財務会計の基礎理論を理解するようにしてください。

履修上の留意点

本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法
教科書／テキスト

出席率と講義中の演習で評価する。
TAC税理士法人税法研究会編『税理士試験対策 平成22年度版 ポケットテキスト 法人税法』(TAC)

参考書

渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成22年受験用〕』(中央経済社)
渡辺淑夫著『法人税法（平成22年度版）』(中央経済社)
『法人税法 個別問題集〔平成22年度版〕』(TAC出版)
『法人税法 理論マスター〔平成22年度版〕』(TAC出版)
染谷英雄著『法人税法を初歩から学ぶ（第11版）』(中央経済社)
金子宏著『租税法（第12版）』(弘文堂)

経B

その他

法人税法はボリュームの多い科目であり、難しいといわれています。しかし法理念と体系さえ把握できれば必ず理解できます。また実務上必ず必要となりますから、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決してください。

履修コード	100551
科目名	教員試験特別演習
担当者名	谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい) この講義は、教員採用試験を目指している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としています。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接試験、論作文試験、模擬授業・場面指導・ロールプレイング試験、その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、①本講は「今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念・教師像の形成をはじめ、

②教育現場に山積するさまざまな学習指導・生徒指導上の問題を想定し、徹底的に討論し、それらの指導理念や方法を学びます。その指導理念や方法が適切かどうかを確認し、教育現場の対処法を学ぶために先輩教師との対話を行います。

③教員試験対策として教職教養、一般教養、専門教養の学習、面接・論作文演習を行います。

④教師としての資質・力量の形成のため模擬授業の実践、「小・中学校学習支援ボランティア」「小・中学校ティーチングアシスタント」の実践活動を行います。

模擬授業の実践、「学校学習支援ボランティア」「小・中学校ティーチングアシスタント」など実践経験を要するものは「サブゼミ」でも行います。

教職を目指す人ならば学部、学科を問いませんので、ともに勉強し、教員志望の夢を叶えたいと思う。

講義の内容/
授業スケジュール

1. 教員採用試験の実施状況
2. 教員試験の心構えと学習計画
3. 教師として必要な資質と能力について
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和・人権教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み方について
13. 専門教養の取り組み方について
14. 集団討論の実際（今日的教育課題を中心に実践演習・討論）
15. 個人面接の実際（演習）
16. 集団面接の実際（演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業実践
19. 総合問題演習
20. 先輩教師（小学校、中学校、高等学校、教育委員会の先生）との交流や対話
21. 小・中学校でのティーチング・アシスタントの実践

準備学習 日頃から新聞・教育雑誌・テレビのニュースや教育特集を見て、教育界の動向や最近の教育問題などをつかむこと。

履修上の留意点 1 講義、問題演習、各種討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。
2 教育現場への認識・理解を深め、教師としての資質・力量の形成を目指して、参加者全員が小学校、中学校でティーチング・アシスタントを実践し、教師としての実際的能力の修得を行います。

3 小学校、中学校、養護学校でのボランティアも実施します。ボランティア活動は教員の資質の養成に役立ちます。

成績評価の方法 出席を基本に、授業中実施する小テスト、各種討論、小論文作成などで総合的に評価します。追試験は実施しない。

教科書/テキスト 必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

経 B

履修コード	100601
科目名	現代経済事情Ⅰ〔現代の就職事情〕
担当者名	川村 みのる

講義の到達目標(ねらい) 現代の企業や自治体で求める人材や活躍する人材とは？をテーマに様々な業界が求める人材像＝人材イメージ（能力、資質、性格、意欲、志向など）について具体的に紹介し、現代企業などの採用戦略についての理解を深めます。

講義の内容／授業スケジュール 様々な業界や業種で働く人材という視点から社会について学びます。就職がゴールではなく、そこで活躍する人材を研究することで、より社会を実践的に学ぶことができます。

- ・人材像を知る意味と必要性について
- ・新卒採用への期待と中途採用の違い
- ・人材要件と人材像とは
- ・営業職、開発職、管理職など職域や階層により必要な人材要件とは
- ・企業が人材像を決める方法
- ・全ての業界で共通する人材像や人材要件とは
- ・社会、経済状況による人材像の変化
- ・様々な業界、業種を知り、活躍する人材像を考え、その理由を検討する

例：

公務員、流通、ホテル、メーカー、マスコミ、IT、食品、金融、薬品、コンサル 他

準備学習 簡潔な課題レポート（A4版 1枚）を出します。そのレポートを元に授業の出席者と意見交換をしながら考えをまとめ、伝える、理解する方も合わせて養成します。

履修上の留意点 課題レポートの提出と意見交換をしてもらいますので、積極的な参加を希望します。

成績評価の方法 毎回の課題レポートと期末レポートの提出で評価します。

教科書／テキスト レジメを配布します。YeStudyを活用しますが、利用できない方は考慮します。

参考書 適宜紹介します。

その他 毎回、社会全般に常に関心を持ってもらうために、ニュースや日常の出来事から気になったテーマを取り上げ、意見などを課題レポートに記入してもらいます。

積極的に学生と交流し、有意義な時間を作りたいと思います。

駒大OBとしてできるだけ多くのメッセージを伝えたいと思いますので、意欲のある方の出席を希望します。

関連リンク <http://www014.upp.so-net.ne.jp/minoru-4/index.html>

経B

履修コード	100701
科目名	現代経済事情Ⅱ〔子育て市民事業の現状〕
担当者名	市川 ^{いちかわ} 望美 ^{のぞみ}

講義の到達目標(ねらい)

少子高齢化が進む現代社会において、多様化するニーズや社会的課題を解決する手法の一つとして、市民事業の必要性が高まってきています。

従来は、地域や社会における課題は、行政などの公的セクターによって対応が図られてきましたが、社会的課題の増加・多様化を受け、公的セクターだけで解決を図ることは、難しい状況にあります。

また、地域コミュニティへの貢献を目的に、自発性・自立性を持って行われてきたボランティアな市民活動も、そういった社会的背景の中で、継続性を確保しながら安定した事業主体として成長していくことも求められています。

本講義では、多様な事業内容で展開される市民事業を、子育て支援の切り口からひもとき、市民事業が生み出す社会的な価値や意義、新しい働き方、地域及び社会・経済全体の活性化などについて理解を深めていきます。

市民事業は未知の世界かもしれませんが、共感力・想像力・好奇心を最大限に発揮しながら自由な発想で参加してください。

講義だけではなく、多様なゲストティーチャーをお迎えし、生きた実践を通して学びます。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) オリエンテーション、講義への期待

(2～3) 市民事業の歴史、市民事業に期待される役割、市民事業が創出する価値、企業活動との対比、「市民事業」という言葉に対する自由なディスカッションなど

(4～9) 事例を通してみる子育て市民事業の現状

3～4 事例を予定。地域に根差した子育て市民団体(NPO)、企業代表者、行政担当者等をお招きし、実際の取り組みを紹介いただきます。また、各事例から得たものを簡単なレポートやグループワークを通して振り返り(アウトプット)、自分の考えとして消化していきます。

(10～13) 生活上の身近な課題から大きな社会的課題まで、自分たちの視点からの「子育て市民事業」計画づくり(グループワーク)、レポート

準備学習

※詳細は、受講生と相談しながら決定する予定です。

特にありませんが、普段から身近な話題やニュースなどを通し、現代社会においてどのような課題があり、どのような担い手がどのように課題に取り組んでいるのか、経済活動だけに縛られることなく、幅広くアンテナを立てておいてください。

履修上の留意点

学術的な裏付けによる理解や形式的なレポートではなく、自分の感覚や感性をいかした議論や発表を期待しています。市民である自分との接点をもって講義にのぞんでください。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

講義・議論への参加(40%)、発表・レポート試験(1回)(60%)

各授業でプリントを配布します。

必要に応じ、講義に合わせて紹介します。

経B

履修コード	100801
科目名	現代経済事情Ⅲ〔韓・台・中企業の成長と日本産業〕
担当者名	あきさ のぶゆき 浅海 信行

講義の到達目標(ねらい)	2000年に入って急成長したのが韓国・台湾・中国企業である。日本が得意とする電機や自動車などでも三星電子、現代自動車、エイサーなどアジア企業に追い抜かれるという状況にある。一方、日本経済は特に97年の金融危機、アジア通貨危機、2000年の米国 IT バブル崩壊などで低迷し、産業界も過剰負債、過剰設備、過剰雇用などに直面し投資余力を失ったことなどから、これら東アジア企業との競争で不利になったとことがある。三星電子や現代自動車は積極的な設備投資でコストを下げ、台湾企業は日米欧企業のアウトソーシングの受け皿として中国での生産によりコストを下げ、アイアールやレノボなどの中国企業は巨大な国内市場を背景に、競争力を高めた。そこで、本授業では日米欧企業との対比を含め、これら東アジア企業の成長の背景、経営戦略、課題などを理解することを通じ、日本企業はどのようにして競争力を回復すべきかのヒントを学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	第1回：アジア企業の世界ランキング、第2回：ハイテク製品の国別世界シェア、第3回：韓国財閥の発展要因、第4回：97年のアジア通貨危機による韓国財閥の破綻、第5～7回：LG 電子、三星電子、現代自動車の急成長要因、第8～10回：台湾の半導体、パソコン産業の成長要因、第11回：台湾のOEM 産業の成功の秘密、第12回：対中投資で競争力を付けた台湾企業、第13～15回：レノボ、アイアールなど中国企業の急成長と課題。
準備学習	下記で指定した教科書をもとに講義を行うが、300ページあるため、すべてを説明することは困難であるので、事前に授業スケジュールに沿って、読んでおくことと授業の理解が容易であるし、ビジネス界に就職した場合には必ず役に立ちます。
履修上の留意点	本授業では比較的身近な企業名が多く出てくるので、日頃からアジア企業や日米欧企業の動向を日本経済新聞などでフォローしておくことと一層興味が湧くうえ、就活での業種や企業の選択にも有用である。また、授業では下記教科書をもとに講義するので事前に入手しておいてください。
成績評価の方法 教科書／テキスト	前期学期末で試験を行い、評価します。
参考書	1. 著者名：浅海信行、2. 『韓国・台湾・中国企業の成長戦略 ～課題はガバナンスと研究開発～』、3. 勁草書房、4. 本体3,400円＋税、5. ISBN978-4-326-50309-4 授業で必要に応じ紹介します。

経 B

履修コード	100901
科目名	現代経済事情Ⅳ〔ユニバーサルデザイン〕
担当者名	あんだう ちか 安藤 千賀

講義の到達目標(ねらい)	障害者や高齢者を含めた様々な人々が心地よく過ごすことができる社会の実現をめざして、「相手の立場を考える」という基準に基づいて社会のあり方を再考する、このような考え方をユニバーサルデザインと言います。本講義ではユニバーサルデザインの視点＝「相手の立場で考える」を基準に私達の生活に関わりの多い法律や制度などをも含めて社会のあらゆる側面を対象にその問題点を検証します。
講義の内容／授業スケジュール	1～2回：ユニバーサルデザインとは？（その概念と歴史について） 3回～4回：優しくないニッポン社会の代表的事例 5～8回：ユニバーサルデザインに取り組む企業の事例紹介 9回～12回：ユニバーサルデザインに取り組む地域の事例紹介 13回～15回：ユニバーサルデザインの未来（ユニバーサルデザイン社会を築く為に） ※講義の順序や内容などは変更の可能性があります。
準備学習	特別にはありません。できるだけ新聞、テレビ、雑誌、ネットなどでUDに関する記事などを見つけて読んでおいて下さい。できれば参考書として挙げている文献を読んでおくことと授業の内容が良く理解できるでしょう。
履修上の留意点	特にありません。
成績評価の方法 教科書／テキスト	出席、小レポート、学期末レポート試験で総合的に評価します。
参考書	講義に必要な資料は授業中に配布します。
その他	『UD革命 思いやりの復権』 ばばこういち / 安藤千賀 2008年 リベルタ出版 その他必要に応じて参考文献を紹介します。 毎回ではないが講義にDVD上映、パワーポイントを使用したい。

履修コード	101001
科目名	現代産業事情Ⅰ
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>

講義の到達目標(ねらい)

全日空グループのANA 総研主席研究員、山路顕氏を中心として講義は進められる。航空や観光、ツーリズムは、さまざまな形で文化交流を通して経済の活性化も促してゆく平和産業の核となるものである。いかにIT技術が進んでも、人が移動し、異文化との交流を肌で感じる欲求は絶えることがないだろう。人が移動することは、大きな経済のメカニズムに不可欠な生命線である。航空や観光の最前線を学ぶ中で、国と国との間で、また、社会の中で、さまざまな形で人の動きを阻害している規制や制度に目を向け、これからの航空産業、観光産業のあるべき姿について考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

- 1回 ガイダンス；講義の進め方、成績評価方法等について
- 2回 航空の始まり；航空大国だった日本、国家戦略としての航空、航空禁止令から再開
- 3回 国際民間航空の枠組み；航空産業の特徴、シカゴ・バミューダ体制、5つの自由
- 4回 規制緩和の流れ & ディスカッション；米国オープンスカイが生み出したもの、日本の航空産業の規制の下での発展と規制緩和
- 5回 観光の歴史；富国強兵策と観光政策、Welcome Society
- 6回 観光立国；観光の経済効果、VJC、観光立国基本法が目指すもの
- 7回 「若者の旅離れ」と ディスカッション；なぜフランスには人は行く？ なぜ日本には人が来ない？ 若者は旅離れしているのか？
- 8回 発展する航空（その1）；グローバル・アライアンス誕生の背景、アライアンスによる増収戦略
- 9回 発展する航空（その2）；EU単一航空市場、中国、アセアンの航空事情
- 10回 環境と航空、観光；食糧＝資源＝観光、CSRと環境、航空会社の環境への取り組み
- 11回 観光とホスピタリティ；ホスピタリティとは？ 大黒屋旅館の取り組み
- 12回 エアラインとホスピタリティ；顧客満足（CS）経営、従業員満足（ES）経営、
- 13回 ディスカッション；サービスとホスピタリティの違い、違いから見えるものは？
- 14回 日中韓、北東アジア共通航空・観光市場に向けて
- 15回 全体講義のまとめ & ディスカッション

(*) 各分野の専門家の講話も2回程度予定する。

上記予定との関連も含め、講義の順序を事前通知の上変更することがある。

経B

履修上の留意点

一方通行ではなく、双方向で、議論や考え方を交換しながら授業をすすめたいので、講義内容について自分なりの考えを持つことが大切。日頃から、航空や、観光について幅広い関心を持ち授業に臨む。

成績評価の方法

平常の出席状況、授業への参加姿勢、ディスカッション等での発表姿勢に期末テスト（ウエイト65%）を総合して評価。

教科書/テキスト

参 考 書

毎回レジメを配布する。

航空産業入門（ANA総合研究所編著）	東洋経済新報社
航空の経済学（村上英樹他）	ミネルバ書房
航空の規制緩和（戸崎肇）	勁草書房
ていくおふ（ANA）	ANA総合研究所
-N083	オープンスカイVSAアジア航空会社
-N0116	成長するアセアン
観光学基礎（羽田耕治）	ジェイティービー能力開発
観光概論（今井成男、榎富雄）	ジェイティービー能力開発
「観光立国」と地域観光政策（鈴木茂、奥村武久編）	晃洋書房

そ の 他

参考になるWWWページ

国土交通省	www.mlit.go.jp
定期航空協会	www.teikokyo.gr.jp
国際民間航空機関	www.icao.org
国際航空運送協会	www.iata.org
エアバス	www.airbus.com
ボーイング	www.boeing.com

履修コード	091701
科目名	商業政策
担当者名	番場 博之

講義の到達目標(ねらい) 経済活動としての流通活動は、単なる競争ではなくルールにもとづく競争である。そして、このような流通や商業に関わる方針やルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

講義の内容／
授業スケジュール

- (1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方
- (2～5) 流通・商業の基礎知識
- (6～9) 流通・商業政策の枠組み
- (10～15) 競争政策
- (16～21) 振興政策と調整政策
- (22～27) まちづくり政策
- (28～30) 海外における商業に関わる政策

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する
定期試験によって評価する。ただし、若干の平常点を加味することもある。
加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 『現代流通入門』有斐閣 978-4-641-18351-3
渡辺達朗『流通政策入門 第2版』中央経済社、2007年。
岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店、2007年。
番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房、2003年。

履修コード	091801
科目名	マーケティング
担当者名	菅我 信孝

講義の到達目標(ねらい) マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容／
授業スケジュール

- 1～2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。
- 3～9回 製品政策について学習させる。
その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。
- 10～15回 価格政策について学習させる。
その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。
- 16～22回 チャネル政策について学習させる。
流通機構とメーカーの販売チャネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。
- 23～28回 促進政策について学習させる。
広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。
- 29～30回 マーケティング・ミックスについて学習する。

準 備 学 習

ケーススタディを豊富に取り入れて講義をしていく計画です。企業の製品開発や広告などマーケティングに関するニュースは把握しておいてください。
なお、日本経済新聞のニュースのデータベースが図書館から見ることができます。

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート（20％）年度末の課題レポート（20％）と平常点（講義中の小テスト評価：60％）によって評価する。

教科書／テキスト

基本的に教科書は使用しない。

参 考 書

参考書は適宜紹介する。

そ の 他

授業方法・講義形式

経 B

履修コード	092311
科目名	上級簿記
担当者名	福島 隆 <small>ふくしま たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、日商簿記検定2級の取得を目指し、株式会社における簿記を中心に学習します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。2009年度は、商業簿記終了後は工業簿記と1級の導入部分を行いました。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。授業中に2回中間試験を行います。中間試験の日程は、授業中に指示します。11月の日商簿記試験までに、2級の商業簿記の範囲と(可能な限り)工業簿記を終わらせます。

(1) ガイダンス (2) 現金預金 (3) 有価証券 (4・5) 手形 (6) 引当金 (7・8) 商品売買 (9・10) 特殊商品売買取引 (11) 固定資産 (12) 税金 (13・14) 株式会社会計 (15・16) 本支店会計 (17・18) 帳簿組織 (19～) 工業簿記、連結会計等

準備学習
履修上の留意点

日商簿記3級の範囲は各自で復習しておいてください。

簿記は積み重ねが重要ですので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。10分以上の遅刻は欠席扱いとします。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

(1) 平常点重視型・・・出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。
(2) 試験重視型・・・中間試験60点(30点×2回)、定期試験40点。

教科書／テキスト

福島隆「上級簿記」2,940円(税込)。駒澤大学で教えるためだけに作成したので、大学の売店でしか販売していません(市販はしていません)ので、注意して下さい。

参考書
その他

必要に応じて指示します。

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

経B

履修コード	092401
科目名	財務会計論
担当者名	小栗 崇資 <small>おぐり たかし</small>

講義の到達目標(ねらい)

企業活動の実態を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計です。財務会計は会社法や金融商品取引法のような制度(法律や規則)によって社会的に規制されています。そのような日本の企業会計制度はこの間、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化の過程をたどり、現在はさらにグローバルスタンダードである国際会計基準との統合の最中にあります。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような変化をとげていくかが、今問われているところです。

講義の前半では、そうした制度変化を理解するのに必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みについて理解を深めた上で、財務諸表の(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)の構成や内容について学習を進めます。講義の後半では、新たに導入された様々な会計基準を取り上げ、その習得をめざします。特に国際会計基準の内容をできるかぎり紹介して検討する予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

次のような構成で進める予定です。

(1) 会計とは何か、(2～3) 経済社会と企業会計、(4～5) 会計規制の仕組み、(6～7) 日本の企業会計制度の歴史、(8) 会計ビッグバンとグローバル化、(9～12) 財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)の仕組み、(13～14) 連結財務諸表の仕組み、(15) 金融商品会計、(16) 退職給付会計、(17) リース会計(18) 税効果会計、(19～22) その他の新会計基準、(23～25) 国際会計基準の概要、(26～30) 財務諸表の活用

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み重ねていく学習スタイルが重要です。プリントを適時、配布しますので休まずに受講してください。私語は厳禁とします。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験の結果により評価します。

教科書／テキスト

現在準備中。授業の中で指示する予定です。しばらくは配布するプリントを使います。

参考書

遠藤・小栗・新谷・徳前『新世紀の企業会計論』(白桃書房)

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える一変化する会計と経済』(大月書店)

履修コード	093831
科目名	福祉経済論
担当者名	齋藤 雅元

講義の到達目標(ねらい) 社会保障制度のうち、年金、医療、介護、保育制度に焦点をあて、日本の各制度の現状を確認すると共に、社会保障制度一般について、公共経済学の視点からどのような含意が得られるかについても解説する。

講義の内容／授業スケジュール 1 イントロダクション 2 社会保障とは 3—5 年金 6—8 医療 9—11 介護 12—14 保育 15 期末試験

成績評価の方法 中間レポート(30%程度)と定期試験(70%程度)により評価。出席状況は問わない。

教科書／テキスト なし。講義内容をまとめたプリントを配布。

参考書 村上雅子『社会保障の経済学 第2版』東洋経済新報社 2300円 4-492-81456-6

履修コード	093841
科目名	医療経済論
担当者名	河野 敏鑑

講義の到達目標(ねらい) 医療制度特有の問題を経済理論によって分析する。医療経済学の理論的成果を紹介するとともに、日本を中心に医療制度とその問題点について解説する。

講義の内容／授業スケジュール 1 イントロダクション 2-6 医療・健康と経済学 7 医療保険制度 8-11 医療費の決定要因(所得増大・高齢化・医師誘発需要・技術進歩・健康増進) 12 医療サービスの経済的評価 13 高齢者医療 14 医療システムの国際比較 15 期末試験

成績評価の方法 中間レポート(30%程度)と定期試験(70%程度)により評価します。出席状況は問いません。

教科書／テキスト 田中滋・川渕孝一・河野敏鑑編『会社と社会を幸せにする健康経営』勁草書房(2010年夏出版予定)を用います。万が一、出版が講義の開始に間に合わない場合は、講義内容をまとめたプリントを配布します。

参考書 第一回目の講義で紹介しますが、初心者向けの書籍としては、鈴木亘『だまされないための年金・医療・介護入門』東洋経済新報社 1900円+税 4-492-70123-2
より深く学びたい人向けの書籍としては、漆博雄『医療経済学』東京大学出版会 4000円+税 4-13-042105-0を推薦します。

関連リンク <http://home.e01.itscom.net/tkouno>

経 B

履修コード	095311
科目名	契約理論
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい) 生産や消費といった経済活動を相互に結び付けている取引関係には、大きく分けると、交換と契約の2つがある。交換(市場取引)は通常、匿名の相手との一時点で終わる関係であるのに対し、契約関係は事前の調査・交渉や契約内容の実行に時間がかかり、多くの場合、長期にわたって続く関係である。経済主体は相互に様々な契約関係を結ぶことで、企業をはじめ様々な組織・システムを構築している。

本講義では、ミクロ経済学、なかでも「情報の経済学」、「法と経済学」などの手法を用いて、雇用契約や金融契約などの契約関係から見た経済主体の相互の関連と経済システムについて論じる。受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、その中における経済主体の相互関連を考えることで経済社会全体についての視点を身につけてもらいたい。

講義の内容／授業スケジュール 1. イントロダクション：契約と契約理論(1)
2. エージェンシー関係と情報の経済学(2~4)
3. 雇用契約とインセンティブ(5~8)
4. 金融契約とコーポレート・ガバナンス(9~12)
5. 契約法の経済分析(13~14)
6. 契約の不完備性、契約違反と再交渉(15)

履修上の留意点 講義ではミクロ経済学と情報の経済学の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、「情報の経済学」、「制度の経済学」のいずれかをすでに履修した学生を対象とする。

成績評価の方法 成績評価は、主に定期試験による。ただし必要に応じて課題を出し、成績評価に加算する場合もある。

教科書／テキスト テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。

参考書 テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	095321
科目名	情報の経済学
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい)

入門レベルでのマイクロ経済学では、人々が行動を選択するために必要な情報はすべて容易に入手できると想定していた。しかし現代社会において我々はしばしば先の見えない不確実な状況(リスクのある状況)に直面し、また人によって保有する情報は大きく異なっている。

このような状況にあるとき、人々の行動はどのように変化するだろうか?また、情報不足に起因する問題に対してどのような対処が考えられるだろうか?本講義では、日常生活やビジネスの現場でのリスクと情報に関連する経済現象・経済問題を検討する。受講する学生には、この授業を通じて、リスクと情報の側面から見た現代経済社会についての視点を身につけてもらいたい。

講義の内容/
授業スケジュール

全体として4部構成で説明していく。

第1部 市場と情報

1. 市場の情報効率性
2. 不確実性と情報

第2部 リスク:不確実性下の意思決定

3. リスクと期待値
4. 期待効用
5. リスクプレミアム
6. 保険の役割

第3部 情報の非対称性1:逆選択

7. 情報の非対称性と市場取引
8. 逆選択
9. シグナリング
10. スクリーニング

第4部 情報の非対称性2:モラルハザード

11. モラルハザード
12. モラルハザードと賃金体系
13. 保険と情報の非対称性
14. ホールドアップ問題

※講義の進度などにより内容を変更することがある。

授業後に配布プリントと板書を十分に復習してほしい。

マイクロ経済学, ゲーム理論, 経済数学を並行して学習することが望ましい。また、契約理論は本講義の内容を前提とした講義であるため、本講義を履修した後、契約理論を学習することが望ましい。成績評価は、定期試験(80点程度)と授業中の課題提出(20点程度)による予定である。

テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。

テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

準備学習
履修上の留意点

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

経 B

履修コード	095501
科目名	コンピュータ会計 I
担当者名	鈴木 勝浩

講義の到達目標(ねらい)	今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、そのシステムへのデータ入力の実習を行う。
講義の内容／授業スケジュール	(1) コンピュータ会計概論 (2) 会計情報とデータベース (3) 会計情報とシステム設計 (4) 表計算ソフトによる実習(基礎準備) (5) 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) (6) 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) (7) 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) (8) 表計算ソフトによる実習(決算処理) (9) 表計算ソフトによる実習(財務諸表の作成) (10) 表計算ソフトによる実習(取引の入力①) ① (11) 表計算ソフトによる実習(取引の入力②) (12) 表計算ソフトによる実習(財務分析) (13) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成①) (14) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成②) (15) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成③)
準備学習	簿記会計の知識があればより学習効果が向上します。簿記会計の基本原理や帳簿体系を理解するよう心がけてください。
履修上の留意点	パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理 I・II」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。
成績評価の方法 教科書/テキスト 参 考 書 そ の 他	出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。 志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社) 講義中に適時指示する。 本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義時には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡してください。 k2szk@komazawa-u.ac.jp また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F 事務室に行き、登録してください。

経 B

履修コード	095601
科目名	コンピュータ会計Ⅱ
担当者名	鈴木 勝浩

講義の到達目標(ねらい)

今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容／
授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 表計算ソフトによる実習(製造原価報告書・損益計算書)
(3) 表計算ソフトによる実習(貸借対照表・キャッシュフロー計算書) (4) 表計算ソフトによる実習(財務指標) (5) 表計算ソフトによる実習(売上データ) (6) 表計算ソフトによる実習(原価分解法) (7) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析①) (8) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析②) (9) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法①) (10) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法②) (11) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス①) (12) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス②) (13) 表計算ソフトによる実習(予算シミュレーション) (14) 表計算ソフトによる実習(予算コントロール) (15) 表計算ソフトによる実習(投資プロジェクトの評価法)

準備学習

簿記会計の知識があればより学習効果が向上します。簿記会計の基本原則や帳簿体系を理解するよう心がけてください。

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法
教科書／テキスト
その他

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

経B

履修コード	095701
科目名	経営情報システム論 I
担当者名	中 ^{なかつ} 濟 ^{みつあき} 光昭

講義の到達目標(ねらい)

本講義は、企業情報システム発展の経緯と ERP (Enterprise Resource Planning) の役割、今後の課題について ERP に関する基本的知識を解説しながら網羅的に学習することにより、ERP に関する知識を習得することを目標とする。世界最大のエンタープライズ・ソフトウェア企業であり、日本を含む120もの国々において、105,000の導入実績を持つ独 SAP 社の SAP ERP を用い、受注管理、品目/生産計画、調達、在庫管理、プロジェクト管理、プラント保全、得意先サービス、Human Capital Management、財務会計、および管理会計のプロセスを実習し、SAP ERP の統合されたロジスティクスおよび財務プロセスの概要と、ビジネスインテリジェンスや戦略的企業経営などの分析機能の使用方法について理解する。意欲のある学生は補習を受け就職活動で有用である SAP 認定資格を取得することができる。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1～3回 ERP の基本事項
- 第4回 SAP NetWeaver
- 第5～6回 調達周期
- 第7～8回 品目計画
- 第9～10回 ライフサイクルデータ管理
- 第11～12回 製造実行
- 第13～14回 在庫/倉庫管理 受注管理
- 第15回 小テスト

準備学習
履修上の留意点

簿記・会計、流通、経営に関する基礎知識を持っていることが望ましい。
授業は、説明と実習 (SAP を実際に使う) により構成されており、課題や小テストは YeStudy と呼ばれる Web システムを用いて行う。

IT リテラシーが求められる内容であり、ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行う。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用する。パソコン初心者は、まずコンピュータ基礎、基礎情報処理 I・II や情報入門 I・II を履修すること。

資格取得を希望する履修者には、講義とは別に補習を行う。SAP は、名前を言えば皆さんがご存じの多くの会社が導入しているシステムなので、資格を取りこれをうまくアピールすれば就職活動を有利に進めることが可能である。

講義時の課題と授業内テストによる。卒業年次生においてもこれらを提出しないものは、単位を認めない。

教科書/テキスト
参考書
その他

- 初回講義で説明
- 初回講義で紹介
- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがある。初回の講義で履修許可票を配布することがあるので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めない。
- ・経営情報システム論 II の履修許可も経営情報システム論 I の初回講義で行う。経営情報システム論 II の履修登録も忘れないようにすること。
- ・KOMAnet に登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet 未登録者は4号館2F 事務室に行き、登録手続きを行なうこと (登録なしに受講することは講義内容上困難です)。
- ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

関連リンク

<http://www.sap.com/japan/index.epx>

経 B

成績評価の方法

履修コード	095801
科目名	経営情報システム論II
担当者名	中 ^{なか} 濟 ^{しづみ} 光 ^{みつ} 昭 ^{あき}

講義の到達目標(わらい)

本講義は、企業情報システム発展の経緯とERP (Enterprise Resource Planning) の役割、今後の課題についてERPに関する基本的知識を解説しながら網羅的に学習することにより、ERPに関する知識を習得することを目標とする。世界最大のエンタープライズ・ソフトウェア企業であり、日本を含む120もの国々において、105,000の導入実績を持つ独SAP社のSAP ERPを用い、受注管理、品目/生産計画、調達、在庫管理、プロジェクト管理、プラント保全、得意先サービス、Human Capital Management、財務会計、および管理会計のプロセスを実習し、SAP ERPの統合されたロジスティクスおよび財務プロセスの概要と、ビジネスインテリジェンスや戦略的企業経営などの分析機能の使用方法について理解する。意欲のある学生は補習を受け就職活動に有用であるSAP認定資格を取得することができる。

講義の内容/
授業スケジュール

- 第1～2回 企業資産管理と得意先サービス
- 第3～4回 計画/プロジェクト管理
- 第5～6回 Human Capital Management (人財管理)
- 第7～9回 財務会計
- 第10～12回 管理会計
- 第13回 ビジネスインテリジェンス
- 第14回 戦略的企業経営
- 第15回 小テスト

準備学習

簿記・会計、流通、経営に関する基礎知識を持っていることが望ましい。経営情報システム論Iを履修していることが必須である。

履修上の留意点

授業は、説明と実習(SAPを実際に使う)により構成されており、課題や小テストはYeStudyと呼ばれるWebシステムを用いて行う。

ITリテラシーが求められる内容であり、ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行う。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用する。パソコン初心者には、まずコンピュータ基礎、基礎情報処理I・IIや情報入門I・IIを履修すること。

資格取得を希望する履修者には、講義とは別に補習を行う。SAPは、名前を言えば皆さんがご存じの多くの会社が導入しているシステムなので、資格を取りこれをうまくアピールすれば就職活動を有利に進めることが可能である。

成績評価の方法

講義時の課題と授業内テストによる。卒業年次生においてもこれらを提出しないものは、単位を認めない。

教科書/テキスト
参 考 書
そ の 他

初回講義で説明
初回講義で紹介

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。4月に行う経営情報システム論Iの初回講義で履修許可票を配布することがあるので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めない。

- ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4号館2F事務室に行き、登録手続きを行なうこと(登録なしに受講することは講義内容上困難です)。

- ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jpにメールすること。

関連リンク

<http://www.sap.com/japan/index.epx>

経B

履修コード	095811
科目名	ネットワーク組織論 a
担当者名	梅木 眞 ^{うめき しん}

講義の到達目標(ねらい)

20世紀は「(巨大)組織の時代」であった。しかし、21世紀を迎えた今、そうした潮流は大きく変わりつつある。これまで支配的であった巨大組織に代わり、「組織のネットワーク」が重要な存在となってきた。本講義では組織のネットワークの形成・発展のメカニズムと、そのマネジメントについて学んでいくこととする。

講義の内容/
授業スケジュール

1. はじめに
2. 市場と組織
3. ピラミッド型組織
4. 分権型組織
5. 組織間ネットワーク
6. 組織間ネットワークのマネジメント (1) - 資源依存の観点
7. 組織間ネットワークのマネジメント (2) - 組織学習の観点
8. 組織間ネットワークのマネジメント (3) - 外部経済の観点
9. 戦略的提携とアウトソーシング (1)
10. 戦略的提携とアウトソーシング (2)
11. M&A (1)
12. M&A (2)
13. グループ経営
14. パーチャル組織とインターネット
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価(100%)を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5~10点を試験成績に上乘せする。

教科書/テキスト
参 考 書

(使用しない)
山倉健嗣『新しい戦略マネジメント—戦略・組織・組織間関係』同文館出版、2940円
ISBN:978-4-495-37701- 4

経 B

履修コード	095821
科目名	ネットワーク組織論 b
担当者名	梅木 眞 ^{うめき しん}

講義の到達目標(ねらい)

現代は巨大企業中心の社会から中小企業・地域企業・コミュニティビジネス・NPOなど多様な組織から成る社会へと移行しつつある。また、インターネットの普及は従来型のビジネスモデルを大きく変えてしまった。本講義ではそれらの組織が織り成すネットワークと、その社会に対する影響について学んでいくこととする。

講義の内容/
授業スケジュール

1. はじめに
2. 均質化社会から多様性社会への移行
3. 中堅・中小企業の台頭とネットワーク
4. クラスタ (1) 概論
5. クラスタ (2) 事例分析①
6. クラスタ (3) 事例分析②
7. 産学官のネットワーク (1) 概論
8. 産学官のネットワーク (2) 事例分析①
9. 産学官のネットワーク (3) 事例分析②
10. コミュニティビジネス (1) 概論
11. コミュニティビジネス (2) 事例分析
12. NPO (1) 概論
13. NPO (2) 事例分析
14. ネットワーク組織におけるメディアと情報
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価(100%)を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5~10点を試験成績に上乘せする。

教科書/テキスト
参 考 書

使用しない。
中小企業総合研究機構『産業集積の新たな胎動』同友館、2730円、ISBN: 4-496-03702- 5
五十嵐敬喜・天野礼子『市民事業』中公新書 ラクレ、ISBN: 4-12-150085- 7

履修コード	095831
科目名	グローバル・ビジネス論 a
担当者名	日高 克平

講義の到達目標(ねらい)	1980年代末から本格化した地球規模での経済活動（グローバリゼーション）によって、現代企業のビジネスは劇的に変化しています。グローバリゼーションの現代的特徴は、ICT（情報通信技術）の飛躍的發展をともなっていることにあるため、現代企業のビジネス・モデルを分析する際にも、企業経営のグローバル化と ICT 化を関連付けることが肝要です。本講義では、そのような視座に立って、グローバル・ビジネスを展開する企業の具体的な事例を取り上げつつ、企業経営の新たな手法や技法を探るとともに、その革新的特性や問題点を解明することを目的としています。
講義の内容／授業スケジュール	グローバル・ビジネスの概念と歴史（第1～3回）、今日のグローバリゼーションと企業経営（第4～5回）、グローバル・ビジネス論—グローバル戦略とローカル戦略—（第6～7回）、グローバル・マーケティング戦略（第8～9回）、生産活動のグローバル化—海外生産拠点の配置と調整—（第10～12回）、革新的ビジネス・モデルの事例研究（第13～15回）
履修上の留意点	グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。
成績評価の方法	学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。
教科書／テキスト	講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

履修コード	095841
科目名	グローバル・ビジネス論 b
担当者名	日高 克平

講義の到達目標(ねらい)	国境を越えて事業を拡大する企業行動は、市民生活にもさまざまな影響を及ぼしています。後期の課題を一言で表現すれば、グローバル・ビジネスと市民社会との共生関係をどのように築くべきか、という問題を検討すること、と言えましょう。グローバル・ビジネスは、優れた商品やサービスの提供という部分ではわれわれの生活に欠かせないものではありませんが、他方で、環境問題、雇用や労働条件をめぐる問題、人権問題等を引き起こす場合もあります。したがって、個々のビジネス・モデルを検討する場合、グローバル・ビジネスの恩恵の部分だけでなく、負の部分も認識した上で総合的に評価をすることが重要です。また21世紀のビジネス・モデルがどうあるべきか、どのようなビジネスを育成していくべきか、という問題について、「共生」というキーワードを用いて考察します。
講義の内容／授業スケジュール	グローバル・ビジネスの現代的特徴および戦略的課題（第1～3回）、グローバル・リストラクチャリング—グローバル M&A とアライアンス戦略—（第4～6回）、グローバル・ビジネスと国家・地域・都市（第7～9回）、グローバル・ビジネスと CSR—環境・人権・労働問題—（第10～12回）、共生型ビジネス・モデルとその事例研究（第13～15回）
履修上の留意点	グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。
成績評価の方法	学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。
教科書／テキスト	講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

経 B

履修コード	096501
科目名	商業史
担当者名	幸野 <small>こうの</small> 保典 <small>やすのり</small>

講義の到達目標(ねらい)

広い意味での商業とは、商品（あるいはサービス）を円滑に生産者から消費者（あるいはサービスの受益者）に社会移転させる行為を指す。生産者から消費者へ商品が移転する過程、すなわち、商品取引過程で介在する倉庫業・運輸業や金融業・保険業も広義の商業の中に含まれる。

本講義では、いわゆる狭義の商業とされる問屋・卸と小売業を中心として、これらの歴史的展開を幕末維新时期から戦前期（1859年～1945年）までを4期にくぎり検討する。そして当該期に、社会経済構造の変容と係わらせながら問屋・卸と小売業が、商業機構の内部で役割をどのように変化したか、また新たな商業形態をいかに出現させたかを考察する。

講義の内容/
授業スケジュール

第1期 外圧への権力・商人的対応。

1. 自由貿易の開始から産業革命へ。
2. 外圧の下で拡大する国内市場。
3. 問屋＝卸商主導の商業機構の再編。

第2期 産業革命と流通の新基軸。

4. 産業革命の進行と生活・社会に現出する諸変化。
5. 商業関連政策・制度の整備。
6. 交通・通信網の発達と商業の再編。
7. 第一次大戦期の商業と消費。

第3期 戦間期の商業と消費—不況・恐慌から景気回復へ—。

8. 俸給生活者の増加と消費構造の変化。
9. 関東大震災後の商業構造の変容。
10. 小売業の新たな展開。
11. 1930年代の中小小売商の窮乏化と政策対応。

第4期 戦時下の商業統制。

12. 日中戦争の卸・小売業。
13. 「新体制」下の商業再編成。
14. アジア太平洋戦争期の配給機構。

特になし

前期にレポート、後期に定期試験を行う。出席も考慮する。

石井寛治編『近代日本流通史』（東京堂出版）2005年 2800円＋税 ISBN4-490-20550-3

石原武政・矢作敏行編『日本の流通100年』有斐閣、2004年

石井寛治『日本流通史』（有斐閣）2003年。鈴木安明『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト

参 考 書

そ の 他

授業の方法—講義形式で行う。

経 B

履修コード	096601
科目名	消費経済論
担当者名	あねは あき 姉齒 暎

講義の到達目標(ねらい)

「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動の抱える問題が噴き出す場でもある。従って、私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。「食の安全」をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金のCMから消費者信用の性格が見えてくる。

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるこうした問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

講義の内容/
授業スケジュール

- I. 消費の成立—生産力の変化と消費
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 - ①生産と消費の分離
 - ②産業革命と「消費する人々」の誕生
 2. 経済の変化と消費行動
 - ①高度経済成長と消費生活の変化
 - ②「消費させられる」消費者
 3. 消費者運動と「消費者主権」という幻想
 - ①高度経済成長と消費者運動
 - ②「消費者主権」はありうるのか
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. サブプライムショックから家計債務を見る
 - ①サブプライムショックとは何だったのか?
 - ②アメリカの家計債務にみる消費者信用の役割
 - ③家計と金融—家計内債務と消費者問題
 2. 「情報化社会」と消費
 - ①「情報化社会」論
 - ②情報の偏在と消費者の「選択の自由」
 3. グローバリゼーションと消費生活
 - ①食料輸入大国日本の消費生活
 - ②グローバリゼーション下における地域経済と消費生活

経 B

準備学習

新聞、ニュースを毎日チェックしておくことを勧める。生活実感がないと講義を理解するのが難しいからである。

また、「消費経済論」は、随所にジェンダー論を取り入れながら講義を行う。ジェンダーとは社会的性差のことである。消費行動の分析と論証にはジェンダー論の視点が欠かせない。したがって、ジェンダー論そのものを講義するわけではないにせよ、ジェンダー論の勉強を行う機会としても、この講義を役立ててほしいと思う。

履修上の留意点

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。私語および中途の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

成績評価の方法

中間試験及び定期試験によって評価する。講義の中で行われた受け答えも評価に組み入れる。また、理解度を確保するための小テストを行う場合もある。

教科書/テキスト

教科書は使用しない。

参考書

伊藤セツ・川島美保共編著『三訂消費生活経済学』光生館（2008年）

その他の

配布するレジュメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

履修コード	096712
科目名	経営戦略論 a
担当者名	田淵 泰男

講義の到達目標(ねらい)

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

「企業戦略論 a・経営戦略論 a」は、「企業戦略論」を主たる内容とします。企業戦略は、企業全体の将来のあり方に関する戦略です。その内容は、企業の諸事業を全体としてどのようにバランスないし統合するか、新しくどのような事業に進出するか、将来にわたってどのような企業を形成していくか、等にかかわる戦略です。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

・経営戦略論への招待

戦略とは何か、経営戦略の概念、経営戦略論の発展過程、経営戦略の体系。

・企業のアイデンティティと事業活動領域を選択・決定する「ドメインの定義」

・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」

・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法
教科書/テキスト

授業の進捗内容にあわせて実施する試験(事前に予告)によって評価します。

使用しません。毎回、プロジェクター(パワーポイント)を利用します。図表を多用するときや、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

参 考 書

適宜紹介します。

履修コード	096722
科目名	経営戦略論 b
担当者名	田淵 泰男

講義の到達目標(ねらい)

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール

「企業戦略論 b・経営戦略論 b」は、「競争戦略論」を主たる内容とします。競争戦略は、競合企業に対して持続的な競争優位を確立するための戦略であり、現在最も注目されている戦略論の研究テーマです。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

・業界の競争構造分析フレームワーク(競争の程度から収益性の高い魅力的な業界を探し出す考え方と手法)である「5つの競争要因」分析。

・競争優位状態の分析と戦略的ポジションの選択にかかわる「競争の基本戦略」、および「戦略グループ」「価値連鎖」等。

・競争優位の源泉に関する2つの考え方として、「ポジショニング・アプローチ」と「資源ベース・アプローチ」。

・競争地位の類型化とそれに対応して要求される「競争対抗戦略」。

・製品ライフサイクル別の競争戦略、先発企業の競争優位性、後発企業の競争逆転の戦略、業界標準規格をめぐる競争戦略、など。

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法
教科書/テキスト

授業の進捗内容にあわせて実施する試験(事前に予告)によって評価します。

開講時に説明します。毎回、プロジェクター(パワーポイント)を利用します。図表を多用するときや、詳細を要するときはプリントを配布します。

参 考 書

適宜紹介します。

経 B

履修コード	096812
科目名	財務管理 a
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

講義の到達目標(ねらい)	サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
講義の内容／ 授業スケジュール	<財務管理論とは何か> 1. 財務管理論概説 2. 機関投資家支配の時代 3. コーポレート・ガバナンス 4. キャッシュフロー管理 5. EVAと資本コスト管理 <財務計画と財務管理> 6. 経営計画 7. 財務計画 8. 設備資本管理 9. 運転資本管理 10. 利益管理 <株式資本とは何か> 11. 増資の方法 12. 株式の多様化 13. 株式所有 14. 配当政策 15. 自己金融
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
教科書／テキスト	4月授業開始時に指示します。
参 考 書	4月授業開始時に指示します。

履修コード	096822
科目名	財務管理 b
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

講義の到達目標(ねらい)	サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
講義の内容／ 授業スケジュール	<株式会社> 1. 株式会社と企業形態 2. 株式会社とLLP、NPO 3. 株式会社とベンチャービジネス 4. 株式会社と中小企業 5. 株式会社とM&A <債務資本とは何か> 6. 企業間信用 7. CPとMTN 8. 借入金 9. 金利 10. 社債 <現代の財務管理> 11. 企業と銀行 12. 証券化 13. デリバティブ 14. ディスクロージャー 15. 明日の財務管理
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
教科書／テキスト	4月授業開始時に指示します。
参 考 書	4月授業開始時に指示します。

経 B

履修コード	096901
科目名	経営学史
担当者名	小阪 隆秀

講義の到達目標(ねらい) アメリカにおける経営管理の領域でさまざまな理論が登場しながら発展してきた過程を体系的に跡付けていくことが、この講義の目的である。

講義の内容/
授業スケジュール

経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論に支えられて効率性を高め、競争優位を形成し、成長・発展することができた。そして、企業の成長と発展にともない、それまでの理論の競争優位性は低下していき、古いものとなり、やがて新たな競争優位を生み出す新しい管理論を必要とするようになる。その新しい理論が、さらに企業の成長と発展を可能にしていくことになる。本講義では、このようにして経営学の発展史が形成されてくることを明らかにしていきたい。

- ①初期のマネジメント思想：産業革命と体系的マネジメント
- ②科学的管理の理論とその発展：F.W. テイラーと H. フォードの理論
- ③人間関係論とモチベーションの諸理論：人間関係論、D. マグレガーの Y 理論、F. ハーツバーグの動機づけ・衛生理論、C. アーリソンの組織の中の人間、R. リッカートのシステム 4
- ④オーガニゼーションの諸理論：M.P. フォレットの状況の法則、C.I. バーナードの経営者の役割
- ⑤経営戦略の諸理論：A.D. チャンドラー Jr. の組織と戦略、I. アンゾフの企業戦略、M. ポーターの競争優位戦略
- ⑥現代のマネジメント思想：H. クーンツの管理論のジャングル、P.F. ドラッカーとマネジメント実践

準備学習
履修上の留意点

特に必要ありません。
これまで習った経営学や経営管理の理論を、この講義のなかでしっかり復習してもらいたい。それによって、経営管理論の発展史を体系的に理解できるようになる。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参考書

学年末試験60%、授業中の小テスト(年間8回)40%を日安の総合的に評価する。
特に指定しない。
授業の中で必要に応じて指示する。

履修コード	096911
科目名	ビジネスの歴史(日本)
担当者名	宇田 理

経 B

講義の到達目標(ねらい) 本講義は、独自の企業システムを構築することによって高い競争力を誇っている日本の企業を、企業の生成・発展・衰退の歴史から振り返ることで、そうしたシステムの生成の契機、そして、それが発展に結びついていった要因、さらには、それが長期の成長を維持するのに貢献した場合、あるいは、衰退への道筋を招いてしまう場合の各要因を軸に、実際の事例に基づき説明する。それによって、企業にとっての「変化」とは何か、についての理解を深めることが本講義のねらいである。

講義の内容/
授業スケジュール

第一回の講義で講義計画のプリントを配布するが、だいたい以下のトピックに沿って講義を進めていく。各トピックは約二回の講義から成っている。なお、取り上げるトピックは変更される場合がある。

1. 無から有を創り出す：松下幸之助と松下電器産業
2. ニーズの多様化に対峙する：鈴木敏文とイトーヨーカ堂
3. 大量生産システムの超克：大野耐一とトヨタ生産システム
4. 規制に真っ向から立ち向かう：小倉正男とヤマト運輸
5. アパレルの革命児：オンワード樺山と樺山純三
6. 国産コンピュータに賭けた夢：富士通と池田敏夫

成績評価の方法
教科書/テキスト

期末試験[持ち込み可](80%)、授業中の感想(20%)
講義中に指示する。

履修コード	096921
科目名	ビジネスの歴史 (欧米)
担当者名	宇田 理

講義の到達目標(ねらい)

国際間で色々な経済摩擦が起きるが、そのなかの1つは、商習慣や各国企業の経営システム(ビジネスのやり方)から派生している。そのため、各国企業の発展史を学び、比較検討することは、国際ビジネス環境の理解を深めることになる。この経済摩擦の原因を理解するのにかかせないのが、各国企業がどのような環境の下、どのようにして発展してきたのかという「各国企業の経営史」を学ぶことである。

今年度は、日本にとってもとりわけ重要なアメリカの企業が、どのように発展してきたのかということを中心に学ぶ。それは建国期アメリカにおけるビジネス活動から始まって、近年のコンピュータ産業の歴史までをカバーする予定である。また、企業活動にかかわった人物も頻繁に取りあげるので、企業家精神のアメリカの「カタチ」にも触れることになる。

講義の内容/
授業スケジュール

1. アメリカ経営史を学ぶ意味
2. 植民地時代のビジネス①
3. 植民地時代のビジネス②
4. 最初の大企業としての鉄道業①
5. 最初の大企業としての鉄道業②
6. ロックフェラーと石油産業
7. 鉄鋼業とカーネギー
8. フォードと GM ①
9. フォードと GM ②
10. 小売業の発展：シアーズ、ウォルマート
11. フィリップ・モリスの経営史
12. コカ・コーラの経営史
13. 組織革新の歴史：GE
14. IT 産業の展開：IBM
15. まとめ

成績評価の方法
教科書/テキスト

期末テスト(80%) + 平常点(出席・ミニテスト20%)
安部・壽永・山口『ケースブック アメリカ経営史』有斐閣ブックス(2600円)(テキストは第1回目の講義で指示するので事前に購入しないこと)

経 B

履修コード	097011
科目名	ボランティア経済 a
担当者名	鈴木 岳

講義の到達目標(ねらい)

ボランティアという表現のイメージとは裏腹に、世の中の活動はすべからず経済面と切り離せません。日本を中心に、ボランティアをめぐる経済について、その成り立ちと近況、さらに有用性と限界についてまで冷静に考えてみましょう。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1～2) はじめに、日本における経済社会、くらしの基礎素養をチェックする
- (3～7) ボランティアの定義、その歴史的経緯、近年のボランティア活動、その形態と経済活動における領域、新自由主義とボランティアリズム、慈善、パターナリズム
- (8～11) 協同組合、NPO、地域通貨、国家・自治体との関係、企業との関係
- (12～14) 評価と表彰、批判と限界について
- (15) これから

準備学習
履修上の留意点

特に要求はしません。ただ、町をよく見ること。
ボランティアに関わろうと考える人は、人間愛・博愛精神に裏打ちされた善意を強く有する愛すべき人間である一方、ともすれば観念的で、現実の経済システムとその基本的問題を見落としがちです。あふれる情報を自分の頭で考え自分の見解を持つこと、このことを常日頃から意識して下さい。

成績評価の方法
教科書/テキスト
参 考 書

定期試験を中心とします。授業内に提出を求めるコメント票は、出席状況とともに考慮します。特に使いません。
参考文献や資料については授業内に示すほか、質問に応じて適当なものを紹介します。

履修コード	097021
科目名	ボランティア経済 b
担当者名	すずき たかし 鈴木 岳

講義の到達目標(ねらい)	世界に目を向け、ボランティアをめぐる経済活動についていくつかの諸国を抽出し、それぞれの成り立ちと近況、さらにその周辺の経済活動と各種の課題についてお話しします。ボランティアという表現や活動は、経済や国家の仕組みに応じて、さまざまな様相を持つことを理解しましょう。
講義の内容／授業スケジュール	(1～2) はじめに、世界経済をめぐる基礎事項をチェックする (3～14) 諸国の政治経済事情を踏まえた各国ボランティア事情について イギリス、スウェーデンなど北欧、スイス、フランス、イタリア、スペイン、カナダ、米国東アジア、南米ほか(キーワードとして、社会的経済論、ノーブレス・オブリージュ、良心的兵役拒否、地域通貨、フェアトレード、国家・自治体との関係、企業との関係、税制・社会保障、民族性、社会的包摂と排除など) (15) まとめ
準備学習	特に要求しませんが、なるべく自分の関心のある国や民族を探しておいてください。
履修上の留意点	ボランティア経済論 a に同じです。
成績評価の方法	定期試験を中心とします。授業内に提出を求めるコメント票は、出席状況とともに考慮します。
教科書／テキスト	特に使いません。
参考書	参考文献や資料については、授業内で示します。また照会に応じて、個別の対応もします。

履修コード	097031
科目名	ベンチャー論
担当者名	ながのやま むねひろ 長山 宗広

講義の到達目標(ねらい)	日本は、大量生産体制・キャッチアップ型経済から、知識集約化・フロントランナー型経済へとパラダイムの大転換を果たした。こうした時代環境の中、ミクロレベルでは、プロダクト・イノベーション創出の担い手として、ベンチャービジネスに期待が高まっている。本講義では、ベンチャービジネスに関する正確な理解を深めるとともに、ベンチャービジネスの担い手である起業家を養成していく。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ケーススタディなどを交えた実践的学習をすすめていく。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ベンチャービジネスとは(ガイダンス) (2) ベンチャービジネスのブームとベンチャー企業「観」 (3) 中小企業、中堅企業、ベンチャー企業 (4) ベンチャー企業の成長ステージ別マネジメント (5) ベンチャー企業とイノベーション (6) イノベーションの発見 (7) ケーススタディ: SWOT分析の活用 (8) ベンチャー企業のマーケティング戦略 (9) 大学発ベンチャー、産学連携の実態 (10) スピンオフ・ベンチャーの実態 (11) ベンチャー金融(ベンチャーキャピタル、エンジェル、株式公開) (12) ベンチャー支援施策とインキュベーション
履修上の留意点	起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。
成績評価の方法	期末試験による評価: 50% 講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価: 50%
教科書／テキスト	教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。
参考書	植田・桑原・本多・義永『中小企業・ベンチャー企業論』有斐閣コンパクト, 2006年 金井・角田編『ベンチャー企業経営論』有斐閣, 2002年 松田修一『ベンチャー企業』日本経済新聞社, 1998年 ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社, 1997年
その他	本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	097041
科目名	起業論
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広

講義の到達目標(ねらい) 1990年代以降、日本では廃業率が開業率を上回り、経済のダイナミズムが失われてきている。特に、地方圏においては、企業誘致による外来型開発に限界が見える中、地域における新規開業企業の増大・創業支援が重要な課題となっている。本講義では、こうした課題解決に向けて主体的に挑戦できる人材(起業家)を養成する。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ビジネスプラン(事業計画書)作成の演習などを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容/
授業スケジュール

- (1) 前期(ベンチャー論)のサマリー、起業論のガイダンス
- (2) 起業、起業家とは
- (3) 近年の起業活動の実態
- (4) 近年の起業家の実態
- (5) 起業活動の出発点(事業機会の発見)
- (6) ビジネス・アイデアの創出
- (7) 起業とイノベーション
- (8) ビジネスプランと起業家
- (9) 起業活動と経営戦略(ビジネスモデル、ドメイン)
- (10) 創業期のマーケティング活動
- (11) アクションプラン
- (12) 計数計画、資金調達
- (13) 組織・人材戦略
- (14) ビジネスプランの作成

履修上の留意点
成績評価の方法

起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。
期末試験による評価:50%
講義中のレポート(ビジネスプラン)および出席状況など平常点:50%

教科書/テキスト
参 考 書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。
高橋徳行『起業学の基礎』勁草書房,2005年
高橋徳行『起業学入門』通商産業調査会,2000年
ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社,1997年
本学のe-Educationシステム「イエスタディ」を活用する。

そ の 他

経 B

履修コード	097051
科目名	コミュニティ・ビジネス論
担当者名	やまぐち こうへい 山口 浩平

講義の到達目標(ねらい) 従来の社会システムが有効に解決し得ない多様で個別的な地域の課題に対して、ビジネスの手法を用いてそれらを解決し、得られた利益を構成員に分配するだけでなく、コミュニティへの還元へと使用する組織が近年注目を集めています。この講義ではこのコミュニティ・ビジネス(CB)の概念を整理し、その存在を理解することを目的とします。

講義の内容/
授業スケジュール

1.CB登場の背景:歴史と理論的背景、事例紹介(1~6回)、2.CBをどのように立ち上げるか:社会性を持った起業の形態(7~10回)、3.CBを支える仕組みと展望:支援組織、金融システム(11~15回)

準 備 学 習

日常的に各種メディアで社会的企業、社会起業家、ソーシャル・ビジネスなど、関連するキーワードに注目しておいて下さい。

履修上の留意点
成績評価の方法

非営利組織についての一定の知識を要します。非営利組織論、協同組合論等の受講をお勧めします。学期末試験(及びそれに替わるもの7割)と授業内に提出を求める課題(3割)を中心に、講義への参加も考慮して、総合的に評価します。

教科書/テキスト
参 考 書

風見正三・山口浩平編著(2009)『コミュニティ・ビジネス入門』学芸出版社
ほか、資料も配布します。
細内信孝(1999)『コミュニティ・ビジネス』中央大学出版部
斎藤慎(2004)『社会起業家』岩波新書
福原宏幸(2007)『社会的排除/包摂と社会政策』法律文化社

履修コード	097061
科目名	協同組合論
担当者名	山口 浩平 <small>やまぐち こうへい</small>

講義の到達目標(ねらい)	生協、農協などの協同組合は、民主的に管理され、構成員の共通の目的を達成するための事業体です。この講義では協同組合の実態と役割、その意義を理解し、その各国における現状と課題を把握し、そしてその現代的な姿を探ることを目的としています。
講義の内容／授業スケジュール	1. 協同組合が存在する背景と法制度、社会・経済システムの中での位置づけ：株式会社・NPO等との比較(1～5回)、2. 日本における各種協同組合の現状：農協・生協・協同組織金融等(6～10回)、諸外国の協同組合と非営利・協同セクターの中での存在意義、新しい協同組合(11～15回)
準備学習	日本における協同組合は個別法によって規定されています。可能ならば、事前に日本の法人制度についての学習を行って下さい。
履修上の留意点	実際の協同組合が提供しているサービス(生協の店舗、宅配など)を利用してみることをお勧めします。
成績評価の方法	学期末試験(7割)と授業内に提出を求める課題(3割)を中心に、講義への参加も考慮し、総合的に評価します。
教科書／テキスト	特に指定しません。毎回資料を配布します。
参考書	河野直践(2006)『協同組合入門』創森社 栗本昭編著(2006)『21世紀の新協同組合原則』コープ出版社 川口清史・富沢賢治編(1999)『福祉社会と非営利・協同セクター』日本経済評論社

履修コード	097141
科目名	ビジネス英会話 a
担当者名	井上 愛子 <small>いのうえ あいこ</small>

講義の到達目標(ねらい)	本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。
講義の内容／授業スケジュール	講義 1回目 インTRODクシヨソ 2—4回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ 5—6回目 プレゼンテーション 7—10回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備 11—12回目 プレゼンテーション 13—15回目 総合演習
履修上の留意点	社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。 履修希望者は初回講義に必ず出席してください。
成績評価の方法	出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。
教科書／テキスト	ディビッド・ワグナー ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 朝日出版社 1400円 ISBN4-255-99045-X
参考書	適宜授業中に案内します。
その他の	英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

経B

履修コード	097151
科目名	ビジネス英会話 b
担当者名	<small>いのうえ あいこ</small> 井上 愛子

講義の到達目標(ねらい)

本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容/
授業スケジュール

講義
1回目 インTRODクシヨン
2-4回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
5-6回目 プレゼンテーション
7-10回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
11-12回目 プレゼンテーション
13-15回目 総合演習

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

成績評価の方法
教科書/テキスト

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。
ディビッド・ワグナー ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル 「ミーティング」マネジメント編 朝日出版社 1400円
ISBN-255-99044-1

参 考 書
そ の 他

適宜授業中に案内します。
英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

履修コード	097161
科目名	ビジネス事例研究
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義の到達目標(ねらい)

本年度は寄附講座として開講します。
詳細が決まり次第(6月末)担当者のHPに授業内容等を発表します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hyakuta/>

講義の内容/
授業スケジュール

成績評価の方法
そ の 他

この科目は履修制限(150名~200名)をします。最初の授業で履修制限の説明をします。
本授業は外部講師を中心に進められます。授業における私語および携帯電話の使用は禁止します。
また講師講演中の遅刻入場や途中退席も原則として禁止します。

経 B

履修コード	097171
科目名	トップ・マネジメント講座
担当者名	百田 <small>ひやくた よしはる</small> 義治

講義の到達目標(ねらい)	本講義では、企業のトップ（経営者）の人達に、その貴重な経験を踏まえて、企業経営の実践、経営の真髄、コーポレート・ガバナンス、また職業観や人生観などを講演していただき、学生諸君とのディスカッションにも応じていただきます。経済学・経営学などの学習に大きな刺激となるだけでなく、経営者が学生に期待するものを知ることはキャリア・デザインにも大いに参考になることでしょう。企業と経営について、企業の経営者から体験的・経験的な生きた知識を学ぶことが本講義のねらいです。
講義の内容／授業スケジュール	ほぼ2回に1回のペースで講師に講演していただきます。今年は6人の講師を予定しています。講師の方々の授業の前夜の授業日には、予習（企業やテーマの紹介など）と復習（講演の理解を深めるためのフォローアップ）を行います。
履修上の留意点	予備的講義を予習として行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加し、ディスカッションにも積極的に参加してください。
成績評価の方法	各講師の話についてレポートを提出してもらいます。今学期は6回のレポート（1200～1600字）の評価と学期末の授業全体に関するレポート（4000字程度）で評価します。
教科書／テキスト	なし
参 考 書	必要に応じて授業で紹介します。
そ の 他	この科目は、「ビジネス事例研究」（2単位）とともに、履修制限（150名～200名）をします。4月の「ビジネス事例研究」の最初の授業で履修制限の説明をします。授業における私語および携帯電話の使用は禁止します。また講師講演中の遅刻入場や途中退席はできません。

経B

履修コード	097201
科目名	原価計算論
担当者名	鈴木 勝浩

講義の到達目標(ねらい)

原価計算は、企業の経営管理者が企業活動を計画し、統制するために不可欠なツールであると考えられます。これは、原価計算が単に製品原価に関する資料を提供するのみならず、企業の経営管理をも対象にしていることを意味します。そこで本講義では、伝統的な原価計算の手法を取り上げた後、新しい原価計算の流れ（特に情報化時代における原価計算の位置づけ）について考えていきます。

本講義は、基礎的な理論を学習した後、具体的な計算事例を参考にしながら理解を深めていきます。またこれまで会計学を学んだことのない学生にも理解できるよう、原価計算の発展経緯をその時代の経済社会的背景に触れながら講義を進めていく予定です。

講義の内容／
授業スケジュール

- 第1回 原価計算の歴史（1）
会計の歴史と原価計算（産業革命以前）
- 第2回 原価計算の歴史（2）
産業革命以降の史的展開
- 第3回 原価概念
原価概念の多様性について
- 第4回 原価計算の目的
目的の歴史的変遷とその重点移動について
- 第5回 財務諸表作成のための原価計算（1）
材料費の計算
- 第6回 財務諸表作成のための原価計算（2）
労務費の計算
- 第7回 財務諸表作成のための原価計算（3）
経費の計算
- 第8回 財務諸表作成のための原価計算（4）
製造間接費の配賦
- 第9回 財務諸表作成のための原価計算（5）
個別原価計算
- 第10回 財務諸表作成のための原価計算（6）
部門別原価計算
- 第11回 財務諸表作成のための原価計算（7）
単一工程単純総合原価計算（平均法）
- 第12回 財務諸表作成のための原価計算（8）
単一工程単純総合原価計算（先入先出法）
- 第13回 財務諸表作成のための原価計算（9）
単一工程単純総合原価計算（後入先出法）
- 第14回 原価概念と基礎的原価計算計算のまとめ
原価概念から製造間接費まで
- 第15回 基礎的原価計算のまとめ
単純総合原価計算
- 第16回 前期の復習（1）
原価概念から製造間接費
- 第17回 前期の復習（2）
単純総合原価計算
- 第18回 財務諸表作成のための原価計算（10）
工程別総合原価計算
- 第19回 財務諸表作成のための原価計算（11）
組別総合原価計算
- 第20回 財務諸表作成のための原価計算（12）
等級別総合原価計算
- 第21回
連産品等
- 第22回 原価管理目的の原価計算（1）
科学的管理法と原価管理
- 第23回 原価管理目的の原価計算（2）
経営管理サイクルと標準原価の設定
- 第24回 原価管理目的の原価計算（3）
標準原価差異の計算と分析（直接材料費、直接労務費）
- 第25回 原価管理目的の原価計算（4）
標準原価差異の計算と分析（製造間接費）

経 B

- 第26回 利益管理目的の原価計算（1）
原価の固定分解
- 第27回 利益管理目的の原価計算（2）
損益分岐点分析の意義と損益分岐点図表
- 第28回 利益管理目的の原価計算（3）
損益分岐点分析の計算
- 第29回 利益管理目的の原価計算（4）
直接原価計算
- 第30回 原価計算論のまとめ

準備学習

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書

FA・CIM化の進展と原価計算の変革
日頃から、新聞・雑誌・ニュースなどを通じて、企業の経営活動に関心を持つように心がけてください。
計算演習を通じて学習を進めていきますので、計算器具（電卓）を持参するようにしてください。
定期試験・授業内で提出を求める課題を基本に評価します。総合評価の際、出席率を考慮します。
清水孝・長谷川恵一・奥村雅史著『入門原価計算』（中央経済社）
岡本清著『原価計算』（国元書房）
清水孝著『上級原価計算』（中央経済社）

履修コード	097301
科目名	会計情報論
担当者名	いしかわ 純治 石川 純治

講義の到達目標(ねらい)
講義の内容／
授業スケジュール
準備学習

履修上の留意点

成績評価の方法
教科書／テキスト
参考書
その他
関連リンク

変容する現代の会計のトータルな理解と将来の予見に役立つことを目標とする。
教科書と放送大学「現代の会計」(DVD)の講義とをあわせて、企業会計の変容のあり方を理論と制度の両面から講義する。
テキストの各章を(DVDもふくめて)2回行う予定です。1回目の講義(パワーポイントのスライド使用)を聞いた後、テキストでよく復習して、2回目の講義に臨んで下さい。
細かな会計基準の知識は必要ないが、一応の会計学の基礎知識ないし関心をもっていることが望ましい。
小テストと定期試験。小テストは総合評価に加味されます。
石川純治『変貌する現代会計』(日本評論社)1,600円。
別途指示する。
YeStudyをよくご覧になってください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>

経B

履修コード	097501
科目名	経営分析
担当者名	わたなべ さとし 渡邊 智

講義の到達目標(ねらい)	企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えているが、財務諸表の見方を知らなければ情報を正確に把握することはできない。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それらを正確に分析し、当該企業がどのような状態にあるのか判断するものである。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としている。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2～5) 財務諸表分析とは何か (6～14) 貸借対照表とその分析 (15) 前期のまとめ (16～22) 貸借対照表と損益計算書の分析 (23～25) 株主資本等変動計算書とその分析 (26～29) キャッシュフロー計算書とその分析 (30) 後期のまとめ
準備学習	簿記と会計の知識が必要となるので、簿記と会計に関連する科目を履修し、単位を取得しておくこと。 講義には毎回必ず出席すること。万一欠席した場合には、欠席した回の学習事項を十分に理解しておくこと。 また、電卓を使用しても構わないが、ある程度の計算力は必要となる。 ただ講義に出席していれば良いのではなく、日頃から企業の動向に関心を持ち、財務諸表や資料を自ら積極的に収集して分析を行うなど、積極的な姿勢で課題に取り組むことが求められる。 理解できなかった点については、そのままにせず、質問などにより必ず解決しておくこと。
履修上の留意点	講義中は静粛を保ち、与えられた課題には真剣に取り組むこと。 電卓を持参すること。 予習・復習は毎回必ず行なうこと。
成績評価の方法	期末試験の結果、平常点(出席状況、小テスト、レポート)などから総合的に判断して成績を評価する。
教科書／テキスト	平林亮子編『財務諸表分析入門』アスキーメディアワークス 定価1,700円+税 ISBN978-4-04-867324-2
参考書	村形聡著『財務諸表と経営分析』アスキーメディアワークス 定価1,700円+税 ISBN978-4-04-867325-9
その他	講義の進行状況に応じてプリントを配布する。 ただ説明をするだけでなく、受講者とのディスカッションも随時行ない、お互いに理解を深めながら講義を進めてゆきたい。

経B

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	よしだ まさひろ 吉田 真広

講義の到達目標(ねらい)	一國の経済は外国貿易なしには成立しません。今日、先進国において国際取引全体に占める貿易の割合は縮小していますが、依然として対外関係を様々な面において方向付けています。たとえば、貿易を中心とした経常取引は、一國の対外債権債務動向を左右します。また貿易動向は国内産業構造の変化や景気動向の反映でもあり、逆に貿易動向が国内経済に大きな影響を及ぼすことも少なくありません。講義では、貿易の基本原則や取引方法を学び、さらに日本の経済と貿易がどのように関連しているのかを考えていきます。
講義の内容／授業スケジュール	前期 1 国際取引と貿易 ・国際収支 ・記載原理 ・国際収支統計と国民所得統計 2 貿易原理 ・比較生産費説 ・特化と独占 ・交易条件 3 国際競争力 ・価格転嫁率 ・為替相場と商品価格 後期 4 貿易の歴史 ・保護貿易と自由貿易 ・産業革命と貿易 ・帝国主義と貿易 ・戦後の貿易体制 5 為替取引原理 ・約束手形と為替手形 ・銀行と為替取引 6 貿易実務 ・船積み書類と信用状 ・ユーザンス ・貿易金融 *なお、トピックスを取り上げることがあり得る。 出席を取ることもあり得る。 年二回の試験 特に指定しない。 授業中、必要に応じて適宜示します。
履修上の留意点	
成績評価の方法	
教科書／テキスト	
参考書	

履修コード	098161
科目名	企業倫理
担当者名	桑山 三恵子

講義の到達目標(ねらい)	営利組織である企業に、なぜ企業倫理の重要性が増してきているのか？ この基本的な設問を軸に授業を進める。現代の企業経営に起きている変革の要因を分析し、企業経営の質の向上をいかに高めるかについて学習する。理論的な学習とともに、具体的な事例をとりあげグループによるケースディスカッションを行い、倫理的思考にもとづく意思決定を体験する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2～5) 法と倫理、コンプライアンスと企業倫理、倫理規範論と企業倫理 (6～7) 米国における企業倫理の展開 (8～9) 日本の産業社会と企業倫理 (10～12) 企業倫理の組織内制度化 倫理綱領、組織体制、教育コミュニケーション、内部通報制度 監査 (13) コーポレートガバナンスと企業倫理 (14) 環境倫理と企業倫理 (15) まとめ
準備学習	次回の授業のテーマに関連する情報を参考書やインターネットで収集すると効果が高まる。また、授業中に紹介する資料や配布する資料を講義終了後に熟読しておくこと。ケースディスカッションの時には、ケースの資料を熟読し、授業中のディスカッションタイムに加えてグループメンバー間で積極的にEメール等を使い意見交換し理解を深めること。
履修上の留意点	企業経営と倫理に関するテーマをとりあげた新聞、雑誌、テレビの特集番組等の情報に積極的にアクセスすることを心がけること。
成績評価の方法	学期末の定期試験(6割)、授業内で提出を求める課題レポート(2割)とケースディスカッションへの積極的取り組み(2割)を基本とし、出席状況も加味して総合的に評価する。
教科書／テキスト 参考書	授業開始時に決定 日本経営倫理学会監修 水谷雅一編著『経営倫理』2003年刊(同文館出版)2400円 ISBN4-495-37131-2 小林俊治 百田義治 編 『社会から信頼される企業—企業倫理の確立に向けて』2004年刊(中央経済社)2400円 ISBN4-502-37550-0

経B

履修コード	098171
科目名	企業社会責任論
担当者名	桑山 三恵子

講義の到達目標(ねらい)	「企業の社会責任」とは何か、近年、関心が高まっているのは何故か、その背景と意味を学習する。日・米・欧・アジアの企業の社会責任に対するとらえ方や活動を比較し、グローバルな視点に立ち、企業と社会が共に持続的に発展する企業像を考察する。さらに、理論面だけではなく、具体的なケースをとりあげ、グループワークを行い、グループディスカッションにより切磋琢磨し理解を深める。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2～3) 企業とは何か、日米欧のコーポレートガバナンス (4～5) ステークホルダーマネジメント理論 (6～7) 企業の社会責任とグループ経営、サプライチェーンマネジメント (8～10) 日米欧アジアの企業社会責任の認識と実践の比較 (11) 企業社会責任投資の歴史的経緯と現状 (12～13) 企業の社会責任とコミュニケーション (14) 企業の社会責任と国際規格 (15) まとめ：社会企業家と新たな企業像
準備学習	配布資料および教科書の該当する章を熟読すること。関心のある企業の社会責任報告書(CSRレポート)をホームページ等で閲覧し企業はどのような活動をしているかについて理解しておくこと。
履修上の留意点	企業と社会の相互関係という視点から、新聞、雑誌、テレビの特集番組、企業の社会責任報告書、インターネット上の情報に積極的にアクセスすること。
成績評価の方法	学期末の定期試験(6割)、授業内に求める課題レポート(2割)、授業やグループワーク・グループディスカッションへの取り組み姿勢(2割)を総合的に評価。
教科書／テキスト 参考書	谷本寛治『CSR - 企業と社会を考える』2006年刊(NTT出版)1600円 ISBN4-7571-2179-2 田中宏司 CSR入門講座 第1巻『CSRの基礎知識』2005年刊(日本規格協会)1300円 ISBN4-542-70150-6 高嶺+日経 CSRプロジェクト編 『CSR-企業価値をどう高めるか』2004年刊 1600円 ISBN4-532-31181-0

履修コード	098181
科目名	法と経済学
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい) 法制度は日常生活や企業活動などの様々な側面で経済に大きな影響を与えており、経済現象を考える上で、法制度の役割を理解することは不可欠である。そのような法制度の役割を経済システム全体の中で見るために、「法と経済学」ではミクロ経済学の手法を用いてインセンティブの視点から様々な法制度の役割について論じる。

講義の内容／
授業スケジュール

受講する学生には、この授業を通じて経済における法制度の役割、それに関する政策の意義を考え、経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。

1. イントロダクション (1)
2. 法律学と経済学の基礎 (2～3)
3. 犯罪と刑罰の「法と経済学」(4～6)
4. 事故と損害賠償の「法と経済学」(7～9)
5. 所有と契約の「法と経済学」(10～12)
6. 競争政策の「法と経済学」(13～15)

履修上の留意点

講義ではミクロ経済学、ゲーム理論の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、「ゲーム理論」、「情報の経済学」のいずれかを履修した学生を対象とする。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

成績評価は、定期試験による。
テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。
テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	098191
科目名	制度の経済学
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい) 企業組織と企業を取りまく制度は相互に関連しながら経済システムを作り上げており、景気の動向や産業構造、雇用形態などを通じて消費者・労働者としての我々の日々の生活に大きな影響をもたらす。また1990年代以降、企業の雇用形態や資本市場との関係などは大きく変化しており、そのなかで企業の不祥事が頻発するなど、企業組織のあり方やコーポレート・ガバナンスのあり方が問われている。

講義の内容／
授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学、なかでも「比較制度分析」と情報の経済学などの手法を用いて企業組織に関する諸制度の相互の関連と経済システムについて論じる。

受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、経済における制度の役割、それに関する政策の意義を考えることで経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。

1. 企業システムと法・制度 (1～2)
2. 日本の企業システム (3～4)
3. 雇用システムとインセンティブ (5～7)
4. 企業の競争戦略と競争政策 (8～10)
5. 企業間取引 (11～12)
6. 会社法とコーポレート・ガバナンス (13～15)

履修上の留意点

講義ではミクロ経済学、情報の経済学の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、「ゲーム理論」、「情報の経済学」のいずれかを履修した学生を対象とする。

成績評価の方法
教科書／テキスト
参 考 書

成績評価は、定期試験による。
テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。
テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

経 B

履修コード	099181
科目名	企業統治論 a
担当者名	水村 典弘 <small>みずむら のりひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 株式会社の歴史と制度を正確に理解したうえで、企業統治(コーポレート・ガバナンス)のメカニズムを解明していく。そして、比較制度分析の観点から、先進資本主義経済圏における企業統治の制度について解明していく。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス、第2回～4回：株式会社の歴史と現在、第5回～7回：株式会社制度と企業統治、第8回～12回：機関の設計と経路依存の問題、第13回～15回：日本における企業統治問題と公開会社法の問題

準備学習 報道される株式会社制度や証券市場の変化に関心を持つように心掛けて下さい。日本国外の変化や日本国外の変化をフォローしていれば、授業の内容を深く理解できると思います。また受講生に予備的な知識が乏しくとも、株式会社制度の基本については授業の前半部で詳細に説明していきます。

履修上の留意点 経済報道及び企業報道(新聞・雑誌、インターネット、TVの特集番組)等に日頃から接するように心掛けて下さい。また、講義の内容についてわからない点は必ず質問するようにして下さい。

成績評価の方法 平常点をベースとして、学期末試験(70%)と中間テスト(30%)の得点を基準として評価します。

教科書／テキスト 海道ノブチカ・風間信隆編著『コーポレート・ガバナンスと経営学—グローバル化下の変化と多様性—』ミネルヴァ書房、2009年。{<http://www.minervashobo.co.jp/book/b49888.html>}

参考書 講義の進行に応じて適宜に紹介します。

その他 記載事項無し。

履修コード	099191
科目名	企業統治論 b
担当者名	水村 典弘 <small>みずむら のりひろ</small>

講義の到達目標(ねらい) 世の中には様々な制度があります。どの制度も何らかの目的を実現していくために誰かが編み出したものです。しかし制度が正しく設計されていたとしても、当該制度が適切に運用されるとはかぎりません。講義では、制度の設計と運用の問題について、企業倫理の観点からアプローチしていきます。

講義の内容／授業スケジュール 第1回：ガイダンス、第2回～4回：資本主義経済における〈ビジネスと倫理の問題〉と〈企業活動と倫理の問題〉、第5回～6回：経営のプロフェッショナリズム、第7回～11回：個人・組織・社会レベルの倫理、第12回～15回：新たな企業価値の創造に向けて

準備学習 「良い企業とは、どのような企業なのか?」、「良い仕事とは、どのような仕事なのか」、こうした抽象的な問いについて、考えておくようにして下さい。特に就職活動を控えている学生方や、社会人になる学生方にとっては今、重要で切実な問題でしょう。

履修上の留意点 経済報道及び企業報道(新聞・雑誌、インターネット、TVの特集番組)等に日頃から接するように心掛けて下さい。また、講義の内容についてわからない点は必ず質問するようにして下さい。

成績評価の方法 平常点をベースとして、学期末試験(70%)と中間テスト(30%)の得点を基準として評価します。

教科書／テキスト 水村典弘『ビジネスと倫理—ステークホルダー・マネジメントと価値創造—』文眞堂、2008年。{<http://www.bunshin-do.co.jp/catalogue/book/book0595.htm>}

参考書 講義の進行に応じて適宜に紹介します。

その他 記載事項無し。

経 B

履修コード	099211
科目名	流通経済論
担当者名	大吹 勝男

講義の到達目標(ねらい)

大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。

講義の内容/
授業スケジュール

(1~3) 商品、貨幣および資本 (4~7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8~16) 資本の流過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17~20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21~28) 商品買取資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29~30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤

成績評価の方法
教科書/テキスト

成績は期末試験により評価します。

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円

大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

履修コード	101201
科目名	現代産業事情Ⅲ
担当者名	江夏 あかね

講義の到達目標(ねらい)

本講座は、「現代の資本主義と証券市場」をテーマとして、外資系金融機関の現役アナリストによって講義が行われる。証券市場に関する基礎から出発するため、証券業務に初めて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、講義においては、主にクレジット市場で注目されているニュース等を題材としたケース・スタディーなどを通じて、実践に即した機会を設ける。証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容/
授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 金融・経済関連情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン概念
- 第4回 証券市場の概要と市場参加者
- 第5回 債券市場の役割と債券の基礎知識
- 第6回 債券市場のインフラおよび格付けの基礎
- 第7回 社債等民間セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎 (1)
- 第8回 社債等民間セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎 (2)
- 第9回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎 (地方債-1)
- 第10回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎 (地方債-2)
- 第11回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎 (財投機関債-1)
- 第12回 公的セクター・クレジット市場の概要とクレジット分析の基礎 (財投機関債-2)
- 第13回 海外クレジット市場の概要および最近の動き
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

成績評価の方法
教科書/テキスト

定期試験とレポートで評価する。

毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

江夏あかね『地方債の格付けとクレジット』商事法務、¥4,725、978-4785716172。

代田純『日本の国債・地方債と公的金融』税務経理協会、¥2,100、978-4419048792。

参 考 書

そ の 他

金融機関の現役社員による講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

経 B

履修コード	100951
科目名	ビジネス・インターンシップ a
担当者名	溝手 芳計・光岡 博美

講義の到達目標(ねらい) 「ビジネス・インターンシップ a」は、皆さんが企業や団体で現場の実習を受けるために必要な社会的常識や作法・知識を身につけるための科目です。

実習科目である「ビジネス・インターンシップ b」を受講するには、この科目の単位を修得することが条件となります。事故なく、実りある実習にするため、真剣に受講することが求められます。

「ビジネス・インターンシップ a」では、教室での授業を通じて、企業等の現場における実習で最低限必要な、社会人としての素養や基礎知識を習得するための準備トレーニングを行います。ビジネス研修の専門家・団体役員等を招聘し、次のような点を目標にして授業を進めます。

- ・講義ガイダンス (1)
- ・インターンシップの目標とプログラムについて (2~3)
- ・仕事のルールとビジネスマナー (4~6)
- ・自己分析トレーニングと各自の目標・計画 (7~8)
- ・インターンシップ先の確定作業とその研究 (9~12)
(各ゼミで、ゼミ担当教員の指導のもとに進める)
- ・実習先企業・団体に関する資料作成 (13~14)
- ・インターンシップ実習先の確定と研修計画の相談 (15)
(各ゼミで、ゼミ担当教員の指導のもとに進める)

*授業計画が事情により多少変わる場合があります。

準備学習
履修上の留意点

授業中の指示に従ってください。

①この科目は、経済学科の3年次生のみを対象として開講されている専門・選択科目です。実習科目である「ビジネス・インターンシップ b」(後期)を履修するためには、この「ビジネス・インターンシップ a」(前期)を履修し、単位を修得することが必要となります。受講希望者は、第1回目の講義時間に必ず出席してください。

②「ビジネス・インターンシップ b」(実習科目、後期)は、演習 II の担当者がこの科目を開講しているゼミの学生のみ履修が可能です。履修登録前に、開講されているかどうかを必ず確認してください。

③履修登録のさいには、必ず「a」「b」の2科目をセットで登録してください。

④現場実習の事前学習として、出席、時間厳守等を社会人マナーを重視します。

出席点と授業中の課題とレポートおよび受講態度で総合的に評価します。授業に対する取り組み方自体も、インターンシップに対する心構えの一環となりますので、安易な考えで受講しないようにしてください。

経 B 成績評価の方法

教科書/テキスト

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

社会に出ると、メモの取り方も重要なポイントとなりますので、5W1Hを絶えず考えてメモをとるという方法を身につけるよう努力してください。

履修コード	112931
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	村松 幹二

講義の到達目標(ねらい) 企業や団体、自治体の現場で就業体験してもらい、「仕事」の現場を見ることで、活きた経済を学ぶことが目標です。それにより自らの進路選択と学習・研究目標の策定に役立てることをねらいとしています。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

夏休みに、現場で実際の研修を行います。

後期は、現場での研修についてレポートの作成と発表会を行います。

ビジネス・インターンシップ a の単位を修得しており、かつ、村松幹二ゼミ演習 II を履修しているものに限りです。

研修の際の交通費等の経費は自己負担であり、報酬は支給されないことを了解しておいてください。現場の迷惑にならないよう、自覚を持って責任ある行動をとってください。

成績評価の方法

研修後のレポートや発表、研修先の評価などを総合的に評価します。

教科書/テキスト

とくにありません。研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。

履修コード	112941
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	小西 <small>こにし ひろみ</small> 宏美
講義の到達目標(ねらい)	インターンシップに参加することで、「働くこと」の意味を考え、社会人としてのマナーを身につける。
講義の内容／授業スケジュール	夏季休暇中にインターンシップを行う。
履修上の留意点	インターンシップ先は学生自身が見つけること。 この科目は、小西ゼミの演習Ⅱを受講している経済学科学生しか登録できません。ビジネス・インターンシップ a とセットで登録して下さい。
成績評価の方法	インターンシップ後に提出する報告書に基づいて評価します。

履修コード	112951
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	渡邊 <small>わたなべ けいいち</small> 恵一
講義の到達目標(ねらい)	3年次の夏期休暇中、企業や各種団体で一定期間研修に従事し、その職場経験を大学における専門学習、あるいは自分の進路選択に生かす。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 前期にビジネス・インターンシップ a を受講するとともに、各自で研修先を確定、(2) 夏季休暇中、企業や各種団体で研修に従事、(3) 研修の成果を報告書として作成・提出
履修上の留意点	対象は担当者の演習Ⅱを受講する3年生のみ。前期開講のビジネス・インターンシップ a の単位修得ができなかった場合、この科目の履修は認められない。
成績評価の方法	研修報告書および受講生との面談から総合的に判断する。

履修コード	112961
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	小栗 <small>おぐり たかし</small> 崇資
講義の到達目標(ねらい)	「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体など多様な体験のできる場を予定しています。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。原則として、8月上旬から9月上旬に約1～2週間の研修を行います。 (2) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。また「インターンシップ報告書」の刊行も予定しています。
履修上の留意点	これは私の演習Ⅱに所属する経済学科3年生のみが履修できる科目です。研修先の企業についてや履修上の心得や注意事項についてはゼミで指導します。
成績評価の方法	研修先の評価を参考に、研修後のレポートによって評価します。

履修コード	112971
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	工藤 <small>くどう めい</small> 芽衣
講義の到達目標(ねらい)	ビジネス・インターンシップは、学生が企業やNPOなどでの就業体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。
講義の内容／授業スケジュール	4月：履修登録後、受け入れ先との調整を行います。 7月：事前研修 8月～9月：1～2週間程度の就業体験 10月～12月：事後研修、レポートの作成
履修上の留意点	ゼミの演習Ⅱの受講生のみが登録できます。
成績評価の方法	研修後のレポートおよび研修先の評価によって総合的に評価します。

経 B

履修コード	112981
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	吉田 真広

講義の到達目標(ねらい) 企業や団体での就業体験を通じて、社会人・職業人として必要な基本的な心構えや姿勢を身につけ、さらにその体験をレポートやプレゼンテーションの形で報告する能力も身につけることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール
履修上の留意点

- 1 夏季休業中に一定期間にわたって、企業において就業体験を行います。
- 2 インターンシップ体験のレポート作成と報告を行います。
- 1 実地研修をを必須条件とするため、何らかの理由から研修に参加できなかった場合、単位は認められません。
- 2 ビジネス・インターンシップaの単位を修得していないと、ビジネス・インターンシップbは受けられません。
- 3 研修の際の交通費、被服などの経費は自己負担です。
- 4 研修なので勤務報酬は出ません。

成績評価の方法 研修先による評価、レポート、報告によって総合的に判断します。

履修コード	112991
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	矢野 浩一

講義の到達目標(ねらい) 「ビジネス・インターンシップb」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることがねらいである。

講義の内容／授業スケジュール

(1) 実際の研修は夏休み期間に実施される。原則として、8月上旬から9月上旬に約2週間の研修を行う。

履修上の留意点

(2) 後期は、研修についてのレポート作成を行う。
ビジネス・インターンシップaの単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップbを受けることはできない。また、ビジネス・インターンシップbを受講できる学生は、矢野ゼミの演習IIに所属している3年生に限定される。受け入れ先の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生のみを受講してもらおう。

成績評価の方法 基本的には研修後のレポートによって成績評価するが、研修先の評価なども参考にして判断する。

経 B

履修コード	113011
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	石川 純治

講義の到達目標(ねらい) インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。
ゼミにて説明します。

講義の内容／授業スケジュール
履修上の留意点

このインターンシップは私の演習IIに所属する経済学科の学生しか取れません。演習の中で希望者と相談したいと思います。

成績評価の方法

事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。

教科書／テキスト

講義の際に必要な資料を配布します。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113021
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	石川 祐二

講義の到達目標(ねらい) インターンシップは、学生が企業等で実習する体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。

講義の内容／授業スケジュール

- 7月：インターンシップ先の決定
- 8月～9月上旬：インターンシップ研修
- 9月～10月：研修についてのレポート作成

履修上の留意点

インターンシップは、演習IIに所属する学生のうち、経済学科の学生に履修が限定されます。また、企業等にお世話になるため、自らの責任を自覚して下さい。

成績評価の方法

研修内容とレポートを中心に評価します。

教科書／テキスト

適宜指示します。

その他

3年次生のみ履修可能です。

履修コード	113031
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	岩波 <small>いわなみ</small> 文孝 <small>ふみたか</small>

講義の到達目標(ねらい)

ビジネス・インターンシップは、企業や団体の現場実習を通じて就業体験をすることにより、自分の適性を発見し、就業することや社会について認識を深め、人生設計など自らの将来像を描くための授業です。

講義の内容/
授業スケジュール
履修上の留意点

研修に関する自己評価 (1～5)、研修に関するレポート作成 (6～10)、レポートに基づく発表 (11～13)、各受講生における今後の課題に関するレポートの作成 (14～15)

現場実習を行なうので、受講生の自覚と責任がきびしく要求されます。この科目は、演習 II (岩波ゼミ) を受講する経済学科の学生のみが履修できます。受け入れ先や研修の調整作業が必要となるときにも、受け入れ先の都合で、時期・期間が変更になることもあります。

次の点を必ず確認して履修してください。

1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ b は多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることになりますので、注意してください。
2. 研修の際の経費 (交通費や被服費等) は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。

成績評価の方法

インターンシップ事前準備、インターンシップ受け入れ先からの報告、および事後研修レポートにより評価します。

そ の 他

演習 II (岩波ゼミ) を履修する 3 年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113041
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	松本 <small>まつもと</small> 典子 <small>のりこ</small>

講義の到達目標(ねらい)

ビジネス・インターンシップは、企業や NPO 等での就業体験を通じて「働く意味」を考えます。

講義の内容/
授業スケジュール

4 月：履修登録後、履修生の希望を受けて、受け入れ先との調整を行います。

主に NPO 法人、財団法人、社会福祉法人をインターンシップ先として検討します。

7 月：事前研修

8 月～9 月：1～2 週間程度の就業体験

10 月～12 月：事後研修、レポートの作成

履修上の留意点

経済学部松本ゼミの演習 II の受講生のみが登録できます。

ビジネス・インターンシップ a を必ず履修してください。

成績評価の方法

研修後のレポートおよび研修先の評価によって総合的に評価します。

経 B

履修コード	113051
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	勝田 <small>かつた</small> 佳裕 <small>よしひろ</small>

講義の到達目標(ねらい)

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容/
授業スケジュール

4 月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。

4 月に履修登録。

7 月に事前研修。

夏休みまたは後期授業期間中に就業体験 (2 週間程度)

終了後事後研修 (レポート作成) など

履修上の留意点
成績評価の方法

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

そ の 他

3 年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113061
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	清水 卓 <small>しみず たかし</small>

<p>講義の到達目標(ねらい)</p> <p>講義の内容／ 授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法 教科書／テキスト</p>	<p>インターンシップという科目が設けられたのは比較的最近のことです。その背景には、大学卒業生の3割が新規就職して3年以内に転職するという現象に現れているように、自己の適性にあった安定的な就職先を見つけることが困難となってきたことがあります。企業や団体その他公的機関等も、テレビなどの一般向PR情報では、その実際の姿を知ることはできません。学生時代に企業や団体の現場を直接経験することで、自分を活かせる産業や企業など、就職先の選択を確かなものとすることができます。そして現場に立つことによって、今まで気が付かなかった自分の本当の姿を発見することもできるでしょう。</p> <p>前期は講義形式での授業、夏休みに企業研修体験、後期に報告書をさまざまな資料を参考にして報告文書を作成します。</p> <p>このインターンシップは私の演習II参加者のみ受講可能です。</p> <p>履修登録する人は、可能な限り至急私と連絡を取ってください。</p> <p>事前の準備の質と量、事後のレポートで評価します。</p> <p>適宜指示します。</p>
---	---

履修コード	113071
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>

<p>講義の内容／ 授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法 その他</p>	<p>相手先の都合により変更となる可能性があるものの、岡三証券本社において夏休み中に3～4日間のインターンシップを予定している。</p> <p>インターン期間中は岡三証券の社員と一緒にになります。このため男子の場合、茶髪、ひげ、長髪等は禁止されます。女子もこれに準じます。スーツ着用になります。</p> <p>成績評価については、インターンの出席と相手先からの評価、事後のレポートで決定する。</p> <p>希望者多数の場合は、選抜となる。また留学生は日本語水準が高いことが必要です。</p>
--	--

経 B

履修コード	113081
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>

<p>講義の到達目標(ねらい)</p> <p>講義の内容／ 授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法 教科書／テキスト</p>	<p>企業、商店、NGO、芸術団体、自治体など実際に経済活動や社会活動をおこなっている現場に向いて作業や労働を経験してもらうことが目標です。相応の責任感が要求されますが、大学のキャンパス内では学べない多くのことを体験学習することができます。本学の構内は決して広くはありませんが、学外の広い世界をいわば広義の学園と見立てて大学生活にふくらみをもたせてみることをお勧めします。</p> <p>この科目のスケジュールは、大きく三つの時期にわけられます。</p> <p>前期は、学内の教室でおこなわれる授業をとおして、インターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。</p> <p>夏休みには、現場での実際の研修をおこないます。</p> <p>後期は、現場での研修について、レポートの作成と発表会をおこないます。</p> <p>現場の作業や労働の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。研修先を自分で探してくる学生は歓迎します。インターンシップに必要な交通費や衣服などの諸経費は自己負担になります。また、あくまで研修というたてまえから、報酬は支給されないことを了解しておいてください。</p> <p>学内での授業、研修先からの評価、レポートや発表などを総合的に評価します。</p> <p>とくにありません。ただし、随時、必要と思われるプリント等の配布はいたします。</p>
---	---

履修コード	113091
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義の到達目標(わらい) 本科目は学生が企業や各種団体において現場研修を受け、その就業体験を通じて企業経営や団体活動の実際・動向を理解し、大学における専門科目の学習意欲を高めることを目指しています。

講義の内容／授業スケジュール 本科目では、講義にあたるものは、インターンシップ先における実際の研修です。研修期間は、原則として、夏休み期間です。通常は、約2週間～1ヶ月の研修が実施されます。

履修上の留意点 本科目は、百田ゼミの演習Ⅱの受講生のみが登録できます。また、「ビジネス・インターンシップ a」の単位を修得していない学生は「ビジネス・インターンシップ b」を受けることはできません。

成績評価の方法 研修後のレポートおよび研修先の評価によって成績評価します。

履修コード	113111
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>あねは あき</small> 姉齒 暁

講義の内容／授業スケジュール インターンシップという制度は、学生のみなさんが、社会に出る前に企業・商店・団体等の現場で実際に就業を体験するものです。この研修を通じて、イメージだけで語られることの多い「仕事」の実際を垣間見ることができます。皆さんは、この経験を通じて、自分がどんな仕事に就きたいのか、自分に合った仕事は何かといった疑問に対する答えを得られるでしょう。この演習が、ブランド名やイメージだけにとらわれず、自分の適性を活かす道を見つけられる一助となるよう、企業選びから研修、その後のまとめに至るまで、相談しながら進めていきたいと思います。

インターンシップ研修そのものは夏休み中に行われることとなります。数ある研修先企業・団体の中から研修先を選定し、研修前に行き先についての予習もしておきましょう。

履修上の留意点 研修終了後、レポートを提出してもらいます。

成績評価の方法 この演習を受けるものは、演習Ⅱを履修しているものに限り、研修後の「レポート」等の提出物により評価します。

教科書／テキスト 研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。

参考書 研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。

履修コード	113121
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>みつおか ほくみ</small> 光岡 博美

講義の内容／授業スケジュール ビジネス・インターンシップは、演習Ⅱの履修者（3年生）のみを対象とする。具体的な取り組みについては、最初の授業で、希望者と打ち合わせを行う。インターンシップを希望する学生は、(イ) どのような業種、企業を希望するか (ロ) 学生自身がインターンシップの志望先を確保しているか否かについて話し合うことにする。志望先のない学生は私の側で、相手先の企業 etc を探す努力をしてみたい。

成績評価の方法 インターンシップ研修前の課題レポートと研修後のレポートで評価します。

経 B

履修コード	113131
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	やしき ただみつ 谷敷 正光

講義の到達目標(ねらい) インターンシップとは、学生が在学中に、企業、学校、教育委員会その他公共施設、各種団体などで研修生として「就業（職場）体験」を積むための制度です。

インターンシップによって、実社会＝職場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野について大学の講義では学べない具体的な知識を得、「自己の適性」を的確に判断しながら、進路の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。

大学での普段の学習方式とは異なり、仕事の大変さや厳しさ、責任の重さややりがい（生きがい）など「就業（職場）体験」で得たものは、きっと貴重な生きた知識になるとともに就職活動の「自己啓発」にも大いに役立ちます。受け入れ先によっては企業経営に参加させてくれるなど、思わぬ貴重な体験をすることがあります。

講義の内容／
授業スケジュール

前期 「インターンシップ a」履修

後期 「インターンシップ b」履修

①前期5～7月頃、就業体験ができる受け入れ先を探す。

②【受け入れ先】

- ・ 各自で探す（インターンシップ紹介サイトなどで探す。サイトは授業中に紹介する。）
- ・ 経済学科で紹介する企業から探す。
- ・ キャリアセンターが実施するインターンシップを利用する。

③就業体験受け入れ先が決定したら「受け入れ先決定報告書」を演習（II）担当教員に提出。

④就業体験前に受け入れ先への挨拶と書類持参、受け入れ先との打ち合わせを行う。

⑤夏休みなどを利用して3日～1週間程度就業体験＝実践。

⑥10～11月頃レポート「インターンシップ報告」作成し、演習（II）担当教員に提出。

⑦『インターンシップ報告書』作成＝「インターンシップ報告」をインターンシップ担当教員に提出（④と同じもの）。

準備学習
履修上の留意点

日頃より新聞や雑誌を読み、産業や企業の動向と就職状況などに関心を持つこと。

（1）インターンシップは目的意識を持って参加すること。

（2）インターンシップでは、受け入れ先との信頼関係の構築が大切です。

（3）スケジュールは、受け入れ先の都合で時期・期間はいろいろです。

成績評価の方法
教科書／テキスト

受け入れ先からの「就業報告」とレポート「インターンシップ報告」などで評価します。

その都度、必要な資料を配布する。

受け入れ先に関する資料を配布する。

参 考 書

各自、必要に応じて読んで下さい。

スピーキングエッセイ編『図解でよくわかる上手な話し方が身につく法』アスカ680円。

渡部昌平『進路指導・就職支援マニュアル』大学教育出版1800円。

山口憲二『キャリアデザインの多元化的探求』現代図書2667円。

『ざ ビジネスマナー』NECユニバーシティ。

安田佳生『仕事の選び方・人生の選び方』サンマーク出版1300円。

門脇厚史『社会力を問う 大人の条件』岩波出版660円。

安田雪『大学生の就職活動』中公新書660円。

安河内哲也『それでいいのか大学生』ナガセブックス900円。

香山リカ『就職がこわい』講談社1300円。

小島貴子『就職迷子の若者たち』集英社660円。

檜谷芳彦著『大学3年生になったらすぐ読む本』大和書房619円。

『高感度をアップさせる「モノの言いよう」』PHP 新書514円。

武田哲男著『「顧客満足」の常識』PHP ビジネス新書800円。

高井伸夫著『3分以内に話はまとめなさい』かんき出版1300円。

梅沢正著『職業とキャリア』学文社2415円。

古関博美著『インターンシップ』学文社2100円。

高良和武著『インターンシップとキャリア』学文社2520円。

野田・浜田著『会社のしくみが分かる本』日系ビジネス新書 667円。

川合雅子著『キャリア発掘わたしの適性・適職発見』学文社1575円。

そ の 他

ゼミ3年次生のみ履修が可能な科目です。「インターンシップ a」の履修を済ませることが必要です。

履修コード	113141
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	吉田 敬一

講義の到達目標(ねらい)

「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとした科目です。

講義の内容／
授業スケジュール

実際の研修は原則として、夏休み期間に実施される公募制インターンシップないしボランティアの中から自分でチャレンジし、レポートを作成してもらいます。受講希望者は最初のゼミの時間に相談してください。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価なども参考にして判断します。

そ の 他

- *次の点を必ず確認して履修してください。
- ①吉田ゼミの演習 II を受講している経済学科 3 年生のみが登録できます。
 - ②ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。

履修コード	113151
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	大石 雄爾

講義の到達目標(ねらい)

インターンシップのねらいは、学生が企業等の実習を通して就業体験をし、働くことの意味を考えることにあります。

講義の内容／
授業スケジュール

第 1 回目のゼミで説明します。

履修上の留意点

このインターンシップは、私の演習 II に所属する経済学科の学生のみ履修することができます。希望する学生は、前期科目「ビジネス・インターンシップ a」を履修する必要があります。

成績評価の方法

インターンシップ実習報告書および事後のレポートで評価します。

履修コード	113161
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	中済 光昭

講義の到達目標(ねらい)

企業の現場に出向いて、どのような仕事をするのかを経験してもらうことがこの講義の狙いです。

講義の内容／
授業スケジュール

ビジネス・インターンシップ a やゼミにおいてインターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。

履修上の留意点

夏休み等長期休暇を中心に 1～2 週間程度、現場での実際の研修をおこないます。終了時にインターンシップについて、レポートの作成と発表会をおこないます。

履修上の留意点

- ・会社の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。無断遅刻・欠席があった場合、インターンシップを打ち切ります。
- ・インターンシップでは、報酬などが支給されませんので、あらかじめ了解ください。

成績評価の方法

ゼミでのビジネスマナー等に関する評価、研修先の評価、レポートや発表などを総合的に評価します。

教科書／テキスト

とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。

参 考 書

とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。

そ の 他

- * 次の条件を満たさない場合受講できません。確認してから履修してください。
- ・中済ゼミの演習 II を受講している 3 年生のみが登録できます。
- ・ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。
- ・演習 II 担当教員(中済)・就業体験受け入れ先・学生の 3 者間でインターンシップに関する基本的な合意が得られた後派遣します。

経 B

履修コード	113171
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義の到達目標(ねらい) この演習では、企業社会の現実・内容などについて、演習を通じて体現していくことが要求される。

講義の内容／
授業スケジュール 演習は次の3つの過程を経る。
(1)：前期中に希望する職種の決定と実習先の選定。関連する授業等の履修。
(2)：夏季(8月)に実習をする。
(3)：後期に、実習のまとめと報告書の作成。

成績評価の方法
その他 定期試験などはしない。評価は「スケジュール」の総合的評価とする。
この演習講義は、阿部弘ゼミナール(演習 II)生にのみ履修が許可される。なお、参考文献などはその都度指定する。

履修コード	113181
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	北口 りえ <small>きたぐち りえ</small>

講義の到達目標(ねらい) ビジネス・インターンシップは、企業など実際の職場で就業体験をすることにより、働くということがどういうことなのか、自分の適性にあった仕事はどのような仕事なのかということについて考え、就職活動において自己の適性にあった就職先を主体的に選択することができるようになることを目的としています。

講義の内容／
授業スケジュール ゼミにて説明します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書／テキスト 私の演習 II に所属する経済学科の学生のみ履修できます。
インターンシップの研修状況や研修後の報告書等により評価します。
3年次生のみ履修可能な科目です。
「ビジネス・インターンシップ a」の単位を修得していないと、「ビジネス・インターンシップ b」を履修することはできません。

経 B

履修コード	113191
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	溝手 芳計 <small>みぞて よしかず</small>

講義の到達目標(ねらい) ビジネス・インターンシップ b は、企業や団体での就業体験をとおして、働くことの意味や職業人としての基本姿勢を身につけ、あわせて大学での専門科目の学習意欲を高めることを目的とする科目です。

講義の内容／
授業スケジュール 研修期間は、原則として夏休みですが、研修先探しや受け入れ先との打ち合わせ等のため、前期からの取り組みが必要です。詳しくは、4月最初の演習 II の時間に説明します。

履修上の留意点
(1) この科目は、経済学科、同 FA の学生で溝手担当の「演習 II」の受講生しか履修できません。
(2) 「ビジネス・インターンシップ a」(経済学科向け)をきちんと履修してください。
(3) 研修先は、原則として受講生の責任で探してください。
(4) インターンシップの研修は、受け入れ先の企業・団体のご協力を頼って行われます。無責任な行為は、ご好意をアダで返すこととなりますので、安易な気持ちでの履修は謹んでください。
(5) 研修に要する費用(交通費等)は受講者の自己負担となります。あくまで研修ですので、報酬はありません。

成績評価の方法 研修先による評価、事後レポートで評価します。